# 岡山バドミントン五十年

50周年記念誌

岡山県バドミントン協会

# ご　挨　拶

岡山県バドミントン協会は，平成10年に創立50周年を迎え，これを機会に，記念誌『岡山バドミントン五十年』を発刊いたしました。

つきましては，関係各位のご指導をはじめ，資料や写真のご提供，思い出の寄稿等をいただき，誠にありがとうございました。お陰により，内容を充実させることができました。また，有料頒布の予約により，記念事業費にご協力下さいました方々にも，厚くお礼を申し上げます。

折しも私どもは，平成17年の２巡目岡山国体の成功と，県協会のさらなる発展をめざして，決意を新たにしているところでもあります。

今後とも，引き続いてのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ，お礼かたがた，ご挨拶にかえる次第でございます。

平成10年10月

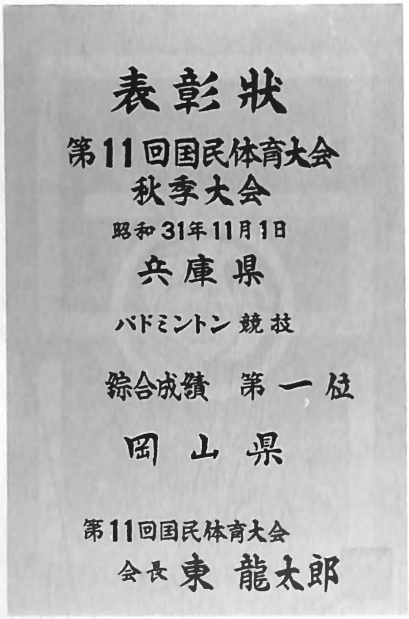
岡山県バドミントン協会

会長　岡崎　彬




岡山県バドミントン協会旗

## ■国民体育大会



表彰状

第11回国民体育大会
秋季大会

昭和31年11月1日

兵庫県

バドミントン競技

総合成績　第一位

岡山県

第11回国民体育大会
会長　東　龍太郎

第11回兵庫国体
天皇杯総合優勝
1956(昭和31)年
於神戸市




岡山県チーム　後列＝石原利通・前田俊一・権田節子・友野文子・光本政子・金尾善六監督(女子)
(左から)　前列＝永井正監督(男子)・毛利清志・根岸　純・戸田寿子・小林桂子



第17回岡山国体
昭和天皇・皇后両陛下御臨場
1962(昭和37)年
於倉敷青陵高校体育館



天覧試合




岡山県チーム　後列＝山上周之監督・松王清志・藤沢更司・西崎正明・渡辺弘美監督・中村健会長
朝原航監督・小松　貴・岡本武利監督・福田詔一・青井正義監督・岡崎捷一
前列＝高塚淳子・藤本澄子・湯浅光枝・根岸　純・七村泰子・重政百代・阿部　正



第10回神奈川国体高校女子優勝
山陽女子高校チーム
(左から)
山上周之監督・毛利清志顧問
友野文子・権田節子・三宅基子
1955(昭和30)年,於横浜市




第37回島根国体の県チーム　成年女子優勝
(左,後列から)
朝霧晴夫理事・藤原道弘・小寺裕美・中山睦雄監督・平田重男
河本小織・高田幹子・石田祥史会長・毛利清志監督・藤原　航
監督・若林邦任・岡百合子・相賀里香・轟美智子
1982(昭和57)年,於松江市

## ■各種大会



第６回全日本実業団優勝の
岡山市役所女子チーム
左から＝権田節子・光本政子
1957(昭和32)年,於香川県高松市



第４回全日本教職員男子団体優勝の県チーム
(左から)
金尾善六・三宅　勝・柳本堯敏・毛利清志・西崎正明
1965(昭和40)年,於大分県日田市

# ■インターハイ



第６回全国高校団体・複優勝の山陽女子高校チーム　1955(昭和30)年,於神戸市
(左から)後列＝守安昭子・小川政雄教頭・友野文子・三宅基子・毛利清志顧問
前列＝権田節子・戸田寿子・光本政子・小林桂子

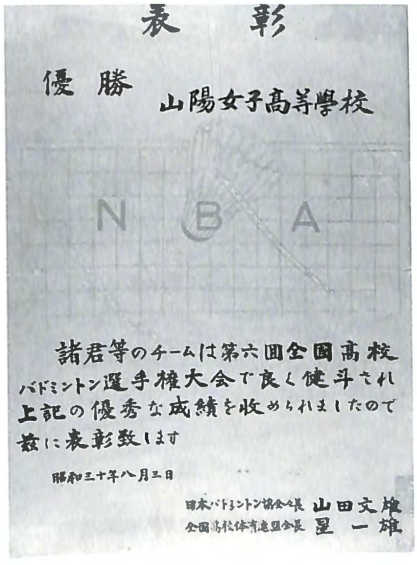


表　彰

優　勝　山陽女子高等學校

N B A

諸君等のチームは第六回全國高校バドミントン選手権大会で良く健斗され上記の優秀な成績を收められましたので茲に表彰致します

昭和三十年八月三日

日本バドミントン協会々長　山田文雄
全國高校体育連盟会長　星　一雄

第６回全国高校優勝の表彰状



中国高校団体戦30連勝の山陽女子高校チーム
〈毛利清志監督の胴上げ〉
1987(昭和62)年,於倉敷市

# ■ユーバー杯



第５回世界女子選手権(ユーバー杯)大会優勝の日本チーム
後列左から＝高橋とも子・本間恵美子・高木紀子・相沢マチ子・湯木博江・竹中悦子・浦口恵子・後藤和子
前列左から＝今井先監督・毛利清志コーチ・山本洋彦マネージャー
1969(昭和44)年,於東京




第６回世界女子選手権(ユーバー杯)大会優勝の日本チーム
左から＝山本洋彦マネージャー・竹中悦子・相沢マチ子・湯木博江
柴山きよ子・高木紀子・高坂　薫・毛利清志監督・堺　栄一コーチ
1972(昭和47)年,於東京



第８回ユ杯優勝を昭和天皇に報告する
日本チームの湯木博江主将
1978(昭和53)年,第33回長野国体,於塩尻市



第９回世界女子選手権(ユーバー杯)大会優勝の日本チーム
左から＝高田幹子・近藤小織・徳田敦子・米倉よし子
1981(昭和56)年,於東京



全英選手権４度目優勝に対しマーガレット王女より
永久杯を授与される湯木博江選手
1977(昭和52)年，第77回大会　於ロンドン

# 祝　辞



財団法人日本バドミントン協会
会長
**桜内義雄**

岡山県バドミントン協会が，この度創立50周年を迎えられたことは，日本バドミントン界にとって大変慶ばしいことであります。

貴会が，50年の永きにわたり育成発展に努力され，今日の成果を挙げられた役員各位と会員御一同の喜びもひとしおであろうと推察いたします。

またこの期に，記念事業の一環として50周年記念誌の刊行をみるに至りましたことを衷心よりお慶び申し上げます。

岡山県バドミントン協会は，昭和23年に創立され，以来，国民体育大会に於ける天皇杯・皇后杯総合優勝を始め，総合，国体，実業団，教職員，高校，社会人，学生，シニア等の各大会に於いて通算100回を超える全国優勝を果たされました。

さらに，岡山県出身選手は，わが国がユーバー杯争奪世界女子選手権大会において５回優勝を遂げるに当たり，４回にわたって，ユーバー杯を日本にもたらす中心となって活躍されました。その他にも，全英選手権大会において４度の優勝を遂げて永久杯を獲得。アジア大会，デンマーク・アメリカ・カナダ・ニュージーランド・ドイツ・マレーシア・シンガポール・タイペイ等の各オープン大会における優勝は20回をこえるなど，わが国のレベルを世界にアピールして，日本バドミントン史上に貴重な足跡を残されました。

一方，貴会の歴代理事長は，昭和30年代より本会常務理事等に推され，世界女子選手権大会日本チームのコーチ・監督としてチームを優勝に導く外，わが国バドミントン界の発展にも大きく尽力されました。

この50周年記念誌が，過ぎ去った50年の決算だけでなく，今後さらに大きく飛躍する糧となって，岡山県バドミントン協会の今後の発展に活かされますよう，心より祈念してお祝いの言葉と致します。

# 祝　辞



財団法人岡山県体育協会
会長
**石井正弘**
（岡山県知事）

岡山県バドミントン協会が，創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は，昭和23年に発足され，以来，50年という長きにわたり本県のバドミントン競技の普及・発展に努められ，今日の隆盛を迎えられました。これは，会長をはじめ関係の方々の並々ならぬ御努力の賜と敬意を表する次第であります。

岡山県バドミントン協会は，創立以来，その時々の優秀な指導者のもと，国民体育大会をはじめとする各種全国大会において優勝され，その数100回以上という輝かしい戦績を残しておられます。

また，国内はもとよりユーバー杯争奪世界女子選手権大会等の国際大会で活躍する選手も数多く育成しておられ，これらの多大の御功績は，本県バドミントン界のみならず，日本バドミントン界の発展にも貢献されましたことは誠に意義深く御同慶に堪えません。

さて，現在岡山県では，21世紀に向けて快適で活力あふれる岡山づくりを進めているところであり，県民一人ひとりが明るく生きがいのある生活を営むため，スポーツ環境の整備や競技スポーツの振興などを通じて，「県民皆スポーツの推進」に積極的に取り組んでいるところであります。

また，平成17年に第60回国民体育大会が岡山県で開催されますが，この国体を契機に，本県の競技力の向上とスポーツの振興に，開催県としてふさわしい大会となるよう鋭意努力しているところであります。

貴協会におかれましても，創立50周年を契機に，県内の協会役員，指導者そして愛好者の一致団結のもと，今後の御尽力と御貢献を願って止みません。

終わりに，貴協会のますますの御発展をお祈りして，お祝いのことばと致します。

# 発刊に寄せて



岡山県バドミントン協会
第５代会長
**石田祥史**

岡山県バドミントン協会は，昭和23年12月11日に呱々の声をあげました。

そして，平成10年に創立50周年を迎えることを，関係の皆さんとともに慶びたいと思います。

県協会設立以来，バドミントン競技をこよなく愛する人々の献身的な努力と情熱により，県下全般に普及し今日の隆盛を見るに至りました。県民各層に，広く愛されるスポーツとしての基礎を築いていただいたすばらしい尽力に対し，深く敬意を表するとともに，ご指導，ご協力をいただいた日本バドミントン協会，岡山県教育委員会，岡山県体育協会を始めとする，多くの関係の方々に厚く感謝申し上げる次第であります。

おかげによりまして，今日までに，国体の天皇・皇后両杯の総合優勝を始め，全国優勝を果たした選手は50名を数え，国際大会で活躍した選手も10名を超える成果を挙げてまいりました。

創立50周年にあたり，役員一同心を新たにしてさらに広く県民に普及し，基盤強化と競技力の向上をはかりながら，たくましい体力と強い精神力を育成し，県内バドミントンの発展向上に尽くしたい所存でありますので，関係各位のなお一層のご指導，ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

一方，この好機に県協会「50周年記念誌」として『岡山バドミントン五十年』を発刊することになりました。県協会設立までの苦労や，誕生から今日までの半世紀に及ぶ歴史を顧みながら，活動，活躍の跡を記録にとどめて後世に残すことは，まことに有意義なことであります。また，記念誌が将来に向けて県内愛好者の努力精進の糧となり，平成17年に開催される２巡目岡山国体の成功や，その後の本県バドミントン界発展のステップになることを，心から祈念しているものであります。

最後に，記念誌の発刊に際し，御多用のなかで原稿等をお寄せくださいました関係各位を始め，編纂委員の方々に対し，深い感謝を申し上げて挨拶といたします。

# ご挨拶



岡山県バドミントン協会
第６代会長
**岡﨑　彬**

岡山県バドミントン協会が昭和23年12月11日に設立され，本年，創立50周年の記念すべき年を迎えたことはすばらしいことであり，大変喜ばしい限りであります。

県協会設立以降今日まで，国民体育大会を始め各種全国大会において，通算100回を超える全国優勝を遂げてまいりました。これらの輝かしい成果は，ひとえに選手並びに関係各位の，バドミントン競技を愛する熱い情熱と努力の賜にほかなりません。

バドミントンが，県民各層の老若男女から愛され，親しまれるスポーツとしての基礎を築かれた関係各位のご尽力に対し，深く敬意を表するものであります。また，この間に，ご指導とご協力をいただきました，日本バドミントン協会・岡山県教育委員会・岡山県体育協会，並びに関係の皆様に厚く御礼申し上げます。

創立50周年の記念すべき年に，県協会長に推されたことは光栄であり，同時に，重責に身のひきしまる思いがしているところでもあります。これを機に，平成17年開催の２巡目岡山国体の成功を当面の大目標とし，役員一同，取り組みの姿勢を新たにして，より一層の努力を重ねてまいります。そして，県民各層を対象とした普及促進と，脆弱な基盤の強化に努め，併せて競技力のますますの向上を図るなど，県内バドミントン競技のレベルアップと発展に尽力して行く所存でありますので，今後とも，関係各位の絶大なるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今回，50周年という歴史の節目にあたり，これを記念して「岡山バドミントン五十年」を編纂し，県協会の半世紀に及ぶ歴史を顧みながら，今日までの数々の活動を記録に残して後世に伝えることになりました。記念誌の刊行は大変有意義な事業であると同時に，今後の活動の糧となって，本県バドミントン界の更なる発展のステップともなるよう祈念している次第であります。

最後に，50周年記念誌の発刊にあたり，寄稿いただいた関係各位，並びに編集委員の皆様に深甚なる謝意を表し，ご挨拶といたします。

# 目　次

## 口　絵


岡山県バドミントン協会旗
第11回国体　天皇杯総合優勝表彰状　県チーム
第17回岡山国体　昭和天皇・皇后両陛下御臨場　県チーム
第10回国体　高校女子優勝　第37回島根国体成年女子優勝
第６回全日本実業団選手権女子団体優勝　第４回全日本教職員選手権男子団体優勝
第６回全国高校選手権女子団体優勝　中国高校選手権女子団体30連勝
第５回・６回・８回・９回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会優勝
全英選手権永久杯獲得


## 祝　辞


日本バトミントン協会会長 …… 桜内義雄
岡山県体育協会会長 …… 石井正弘


## 発刊に寄せて・挨拶


第５代岡山県バドミントン協会会長 …… 石田祥史
第６代岡山県バドミントン協会会長 …… 岡﨑　彬


## 第Ⅰ章 県協会50年のあゆみ


**１　協会設立まで** …… 1
１，バドミントンの歴史 …… 1
２，日本への伝来と発展 …… 2
３，岡山県への導入と普及定着 …… 4
**２　設立からの主な歩み** …… 8
**（１）昭和23年度～30年度** …… 8
１，戦後スポーツの復興とバドミントンの発展 …… 8
２，県協会設立から黄金時代へ …… 10
３，栄光の跡 …… 15
**（２）昭和31年度～40年度** …… 16
１，県内総合大会の新設と優勝選手 …… 16
２，中国地区～西日本の各大会と主な活躍 …… 16
３，全国大会の変遷と主な活躍 …… 19
４，国際大会 …… 33
５，その他の活動 …… 34
６，栄光の跡 …… 36

（3）昭和41年度～50年度 …… 38
1，県内総合大会と優勝選手 …… 38
2，中国地区～東・西日本の各大会と主な活躍 …… 38
3，全国大会と主な活躍 …… 41
4，国際大会 …… 53
5，その他の活動 …… 55
6，栄光の跡 …… 56
（4）昭和51年度～60年度 …… 59
1，県内総合大会と優勝選手 …… 59
2，中国地区～東・西日本の各大会と主な活躍 …… 59
3，全国大会と主な活躍 …… 63
4，国際大会 …… 74
5，その他の活動 …… 75
6，栄光の跡 …… 77
（5）昭和61年度～平成９年度 …… 79
1，県内総合大会と優勝選手 …… 79
2，中国地区～東・西日本の各大会と主な活躍 …… 80
3，全国大会と主な活躍 …… 90
4，国際大会 …… 108
5，その他の活動 …… 109
6，栄光の跡 …… 112
（6）栄光の跡総括 …… 114
1，岡山県協会関係の対外大会別優勝数 …… 114
2，岡山県協会関係の国際大会優勝数 …… 114
3，岡山県出身　県外進学・就職・在住選手の全国大会優勝数 …… 115
4，岡山県出身　県外進学・就職・在住選手の国際大会優勝数 …… 115
5，まとめ …… 115
3　連盟・部会の歩み …… 116
1，各連盟 …… 116
⑴中学校体育連盟専門部（委員長　中須賀祥雅） …… 116
⑵高等学校体育連盟専門部（委員長　石田賢一） …… 123
⑶津山工業高等専門学校（顧問　西山宗弘） …… 139
⑷学生連盟　岡山大（坂野隆弘） …… 141
山陽学園短大（岡田裕子＝旧姓田辺） …… 143
⑸実業団連盟（理事長　藤原　航） …… 145
⑹教職員連盟（理事長　平島秀典） …… 152
⑺家庭婦人連盟（理事長　内田絢子） …… 156
⑻小学生部会（部会長　中島英喜） …… 160
⑼県リーグ（実行委員長　竺原博文） …… 162

2，各部会 …… 165
⑴総務・事務局（副理事長・事務局長兼務　吉原俊治） …… 165
⑵競技部会（部会長　柴田　憲） …… 167
⑶審判部会（部会長　小田和文） …… 174
⑷選手強化部会（元部会長　中山睦雄） …… 176
⑸指導・普及部会（部会長　松本哲也） …… 182

**第Ⅱ章　県協会の活動に貢献した主な人々**

**1　県協会の活動に貢献した人** …… 184
1，歴代会長 …… 184
2，歴代理事長 …… 187
3，全国優勝を果たした人（付　名簿） …… 190
4，国際大会で活躍した人（付　候補　名簿） …… 232
**2　その他貢献のあった人** …… 241
1，歴代副会長 …… 241
2，栄光の受賞者 …… 242

**第Ⅲ章　思い出**

**1　「手記」** …… 250
1，「国体優勝まで」第５代県協会会長＝石田祥史 …… 250
2，「バドミントン人生」第４代県協会理事長＝毛利清志 …… 251
3，「バドミントン回顧」第５代県協会理事長＝岡本武利 …… 252
4，「理事長からのメッセージ」第６代県協会理事長＝藤原　航 …… 253
5，「私の思い出」全国大会優勝者＝平方昌子（旧姓松山） …… 254
6，「私の思い出」全国大会優勝者＝藤沢英子（旧姓吉川） …… 255
7，「初めての国民体育大会＝第11回兵庫国体」
全国大会優勝者＝伊達　純（旧姓根岸） …… 256
8，「インカレ優勝戦の思い出」全国大会優勝者＝一村艶子（旧姓大橋） …… 256
9，「バドミントンと私」全国大会優勝者＝一村艶子（旧姓大橋） …… 257
10，「ジンクス」全国大会優勝者＝今東幸一 …… 258
11，「岡山で育った私」全国大会優勝
国際大会優勝者＝新沼ひろ映（旧姓湯木） …… 258
12，「石田雅子選手」第４代県協会理事長＝毛利清志 …… 259
13，「思い出すままに」全国大会優勝者＝今津裕美（旧姓小寺） …… 260
14，「天皇杯第４位へ進出」第６代県協会理事長＝藤原　航 …… 262
15，「第３回アジア大会に参加して」国際大会優勝者＝松王清志 …… 263
16，「第５・６回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会日本チーム，岡山県
関係特集」バドミントン界（日本協会機関誌）創刊号より
⑴「総力の和が最大の勝因」コーチ＝毛利清志 …… 263

(2)「苦杯をプラスに転じたい」選手＝湯木博江（現性新沼） …… 264
(3)「ベンチではらはら」選手＝浦口恵子（現姓大森） …… 264
(4)「世界のタイトルを防衛して」監督＝毛利清志 …… 265
17,「ユ杯で活躍した郷土勢」山陽学園バドミントン部コーチ＝毛利清志 …… 267
18,「思い出５題」全国大会優勝
国際大会優勝者＝大森恵子（旧姓浦口） …… 271
19,「最後の国体…そして国際試合へ」国際大会参加者＝近常直美 …… 273
20,「シャトルを追って“松王一家”」第６代県協会理事長＝藤原　航 …… 274
21,「競技力向上について」第６代県協会理事長＝藤原　航 …… 276
22,「こだわりスポーツ再発見　バドミントン」
松本組バドミントン部長＝朝霧晴夫 …… 277
**2　「記事」** …… 278
1,「山陽女子高　全国Ｖ重ね栄華極める」（山陽新聞） …… 278
2,「JEFNEWS」（日本教職員バドミントン連盟機関誌） …… 279
3,「全日本実業団で準優勝　松本組チームが来社」（岡山日日新聞） …… 280
4,「岡山２年連続Ｖ　成年女子静岡にストレート勝ち」（山陽新聞） …… 281
5,「選手育成は心の結びつき」（山陽新聞） …… 282
6,「全国大会に燃える翠松」（山陽新聞） …… 284
7,「初戦突破へ全力　強豪山陽女破って自信」（山陽新聞） …… 284
8,「メダリスト列伝！アジア大会の郷土勢」（山陽新聞） …… 286
(1)「松王・小松が団体金」 …… 286
(2)「湯木初出場２冠」 …… 286
(3)「近藤個人戦で意地」 …… 287
9,「山陽女子高出身の湯木・近藤両選手
二人とも頑張り屋“よくやった”」（岡山日日新聞） …… 288
10,「バドミントン湯木　全英で日本人初の栄冠
非凡な才能　人一倍努力」（山陽新聞） …… 289
11,「第10回日中バドミントン　日本男女とも快勝」（山陽新聞） …… 291

**第Ⅳ章　これからの課題**

**1　県協会として** …… 292
1，全体運営について（理事長　藤原　航） …… 292
2，部会の運営について（理事長　藤原　航） …… 294
**2　連盟として** …… 295
1，中学校体育連盟専門部（委員長　中須賀祥雅） …… 295
2，高等学校体育連盟専門部（委員長　石田賢一） …… 296
3，津山工業高等専門学校（顧問　西山宗弘） …… 297
4，学生連盟　岡山大（岡本真一） …… 297
山陽学園短大（長門弘美　重光香織　佐藤美和） …… 298

5，実業団連盟（理事長　藤原　航）…… 299
6，教職員連盟（理事長　平島秀典）…… 300
7，家庭婦人連盟（理事長　内田絢子）…… 301
8，小学生部会（部会長　中島英喜）…… 302
9，県リーグ（実行委員長　竺原博文）…… 303
**〈岡山県バドミントン協会役員　集合写真（平成８年度～９年度)〉** …… 304
**〈第２代名誉会長の誕生と第６代会長の就任〉** …… 305

**第Ⅴ章　県協会資料**

**1　年表** …… 306
**2　大会別　年次別戦績一覧** …… 314
1，小学生部会（県　中国）…… 314
2，中体連専門部（県　中国　全国）…… 320
3，高体連専門部（県　中国　全国）…… 332
4，津山工業高等専門学校（中国　中国・四国　全日本）…… 371
5，学生連盟（中国５大学　中国　中国・四国　中国・四国リーグ
中国・四国・九州　西日本　全日本　全国私立短大）…… 373
6，実業団連盟（県　中国　全日本）…… 387
7，教職員連盟（県　中国　全日本）…… 401
8，家庭婦人連盟（県　中国　西日本　全日本）…… 408
9，社会人（県〈含県総合〉　中国〈含中国総合〉　全日本）…… 413
10，県協会（春季　秋季　総合選抜　新人）…… 424
11，県リーグ …… 436
12，西日本 …… 436
13，全日本ジュニア …… 438
14，全日本シニア …… 439
15，全日本総合 …… 440
16，国民体育大会（県　中国　全国）…… 443
17，県外進学・在住者（一般　学生　東・西日本～各種全国）…… 453
**3　登録加盟状況** …… 458
**4　大会スケジュール**（平成９年度）…… 461
**5　公認審判員名簿**（付　公認審判員資格認定員　公認指導員名簿）…… 462
**6　役員名簿集**（平成10年度～11年度）…… 464
1，役員名簿 …… 464
2，加盟団体事務局所在地と主な役員名簿 …… 465
3，部会別連絡先名簿 …… 466

**資料提供者　執筆協力者　参考文献**

**あとがき**

# 第Ⅰ章　県協会50年の歩み

## 1　協会設立まで

### 1．バドミントンの歴史

**(1)由来**

現在のバドミントン（Badminton）競技に似たスポーツ（遊び）は，世界各地に色々な形で多く見られる。日本の羽子板遊び，中世ヨーロッパのフェザーボールやバトルドアーなどがその代表的な例である。

多くのバドミントンに関する書物は，インドのボンベイ州にあるプーナ（Poona）地方の〈プーナゲーム〉を現在のバドミントン競技の原型とし，このゲームをインドに駐留していた陸軍将校がイギリスのグロスター州バドミントン村にある英国貴族のボーフォート卿（Duke of Beaufort）の別荘で紹介したのがその始まりであるとしている。プーナにしてもバドミントンにしても，地名がその競技名になっていることが面白い。

**(2)発展**

バドミントンと名付けられたこのゲームは次第に英国内に広まっていき，英国各地でバドミントンクラブが創られていった。しかし、ルール、コートの大きさ等がはっきり定められていないため，クラブ間の対抗戦では必然的に多くのトラブルが発生した。そこで1893年にハンプシャー州のサウシーに各クラブの代表者が集まって，統一のルールを作成し，このルールに賛成した14のクラブによって世界で始めてのバドミントン協会が結成された。このバドミントン協会は，その後イングランドバドミントン協会と改名されている。

その後、1934年に世界的な組織としての国際バドミントン連盟（International Badminton Federation:I･B･F）が結成された。この時のメンバーは，イングランド，アイルランド，オランダ，カナダ，スコットランド，ウエールズ，ニュージーランド，フランスおよびデンマークの９か国で，最初の会長としてジョージ・トーマス卿が就任した。以来，トーマス卿は21年間在任し，バドミントンの普及発展に努力された。その功績を讃えて、現在男子の最も権威ある大会である「トーマスカップ（争奪戦）世界選手権大会」として，その名前が残されている。

国際バドミントン連盟は，一時，国際バドミントン連盟と世界バドミントン連盟（World Badminton Federation:W･B･F）の二つに分裂したが，1981年に再び統一され，1987年現在，もっとも新しい加盟国グアテマラを含めて65か国が加盟している。国際的な発展に伴い1988年のソウル（韓国）オリンピックではエキジビション競技として採用され，1992年のバルセロナ（スペイン）オリンピックではで正式競技種目として採択されて，さらに飛躍的に発展の一途をたどっている。

## 2．日本への伝来と発展

### (1)発展経過

1924（大正13）年ごろに北アメリカのＹＭＣＡから東京，横浜，神戸などのＹＭＣＡにバドミントンの用具が送られてきたが，この時点ではまだ競技としては発展しなかったようである。しかし，1929（昭和４）年ごろには，在留外国人の間でバドミントンの試合が行われていたそうである。その後，横浜ＹＭＣＡや一部の企業に広まり，1938（昭和13）年にわが国最初の協会である「神奈川県バドミントン協会」が設立され，競技としての成立をみている。

その後，日本では次の表にみられるように，バドミントン競技は学生を中心に発展し，一般へと普及していった。

| 年 | 記　　事 |
|---|---|
| 1941(昭和16) | 最初の大学クラブが慶応大学にできる |
| 1946(昭和21) | 11月２日に日本バドミントン協会(Nippon Badminton Association:N･B･A)が発足 |
| 1947(昭和22) | 関東オープン選手権大会開催<br>関東学生連盟発足<br>第１回全日本選手権大会開催(東京都)<br>…全国各地で各県協会(支部協会)が相次いで結成され始める… |
| 1948(昭和23) | 第３回国民体育大会(福岡県)の公開競技として参加 |
| 1949(昭和24) | 第４回国民体育大会(東京都)のオープン競技として参加<br>12月21日に日本体育協会へ正式加盟 |
| 1950(昭和25) | 第１回全国高等学校選手権大会開催(横浜市)<br>第５回国民体育大会(愛知県)の正式競技種目として認められた<br>第１回全日本学生選手権大会開催(横浜市)※翌年より大学対抗も並行<br>…競技人口が急増し始めた… |
| 1952(昭和27) | 第１回全日本実業団選手権大会開催(東京都) |
| 1958(昭和33) | 第１回全日本社会人選手権大会開催(札幌市)※実業団大会から独立 |
| 1962(昭和37) | 第１回全日本教職員選手権大会開催(東京都) |
| 1971(昭和46) | 第１回全国中学生選手権大会開催(東京都) |
| 1973(昭和48) | 第１回全国高等学校選抜選手権大会開催(真岡市) |
| 1979(昭和54) | 第１回ジャパンオープン開催(東京都)※国内初の定期国際大会<br>第１回日本リーグ開催(東京都他) |
| 1982(昭和57) | 第１回全日本ジュニア選手権大会開催(東京都) |
| 1983(昭和58) | 第１回全日本家庭婦人選手権大会開催(東京都) |
| 1984(昭和59) | 第１回全日本シニア選手権大会開催(上尾市)※社会人大会から独立 |
| 1991(平成３) | 第１回全日本混合ダブルス選手権大会開催(西条市)※社会人大会から独立 |

○当時の内外における他の主なスポーツ大会（戦後～東京五輪）

| | |
|---|---|
| 1946(昭和21) | 8月,第1回国民体育大会開催(京阪神) |
| 1951(昭和26) | 3月,第1回アジア大会開催(ニューデリー) |
| 1958(昭和33) | 5月,第3回アジア大会開催(東京)＝バドミントン男子初参加(団体戦のみ) |
| 1962(昭和37) | 5月,第4回アジア大会開催(ジャカルタ)＝バドミントン女子初参加 |
| 1964(昭和39) | 10月,第18回オリンピック東京大会開催(日本) |

また，日本選手の国際試合での主な活躍等は次の表の通りである。

| 年 | 記　　事 |
|---|---|
| 1952(昭和27) | 国際バドミントン連盟(Ｉ・.Ｂ・Ｆ)に加盟 |
| 1954(昭和29) | 第3回トーマス杯世界選手権大会(男子団体戦)に初参加 |
| 1958(昭和33) | 第3回アジア大会男子オープン競技に参加優勝 |
| 1962(昭和37) | 第4回アジア大会正式競技種目に女子初参加 |
| | 第62回全英選手権大会(当時,個人の世界選手権に相当)に小宮好雄選手(トヨタ自動車)が初参加,ベスト8 |
| 1969(昭和44) | 第69回全英選手権大会で湯木博恵(日本女子体育大学)がシングルスで日本人初の優勝(以後,74･75･77回と計4度優勝して,日本人初の永久杯を獲得) |
| 1966(昭和41) | 第4回ユーバー杯争奪世界選手権大会(女子団体戦)に初出場初優勝,その後 |
| 1969(昭和44) | 第5回 |
| 1972(昭和47) | 第6回 |
| 1978(昭和53) | 第8回 |
| 1981(昭和56) | 第9回と優勝した。 |
| | ※日本はアメリカに次いでユーバー杯3連覇を成し遂げた上,計5回ユ杯保持国になった。その後台頭著しい中国が1984(昭和59)年に初優勝して以来,1992(平成4)年までに5連覇を達成したが,1994(平成6)年にインドネシアに敗れたので,1994(平成6)年現在,日本と中国が5度優勝の世界タイ記録国となっている。 |



トーマス杯



ユーバー杯

### ⑵初期の普及経過

わが国バドミントンの草分け時代に東奔西走の大活躍をされた宮澤宏之氏（日本バドミントン協会初代理事長…昭和21年11月創立時～昭和24年３月…現顧問）を中心とした，当時のパイオニアたちの苦労が次のような記録（記事）として残っている。

「……大正末期，日本にバドミントンの用具が入ってきて，横浜・神戸などのＹＭＣＡ関係者の間でゲームの仕方を工夫しながら，親しまれていたようである。戦後昭和21年に上海帰りの宮澤氏が，バドミントンを振興スポーツとして発展させようと決意したが，それには本格的な競技方法等を指導普及せさる必要があり，そのスタッフを確保するために海外での経験者を対象に会員を募集して，1946（昭和21）年９月１日に東京バドミントンクラブを発足させた。たまたまその頃，日刊スポーツ新聞社の熱心な働きかけがあって，関東一円（７か所）の駐留軍キャンプを慰問するため，交換ゲームで巡回するなどクラブ員の活動が始まった。

その間に文部省（故栗本義彦振興課長…後に体育課長となる）の援助によって，組織的な普及活動を積極的に行うことができた。手始めとして愛知・静岡両県下を巡回指導したが，さらに多くの指導者の育成が必要であることを痛感させられ，関係機関等に指導と協力を依頼してその理解と支援のもと，1946（昭和21）年11月２日に待望の【日本バドミントン協会】の設立をみることができた。

日本バドミントン協会の創立を機にバドミントンを国民的スポーツとして発展させ，他の先進スポーツ種目と同様，国民体育大会の仲間入りを熱望するようにまで盛り上がってきた。ちょうどその時期，1947（昭和22）年10月の第２回石川国体のときに，各県体育課長等の集まっている場で“バドミントンは振興スポーツにふさわしい紳士の競技である”ことの説明と“模範ゲーム”を行うチャンスが与えられ，その結果は予想以上に好評であった。そして文部省を通じて各県からの講師派遣依頼が相次いだ。

各県からの要請に応じて，岐阜・岡山・広島・山口・福岡・大分・長崎等の西地域を先ず一巡した。続いて山梨・山形・福島・宮城・岩手等東地域の各県にも出向いて，指導者講習会を開催しながら，各県バドミントン協会の発足を積極的に勧めて回ったことが，今日の発展につながる組織的活動の始まりであった。その熱意に応えた全国各地区関係者の懸命な取り組みが実を結び，1948（昭和23）年の第３回福岡国体に公開演技として参加，1949（昭和24）年の第４回東京国体にはオープン競技ではあったが，男女各シングルス・同ダブルスの個人戦４種目の参加が認められた。

そしてその年，1949（昭和24）年12月21日に念願の日本体育協会への加盟が認可されて，日本バドミントン協会も他の先進競技種目団体と肩を並べることになったのである。」

## ３．岡山県への導入と普及定着

### ⑴斎藤實氏の功績

岡山へバドミントンを導入したのは，当時岡山県軟式庭球連盟理事であった斎藤實氏である。1947（昭和22）年の秋，上京した同氏が当時の日本バドミントン体育会（現在の日本バドミントン協会）専務理事の宮澤宏之氏を訪ねてバドミントン競技について学び，用具一式を購入して帰岡された。そして岡山市深抵小学校校庭にネットを張って仮のコートをつくり，斎藤氏の勤めていた「岡山スポー

ツマン運動具店」社長柳本喬祐氏の子息を相手に，岡山で初めてシャトルコックの打ち合いをされた。その後，県内普及活動の手始めとして伝達講習会を計画し，合同新聞社（現在の山陽新聞社）の協力を得て県内に呼びかけ，岡山市天満屋百貨店の葺川会館を会場として講習会を開催した。

☆斎藤氏は当時の模様を次のように語っておられる（平成６年５月談）

「…新聞社が講習会の予告記事を載せてくれて本当にありがたかった。戦災後約２年間を経過していたにもかかわらず，葺川会館にはまだ瓦礫があった。でも体育館のない頃だったので天井の高い風の当たらない場所として葺川会館を借りて行った。40～50人位は集まっていたように思う…」

講習会に集まった団体等についての記録は残っていないが，その後県内の普及活動を手伝った人々，第１回の県大会へ参加した顔ぶれ，本県協会が創立された時の初代役員のメンバーなどから，鐘紡西大寺・林製薬・食料配給公団等の事業所や，山陽女子・真備・倉敷精思・倉敷青陵・倉敷商業・倉敷工業等の各高校であったと推測できる。

さらに斎藤氏は，当時レクリエーション指導に力を入れていた県保健体育課の理解と協力を得て，大月二三男係長とともに県内各地域（和気・新見・児島・勝山等）の普及指導に駆け回られた。その上，鳥取・福山・松江・山口等の中国各県にも足を運んで指導された。また，香川県からも同氏を訪ねてバドミントン競技の勉強に来岡されたとのことである。この間，斎藤氏の助手としてバドミントンの実技指導に活躍されたのは，本県協会元参与の山上周之氏と，第１回県大会シングルスチャンピオンの原恵二氏が中心であった。

**⑵県保健体育課の援助**

岡山県保健体育課は，前述した石川国体開催時の各県体育課長会議で紹介されたバドミントン競技を県内に普及すべく，文部省を通じて日本バドミントン協会に講師派遣を依頼し，県内での講習会を次のように実施した。

＊第１回　昭和23年９月11日午前　鐘紡西大寺工場
＊第２回　昭和23年９月11日午後　天満屋北川広場
＊第３回　昭和23年９月22日午後　倉敷精思高校校庭

} 主催団体，講師等は各回とも同じ
（資料提供：宮澤宏之氏）

☆山陽新聞記事（昭和23年９月21日，原文のまま）

「…〔バドミントン講習会〕

岡山県バドミントン協会設立委員会では元国際選手・現日本協会専務理事宮澤宏之，本年度日本選手権保持者岡淳一両氏を招いて22日午後１時から倉敷精思高校校庭でバドミントン講習会並びに模範試合を行うが，岡山県では岡山・倉敷・西大寺あたりに普及しており，本年度中に県下大会を開催する予定…」

当時倉敷精思高校には本県協会元会長の村山寛氏が勤務されていて，この講習会の会場を引受け，これを機に自らラケットを手にして同氏の勤務校を始め，倉敷地区の各高校を中心に普及指導の輪を広げられた。この間，村山氏に協力したのが当時倉敷工業高校に勤務されていた本県協会元理事長の永井正氏である。両氏とも県高校界や県体育協会傘下の多くの種目団体の役員を兼務するベテランであったので，本県バドミントン界の草創期に当たって，高校育成指導の立場から県協会創立時にはそれぞれ理事に選ばれている。

以上のように，本県への導入は“斎藤氏中心”と“県保健体育課中心”の２本立てでスタートし，

同じ目的に向かって活動を始めた有志たちが，それぞれの立場を生かしながら県内の普及活動に取り組んでいるうちに，お互いの緊密な連携と固いチームワークが実を結び，記念すべき岡山県初の県大会を開催するに至った。

### ⑶第１回県大会の開催

関係者の待ち望んでいた岡山初の県大会のようすについて，山陽新聞はバドミントン競技の紹介と試合の結果を次のように写真入りで報道した。

☆山陽新聞記事（昭和23年12月６日，原文のまま）

「…〔岡山初のバドミントン大会〕

５日午前10時から岡山一女高（現在の操山高校）グランドと体育館でスポーツのニューフェース，バドミントンの競技会が岡山県で初めて開催された。この競技はテニスコートの３分の１くらいのコートの中央に高さ５フィート１インチのネットを張り，小型のラケットを用いてシャットコルク（シャトルコックの誤り）という羽根を空間で打ち合う，テニスと追羽根を一緒にしたような競技で，シングルスとダブルスの２ゲームがある。

この日県下から男子ダブルス26組，同シングルス46，女子ダブルス９組，同シングルス15の男女130名が熱戦を展開した。成績次のとおり。

〔男子ダブルス〕

準優勝，松本・筒井組（鐘紡西大寺）２－０村山・原組（倉敷精思高教・倉敷商高）

準優勝，北島・宮城組（鐘紡西大寺）２－０浦野・山口組（鐘紡西大寺）

▷優勝戦，松本・筒井組２－１北島・宮城組

〔女子ダブルス〕

準優勝，更井・小橋組（林製薬）２－０児島・山田組（真備高女）

準優勝，平岡・永山組（倉敷精思高）２－１尾坂・国定組（真備高女）

▷優勝戦，更井・小橋組２－０平岡・永山組

〔男子シングルス〕

準優勝，北島（鐘紡西大寺）２－０宮城（鐘紡西大寺）

準優勝，原（倉敷商高）２－１松本（鐘紡西大寺）

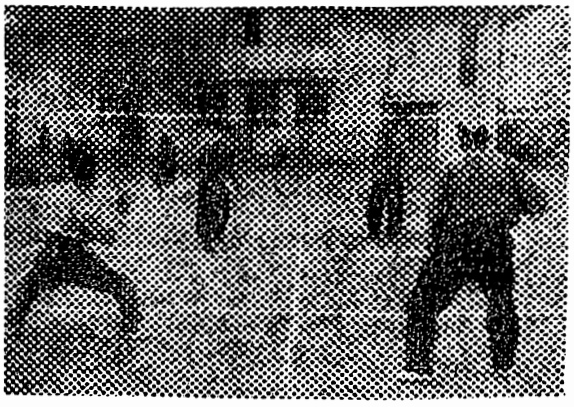
▷優勝戦，原２－１北島

〔女子シングルス〕

準優勝，小橋（林製薬）２－１平岡（倉敷精思高）

準優勝，更井（林製薬）２－０上野（倉敷精思高）

▷優勝戦，更井２－０小橋



山陽新聞記事より

### ⑷県協会の設立

一般と高校の混成ではあったが，岡山県初の“第１回大会”が前述のとおり成功のうちに終了したことは，関係者にとって大きな喜びであった。そして第１回大会から６日後に，岡山県バドミントン協会設立委員会が中心となって“設立総会”が次のように開催された。

**①岡山県バドミントン協会設立総会**

期　日　1948（昭和23）年12月11日

場　所　岡山市新西大寺町龍正堂

主　催　岡山県バドミントン協会設立委員会

発起人　福井行雄（岡山県保健体育課長）他

出席者　高校・会社・一般団体等からの代表者各１名（計７名）と設立委員

規　約　斎藤實案を検討の上，正式規約を制定

役　員　名誉会長　福井行雄（岡山県保健体育課長）

会　　長　田中弘道（岡山市長）

副 会 長　江見祐吉（鐘紡西大寺工場長）

副 会 長　藤本　亀（山陽朝報編集局長）

理 事 長　林宏太郎（林製薬岡山所長）

常務理事　松本良三（鐘紡西大寺工場）・喜多　強（食料配給公団岡山支局）

村山　寛（倉敷精思高校）・柳本喬祐（岡山スポーツマン運動具店）

斎藤　實（日本バドミントン体育会岡山県指導員）

理　　事　永井　正（倉敷工業高校）・近藤　茂（山陽学園）・松田健一（山陽新聞社）

三杉英明（山陽朝報社）・仲村国次郎（夕刊岡山社）

事 務 所　岡山市新西大寺町　岡山スポーツマン運動具店内

以上のような関係者念願の【岡山県バドミントン協会】が誕生したのである。

日本バドミントン体育会（現在の日本バドミントン協会）への県協会創立の報告と入会手続きは，その年の暮れまでに完了し，全国47都道府県の中で16番目に支部協会として登録された。続いて翌年の1949（昭和24）年１月に県協会の理事会を開き，日本バドミントン体育会岡山県支部協会役員を，次のように選出して報告した。

**②岡山県支部協会の本部協会登録役員**

理　事＝林宏太郎

評議員＝斎藤　實

指導員＝村山　寛・更井幹示　　補導員＝喜多　強

その後県協会役員を中心とした熱心な取り組みによって，県下各層へ普及の輪が広がり，傘下団体も徐々に増えて，県協会の活動が盛んになり漸く軌道に乗ったのである。

**資料１**：都道府県協会の設立年度（平成７年度現在，頭の数字は日本協会への登録順）

昭和22年度＝１神奈川・福島，３東京，４大阪，５福井，６福岡，７愛知，８石川，９山梨

昭和23年度＝10北海道・千葉・岐阜，13宮城，14長野，15広島，16**岡山**，17新潟

昭和24年度＝18静岡・滋賀・三重・岩手・香川・長崎，24高知，25山形・富山，27群馬，28島根

29和歌山，30青森・秋田　昭和25年度＝32兵庫・山口・愛媛・大分，36京都，37奈良

昭和26年度＝38佐賀　昭和27年度＝39埼玉，40栃木，41鳥取　昭和28年度＝42茨城

昭和29年度＝43徳島・熊本　昭和30年度＝45鹿児島　昭和34年度＝46宮崎　昭和37年度＝47沖縄

**資料２**：支部連盟の設立年度（平成７年度現在）

昭和25年度＝全国高体連専門部　昭和25年度＝全日本学生連盟　昭和36年度＝全日本実業団連盟

昭和37年度＝全日本教職員連盟　昭和58年度＝全日本家庭婦人連盟

# 2　設立からの主な歩み

## (1)昭和23年度～30年度

＜発展の一途をたどり,黄金時代を迎える＞

### 1．戦後スポーツの復興とバドミントンの発展

#### (1)高体連の設立

1945（昭和20）年８月15日に第二次世界大戦が終わり，戦後復興計画の中に，国民の心身両面の活性化を目指して，体育・スポーツ活動が取り入れられた。その代表的なものは，昭和21年８月に京阪神地区で開催された「第１回国民体育大会」であった。国体の前身は，戦前に行われていた「明治神宮体育大会」＝昭和16年暮れの大東亜戦争勃発により中止＝である。国体の開始に伴って，学徒のスポーツ活動も年々盛んになった。しかし一方では，対外試合が多くなり，学校教育下のスポーツ活動にふさわしくない，興行化，商業化の傾向が見え隠れするような弊害も増大し，スポーツ堕落の危機にさらされる心配さえも起こってきた。そこで1948（昭和23）年３月，文部省は「学徒の対外試合について」の次官通達を出したのである。これを受けて，同年７月に“教育の一環として自主的に行うスポーツ団体”として，「全国高等学校体育連盟」が結成され，岡山県にも同連盟に加盟するように要請があった。昭和24年３月11日，「岡山県高等学校体育連盟」が設立され，バドミントンなど15種目の専門部でスタートした。県高体連バドミントン部は，役員選出等によって組織を確立し，県協会傘下の最初の連盟として，活動を始めたのである。〔第１章「岡山県高体連専門部の歩み」参照〕

#### (2)国体バドミントン競技の誕生と変遷

バドミントン競技は，1948（昭和23）年の第３回福岡大会で公開競技。24年の第４回東京大会では，オープン競技として，各県単４複２（男女とも一般と高校の混成）での個人戦のみが実施された。

1950（昭和25）年の第５回愛知大会より，天皇杯，皇后杯の正式得点競技種目として，１複２単の都道府県対抗トーナメント戦となり，一般男子，女子（一般と高校の混成），高校男子の３種別により，全都道府県フリー参加で実施され，本格的にスタートした。

昭和27年の第７回宮城大会より，女子が一般と高校の単独種別となり，一般男女・高校男女の４種別で実施された。しかし，同年は日本協会の地区推薦制により，岡山の高校男子は不参加であった。

昭和29年の第９回北海道大会より，一般男子のみフリー参加で，一般女子と高校男女の３種別は中国地区予選の優勝県のみが本大会に出場することになった。昭和34年より教員男子が加わり，55年からはフリー参加が全種別の輪番制に変わり，各種別第２位までが本大会へ参加できるなどの経緯で今日に至っている。〔第１章「選手強化部会の歩み」国体の関係資料，①・②・③等を参照〕

#### (3)西日本選手権大会の創設から廃止まで

昭和23年12月11日の県協会設立に尽力し，その当時から中国・四国地区の開拓指導にも東奔西走していた斎藤實氏（県協会第２代理事長）が中心となって西日本各地に働きかけ，バドミントンレベルの東高西低打開策の一つとして，西日本選手権大会の創設をみるに至った。1951（昭和26）年１月の

第１回は，「関西選手権大会」の名称で香川県高松市で開催され，全日本選手権と同様，年齢別の個人戦が行われた。中国・四国・近畿３地区から10府県が参加し，合計216試合に熱戦が展開されて盛会裡の幕開けとなり，岡山県が少年男子以外の優勝を独占した。

第２回からは，名称が「西日本選手権大会」と改められ，近畿地区の京都大，立命館大，同志社大，関西大，関西学院大，甲南大。中国地区の岡山大，山口大。九州地区の熊本商科大学等の男子学生の参加が年毎に増えて，青年男子のレベルが大きく向上した。一方，京都女子大，大阪樟蔭女大，岡山大，山口大等の女子学生の参加も増えたがレベルは低く，高校時代に上位を争った学生以外のＯＧたちが，毎回のように青年女子の上位を占めていた。昭和28年度の第４回からは九州地区も参加し，下表①のように第６回大分大会から，第７回岡山大会にかけて最盛期を迎えた。

**①西日本選手権大会の推移**

| 回 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年　度　（昭　和） | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 開　催　府　県 | 香川 | 島根 | 京都 | 広島 | 香川 | 大分 | 岡山 | 大阪 | 愛媛 | 熊本 | 山口 |
| 参加府県数 | 10 | 11 | 13 | 13 | 16 | 17 | 17 | 12 | 12 | 9 | 9 |
| 総エントリー数 | 216 | 286 | 441 | 410 | 442 | 536 | 442 | 343 | 201 | 132 | 166 |
| 岡山エントリー数 | 35 | 32 | 40 | 42 | 38 | 52 | 117 | 52 | 29 | 28 | 11 |

**②西日本選手権，岡山県選手優勝のまとめ（昭和25年～昭和30年）**

| 回 | 年度 | 場所 | 種　目　・　選　手　・　（所　属） |
|---|---|---|---|
| 1 | S，25 | 高松 | ＧＳ＝前原福子（倉敷青陵），ＧＤ＝前原／難波芳子組（同前），ＭＳ＝原恵二（倉敷クラブ），ＭＤ＝中桐明和（倉敷青陵ＯＢ）／三宅二朗（倉敷老松ＯＢ）組，ＬＳ＝更井幹示（林製薬），ＬＤ＝更井／山村組（林製薬／鐘紡西大寺），30ＭＳ＝山上周之（岡山クラブ），30ＭＤ＝山上／斎藤實組（同前），40ＭＳ＝村山寛（倉敷青陵高教）40ＭＤ＝村山／福守茂組（同前），ＭＸＤ＝原／佐藤房子組（倉敷青陵）<br>※ＢＳ，ＢＤ以外は，岡山県勢が全種目優勝 |
| 2 | S，26 | 松江 | ＧＤ＝難波／小野組（倉敷青陵），30ＭＤ＝山上／斎藤藤組（岡山クラブ） |
| 3 | S，27 | 京都 | ＧＳ＝野口敏子（倉敷青陵），ＧＤ＝大塚洋子／辻芳子組（山陽女子）<br>30ＭＤ＝山上／村山組（岡山クラブ／倉敷青陵高教） |
| 4 | S，28 | 福山 | ＧＳ＝吉川英子（山陽女子），ＧＤ＝吉川／大森嘉美組（山陽女子）<br>ＭＸＤ＝重実清志／吉川組（山陽女子高教／同現役） |
| 5 | S，29 | 善通寺 | ＢＳ＝小松康博（西大寺），ＭＸＤ＝重実／辻組（山陽女子高教／同ＯＧ） |
| 6 | S，30 | 別府 | ＧＳ＝友野文子（山陽女子），ＧＤ＝権田節子／友野組（山陽女子） |

西日本選手権青年男子単初代チャンピオンの原選手は，岡山県の同種目における最初で最後の優勝となった。同選手は，昭和20年代後半から軟式テニス（現ソフトテニス）に返り咲き，国体や全日本選手権等で幾多の優勝を遂げた。

昭和20年代後半から30年代前半にかけて，全国大会の発展に伴って各種地区大会の開催が始まり，中国地区においても，高校・学生・一般等の地区選手権が，相次いでスタートした。

地区大会が盛んになる一方では，全国高体連の指導による“対外試合の参加制限”により，西日本選手権は高体連の枠外扱いとなり，昭和32年度より，岡山県を始めとして高校生の同大会への参加は急減した。さらに，学生・一般等の地区大会発展の影響により，表①にみられるとおり，参加府県数

も総エントリー数も減少の一途をたどり，大会存続の意義が薄れてきた。

上記のような経緯から，バドミントン界発展の過渡期に誕生した西日本選手権は，1960（昭和35）年度の，山口県宇部市に於ける第11回を最終大会として廃止となった。

## 2．県協会設立から黄金時代へ

### (1)一般男子の主な活躍

県協会設立委員会主催の第１回県大会から，６日後の昭和23年12月11日に待望の県協会が設立され，翌昭和24年２月，県協会主催の第２回県大会（高校と混成）が開催されて昭和23年度が終わった。第２回県大会の単優勝者は，第１回と同じ原恵二選手（倉敷商業）であった。複でも井沢豊選手（倉敷工業）とのコンビで県下を制し，25年に卒業した後も，27年度まで単複ともに県内のチャンピオンを維持した。この間原選手は，昭和24年の第４回東京国体（オープン競技）において，倉敷工の井沢選手とペアーで複５位に入った。さらに，昭和25年度の第１回西日本選手権単と混合複の優勝や，26年の第６回広島国体一般男子チームのエースとして，井沢豊，三宅二朗（各倉敷工高ＯＢ）両選手らとともに，５位入賞を果たすなど，創成期の岡山県トッププレーヤーとして県内外で大活躍した。

一方，中・四国各地域におけるバドミントン競技の普及活動にも，県協会幹部役員と共に積極的に参加し，実技指導面でも大きく貢献した。

原選手に続いて活躍の跡を残したのは，第１回西日本選手権において，三宅選手と組んで複に優勝した中桐明和選手（倉敷青陵高ＯＢ）や，県大会を始め，第４回東京国体や第６回広島国体等において，原選手のパートナーをつとめた井沢豊選手などである。

県協会創成期から前記各選手に続いて頑張ったのは，鐘紡西大寺工場の宮城政年，多賀和男選手等であり，特に団体戦では，県大会で優勝を争うチーム力を誇っていた。しかし，昭和27年頃から活動が低調になり，やがて県大会にも不参加が続き，同工場の部活動も停止となった。

昭和28年頃より，山陽女子高バドミントン部顧問の重実（現毛利）清志，同校コーチで倉敷老松高ＯＢの前田俊一両選手が，倉敷勢を追い越すようになった。両選手とも同年より連続で国体や全日本選手権の県代表に選ばれて活躍した。さらに重実選手は，29年度の第４回西日本選手権の混合複優勝に続き，第５回大会も同種目で２連覇を達成し，前田選手も同第４回大会の混合複で準優勝した。

### (2)一般女子の主な活躍

昭和24年度の第２回県大会単では，林製薬の更井幹示選手（山陽女高軟式テニス部ＯＧ）が第１回に続いて２連覇している。同選手は第１回西日本選手権でも単と，山村選手（鐘紡西大寺工場）との複にも優勝して２冠を制した。ところが，26年度の第２回同大会単の組み合わせは，第１回２位の京都・小島選手が第１シード。第１回優勝の更井選手は，１回戦を勝ち上がれば，前年に決勝を争った小島選手に当たるような形になっており，抗議を申し入れたが受け入れられず，棄権するハプニングとなった。なお，小島選手は同大会の単と混合複に優勝して２冠に輝いた。

県協会創成期は一般の選手が少なく，県大会個人戦上位進出の多くは倉敷精思（昭和24年８月末，倉敷青陵に校名変更）や真備（現明誠）等の高校勢であったが，24年度の団体戦では，鐘紡西大寺工場が山村選手を中心に優勝している。山村選手は翌25年の県大会単ても優勝したが，決勝の相手は前

原選手（倉敷青陵）であり，高校女子のトップが倉敷青陵に変わって，27年頃まで同校ＯＧの全盛時代が続いた。昭和26年度の後半から山陽女子高が台頭したため，一般女子の選手層も倉敷青陵と山陽女子のＯＧが大半となり，28年から30年にかけて，西日本や全日本選手権の県代表のほとんどを占めた。また，国体の県代表も両高ＯＧの混成チームとなり，29年の第９回北海道大会では，監督＝金尾善六（井原高教），選手＝吉川英子，土屋かしこ（各山陽女子ＯＧ）。貝原勝子（倉敷青陵ＯＧ）。30年の第10回神奈川大会も，監督＝古市博（倉敷青陵ＯＢ），選手＝野口敏子，津島伸子（各倉敷青陵ＯＧ）。大森嘉美（山陽女子ＯＧ）らの各チームで，それぞれ５位入賞を果たした。

### ⑶高校男子の主な活動

倉敷商業の原恵二選手は，昭和23年度の第１回県大会から単で２連覇を果たし，第２回には倉敷工業の井沢豊選手と組んで複も制した。24年10月の第４回東京国体（オープン競技＝一般と混成）には倉敷工業の井沢・多賀和男両選手が，原選手と共に参加している。

団体戦では，昭和24年度から倉敷工業と倉敷青陵が優勝を争い，26年度のインターハイにも，両校が県代表として初出場した。29年に西大寺が初優勝し，以降，11年連続で県大会団体優勝を果たし，インターハイ・国体・西日本等に出場して活躍した。29年の第９回北海道国体では，監督＝福守茂（県高体連専門部長＝倉敷青陵高教頭），選手＝小松康博（西大寺），米田敬二・加川哲雄（各倉敷青陵）のチームで，同年より始まった中国地区予選を勝ち抜き，本番では初の５位入賞を果たした。

この間，インターハイには倉敷工業が４回，西大寺が３回，倉敷青陵が２回出場した。個人戦では，28年度の第４回西日本選手権単で準優勝した西大寺の松王清志選手，29年度の同第５回大会単優勝の同校小松康博選手らが活躍した。なお，両選手は関西大に進学し，昭和30年代前半に，関西や全日本の各種学生大会，1958（昭和33）年の第３回アジア大会等で大活躍することとなった。



**第９回北海道国体，岡山県選手団**
**（昭和29年８月，於阿寒湖畔）**
**前列左から**
**毛利清志，前田俊一（各一男），アイヌの人，**
**板谷通子（応援），大森嘉美（高女）**
**後列左から**
**山上周之（一女監督），貝原勝子（一女），**
**友野文子，三宅基子（各高女）加川哲雄，**
**小松康博，米田敬二（各高男），吉川英子，**
**土屋かしこ（各一女），古市　博（一男）**

### ⑷高校女子の主な活躍

昭和24年度の第４回東京国体オープン競技は，各県単４・複２（一般と高校の混成）の参加で行われた。県代表４人のうち，３人は高校生であり，出場権を得たのは前原福子，佐藤房子，土野節子（各倉敷青陵）の選手たちであった。

25年度の第５回愛知国体から，バドミントンも正式得点競技種目になった。女子は一般と混成がつづくなかで，県代表は倉敷青陵の単独チームとなり，国体では，監督＝重実清志（現毛利副会長），選手＝前原，佐藤，難波芳子，中田裕子のメンバーで５位入賞を遂げた。男子の入賞はなかったが，岡山県初の天皇杯総合７位，皇后杯総合５位入賞にもつながり，岡山県にとって幸先のよい国体となった。続いて同校は，25年度後半の第１回西日本選手権の少女単で前原選手，同複で前原／難波組，混合複で原／佐藤組が，それぞれ優勝して３冠を獲得した。第２回の同大会複でも難波／小野組が優勝し，第３回には野口敏子選手が単を制するなどの活躍により，倉敷青陵の名を高めた。

インターハイには，昭和26年度の第２回大会に倉敷青陵と井原が初参加した。その後30年までに，倉敷青陵が３回，井原は２回参加している。当時健闘した井原高の松山，塚村，良倉の３選手は，相次いで京都女子大に進学し，インカレの団体優勝など各種学生大会で大活躍した（第Ⅱ章全国優勝の項参照）。昭和27年度のインターハイ県予選でも倉敷青陵が優勝したが，その後県予選２位の山陽女子が台頭し，国体では２年連続両校の混成チームで参加することとなった。第７回宮城大会は，監督＝山上周之（県協会理事），選手＝大塚洋子，辻芳子，吉川英子（各山陽女子），野口敏子（倉敷青陵）。28年度の香川大会も，監督＝金尾善六（井原高教），選手＝吉川英子，土屋かしこ，大森嘉美（各山陽女子），貝原勝子（倉敷青陵）の各チームで，それぞれ５位入賞を果たした。

### ⑸山陽女子高の大活躍

昭和26年度の後半から，山陽女子の活躍がめざましく，同校全盛時代の開幕となった。まず，27年度の第３回西日本選手権で，大塚洋子／辻芳子組が優勝。28年度の同第４回大会は，単で吉川英子選手，複でも吉川／大森嘉美組，混合複でも重実／吉川組がそれぞれ優勝して３冠を獲得し，29年度の同第５回大会の混合複も，重実／辻（同校ＯＧ）組が優勝を果たした。

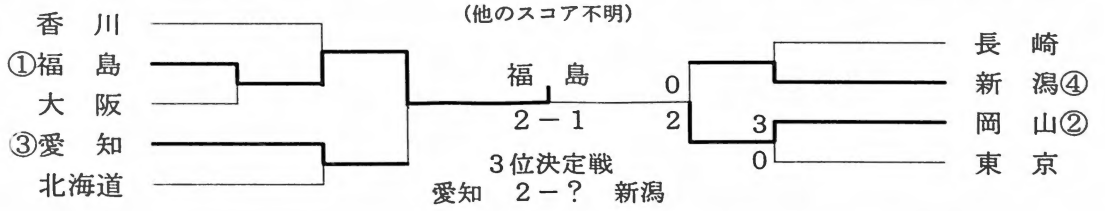
全日本選手権では，1953（昭和28）年度の第６回新潟大会で吉川選手が少女単で４位を獲得，同複でも吉川／大森組が５位であった。29年の第７回東京大会では，吉川／大森組が，岡山県と山陽学園待望の全国大会初優勝に輝き，単でも両選手が５位に入った。さらに続いて，30年度の第８回高松大会では，単１位友野文子，２位光本政子，３位三宅基子の各選手，５位権田節子，戸田寿子の両選手。同複１位小林桂子／三宅組，２位権田／友野組，３位光本／戸田組，５位根岸純／藤原泰子組（中学３年生ペアー）と山陽学園勢が単複とも上位を独占し，山陽学園や県協会はもとより，日本バドミントン界にとっても驚異的な記録を残した。

インターハイにおいても，昭和27年度に初参加でベスト16に入り，その後回を重ねる度に，ベスト８～ベスト４と上昇気流に乗り，1955（昭和30）年度には団体と複に念願の初優勝を果たした。オーダーは，初回戦から終始一貫，第１複が３年生の権田／友野組，第２複は２年生の小林／三宅組，第１単は３年生の光本選手の順で，全対抗を３－０のストレート勝ちで栄冠に輝いたのである。

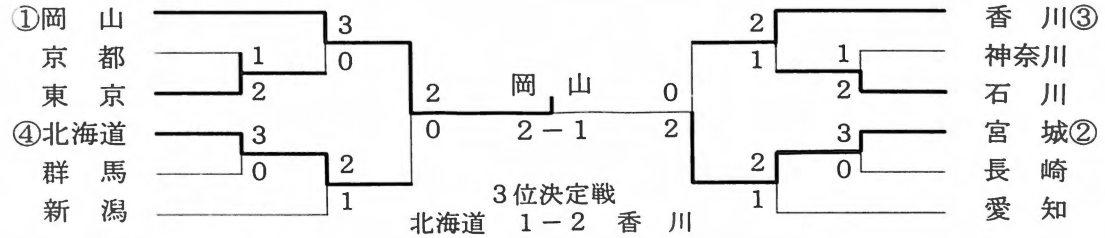
〔第Ⅰ章「高体連専門部の歩み」，第Ⅲ章「山陽女高，全国Ｖ重ね栄華極める」の項等参照〕

## ①組合わせで見る山陽女子高活躍の跡（国体戦準優勝～優勝）

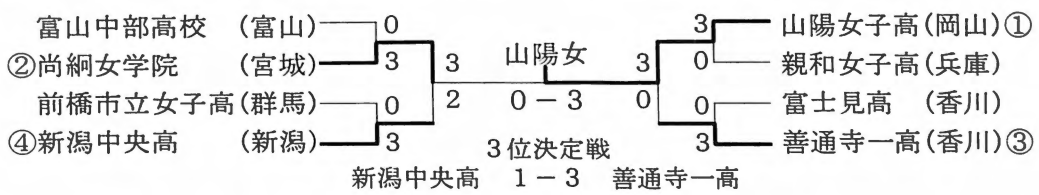
**第９回北海道国体〈準優勝〉**（昭和29年度於札幌，高校女子＝各地区代表９都道府県参加）




**第10回神奈川国体〈優勝〉**（昭和30年度於横浜，高校女子＝各地区代表12都道府県参加）




**第６回全国高校選手権〈優勝〉**（昭和30年度於神戸，39校参加　準々決勝～決勝）




国体では，昭和29年度から山陽女子高単独チームでの出場となり，中国地区予選会を圧勝しての第９回北海道大会は，監督＝小川政雄（県高体連専門部長＝山陽学園教頭），選手＝大森，友野，三宅各選手のチームで準優勝し，県チーム全体としては，一般女子，高校男子各５位入賞の得点も加算されて皇后杯総合２位，天皇杯も４位と大きく前進した。同30年度の第10回神奈川国体では，監督＝山上周之，選手＝友野，権田，三宅選手のトリオで，岡山県の国体初優勝を遂げた。そして，皇后杯総合初優勝，天皇杯総合３位入賞の原動力となった。全日本選手権，インターハイの優勝に続く同年度内の快挙は，岡山県バドミントン界に“成せば成る”の新風を吹き込んだ。

### ②各大会複の優勝ペアーと，上位入賞の思い出



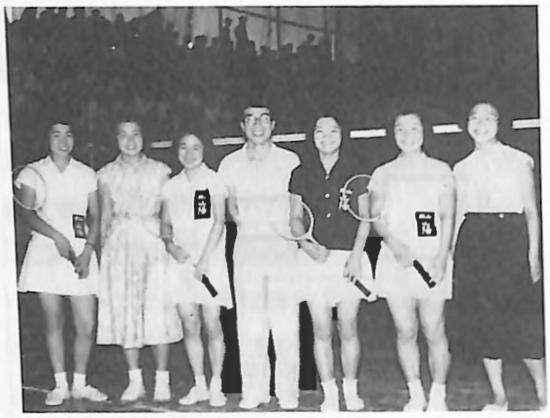
第７回全日本複優勝（昭和29）
大森（左）／吉川組



第８回全日本複優勝（昭和30）
三宅（左）／小林組



第６回全国高校複優勝（昭和30）
権田（左）／友野組



第５回インターハイ
４位の山陽女子高チーム（昭和29年，於金沢）
左から＝友野文子，小林桂子，戸田寿子，重実清志監督，板谷通子，大森嘉美，三宅基子



第９回北海道国体
準優勝の高校女子チーム（昭和29，於札幌）
後列左から＝小川政雄監督，吉川英子，板谷通子（各ＯＧ），重実清志顧問
前列左から＝友野文子，大森嘉美，三宅基子（各山陽女子）

### ⑹成・壮年男子の主な活躍

昭和30年度終了までに，西日本選手権の男子年齢別30歳代で活躍したのは，山上周之，斎藤實（各岡山クラブ）と金尾善六（井原高教員）の３選手である。山上選手は昭和25年度の第１回大会単に優勝，複も斎藤選手とのコンビで第２回まで２連勝，第３回も40歳代の村山寛選手（倉敷青陵高教員）と組んで優勝し，個人としては複で３連覇を果している。また，第１回大会40歳代では村山選手が単で，村山／福守茂（倉敷青陵高教頭）組が複で優勝し，村山選手は２冠を制した。しかし，各選手とも全日本成壮年選手権での優勝には至らなかった。

### ⑺女子学生の主な活躍

1953（昭和28）年度の第３回インカレにおいて，京都女大の松山昌子選手（井原高出，現平方＝姫路市在住）が，団体と複の２冠を獲得し，岡山県関係者として全国制覇のトップを飾った。また，現在，県協会家庭婦人連盟理事長を務めている内田絢子選手（旧石浜＝結婚後玉野市在住）は，1954（昭和29）年度の第５回インターハイの団体戦で優勝した香川県坂出高メンバーの一人であった。
〔第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### ⑻黄金時代の達成

県協会設立以来わずか７年間で，次のページの栄光の跡にも見られるとおり，岡山県代表の女子選手，とりわけ，倉敷青陵高，山陽女子高・同ＯＧ，井原高ＯＧ等のチームや選手が中心となり，全国大会においてめざましい活躍を重ね，多数の輝かしい成績を残した。

全国大会に於ける入賞数は，国体の天皇杯，皇后杯の総合成績を含めて，優勝９回，準優勝５回，ベスト４入り６回，同ベスト８入り18回があり，全国に“バドミントン岡山”の名をとどろかせた。

さらに，西日本選手権大会での優勝数も通算21回に及び，昭和20年代後半から30年代にかけて，岡山県バドミントン界の“黄金時代”を達成したのである。

**①国体，岡山県の入賞種別とチーム編成**＜昭和24年～30年度（５位＝ベスト８）＞

| 回 | 場所 | 種別 | 順位 | 監　督 | 選　　手 | 総合成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 東京都 | 男子 | ５位 | 斎藤　　實 | 原　恵二／井沢　豊組（個人戦のみ） | オープン競技 |
| 5 | 愛知県 | 女子 | ５位 | 重実　清志 | 前原　福子，難波　芳子，佐藤　房子<br>中田　裕子 | 天皇杯７位<br>皇后杯５位 |
| 6 | 広島県 | 一男 | ５位 | 福守　　茂 | 原　　恵二，井沢　　豊，三宅　二朗 | 天皇杯８位 |
| 7 | 宮城県 | 高女 | ５位 | 山上　周之 | 大塚　洋子，辻　　芳子，吉川　英子<br>野口　敏子 | |
| 8 | 香川県 | 高女 | ５位 | 金尾　善六 | 吉川　英子，大森　嘉美，土屋かし子<br>貝原　勝子 | 皇后杯８位 |
| 9 | 北海道 | 一女<br>高男<br>高女 | ５位<br>５位<br>２位 | 山上　周之<br>福守　　茂<br>小川　政雄 | 吉川　英子，土屋かし子，貝原　勝子<br>小松・康博，米田　敬二，加川　哲雄<br>大森　嘉美，友野　文子，三宅　基子 | 天皇杯４位<br>皇后杯２位 |
| 10 | 神奈川県 | 一女<br>高女 | ５位<br>優勝 | 古市　　博<br>山上　周之 | 大森　嘉美，野口　敏子，津島　伸子<br>権田　節子，友野　文子，三宅　基子 | 天皇杯３位<br>皇后杯優勝 |

## ３．栄光の跡（昭和24～30年度）

**⑴岡山県協会関係の全国大会優勝**

| 年度 | 大　会　名 | 種　目 | チーム名・選手名（所属等） |
|---|---|---|---|
| S.29 | 第７回<br>全日本選手権大会 | 少女複 | 吉川英子／大森嘉美組（山陽女高ＯＧ／現役） |
| S,30 | 第８回<br>全日本選手権大会 | 少女複<br>少女単 | 小林桂子／三宅基子組（山陽女高）<br>友野文子　　（山陽女高） |
| | 第６回<br>全国高校選手権大会 | 女子団体 | 山陽女子高等学校，監督＝重実清志（現毛利）<br>選手＝権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・三宅基子・戸田寿子・守安昭子 |
| | | 女子複 | 権田節子／友野文子組（山陽女高） |
| | 第10回<br>国民体育大会 | 高校女子 | 山陽女子高チーム，監督＝山上周之<br>選手＝権田節子・友野文子・三宅基子 |
| | | 皇后杯 | ※１位＝高校女子・５位＝一般女子 |

**⑵岡山県出身，県外進学選手の全国大会優勝**

| 年 | 大　会　名 | 種　目 | チーム名・選手名（所属等） |
|---|---|---|---|
| S.28 | 第３回<br>全日本学生選手権大会 | 女子団体<br>女子複 | 京都女大（松山昌子主将＝井原高ＯＧ他）<br>松山／北村組（京都女大） |

## (２)昭和31年度～40年度

＜新規大会相次いで誕生。国体で大活躍。全国大会優勝ラッシュ＞

### １．県内総合大会の新設と優勝選手

県協会は，下記(1)・(2)の総合大会を新たに開催することになった。

**(1)春季選手権大会**

1958（昭和33）年度に第１回大会が行われ，当初は，５月（連休）開催の全日本選手権の予選会を兼ねていたが，昭和36年度より予選会が不要になって独立した。県内の大学生や高校生にとって，社会人選手と対戦できることはよい刺激となり，レベルアップにも効果的な総合選手権となった。

**(2)総合選抜選手権大会**

1963（昭和38）年度に第１回大会が開催された。全日本総合選手権のように，高校生を含む県内各種大会の上位ランキング選手のみによる，最高権威の県大会に発展して今日に至っている。

**春季選手権，総合選抜選手権の単複優勝選手**（昭和33～40年度）

○男子：石原利通，小松貴（各西大寺高～岡山市役所）。毛利清志，山上周之（各山陽学園）。松王重明，阿部純一（各西大寺高）。前田俊一（倉敷工高～徳山電気）。寺内侃一（西大寺高～県庁）。青井正義（西大寺高～内山コルク）。三宅勝（倉敷青陵高～日体大～県立高教）。藤井英雄（倉敷青陵高～岡山大～岡山市役所）。

○女子：権田節子，光本政子，根岸純，湯浅光枝，合田君子（各山陽女高～岡山市役所）。小合佳子（山陽女高～大阪樟蔭女大～クラレ岡山）。重政百代（山陽女高～クラレ岡山）。湯木博江，浦口恵子（各山陽女高）

そして，国体等の対外試合では，上記選手たちを中心に県代表が選ばれて活躍してきたのである。〔他の県大会については，第Ⅰ章「各連盟の歩み」と，第Ⅴ章「資料編＝戦績」の項等参照〕

### ２．中国地区～西日本の各大会と主な活躍

**(1)中国選手権大会**（一般男女団体，同個人単複の６種目）

1958（昭和33）年度の第１回松江大会から，昭和40年度の第８回大会までに，男子は団体，個人単複の３種目に完全優勝を果たした。女子も団体と複各６回と単５回の優勝を遂げたが，団体と複各２回，単３回の優勝を山口県にゆずった。〔第Ⅰ章「競技部会の歩み＝中国選手権戦績一覧」参照〕

**(2)中国高等学校選手権大会**（男女団体，同個人単複の６種目）

高校の選手権も，昭和33年度に第１回大会が岡山県で開催された。この年代における男子は，昭和36年度に松江商業が３冠王を獲得したが，他の年度は西大寺，備南等の活躍により，岡山県が団体と，個人単複の３種目を制している。

女子は，山陽女子が８年連続でトップを維持し，毎年のように３冠を獲得した。当時，県内２番手

の井原は，同大会の団体でも８年連続で準優勝し，昭和38年度には，個人複で山陽女子に勝って貴重な優勝記録を残した。そして，岡山県女子としては，この年代を完全優勝で飾っている。

**⑶国体中国ブロック予選会**（一般女子，高校男女の３種別。一般男子は直接本国体に出場）

この年代の国体ブロック予選会では，予選開始以来無敗の高校女子と，昭和34年に新設された教員男子は，毎年優勝して本国体に参加した。一般女子は１回山口に敗れ，高校男子が３回島根に敗れてそれぞれ涙を呑んだが，その他の年度は両種別とも優勝して本国体に出場した。

なお，各中国大会の経緯と戦績等については，第Ⅰ章「競技部の歩み」，「各関連連盟の歩み」，第Ⅴ章資料編「各連盟別中国大会の戦績，中国地区国体の戦績」の項等参照

**⑷中国５大学学生競技大会**（各県国立大学の大会）

1954（昭和29）年度の第５回競技会より，バドミントンも大会の競技種目に仲間入りして，男女団体，同個人単複の６種目のタイトルが争われてきた。40年度までに，団体戦では男女とも９回の優勝記録が残っており，記録不明の年度についても，前後の記録により優勝が推測できる。

個人は団体以上に不明年度が多いが，保存記録では単複とも上位を独占しており，同年度における団体の戦績からも，毎年のように他県を圧倒して優位に立っていたことが推測できる。

**⑸中国・四国大学学生選手権大会**（大学，短大フリー参加＝男女団体，同個人単複の６種目）

1957（昭和32）年度の第１回大会スタート以来，この年代における岡山県からの参加は岡山大のみであった。９年間の男子優勝は計21回〈団体７・単８・複６〉であり，男子単の加納正之，山田熙両選手の４連勝が光っている。また，女子の優勝は計22回〈団体９・単７・複６〉であった。岡山大は，四国地区の加わったこの大会においても，伝統にものをいわせてめざましい活躍を続けた。

**⑹中国・四国・九州大学学生選手権大会**（種目は中国・四国大会に同じ）

第１回大会は1962（昭和37）年度に九州勢不参加の中で，中・四国秋季大会として開催された。当時，学生のレベルは東高西低の傾向にあり，特に関西学連以外の西日本各地域は，インカレ等で惨敗を繰り返していた。そこで，関係連盟の話し合いにより，中・四国・九州地区のレベルアップを目指しての大会が誕生したのである。この年代では，前年代早々から活動を始めていた岡山大だけが参加して，団体戦は男女ともＡチームが優勝し，男子複の藤井／辻組，女子単の数乗俊江選手，同複の田中／小坂組等もそれぞれ優勝して，６種目中の５種目を制した。

翌38年度は初参加の九州勢に圧倒されたが，男子単では，前年度２位の山田熙選手が優勝を飾った。以後，男子は団体と複が各３位，女子も団体と複が各２位で，優勝は男女とも九州勢に奪われた。

**⑺西日本大学学生選手権大会**

1960（昭和35）年度に第１回東日本，翌36年度に第１回西日本と，それぞれの学生選手権大会が相次いでスタートした。1981（昭和56）年度までは個人戦のみであったが，57年度から大学対抗の団体戦も加わり，その後，全日本学生選手権（インカレ）の予選をも兼ねる大会に発展して今日に至っている。大会設立当時から，関西大，大阪樟蔭女大，熊本女大等に進学した郷土出身の選手たちが，この西日本選手権で健闘した。

**①西大寺高ＯＢの活躍**

関西大に進んだ山本昇／松王重明組が，昭和36年度の第１回大会で準優勝した。さらに，松王選手は，第２回大会の単でも準優勝し，翌38年度，第３回大会の複では念願の初優勝を果たした。同選手は，40年度の第４回大会では，単複に優勝して２冠を獲得し，有終の美を飾った。

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

昭和37年度の第２回大会では，大阪樟蔭女大の小合佳子選手が他を圧倒し，１年生でいきなり単複の２冠を制した。翌年度の第３回大会では，小合選手が単で２連勝を果たし，新入生の七村泰子選手の複が準優勝，小合選手の複も３位に入賞した。第４回大会では，七村選手が小合選手のつくったタイトルを守って単に優勝し，大阪樟蔭女大の単３連覇が達成された。

また，熊本女大の高塚淳子選手は，昭和39年度の第４回大会複で初優勝し，翌々年の第６回大会での単複２タイトル制覇に向けて，幸先のよいスタートを切った。

**⑻西日本選手権大会**

西日本選手権は昭和25年度に第１回大会をスタートし，昭和35年度の第11回大会を最後に廃止となった。この年代における年度別の優勝記録は下表の通りである。

＊記号説明：Ｇ＝少年女子，Ｌ＝青年女子，30＝30歳代，50＝50歳代，Ｍ＝男子，Ｓ＝単，Ｄ＝複

| 回 | 年度 | 場所 | 種目＝優勝選手（所属＝重複分は省略） |
|---|---|---|---|
| 7 | Ｓ.31 | 岡山 | ＧＳ＝小林桂子（山陽女高），ＧＤ＝小林／戸田組（山陽女高），ＬＳ＝友野文子（山陽女高ＯＧ），ＬＤ＝権田／友野組（山陽女高ＯＧ） |
| 8 | Ｓ.32 | 大阪 | ＬＤ＝小林／戸田組（山陽女高ＯＧ），30ＭＳ＝毛利清志（山陽学園教）<br>30ＭＤ＝毛利／山上組（大久保食品） |
| 9 | Ｓ.33 | 松山 | 30ＭＳ＝毛利清志，30ＭＤ＝毛利／山上組，50ＭＤ＝小梶／崎本組（各岡山市役所） |
| 10 | Ｓ.34 | 菊地 | 30ＭＳ＝毛利清志，30ＭＤ＝毛利／山上組，50ＭＤ＝小梶／崎本組 |
| 11 | Ｓ.35 | 宇部 | 30ＭＳ＝毛利清志，30ＭＤ＝毛利／山上組 |

〔大会の経緯は，第Ｉ章「西日本選手権大会の創設から廃止まで」の項参照〕




第7回西日本選手権岡山大会開催記念（昭和31年度，於山陽学園体育館）
後列左から＝守谷・崎本・糸島・水川・藤井・佐藤・村山会長・永井理事長
平尾・松田・大橋・草野・藤沢・秋山・梅延
前列左から＝前田・金尾・山上・梶原・小梶・毛利・石原・畑・谷口・馬場



昭和34年度 第10回西日本選手権大会 優勝記念（於菊池市）
後列左から＝毛利清志・崎本幸三郎
前列左から＝小梶繁雄・松王清志・山上周之
水川捨夫・国信祝二

## ３．全国大会の変遷と主な活躍

### (1)全日本実業団選手権大会

#### ①岡山県チーム初参加までの経緯

1948（昭和23）年度の第１回県大会や，その後３～４年間，県大会で活躍していた鐘紡西大寺工場や，林製薬等が部活動を中止した昭和26年度に，第１回全日本実業団選手権大会が東京で開催された。その後，横浜，長崎，名古屋と第４回大会までの間，岡山県からは参加していない。当時の全日本実業団選手権は，他の各種全国大会よりもスタートが遅れたので，スケジュール的に年度末（１～３月）開催を余儀なくされ，第６回大会までは寒い季節の開催が続いた。

昭和30年度の第５回富山大会に，ようやく岡山市役所の男子チームだけが初参加し，５位に入った。翌31年度の第６回高松大会には，岡山市役所が男女そろって参加して男子が３位に入賞し，女子は初参加でいきなり“初優勝の栄冠”に輝いた。崎本幸三郎監督（男女兼務）のもと，男子は，小梶繁雄，梶原馨，水川捨夫，石原利通，前田俊一，平尾晴美の６選手であり，石原，前田両選手が３位入賞の原動力となった。女子の権田節子，光本政子両選手は，山陽女子高時代に，昭和30年度のインターハイで団体優勝，権田選手は同個人戦複や，同年度の国体も優勝し，31年度の全日本選手県単でも，実力日本一を獲得するなど最高潮であった。光本選手も高校時代の経験に加えて，31年度の国体一般女子準優勝のキャリアがあり，初参加のプレッシャーをものともせず，わずか二人で複・１単・２単の３試合をフル回転で勝ち抜いた。高校日本一獲得の翌年に，実業団でも日本一に輝いた快挙は立派の一語につきる。




第6回全日本実業団選手権大会(昭和32年,高松)岡山市役所チーム
後列左から＝光本・権田・崎本監督・石原
前列左から＝平尾・前田・梶原・水川

＜＊以後，昭和35年度までは，男女とも岡山市役所のみの参加，活躍による記述である。＞

昭和32年度の第７回岐阜大会では，前田選手に変わって今東幸一選手の入った男子は３位。小林桂子選手の加わった女子は，決勝で秋山経理事務所（香川）に敗れたが準優勝であった。

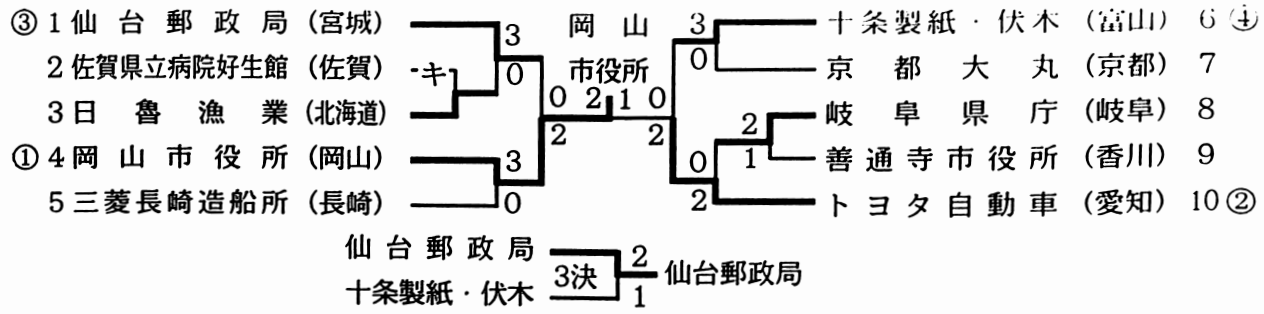
33年度の第８回札幌大会で，男子は４位に後退したが，女子は前年に続いて準優勝を確保した。この年度から全日本社会人選手権が併催となり，第１回大会が団体戦に続いて行われ，第12回熊本大会まで続いた。第13回新潟大会から実業団大会にも個人戦が新設され，社会人大会は独立した。

#### ②参加チーム数の推移（昭和27～40年度，岡山県の男子は第５回，女子は第６回が初出場）

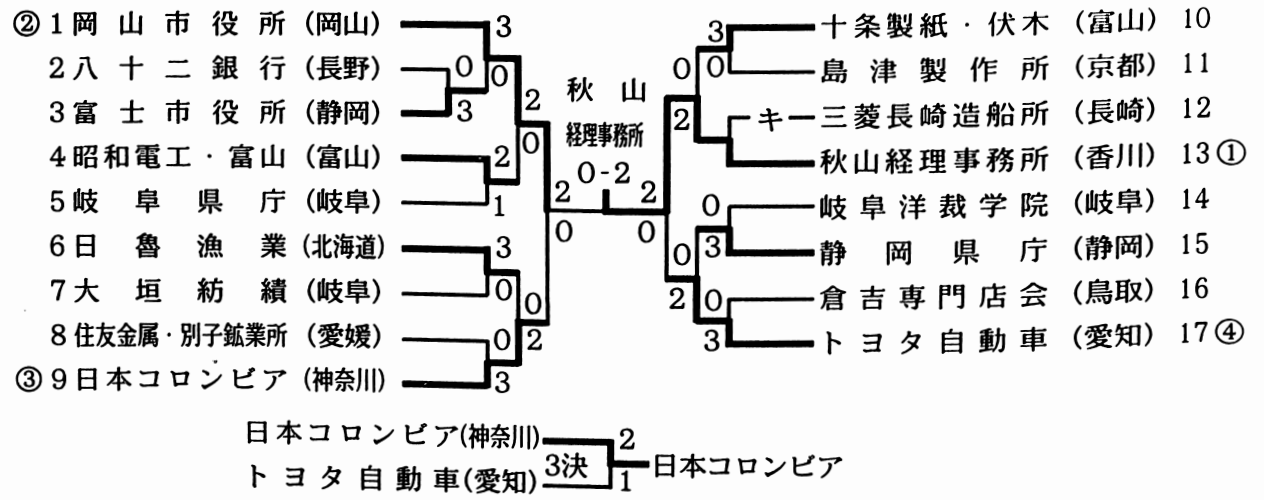
| 第１回～第15回 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開催都道府県 | | 東京 | 神奈川 | 長崎 | 愛知 | 富山 | 香川 | 岐阜 | 北海道 | 香川 | 愛知 | 岡山 | 熊本 | 新潟 | 愛媛 | 福岡 |
| 男子 | 全国参加数 | 24 | 24 | 24 | 24 | 29 | 29 | 36 | 23 | 43 | 38 | 42 | 38 | 56 | 50 | 40 |
| | 岡山県参加数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 女子 | 全国参加数 | 13 | 8 | 5 | 11 | 12 | 10 | 17 | 16 | 12 | 16 | 17 | 18 | 19 | 17 | 18 |
| | 岡山県参加数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |

**③岡山市役所女子チーム活躍の跡**（優勝・準優勝のみ，○つき数字は順位）

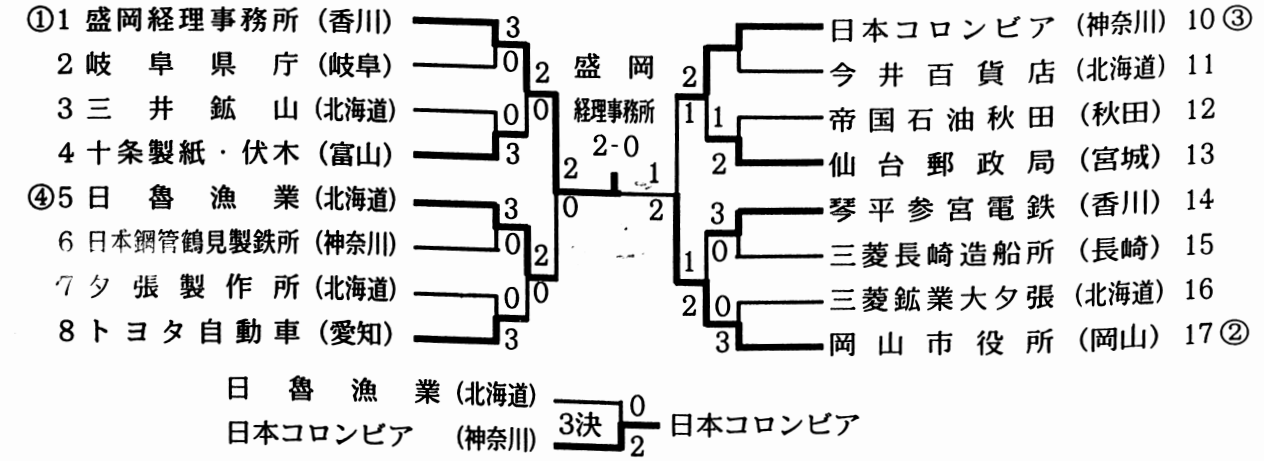
**第6回香川大会＝優勝**（昭和31年度，於高松市）




**第7回岐阜大会＝準優勝**（昭和32年度，於岐阜市）




**第8回北海道大会＝準優勝**（昭和33年度，於札幌市）




**④主な活躍のまとめ**

昭和34年度の第９回善通寺大会では，男子は前年と同じ４位を確保したが，女子は，初出場で初優勝した高岡市役所に準々決勝で当たり，２－１で敗れて５位に止まった。続く35年度の第10回名古屋大会において，男子は２回戦で敗退したが，女子は，ベテランの権田，光本両選手の後を継いだ，新

鋭の根岸純，湯浅光枝（各山陽女高出）両選手の活躍で３位に返り咲いた。

昭和36年度第11回大会は，翌年度の岡山国体リハーサル大会として倉敷市で開催され，地元選手の競技力にも大きな関心をよせられる大会となった。男子は，岡山市役所，三井造船，帝国加工，倉敷市役所の４チーム中，初参加の三井造船が５位に入ったが，他のチームはすべて初回戦で惨敗した。女子は岡山市役所のみの参加であったが，同チームも５位に転落し，第17回岡山国体に向けての明るい見通しはたたなかった。

他方，大会が11回目を迎えたのを機に，「日本実業団バドミントン連盟」の設立総会が倉敷市で開かれ，関係者待望の連盟が誕生した。

昭和37年度の第12回熊本大会も，全国レベルが急上昇する中で，岡山市役所の女子は５位に止まった。なお，全日本社会人選手権との同時開催は，熊本大会が最終であった。

昭和38年度第13回新潟大会からは，前年までの社会人選手権同様，実業団独自の個人戦が新設され，一般男女と男子年齢別個人戦が実施されることになって社会人大会は独立した。また，女子団体も男子並の２複３単に変わり，岡山市役所のベテラン，相賀（旧権田），光本両選手がチームに復帰し，根岸，湯浅両選手との４人で前年度の５位を守った。男子個人戦では，小松貴選手（西大寺高～大阪合繊～岡山市役所）が単で５位，根岸選手との混合複でも３位に入賞した。

昭和39年度の第14回愛媛大会より，団体戦の参加は岡山市役所男子チームだけとなり，名門の女子は，ベテラン引退後の選手補充が思うにまかせず，団体戦不参加の始まりとなった。しかし，女子個人戦単では，ベテランの根岸選手が４位を獲得し，倉レ岡山の小合佳子選手（山陽女高～大阪樟蔭女大）は，根岸選手との同県対決まで勝ち上がって５位であった。女子複では，小合／重政百代（山陽女高～倉レ岡山）組が３位入賞を遂げた。また，男子年齢別では，30歳代単の前田俊一選手（倉敷工高～徳山電気～丸菱商事）が，30歳に上がりたての若さでみごとに初優勝を果たした。

昭和40年度第15回福岡大会では，昭和39年度入部の藤井英雄選手（倉敷青陵高～岡山大出）と，経験豊富な小松選手の活躍が，岡山市役所男子チームを，６年ぶりの５位入りに導いた。

### ⑵全国高等学校選手権大会

**①インターハイの主な戦績のまとめ**＜１位～５位（ベスト８）＊数字は順位＞

| 回 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度(昭和) | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 開催県 | 神奈川 | 北海道 | 香川 | 山形 | 石川 | 兵庫 | 宮城 | 島根 | 新潟 | 福島 | 福岡 | 青森 | 富山 | 山形 | 京都 | 熊本 |
| 男子団体 | 岡山県不参加 | 岡山県初参加 | 団体のみ | | | | | | | | 4 | | | | | |
| 男子単 | | | | | | | | | 4 | | | 5 | | | | |
| 男子複 | | | | | | | | | | | | | | | 5 | |
| 女子団体 | | | | 5 | 4 | 1 | 2 | 5 | 2 | | 5 | 4 | 5 | | 5 | 4 |
| 女子単 | | | 団体のみ | | | 5 | 2・3 | 5 | 5 | | | 5 | 1 | | 5 | 5 |
| 女子複 | | | | | | 1・2 | 3 | 5 | | | | | 1 | | | |

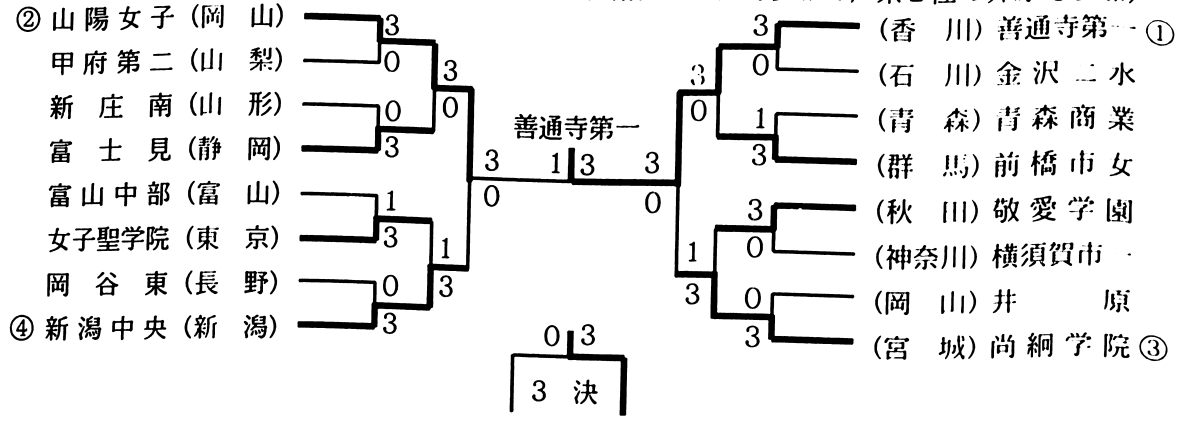
＊第５回まで１県２校で団体のみ。第６回から１県１校で個人単複（１県各２）が新設された。

昭和30年代の後半からは，「昭和〇〇年度全国高校総合体育大会」として，各競技種目をまとめて同一都道府県内で開催されることになり，バドミントン競技も全都道府県の代表校がもれなく参加する

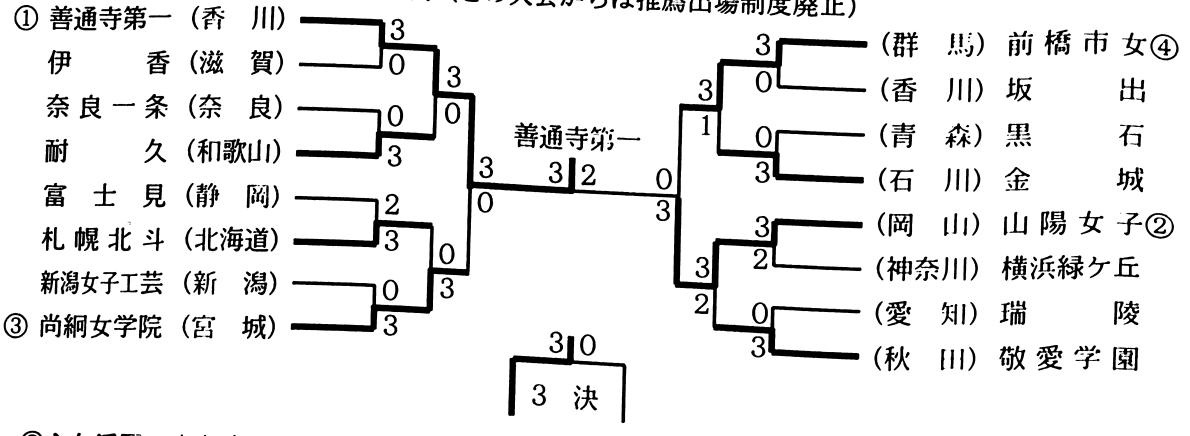
など，着実に発展してきた。詳細は，高体連専門部の歩みに記載があるので，この項では，主な戦績の記録をまとめ，特筆すべき活躍の跡を追うこととする。

**②山陽女子高団体戦準優勝の跡**（○数字は順位）

**1956（昭和31）年度第７回仙台大会**（前年優勝の山陽女子は推薦参加で，県２位の井原も参加）




**1958（昭和33）年度第９回新潟大会**（この大会からは推薦出場制度廃止）



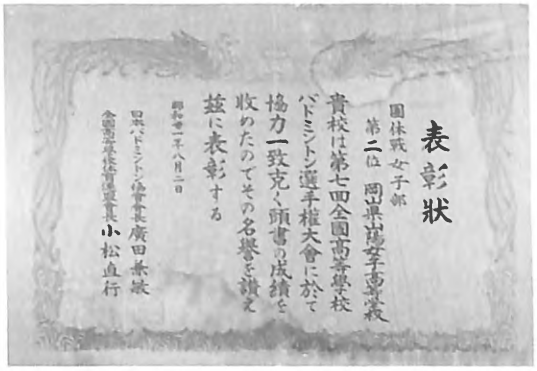

**③主な活躍のまとめ**

昭和33年度の小松貴選手（西大寺高）の単４位と，同35年度における西大寺高の団体４位は，岡山県の高校男子界にとって初の好成績であった。同校の先輩と現役が一体となっての努力が，貴重な戦績につながったといえる。なお，団体４位に貢献した松王重明選手は関西大に進学し，西日本や関西の学生界で，さらにめざましい活躍を続けた。（第Ⅰ章「西日本大学学生選手権大会」の項参照）

昭和36年度，山陽女高は団体戦４位であったが，翌37年度には，同校の高塚淳子選手が単で同校初の優勝を果たし，複でも重政百代選手と組んで同校２度目の優勝を遂げ，同年開催の岡山国体に明るい話題を提供した。その後，高塚選手は熊本女大に進学し，全国的に活躍することとなった。

**●こぼれ話**

昭和20年代後半から30年代にかけて，山陽女子と善通寺第一は，春出向いて秋迎え，翌年は逆に往復する形で，年間２度の交流があった。共に全国優勝を目指して頑張ったが，善通寺第一の団体５連覇に対し，この間の山陽女子団体は準優勝２回，５位２回，３回戦進出１回であった。なお，善通寺第一の記録は，大阪の四條畷学園高が昭和54年に樹立した。５連勝８回目の全国制覇まで維持された。



表彰状

団体戦 女子部
第二位 岡山県山陽女子高等学校

貴校は第七回全国高等学校バドミントン選手権大会に於て協力一致克く頭書の成績を収めたのでその名誉を讃え茲に表彰する

昭和三十一年八月二日

昭和バドミントン協会東京都支部
全国選手権大会実行委員長 小松直行

昭和31年度，第７回大会，山陽女子高 準優勝の賞状(於仙台)



昭和33年度，第９回大会準優勝，前から＝根岸・沢・西田・合田・湯浅・山本・落(於新潟)



昭和36年度，第12回大会，山陽女子団体，左から＝高塚・重政・毛利監督・小合・七村・中山。西大寺高左から＝岡崎・西山・寺内・阿部・山本・宮崎の各選手



昭和37年度，第13回大会，山陽女子高単複２冠獲得で受賞(於高岡)
左から＝単複優勝の高塚淳子選手・パートナーの重政百代選手

### ⑶全日本教職員選手権大会

#### ①1962（昭和37）年度，第１回大会（東京）

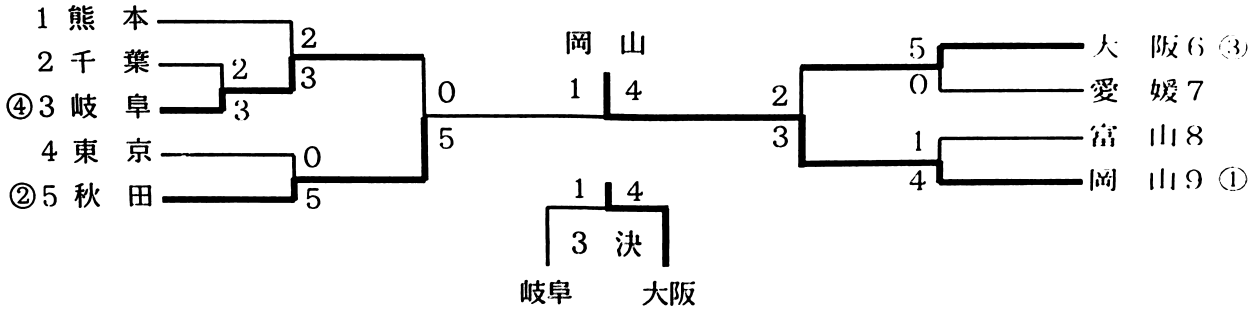
一般男女，30・40歳各男子，混合等の個人戦のみを，インターハイの直後になるべく近い場所で開催する約束でスタートした。一般男子単で毛利清志選手（山陽学園）が３位，毛利／西崎正明（岡山丸之内中）組の複も３位であった。両選手とも30歳を越えていたが，同年開催の第17回岡山国体（教員男子）の偵察と強化を兼ねて一般に出場した。なお，岡山県の参加は５名であった。

#### ②岡山県代表選手・チームの入賞一覧

| 回 | 年度 | MT | MS | MD | 30S | 30D | 40S | 40D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S.37 | 団体戦 | 3・5 | 3 | | | | |
| 2 | S.38 | は第４ | | | 1 | 1 | 2 | |
| 3 | S.39 | 回から | | | 1 | 1 | | |
| 4 | S.40 | 1 | 3 | | 3 | 3 | | |

＊数字は順位＜一般は優勝～５位（ベスト８），年齢別は優勝～４位＞

**③一般男子団体戦初優勝の跡**（○数字は順位），1965（昭和40）年度，第４回大分大会




岡山県は，昭和40年度から新設された都道府県対抗の団体戦で初優勝に輝いた。チーム編成は，山上周之，毛利清志（各山陽学園），金尾善六（井原高），西崎正明（岡山丸之内中），三宅勝（岡山大安寺高），柳本堯敏（児島郡東児中）の各選手であった。

健在のベテラン勢に，大学新卒の三宅，柳本両選手が加わった岡山県は，抜群のチーム力による圧倒的な優勝であった。

個人戦：一般男子単３位＝三宅勝（岡山大安寺高）

30歳単３位＝毛利清志（山陽学園），同複３位＝毛利／西崎正明組（岡山丸之内中）

**●こぼれ話**

大分大会団体優勝の夜のこと。宿舎での夕食時から隣室のマージャンの音がうるさく，毛利選手の発案で“薬局で調合した保証付きの睡眠薬”を購入服用し，ぐっすり熟睡して頭もすっきりの毛利，西崎両選手は，勇躍コートに入った。ところが相手の球回しに，ワンテンポ遅れてからの反応がやっとであり，コースをねらえばアウト，スマッシュリターンに対応したはずのラケットはシャトルが通りすぎた後…という具合で，30歳代の個人戦では，勝てるはずの相手に敗れて優勝を逸し，単複とも３位に止まった！“薬局保証付きの睡眠薬”は翌日の昼過ぎまで効いており，“逆効果の薬害”となったのである。

**⑷全日本社会人選手権大会**

**①大会創設の経緯**

1958（昭和33）年，全日本社会人選手権大会が誕生した。当時，全日本選手権を，各種全国大会上位ランキング選手の推薦制による，「全日本総合選手権大会」に格上げして，権威をもたせる機運が高まっており，一方では，若い世代に幅広く参加のチャンスを与えることを目的として，社会人大会が開催されることになったのである。社会人大会には年齢別の種目を設け，昭和36年度からは，従来の全日本成壮年選手権大会も吸収統合された。会期は，全日本実業団選手権大会に並行とし，実業団の団体戦に続いて，社会人の個人戦を実施する形でスタートした。第４回からは国体のリハーサル大会として，国体の前年に国体開催地で行うことが原則となり，今日に至っている。

**②岡山県の入賞選手**＜優勝～５位（ベスト８），年齢別は優勝～４位，＊初入賞達成順＞

▷毛利清志選手（山陽学園教），一般男子複５位１回。30歳代単８年連続優勝，30歳代複優勝６回，２位１回，３位１回。混合複２位１回，５位１回。（パートナー，西崎，山上，根岸）

▷山上周之選手（大久保食品～山陽学園職），30歳代単２位１回，同複優勝８回，２位１回

（パートナー，毛利，伊藤＝熊本，権田＝東京）

山上選手は第８回武生大会において，30歳代複，40歳代単複の３種目に出場したが，アキレス腱を切断して，30歳代複の準決勝は不戦敗の３位となった。（当時は２年代出場可）

▷権田節子選手（山陽女高～岡山市役所）一般女子単３位２回，同複２位１回，４位１回。（パートナー，光本）

▷光本政子選手（山陽女高～岡山市役所）一般女子単５位１回，同複２位１回，４位１回。（パートナー，権田）

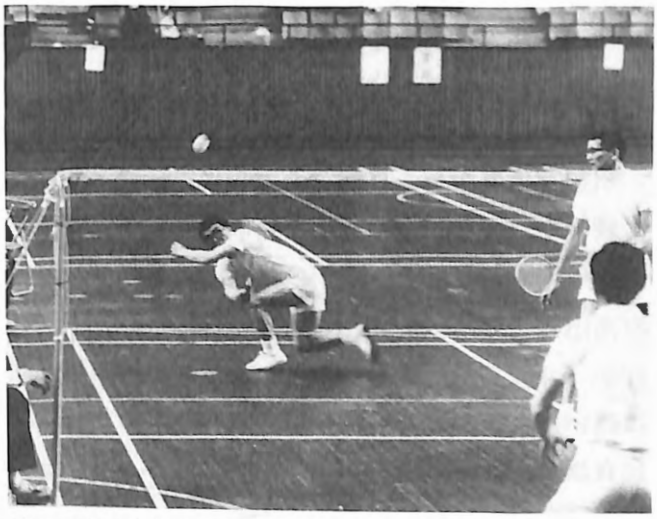
▷西崎正明選手（岡山丸之内中教），一般男子複５位１回，30歳代単４位１回，同複４位１回。（パートナー，毛利，水川）

▷石原利通選手（西大寺高～岡山市役所）一般男子単４位２回，同複５位１回。（パートナー，今東）

▷今東幸一選手（西大寺高～岡山市役所）一般男子複５位１回。（パートナー，石原）

▷根岸純選手（山陽女高～岡山市役所）一般女子単４位１回，５位１回，同複２位１回，３位１回。混合複２位１回，５位１回。（パートナー，湯浅，毛利）

▷湯浅光枝選手（山陽女高～岡山市役所）一般女子複２位１回，３位１回。混合複４位１回。（パートナー，根岸，小松）



第１回全日本社会人選手権大会（昭和33年，於札幌）
30歳代複で奮戦中の毛利/山上組

昭和36年度の第４回大会を，翌37年度岡山国体のリハーサルとして倉敷市で開催した。年齢別30歳代の単複優勝の他，混合複でも２位と４位を獲得したが，一般男女単複ともベスト８に手が届かず，次年度の岡山国体に向けて大きな課題を残した。

▷小松貴選手（西大寺高～大阪合繊～岡山市役所），一般男子単５位１回。混合複４位１回。（パートナー，湯浅）

▷小梶繁雄選手（岡山市役所），50歳代単２位１回。

**③西大寺高ＯＢの活躍**

▷松王清志選手（関西大～大阪合繊），一般男子単２位１回，５位２回，同複５位１回。（パートナー，小松康博）

▷小松康博選手（関西大～フェザー），一般男子単３位１回，同複５位１回。（パートナー，松王）

〔優勝選手については，第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の頃参照〕

### ⑸全日本大学学生選手権大会

**①岡山大学，初期の活動**

1950（昭和25）年11月23日，東京での全日本学生バドミントン連盟設立総会に，岡山大学先駆者の一人である糸晃氏が参画し，その翌日からの，第１回全日本学生選手権（インターカレッジ＝横浜大会）にも，同大学から糸選手を含む数名が参加している。〔第Ⅰ章「学生連盟の歩み，①岡山大学の項」，

第Ⅴ章資料編「戦績の記録＝学生連盟」の項等参照〕

翌昭和26年に，大学対抗の団体戦も加わり「第２回全日本学生・第１回全日本大学選手権大会」の大会名で開催された。その後，団体と個人をまとめて，全日本学生選手権大会（略称＝インカレ）の名称に変わり，平成９年度現在で48回目（昭和25年度から起算）を迎えている。

**②岡山大学生の活躍**

岡山大は，第１回に続いて第２回からも毎年参加しており，昭和32年度の第８回大会（高松市）においては，大橋艶子（山陽女子中～玉野高出）／草野千栄子（岡山朝日高出）組が初優勝を果たし，地元学生として貴重な戦績を残した。その後，男女団体個人とも毎年のように参加してきたが，現在までに地元学生の全国優勝はない。



第８回インカレ(昭和32年,於高松市)
女子複優勝記念 大橋艶子(左)/草野千栄子組

**③井原高，坂出高ＯＧの活躍**

昭和28年度から，京都女子大時代に活躍した松山昌子選手に続いて，同女子大で松山選手の後輩たちが頑張っている。

31年度の第７回と，翌年の第８回大会では，塚村恭子（井原高出），石浜絢子（坂出高出，玉野市在住＝現内田），良倉邦子（井原高出）選手らによって，団体２連勝３回目の栄冠に輝いた。つづく33年度の第９回大会での３連勝は逸したが，良倉選手が中心となって３位に入賞した。またこの間に，塚村選手単２・３位。塚村／良倉組２位，塚村／石浜組３位。良倉選手単２位。石浜選手単４・６位と個人戦でもすばらしい活躍の跡を残している。

**④西大寺高ＯＢの活躍**

西大寺高から関西大に進んだ松王清志，小松康博，国信祝二らの各選手は，優勝こそなかったがめざましい活躍の跡を残している。第７・８の両大会において，松王，小松両選手を中心とした団体戦で２年連続３位入賞を遂げた。個人戦単では小松選手が３・４位，松王選手が５位，複でも松王／小松組が５位を獲得した。また，国信選手の単は，36年度の第12回名古屋大会と，翌年の第13回仙台大会において，２年連続３位入賞を遂げている。〔第Ⅱ章「国際大会で活躍した人」の項参照〕

**⑤山陽女子高ＯＧの活躍**

昭和35年度の第11回大阪大会と，翌36年度の第12回名古屋大会では，大阪樟蔭女子大が，落光子選手らの活躍により，団体戦で２年連続３位に入賞した。38年度の第14回大阪大会では，同女子大の小合佳子選手が単４位を獲得し，翌年度の第15回東京大会においては，熊本女子大に進んだ高塚淳子選手が，単３位入賞を果たした。

**⑥国民体育大会バドミントン競技**

国体のバドミントン競技は順調に発展を続け，岡山県は“天皇杯総合優勝”を始め，毎年上位入賞の大活躍をしてきた。〔国体の歩みや，年度毎の戦績の詳細は，第Ⅰ章「国体の誕生と変遷」，「選手強化部会の歩み＝国体資料①・②・③」，第Ⅴ章「国体の戦績」の項等参照〕

**①各種別・総合の入賞と順位**＜１位～５位（ベスト８）＞

| 回 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 入賞数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度(昭和) | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | | |
| 開催地 | 愛知 | 広島 | 宮城 | 香川 | 北海道 | 神奈川 | 兵庫 | 静岡 | 富山 | 東京 | 熊本 | 秋田 | 岡山 | 山口 | 新潟 | 岐阜 | 合計 | 年代の計 |
| 一般男子 | | 5 | | | | | 3 | 5 | | | 5 | 5 | 5 | | | | 6 | 5 |
| 一般女子 | | | | | 5 | 5 | | 2 | 3 | 4 | 4 | 5 | 4 | 5 | 5 | × | 10 | 8 |
| 高校男子 | | | × | | 5 | × | × | × | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | 8 | 7 |
| 高校女子 | 5 | | 5 | 5 | 2 | 1 | 2 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 | 3 | 5 | 5 | 5 | 15 | 10 |
| 教員男子 | ＊教員の種別は第14回～第34回まで | | | | | | | | | 5 | 5 | | 5 | 4 | 5 | 3 | 6 | 6 |
| 天皇杯 | 7 | 8 | | | 4 | 3 | 1 | 6 | 5 | | 4 | | 4 | 3 | 7 | | 11 | 7 |
| 皇后杯 | 5 | | | 8 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 5 | 5 | 6 | 4 | 5 | 6 | 7 | 14 | 10 |

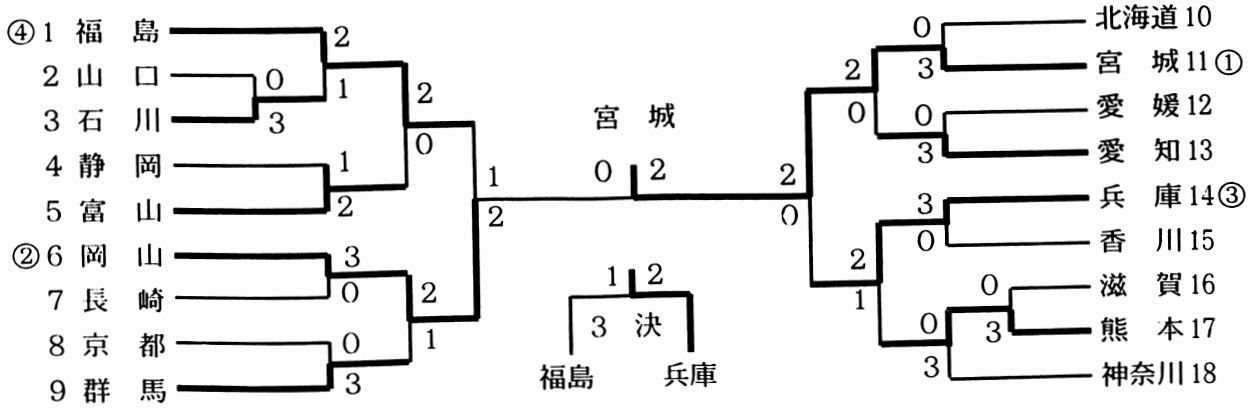
注，①数字は順位，②中国地区予選は第９回より実施（高校男子の第７回は特別制限による）

③×印は中国地区予選落ち，④一般男子は33回まで全県フリー参加，⑤第５・６回の女子は，一般と高校の混成が認められたが，岡山県は予選会で高校生のみが代表権を獲得した。

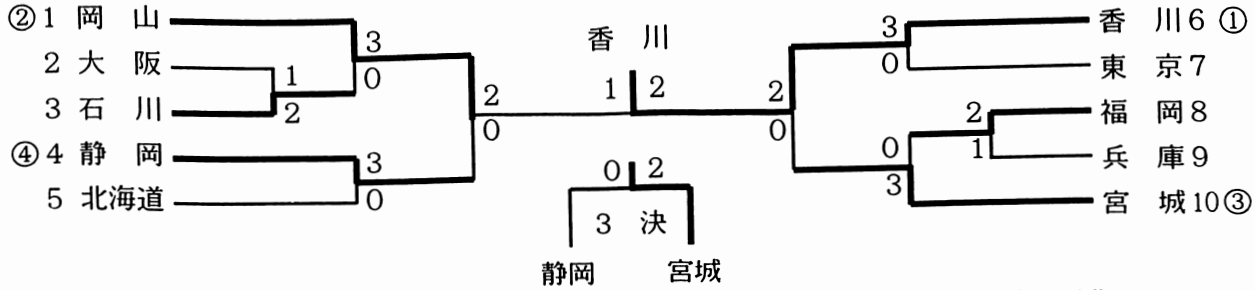
**②組合せで見る天皇杯総合優勝の跡**

1956（昭和31）年度，第11回兵庫国体，於神戸市（各種別の○つき数字は順位）

**一般女子準優勝の跡**（＊ブロック代表各２）

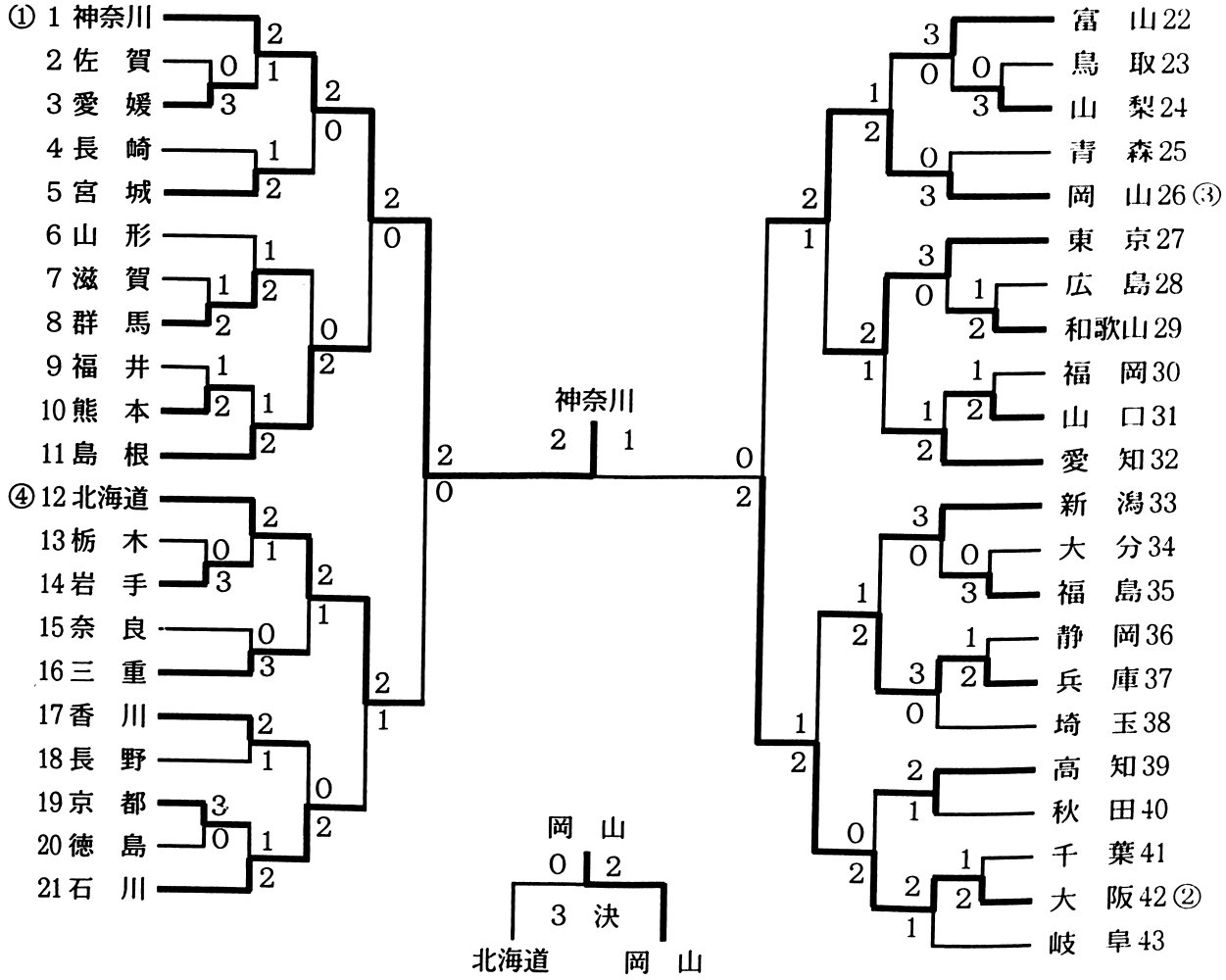



**高校女子準優勝の跡**（＊ブロック代表各１）



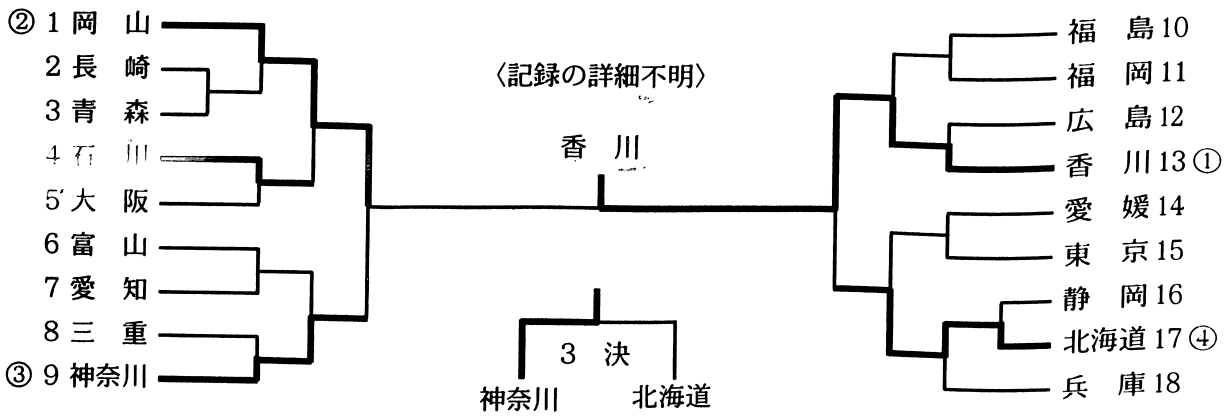

昭和30年度の神奈川国体では，高校女子の優勝が“皇后杯総合優勝，天皇杯総合３位”の原動力となったが，昭和31年度の兵庫国体では，遂に“天皇杯総合優勝”を達成した。種別優勝こそなかったが，前後の組み合わせ表に見られるとおり，一般女子と高校女子がそろって２位に入賞，一般男子も３位入賞を果たし，まさに総合力の勝利であった。なお，皇后杯も宮城県と同点の２位（宮城は一般女子の優勝が優先されて１位）であった。〔天皇杯総合優勝の岡山県選手団のチーム編成は，この項末尾の「栄光の跡」を参照〕

**一般男子３位入賞の跡**（＊全都道府県フリー参加）




＊不参加＝茨城・宮崎・鹿児島

**③第12回静岡国体，一般女子準優勝の跡**（ブロック代表各２）




昭和34年度の第14回大会から教員男子の種別が新設されたが，毎年のように５位に止まっていた。第20回岐阜大会から，大学新卒の三宅，柳本両選手が加わり，ベテラン，毛利選手とのトリオで初の３位入賞を果たした。その後，昭和40年代の後半までトリオでの活躍がつづき，岡山県バドミントンチームの，天皇杯総合得点獲得にたびたび貢献することとなった。

### ④岡山国体

1962（昭和37）年度“昭和天皇・皇后両陛下御臨席”の第17回岡山国体，於倉敷市
岡山県バドミントン選手団総合成績＝天皇杯４位，皇后杯４位
同上，入賞種別の戦績＝一男５位，一女４位，高男５位，高女３位，教男５位
地元国体での天皇杯総合成績は，１位東京・富山19.5点。３位秋田19点。４位岡山は18.5点のわずかな点差であった。いずれかの種別がもう一試合勝ち進めば，バドミントン競技としての天皇杯総合優勝が成り，岡山県全体の総合優勝にもつながったはず？…の，にがい思い出がある。

### ⑤岡山県チーム思い出の写真集



第11回　兵庫国体（昭和31年度，於神戸市）
一般男子３位受賞　左から＝毛利・前田・石原の各選手



第11回　兵庫国体，後列左から＝金尾監督・応援の山上理事・石原選手
前列左から＝根岸・光本・権田・小林・戸田・前田の各選手



第12回 静岡国体，後列左から＝前田・糸島（応援）・小林・権田・山上監督・金尾監督。前列左から＝石原・西田・根岸・沢



第15回 熊本国体，後列左から＝毛利・石原・藤沢・小松・西崎・松王・小橋・青井・朝原・山上監督（全種別）・第２代斎藤理事長（功労者受賞）前列左から＝湯浅・戸田・根岸

**⑥国体，岡山県の入賞種別とチーム編成**＜昭和31～40年度，（5位＝ベスト8）＞

| 回 | 場所 | 種別 | 順位 | 監督 | 選手 | 総合成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 兵庫県 | 一男 | 3位 | 永井　正 | 毛利　清志，前田　俊一，石原　利通 | 天皇杯優勝<br>皇后杯2位 |
| | | 一女 | 2位 | 金尾　善六 | 権田　節子，友野　文子，光本　政子 | |
| | | 高女 | 2位 | 金尾　善六 | 小林　桂子，戸田　寿子，根岸　純 | |
| 12 | 静岡県 | 一男 | 5位 | 山上　周之 | 毛利　清志，前田　俊一，石原　利通 | 天皇杯6位<br>皇后杯2位 |
| | | 一女 | 2位 | 金尾　善六 | 権田　節子，光本　政子，小林　桂子 | |
| | | 高女 | 5位 | 金尾　善六 | 根岸　純，沢　真美子，西田　寿子 | |
| 13 | 富山県 | 一女 | 3位 | 山上　周之 | 権田　節子，光本　政子，小林　桂子 | 天皇杯5位<br>皇后杯3位 |
| | | 高男 | 5位 | 西崎　正明 | 小松　貴，国信　祝二，阿部　一三 | |
| | | 高女 | 4位 | 山上　周之 | 根岸　純，沢　真美子，西田　寿子 | |
| 14 | 東京都 | 一女 | 4位 | 梶原　馨 | 権田　節子，光本　政子，板谷　通子 | 皇后杯5位 |
| | | 高男 | 5位 | 清見　芳美 | 青井　正義，松王　重明，小橋　武 | |
| | | 高女 | 5位 | 山上　周之 | 湯浅　光枝，合田　君子，上田　幸子 | |
| | | 教男 | 5位 | 山上　周之 | 毛利　清志，西崎　正明，藤沢　更司 | |
| 15 | 熊本県 | 一男 | 5位 | 山上　周之 | 石原　利通，小松　貴，青井　正義 | 天皇杯4位<br>皇后杯5位 |
| | | 一女 | 4位 | 山上　周之 | 根岸　純，湯浅　光枝，戸田　裕子 | |
| | | 高男 | 5位 | 山上　周之 | 松王　重明，小橋　武，朝原　慶三 | |
| | | 高女 | 5位 | 山上　周之 | 合田　君子，重政　百代，高塚　淳子 | |
| | | 教男 | 5位 | 山上　周之 | 毛利　清志，西崎　正明，藤沢　更司 | |
| 16 | 秋田県 | 一男 | 5位 | 山上　周之 | 小松　貴，青井　正義，若松　康弘 | 皇后杯6位 |
| | | 一女 | 5位 | 山上　周之 | 根岸　純，湯浅　光枝，合田　君子 | |
| | | 高男 | 5位 | 山上　周之 | 朝原　航，寺内　侃一，西山　寛 | |
| | | 高女 | 5位 | 山上　周之 | 小合　佳子，重政　百代，高塚　淳子 | |
| 17 | 岡山県 | 一男 | 5位 | 朝原　航 | 前田　俊一，松王　清志，小松　貴 | 天皇杯4位<br>皇后杯4位 |
| | | 一女 | 4位 | 岡本　武利 | 根岸　純，湯浅　光枝，藤本　澄子 | |
| | | 高男 | 5位 | 青井　正義 | 阿部　正，岡崎　捷一，福田　詔一 | |
| | | 高女 | 3位 | 山上　周之 | 重政　百代，高塚　淳子，七村　泰子 | |
| | | 教男 | 5位 | 渡辺　弘美 | 毛利　清志，西崎　正明，藤沢　更司 | |
| 18 | 山口県 | 一女 | 4位 | 石原　利通 | 根岸　純，湯浅　光枝，重政　百代 | 天皇杯3位<br>皇后杯5位 |
| | | 高男 | 5位 | 小原　健吾 | 杉村大丈夫，高橋　健一，西崎　治道 | |
| | | 高女 | 5位 | 山上　周之 | 大賀　恵子，光岡　由枝，西江　千尋 | |
| | | 教男 | 4位 | 渡辺　弘美 | 毛利　清志，西崎　正明，高田　浩二 | |
| 19 | 新潟県 | 一女 | 5位 | 社　竹三 | 根岸　純，小合　佳子，重政　百代 | 天皇杯7位<br>皇后杯6位 |
| | | 高男 | 5位 | 大月　史郎 | 武田　崇嗣，太田　盛秋，吉村　傀三 | |
| | | 高女 | 5位 | 山上　周之 | 大賀　恵子，湯木　博江，浦口　恵子 | |
| | | 教男 | 5位 | 渡辺　弘美 | 毛利　清志，西崎　正明，高田　浩二 | |
| 20 | 岐阜県 | 高女 | 5位 | 山上　周之 | 湯木　博江，浦口　恵子，東島　早苗 | 皇后杯7位 |
| | | 教男 | 3位 | 渡辺　弘美 | 毛利　清志，三宅　勝，柳本　堯敏 | |




第18回山口国体県チーム，後列左から＝渡辺監督・山上監督・小川副会長・朝原・高田・小原監督・石原監督・寺内・西崎治道・杉村・青井監督・小松・高橋
前列左から＝毛利理事長・光岡・西江・大賀・重政・〇・根岸・湯浅・西崎正明



第20回岐阜国体県チーム，４列目左から＝青井・本藤・小原監督・湯木
３列目左＝毛利理事長・東島・佐々木・浦口，２列目左＝山上監督・三宅
三宅の後＝松王，三宅の右＝西崎監督・柳本・上野・渡辺監督，最前＝小松

**⑦井原高ＯＧの活躍**

松山昌子（現在平方）選手は，京都女子大に入学した年の昭和27年，第７回宮城国体に京都代表として参加し，５位入賞を果たした。その翌年には，インカレの団体と複に優勝するなど，岡山県関係では，初の全国大会優勝者となっている。

**⑧西大寺高ＯＢの活躍**

松王清志選手（関西大～大阪合繊）は，昭和33年の第13回富山国体に大阪代表として参加し，３位に入賞した。続いて第14回東京国体には，松王選手を中心に小松康博選手（関西大～フェザー）と，小松貴選手（大阪合繊）の兄弟も大阪代表に選ばれ，西大寺高ＯＢトリオで前年に続いて３位を確保した。弟の小松貴選手は，昭和35年度から地元の岡山市役所に赴任したが，同年の第15回熊本国体における大阪チームは，松王，小松（兄）両選手等で５位に入賞している。

なお，松王清志選手は，昭和37年の第17回岡山国体時に，小松（弟）選手たちの岡山県代表チームに加わり，５位入賞に貢献した。

**⑺全日本選手権～全日本総合選手権大会**

1947（昭和22）年度の第１回全日本選手権東京大会は，一般男女単複，混合複の５種目で行われ，その後，少年男女，成壮年男子等の種目が設けられて盛大な大会に発展した。

岡山県の初参加は，昭和27年の第５回天理大会であり，同30年の第８回東京大会を含めて，少年女子複２回，同単１回の優勝記録を残して，この年代を迎えた。（前年代の同項参照）

**①昭和31年度～34年度**

昭和31年度の第９回東京大会から，少年男女の種目が廃止され，一般と高校の混成で実力日本一を争うことになった。高校生にとっては厳しい試合を強いられたが，山陽女高３年生の小林桂子／戸田寿子組が複で優勝し，同校ＯＧの権田節子／友野文子組も準優勝であった。さらに単は，権田節子選手が優勝を勝ち取り，ＯＧの友野・光本両選手と，現役の小林・戸田両選手の４人が５位を独占した。その上，混合複では，毛利清志（山陽学園教）／光本組も３位に入賞して，同学園の生徒と教師の活

躍で，前年度に続いて岡山の名を高めた。一方，この年度から40歳以上の種別は「第１回全日本壮年選手権大会」として独立し，一般と同時に行われた。

昭和32年度の，第10回（第２回成壮年）東京大会では，混合複で石原利通（西大寺高～岡山市役所）／戸田（山陽女高ＯＧ）組が優勝を果たし，同種目で毛利／小林組も３位に入賞した。さらに30歳代男子単で毛利選手，同複では毛利／山上周之（大久保食品）組がそれぞれ初優勝し，次年度からの連勝に向けて，好スタートを切った。

昭和33・34年度も30歳単複は連覇したが，若手選手の入賞はなかった。

〔以下，30歳代の優勝記録は，この項末尾の“栄光の跡”を参照〕



第10回全日本選手権大会（昭和32年，於横浜）
後列左から＝光本・丸山・権田・梶原・水川・前田。前列左から＝小林・戸田（混合複優勝）・毛利（30歳単・複優勝）・石原（混合複優勝）・山上（30歳複優勝）各選手

**②昭和35年度～40年度**

昭和35年度の，第13回（第５回成壮年）横浜大会では，混合複の毛利／根岸純（山陽女高～岡山市役所）組が準優勝であった。

昭和35年度末に「全日本総合選手権大会」が誕生した。会期も年度末に変わり，その年度内における，各種全国大会の上位ランキング選手に参加資格が与えられ，推薦選手のみによる，文字通り“実力日本一”を決めるわが国最高権威の大会を開催することになったのである。試合は，男女単複，混合複の５種目のみとし，各チャンピオンは，毎年，国際バドミントン連盟（ＩＢＦ）のハンドブックに掲載されることになった。また，国際大会に備えてのナショナルチームの選手選考も，総合選手権の実績が重視されることになって今日に至っている。そして，従来の成壮年大会の各種目は，昭和33年度からスタートした「全日本社会人選手権大会」に整理吸収されたのである。



昭和35年度全日本総合選手権大会（於東京）
混合複初優勝で受賞の「毛利清志／根岸純組」

栄えある初の全日本総合選手権に，日本協会の推薦でエントリーされたのは，選りすぐりの精鋭であった。岡山県から推薦されたのは，女子単の根岸選手，同複の根岸／湯浅光枝（山陽女高～岡山市役所）組，混合複の毛利／根岸組であった。激戦のなかで，根岸／湯浅組が３位に入賞し，毛利／根岸組は，80分に及ぶフルゲームの決勝戦を制して，総合形式初のチャンピオンに輝いた。因みにスコアは，毛利／根岸組２（17-14,13-15,18-13）１北島／有木組（電電東京）であった。

翌36年度大会での毛利／根岸組は，ファイナルゲームを接戦で落として準優勝に止まった。しかし，

30歳代半ばの毛利選手が教え子と組み，若いペアーに混じっての，善戦健闘ぶりは賞賛に値するものであった。

昭和37年度から同40年度までの各種全国大会では，岡山県代表の一般男女は戦績がふるわず，残念ながら総合選手権に推薦される選手は出ていない。

**③西大寺高ＯＢの活躍**

関西大に進学した松王清志，小松康博，国信祝二らの各学生選手が，昭和31年度から38年度の間に数回にわたってベスト８入りを果たし，それぞれナショナルチームに選ばれた。松王，小松選手はさらに厳しい予選を勝ち抜き，第３回アジア競技大会（東京）でも団体優勝に貢献した。しかし，国信選手はアキレス腱を断裂し，国際大会は不参加となった。

**④山陽女子高ＯＧの活躍**

昭和39年度に，熊本女子大の高塚淳子選手が，横山満子選手（秋田＝帝国石油）との複で準優勝を遂げ，単でも４位を獲得して，ナショナルチーム入りにつなげた。

〔第Ⅱ章「国際大会で活躍した人＝候補」の項参照〕

## ４．国際大会




小松康博（左）・松王清志両選手
（昭和33年，於明治神宮外苑の選手村）



第２回日韓親善大会，韓国選手団と共に
最前列中央＝上原正士監督～左後＝毛利清志選手
（昭和38年５月，於ソウル市内を一望できる＝南山展望台）

**⑴第３回アジア競技大会**

1958（昭和33）年，東京で第３回アジア大会が開催され，バドミントンはデモンストレーション競技として初登場した。男子のみの国別対抗団体戦だけが実施され，参加国は日本，タイ，中華台北の３チームであった。（インドネシアとマレーシアは経済事情で競技に不参加）

岡山県関係選手は，松王清志（西大寺高～関西大～大阪合繊）と，小松康博（西大寺高～関西大）

の２人であり，西日本上位ランク選手10数名による，総当たり戦を制して選抜された。そして，東日本から選抜された４人とともに，計６人のチームで日の丸を背負って戦うことになった。

日本がタイと中華台北を連破して優勝を果たすに当たり，両選手ともシングルスに出場して，日本チームの金メダル獲得に貢献したのである。〔第Ⅲ章「第３回アジア大会に参加して」，「メダリスト列伝！アジア大会の郷土勢」の項等参照〕

**⑵第２回日韓親善交換大会**

1963（昭和38）年度，ソウルでの第２回日韓親善交換大会に，当時の県協会理事長であった毛利清志選手が，日本チームの教員代表に選ばれて参加した。選手団は，監督，コーチ各１名と，教員男子，大学男子，高校女子各２名の計８名編成であった。毛利選手は，杉田博選手（神奈川）とのダブルスと，シングルスにも勝って，日本チームの全勝に貢献した。

その後，韓国のレベルアップはめざましく，近年は男女とも日本を追い越し，国際的にも上位に進出する存在に成長している。

## ５．その他の活動

**⑴指導普及講習会**

**①1959（昭和34）年７月，三井造船玉野事業所チーム（同好会）対象の講習会を開催**

＜上記以外にも，１～２回玉野を訪問＞



**県協会派遣の講師(4名)**
**最前列左端から＝前田俊一・毛利清志・山上周之・西崎正明**
**前列右から3人目＝吉原龍氏(首にタオルの人)，同好会責任者**
**後列左から2人目＝現参与，虹江優氏**
**(昭和34年7月5日，於三井造船玉野事業所体育館)**
**＊左端に見える4~5人掛のベンチは，ネットポストの代用品**

**②1965（昭和40）年，津山工業高等専門学校チーム対象の講習会を同校体育館で開催**

県協会派遣講師＝毛利清志，山上周之，前田俊一。同助手＝湯木博江，浦口恵子（計５名）

**⑵東京都教職員連盟のメンバー来岡**

1957（昭和32）年８月，当時から連盟組織を確立していた東京都教職員連盟（ＴＥＦ）の６人が，日本教職員連盟（ＪＥＦ）創設の呼びかけに来岡された。〔第Ⅰ章「教職員連盟の歩み」の項参照〕

**⑶対香川の始まり**

1957（昭和32）年度に，第１回岡山県対香川県対抗競技会が香川県当番で行われた。当初は一般男女，成・壮年男子の各単複と混合複の９種目でスタートしたが，昭和40年代から，現在の国体強化ス

タイルに変わった。なお，第２回以降は，両県の交互開催となって現在に至っている。



TEFのメンバーと岡山県教職員の有志
後列右から＝渡辺弘美・西崎正明・太田喜代志
前列右端＝毛利清志。その他は東京のメンバー



第１回岡山・香川県対抗競技会，於高松市，岡山県選手
後列右～２人目から＝小梶・今東・平尾
中列同＝石原・水川・社・梶原・香川佐藤理事長
前列同＝山上・３人目から・丸山・小林・光本・権田

### (4)エキジビション・ゲーム

1964（昭和39）年６月１日，全英選手権男子単５連勝の実力者で，世界の王者といわれたデンマークのＥ・コプス選手を迎えて模範試合を行った。第６回トーマス杯争奪世界男子選手権東京大会直後，松王清志氏（大阪合繊）の好意によるもので，岡山県にとっては千載一隅の機会であった。コプス選手は５試合連続の約２時間半，こころよく，郷土代表選手の相手をつとめてくれた。基本に忠実であり，すぐれた読みにつながる軽快なフットワークと，ダイナミックなストローク。なかでも，シャトルがラケットに吸い込まれるように見える，華麗なバックハンドによる抜群のコントロールは観衆を魅了し“これぞバドミントン！…”を惜しみなく披露してくれた。



ゲーム終了後，ファンの要望に応え，笑顔でサインする
コプス選手（於山陽学園体育館）



後列左から＝小川政雄副会長・小松貴・国信祝二・松王清志・
コップス・前田俊一・寺内侃一・青井正義・石原利通・西崎正明
前列左から＝毛利清志理事長・中村健会長・社竹三理事

**●こぼれ話**

コプス選手は，約２時間半にわたって，岡山県代表選手の相手をしながら，水分補給のためにビールを所望し，チェンジエンドなどのたびに，喉を潤しながら頑張った。ところが，ヨーロッパ製とは異なり，アルコール含有％の高い日本製のビールが効いてきて、後半には傍目にも判るほど，フットワークが怪しくなってきた。それにもひるまず，最後まで妙技を発揮しつづけたコプス選手に対し，惜しみない拍手が贈られた。

## ６．栄光の跡（昭和31～40年度）

### (1)岡山県協会関係の全国大会優勝

（その１）

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム，選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,31 | 第９回全日本 | 女子単 | 権田節子(岡山市役所) |
| | | 女子複 | 小林桂子／戸田寿子組(各山陽女高) |
| | 第11回国体 | 天皇杯総合 | 男子監督：永井　正(県協会理事長＝岡山工業高) |
| | | | 女子監督：金尾善六（県協会理事＝井原高) |
| | | | 一般男子３位：毛利清志(山陽学園)・前田俊一(徳山電気)・石原利通(岡山市役所) |
| | | | 一般女子２位：権田節子・光本政子(各岡山市役所)　友野文子(山陽女高ＯＧ) |
| | | | 高校女子２位：小林桂子・戸田寿子・根岸　純(各山陽女高) |
| | 第５回全日本実業団 | 女子団体 | 岡山市役所チーム　監督：崎本幸三郎,選手：権田節子・光本政子 |
| S,32 | 第10回全日本 | 混合複 | 石原利通／戸田寿子組(岡山市役所・山陽女高) |
| | | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(山陽学園／大久保食品) |
| | 第８回全日本学生 | 女子複 | 大橋艶子／草野千栄子組(岡山大学) |
| S,33 | 第11回全日本 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(山陽学園／大久保食品) |
| | 第１回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(山陽学園／大久保食品) |
| S,34 | 12回全日本 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(山陽学園／大久保食品) |
| | 第２回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(山陽学園／大久保食品) |
| S,35 | 第３回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム，選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,35 | 第13回全日本 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | 全日本総合 | 混合複 | 毛利清志／根岸純組(山陽学園／岡山市役所) |
| S,36 | 第4回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| S,37 | 第5回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | 第13回全国高校 | 女子単 | 高塚淳子(山陽女高) |
| | | 女子複 | 高塚淳子／重政百代組(山陽女高) |
| | 第2回全日本教職員 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| S,38 | 第6回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| S,39 | 第7回全日本社会人 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | 第3回全日本教職員 | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 山上周之／伊藤基記組(山陽学園／熊本女子大) |
| | 第14回全日本実業団 | 30歳男子単 | 前田俊一(丸菱商事) |
| S,40 | 第8回全日本社会人 | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(山陽学園) |
| | | 30歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | 第4回全日本教職員 | 一般男子団体（初優勝） | 山上周之・毛利清志(各山陽学園)<br>金尾善六(井原高)，西崎正明(岡山丸之内中)<br>三宅　勝(岡山大安寺高)・柳本堯敏(児島郡東児中) |

通算優勝数39　＊山上周之選手は，昭和35年度より山陽学園に転勤

**⑵岡山県出身，県外進学選手の全国大会優勝**

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム，選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,31 | 第6回全日本学生 | 女子団体 | 京都女子大：塚村恭子(井原高出)<br>石浜絢子(坂出高出)＊現在玉野市在住 |
| S,32 | 第7回全日本学生 | 女子団体 | 京都女子大：塚村，石浜，良倉邦子(井原高出) |

**⑶岡山県出身，県外進学・就職・在住選手の国際大会優勝**

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム，選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,33 | 第3回アジア大会 | 男子団体 | 日本チーム：松王清志(西大寺高～関西大～大阪合繊)<br>小松康博(西大寺高～関西大) |

## （３）昭和41年度～50年度

＜教職員男子全国大会で大活躍。女子は国際舞台でも世界のトップに…＞

### １．県内総合大会と優勝選手

#### ⑴春季選手権大会

昭和33年度にスタートした総合の春季大会は，昭和45年度まで続いた。しかし，高校の競技人口が年毎に増大したため，46年度から高体連専門部主催による高校独自の春季大会が誕生した。その後平成２年度まで，県協会主催の春季大会は一般と学生のみを対象に行われてきた。

#### ⑵総合選抜選手権大会

昭和38年度にスタートした総合選抜選手権は，軌道に乗り発展しながらの開催が続いた。

**総合形式２大会の単複優勝者**（昭和41年度～昭和50年度，前年代と重複選手の略歴は省略）

○男子単：前田俊一（丸菱商事）。小松貴，藤井英雄（各岡山市役所）。三宅勝（県立高教）。森口隆彦（京都，日吉ケ丘高～岡山大）。岡浩一（倉敷天城高～岡山大）。芳上一男（備南高～三井造船）

○男子複：毛利清志／山上周之組（各山陽学園）。小松貴／松王重明組（岡山市役所／西大寺高～関西大～協和フィルター）。三宅勝／柳本堯敏組（県立高教／井原高～岡山大～岡山市立中教）。小松／藤井英雄組（各岡山市役所）。小松／三宅組（岡山市役所／県立高教）。上野輝治／芳上一男組，藤井航／松井一組（各備南高～三井造船）。

◎この間の活躍の筆頭は，県総合の単で４連勝を含めて５回頂点に立ち，複でも４回の優勝を遂げた，教員代表の三宅勝選手である。

○女子単：湯木博江，児玉祥，光畑直美，坪田久仁子，吉田孝子，石田雅子，林寿美子，近藤小織，原田美智子，岡部五月（以上山陽女高）

○女子複：湯木博江／浦口恵子組，岩田定子／児玉祥組，光畑直美／宮本典子組，坪田久仁子／延原美和子組，吉田孝子／石田雅子組，児玉／鈴木直美組，田辺裕子／三宅一美組，原田美智子／藤原敦子組（以上山陽女高）。佐藤民子／小林宗子組（各西大寺高ＯＧ）。三田明美／藤原敦子組（各山陽女高～クラレ岡山）

◎この間，湯木博江選手は高校３年間で，県総合単３連覇，複２回優勝。また複では原田／藤原組の３連覇など，それぞれ高校生が好成績を残している。

＊第Ⅰ章「各関係連盟の歩み」，第Ⅴ章「各関係連盟，県大会の戦績」の項等参照

なお，1966（昭和41）年度から，関係者待望の県中体連専門部が設立されて活動を始めた。

### ２．中国地区～東・西日本の各大会の主な活躍

#### ⑴中国選手権大会

この年代では第９回～第11回までの３大会が行われ，男子は第11回大会で複の優勝を山口県に取られた以外は全勝した。女子は団体２勝，複２勝，単１勝を遂げ，団体１，複１，単２の優勝を山口県

にゆずった。なお，昭和43年度の第11回大会を中国選手権の最終大会とし，翌44年度からの団体戦は中国実業団選手権に，個人戦は中国社会人選手権に，それぞれ発展的に移行した。

### ⑵中国高等学校選手権大会

男子団体では，昭和46年度から松江商業，境港工業（３連勝）等に４年連続で団体の優勝をさらわれ，個人単複も３～４回優勝を落としたが，備南，倉敷工業，倉敷天城等の活躍で団体６，複７，単６のタイトルを勝ち取っている。一方，山陽女子が，団体戦の連勝記録（大会創設以来無敗）を18回に伸ばし，同大会創設以来18回のうち，16回の３冠獲得も達成した。この間に，山陽女子の湯木博江選手は３年連続３冠獲得の快挙を遂げている。

### ⑶中国実業団・社会人選手権大会の新設

昭和44年度に誕生した中国実業団と同社会人の２大会は，昭和59年度まで同会期，同会場での併催が続いた。

実業団では，昭和50年までの７年間に，男子の三井造船が４回と，女子のクラレ岡山が３回優勝しており，社会人での優勝は男子単複，女子単複ともそれぞれ３回であった。なお，社会人では，45年度から男子40歳代の種目が設けられたが，岡山県の優勝は６年間で単１回のみに止まっている。

### ⑷国体中国ブロック予選会

この年代の国体ブロック予選では，教員男子と高校女子が共に10連勝し，それぞれ本国体に駒を進めた。しかし，一般女子は山口県に敗れて２位が３回，高校男子も島根，山口，鳥取等の各県に敗れて２～３位が計５回となり，それぞれ３回と５回，本国体への代表権を落としている。〔第Ⅰ章「各関連連盟の歩み」，第Ⅴ章「国体中国ブロックの戦績」の項等参照〕

### ⑸中国中学生交換試合

昭和46年度からの全国中学生大会（県単位の団体戦）を機に，全国大会県代表に続く選手たちによる，中国中学生交換試合を、国体予選開催県で国体予選と同会期に行ってきた。公式大会でないため記録は残っていないが，当時，島根・広島両県不参加のなかで，男女とも岡山県の上位が多かった。なお，1980（昭和55）年度からの，中国中学校選手権大会の開催により交換試合は廃止となった。

### ⑹中国・四国高等専門学校選手権大会

1974（昭和49）年度の第１回大会において，津山工業高等専門学校（以下＝津山高専）が男子団体戦で優勝した。

### ⑺中国５大学学生競技大会

岡山大が前年代に続いて他を圧倒し，男子団体２回と女子団体１回は２位に甘んじたが，他の年度は全勝している。優勝数は，男子21回＜団体８・単７・複６＞。女子19回＜団体８（１回不明）・単６・複５＞であり，男女優勝合計の40回は，この年代優勝総合計60回のうち，３分の２を岡山大が占めた計算になっている。〔第Ⅰ章「学生連盟の歩み」，第Ⅴ章「学生連盟の戦績」の項等参照〕

### ⑻中国・四国大学学生選手権大会

#### ①岡山大学の主な活躍

1966（昭和41）年度第10回大会から，10年間における男子の活躍では，杉村大丈夫，森口隆彦，高木剛，岡浩一，浜中彰各選手が，それぞれ個人戦で１～３回優勝し，団体を含めた３冠王を獲得している。女子では安福範子，板谷妙子両選手が３冠獲得の活躍ぶりであった。優勝数をまとめると，男子20回＜団体８・単７・複５＞。女子６回＜団体３・単２・複１＞となっている。

#### ②山陽学園短大の主な活躍

山陽学園短大は，昭和50年度の第19回大会に初出場して団体戦の優勝を果たした。個人単でも日原禎子選手が頂点に立ち，複も日原／林里美組が優勝を遂げるなど，いきなり３冠を獲得して同短大の名を高めた。なお，優勝した個人やチームの中心は，山陽女子高ＯＧの選手であった。

### ⑼中国・四国・九州大学学生選手権大会

#### ①岡山大学の主な活躍

前年代から台頭著しい九州勢が，この年代でも中・四国地区を圧倒した。男子団体は，優勝，準優勝，ベスト４が各１回あり，女子団体は優勝２回，ベスト４は４回であった。男子複では山田／高木組の優勝と２位が各１回，嘉村／高井組２位，ベスト４には岡／浜中組が入っている。女子単では安福範子選手が２・３位に各１回，ベスト４入りは花田／清水組と岩崎／丸山組，同単では岩崎文子，西岡佳江，林正子の３選手であり，これらの選手が団体戦でも岡山大を引っ張った。

#### ②山陽学園短大の主な活躍

山陽学園短大は，昭和50年度の第14回大会が初出場であり，団体と個人単はベスト８止まりだったが，個人複では日原禎子／林里美組が決勝戦まで勝ち進み，準優勝を遂げた。

### ⑽東日本大学学生選手権大会

山陽女高から日女体大に進学した数名が，それぞれめざましい活躍をしている。湯木博江選手は，昭和43年度から単２連覇，45年度には複も優勝した。浦口恵子選手は，43・45年度に複で優勝。49年度に石田雅子／吉田孝子組，50年度には近藤小織選手の単が，それぞれ準優勝している。

### ⑾西日本大学学生選手権大会

#### ①地元学生の活躍

岡山大学の高木剛選手（熊本県宇土高出）は，昭和45年度に男子単の決勝に進出し，岩田選手＝後述＝に敗れたが，地元の学生にとって貴重な準優勝であった。女子では，山陽学園短大の日原禎子選手（山陽女子高出）が，昭和50年度の第15回大会で単に優勝し，林里美選手（山陽女高出）との複も制して２冠に輝いた。

#### ②山陽女子高ＯＧの活躍

熊本女子大に進学した高塚淳子選手が，昭和41年度に単複の２冠に輝いた。

#### ③和歌山県新宮高ＯＢの活躍

近畿大学に進学した岩田勇選手（現在県内在住）は，昭和42～45年度の間に単優勝１回，準優勝２回，３位１回があり，複でも優勝２回，準優勝１回，４位１回がある。その内，45年度には単複の２冠を獲得している。〔第Ⅴ章「県外進学・就職・在住者の戦績」の項参照〕

## 3．全国大会と主な活躍

### (1)全日本実業団選手権大会

実業団大会は発展の一途をたどり，この年代に入って男女とも参加チームが増えつづけた。個人戦の参加数も同様で，各種全国大会の中でも最大規模の大会に膨れ上がった。日本実業団連盟は，嬉しい悲鳴の中で厳しい参加制限を強いられたが，この10年間の参加状況は下表の通りである。

**①参加数の推移**（昭和41～50年度，＊個人戦の年齢別は男子のみ）

| 区分 | 回 | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 開催地 | | 大阪 | 勝山 | 諫早 | 釜石 | 高松 | 鹿児島 | 茂原 | 石岡 | 松坂 | 高岡 |
| 団体戦 | 男子 | 全国参加数 | 61 | 67 | 68 | 62 | 66 | 69 | 87 | 86 | 102 | 107 |
| | | 岡山参加数 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 女子 | 全国参加数 | 20 | 28 | 28 | 27 | 17 | 22 | 32 | 33 | 38 | 47 |
| | | 岡山参加数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 個人戦 | 一般 | 男子単 | 135 | 120 | 112 | 125 | 96 | 113 | 148 | 128 | 156 | 144 |
| | | 男子複 | 71 | 69 | 55 | 66 | 54 | 69 | 89 | 77 | 87 | 100 |
| | | 女子単 | 73 | 77 | 69 | 67 | 55 | 82 | 94 | 87 | 106 | 105 |
| | | 女子複 | 40 | 47 | 38 | 36 | 33 | 40 | 54 | 48 | 65 | 67 |
| | | 混合複 | 48 | 36 | 41 | 43 | 26 | 34 | 48 | 49 | 69 | 70 |
| | 年齢別 | 30歳以上単 | 27 | 19 | 19 | 22 | 18 | 20 | 27 | 23 | 37 | 33 |
| | | 30歳以上複 | 19 | 7 | 23 | 28 | 28 | 23 | 34 | 24 | 28 | 30 |
| | | 40歳以上単 | 10 | 16 | 12 | 9 | 13 | 9 | 17 | 11 | 12 | 16 |
| | | 40歳以上複 | 32 | 20 | 23 | 19 | 18 | 31 | 30 | 31 | 35 | 45 |

1966（昭和41）年度の第16回大会では，岡山市役所男子チームが前年に続いて５位入りを果たした。なお，この大会から三井造船が５年ぶりに参加し，その後の連続出場につなげた。また，個人戦では，40歳代複の小梶／社組（岡山市役所）が４位であった。

上表の男子チーム中，第17・18回には三井造船が２チーム，その他は前記両チームの参加である。

昭和42年度以降，全国レベル向上の中で，県内チームは県外からのスカウトはできず，若手選手も育たず，５位入りは９年連続ゼロとなって低迷時代を迎えた。昭和50年度に漸く女子のクラレ岡山チームが，岡山県女子として，11年ぶりに参加したことはせめてもの救いであった。

この間の，個人戦年齢別の活躍として，46年度に30歳単の小松貴選手（岡山市役所）が30歳に上がりたての若さで３位に入賞し，40歳複でも，明珍／西村組（三井造船）が３位に入った。翌47年度には，小松選手が単３位に加えて，藤井英雄選手との複でも３位入賞を遂げたが，その後50年度までに県勢の上位入賞はない。

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

1971（昭和46）年度，第21回鹿児島大会に初出場した岡山県出身の湯木博江選手（日女体大～河崎ラケット）は，一気に，単・複・混合の３冠を獲得した。翌47年度も前年同様の３冠。48年度は単，混合の２冠。49年度は団体・単・混合の３冠。50年度は団体・単・複の３冠獲得と，一実業団大会において，わずか５年間で通算14種目ものチャンピオンに輝いた。同選手が“心・技・体”のもっとも充実していた時代の大活躍であった。

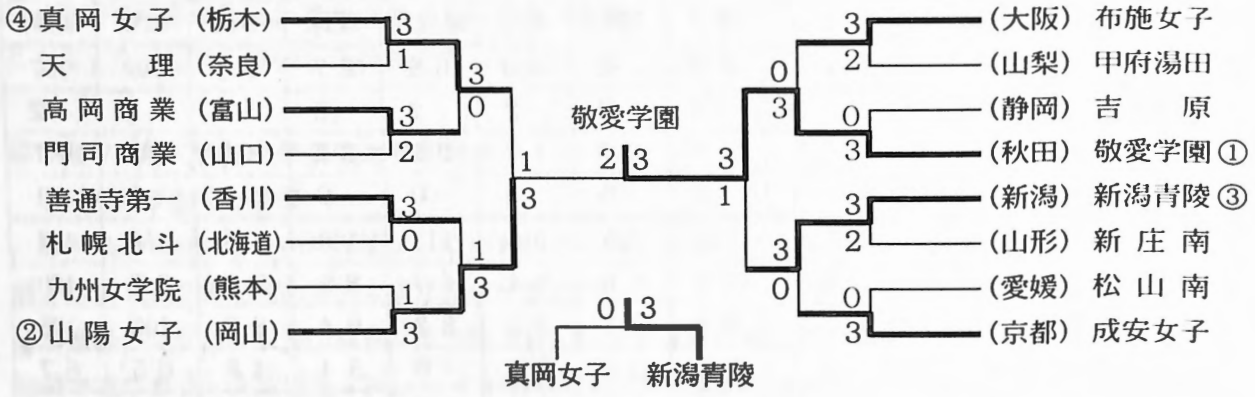
### ⑵全日本家庭婦人大会

1974（昭和49）年度から，全国家庭婦人連盟（日本協会の傘下でない別団体）主催の全国家庭婦人競技大会が開催され，昭和50年度の第２回大会において，山陽女子高出身の勝山裕子選手（旧姓戸田＝奈良）が団体と複に優勝している。

### ⑶全国高等学校選手権大会

**①山陽女子高団体戦準優勝３回目の跡**　1966（昭和41）年度第17回弘前大会

参加47校ベスト16～




女子単優勝＝湯木博江（山陽女子，同校２回目）。同準優勝＝浦口恵子（山陽女子，同校２回目）

女子複準優勝＝湯木／浦口組（山陽女子，同校２回目）

男子単５位＝清水雄吉（倉敷工）



**第17回インターハイ**
**女子団体戦準優勝の山陽女子高チーム**
**後列左から＝西尾菊江・岩田定子・笹尾真理子・児玉祥の各選手**
**前列左から＝岡本三枝子・浦口恵子・湯木博江の各選手**
**（昭和41年度，於弘前市）**

昭和43年度第19回大会（福山市）

女子複：５位＝児玉祥／光畑直美組（山陽女子）

昭和47年度第23回大会（新庄市）

女子団体：５位＝山陽女子。女子複：３位＝三田明美／寺見みど里組（山陽女子）

昭和48年度第24回大会（四日市市）

女子団体：５位＝山陽女子。女子単：５位＝近藤小織（山陽女子）

昭和49年度第25回大会（嬉野市）

女子複：準優勝＝原田美智子／藤原敦子組，５位＝小寺裕美／日原禎子組（各山陽女子）

女子単：３位＝原田美智子（山陽女子）

### ②主な活躍のまとめ

昭和41年度から50年度までの10年間においても，山陽女子が前年代に続いてすばらしい活躍の跡を残している。同校の上位入賞をまとめると，団体準優勝１回，５位２回。複準優勝２回，３位１回，５位２回。単優勝１回，準優勝１回，３位１回，５位１回となっている。そして，湯木博江，浦口恵子，近藤小織，原田美智子，小寺裕美らの各選手は，日女体大に進学して全国優勝を果たすなど，さらにめざましい活躍を続けることとなった。

〔第Ⅰ章「高体連専門部の歩み」，第Ⅲ章「思い出５題」・「全国Ｖ重ね栄華極める」の項等参照〕

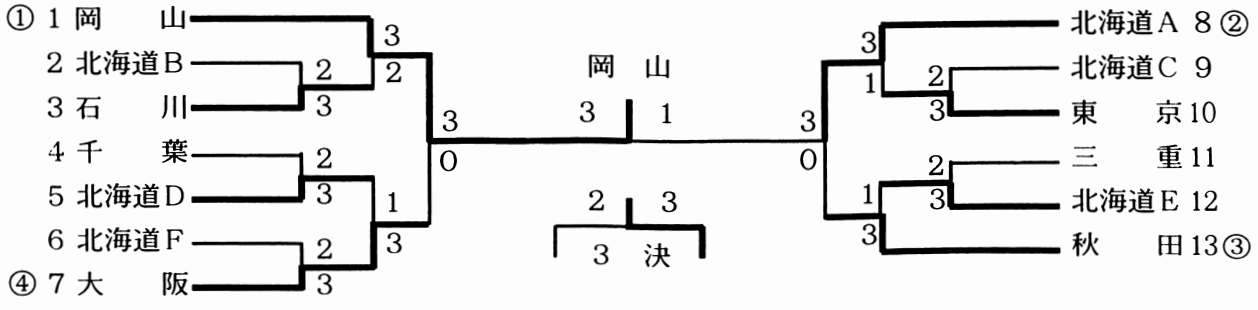
### ⑷全日本教職員選手権大会

**①岡山県チーム，選手の入賞一覧**（数字は順位＝１位～３位，＊年齢別は男子のみ）

| 回 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度 | S41 | S42 | S43 | S44 | S45 | S46 | S47 | S48 | S49 | S50 |
| 場所 | 北海道 | 富山 | 大阪 | 埼玉 | 岐阜 | 岡山 | 秋田 | 滋賀 | 熊本 | 栃木 |
| MT | 1 | 2 | 2 | 3 | | | | | | |
| MD | | 3 | | 2 | 1 | 3 | | | | |
| MS | 3 | | | | 3 | | | | | |
| LT | | | | | | | | | | 3 |
| LS | | | | | | | | | | 2 |
| OBT | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | |
| 30MD | 2 | | | | | | 1 | | | |
| 30MS | 2 | 2 | | | | | 3 | | | |
| 40MD | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 40MS | 2 | 1 | 1 | 1 | 2・3 | 1・3 | | 1・3 | 1 | 2 |

**②1966（昭和41）年度，第５回北海道大会**

**一般男子団体戦２連覇の跡**（○つき数字は順位，以下同）




岡山県チームは，前年度と同じメンバーで圧倒的に勝ち進み，２連覇を達成した。

個人戦：一般男子単３位＝三宅勝（成羽高）。30歳代単準優勝＝毛利清志（山陽学園）

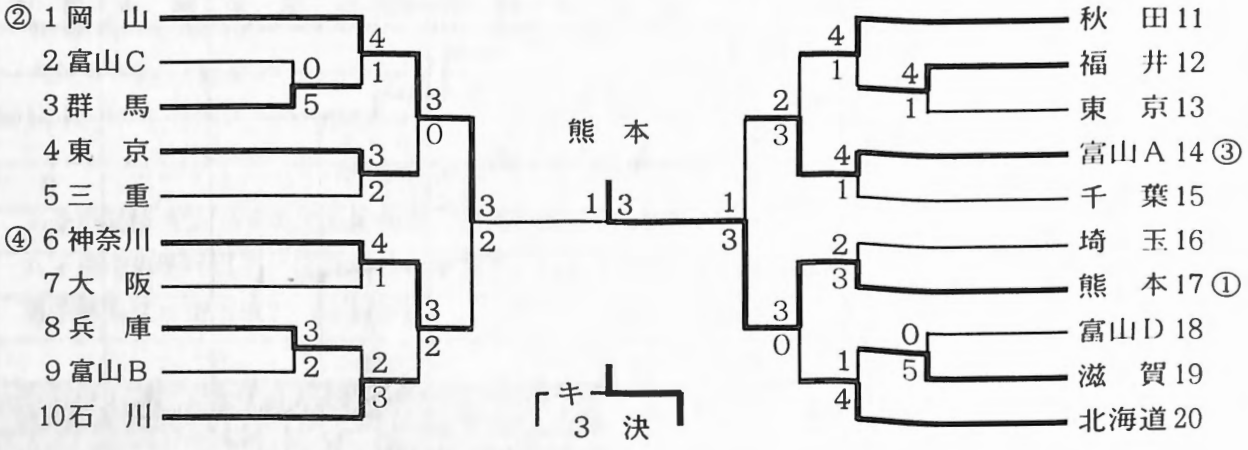
30歳代複準優勝＝毛利／西崎正明（岡山丸之内中）組

40歳代単準優勝＝山上周之（山陽学園）。40歳代複準優勝＝山上／金尾善六（井原高）



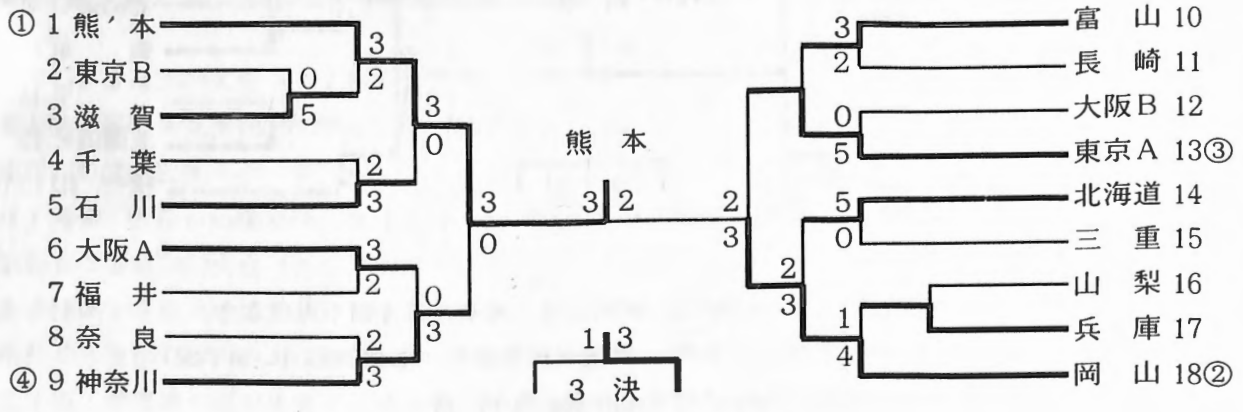
第５回全日本教職員選手権大会（昭和42年，於札幌市）
一般男子団体優勝の岡山県チーム
後列左から＝山上周之・柳本堯敏・三宅勝の各選手
前列左から＝毛利清志・西崎正明両選手

### ③1967（昭和42）年度，第６回富山大会　一般男子団体戦準優勝の跡



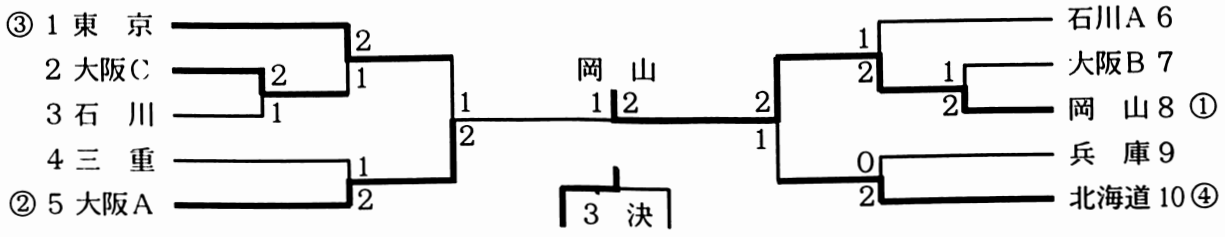

県チームは３連覇を目指して健闘したが，深夜に及ぶ決勝戦では熊本に破れて準優勝に甘んじた。
個人戦：一般男子複３位＝三宅／柳本堯敏（岡山旭東中）組。30歳代複優勝＝毛利／西崎組
40歳代単優勝＝毛利。40歳代複優勝＝山上／伊藤基記（熊本女子大）組

### ④1968（昭和43）年度，第７回大阪大会　一般男子団体戦準優勝（２回目）の跡



毛利，山上両選手は成壮年団体のメンバーにまわり，一般男子団体は，西崎正明，高田浩二（倉敷天城高），小松貴，藤井英雄（岡山市教委），三宅勝，柳本堯敏の各選手であった。３回目の優勝を目指して頑張ったが，決勝戦では前年優勝の熊本に２－３の惜敗となった。

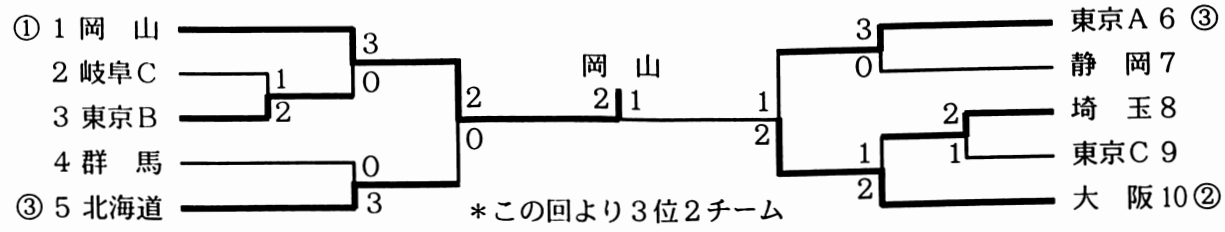
**⑤1968（昭和43）年度，第７回大阪大会，成壮年団体戦初優勝の跡**（この回より新設）




成壮年仲間では，毛利選手の単と毛利／山上組の複は抜群であり，成壮年団体戦で他を圧倒して初優勝を果たし，次年度からの連覇へ向けて幸先のよいスタートとなった。

団体戦：一般男子３位。個人戦：40歳代単優勝＝毛利清志。40歳代複優勝＝毛利／山上組

**⑥1969（昭和44）年度，第８回埼玉大会　成壮年団体戦２連覇の跡**




岡山県チームは，毛利，山上選手の安定した戦力が２連勝の原動力となった。

個人戦：40歳代単優勝＝毛利清志。40歳代複優勝＝毛利／山上組

なお，この年度から他の全国大会に準じて，３・４位決定戦を行わないことになった。

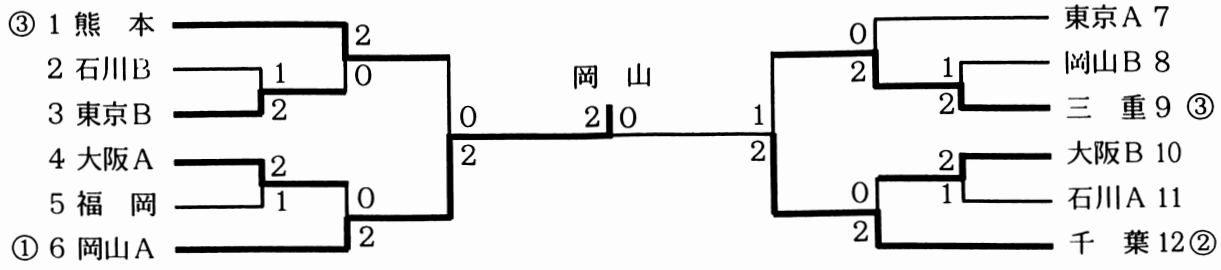
**⑦1970（昭和45）年度，第９回岐阜大会**

個人戦：一般男子複優勝＝三宅／柳本組。一般男子単３位＝三宅勝選手

40歳代単優勝＝毛利清志，同３位＝山上周之。40歳代複優勝＝毛利／山上組

三宅・柳本両選手が奮戦力闘し，一般男子個人戦複で初優勝の栄冠を勝ち取った。

**⑧1971（昭和46）年度，第10回岡山大会　成壮年団体戦３回目優勝の跡**

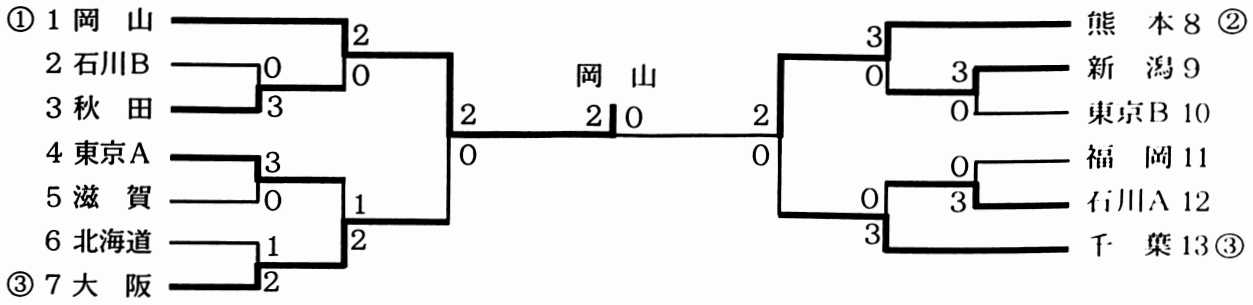


県チームはベテランの山上，毛利両選手に，30歳代新鋭の今東幸一，小松貴（各岡山市教委）両選手が加わり，全対抗ストレート勝ちで３回目の優勝を果たした。

個人戦：一般男子複３位＝三宅／柳本組

40歳代単優勝＝毛利清志。40歳代複優勝＝毛利／山上組

**⑨1972（昭和47）年度，第11回秋田大会　成壮年団体戦４回目優勝の跡**

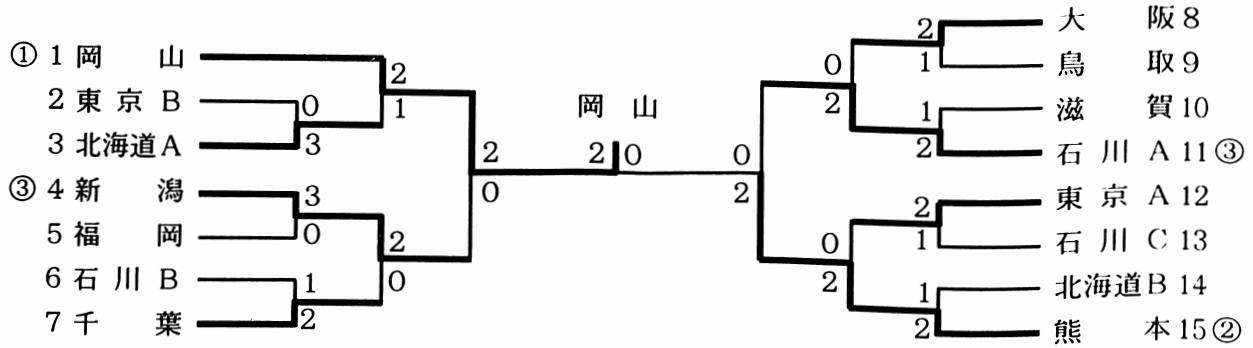



岡山県チームのエース毛利選手は，アキレス腱の切断で出場できなかったが，若手の藤井英雄選手（岡山市教委）の加わった成壮年団体は４回目の優勝を果たした。

個人戦：30歳代複優勝＝小松／藤井組。30歳代単３位＝小松貴

40歳代複２位＝西崎／山上組

**⑩1973（昭和48）年度，第12回滋賀大会　成壮年団体戦５回目優勝の跡**




岡山県チームは，山上，毛利，西崎，今東，小松，藤井の６選手で，５回目の優勝を飾った。

個人戦：40歳代複優勝＝毛利／山上組。40歳代単優勝＝毛利清志，同３位＝西崎正明

**⑪1974（昭和49）年度，第13回大会（熊本）**

この年度，成壮年団体はメンバー不足でチーム編成がまとまらず，昭和47年度からの一般男子団体不参加に続いて，成壮年団体戦も不参加となった。

個人戦：40歳代複優勝＝毛利／山上組。40歳代単優勝＝毛利清志，同３位＝山上周之

**⑫1975（昭和50）年度，第14回大会（栃木）**

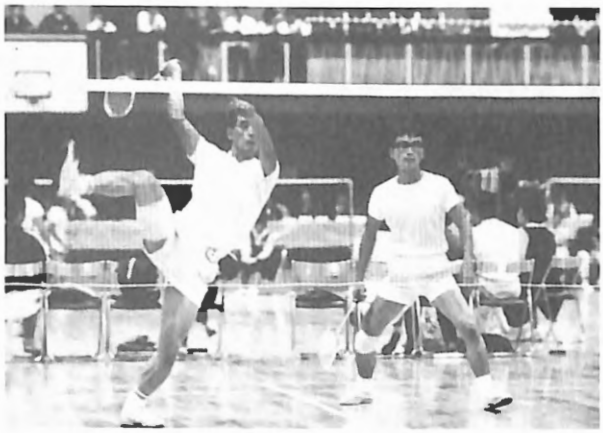
団体戦：一般女子３位

個人戦：一般女子単準優勝＝石田雅子（山陽女高～日女体大～岡山県教委）

40歳代複２位＝毛利／西崎組。40歳代単２位＝毛利清志

一般女子団体が石田選手の活躍で３位に入賞し，翌年の３冠獲得に向けて手応えをつかんだ。

〔第Ⅰ章「教職員連盟の歩み」，第Ⅴ章「教職員連盟の戦績」の項等参照〕



第９回全日本教職員大会，一般男子複優勝
決勝戦で奮戦中の三宅勝（左）・柳本堯敏組
（昭和45年，於岐阜市）



第10回全日本教職員大会
成壮年団体３連覇で受賞の岡山県チーム
左から＝毛利清志・小松貴・山上周之各選手
（昭和46年，於岡山）

### ⑸全国中学校選手権大会

1967（昭和42）年度に，第１回岡山県中学生選手権大会が行われ，４年後の46年度に，関係者待望の，第１回全国中学生選手権大会が東京で開催された。都道府県対抗の団体戦のみが行われ，岡山県の女子は，３校の混成チームで３位入賞を果たした。チーム編成は，監督＝毛利清志（山陽女子），コーチ＝小坂美綏子（瀬戸），マネージャー＝小橋勝広（倉敷西）。選手＝原田美智子，広瀬純子（各山陽女子）。国定久恵，藤原敦子（各瀬戸）。難波洋子，西朋子（各倉敷西）であった。男子も混成チームで参加したが初回戦で敗れた。

その後も毎年参加してきたが，この年代におけるベスト８以上の戦績は残っていない。




第１回全国中学生選手権大会開会式（昭和46年，於東京）
第３位の岡山県チーム
前から＝小橋マネージャー・原田・西・難波
藤原・国定・広瀬の各選手

### ⑹全日本社会人選手権大会

**①岡山県入賞選手**＜優勝～５位＝ベスト８（年齢別は優勝～４位）＊入賞の年代順＞

▷毛利清志選手（山陽学園教），30歳代～40歳代，単優勝６回，２位２回，３位１回。複優勝８回，２位２回，３位１回。（パートナー，山上）

▷山上周之選手（山陽学園職），30歳代～40歳代，単３位３回。複優勝９回，３位１回
（パートナー，毛利，伊藤＝熊本）

▷社　竹三選手（岡山市役所），50歳代単２・３位各１回。複優勝・２位各２回
（パートナー，小梶，伊藤＝熊本）

▷小梶繁雄選手（岡山市役所），50歳代単３位１回。複優勝・２位各１回。（パートナー，社）
▷岡本武利選手（岡山市役所），30歳代複３・４位各１回。（パートナー，神子戸・水川）
▷浦口恵子選手（山陽女高～日女体大～岡山鉄道管理局），一般女子単・複５位各１回
（パートナー，本間＝新潟）
▷水川捨夫選手（岡山市役所），30歳代複３位１回。（パートナー，岡本）
▷神子戸輝幸選手（岡山市役所），30歳代複４位１回。（パートナー，岡本）
▷石田雅子選手（山陽女高～日女体大～岡山県教委），混合複２位１回。（パートナー，関＝東京）

1971（昭和46）年度の第14回甲府大会には，年齢別の各種目に台湾の選手が参加して活躍した。40歳代の毛利／山上組は４連覇を果たしたが，毛利選手の単は，同大会で優勝したタイペイの選手に破れて５連覇を逃した。台湾の選手はその後も度々参加している。

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

▷湯木博江選手（日女体大～河崎ラケット），一般女子単優勝３回，２位２回。同複優勝５回。混合複２位１回。（パートナー，高木＝神奈川。柴山・池田・落合＝各東京）

湯木選手は第14回大会に初参加，５年間で単３回，複５回と計８回の優勝を果たした。

▷児玉　祥選手（三菱電機＝伊丹），一般女子単５位１回

**③倉敷工業高ＯＢの活躍**

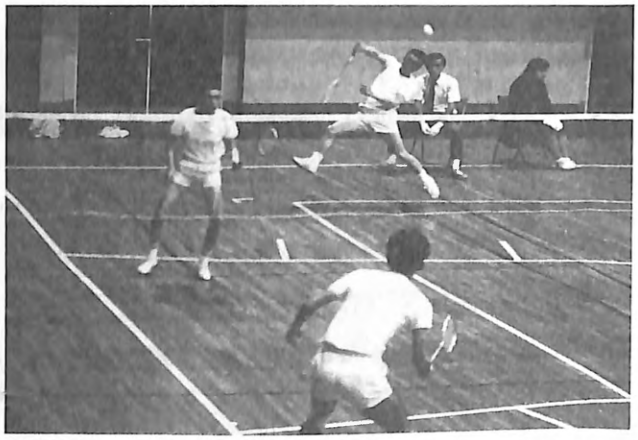
▷塩飽　初／武広二組（新日鉄広畑），一般男子複５位１回

**④和歌山県新宮高ＯＢの活躍**

▷岩田　勇選手（近畿大～ＮＴＴ関西），一般男子単５位１回



**第９回全日本社会人選手権大会，優勝記念**
**（昭和41年度，於長崎）**
**50歳複：左後＝社・左前＝小梶。**
**30歳複：右後＝毛利・右前＝山上の各選手**



**第12回全日本社会人選手権大会**
**（昭和44年度，於鹿児島）**
**30歳複。40歳単複の３冠獲得。**
**向こう側こちら向き，後＝毛利清志・前＝山上周之組**

**⑺全日本大学学生選手権大会**

1966（昭和41）年度からの10年間は，地元学生の特筆すべき戦績は残っていない。しかし，関東の大学に進んだ，岡山県出身の学生選手がすばらしい活躍の跡を残している。

**①山陽女子高ＯＧの主な活躍**

日女体大の湯木博江選手は，入学した昭和42年度の第18回大会で，団体と単に優勝して２冠を獲得し，複は２位であった。19回大会は団体，単，複の３冠制覇。20回大会は団体と単の２冠と複２位。

学生最後の21回大会では，単優勝，複２位，団体３位であった。なかでも単の４連覇は，昭和25年の第１回大会から，平成９年までの48年間において，男女を含むインカレ史上唯一の大記録である。

同輩の浦口恵子選手は，昭和43年度から団体メンバーに入り，第19回大会で団体優勝，複３位。第20回大会は団体優勝。21回大会では，団体３位，複４位の好成績を残した。

昭和46年度入学の石田雅子選手は，47年度第23回大会で，団体２位，複５位。24回大会は，団体２位，単複ともに３位。25回大会は，団体２位，複３位，単５位の記録を残している。

同吉田孝子選手は，昭和47年度第23回大会で，団体２位，複５位。24回大会は，団体２位，複３位。25回大会も，団体２位，複３位の活躍であった。なお，複は石田選手とのペアーであった。

昭和49年度入学の近藤小織選手は，50年度の第26回大会において，団体優勝の原動力として活躍し，複でも３位に入賞している。

**②倉敷工業高ＯＢの主な活躍**

法政大の斉藤敏行選手は，昭和46年度第22回大会で団体優勝。23回大会では団体準優勝，複５位。24回大会は団体３位と，上位入賞の跡を残している。

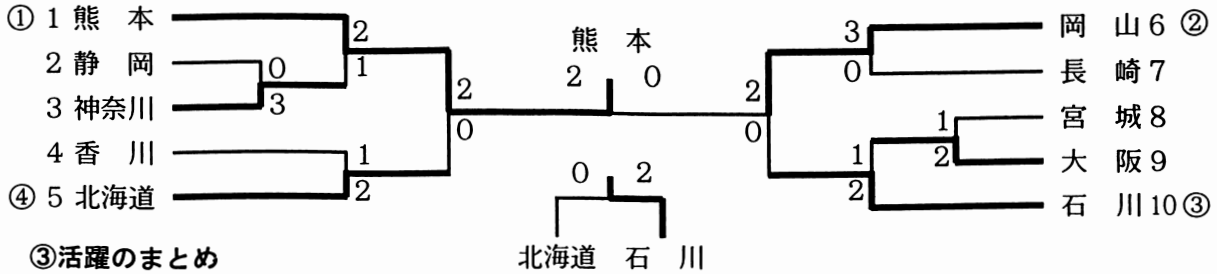
### ⑻国民体育大会バドミントン競技

**①各種別・総合の入賞と順位**＜昭和41～50年度，優勝～５位（ベスト８）＞

| 回 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 入賞 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開催地 | 大分 | 埼玉 | 福井 | 長崎 | 岩手 | 和歌山 | 鹿児島 | 千葉 | 茨城 | 三重 | 計 | 対前年代比 |
| 一般男子 | | | | | | | | | | | 0 | －5 |
| 一般女子 | | | × | 5 | × | | 5 | 5 | × | 3 | 4 | －5 |
| 高校男子 | 4 | 5 | × | 5 | × | × | × | × | | | 3 | －4 |
| 高校女子 | 3 | 5 | 5 | 5 | 5 | 3 | 5 | 5 | | 5 | 9 | －1 |
| 教員男子 | 3 | 5 | 3 | 2 | 4 | 5 | | 5 | | 5 | 8 | ＋2 |
| 天皇杯 | 3 | | | 6 | | | | | | 7 | 3 | －4 |
| 皇后杯 | 5 | 5 | | | | 3 | 8 | | | 2 | 5 | －5 |

注＝数字は順位，×位は中国地区予選落ち（一般男子は33回まで全県参加）

**②教員男子準優勝の跡**　第24回長崎国体（ブロック代表10チーム）




**③活躍のまとめ**

国体の成績は，各県別総合力の物差しの一つといわれるが，岡山県は上表左端の第21回大分大会までは，毎年のように総合成績で上位入賞を果たしてきた。しかしその後，総合成績の欄はまばらである。前年代10年間との対比を見るとマイナスが多く，一般男子は，高校や大学のトップレベルをスカウトして，強化を図る他県の実業団チーム等に歯が立たず，５位入賞はゼロであった。一般女子も同じ傾向の中で，５位３回のほか，大学新卒が活躍した年には３位入賞を遂げた。高校男子はブロック予選落ちが５回あり，入賞も３回に止まった。高校女子と教員男子は毎年参加し，上位入賞も多かっ

たが，他種別の援護射撃が今一つで，総合成績での入賞は天皇杯３回，皇后杯５回であった。

### ④思い出の写真集



大分国体　①開始式，岡山県選手団の入場行進
全種別参加
＜高校女子＝３位・教員男子＝３位・高校男子＝４位＞



②岡山県の各チーム　右手前から＝毛利（教男）・佐藤（高女）
小峪（高男）・芳上（高男）・清水（高男）・大賀（一女）
小合（一女）・湯木（高女）・重政（一女）・浦口（高女）



③高校女子３位，左後＝山上周之監督
左から＝浦口恵子・佐藤民子・湯木博江



④教員男子３位，左後＝渡辺弘美監督
左から＝毛利清志・三宅勝・柳本堯敏の各選手



⑤高校男子４位，左から＝清水雄吉・小峪充弘
毛利理事長・芳上一男・山上理事



埼玉国体時，両陛下に第４回ユ杯優勝の報告
日本協会本田弘敏会長・同森友徳兵衛理事長

⑤国体，岡山県の入賞種別とチーム編成＜昭和41～50年度，（5位＝ベスト8）＞

| 回 | 場所 | 種別 | 順位 | 監督 | 選手 | 総合成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 大分県 | 高男 | 4位 | 三木 福一 | 芳上 一男，小峪 充弘，清水 雄吉 | 天皇杯3位<br>皇后杯5位 |
| | | 高女 | 3位 | 山上 周之 | 湯木 博江，浦口 恵子，佐藤 民子 | |
| | | 教男 | 3位 | 渡辺 弘美 | 毛利 清志，三宅 勝，柳本 堯敏 | |
| 22 | 埼玉県 | 一女 | 5位 | 山上 周之 | 高塚 淳子，光岡 由枝，大賀 恵子 | 皇后杯5位 |
| | | 高男 | 5位 | 小原 健吾 | 森本 一郎，武 広二，田中 勝 | |
| | | 高女 | 5位 | 橋本千代子 | 岩田 定子，児玉 祥，亀山 園子 | |
| | | 教男 | 5位 | 渡辺 弘美 | 毛利 清志，三宅 勝，柳本 堯敏 | |
| 23 | 福井県 | 高女 | 5位 | 山上 周之 | 児玉 祥，光畑 直美，大山 恵子 | |
| | | 教男 | 3位 | 渡辺 弘美 | 毛利 清志，三宅 勝，柳本 堯敏 | |
| 24 | 長崎県 | 一女 | 5位 | 橋本千代子 | 光畑 直美，木村 宣子，鈴木 直美 | 天皇杯6位 |
| | | 高男 | 5位 | 小原 健吾 | 斉藤 敏行，片岡 忠明，田村 学 | |
| | | 高女 | 5位 | 山上 周之 | 延原美和子，坪田久仁子，吉田 孝子 | |
| | | 教男 | 2位 | 高田 浩二 | 毛利 清志，三宅 勝，柳本 堯敏 | |
| 25 | 岩手県 | 高女 | 5位 | 山上 周之 | 石田 雅子，吉田 孝子，剛迫ミエ子 | |
| | | 教男 | 4位 | 渡辺 弘美 | 毛利 清志，三宅 勝，柳本 堯敏 | |
| 26 | 和歌山 | 高女 | 3位 | 山上 周之 | 林 寿美子，平田喜久江，三宅 一美 | 皇后杯3位 |
| | | 教男 | 5位 | 高田 浩二 | 毛利 清志，三宅 勝，柳本 堯敏 | |
| 27 | 鹿児島 | 一女 | 5位 | 岡本 武利 | 鈴木 直美，木村 宣子，西尾 菊栄 | 皇后杯8位 |
| | | 高女 | 5位 | 山上 周之 | 三田 明美，寺見みど里，近藤 小織 | |
| 28 | 千葉県 | 一女 | 5位 | 山上 周之 | 木村 宣子，三田 明美，寺見みど里 | |
| | | 高女 | 5位 | 毛利 清志 | 近藤 小織，藤原 敦子，国定 久恵 | |
| | | 教男 | 5位 | 加藤 孝昭 | 三宅 勝，柳本 堯敏，岡本 次郎 | |
| 30 | 三重県 | 成男・教 | 5位 | 柳本 堯敏 | 三宅 勝，岡本 次郎，小田 和文 | 天皇杯7位<br>皇后杯2位 |
| | | 成女 | 3位 | 山上 周之 | 石田 雅子，三田 明美，藤原 敦子 | |
| | | 少女 | 5位 | 毛利 清志 | 岡部 五月，橋本 千春，小山 真弓 | |



第24回長崎国体，準優勝の教員男子チーム
（昭和44年，於諫早市）
後列左から＝三宅勝・毛利清志
前列左から＝柳本堯敏・高田浩二監督



第26回和歌山国体，第3位の高校女子チーム
（昭和46年，和歌山県湯浅町）
後列左から＝三宅一美・平田喜久江・林寿美子
前列＝山上周之監督

**⑥バドミントン殊勲！　石田で戦力アップ**　山陽新聞＜昭和50年10月31日より＞

○…県勢期待のバドミントンが女子総合２位に輝いた。成年女子が３位，少年女子のベスト８という活躍があって32年以来18年ぶりの快挙。特に成年女子は前日の準決勝で香川に１－２と惜敗したうっぷんを晴らすかのように，この日は岐阜を２－０のストレートで下した。その原動力となった石田選手（県教委）は，「決勝で先輩の湯木さん（山陽女高－日本女子体育大－河崎ラケット）のいる東京に胸を借りるつもりできたんですが，その前に敗れてしまった。だから岐阜戦では何としても勝たなければという気持ちで戦った」という。



第30回三重国体，第３位の成年女子チーム
（昭和50年，於松坂市）
左から＝山上周之監督・石田雅子・三田明美・藤原敦子（山陽新聞社提供）

山上監督（山陽女高職）は，「今春石田が大学を卒業して岡山に帰り戦力面がぐっとアップした。それだけに，女子総合上位入賞を合言葉に練習を続けてきた成果が実った」と喜んでいた。

**⑦「郷土勢健闘のあと」**　山陽新聞＜昭和50年11月１日より＞

岡山はバドミントンが成年女子の３位，少年女子と教員男子がベスト８に入り，女子総合２位，男女総合で７位と活躍した。男子は水島工高や倉敷工高，女子は山陽女子高の各体育館で毎日のように選手が集まって練習を続けた成果があらわれた。また全日本ダブルス３位の石田選手が岡山に帰ってきたことも大きな刺激になった。

**⑧山陽女子高ＯＧの活躍**

昭和46年に日女体大を卒業した湯木博江選手（河崎ラケット）は，成年女子東京代表として，翌年度からの第27回鹿児島国体，第28回千葉国体，第30回三重国体の３大会に優勝した。そして，第27・28回の両大会では，天皇，皇后両杯総合優勝の原動力ともなっている。

**⑼全日本総合選手権大会**

**①地元選手の活躍**

この年代で全日本総合選手権に推薦された県内の選手は，インターハイで活躍（ベスト８以上）した山陽女子高の選手と，全日本社会人で出場権を得た同校のＯＧであった。

41年度は，インターハイ単優勝の湯木博江，同２位の浦口恵子両選手，複２位の湯木／浦口組（単複とも２回目）であり，湯木選手の単と二人の複でそれぞれ５位に入った。

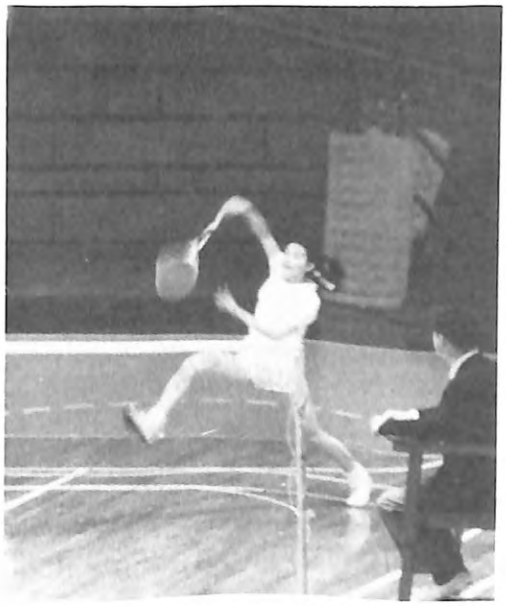
その後，47年度に，インターハイ複３位の三田明美／寺見みど里組。48年度に，単５位の近藤小織選手。49年度に，単３位の原田美智子選手，複２位の原田／藤原敦子組，同５位の小寺弘美／日原禎子組等が参加したが，上位には進出できなかった。

昭和50年度には石田雅子（山陽女高～日女体大～岡山県教委）が，全日本社会人の単５位と，混合複２位の実績で推薦されたが，本番では，両種目とも勝ち進めなかった。

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

昭和41年度，熊本女子大の高塚淳子選手は，単３位，複準優勝でナショナルチーム入りを果たした。しかしその後，母校での練習中にアキレス腱を断裂して，国際大会を断念した。

昭和42年度から50年度までの間に，大活躍した湯木選手（日女体大～河崎ラケット）の主な戦績は，単優勝５回，２位２回，３位１回。複優勝１回，２位３回，３位３回。混合２位１回であった。また同期の浦口選手（日女体大）は，単４位１回，５位１回。複５位１回であり，ともにナショナルチームに選ばれた。続いて47年度からの３年間に，石田雅子／吉田孝子組（各日女体大）も，３位１回，５位２回と健闘している。〔国際大会での活躍については，第Ⅱ章「国際大会で活躍した人」の項，第Ⅲ章「石田雅子選手」・「ＪＥＦＮＥＷＳ」の項等参照〕



**昭和41年度全日本総合**
**単３位・複準優勝の高塚淳子選手**
**（山陽女高～熊本女子大）**

**③全国高等学校選抜選手権大会**

1972（昭和47）年度から全国高校選抜選手権がスタートした。秋に県予選，正月に中国地区予選，年度末３月の春休みに全国大会を行う形で，次年度のインターハイを占う，２～１年生による選手権として，夏のインターハイに次ぐ大きな大会となった。

昭和47年度に山陽女子の近藤小織選手が単５位，翌48年度，同校の原田美智子／日原禎子組が３位，原田選手の単も準優勝と大活躍して，次年度のインターハイに向けてはずみをつけた。

49年度には男子の倉敷工業が団体と平田重男選手の単でそれぞれ４位を獲得し，岡山県高校男子の，全国大会ベスト４入りを通算４回に伸ばした。山陽女子は，団体と単の岡部五月選手，複の橋本千春／高木和子組がそれぞれ５位であった。50年度は女子のみの参加で，山陽女子の森下真紀選手が，同校にとって選抜大会２度目の，単準優勝を果たしている。

〔大会の創設と歩み等については，第Ⅰ章「高体連の歩み＝全国高校選選手権大会誕生の経緯と変遷」の項参照〕

## ４．国際大会

日本協会は，第５・６回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会，アジア大会等，各種国際大会に相次いで代表選手，役員を派遣した。岡山県関係の役員は，毛利清志（県協会理事長，日本協会常務理事＝山陽学園教）。選手は湯木博江（山陽女高～日女体大～河崎ラケット），岩田勇（和歌山県新宮高～近畿大），浦口恵子（山陽女高～日女体大）等であり，その活躍の跡は次のとおりである。

①タイペイオープン（昭和42年，於台北）　　監督：毛利清志

湯木博江＝単，複，混合複優勝＜３冠獲得＞

②マレーシア・シンガポールオープン
（昭和43年，於クアラルンプール・シンガポール）　監督：毛利清志
湯木博江＝単・複優勝

③日本対タイ親善大会（昭和43年，於バンコク）　監督：毛利清志
湯木博江他３名＝日本チーム全勝

④第４回国際大学学生選手権大会（昭和43年，於東京）
男子：岩田勇＝団体優勝，単５位
女子：湯木博江＝団体・単優勝

⑤全英選手権大会（昭和44年第69回～同50年第75回，於ロンドン）
湯木博江＝単３回優勝，複１回優勝

**「湯木博江選手」**第69回全英選手権初出場“単初優勝”に輝く。《大学２年時》
＜1969（昭和44）年３月，於ロンドン・ウエンブレー＞
全英選手権は，1901（明治34）年にスタートしており，各種国際大会の中で最も古い伝統がある。個人の世界選手権ともいわれ，現在も最高権威の大会として国際級選手のあこがれである。
湯木選手の優勝は日本にとっての初優勝でもあり，その快挙は内外の関係者に讃えられた。決勝での対戦者は，日女体大の先輩にあたる高木紀子選手であり，当時，日本のレベルが国際的にもトップにあったことを物語っている。
その後，第71回複優勝。第74・75・77回と単優勝を果たし，９年間に通算５回覇者となり，日本女子選手の実力を世界にアピールし続けた。（昭和51年～60年代の同項を参照）
湯木・高木両選手を中心とした日本チームは，同年５月に東京で行われた，第５回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（略称＝ユ杯）において，チャンピオンのタイトルを防衛した。
湯木選手は，その後もユ杯日本チームに選ばれて，第６・８回大会にも優勝するなど，日本がユ杯を５回獲得したうち，３回にわたって優勝に貢献している。

⑥デンマーク選手権大会（昭和44年～同49年，於コペンハーゲン）
湯木博江＝単２回優勝，複３回優勝

⑦第５回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会　コーチ：毛利清志
（昭和44年，於東京）　湯木博江，浦口恵子他＝日本チーム優勝
＜日本チームは昭和41年，第４回同大会初出場初優勝に続いて２連覇＞

⑧日本対アメリカ親善大会（昭和44年，於福岡）　監督：毛利清志
湯木博江，浦口恵子他＝日本チーム全勝

⑨第６回アジア大会（昭和45年，於バンコク）　湯木博江＝団体・単優勝

⑩カナダ選手権大会（昭和46年，於モントリオール）湯木博江＝単複優勝

⑪アメリカ選手権大会（昭和46年，於ラスベガス）　湯木博江＝複優勝

⑫第６回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会　監督：毛利清志
（昭和47年，於東京）　湯木博江他＝日本チーム優勝＜３連覇＞

⑬第３回世界招待選手権（昭和50年，於クアラルンプール）湯木博江＝単優勝

⑭第７回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（昭和50年，於ジャカルタ）

湯木博江，近藤小織他＝日本チーム準優勝

＜日本チームは，初優勝したインドネシアに決勝で敗れて４連覇成らず＞

※湯木博江選手の記録は優勝のみ（２位以下省略）

〔第Ⅱ章「国際大会で活躍した人」，第Ⅲ章「ユ杯で活躍した郷土勢」の項等参照〕

## ５，その他の活動

模範試合

①期日：1971（昭和46）年８月８日（日）＜第10回全日本教職員選手権岡山大会開会の前日＞

②目的：地元岡山の愛好者に，日本代表選手によるハイレベルなゲーム観戦の機会を与える。

③場所：岡山県武道館

④選手：トーマス杯争奪世界男子選手権大会日本代表

＜堺栄一，小島一平，栂野尾昌一＞

昭和45年度全日本社会人選手権大会複優勝

＜関一誠＞

ユーバー杯争奪世界女子選手権大会日本代表

＜高木紀子，天野博江，湯木博江，浦口恵子＞＊湯木，浦口両選手は山陽女子高出身




プログラム表紙



堺　選手



小島選手



栂野尾選手



関　選手



高木選手



天野選手



湯木選手



浦口選手

⑤入場券：一般・学生＝２００円。中学・高校生＝１００円。小学生＝５０円。　＊別に招待券

模範試合には，県内の一般，学生，生徒，児童を始め，一般観戦者を含む多数の入場者が得られた上，教職員大会参加の各都道府県代表選手，役員等も観戦に加わり，盛会であった。

当日，会場入口には当時日本の保持する「ユーバーカップ」が飾られ，入場者の注目を浴びた。

ユーバーカップ＝地球儀の上に，ラケットを持った女子選手の像が飾られた銀製のカップ
＜第Ⅰ章：バドミントンの歴史，ユーバー杯の写真参照＞

1966（昭和41）年，第４回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会に初出場した日本は，３連覇を誇るアメリカを破って初優勝を果たし，ユーバーカップを獲得して世界の注目を浴びた。

３年後，第５回大会のチャレンジマッチにおいても，前記女子選手たちを主力とした日本チームが初防衛に成功し，当時，日本はユーバーカップの保持国として５年目を迎えていた。なお，第５回大会日本チームのコーチは，第４代岡山県協会の毛利清志理事長であった。

〔第Ⅲ章「第５・６回ユ杯，岡山県関係特集(1)・(2)・(3)・(4)」，「ユ杯で活躍した郷土勢」の項等参照〕

## ６．栄光の跡（昭和41～50年度）

### (1)岡山県出身，県外進学選手の全国大会優勝

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム，選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,42 | 第18回全日本学生 | 女子団体 | 日女体大：湯木博江(山陽女高出)他 |
| | | 女子単 | 湯木博江(日女体大＝山陽女高出) |
| S,43 | 第19回全日本学生 | 女子団体 | 日女体大：湯木博江・浦口恵子(各山陽女高出)他 |
| | | 女子単 | 湯木博江(日女体大＝山陽女高出) |
| | | 女子複 | 湯木／裕組(日女体大＝山陽女高出／高岡女高出) |
| S,44 | 第20回全日本学生 | 女子団体 | 日女体大：湯木博江・浦口恵子(各山陽女高出)他 |
| | | 女子単 | 湯木博江(日女体大＝山陽女高出) |
| | 昭和44年度全日本総合 | 女子単 | 湯木博江(日女体大＝山陽女高出) |
| S,45 | 第21回全日本学生 | 女子単 | 湯木博江(日女体大＝山陽女高出)　前人未到の４連覇 |
| S,46 | 第22回全日本学生 | 男子団体 | 法政大：斉藤敏行(倉敷工業高出)他 |
| S,50 | 第26回全日本学生 | 女子団体 | 日女体大：近藤小織・原田美智子・小寺裕美(各山陽女高出)他 |

＊優勝計＝１０回〔第Ⅱ章の２「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### (2)岡山県協会関係，同県外進学・就職・在住選手の国際大会優勝

毛利清志役員（県協会理事長）：第５・６回ユ杯コーチ，監督。その他監督　4　　通算＝6
湯木博江選手（山陽女高～日女体大～河崎ラケット）：第５・６回ユ杯その他　24　　通算＝26
浦口恵子選手（山陽女高～日女体大）：第５回ユ杯　　通算＝1
岩田　勇選手（和歌山県新宮高～近畿大）：第４回国際大学学生　　通算＝1

＊優勝計＝３４回〔第Ⅱ章の３「国際大会で活躍した人」の項参照〕

## ⑶岡山県協会関係の全国大会優勝（その１）

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム，選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,41 | 第17回全国高校 | 女子単 | 湯木博江(山陽女子高) |
| | 第９回全日本社会人 | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 山上周之／伊藤基記組(山陽学園／熊本女子大) |
| | | 50歳男子複 | 社　竹三／小梶繁雄組(各岡山市役所) |
| | 第５回全日本教職員（２連覇） | 一般男子団体 | 山上周之・毛利清志(各山陽学園)<br>金尾善六(井原高)・西崎正明(丸之内中)<br>三宅　勝(成羽高)・柳本堯敏(岡山藤田中) |
| S,42 | 第10回全日本社会人 | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | 第６回全日本教職員 | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 山上周之／伊藤基記組(山陽学園／熊本女子大) |
| S,43 | 第11回全日本社会人 | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | | 50歳男子複 | 社　竹三／伊藤基記組(岡山市役所／熊本女子大) |
| | 第７回全日本教職員<br>＊成壮年団体戦新設 | 成壮年団体（初優勝） | 山上周之・毛利清志(各山陽学園)<br>大月史郎(岡山朝日高)，渡辺弘美(倉敷福田中) |
| | | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| S,44 | 第12回全日本社会人<br>＊この年度まで複数年代出場可能 | 30歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | 第８回全日本教職員 | 成壮年団体（２連覇） | 山上周之・毛利清志・正本利幸(各山陽学園)<br>西崎正明(岡山岡北中) |
| | | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| S,45 | 第13回全日本社会人 | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | 第９回全日本教職員 | 一般男子複 | 三宅　勝／柳本堯敏組(成羽高／岡山藤田中) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| S,46 | 第14回全日本社会人 | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| | 第10回全日本教職員 | 成壮年団体（３回目） | 山上周之・毛利清志(各山陽学園)<br>今東幸一・小松　貴(各岡山市役所) |
| | | 40歳男子単 | 毛利清志(山陽学園) |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組(各山陽学園) |
| S,47 | 第11回全日本教職員 | 成壮年団体（４回目） | 山上周之(山陽学園)，西崎正明(岡山岡北中)<br>今東幸一・小松　貴・藤井英雄(各岡山市役所) |
| | | 30歳男子複 | 小松　貴／藤井英雄組(各岡山市役所) |

### ⑶岡山県協会関係の全国大会優勝（その２）

| | | | |
|---|---|---|---|
| S，48 | 第16回全日本社会人 | 40歳男子単 | 毛利清志（山陽学園） |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組（各山陽学園） |
| | 第12回全日本教職員 | 成壮年団体（5回目） | 山上周之・毛利清志（各山陽学園）<br>西崎正明（岡山岡北中），今東幸一・小松　貴・<br>藤井英雄（各岡山市役所） |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組（各山陽学園） |
| S，49 | 第17回全日本社会人 | 40歳男子単 | 毛利清志（山陽学園） |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組（各山陽学園） |
| | 第13回全日本教職員 | 40歳男子単 | 毛利清志（山陽学園） |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／山上周之組（各山陽学園） |

＊優勝計＝38回〔第Ⅱ章の２「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### ⑷岡山県出身，県外在住選手の全国大会優勝数

| | |
|---|---|
| 湯木博江（現姓＝新沼，山陽女高～日女体大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝36 |
| 全日本実業団選手大会：団体＝２　単＝５　複＝３　混合＝４<br>全日本社会人選手権大会：単＝３　複＝５<br>全日本総合選手権大会：単＝４　複＝２<br>全日本チャンピオンズトーナメント：単＝１<br>国民体育大会：団体＝３　天皇杯総合＝２　皇后杯総合＝２ | |
| 斉藤敏行（倉敷工高～法政大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝２ |
| 全日本実業団選手権大会：団体＝１<br>全日本総合団体選手権大会：団体＝１〔＊昭和52年度に特別実施，翌年度から廃止〕 | |
| 勝山裕子（旧姓＝戸田，山陽女高出＜奈良市＞） | 通算＝２ |
| 全国家庭婦人競技大会：団体＝１　複＝１ | |

＊優勝計＝40回〔第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の項参照〕

## （４）昭和51年度～60年度

＜成年女子国体２連覇，全日本教職員大会女子３冠獲得＞

### １．県内総合大会と優勝選手

**⑴秋季選手権大会**

昭和33年度にスタートした後，40年代半ばから高校独自の大会が誕生して，一般（含学生）のみの大会を経過していた。しかし，昭和60年度から中・高校生の上位ランク選手の参加が認められ，再び，ジュニア層の競技力向上に好適な総合大会に生まれ変わって今日に至っている。

**⑵総合選抜選手権大会**

昭和38年度の第１回大会以来，“岡山県ナンバーワン”を決める県総合選抜選手権は，この年代でも引き続いて開催され，権威と伝統が保たれた。

この10年間における，上記２大会の単複優勝選手と特筆すべき活躍は下記の通りである。

**総合形式２大会の単複優勝者**（昭和51年度～60年度，前年度と重複選手の略歴は省略）

○男子単：浜中勉（愛媛県松山商業高～岡山大学）。三宅勝（水島工高教）。芳上一男（三井造船）。藤原道弘（倉敷工高～川崎製鉄）。若林邦任（水島工高～三井造船）

＊県総合選抜選手権の最高成績：５連勝＝若林邦任選手

○男子複：藤原航／松井一組（各三井造船）。藤原道弘／平田重男組（各倉敷工高～川崎製鉄）。藤原／芳上一男組（各三井造船）。山本清／若林邦任組（各三井造船）

＊県総合選抜選手権の最高成績：６回優勝＝藤原道弘／平田重男組

○女子単：岡部五月（山陽女高）。林正子（倉敷青陵高～岡山大学～同大学院）。石田雅子（山陽女高～日女体大～県教委～アサヒブレッド）。小寺裕美（山陽女高～日女体大～松本組）。河本小織（旧近藤＝山陽女高～日女体大～川崎ラケット～松本組）。原田美智子（山陽女高～日女体大～韓一銀行～松本組）。日原禎子（山陽女高～同短大）

＊県総合選抜選手権の最高成績：３連勝＝河本小織選手

○女子複：三田明美／藤原敦子組（各山陽女高～クラレ岡山）。石田雅子／林寿美子組（アサヒブレッド／山陽女高～日女体大～山陽学園教）。林／皿井由美子組（山陽学園教／山陽女高）。石田／貝原規子組（アサヒブレッド／山陽女高～同短大～岡山商工会）。小寺裕美／小山真弓組（松本組／山陽女高～大阪樟蔭女大～松本組）。河本小織／高田幹子組（松本組／四條畷学園高～同短大～サントリー～松本組）。原田美智子／合田なおみ組（松本組／山陽女高～松本組）。日原禎子／林里美組（各山陽女高～同短大）

＊県総合選抜選手権の最高成績：３連勝＝河本小織／高田幹子組

第１章「各連盟等の歩み」，第Ⅴ章「各連盟別，県大会の戦績」の項等参照

### ２．中国地区～東・西日本の各大会と主な活躍

**⑴中国中学校選手権大会**（男女団体，同個人単複の６種目）

1971（昭和46）年度の第１回全国中学生選手権大会開催の影響を受け，同年から中国中学生交換試合が行われてきた。55年度から全国大会が選抜形式に変わって予選会が必要となり，公式大会として，全国中学校選抜選手権大会中国地区予選会，兼中国中学校選手権大会が行われることになった。

昭和60年度の第６回大会までに，岡山県は第２回に６種目完全制覇。第４回は５種目。１・５・６回の３大会は４種目。最低の第３回大会でも３種目の優勝を勝ち取って，幸先のよいスタートとなった。この間，男子団体で白石中が３回優勝，女子団体も白石中が３冠獲得を含めて２回，備前中も２回優勝している。これらの好成績は，当時の関係各校指導者の熱意によるものであった。

**⑵中国高等学校選手権大会**

この年代の岡山県男子団体優勝は，水島工業が２回，倉敷工業と西大寺が各１回であり，その他は境港工業，柳井工業の各３回の優勝に圧倒された。また，男子単は５回，同複は２回優勝している。

一方，山陽女子は団体で10連勝を果たし，創設以来無敗の28連勝につなげた。そして，個人戦の単複でもそれぞれ９回優勝し，通算24回の３冠獲得を達成した。

**⑶全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会**

岡山県男子団体の優勝は倉敷天城と西大寺の各１回，同個人戦の優勝も単２回と複１回に止まり，６月の選手権と同様に鳥取，山口両県に中国地区の代表権をうばわれることが多かった。女子団体と複は山陽女子が10連勝を果たし，単も同校が９回優勝している。

**⑷中国高等専門学校選手権大会**

1979（昭和54）年度に第１回大会が開催され，津山工業高等専門学校（昭和40年度に活動開始，以下＝津山高専）が男子団体戦で準優勝しており，その後，この年代に団体優勝２回，同準優勝３回がある。57年度から新設された個人戦での優勝は，男子単２回，同複１回があり，この間，59年度には，山根直樹選手が前年度の中国・四国選手権に続いて，団体，単複の３冠王を獲得している。

**⑸中国・四国高等専門学校選手権大会**

この年代の始めから10年連続参加の津山高専は，男子団体優勝３回，２位３回，４位３回がある。個人複では，黒瀬／国富組，木村／山根組，山根／長瀬組，西井／延原組等によって計４回の優勝を果たし，３位にも２回入賞している。個人単優勝は，山根直樹選手の１回，準優勝は永原光彦，延原秀和両選手による計２回のほか，３位にも２回の入賞がある。この間，昭和58年度の第10回大会では，山根直樹選手が，津山高専初の団体，単複の３冠王に輝いている。

**⑹中国５大学学生競技大会**

昭和29年度の第１回大会以来，48年度までの男子団体は無敗記録（記録不明分は推測による）を保持しているが，49年度から60年度までの12年間では，優勝５回，２位６回であった。女子団体も48年度までに，２位２回以外は全て優勝しており，その後60年度までの12年間に優勝７回，２位４回と，岡山大が優位に立ってきた。しかし年月の流れに伴って，各県国立大勢のレベルが平均化してきたため，男女団体個人とも昭和40年代までのように，圧倒的な戦績は挙がらなくなってきた。

### ⑺中国学生選手権大会

1976（昭和51）年度に，国公立，私立の大学短大のすべてを含む大会として第１回が開催され，男女とも個人単複のみでスタートした。第２回からＢ級の単複，さらに，第４回からは混合複も加えられ，男女合計９種目が定着して今日に至っている。

**①岡山大学の主な活躍**

男子の優勝は計15回であり，その内訳は＜Ａ級単６，複２。Ｂ級単３，複４＞であった。

女子の優勝も計15回であり，その内訳は＜Ａ級単２，複５。Ｂ級単３，複５＞であった。

混合複優勝は計４回であり，岡山大は，男女通算優勝数34回を挙げている。

**②山陽学園短大の主な活躍**

山陽学園短大は，活動を始めてから大会参加までの年月は浅いが，下記の優勝記録を残した。

＜Ａ級単５，同複３。Ｂ級単２，同複４。混合複４＞通算18回

### ⑻実業団・社会人の活躍

**①中国実業団選手権大会**

男子活躍の筆頭は，昭和54年度から７連覇を果たした川崎製鉄Ａチームの活躍である。また，51年度から２連勝した三井造船の活躍を含めて，岡山県勢が計９回もの優勝を挙げている。準優勝も三井造船６回，川崎製鉄１回と，岡山県の両チームが他県を圧倒した年代であった。

女子のトップは松本組チームであり，昭和55年度からの２連勝に続いて，58年度からも３連勝し，計５回の優勝を果たした。なお，前年代後半の昭和48年度から３連勝したクラレ岡山も，51年度よりの２連勝を加えて通算５連勝につなげ，岡山県勢が計７回頂点に立った。

**②中国社会人選手権大会**

岡山県の男子単優勝は計５回であり，藤原道弘選手（川崎製鉄）の２連勝２回が光っている。複の優勝は鳥取県の７回が抜群で，岡山県は山口，島根両県に並んで１回に止まった。

女子単の優勝は通算９回，同複の優勝は通算８回であり，単複合計20回中，岡山県勢が17回の優勝を勝ち取った。なお，この間の活躍の中心は松本組チームのメンバーであった。

### ⑼国体中国のブロック大会（昭和54年度より上位２県が本国体に参加）

この年代での成年男子はフリー参加４回，優勝５回，２位１回で本国体10年連続参加。成年女子もフリー参加２回，優勝８回で本国体10年連続参加。少年男子はフリー参加２回，優勝３回，２位３回，３位２回で本国体７回参加。少年女子はフリー参加１回，優勝８回，２位１回で本国体10年連続参加。教員男子は昭和55年度の廃止まで，フリー参加１回，優勝３回で本国体は４回連続参加であった。なお，教員男子は昭和34年に新設されて以来，21年間（内フリー参加２回）にわたって，中国ブロック大会での連続優勝を果たし続けた。＜＊フリー参加＝中国地区予選なしで本国体に参加…＞

### ⑽　中国小学生大会（男女単複計４種目）

ジュニア対策に早くから積極的に取り組んでいた鳥取県において，昭和59年度の第１回大会と翌年度の第２回大会が開催された。岡山県は初回に参加しているが，第２回大会は不参加であった。

### ⑾中国・四国大学学生選手権大会

**①岡山大学の主な活躍**

男子団体は優勝２回，２位５回，３位２回がある。個人単優勝は浜中勉，家串友治，野呂裕紀（２連勝），上村敦也ら４選手による５回があり，２位は浜中，野呂，森脇紳二，宮廻智裕，森上祐介ら５選手による５回となっている。同複の優勝は上村／宮廻組の１回，２位は浜中／名智組，家串／近藤組，野呂／吉仲組，森上／尾崎組等の４回となっいる。

女子団体は優勝５回，２位１回，３位１回がある。個人単優勝は林正子選手の２連勝，同複優勝は片山／山崎組の１回，２位は安藤／東組，佐々木／小山組の計２回であった。

**②山陽学園短大の主な活躍**

前年代最後の昭和50年度に，初出場で３冠を獲得した山陽学園短大は，この年代の団体では，準優勝５回と３位１回がある。個人単の優勝は森下真紀，串田有子，竹原桂子ら３選手による３回と，２位は日原禎子，轟美智子両選手での２回があり，同複の優勝は日原／林組，貝原／森下組，轟恵美子／竹原組，竹原／相賀組等による４回，２位は相賀／轟組，轟／佐藤組による２回であった。

### ⑿中国・四国大学リーグ戦

1981（昭和56）年度に第１回がスタートし，男女とも１部から３部（各部＝６～７チーム）に別れて，２複３単による団体対抗のリーグ戦を行っている。各部の順位決定後，上部最下位チームと下部優勝チームとの入替え戦により，次年度の所属クラス（部）を決めることになっている。

**①岡山大学の主な活躍**

男子は，第１回に１部２位であったが第２回には優勝した。その後２部落ちしたが，昭和60年度には２部で優勝し，入替え戦にも勝って１部入りを果たした。

女子は，第１・２回と１部で優勝し，その後，３位２回でこの年代を終わっている。

**②山陽学園短大の主な活躍**

山陽学園短大は，第１回に女子２部で優勝。入替え戦にも勝って第２回から１部に昇格して２位，４位，３位，４位と，昭和60年度の第５回大会まで１部を維持した。

### ⒀中国・四国・九州大学学生選手権大会

**①岡山大学の主な活躍**

男子団体は２位と４位がそれぞれ２回，個人複では上村／宮廻組の４位が１回であった。

女子団体は優勝３回，２位と３位が各１回であった。個人戦では林正子選手が２連覇を果たし，松岡りえ選手が４位に入っている。複では林／岸組が優勝して，林選手の単複２冠獲得につなげ，金尾／二塚組が２位，山中／原田組が３位，小山／佐々木組が４位と，男子を上回る活躍であった。

**②山陽学園短大の主な活躍**

山陽学園短大の団体は優勝１回と３・４位も各１回であった。個人単では森下真紀，串田有子，竹原桂子らの３選手がそれぞれ優勝を果たし，日原禎子，森下両選手で２回の準優勝を遂げた。同複の優勝は森下／藤木史子組と竹原／相賀里香組による計２回があり，準優勝も日原／藤木組と串田／岡崎組で２回，３位は日原／林組の１回となっいる。

### ⑭東日本大学学生選手権大会

昭和53年度の第21回大会において，山陽女子高ＯＧの小寺裕美選手が女子単の優勝を果たし，同大会男子単では，倉敷青陵高ＯＢの橋本敏邦選手が単３位に入賞している。

### ⑮西日本大学学生選手権大会

この年代では，昭和53年度第18回大会での，山陽学園短大の団体５位が唯一の上位記録である。

## ３．全国大会と主な活躍

### ⑴全日本実業団選手権大会

男子団体戦参加数は，前年代の終わりに100チームを越え，女子も昭和55年度まで約40チームであったが，56年度の第31回大会では，一気に63チームに増えてピークに達した。日本実業団連盟は，前年度にも厳しい参加制限を設けたが，52年度の第27回大会から，団体個人とも“大シード制”を敷いて対応した。その後も大会の受入態勢や，レベルの平均化等による選手の健康管理なども考慮して，1982（昭和57）年度の第32回大会より，遂に“個人戦廃止”に踏み切った。

#### ①岡山県２回目の主管大会

1979（昭和54）年度の第29回大会は，県協会と県実業団連盟の主管により，岡山，倉敷両市において開催された。

参　　加　　数：男子団体＝101，女子同＝40。男子単＝92，同複＝76。女子単＝63，同複＝54。
30歳以上男子単＝56，同複＝43。40歳以上男子単＝30，同複＝18

県内参加チーム：男子６＝三井造船，川崎製鉄，三菱化成，三菱石油，クラレ岡山，旭化成
女子２＝川崎製鉄，三菱化成

県内個人参加数：男子単＝８，同複＝５。女子単＝６，同複＝６。30歳以上男子単＝５，同複＝２。
40歳以上男子単＝１

会　　場：岡山県体育館（10面），倉敷中央体育館（12面），川崎製鉄㈱体育館（８面）

運　　営：３年目を迎えた“大シード制”の組合せにより，合計30コートで運営された。

主　な　戦　績：男子団体＝三井造船と川崎製鉄が，大シードチームを破ってベスト16に入った。
30歳以上男子複２位＝藤原航／芳上一男組（三井造船），同単３位＝芳上一男

#### ②男子チームの主な活躍

この年代の団体戦では，10年連続参加の三井造船がベスト16入り４回，９年連続参加の川崎製鉄がベスト16入り５回と，昭和60年度には５位であった。前年度の実績により，ベスト16のチームが“大シード”されるようになった高い全国レベルに対し，若手有力選手の補強が不十分の中で，両チームともよく健闘した。個人戦では，三井造船の藤原／上野組が30歳複で第27・28回と３位，第29回大会では準優勝した。30歳単でも三井造船の芳上一男選手が第29回３位，第31回には準優勝を遂げた。

#### ③女子チームの大活躍

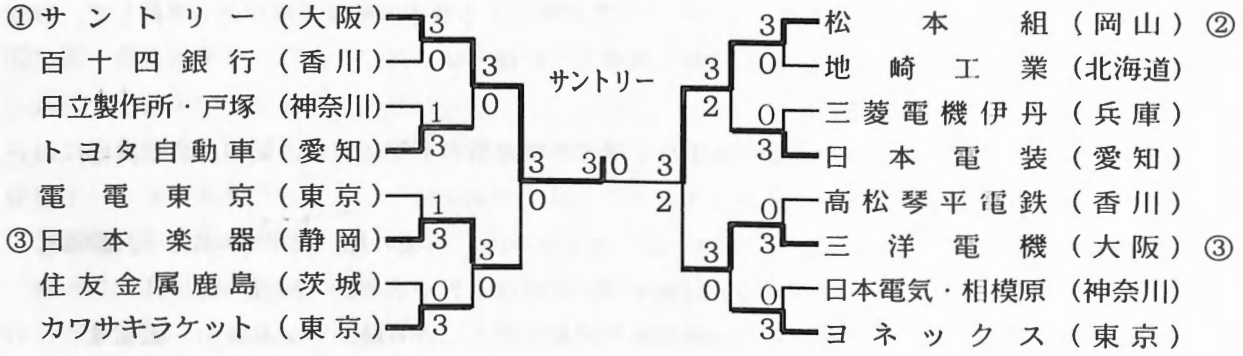
女子団体戦の特筆すべき活躍は，昭和57年度の第32回大会と，翌58年度の第33回大会における松本組チームの上位入賞である。チーム編成は，部長＝朝霧晴夫。監督兼選手＝河本小織（山陽女高～日女体大～河崎ラケット＜元ナショナルチーム所属＞），選手＝高田幹子（四條畷学園高～同短大～サン

トリー<元ナショナルチーム所属>)，小寺裕美（山陽女高～日女体大出)，合田なおみ（山陽女高出)〔＊第33回大会は，原田美智子選手（山陽女高～日女体大出）が小寺選手と入れ替わり〕と，両大会とも最小限のメンバー４名により，フル回転の大活躍であった。

第32回大会の準々決勝では，前年度準優勝の名門，三洋電機を３－２で破ってベスト４入りを果たした。準決勝では，この大会優勝のサントリーに１－３で敗れたが，昭和35年度の岡山市役所女子チームの３位入賞以来23年ぶりのベスト４入りであった。

第33回大会の松本組は第３シードから順調に勝ち上がり，準決勝では厚い選手層で雪辱に燃える三洋電機を，前年同様３－２の接戦で倒して決勝に勝ち進んだ。しかし，決勝では第１シードのサントリーに０－３で敗れて銀メダルに甘んじた。わずか４人で死力をつくし，スタミナの消耗度が大きかった松本組と，豊富な選手層で準決勝までの全試合を３－０で楽勝したサントリーとでは，あまりにもハンディキャップが大き過ぎた。因みに，岡山県女子の準優勝は，昭和32・33年度の岡山市役所チームの入賞以来25年ぶりの快挙であった。

**④松本組チーム準優勝の跡**（昭和58年度，第33回札幌大会＝57チーム参加，ベスト16～）



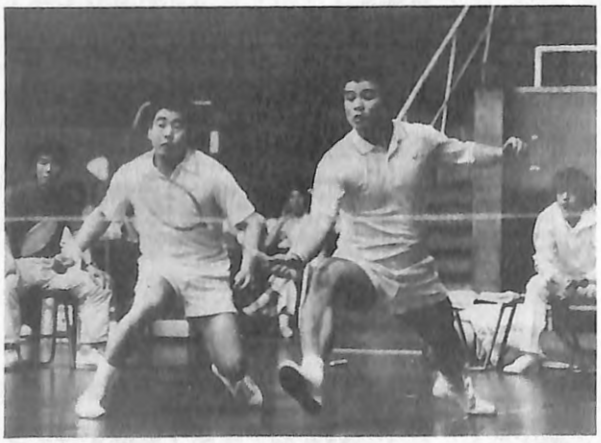

**⑤山陽女子高ＯＧの活躍**

湯木博江選手が前年代に続いて活躍し，昭和53年度からは，近藤小織選手も日女体大を経て河崎ラケットに入社して湯木先輩らとともに頑張った。両選手の主な活躍の跡は次のとおりである。

湯木選手：団体＝２位４回，３位３回，５位２回。単＝優勝３回，２位２回，３位１回
　　複＝優勝１回，２位１回，３位１回，５位１回。混合複＝２位１回

近藤選手：団体＝２位３回，３位１回。単＝優勝１回，３位２回。複＝５位２回

＊近藤選手は，昭和57年度から高田選手を伴って故郷の松本組に入社し，前記のように活躍した。



第28回全日本実業団選手権大会(昭和53年度，於東京)男子団体第３位，奮闘中の斉藤敏行(右)・今井組，河崎ラケットは第27回大会に優勝している




第33回全日本実業団選手権大会(昭和58年度，於札幌)女子団体準優勝，松本組チーム，後列左から＝石田会長・河本監督兼選手。前列左から＝合田・原田・高田各選手，朝霧部長

**⑥倉敷工業高ＯＢの活躍**

斉藤敏行選手は，法政大を経て昭和51年度から河崎ラケットに入社し，６年間にわたって，団体優勝１回と３位入賞５回に貢献し，個人複でも５位１回の戦績を残している。

**⑦水島工業高ＯＢの活躍**

守安達二選手は，法政大を経て昭和57年度から電々近畿（現ＮＴＴ関西）に入社し，団体戦において，５年連続５位入りに貢献した。

### ⑵全日本家庭婦人大会

1983（昭和58）年度に日本協会傘下の「日本家庭婦人連盟」が設立され，同連盟主管による第１回大会が東京で開催された。30・40・50歳代（当初，45歳代であったが，その後50歳代に変わり，現在に至っている）の３ペアーによる都道府県対抗で，予選リーグを経て決勝トーナメントを争う形式の大会と，各地区予選で代表権を獲得しての，クラブ対抗の大会が同時に行われている。

岡山県チームは，昭和59年度の第２回大会に初参加したが，予選リーグ３位に止まり，決勝トーナメントには出場できなかった。なお，翌年の第３回大会は不参加となっている。また，クラブ対抗は，中国地区予選会で代表権が獲得できないため不参加がつづいている。

**①山陽女子高同窓生の活躍**

勝山裕子選手（旧姓戸田＝奈良）は，別団体の「全国家庭婦人連盟」主催による全国家庭婦人連盟競技大会において，前年代末の第２回大会に続いて，昭和51年度の第３回と，翌年度の第４回大会でも団体と複に優勝し，３年連続２冠獲得の大活躍であった。なお，全国家庭婦人連盟は「日本家庭婦人連盟」の設立にあわせて解散した。〔第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### ⑶全国高等学校選手権大会

1977（昭和52）年度の第28回大会は，倉敷市において開催された。地元関係者に期待される一方，男子は10年連続ベスト８入りもなく，女子も２年間不振続きでの地元開催となった。

戦績：男子団体５位＝水島工業。女子団体５位＝山陽女子

開催県は恒例によって，団体個人とも２倍のエントリーが認められた。しかし，岡山県勢の男子水島工業は，同大会２位の金沢市立工（石川）に，山陽女子は優勝した四條畷学園（大阪）にそれぞれ敗れてベスト８に止まった。個人戦もすべて惨敗に終わって，メダル獲得はゼロとなり，地元の期待に応えられない反省の多い大会となった。

地元インターハイでの県代表チームや選手は，上位入賞をめざして頑張ったが，ベスト８が男女団体の２種目に止まり，その後も下記のように，個人戦の５位が３回のみであった。この10年間は，昭和24年度に，県高体連専門部が活動を始めて以来の“低迷の年代”となった。

1980（昭和55）年度，男子単５位＝若林邦任（水島工業）

1983（昭和58）年度，男子単５位＝今東　建（西大寺）

1985（昭和60）年度，女子複５位＝近常直美／西林昭子組（山陽女子）

### ⑷全日本教職員選手権大会

**①主な活躍のまとめ**

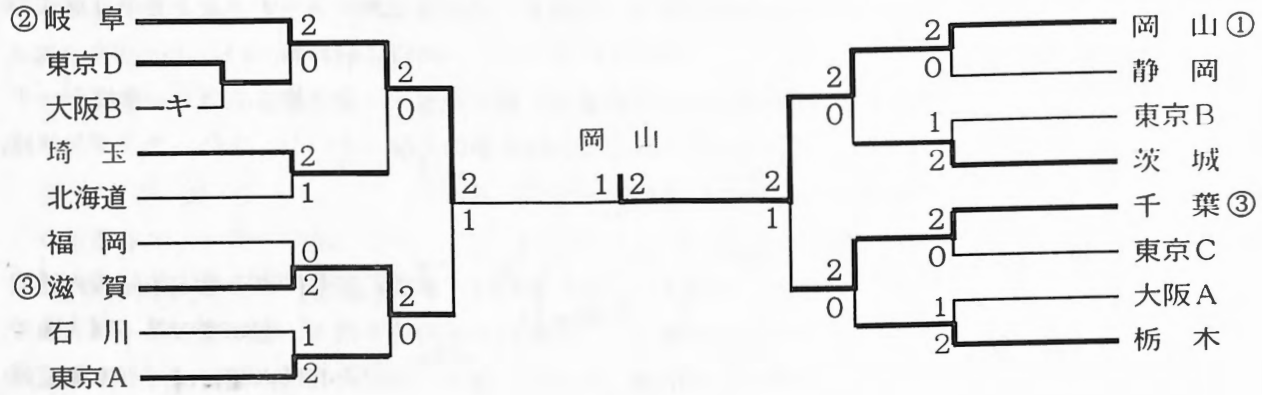
岡山県チームは，石田雅子選手（山陽女高～日女体大～県教育委員会）と，林寿美子選手（山陽女

高～日女体大～山陽学園教）の二人であった。50年度の団体戦は，石田選手中心の活躍で３位に入賞したが，51年度には，１年後輩の林選手がチームに加わり，団体戦で念願の初優勝を飾った。石田選手は，単・複（林）にも優勝して３冠に輝き，林選手も石田選手との複を加えて２冠を獲得した。

なお，混合複では三宅勝（水島工高教）／石田組が準優勝し，小田和文（総社東中教）／林組も３位入賞を遂げた。年齢別では，40歳代複で毛利清志／西崎正明組（山陽学園教／県保健体育課）が優勝を果たし，毛利選手の単も準優勝であった。

続いて，52年度の40歳代複における，毛利／西崎組の３位入賞を最後に，岡山県の上位入賞は途絶えた。年月の経過につれて選手層も入れ替わり，男子は，チーム編成に苦労しながらの団体戦参加を繰り返し，女子はチーム編成のできない年が多く，特に後半は男女とも不振の年代に終わった。

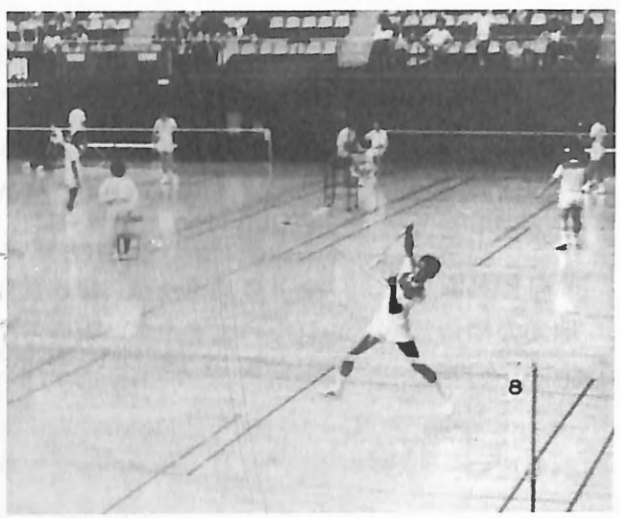
**②一般女子団体戦優勝の跡**　1976（昭和51）年度，第15回東京大会（○つき数字は順位）




### ⑸全日本高等専門学校選手権大会

1976（昭和51）年度に開催された第１回東日本高等専門学校大会が，翌昭和52年度から日本協会主催による，第１回全日本高等専門学校選手権大会に発展移行して，略称「全日本高専大会」が誕生した。この年代における津山高専は，53年度の第２回大会初参加を含めて，第４回，第８回，第９回と中国地区の代表権を勝ち取り，60年度までに，４回にわたって参加活躍してきた。

特筆すべき活躍は，個人戦単における山根直樹選手であり，昭和58年度の第７回大会に第３位，翌年の第８回八王子大会には準優勝して同校初の銀メダルに輝いた。なお60年度の第９回大会では，西井／結城組の複が５位に入っている。



昭和59年度，第８回大会の単で準優勝した山根直樹選手（津山高専）決勝までに４人を破り，優勝戦では小田選手（高知高専）に１－２で惜敗

### ⑹全国私立短大体育大会バドミントン競技

#### ①山陽学園短大の主な活躍

1982（昭和57）年度第17回山口大会に初参加した同短大は，翌年度の第18回東京大会において，早くも初優勝を果たした。栄冠に輝いたのは，個人単の竹原桂子選手（山陽女高出）であったが，同選手は，高校時代に全国高校選抜選手権の単でも３位入賞の実績があり，持ち前の攻撃力を活かしての“全国大会初優勝”であった。さらに同大会では，相賀里香選手の単も３位に入賞して山陽学園短大の名を高めた。

翌59年度札幌大会では団体戦で３位に入賞し，相賀選手の単も５位に入った。〔第Ⅰ章「山陽学園短大の歩み」の項参照〕



第18回大会（昭和58度，於東京）
単優勝の竹原桂子選手（山陽学園短大）

**⑺全国中学校選手権大会**

1979（昭和54）年度の第９回大会までは，県単位による団体戦のみが行われ，同大会で岡山県の女子は，岡本次郎監督（上南中）のもと，上南中１名，白石中５名の混成チームで５位であった。

翌55年度の第10回大会から，地区選抜の学校対抗に変わり，男女とも中国地区で優勝した中学校が，全国大会への出場権を獲得することになった。また，個人戦も新設され，地区１位（後年地区２位まで）が，全国大会へ出場することとなった。そして，同年度の大会では男子団体の倉敷西中が５位に入り，女子複では，白石中の中川史子／山川奈緒美組が３位入賞を果たした。

昭和56年度の第11回大会の団体戦では，男子の倉敷福田中と女子の白石中が，それぞれ５位に入っている。58年度の第13回大会でも，男子団体の白石中が５位に入り，女子単では備前中の西林昭子選手が，３位入賞を遂げて銅メダルを獲得した。

**⑻全日本社会人選手権大会**

**①大会の発展経過**

参加者が増加の一途をたどる中で，1978（昭和53）年度から女子の年齢別が加わり，大会規模はピークに達した。国体のリハーサル大会としても無理があるため，1984（昭和59）年度の第27回大会より年齢別の全種目を切り離して，一般男女単・複・混合複の５種目のみの大会とした。そして，全日本総合選手権に次ぐ，権威の高い個人の選手権大会が誕生し，各支部協会の参加制限もいくらか緩和された。一方30歳以上の年齢別の各種目は，「全日本シニア選手権」として新たな大会が誕生し，別の会期に別会場で開催される運びとなった。

**②岡山県の入賞選手**＜優勝～５位＝ベスト８（年齢別＝優勝～３位）＊入賞の年代順＞

▷河本小織選手（山陽女高～日女体大～河崎ラケット～松本組），一般女子単３位１回，５位１回。同複２位１回，５位２回。（パートナー，高田）

▷高田幹子選手（四條畷学園高～同短大～サントリー～松本組），一般女子複２位１回，５位２回。混合複３位１回，５位１回。（パートナー，河本，山本）

▷芳上一男選手（備南高～三井造船），30歳代単優勝２回，同複優勝２回。（パートナー，藤原）

▷石田雅子選手（山陽女高～日女体大～県教育委員会～アサヒブレッド），混合複３位２回。一般女子

複５位１回。（パートナー，関＝東京，小寺）
▷藤原　航選手（備南高～三井造船），30歳代複優勝２回。（パートナー，芳上）
▷山本　清選手（三井造船），混合複３位１回，５位１回。（パートナー，高田）
▷原田美智子選手（山陽女高～日女体大～韓一銀行～松本組），一般女子複５位１回
▷若林邦任選手（水島工高～三井造船），一般男子単５位１回
▷藤原道弘／平田重男組（各倉敷工高～川崎製鉄），一般男子複５位１回
▷毛利清志選手（山陽学園教），40歳代単２位１回
▷岡本武利／水川捨夫組（各岡山市役所）40歳代複３位１回
▷相賀節子／小林桂子組（岡山市役所／山陽女高ＯＧ），40歳代複３位１回。

**③山陽女子高ＯＧの活躍**

▷湯木博江選手（日女体大～河崎ラケット），一般女子単優勝５回，３位１回。複３位２回，５位３回。（パートナー，池田．千葉．高岸＝各東京）
▷近藤小織選手（山陽女高～日女体大～河崎ラケット），一般女子単優勝１回，２位１回，５位１回。複２位１回，３位１回，５位１回。（パートナー，渡辺＝東京）
▷原田美智子選手（山陽女高～日女体大～韓一銀行），一般女子複優勝１回，３位１回。混合複３位１回。（パートナー，渡辺．池田．田所＝各東京）

**④倉敷工業高ＯＢの活躍**

▷斉藤敏行選手（法政大～河崎ラケット），一般男子複２位１回，５位１回。混合複２位１回，５位２回。（パートナー，今井．渡辺＝各東京）

**⑤主な活躍のまとめ。**

県内一般女子のめざましい活躍の筆頭は，元ナショナルチーム所属の河本（旧姓近藤），高田両選手であった。さらに，石田，原田両選手なども大学でレベルアップし，学生時代の豊富なキャリアを存分に活かして，岡山に新風を吹き込む活躍ぶりであった。

一般男子の藤原／平田組（各川崎製鉄）と，同単の若林邦任選手（三井造船）がもっとも充実していた年代であり，厳しい対戦者[illegible]ベスト８入りを果たした。また，30歳代複優勝の藤原／芳上組は昭和44年度の毛利／山上組以来11年ぶり，単の芳上選手は昭和40年度の毛利選手以来14年ぶりの優勝であった。単複にそれぞれ２回の優勝を遂げた芳上，藤原両選手の活躍もみごとであった。

**⑼全日本ジュニア選手権大会**

**①大会創設の経緯と発展**

1982（昭和57）年度に，ジュニア育成目的での第１回大会がスタートした。スケジュールの調整が間に合わず，12月中旬の強行開催となったので，中学，高校生の試験期に当たり，有力選手を含む不参加が多く，盛り上がりに欠ける大会となった。さらに，大会２日目が全日本総合選手権と重なって，ジュニア選手権の１・２位を，総合選手権の予選に出場させる計画も実現しなかった。

当初の参加資格は，①インターハイのベスト32（２・１年生）。②全中大会のベスト４。③地区推薦の高校単１名複１組（２・１年生）。④日本協会推薦若干名であった。平成元年度から，県単位による中学新人（２・１年生）の単が加わり，同４年からジュニアも単のみとなって，地区推薦から全県参加に出場枠が拡がった。

なお，大会上位の選手には，２月の全国ジュニア強化合宿や，３月にはヨーロッパ遠征のチャンス

を与えるなど，ジュニア育成強化の目的が軌道にのり，成果を挙げながら今日に至っている。

**②中国地区と岡山県の参加状況**

中国地区の参加は，鳥取県の提案により輪番制でスタートし，昭和57年度の第１回に鳥取県，58年度の第２回は島根県が参加した。59年度の第３回には，60年度の国体開催が決定していた鳥取県が特別参加し，60年度に山口，61年度に広島，62年度の第６回にようやく岡山県に輪番がきた。

第７回からは，全国並に地区予選が開始されたが，岡山県は男女とも予選落ち。地区代表としては，第８回に男子のみ，第９回に女子のみが参加している。この間の第３・４回に，岡山県はインターハイ実績で出場権を得た女子が参加した。第10回は男女とも地区予選落ちしたが，平成４年度の第11回大会より全県参加に変わり，毎年参加をつづけて現在に至っている。

**③岡山県の主な活躍**

昭和59年の第３回大会に，インターハイの実績で参加した山陽女高の近常直美／竹原純子組が，５位に入ってこの年代を終わった。〔第Ⅴ章「戦績＝全日本ジュニア選手権」の項参照〕

**⑽全日本大学学生選手権大会**

1976（昭和51）年度からの10年間は，地元学生の特筆すべき戦績は残されていない。しかし，関東に進学した岡山県出身の学生選手が，めざましい活躍の跡を残している。

**①山陽女子高ＯＧ，日女体大時代の主な活躍**

1976（昭和51）年度の第27回大会において，日女体大は団体戦に９回目の優勝を果たした。当時のメンバーのうち，山陽女子高ＯＧは，２年生原田美智子，小寺裕美の２選手であった（３年生の近藤小織選手は，国際試合で遠征中）。翌年の第28回大会の団体戦も準優勝を遂げ，さらに，第29回大会の団体戦でも，原田，小寺両選手を中心として準優勝を果している。

個人戦では，近藤小織選手の単優勝１回と複３位１回があり，原田美智子選手も，複３位２回（内１回は小寺選手とのペアー）の入賞がある。昭和57年度の第33回大会における，皿井由美子選手の複３位がこの年代最後の入賞となった。

**②水島工業高ＯＢ，法政大時代の活躍**

守安達二選手は，昭和53年度からの団体戦において，３位入賞２回と５位入り２回に貢献した。

**⑾国民体育大会バドミントン競技**

**①各種別・総合の入賞と順位**＜昭和51～60年度，優勝～５位（ベスト８）＞

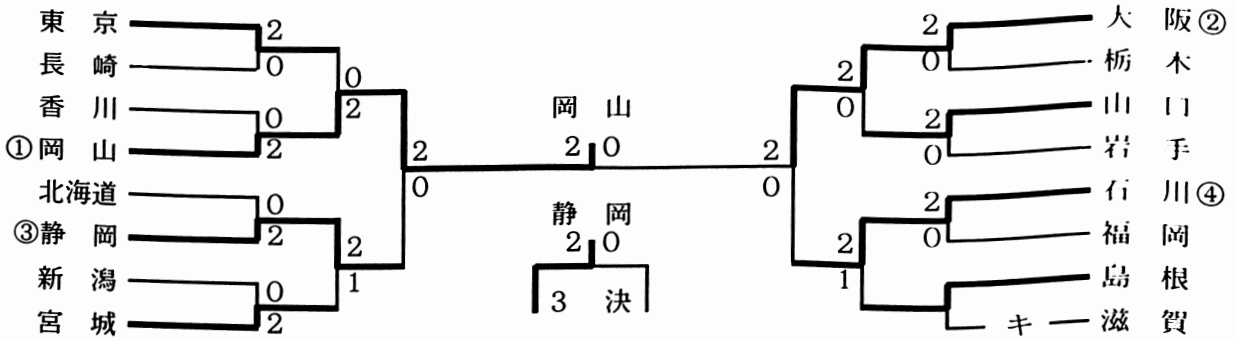
| 回 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 入賞 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開催地 | 佐賀 | 青森 | 長野 | 宮崎 | 栃木 | 滋賀 | 島根 | 群馬 | 奈良 | 鳥取 | 計 | 対前年代比 |
| 成年男子 | | | | 5 | | | | | 5 | 5 | 3 | ＋3 |
| 成年女子 | 5 | | 5 | 5 | | | 1 | 1 | 5 | 5 | 7 | ＋3 |
| 少年男子 | × | × | | | 5 | | × | | 4 | | 2 | －1 |
| 少年女子 | | 5 | | | | | | | | | 1 | －8 |
| 教員男子 | 5 | 5 | | | ＊昭和55年度より教員男子の種別廃止 | | | | | | 2 | －6 |
| 天皇杯 | | | | | | | (9) | (9) | 4 | 8 | 2 | －1 |
| 皇后杯 | 8 | 7 | 8 | | | | 2 | 2 | 8 | 7 | 7 | ＋2 |

＊①数字は順位，②×印は中国地区予選落ち（成年男子は33回まで全県参加）

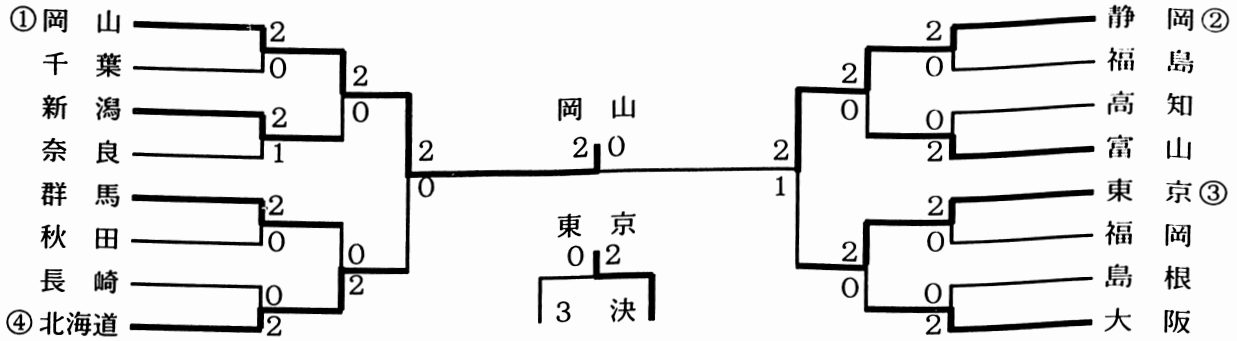
**②成年男女の主な活躍**

成年男子は，全国各地の有力な実業団チームが，高校や大学の優秀選手をスカウトして強化をはかる悪条件の中で，貴重な５位入賞３回（前年代ゼロ）を遂げた。同女子は，計７回の入賞を果たしたが，特に昭和57年度の第37回大会より，元ナショナルチームの近藤，高田両選手に小寺選手の加わったトリオが，豊富な経験によって初優勝を含む２連覇を果たし，岡山県女子の名を全国に高めた。

**③成年女子初優勝の跡**　1982（昭和57）年度，第37回島根国体（○つき数字は順位）




**④成年女子２連覇の跡**　1983（昭和58）年度，第38回群馬国体（○つき数字は順位）




**⑤主な活躍のまとめ**

少年男子は前年代に続く低迷の中で，第39回大会では，岡山県２度目の４位入賞を果たし，天皇杯総合４位の原動力となった。前年代まで毎年のように入賞してきた少年女子は，５位入賞１回の不振に落ち込み，前年代まで得点源的な活躍をしてきた教員男子は，第35回大会から廃止となった。

成年女子が２連勝した２年間には，他種別の入賞がゼロで援護射撃ができず，せっかくの種別優勝を活かして，総合成績における上位入賞を果たすことができなかった。ところが，成年女子引退後の第39回大会では，３種別が入賞して天皇杯総合４位という，予想以上の“皮肉な好成績”を挙げ，喜びの反面，総合優勝の難しさを思い知らされた年代でもあった。

成年女子は，有力選手の県内受入れが功を奏し，地区予選２位の少年男子は，組合せに恵まれた幸運も見逃せないが，全体としては県協会挙げての選手強化事業の成果であった。

〔第Ⅲ章「国体優勝まで」，「天皇杯４位へ進出」，「岡山２年連続Ｖ」の項等参照〕

### ⑥山陽女子高ＯＧの活躍

湯木博江選手は，前年代に続いて東京代表として大活躍した。昭和51年度の第31回佐賀国体，第32回青森国体，第36回滋賀国体と，前年代からの通算で６回の優勝を果たしたが，第37回島根国体では，初優勝を果たした岡山県チームに敗れて５位であった。しかし，大学卒業後，十数年間にわたる現役選手としての活躍は立派であり，国体における６度の優勝は，全国的にも唯一の大記録である。

### ⑦国体，岡山県の入賞種別とチーム編成＜昭和51～60年度，（５＝ベスト８）＞

| 回 | 開催地 | 種別 | 順位 | 監　督 | 選　手 | 総合成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 | 佐賀県 | 成女 | ５位 | 西崎　正明 | 石田　雅子，林　寿美子，藤原　敦子 | 皇后杯８位 |
| | | 教男 | ５位 | 虻江　優 | 三宅　勝，岡本　次郎，小田　和文 | |
| 32 | 青森県 | 少女 | ５位 | 毛利　清志 | 田辺　淑子，梶田　百枝，亀山　映子 | 皇后杯７位 |
| | | 教男 | ５位 | 柳本　堯敏 | 三宅　勝，岡本　次郎，小田　和文 | |
| 33 | 長野県 | 成女 | ５位 | 岡本　武利 | 石田　雅子，林　寿美子，林　正子 | 皇后杯８位 |
| 34 | 宮崎県 | 成男 | ５位 | 虻江　優 | 藤原　航，芳上　一男，藤原　道弘 | |
| | | 成女 | ５位 | 岡本　武利 | 石田　雅子，小寺　裕美，岡部　五月 | |
| 35 | 栃木県 | 少男 | ５位 | 岡本　恒夫 | 青木　隆久，西江　均，若林　邦任 | |
| 37 | 島根県 | 成女 | 優勝 | 藤原　航 | 河本　小織，高田　幹子，小寺　裕美 | 皇后杯２位 |
| 38 | 群馬県 | 成女 | 優勝 | 藤原　航 | 河本　小織，高田　幹子，小寺　裕美 | 皇后杯２位 |
| 39 | 奈良県 | 成男 | ５位 | 中山　睦雄 | 藤原　道弘，平田　重男，若林　邦任 | 天皇杯４位 |
| | | 成女 | ５位 | 藤原　航 | 皿井由美子，天野　真理，合田なおみ | 天皇杯８位 |
| | | 少男 | ４位 | 三宅　勝 | 浅沼　正和，今東　建，西崎　書彦 | |
| 40 | 鳥取県 | 成男 | ５位 | 中山　睦雄 | 藤原　道弘，平田　重男，若林　邦任 | 天皇杯８位 |
| | | 成女 | ５位 | 藤原　航 | 天野　真理，岡　百合子，合田なおみ | 皇后杯７位 |

### ⑧思い出の写真集




第33回長野団体，各左～，４列目＝藤原道弘・三宅。
３列目＝小河原・毛利・柳本・岡本次郎・小田。
２列目＝藤原航・芳上・藤原一志・前田・難波・○・虻江・石田
前列＝林寿美子・斉藤・串田・皿井・岡本武利・林正子




第37回島根国体岡山県チーム
(各左から)後列＝朝霧理事・藤原・小寺・中山監督・平田
中列＝河本・高田・石田会長・毛利監督・藤原監督
前列＝若林・岡・相賀・轟



第37回国体，成年女子優勝＝表彰式（昭和57年，島根県大東町）
受賞する河本小織主将＝1位の中央表彰台，右側＝2位大阪，左側＝3位静岡




第39回奈良国体，第４位の少年男子チーム
前列左から＝今東建・西崎書彦・浅沼正和・三宅勝監督




第39回奈良国体県チーム（左から）後列＝中山監督・平田・若林・藤原。中列＝浅沼・三宅監督・西崎・坂井・○・近常・天野・竹原。前列＝今東・皿井・合田・藤原監督




第40回鳥取国体県チーム（左から）後列＝中山・平田・藤原道弘・貝原・坪井・高見
中列＝毛利清志・西林・紀井・三宅・○。前列＝天野・岡・合田・○・近常・若林・藤原航

### ⑿全日本シニア選手権大会

1984（昭和59）年度に，新たな大会として第１回大会がスタートした。従来からの全日本社会人選手権が，参加者多数のために運営が困難となり，30歳代以上の年齢別男女全種目を，分離独立させて大会の規模適正化をはかり，広い選手層に参加のチャンスを与えることを目的として，全日本シニア選手権大会が誕生することになったのである。

岡山県からは，第１回大会に男子30歳代複１組，第２回大会に同単１名が参加したが，特筆すべき戦績は残っていない。

### ⒀全日本総合選手権大会

#### ①県内選手の主な活躍

1976（昭和51）年度に，石田雅子選手（山陽女高～日女体大～県教育委員会）が，関選手（東京）との混合複で５位に入った。

昭和56年度，故郷の松本組に入社した近藤小織選手（山陽女高～日女体大～河崎ラケット）は，元ナショナルチームのパートナーであった，高田幹子選手（四條畷学園高～同短大～サントリー＝共に松本組入社）とのコンビで，複３位入賞を遂げ，単も５位に入った。

昭和57年度から予選制度が設けられ，次のように本選への参加条件が厳しくなった。その概要は，Ａ前年度全日本総合選手権ベスト８，Ｂ当該年度の同社会人ベスト８，Ｃ同学生ベスト４，Ｄ同教員・高校・ジュニアのベスト２等に参加資格が与えられることになった。予選では，前期Ａ～Ｄにつづく上位ランキング選手と，全国各地区から推薦された選手（１名・１組）に参加資格が与えられ，単ベスト８，複ベスト４に勝ち上がった選手だけが，本選への出場資格を得ることになったのである。

中国地区では，中国社会人選手権（平成７年度より中国総合選手権）の一般男女単複，混合複の各チャンピオンが地区代表に推薦され，全日本総合の予選に参加することとなった。近年の岡山県は，中国地区の代表権は比較的多く獲得できるが，新制度による全日本総合では，予選を勝ち抜くことが困難な状況である。

新制度に変わった昭和57年度には，本選出場資格をもっていた女子複の河本（旧姓近藤）／高田組が準優勝を果たし，河本選手の単と，山本清（三井造船）／高田組の混合複がともに５位であった。翌58年度は，女子単の河本選手（自営）が，準優勝を果たして面目を保った。

続く59年度には，当時，県トップクラスの若林邦任選手（三井造船）の単と，藤原／平田組（各川崎製鉄），女子単の原田美智子選手（松本組）等が，全日本社会人選手権のベスト８入りで出場権を獲得し，直接本選に出場したが全国レベルには太刀打ちできなかった。60年度にも，女子複の河本／高田組と，混合複の山本／高田組が全日本社会人で出場権を得たが，総合では勝ち進めなかった。

**②山陽女子高ＯＧの主な活躍**

湯木博江選手はこの年代にも大活躍し，単では１・２・３・５位が各１回。複では２・５位が各１回。混合複でも３位１回の戦績を残し，日女体大入学以来10数年間にわたる，選手寿命の長さとその実力を証明した。

近藤小織選手（日女体大～河崎ラケット）は，東京在住時代に単で２・３位が各１回，５位３回。複でも２・３位が２回，５位１回と，毎年のようにトップを争う活躍をつづけた。その後，“郷土に錦”を飾ってからの活躍の跡は，前記①「県内選手の主な活躍」のとおりである。

**③倉敷工業高ＯＢの主な活躍**

斉藤敏行選手（法政大～河崎ラケット）は，混合複で５位３回の戦績を残している。

**⑭全国高等学校選抜選手権大会**

この年代における山陽女子は，団体戦で昭和51年度から５年連続５位に入っている。この間同校は，個人複４位に梶田百枝／田辺淑子組，同５位串田有子／皿井由美子組，単では，峰政ひとみ，松島万子，原田美和の３選手が５位に入った。特に55年度の個人単では，同校の竹原桂子選手が健闘して３位入賞を果たした。さらに，56年度から60年度までにも，個人単５位に原田明子，轟美智子，西林昭子の３選手，同複でも轟／河内富子組，近常直美／竹原純子組（２年連続），西林／紀井晴美組などが５位に入っている。

男子団体戦は54年度に倉敷天城が５位，同年の個人複では東岡山工業の西江均／青木隆久組が，岡山県高校男子界の全国大会通算５度目の４位を獲得した。昭和58年度の男子単では西大寺の今東建選手も５位に入り，この年代における県勢は，男女とも比較的コンスタントに好成績を残した。

昭和53年度からは，団体戦が学校対抗となり，複１・単・複２の試合順で，単複兼ねられない形式になっていたが，59年度からの学校対抗は，単１・複１・複２・単２・単３の試合順（単１は複を兼ねられない）形式に変わった。これは日本協会の“シングルス強化”を反映したものであり，現在もこの形式で行われている。

**⑮日本リーグ**

1979（昭和54）年度に日本リーグが開幕した。当初の第１・２回は，日本実業団連盟の有力チームに，全日本学生の混成チームが加わり，５チームでスタートした。しかし，第３・４回には，オール日体大の単独チームが，全日本学生混成チームに代わって出場した。その後，第５回大会からは，実業団チームのみによるリーグとなっている。参加数も，第２回から６チーム，平成２年度の第12回大会から，男女とも８チームに増えて現在に至っている。

近年になって，２部リーグ（男女とも８チーム）がスタートしており，それぞれ２部での優勝や，入替え戦での１部入りをめざして頑張っているのである。

岡山県には，当初から，日本リーグに出場するチームがなくてさびしい限りである。しかし，岡山県出身の県外在住選手が，次のようなめざましい活躍の跡を残している。

**①山陽女子高ＯＧの活躍**

湯木博江，近藤小織両選手（各日女体大～河崎ラケット）は，第１回３位，第２回優勝，第３回４位と，河崎ラケットチームがＡクラスで大活躍した時代に，それぞれポイントゲッターとして，同チームに大きく貢献した。

**②倉敷工業高ＯＢの活躍**

斉藤敏行選手（法政大～河崎ラケット）は，河崎ラケット在職中に第１回４位，第２回５位，第３回４位と３年間にわたり，主として複の活躍でチームに貢献している。

**③水島工業高ＯＢの活躍**

守安達二選手（法政大～電々近畿＜現ＮＴＴ関西＞）は，昭和58年度には６位であったが，翌59年度からは，３年連続で５位確保に貢献した。

## ４．国際大会

この年代における岡山県関係選手は，前年代につづいて，ユーバー杯争奪世界女子選手権大会を始め，各種の大会ですばらしい活躍の跡を残している。日本代表選手に選ばれたのは湯木博江，近藤小織両選手（共に山陽女高～日女体大～河崎ラケット）と，若林邦任選手（水島工高～三井造船）であり，その主な戦績は次のとおりであった。

①アジア選手権大会（昭和51年，於バンコク）　近藤小織＝単３位
②アジア招待大会　（昭和51年，於ホンコン）　近藤小織＝単３位
③第77回全英選手権大会　（昭和52年，於ロンドン）　湯木博江＝単優勝
　＜４回目の優勝により，マーガレット王女から史上５人目の“永久杯”を授与された。＞
④デンマーク選手権大会（昭和52年，於コペンハーゲン）　湯木博江＝単優勝（３回目）
⑤デンマーク選手権大会（昭和52年～同55年於コペンハーゲン）

近藤小織＝単２位１回，３位３回

⑥オーストラリア選手権大会（昭和52年，於メルボルン）　近藤小織＝単３位

⑦ニュージーランド選手権大会（昭和52年，於オークランド）　近藤小織＝単・複各２位

⑧第８回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（昭和53年，於オークランド）

＜日本は４回目の優勝で“世界新記録”を樹立＞　湯木博江，近藤小織＝団体優勝



第8回大会　授賞式の日本チーム　於ニュージーランド=オークランド
後ろ向き=ユ杯を掲げる湯木博江主将　右手前から=板垣隆房監督・天野博江コーチ
近藤小織・徳田敦子・高田幹子・植野恵美子・米倉よし子各選手



第８回大会の日本チーム
左から＝高田幹子・近藤小織・湯木博江各選手・板垣隆房監督
天野博江コーチ・徳田敦子・植野恵美子・米倉よし子

⑨第８回アジア大会（昭和53年，於バンコク）　近藤小織＝団体・単各３位

⑩第78回全英選手権大会（昭和53年，於ロンドン）　近藤小織＝単２位

⑪ニュージーランド選手権大会（昭和54年，於オークランド）　湯木博江＝単優勝

⑫スゥエーデン選手権大会（昭和54年，於マルメ）　近藤小織＝単３位

⑬第80回全英選手権大会（昭和55年，於ロンドン）　近藤小織＝複３位

⑭ドイツ選手権大会（昭和56年，於ミュンヘン）　湯木博江＝単優勝

⑮第９回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（昭和56年，於東京）　近藤小織＝団体優勝

＜日本は５回目の優勝で“世界新記録”を樹立＞

⑯第10回日中対抗大会（昭和59年，於岡山）　若林邦任＝団体優勝

＊湯木博江選手の記録は，優勝のみ（２位以下省略）

## ５．その他の活動

### ⑴第２回日本リーグ，倉敷大会

期　　日：昭和55年12月21日(日)

主　　管：岡山県バドミントン協会

会　　場：川崎製鉄㈱水島体育館

対戦カード：男子＝河崎ラケット（リーグ５位）対　電電東京（リーグ優勝）

女子＝河崎ラケット（リーグ優勝）対　ヨネックス（リーグ３位）

観　戦　者：1600人

日本リーグ倉敷大会の女子対戦カードには，郷土出身の湯木博江・近藤小織両選手が所属する河崎ラケットが組まれていた。両選手とも山陽女子高から日女体大を経て，当時，全日本実業団選手権のトップを争っていた同社に入社し，チームのポイントゲッターとして活躍していた。

大会当日は，日本リーグ独特の応援合戦と，色彩ゆたかなユニホーム姿での華麗なプレーなど，他の全国大会では見られないムードに場内が沸いた。

両選手は，地元関係者や後輩の声援を受けながら，勝ち星を挙げてこのカードを制し，河崎ラケットを第２回日本リーグ優勝に導いた。

**⑵エキジビション・ゲーム**

趣　旨：玉野青少年スポーツセンターの，日体協から県体協への移管，10周年記念事業

年月日：昭和57年２月10日

場　所：玉野青少年スポーツセンター

監　督：池田信孝（日本バドミントン協会選手強化委員＝ＮＴＴ東京）

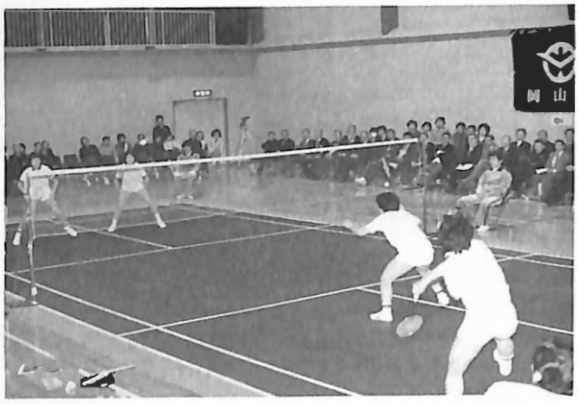
選　手：ユーバー杯争奪世界女子選手権日本代表メンバー

河本小織（山陽女高～日女体大～河崎ラケット～松本組）

高田幹子（四條畷学園高～同短大～サントリー～松本組）

徳田敦子（四條畷学園高～同短大～サントリー）

米倉よし子（藤園女子高～日女体短大～ＮＴＴ東京）



**エキジビション･ゲーム風景**
**手前後衛＝河本小織選手･手前前衛＝高田幹子選手**
**向こう側右＝米倉よしこ選手･向こう側左＝徳田敦子選手**
**於玉野青少年スポーツセンター**

**⑶第７回日本リーグ，岡山大会**

１．期　　日：昭和60年11月24日(日)

２．主　　管：岡山県バドミントン協会

３．会　　場：岡山県営体育館

４．対戦カード：男子＝ＮＴＴ東京（リーグ優勝）　対　高岡市役所（リーグ６位）
女子＝三洋電気（リーグ２位）　対　日本電装（リーグ４位）

５．観　戦　者：2000人

岡山県にとって２度目の日本リーグであった。男女とも，同年度の全日本実業団選手権優勝チームを迎えての好カードとなり，多数の観客動員のなかで盛会裡の岡山大会となった。

## 6．栄光の跡（昭和51～60年度）

### (1)岡山県協会関係の全国大会優勝

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム・選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S.51 | 第15回全日本教職員 | 女子団体 | 石田雅子（県教育委員会），林寿美子（山陽学園） |
| | | 女子単 | 石田雅子（県教育委員会） |
| | | 女子複 | 石田雅子／林寿美子組（県教育委員会／山陽学園） |
| | | 40歳男子複 | 毛利清志／西崎正明組（山陽学園／県保健体育課） |
| S.54 | 第22回全日本社会人 | 30歳男子複 | 藤原　航／芳上一男組（各三井造船） |
| S.55 | 第23回全日本社会人 | 30歳男子単 | 芳上一男（三井造船） |
| S.56 | 第24回全日本社会人 | 30歳男子単 | 芳上一男（三井造船） |
| | | 30歳男子複 | 藤原　航／芳上一男組（各三井造船） |
| S.57 | 第37回国体 | 成年女子 | 監督：藤原　航（三井造船）<br>選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美（各松本組） |
| S.58 | 第18回全国私立短大競技会 | 女子単 | 竹原桂子（山陽学園短大） |
| | 第38回国体 | 成年女子 | 監督：藤原　航（三井造船）<br>選手：河本小織・高田幹子（各松本組）<br>小寺裕美（水島工高職） |

＊優勝計＝11回〔第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### (2)岡山県出身，県外在住選手の全国大会優勝数

| | |
|---|---|
| 湯木博恵（現姓＝新沼，山陽女高～日女体大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝16 |
| 全日本実業団選手権大会：団体＝1，単＝3，複＝1<br>全日本社会人選手権大会：単＝4，複＝1<br>全日本総合選手権大会：単＝1<br>国民体育大会：団体＝4<br>日本リーグ：団体＝1 | |
| 近藤小織（現姓＝河本，山陽女高～日女体大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝2 |
| 全日本実業団選手権大会：複＝1<br>全日本社会人選手権大会：複＝1 | |
| 斉藤敏行（倉敷工高～法政大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝1 |
| 全日本実業団選手権大会：団体＝1 | |
| 勝山裕子（旧姓＝戸田，山陽女子高出＜奈良市＞） | 通算＝4 |
| 全国家庭婦人競技会：団体＝2，複＝2 | |

＊優勝計＝23回〔第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### ⑶岡山県出身，県外進学選手の全国大会優勝

| 年度 | 大会名 | 種目 | チーム・選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,51 | 第27回全日本学生 | 女子団体 | 日女体大：原田美智子・小寺裕美（各山陽女高出） |
| S,52 | 第28回全日本学生 | 女子単 | 近藤小織（日女体大＝山陽女高出） |
| | 昭和52年度全日本総合 | 女子単 | 近藤小織（日女体大＝山陽女高出） |

＊優勝計＝３回　〔第Ⅱ章「全国優勝を果たした人」の項参照〕

### ⑷岡山県関係選手の国際大会優勝数

| | |
|---|---|
| 湯木博江（現性＝新沼，山陽女高～日女体大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝５ |
| 第８回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会，その他４回 | |
| 近藤小織（現性＝河本，山陽女高～日女体大～河崎ラケット＜東京都＞） | 通算＝２ |
| 第８・９回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会 | |
| 若林邦任（水島工業高～三井造船＜岡山県＞） | 通算＝１ |
| 第10回日中対抗大会 | |

＊優勝計＝８回　〔第Ⅱ章「国際大会で活躍した人」の項参照〕

## (５)昭和61年度～平成９年度

＜シニアの大活躍，ジュニアも健闘。◎総括＞

### １．県内総合大会と優勝選手

**⑴総合形式４大会の経緯と現状**

1990（平成２）年度現在までの，県協会が主催する総合形式の選手権は次の２大会であった。

①秋季選手権：1958（昭和33）年度に一般（含学生）の大会として開始されたが，1985（昭和60）年度から高・中学生の上位ランク選手の参加が認められ，毎年11月中旬から下旬に行われてきた。

②総合選抜選手権：1963（昭和38）年度にスタート。一般，学生，高校生の各種別とも，その年度における，県協会主催大会（春季，秋季）と，前年度県総合選抜大会等の，上位ランク選手のみが参加できる県内最高権威の大会として，毎年11月末から12月初旬に行われてきた。

そして，平成年代に入ってから，総合形式による次の２大会が行われるようになった。

③春季選手権：1958（昭和33）年度から高校を含む総合形式でスタート。昭和46年度から平成２年度までは，一般（含学生）のみの大会となっていたが，1991（平成３）年度から秋季大会と同じ形式（但し，中学生は前年度上位ランク選手が参加）の大会に発展し，４月下旬に行われている。

④総合選手権：1995（平成７）年度から中国地区総合選手権大会＝＜従来は，中国社会人選手権の優勝選手が全日本総合への出場権を獲得していたが，平成７年度から，中・高・大の生徒や学生にも参加の機会が与えられ，中国地区総合選手権の優勝選手が，全日本総合への出場権を獲得する形に変わった＞＝が開催されることになった。その県予選が必要となり，８月中旬に，県総合選手権大会，兼，中国地区総合選手権大会県予選会が行われることとなって今日に至っている。

**⑤総合形式４大会の単複優勝者**（昭和61～平成９年度，前年度と重複選手の略歴は省略）

○男子単：若林邦任（三井造船～ＲＳ永井）。藤原道弘（川崎製鉄）。福田哲（玉野光南高～松下電器）。三好研二（岡山工高～川鉄マシナリー）

◎県総合選抜選手権の最高成績：９回優勝（含４連勝）＝若林邦任選手

○男子複：山本清／若林組（各三井造船）。藤原／平田重男組（各川崎製鉄）。藤原／若林組（川崎製鉄／三井造船）。福田／三辻邦章組（松下電器／瀬戸南高～三井造船）。平田／福田組（川崎製鉄～トスコ／松下電器）。藤原／立野隆行組（川崎製鉄／水島工高～倉敷化工）。福田／立野組（松下電器／倉敷化工）。福田／末田真一組（松下電器／津山商高～松下電器）

◎県総合選抜選手権の最高成績：５回優勝（含４連勝）＝藤原道弘／若林邦任組

○女子単：合田なおみ（松本組）。松王香音里（山陽女高～県立短大）。川原美津巳（山陽女高～松本組）。岡百合子（山陽女高～日女体短大～岡山市役所）。杉本真紀子（倉敷翠松高）。佐藤由香（山陽女高～同短大～まつもとコーポレーション＝元松本組＜以下まつもと＞）。住矢美幸，神宝朝子（各山陽女高～まつもと）。佐藤由紀，松王峰代子（各山陽女高）。西林昭子（山陽女高～備前市役所～松下電器）

◎県総合選抜選手権の最高成績：３回優勝（含２連勝）＝佐藤由香選手

○女子複：河本小織／原田美智子組（松本組～コングッド／松本組）。原田／松王組（松本組／県立短大）。山本（旧姓原田）／岡良依組（各松本組）。岡／渡邊美穂組（まつもと／倉敷翠松高～

まつもと)。佐藤／藤原清美組（まつもと／倉敷翠松高～まつもと)。合田／岡百合子組（まつもと／岡山市役所)。松王峰代子／住矢直美組（各山陽女高)。香山（旧姓岡）／山下（旧姓岡）組（岡山市役所～クラレ岡山)。佐藤／住矢美幸組（各まつもと)。佐藤／神宝朝子組（各まつもと)。住矢／神宝組（各まつもと)。原田／山崎恵子組（松本組／山陽学園教)。加藤美香／赤澤景子組（各山陽女高)。井山美里／谷口貴美組（各山陽女高）

◎県総合選抜選手権の最高成績：２回優勝＝河本小織／原田美智子組，佐藤由香／神宝朝子組

＊中国総合選手県大会の，混合複県代表については県協会の推薦による。

**◎総括**

前記４大会の開催は，学生，生徒にとっては競技力の向上にもつながり，さらに，中国地区や全日本の両総合選手権大会参加を目指すことのできる，ハッスル源の大会となっている。

### ⑵県リーグの新設

1993（平成５）年度に県リーグがスタートした。県協会主催による唯一の団体対抗戦が，バドミントン競技の普及振興と競技力の向上などをめざして，充実，発展しながら現在に至っている。

〔第Ⅰ章「県リーグの歩み」の項参照〕

## ２．中国地区～東・西日本の各大会と主な活躍

### ⑴中国家庭婦人大会

中国地区での家庭婦人大会は，全日本クラブ対抗（団体戦）の予選会と，年齢別複個人戦（１部＝30歳代，２部＝40歳代，３部＝45歳代，４部＝50歳代の４種別）の試合が行われている。

全日本クラブ対抗の地区予選会では，平成６・７・９年度に，各３位１回の入賞がある。

年齢別の個人戦では，1986（昭和61）年度第３回広島大会に初参加以来，平成９年度第13回大会までの11年間に，１部では優勝が５回あり，準優勝４回，３位５回となっている。２部での優勝はないが，準優勝１回と３位２回があった。

１部優勝のペアーを年度順に挙げると，第３・４回に藤原／真鍋組（チェリッシュ）が２連勝。第５回は平田／赤沢組（ちろりん村)。第８回と第10回の２度にわたって岡田／赤沢組（ちろりん村）と，それぞれ岡山の名を高めた。中でも，赤沢選手の２連勝を含む３回の優勝はみごとであった。

**◎総括**

近年は準優勝までにとどまることが多く，往年のような優勝が待望されている。

### ⑵中国中学校選手権大会

昭和61年度の第７回大会から，平成９年度までの12年間に，岡山県は前年代に続いてめざましい活躍の跡を残している。全種目完全制覇の年度こそなかったが，第７回と第16回には５種目を制し，第９・11・12・15回は４種目に優勝，第13・14・17回は３種目のタイトルを獲得している。しかし，中国地区レベルの底上げや，県内レベルの低い年もあって，昭和62年度の第８回は，初めて優勝皆無の大会となり，２年後の第10回は２種目の優勝に止まった。また，平成９年度における男子は，団体と単に優勝したが，女子の優勝はなかった。

この年代に優勝した主な学校と種目を挙げると，男子では岡北中の団体１回，単複各２回。芳泉中

の団体１回，単複各１回。山南中の団体１回，複２回。倉敷福田中の団体１回，単３回。倉敷連島中の団体１回，単１回等であり，女子では岡北中の団体４回，単３回，複５回が群を抜いており，次いで西大寺中の団体３回，単複各１回などである。

**◎総括**

年毎に厳しさを増す中で，平成９年度第18回大会までの，全大会における優勝総数108回のうち，岡山県代表は，男女通算合計で過半数65回の優勝を果たしている。（下表参照）

**岡山県の代表校別優勝内訳**（昭和55年度第１回大会～平成９年度第18回大会）

| | |
|---|---|
| ＊①記号の説明：初＝初優勝の年度（回），数＝優勝合計，＜　＞内は優勝種目別の内訳<br>＊②通算優勝数：男子＝31回，女子＝34回，合計＝65回　※全大会優勝総数＝108回 | |
| 男子 | 倉 敷 西…初＝S,55(1)　数＝1＜団体1＞<br>倉敷福田…初＝S,56(2)　数＝5＜団体2,単3＞<br>西 大 寺…初＝S,56(2)　数＝1＜単1＞<br>岡山福田…初＝S,56(2)　数＝1＜複1＞<br>笠岡白石…初＝S,57(3)　数＝4＜団体3,単1＞<br>総 社 西…初＝S,59(5)　数＝2＜団体1,単1＞<br>備　　前…初＝S,60(6)　数＝1＜単1＞<br>岡山芳泉…初＝S,61(7)　数＝3＜団体1,単1,複1＞<br>倉 敷 東…初＝S,63(9)　数＝1＜団体1＞<br>岡　　北…初＝S,63(9)　数＝6＜団体2,単2,複2＞<br>岡山上南…初＝H,1(10)　数＝1＜単1＞<br>岡山山南…初＝H,6(15)　数＝3＜団体1,複2＞<br>倉敷連島…初＝H,9(18)　数＝2＜団体1,単1＞ |
| 女子 | 笠岡白石…初＝S,55(1)　数＝8＜団体2,複5,単1＞<br>岡山上南…初＝S,56(2)　数＝1＜単1＞<br>瀬　　戸…初＝S,57(3)　数＝1＜単1＞<br>備　　前…初＝S,58(4)　数＝4＜団体2,複1,単1＞<br>岡　　北…初＝S,61(7)　数＝12＜団体4,複5,単3＞<br>西 大 寺…初＝H,2(11)　数＝6＜団体4,複1,単1＞<br>岡山山南…初＝H,4(13)　数＝1＜複1＞<br>倉敷児島…初＝S,5(14)　数＝1＜単1＞ |

**⑶中国高等学校選手権大会**

この年代12年間の男子団体は，柳井工業の７連覇や大東高の２連覇等に圧倒され，岡山県の優勝は倉敷工業の２回に止まった。個人も山口県が優位に立ち，岡山県の優勝は瀬戸南，倉敷工業等の合計で単３回，複２回のみに終わり，40年間で最低の年代を迎えた。女子団体は，鳥取県の境に２連勝を許したが，山陽女子が６連覇を含む10回の優勝を果たした。個人も山陽女子の複８回と単６回に，倉敷翠松の各１回を加え，合計で複９回，単７回の優勝を勝ち取って岡山県女子の面目を保った。

**◎総括**

昭和33年度から，平成９年度第40回大会までの全大会における優勝総数240回のうち，岡山県代表

は，男女通算で過半数163回の合計優勝記録を残している。（下表参照）

この間，山陽女子の湯木博江選手は３年連続３冠に輝き，同校の高塚淳子，近常直美，松王峰代子３選手も２年連続で３冠を獲得している。なお，山陽女子高は昭和62年度に“30回連続出場”と“団体戦30連勝”を達成した。さらに，平成９年度には，大会創設以来男女を通して唯一の“40回連続出場”の大記録を樹立し，第40回岡山大会の開会式において表彰された。

**岡山県の代表校別優勝内訳**（昭和33年度第１回大会～平成９年度第40回大会）

| ＊①記号の説明：初＝初優勝の年度（回），数＝優勝合計，＜　＞内は優勝種目別の内訳<br>＊②通算優勝数：男子＝57回，女子＝106回，合計＝163回　※全大会優勝総数＝240回 | |
|---|---|
| 男子 | 西 大 寺…初＝Ｓ,33(１)　数＝13＜団体５,単４,複４＞<br>倉敷工業…初＝Ｓ,38(６)　数＝19＜団体５,単７,複７＞<br>備　　南…初＝Ｓ,39(７)　数＝13＜団体５,単３,複５＞<br>倉敷天城…初＝Ｓ,44(12)　数＝１＜団体１＞<br>倉敷青陵…初＝Ｓ,46(14)　数＝１＜複１＞<br>水島工業…初＝Ｓ,53(20)　数＝８＜団体２,単５,複１＞<br>瀬 戸 南…初＝Ｓ,62(30)　数＝２＜単２＞ |
| 女子 | 山陽女子…初＝Ｓ,33(１)　数＝103＜団体38(含32連勝),単32,複33＞<br>井　　原…初＝Ｓ,38(６)　数＝１＜複１＞<br>倉敷翠松…初＝Ｈ,１(32)　数＝２＜複１,単１＞ |



＜平成９年度県総体，決勝戦で奮戦する山陽女子の谷口貴美選手＞
於倉敷中央体育館（山陽新聞社提供）

**＜33年目の３冠獲得＞**

山陽女子高の谷口貴美選手は，平成９年度県高校総体団体戦の42回目優勝に貢献し，単・複にも優勝してみごと３冠を獲得した。

県総体における１年生の３冠獲得は，昭和39年度に同校の湯木博江選手が達成して以来33年ぶりであり，岡山県高校界“２人目の快挙”であった。

その後も県大会の複で全勝を続け，同年度の中国高校と同選抜では団体と複の２冠に輝いた。さらに，全国高校団体ベスト16・全国選抜団体５位入りのとき，得意の複で白星を挙げてチームに貢献した。

県総体以後，単での優勝はないが常に上位につけており，指導陣，先輩，同僚等に恵まれた環境のもとで，日ごと精進を続けている。

### ⑷全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会

県勢の活躍状況は中国選手権と大同小異であり，男子団体と同個人複の優勝は，倉敷工業が各２回，同個人単の優勝は瀬戸南が４回と倉敷工業が１回であった。女子団体は，山陽女子が７回，倉敷翠松が２回の計９回優勝しており，同個人複は山陽女子が９回，倉敷翠松が１回の計10回，同個人単では山陽女子が８回，倉敷翠松が１回で，計９回の優勝を果たしている。

**◎総括**

昭和42年度に日本協会直轄の強化合宿でスタートし，同47年度から全国大会につながる中国地区予選会（中国選抜）に発展移行して，当初は個人戦のみが行われた。49年度から県対抗（１複２単＝混成チーム可）の団体戦も行われ，53年度より２複１単に変わった。54年度から団体戦が学校対抗となり，インターハイと同形式（１単２複２単）に変わり，次年度の中国高校選手権の戦力を占う，有意義な大会に成長して今日に至っている。

昭和49年度の団体戦開始のころから，中国地区レベルの平均化がすすみ，厳しい試合展開での学校別優勝数は下表のとおりである。なお，平成９年度第26回大会までの全大会における優勝総数147回のうち，岡山県代表の男女通算優勝合計は，過半数の82回となっている。

**岡山県の代表校別優勝内訳**（昭和47年度第１回大会～平成９年度第26回大会）

| | |
|---|---|
| ＊①記号の説明：初＝初優勝の年度（回），数＝優勝合計，＜　＞内は優勝種目別の内訳<br>＊②通算優勝数：男子＝16回，女子＝66回，合計＝82回，※全大会優勝総数＝147回 | |
| 男子 | 倉敷青陵…初＝S.48（2）　数＝1＜複1＞ |
| | 倉敷工業…初＝S.49（3）　数＝8＜団体3，単2，複3＞ |
| | 西大寺…初＝S.58（12）　数＝2＜団体1，単1＞ |
| | 瀬戸南…初＝S.61（15）　数＝4＜単4＞ |
| | 水島工業…初＝S.54（54）　数＝1＜単1＞ |
| 女子 | 山陽女子…初＝S.47（1）　数＝60＜団体19，単19，複22＞ |
| | 倉敷中央…初＝S.50（4）　数＝2＜団体1，複1＞ |
| | 倉敷翠松…初＝S.63（17）　数＝4＜団体2，単1，複1＞ |

＊〔第Ⅰ章「高体連の歩み」，第Ⅴ章「高体連＝戦績の記録」の項等参照〕

**⑸中国高等専門学校選手権大会**

昭和61年度から平成８年度までの津山高専は，優勝が団体と単で各２回，複１回であり，平成２年度には女子単でも優勝している。また，平成７年度から，バドミントン競技が中国地区高等専門学校体育大会に組み込まれ，男子団体でベスト４入りを果たしたが，翌８年度は不参加となった。

**◎総括**（昭和54年度第１回大会～平成８年度＜第32回中国地区高専体育大会＞）

この大会は平成７年度より，中国地区高専体育大会の１種目として吸収され，体育大会の回に合わせることになった。18年間での優勝数は，男子団体と単が各４回，男子複３回，女子単１回の通算12回となっている。さらに，準優勝は男子団体５回，単３回，複２回の戦績を残し，団体と個人の３・４位は合計26回を数えるなど，中国地区に津山高専の名を高めた。

**⑹中国・四国高等専門学校選手権大会**

津山高専は，昭和61年度からの団体戦では２連勝を果しており，平成８年度までに３位３回，４位１回がある。個人戦の優勝はないが，単では準優勝が２回，３位１回，４位１回があり，複では３位

１回，４位３回がある。女子も平成４年度に複２位，５年度に単４位と活躍している。

**◎総括**（昭和49年度第１回大会～平成８年度第23回大会）

23年間に，男子の優勝は団体６回，複４回，単１回があり，計11回の優勝を勝ち取っている。準優勝も男子団体３回，単４回，女子複１回と健闘し，団体と個人の３・４位の合計は，女子を含めて19回もあり，中国・四国地域においても，津山高専の存在を不動のものにした。

### ⑺中国５大学学生競技大会

この年代における男子団体は，優勝と２位が各３回，女子団体は，優勝４回と２位が６回であった。なお個人戦では，11年間分の男女単複合計44種目のうち，10種目の優勝に止まり，前年代よりもさらに厳しい優勝争いの時代を迎えている。

**◎総括**（昭和29年度第５回大会（種目として競技会に仲間入り）～平成８年度第47回大会）

種目別の優勝合計は，男子団体25回，単９回，複14回と，女子団体26回，単８回，複16回になっている。なお，団体は昭和41年までの６年間と，個人は同38年までの10年間分に，記録不明年度があるが，その間における他の地区大会の戦績等から，優勝数は前記より増えるものと推測できる。

### ⑻中国学生選手権大会

#### ①岡山大学の主な活躍

この年代での岡山大学は，県内外の私立大学や短大に圧倒されることが多くなり，男子の優勝は，Ａ級単３回，複２回，Ｂ級複２回であり，女子の優勝は，Ａ級単，Ｂ級複各１回に止まった。しかし，混合複では５回の優勝を果たし，岡山大の面目を保った。

**◎総括**（昭和51年度第１回大会～平成８年度第22回大会）

通算優勝数を挙げると，男子Ａ級13回＜単８，複５＞。Ｂ級11回＜単５，複６＞であり，女子Ａ級７回＜単３，複４＞。Ｂ級10回＜単３，複７＞であった。なお，混合複でのタイトル獲得７回は，岡山大の最多優勝種目となっている。

#### ②山陽学園短大の主な活躍

この年代では，Ａ級単複各２回，Ｂ級単複各３回，混合複２回の優勝を遂げている。

**◎総括**（昭和51年度第１回大会～平成８年度第22回大会）

通算優勝数は，Ａ級13回＜単７，複６＞。Ｂ級13回＜単６，複７＞。混合複７回であり，21年間の優勝合計は33回にも達しており，中国地区の女子では最多優勝数を誇っている。

#### ③その他の主な活躍

岡山県立短大（女子）は，昭和60年度から62年度の間に，Ａ級単複とＢ級単複にそれぞれ１回，計４回の優勝を果たしている。

岡山理科大（男子）は，平成８年度にＢ級単優勝１回がある。

川崎医療福祉大（男子）は，平成８年度にＢ級複３位１回がある。

### ⑼実業団と社会人の活躍

#### ①中国実業団選手権大会

この年代における岡山県男子の優勝は，三井造船５回，川崎製鉄３回，川鉄マシナリー１回の計９回であった。準優勝は山陽ドラム，川崎製鉄，松下電器の計３回。３位も前記各チームの合計で７回

と，岡山県が前年代に続いて上位入賞の大半を占めた。

女子は，まつもとコーポレーション（含，旧松本組＝以下まつもと）が優勝５回。準優勝は，まつもとの４回と松下電器が各１回。３位は，前記各チームと備前市役所等の計４回であった。

**◎総括**（昭和44年度第１回大会～平成９年度第29回大会）

平成９年度第29回大会までに，男子は，三井造船，川崎製鉄，川鉄マシナリーの３チームで計22回の優勝を果たし，女子はクラレ岡山と，まつもとの両チームで，計15回の優勝を遂げている。

**岡山県代表チーム入賞数のまとめ**（昭和44年度第１回～平成９年度第29回大会）

| 男子 | 三井造船 | | | 川崎製鉄 | | | 岡山市役所 | | | 川鉄マシナリー | | | 山陽ドラム | | | 松下電器 | | | 三菱化学 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 入賞 | 11 | 9 | 4 | 10 | 9 | 4 | | 1 | 6 | 1 | 1 | 2 | | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 |
| 女子 | まつもと | | | クラレ岡山 | | | 川崎製鉄 | | | 岡山市役所 | | | 三菱化学 | | | 松下電器 | | | 合計優勝数 | | |
| 順位 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 男子＝22 | | |
| 入賞 | 10 | 4 | 1 | 5 | | | | 5 | 1 | | 2 | | | | 8 | | | 1 | 女子＝15 | | |

**②中国社会人選手権～中国総合選手権大会**

この年代の男子単優勝は計12回であり，若林邦任選手（三井造船）の３連覇２回を含む８回が群を抜いている。同複優勝は計８回であり，藤原道弘選手（川崎製鉄）は，平田重男選手（川崎製鉄）と組んで３回，若林選手と組んで２回の通算５回頂点に立った。また，福田哲／三辻邦章組（松下電器／三井造船）も３連覇を果たしており，岡山県が単複ともに優位に立った。女子はベテランの引退後，各県との厳しい優勝争いを強いられ，優勝は単４回，複５回である。混合複では福田哲／佐藤由香組（松下電器／まつもと）が，３連覇４回目の優勝を遂げた。年齢別では，永井孝選手（ＲＳ永井）が，30～40歳代単で３連覇を含めて５回優勝し，30歳代単の藤井久美選手（清音村役場）も３連勝を果たした。９年度には，39歳になった藤原道弘選手が，30歳代の単初出場で初優勝を果たした。

**◎総括**（昭和33年度第１回中国選手権～平成９年度第40回中国総合選手権）

この大会のルーツは，昭和33年に開始された中国選手権である。同大会では男子単複とも12年間連続優勝を果たし，女子も単７回，複９回の優勝を遂げている。昭和45年度から中国社会人選手権に移行し，さらに，平成７年度からは，中国地区総合選手権大会に発展して今日に至っている。

**岡山県代表選手，種目別入賞数のまとめ**（昭和33年度第１回～平成９年度第40回大会）

| 種目 | 一般男子単 | | | 一般男子複 | | | 一般女子単 | | | 一般女子複 | | | 30歳代単 | | | 30歳代複 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| 入賞数 | 31 | 19 | 23 | 21 | 13 | 15 | 21 | 15 | 26 | 24 | 17 | 14 | 11 | 7 | 12 | 7 | 3 | 9 |
| 種目 | 40歳代単 | | | 40歳代複 | | | 50歳代単 | | | 50歳代複 | | | 混合複 | | | ○合計優勝数＝135回 | | |
| 順位 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | ＜一男52・一女45 | | |
| 入賞数 | 5 | 2 | 15 | 4 | 5 | 15 | 3 | 4 | 4 | 2 | 3 | 3 | 6 | 7 | 6 | 年齢別32・混合６＞ | | |

＊①一般＝昭和33年度（一般男女のみでスタート，現在40年目）　②40歳＝昭和45年度（28年目）

③30歳＝昭和51年度（22年目）　④50歳＝昭和53年度（20年目）　⑤混合＝昭和57年度（16年目）

**⑽国体中国ブロック大会**（文中のフリー参加とは，地区予選なしで直接本国体に参加すること）

この年代12年間の成年男子は，優勝７回，フリー参加３回，平成５年度２位（１位山口県）で，12

年連続で本国体への参加権を得た。成年女子は優勝６回，フリー参加３回で，計９回本国体に参加した。しかし，平成５年度は島根，鳥取，山口の各県に敗れて全年代を通して初めての４位，６年度は，島根，鳥取両県に敗れて３位，９年度も広島，島根両県に敗れて３位となり，計３回地区代表権を落とした。少年男子は，優勝５回，フリー参加３回，２位３回（山口県２回，島根県１回優勝）で，本国体に11回参加しているが，昭和61年度は，山口，鳥取両県に敗れて３位となり，１回だけ地区代表権を失った。少年女子は，優勝８回，フリー参加３回，２位１回（１位鳥取県）で12年連続で本国体の代表権を獲得している。

**◎総括**

昭和29年度の第９回国体より中国地区予選会が開始され，平成９年度の第52回大会で計44大会を経過した。この間，昭和53年度までは，成年男子だけが本国体に全県フリー参加であったが，54年度には，教員男子がフリー参加となった。続いて55年度から，フリー参加が各種別の輪番制に変わり，中国地区から，上位２県が本国体に参加できることになった。また，中国ブロック大会は，56年度より，全競技種目を同一県で開催する，総合形式に変わって現在に至っている。

この大会における岡山県各種別の活躍はめざましく，教員男子は，全大会に優勝して本国体に駒を進め，成年男子と少年女子は，それぞれ２回，２位に甘んじたが本国体には毎年参加した。成年女子と少年男子も，中国地区の代表権獲得数は他の４県を圧倒している（下表参照）。これらの成果は，県協会挙げての強化練習会，強化合宿等によるところが大きい。

**国体中国ブロック大会，岡山県各種別の戦績**（昭和25～平成９年度）

| 種　別 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 予選落 | 本国体参加数(内フリー参加) | 本国体参加% | ※本国体参加条件 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成年男子 | 13 | 2 | 0 | 0 | 0 | 48　(33) | 100 | ①北海道は毎年度フリー参加 |
| 成年女子 | 31 | 4 | 2 | 1 | 6 | 41　(10) | 85 | |
| 少年男子 | 21 | 12 | 5 | 0 | 13 | 34　(9) | 71 | ②開催都府県は開催年度にフリー参加 |
| 少年女子 | 37 | 2 | 0 | 0 | 0 | 48　(9) | 100 | |
| 教員男子 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21　(2) | 100 | ③その他は地区予選で参加権を獲得 |
| 合　計 | 121 | 20 | 7 | 1 | 19 | 192　(63) | 91 | |

注．①成年男子は，昭和53年度までの計29回が，本国体全県フリー参加のため優勝数が少ない。

②ブロック大会の優勝合計121回と，本国体参加率の91%は全国トップクラスである。

**(11)中国小学生大会**

この年代での岡山県代表選手の活躍は，平成元年度の第６回大会女子複初優勝に始まり，同９年度までに，下表のようなすばらしい活躍の跡を残している。

**種目別優勝一覧**（優勝＝☆印）

| 回 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成年度 | 元 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | |
| 男子単 | | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | | ☆ | 7 |
| 男子複 | | ☆ | | | | ☆ | ☆ | | | 3 |
| 女子単 | | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | ☆ | | 7 |
| 女子複 | ☆ | | ☆ | ☆ | | | | ☆ | ☆ | 5 |
| 優勝計 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 22 |

**所属クラブ別の種目別優勝内訳**

| 種　目 | BS | BD | GS | GD | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 永井ＢＣ | 6 | 3 | 5 | 4 | 18 |
| 太伯ＢＣ | 1 | | | 1 | 2 |
| 豊体協 | | | 2 | | 2 |
| 優勝計 | 7 | 3 | 7 | 5 | 22 |

＊記号説明

Ｂ＝男子，Ｇ＝女子，Ｓ＝単，Ｄ＝複

**◎総括**

1984（昭和59）年度の第１回大会から，昭和63年度の第５回大会までに岡山県の優勝はなかったが，平成元年度の初優勝を皮切りに，平成３年度の第７回大会では，いきなり，４種目中３種目での優勝を果たした。その後，平成９年度までに通算22回の優勝を勝ち取っており，さらに，大会創設以来の準優勝は24回，３位入賞は33回と躍進の跡がみられ，他の４県を圧倒している。

平成17年度の第60回岡山国体での活躍をはじめ，将来の岡山県を背負って立つ小学生への，さらなる育成強化に大きな期待が寄せられている。〔第Ⅰ章「小学生部会の歩み」参照〕

### ⑿中国教職員選手権大会

1991（平成３）年に中国地区教職員連盟が設立され，同年12月に，第１回中国地区教職員選手権大会が鳥取県で開催された。

昭和34年度から54年度までの21年間は，国体教員男子の中国地区予選会が行われていたが，55年度から同種別が廃止されて以来，12年ぶりに中国地区教職員の交流が復活したのである。そして，連盟設立に基づいて第１回大会が開催され，遅ればせながら，他の連盟と肩を並べて活動することとなった。

平成３年度から９年度までの計７回大会での県勢の主な戦績は，団体では，準優勝１回，３位５回となっており，優勝は山口県（５回），鳥取県（２回）等にさらわれた。

個人戦では，男子30歳代複の，多田一也／中須賀祥雅組が第１回から２連覇を果たし，一般女子複の岡本裕子／田辺央子組が，第２回に優勝した。第７回には，30歳代女子単の山田千津子選手と，一般女子複の鐘築順子／長門弘美組が優勝して計５回頂点に立った。男子準優勝は，一般複の横田寿弘／田井秀賢組，男子30歳代複の平島秀典／松本哲也組と，同単の横田寿弘選手の各１回であり，女子準優勝は，一般複の岡本／田辺組と，同単の岡本裕子選手であった。男子の３位入賞数では，30歳代複３回，40歳代単４回・複１回，50歳代複２回等であり，同女子では，一般単２回，複１回，30歳代単複各１回であった。〔第Ⅰ章「教職員連盟の歩み」，第Ⅴ章「教職員連盟の戦績」の項等参照〕

**◎総括**

団体の編成は，⑴一般男子複，⑵一般女子複，⑶混合複３組（①30歳・②40歳・③50歳の各年代別男子と，パートナーの女子は各組年齢フリー）であり，試合は，各県１，開催県２の合計６チームを２つのグループに分けてリーグ戦を行い，各グループ１位の県が優勝を争うことになっている。

また個人戦では，一般男女単複，30歳代男女単複，40歳代男子単複，50歳代男子単複の合計12種目による，トーナメントが行われている。

目下，かつての団体中国ブロック大会全勝時代のような，活発な活躍が待望されている。

### ⒀中国・四国大学学生選手権大会

**①岡山大学の主な活躍**

男子団体は，昭和61年度の準優勝に続いて，翌年度から２連勝を果たした。平成元年度３位，２年度４位，３・４年度連続３位，６年度４位を最後にこの年代の上位入賞を終わった。個人単では，62年度から原田貴史選手が２連覇，平成２年度に田埜浩祐選手，４年度には武藤英司選手と，計４回の優勝があったが，複は３位３回のみに止まった。

女子団体は，昭和61年度に準優勝しているが，その後のベスト４入りはない。個人戦では，藤目恵

選手が，昭和61年度の単優勝に合わせて，小池選手との複も制して２冠を獲得した。その他には複４位２回がある。

**◎総括**（昭和32年度第１回大会～平成８年度第40回大会）

初回から全大会に参加した岡山大は，男子団体８連覇を含む19回の優勝と，女子団体９連覇を含む17回の優勝に加えて，個人単複における多数の優勝が，伝統と力を物語っている。しかし，近年は中国地区レベルが平均化した上，私立大勢の著しい台頭に，上位入賞を阻まれることが多くなった。

**②山陽学園短大の主な活躍**

団体戦は，平成元年度に３位であったが，翌，２年度から６年度までに５連覇を果たしており，その新記録達成に貢献したのは，次の個人戦上位入賞を果たした選手たちである。

複では平成２年度から，佐藤由香／原田組，沖野／曽根組，佐藤由紀／佐藤純子組（２連覇）等のペアーで４連勝を遂げ，３位入賞も１回ある。単でも佐藤由香，同由紀の姉妹選手で計２回優勝，準優勝も，佐藤姉妹と岡野峰子３選手で計３回の外，３位入賞３回がある。

続いて，平成７年度の団体戦では準優勝し，翌８年度は３位に入賞しているが，その活躍の中心となったのは，長門弘美，重光香織，佐藤美和らの３選手であった。

**◎総括**（昭和32年度第１回大会～平成８年度第40回大会）

山陽学園短大は，昭和50年度の第19回大会に初出場以来，平成８年度の第40回大会までに，団体戦の５連覇を含む，優勝合計22回のみごとな戦績を残している。

**中国・四国大学学生選手権大会入賞数一覧**

| 種　目 | 団　体 | | | 個　人　単 | | | 個　人　複 | | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順　位 | 優勝 | 2位 | 3位 | 優勝 | 2位 | 3位 | 優勝 | 2位 | 3位 | 大会参加状況 |
| 岡山大学男子 | 19 | 11 | 7 | 20 | 18 | 13 | 14 | 17 | 8 | 第１回～第40回 |
| 岡山大学女子 | 17 | 5 | 3 | 12 | 7 | 10 | 9 | 11 | 7 | 第１回～第40回 |
| 山陽学園短大 | 7 | 6 | 2 | 6 | 6 | 4 | 9 | 3 | | 第19回～第40回 |

**③その他の主な活躍**

岡山県立短大（女子）は，昭和62年に橘／横田組が複に優勝し，平成元年度には，松王香音里選手が単優勝を果たしている。

岡山理科大学（男子）の坂本／延本組は，平成２年度の複に優勝している。

**⑭中国・四国大学リーグ戦**

**①岡山大学の主な活躍**

男子は昭和63年度に，リーグ開始以来２度目の１部優勝を果たした。その外，平成６年度までに２・３位各２回，４位３回であったが，平成７年度に２部落ちし，８年度は２部３位であった。

女子は，昭和63年度の１部２位が最高の戦績であり，その外に，３・４位が各２回あったが，平成３年度に２部落ちした。７年度には２部で優勝し，入れ替え戦も勝って１部に昇格している。

**◎総括**（昭和56年度第１回大会～平成８年度第16回大会）

男子優勝３回＜１部２，２部１＞。準優勝５回＜１部４，２部１＞。３位３回＜１部２，２部１＞となっており，リーグ16回のうち，１部３位以内が８回であった。

女子優勝３回＜１部２，２部１＞。準優勝２回＜１部１，２部１＞。３位５回＜１部４，２部１＞となっており，リーグ16回のうち，１部３位以内が７回であった。

**②山陽学園短大の主な活躍**

昭和61年度の入替え戦で２部落ちしたが，63年度は，２部優勝後の入替え戦で１部に返り咲いた。そして，平成元年度から２年連続準優勝，同３年度から５年度までに３連覇の快挙を遂げた。翌６年度からも，２年連続準優勝で面目を保ったが，平成８年度には４位に退いた。

**◎総括**（昭和56年度第１回大会～平成８年度第16回大会）

優勝５回＜１部３，２部２＞。２位５回＜１部＞。３位２回＜１部１，２部１＞であり，リーグ16回のうち，１部での３位以内９回の好成績を残している。

**⑮中国・四国・九州大学学生選手権大会**

この年代では，男女とも前年代以上に九州勢に圧倒された。昭和63年度の岡山大男子団体３位と，平成元年度，松王香音里選手（県立短大）の女子単４位以外に，ベスト４入りはなかった。

**◎総括**（昭和37年度第１回大会～平成８年度第35回大会）

**①岡山大学の主な活躍**

男子は初回から参加しており，優勝５回＜団体２，単１，複２＞。２位７回＜団体３，単１，複３＞。３位５回＜団体２，単１，複２＞。４位７回＜団体４，複１，単２＞であった。

同女子も初回から参加，優勝13回＜団体６，単３，複４＞。２位７回＜団体２，単２，複３＞。３位８回＜団体４，単２，複２＞。４位７回＜団体１，単３，複３＞の活躍であった。

**②山陽学園短大の主な活躍**

昭和50年度に初参加以来，優勝６回＜団体１，単３，複２＞。２位４回＜単２，複２＞。３位２回＜団体１，複１＞。４位３回＜団体１，単１，複１＞と健闘している。

**⑯東日本大学学生選手権大会**

**①西大寺高ＯＢの活躍**

今東建選手（日本大）は，昭和63年度第31回大会の個人戦複において，３位入賞の跡がある。

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

日女体大の近常直美選手は，平成元年度の第32回大会で団体戦３位入賞の原動力となった。

専修大の松王峰代子選手は，団体戦メンバーとして４年間にわたって貢献しており，その戦績は，平成６年度の第37回大会が４位，翌７年度から９年度までは３年連続５位であった。

**③瀬戸南高ＯＢの活躍**

日体大の草井篤選手は，２年生から団体戦メンバーに選ばれ，平成７年度からの３年連続優勝に貢献している。

**◎総括**

**東日本大学学生選手権大会，県外進学選手の入賞数**（優勝～５位）

| 順　位 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | 順　位 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子団体 | 3 | | | | | 女子団体 | | | 1 | 1 | 3 |
| 男 子 単 | | | 1 | | | 女 子 単 | 3 | 1 | | | |
| 男 子 複 | | | 1 | | | 女 子 複 | 3 | 1 | | | |

＊男子は，西大寺・倉敷青陵・瀬戸南各高ＯＢ，女子は山陽女子高ＯＧの戦績である。

### ⑰西日本大学学生選手権大会

この年代には，地元学生の特筆すべき戦績は残っていない。

**山陽女子高ＯＧの活躍**

四條畷学園女子短期大学に進学した加藤美香，赤澤景子両選手は，平成８・９の２年度にわたって団体戦メンバーに選ばれ，両大会とも準優勝獲得に貢献した。さらに，加藤選手は平成９年度の第37回大会において，単複ともに３位入賞を果たしている。

**◎総括**

**西日本大学学生選手権，地元学生と県外進学選手の入賞数**（優勝～５位）

| 順　位 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | 順　位 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子団体 | | | | | | 女子団体 | | 2 | | | ① |
| 男子単 | 2 | ①・3 | 1 | | | 女子単 | ①・4 | | 1 | | |
| 男子複 | 4 | 2 | | 1 | | 女子複 | ①・3 | 2 | 2 | 2 | |

＊①〇数字は地元学生，他の数字は県外進学学生の戦績合計である。

②地元学生の男子は岡山大学，女子は山陽学園短大の戦績である。

③県外進学の男子は西大寺・新宮両高ＯＢ，女子は山陽女子高ＯＧの戦績合計である。

### ⑱西日本家庭婦人大会

1986（昭和61）年度の第13回大阪大会に，初参加で初優勝の栄冠に輝いたのは，２部Ａ（合計年齢70歳以下）の，藤原／真鍋組（チェリッシュ）であった。平成元年度の第16回大会でも，平田／赤沢組（ちろりん村）が，２度目の優勝を果たして岡山の名を高めた。平成４年度の第19回大会では，平田／磯永組（永井ＢＣ）が準優勝を遂げ，５年度の第20回大会では，２部Ｂ（合計年齢71～80歳）の岡田／赤沢組（ちろりん村）が，前年度に続く準優勝を果たして面目を保っている。

**◎総括**

1974（昭和49）年度に，東大阪市協会の主管による「第１回関西家庭婦人招待親善大会」として，開催されたのが西日本大会のルーツであり，第６回までは東大阪市の主催・主管で行われた。

昭和58年度から西日本家庭婦人大会の名称に改められ，さらに，平成６年度からは，日本家庭婦人連盟の主催に移管されて現在に至っている。

岡山県の主な戦績等は前記のとおりであり，今後とも，毎年連続の参加活躍が期待されている。

## ３．全国大会と主な活躍

### ⑴全日本実業団選手権大会

**①県チームの活躍**

この年代における，男子のベスト16入りは，川崎製鉄の３回と三井造船の１回であり，女子は松本組（現まつもとコーポレーション）の４回があるが，男女ともベスト８入りは果たせなかった。

**②岡山県３回目の主管大会**

1989（平成元）年度の第39回大会は，県協会と県実業団連盟の主管により，岡山市政100周年記念大会として，特に，岡山市からの大きな支援のもとで盛大に行われた。

全国参加数：　男子＝128チーム。女子68チーム。

県内参加チーム（○つき数字は進出回戦）

男子８＝三井造船④，川崎製鉄④，山陽ドラム③，岡山市役所②，クラレ岡山②，旭化成②，松下電器②，三菱化成①

女子２＝まつもとコーポレーション②，松下電器①

会場：岡山市総合文化体育館＝22面（含サブフロアー６面），岡山県体育館＝10面，合計38面

**③西大寺高ＯＢの活躍**

今東建選手は，日本大学を経て，平成元年度からＮＴＴ関西に入社。同チームが，下記の戦績を残すに当たり，９年間にわたって貢献してきた。

ＮＴＴ関西：平成元年度～９年度の団体戦＝準優勝３回，３位２回，５位４回

**④山陽女子高ＯＧの活躍**

住矢直美選手は，平成６年の卒業と同時に東北電力新潟に入社，同チームの，平成７年度３位入賞など，毎回のように貢献しながら４年目を迎えている。




第39回全日本実業団選手権大会，岡山駅構内の看板
1989（平成元）年，於岡山市




第39回全日本実業団選手権大会開会式，
岡山県協会石田祥史会長の挨拶
1989（平成元）年６月14日，於岡山市民会館

**◎総括**

全国的には，昭和40年代半ばから部長，監督，コーチ等のスタッフを揃え，有力選手をスカウトして強化を図るチームが増えてきた。そして，「平日の午後から練習，日曜日は休み」とする原則の外，チーム独自の海外遠征や，国際レベルの外国で強化合宿を行うなど，スカウトの好条件を競い合っている。この傾向は，上位をめざす各実業団に定着した上，近年は，外国人選手のスカウトも始まっており，平成９年度の男子優勝は，インドネシアからの移籍選手を含むチームであった。

地元選手のみで頑張ってきた県内各チームは，昭和32年度の岡山市役所女子チームの優勝を始め，その後数年間にわたって，男女ともすばらしい戦績を残している。しかし，県内には前記のような好条件のチームは存在しない上，県内で育った有力選手が，県外に流出（進学，就職）する場合もあり，次第に全国レベルから引き離されている。

昭和53年度から，県協会石田祥史会長の㈱松本組に，女子の受け皿が用意され，昭和57～58年度に，郷土出身の，元ナショナルチーム所属選手を中心とした松本組（現，まつもとコーポレーション）チームが，久方ぶりに，３位と準優勝を勝ち取ったことは大きな収穫であった。しかし，有力選手引退後，チームの戦力が振出しにもどった上，平成９年度にはメンバー不足のため全国大会不参加の止む

なきに至っている。同チームは，捲土重来を目指して選手獲得に奔走中であり，さらに平成９年度から，別の企業にも新たに受け皿が設けられて，今後に期待が寄せられている。

男子も，伝統と実績を誇る県内チームが，全国大会において大シード権確保の戦力が維持できるよう，県内の有力選手獲得などについて，関係事業所のより深い理解を求めたいところである。

岡山県実業団連盟の加盟チーム全体としては，前述のように，不利な条件が次第に増大してくる厳しさにめげず，男女ともよく健闘した半世紀であった。（下表参照）

**県勢の参加状況と主な戦績**（昭和30年度第５回大会初参加～平成９年度第47回大会）

| | ＊初＝初参加の年度，回＝合計参加回数，＜　＞＝主な戦績の内訳 |
|---|---|
| 男子 | 岡山市役所……初＝Ｓ.30，回＝25＜３位＝２，４位＝２，５位＝４，ベスト16＝４＞<br>三井造船玉野…初＝Ｓ.36，回＝31＜５位＝１，ベスト16＝６＞<br>川崎製鉄水島…初＝Ｓ.52，回＝19＜５位＝１，ベスト16＝８＞<br>クラレ岡山……初＝Ｓ.54，回＝９。　三菱化学水島……初＝Ｓ.54，回＝５<br>三菱石油……初＝Ｓ.54，回＝３。　川鉄マシナリー…初＝Ｓ.55，回＝３<br>旭化成水島……初＝Ｓ.54，回＝２。　松下電器岡山……初＝Ｈ.元，回＝２<br>山陽ドラム……初＝Ｈ.元，回＝１。　帝国化工……初＝Ｓ.36，回＝１<br>倉敷市役所……初＝Ｓ.36，回＝１ |
| 女子 | 岡山市役所……初＝Ｓ.31，回＝11＜優勝＝１，２位＝２，３位＝１，５位＝４＞<br>まつもとコーポレーション…初＝Ｓ.57，回＝11＜２位＝１，３位＝１，ベスト16＝４＞<br>川崎製鉄水島…初＝Ｓ.52，回＝８。　三菱化学水島…初＝Ｓ.52，回＝７<br>松下電器岡山…初＝Ｈ.元，回＝２。　クラレ岡山……初＝Ｓ.51，回＝２ |
| 個人 | 男子30歳代：単優勝＝１回，２位＝１回，３位＝２回。複２位＝２回，３位＝２回 |

〔第Ⅰ章「実業団連盟の歩み」，第Ⅲ章「全日本実業団で準優勝の，松本組バドミントンチームが来社」の項参照〕

**⑵全日本家庭婦人大会**

昭和63年度，平成元・７・８・９年度の５回参加したが，いずれも予選リーグで敗退している。

**◎総括**

平成８年度の，部会から連盟への昇格を機に，全国大会での予選リーグ突破が期待されている。

**①倉敷青陵高同窓生の活躍**

広瀬園子（旧姓亀山）選手は，平成２・５年度に大阪チームの準優勝に貢献している。

**⑶全国高等学校選手権大会**

**①主な活躍**

1986（昭和61）年度からの12年間は，前年度よりもさらに不振となり，平成９年度までにベスト８入りを果たしたのは，昭和62年度第38回登別大会における，山陽女子の松王香音里選手の単１回だけであった。なお，62年度から団体戦が２複３単となり，１単・１複・２複・２単・３単の試合順で，第１単のみは複と兼ねられない形式に変わった。

**◎総括**（昭和25年度第１回大会～平成９年度第48回大会）

昭和25年度第１回大会からの経緯と，県勢の主な活躍等は，高体連の歩みに記載のとおりである。

全国の有名校は，昭和50年代頃から，全国中学校大会の上位選手を獲得して，戦力強化の取り組みを始め，近年は外国選手の留学制度までも利用されている。因みに，平成９年度女子単の決勝は，中国からの留学生２人で争われた。

岡山県の特筆すべき活躍（ベスト４入りまで）のトップは，山陽女子の団体と個人の優勝合計５回，同準優勝８回，３位４回，４位３回であり，次いで，西大寺の男子団体と同単での４位が各１回である。男女団体と個人の通算では，優勝から４位までが22回，５位（ベスト８入り）は26回にもおよぶなど，多数のすばらしい活躍の跡を残している。(下表参照)。

一方，昭和40年代半ばから県勢の成績がダウンし，専門部独自の強化対策がスタートした。47年には，体育館の竣工した玉野スポーツセンターにおいて，12月下旬に強化合宿を実施するなど，公共施設の利用も始まった。その後も，内容を充実しながら毎年継続されてきたが，最近では遠征や招待の練習試合も採り入れ，より組織的な取り組みを繰り返しながら現在に至っている。

しかし，近年の傾向として，３月の選抜選手権では８月のインターハイに期待できる戦績が挙がっても，その夢が実現できない…という現実がある。もっとも基本的な，毎日の練習の“質と量”を，各学校ごとに洗いなおしてみるなどの工夫により，より密度の濃い効率的な部活動の体制による，各校指導者の熱意と努力の“汗の量”に，大いに期待したいところである。

**岡山県代表校別参加状況と主な戦績**（昭和26年度第２回大会～平成９年度第48回大会）

| | ＊初＝初参加の年度，回＝団体戦合計参加回数，＜　＞＝個人戦を含む主な戦績の内訳 |
|---|---|
| 男子 | 倉敷工業……初＝Ｓ,26，回＝19＜単５位１＞<br>西大寺……初＝Ｓ,27，回＝12＜団体４位１，５位１。単４位１，５位１＞<br>水島工業……初＝Ｓ,46，回＝８＜団体５位１。単５位１＞<br>備　　南……初＝Ｓ,39，回＝４＜単５位１。複５位１＞。　倉敷青陵……初＝Ｓ,26，回＝４<br>玉野光南……初＝Ｓ,63，回＝２。　倉敷天城……初＝Ｓ,44，回＝１<br>東岡山工業…初＝Ｓ,57，回＝１。　瀬戸南……初＝Ｓ,61，回＝１ |
| 女子 | 山陽女子……初＝Ｓ,27，回＝43＜団体優勝１，２位３，３位２，４位３，５位８。<br>複優勝２，２位３，３位２，５位３。単優勝２，２位２，３位２，５位７＞<br>倉敷青陵……初＝Ｓ,26，回＝４。　井　　原……初＝Ｓ,26，回＝３＜複５位１＞<br>倉敷中央……初＝Ｓ,51，回＝２。　倉敷翠松……初＝Ｈ,元，回＝１ |

上表の参加回数は団体戦のみであり，山陽女子は，個人戦のみに参加した３年度分を含めると，第３回大会初出場以来，46回の連続出場を果たしている。この記録は，昭和25年度から平成９年度までの48年間における，全国高体連専門部の男女を通じて，最多出場の大記録である。

〔第Ⅰ章「高体連専門部の歩み」，第Ⅲ章「山陽女高，全国Ｖ重ね栄華極める」の項等参照〕

### ⑷全日本教職員選手権大会

#### ①県勢の主な活躍

前年代の，昭和53年度頃から低迷時代を迎えた県勢は，この年代に入っても，上位に進出できない年月を経過した。全体に不振のなかで，平成４年度と６年度には，定年退職後のベテラン西崎正明選手が，60歳以上の単でそれぞれ３位に入賞している。

#### ②西大寺高ＯＢの活躍

西崎書彦選手（大阪体大～ヨネックス～加計学園）は，平成３年度，広島県チームの３位入賞に貢

献している。

**◎総括**

1962（昭和37）年度にスタートした全日本教職員選手権や，日本教職員連盟（ＪＥＦ）設立の経緯等については，「教職員連盟の歩み」と「県協会各年代毎の歩み」に記載のとおりである。

なお，近年の全国大会は，団体戦が，一般男女と成壮年男子の３種目，男子個人戦が，一般と30・40・50・60歳の各年代別で単複計８種目，女子個人戦が，一般と30歳代の各単複計４種目の，合計15種目で行われている。かつての混合複は，競技運営の適正化や，選手のスタミナを考慮して，現在は実施されていない。

**岡山県勢入賞数のまとめ**（昭和37年度第１回大会～平成９年度第36回大会）

| | | |
|---|---|---|
| 団体戦 | 一般男子：優勝＝２，２位＝２，３位＝１。 | 一般女子：優勝＝１，３位＝１ |
| | 成壮年男子：優勝＝５ | |
| 個人戦 | 一般男子複：優勝＝１，２位＝１，３位＝３。 | 同単：３位＝４ |
| | 一般女子複：優勝＝１。 | 同単：優勝＝１，２位＝１ |
| | 30歳男子複：優勝＝３，２位＝２，３位＝１。 | 同単：優勝＝２，２位＝１，３位＝２ |
| | 40歳男子複：優勝＝７，２位＝３，３位＝１。 | 同単：優勝＝６，２位＝４，３位＝３ |
| | 60歳男子単：３位＝２ | |
| | 混合複：２位＝１，３位＝１ | |
| 合計 | 優勝：29（一般＝６，年齢別＝23）。２位：15（一般＝５，年齢別＝10） | |
| | ３位：19（一般＝10，年齢別＝９） | |

入賞をまとめると上表のとおりであり，第１回大会以来，現在までに通算29回の優勝がある。さらに，２・３位の合計は34回にもおよび，往年の県代表選手のめざましい活躍の跡は，県協会「50周年記念誌」を飾るにふさわしいものの一つである。また，教職員の活躍は，県内の小・中・高校生等の指導に反映して，成果を挙げる場合も多い。かつて，一般男女が上位入賞を果たした年には，国体の即戦力としても期待され，その期待に応える活躍をしてきたのである。

上表に見られるすばらしい戦績の中で，60歳代の男子単以外は昭和52年度までのものであり，同53年度から，平成９年度現在までの20年間には，特筆すべき戦績は残されていない。低迷化の大きな理由として，昭和55年度から国体教員男子の種別が廃止され，ハッスル目標のなくなったことが考えられる。しかし，教員は将来の岡山県を背負って立つ，ジュニア層の育成強化に携わる立場にあることを思うとき，県教職員連盟挙げての奮起が期待されるところである。

**⑸全国中学校選手権大会**

この年代12年間にも，岡山県代表はめざましい戦績を残しており，昭和61年度第16回大会は，岡北中の女子団体が５位に，複でも同校の中丸真規子／片山朋子組が５位に入った。

４年後の平成２年度第20回坂出大会では，女子の西大寺中が，岡山県女子団体で２度目の３位入賞を果たして銅メダルに輝いた。チーム編成は，監督＝溝辺直樹。選手＝松王峰代子，長門弘美，鐘築順子，重光香織，小林陽子，佐藤美和。マネージャー＝渡辺明子のメンバーであった。翌年の第21回大会は，岡北中の女子団体と，同男子複の楢原功士／三宅恭介組がともに５位に入り，アベックでの活躍となった。平成７年度の第25回川崎大会では，団体戦の上位はなかったが，倉敷福田中の橋村竜彦選手が，男子単で岡山県初の準優勝を勝ち取って銀メダルに輝いた。翌年度の第25回大会も，個人

戦で山陽女子中の谷口貴美選手が，女子単の５位入りを果たした。さらに続いて，平成９年度の第25回大会では，倉敷福田中の西峰大輔選手が，男子単で３位入賞を果たし，同校先輩の橋村選手に続いて倉敷福田中の名を高めた。

**◎総括**（昭和46年度第１回大会～平成９年度第27回大会）

第１回から第９回大会までは，都道府県対抗の団体戦（混成チーム可）のみであったが，昭和55年度，第10回大会からの団体戦は学校対抗に変わり，個人戦の単複（両種目出場不可）も行われるようになった。さらに，中国地区予選会で代表権を勝ち取った団体と個人が出場できる選抜形式となり，厳しい代表権争いが繰り返されることになって現在に至っている。

平成９年度の第27回大会までに，５位（ベスト８）までの戦績が残っていない年度は，計16回であり，全国の壁の厚さを実感させられるが，他の年度分（計11回）の戦績等を，学校別にまとめると下表のとおりである。なお，全国大会上位進出の選手達には，県内高校の代表として，全国上位を目標に活躍するよう待望されている。

**県代表の参加状況と主な戦績**（昭和46年度第１回大会～平成９年度第27回大会）

| | |
|---|---|
| ①第９回大会までの団体戦には，男女とも県選抜チームで毎年連続参加し，女子３位１回，５位１回がある。＊下表には第９回大会までの県選抜チームに選ばれた学校は入っていない。 | |
| ②下表は，第10回から第27回大会までの，団体，単複の合計参加回数の多い学校順に記載（初＝初参加の年度，回＝各種目の通算参加回数，＜　＞内は５位までの種目別戦績内訳） | |
| 男子 | 倉敷福田…初＝Ｓ,56，９回＜団体５位１，単２位１，３位１＞<br>白　　石…初＝Ｓ,57，６回＜団体５位１＞。　岡　北…初＝Ｓ,62，６回＜複５位１＞<br>山　　南…初＝Ｈ,６，５回。倉 敷 西…初＝Ｓ,55，３回＜団体５位１＞<br>芳　　泉…初＝Ｓ,61，３回。連　　島…初＝Ｈ,９，３回。　総 社 西…初＝Ｓ,59，２回<br>倉 敷 東…初＝Ｓ,63，２回。上　　南…初＝Ｈ,元，２回。　倉敷第一…初＝Ｈ,３，２回<br>西 大 寺…初＝Ｓ,56，１回。備　　前…初＝Ｓ,60，１回。　上　　道…初＝Ｈ,５，１回<br>旭　　東…初＝Ｈ,６，１回。玉 島 東…初＝Ｈ,９，１回 |
| 女子 | 岡　　北…初＝Ｓ,61，16回＜団体５位２，複５位１＞<br>白　　石…初＝Ｓ,55，８回＜団体５位１，複５位１＞<br>西 大 寺…初＝Ｈ,２，８回＜団体３位１＞。　備　前…初＝Ｓ,58，４回＜単３位１＞<br>倉敷第一…初＝Ｈ,４，４回。山陽女子…初＝Ｓ,61，２回＜単５位１＞<br>児　　島…初＝Ｈ,５，２回。倉 敷 北…初＝Ｈ,５，２回。　上　南…初＝Ｓ,56，１回<br>山　　南…初＝Ｈ,４，１回。瀬　　戸…初＝Ｓ,57，１回。　多津美…初＝Ｈ,６，１回<br>総 社 東…初＝Ｈ,９，１回 |

**⑹全日本高等専門学校選手権大会**

この年代における津山高専は，昭和61年度から団体戦に３年連続参加しており，同62年度の第11回鈴鹿大会では，待望の３位入賞を果たし，津山高専の名を全国に高めた。チーム編成は，西山宗弘監督のもと，マネージャー＝片山貴光。選手＝延原秀和，石黒雅之，谷本宏一，蔵田和夫，臼井博之，池田正治，川上一直のメンバーであった。なお，同大会の男子複で，延原／石原組が５位に入った。しかし，63年度の第12回津山大会を最後に，部員数の減少や中国地区予選落ち等が続き，団体戦の不参加が始まって現在に至っている。一方この間に，平成２年度の第14回熊本大会において，女子単の

酒本亜希子選手が３位入賞の貴重な戦績を残し，津山高専４度目のメダル獲得を達成している。

**◎総括**

昭和63年度以前の，全日本選手権男子エントリー数は，団体12，複24，単36であったが，平成元年度から単も複と同じの24に減った。平成２年度から女子の種目（複12，単24）が新設され，６年度までの５年間は，男女とも前記形式の大会が定着していた。しかし，平成７年度より「全国高専体育大会（総合形式の大会）」に組み込まれ，他競技並の規模適正化によって，男子は団体12，複単各16。女子は個人戦のみで複８，単16とエントリー数が減少し，出場枠が従来よりもさらに厳しくなって現在に至っている。

津山高専が中国地区大会で代表権を得て，全日本選手権に初参加したのは，1978（昭和53）年度の第２回名取大会（宮城県）である。その後，平成２年度現在までの参加状況と，５位以上の戦績は下表のとおりである。




**第12回全日本高等専門学校選手権大会開催**
**（昭和63年度，於津山市）**

**全日本選手権大会の参加回数と主な戦績**

（昭和53年度第２回大会初参加～平成２年度）

| 種　　目 | 参加回数 | 戦　　績 |
|---|---|---|
| 男子団体 | 7　回 | ３位１回 |
| 男子個人複 | 7　回 | ５位（ベスト８）２回 |
| 男子個人単 | 10　回 | 準優勝１回，３位１回 |
| 女子個人単 | 1　回 | ３位１回 |

平成元年度からの団体戦不参加に続いて，同３年度からは個人戦も不参加がつづき，さびしい現状となっている。部員数の確保と育成強化を基本とする部活動の活性化により，津山高専が全国大会で活躍できる日の再来が望まれるところである。

**⑺全国私立短大体育大会バドミントン競技**

**①山陽学園短大の活躍**＜（　）内は出身高校＞

山陽学園短大は，前年代に勝る活躍の跡を残している。昭和62年度に平尾／吉田組（山陽女子／倉敷中央）の複が３位に入賞し，63年度には，団体と平尾／片岡組（各山陽女子）の２種目で３位入賞を遂げた。平成元年度には，団体３位に加えて，佐藤由香選手（山陽女子）の単が準優勝を果たした。さらに，翌２年度の団体では，山陽学園短大３度目の３位を獲得した上，前年２位の佐藤由香選手が，実績とテクニックで単優勝の栄冠に輝き，昭和58年度の竹原選手の優勝に続く，２度目の快挙となった。平成３年度の団体は５位に後退したが，４年度には，佐藤由紀，佐藤純子（各山陽女子），沖野いづみ，曽根晴子（各善通寺第一），岡崎美和子（西大寺），鶴見里恵（瀬戸南）らの各選手により，団体戦で初の準優勝を勝ち取っている。しかし，平成５年度以降は，ベスト８に進出できない年月を経過して現在に至っている。

**◎総括**

1973（昭和48）年度に，同好会からスタートして活動を始めた山陽学園短大は，すでに述べてきた

ように，各種大会に参加してめざましい活躍の跡を残してきた。とりわけ，全国私立短大の大会では，昭和57年度の初参加以来，下記のようなすばらしい成果を挙げている。

**山陽学園短大，主な活躍の跡**＜昭和57～平成９年度　優勝～５位（ベスト８）＞

| 種　目 | 戦　　績 |
|---|---|
| 団体戦 | 準優勝１回，３位４回，５位１回 |
| 個人戦単 | 優勝２回，準優勝１回，５位１回 |
| 個人戦複 | ３位２回 |



第25回全国私立短大競技会単優勝の佐藤由香選手
山陽学園短大（平成２年度於大阪）



第27回全国私立短大競技会，団体準優勝の山陽学園短大チーム（平成４年度，於福岡）
団体戦メンバーのみ，
前列左から２人目より＝佐藤純子・佐藤由紀
後列左から＝沖野いづみ・鶴見里恵・曽根晴子・岡崎美和子

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

東海女子短大に進学した須々木恵選手は，平成７年度の第30回大会において，団体戦メンバーとしてチームの優勝に貢献し，単は５位であった。翌，８年度の第31回大会の団体戦でも３位入賞に尽力し，単では，準優勝を果たし銀メダルを獲得した。

平成９年度より，高校時代の同僚佐藤美和選手（山陽学園短大出）とともに，県実業団連盟片山義久会長（県協会副会長）の中国精油㈱に入社し，県実業団大会優勝の他，中国地区の各種大会でも活躍した。

平成10年度から，県協会岡﨑彬会長の岡山ガス㈱に２人そろって転勤し，引き続いて，全国大会出場等をめざして精進することになっている。



全国私立短大大会単準優勝の須々木恵選手(左)（東海女子短大）

### ⑻全日本社会人選手権大会

この年代における，岡山県協会代表選手の優勝から５位（ベスト８）までの戦績はない。

**①西大寺高ＯＢの活躍**

今東建選手（日本大～ＮＴＴ関西）は，平成元年度と７年度の混合複で５位に入っている。

**◎総括**

下表に見られるように，県代表選手による，年齢別の30～50歳代では合計31回の優勝と，準優勝から４位までは27回ある。これらの成果は，昭和33年度から56年度までのものであり，往年のベテラン選手のすばらしい活躍がしのばれる。一般男女の優勝はないが，ベスト８以上に入った年度には，国体での入賞につながるなど，貴重な戦績となっている。　1958（昭和33）年度第１回大会から，平成９年度までの入賞をまとめると下表のとおりである。

**岡山県関係の種目別入賞内訳**＜優勝～５位（ベスト８）　＊年齢別は４位まで＞

| 種　目 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | 種　目 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般男子単 | | ① | ① | 2 | 2④ | 一般男子複 | | ① | | | 3③ |
| 一般女子単 | ⑧ | | 3③ | 1① | 6② | 一般女子複 | ⑥ | 3① | 1④ | 1 | 6④ |
| 30歳男子単 | 8 | | | 1 | | 30歳男子複 | 8 | 1 | 1 | 2 | |
| 40歳男子単 | 6 | 2 | 5 | | | 40歳男子複 | 9 | 1 | 5 | | |
| 40歳女子単 | | | | | | 40歳女子複 | | | 1 | | |
| 50歳男子単 | | 4 | 2 | | | 50歳男子複 | 2 | 2 | | | |
| 混 合 複 | | 3③ | 4 | 1 | 1④ | ＊○付数字は，岡山県出身の県外在住選手分の合計 | | | | | |

上表の男子と混合複の県外在住選手分は，西大寺高と倉敷工高ＯＢのものであり，同じく女子は山陽女高ＯＧのものである。県外に進学し，就職先実業団チームの戦力アップに貢献しながらの，めざましい活躍ぶりは，岡山県の誇りでもあった。

### ⑼全日本ジュニア選手権大会

この年代12年間における，全日本ジュニア選手権５位以上の戦績は，次頁の一覧表に記載の通りであり，岡山県の一般勢が不振の続くなかで，ジュニアの活躍は明るい話題を提供している。

なかでも，平成８年度における西峰大輔選手（倉敷福田中）の３位入賞は，岡山県にとって，同大会初の快挙であった。

西峰選手はさらに精進をつづけ，平成９年度の全国中学校選手権の単でも，２度目の３位入賞を遂げるなど，安定した実力を発揮して，将来に期待をかけられている。



**西峰大輔選手（倉敷福田中）平成８年度全日本ジュニア選手権と平成９年度全国中学校選手権大会の両大会単において，連続３位入賞を遂げて２つの銅メダルを獲得した。**

**全日本ジュニア選手権，岡山県代表の上位獲得選手一覧（５位＝ベスト８）**

| | |
|---|---|
| 昭和62年度，第６回大会：ＪＢＤ＝５…平尾　昌也／片岡　義弘（瀬戸南高） | 記号説明 |
| 平成元年度，第８回大会：ＪＢＳ＝５…草井　　篤（瀬戸南高） | Ｊ＝中３・高校 |
| 平成５年度，第12回大会：ＭＢＳ＝５…橋村　竜彦（倉敷福田中） | Ｍ＝中学新人 |
| 平成６年度，第13回大会：ＭＧＳ＝５…河野亜矢子（倉敷多津美中） | Ｂ＝男子 |
| 平成８年度，第15回大会：ＭＢＳ＝３…西峰　大輔（倉敷福田中） | Ｇ＝女子 |
| 平成８年度，第15回大会：ＭＢＳ＝５…三宅　康祐（玉島東中） | Ｓ＝単，Ｄ＝複 |
| 平成９年度，第16回大会：ＭＢＳ＝５…佐伯　浩一（倉敷連島中） | ＊平成４年度からは単のみ |

平成９年度から各県の出場枠が男女ともに増えて，中学新人各４名，ジュニア各１名となり，ジュニアには高校３年生も出場できることになった。

**◎総括**

日本協会は，バドミントン競技が，オリンピック種目に加わるムードの高まった機会に，ＪＯＣにジュニア強化の重要性を訴え，平成５年度の第12回大会から，「ＪＯＣジュニアオリンピックカップ，全日本ジュニア選手権大会」の名称にするなど，ＪＯＣの協力体制をとりつけた。

その後，次第に盛大な選手権大会に発展し，平成９年度現在における，全国各都道府県別参加選手の出場資格は，下記のように規定されている。

⑴ジュニアの部（記号：Ｊ＝中３，高１・２・３）

各都道府県代表男女各１名とする。ただし，北海道は男女各１名，開催地は男女各３名を追加することができる。

平成９年度ナショナルチームの者

今年度全国高校総体のシングルス８位以内の高校３年生男女選手

今年度全国高校総体のシングルス32位以内の高校１・２年生男女選手

今年度全国中学校大会のシングルス８位以内の男女選手

⑵中学新人の部（記号：Ｍ＝中１・２）

各都道府県代表男女各４名とする。ただし，開催地は男女各３名を追加することができる。

⑶参考

①ジュニアの部，中学新人の部の男女とも，シングルスの試合とする。

②各種目３位までの入賞者に賞状を授与し，ジュニアの部優勝者にＪＯＣカップを授与する。

この大会で上位進出を果たした県代表選手は，次年度からのインターハイ，全国中学校選手権大会等の好成績につながることが多いので，県内の“金の卵”であるジュニア，特に小・中学生の強化対策が，より効果的に推進されるよう望まれるところである。

**⑽全日本大学学生選手権大会**

**①地元学生**　この年代における地元学生の特筆すべき戦績はない。

**②瀬戸南高ＯＢの活躍**

日体大の草井篤選手は，団体戦のメンバーに選ばれて，平成７年度４位，８年度準優勝，９年度には優勝と，団体の上位入賞に貢献した。

**③西大寺高ＯＢの活躍**

日本大の今東建選手は，昭和63年度に団体の３位入賞に貢献し，個人複では５位に入っている。

**④山陽女子高ＯＧの活躍**

日女体大の近常直美選手は，昭和61年度と平成元年度に，単でそれぞれ５位入りを果たしている。

専修大の松王峰代子選手は，平成６年度から９年度までの４年間にわたって，チームの主力として団体戦の５位入りに貢献した。

四條畷学園女子短大の加藤美香，赤澤景子両選手は，平成８年度の団体戦メンバーとしてチームの５位入りに尽力している。

**◎総括**

**①地元学生の主な活躍**

岡山大は，昭和32年度に女子複優勝の貴重な戦績を残している。その後は，昭和38年度の男子団体３回戦進出が最高の戦績であり，予選落ちや記録不明の年度が多い。

山陽学園短大は，昭和53年度に初参加で団体戦ベスト16に入っており，その後，平成９年度までの通算で，団体５回，個人は７回参加している。

岡山理科大は，昭和50年代に個人戦に計４回参加しているが，全体的に各チームとも予選（西日本学生選手権）突破が困難であり，代表権を獲得した場合にも，全国の厚い壁に阻まれて，インカレではほとんど勝ち進めない厳しい現状である。

**②県外進学選手の主な活躍**

男女ともインカレ史上にすばらしい戦績を残し，県外の有力な実業団チームにスカウトされて，めざましい活躍をつづけた選手が多い。また，男女ともに，国際舞台で日本チームの優勝に貢献し，特に女子は，全英選手権でも数回にわたって世界一のタイトルを獲得し，その他各種大会での優勝は10数回におよぶなど，華々しい成果を挙げた選手も出ている。しかし，卒業後岡山に就職して，“故郷に錦を飾る”のは，残念ながら一部の選手に限られており，特に，男子においてはゼロに等しい。

管理体制の確立された，県内の受け皿が切望されるところである。

**岡山県関係，入賞のまとめ**（昭和25年度第１回大会～平成９年度第47回大会）

| 種　目 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | 種　目 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子団体 | 2 | 2 | 6 | 1 | 2 | 女子団体 | 8 | 7 | 3 | | 5 |
| 男子複 | | | | | 3 | 女子複 | ①･2 | 5 | 10 | 1 | |
| 男子単 | | | 3 | 1 | 1 | 女子単 | 5 | 3 | 4 | 2 | 5 |

＊①○つき数字は岡山大選手の戦績（地元選手の５位以上入賞は，女子複優勝が１回のみ）

②数字は県外進学の井原，西大寺，山陽女子，倉敷工業，水島工業，瀬戸南等各高出身選手の合計

③女子の数字は，坂出高出身選手（現在玉野市在住）分を含む。

**⑾国民体育大会バドミントン競技**

**①国体，岡山県の入賞種別とチーム編成**＜昭和61年～平成９年度（５位＝ベスト８）＞

| 回 | 開催地 | 種別 | 順位 | 監　督 | 選　手 | 総合成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 42 | 沖縄県 | 成女 | ５位 | 藤原　航 | 岡　百合子，西林　昭子，紀井　晴美 | 入賞なし |
| 46 | 石川県 | 成男 | ５位 | 中山　睦雄 | 藤原　道弘，藤原　一志，若林　邦任 | 入賞なし |
| 50 | 福島県 | 少女 | ５位 | 石田　賢一 | 赤澤　景子，加藤　美香，次田　尚美 | 入賞なし |

この12年間は上表のように５位入賞が３回であり，入賞数のもっとも少ない年代となった。

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

住矢直美選手は，平成６年の卒業と同時に東北電力新潟に入社，平成８年度第51回広島国体の新潟県代表に選ばれて，同チームの準優勝に貢献した。９年度も同県の代表となり，北信越ブロックでは，前年度本国体優勝の富山県を破って優勝し，第52回大阪国体では５位入賞を果たした。

**◎総括**

国体における総合成績は，都道府県別総合力のバロメーターともいわれており，岡山県勢は昭和20年代末から，同40年代前半にかけて，すばらしい活躍を続けてきた。しかし，昭和40年代半ばから，全国各地の実業団有力チームが，優秀選手のスカウトなどによる戦力強化の取り組みを始め，高校界においても，全国的な有名校が全国中学校大会や，全日本ジュニア選手権の上位選手を獲得する傾向が広まってきた。さらに，県内で育った有力選手も，県外に進学・就職する場合もあって，地元選手のみで頑張る県勢は，次第に全国レベルから引き離されて現在に至っている。

国体48年間における戦績の詳細については，「選手強化部会の歩み」の資料③にもまとめてあるが，各種別毎の順位別入賞数は資料①のとおりである。成年，少年とも女子の入賞が多いが，その大半は山陽女高ＯＧと，同現役選手の活躍によるものであった。また，教員男子は，実施された21回の全大会に参加し，その内，16回もの入賞は立派の一語につきる。一方，中国地区予選落ちは，地区大会の全種別合計参加数149回の内，20回（約13%）であり，中国地区予選での本国体出場権獲得率は87%にもおよび，全国各地区の中でもトップクラスを維持している。（資料②参照）

資料③の名簿の中で，国体10年選手として受賞した選手は男子８名，女子１名であるが，多年参加が困難な女子にも，５回以上の参加者９名があり，これらの選手は，岡山県バドミントン界の牽引車的存在と言える。また，資料③以外にも，多くの監督や選手が参加しており，共に，県及び中国地区の代表として幾多の入賞を果たし，バドミントン岡山の名を全国に高めてきたのである。

中国地区予選を勝ち抜いて本国体に参加し，さらに上位に入賞することは，年ごとに厳しさを増しているのが現状である。しかし，今後とも，ジュニア層の育成強化を受けての，中学・高校の強化対策が実を結び，さらに，成年のレベルアップにもつながるよう，各関係指導者の熱意と，県協会のバックアップによる，より積極的な取り組みが期待されるところである。

**資料①，各種別と総合の入賞回数**（昭和25年度第５回大会～平成９年度第52回大会）

| 入賞順位 | 優勝 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | ６位 | ７位 | ８位 | 入賞計 | 参加計 | 入賞％ | 地区予選落ち |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成年男子 | | | 1 | | 9 | | | | 10 | 48 | 21 | 0 |
| 成年女子 | 2 | 2 | 3 | 4 | 15 | | | | 26 | 42 | 62 | 7 |
| 少年男子 | | | | 2 | 11 | | | | 13 | 35 | 37 | 13 |
| 少年女子 | 1 | 2 | 3 | 1 | 19 | | | | 26 | 48 | 54 | 0 |
| 教員男子 | | 1 | 3 | 2 | 10 | | | | 16 | 21 | 76 | 0 |
| 合　計 | 3 | 5 | 10 | 9 | 64 | | | | 91 | 194 | 47 | 20 |
| 天皇杯 | 1 | | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 2 | 16 | 194 | 8 | |
| 皇后杯 | 1 | 6 | 2 | 1 | 6 | 2 | 3 | 5 | 26 | 90 | 29 | |
| 合　計 | 2 | 6 | 5 | 5 | 7 | 4 | 6 | 7 | 42 | 194 | 22 | |

注，①成年女子優勝の年度は２回とも皇后杯２位，天皇杯９位（上表では計算外）であった。

②入賞率＝入賞計÷参加計×100（地区予選落ちは計算外）

**資料②，各都府県の全種別ブロック代表権獲得回数ランキング**（昭和29～平成９年度）

| 順位 | 都府県 | 回数 | 所属地区 | 順位 | 都府県 | 回数 | 所属地区 | 順位 | 都府県 | 回数 | 所属地区 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 香川 | 29 | 四国 | 15 | 新潟 | 2 | 北信越 | 22 | 千葉 | 1 | 関東 |
| 2 | 岡山 | 27 | 中国 | 15 | 茨城 | 2 | 関東 | 22 | 三重 | 1 | 東海 |
| 3 | 熊本 | 15 | 九州 | 15 | 青森 | 2 | 東北 | 22 | 佐賀 | 1 | 九州 |
| 4 | 大阪 | 12 | 近畿 | 15 | 滋賀 | 2 | 近畿 | 22 | 長野 | 1 | 北信越 |
| 5 | 富山 | 8 | 北信越 | 15 | 奈良 | 2 | 近畿 | 22 | 宮崎 | 1 | 九州 |
| 6 | 愛知 | 6 | 東海 | 15 | 鳥取 | 2 | 中国 | 22 | 栃木 | 1 | 関東 |
| 6 | 石川 | 6 | 北信越 | 22 | 神奈川 | 1 | 関東 | 22 | 島根 | 1 | 中国 |
| 8 | 福岡 | 5 | 九州 | 22 | 兵庫 | 1 | 近畿 | 22 | 山梨 | 1 | 関東 |
| 9 | 宮城 | 4 | 東北 | 22 | 秋田 | 1 | 東北 | 22 | 沖縄 | 1 | 九州 |
| 10 | 東京 | 3 | 関東 | 22 | 岐阜 | 1 | 東海 | 22 | 京都 | 1 | 近畿 |
| 10 | 長崎 | 3 | 九州 | 22 | 大分 | 1 | 九州 | 22 | 山形 | 1 | 東北 |
| 10 | 静岡 | 3 | 東海 | 22 | 福井 | 1 | 北信越 | 22 | 福島 | 1 | 東北 |
| 10 | 山口 | 3 | 中国 | 22 | 岩手 | 1 | 東北 | 22 | 広島 | 1 | 中国 |
| 10 | 埼玉 | 3 | 関東 | 22 | 和歌山 | 1 | 近畿 | | | | |
| 15 | 群馬 | 2 | 関東 | 22 | 鹿児島 | 1 | 九州 | 番外 | 北海道 | 44 | |

注，①ブロック大会（地区予選）は，昭和29年度第９回北海道国体から始まり，現在に至っている。

②上表の回数１は，国体バドミントン競技を開催した年の全種別無条件参加である。

③ブロック大会別の参加都府県は，東北＝６。関東＝８。北信越＝５。東海＝４。近畿＝６。**中国＝５**。四国＝４。九州＝８である。

④北海道は，毎年度，全種別の無条件参加が認められている。

＊①バドミントン競技，２巡目開催都道府県＝東京（含オープン），北海道，愛知，香川，広島

＊②バドミントン競技，未開催県＝徳島，愛媛，高知

**資料③，国体多年参加の監督・選手**（昭和25年度第５回～平成９年度第52回大会）　その１

| 男子（５回以上の参加者） | | | | | 女子（３回以上の参加者） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区分 | 氏名 | 所属 | 参加 | 入賞 | 区分 | 氏名 | 所属 | 参加 | 入賞 |
| 監督 | 山上　周之 | 山陽学園職 | 21 | 28 | 監督 | 橋本千代子 | 倉敷青陵高教 | 3 | 3 |
| | 藤原　航 | 三井造船 | 12 | 6 | | | | | |
| | 小原　健吾 | 倉敷工業高教 | 7 | 3 | 選手 | 前原　福子 | 倉敷青陵高OG | 4 | 1 |
| | 渡辺　弘美 | 倉敷福田中教 | 8 | 8 | | 佐藤　房子 | 倉敷青陵高OG | 3 | 1 |
| | 虹江　優 | 三井造船 | 11 | 1 | | 難波　芳子 | 倉敷青陵高OG | 4 | 1 |
| | 毛利　清志 | 山陽学園教 | 17 | 3 | | 吉川　英子 | 山陽女子高OG | 3 | 3 |
| | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 13 | 3 | | 野口　敏子 | 倉敷青陵高OG | 3 | 2 |
| | 佐藤　忠裕 | 山陽学園教 | 5 | | | 大森　嘉美 | 山陽女子高OG | 3 | 3 |
| | | | | | | 友野　文子 | 山陽女子高OG | 3 | 3 |
| 選手 | 毛利　清志 | 山陽学園教 | 20 | 14 | | 権田　節子 | 岡山市役所 | 5 | 5 |
| | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 7 | 3 | | 光本　政子 | 岡山市役所 | 4 | 4 |
| | 石原　利通 | 岡山市役所 | 6 | 3 | | 小林　桂子 | 岡山市役所 | 3 | 3 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 小松　貴 | 岡山市役所 | 12 | 5 |
| | 西崎　正明 | 丸之内中教 | 6 | 5 |
| | 青井　正義 | 内山コルク | 5 | 3 |
| | 藤原　航 | 三井造船 | 9 | 2 |
| | 三宅　勝 | 水島工高教 | 17 | 11 |
| | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 10 | 8 |
| | 芳上　一男 | 三井造船 | 13 | 2 |
| | 上野　輝治 | 三井造船 | 8 | |
| | 岡本　次郎 | 上南中教 | 7 | 4 |
| | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 19 | 4 |
| | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 12 | 2 |
| | 小田　和文 | 岡山養護教 | 5 | 3 |
| | 若林　邦任 | 永井ＢＣ | 16 | 3 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 根岸　純 | 岡山市役所 | 8 | 8 |
| | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | 5 | 5 |
| | 合田　君子 | 岡山市役所 | 3 | 3 |
| | 重政　百代 | クラレ岡山 | 6 | 5 |
| | 高塚　淳子 | 山陽女子高OG | 4 | 4 |
| | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 10 | 10 |
| | 浦口　恵子 | 山陽女子高OG | 4 | 4 |
| | 光畑　直美 | クラレ岡山 | 3 | 3 |
| | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 6 | 5 |
| | 林　寿美子 | 山陽学園教 | 4 | 3 |
| | 三田　明美 | クラレ岡山 | 3 | 3 |
| | 河本　小織 | 松本組 | 5 | 4 |
| | 藤原　敦子 | クラレ岡山 | 4 | 3 |
| | 小寺　裕美 | 埼玉県 | 7 | 3 |
| | 森下　真紀 | トッププロスポーツ | 3 | |
| | 佐藤　由香 | まつもとコーポレーション | 4 | |
| | 住矢　美幸 | まつもとコーポレーション | 5 | |
| | 松王峰代子 | 専修大学 | 4 | |
| | 住矢　直美 | 東北電力新潟 | 4 | 2 |

注，①監督・選手とも初参加の年度順に記載

②監督・選手の所属はそれぞれ，最終参加時のものを記載

③入賞は５位（ベスト８）以上の計を記載

④山上監督は，同年度に複数種別の監督を兼ねたので，参加数より入賞数が多い。

⑤女子の前原（倉敷青陵），根岸，重政，高塚，湯木，浦口（各山陽女子）の６選手は，高校時代に１年生から３年連続参加

⑥小松選手12回のうち１回は大阪府代表，湯木博江選手10回のうち７回は東京都代表，小寺裕美選手７回のうち１回は埼玉県代表，住矢直美選手４回のうち２回は新潟県代表

**資料④，都府県別の天皇杯男女総合優勝ランキング**（平成９年度現在）

１位＜神奈川，熊本＞＝各７回。　３位＜大阪＞＝６回。　４位＜東京，新潟＞＝各４回
６位＜富山，石川＞＝各３回。　８位＜愛知，岐阜，滋賀＞＝各２回
11位＜岡山，秋田，香川，岩手，青森，群馬，山梨，福島＞＝各１回　　計18都府県

＊岡山県の天皇杯・皇后杯別入賞内訳は，「選手強化部会の歩み」資料③，前記資料①参照

**●こぼれ話**

平成８年の初め，第60回２巡目岡山国体の主会場は，岡山市古都南方・下地区に，総額700億円（県と岡山市負担）で建設することに決まっていたが，本年８月，改修費100億円ですむ，岡山市津島の県総合クラウンドにする話が突然持ち上がった。岡山県が，全国一の財政難となっていることがその理由である。ところが，総合グラウンドの改修には遺跡の問題があり，一方，当初の決定で期待している下地区の強い要望があるので，主会場問題の結論には，今しばらく時間がかかるようである。なお，バドミントン競技は金光町に決定された。　＊平成９年11月記



第42回沖縄国体(昭和62年度,於糸満市)岡山県女子チーム,成年女子５位
成年＝後列左から２人目～西林昭子・藤原航監督・紀井晴美・岡百合子
少年＝後列左端,人見順子,前列左～河原美津己・松王香音里・山崎恵子監督




第46回石川国体（平成３年度，於県美川町）岡山県選手団，成年男子５位
後列左から＝田中学・仁井昌志・柴田憲監督・藤原道弘・松田範明監督・藤原航理事長，中列左から＝藤原一志・中山睦雄監督・草井篤・佐藤由香・若林邦任・朝霧春夫理事，前列左から＝藤原清美・安原久恵・佐藤由紀・住矢美幸・○・岡良衣・吉原俊治監督




第50回福島国体（平成７年度，於白河市）岡山県選手団，少年女子５位
後列左から＝安本貴志・松川大記・宮澤勝智・若林邦任・住矢美幸・佐藤由香・福田哲，前列左から＝横田寿弘・石田賢一・吉原俊治・中山睦雄各監督・松王峰代子・加藤美香・赤澤景子・次田尚美

### ⑿全日本シニア選手権大会

この年代に，岡山県勢がもっとも活躍した全国大会が，全日本シニア選手権である。

▷1986（昭和61）年度の第３回大会には，30・40歳代の男子複に各１組が参加したが，翌年の第４回大会は不参加となっている。

▷昭和63年度の第５回香川大会より，30歳代の参加者が一気に増えて活気に溢れ，県勢は，男女ともすばらしい戦績を残した。男子単では，川崎製鉄の平田重男選手が準優勝，パートナーの藤原道弘選手も３位に入賞し，複でも両選手のペアーで準優勝を遂げて，二人で４個のメダルを獲得した。さらに，女子複では，原田美智子／今津裕美組（松本組／埼玉＝旧姓小寺）が初優勝を果たし，男女とも次年度に向けてはずみをつけた。

▷続く第６回愛知大会においても30歳代男女が大活躍した。藤原道弘選手が単で念願の初優勝を果たし，複でも鳥取の出石選手とのコンビで初優勝して２冠を獲得した。さらに，女子複では山本（旧姓原田）／今津組が２連勝を達成し，岡山県は30歳代男女単複４種目中の３種目を制した。

▷第７回京都大会では，藤原選手が２連勝を達成し，藤原一志選手（中谷興運）も３位であった。

▷平成３年度の第８回広島大会の30歳男子単では藤原選手が準優勝，平田選手が３位に入賞し，同女子複では，山本／今津組が３回目の優勝に輝いた。なお，この大会では，倉敷工高ＯＢの塩飽初選手（新日鉄広畑）が，40歳男子単で初優勝を遂げ，倉敷青陵高ＯＧの広瀬園子（旧姓亀山）選手が40歳女子複で５位に入っている。

▷第９回宮城大会からは男子だけの参加となった。藤原選手が単で３回目の優勝を果たし，平田選手も３位に入賞した。複でも藤原／出石組が準優勝して面目を保った。

▷第10回東京大会は，60歳代の２名だけで参加し，毛利清志／西崎正明組が３位に入賞した。

▷平成７年度の第12回大阪大会は，県協会主管の中国地区総合選手権大会と重なり，若手選手不参加のなかで，60歳代単の毛利選手が３位であった。同大会では，今津裕美選手（元松本組＝埼玉）が，30歳代女子単で念願の初優勝を果たしたが，38歳での単優勝は，日頃の精進のたまものといえる。

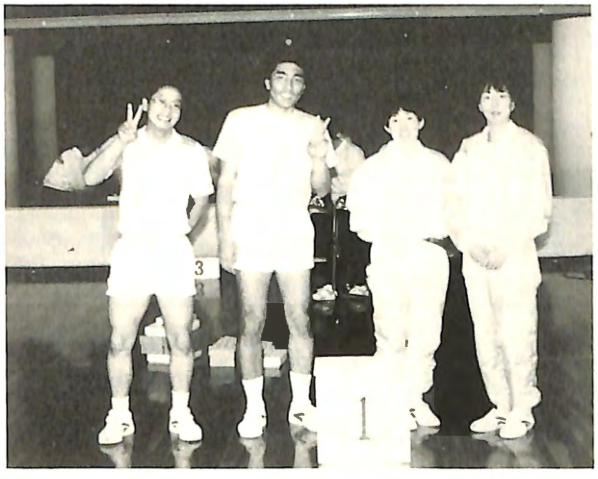
▷平成８年度の第13回愛媛大会には，男子のみ10名が参加し，30歳代単の若林邦任選手（三井造船～ラケットショップ永井）が，30歳に上がりたて若さと実力で，初優勝の栄冠に輝いた。

▷平成９年度第13回福岡大会での若林選手は，予想どおり，２連覇の快挙を遂げて期待に応えた。

**県代表選手，優勝数のまとめ**（昭和59年度第１回大会～平成９年度第13回大会）

30歳代男子単＝５回。30歳代男子複＝１回。40歳代男子単＝１回。
30歳代女子単＝１回。30歳代女子複＝３回。　　＊下線は岡山県出身の県外在住選手分

＊男子複１回は鳥取県選手とのペアー。女子複３回は岡山県出身の県外在住選手とのペアー。



第６回全日本シニア選手権大会（平成元年，於大府市）
左から＝藤原道弘・出石勉（鳥取）・今津裕美・山本美智子各選手

**◎総括**

14年間のメダル獲得をまとめると，30歳男子単は優勝５回，準優勝２回，３位４回。同複優勝１回，準優勝２回。30歳女子複優勝３回，60歳男子単での３位１回，同複１回であった。中でも30歳男子の藤原，平田，藤原一志，若林らの各選手は，国体の県代表として活躍した実績も多く，一般時代からの夢であったメダルの獲得をめざして，ひたすら，頑張り続けた努力は称賛に値する。また，女子の山本，今津両選手は，家庭の理解もさることながら，家事と育児と練習をコントロールしながらの３回制覇は，立派の一語につきる。

**⑬全日本総合選手権大会**

昭和61年度から平成元年度までに本選出場はなかったが，平成２年度には，藤原道弘／若林邦任組

（川崎製鉄／三井造船）が予選を勝ち抜き，本選で２回戦に進んでいる。その後２年間は予選落ちしているが，平成５年度には日本協会の特別推薦により，草井篤（瀬戸南高）と松王峰代子（山陽女高）両選手が，直接本戦に出場した。その後，中国地区では，毎年他県よりも多くの出場権を獲得してきたが，本大会で予選を勝ち抜いて本選に出場したのは，平成９年度における，混合複の福田哲／佐藤由香組（松下電器／山陽女高ＯＧ）だけであった。この間の平成７年度より，中国地区総合で優勝すれば，大・高・中の学生や生徒にも，全日本総合に参加のチャンスが与えられることとなった。

〔中国地区の代表権獲得選手については，中国社会人選手権～同総合選手権大会の項参照〕

**◎総括**

1946（昭和21）年に日本協会が設立され，最初に開催された全国大会が，昭和22年度の第１回全日本選手権であり，大会の変遷と発展等については，各年代毎の歩みに記述したとおりである。

予選，本選の制度が開始された昭和57年度から平成９年度までに，各種全国大会のランキングによって参加権を獲得し，直接本選に出場したのは男子単１名，複１組。女子単２名，複１組。混合複１組等であり，日本協会の特別推薦で直接本選に出場したのは，男女単各１名であった。往年のように，各種全国大会のランキング保持者となって直接本選に参加する選手や，中国地区で代表権を獲得した後，全日本総合の予選を突破する選手が増えるよう，待望される現状である。

岡山県代表選手初参加の，昭和27年度第５回大会から，平成９年度までの主な戦績と参加状況は次の表①・②のとおりである。

**①県協会関係入賞数**（昭和27～平成９年度）

| 種　　目 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|---|---|---|---|---|---|
| ジュニア女子単 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| ジュニア女子複 | 2 | 1 | 1 | | 2 |
| 一般女子単 | 1 | 1 | | | 7 |
| 一般女子複 | 1 | 2 | 2 | | 1 |
| 30歳男子単 | 4 | | | | |
| 30歳男子複 | 4 | | | 1 | |
| 50歳男子単 | | 1 | | 1 | |
| 50歳男子複 | | 1 | | | |
| 混合複 | 2 | 2 | 2 | | 5 |
| 合　　計 | 15 | 9 | 6 | 3 | 19 |

**②通算参加数**（太線の右は予選）

| 種　　目 | 単 | 複 | 単 | 複 |
|---|---|---|---|---|
| ジュニア男子 | 12 | 6 | | |
| ジュニア女子 | 17 | 8 | | |
| 一般男子 | 16 | 8 | 19 | 10 |
| 一般女子 | 42 | 18 | 8 | 8 |
| 30歳男子 | 11 | 6 | | |
| 40歳男子 | 5 | 3 | | |
| 50歳男子 | 2 | 1 | | |
| 混合複 | | 19 | | 5 |

ⓘジュニアは昭和31年，年齢別は昭和36年に廃止
②予選・本選の制度は，昭和57年度に開始

**③岡山県出身，県外進学・就職・在住選手の入賞数**

| 種　　目 | 優勝 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般男子単 | | | | | 2 |
| 一般男子複 | | | | | 5 |
| 一般女子単 | 7 | 5 | 4 | 2 | 3 |
| 一般女子複 | 1 | 10 | 5 | | 6 |
| 混合複 | | 1 | 3 | | 5 |
| 合　　計 | 8 | 15 | 12 | 2 | 22 |

注，①左表の数字は，昭和27～平成９年度までのまとめである。
②左表の内，男子は西大寺高と倉敷工業高のＯＢ，女子は山陽女子高ＯＧ，混合複は前記３校同窓の活躍による。
③左記の外に，昭和52年度のみ団体戦が行われ，一般男子での５位がある。

なお，平成９年度現在の大会要項では，参加資格を次のように規定している。

| | | |
|---|---|---|
| ⑴本選出場有資格者 | | |
| ①前年度全日本総合選手権大会 | ランキング男女単・複・混合複 | ８位以内 |
| ②当該年度全日本社会人選手権大会 | ランキング男女単・複・混合複 | ８位以内 |
| ③当該年度全日本学生選手権大会 | ランキング男女単・複 | ４位以内 |
| ④当該年度全日本教職員選手権大会 | ランキング男女単・複 | ２位以内 |
| ⑤当該年度全国高等学校選手権大会 | ランキング男女単・複 | ２位以内 |
| ⑥当該年度全日本ジュニア選手権大会 | ランキング男女単（ジュニアの部） | ２位以内 |
| ⑦予選男女単８位以内 | | ８名 |
| ⑧予選男女複・混合複４位以内 | | 各４組 |
| ⑨財団法人日本バドミントン協会推薦者 | | 若干名 |
| ⑵予選出場有資格者 | | |
| ①当該年度全日本社会人選手権大会 | ランキング男女単・複・混合複 | ９位～16位 |
| ②当該年度全日本学生選手権大会 | ランキング男女単・複 | ５位～８位 |
| ③当該年度全日本教職員選手権大会 | ランキング男女単・複 | ３位 |
| ④当該年度全国高等学校選手権大会 | ランキング男女単・複 | ３位 |
| ⑤当該年度全日本ジュニア選手権大会 | ランキング男女単（ジュニアの部） | ３位 |
| ⑥各地区推薦男女単・複・混合複 | | 各１名・１組 |

**⑭全国高等学校選抜選手権大会**

昭和61年度から平成８年度までは，前年代のように安定した戦績は残っていないが，平成４年度の新潟大会で，瀬戸南の草井篤選手が，男子単で準優勝して銀メダルを獲得した。高校男子の全国大会準優勝は，昭和24年度に岡山県高体連専門部が活動を始めて以来，初の快挙であった。さらに，山陽女子の松王峰代子選手も，女子単で３位に入賞し，銅メダルを獲得した。この大会における山陽女子の３位入賞は11年ぶりであったが，一大会におけるアベック入賞は，県協会や高体連専門部にとって久方ぶりの朗報となり，県内の高校生によい刺激を与えた。

続いて平成５年度の大府大会では，男子複の楢原功士／三宅伸介組（倉敷工業）と，女子複の雄龍あゆみ／須々木恵組（山陽女子）が，それぞれ５位に入った。

また，平成９年度の第26回東京大会では，エースの井山美里主将を中心とした山陽女子が，厚い選手層で活躍し，団体戦で13年ぶりに５位入賞を果たした。

この間，平成３年度は大会創設20周年，８年度は同25周年と，それぞれの記念大会に当たり，全県参加の団体戦のみが行われたが，両大会では，男女ともに予選リーグで敗退している。

**◎総括**

３月の全国高校選抜選手権では，下表にみられるとおり，ベスト４入りが計11回と，ベスト８入りは計25回もある。選抜選手権は地区代表による大会であり，レベルの高い他の地区には，レベルの低い中国地区での優勝チームや個人の代表選手よりも，強力なチームや選手が多数存在するのである。そして，都道府県代表で争う，インターハイへの出場権を得た他地区の代表は，選抜に出場できなかった悔しさをバネにして厳しい練習を積み重ね，“やる気”に満ちて試合で頑張るのに違いない。

選抜の地区代表に選ばれる努力や，ベスト８以上をめざして頑張ることが先決であることはいうまでもない。しかし，さらに重要なことは，春から夏までの練習内容をより充実させて，選抜選手権での好結果を，８月のインターハイにつなげることであろう。

「岡山県は中国地区の“井の中の蛙”？」の，そしりをはねかえすための工夫と実践が，待ち望まれている。

大会創設から現在までの，岡山県の参加，活躍状況は下表の通りである。

**学校別参加状況と主な戦績**（昭和47年度～平成９年度）

| ＊初＝初参加の年度，＊回＝種目別参加回数＜順位－入賞回数＞ | |
|---|---|
| 男子 | 倉敷青陵……初＝Ｓ,48，回＝複１，単１<br>倉敷工業……初＝Ｓ,49，回＝団体２＜４位－１＞，複５＜５位－１＞，単３＜４位－１＞<br>倉敷天城……初＝Ｓ,54，回＝団体１＜５位－１＞<br>水島工業……初＝Ｓ,54，回＝団体１，単１<br>東岡山工業…初＝Ｓ,54，回＝複１＜４位－１＞<br>西大寺……初＝Ｓ,58，回＝団体１，単１＜５位－１＞<br>玉野光南……初＝Ｓ,61，回＝複２<br>瀬戸南……初＝Ｓ,61，回＝団体１，複１，単５＜２位－１＞<br>理大付属……初＝Ｓ,63，回＝複１，単１ |
| 女子 | 山陽女子……初＝Ｓ,47，回＝団体19＜５位－８＞複20＜３位－１，４位－１，５位－７＞<br>単20＜２位－２，３位－２，５位－８＞<br>倉敷中央……初＝Ｓ,50，回＝団体１，複１<br>倉敷翠松……初＝Ｓ,63，回＝団体２，複１，単１ |

**⑮日本リーグ**

**①西大寺高ＯＢの活躍**

今東建選手（日本大学～ＮＴＴ関西）は，平成元年度の入社と同時にチームのレギュラーとして活躍を始めた。そして、ＮＴＴ関西が日本リーグの常連チームとして，下記のような戦績を残すに当たって，毎回のように貢献してきた。

平成元年度＝２位，２年度＝３位，３年度＝３位，４年度＝２位，５年度＝３位，６年度＝２位，７年度＝８位

**②山陽女子高ＯＧの活躍**

住矢直美選手（東北電力新潟）は平成６年度に入社し，平成７年度より，レギュラーに選ばれて活躍を始めた。同チームが，平成７年度に２部優勝を果たし，入れ替え戦をも勝ち取るに当たって大きく貢献した。なお，同チームは平成８年度に１部６位，９年度は同５位であった。

## ４．国際大会

①近常直美選手（山陽女高～日女体大）は，昭和61年度，大学１年時のインカレ単５位の実績により，日本協会選手強化対策の，全日本学生選抜チームに選ばれて中国に遠征した。翌年度にも中国遠征チームに加わり，１度目は福州～上海，２度目は上海～北京等を転戦して貴重な体験をした。

②藤原道弘選手（倉敷工高～川崎製鉄）は，平成元年度の，全日本シニア選手権単複２冠獲得の実績により，同年度の国際シニア選手権大会の日本代表に選ばれて，台湾（タイペイ市）に遠征した。出石選手（鳥取県）との複は５位，上木選手（福井県）との混合複と，単は２回戦であった。

③草井篤選手（瀬戸南高）は，平成４年度の，全国高校選抜選手権単２位の実績により，翌平成５年度の，マレーシアオープン'93と，インドネシアオープン'93の，各大会ジュニア代表に選ばれて東南アジアに遠征した。さらに，同年度の日韓ジュニア対抗（郡山市）の，日本チームにも選抜されて参加した。

④松王峰代子選手（山陽女高）は，平成４年度の，全国高校選抜選手権単３位の実績により，翌平成５年度の，マレーシアオープン'93と，インドネシアオープン'93の各大会ジュニア代表に選ばれて東南アジアに遠征した。両大会とも国際的トッププレーヤーと対戦し，初回戦で敗れた。

◎総括

**岡山県関係選手・役員の国際大会別参加状況**（大会名，通算参加回数＝通算参加者数）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ユーバー杯 | 5＝4 | 国際大学 | 1＝3 | ドイツ選手権 | 1＝1 | 日・米親善 | 1＝3 |
| 全英選手権 | 5＝2 | アジア大会 | 2＝2 | アジア招待 | 1＝1 | 日･インドネシア | 1＝2 |
| デンマーク選手権 | 10＝2 | カナダオープン | 1＝1 | アジア選手権 | 1＝1 | 日・中対抗 | 1＝1 |
| タイペイオープン | 1＝1 | 全米オープン | 1＝1 | オーストラリアオープン | 1＝1 | 日・中学生 | 2＝1 |
| マレーシアオープン | 1＝1 | 世界招待 | 1＝1 | スウェーデンオープン | 1＝1 | '93マレーシア | 2＝2 |
| シンガポールオープン | 1＝1 | ニュージーランド | 1＝1 | 日・韓親善 | 1＝1 | '93インドネシア | 2＝2 |

＊第Ⅱ章「国際大会で活躍した人」の項参照

## ５．その他の活動

### (1)選手・指導者合宿研修会

趣　旨：中央から著名講師を招き，県内の優秀選手と指導者を対象に，競技力向上の研修を行う。

主　催：岡山県体育協会，同教育委員会，同バドミントン協会，同中・高体連専門部

期　日：平成元年８月19日(土)～20日(日)

会　場：高梁市民体育館

宿　舎：高梁市サイクリングターミナルセンター

参加者：選手＝30名，指導者＝10名，計＝40名

指導者：**◎中央講師＝北田スミ子**

ソウルオリンピック銅メダル獲得

全日本総合選手権大会女子単優勝８回，国内試合女子単通算106勝１敗

現在75連勝継続中

○県内講師＝毛利清志（岡山県バドミントン協会副会長）

ユーバー杯争奪第５回世界女子選手権大会日本チームコーチ

ユーバー杯争奪第６回世界女子選手権大会日本チーム監督

○県内講師＝藤原　航（岡山県バドミントン協会理事長）

○県内講師＝瀬戸　勝（岡山県バドミントン協会副理事長・競技部会長）




優秀選手・指導者研修合宿記念
前列左から５人目「北田スミ子講師」
1989(平成元)年８月
於,高梁市民体育館

**⑵競技力向上技術指導講習会**

趣　旨：世界のトップを誇る中国の指導者により，中国の練習法，指導法を研修する。

主　催：岡山県バドミントン協会

日　時：平成３年12月31日，13時～17時（集合＝12：45）

会　場：瀬戸南高等学校体育館

指導者：**孫　　冰**（スン　ピン＝男子）

三洋電機臨時コーチ＜湖北省体育学院＞

**尚　幅梅**（シャン　フメイ＝女子）

三洋電機コーチ＜元中国ナショナルメンバー＞

受講者：県内の選手と指導者

当時，国際的トップレベルにあった，元中国ナショナルチームのコーチと，同ナショナルメンバーとのコンビによって行われた。ハイレベルをめざしての効果的な練習法と指導法の実演は，受講者に強い刺激を与え，マンネリ化のよい反省材料となった。

**⑶指導者講習会**

趣　旨：文部省，岡山県教育委員会の「スポーツ功労者等派遣事業」を，県内バドミントン指導者を対象に行い，指導者としての資質向上，競技力の向上を図る。

主　催：岡山県教育委員会

日　時：平成７年２月４日

会　場：玉野青少年スポーツセンター。

指導者：**天野博江（東海女子短大教授）**

＜文部省スポーツ功労特別指導委員＞

受講者：県内バドミントン指導者

講師の輝かしい競技歴と，体験にもとづく理解し



天野講師による指導者講習会，平成７年２月於玉野青少年スポーツセンター

易い有意義な指導内容が，受講者の意欲的な取り組みにつながって，予期以上の成果が挙がった。
受講者の今後の活動が期待されている。

### ⑷日本リーグ'97倉敷大会

日本協会と，日本リーグ運営委員会主催による，1997年度の日本リーグ倉敷大会が，下記のように開催された。

趣　　旨：平成17年度第60回岡山国体に向けて，県内ジュニアを含む，各層のレベルアップをめざし，競技の活性化と意識の向上をはかる。
主　　管：岡山県バドミントン協会
期　　日：平成９年12月７日㈰＜＊10:20公開練習　11:20開始式　12:00競技開始＞
会　　場：川崎製鉄㈱水島体育館
対戦カード：男子＝ＹＫＫ九州（リーグ優勝）　２対１　トナミ運輸（リーグ５位）
　　女子＝三協アルミ（リーグ２位）　３対０　ベスト電器（リーグ７位）
入 場 料：特　別　席：前売り券＝1500円　当日券＝2000円
　　一般・学生：前売り券＝1000円　当日券＝1500円
　　中・高校生：前売り券＝ 500円　当日券＝ 800円
　　小　学　生：無料

中・高校生は期末考査と重なり，観客動員に不安があったが，総勢1750人の入場者を確保することができて盛会裡に終了した。なお県協会にとっては，８年後の２巡目岡山国体に向けての，役員の結束と，大会運営体験の第一歩となった。




日本リーグ'97倉敷大会，平成９年12月７日，於川崎製鉄水島体育館
岡山県協会　石田祥史会長　開会の挨拶




日本リーグ'97倉敷大会
女子の試合
ベスト電器（福岡）
対
三協アルミ（富山）

### ⑸指導者講習会

目　的：平成17年度第60回岡山国体に向けて，バドミントン競技の正しい理解と指導法の研究により，学校及び社会体育指導者の資質向上を図り，併せて，ジュニア層の競技力向上に結びつける。

主　催：岡山県教育委員会・㈶岡山県体育協会
主　管：岡山県バドミントン協会
期　日：平成９年12月23日
会　場：備前市総合運動公園体育館
講　師：**毛利清志**
（岡山県バドミントン協会副会長）
**藤原道弘**
（岡山県バドミントン協会常務理事）
受講者：県内小・中・高校，社会体育クラブのバドミントン指導者等（計26名）

毛利講師手作りの資料による「指導者心得」の解説は，豊富な指導経験に基づくもので理解しやすく，さらに，実技指導での“各種ノック法”等は受講者を納得させた。また実技面では，藤原講師のすばらしい模範演技が受講者の意欲を盛り上げ，取り組みやすい有意義な講習会となった。

一方受講者層は，初心者から豊富な経験者までの多岐にわたり，特に実技面では講師を悩ませた。今後，内容を充実させて，より有効な講習会をめざすには，次のような課題が考えられる。

①受講者全員，共通のカリキュラムで実施できる「講義等」の分野と，②２～３のグレード別グループに分けて，それぞれに適切な内容のカリキュラムで実施する「実技等」の分野を工夫する。但し，グループ別指導では，複数の講師（または助手）が必要である。

８年後の岡山国体に備えて，さらに内容の充実した指導者講習会の開催が望まれる。



**毛利清志講師の実技指導**
**於，備前市体育館**

## ６．栄光の跡（昭和61年度～平成９年度）

### ⑴岡山県出身，県外進学・就職・在住選手の全国大会優勝

| 年度 | 大　会　名 | 種　目 | チーム・選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| H，3 | 第８回全日本シニア選手権 | 40歳代男子単 | 塩飽　初（倉敷工業高～新日鉄広畑） |
| H，7 | 第12回全日本シニア選手権 | 30歳代女子単 | 今津裕美（埼玉） |
| H，7 | 第30回全国私立短大競技会 | 女子団体 | 須々木恵（山陽女高～東海女子短大） |
| H，9 | 第48回全日本大学学生選手権 | 男子団体 | 草井　篤（瀬戸南高～日本体育大学） |

優勝計＝４

### ⑵岡山県協会関係の全国大会優勝

| 年度 | 大　会　名 | 種　目 | チーム・選手名（所属） |
|---|---|---|---|
| S,63 | 第５回全日本シニア選手権 | 30歳代女子複 | 原田美智子／今津裕美組（松本組／埼玉） |
| H,元 | 第６回全日本シニア選手権 | 30歳代男子単 | 藤原道弘（川崎製鉄） |
| | | 30歳代男子複 | 藤原道弘／出石　勉組（川崎製鉄／鳥取） |
| | | 30歳代女子複 | 山本美智子／今津裕美組（山陽女高OG／同=埼玉） |
| H,2 | 第25回全国私立短大競技会 | 女　子　単 | 佐藤由香（山陽学園短大） |
| | 第７回全日本シニア選手権 | 30歳代男子単 | 藤原道弘（川崎製鉄） |
| H,3 | 第８回全日本シニア選手権 | 30歳代女子複 | 山本美智子／今津裕美組（山陽女高OG／同=埼玉） |
| H,4 | 第９回全日本シニア選手権 | 30歳代男子単 | 藤原道弘（川崎製鉄） |
| H,8 | 第13回全日本シニア選手権 | 30歳代男子単 | 若林邦任（ラケットショップ永井） |
| H,9 | 第14回全日本シニア選手権 | 30歳代男子単 | 若林邦任（ラケットショップ永井） |

優勝計＝10　＊山本美智子選手＝旧姓原田，今津裕美選手＝旧姓小寺

（両選手とも山陽女子高～日女体大～元松本組の同僚で，学生，松本組時代は複のペアー）

## (６)栄光の跡，総括

＜昭和23年度(県協会設立)～平成９年度＞

### １．岡山県協会関係の対外大会別優勝数

| 区分 | 大会名 | 男子 | | | 女子 | | | 混合 | 計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 団体 | 単 | 複 | 団体 | 単 | 複 | | | |
| 中国地区大会 | 中国～社会人～総合 | 11 | 50 | 34 | 8 | 21 | 24 | 6 | 154 | 男子単複は，年齢別を含む |
| | 実業団 | 22 | | | 15 | | | | 37 | |
| | 高等学校 | 18 | 24 | 18 | 38 | 33 | 35 | | 166 | |
| | 高校選抜予選 | 1 | 1 | 4 | 22 | 21 | 24 | | 73 | |
| | 中学校 | 13 | 12 | 6 | 12 | 9 | 13 | | 65 | |
| | 小学校 | | 7 | 3 | | 7 | 5 | | 22 | |
| | 家庭婦人 | | | | | | 5 | | 5 | 30歳代 |
| | 教職員 | | | 2 | | 1 | 2 | | 5 | 男子複・女子単は30歳代 |
| | 5大学学生 | 25 | 10 | 14 | 26 | 8 | 16 | | 99 | |
| | 学生 | | 13 | 11 | | 21 | 26 | 14 | 85 | |
| | 高等専門学校 | 4 | 4 | 3 | | 1 | | | 12 | |
| | 国体予選～ブロック | 成男＝13 成女＝31 少男＝21 少女＝37 教男＝19 | | | | | | | 121 | **合計 ８４４** |
| その他の大会 | 中・四国大学学生 | 19 | 20 | 15 | 24 | 21 | 13 | | 112 | |
| | 中・四国大学リーグ | 3 | | | 8 | | | | 11 | |
| | 中・四国・九州学生 | 2 | 1 | 2 | 7 | 6 | 6 | | 24 | |
| | 中国・四国高専 | 6 | 1 | 4 | | | | | 11 | |
| | 西日本 | 少男複＝0 少男単＝0 少女複＝6 少女単＝5 青男複＝1<br>青男単＝1 青女複＝3 青女単＝2 30複＝7 30単＝4<br>40複＝1 40単＝2 50複＝1 50単＝1 混合複＝1 | | | | | | | 35 | |
| | 西日本家庭婦人 | | | | | | 2 | | 2 | **合計 １９５** |
| 全国大会 | 実業団 | | 1 | | 1 | | | | 2 | 男子単は，30歳代 |
| | 社会人 | | 14 | 19 | | | | | 33 | 男子は，30～50歳代 |
| | 西日本～総合 | | 4 | 4 | 2 | | 3 | 2 | 15 | 男子は，30歳代 |
| | 大学学生 | | | | | | 1 | | 1 | |
| | 高等学校 | | | | 1 | 2 | 2 | | 5 | |
| | 教職員 | 7 | 8 | 11 | 1 | 1 | 1 | | 29 | 男子は，年齢別を含む |
| | 私立短大 | | | | 1 | 2 | | | 3 | |
| | シニア | | 5 | 1 | | | 3 | | 9 | 男女とも30歳代 |
| | 国体 | 成年女子＝2 少年女子＝1 天皇杯＝1 皇后杯＝1 | | | | | | | 5 | **合計 １０２** |

### ２．岡山県協会関係の国際大会優勝数

| | |
|---|---|
| 世界女子選手権大会：コーチ１回・監督１回。各種オープン大会：監督５回 | |
| 第２回日韓対抗親善大会：選手１回。　第10回日中対抗大会：選手１回 | **合計　９** |

## 3．岡山県出身，県外進学・就職・在住選手の全国大会優勝数

| 大会名 | 男子 | | | 女子 | | | 混合 | 計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 団体 | 単 | 複 | 団体 | 単 | 複 | | | |
| 実業団 | 1 | | | 2 | 8 | 4 | 4 | 19 | |
| 社会人 | | | | | 9 | 6 | | 15 | |
| 全日本～総合 | 1 | | | | 7 | 2 | | 10 | |
| 大学学生 | 1 | | | 4 | 5 | 1 | | 11 | |
| 家庭婦人 | | | | 3 | | 3 | | 6 | |
| シニア | | 1 | | | | | | 1 | 40歳代 |
| 日本リーグ | | | | 1 | | | | 1 | 1チーム,選手2名が重複 |
| チャンピオンズ・トーナメント | | | | | 5 | | | 5 | |
| 国体 | | | | 4 | | | | 4 | **合計　72** |

## 4．岡山県出身，県外進学・就職・在住選手の国際大会優勝数

| 大会名 | 男子 | | | 女子 | | | 混合 | 計 | 参加選手 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 団体 | 単 | 複 | 団体 | 単 | 複 | | | |
| アジア大会 | 1 | | | 1 | 1 | | | 3 | 松王清志・小松康博・湯木博江 |
| タイペイオープン | | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 湯木博江 |
| マレーシア〃 | | | | | | 1 | | 1 | 湯木博江 |
| シンガポール〃 | | | | | 1 | | | 1 | 湯木博江 |
| 国際大学学生 | 1 | | | 1 | 1 | | | 3 | 岩田 勇・湯木博江 |
| 全英選手権 | | | | | 4 | 1 | | 5 | 湯木博江 |
| デンマーク選手権 | | | | | 3 | 3 | | 6 | 湯木博江 |
| 世界女子選手権(ユ杯) | | | | 4 | | | | 4 | 湯木博江・浦口恵子・近藤小織 |
| カナダ選手権 | | | | | 1 | 1 | | 2 | 湯木博江 |
| アメリカ選手権 | | | | | | 1 | | 1 | 湯木博江 |
| 世界招待選手権 | | | | | 1 | | | 1 | 湯木博江 |
| ニュージーランド選手権 | | | | | 1 | | | 1 | 湯木博江 |
| ドイツ選手権 | | | | | 1 | | | 1 | **合計　32** |
| 参考 | 近藤小織選手はユ杯２度優勝の外に，上表各大会・その他において下記の入賞がある。 | | | | | | | | |
| | 団体：３位＝１。複：準優勝＝１，３位＝１。単：準優勝＝３（全英他），３位＝９ | | | | | | | | |

## 5．まとめ

県協会代表チームや選手の，国際大会を含む対外大会の通算優勝合計は1150回を数え，半世紀にわたるめざましい活躍の跡を物語っている。

さらに，県外に進学，就職した選手の全国大会と国際大会の優勝合計104回も驚異的な数字であり，その内，国際大会優勝の32回は，岡山県がすばらしい選手を輩出したことのあかしと言える。

これらの，各種対外大会における優勝数は，県協会「50周年記念誌」を飾るにふさわしいものであり，優勝を果たしたチームや選手の名は，永遠に残ることとなった。

# 3　連盟・部会の歩み

## 1．各連盟

### (1)中学校体育連盟連専門部

#### 1．創設のいきさつ

1962（昭和37）年，岡山で第17回国民体育大会が開催された頃から，関係者の間で，バドミントンも中学校から本格的に実施しないと，岡山県のレベル向上は望めないという意見が高まり，県中体連に専門部をつくろうという機運の中で，懸命の取り組みが行われた。

まず当時の早瀬県中体連理事長に相談をかけたところ，時期尚早ということで認められなかった。そこで，取りあえず可能な各中学校でバドミントン部を創り，活動を始めようということになった。当時，倉敷市立福田中学校におられた渡辺弘美先生（故人）が中心となって，倉敷地区での活動が始まり，次第に普及発展した。以後県中体連本部には機会あるごとに働きかけ，専門部結成の努力が続けられた。

#### 2．創設から現在まで

**(1)創成期**

1965（昭和40）年度になって，ようやく県中体連理事会の正式議題に取り上げられ，検討が加えられた結果，1966（昭和41）年度から，バドミントンも専門部として認められることになった。初代部長には，倉敷市立福田中学校の水谷校長，初代理事長には，同校の前記渡辺先生等のスタッフも決まり，同年４月26日から正式な専門部として，実質的な活動が始まった。そして，翌1967（昭和42）年２月，当時の茶屋町中学校の体育館において，記念すべき「第１回岡山県中学校バドミントン選手権大会」が開催された。男女合わせて約80名の選手が参加して，個人戦のみが実施されたのである。当初は，男子の倉敷福田，女子の山陽女子など，早くから部活動を始めていた中学校の活躍が目立っていたが，年とともに参加校が増えて，他校のレベルも次第に高くなるなど，専門部の活動が軌道に乗り，活発になってきた。

**(2)第２期**

年月の経過に伴い，大会を重ねていくうちに，○○旋風という言葉が聞こえるようになってきた。先ず，男子の円城旋風である。山本先生の率いる円城中は，２年に１回は優勝するが，連勝はないという不思議な戦績を残している。その理由を聞いてみると，同校は仕組みとして２年に１度，男子生徒全員をバドミントン部に入部させるという方法をとっていたのである。ともあれ，２年毎に１回ずつ，３度の優勝は立派というほかない。

次に出たのが女子の白石旋風である。1976（昭和51）年度の県中学総体から突如として力を発揮し始め，1980（昭和55）年度までに５連勝を達成した。白石中の高いレベルの原動力を探ってみると，その主役となった指導者が，白石小学校の宮本先生である。先生はバドミントンの専門的経験はなか

ったが，同競技に興味をもたれ，小学校５年生頃からクラブ活動でバドミントンの指導を始め，その生徒が中学３年になったときには，他校の選手は，手も足も出ないところまで育てあげたということである。小学校と中学校が，毎日共同生活に近い白石島の家族的な雰囲気を活かしての，小中一貫指導が実を結んだのであった。陰の力として，島民挙げての理解と支援が，宮本先生の心強いハッスル源となったことも見逃してはならない。

以上，第２期の特徴として，男女とも過疎地域ともいえる小規模校の大活躍が目立った。その外に，秋山先生時代の総社西中男子が，県総体初の団体２連勝を果たし，小坂先生時代の瀬戸中女子も，県総体の団体戦３連勝を飾る目覚ましい活躍の跡がある。一方，倉敷地区の各学校が，毎年のように相変わらずの強さを発揮して，頑張った時代でもあった。

**⑶第３期**

1971（昭和46）年度に，第１回全国中学生選手権大会（混成チームによる都道府県対抗の団体戦）が東京で開催されたことに刺激されて，同年，中国中学生交換試合が岡山県で開催された。その後，全国的に中学校の大会の在り方が大きく変わるなかで，中国交換大会は1979（昭和54）年度の第９回大会を最後に廃止となった。

1979（(昭和54）年４月，文部事務次官通達により，対外競技の基準が改正された。1980（昭和55）年度から全国大会の形式が，各地区選抜の学校対抗と，同個人単複の男女合計６種目となり，「全国中学校選抜選手権大会中国地区予選会，兼中国中学校選手権大会」を開催することに発展して現在に至っている。その頃，県中体連バドミントン部は組織的にも安定期を迎え，第１回の中国中学校選手権大会を開催するなど，中国地区においては早くからイニシアチブをとってきた。その中心が柳本堯敏先生であり，それを支えるメンバーとして，横田佳紀，小橋勝広，内田稔，岡本次郎，小田和文等の各先生が，現在の基盤作りに貢献された。

第２期が普及の時代とすれば，第３期は競技力向上の時代でもあり，この時期に活躍されたのが，岡北中の岡本次郎先生である。先生は，部活動を学校教育の一貫としてとらえ，競技力向上のみならず，マナーの徹底など，精神面にも力を注がれた。その情熱あふれる指導の成果は，県総体４連勝に始まり，中国大会では女子の３連勝に加えて，男女アベック優勝も遂げた上，全国大会へ９年連続出場など，輝かしい実績として残っている。

第３期の後半には，平成２年度の全国大会において，岡山県２度目の女子団体３位入賞を果たし，銅メダルに輝いた西大寺中や，倉敷地区のクラブで鍛えられた選手などのように，学校部活動以外で，育った選手が台頭してきた。全国的にも社会体育畑で育った選手が，上位を占めるようになって数年を経過している。岡山県としても，中体連という立場からの学校体育と，社会体育とが理解し合ってタイアップし，競技力向上のためのより強力なパワーを産みだすことができれば，かってのバドミントン王国岡山の復活も可能と思われるが，そのことが第４期の課題であろう。

平成７年度の全国大会で，倉敷福田の橋村竜彦選手が，男子シングルスで岡山県初の準優勝を遂げた。これは，ジュニアクラブの選手を，学校の部活動と，クラブ指導の両面から本人の競技力を伸ばし，見事銀メダル獲得という，素晴らしい成果に結びつけた好例である。

# 心を結ぶ白い羽根，バドミントンの白石島

〝学校行事から浸透〞「県中学総体Ｖ４の女子チーム，青年・主婦らも同好会結成」
＜山陽新聞「夕刊スペシャル」1980（昭和55）年２月22日より＞

笠岡諸島の白石島と言えば，瀬戸内海国立公園に指定されている観光の島。笠岡港から高速艇でわずか25分だが，へき地指定を受けた〝過疎の島〞でもある。この白石が，中学生らの活躍が起爆剤となり，この数年活気にあふれた〝バドミントンの島〞に生まれ変わった。笠岡市立白石小教諭宮本弘和さん（46）＝同市白石島463-1＝と部員たちの地道な活動が，島民を動かし，島ぐるみでシャトル（羽根）を追う，〝するスポーツ〞へと発展したわけだ。51年からは部員たちの父母を中心とした婦人会，翌年からは漁業や石材業などに従事する地元青年たちも参加して同好会が生まれ，今，白石島はバドミントンを通じて，体力づくり，新しいコミュニティーづくりが浸透してきている。

白石島と言えば，バドミントンとの結びつきは45年ごろにさかのぼる。43年４月から着任した宮本さんが「娯楽の少ない島で，子供たちが体を動かしながら楽しめるスポーツを」と始めたのがきっかけだった。白石島の産業は，瀬戸内の美しい展望と弘法大師ゆかりの開龍寺を中心とした観光。それに漁業と石材業など，共働きが大半のため，放課後の子供たちは，いわゆる〝かぎっ子〞ー。「けがなどのない遊びをさせよう」という宮本さんの生活指導面からの配慮が，バドミントンに結びついたという。だから最初はまったくの遊び。「私自身がバドミントン，いや，スポーツには縁遠い人間だった。なにしろ始めたころはルールもろくに知らなかった。ただ子供らと一緒に遊んでやることだけで…」と当時を懐かしそうに話す宮本さん。

しかし，48年夏，白石中に同好会を発足させてからは，子供たちがそろそろ本気になりかけた。「もっと強くなりたい」という生徒たちの願いもあり，笠岡市の金浦中，倉敷市の東・西中など岡山県下のトップレベルチームの胸を借りたのもこのころ。そして翌年の岡山県中学総体初参加で，女子チームがベスト４入りした。これをきっかけに，50年４月，同好会から部に昇格，部員たちの成長も目立ち始めたが，その裏には，多くのハンディをはねのける工夫した自主的な練習があった。

平日は放課後約２時間，土・日曜日は３時間，体育館のない同校は，シングルスのコートがやっと２面とれる縦12メートル，横18メートルの広さのへき地集会場を利用した。バドミントンは空間をいかにうまく使うかで勝負が決まる。しかし集会場は天井が４メートルしかないため，その練習もままならなかった。さらに同校は，全生徒が47人。このため部員も毎年，男女合わせて15人前後で，練習相手が限られた。こうしたハンディを克服した練習内容はすばらしい。島の子供たちは決して大柄ではないが，体力はある。これにみがきをかけようと続けているのが足腰，スタミナづくりのランニング。学校を出発，終点に，島内の起伏に富んだ野道，路地などを回る一周約700メートルのコースを設け，部員らは年間を通じて，これを３周してから練習コースに入る。次に宮本さんがいなくても，部員たちは，宮本さんが練習内容を入れたテープレコーダーを聞きながら練習する。

これらの汗の結晶は，51年夏，女子部員２人が岡山県代表に選ばれ，仙台市であった全国大会に出場したのをきっかけに，その年の秋から本年度まで，女子チームが，岡山県中学総体史上初の４連覇。

また昨年の神戸市での全国大会でも，女子チームがベスト８入りするなど全国レベルに達した。

男子もこれにライバル意識を燃やしてがんばり，51年には岡山県大会の個人で優勝，全国大会の代表にも選ばれるまでになった。「島の子特有の素直さ，まじめさがこれまでにした」と宮本さん。

この中学生に刺激されたかのように，51年ごろからは，部員の父母たちを中心にした婦人層にも広まった。翌年からは同校のＯＢで，地元に残って漁業や石材業などに働いている青年や娘さんらも加わり「白石島バドミントン同好会」が結成された。16歳以上の人ならだれでも入会でき，会員は男性11人，女性17人の計28人。年代は20歳前半から40歳後半と広く，娯楽のない島だけに年々増加している。

副会長で主婦の山川節子さん（39）＝同市白石島1834＝は「汗をかくのがたまらない」。それにゲームの合間，若い人と話すのがいままでと違った親近感，連帯感を作り出してくれる」という。

また，同島は48年ごろ過疎がピークに達し，青年団が解団したが，このバドミントン同好会に集まっている若い人を中心に，再び機運が盛り上がり，さる１日「白石島青年会」が組織された。同会の会長さんで同好会の会員でもある石材業原田金吉さん（27）は，「今までばらばらだったが，今では四季おりおりの行事なども力を合わせてできる。バドミントンが僕たちを結びつけてくれた」と話す。加えて，公民館や学校が実施する最近のスポーツ行事にも年間数回，バドミントンを取り入れ，親子で楽しむなど，親子の対話づくりにも役立っている。

岡山県バドミントン協会副会長で，昨年まで同協会理事長を務めた，山陽女子高教頭の毛利清志さん（52）は，「学校内でのスポーツが地域ぐるみの社会体育にまでなるなんてすばらしいことだ。遊びとしてのバドミントンをうまく使っているのが成功したと思う」と絶賛している。

**白石中の岡山県・全国大会の成績**

| 年度 | 区分 | 全中県予選 | 県総体 | 全国大会（団体戦） |
|---|---|---|---|---|
| 51年度 | 女子 | 単複優勝 | 団体単優勝 | 県選抜チーム（２人参加）　１回戦敗退（仙　台） |
| 52年度 | 女子 | 単複優勝 | 団体単複優勝 | 白石中単独チームで参加　２回戦進出（伊　勢） |
| | 男子 | | 単複優勝 | 県選抜チーム（１人参加）　１回戦敗退（伊　勢） |
| 53年度 | 女子 | 単優勝 | | 県選抜チーム（１人参加）　１回戦敗退（名古屋） |
| | 男子 | 単複優勝 | 単複優勝 | 県選抜チーム（１人参加）　１回戦敗退（名古屋） |
| 54年度 | 女子 | 単複優勝 | 団体単複優勝 | 白石中単独チームで参加　ベスト５位（神　戸） |

＜【注】岡山県大会は優勝のみ，全国大会は１回戦から＞




第１回全国中学生選手権大会
（昭和46年，於東京）
第３位入賞で受賞する岡山県チーム
代表　広瀬純子（左）
　　原田美智子両選手（各山陽女子）
後列左から３人目
小橋勝広マネージャー（倉敷西）



第20回全国中学校選抜選手権大会(於坂出)
第３位入賞　西大寺中学校チーム
後列左から＝鐘築順子・長門弘美・神宝朝子・渡辺明子
溝辺直樹監督
前列左から＝佐藤美和・松王峰代子・重光香織・小林陽子
の各選手(平成６年度)



第25回全国中学校選抜選手権大会(平成７年度,於川崎市)
男子単準優勝　橋村竜彦選手(倉敷福田中学校)
…中須賀祥雅監督と…

○歴代部長・理事長（平成８年度現在）

| 部長 | | |
|---|---|---|
| 代 | 氏名 | 在任期間 |
| 初 | 水谷　靖 | 昭和41年度～昭和44年度 |
| 2 | 荒川　大倫 | 昭和45年度 |
| 3 | 岡崎　猛 | 昭和46年度～昭和48年度 |
| 4 | 原　武男 | 昭和49年度～昭和51年度 |
| 5 | 大倉　容 | 昭和52年度～昭和53年度 |
| 6 | 平田　信夫 | 昭和54年度～昭和56年度 |
| 7 | 市川　俊介 | 昭和57年度～昭和58年度 |
| 8 | 武村　肇 | 昭和59年度～昭和60年度 |
| 9 | 溝口　廣 | 昭和61年度～昭和63年度 |
| 10 | 西野　雅三 | 平成元年度～平成２年度 |
| 11 | 木村　要子 | 平成３年度～平成４年度 |
| 12 | 杉岡　順平 | 平成５年度 |
| 13 | 原　昭 | 平成６年度～平成７年度 |
| 14 | 谷口　正美 | 平成８年度～現在 |

| 理事長 | | |
|---|---|---|
| 代 | 氏名 | 在任期間 |
| 初 | 渡辺　弘美 | 昭和41年度～昭和44年度 |
| 2 | 柳本　堯敏 | 昭和45年度～昭和60年度 |
| 3 | 小田　和文 | 昭和61年度～平成４年度 |
| 4 | 中須賀祥雅 | 平成５年度～現在 |

1996（平成９）年９月　文責　中体連専門部委員長　中須賀祥雅

資料(1)

# 中国大会優勝の記録

種目の記号説明：ＢＴ＝男子団体　ＢＤ＝男子複　ＢＳ＝男子単
ＧＴ＝女子団体　ＧＤ＝女子複　ＧＳ＝女子単

| 回 | 年度 | 種目 | チーム・選手 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1980<br>S.55<br>岡山 | ＢＴ<br>ＧＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 倉敷市立西中学校<br>笠岡市立白石中学校<br>山川奈緒／中川史子組(白石)<br>天野紀三子(白石) |
| 2 | 1981<br>S.56<br>鳥取 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＢＳ<br>ＧＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 倉敷市立福田中学校<br>梶尾圭介／梶尾治郎組(岡山福田)<br>今東建(西大寺)<br>笠岡市立白石中学校<br>天野紀三子／天野伊津美組(白石)<br>日下三和子(上南) |
| 3 | 1982<br>S.57<br>大東 | ＢＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 笠岡市立白石中学校<br>小見山文子／西原綾子組(白石)<br>藤原玲子(瀬戸) |
| 4 | 1983<br>S.58<br>下関 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＧＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 笠岡市立白石中学校<br>天野雄司／豊島和広組(白石)<br>備前市立備前中学校<br>紀井晴美／小坂理恵組(備前)<br>西林昭子(備前) |
| 5 | 1984<br>S.59<br>福山 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＧＴ<br>ＧＤ | 総社組合立総社西中学校<br>古屋野圭二／千々松顕(倉敷福田)<br>備前市立備前中学校<br>山川明代／桑原夕子組(白石) |
| 6 | 1985<br>S.60<br>岡山 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＢＳ<br>ＧＤ | 笠岡市立白石中学校<br>中川英樹／天野敏之組(白石)<br>平尾昌也(備前)<br>山川恵理／原田彰子組(白石) |
| 7 | 1986<br>S.61<br>米子 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＢＳ<br>ＧＴ<br>ＧＤ | 岡山市立芳泉中学校<br>福山琢也／石井繁之組(芳泉)<br>中井康博(芳泉)<br>岡山市立岡北中学校<br>中丸真規子／片山朋子組(岡北) |
| 9 | 1988<br>S.63<br>下関 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＢＳ<br>ＧＳ | 倉敷市立東中学校<br>永山久仁彦／清水総一郎組(岡北)<br>仁井昌志(岡北)<br>住矢美幸(岡北) |
| 10 | 1989<br>H.元<br>広島 | ＢＳ<br>ＧＤ | 甲直也(上南)<br>明神亜紀／森繁理恵組(岡北) |
| 11 | 1990<br>H.2<br>岡山 | ＢＳ<br>ＧＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 赤松茂(岡北)<br>岡山市立西大寺中学校<br>長門弘美／神宝朝子組(西大寺)<br>住矢直美(岡北) |
| 12 | 1991<br>H.3<br>米子 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＧＴ<br>ＧＤ | 岡山市立岡北中学校<br>楢原功士／三宅恭介組(岡北)<br>岡山市立岡北中学校<br>須々木恵／浜田恵理子組(岡北) |
| 13 | 1992<br>H.4<br>大東 | ＧＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 岡山市立岡北中学校<br>次田尚美／佐藤真知子組(山南)<br>加藤美香(岡北) |
| 14 | 1993<br>H.5<br>山口 | ＧＴ<br>ＧＤ<br>ＧＳ | 岡山市立岡北中学校<br>小林陽子／加藤しのぶ組(岡北)<br>田井優希(児島) |
| 15 | 1994<br>H.6<br>広島 | ＢＤ<br>ＢＳ<br>ＧＴ<br>ＧＤ | 尾崎勝久／宗田武大組(山南)<br>橋村竜彦(倉敷福田)<br>岡山市立西大寺中学校<br>加藤しのぶ／浜田こずゑ組(岡北) |
| 16 | 1995<br>H.7<br>岡山 | ＢＴ<br>ＢＤ<br>ＢＳ<br>ＧＴ<br>ＧＳ | 倉敷市立福田中学校<br>尾崎勝久／宗田武大組(山南)<br>橋村竜彦(倉敷福田)<br>岡山市立西大寺中学校<br>井山美里(西大寺) |
| 17 | 1996<br>H.8<br>鳥取 | ＢＴ<br>ＢＳ<br>ＧＳ | 岡山市立山南中学校<br>平田雄己(総社組合立総社西)<br>守屋仁美(倉敷第一) |
| 18 | 1997<br>H.9<br>松江 | ＢＴ<br>ＢＳ | 倉敷市立連島中学校<br>西峰大輔(倉敷福田) |

資料(2)

# 全国大会入賞の記録

種目の記号は中国大会に同じ（５位＝ベスト８）

| 回 | 年度 | 戦績 | チーム編成・選手 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1971<br>S.46<br>東京 | ＧＴ<br>３位 | 岡山県　監督＝毛利清志(山陽女) コーチ＝小坂美綏子(瀬戸) マネージャー＝小橋勝広(倉敷西)<br>選手＝原田美智子・広瀬純子(各山陽女子)・国定久恵・藤原敦子(各瀬戸)<br>難波陽子・西朋子(各倉敷西)の混成チーム |
| 9 | 1979<br>S.54<br>神戸 | ＧＴ<br>５位 | 岡山県　監督＝岡本次郎(上南)<br>選手＝吉田仁美(上南)・原田明子・小見山辰代・山川光代・原田美穂<br>大平みちる(各白石)の混成チーム |
| 10 | 1980<br>S.55<br>熊本 | ＢＴ<br>５位<br>ＧＤ<br>３位 | 倉敷西　監督＝上田寛治<br>選手＝井上俊博・倉本哲生・森兼久典・小川敦士・岡川勝利<br>監督＝佐藤シノブ(白石)<br>選手＝中川史子／山川奈緒組(白石) |
| 11 | 1981<br>S.56<br>奈良 | ＢＴ<br>５位<br>ＧＴ<br>５位 | 倉敷福田　監督＝遠藤由美<br>選手＝横尾圭介・梶尾治郎・畑健二・三宅啓祐・森田誠・古谷野昇<br>白　石　監督＝佐藤シノブ<br>選手＝天野紀三子・原田芳与・大平増寿美・天野伊津美・小見山いくみ・西原綾子 |
| 13 | 1983<br>S.58<br>新庄 | ＢＴ<br>５位<br>ＧＳ<br>３位 | 白　石　監督＝菅納あゆむ<br>選手＝天野雄司・天野光・天野長晴・中川清樹・中川和良・山川幸伸・豊島和広<br>監督＝内田稔(備前)<br>選手＝西林昭子(備前) |
| 16 | 1986<br>S.61<br>真岡 | ＧＴ<br>５位<br>ＧＤ<br>５位 | 岡　北　監督＝岡本次郎<br>選手＝中丸真規子・片山朋子・宇野綾・溝淵真規・安藤弘美・明神由紀<br>須々木昌子・マネージャー＝坂手典子<br>選手＝中丸真規子／片山朋子組(岡北) |
| 20 | 1990<br>H.2<br>坂出 | ＧＴ<br>３位 | 西大寺　監督＝溝辺直樹<br>選手＝松王峰代子・長門弘美・鐘築順子・神宝朝子・重光香織・小林陽子<br>佐藤美和・マネージャー＝渡辺明子 |
| 21 | 1991<br>H.3<br>熊本 | ＧＴ<br>５位<br>ＢＤ | 岡　北　監督＝岡本次郎<br>選手＝安藤直美・須々木恵・浜田恵理子・雄龍あゆみ・加藤美香・伏見陽子<br>赤松みどり・マネージャー＝霜山瑞穂<br>選手＝楢原功士／三宅恭介組(岡北) |
| 25 | 1995<br>H.7<br>川崎 | ＢＳ<br>２位 | 監督＝中須賀祥雅(倉敷福田)<br>選手＝橋村竜彦(倉敷福田)<br>＊県中体連バドミントン部初の全国大会準優勝 |
| 26 | 1996<br>H.8<br>大府 | ＧＳ<br>５位 | 監督＝佐藤忠裕(山陽女子)<br>選手＝谷口貴美(山陽女子) |
| 27 | 1997<br>H.9<br>新居浜 | ＢＳ<br>３位 | 監督＝松岡真奈美(倉敷福田)<br>選手＝西峰大輔(倉敷福田) |

## (2)高等学校体育連盟専門部

### 1．高等学校バドミントンの草創期

1947（昭和22）年秋，戦後の新しいスポーツとして，岡山県に初めてバドミントンが導入された。以来，翌23年９月末までに，天満屋葦川会館での伝達講習会と，３回の模範試合を兼ねた講習会が，西大寺，岡山，倉敷等で行われた。それぞれの講習会に，岡山市と倉敷市等から，計６～７校の高校生が社会人と共に参加したことから，高等学校におけるバドミントンの取り組みが始まっている。したがって，本県高校生のバドミントン活動は，一般と同時にスタートしているのである。

その後，県保健体育課が，県内各地の高校を会場としてレクレーション指導を行った機会に，バドミントン指導のチャンスが与えられ，岡山，倉敷以外の各地区にも次第に普及の輪が広がった。

そして昭和23年12月６日，岡山県で初めての第１回県大会が開催されることとなり，一般と高校の混成による，男女単複での熱戦が展開された。参加者の詳細な内訳は不明であるが，ベスト４以上の記録によると，男子単優勝は原恵二選手（倉敷商業），同複で原選手と組んで３位の村山寛選手（倉敷精思高＜現倉敷青陵高＞教諭，後年，第３代県協会長に就任）であり，女子複２位に平岡／永山組（倉敷精思），同３位に児島／山田組と尾坂／国定組（各真備＝現明誠），女子単は３位に平岡・上野両選手（各倉敷精思）など，多数の高校生と高校教師一人が入賞している。

前述のように，県高校界のバドミントン活動は，岡山県への導入当時から取り組みが始まり，第１回県大会においても大活躍した。さらに，1948（昭和23）年12月11日の県協会設立に当たって，高校の教諭数名が理事に選ばれていたので，翌年の，県高体連専門部の設立は順調に進行した。

### 2．高体連専門部の設立

1949（昭和24）年３月11日，全国的な動きに合わせて「岡山県高等学校体育連盟」が設立され，同24年度早々から，バドミントンも陸上競技などの14種目とともに，最初の専門部として発足した。

このとき，専門部の組織化等に尽力したのが，倉敷青陵高の村山寛教諭である。同氏は勤務校の福守茂教頭を初代部長に，同僚の永井正教諭（岡山工業高＝27年度より第３代県協会理事長）を初代委員長に依頼し，自らは県高体連本部理事（後年，同理事長14年間）の立場で，バドミントン専門部の活性化について側面から支援した。福守初代部長は，村山氏とのコンビで，第１回西日本選手権の壮年複で優勝を果たすなど，プレー面で頑張る一方，西崎正明元県協会副会長が，岡山大学在学中の昭和26～27年頃，岡山大バドミントン部強化合宿の練習会場に，自分の勤務校（倉敷青陵高）の体育館を提供するなど，現場の活動を積極的に支援した。〔岡山大バドミントン部は昭和24年に誕生し，創部早々から県大会の参加はもちろん，25年の第１回全日本学生選手権大会参加など，積極的に活動した記録が残っている〕

県高体連専門部設立後は，県協会創立以来，一般と混成で実施していた県大会から，徐々に高校独自の大会に切り替えられ，県高体連専門部の飛躍的発展につながる基となったのである。

しかし，昭和24～25年度は過渡期に当たり，専門部の役員組織も人材不足の上，大会運営等の経験者はごくわずかであり，しばらくは県協会の指導援助が必要であった。次ページ冒頭の，当時の山陽新聞の記事を中心とした説明から，この時期における専門部の活動や県大会等の様子をうかがい知ることができる。

◇昭和24年５月の県大会は，一般男女単・複・混合，「高校男女単・複」の９種目で実施され，一般との同時開催であるが，初めて高校生だけの種目が誕生している。

◇昭和24年７月には，専門部の手によって，第１回の学校対抗戦と個人戦，新人大会（個人戦）等の行われていることが，次年度の記録記事によって推察できる。しかし，実施された月日や，戦績等は不明である。また，専門部発足２年目の昭和25年度には，スケジュールに基づいた大会運営の跡がみられ，独り立ちの様子がうかがわれる。

## ３．主な活躍の跡

### (1)草創期～1958（昭和33）年度

県高校界で草創期から活躍した主な学校は，男子では倉敷至誠（現倉敷商業），倉敷老松（現倉敷工業），倉敷青陵等の倉敷勢が中心であり，昭和26年度の岡山県が初参加した第２回インターハイには，倉敷工業と倉敷青陵が県代表として参加している。女子では倉敷精思（現倉敷青陵）と真備（現明誠）が第１回県大会で多数上位に入賞したが，その後の団体戦でめざましい活躍をしたのは，倉敷青陵と井原であり，第２回インターハイにも両校が参加した。特に，倉敷青陵は24年度の後半から27年度まで，個人戦を含めて県内のトップを維持し，インターハイにも３年連続で出場した。以上のように男女とも倉敷，岡山が基盤となり，西大寺，井原等に急速に普及の輪が広がった。昭和26年度の後半より男子は西大寺，女子は山陽女子の台頭がめざましく，27年度からは両校の選手が柱となって全国大会等で活躍したが，各年度ごとの主な活躍の跡は下記の通りである。

①昭和24年度

バドミントン競技が国体に初めて加入したのは，昭和24年度の第４回東京国体である。オープン競技として個人戦だけの参加が認められ，一般と高校の混成ながら，男女単各４名，同複各２組が出場できることになった。県予選では，男子は倉敷工業と倉敷商業勢が健闘し，倉敷工業の２名が県代表に選ばれた。女子も高校生が活躍し，，県代表４名のうち倉敷青陵が３名を占めた。しかし，男女とも本国体での上位進出には至らなかった。

＜※昭和24年８月31日，倉敷精思高は倉敷青陵高に校名が変更され，現在に至っている＞

②昭和25年度

６月に第２回県高校大会が開催され，男子は倉敷工業と倉敷青陵，女子は倉敷青陵がそれぞれ上位を独占したが，真備も倉敷青陵に続く活躍をしている。

７月に，第１回中国・四国大会（一般男女・高校男女別の県対抗団体戦）が香川県高松市で行われ，岡山県も参加したが戦績は不明である。この大会は昭和26年度の第２回大会で廃止となった。

10月の第５回愛知国体から，バドミントンが国体の正式得点競技となり，一般男子・高校男子・女子（一般と高校の混成）の３種別による，都道府県対抗が実施されることになった。男子は倉敷青陵，倉敷工業，倉敷商業等が代表権を獲得して出場，女子は一般との混成であったが，倉敷青陵が県代表を独占し，本国体に於いても，５位入賞を果して倉敷青陵の名を高めた。

なお，昭和26年１月に開催された第１回関西選手権（年齢別個人戦）＝第２回より西日本選手権と改称＝の少年男女各種目においても倉敷勢が大活躍した。〔西日本選手権については第Ⅰ章の２「西日本選手権大会の創設から廃止まで」の項参照〕

③昭和26年度

第２回インターハイ（１複２単の学校対抗＝１県２校）が札幌で開催され，男子は倉敷工業と倉敷青陵，女子は倉敷青陵と井原がそれぞれ県代表に選ばれ，岡山県の初参加校として北海道に遠征した。また，昭和27年２月には県新人大会が開催され，男子は倉敷工業と倉敷青陵がトップ争い，女子は倉敷青陵が上位を独占した。この新人大会で前記各校に続いて台頭したのが，西大寺の男子と山陽女子であった。

④昭和27年度

専門部の役員による大会運営等が年毎に進歩していくなかで，第３回インターハイ（善通寺市）には，男子は県予選１位の倉敷工業と２位の西大寺，女子は１位の倉敷青陵と２位の山陽女子が参加した。なお，５月の第５回全日本選手権奈良大会にも初めて参加したが，詳細は不明である。

⑤昭和28年度

５月の第６回全日本選手権大会（新潟）に２度目の参加をした。男子は西大寺，倉敷青陵，倉敷工業，女子は山陽女子と倉敷青陵が少年の部に出場し，山陽女子の吉川英子選手が単で４位，複でも吉川／大森嘉美組がベスト８に入った。山形県での第４回インターハイには，男子は倉敷工業と倉敷青陵，女子は山陽女子と倉敷青陵が参加し，２回目出場の山陽女子がベスト８入りを果たした。

⑥昭和29年度

県大会の男子は西大寺，倉敷青陵，倉敷工業等が，女子は山陽女子，倉敷青陵，井原等が上位を争う活躍であったが，倉敷青陵が男女ともインターハイ参加を辞退し，それぞれ３位チームの繰り上げ参加となった。県予選１位の山陽女子は，３回目の出場で岡山県初の第４位を獲得した。チームは，監督＝重実（現毛利）清志，選手＝③板谷通子，③大森嘉美，②友野文子，①小林桂子，①三宅基子，①戸田寿子のメンバーであった。（〇つき数字は学年，以下同じ）

⑦昭和30年度

第６回兵庫インターハイから県代表が１校となり，団体戦の形式が前年までの１複２単から２複３単に変わって，個人戦の部（県代表単２・複２）が新設された。戦予選では，男子の西大寺と山陽女子がそれぞれ３冠を獲得し，個人戦２位までの代表権も独占した。

前年４位の山陽女子は，５月の全日本選手権で上位を独占した勢いで団体戦初優勝を飾り，高松宮妃杯を獲得した。チーム編成は，監督＝重実清志，選手＝③権田節子，③友野文子，③光本政子，②小林桂子，②三宅基子，②戸田寿子，②守安昭子のメンバーであった。続いての個人戦複においても決勝戦は同校対決となり，優勝が権田／友野組，準優勝は小林／三宅組となった。単は光本選手が５位（ベスト８）に止まったが，インターハイ４回目出場での，団体と複の２冠獲得は，岡山県バドミントン史を飾る大健闘であった。

さらに権田，友野，三宅の３選手は，中国予選を圧勝して第10回神奈川国体に出場し，全日本，インターハイに続く，同年度内３回目の全国優勝を果して，全国に岡山山陽女子の名を轟かせた。

岡山県高体連専門部設立以来の，山陽女子高勢によるこれらの快挙は，昭和25年，同校に赴任した重実（現毛利）清志顧問＝現県協会副会長＝の献身的な指導と，前田俊一，石原利通両コーチの協力によるものであり，岡山県バドミントン界“黄金時代”の幕開けとなったのである。

昭和30年度までに，国体岡山県代表として活躍した選手を年代順に挙げると，男子では，中桐明和，内藤勇，米田敬二，楢村英治，加川哲雄（各倉敷青陵）。三宅二朗，佐藤正，筒井一道，阿部勝，武田義展（各倉敷工業）。藤井義雄（倉敷商業）。松王清志，小松康博（各西大寺）等であり，女子は，前

記山陽女子のインターハイメンバーの外に，前原福子，難波芳子，佐藤房子，中田裕子，加藤まつ子，野口敏子，貝原勝子（各倉敷青陵）。大塚洋子，辻芳子，吉川英子，土屋かしこ（各山陽女子）等である。さらに，全日本選手権の県代表として，前記国体選手達と共に参加した男子選手は，三村徳道，加納正之（各倉敷青陵）。平方進，前田俊一（各倉敷工業）。松田国宏，行司忠章，石原利通，石原縫次郎（各西大寺）等であり，女子は難波光子（倉敷青陵）であった。

⑧昭和31年度

第７回インターハイの県代表は，前年に続いて男子は西大寺，女子は山陽女子が団体個人とも独占した。本番での山陽女子は決勝まで進んだが，戦力が３年生二人のみで苦戦となり，台頭著しい善通寺第一（香川）に１－３で敗れ準優勝であった。チームは，監督＝重実清志，選手＝③小林，③戸田，③守安，①根岸純，①西田寿子，①小橋和代であった。単の戸田選手も準優勝，同単の小林選手と複の小林／戸田組が３位入賞を果たしたが，３冠王と複２位は善通寺第一にさらわれた。なお，穐山正雄監督率いる善通寺第一は，第11回大会まで団体戦５連覇の偉業を成し遂げた。

⑨昭和32年度

第８回インターハイは中国地区の島根県で行われ，男子は西大寺が県代表を独占して参加，女子は複１組が井原の外は山陽女子が代表であった。この年も女子が活躍し，団体は２年生主体の山陽女子，単は同校の根岸選手，複は井原の田中／滝本組が，それぞれベスト８入りの健闘であった。

⑩昭和33年度

第９回新潟インターハイの男子県代表は，複１組が倉敷工業で，その他の個人戦と団体はすべて西大寺となり，女子は山陽女子が代表権を独占した。監督＝毛利清志，選手＝③山本二三，②根岸，②西田，②沢，①渡部礼子，①門倉玲子，①湯浅光枝の山陽女子は，団体の決勝で善通寺第一に２－３の接戦で敗れ，惜しくも準優勝であった。男子単に出場した西大寺の小松貴選手は，岡山県高校男子界初の第４位を獲得し，女子単では山陽女子の西田選手がベスト８であった。

**◆中国高等学校選手権大会の誕生**

昭和33年度から中国高校選手権が開催されることになり，記念すべき第１回大会は，当時，中国地区でイニシアチブをとっていた岡山県が主管し，昭和33年11月21日～23日に実施された。

| 会　場 | 山陽女子高（３～４コート）・岡山東高（３コート） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 参　加　県 | | 岡山県 | 鳥取県 | 島根県 | 山口県 | 広島県 | 計 |
| 種目別参加数 | 男子団体 | 5 | 2 | 2 | 0 | 2 | 11 |
| | 男子複 | 8 | 3 | 4 | 0 | 4 | 19 |
| | 男子単 | 8 | 4 | 4 | 0 | 4 | 20 |
| | 女子団体 | 5 | 1 | 2 | 3 | 1 | 12 |
| | 女子複 | 8 | 0 | 4 | 1 | 2 | 15 |
| | 女子単 | 8 | 0 | 4 | 1 | 4 | 17 |

注.

①開催期日は11月下旬であったが，大会前日の代表者会議において，翌昭和34年度の第２回大会からは，現行のように，６月下旬の開催に決まった。

②当時，中国地区は普及途上にあり，山口県の男子が不参加であったり，他県の参加数にも大きなバラツキが見られ，現在の大会と比較してまさに隔世の感がある。

第１回岡山大会では，西大寺の男子と山陽女子が，それぞれ３冠を獲得して地元開催に花を添え，倉敷工業と井原も，団体戦に準優勝して他の４県を圧倒した。その後のめざましい活躍の跡は，次頁からの，同大会栄光の跡（年度別，団体・個人別優勝一覧）のとおりである。

**中国高校選手権大会①　学校対抗栄光の跡〔優勝一覧〕**　＜1997(平成９)年度現在＞

| 回 | 年度 | 開催地 | 男子 | 女子 | 回 | 年度 | 開催地 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S.33 | 岡山 | 西大寺 | 山陽女子 | 21 | S.53 | 松江 | 水島工 | 山陽女子 |
| 2 | S.34 | 倉吉 | 西大寺 | 山陽女子 | 22 | S.54 | 下関 | 倉敷工 | 山陽女子③ |
| 3 | S.35 | 下関 | 西大寺 | 山陽女子 | 23 | S.55 | 福山 | 水島工 | 山陽女子 |
| 4 | S.36 | 松江 | 松江商(島) | 山陽女子 | 24 | S.56 | 倉敷 | 境港工(鳥) | 山陽女子 |
| 5 | S.37 | 鳥取 | 西大寺 | 山陽女子 | 25 | S.57 | 鳥取 | 境港工(鳥) | 山陽女子③ |
| 6 | S.38 | 西大寺 | 西大寺 | 山陽女子 | 26 | S.58 | 米子 | 柳井工(山) | 山陽女子 |
| 7 | S.39 | 出雲 | 備南 | 山陽女子 | 27 | S.59 | 松江 | 西大寺 | 山陽女子 |
| 8 | S.40 | 下関 | 備南 | 山陽女子 | 28 | S.60 | 山口 | 柳井工(山) | 山陽女子③ |
| 9 | S.41 | 倉敷 | 備南 | 山陽女子 | 29 | S.61 | 広島 | 柳井工(山) | 山陽女子 |
| 10 | S.42 | 福山 | 備南③ | 山陽女子③ | 30 | S.62 | 倉敷 | 柳井工③ | 山陽女子 |
| 11 | S.43 | 鳥取 | 倉敷工 | 山陽女子 | 31 | S.63 | 米子 | 柳井工(山) | 山陽女子③ |
| 12 | S.44 | 下関 | 倉敷天城 | 山陽女子 | 32 | H.1 | 松江 | 柳井工(山) | 山陽女子 |
| 13 | S.45 | 福山 | 備南 | 山陽女子③ | 33 | H.2 | 山口 | 柳井工③ | 境(鳥) |
| 14 | S.46 | 岡山 | 松江商(島) | 山陽女子 | 34 | H.3 | 広島 | 柳井工(山) | 境(鳥) |
| 15 | S.47 | 鳥取 | 境港工(鳥) | 山陽女子 | 35 | H.4 | 倉敷 | 柳井工(山) | 山陽女子 |
| 16 | S.48 | 松江 | 境港工(鳥) | 山陽女子③ | 36 | H.5 | 米子 | 倉敷工 | 山陽女子 |
| 17 | S.49 | 下関 | 境港工③ | 山陽女子 | 37 | H.6 | 松江 | 大東(島) | 山陽女子③ |
| 18 | S.50 | 福山 | 倉敷工 | 山陽女子 | 38 | H.7 | 徳山 | 大東(島) | 山陽女子 |
| 19 | S.51 | 倉敷 | 境港工(鳥) | 山陽女子③ | 39 | H.8 | 広島 | 倉敷工 | 山陽女子 |
| 20 | S.52 | 倉吉 | 柳井工(山) | 山陽女子 | 40 | H.9 | 岡山 | 安佐北(広) | 山陽女子③ |

＊(1)男子優勝合計：19(西大寺＝６,備南＝５,倉敷工＝５,水島工＝２,倉敷天城＝１)
＊(2)女子優勝合計：38(山陽女子は32連勝後,平成９年度現在38回目の優勝を遂げている)
＊(3)学校名右の③は,３年連続優勝の受賞校(昭和42年度より＝備南１回・山陽女子10回)

**中国高校選手権大会　学校対抗参加回数一覧**（10回以上は受賞，平成９年度現在）

男子：倉敷工＝33，水島工＝24，西大寺＝17，備南＝14，倉敷天城＝12，倉敷青陵＝12
瀬戸南＝12，玉野光南＝５，東岡山工＝４，玉野商＝３，津山＝２，笠岡＝２，金川＝２
総社＝１，津山工＝１，岡山学芸館＝１，倉敷古城池＝１，岡山一宮＝１，倉敷南＝１
岡山城東＝１

女子：山陽女子＝40，西大寺＝21，倉敷中央＝18，倉敷青陵＝14，井原＝10，倉敷翠松＝13
笠岡商＝８，倉敷天城＝６，瀬戸＝５，瀬戸南＝４，美作＝４，総社＝３，久世＝３
津山商＝２，笠岡＝２，倉敷商＝２，児島第一＝１，玉島商＝１，矢掛商＝１
倉敷古城池＝１，玉野光南＝１

**中国高校選手権大会　学校対抗10回以上出場監督**（10回以上は受賞，平成９年度現在）

毛利清志（山陽女子）＝34，瀬戸勝（倉敷中央）＝13，橋本千代子（倉敷天城）＝12
小原健吾（倉敷工）＝11，柴田憲（瀬戸南）＝10，松田範明（倉敷翠松）＝12

## 中国高校選手権大会②　個人対抗栄光の跡（単・複優勝一覧）　＜1997（平成９）年度現在＞

| 回 | 男子単 | 学校 | 県 | 男子複 | 学校 | 県 | 女子単 | 学校 | 県 | 女子複 | 学校 | 県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 小松　貴 | 西大寺 | 岡山 | 小松・国信 | 西大寺 | 岡山 | 根岸　純 | 山陽女 | 岡山 | 沢　・西田 | 山陽女 | 岡山 |
| 2 | 青井　正義 | 西大寺 | 岡山 | 青井・奥山 | 西大寺 | 岡山 | 湯浅　光枝 | 山陽女 | 岡山 | 湯浅・合田 | 山陽女 | 岡山 |
| 3 | 松王　重明 | 西大寺 | 岡山 | 松王・阿部 | 西大寺 | 岡山 | 合田　君子 | 山陽女 | 岡山 | 合田・吉藤 | 山陽女 | 岡山 |
| 4 | 日野　泰三 | 松江商 | 島根 | 日野・松尾 | 松江商 | 島根 | 高塚　淳子 | 山陽女 | 岡山 | 高塚・重政 | 山陽女 | 岡山 |
| 5 | 阿部　正 | 西大寺 | 岡山 | 阿部・岡崎 | 西大寺 | 岡山 | 高塚　淳子 | 山陽女 | 岡山 | 高塚・重政 | 山陽女 | 岡山 |
| 6 | 杉村大丈夫 | 倉敷工 | 岡山 | 高橋・杉村 | 倉敷工 | 岡山 | 大賀　恵子 | 山陽女 | 岡山 | 田中・西江 | 井　原 | 岡山 |
| 7 | 太田　盛秋 | 備　南 | 岡山 | 吉村・太田 | 備　南 | 岡山 | 湯木　博江 | 山陽女 | 岡山 | 湯木・浦口 | 山陽女 | 岡山 |
| 8 | 上野　輝治 | 備　南 | 岡山 | 佐々木・平松 | 倉敷工 | 岡山 | 湯木　博江 | 山陽女 | 岡山 | 湯木・浦口 | 山陽女 | 岡山 |
| 9 | 清水　雄吉 | 倉敷工 | 岡山 | 小峪・藤原 | 備　南 | 岡山 | 湯木　博江 | 山陽女 | 岡山 | 湯木・浦口 | 山陽女 | 岡山 |
| 10 | 若松　進 | 備　南 | 岡山 | 若松・森本 | 備　南 | 岡山 | 児玉　祥 | 山陽女 | 岡山 | 笹尾・西尾 | 山陽女 | 岡山 |
| 11 | 平松　重吉 | 倉敷工 | 岡山 | 平田・鶴沢 | 備　南 | 岡山 | 児玉　祥 | 山陽女 | 岡山 | 児玉・光畑 | 山陽女 | 岡山 |
| 12 | 斉藤　敏行 | 倉敷工 | 岡山 | 斉藤・片岡 | 倉敷工 | 岡山 | 永田美登利 | 下関南 | 山口 | 永田・浜田 | 下関南 | 山口 |
| 13 | 南木　宏規 | 松江北 | 島根 | 柏木・高崎 | 境港工 | 鳥取 | 石田　雅子 | 山陽女 | 岡山 | 石田・吉田 | 山陽女 | 岡山 |
| 14 | 永井　孝 | 水島工 | 岡山 | 森　・重井 | 倉敷青陵 | 岡山 | 林　寿美子 | 山陽女 | 岡山 | 林　・平田 | 山陽女 | 岡山 |
| 15 | 吉田　啓二 | 出雲農 | 島根 | 出石・浜名 | 境港工 | 鳥取 | 三田　明美 | 山陽女 | 岡山 | 三田・寺見 | 山陽女 | 岡山 |
| 16 | 浜名　利之 | 境港工 | 鳥取 | 大野・藤原 | 倉敷工 | 岡山 | 近藤　小織 | 山陽女 | 岡山 | 原田・藤原 | 山陽女 | 岡山 |
| 17 | 山蔭　栄 | 松江南 | 島根 | 梅月・瀬戸 | 下関中央工 | 山口 | 原田美智子 | 山陽女 | 岡山 | 原田・藤原 | 山陽女 | 岡山 |
| 18 | 片岡　正之 | 倉敷工 | 岡山 | 片岡・藤原 | 倉敷工 | 岡山 | 橋本　千春 | 山陽女 | 岡山 | 橋本・岡部 | 山陽女 | 岡山 |
| 19 | 山本　浩 | 境港工 | 鳥取 | 山本・早川 | 境港工 | 鳥取 | 森下　真紀 | 山陽女 | 岡山 | 田辺・梶田 | 山陽女 | 岡山 |
| 20 | 守安　達二 | 水島工 | 岡山 | 佐々木・藤川 | 境 | 鳥取 | 田辺　淑子 | 山陽女 | 岡山 | 田辺・梶田 | 山陽女 | 岡山 |
| 21 | 難波　義雄 | 水島工 | 岡山 | 仲居・喜多村 | 境港工 | 鳥取 | 串田　有子 | 山陽女 | 岡山 | 串田・皿井 | 山陽女 | 岡山 |
| 22 | 前田　雅美 | 倉敷工 | 岡山 | 前田・竺原 | 倉敷工 | 岡山 | 岩田　幸子 | 米子西 | 鳥取 | 松島・天野 | 山陽女 | 岡山 |
| 23 | 若林　邦任 | 水島工 | 岡山 | 若林・片岡 | 水島工 | 岡山 | 原田　美和 | 山陽女 | 岡山 | 原田・竹原 | 山陽女 | 岡山 |
| 24 | 練尾　晋一 | 水島工 | 岡山 | 船越・池淵 | 境港工 | 鳥取 | 合田なおみ | 山陽女 | 岡山 | 合田・木下 | 山陽女 | 岡山 |
| 25 | 沖　貞雄 | 柳井工 | 山口 | 沖　・高橋 | 柳井工 | 山口 | 相賀　里香 | 山陽女 | 岡山 | 相賀・浮田 | 山陽女 | 岡山 |
| 26 | 沖　貞雄 | 柳井工 | 山口 | 沖　・高橋 | 柳井工 | 山口 | 轟　美智子 | 山陽女 | 岡山 | 星野・星野 | 松江商 | 島根 |
| 27 | 田中　伸幸 | 柳井工 | 山口 | 山崎・田中 | 柳井工 | 山口 | 近常　直美 | 山陽女 | 岡山 | 近常・竹原 | 山陽女 | 岡山 |
| 28 | 景山　潤 | 米子北 | 鳥取 | 田中・森本 | 柳井工 | 山口 | 近常　直美 | 山陽女 | 岡山 | 近常・西林 | 山陽女 | 岡山 |
| 29 | 内富　進 | 柳井工 | 山口 | 内富・金子 | 柳井工 | 山口 | 西林　昭子 | 山陽女 | 岡山 | 西林・紀井 | 山陽女 | 岡山 |
| 30 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 岡山 | 吉岡・　柳 | 柳井工 | 山口 | 久光　由紀 | 鈴峯女 | 広島 | 松王・人見 | 山陽女 | 岡山 |
| 31 | 柳　宏幸 | 柳井工 | 山口 | 吉岡・　柳 | 柳井工 | 山口 | 佐藤　由香 | 山陽女 | 岡山 | 佐藤・渡部 | 山陽女 | 岡山 |
| 32 | 棟居　秀行 | 柳井工 | 山口 | 遠藤・木村 | 柳井工 | 山口 | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 岡山 | 藤原・渡邊 | 倉敷翠松 | 岡山 |
| 33 | 棟居　秀行 | 柳井工 | 山口 | 棟居・武内 | 柳井工 | 山口 | 佐藤　直子 | 鈴峯女 | 広島 | 門脇・門脇 | 境 | 鳥取 |
| 34 | 柳　孝三 | 柳井工 | 山口 | 谷　・永尾 | 柳井工 | 山口 | 福井　奈美 | 鈴峯女 | 広島 | 門脇・門脇 | 境 | 鳥取 |
| 35 | 柳　孝三 | 柳井工 | 山口 | 柳　・中山 | 柳井工 | 山口 | 松王峰代子 | 山陽女 | 岡山 | 松王・住矢 | 山陽女 | 岡山 |
| 36 | 草井　篤 | 瀬戸南 | 岡山 | 森田・楢原 | 倉敷工 | 岡山 | 松王峰代子 | 山陽女 | 岡山 | 松王・住矢 | 山陽女 | 岡山 |
| 37 | 楢原　功士 | 倉敷工 | 岡山 | 富山・勝部 | 大　東 | 島根 | 加藤　美香 | 山陽女 | 岡山 | 雄龍・須々木 | 山陽女 | 岡山 |
| 38 | 千葉　和浩 | 松江西 | 島根 | 勝部・土谷 | 大　東 | 島根 | 山口麻衣子 | 米子東 | 鳥取 | 加藤・赤澤 | 山陽女 | 岡山 |
| 39 | 藤井　経久 | 山　口 | 山口 | 松川・塚田 | 倉敷工 | 岡山 | 井山　美里 | 山陽女 | 岡山 | 新多・枡本 | 鈴峯女 | 広島 |
| 40 | 山口　優介 | 米子西 | 鳥取 | 関本・下前 | 安佐北 | 広島 | 日野由希江 | 境 | 鳥取 | 小田・谷口 | 山陽女 | 岡山 |

☆岡山県種目別優勝数と学校別内訳

(1)男子単優勝計＝21〔倉敷工＝７，水島工＝５，西大寺＝４，備南＝３，瀬戸南＝２〕

(2)男子複優勝計＝18〔倉敷工＝８，西大寺＝４，備南＝４，倉敷青陵＝１，水島工＝１〕

(3)女子単優勝計＝33〔山陽女＝32，倉敷翠松＝１〕

(2)女子複優勝計＝35〔山陽女＝33，井原＝１，倉敷翠松＝１〕

＊山陽女子の湯木博江選手は３年連続３冠王，同高塚淳子，近常直美，松王峰代子各選手は２年連続３冠王獲得

### ⑵昭和34年度～昭和43年度

昭和34年度から，山陽女子高の毛利清志氏が第３代専門部委員長に就任した。同氏は，初代の永井委員長時代から全体実務に取り組んできた経験を生かし，規約の設定，組織の整備，人事の適正化など意欲的に尽力した。また，前年度から県協会の理事長にも推されており，県内全体の実状を踏まえて，本県専門部の活動を軌道に乗せた。19年間の在任中には，中国地区代表の常任委員に選ばれて，全国高体連専門部の運営にも参画しながら，本県専門部の活動を全国レベルに引き上げた。

この10年間における県内と中国での主な活躍としては，男子は西大寺が33年度から中国大会の３連勝に続いて，38年度に５回目の優勝を果たすなどトップに立ち，これに続いて倉敷工業，備南等が県や中国大会で活躍した。39年度に備南が西大寺の県総体10連覇をストップし，中国大会でも４連勝を遂げた。また43年度には，それまで２～３位であった倉敷工業が，備南を抜いて優勝している。

一方，山陽女子は43年度までに県総体14連勝，中国大会11連勝を果して他を圧倒した。この間に同校の高塚淳子選手は，37年度の中国大会で２年連続３冠を獲得し，同校の湯木博江選手も41年度に３年連続で３冠獲得を達成した。同校に続いて井原，西大寺，倉敷青陵等が県内の２位を争うなかで，井原は中国大会団体戦において，第１回から８年連続準優勝の記録を残している。42年度には倉敷青陵が山陽女子の県総体15連勝を阻止し，15年ぶりにインターハイ団体戦４度目の出場を果たした。

インターハイでは，35年度の第11回久留米大会において，男子団体の西大寺が８回目の出場でみごとにベスト４入りを果たした。３位決定戦には惜敗したが，２年前の同校小松貴選手の単４位に続く健闘は，本県男子界にとって貴重な戦績となった。チーム編成は，監督＝清見芳見，選手＝③松王重明，③阿部純一，③小橋武，③上岡俊英，③田中輝史，②西山寛，①寺内侃一のメンバーであった。また，同大会での山陽女子団体は５位（ベスト８）であった。

36年度の第12回弘前大会は，男子単で備南の朝原（現藤原）航選手が５位に入った。２年生主体の山陽女子団体は，監督＝毛利清志，選手＝③小合佳子，②重政百代，②高塚淳子，②七村泰子，②中山慶のメンバーで，同校２度目の団体４位を獲得し，同単の高塚選手が５位であった。

昭和37年度の第13回高岡大会では，高塚選手が山陽女子初の単優勝を飾り，重政選手との複でも同校２度目の優勝を果たし，２個目の金メダルを獲得した。山陽女子の個人戦での２冠達成は，同年10月開催の第17回岡山国体に向けて大きな弾みとなった。

昭和39年度の第15回京都大会では，男子複の太田／吉村組（備南）と，山陽女子団体と同単の湯木博江選手がそれぞれ５位に入った。40年度の第16回熊本大会は，山陽女子団体が，監督＝毛利清志，選手＝③三宅文子，③朝原純子，③原美登里，③内藤千恵子，②湯木博江，②浦口恵子のメンバーで４位となり，湯木選手の単が前年に続いて５位であった。

昭和41年度の第17回弘前大会では，山陽女子団体が決勝に進み，秋田敬愛に２－３で惜敗したが，同校３度目の準優勝を飾った。チームは，監督＝毛利清志，選手＝③湯木，③浦口，②岩田定子，②岡本三枝子，②笹尾真理子，②西尾菊栄，①児玉祥のメンバーであった。団体に続く複も，湯木／浦口組が準優勝を遂げ，大会最後の単では，湯木選手対浦口選手の同校対決の優勝戦となった。疲れ切った浦口選手のキケンで湯木選手が金メダルに輝き，浦口選手は団体と複に加えて，３個目の銀メダルを獲得した。なお，男子単では清水雄吉選手（倉敷工業）が５位に入った。

42～43年度は，男女団体・個人とも成績が振るわず，わずかに５位に入ったのは，43年度の福山大会における，児玉／光畑直美組（山陽女子）のみであった。

### ⑶昭和44年度～昭和53年度

◆全国高等学校選抜選手権大会誕生の経緯と変遷

昭和42年度から46年度まで，ジュニア育成を目的とした日本協会主催の強化合宿が，全国各地区で毎年冬休みに実施されてきた。47年度より，１～２年生による前記選抜大会に発展し，毎年３月に開催される運びとなった。これに伴って，中国地区代表を選抜する地区予選会（中国選抜）も，従来の中国地区強化合宿を発展的に移行して，合宿と同じ冬休み（１月）に開催することになり，県予選会は，それまでの秋季大会をこれに当てることとなった。

昭和47・48年度の中国選抜では，複の優勝ペアが地区代表（複の各選手が単の代表も兼ねる）に選ばれ，全国大会では個人戦の単複のみが実施された。49年度から県単位チーム（混成可）による１複２単の団体戦が増設され，53年度より２複１単に変わり，54年度から学校対抗戦となった。さらに58年度からは，インターハイ団体戦形式の，１単２複２単に変わった。また，個人戦の地区代表は単複各２（但し，同一県からは各１）となって現在に至っている。

現在，中国選抜岡山県代表は，団体１校・個人単複各６（登録数の少ない県は４）である。また，全国大会の団体戦中国地区代表は，中国選抜の優勝校のみであるが，参加県の多い地区には２県（各１校）に，また，日本協会への登録数の多い県には，男女毎に団体戦の出場権が与えられることになっている。＜例①＝関東地区では，東京，神奈川，埼玉に男女共出場権があり，その外に地区代表２県が出場できる。例②＝近畿地区の大阪は女子のみに出場権がある＞

＊中国選抜の栄冠は別表参照。中国・全国選抜については，10年間毎の主な活躍の経過を参照

この10年間に於ける県内や中国での主な活躍は，男子団体では倉敷天城，倉敷工業，倉敷青陵，水島工業等が県総体の優勝を分け合い，49年度に倉敷工業が倉敷青陵の３連覇を阻止して，同年より３連覇した。中国大会でも前記各校が，鳥取，島根，山口等の各県代表校とトップを争い，岡山勢が４回優勝している。また，中国選抜では48年度に倉敷青陵，49年度は倉敷工業が優勝した。

女子は，山陽女子が50年度に県総体で通算22回目の優勝を遂げたが，51年度には倉敷中央が優勝して，インターハイに初出場した。以下，同校の２位５回を始め，倉敷青陵，倉敷天城，西大寺等が２～３・４位を争い，倉敷翠松，児島第一，美作，津山商，矢掛商，井原，総社等が交替でベスト４に入っている。中国大会では，山陽女子が22連勝を果たし，この間に，倉敷中央が２回準優勝，倉敷青陵が３位３回，西大寺，津山商の３位１回等がある。中国選抜では，47年度から53年度まで山陽女子が７連勝しているが，その間の50年度は，倉敷中央２名，山陽女子１名の混成チームであった。

インターハイは，47年度の新庄大会で山陽女子団体が５位，同複の三田明美／寺見みど里組が３位に入賞し，48年度の四日市大会も，山陽女子団体と同単の近藤小織選手が，前年度の全国選抜と同じ５位であった。48年度の全国選抜では，山陽女子の原田美智子選手が単で２位，同複では原田／日原禎子組が３位に入賞した。49年度の第25回インターハイ嬉野大会では，選抜に続いて同校が個人戦で健闘し，複の原田／藤原敦子組が準優勝，同小寺裕美／日原組も５位に入り，単の原田選手が３位に入賞した。全国選抜では，49年度に倉敷工業が小原健吾監督の下，片岡雅之，平田重男，藤原道弘，景山誠のチームで４位，同校単の平田選手も４位であった。50年度は，山陽女子の森下真紀選手が単で準優勝し，51年度は同校の梶田百枝／田辺淑子組が４位であったが，インターハイでは，50～51年度と不振の続く中で，52年度の地元倉敷大会を迎えた。試合は，男子団体の水島工業と山陽女子の５位が最高で，その他は団体も個人も総崩れの敗退となり，地元の期待に応えられなかった。

## 全国高校選抜大会中国地区予選会①　団体戦栄光の跡（優勝・準優勝一覧＝平成９年度現在）

| 男女別 | | 男子 | | 女子 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 回 | 年度 | 優勝 | 2位 | 優勝 | 2位 |
| 1 | S.42 | 岡山 | 日本協会主催の中国地区強化合宿に於ける，試合練習の勝率による参考成績 | 岡山 | 日本協会主催の中国地区強化合宿に於ける，試合練習の勝率による参考成績 |
| 2 | S.43 | 岡山 | | 岡山 | |
| 3 | S.44 | 岡山 | 不明 | 岡山 | 不明 |
| 4 | S.45 | 岡山 | | 岡山 | |
| 5 | S.46 | 岡山 | | 岡山 | |
| 1 | S.47 | 浜名・宮本（境港工業） | 不明 | 近藤・原田（山陽女子） | 松江家政 |
| 2 | S.48 | 橋本・武者（倉敷青陵） | 黒崎・立田（福山葦陽） | 原田・藤原（山陽女子） | 小寺・日原（山陽女子） |
| 3 | S.49 | 岡山（倉敷工業） | 鳥取A（境港工業） | 岡山（山陽女子） | 島根（松江市女） |
| 4 | S.50 | 鳥取（境港工業・境） | 岡山（倉敷工・倉敷青陵） | 岡山（山陽女子・倉敷中央） | 広島（広島第一女商） |
| 5 | S.51 | 山口（柳井工業） | 岡山（倉敷工・水島工） | 岡山A（山陽女子） | 岡山B（山陽女子） |
| 6 | S.52 | 鳥取（境港工業） | 岡山（倉敷工・水島工） | 岡山A（山陽女子） | 鳥取（米子西） |
| 7 | S.53 | 広島（府中・福山） | 岡山（倉敷工・水島工） | 岡山（山陽女子） | 鳥取（米子西・倉吉西） |
| 8 | S.54 | 倉敷天城（岡山） | 境港工業（鳥取） | 山陽女子（岡山） | 福山葦陽（広島） |
| 9 | S.55 | 境港工業（鳥取） | 倉敷工業（岡山） | 山陽女子（岡山） | 境（鳥取） |
| 10 | S.56 | 境港工業（鳥取） | 水島工業（岡山） | 山陽女子（岡山） | 境（鳥取） |
| 11 | S.57 | 柳井工業（山口） | 水島工業（岡山） | 山陽女子（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 12 | S.58 | 西大寺（岡山） | 水島工業（岡山） | 山陽女子（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 13 | S.59 | 柳井工業（山口） | 水島工業（岡山） | 山陽女子（岡山） | 米子西（鳥取） |
| 14 | S.60 | 柳井工業（山口） | 国泰寺（広島） | 山陽女子（岡山） | 高森（山口） |
| 15 | S.61 | 柳井工業（山口） | 下関中央工業（山口） | 山陽女子（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 16 | S.62 | 柳井工業（山口） | 玉野光南（岡山） | 鈴峯女子（広島） | 山陽女子（岡山） |
| 17 | S.63 | 柳井工業（山口） | 瀬戸南（岡山） | 倉敷翠松（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 18 | H.1 | 柳井工業（山口） | 玉野光南（岡山） | 鈴峯女子（広島） | 山陽女子（岡山） |
| 19 | H.2 | 柳井工業（山口） | 松江西（島根） | 山陽女子（岡山） | 境（鳥取） |
| 20 | H.3 | 柳井工業（山口） | 下関中央工業（山口） | 山陽女子（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 21 | H.4 | 下関中央工業（山口） | 広島電気大学付属（広島） | 山陽女子（岡山） | 境（鳥取） |
| 22 | H.5 | 倉敷工業（岡山） | 広島電気大学付属（広島） | 山陽女子（岡山） | 倉敷翠松（岡山） |
| 23 | H.6 | 大東（島根） | 松江西（島根） | 山陽女子（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 24 | H.7 | 倉敷工業（岡山） | 広島城北（広島） | 鈴峯女子（広島） | 山陽女子（岡山） |
| 25 | H.8 | 安佐北（広島） | 西京（山口） | 倉敷翠松（岡山） | 鈴峯女子（広島） |
| 26 | H.9 | 安佐北（広島） | 祇園北（広島） | 山陽女子（岡山） | 大東（島根） |

＊(1)男子優勝：６〔倉敷工業＝３，倉敷青陵＝１，倉敷天城＝１，西大寺＝１〕
＊(2)男子２位：12〔水島工業＝７，倉敷工業＝５，玉野光南＝２，倉敷青陵＝１，瀬戸南＝１〕
＊(3)女子優勝：24〔山陽女子＝21，倉敷翠松＝２，倉敷中央＝１〕
＊(4)女子２位：６〔山陽女子＝５，倉敷翠松＝１〕
＊女子優勝数と内訳合計・男子２位数と内訳合計が異なるのは，それぞれ混成チームがあるため。

## 全国高校選抜大会中国地区予選会②　個人戦栄光の跡（岡山県関係中心＝平成９年度現在）

| 回 | 年度 | 単優勝 | 学校名 | 複優勝 | 学校名 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 男 | 子 | | |
| 2 | S.48 | 試合なし | | 橋本・武者　組 | 倉敷青陵 |
| 3 | S.49 | 平田　重男 | 倉敷工業 | 片岡・藤原　組 | 倉敷工業 |
| 8 | S.54 | 若林　邦任 | 水島工業 | 西江・青木　組 | 東岡山工業 |
| 12 | S.58 | 今東　　建 | 西大寺 | 山崎・田中　組 | 柳井工業 |
| 15 | S.61 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 田中・近藤　組 | 柳井工業 |
| 16 | S.62 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 吉岡・　柳　組 | 柳井工業 |
| 21 | H.4 | 草井　　篤 | 瀬戸南 | 中村・内田　組 | 下関中央工業 |
| 22 | H.5 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 楢原・三宅　組 | 倉敷工業 |
| 24 | H.7 | 米川　真司 | 柳井工業 | 岡村・塚田　組 | 倉敷工業 |
| 25 | H.8 | 西岡　大宗 | 瀬戸南 | 時原・山本　組 | 安佐北 |
| | | 女 | 子 | | |
| 1 | S.47 | 試合なし | | 近藤・原田　組 | 山陽女子 |
| 2 | S.48 | 試合なし | | 原田・藤原　組 | 山陽女子 |
| 3 | S.49 | 岡部　五月 | 山陽女子 | 橋本・高木　組 | 山陽女子 |
| 4 | S.50 | 森下　真紀 | 山陽女子 | 小野・藤原　組 | 倉敷中央 |
| 5 | S.51 | 峰政ひとみ | 山陽女子 | 梶田・田辺　組 | 山陽女子 |
| 6 | S.52 | 松島　万子 | 山陽女子 | 串田・皿井　組 | 山陽女子 |
| 7 | S.53 | 原田　美和 | 山陽女子 | 松島・天野　組 | 山陽女子 |
| 8 | S.54 | 原田　美和 | 山陽女子 | 天野・竹原　組 | 山陽女子 |
| 9 | S.55 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 竹原・木下　組 | 山陽女子 |
| 10 | S.56 | 原田　明子 | 山陽女子 | 岡　・原田　組 | 山陽女子 |
| 11 | S.57 | 轟　美智子 | 山陽女子 | 轟　・河内　組 | 山陽女子 |
| 12 | S.58 | 坂井　純子 | 山陽女子 | 近常・竹原純　組 | 山陽女子 |
| 13 | S.59 | 星野実智代 | 松江商業 | 近常・竹原純　組 | 山陽女子 |
| 14 | S.60 | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井・西林　組 | 山陽女子 |
| 15 | S.61 | 松王香音里 | 山陽女子 | 岡　・片岡　組 | 山陽女子 |
| 16 | S.62 | 出原　直美 | 山陽女子 | 佐藤・渡部　組 | 山陽女子 |
| 17 | S.63 | 横田　裕子 | 山陽女子 | 藤原・渡邊　組 | 倉敷翠松 |
| 19 | H.2 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤・住矢美　組 | 山陽女子 |
| 20 | H.3 | 松王峰代子 | 山陽女子 | 山口・長門　組 | 山陽女子 |
| 21 | H.4 | 松王峰代子 | 山陽女子 | 松王・住矢直　組 | 山陽女子 |
| 22 | H.5 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 雄龍・須々木　組 | 山陽女子 |
| 23 | H.6 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 次田・赤澤　組 | 山陽女子 |
| 24 | H.7 | 枡本　　愛 | 鈴峯女子 | 宇野・雄龍め　組 | 山陽女子 |
| 25 | H.8 | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 三好・川田　組 | 山口中央 |
| 26 | H.9 | 日野由希江 | 境 | 井山・谷口貴　組 | 山陽女子 |

男子学校別優勝内訳

| 学校名 | 単 | 複 |
|---|---|---|
| 倉敷工業 | 2 | 3 |
| 水島工業 | 1 | |
| 西大寺 | 1 | |
| 瀬戸南 | 4 | |
| 倉敷青陵 | | 1 |
| 東岡山工業 | | 1 |
| 計 | 8 | 5 |

女子学校別優勝内訳

| 学校名 | 単 | 複 |
|---|---|---|
| 山陽女子 | 19 | 22 |
| 倉敷中央 | | 1 |
| 倉敷翠松 | 1 | 1 |
| 計 | 20 | 24 |

男女種目別優勝合計

| 単＝28 | 複＝29 |
|---|---|
| 優勝合計＝57 | |

### ⑷昭和54年度～昭和63年度

昭和53年度から，水島工業（後年倉敷中央に転勤）の三宅（現瀬戸）勝氏が，第４代委員長に就任した。同氏は，全日本教職員大会団体と複の優勝や，国体教員の種別でも度々上位入賞の経験があり，47年度に部活動の盛んな水島工業へ転勤と同時に，指導者としても手腕を発揮した。専門部の運営面では，年毎に増える登録数に対応して，県大会の規模適正化，委員会業務の細分化と役員の配置，組合わせ内規の合理化，競技力向上の合同合宿や練習会等々を積極的に推進した。

この10年間の県総体での主な活躍として，男子優勝は55年度から水島工業が５回，倉敷工業は２回，東岡山工業，瀬戸南，玉野光南が各１回であった。２位は水島工業と西大寺が３回ずつ，倉敷天城と瀬戸南が各２回であった。山陽女子は10連勝を飾り，２位は西大寺３回，倉敷中央，倉敷翠松，瀬戸南が各２回，瀬戸１回であった。笠岡商業，総社，倉敷天城，倉敷古城池，津山商業等も，ベスト４に台頭している。また，63年の秋季大会では倉敷翠松が健闘し，山陽女子の30連勝を阻んで優勝を遂げた。

中国大会の男子優勝は，倉敷工業，水島工業，西大寺の順にそれぞれ１回。２位は水島工業が３回，倉敷天城，瀬戸南，玉野光南が各１回であった。山陽女子は，団体戦で31連勝を遂げ，西大寺が２位１回，３位２回，総社と倉敷翠松の２位が各１回，笠岡商業の３位１回等がある。この間に，山陽女子の近常直美選手は，60年度に２年連続３冠獲得を達成している。

インターハイの団体戦は，54年度から61年度まで複・単・複の３試合形式で行われ，62年度より現行の単・複・複・単・単の５試合形式となった。不振の続く10年間での５位入りは，男子単では55年度に水島工業の若林邦任選手，59年度に西大寺の今東建選手。60年度の女子複で山陽女子の近常／西林昭子組と，62年度の女子単で同校の松王香音里選手らのわずか４回であり，メダルの獲得はなかった。男女団体と個人を合わせてのベスト16入りも，８回に止まる淋しい結果に終わった。

中国選抜の男子団体では，倉敷天城と西大寺に各１回の優勝があるが，その他は境港工業の２連勝や，柳井工業の５連覇を含む６回の優勝に圧倒された。同個人戦もインターハイで活躍した若林，今東両選手の単優勝各１回と，平尾昌也選手（瀬戸南）の２連勝，西江均／青木隆久組（東岡山工業）の計５回の優勝に止まった。一方，山陽女子が団体戦８連勝後，広島の鈴峯女子に９連覇を阻まれたが，翌63年度に倉敷翠松が初優勝を飾って，岡山県が計９回優勝した。個人戦も59年度の単１位を松江商業（島根県）にゆずった外は，山陽女子を中心とした岡山勢がすべて優勝している。

全国選抜では，54年度の男子団体で倉敷天城が５位，同複では東岡山工業の西江／青木組が，岡山県男子初の全国大会複４位を獲得して気を吐いた。＝岡山県男子の４位は，西大寺のインターハイにおける単と団体に続いて３度目であった＝。山陽女子は，団体で４回，単は３回，複では５回５位に入った。その間の55年度には竹原桂子選手が単で３位入賞を果たし，６年ぶりの朗報となった。

### ⑸平成元年度～平成９年度

●昭和64年１月６日から８日にかけて，昭和63年度の中国選抜大会を倉敷体育館で開催した。会期中の７日（土）に昭和天皇が崩御され，現在の天皇が即位されて元号が「平成」に改められた。

平成元年度から９年間の県大会は，２年度の総体で倉敷工業が優勝し，玉野光南の３連勝に歯止めをかけ，８年度まで７連覇を遂げた。２位は水島工業の３回，瀬戸南，玉野光南の各２回，倉敷工業の１回であり，前記各校を含めて，岡山理大付属，岡山一宮，西大寺等も３位を争った。山陽女子は２年度から８年連続頂点に立った。しかし，元年度には台頭著しい倉敷翠松が前年の秋季大会に続い

て，県総体でも山陽女子の13連勝を阻止して優勝した。２位は倉敷翠松が４回，笠岡商業が３回，山陽女子が１回であった。３位には，倉敷翠松と笠岡商業がそれぞれ３回と，瀬戸南，倉敷商業が各１回入っている。県総体のまとめとして，男子は倉敷工業が昭和26年度の初優勝以来，平成９年度までの46年間に果たした優勝数は，県内トップの18回である。山陽女子は昭和28年度の初優勝以来，平成９年度までの45年間に合計42回優勝し，インターハイ予選での全国最多優勝記録を樹立した。

中国大会男子では，柳井工業の４連勝と，大東の２連勝に圧倒されながらも，５年度と８年度には倉敷工業が優勝した。２位は，倉敷工業と水島工業が２回，玉野光南が１回であり，３位には，倉敷工業，瀬戸南，水島工業等が入っている。山陽女子は元年度の優勝後，２・３年度は鳥取の境に優勝を奪われて３位と２位に甘んじたが，４年度から６連勝した。倉敷翠松は２位２回，３位１回。瀬戸南と笠岡商業も各１回３位に入賞した。この間に，山陽女子の松王峰代子選手は，平成５年度に２年連続の３冠獲得を達成している。

中国大会のまとめとして，平成９年度第40回大会までの男子団体では，西大寺，備南，倉敷工業の順にそれぞれ５回の優勝を遂げており，女子団体では，山陽女子が32連勝を含めて，通算38回の優勝を果している。(別表＝中国大会栄光の跡参照)

平成元年度に全国高体連専門部が創立40周年を迎え，インターハイも記念大会となった。山陽女子は全国最多出場で受賞し，同校の毛利清志顧問も特別功労者として表彰された。一方，岡山県の成績は，前期10年間よりさらに後退し，ようやくベスト16入りしたのは，山陽女子団体が３回と倉敷工業の団体が１回。単では，瀬戸南の草井篤選手と倉敷工業の楢原功士選手，山陽女子の須々木恵選手らの計３回であった。この間の平成６年度に，笠岡商業の石田賢一氏が，第５代委員長に就任した。

中国選抜の男子では，５年度と７年度に倉敷工業が優勝（通算４度目）した。しかし，他の年度は，山口県（柳井工業と下関中央工業）が計４回，島根県の大東が１回優勝した。元年度に玉野光南が２位となり，３位は倉敷工業が２回と瀬戸南が１回であった。山陽女子は２年度から５連勝しているが，元年度と７年度は広島県の鈴峯女子が優勝し，同校は２位であった。続く８年度は倉敷翠松が優勝し，９年度は山陽女子が優勝して，それぞれ全国高校選抜大会への出場権を獲得した。

全国選抜は平成３年度に20周年を迎え，記念大会は全県出場の団体戦のみであった。４年度の第21回新潟大会では，岡山県代表が17年ぶりに個人単で大活躍し，瀬戸南の草井篤選手が準優勝で銀メダルを，山陽女子の松王峰代子選手も３位で銅メダルを獲得した。５年度には倉敷工業の楢原／三宅伸介組と，山陽女子の須々木／雄龍あゆみ組が５位に入った。また，平成９年度第26回大会では，就任６年目の佐藤忠裕監督率いる山陽女子が，団体戦において同監督初の５位入りを果たした。

**◇追記**

①草井篤，松王峰代子両選手は，平成４年度全国選抜での好成績により，５年度の７月に東南アジア遠征のジュニア日本チーム代表に選ばれて，'93マレーシアオープンと同インドネシアオープンに参加した。試合はそれぞれ１回戦で敗れたが，岡山県高校生初の貴重な国際試合体験者となった。また，草井選手は，同年８月の日韓ジュニア対抗の日本チームにも選ばれた。

②平成７年度の第50回福島国体において，少年女子が５位入賞を果たした。岡山県の少年女子としては18年ぶりの朗報であったが，チーム編成は，監督＝石田賢一（現専門部委員長・笠岡商業高），選手＝赤澤景子，加藤美香，次田尚美（各山陽女子）のトリオであった。

### ⑹運営面改革の主な歩み

昭和48年度から，競技力向上と底辺拡大を目標に前後期の２期登録制とした。その結果，事務処理は能率的となり，参加校数や登録者数が増加した。49年度からは，県大会前の地区予選会や出場校と選手数の制限（種目によってフリー参加）等，大会規模の適正化を図って現行の基をつくった。52年度からは，地区選出委員（現常任委員）の制度を設け，長年の懸案であった役員業務を細分化して，「総務・競技・強化・審判・会計」の５委員会をつくるなど，役員組織を拡充した。

平成５年度から，年度当初に年間の大会要綱を一括各校へ配布することに踏み切った。これは，事務の簡素化と経費節約の上で成功した。また，７年度から競技力向上の一環として，ショートゲームを減らし，正式ゲームを多くするなど，大会運営面においても一歩前進した。

### ⑺昭和52年度「岡山全国総体の思い出」

昭和50年度より，毛利清志委員長（山陽女子），橋本千代子事務局長（倉敷天城）に加え，高田浩二副委員長（倉敷天城）を選任して役員組織を強化した。一方，各校の顧問及び部員に，公認審判員資格取得の協力を得るなど，態勢を整えて本番を迎えた。52年８月１日，岡山市での総合開会式後，倉敷市民会館での競技開始式では，倉敷天城の三沢敦子生徒代表が「歓迎の言葉」を，山陽女子の田辺淑子選手が「選手宣誓」を述べて幕を開けた。競技は，２～６日まで倉敷中央体育館他３会場で進行され，30コートによる画期的なタイムテーブルに基づくスムーズな運営によって，全日程を成功裡に終了することができた。この間における，岡山県，倉敷市両実行委員会，会場校，役員，補助員各位の献身的な協力を始め，多数の関係諸機関の理解ある支援激励等は，専門部にとって大きな支えとなった。しかしながら戦績は，水島工業と山陽女子の学校対抗戦が共に５位に止まって，レベル差を痛感する結果に終わり，残念ながら立派な大会運営に花を添えることができなかった。

**岡山県高体連バドミントン部の主な歴代役員**（平成９年度現在）

| 部長 | | | |
|---|---|---|---|
| 代 | 氏名 | 勤務校 | 期間 |
| 初 | 福守　茂 | 倉敷青陵 | 昭和24～27年度 |
| 2 | 小川　政雄 | 山陽学園 | 昭和28～36年度 |
| 3 | 戸田　千年 | 備南 | 昭和37～38年度 |
| 4 | 森　嘉吉 | 金山学園 | 昭和39～46年度 |
| 5 | 松本　稲郎 | 倉敷天城 | 昭和47～48年度 |
| 6 | 三宅　新 | 倉敷青陵 | 昭和49～50年度 |
| 7 | 村井　薫直 | 倉敷天城 | 昭和51～52年度 |
| 8 | 羽田　孜 | 倉敷天城 | 昭和53～57年度 |
| 9 | 阪本　暁夫 | 岡山朝日 | 昭和58～60年度 |
| 10 | 森　彰 | 倉敷中央 | 昭和61～63年度 |
| 11 | 城山　藤一 | 倉敷中央 | 平成元～２年度 |
| 12 | 岡本　耕志 | 倉敷中央 | 平成３～７年度 |
| 13 | 三吉　肇 | 倉敷中央 | 平成８年度～ |
| 副部長 | | | |
| 初 | 毛利　清志 | 山陽女子 | 昭和55～62年度 |

| 委員長 | | | |
|---|---|---|---|
| 代 | 氏名 | 勤務校 | 期間 |
| 初 | 永井　正 | 岡山工業 | 昭和24～32年度 |
| 2 | 金尾　善六 | 井原 | 昭和33年度 |
| 3 | 毛利　清志 | 山陽女子 | 昭和34～52年度 |
| 4 | 瀬戸(旧三宅) 勝 | 水島工業~倉敷中央 | 昭和53～平成５年度 |
| 5 | 石田　賢一 | 笠岡商業 | 平成６年度～ |
| 副委員長 | | | |
| 初 | 高田　浩二 | 倉敷天城 | 昭和50～52年度 |
| 2 | 橋本千代子 | 倉敷天城 | 昭和53～63年度 |
| 3 | 柴田　憲 | 瀬戸南 | 昭和63～平成５年度 |
| 4 | 松本　誠一 | 玉島商業~総社南 | 平成元～５年度 |
| 5 | 松田　範明 | 倉敷翠松 | 平成６～８年度 |
| 同 | 西崎　文貴 | 水島工業 | 平成６年度～ |

**1998（平成10）年３月**

**文責　第３代委員長　毛利清志**

**同　第４代委員長　瀬戸　勝**

**同　第５代委員長　石田賢一**

**資料＝高体連専門部加盟校・選手の全国大会入賞記録**＜優勝～５位（ベスト８）＞

**⑴全国高校選手権大会**＜1950（昭和25）年度，第１回大会開始＞

| 回 | 年度 | 種目・戦績・チーム・選手（所属校） |
|---|---|---|
| 4 | S,28 | ＧＴ５位＝山陽女子 |
| 5 | S,29 | ＧＴ４位＝山陽女子 |
| 6 | S,30 | ＧＴ優勝＝山陽女子，ＧＤ優勝＝権田節子／友野文子組（山陽女子）<br>ＧＤ２位＝小林桂子／三宅基子組（山陽女子），ＧＳ５位＝光本政子（同） |
| 7 | S,31 | ＧＴ２位＝山陽女子，ＧＤ３位＝小林桂子／戸田寿子組（山陽女子）<br>ＧＳ２位＝戸田寿子（山陽女子）・３位＝小林桂子（同） |
| 8 | S,32 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＤ５位＝田中俊子／滝本紀子組（井原）<br>ＧＳ５位＝根岸　純（山陽女子） |
| 9 | S,33 | ＧＴ２位＝山陽女子，ＢＳ４位＝小松　貴（西大寺）<br>ＧＳ５位＝西田寿子（山陽女子） |
| 11 | S,35 | ＢＴ４位＝西大寺，ＧＴ５位＝山陽女子 |
| 12 | S,36 | ＧＴ４位＝山陽女子，ＢＳ５位＝朝原　航（備南）<br>ＧＳ５位＝高塚淳子（山陽女子） |
| 13 | S,37 | ＧＳ優勝＝高塚淳子（山陽女子），ＧＤ優勝＝高塚淳子／重政百代組（同） |
| 15 | S,39 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＢＤ５位＝太田盛秋／吉村傀三組（備南）<br>ＧＳ５位＝湯木博江（山陽女子） |
| 16 | S,40 | ＧＴ４位＝山陽女子，ＧＳ５位＝湯木博江（山陽女子） |
| 17 | S,41 | ＧＴ２位＝山陽女子，ＧＤ２位＝湯木博江／浦口恵子組（山陽女子）<br>ＧＳ優勝＝湯木博江（山陽女子）・２位＝浦口恵子（同）<br>ＢＳ５位＝清水勇吉（倉敷工業） |
| 19 | S,43 | ＧＤ５位＝児玉　祥／光畑直美組（山陽女子） |
| 23 | S,47 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＤ３位＝三田明美／寺見みど里組（山陽女子） |
| 24 | S,48 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＳ５位＝近藤小織（山陽女子） |
| 25 | S,49 | ＧＤ２位＝原田美智子／藤原敦子組（山陽女子）<br>ＧＤ５位＝小寺裕美／日原禎子組（山陽女子），ＧＳ３位＝原田美智子（同） |
| 28 | S,52 | ＢＴ５位＝水島工業，ＧＴ５位＝山陽女子 |
| 31 | S,55 | ＢＳ５位＝若林邦任（水島工業） |
| 35 | S,59 | ＢＳ５位＝今東　建（西大寺） |
| 36 | S,60 | ＧＤ５位＝近常直美／西林昭子組（山陽女子） |
| 38 | S,62 | ＧＳ５位＝松王香音里（山陽女子） |

**⑵全国高校選抜選手権大会**　＜1972（昭和47）年度，第１回大会開始＞　　その①

| 回 | 年度 | 種目・戦績・チーム・選手（所属校） |
|---|---|---|
| 1 | S,47 | ＧＳ５位＝近藤小織（山陽女子） |
| 2 | S,48 | ＧＤ３位＝原田美智子／日原禎子組（山陽女子），ＧＳ２位＝原田美智子（同） |

### ⑵全国高校選抜選手権大会　　その②

| 回 | 年度 | 種目・戦績・チーム・選手（所属校） |
|---|---|---|
| 3 | S,49 | ＢＴ４位＝倉敷工業，ＢＳ４位＝平田重男（倉敷工業）<br>ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＤ５位＝橋本千春／高木和子組（山陽女子）<br>ＧＳ５位＝岡部五月（山陽女子） |
| 4 | S,50 | ＧＳ２位＝森下真紀（山陽女子） |
| 5 | S,51 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＤ４位＝梶田百枝／田辺淑子組（山陽女子）<br>ＧＳ５位＝峰政ひとみ（山陽女子） |
| 6 | S,52 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＤ５位＝串田有子／皿井由美子組（山陽女子）<br>ＧＳ５位＝松島万子（山陽女子） |
| 7 | S,53 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＳ５位＝原田美和（山陽女子） |
| 8 | S,54 | ＢＴ５位＝倉敷天城，ＢＤ４位＝西江　均／青木隆久組（東岡山工業）<br>ＧＴ５位＝山陽女子 |
| 9 | S,55 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＳ３位＝竹原桂子（山陽女子） |
| 10 | S,56 | ＧＳ５位＝原田明子（山陽女子） |
| 11 | S,57 | ＧＤ５位＝轟美智子／河内富子組（山陽女子），ＧＳ５位＝轟美智子（同） |
| 12 | S,58 | ＧＤ５位＝近常直美／竹原純子組（山陽女子） |
| 13 | S,59 | ＧＴ５位＝山陽女子，ＧＤ５位＝近常直美／竹原純子組（山陽女子） |
| 14 | S,60 | ＧＤ５位＝西林昭子／紀井晴美組（山陽女子），ＧＳ５位＝西林昭子（同） |
| 21 | H,4 | ＢＳ２位＝草井　篤（瀬戸南），ＧＳ３位＝松王峰代子（山陽女子） |
| 26 | H,9 | ＧＴ５位＝山陽女子 |

### ⑶全日本～同総合選手権大会　＜1947（昭和22）年度，第１回開始～昭和35年度より総合＞

| 回 | 年度 | 種目・戦績・チーム・選手（所属校） |
|---|---|---|
| 6 | S,28 | ＧＤ５位＝吉川英子／大森嘉美組（山陽女子），ＧＳ４位＝吉川英子（同） |
| 7 | S,29 | ＧＤ優勝＝吉川英子／大森嘉美組（山陽女子），ＧＳ５位＝吉川英子（同）<br>ＧＳ５位＝大森嘉美（山陽女子） |
| 8 | S,30 | ＧＤ優勝＝小林桂子／三宅基子組（山陽女子）・２位＝権田節子／友野文子組（同）<br>・３位＝光本政子／戸田寿子組（山陽女子）・５位＝根岸純／藤原泰子組（同）<br>ＧＳ優勝＝友野文子（山陽女子）・２位＝光本政子（同）・３位＝三宅基子（同）・<br>５位＝権田節子（山陽女子）・戸田寿子（同） |
| 9 | S,31 | ＬＤ優勝＝小林桂子／戸田寿子組（山陽女子）　＊第９回よりジュニアの部廃止<br>ＬＳ５位＝小林桂子（山陽女子）・５位＝戸田寿子（同） |
| 19 | S,41 | ＬＤ５位＝湯木博江／浦口恵子組（山陽女子），ＬＳ５位＝湯木博江（同） |

### ⑷全日本ジュニア選手権大会　＜1982（昭和57）年度，第１回大会開始＞

| 回 | 年度 | 種目・戦績・チーム・選手（所属校） |
|---|---|---|
| 3 | S,59 | ＧＤ５位＝近常直美／竹原純子組（山陽女子） |

### ⑸国体の入賞と参加校　＜５回より得点競技，監督・選手名は「県協会の歩み」参照＞

| 回 | 年度 | 種別・戦績・監督＝所属校・選手＝所属校（人数） |
|---|---|---|
| 5 | S，25 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝倉敷青陵（４名） |
| 7 | S，27 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名）・倉敷青陵（１名） |
| 8 | S，28 | 高校女子５位：監督＝井原，選手＝山陽女子（３名）・倉敷青陵（１名） |
| 9 | S，29 | 高校男子５位：監督＝倉敷青陵，選手＝倉敷青陵（２名）・西大寺（１名）<br>高校女子２位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名）　＊９回～選手３名⇨現在 |
| 10 | S，30 | 高校女子優勝：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 11 | S，31 | 高校女子２位：監督＝井原，選手＝山陽女子（３名） |
| 12 | S，32 | 高校女子５位：監督＝井原，選手＝山陽女子（３名） |
| 13 | S，33 | 高校女子４位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 14 | S，34 | 高校男子５位：監督＝西大寺，選手＝西大寺（３名）<br>高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 15 | S，35 | 高校男子５位：監督＝山陽女子，選手＝西大寺（２名）・備南（１名）<br>高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 16 | S，36 | 高校男子５位：監督＝山陽女子，選手＝西大寺（２名）・備南（１名）<br>高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 17 | S，37 | 高校男子５位：監督＝西大寺ＯＢ，選手＝西大寺（２名）・備南（１名）<br>高校女子３位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 18 | S，38 | 高校男子５位：監督＝倉敷工業，選手＝倉敷工業（２名）・西大寺（１名）<br>高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（２名）・井原（１名） |
| 19 | S，39 | 高校男子５位：監督＝備南，選手＝備南（２名）・倉敷工業（１名）<br>高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 20 | S，40 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（２名）・西大寺（１名） |
| 21 | S，41 | 高校男子４位：監督＝備南，選手＝備南（２名）・倉敷工業（１名）<br>高校女子３位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（２名）・西大寺（１名） |
| 22 | S，42 | 高校男子５位：監督＝倉敷工業，選手＝倉敷工業（２名）・備南（１名）<br>高校女子５位：監督＝倉敷青陵，選手＝山陽女子（２名）・倉敷青陵（１名） |
| 23 | S，43 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（２名）・倉敷青陵（１名） |
| 24 | S，44 | 高校男子５位：監督＝倉敷工業，選手＝倉敷工業（２名）・備南（１名）<br>高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 25 | S，45 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 26 | S，46 | 高校女子３位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 27 | S，47 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 28 | S，48 | 高校女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 30 | S，50 | 少年女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名）　＊種別名変更⇨現在 |
| 32 | S，52 | 少年女子５位：監督＝山陽女子，選手＝山陽女子（３名） |
| 35 | S，55 | 少年男子５位：監督＝東岡山工業，選手＝東岡山工業（２名）・水島工業（１名） |
| 39 | S，59 | 少年男子４位：監督＝水島工業，選手＝西大寺（２名）・水島工業（１名） |
| 50 | H，7 | 少年女子５位：監督＝笠岡商業，選手＝山陽女子（３名） |

## (３)津山工業高等専門学校

### 第Ⅰ期（創部期）

1962（昭和37）年，高等専門学校が発足し，その２期校として1963（昭和38）年に津山高専は開校した。昭和40年に１期生の岡部，石田，谷全氏らが中心となり，石川，内藤氏らも加わってバドミントン同好会が誕生した。顧問には藤木俊介先生になっていただいた。

初心者ばかり，練習場も与えられず，なるべく風の少ない校舎の陰で，ネットなしの練習から始まった。指導者のいない暗中模索の練習では困るので，県協会にお願いしたところ，当時理事長をされていた毛利先生と山上先生が，湯木選手（現姓新沼）等計５人で指導に来て下さった。有名な湯木選手相手に１本取るのも難しかったが，彼女とシャトルを打つだけで部員は心弾んだものであった。

翌41年，部に昇格し，何日かに１度は晴れて体育館を使うことができた。協会に登録，国体予選に参加したのもこの年である。近隣の高校では津山工高，久世高などと練習試合をしたことが記録に残っている。

### 第Ⅱ期（養成期）

部に昇格してから２～３年のうちに，部員も10人ほどに増えて活動も活発になった。国体予選，春秋の県大会に参加，津山工高の他に県南へも練習試合に出かけた。東岡山工高，西大寺高，金川高，岡山大，岡山理大など適時申し込んで遠征した。県北ではそこそこのレベルとなり，高校との定期戦ではよい結果が出るようになった。そのせいか，津山商高の女子からコーチに来て欲しいと依頼され，小高，児山両氏が１年間出かけた記録がある。

昭和45年頃の藤田部長時代，中国地区の他県の高専には部がなかったので，近くの高松高専に出かけ，毎年交互に会場を持って定期戦をするようになった。これに新居浜が加わって３校戦を行い，その後高知も参加するようになった。そして，49年には「中・四国高等専門学校バドミントン大会」と称して，毎年高松高専で開催するまでに発展し，優勝カップも用意した。

この頃のメンバーは初期には藤田，福田，土光，森，熊代，続いて小高，伏見，児山，岡井等の諸氏がいる。

### 第Ⅲ期（発展期）

昭和40年代の高専におけるバドミントンは，東日本が盛んであった。昭和51年，第１回東日本高等専門学校バドミントン大会が長岡高専の肝入りで行われ，翌52年には，第１回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会と名称を変え，日本バドミントン協会主催で旭川高専当番で行われた。この全国大会開催の報せが刺激となり，よくまとまって部活動に励んだ。殊に２年生から入部した黒瀬氏のひたむきな練習ぶりと，４年生で急速に伸びた同氏の実力は特筆すべきこととして，部長の国富氏とともに記録に残されている。

53年の第２回大会（宮城高専当番）には，中国地区代表として５年の国富，黒瀬，４年河原，３年植中，前田の諸氏が初参加した。なお，51年からは西山顧問が加わり，現在に至っている。

この頃，中国地区では宇部の同好会，徳山の部，52年誕生の米子の同好会等が活動しており，全国大会地区代表を選ぶことになって，54年津山で４校の対抗戦を行った。これが中国大会の始まりであるが，高専体育連盟から認められていなかったので，練習試合並の扱いであり，名称も「中国地区高

等専門学校バドミントン親善試合」とし，経費と事務労力の節約に努めた大会が続いた。

54年から中・四国大会にも米子が加わり，同好会ながらもその高い実力に驚かされた。

国富，黒瀬両氏が築いた部活動は次の伊織，若林，永原，木原各氏らの世代に受け継がれた。部長の永原氏は基礎練習に新しい工夫を取入れ，強者となった米子に勝つことを目標に練習に励んだ。一方，マネージャーの木原氏は，競技に対する研究，部活動への気配りと実行力等により，永原氏の指導が浸透するような雰囲気づくりなど，裏方に徹しながら抜群の女房ぶりで大きく貢献した。実力者の永原氏は，彗星のように急速に台頭した米子，高松，新居浜等の強者を相手に健闘したが，大会で入賞までに至らなかったのは悔しいことであった。しかし，この頃が飛躍のスタートと言える。

中国大会では米子を前に２番手に悩んでいた津山であるが，永原氏に続き山根氏が台頭した。当時，校内の10㎞マラソン大会で，部員は陸上部と互角に上位を占めていたが，同氏もその一人である。顧問も学生と共に完走し，上位を占める部員に満足したものである。山根氏は58年の第７回全国大会（奈良高専）で男子単３位入賞を果たし，津山の名を初めて栄光の記録欄に載せたことは特筆に値する。翌第８回大会（東京高専）での同氏は，同種目で銀メダルに輝き，高専最後の夏を有意義に飾った。

続く２年後輩の西井，さらに延原，石黒（雅之）氏らが，第９回大会（苫小牧高専）団体戦で熊本電波高専を２－１で敗り，全国大会団体戦初勝利を得て大きな刺激となった。続く，個人戦男子複でも西井／結城組が健闘してベスト８に進出するなど，津山の名を高めた大会であった。これがもとで，63年の第12回大会は津山で…という声の上がった年でもある。そんな中で61年には藤木顧問が引退され戸井顧問が加わった。以後，全国大会の当番を予想しながら練習に励んだが，山根，西井両氏の卒業後，層が薄くなったのは否めなかった。それでも延原部長を中心にランニング等基礎体力養成をはかりながら，石黒雅之，石黒和幸，谷本，蔵田，臼井の諸氏がまとまり，第11回大会（鈴鹿高専）で団体戦の３位決定戦に勝利したとき，飛び上がって喜びを表現した光景は忘れられない。

**第Ⅳ期（全国大会）**

1988（昭和63）年には全国大会を岡山県津山総合体育館で行った。一種目とは言え本校が全国大会を受け持つのは，昭和48年の全国高専体育大会以来のことである。県及び市の協会から幾多の指導と多大のご協力を得て無事終了できたことは，感謝して余りあるところである。また，部としても一大行事に取り組んだ経験は強く心に残っている。58年頃から各種大会で勝ち上がってきた戦績に比べ，延原氏の卒業後は選手層の薄さが目立ち，石黒雅之氏の健闘を除いては好結果を得ていない。またこの大会の顧問会議で，女子の試合を取り入れることと，高専体育協会の共催を求めるという二つの懸案課題を解決できたことは大きな伸展であり，中国大会も平成元年から地区高専体育協会主催となり，ようやく公の認知を得，名称を「・・・親善試合」から「・・・大会」に変えることができた。

**第Ⅴ期（再建期）**

63年の全国大会当番を数年前から予想して築いてきた戦力は，層の薄さを残したまま続いた。その間，宇部が台頭し全国大会を制覇するまでになった。平成元年，最初の女子酒本さんを部に迎えた。中学時代からの経験者であるが，平成２年の全国大会女子オープン（熊本電波高専）で銅メダルに輝き，新たな喜びを分かちあった。女子はさらに３人が卒業まで続けた。なお，平成７年からバドミントンが高専体育大会の中に組み込まれ，単独種目としての開催はなくなった。

部員数の減少が続き８年当初は３人となり，８年度末３月の中・四国大会の当番校としての責任が

心配されたが中途より１年生の入部が相次ぎ，補助員として働き，無事大会を終えることができた。つぼみができ大きくなって花が咲き実を結ぶ，その実が次の世代を担うように順繰りに巡って行くことを望むところであるが，部の歴史を振り返りながら新たな出発の第一歩としたい。

1997（平成９）年３月　文責　津山高専顧問　西山宗弘

## （４）学生連盟

### ①岡山大学

#### １．創部までのいきさつ

1949（昭和24）年に公布された国立学校設置法により，県内のいくつかの学校が統合されて，同年５月に岡山大学が発足したが，開学は７月にまでずれ込んだ。大学創立時に学友会（現・校友会）の一サークルとして岡山大学バドミントン部が誕生した。創部に当たっては前年あたりからバドミントンを楽しんでいた岡山師範学校出身者の，有吉捷郎氏や榎本大一氏らが中心となり，全学生に呼びかけた結果，20名程集まった。顧問は猪野俊平理学部教授に就任をお願いし，活動が始まった。

#### ２．創部から現在まで

##### ⑴創設期

当時，関東の方ではＹＭＣＡやＹＷＣＡを中心にバドミントンが行われており，各大学でも部の活動が盛んになってきていた。そこで，1950（昭和25）年11月23日に日本バドミントン協会の協力のもと，慶応，早稲田，関東学院，同志社，関西学院などの各大学が中心となり，東京ＹＭＣＡ体育館での設立総会において，全日本学生バドミントン連盟が誕生し，その翌日の24日から25日にかけて，横浜の神奈川体育館で，第１回全日本学生選手権大会（インターカレッジ）が開催された。岡山大学もこの呼びかけに応じて総会に出席し，インターカレッジにも数名参加した。〔創成期の糸晃先輩談，他〕

このように我が部は早くから中央の大会にも参加していたが，中国地方での大会参加としては，1952（昭和27）年に始まった中国選手権大会が挙げられるだろう。この大会には尾道短大等の参加があり，岡山大学は団体，個人ともに優勝を果たした。また，現在も続いている歴史的に最も古い大会は中国五大学学生競技大会（以下，中国五大学）である。1953（昭和28）年に初めて女子の部が島根県松江市で開催され，岡大が優勝した。当時，男子の部は五大学すべての参加が揃わなかったため，実施されなかった。

この頃の様子については，我が部の伝統の一つとして40年以上続いている〝部報「流転」〟からも伺うことができる。それによると，創部間もない頃は練習場の確保もままならない状態であったが，暇を見つけては練習に取り組み，まとまりのある部であったようだ。また，1952（昭和27）年の夏には，これも我が部の伝統である強化合宿が始まっている。このような活動が後の岡大バドミントン部黄金期のステップになったと思われる。

##### ⑵第２期

1957（昭和32）年になると，中国・四国学生バドミントン選手権大会（以下，中四大会）が発足し，

四国地方の大学と対戦する機会も生まれた。もちろん，岡大は第１回から参加した。この頃のライバルは山口大学や島根大学など，中国地方の国立大学勢であった。岡大は男子団体が第１回から第８回まで８連勝，女子団体も第９回まで９連勝という素晴らしいスタートを切った。その上，個人の優勝を独占することもしばしばであった。また，中国五大学に於いても，男子団体が昭和37年の第13回大会から昭和48年の第24回大会まで12連勝，女子団体が昭和42年の第18回大会から昭和45年の21回大会までと，昭和47年の第23回大会から昭和50年の第26回大会まで，それぞれ４連勝を果たしている。以上のように，中四国地区ではまさにリーダー的存在であった。そこで，素晴らしい成果を挙げながら，この時期を支えた主な先輩を記しておきたい。

第一に名前を挙げなければならないのは，昭和29年度入学の大橋（現姓一村）艶子氏と草野（現姓中村）千栄子氏である。お二人は1957（昭和32）年の第８回全日本学生選手権大会の女子ダブルスにおいて優勝を果たし，岡大バドミントン部史上を飾る一大快挙を成し遂げられた。他には，中四国大会で第１回から男子シングルス４連覇を果たした，昭和32年度入学の加納正之氏。同じく第６回から第９回までを制した昭和37年度入学の山田熙氏。第３・第４回大会の女子シングルス優勝の森川（現姓平井）礼子氏（昭和32年度入学)。同じく第５・第６回大会の女子シングルス優勝の数乗（現姓黒瀬）俊恵氏（昭和34年度入学）らの活躍が挙げられる。これらの方々を中心に，岡大バドミントン部は中四国地区において黄金期を築いてきた。一方，中四国で素晴らしい戦績を収め続けたこの時代でも中央の壁は厚く，インカレでの初戦突破はままならなかった。また，1962（昭和37）年から始まった，中国・四国・九州学生バドミントン選手権大会（第１回大会は九州不参加のため，中国・四国学生秋季大会の名称で開催，以下，中・四・九大会）では，福岡大学を始めとする九州勢が強敵として岡大の前に立ちはだかった。1970（昭和45）年の第９回大会で男女とも初の団体優勝を果たし，中国地方に優勝旗をもたらしたが，この大会から我が部の目標が，打倒九州勢へと変わっていった。

### ⑶第３期

昭和30～40年代，中四国地区において黄金期を築いてきた我が部も，昭和50年代に入ると他の大学との差が接近し始めた。1977（昭和52）年の第21回から，1981（昭和56）年の第25回中四大会までは，女子団体が５連覇を果たしたものの，その後は長期にわたる連覇は減り，近年ではその傾向が強くなり単年度の優勝も難しくなってきた。それを一層顕著にしたのが，私立大学勢の台頭である。男子では東亜大学や松山大学，女子では松山大学や山陽学園短期大学等が，中四大会などの上位を占めるようになり，ここ数年で私大勢と国立大勢の差はさらに大きく広がってきている。

### ⑷その他

ここで，他の大学との交流や岡山県バドミントン協会との関係について触れておきたい。香川大学を始め，大阪樟陰女子大学，広島大学，意外なところでは高松商業など県外チームとの交流はかなり昔から盛んであった。香川・広島の両大学とは定期戦の形で現在も交流が続いており，近年では鳥取大学など，他の国立大学との交流も生まれつつある。

県協会との関係では，県内各大学の代表という形で，協会役員（理事）に毎年１名を派遣している。また，協会主催の大会には，学連主催大会とのからみで全面的な参加はできないが，秋季大会や新人戦に参加し，経験を積むよい機会となっている。創部から昭和40年代頃までは協会との連絡も密であり，その指導の下で下表のとおり12名の先輩が，在学中か卒業後，国体に参加活躍されている。

国体参加の先輩（数字＝参加回数・入賞回数）

記号説明：T＝教員男子，M＝一般男子，B＝高校男子，L＝一般女子

| 入学 | 氏 名 | 種別 | 選手 | 入賞 | 監督 | 入賞 | 入学 | 氏 名 | 種別 | 選手 | 入賞 | 監督 | 入賞 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S.25 | 西崎正明 | T | 6 | 5 | MBL5 | BL2 | S.36 | 柳本堯敏 | T | 10 | 8 | 4 | 2 |
| S.27 | 内藤　勇 | M | 2 | | | | S.38 | 森口隆彦 | M | 1 | | | |
| S.28 | 渡辺弘美 | T | | | 8 | 8 | S.42 | 加藤孝昭 | T | | | 2 | 1 |
| S.29 | 藤沢更司 | T | 4 | 3 | | | S.44 | 岡本次郎 | T | 7 | 4 | | |
| S.34 | 高田浩二 | T | 2 | 2 | 2 | 2 | S.46 | 小田和文 | T | 5 | 3 | | |
| S.35 | 藤井英雄 | M | 3 | | | | S.49 | 林　正子 | L | 1 | | | |

また，全日本教職員選手権大会の団体優勝に貢献された先輩方として，西崎氏は５回，渡辺氏と高田氏が各１回，藤井氏と柳本氏がそれぞれ２回となっている。（第Ⅱ章「全国優勝者」の項参照）

我が部もあと数年で創部50周年を迎える…。その主な歴史を振り返りながら「我が部の歩み」を記述したが，これを新たな岡大バドミントン部を築いていく第一歩としたい。

**1996（平成８）年３月　文責　岡山大学　坂野隆弘**

### ②山陽学園短期大学

#### １．部会誕生まで

1886（明治19）年，キリスト教精神に基づく山陽学園が誕生し，女子私学の山陽英和学校を開校した。山陽学園は1996（平成８）年に創立110周年を迎えたが，この間の1969（昭和44）年に山陽学園短期大学が開学され，1999（平成11）年には，短大も創立30周年を迎えることになっている。

短大バドミントン部は，開学から５年後の1973（昭和48）年の夏，山陽女子高バドミントン部での経験者であった筆者を中心に，その他は初心者ばかりの同好会として，わずか数名でスタートした。当時，短大の体育館は自由に練習できたが，練習用のシャトル代や，練習試合の遠征費などのすべてが自己負担であり，自分たちが，高校時代の部活動では経験することのなかった，必要経費に苦労しながら，開拓者精神で頑張った。その努力が報いられ，昭和49年度からは杉田敦子講師（現在岡山商科大学教授）が顧問に就任され，同好会から部に昇格して漸く部活動が軌道に乗った。

#### ２．創成期の活動

昭和48年に入学した５回生の筆者と岸本（旧姓森下）智和・山下（旧姓藤田）真佐子（いずれも山陽女子高出身）の３選手が岡山大学の協力を得て，昭和49年10月の第12回中国・四国・九州学生大会に，部活動開始以来初めて出場し，筆者が単・複ともベスト８に入った。なお，同年度の県秋季大会と，県一般新人戦の単でも優勝を果たした。アルバイトをしたり，大学祭で模擬店を出して手作りの物を売るなど，自己負担をカバーしながらではあったが，幸先のよい創成期となった。しかし，短大は２年間で卒業なので，選手としての活躍も，部の役員も短期間で入れ替わる宿命にある。幸い，筆者と入れ替わりに入学した，山陽女子高バドミントン部出身の日原（現姓黒川）禎子・林里美の両選手にバトンタッチして，バドミントン部の存続が叶うこととなり，現在もその活動が続いている。

### 3．活動の定着

創部から３年目の1975（昭和50）年には，第13回中国・四国大会で，早くも団体優勝を果たすことができた。さらに，昭和53年の中国・四国・九州大会において，森下真紀選手が，単の初優勝に合わせて，複でも藤木史子選手とのコンビで初優勝し，２冠に輝いた。

昭和54年当時の主将であり，同年の中国・四国・九州大会の単に優勝した串田（現姓熊川）有子選手は，「団体戦には，経験の少ない１年生を何名か加えなければチーム編成ができないので，団体戦で優勝した記憶は殆どない」と話している。しかし，中国・四国大会の昭和50年から平成８年までの戦績を見ると，団体優勝７回，同準優勝６回がある。さらに，同55年には中国・四国・九州大会でも，串田選手を中心として団体優勝を遂げている。

その後，昭和56年入学の轟（現姓前田）恵美子選手の頃から参加する大会も多くなり，従来から出場していた中国大会，中国・四国大会，中国・四国・九州大会等はもとより，西日本・全日本大学学生選手権，全日本学生東西対抗，全国私立短大体育会などと，部員たちの活躍の場が大きく広がる中で，短大バドミントン部の活動もすっかり定着し，各大会毎に素晴らしい活躍をしてきた。

### 4．活動の発展～現在

1969（昭和44）年の短大開学当時，クラブ連合会の体育部系は５部であったが，現在ではサークルを含めて14部にも増えており，学生たちは有意義な活動を展開している。

中でもバドミントン部は，昭和50年頃から前述のようなめざましい活躍を重ね，58年の第18回全国私立短大体育大会バドミントン競技の部（略称＝全私短大会）において，竹原桂子選手が単優勝の栄冠を勝ち取り，ついに“全国の頂点”に立ったのである。「山陽学園百年史＝短大編」は，同単３位入賞の相賀里香選手と，翌年の同大会団体３位入賞の記事に合わせて，竹原選手の表彰状（写真）を掲載し，創部10年目の快挙を讃えている。さらに，同年度の中国・四国・九州大会でも，竹原選手の単と竹原／相賀組の複が，それぞれ優勝を果たした。

その後，平成元年までに全私短大会の団体３位入賞が５回あり，平成２年にも佐藤由香選手を主力に，団体３位入賞を遂げて伝統を守り，単では佐藤選手が前年の２位を上回る活躍で，わが短大“２度目の全国優勝”に輝いた。平成４年には，佐藤由紀（由香選手の妹）選手と佐藤純子選手を中心にしたチームワークにより，団体戦に準優勝して山陽学園短大の面目を保った。

中国・四国大会や中国地区の大会においても，前記選手たちを中心に好成績を挙げてきている。（下表参照）そしてその後も，年ごとに入れ替わる各年代の後輩選手たちが，“伝統の誇りと重圧”の中で頑張っている脈動が伝わってくるのである。これからも新しい明日に向かって，永久不滅の部活動が続けられることを祈念しながら，この稿の結びとする。

**山陽学園短大　対外大会優勝のまとめ**

| 大会名 | 期間 | 種目別優勝数 | 計 |
|---|---|---|---|
| 中国 | 昭和51～平成８年 | 個人複＝６　個人単＝７　個人混合複＝７ | 20 |
| 中国・四国 | 昭和50～平成８年 | 団体戦＝７　個人複＝９　個人単＝６ | 22 |
| 中国・四国リーグ | 昭和56～平成８年 | 団体戦＝５　（団体戦だけの大会） | 5 |
| 中国・四国・九州 | 昭和50～平成８年 | 団体戦＝１　個人複＝２　個人単＝３ | 6 |
| 西日本 | 昭和50～平成８年 | 個人複＝１　個人単＝１ | 2 |
| 全国私立短大 | 昭和58～平成８年 | 個人単＝２ | 2 |

**追記：お礼とお願い**

過日，山陽学園短大バドミントン部，初代顧問の杉田先生と久方ぶりにお会いして，思い出話に花を咲かせるチャンスがありました。

杉田先生は「わが部は，比較的短期間で素晴らしい成長を遂げ，各年代の選手たちがそれぞれに羽ばたいてきた。私の顧問当時，予想を上回る成果の陰の力として，同学園中学・高校元顧問の毛利清志先生にお礼を申し上げたい」と話しておられました。私も同じ思いであり，原稿の執筆についてもご指導下さったお礼も含め，誌上をお借りして心から感謝の意をささげます。

なお，山陽学園短大バドミントン部発展のために，今後とも関係各位のご指導をお願い申し上げ，同時に，バドミントン部同窓生のバックアップを切望する次第であります。

終わりに，この原稿作成に当たり，快く協力頂いた後輩の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

**1997（平成９）年３月　文責　山陽学園短大同窓生代表　岡田裕子（旧姓田辺）**

## （５）実業団連盟（含，社会人）

### １．県大会の誕生と経過

#### ⑴実業団大会の創設・経過と主な戦績

＜※昭和34～44年度・53年度は資料がないため不明，以下は保存記録その他による記述である＞

1956（昭和31）年７月１日，第１回県実業団大会が山陽学園で行われ，20チーム・約100名が参加して岡山市役所Ａが優勝し，44年度までトップを維持した。45年度から三井造船優勝の時代となり，55年度に川崎製鉄が初優勝してからは両チームの厳しい優勝争いが続いた。昭和63年度から再び三井造船の優勝が続き，平成８年度には松下電器，翌９年度には川鉄マシナリーがそれぞれ初優勝を果たした。この間に準優勝したのは，前記各チームを含めて，岡山市役所，三菱化成（現三菱化学）等であった。なお，昭和31年度から平成９年度までのチーム別優勝数を，初優勝を果たした順に挙げると，岡山市役所14回，三井造船19回，川崎製鉄７回，松下電器と川鉄マシナリーの各１回となっている。

昭和31年度に参加した女子は岡山市役所のみであり，男女混成での試合記録が残っている。全国大会には38年度まで同チームが参加しているが，その後49年度まで岡山県は不参加であり，県大会についても34年度から44年度までは不明である。45年度からの県大会チーム別優勝数を，初優勝の年度順に挙げると，久世体協２回，クラレ岡山・三菱化成各５回，岡山市役所２回，松本組（現まつもとコーポレーション）12回，川崎製鉄・アリモトスポーツ・中国精油各１回となっている。なお，平成９年度までに，参加数４チーム以下の年度が10回もあり，女子チームの増設と活性化が大きな課題となっている。また，昭和40年代から久世町での開催が続いた後，昭和60年代からは勝山町での開催に変わって今日に至っており，両町の好意が，県北の活性化につながるよう切望されている。

#### ⑵社会人大会の創設と経過・発展

1958（昭和33）年度から，全日本社会人選手権大会の予選を兼ねて，県社会人大会が開始された。62年度より男子年齢別の種目が加わり，1995（平成７）年度からは，大会名が県総合選手権大会兼・中国総合選手権大会県予選会に変わって，大学・高校・中学の学生，生徒の上位ランク選手たちにも，

参加のチャンスが与えられることになって現在に至っている。

### ⑶実業団大会個人戦の新設・発展

昭和52年度から開始された個人戦は，同62年度より前・後期の２回行われることになり，男子単は１～５部まで，同複は１～３部まで，女子単複は１～２部までによる試合が行われている。

### ⑷社会人と実業団個人戦優勝の跡

社会人と実業団の個人戦（前・後期＝１部のみ）のトータルで，平成９年度までの選手別（ペアー別）優勝数を，おおむね初優勝を果たした年度順に挙げると次のとおりである。

＜＊県社会人大会は昭和48年度までの記録が不明であり，同49年度以降の保存記録による…＞

**①男子単**

芳上一男（三井造船）２回，藤原道弘（川崎製鉄）８回，岡本次郎（教員）１回，平田重男（川崎製鉄）３回，若林邦任（三井造船）24回，三辻邦章（三井造船）１回，福田哲（松下電器）５回，三好研二（川鉄マシナリー）２回，武政英和（中国電力）２回

**②男子複**

芳上／上野組（三井造船）１回，藤原航／松井組（三井造船）２回，芳上／松井組（三井造船）２回，藤原航／芳上組１回，松井／山本組（三井造船）２回，藤原道／平田組（川崎製鉄）10回，山本／若林組（三井造船）５回，藤原道／北村組（川崎製鉄）１回，藤原道／若林組６回，藤原－／田枝組（中谷興運／クラレ倉敷）３回，福田／三辻組（松下電器／三井造船）７回，若林／大倉組（三井造船）１回，若林／野田組（ＲＳ永井／川鉄マシナリー）１回，福田／立野組（松下電器／倉敷化工）２回，福田／末田組（松下電器）２回，立野／坂口組（倉敷化工／三菱石油）２回

**③女子単**

三田明美（クラレ岡山）１回，石田雅子（県教委～アサヒブレッド）５回，林寿美子（山陽学園教）１回，岡部五月（カネボウ）１回，河本小織（旧近藤）２回・原田美智子５回・合田なおみ１回（各まつもと），難波初子（川崎製鉄）１回，西林昭子（備前市役所）４回，河原美津巳２回・土肥まり子１回・岡良依３回・渡邊美穂１回・藤原清美１回・佐藤由香５回・住矢美幸10回，神宝朝子２回（各まつもと），須々木恵（中国精油）２回

**④女子複**

寺見組（クラレ岡山）１回，三田／藤原組（クラレ岡山）１回，石田／林組（県教委／山陽学園教）２回，岡部／貝原組（カネボウ／岡山商工会）１回，岡部／橋本組（カネボウ／岡山市役所）１回，河本（旧近藤）／高田組２回・原田／小寺組１回・原田／合田組２回（各まつもと），合田／山崎組（まつもと／山陽学園教）１回，河本／原田組（コーモト／まつもと）１回，難波初／難波明（川崎製鉄）１回，佐藤／丸山組（三菱化成）１回，木村／難波組（川崎製鉄）１回，川崎／山本組（光和被服）１回，河原／岡組６回・岡／渡邊組３回・佐藤由／住矢組５回・佐藤由／神宝組５回・住矢／神宝組３回，岡／土肥組１回・土肥／藤原組１回・宮本／神宝組１回（各まつもと），山本／土肥組（まつもとＯＧ／まつもと）１回，佐藤由／藤原組１回・土肥／神宝組１回（各まつもと），加藤／赤澤組（山陽女高）１回，佐藤美／須々木組（中国精油）２回

全国や中国の関係各大会に参加活躍した選手については，第Ⅰ章の年度別「県協会の歩み」や「競技部会の歩み」の項，および，第Ⅴ章の「大会別・年次別戦績一覧」の項に記載されている。

## 2．日本実業団連盟と支部連盟設立の経緯

### ⑴国体のリハーサルと日本実業団連盟の設立

1961（昭和36）年度，第11回全日本実業団と，第４回全日本社会人の両選手権大会が，岡山県協会の主管により倉敷市で開催された。ちょうど，全日本社会人選手権を国体のリハーサル大会をすることが決まった最初の大会であり，当時は，実業団の団体戦終了後，社会人の個人戦を行う形で両大会の併催であった。翌昭和37年度の“第17回岡山国体リハーサル”としての両大会は，県協会にとって初の全国大会運営であったが，岡山県と倉敷市の大きな支援を得て成功裡に終了した。

一方，大会前日の昭和36年７月25日，倉敷市で行われた日本実業団連盟設立総会において，関係者待望の「日本実業団バドミントン連盟」が誕生した。その後，相次いで全国各地の支部連盟が設立され，1995（平成７）年度現在では，39都道府県連盟・合計728チームが登録されている。

岡山県は，昭和37年度に支部連盟としての名義登録をしたが，県の連盟役員等を選出して組織を確立するには至らず，県協会の実業団担当役員が関係の業務に携わってきた。

### ⑵岡山県実業団連盟の設立・経過

1969（昭和44）年度，待望の第１回中国実業団選手権大会が開催されることになり，中国各県においても，支部連盟の設立に向けてにわかに活気を呈してきた。岡山県も，実業団担当であった岡本武利理事（現参与）等が中心となって，山田錄二郎会長（現顧問），虻江優理事長（現参与）その他の役員を選出し，1975（昭和50）年度に至って，ようやく「岡山県実業団連盟」の組織を確立した。そして，名実ともに，全国や中国地区実業団連盟の仲間入りを果たしたのである。

なお山田会長は，就任早々から中国実業団連盟の会長を10年間兼務し，県協会の岡本理事長（昭和53年度就任）は，50年度より中国，56年度より岡山県実業団連盟の理事長を兼務した。

1988（昭和63）年度から藤原航県協会理事長が，県実業団連盟理事長を兼務するなかで，平成８年度より，片山義久会長が就任して今日に至っている。（下表参照）

**岡山県実業団連盟の歴代会長・理事長**（昭和37年度～平成９年度）

| ＊昭和37年度，日本実業団連盟に支部連盟としての名義登録＜県協会実業団担当＝岡本武利＞ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 区分 | 代 | 氏名 | 所属 | 在任期間 | 備考 |
| 会長 | 初 | 山田錄二郎 | 岡山市議会議員 | 昭和50年度～平成７年度 | 昭和50年度から中国実連会長10年間 |
| | 2 | 片山　義久 | 中国精油㈱ | 平成８年度～現在 | 県協会副会長と兼務 |
| 理事長 | 初 | 虻江　優 | 三井造船㈱玉野事業所 | 昭和50年度～昭和55年度 | 県協会理事と兼務 |
| | 2 | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 昭和56年度～昭和62年度 | 昭和50年度から日本実連理事10年間 |
| | 3 | 藤原　航 | 三井造船㈱玉野事業所～岡山県立大学 | 昭和63年度～現在 | 昭和60年度から日本実連理事等～現在 |

＊昭和50～59年度：中国実連理事長＝岡本武利，昭和63年度～現在：中国実連副理事長＝藤原航

## 3．その他

### ⑴登録・加盟状況

1997（平成９）年度現在，岡山県実業団連盟の団体戦に出場する加盟団体は，男子18チーム，女子５チームであり，個人戦のみに出場する事業所数は，男子30，女子４となっている。

なお，平成９年度現在において，全国・中国地区・岡山県等の，社会人連盟は存在しない。

### ⑵対外大会への参加活躍

①中国実業団選手権大会：1969（昭和44）年度の第１回大会より参加，現在まで連続参加

②中国選手権大会～中国社会人選手権大会～中国地区総合選手権大会：1958（昭和33）年度第１回大会より参加，現在まで連続参加

③全日本実業団選手権大会：1955（昭和30）年度の第５回大会に初参加，現在まで連続参加

④全日本社会人選手権大会：1958（昭和33）年度の第１回大会より参加，現在まで連続参加

⑤全日本選手権大会～全日本総合選手権大会：1952（昭和27）年度の第５回大会に初参加，現在まで連続参加

### ⑶資料

**①中国実業団選手権大会　優勝の跡**（平成９年度現在）

| 回 | 年度 | 開催県 | 男子優勝チーム | 県 | 女子優勝チーム | 県 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,44 | 島根 | 三井造船 | 岡山 | | |
| 2 | S,45 | 山口 | 三井造船 | 岡山 | 山陽パルプ | 山口 |
| 3 | S,46 | 広島 | 宇部興産 | 山口 | 日本鋼管A | 広島 |
| 4 | S,47 | 岡山 | 宇部興産 | 山口 | 下関市役所 | 山口 |
| 5 | S,48 | 鳥取 | 三井造船A | 岡山 | クラレ | 岡山 |
| 6 | S,49 | 島根 | 三井造船A | 岡山 | クラレ | 岡山 |
| 7 | S,50 | 山口 | 宇部興産A | 山口 | クラレ | 岡山 |
| 8 | S,51 | 広島 | 三井造船A | 岡山 | クラレ | 岡山 |
| 9 | S,52 | 岡山 | 三井造船A | 岡山 | クラレ | 岡山 |
| 10 | S,53 | 鳥取 | 宇部興産A | 山口 | 日新製鋼 | 山口 |
| 11 | S,54 | 島根 | 川崎製鉄A | 岡山 | 日新製鋼 | 山口 |
| 12 | S,55 | 山口 | 川崎製鉄A | 岡山 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 13 | S,56 | 島根 | 川崎製鉄A | 岡山 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 14 | S,57 | 山口 | 川崎製鉄A | 岡山 | 日新製鋼 | 山口 |
| 15 | S,58 | 広島 | 川崎製鉄A | 岡山 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 16 | S,59 | 岡山 | 川崎製鉄A | 岡山 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 17 | S,60 | 鳥取 | 川崎製鉄A | 岡山 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 18 | S,61 | 島根 | 川崎製鉄A | 岡山 | ナショナルマイクロモーター | 鳥取 |
| 19 | S,62 | 山口 | 川崎製鉄A | 岡山 | 下関大丸A | 山口 |
| 20 | S,63 | 広島 | 川崎製鉄A | 岡山 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 21 | H,1 | 鳥取 | 山陽国策パルプA | 山口 | ㈱松本組 | 岡山 |
| 22 | H,2 | 岡山 | 山陽国策パルプA | 山口 | ㈱松本組A | 岡山 |
| 23 | H,3 | 島根 | 三井造船 | 岡山 | まつもとコーポレーションA | 岡山 |
| 24 | H,4 | 山口 | 三井造船 | 岡山 | 鳥取三洋A | 鳥取 |
| 25 | H,5 | 広島 | 三井造船 | 岡山 | まつもとコーポレーションA | 岡山 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | H，6 | 岡山 | 三井造船 | 岡山 | 山陰合同銀行A | 島根 |
| 27 | H，7 | 鳥取 | 三井造船 | 岡山 | 山陰合同銀行A | 島根 |
| 28 | H，8 | 島根 | 川鉄マシナリー | 岡山 | 山陰合同銀行A | 島根 |
| 29 | H，9 | 山口 | 徳山市役所 | 山口 | 広島ガス | 広島 |

**②中国社会人～中国地区総合選手権大会　優勝の跡**（中国選手権は「競技部会の歩み」参照）

| 回 | 年度 | 開催県 | 一般男子単 | 県 | 一般男子複 | 県 | 一般女子単 | 県 | 一般女子複 | 県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | S，44 | 島根 | 上野　輝治 | 岡山 | 末広／河添 | 岡山 | 木村　宣子 | 岡山 | 光畑／木村 | 岡山 |
| 13 | S，45 | 山口 | 小松　貴 | 岡山 | 三宅／柳本 | 岡山 | 後藤　妙子 | 山口 | 後藤／永田 | 山口 |
| 14 | S，46 | 広島 | 河添　忠夫 | 山口 | 末広／河添 | 山口 | 浦口　恵子 | 岡山 | 永田／西村 | 山口 |
| 15 | S，47 | 岡山 | 高真　広 | 鳥取 | 上野／芳上 | 岡山 | 石原　啓子 | 広島 | 石原／小原 | 広島 |
| 16 | S，48 | 鳥取 | 芳上　一男 | 岡山 | 末広／河添 | 山口 | 三田　明美 | 岡山 | 三田／寺見 | 岡山 |
| 17 | S，49 | 島根 | 末広　英樹 | 山口 | 末広／河添 | 山口 | 北島　稔子 | 島根 | 三田／寺見 | 岡山 |
| 18 | S，50 | 山口 | 坂本　賢二 | 山口 | 末広／河添 | 山口 | 丸山　富江 | 山口 | 丸山／永田 | 山口 |
| 19 | S，51 | 広島 | 高真　広 | 鳥取 | 末広／河添 | 山口 | 石田　雅子 | 岡山 | 石田／林寿 | 岡山 |
| 20 | S，52 | 岡山 | 出石　勉 | 鳥取 | 高真／出石 | 鳥取 | 石田　雅子 | 岡山 | 石田／林寿 | 岡山 |
| 21 | S，53 | 鳥取 | 出石　勉 | 鳥取 | 高真／出石 | 鳥取 | 林　正子 | 岡山 | 小林／崎津 | 鳥取 |
| 22 | S，54 | 島根 | 出石　勉 | 鳥取 | 高真／出石 | 鳥取 | 石田　雅子 | 岡山 | 岡部／橋本 | 岡山 |
| 23 | S，55 | 山口 | 坂本　賢二 | 山口 | 藤原／平田 | 岡山 | 小寺　弘美 | 岡山 | 小寺／小山 | 岡山 |
| 24 | S，56 | 島根 | 藤原　道弘 | 岡山 | 高真／出石 | 鳥取 | 近藤　小織 | 岡山 | 近藤／高田 | 岡山 |
| 25 | S，57 | 山口 | 藤原　道弘 | 岡山 | 稲垣／栗 | 島根 | 浜田　真澄 | 山口 | 天野／合田 | 岡山 |
| 26 | S，58 | 広島 | 若林　邦任 | 岡山 | 出石／山本 | 鳥取 | 原田美智子 | 岡山 | 原田／小寺 | 岡山 |
| 27 | S，59 | 岡山 | 藤原　道弘 | 岡山 | 出石／山本 | 鳥取 | 原田美智子 | 岡山 | 原田／合田 | 岡山 |
| 28 | S，60 | 岡山 | 藤原　道弘 | 岡山 | 出石／山本 | 鳥取 | 合田なおみ | 岡山 | 福田／植田 | 鳥取 |
| 29 | S，61 | 岡山 | 藤原　一志 | 岡山 | 藤原／平田 | 岡山 | 陶山　聡子 | 鳥取 | 河本／原田 | 岡山 |
| 30 | S，62 | 広島 | 若林　邦任 | 岡山 | 藤原／平田 | 岡山 | 西林　昭子 | 岡山 | 西林／紀井 | 岡山 |
| 31 | S，63 | 鳥取 | 若林　邦任 | 岡山 | 藤原／平田 | 岡山 | 原田美智子 | 岡山 | 河原／岡良 | 岡山 |
| 32 | H，1 | 島根 | 若林　邦任 | 岡山 | 山本／山下 | 鳥取 | 岡　百合子 | 岡山 | 福田／山下 | 鳥取 |
| 33 | H，2 | 岡山 | 藤原　道弘 | 岡山 | 藤原／若林 | 岡山 | 堀　悦子 | 山口 | 岡良／渡邊 | 岡山 |
| 34 | H，3 | 山口 | 若林　邦任 | 岡山 | 藤原／若林 | 岡山 | 星野美智代 | 島根 | 佐藤／藤原 | 岡山 |
| 35 | H，4 | 広島 | 若林　邦任 | 岡山 | 福田／三辻 | 岡山 | 門脇めぐみ | 鳥取 | 福田／門脇 | 鳥取 |
| 36 | H，5 | 鳥取 | 若林　邦任 | 岡山 | 福田／三辻 | 岡山 | 星野美智代 | 島根 | 門脇／門脇 | 鳥取 |
| 37 | H，6 | 島根 | 三辻　邦章 | 岡山 | 福田／三辻 | 岡山 | 住矢　美幸 | 岡山 | 星野／坂本 | 島根 |
| 38 | H，7 | 岡山 | 若林　邦任 | 岡山 | 河野／田内 | 山口 | 淵上　幸代 | 島根 | 上前／門脇 | 鳥取 |
| 39 | H，8 | 山口 | 福田　哲 | 岡山 | 河野／田内 | 山口 | 吉川　愛 | 広島 | 上前／門脇 | 鳥取 |
| 40 | H，9 | 広島 | 若林　邦任 | 岡山 | 田上／永松 | 山口 | 吉川　愛 | 広島 | 福井／渡辺 | 広島 |

| 混合複 | 回 | 選手名 | 県 | 回 | 選手名 | 県 | 回 | 選手名 | 県 | 回 | 選手名 | 県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 27 | 藤原／河本 | 岡山 | 28 | 安田／松岡 | 岡山 | 36 | 福田／佐藤 | 岡山 | 38 | 福田／佐藤 | 岡山 |
| | 39 | 福田／佐藤 | 岡山 | 40 | 福田／佐藤 | 岡山 | ＊混合複は岡山県の優勝のみ。 | | | | | |

### ③全日本実業団選手権大会の入賞記録　＜優勝～５位（ベスト８），平成９年度現在＞

| 回 | 年度 | 団体戦，種目・戦績＝チーム | | ＊個人戦は第13回～第31回まで実施 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 回 | 種目・戦績＝選手（所属） |
| 5 | S,30 | ＭＴ５位＝岡山市役所 | | | |
| 6 | S,31 | ＭＴ３位＝岡山市役所 | ＬＴ優勝＝岡山市役所 | 13 | MS5位=小松貴,MX4位=小松/根岸組(各岡山市役所) |
| 7 | S,32 | ＭＴ３位＝岡山市役所 | ＬＴ２位＝岡山市役所 | 14 | ＬＳ4位=根岸純･5位=小合佳子,ＬD3位=小合/重政組（クラレ岡山），３０MS優勝=前田俊一（丸菱商事） |
| 8 | S,33 | ＭＴ４位＝岡山市役所 | ＬＴ２位＝岡山市役所 | | |
| 9 | S,34 | ＭＴ４位＝岡山市役所 | | 15 | ４OMD３位=社／小梶組(各岡山市役所) |
| 10 | S,35 | | ＬＴ３位＝岡山市役所 | 16 | ４OMD４位=社／小梶組(各岡山市役所) |
| 11 | S,36 | ＭＴ５位＝三井造船 | ＬＴ５位＝岡山市役所 | 17 | ４OMD３位=社／小梶組(各岡山市役所) |
| 12 | S,37 | ＭＴ５位＝岡山市役所 | ＬＴ５位＝岡山市役所 | 21 | 3OMS 3位=小松貴,4OMD 3位=西村/明珍組(三井) |
| 13 | S,38 | | ＬＴ５位＝岡山市役所 | 22 | 30MS 3位=小松貴,30MD 3位=小松/藤井組(岡市) |
| 15 | S,40 | ＭＴ５位＝岡山市役所 | | 23 | ３OMD２位=藤原／田丸組(三井造船) |
| 16 | S,41 | ＭＴ５位＝岡山市役所 | | 24 | ＬD５位=三田／寺見組(クラレ岡山) |
| 32 | S,57 | | ＬＴ３位＝松本組 | 27 | ３OMD３位=藤原／上野組(三井造船) |
| 33 | S,58 | | ＬＴ２位＝松本組 | 28 | ３OMD３位=藤原／上野組(三井造船) |
| 35 | S,60 | ＭＴ５位＝川崎製鉄 | | 29 | 3OMS3位=芳上一男,3OMD3位=藤原/芳上組(三井) |

### ④全日本社会人選手権大会の入賞記録　＜優勝～５位（ベスト８），平成９年度現在＞

| 回 | 年度 | 種目・戦績・選手（所属） |
|---|---|---|
| 1 | S,33 | ＭＳ４位＝石原利通，ＬＳ４位＝権田節子，ＬＤ４位＝権田／光本組（各岡山市役所） |
| 2 | S,34 | ＭＳ４位＝石原利通，ＭＤ５位＝石原／今東組，ＬＳ３位＝権田節子，ＬＤ４位＝権田／光本組（各岡山市役所），ＭＤ５位＝毛利／西崎組（岡山教員クラブ） |
| 3 | S,35 | ＬＳ５位＝根岸純，ＬＤ２位＝根岸／湯浅組（各岡山市役所） |
| 4 | S,36 | ＬＤ５位＝根岸／湯浅組（各岡山市役所），ＭＸ２位＝毛利／根岸組（山陽学園教／岡山市役所），ＭＸ２位＝小松／湯浅組（岡山市役所） |
| 5 | S,37 | ＭＳ５位＝小松貴，ＬＤ３位＝根岸/湯浅組（各岡山市役所），ＭＸ３位＝毛利/根岸組（山陽学園教／岡山市役所），ＭＸ５位＝小松／湯浅組（岡山市役所） |
| 6 | S,38 | ＬＳ４位＝根岸純，ＬＤ３位＝根岸／湯浅組（各岡山市役所）<br>ＭＸ５位＝毛利／根岸組（山陽学園教／岡山市役所） |
| 14 | S,46 | ＬＳ５位＝浦口恵子（山陽女高ＯＧ），ＬＤ５位＝浦口／本間組（山陽女高ＯＧ／新潟） |
| 18 | S,50 | ＬＳ５位＝石田雅子（県教委），ＬＤ５位＝三田／寺見組（クラレ岡山）<br>ＭＸ２位＝石田／関組（県教委／東京） |
| 19 | S,51 | ＭＸ３位＝石田／関組（県教委／東京） |
| 21 | S,53 | ＭＸ３位＝石田／関組（アサヒブレッド／東京） |
| 22 | S,54 | ＬＤ５位＝石田／小寺組（アサヒブレッド／松本組） |
| 25 | S,57 | ＬＳ３位＝河本小織，ＬＤ５位＝河本／高田組（各松本組）<br>ＭＸ２位＝山本／高田組（三井造船／松本組） |
| 26 | S,58 | ＬＳ５位＝河本小織，ＬＤ５位＝河本／高田組（各松本組）<br>ＭＸ３位＝山本／高田組（三井造船／松本組） |

| | | |
|---|---|---|
| 27 | S,59 | ＭＳ５位＝若林邦任（三井造船），ＭＤ５位＝藤原／平田組（川崎製鉄）<br>ＬＳ５位＝原田美智子，ＬＤ２位＝河本／高田組（各松本組） |
| 28 | S,60 | ＬＤ５位＝河本／高田組（松本組），ＭＸ５位＝山本／高田組（三井造船／松本組） |

**⑤全日本～全日本総合選手権大会の入賞記録**　＜優勝～５位（ベスト８），平成９年度現在＞

| 回 | 年度 | 種　目　・　戦　績　・　選　手　（　所　属　） |
|---|---|---|
| 7 | S,29 | ＭＸ５位＝重実／友野組（山陽女高教／山陽女高）<br>ＭＸ５位＝前田／大森組（徳山電気／山陽女高） |
| 8 | S,30 | ＬＳ５位＝大森嘉美（山陽女高ＯＧ） |
| 9 | S,31 | ＬＳ優勝＝権田節子，ＬＳ５位＝光本政子（各岡山市役所），ＬＤ２位＝権田／友野組（岡山市役所／山陽女高ＯＧ），ＭＸ３位＝毛利／光本組（山陽学園教／岡山市役所） |
| 10 | S,32 | ＭＸ優勝＝石原／戸田組（岡山市役所／山陽女高ＯＧ），ＭＸ３位＝毛利／小林組（山陽学園教／岡山市役所），ＭＸ５位＝前田／光本組（徳山電気／岡山市役所） |
| 13 | S,35 | ＭＸ２位＝毛利／根岸組（山陽学園教／岡山市役所）<br>ＭＸ３位＝小松／湯浅組（各岡山市役所） |
| 昭和35 | | ＬＤ３位＝根岸／湯浅組（各岡山市役所）<br>ＭＸ優勝＝毛利／根岸組（山陽学園教／岡山市役所） |
| 昭和36 | | ＭＸ２位＝毛利／根岸組（山陽学園教／岡山市役所） |
| 昭和51 | | ＭＸ５位＝石田／関組（県教委／東京） |
| 昭和56 | | ＬＳ５位＝近藤小織，ＬＤ３位＝近藤／高田組（各松本組） |
| 昭和57 | | ＬＳ５位＝河本小織，ＬＤ２位＝河本／高田組（各松本組）<br>ＭＸ５位＝山本／高田組（三井造船／松本組） |
| 昭和58 | | ＬＳ２位＝河本小織（ＲＨ・コングッド） |

＊昭和35年度には従来の全日本選手権と新規の全日本総合選手権の２大会が実施された。

**⑷まとめ**

中国大会での一般単複・混合複の優勝は⑶資料①～②の通りであり，岡山県の活躍がめざましい。

全国大会の入賞記録は資料③～⑤の通りであるが，昭和30年頃から同60年頃までは各種大会で善戦健闘し，優勝，準優勝につづいて多数の上位入賞を果たしている。

なお，各大会の誕生と発展経過は，第Ｉ章「県協会の歩み」と「競技部会の歩み」の項を，戦績の詳細は第Ｖ章「大会別・年次別戦績一覧」の項をそれぞれ参照願いたい。

◇付記：昭和50年度の岡山県実業団連盟設立から，昭和62年度までの役員就任と役員交替年度等については，関係記録の保存がないので不明確な点が多い。これらについては，各種大会プログラムの役員組織表，日本実業団連盟35年史の歴代役員年表，日本実業団連盟と中国地区実業団連盟等からの受賞年度（役員功労賞，選手功労賞＝10回出場）等から算出，勘案して記述した。

**1998（平成10）年２月　文責　県協会第４代理事長　毛利　清志**

**同　　県実連第３代理事長　藤原　　航**

## (６)教職員連盟

### １．連盟創設まで

#### ⑴日本教職員連盟の創設

1956（昭和31）年頃より，「全国の教職員が一体となり，日頃の研究や体験を持ち寄って，研修の場をつくろう」との声が東京，大阪等にあった。特に，東京都教職員連盟のメンバーは，夏休みを利用して主な道府県に足を運び，練習試合で親睦を深めながら，全国規模での教職員連盟設立運動を展開して廻った。岡山県では，1957（昭和32）年８月に山陽学園で一行を迎え，県内の有志５名（毛利清志，西崎正明，太田喜代志，渡辺弘美，藤沢更司の各氏）が，ラケットを交えながら応対した。

一方，日本協会の総会においても，国体に教員男子の種別を新たに設けることが議題に上り，日本体育協会の認可も得られて，1959（昭和34）年の，第14回東京国体からスタートした。このようなムードの中で，1961（昭和36）年，日本協会の森友徳兵衛新理事長の積極的な労により，その年の９月30日，日本教職員バドミントン連盟（略称，ＪＥＦ＝以下ＪＥＦと記述＝）が誕生し，同年10月７日の日本協会臨時総会において正式に承認された。この間，当時の岡山県協会毛利清志理事長も，全国各地の有志数名と共に発起人に推され，ＪＥＦの設立に参画した。

翌1962（昭和37）年度，関係者待望の第１回全日本教職員バドミントン選手権大会が東京で開催され，大会後，ＪＥＦのもう一つの目的である，第１回全国学校体育指導者研修会も開催された。その節，ＪＥＦの二大事業として，前記選手権大会と指導者研修会を，毎年開催することを決定した。

#### ⑵初期の活躍

岡山県に教職員連盟が創設される以前にも，本県代表選手は，文末の「全日本教職員選手権大会栄光の跡」のように，すばらしい戦績を残している。また，大会に引き続いての指導者研修会にも，毛利理事長を中心に毎年のように参加してきた。

#### ⑶国体での主な活躍

1958（昭和33）年まで，心・技・体に優れた教職員男子は，一般男子の選手として国体で頑張ってきた。本県の毛利清志選手も，1953（昭和28）年の第８回香川大会から連続６回出場し，第11回兵庫大会では３位，第12回静岡大会では５位を獲得して，天皇杯総合優勝や同６位入賞に貢献した。

また，ＪＥＦ設立３年前の1959（昭和34）年から，教員男子の種別が国体に仲間入りした。岡山県代表チームは中国地区予選で優勝し，毎年のように本国体で大活躍してきた。1967（昭和42）年の名義上の県教職員連盟創設，1971（昭和46）年の同連盟組織の確立等を含めて，国体教職員男子の種別が廃止されるまでの主な活躍の跡は，文末の一覧表（国体５位以上の入賞）の通りである。

### ２．県教職員連盟の創設から現在まで

#### ⑴創設の経緯

前述のようにＪＥＦの設立や，岡山県教職員の全国大会での活躍を背景に，当時の県協会毛利理事長を始め，全国大会に参加活躍したメンバーが中心となって，岡山県教職員バドミントン連盟の創設

を求める声を挙げ，1967（昭和42）年度の県協会定期総会に於いて提案・承認された。しかし，ＪＥＦへの届け出に止まり，組織としての機能を果たすほどの連盟にまでは至らなかった。

### ⑵第１回岡山県教職員選手権大会の開催

岡山県教職員連盟の創設に伴い，県内に広くバドミントンを普及させることを目的として，岡山県教職員選手権大会を開催することとなり，1968（昭和43）年11月23日に，山陽学園の体育館で記念すべき第１回大会が開催された。試合はＢ級・Ｃ級に分けられ，それぞれシングルスとダブルスの４種目で行われた。この頃国体では，教員男子の種別が引き続いて実施されており，県代表として出場した選手をＡ級とし，当日Ａ級の試合は行わず，関係選手は大会運営に携わった。

第１回大会には，Ｂ級シングルスに21名，Ｂ級ダブルスに10組，Ｃ級シングルスに48名，Ｃ級ダブルスに24組の申込みがあり，関係者を驚かせた。しかし当日，全108試合の内39試合が棄権となった。その様子を同年度の定期総会において，次のように報告している。「底辺拡大を目的として，本県初めての教職員大会を開催したところ，申込みが予想外に多くて関係者を喜ばせた。しかし，農繁期ということで，大会当日になって，多数の棄権者が出たことは多少残念であった。試合ではズブの素人が汗を流しながら，変速打法などによる力一杯のプレーぶりで終日館内を沸かした。次年度は若干の参加料を頂いて，運営をスムーズにしたいと思っている。教職員連盟の組織を確立するには，登録の問題がからんでむずかしいので，良案を模索中である…。」

### ⑶岡山県教職員連盟の組織確立

名目上の連盟が設立され，県内大会も徐々に発展していくなかで，1971（昭和46）年度の第10回全日本教職員選手権（ＪＥＦ創立10周年記念）大会を，岡山県で開催することが決定された。同年２月20日の県協会常務理事会に於いて，毛利理事長から連盟組織確立化の提案があり，柳本堯敏理事が，会長以下の役員組織等を立案し，同定期総会に提案して承認されるに至った。

このようにして，川上亀義初代会長（山陽学園理事長），柳本堯敏初代理事長を始め，その他のスタッフも専任されて，漸く連盟としての組織が確立されたのである。（次ページの表参照）

**岡山県教職員連盟歴代会長・理事長**

| 役職名 | 代 | 氏　名 | 期　　間 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 会　長 | 初代 | 川上　亀義 | 昭和46年４月～平成３年３月 | 平成８年７月没 |
| | ２代 | 西崎　正明 | 平成３年４月～平成８年７月 | |
| | ３代 | 柳本　堯敏 | 平成10年４月～現　　在 | |
| 理事長 | 初代 | 柳本　堯敏 | 昭和46年４月～昭和51年３月 | |
| | ２代 | 岡本　次郎 | 昭和51年４月～平成４年３月 | |
| | ３代 | 平島　秀典 | 平成４年４月～現　　在 | |

### ⑷県教職員選手権大会の経緯

第１回県大会以後も，競技の普及と指導者の交流を目的として，国体参加者を除く，Ｂ級・Ｃ級を中心とした年１回の県大会を近年まで開催してきた。しかし，1980（昭和55）年から，国体教員男子の部が廃止されたり，バドミントンを愛好する教職員の量や質の変動などもあって，県大会の種目が増減したり，試合形式が変わったりすることを余儀なくされてきた。

初期の頃は，学生時代の経験者や，その知人たちによって募られた，素人の教職員大会というイメージではあったが，職場での愛好者が練習を重ねて出場するケースが増えてきた。例えば，川上元会長の勤務先が，川崎学園となった後の同学園選手の活躍。また，岡山大学教職員の，初心者の集まりからスタートした選手たちの活躍などである。しかし，学生時代に経験のある教職員の数が年々減少し，県大会においても参加者全体を，シングルスとダブルスの２種目のみにまとめねばならない程の低迷期があったり，経験者と未経験者に区分した種目を設けたり，時の流れを反映させながらの紆余曲折を経てきた。一方，全日本教職員選手権大会においても，1977（昭和52）年頃より，３位以上の入賞者名簿に岡山県選手の名前が載らない低迷期を迎えるに至った。

県教職員連盟は，初期の目標である“バドミントン競技の普及”という振出しに戻ることになり，1993（平成５）年度より県大会を年間３回実施することとした。従来，11月～12月に行ってきた年１回の大会を冬季大会とし，冬季大会同様の春季大会（個人戦）をスタートさせた。さらに，同じ職場を原則とした，３ダブルスによる団体戦（学校対抗）の実施にも踏み切った。団体戦では，幅広くバドミントンを楽しめるように，女性を含むチームも歓迎し，女性にはハンディキャップを与えるようにしている。春と冬の個人戦でも同様の趣旨で，経験者と未経験者に分けたり，年代別に分けたりするなど，種目設定を工夫しての大会運営に取り組んでいる。

### ⑸中国地区教職員連盟設立と同選手権大会

ＪＥＦ創設以来，関東や近畿などの各地区にも連盟が設立されてきた。中国地区においても，中国地区バドミントン協会傘下の中国地区教職員連盟が設立され，競技の研修と技能の向上を目指して，1991（平成３）年12月，米子市において，第１回中国地区教職員選手権大会が開催された。以来同大会は，他の連盟のように各県の輪番制で運営されており，当連盟も選手を派遣したり，1995（平成７）年度の第５回大会を主管したりするなど，その役割の一端を担っている。

なお，同選手権大会では，他の４県に圧倒される年が多く，特に，県対抗の団体戦＜男子各年齢層に女子を含めての総合力による＞では一度も優勝がない。しかし個人戦では，下表のように通算５回の優勝を果たしている。

**中国地区教職員選手権大会優勝の跡**

| 回 | 年度 | 開催県 | 種　目　＝　選　手　名 |
|---|---|---|---|
| 1 | H.3 | 鳥　取 | 30歳男子複＝中須賀祥雅／多田一也組 |
| 2 | H.4 | 島　根 | 一般女子複＝岡本裕子／田辺央子組　30歳男子複＝中須賀／多田組（２連勝） |
| 7 | H.9 | 島　根 | 一般女子複＝鐘築順子／長門弘美組　30歳女子単＝山田千津子 |

## ３．全国大会の主な戦績

**⑴国体，教員男子入賞の跡**（準優勝～５位＜ベスト８＞以上）

| 回 | 開催県 | 成績 | 回 | 開催県 | 成績 | 回 | 開催県 | 成績 | 回 | 開催県 | 成績 | 回 | 開催県 | 成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 東京 | ５位 | 15 | 熊本 | ５位 | 17 | 岡山 | ５位 | 18 | 山口 | ４位 | 19 | 新潟 | ５位 |
| 20 | 岐阜 | ３位 | 21 | 大分 | ３位 | 22 | 埼玉 | ５位 | 23 | 福井 | ３位 | 24 | 長崎 | ２位 |
| 25 | 岩手 | ４位 | 26 | 和歌山 | ５位 | 28 | 千葉 | ５位 | 30 | 三重 | ５位 | 31 | 佐賀 | ５位 |
| 32 | 青森 | ５位 | （チーム編成は，第Ⅰ章「県協会の歩み＝国体バドミントン競技」の項参照） | | | | | | | | | | | |

**⑵国体，連盟関係の監督・選手別参加数と入賞数**（初参加の年代順～年齢順）

| 区分 | 氏　名 | 参加 | 入賞 | 氏　名 | 参加 | 入賞 | 氏　名 | 参加 | 入賞 | 氏　名 | 参加 | 入賞 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 監督 | 山上　周之 | 3 | 2 | 渡辺　弘美 | 8 | 8 | 高田　浩二 | 2 | 2 | 加藤　孝明 | 2 | 1 |
| | 柳本　堯敏 | 4 | 2 | | | | | | | | | |
| 選手 | ☆毛利清志 | 14 | 12 | 西崎　正明 | 6 | 5 | 藤沢　更司 | 4 | 3 | 高田　浩二 | 2 | 2 |
| | ☆三宅　勝 | 17 | 11 | ☆柳本堯敏 | 10 | 7 | 岡本　次郎 | 7 | 4 | 小田　和文 | 5 | 3 |
| | 石田　雅子 | 5 | 4 | 林　寿美子 | 3 | 2 | | | | | | |

注，①表⑴＝男子の参加数・入賞数は，教員男子の種別関係が中心であり，一部，成年男子教員の部が含まれている。

②表⑵＝☆印の選手は，10回以上出場し，日本体育協会・日本バドミントン協会より受賞した選手である。

教員男子の単独種別は1959（昭和34）年度にスタートし，1975（昭和50）年度より成年男子教員の部となった。1980（昭和55）年度から，成年男子に教員１名以上を含めての種別編成に変わり，1982（昭和57）年度より完全に廃止となった。

女子選手は，成年女子チームの代表に選ばれて，入賞の原動力になる活躍をしてきた。

**⑶全日本教職員選手権大会**＜優勝～５位（ベスト８），年齢別は４位まで＞

| 回 | 年度 | 開催地 | 種　目　・　戦　績　＝　選　手 |
|---|---|---|---|
| 1 | S.37 | 東　京 | MS３位＝毛利清志，MS４位＝西崎正明，MD３位＝毛利／西崎組<br>MD５位＝藤沢／渡辺組 |
| 2 | S.38 | 群　馬 | 30MS優勝＝毛利清志，30MD優勝＝毛利／山上組，40MS２位＝山上周之 |
| 3 | S.39 | 三　重 | 30MS優勝＝毛利清志，30MD優勝＝毛利／山上組<br>40MD優勝＝山上／伊藤（熊本）組 |
| 4 | S.40 | 大　分 | MT優勝＝岡山県，MS３位＝三宅勝，30MS３位＝毛利清志<br>30MD３位＝毛利／西崎組 |
| 5 | S.41 | 北海道 | MT優勝＝岡山県，MS３位＝三宅勝，MD５位＝三宅／柳本組<br>30MS２位＝毛利清志，30MS４位＝西崎正明，30MD２位＝毛利／西崎組<br>40MS２位＝山上周之，40MD２位＝山上／金尾組 |
| 6 | S.42 | 富　山 | MT２位＝岡山県，MS５位＝三宅勝，MD３位＝三宅／柳本組<br>30MD２位＝毛利／西崎組，40MS優勝＝毛利清志，40MS４位＝山上周之<br>40MD優勝＝山上／伊藤（熊本）組 |
| 7 | S.43 | 大　阪 | MT２位＝岡山県，OBT優勝＝岡山県<br>40MS優勝＝毛利清志，40MD優勝＝毛利／山上組 |
| 8 | S.44 | 埼　玉 | MT４位＝岡山県，OBT優勝＝岡山県，MD２位＝三宅／柳本組<br>40MS優勝＝毛利清志，40MS４位＝山上周之，40MD＝毛利／山上組 |
| 9 | S.45 | 岐　阜 | MS３位＝三宅勝，MD優勝＝三宅／柳本組，40MS２位＝毛利清志<br>40MS３位＝山上周之，40MD優勝＝毛利／山上組 |
| 10 | S.46 | 岡　山 | OBT優勝＝岡山県，MD３位＝三宅／柳本組<br>40MS優勝＝毛利清志，40MS３位＝山上周之，40MD優勝＝毛利／山上組 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11 | S.47 | 秋　田 | MT５位＝岡山県，OBT優勝＝岡山県，MS5位＝三宅勝，30MS3位＝小松貴<br>30MD優勝＝小松／藤井組，40MD２位＝山上／西崎組 |
| 12 | S.48 | 滋　賀 | OBT優勝＝岡山県，40MS２位＝毛利清志，40MS３位＝西崎正明<br>40MD優勝＝毛利／山上組 |
| 13 | S.49 | 熊　本 | 40MS２位＝毛利清志，40MS３位＝山上周之，40MD優勝＝毛利／山上組 |
| 14 | S.50 | 栃　木 | LT３位＝岡山県，LS２位＝石田雅子，LD５位＝石田／阿部組<br>40MS２位＝毛利清志，40MD２位＝毛利／山上組 |
| 15 | S.51 | 東　京 | LT優勝＝岡山県，LS優勝＝石田雅子，LD優勝＝石田／林組<br>MX２位＝三宅／石田組，MX３位＝小田／林組<br>40MS２位＝毛利清志，40MD優勝＝毛利／西崎組 |
| 16 | S.52 | 山　口 | 40MD３位＝毛利／西崎組 |
| 25 | S.61 | 広　島 | MX３位＝福田／山崎組 |
| 31 | H.4 | 熊　本 | 60MS３位＝西崎正明 |
| 32 | H.5 | 神奈川 | 60MS３位＝西崎正明，60MD３位＝西崎／米田（鳥取）組 |
| 33 | H.6 | 石　川 | 60MS３位＝西崎正明，60MD３位＝毛利／西崎組 |

＊通算優勝数30（一般男子団体２，個人１　一般女子団体１，個人２　成壮年団体５，個人19）

**1997（平成９）年12月＜追記：平成10年３月＞文責　理事長　平島秀典**

### （７）家庭婦人部会から同連盟への歩み

#### １，部会の誕生

昭和50年代になってから，家庭婦人の大会が全国各地で盛んに行われるようになってきた。

そんなムードの中で岡山県でも積極的な取り組みが始まった。当時の県協会第５代の岡本武利理事長を始め，各役員の尽力によって，1981（昭和56）年度から関係者待望の「家庭婦人部会」が発足することになった。家庭婦人有志の中から，部会長に横田君子さん，副部会長に平田スミ子さんと内田絢子，事務局長に出原和枝さんが選出された。そして，役員数名と共に，県協会家庭婦人部会担当の高田浩二理事の指導を受けながら，大会運営等に携わることになったのである。

#### ２，部会の成長

スタートした頃は県協会の助言や援助を頼りながらの部会運営であったが，年月の経過と共に徐々に役員の手際もよくなり，会員の協力も次第にスムースになってきた。部会創設２年目を迎えた1983（昭和58）年度の第２期役員の頃から，役員を始め，各会員の自覚もさらに高まり，大会運営はもとより，会計，その他従来から県協会に依存していた業務の殆ど全てを家庭婦人自らの手によってこなせるように成長し，名実共に「家庭婦人部会」が確立されて10数年が経過した。

平成６年度の県協会総会では，家庭婦人部会から『家庭婦人連盟』への昇格が本格化するなど，県協会傘下の他の各種連盟と肩を並べて独り立ちできるまでに成長した。

#### ３，大会の発展

### ⑴県大会

1981（昭和56）年の発足当時は，春季大会（個人戦＝平成３年度より㈱ゴーセンと共催）と，秋季大会（団体戦）の年間２回の開催であったが，1986（昭和61）年からは，ＯＨＫ杯争奪大会が増えて，年間３回を開催するようになり今日に至っている。

この間に活躍した主なペアーとして，昭和50年代後半に良倉／金尾組（井原），横田／伊達組（岡山コスモス），松王／佐藤組（豊体協）等があり，昭和60年代になってからは，藤原／真鍋組（チェリッシュ）と，平田／赤沢組（ちろりん村）が，よきライバルとして度々優勝を争いながら，大いに大会を盛り上げた。平成に移る頃から，次第に若い世代の参加が増え始め，上位に勝ち進む顔ぶれにも変化が見られるようになってきた。しかし，中国大会で２度の優勝経験を誇る岡田／赤沢組（ちろりん村）や，同２位の平田／磯永組（永井ＢＣ）が，常に県内のトップ争いを繰り返すリーダー的存在であり，この２組に食い込み，優勝・準優勝の座を勝ち取るペアーはなかなか出現しなかった。

同じ頃，ＯＨＫ杯ダイヤモンド級（合計年齢90歳以上）では，内田（パープル）が６年間にわたって，金尾（井原）・大熊（ホワイトシャトルズ）・河田（荘内ク）らの各選手と組んで，優勝４回，２位１回，３位１回と頑張った戦績が残っている。

**＊県内大会の開催要項（平成６年～８年現在）**

○春季大会（ゴーセン杯）＝ダブルスのみの個人戦（参加数により試合内容を調整）

①初心者の部　②20歳以上の部　③30歳以上の部　④40歳以上の部　⑤45歳以上の部

⑥50歳以上の部　⑦クラブ対抗の部

○秋季大会＝クラブ対抗の団体戦（ダブルス３組のリーグ戦＝ヨネックス㈱後援）

①Ａ級　②Ｂ級　③Ｃ級　④Ｄ級　⑤Ｅ級

○ＯＨＫ杯＝ダブルスのみの個人戦（各級リーグ戦）

①Ａ級　②Ｂ級　③Ｃ級　④Ｄ級　⑤Ｅ級

### ⑵対外試合

#### ①中国大会

1986（昭和61）年の第３回広島大会に参加し，１部（30歳代）で藤原／真鍋組（チェリッシュ）が優勝，同出原／児島組（岡山コスモス）が３位入賞，さらに２部（40歳代）では内田／金尾組（パープル／井原）が３位入賞と，岡山県代表として中国地区大会初出場の３組が揃って上位入賞を果たした快挙は忘れることのできない思い出である。

その後，第４回大会で２連覇を遂げた藤原／真鍋組が，第５回大会では３位，第５回大会で１部優勝の平田／赤沢組（ちろりん村）も翌年の第６回大会は３位に止まった。しかし，赤沢選手のパートナーが岡田選手（ちろりん村）に替わってからの赤沢／岡田組は，第８回・第10回で優勝，第９回では３位に入賞している。同様に組み替えをした平田／磯永組（永井ＢＣ）も，第９回の３位から第10回には準優勝と，それぞれ素晴らしい成果を挙げてきた。

さらに，1994（平成６）年の第11回山口大会では，１部で松王／藤九組（豊体協／西大寺）が準優勝し，２部では小林／斎藤組（永井ＢＣ）が３位に入賞した。また，同大会のクラブ対抗に参加した永井ＢＣも，固いチームワークで３位入賞を遂げた。このような中国地区での目覚ましい活躍に刺激されて，選手たちのムードが高まり，中国大会への参加選手が年毎に増え続けていることは，県家庭婦人部会の活性化につながる意味で喜ばしい限りである。

**②西日本大会**

1986（昭和61）年の第13回大会に，当時県内で活躍していた藤原／真鍋組（チェリッシュ）が，２部Ａ（合計年齢70歳以下）に初出場で優勝という快挙に続き，３年後，1989（平成元）年の第16回大会で平田／赤沢組（ちろりん村）が優勝，1992（平成４）年の第19回大会で平田／磯永組（永井ＢＣ）が準優勝し，さらに翌年の第20回大会では，２部Ｂ（合計年齢71～80歳）で赤沢／岡田組（ちろりん村）が準優勝して，大阪・兵庫などの関西地区の強力なペアーに引けをとらない戦績を残しているのは立派といえる。

**③全国大会**

1984（昭和59）年，第２回大会（東京）の都道府県対抗に初出場し，予選リーグで３位に止まり，1988（昭和63）年，第６回大会（東京）では，惜しいところで予選１位を逃して２位に泣き，翌年の第７回大会（大阪）でも，予選リーグ３位に甘んじた。以上のように過去３回とも予選で敗退し，決勝トーナメントまで勝ち残ることができなかった。

全国大会では，会場独特の熱気と，ハイレベルの家庭婦人パワーに圧倒されて息をのむばかりであった。それにもまして，直接対戦した各都道府県選手たちのテクニックに感心し，勝ち残ったチームの日頃の練習ぶりなどを聞くにつけ，改めて本県選手の力不足と，全国大会の厳しさを思い知らされたものである。

全国大会（都道府県対抗＝団体戦）のチーム編成は，30歳代・40歳代・50歳代の３ペアーである。しかし，岡山県には50歳代の選手が少ないことや，各年代にわたって２泊３日の遠征のできる選手が揃いにくく，連続参加の実現を目指して働きかけてはいるものの，チーム編成がままならない現状に苦慮している。家庭婦人部としては，県内の各種大会毎に積極的な参加を呼びかけ，高年齢層の競技人口を増やす努力を続けていく一方，現在30歳代，40歳代で頑張っている選手たちが，将来も細く長く競技生活を続けていって欲しいものと願ってやまない…。

**家庭婦人部会歴代役員**　（平成７年７月現在）

| 役職名 | 代 | 氏　名 | 就任年月～退任年月 | 就任期間 |
|---|---|---|---|---|
| 部会長 | 初代 | 横田　君子 | 昭和56年９月～昭和58年９月 | ２年間 |
| | ２代 | 内田　絢子 | 昭和58年10月～現　　在 | 12年目 |
| 副部会長 | 初代 | 平田スミ子 | 昭和56年９月～昭和60年３月 | ３年６ケ月間 |
| | | 内田　絢子 | 昭和56年９月～昭和58年９月 | ２年間 |
| | ２代 | 佐藤　民子 | 昭和58年10月～現　　在 | 12年目 |
| | | 平田　明美 | 昭和58年10月～現　　在 | 12年目 |
| 事務局長 | 初代 | 出原　和枝 | 昭和56年９月～平成元年３月 | ７年６ケ月間 |
| | ２代 | 佐藤　民子 | 平成元年４月～現　　在 | ６年３ケ月間 |

**1995（平成７）年７月　文責　家庭婦人部会長　内田絢子**

…追記…

**＊部会から連盟に**

岡山県バドミントン協会「家庭婦人部」は，前に述べているように，1981（昭和56）年度に発足して以来，組織的にも運営の上でも着実に伸展を続けてきた。

そして平成７年３月に開催された平成６年度の県協会総会において，部会から「家庭婦人連盟」に

昇格する方向となった。その後，県協会と家庭婦人部会の主な役員各位の手によって，連盟の規約・役員組織等の準備が着々と進められ，平成８年３月の県協会総会において，満場一致で関係者待望の「岡山県家庭婦人バドミントン連盟」の設立をみるに至った。折しも，平成８年度の第13回中国地区大会が，岡山県主管で開催される運びとなっており，絶好の時期における連盟の発足であった。

下記名簿の外に，常務理事７名と理事13名が選出され，理事長を筆頭とした連絡網を組織するなど，連盟発足に当たっての運営母体を固めてスタートすることができた。

**家庭婦人連盟の初代役員**（平成８・９年度）

| 役職名 | 氏　名 | 関　連　役　員 | 役職名 | 氏　名 | 関　連　役　員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 会　　長 | 毛利　清志 | 岡山県協会副会長 | 理 事 長 | 内田　絢子 | 岡山県協会常務理事 |
| 副 会 長 | 橋本千代子<br>重井　文博 | 岡山県協会参与 | 副理事長 | 佐藤　民子<br>平田　明美 | 岡山県協会理事 |
| | | | 事務局長 | 佐藤　民子 | （副理事長が兼務） |

1996（平成８）年６月の第13回中国地区家庭婦人年齢別競技会・第14回全日本家庭婦人クラブ対抗競技会中国地区予選会は，連盟化最初の大きな行事であったが，連盟役員・会員が一丸となって成功裡に終了した。この間の，県協会藤原航理事長他関係役員各位のご指導に厚く感謝の意を表し，この稿の結びとする。

**1996（平成８）年７月　文責　家庭婦人連盟理事長　内田絢子**

## 『いつまでもバドミントン』

**岡山県協会理事　同家庭婦人部会事務局長　佐藤民子**

＜ＯＨＫスポーツ振興財団「スポーツウォッチング」平成３年１月　№８より＞

私とバドミントンとの出会いは高校入学時の入部勧誘のときでした。楽しい羽根つきクラブだろうと，甘く考えて入部したのが大きな誤算でした。体力・精神力ともに要求されるハードなスポーツだったのです。山道のランニング，うさぎ跳びなど，汗と涙の体力づくりでへとへとになり，どうしてこんな過酷なスポーツを…と思いながらも，午後の授業中に部活動が待ち遠しく思われたのは，やはり同じ目的をもったチームメイトがいたことと，努力すればそれなりの結果が出たことにあると思います。そして不器用な自分は，〝練習の虫になることしかない〟と，自分に言い聞かせて頑張ったものです。

当時，卒業生の先輩が指導に足を運んでくださり，しごかれることは苦痛でしたが，今にして思えばあの頃が華だったのでしょう。現在でも，毎年正月には「羽根魅会（はねみかい）」と称して，同じ釜のご飯を食べ，バドミントンを愛し，励まし合った者たちが，昔のように？…ラケットを振り，思い出話に花を咲かせ，親交を深めているのです。

三人の娘たちも健康に恵まれ，幼い頃からラケットをおもちゃ代わりに成長し，何の抵抗もなくバドミントンの道で青春しているのが今のわが家のようすです。苦しくても目標に向かって努力すれば，必ず〝ああ良かった〟と思えるときがくることを確信して精進するよう話しております。そして，友情を大切にし，お金では求められないものをしっかり身につけて，親よりも心も身体も大きくなって…と願っております。またわが家では，主人もスポーツに携わっており，家族で共通の話題があることは幸せなことだとしみじみ思っています。

身体が思うように動かず，年齢を感じる昨今ですが，無理をせず，地域のバドミントンの振興に役立つことができれば幸せだと考えています。

○付記

佐藤事務局長は，西大寺高校３年生時代の昭和41年度，第21回大分国体に参加し，湯木博江，浦口恵子（共に山陽女子高３年生）とのトリオで，高校女子の３位に入賞した。

同大会では，教員男子も３位，高校男子は４位と３種別が大健闘し，天皇杯総合３位，皇后杯総合も５位と，両杯入賞の快挙となった。

愛娘の三姉妹は，西大寺中～山陽女子高～山陽学園短大と同じ学舎で過ごし，バドミントン界に於いても県大会，中国大会の優勝を始め，全国大会にも県代表として参加活躍している。

＊羽根魅会（はねみかい）＝西大寺高校バドミントン部同窓会

1995（平成７）年５月　編纂委員会記

## （８）小学生部会

### １，小学生大会の誕生と変遷・発展

1983（昭和58）年に「第１回岡山県小学生大会」が県協会の主催で開催された。これを皮切りに県大会は引き続いて実施され，年毎に参加者も増えて内容も充実しながら現在に至っている。

第１回大会から，1988（昭和63）年あたりまでの参加選手の所属チームを拾いだしてみると二万スポーツ少年団（吉備郡真備町），永井バドミントンクラブ（倉敷市），新倉ＢＣ（倉敷市），太伯小（岡山市），牧石小（岡山市），白石小（笠岡市白石島），等が主な出場チームであった。一方，この当時は大会役員も小学校がわずか数名で準備と運営に当たるという状態であった。

1992（平成４）年には，従来からの県大会に並行して，新たに「岡山県小学生交流大会」が開催されることとなり，その第１回が実施された。交流大会の部は，小学校のクラブ活動の時間にバドミントンを練習している小学生を対象とし，この大会に参加することにより，競技に対する関心を深め，基礎的な技術力の養成体得および，他校児童との交流をねらいとしたものであるが，着々とその成果を上げてきている。

また，1984（昭和59）年度より毎年３月下旬に「中国小学生大会」が開催されることになり，それに伴う県代表選手選考会（県予選）を，毎年１月下旬～３月上旬に実施してきている。

さらに，1993（平成５）年度より「岡山県小学生秋季大会」が新設され，11月に開催される運びとなった。なお，前記の県交流大会は，年間３回の各県大会毎に並行実施される形で現在に至っている。

以上のような経過をたどり，1997（平成９）年度現在では下記のとおり，年間３回の県大会が実施されるまでに充実発展してきたのである。

⑴第15回岡山県小学生春季大会・第11回岡山県小学生交流大会……７月

⑵第５回岡山県小学生秋季大会・第12回岡山県小学生交流大会……11月

⑶第14回中国小学生大会岡山県予選会・第13回岡山県小学生交流大会……１～３月

参加者は年ごとに増えてきたが，数年前から各大会とも約200名の横ばい状態が続いている。

## 2，小学生部会の創設と成長

「小学生部会」が正式に発足したのは，1992（平成４）年の５月30日であった。それまでも，県内の小学生大会が実施されてきたことは前述の通りであるが，運営に当たったのは一部の小学校教員のみであり，独立した部会としての組織的な活動はなされていなかった。しかし，この年の３月，中国５県による「第３回中国大会」が，岡山市において開催されることを契機として，本格的な組織作りに着手し，下表のように部会の役員も選出されて，関係者念願の〝小学生部会〟を発足することができた。そして，現在では定期的に役員会を開催し，部会としての運営方針について協議したり，県内外の小学生大会の準備運営に携わったりなど，成長の一途をたどっている。

**小学生部会役員**（創設～平成８年度，＊印は平成９年度委嘱の新役員）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 部 会 長 | 中島英喜 | 副部会長 | 松本哲也 |
| 常任委員 | 荻野克己・片岡　光・田中　紫・谷口美智子・林　英俊・平島秀典・松尾淳一 | | |
| 委　　員 | 河村友紀子・坂根清貴・竹島理雄・平岡陽子・深井千枝子・丸橋弘子・三宅淳子 | | |
| 監　　査 | 黒田紀子・岸本高樹 | ＊委員＝岸本高樹・尾崎義隆，監査＝森　　紫 | |

## 3，県大会，中国大会における主な活躍

近年，永井ＢＣ，太伯ＢＣ，二万ＢＣ，豊体協等に所属する選手の活躍ぶりにはめざましいものがある。毎年３月開催の中国大会に県代表として出場し，晴れの優勝を果たしたチャンピオンを挙げて，その一端を紹介すると次の通りである。

**中国小学生大会　岡山県代表優勝者**（第６回～第14回）

| 回 | 年度･開催県 | 記号説明＜BS：男子単　BD：男子複　GS：女子単　GD：女子複，＝所属＞ | |
|---|---|---|---|
| 6 | H元・広島 | GD：岡本小夜子／岡真由美＝永井 | |
| 7 | H２・鳥取 | BS：富田章祐＝永井　BD：長間浩司／田辺靖博＝永井　GS：田井優希＝永井 | |
| 8 | H３・岡山 | BS：柴田匡史＝太伯　GS：山本泰子＝永井　GD：千原聡子／横辺沙矢香＝永井 | |
| 9 | H４・山口 | BS：橋村竜彦＝永井　GS：井山美里＝豊体協　GD：谷口智子／谷口貴美＝太伯 | |
| 10 | H５・島根 | BS：平田雄己＝永井　GS：守屋仁美＝永井 | |
| 11 | H６・広島 | BS：佐伯浩一＝永井　BD：金子久倫／稲田耕治＝永井　GS：黒田静香＝永井 | |
| 12 | H７・鳥取 | BS：佐伯浩一＝永井　BD：田淵獎／妹尾勇作＝永井　GS：三木彩恵子＝豊体協 | |
| 13 | H８・岡山 | GS：大仲真生美＝永井　GD：岡野あゆみ／岡本望良＝永井 | |
| 14 | H９・山口 | BS：松本裕平＝永井　GD：黒田香織／藤原三恵＝永井 | 優勝合計22 |

＊岡山県は第１回大会より参加（第２回大会のみ不参加），第６回大会で初優勝を果たした。

**1997（平成９）年３月＜追記：平成10年３月＞文責　小学生部会長　中島英喜**

# 「小学生のバドミントン」

**岡山県バドミントン協会　小学生部会長　中島　英喜**

＜㈶ＯＨＫスポーツ振興財団「スポーツ・ウォッチング」（平成２年度）No.７より＞

1991（平成３）年１月記

バドミントンは，子供でも，大人でも，また男女をとわず，自分の体力に応じて楽しめるスポーツです。

私の勤務している学校でも，毎年様々なスポーツの大会が催されます。とりわけ，バドミントン大

会への参加者は年毎に増加し，今や最も盛んな競技として定着しつつあります。

また，バドミントンは，筋力・瞬発力・敏捷性・持久性など，体力機能の総てがベストの状態になることを要求されるので，楽しさと同時に，体力養成とその維持の点においても，生涯スポーツとしてもふさわしいものと思われます。

私たちは，“バドミントンの魅力を，より多くの小学生に体験させてやりたい，そして，小学生の時期に培った基礎体力と技能を，さらに中学から高校へと飛躍させてほしい”との願いから，毎年２回（７月と２月），県内小学生バドミントン大会を開催しています。毎回約200名の選手が集い，男女各種目ごとに練習の成果を競い合っております。

近年は学校のクラブ活動に加えて，スポーツ少年団やスポーツクラブからの参加が目立つようになり，小学生としては，かなりハイレベルな内容の試合も展開されるようになってきて，われわれ関係者をよろこばせてくれています。

次回のバルセロナオリンピックでは，バドミントン競技が正式種目として加わることになったので，バドミントンの魅力に引かれて，ラケットを手にする小学生がますます増えていくことをねがって止まない次第であります。

## (９)県リーグ

### １，県リーグの誕生から現在まで

#### (1)誕生までの経緯

県協会主催による，従来から行われていた恒例の大会は，春季大会，国体予選会，社会人大会，秋季大会，総合選抜大会，新人大会の６回であり，いずれも個人戦である。県大会の中で唯一の団体戦としては，県実業団連盟主催の実業団大会があるが，参加の対象は実業団連盟加盟チーム（選手）のみに限られている。

ところが，県内各地には，実業団連盟加盟チームの選手以外にも，職場や地域の愛好者が中心になって結成されたクラブ的なチームが相当数存在している。一方，このようなチーム以外にも，一匹狼で頑張っている選手の存在もある。これらのクラブや選手から，かなりの年月にわたって「自分たちも団体戦に出場して，個人戦では味わえないムードで頑張りたい」という声があがっていた。この声に応えることは，県内バドミントンの普及発展と競技力の向上にもつながることなので，県協会の競技委員会が中心となって検討を重ねてきた。そして，1993（平成５）年から〝県リーグ〟として新たに大会を設けて開催することに決まった。

#### (2)主な開催規定

基本的な開催規定として，出場チームの参加資格は，①練習母体が同一である事業所，②クラブチーム，③学生（高・中学生を含む）とした。そして，参加チームの戦力によって，１部～４部までの４グループ（原則として各部６チーム）に分けてリーグ戦を行い，２複１単による団体対抗戦で順位を決める。さらに，上部最下位のチームと下部１位のチームとで，次年度に所属する部（クラス）をかけての入替え戦を行い，上部を目指して固いチームワークで頑張るチャンスを与えることとした。

### ⑶リーグの開幕

第１回大会は1993（平成５）年９月５日，倉敷市玉島体育館に於いて，男子17チーム（１部＝６，２部＝６，３部＝５）。女子６チームの計23チームが参加して開幕した。その後は，各チーム毎の練習場を互いに提供し，日常の勤務や授業に支障を来たさない範囲で，11月28日までの間，県内各地で熱戦が展開された。その結果，男子１部では，実業団チームの三菱化成（現三菱化学）を中心とした化成クラブが，女子では，山陽女子高校を中心とした高校選抜Ａチームが，第１回大会の栄えある頂点にたった。この間，定期大会スケジュールの合間を利用し，休日・祝日フル回転で試合を消化したのである。

### ⑷現状

その後，1994（平成６）年の第２回大会，翌年の第３回大会と回を重ねるに伴い，男子においては参加チームも増えて，大会の規模も大きくなっている反面，女子においては，参加チーム数の確保に，いささか困難をきたすなどの問題も発生している。これらを解決し，初期の目的である県内バドミントン競技の普及発展と，レベルアップにつなげるための探求を迫られている。

## ２，参考資料

### ⑴参加チーム数の推移

| 回 | 年　度 | 種別 | 出　場　チ　ー　ム　数 | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1993（平成５）年 | 男子 | １部＝６ | ２部＝６ | ３部＝５ | | 23 |
| | | 女子 | １部＝６ | | | | |
| 2 | 1994（平成６）年 | 男子 | １部＝６ | ２部＝６ | ３部＝６ | | 29 |
| | | 女子 | １部＝５ | ２部＝６ | | | |
| 3 | 1995（平成７）年 | 男子 | １部＝６ | ２部＝６ | ３部＝６ | ４部＝６ | 33 |
| | | 女子 | １部＝４ | ２部＝５ | | | |
| 4 | 1996（平成８）年 | 男子 | １部＝６ | ２部＝６ | ３部＝４ | ４部＝９ | 36 |
| | | 女子 | １部＝５ | ２部＝６ | | | |
| 5 | 1997（平成９）年 | 男子 | １部＝６ | ２部＝６ | ３部＝６ | | 25 |
| | | 女子 | １部＝４ | ２部＝３ | | | |

### ⑵年度別優勝チーム

| 回 | 年度 | クラス | 優　勝　チ　ー　ム | 回 | 年度 | クラス | 優　勝　チ　ー　ム |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1993 H.5 | 男子１部 | 化　成　ク　ラ　ブ | 2 | 1994 H.6 | 男子１部 | 三　井　造　船 |
| | | 男子２部 | ち　ろ　り　ん　村　Ａ | | | 男子２部 | 松　下　電　器　岡　山 |
| | | 男子３部 | ち　ろ　り　ん　村　Ｂ | | | 男子３部 | 三　菱　自　工 |
| | | 女子１部 | 高　校　選　抜　Ａ | | | 女子１部 | まつもとコーポレーション |
| | | | | | | 女子２部 | 笠　岡　ク　ラ　ブ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3 | 1995<br>H.7 | 男子1部 | 三井造船 |
| | | 男子2部 | 川鉄マシナリー |
| | | 男子3部 | 笠岡クラブ |
| | | 男子4部 | 奥村BC（A） |
| | | 女子1部 | まつもとコーポレーション |
| | | 女子2部 | 永井BC |
| 4 | 1996<br>H.8 | 男子1部 | 川鉄マシナリー |
| | | 男子2部 | 笠岡クラブA |
| | | 男子3部 | 奥村BC（A） |
| | | 男子4部 | 笠岡クラブB |
| | | 女子1部 | まつもとコーポレーション |
| | | 女子2部 | クラレ岡山クラブ |
| 5 | 1997<br>H.9 | 男子1部 | 川鉄マシナリー |
| | | 男子2部 | 三菱自工A |
| | | 男子3部 | ちろりん村B |
| | | 女子1部 | 山陽女子高校 |
| | | 女子2部 | ぶるず |

1997（平成9）年12月　文責　県リーグ実行委員長　笠原　博文

## 2．各部会

### (1)総務・事務局

岡山県バドミントン協会創立50周年を迎えるに当たり，事務局を預かる担当者として，過去の記録や思い出をまとめ，将来への発展を期待し，記念誌を発刊できることは，意義深いことであり，この上ない慶びである。

当協会は，昭和23年12月11日，岡山市新大西寺町の岡山スポーツマン運動具店内に事務所を置き，設立された。同23年の暮れ，日本バドミントン体育会（現日本バドミントン協会）への，入会手続きを完了し，翌，昭和24年の新春早々，第１回県協会理事会が開催されている。以来，開拓・指導普及・競技力の向上等，先駆的有志の方々の献身的な努力によって，幾多の困難を乗り越えながら，今日の基礎が築かれたのである。

ここに，先輩各位の御苦労と御功績に対し，心からの敬意を表するものである。

**県協会事務所（住所）と事務担当者の変遷**

| 代 | 協会所在地 | 期間 | 担当者 | 役職名 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 岡山市新西大寺町<br>岡山スポーツマン運動具店内 | S.23/12.11～S.25/3 | 柳本　番祐 | 常務理事 |
| | 岡山市上之町<br>岡山スポーツマン運動具店内 | S.25/4～S.27/3 | 同　上 | 同　上 |
| 2 | 岡山市弓之町<br>岡山県立岡山工業高等学校内 | S.27/4～S.33/3 | 永井　正 | 理事長 |
| 3 | 岡山市門田屋敷2-2-16<br>山陽学園内 | S.33/4～S.53/3 | 毛利　清志<br>補佐，山上周之 | 同　上<br>常務理事 |
| 4 | 岡山市大供1-1-1<br>岡山市役所内 | S.53/4～S.63/3 | 岡本　武利 | 理事長 |
| 5 | 岡山市曽根131-1<br>吉原俊治気付 | S.63/4～現　在 | 吉原　俊治 | 副理事長<br>事務局長 |

県協会の事務所は，昭和23年の設立から現在まで，５回にわたって引き継がれているが，設立から当分の間，業務内容が確立されるまでの事務所業務は，全ての面において大変な苦労の連続であったと推察できる。また，その後の交替期においても同様の苦労があったことと思う。

昭和27年度の第２代目から62年度の代４代目までは，理事長兼事務局担当の一極集中型であり，全ての内容が容易に把握できる利点があった。しかし反面では，平素の本業の外に，理事長の業務と事務局の業務が二重・三重に加わり，大きな負担増になったことは想像に難くない。

近年は，ジュニアからシニアまで，小・中・高・大学生はもちろん，実業団・社会人・教職員・家庭婦人から一般初心者，その他，現在ではスポーツレクレーションとしても取り入れられており，バドミントン人口も飛躍的に増大して，着実に普及発展を続けている。同時に，各分野とも県内・中国に加えて全国大会が開催されるので，事務作業も増加の一途をたどっているのが現状である。

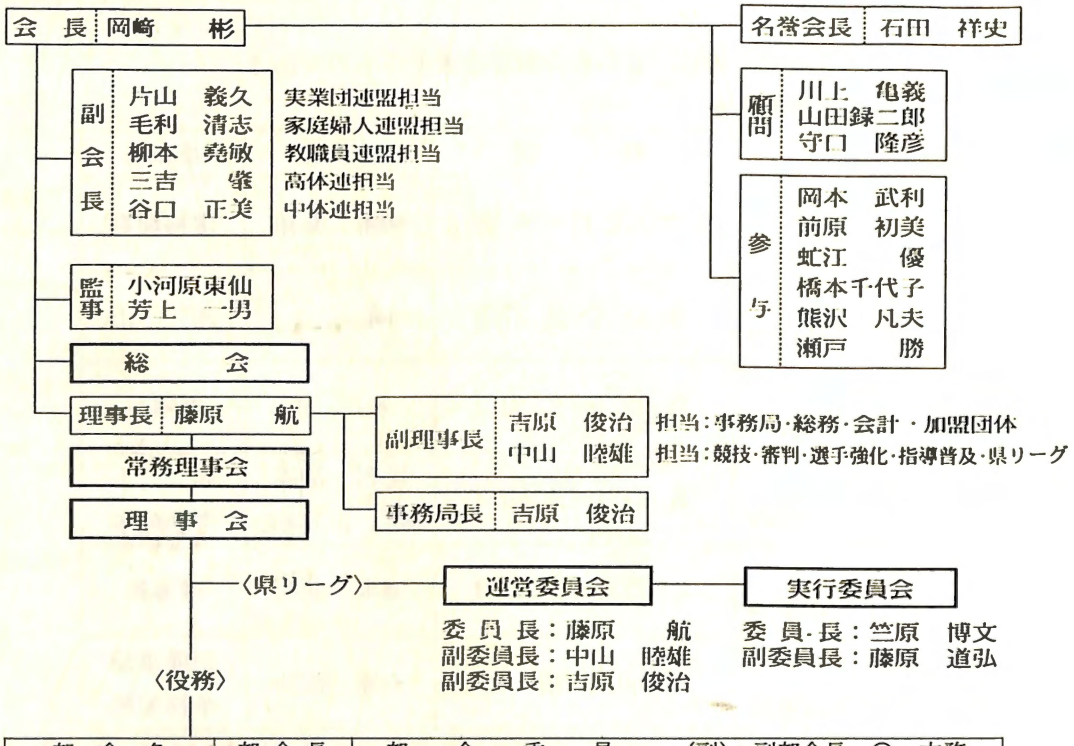
昭和63年度の役員改選に当たり，過去の問題点を改革するために，先ず，理事長補佐の副理事長２名を選任して３人での協力体制を敷き，事務作業の増加に対応して事務局も設置した。その他の組織

も確立して，作業を分担しながら協会運営を進めてきた。現在，事務局の仕事が徐々に軌道に乗りつつあるのは，理事長をはじめ，役員各位の御指導と御協力によるものと深く感謝している。

現在の県協会は役員組織の確立や，藤原理事長の指導力と，バイタリティー溢れる実行力を中心に，各役員の協力によって順調に発展しているように思う。県協会全ての運営が，より効率的に進められてさらに伸展するには，全役員一丸となってのより固い結束力が求められるが，それには，事務局作業のスムーズな運営を目指し，一層努力することが総務・事務局担当の責務と考えている。

終わりに，今日までの事務局業務について御支援頂いた，㈶日本バドミントン協会，県教育委員会，県体育協会等を始め，その他の関係諸団体に深く感謝し，合わせて今後の御指導，御支援をこいねがう次第である。　　1997（平成９）年３月　文責　副理事長・事務局長　吉原俊治

**平成10～11年度　岡山県バドミントン協会組織図**




| 部会名 | | 部会長 | 部会委員　（副）：副部会長　○：本務 |
|---|---|---|---|
| 役務区分 | 総務 | 朝霧 晴夫 | （副）石田賢一　○佐々木正邦　○人見 稔　○藤井久美<br>○松田範明　松本哲也　○藤井達雄　田中泰弘<br>〔事務局〕○藤井一男　○松岡純子<br>〔会　計〕○庄盛龍剛 |
| | 競技 | 柴田 憲 | （副）竺原博文　○田中泰弘　○野田修嗣　藤原道弘<br>若林秀夫　松本哲也　藤井久美　西崎文貴<br>佐藤忠裕 |
| | 審判 | 小田 和文 | （副）若林秀夫　○山本 清　○中須賀祥雅　藤原道弘 |
| | 選手強化 | 藤原 道弘 | （副）佐藤忠裕　○西崎文貴　柴田 憲　竺原博文<br>中須賀祥雅　藤井久美　野田修嗣 |
| | 指導普及 | 松本 哲也 | （副）畑 健二　○中島英喜　○平島秀典　中須賀祥雅<br>西 義治 |
| 加盟団体区分 | 一般・実業団 | 朝霧 晴夫 | （副）田中泰弘　藤井一男　佐々木正邦　山本 清 |
| | 学生 | 真木 宏之 | |
| | 高校生 | 石田 賢一 | （副）西崎文貴　柴田 憲　佐藤忠裕 |
| | 中学生 | 中須賀祥雅 | （副）畑 健二　小田和文　西 義治 |
| | 小学生 | 中島 英喜 | （副）松本哲也　平島秀典 |
| | 家庭婦人 | 内田 絢子 | （副）佐藤民子 |
| | 教職員 | 平島 秀典 | （副）松本哲也 |

## (２)競技部会

### １，部会制発足までの経緯

1947（昭和22）年の秋，本県で初めてシャトルコックの打ち合いがなされた。これを契機に，県内バドミントン競技の普及活動を推進すべく，1948（昭和23）年９月，県保健体育課より文部省を通じて，日本協会に講師派遣を依頼した。３回の講習会兼模範試合が西大寺・岡山・倉敷で開催され，普及活動の第一歩を踏み出した。その年の12月５日（日）に記念すべき第１回県大会が開催され，一般と高校の混成ではあったが，男女単複に熱戦を展開した。その６日後，12月11日に岡山県協会が設立された。翌年２月には第２回，５月には第３回大会と回を重ねて，６月には第１回クラブ対抗戦，７月には第１回高校対抗戦，９月には第４回国体予選会，12月には第１回県選手権大会が開催された。

県協会設立当初は，現在のような部会制による詳細な役割分担はなく，常務理事と理事の数名で，大会の運営等はもとより，選手強化，庶務，会計など，多くの業務を担当していた。昭和30年代の初期，1962（昭和37）年の第17回岡山国体や，国体前年のリハーサル大会（全日本実業団・同社会人）に備えて，県協会内部組織の拡充が図られた。その後，各種連盟の組織化とその拡充などによって，他の先進都道府県並に軌道に乗った。そして，各種の全国大会や中国大会を経験しながら，中国地区ではイニシアチブをとるまでの組織に成長したのである。

1988（昭和63）年より，総務，競技，審判，選手強化，指導普及等の部会制を敷き，各専門分野での活動が，より組織的に，活発に展開されながら現在に至っている。

現在競技部では，従来から実施されていた県春季大会，国体県予選会，県総合選手権大会，県秋季大会，県総合選抜選手権大会，県新人大会等に加えて，1993（平成５）年にスタートした県リーグを含め，中国大会，時には全国大会等の準備運営にも当たっている。

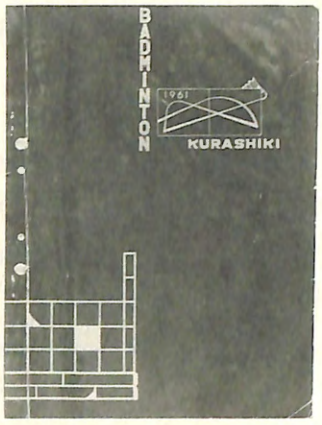
### ２，岡山県で開催された，対外的な大会と主な経緯

**⑴全国大会・国際大会**（開催年代順，平成９年度現在）

| 開　催　年 | 大　会　名 | 会　　場 |
|---|---|---|
| '61（昭和36） | 第11回全日本実業団選手権大会<br>第４回全日本社会人選手権大会 | 倉敷商業高校体育館<br>倉敷青陵高校体育館 |
| '62（昭和37） | 第17回国民体育大会 | 倉敷青陵高校体育館 |
| '66（昭和41） | 第15回全日本学生東西対抗競技大会 | 岡山大学体育館 |
| '71（昭和46） | 第10回全日本教職員選手権大会 | 岡山県体育館･岡山武道館･岡山大学体育館 |
| '77（昭和52） | 昭和52年度全国高校総合体育大会<br>第28回全国高等学校選手権大会 | 倉敷中央体育館・倉敷天城高校体育館<br>倉敷南高校体育館・水島中学校体育館 |
| '79（昭和54） | 第29回全日本実業団選手権大会 | 岡山県体育館･岡山大学新体育館･倉敷中央体育館･川崎製鉄水島体育館 |
| '80（昭和55） | 第２回日本リーグ | 川崎製鉄水島体育館 |
| '82（昭和57） | 第31回全日本学生東西対抗競技大会 | 岡山県体育館 |
| '83（昭和58） | 第10回全国家庭婦人競技大会 | 岡山市総合文化体育館 |
| '83（昭和58） | 第34回全日本大学学生選手権大会 | 岡山市総合文化体育館 |
| '84（昭和59） | 第10回日中対抗岡山大会 | 岡山市総合文化体育館 |

| | | |
|---|---|---|
| '85（昭和60） | 第７回日本リーグ | 岡山県体育館 |
| '88（昭和63） | 第12回全日本高等専門学校選手権大会 | 岡山県津山総合体育館 |
| '89（平成元） | 第39回全日本実業団選手権大会 | 岡山県体育館・岡山市総合文化体育館 |
| '97（平成９） | '97日本リーグ倉敷大会 | 川崎製鉄水島体育館 |

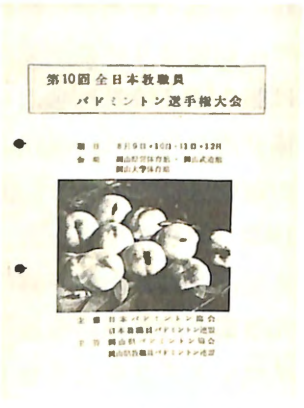
### ⑵県内開催の全国大会・国際大会のプログラム（開催年代順）



第11回全日本実業団・第４回同社会人選手権大会



第17回国民体育大会



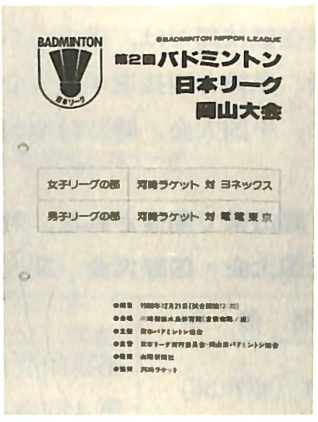
第11回全日本教職員選手権大会



昭和52年度全国高校総体（インターハイ）



第29回全日本実業団選手権大会



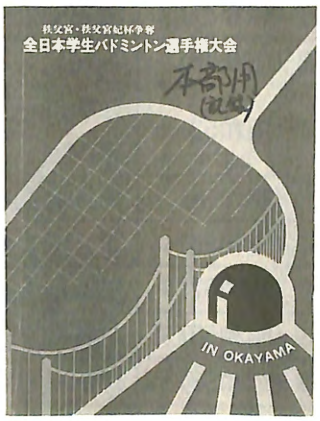
第２回日本リーグ



第31回全日本学生東西対抗競技大会



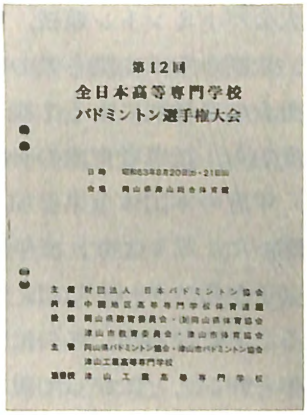
第10回全国家庭婦人競技大会



第34回全日本学生選手権大会（インカレ）




第10回日中対抗岡山大会




第12回全日本高等専門学校選手権大会




第39回全日本実業団選手権大会

### ⑶西日本大会（平成９年度現在）

| 開　催　年 | 大　会　名 | 会　　場 |
|---|---|---|
| ’57（昭和32） | 第７回西日本選手権大会 | 関西高校・山陽女子高校・就実高校各体育館 |
| ’78（昭和53） | 第18回西日本大学学生選手権大会 | 岡山県・岡大清水記念・岡大第２各体育館 |
| ’89（平成元） | 第30回西日本大学学生選手権大会 | 岡山市総合文化体育館 |
| ’94（平成６） | 第34回西日本大学学生選手権大会 | 岡山市総合文化体育館 |

＊西日本選手権大会については，第Ⅰ章の２参照

### ⑷県内開催の西日本大会のプログラム




第７回西日本選手権大会




第34回西日本学生選手権大会

### ⑸中国大会

①国体中国地区予選会～中国ブロック国体の経緯

1951（昭和26）年度の第６回広島国体までは，一般男子，高校男子，女子（一般と高校の混成で１チーム編成）の３種別が，制限なしのフリー参加であり，岡山県は３種別そろって参加してきた。昭和27年度の第７回宮城国体から，女子の一般と高校がそれぞれ独立し，４種別で実施されることになった。種別が増えても参加者数には制限があり，高校男女については，日本協会の地区推薦制によって，男子は島根県が選ばれ，岡山県の高校男子は参加できなかった。翌，昭和28年度の香川国体では，制限なしのフリー参加となり，岡山県は全種別そろって出場している。

1954（昭和29）年度から「国民体育大会バドミントン競技，中国ブロック予選会」が開催されることとなり，その初回を岡山県で開催し，次回からは中国各県の輪番制となった。試合は全県フリー参加の一般男子を除き，一般女子，高校男女の３種別による１複２単の県対抗リーグ戦が実施され，現在まで続いている。この間，昭和34年度から，指導者育成の目的で教員男子も加わって４種別に増えた。しかし教員男子は，1979（昭和54）年度の本国体全県参加を最後に，21年間続いた単独の種別が廃止されたので，地区予選も３種別に戻った。同年より，成年男女，少年男女の各種別が，輪番制で本国体へ全県参加する形となり，成年女子からスタートした。また，全県参加以外の３種別は，中国地区予選の上位２県が本国体に参加することになった。さらに，この間の1975（昭和50）年度に種別名が変更され，一般を成年，高校を少年と呼ぶことになって現在に至っている。

1981（昭和56）年度からは，大会の正式名称が「国民体育大会中国ブロック大会，バドミントン競技会」に変わり，全競技種目を同一県で一斉に開催することになって現在に至っている。

＜岡山県開催年と戦績の詳細は，別表，国民体育大会中国ブロック大会，岡山県の戦績を参照＞

②中国選手権大会の経緯

1958（昭和33）年度より，中国地区のレベルアップを目的として，概ね次の要領で開催された。

・会期＝国体中国地区予選会と並行

・種目＝一般男女団体，同個人単複の６種目

・一般男子団体＝本国体が全県参加の時代だったので，２複３単で実施

・一般女子団体＝国体中国地区予選会の戦績を選手権の成績とする

1969（昭和44）年度から，中国実業団選手権と同社会人選手権が開催されることになり，中国選手権は両大会に移行した（下記③・④の項参照）。しかし，団体戦の名称だけは，昭和55年度まで継続し，国体中国地区予選会の戦績を選手権の成績とした。そして，同56年度から名称だけの中国選手権大会も廃止されて，現在に至っている。

岡山県で行われた中国選手権は，昭和34年度の第２回大会と，同40年度の第８回大会であった。

＜資料＝②中国選手権大会団体戦，③同個人戦の優勝記録参照＞

③中国社会人選手権大会～中国総合選手権大会への経緯

1958（昭和33）年度より行われていた中国選手権の個人戦が発展的に移行し，1969（昭和44）年度から中国社会人選手権に生まれ変わった。そして，中国選手権の第１回を中国社会人選手権の第１回とした。（＊団体戦は中国実業団選手権に移行し，昭和59年度まで中国社会人大会と併催された）

大会の経過に伴い，1970（昭和45）年度の第13回大会から男子40歳代，同51年度の第19回大会から男子30歳代，同53年度の第21回大会からは男子50歳代，同58年度の第25回大会から混合複などが増設されて内容が充実し，1994（平成６）年度まで実施された。この間に，1982（昭和57）年度から，一般男女単・複・混合複のチャンピオンは，全日本総合選手権の予選トーナメントに，中国地区代表として推薦出場することになった。

さらに，1995（平成７）年度から「中国総合選手権大会」に移行し，中・高・大学生等にも，全日本総合選手権参加につながるチャンスが与えられることになった。また，男子30歳以上の年齢別の種目も従来どおり行われ，文字通り，中国地区の各チャンピオンを決める総合選手権大会に成長した。

岡山県で開催された同大会は，昭和47年度，52年度，59年度，60年度，61年度，平成２年度，７年度（総合の初回）の計７回である。

＜第Ⅰ章「中国選手権大会」，第Ⅴ章「社会人の戦績」の項等参照＞

④中国実業団選手権大会の経緯

1958（昭和33）年度から行われていた中国選手権の団体戦が発展的に移行し，1969（昭和44）年度から，中国実業団選手権に生まれ変わった。そして，昭和44年度を第１回とし，男子は２複３単，女子は１複２単の団体対抗で新規にスタートした。大会は独立したが，昭和59年度までは中国社会人選手権との併催であった。

1985（昭和60）年度より実業団大会として独立し，同一事業所より複数チームの出場が認められた。男女とも３～４チームによるブロック別の予選リーグを行い，各ブロック１位のチームで決勝トーナメントを実施する形に変わって現在に至っている。

岡山県で開催された実業団大会は，昭和47年度，52年度，59年度，平成２年度，６年度の計５回であった。

＜第Ⅰ章「実業団連盟の歩み」，第Ⅴ章「実業団連盟の戦績」の項等参照＞

⑤中国小学生大会の経緯

1985（昭和60）年度の第１回大会が鳥取県で開催され，各県から参加した男女単各４名，同複各４組により，個人戦での熱戦が展開された。中国地区において，比較的早くから小学生対策に取り組んできた鳥取県が，続く第２回大会をも開催し，第３回大会より輪番制となって岡山県が開催した。その後，本県小学生のレベルが向上する中で，1992（平成４）年度の岡山大会に続き，平成８年度は第12回大会を岡山県で開催した。

＜第Ⅰ章「小学生部会の歩み」，第Ⅴ章「小学生部会の戦績」の項等参照＞

**⑸その他の中国大会**

①中国高等学校選手権大会：1958（昭和33）年度の第１回大会を岡山県で開催

②中国中学校交換試合：1971（昭和46）年度の第１回を岡山県で開催

③全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会：1974（昭和49）年度の第２回大会を岡山県で開催（＊日本協会主催の中国地区強化合宿から，全国選抜中国地区予選会に発展移行した大会）

④中国中学校選手権大会：1980（昭和55）年度の第１回大会を岡山県で開催

⑤中国家庭婦人（年齢別）大会・全日本家庭婦人（クラブ対抗）大会中国地区予選会：1985（昭和60）年度大会，1991（平成３）年度大会，1996（平成８）年度大会を岡山県で開催（＊平成８年度の大会には，同年４月に部会から昇格した県家庭婦人連盟が主体となって当たった）

上記①～⑤の各大会においても，岡山県で初めて開催される場合には，県協会が，関係連盟にリーダーシップをとりながら，相提携してその準備運営に当たった。しかし，第２回目からは，県協会傘下の各連盟が主体性をもって当たり，県協会は必要に応じて側面的に支援する形をとりながら，連盟の育成強化を図る一方，県協会の負担を軽くする方向に発展してきている。

付記：この項の２の⑴，全国大会，国際大会は，日本協会（関係連盟）の主催によるものであった。しかし，1983（昭和58）年度に岡山県で開催した第10回全国家庭婦人競技大会は，日本協会の主催ではなかった。「日本家庭婦人連盟」設立以前に，日本協会設立時の初代理事長であった宮澤宏之氏が，同氏の主宰する別組織「全国家庭婦人連盟」の本部長時代に開催したものであった。日本協会傘下の「日本家庭婦人連盟」は，1983（昭和58）年８月24日に設立されており，奇しくも同年５月，岡山県で開催した前記大会から，わずか３ヵ月後のことであった。

**資料①　国体中国ブロック大会岡山県の戦績等**

記号説明：回＝本国体の開催回，M＝成年男子，L＝成年女子，B＝少年男子，G＝少年女子
T＝教員男子，全＝本国体に全県参加，数字＝順位，×＝ブロック大会なし。

※本国体は第４回がオープン競技，第５回から正式得点競技となり全種別フリー参加で始まった。

| 回 | 年度 | 開催県 | M | L | B | G | T | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | S.27 | | × | × | × | × | | 本国体：BGは地区推薦制でB不参加，MLはフリー参加 |
| 8 | S.28 | | × | × | × | × | | 本国体：全種別フリー参加 |
| 9 | S.29 | 岡　山 | 全 | 1 | 1 | 1 | | 国体中国地区予選開始，一般男子のみ全県フリー参加，※学生不参加の開始 |
| 10 | S.30 | 広　島 | 全 | 1 | 2 | 1 | | B１位＝島根 |
| 11 | S.31 | 山　口 | 全 | 1 | 2 | 1 | | B１位＝島根 |
| 12 | S.32 | 鳥　取 | 全 | 1 | 2 | 1 | | B１位＝島根 |
| 13 | S.33 | 島　根 | 全 | 1 | 1 | 1 | | 中国選手権並行開催の初回 |
| 14 | S.34 | 岡　山 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | 教員男子の種別新設（指導者の育成がねらい） |
| 15 | S.35 | 広　島 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 16 | S.36 | 山　口 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 17 | S.37 | 島　根 | 全 | × | × | × | × | 岡山国体，開催県は地区大会なしで全種別本国体参加 |
| 18 | S.38 | 鳥　取 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 19 | S.39 | 広　島 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 20 | S.40 | 岡　山 | 全 | 2 | 1 | 1 | 1 | L１位＝山口 |
| 21 | S.41 | 鳥　取 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 22 | S.42 | 島　根 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 23 | S.43 | 山　口 | 全 | 2 | 2 | 1 | 1 | L１位＝山口。B１位＝島根　※中国選手権個人戦の最終回 |
| 24 | S.44 | 広　島 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 25 | S.45 | 岡　山 | 全 | 2 | 3 | 1 | 1 | L１位＝山口。B１位＝山口，２位＝鳥取 |
| 26 | S.46 | 鳥　取 | 全 | 1 | 2 | 1 | 1 | B１位＝山口 |
| 27 | S.47 | 島　根 | 全 | 1 | 2 | 1 | 1 | B１位＝鳥取 |
| 28 | S.48 | 山　口 | 全 | 1 | 3 | 1 | 1 | B１位＝鳥取，２位＝山口 |
| 29 | S.49 | 広　島 | 全 | 2 | 1 | 1 | 1 | L１位＝山口 |
| 30 | S.50 | 岡　山 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | S.50年から一般は成年，高校は少年と種別名変更。<br>一般・教員とも単独チーム出場だが，得点計算は両チームを含めて成年男子１種別と見なす形式に変更。<br>成年女子のみ，上位２県が本国体参加 |
| 31 | S.51 | 鳥　取 | 全 | 1 | 3 | 1 | 1 | B１位＝鳥取，２位＝山口 |
| 32 | S.52 | 島　根 | 全 | 1 | 2 | 1 | 1 | B１位＝山口。成年女子のみ上位２県が本国体参加 |
| 33 | S.53 | 山　口 | 全 | 1 | 1 | 1 | 1 | 成年男子全県参加の最後。※ナショナルチーム所属選手不参加開始 |
| 34 | S.54 | 広　島 | 1 | 1 | 1 | 1 | 全 | 教員男子全県参加。成年男子上位２県が本国体参加 |
| 35 | S.55 | 岡　山 | 1 | 全 | 1 | 1 | | この回より教員男子単独チームが廃止され，成年男子に１名以上の教員男子を含めてのチーム編成に変更。また，各種別とも地区予選の上位２県が本国体参加となる。全県参加は各種別の輪番制となり，成年女子から開始された。<br>※名称だけの中国選手権大会はこの回で打ちきり。 |
| 36 | S.56 | 広　島 | 1 | 1 | 全 | 1 | | 全競技種目同一県開催（現在の総合形式）に統一された。 |
| 37 | S.57 | 岡　山 | 2 | 1 | 3 | 全 | | 成年男子に教員男子を含める規定廃止。<br>M１位＝鳥取。B１位＝山口，２位鳥取<br>島根国体，開催県は地区予選なしで全種別本国体参加 |

| 回 | 年度 | 開催県 | M | L | B | G | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38 | S.58 | 山　口 | 全 | 1 | 2 | 2 | B 1位＝山口。G 1位＝島根 |
| 39 | S.59 | 島　根 | 1 | 全 | 2 | 1 | B 1位＝山口 |
| 40 | S.60 | 広　島 | 1 | 1 | 全 | 1 | 鳥取国体，開催県は地区予選なし |
| 41 | S.61 | 鳥　取 | 1 | 1 | 3 | 全 | B 1位＝山口，2位＝鳥取 |
| 42 | S.62 | 岡　山 | 全 | 1 | 2 | 1 | B 1位＝山口 |
| 43 | S.63 | 山　口 | 1 | 全 | 1 | 1 | |
| 44 | H.1 | 島　根 | 1 | 1 | 全 | 1 | |
| 45 | H.2 | 鳥　取 | 1 | 1 | 2 | 全 | B 1位＝山口 |
| 46 | H.3 | 広　島 | 全 | 1 | 1 | 1 | |
| 47 | H.4 | 岡　山 | 1 | 全 | 1 | 1 | |
| 48 | H.5 | 山　口 | 2 | 4 | 全 | 1 | M 1位＝山口。L 1位＝島根，2位＝鳥取，3位＝山口 |
| 49 | H.6 | 島　根 | 1 | 3 | 1 | 全 | L 1位＝島根，2位＝鳥取。　※ナショナルチーム所属選手の参加復活 |
| 50 | H.7 | 岡　山 | 全 | 1 | 2 | 1 | B 1位＝島根，※学生の参加復活 |
| 51 | H.8 | 鳥　取 | 1 | 全 | 1 | 2 | G 1位＝鳥取 |
| 52 | H.9 | 広　島 | 1 | 3 | 全 | 1 | L 1位＝広島，2位＝島根 |

**資料②　中国選手権大会（団体戦）の優勝記録**

| 回 | 年度 | 開催県 | 男子 | 女子 | 回 | 年度 | 開催県 | 男子 | 女子 | 回 | 年度 | 開催県 | 男子 | 女子 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S.33 | 島根 | 岡山 | 岡山 | 5 | S.37 | 島根 | 岡山 | 山口 | 9 | S.41 | 鳥取 | 岡山 | 岡山 |
| 2 | S.34 | 岡山 | 岡山 | 岡山 | 6 | S.38 | 鳥取 | 岡山 | 岡山 | 10 | S.42 | 島根 | 岡山 | 岡山 |
| 3 | S.35 | 広島 | 岡山 | 岡山 | 7 | S.39 | 広島 | 岡山 | 岡山 | 11 | S.43 | 山口 | 岡山 | 山口 |
| 4 | S.36 | 山口 | 岡山 | 岡山 | 8 | S.40 | 岡山 | 岡山 | 山口 | 女子は国体予選の戦績を充当 | | | | |

＊中国選手権大会の団体戦は，昭和44年度から中国実業団選手権大会に発展移行した。

**資料③　中国選手権大会（個人戦）の優勝記録**

| 回 | 年度 | 一般男子 | | | | 一般女子 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 複 | | 単 | | 複 | | 単 | |
| 1 | S.33 | 毛利／前田組 | 岡山 | 石原　利通 | 岡山 | 大橋／草野組 | 岡山 | 大橋　艶子 | 岡山 |
| 2 | S.34 | 毛利／西崎組 | 岡山 | 石原　利通 | 岡山 | 権田／光本組 | 岡山 | 権田　節子 | 岡山 |
| 3 | S.35 | 小松／石原組 | 岡山 | 小松　　貴 | 岡山 | 根岸／湯浅組 | 岡山 | 根岸　　純 | 岡山 |
| 4 | S.36 | 小松／青井組 | 岡山 | 前田　俊一 | 岡山 | 根岸／湯浅組 | 岡山 | 根岸　　純 | 岡山 |
| 5 | S.37 | 小松／寺内組 | 岡山 | 小松　　貴 | 岡山 | 江原／玉木組 | 山口 | 江原　敏子 | 山口 |
| 6 | S.38 | 小松／寺内組 | 岡山 | 寺内　侃一 | 岡山 | 根岸／湯浅組 | 岡山 | 根岸　　純 | 岡山 |
| 7 | S.39 | 小松／寺内組 | 岡山 | 小松　　貴 | 岡山 | 小合／重政組 | 岡山 | 松村　和美 | 山口 |
| 8 | S.40 | 小松／寺内組 | 岡山 | 小松　　貴 | 岡山 | 江原／松村組 | 山口 | 松村　和美 | 山口 |
| 9 | S.41 | 小松／松王組 | 岡山 | 前田　俊一 | 岡山 | 小合／重政組 | 岡山 | 松村　和美 | 山口 |
| 10 | S.42 | 小松／藤井組 | 岡山 | 三宅　　勝 | 岡山 | 高塚／大賀組 | 岡山 | 高塚　淳子 | 岡山 |
| 11 | S.43 | 末広／河添組 | 山口 | 小松　　貴 | 岡山 | 後藤／岡村組 | 山口 | 岡村智津子 | 山口 |

＊中国選手権大会の個人戦は，昭和44年度から中国社会人選手権大会に発展移行した。

1997（平成９）９月　文責　第４代理事長　毛利清志

同　　競技部会長　　柴田　憲

## （３）審判部会

### １，部会制発足以前

部会制発足までの審判関係業務は，理事長が中心となって企画・運営されていた。例えば，昭和37年度の第17回岡山国体に備えては，岡山大学の学生を中心に協力を仰ぎ，本番の２～３年前から資格取得講習会を開催して，地元主体の審判員で国体に対応したことなどである。その後，権威ある全国大会，特に国体等では，年と共に，上級資格審判員による競技運営が求められるようになってきた。この間，昭和57年の第37回島根国体，昭和60年の第40回鳥取国体には，要請により岡山県からも各３名の１級審判員が応援に駆けつけた。

一方，大会経費節約のため，参加選手と役員（監督・コーチ）等の協力によって，勝者線審・敗者主審などの相互審判による競技会運営も普及し，現在も大いに活用されている。

### ２，部会制の発足と現状

1988（昭和63）年度から県協会内部に部会制がスタートし，審判部会も数名の組織で運営することになった。当部会は，下記の実情をふまえながら，県内の審判体制の充実と伸展に努めている。

折しもこの年より，国際バドミントン連盟（Ｉ・Ｂ・Ｆ）の競技規則の大改定に伴い，日本協会は，国際大会から地方の小規模大会までの広範囲にわたる競技会が，時代の流れに添って適切に運営されることを目的として，競技規則，大会運営規定，公認審判員規定を改正し，新たに公認審判員登録規定を設けた。そのなかで，今までの１級から３級までの３段階の公認審判員制度を，第１種Ａ級から第３種Ｂ級までの６段階とし，３年ごとの更新が義務づけられた。そして，第３種Ｂ級の資格は18歳未満でも取得が可能であり，18歳になって登録料を納入すれば自動的に第３種Ａ級に更新できることになった。また，第３種Ａ級から第１種Ａ級の資格取得までに，講習会・審判経験・検定会・更新手続き等を繰り返しながら，計10年間を要するシステムに改められた（表①参照）。

改正当初は３年間の移行期間が設けられ，その間に移行手続きをとれば１級は第１種Ａ級に，２級は第２種Ａ級に，３級は第３種Ａ級への移行が認められた。その際，岡山県で移行手続きを取った者は，第１種Ａ級＝６名，第２種Ａ級＝８名，第３種Ａ級＝14名の計28名であり，公認審判員が減少する結果となった。その後，検定会を重ねて開いてきたがなかなかその数は増えず，現在の公認審判員は，表②のようになっている。

また，制度の改正に伴い，公認審判員資格審査認定員規定が設けられて，日本協会認定員の岡山県第１号として小田和文が委嘱され，平成７年には藤原航現理事長が委嘱されている。

平成３年から，国体中国地区大会の機会に，第１種，第２種の公認審判員資格検定会が毎年のように実施されている。岡山県でも平成４年と平成７年に，いずれも高梁市で開催された。

その間，平成５年の第48回香川国体と，平成８年の第51回広島国体に，各２名の派遣審判員を送っている。

### ３，現在の主な業務

平成17年の２巡目岡山国体に向けて，県内で必要な公認審判員の確保を企画し，日常業務に併せて，下記のような取り組みを推進中である。

⑴県内登録会員対象の「公認審判員検定会（養成講習会も含む）」の開催

⑵県内公認審判員の「上級公認審判員検定会」への派遣及び「同検定会」の開催

⑶県内公認審判員の更新手続き

⑷県内で開催される対外大会（中国地区以上）への審判長・副審判長・主審・線審の派遣

⑸近隣各県国体開催時の審判員派遣

⑹競技規則等改正時の周知

なお，平成17年岡山国体に伴う審判員養成はすでに始まっているが，平成10年度から本格化する予定である。

**4，当面の課題**

資格の取得と維持に伴う経費は，本来個人資格であることを考えれば個人負担が妥当であるが，多額であり，資格取得者増員計画のネックになっている。しかし，先進県に学びつつ，審判体制をより伸展する方向で頑張らなくてはならない。それには，次のような課題の解決が必要と考えている。

⑴審判部会の組織づくり（業務分担を含む）

⑵公認審判員資格取得者の啓蒙と拡大及び審判技能の向上

＜特に第３種Ｂ級有資格者の確保，家庭婦人の有資格者確保＞

⑶更新手続きの円滑化＜有資格者名簿のデーターベース化＞

⑷検定会・講習会の持ち方の工夫

**表①　審判員資格認定申請料・資格登録料，経験年数一覧**

| 種　別 | 申請料 | 登録料 | 経験年数 |
|---|---|---|---|
| 第１種Ａ級 | 3,500 | 10,000 | ２年 |
| 第１種Ｂ級 | 3,000 | 10,000 | ３年 |
| 第２種Ａ級 | 2,500 | 7,500 | ２年 |
| 第２種Ｂ級 | 2,000 | 7,500 | ３年 |
| 第３種Ａ級 | 1,500 | 5,000 | |
| 第３種Ｂ級 | 700 | な　し | |

※①金額はいずれも消費税別

②経験年数は下位資格取得後の審判経験年数

**表②　平成８年度末現在の公認審判員数（年齢別）**

| 審判員資格 | 29歳以下 | 30～34 | 35～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60歳以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１種Ａ級 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 6 |
| 第１種Ｂ級 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 第２種Ａ級 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 第２種Ｂ級 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 12 |
| 第３種Ａ級 | 35 | 15 | 15 | 7 | 2 | 2 | 1 | 0 | 77 |
| 第３種Ｂ級 | 76 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 76 |
| 合　計 | 111 | 21 | 23 | 10 | 4 | 6 | 2 | 0 | 177 |

＊岡山県協会の「公認審判員名簿」については，第Ⅴ章資料編を参照

**1997（平成９）年４月　文責　部会長　小田和文**

## (４)選手強化部会

### １，部会制ができる以前

#### (1)国体の天皇杯総合優勝まで

1948（昭和23）年度の県協会設立以来，約30年間は現在のような部会制は敷かれていなかった。

国体や，各種全国大会に備えての選手強化は，意欲的に活動していた高校の顧問が取り組みの中心となり，県内トップクラスの一般男子が技術指導を担当する形で行われていた。

昭和26～27年頃は，対外試合に出場する県代表の殆どが倉敷地区在住の選手だったので，強化合同練習等は主として倉敷地区（倉敷青陵高校）で行われていた。

昭和28年頃から，岡山フラッシュクラブ（岡山地区の有志の集い）が中心となり，全日本選手権や国体メンバー等が，山陽学園で強化練習に励んできた。練習は毎日行われ，同クラブの一般男子が，高校や一般女子を鍛えた後，自分たちの練習にも打ち込んだ。その努力が実を結び，昭和29年度からの全日本選手権，インターハイ，国体，全日本実業団大会等における，高校女子や一般女子の全国優勝ラッシュにつながった。さらに，1956（昭和31）年度の第11回兵庫国体では，天皇杯総合優勝を果たし，皇后杯も１位と同点の２位を獲得して，岡山県全体の総合得点に大きく貢献した。そして，“バドミントン岡山”の名を全国に高めたのである。

#### (2)岡山国体に向けて

国体総合優勝の翌年から，対外的な強化対策の一つとして，“香川県との対抗戦”が始まった。対香川の当初は，一般男女，成年男子，壮年男子の各２複３単と，混合複３組の合計23試合でスタートし，昭和40年頃まで続いた。その後，国体強化を中心とした国体形式による各種別対抗に変わり，伝統的な定期戦として現在も続いている。

対香川に続いて，男子は関西大学，女子は樟陰女子大学を中心とした“オール大阪との対抗戦”や，昭和33年度からは“京都との対抗戦”も実施しながら，昭和37年度の第17回岡山国体に備えた。しかし，前記フラッシュクラブの一般男子が年齢を重ねていく一方，若手の後継者が育たず，同じメンバーで，高校と一般女子を鍛えるのが精一杯となり，一般男子の戦力維持がしだいに困難になるなかで，地元岡山国体の本番を迎えることとなった。

天皇杯男女総合優勝を目指しての強化対策としては，全国屈指の男子コーチを迎えての強化合宿，全日本実業団選手権女子優勝チームとの練習試合，関西大学男子チームとの合同合宿等も行ったが，総合優勝に手が届かず，僅かな点差で天皇・皇后両杯ともに４位に終わった。因みに岡山県全体の総合成績は，天皇杯，皇后杯ともに2位であり，総合優勝に今一つ貢献できなかった。

#### (3)岡山国体以後

地元国体後，オール大阪との対抗戦は取り止めたが，引き続いて各種強化対策に取り組んできた。また，昭和38年度頃から，国体開催予定の各県が，練習試合を求めて相次いで来岡するようになり，県協会内部に強化委員会を設けてこれに対応した記録が残っている。

**○文書例：昭和40年４月30日県協会発**

①岐阜県チームとの練習試合＝５月２～３日，山陽学園体育館，一般男女・教員・高女の４種別

②今後の合同強化練習＝毎週火・木曜日（17～21時），行事のない日曜日，祝祭日（９～18時），山陽学園体育館。但し，高校男女は，県総体終了以後合同練習に参加

③第20回国体岡山県第１次候補選手＝成男６，成女４，教員５，高校男女各８の計31名（氏名略）

④強化委員会＝委員長（理事長），副委員長（常務理事等），委員６名（理事等，氏名略）

⑤その他＝９月に対京都，10月に対香川の予定（詳細は後日連絡）

練習試合に来岡した県は，39年山口，40年岐阜，41年大分，43年福井，44年長崎，45年岩手，46年和歌山等々の各県であり，それぞれ全種別または特定種別による，１～２日の合同練習であった。

その後，岡山県バドミントン界全体の競技力が下降線をたどるに伴って，強化対策としての他県チームの来岡は徐々に少なくなり，たまに声がかかっても，国体本番の偵察をねらいとしたものに変わってきた。

以上のように，昭和30年代に比べると全国レベルが躍進する反面，競技力向上の条件である“指導者の若返り”や，県出身優秀選手の“就職の受け皿”などが思うに任せず，岡山のバドミントンは，全国のトップレベルから次第に引き離されていった。（別資料＝①参照）

### ⑷昭和50年代

1978（昭和53）年度，現在の石田祥史県協会長就任と同時に，女子選手の受け皿として協会長の㈱松本組（現まつもとコーポレーション）の門戸が開かれ，国体レベルの選手が受入れられるようになった。特に，元ナショナルチームの郷土出身選手等の受入れを機に，一般男子が中心となり，高校男女の指導と一般女子の練習相手等に取り組み，合同練習や強化合宿等の組織的な選手強化が実施されることになった。その成果は，全日本実業団女子準優勝や，国体成年女子２連覇達成（昭和57年度の第37回と翌年度の第38回大会）の快挙などにつながったのである。

## ２，部会制の発足と現状

1988（昭和63）年度から県協会に部会制が敷かれ，競技力向上をより組織的，効率的に推進するための選手強化部会も発足した。大きな目標を国体選手の強化とし，国体県予選会後，選ばれた代表選手に補欠選手を加えて強化事業の対象とした。そして，中国地区大会（予選）までを第１次，その後本国体までを第２次とし，休日返上での合同練習会，強化合宿等に取り組み，成果を挙げてきた。

しかし，高校，一般とも中国地区のレベルが平均化し，地区大会において，本国体への参加資格を獲得できない場合もおこる実状である（現在，地区大会２位までが本番に参加）。その上，本国体に参加する成年男女の他県チームは，全国トップレベルの大学や高校の選手を獲得して戦力を強化し，全日本実業団選手権や日本リーグなどで，上位をねらう実業団チームが大半を占めているのである。さらに，平成６年度から，ナショナルチームの所属選手も国体に参加することになったので，強化練習でハッパをかけ，試合でベストを尽くしても初回戦突破が困難となり，平成８年度現在において，成年男子は５年連続，同女子は９年連続５位（ベスト８）までの入賞がない。また，この間に，女子は２度地区予選落ちしている。近年の少年男子は，地区大会は勝ち抜けるが，12年間にわたって５位までの入賞がない。地区予選落ちが皆無で，昭和52年度頃までは得点源であった少年女子も，平成７年度に，漸く18年ぶりに５位入賞を果たしたのが現状である。

前記の実状を踏まえての強化対策として，県協会の強化事業に，全国中学校大会の県代表選手を参

加させたり，合同練習会を月１回の割合で，年間通して実施しているところである。他方，平成17年度の「第60回岡山国体」に向けて，“種を蒔き，苗を育てる”ジュニア層の育成強化も開始されている。これは，県協会の指導普及部会と，小学生部会とのタイアップによるものであり，平成８年度からの，“バドミントン少年スポーツクラブ”の始動は，本県の競技力向上を約束してくれるものと喜んでいるのである。（別資料＝①・②・③等参照）

〔資料①〕

**国民体育大会，岡山県入賞の跡（優勝～５位）**

記号説明：Ｂ＝少年男子，Ｇ＝少年女子，Ｍ＝成年男子，Ｌ＝成年女子，Ｔ＝教員男子

天＝天皇杯総合，皇＝皇后杯総合，数字＝順位（５＝ベスト８），×＝地区予選落ち

| 回 | 年 | 開催地 | M | L | B | G | T | 天 | 皇 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | S.24 | 東京都 | オープン競技，個人戦のみ | | | | | | | バドミントン国体初参加，男女各単4･複2，＊高校一般の混成 |
| 5 | S.25 | 愛　知 | | | | 5 | | 7 | 5 | 正式得点競技，B･M･G＋L（高校･一般の混成）の３種別 |
| 6 | S.26 | 広　島 | 5 | | | | | 8 | | G＋Lは前年同様，高校と一般の混成で１チームを編成 |
| 7 | S.27 | 宮　城 | | | × | 5 | | | | ★総合入賞なし，＊高校男子参加制限で不参加，＊G･Lが独立＝4種別 |
| 8 | S.28 | 香　川 | | | | 5 | | | 8 | 全種別フリー参加の最後 |
| 9 | S.29 | 北海道 | | 5 | 5 | 2 | | 4 | 2 | 中国地区予選開始(一般男子のみ全県フリー参加となる)＊学生不参加の開始 |
| 10 | S.30 | 神奈川 | | 5 | × | 1 | | 3 | 1 | ☆高校女子初優勝，☆皇后杯総合初優勝 |
| 11 | S.31 | 兵　庫 | 3 | 2 | × | 2 | | 1 | 2 | ☆天皇杯総合初優勝，皇后杯総合２位，（＊１位と同点） |
| 12 | S.32 | 静　岡 | 5 | 2 | × | 5 | | 6 | 2 | |
| 13 | S.33 | 富　山 | | 3 | 5 | 4 | | 5 | 3 | |
| 14 | S.34 | 東　京 | | 4 | 5 | 5 | 5 | | 5 | 教員男子の種別新設＝指導者育成が目的，＊５種別となる |
| 15 | S.35 | 熊　本 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | |
| 16 | S.36 | 秋　田 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | 6 | |
| 17 | S.37 | 岡　山 | 5 | 4 | 5 | 3 | 5 | 4 | 4 | ○地元国体，＊全種別地区予選なしで本国体へ無条件参加 |
| 18 | S.38 | 山　口 | | 4 | 5 | 5 | 4 | 3 | 5 | |
| 19 | S.39 | 新　潟 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 7 | 6 | |
| 20 | S.40 | 岐　阜 | | × | | 5 | 3 | | 7 | |
| 21 | S.41 | 大　分 | | | 4 | 3 | 3 | 3 | 5 | 国体の愛称・テーマ・スローガン等設定の始まり |
| 22 | S.42 | 埼　玉 | | 5 | 5 | 5 | 5 | | 5 | |
| 23 | S.43 | 福　井 | | × | × | 5 | 3 | | | ★２種別地区予選落ち，★総合入賞なし |
| 24 | S.44 | 長　崎 | | 5 | 5 | 5 | 2 | 6 | | |
| 25 | S.45 | 岩　手 | | × | × | 5 | 4 | | | ★２種別地区予選落ち，★総合入賞なし |
| 26 | S.46 | 和歌山 | | 5 | × | 3 | 5 | | 3 | |
| 27 | S.47 | 鹿児島 | | 5 | × | 5 | | | 8 | |
| 28 | S.48 | 千　葉 | | 5 | × | 5 | 5 | | | ★総合入賞なし |
| 29 | S.49 | 茨　城 | | × | | | | | | ★全種別成績不振，★総合入賞なし |
| 30 | S.50 | 三　重 | | 3 | | 5 | 5 | 7 | 2 | 種別名変更：一般＝成年，高校＝少年，＊一般と教員で成年男子一種別となる |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 | S.51 | 佐　賀 | | 5 | × | | 5 | | 8 | |
| 32 | S.52 | 青　森 | | | × | 5 | 5 | | 7 | |
| 33 | S.53 | 長　野 | | 5 | | | | | 8 | 成年男子全県参加最後の年，＊ナショナルチーム所属選手不参加の始まり |
| 34 | S.54 | 宮　崎 | 5 | 5 | | | | | | ★総合入賞なし，＊この回のみ教員男子が全県フリー参加 |
| 35 | S.55 | 栃　木 | | | 5 | | | | | 教員の種別廃止＝成年男子に教員を含めてのチーム編成となり，4種別全県参加(輪番制)となって成年女子より開始 |
| 36 | S.56 | 滋　賀 | | | | | | | | ★全種別初回戦敗退，★総合成績連続3年入賞なし |
| 37 | S.57 | 島　根 | | 1 | × | | | ⑨ | 2 | ☆成年女子初優勝，他種別不振で天皇杯総合9位に止まる |
| 38 | S.58 | 群　馬 | | 1 | | | | ⑨ | 2 | ☆成年女子2連勝，　同　上 |
| 39 | S.59 | 奈　良 | 5 | 5 | 4 | | | 4 | 8 | 天皇杯総合4位は岡山国体以来22年ぶり |
| 40 | S.60 | 鳥　取 | 5 | 5 | | | | 8 | .7 | 総合得点計算方法改定 |
| 41 | S.61 | 山　梨 | | | × | | | | | ★全種別成績不振，★総合成績連続入賞なしの始まり |
| 42 | S.62 | 沖　縄 | | 5 | | | | | | |
| 43 | S.63 | 京　都 | | | | | | | | ★全種別成績不振，＊2巡目国体の開始　＊総合得点計算方法改定 |
| 44 | H.1 | 北海道 | | | | | | | | ★全種別初回戦敗退 |
| 45 | H.2 | 福　岡 | | | | | | | | ★全種別初回戦敗退 |
| 46 | H.3 | 石　川 | 5 | | | | | | | 成年男子入賞6年ぶり |
| 47 | H.4 | 山　形 | | | | | | | | ★全種別成績不振 |
| 48 | H.5 | 香　川 | | × | | | | | | ★全種別成績不振 |
| 49 | H.6 | 愛　知 | | × | | | | | | ★全種別成績不振，＊ナショナルチーム所属選手参加復活 |
| 50 | H.7 | 福　島 | | | | 5 | | | | 少年女子入賞18年ぶり，＊学生の参加復活 |
| 51 | H.8 | 広　島 | | | | | | | | ★全種別成績不振 |
| 52 | H.9 | 大　阪 | | × | | | | | | ★総合成績入賞なし，連続12年目 |

＊①昭和29年より，当時，一般よりもレベルの高かった学生が，学連スケジュールの関係から国体参加を辞退した。これによって，地方出身の学生が出身県チームと対戦して勝ち進んだり，準決勝や決勝が，あたかも学生大会のようになりつつあった不具合が解消された。しかしその後，社会人のレベルが学生を追い越すなど，国内の情勢も大きく変わるなかで，日体協のかねてからの要請もあって，平成7年度の第50回大会から，学生の「出身高校所在県・現住所」のいずれかを，本人が選択して出場できるように改め，学連スケジュールをも調整して，41年ぶりに学生の国体参加が復活した。

＊②昭和53年から，ナショナルチームの所属選手が，過密スケジュールを理由に国体参加を辞退した。これによって，勝って当然のナショナルチーム所属選手で固めた中央のチームと，同所属選手の強化資金協力をしている地方の各県協会チーム，とりわけ同所属選手出身県チームとが対戦する不合理が避けられ，一般的には歓迎ムードであった。しかし，日体協の要請により平成6年度の第49回大会から，16年ぶりにナショナルチーム所属選手の国体参加が復活した。

＊③岡山県で開催された最初の国体は，1962（昭和37）年の『第17回大会』であり，“国体の決定版”と絶賛された。岡山県選手団全体の総合成績は，残念ながら，天皇杯・皇后杯ともに2位であった。総合優勝は両杯ともに東京都であったが，皇后杯得点はわずか0.75の差であった。

〔資料②〕

**⑴国体，岡山県各種別，参加状況と入賞のまとめ**

（昭和25年度第５回大会～平成９年度第52回大会）

| 種　　別 | 成年男子 | 成年女子 | 少年男子 | 少年女子 | 教員男子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本国体参加回数 | 48 | 39 | 34 | 48 | 21 |
| 地区予選落ちの回数 | 0 | 6 | 13 | 0 | 0 |
| １位～５位の入賞数 | 10 | 26 | 13 | 26 | 16 |

＊①バドミントンは，第５回大会より正式得点競技種目として国体に初参加したので，平成９年の第52回国体が48回目となる。

＊②第５・６回大会の女子は，高校と一般の混成による１チーム編成であり，岡山県は２回とも高校のみのチーム編成で参加したので，上表の成年女子の地区予選落ちを含む参加回数は，他種別よりも２回少ない。

＊③第７回大会の少年男子は，地区推薦制により岡山県は不参加だったので，上表の少年男子の地区予選落ちを含む参加回数は，他種別よりも１回少ない。

＊④教員男子の種別は，第14回～34回大会までの計21回実施された。

**⑵国体，総合成績入賞のまとめ**

（昭和25年度第５回大会～平成９年度第52回大会）

| 順　　位 | １位 | ２位 | ３位 | ４位 | ５位 | ６位 | ７位 | ８位 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 天皇杯入賞数（男女総合） | 1 | 0 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 2 | 16 |
| 皇后杯入賞数（女子総合） | 1 | 6 | 2 | 1 | 6 | 2 | 3 | 5 | 26 |

〔参考〕

＜岡山県，２巡目の国体＞

岡山県での初めての国体は，1962（昭和37）年の「第17回大会」であった。

岡山県での２度目の国体は，2005（平成17）年の「第60回大会」であり，第17回大会から43年ぶりに開催されることになっている。

岡山県では２度目の国体に向けて，県民の総力を結集し，総合的な諸準備を進めるため，平成８年１月16日に，県下各団体の代表者による「平成17年第60回国民体育大会，岡山県準備委員会設立総会・第１回総会」を開催してスタートした。

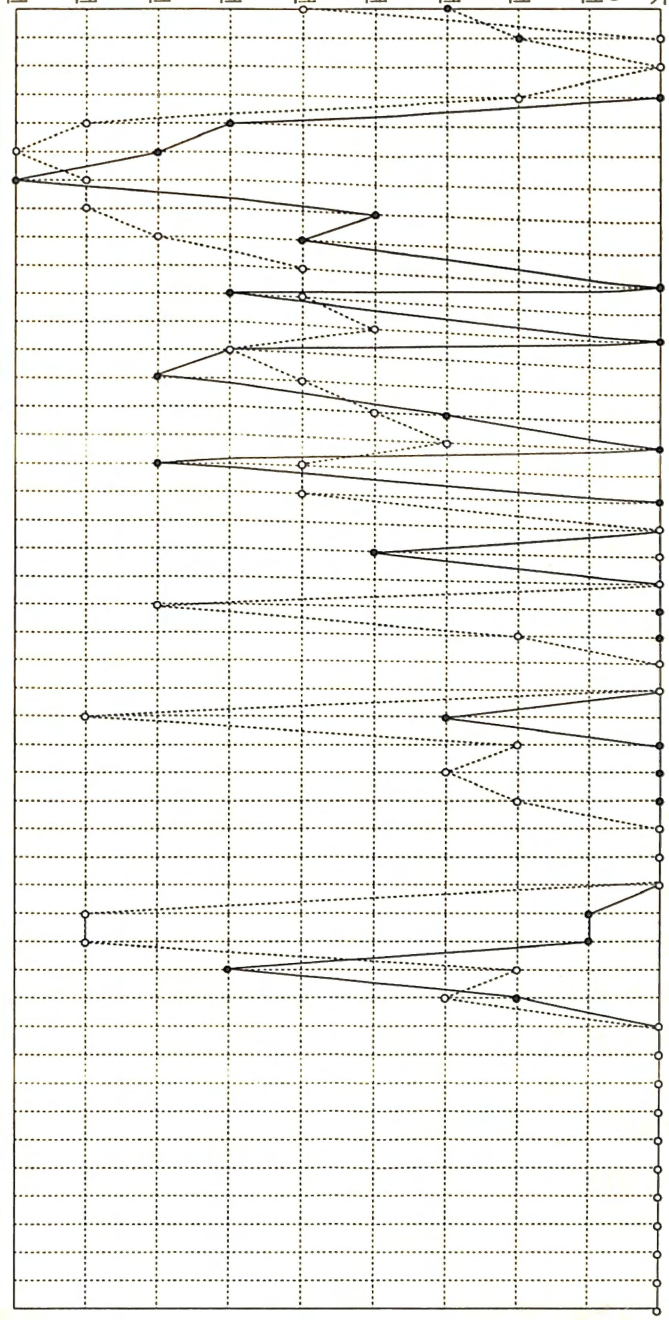
**1998（平成10）年１月　文責　第４代県協会理事長　毛利清志**

**同　　元選手強化部会長　中山睦雄**

〔資料③〕

# 国体バドミントン競技　岡山県選手団

## 天皇杯・皇后杯総合成績の推移と各種別の戦績（平成８年度現在）




| 開催回 | 年度（和暦） | 開催地（都道府県） | 種別毎の戦績 M | L | B | G | T |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | S.25 | 愛　知 | ② | | ② | 5 | |
| 6 | S.26 | 広　島 | 5 | | ③ | ③ | |
| 7 | S.27 | 宮　城 | ② | ③ | × | 5 | |
| 8 | S.28 | 香　川 | ② | ③ | ③ | 5 | |
| 9 | S.29 | 北海道 | ② | 5 | 5 | 2 | |
| 10 | S.30 | 神奈川 | ③ | 5 | × | 1 | |
| 11 | S.31 | 兵　庫 | 3 | 2 | × | 2 | |
| 12 | S.32 | 静　岡 | 5 | 2 | × | 5 | |
| 13 | S.33 | 富　山 | ③ | 3 | 5 | 4 | |
| 14 | S.34 | 東　京 | ③ | 4 | 5 | 5 | 5 |
| 15 | S.35 | 熊　本 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 |
| 16 | S.36 | 秋　田 | 5 | 5 | 5 | 5 | ① |
| 17 | S.37 | 岡　山 | 5 | 4 | 5 | 3 | 5 |
| 18 | S.38 | 山　口 | ③ | 4 | 5 | 5 | 4 |
| 19 | S.39 | 新　潟 | ② | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 20 | S.40 | 岐　阜 | ② | × | ① | 5 | 3 |
| 21 | S.41 | 大　分 | ② | ① | 4 | 3 | 3 |
| 22 | S.42 | 埼　玉 | ② | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 23 | S.43 | 福　井 | ① | × | × | 5 | 3 |
| 24 | S.44 | 長　崎 | ② | 5 | 5 | 5 | 2 |
| 25 | S.45 | 岩　手 | ② | × | × | 5 | 4 |
| 26 | S.46 | 和歌山 | ① | 5 | × | 3 | 5 |
| 27 | S.47 | 鹿児島 | ② | 5 | × | 5 | ① |
| 28 | S.48 | 千　葉 | ② | 5 | × | 5 | 5 |
| 29 | S.49 | 茨　城 | ② | × | ① | ① | ① |
| 30 | S.50 | 三　重 | ② | 3 | ① | 5 | 5 |
| 31 | S.51 | 佐　賀 | ① | 5 | × | ① | 5 |
| 32 | S.52 | 青　森 | ② | ② | × | 5 | 5 |
| 33 | S.53 | 長　野 | ③ | 5 | ① | ① | ① |
| 34 | S.54 | 宮　崎 | 5 | 5 | ① | ① | ② |
| 35 | S.55 | 栃　木 | ① | ③ | 5 | ① | |
| 36 | S.56 | 滋　賀 | ① | ① | ② | ① | |
| 37 | S.57 | 島　根 | ① | 1 | × | ① | |
| 38 | S.58 | 群　馬 | ① | 1 | ① | ① | |
| 39 | S.59 | 奈　良 | 5 | 5 | 4 | ① | |
| 40 | S.60 | 鳥　取 | 5 | 5 | ③ | ① | |
| 41 | S.61 | 山　梨 | ① | ① | × | ③ | |
| 42 | S.62 | 沖　縄 | ③ | 5 | ① | ① | |
| 43 | S.63 | 京　都 | ① | ② | ① | ① | |
| 44 | H.1 | 北海道 | ① | ① | ① | ① | |
| 45 | H.2 | 福　岡 | ① | ① | ① | ① | |
| 46 | H.3 | 石　川 | 5 | ① | ① | ① | |
| 47 | H.4 | 山　形 | ① | ② | ① | ① | |
| 48 | H.5 | 香　川 | ① | × | ③ | ① | |
| 49 | H.6 | 愛　知 | ① | × | ① | ① | |
| 50 | H.7 | 福　島 | ② | ① | ① | 5 | |
| 51 | H.8 | 広　島 | ① | ② | ① | ① | |

＊記号等の説明

――＝天皇杯総合。　……＝皇后杯総合。１位～８位＝受賞の対象（９位は参考）

M＝成年男子。L＝成年女子。B＝少年男子。G＝少年女子。T＝教員男子（14～34回の21回実施）

数字＝順位。○数字＝進出回戦。×＝本国体不参加（地区予選落ち）

※当初の５・６回大会の女子は一般と高校の混成で１チーム（岡山県は高校のみで編成）であった。

## (５)指導・普及部会

### １，指導・普及部会の創設と始動

1988（昭和63）年度から，岡山県バドミントン協会では，より活発な活動の展開を目指して，部会制を敷くこととなり，「指導・普及部会」も，５種別の専門組織の一つとして発足した。

指導・普及部会創成期のメンバーは，同年度から県協会理事長に就任した藤原航氏を含む５人の「部会長：柳本堯敏。委員：岡本次郎，中島英喜，松本哲也」の各氏であった。当初の会議において，従来から実施されているものの確認と，指導・普及部会の活動目標（活動内容を含む）設定の話し合いがもたれ，その結果は，概ね次のようにまとまった。

**⑴確認事項**

①中学，高校は，従来から各連盟専門部が，競技力向上対策に取り組んできている。

②国体選手強化は，毎年実施してきたものを，新設された選手強化部会が引き継いで取り組む。

**⑵目標，活動内容の設定**

＊初心者の中学生と小学生を主な対象として，次の活動を展開する。

①少年スポーツ教室の開設

②指導者講習会

③県民スポーツフェスティバル・バドミントン競技の主管

④クラブ育成講習会の開設

※上記のうち，④のクラブ育成講習会は，初年度限りとし，①～③については，毎年引き続いて実施しながら現在に至っている。

### ２，スポーツ教室

目　　的：スポーツに興味を持たせると共に，正しいバドミントン技術の体得と，スポーツ愛好心の高揚を図り，小・中学生の健全な心身の育成に寄与する。

参加対象：小学生，中学生

実施回数：開催に当たっては，対象者の集まりやすい休暇中，休日などを選び，大会のスケジュール等も勘案して，1996（平成８）年９月現在までに下記の通り実施した。

昭和63年度＝２日間，平成元年度＝２日間，平成２年度＝２日間，平成３年度＝２日間

平成４年度＝２日間，平成５年度＝３日間，平成６年度＝２日間，平成７年度＝４日間

平成８年度＝３日間，〔通算22日間〕

参加状況：最高108名～最低27名，平均57名，男女比＝１：２

### ３，指導者講習会

目　　的：バドミントン競技の正しい理解と指導法の研究により，学校及び社会体育指導者の指導力の強化を図り，さらに，ジュニア層の競技力向上に結び付ける。

参加対象：小学校，中学校，高等学校，社会体育クラブ等のバドミントン指導者

実施回数：開催に当たっては，対象者の集まりやすい休日などを選び，下記の通り実施した。

昭和63年度，平成２年度～同８年度〔通算８日間〕

参加状況：最高46名～最低16名，平均26名，男女比＝２：１

### 4，県民スポーツフェスティバル

目　　的：バドミントン競技の正しい理解と普及を目指し，毎年１回，初級者層のプレーヤーを対象とした，ダブルスの試合を行う。

種　　目：一般男女，家庭婦人，混合，小学生男女等の，各ダブルスのみ６種目

＊毎年200名以上の参加者があり，盛会裡に開催されている。

### 5，少年クラブの新設

目　　的：少年期におけるスポーツ活動の一層の推進を図り，スポーツ好きな少年の育成を目指す中で，優秀選手の発掘育成を期す。

参加対象：小学生（年間を通して参加できる者）

実施期日：東備地区，平成８年度＝７月20日・８月31日・９月28日（以降，２月まで毎月１回）

西備地区，平成８年度＝７月20日・８月24日・９月14日（以降，２月まで毎月１回）

登録者数：東備地区＝18名。西備地区＝21名

参加状況：登録した者の内，８割程度が参加している。

男 女 比：東備地区＝２：16，西備地区＝６：15（ほとんど女子）

1996（平成８）年度から新規に開設した“バドミントン少年クラブ”は，平成17年度の「第60回岡山国体」に向けて，“種をまき，苗を育てる…”長期展望に立ったものであり，９年先の地元国体での開花結実を願いながら実施している。なおこの取り組みは，県協会の小学生部会，選手強化部会とタイアップし，回を追うごとに，より密度の濃い内容を目指している。

### 6，外部から招いた指導者（敬称略）

| | | |
|---|---|---|
| 栂野尾昌一 | ㈱ヨネックス | 昭和63年度指導者講習会 |
| 田口　茂樹 | ㈱ヨネックス | 昭和63年度少年スポーツ教室・昭和63年度指導者講習会 |
| 海道　佳伸 | ㈱ヨネックス | 昭和63年度少年スポーツ教室・昭和63年度指導者講習会等数回 |
| 佐伯　智子 | ㈱ヨネックス | 平成２年度少年スポーツ教室 |
| 河本　小織 | コ ー モ ト | 平成３年度少年スポーツ教室・平成８年度指導者講習会 |
| 江連　忠雄 | ㈱ヨネックス | 平成６年度少年スポーツ教室・平成６年度指導者講習会 |

### 7，反省と課題

バドミントン競技を普及させるには，小学生の間に広めていくことが不可欠であろうと考える。

そのために，小学生部会との連携を図りながら，県内大会と同じように，広範囲の小学校に前記各行事の開催要項を配付してきた。しかし，スポーツ教室にしても，スポーツクラブにしても，参加者の範囲があまり広がっていない。

この課題を克服するためには，初心者の小学生，中学生が気軽に参加でき，バドミントンの楽しさを味わえる講習会（練習会＝楽しむ会！）のようなものを，数多く開催する必要があるのではないか。また，指導力の強化という観点からは，指導者講習会を充実させていくことも必要であろう。

**○指導・普及部会の担当者**〔平成８～９年度現在〕

| | | | |
|---|---|---|---|
| 部会長：松本哲也 | 副部会長：畑健二 | 本務：中島英喜 | 委員：中須賀祥雅・平島秀典 |

**1996（平成８）年９月　文責　松本哲也**

# 第II章　県協会の活動に貢献した主な人々

## 1　県協会の活動に貢献した人

### 1．歴代会長



**初　代**

**田中弘道**（たなか　ひろみち）

**生年月日：1897（明治30）年９月21日生**

…1948（昭和23）年12月～1950（昭和25）年３月＝１年４カ月間…

田中氏は，1930（昭和５）年に岡山市議会議員に，５年後には県議会議員に当選し，岡山の市政・県政に尽くした。1945（昭和20）年に市議会議長，1947（昭和22）年に第18代岡山市長に就任し，県下市長会長と県体協副会長を兼務した。市長在職中に県バドミントン協会初代会長に就任して，大所高所より育成指導に当たった。

岡山市長の田中氏は，県協会設立発起人であった斎藤氏とともに，軟庭王国を築いた岡山何久層庭球クラブの会員であった。また，同発起人代表の福井氏が県保健体育課長であったことなどの関わりから，県協会設立総会において，田中弘道氏を県協会初代会長に推薦し，就任に至ったものと思われる。

〔＊1975（昭和50）年11月３日逝去，享年78歳〕

**第２代**

**欠員**

…1950（昭和25）年４月～1952（昭和27）年３月＝２年間…



**第３代**

**村山　寛**（むらやま　すすむ）

**生年月日：1907（明治40）年１月２日生**

…1952（昭和27）年４月～1958（昭和33）年３月＝６年間…

村山氏は，1929（昭和４）年から体育教師として，観生高女（現鴨方高校）を振り出しに倉敷地区

の県立高校を歴任。1947（昭和22）年から県体協理事・県高体連理事長を始め，ハンドボール界では，県高体連専門部長・県協会長・日本協会理事・全国高体連専門部副部長等を歴任し，県内外の団体に貢献した。

1948（昭和23）年頃から，倉敷地区バドミントンの普及指導に尽力し，教え子と共に参加した第１回県大会で複３位，第１回西日本大会で壮年複優勝等の活躍をしている。第２代会長不在のまま２年間を経過した県協会は，1952（昭和27）年に，県協会内部から副会長の村山氏を第３代会長に選任した。

同氏は６年間にわたって，現場に直接つながる指導をした。

〔＊1992（平成４）年５月20日逝去，享年85歳〕



**第４代**

## 中村　健（なかむら　つよし）

**生年月日：1905（明治38）年２月20日生**

…1958（昭和33）年４月～1978（昭和53）年３月＝20年間…

中村氏は，1930（昭和５）年実業界に入り，山下汽船，クラレを経て，岡山製紙，大光印刷，丸加関連（商事・製版・海運）の社長，岡山通運，大栄紙工，岡山トヨペット，岡山交通，水島石油化学等の取締役を歴任した県実業界の大御所である。さらに，県内産業・経済界，公安委員会，ボランティア活動関係他多数の公職を兼務した。

1958（昭和33）年，当時の県軟式庭球連盟会長久保清三郎氏の推薦で第４代県協会長に就任し，多忙を極める中で20年もの長年月にわたって，県バドミントン界の指導育成に当たった。

なお，スポーツ歴に柔道三段（講道館）がある。

〔＊1994（平成６）年３月15日逝去，享年89歳〕



**第５代**

## 石田祥史（いしだ　しょうじ）

**生年月日：1930（昭和５）年10月11日生**

…1978（昭和53）年４月～1998（平成10）年３月＝20年間…

石田氏は，1953（昭和28）年に実業界に入り，1961（昭和36）年，松本組（現まつもとコーポレーション）に入社，同副社長・社長・会長兼社長を経て，現在代表取締役会長に就任中である。この間，岡山ロータリークラブ会長，商工会議所副会頭，建設関係他幾多の公職を兼任する中で，松本組監査役でもあった中村前会長の推薦で，1978（昭和53）年に第５代会長に就任した。

県出身等の女子選手を自らの会社に受け入れて，国体成年女子の部で２連覇を果たしたり，国体には，毎年会場で応援するなどの積極的な取り組みから，県体協副会長を始め，県内体育・スポーツ関係の多数の重要ポストにも選任されて活躍中である。

運営面では，学生時代の水泳体験をもとに，バドミントン界を始め，本県スポーツ界全体のレベルアップを目指しながら，常に明るく親しく指導に当たり，篤い信望を得ている。

なお，1998（平成10）年度より，引き続いて名誉会長に就任することとなった。



**第６代**

## 岡﨑　彬（おかざき　あきら）

**生年月日：1943（昭和18）年12月17日生**

…1998（平成10）年４月～現在…

岡﨑氏は，1968（昭和43）年に実業界に入り，1973（昭和48）年岡山ガスに入社，同社常務を経て，現在代表取締役社長に就任中である。この間，岡山県経済同友会常任幹事，岡山県経営者協会常任理事，岡山商工会議所会頭，岡山市観光連盟会長等の公職に就き現在に至る。

1996（平成８）年，岡山県バドミントン協会第５代石田祥史会長の推薦で，同協会副会長に就任していたが，２年後の1998（平成10）年に第６代会長に選任された。

岡山県協会の要職に就いてからは，学生時代に熱中したヨットの経験を生かし，本県バドミントン界の指導に当たっている。

## 2．歴代理事長



**初　代**

### 林宏太郎（はやし　こうたろう）

**生年月日：1918（大正７）年11月20日生**

…1948（昭和23）年12月～1950（昭和25）年３月＝１年４カ月間…

林氏は，県内でいち早くバドミントンに取り組んだ，林製薬岡山所長の要職にあった。1948（昭和23）年12月６日，第１回県大会の女子単・複優勝選手が，同社の社員であった関わりなどから，同年12月11日の県協会設立総会で，林氏が初代理事長に選任された。しかしながら，昭和25年の同社退職に合わせて，バドミントン界からも身を退くこととなった。

〔＊1981（昭和56）年11月６日逝去，享年64歳〕



**第２代**

### 斎藤　實（さいとう　みのる）

**生年月日：1916（大正５）年３月17日生**

…1950（昭和25）年４月～1952（昭和27）年３月＝２年間…

斎藤氏は，本県にバドミントン競技を導入した“産みの親”的存在であり，県内はもとより，中・四国全域にわたっても開拓指導した。また，同氏が中心となって創設した西日本選手権の30歳複で，第１回から２連勝を果たすなど，事情通の適任者であったが，運動具店から倉敷レーヨンに転勤して，軟式テニスに専念するため１期で辞任した。

（軟式テニスは現在のソフトテニス，以下ソフトテニスと記述）

その後，ソフトテニス界で幾多の全国大会やアジア選手権等で優勝を果たし，晩年には岡山軟庭史の編纂に取り組んだ。

〔＊1994（平成６）年12月１日逝去，享年78歳〕



第３代

## 永井　正（ながい　ただし）

**生年月日：1907（明治40）年７月17日生**

…1952（昭和27）年４月～1958（昭和33）年３月＝６年間…

永井氏は，県協会設立時からの理事であったが，１期で辞任した第２代理事長斎藤氏の後任として，第３代理事長に選任された。同氏は体育教師であり，第３代村山寛会長と同期同年齢のコンビで，県内外のハンドボール界を始め，多数の競技団体の役員を兼務しており，多忙な中での理事長就任であった。

この間，若手の毛利清志理事が，運営全般にわたって積極的に支援した。

〔＊1996（平成８）年１月26日逝去，享年89歳〕



第４代

## 毛利清志（もうり　きよし）

**生年月日：1927（昭和２）年５月２日生**

…1958（昭和33）年４月～1978（昭和53）年３月＝20年間…

毛利氏は，山陽学園の教え子による幾多の全国優勝を始め，自らも全国優勝の実績があり，運営の舵取り経験はなかったが，意欲に溢れており，理事長就任後積極的に取り組んだ。在任中には中国地区を始め，日本協会や高体連専門部・教職員連盟等の全国団体の役員にも選任され，一方，国際的にも選手・監督等で大活躍した。

同氏は県高体連専門部委員長を兼務（計19年間）していたが，1977（昭和52）年度の岡山インターハイ終了を契機に，二役同時に辞任した。この間，同氏の片腕として県協会の運営に尽力した，山上周之元参与の功績は大であった。



第５代

## 岡本武利（おかもと　たけとし）

**生年月日：1931（昭和６）年２月20日生**

…1978（昭和53）年４月～1988（昭和63）年３月＝10年間…

岡本氏は，岡山市役所の選手・監督として1954（昭和29）年頃からバドミントン界に関わり，中国実業団40歳単優勝，全日本社会人40歳複３位等の戦績を残している。1975（昭和50）年度からの日本実連理事に続いて中国実連理事長を各10年間担当，県協会理事長就任後は，日本協会理事・中国家庭婦人連盟理事長としても各４年間活動した。

この間，藤原航副理事長は，適切な助言と実行力により同氏を支援した。



第６代

## 藤原　航（ふじわら　わたる）

**生年月日：1943（昭和18）年４月１日生**

…1988（昭和63）年４月～現在…

藤原氏は，高校時代から選手として中国・全国で活躍し，三井造船入社後も県・中国実業団選手権において，幾多のチーム優勝を果たす原動力となり，全日本社会人選手権の30歳複でも２度優勝を遂げた。一方，元日本代表選手の県内受入れに尽力したり，国体成年女子監督として，本県初の２連覇を達成した。

理事長就任後は，内部組織の整備確立と人事の適正化等を図り，県協会の発展向上に貢献している。また，県実連理事長兼務の立場から，中国実連・全日本実連等の役員としても東奔西走している。

## ３．全国優勝を果たした人〔監督・選手〕

＜平成８年度現在＞



### 平方昌子（旧姓松山）選手

**生年月日：1933（昭和８）年８月４日井原市生**

1952（昭和27）年，岡山県立井原高等学校卒業

1956（昭和31）年，京都女子大学卒業

1956（昭和31）年，大阪薫英高等学校赴任～1968（昭和43）年退職

〔動機＝17歳，井原高校２年生のとき母校の金尾先生に教わる…〕

**《京都女子大学在学中の戦績》**

1953（昭和28）年，第３回全日本学生選手権大会＜仙台市＞，団体優勝

1953（昭和28）年，第３回全日本学生選手権大会＜仙台市＞，複（北村）優勝

▷高校時代，岡山県インターハイ初参加の井原高校主将。京都女子大で部を創設し，同大学でも主将として活躍。関西学生の単・複優勝に次いで，インカレで岡山県関係者初の全国優勝を遂げた。また上記優勝の外に，インカレの団体２位２回，単２位・３位，複３位等がある。

1956（昭和31）年より大阪協会常務理事，大阪高体連常任委員共に12年間。1958（昭和33）年より吹田市協会副理事長10年間。1976（昭和51）年より，兵庫県家庭婦人連盟常任理事に就任し現在に至る。＜手記：「私の思い出」参照＞



### 毛利清志監督・選手

**生年月日：1927（昭和２）年５月２日岡山市生**

1945（昭和20）年，関西中学校卒業

1949（昭和24）年，日本体育専門学校（現日本体育大学）卒業

1949（昭和24）年，真備高等女学校赴任

1950（昭和25）年，山陽学園転任（後年教頭）～1993（平成５）年退職

〔動機＝21歳，教育実習中に初めてバドミントンを見る。シャトルの激しいスピードの変化と，立体

的な飛び方に魅力を感じて…]

**《山陽学園在職中の戦績》**

1954（昭和29）年，第７回全日本選手権大会：監督＜東京都＞，少女複優勝
　選手＝吉川英子／大森嘉美組　＊岡山県内在住者初の全国優勝

1955（昭和30）年，第８回全日本選手権大会：監督＜高松市＞，少女単・複優勝
　選手＝友野文子・小林桂子／三宅基子組

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会：監督＜神戸市＞，女子団体優勝
　選手団＝権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・三宅基子・戸田寿子・守安昭子

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会：監督＜神戸市＞，女子複優勝
　選手＝権田節子／友野文子組

1956（昭和31）年，第９回全日本選手権大会：監督＜東京都＞，一般女子単・複優勝
　選手＝権田節子・小林節子／戸田寿子組，＊少年の部廃止…単・複とも実力日本一

1957（昭和32）年，第10回全日本選手権大会：監督＜横浜市＞，混合複優勝
　選手＝戸田寿子組／石原利通組

1962（昭和37）年，第13回全国高校選手権大会：監督＜高岡市＞，女子単・複優勝
　選手＝高塚淳子・高塚淳子／重政百代組

1966（昭和41）年，第13回全国高校選手権大会：監督＜弘前市＞，女子単優勝
　選手＝湯木博江

1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，一般男子３位・天皇杯総合優勝
　選手団＝毛利清志・前田俊一・石原利通
　＊一般女子・高校女子共に２位（皇后杯２位＝１位と同点）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献

1957（昭和32）年，第10回全日本選手権大会＜横浜市＞，30歳単・複（山上）優勝

1958（昭和33）年，第11回全日本選手権大会＜東京市＞，30歳単・複（山上）優勝

1958（昭和33）年，第１回全日本社会人選手権大会＜札幌市＞，30歳単・複（山上）優勝

1959（昭和34）年，第12回全日本選手権大会＜長野市＞，30歳単・複（山上）優勝

1959（昭和34）年，第２回全日本社会人選手権大会＜善通寺市＞，30歳単・複（山上）優勝

1960（昭和35）年，第13回全日本選手権大会＜横浜市＞，30歳単・複（山上）優勝

1960（昭和35）年，第３回全日本社会人選手権大会＜名古屋市＞，30歳単・複（山上）優勝

1961（昭和36）年，昭和35年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，混合複（根岸）優勝
　＊従来の全日本選手権は昭和35年度から「全日本総合選手権大会」に改められることになり，同年度内（昭和36年３月）に開催された。年齢別の種別は全てなくなり，日本協会主催の各種大会の上位ランキング選手のみによる，実力日本一のチャンピオンを決める最高権威の大会となった。

1961（昭和36）年，第４回全日本社会人選手権大会＜倉敷市＞，30歳単・複（山上）優勝

1962（昭和37）年，第５回全日本社会人選手権大会＜熊本市＞，30歳単・複（山上）優勝

1963（昭和38）年，第６回全日本社会人選手権大会＜下関市＞，30歳単優勝

1963（昭和38）年，第２回全日本教職員選手権大会＜桐生市＞，30歳単・複（山上）優勝

1964（昭和39）年，第７回全日本社会人選手権大会＜大宮市＞，30歳単・複（山上）優勝

1964（昭和39）年，第３回全日本教職員選手権大会＜伊勢市＞，30歳単・複（山上）優勝

1965（昭和40）年，第８回全日本社会人選手権大会＜武生市＞，30歳単優勝
1965（昭和40）年，第４回全日本教職員選手権大会＜日田市＞，一般男子団体優勝
選手団＝毛利清志・金尾善六・西崎正明・三宅勝・柳本堯敏
1966（昭和41）年，第９回全日本社会人選手権大会＜長崎市＞，30歳複（山上）優勝
1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
選手団＝毛利清志・金尾善六・山上周之・西崎正明・高田浩二・三宅勝・柳本堯敏
1967（昭和42）年，第10回全日本社会人選手権大会＜釜石市＞，40歳単優勝
1967（昭和42）年，第６回全日本教職員選手権大会＜高岡市＞，40歳単優勝
1968（昭和43）年，第11回全日本社会人選手権大会＜和歌山県湯浅町＞，40歳単・複（山上）優勝
1968（昭和43）年，第７回全日本教職員選手権大会＜大阪市＞，成壮年団体優勝
選手団＝毛利清志・山上周之・渡辺弘美・大月史郎
1968（昭和43）年，第７回全日本教職員選手権大会＜大阪市＞，40歳単・複（山上）優勝
1969（昭和44）年，第12回全日本社会人選手権大会＜鹿児島市＞，30歳複（山上）優勝
1969（昭和44）年，第12回全日本社会人選手権大会＜鹿児島市＞，40歳単・複（山上）優勝
＊この時代は２年代にわたる出場が可能だったので、変則的な３冠獲得となった。
1969（昭和44）年，第８回全日本教職員選手権大会＜上尾市＞，成壮年団体優勝
選手団＝毛利清志・山上周之・西崎正明・正本利幸
1969（昭和44）年，第８回全日本教職員選手権大会＜上尾市＞，40歳単・複（山上）優勝
1970（昭和45）年，第13回全日本社会人選手権大会＜千葉市＞，40歳単・複（山上）優勝
1970（昭和45）年，第９回全日本教職員選手権大会＜岐阜市＞，40歳複（山上）優勝
1971（昭和46）年，第14回全日本社会人選手権大会＜甲府市＞，40歳複（山上）優勝
1971（昭和46）年，第10回全日本教職員選手権大会＜岡山市＞，成壮年団体優勝
選手団＝毛利清志・山上周之・今東幸一・小松貴
1971（昭和46）年，第10回全日本教職員選手権大会＜岡山市＞，40歳単・複（山上）優勝
1973（昭和48）年，第16回全日本社会人選手権大会＜佐賀市＞，40歳単・複（山上）優勝
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，成壮年団体優勝
選手団＝毛利清志・山上周之・西崎正明・今東幸一・小松貴・藤井英雄
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，40歳複（山上）優勝
1974（昭和49）年，第17回全日本社会人選手権大会＜浪岡市＞，40歳単・複（山上）優勝
1974（昭和49）年，第13回全日本教職員選手権大会＜熊本市＞，40歳複（山上）優勝
1976（昭和51）年，第15回全日本教職員選手権大会＜東京都＞，40歳複（西崎）優勝

▷山陽学園赴任後バドミントン部を創設し，40数年間にわたって指導に専念（現在，同学園のコーチ）。自らも選手として活躍しながら，教え子やチームメイトと共に幾多の全国優勝を果たし，全国に“バドミントン岡山”の名を高めた。小柄ながら速いフットワークを生かしたオールラウンドプレーを身上とし，国体20回連続出場を始め各種全国大会で大活躍した。年齢別を含めて通算全国優勝数59回は，わが国最多記録を誇る。また，監督としても12回の全国優勝がある。さらに，全国大会ベスト８以上の入賞数は142回（監督88回・選手54回）があり，長年月にわたる指導者並びに選手としての貴重な足跡を残した。＜手記：「バドミントン人生」・「石田雅子選手大活躍」。記事：「山陽女高，全国Ｖ重ね栄華極める」・「選手育成は心の結びつき」等参照＞

1958（昭和33）年より県協会理事長，翌昭和34年より県高体連専門部委員長。この間，中国地区から選ばれて日本協会や全国高体連専門部の運営に参画。昭和36年より日本協会理事・常務理事。全国高体連専門部常任委員，後年副部長。昭和34年より日本教職員連盟設立発起人，後年，同連盟副会長。1978（昭和53）年度より，県協会副会長に就任し現在に至る。（歴代理事長の項参照）



## 藤沢英子（旧姓吉川）選手

**生年月日：1936（昭和11）年３月29日倉敷市生**

1954（昭和29）年，山陽女子高等学校卒業

〔動機＝中学時代はソフトテニス。高校１年生から入部して取り組む…〕

**《山陽学園在学中～卒業後の戦績》**

1954（昭和29）年，第７回全日本選手権大会＜東京都＞，少女複（大森）優勝

＊岡山県内在住者による本県バドミントン界初の偉業

▷コントロールのよい攻撃力で活躍，ダブルスの後衛としてのプレーは抜群。全国制覇の偉業達成の２年前（昭和27年）に，名人位を獲得した将棋の故大山康晴氏も同郷であり，倉敷市西阿知では二人の日本一誕生の話題に沸いたとのことであった。1981（昭和56）年に大阪府交野市家庭婦人クラブを結成し，代表者として10年間にわたって運営指導した。＜手記：「思い出」参照＞



## 大森嘉美選手

**生年月日：1937（昭和12）年３月30日岡山市生**

1955（昭和30）年，山陽女子高等学校卒業

1955（昭和30）年，東海ゴム工業㈱入社～現在

〔動機＝姉の影響で，中学１年生から山陽学園で部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中～東海ゴム在職中の戦績》**

1954（昭和29）年，第７回全日本選手権大会＜東京都＞，少女複（吉川）優勝

＊岡山県内在住者による本県バドミントン界初の偉業

▷ダブルスの前衛が得意。全国優勝は１回だが，国体高校女子準優勝を始め，全国大会ベスト８以上に計10回入っている。1975（昭和50）年頃より，愛知県小牧市家庭婦人クラブを10数年間指導した。



## 山上周之監督・選手

**生年月日：1923（大正12）年５月13日岡山市生**

1941（昭和16）年，岡山県立倉敷商業学校（現倉敷商業高校）卒業

1943（昭和18）年，応召（中部第80部隊）

1945（昭和20）年，岡山県食料営団に入所

1952（昭和27）年，大久保食品工場に転任

1960（昭和35）年，山陽学園に転任（後年事務長）～1987（昭和62）年退職

〔＊1991（平成３）年11月27日逝去，享年68歳〕

〔動機＝元ソフトテニス選手，岡山県のバドミントン草創期に県内の普及指導に尽力しながら，バドミントンに転向…〕

**《大久保食品～山陽学園在職中の戦績》**

1955（昭和30）年，第10回国民体育大会：監督＜横浜市＞，高校女子優勝＜皇后杯総合優勝＞
選手団＝権田節子・友野文子・三宅基子　＊一般女子も５位で皇后杯総合優勝に貢献

1957（昭和32）年，第10回全日本選手権大会＜横浜市＞，30歳複（毛利）優勝

1958（昭和33）年，第11回全日本選手権大会＜東京都＞，30歳複（毛利）優勝

1958（昭和33）年，第１回全日本社会人選手権大会＜札幌市＞，30歳複（毛利）優勝

1959（昭和34）年，第12回全日本選手権大会＜長野市＞，30歳複（毛利）優勝

1959（昭和34）年，第２回全日本社会人選手権大会＜善通寺市＞，30歳複（毛利）優勝

1960（昭和35）年，第13回全日本選手権大会＜横浜市＞，30歳複（毛利）優勝

1960（昭和35）年，第３回全日本社会人選手権大会＜名古屋市＞，30歳複（毛利）優勝

1961（昭和36）年，第４回全日本社会人選手権大会＜倉敷市＞，30歳複（毛利）優勝

1962（昭和37）年，第５回全日本社会人選手権大会＜熊本市＞，30歳複（毛利）優勝

1963（昭和38）年，第２回全日本教職員選手権大会＜桐生市＞，30歳複（毛利）優勝

1964（昭和39）年，第７回全日本社会人選手権大会＜大宮市＞，40歳複（伊藤＝熊本）優勝

1964（昭和39）年，第３回全日本教職員選手権大会＜伊勢市＞，30歳複（毛利）優勝

1965（昭和40）年，第８回全日本社会人選手権大会＜武生市＞，40歳複（権田＝東京）優勝

1966（昭和41）年，第９回全日本社会人選手権大会＜長崎市＞，30歳複（毛利）優勝

1966（昭和41）年，第９回全日本社会人選手権大会＜長崎市＞，40歳複（伊藤＝熊本）優勝
1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
選手団＝山上周之・金尾善六・毛利清志・西崎正明・高田浩二・三宅勝・柳本堯敏
1967（昭和42）年，第６回全日本教職員選手権大会＜高岡市＞，40歳複（伊藤＝熊本）優勝
1968（昭和43）年，第11回全日本社会人選手権大会＜和歌山県湯浅町＞，40歳複（毛利）優勝
1968（昭和43）年，第７回全日本教職員選手権大会＜大阪市＞，成壮年団体優勝
選手団＝山上周之・毛利清志・渡辺弘美・大月史郎
1968（昭和43）年，第７回全日本教職員選手権大会＜大阪市＞，40歳複（毛利）優勝
1969（昭和44）年，第12回全日本社会人選手権大会＜鹿児島市＞，30歳複（毛利）優勝
1969（昭和44）年，第12回全日本社会人選手権大会＜鹿児島市＞，40歳複（毛利）優勝
＊この時代までは２年代にわたる出場が認められていたので変速的な２冠獲得が数回ある。
1969（昭和44）年，第８回全日本教職員選手権大会＜上尾市＞，成壮年団体優勝
選手団＝山上周之・毛利清志・西崎正明・正本利幸
1969（昭和44）年，第８回全日本教職員選手権大会＜上尾市＞，40歳複（毛利）優勝
1970（昭和45）年，第13回全日本社会人選手権大会＜千葉市＞，40歳複（毛利）優勝
1970（昭和45）年，第９回全日本教職員選手権大会＜岐阜市＞，40歳複（毛利）優勝
1971（昭和46）年，第14回全日本社会人選手権大会＜甲府市＞，40歳複（毛利）優勝
1971（昭和46）年，第10回全日本教職員選手権大会＜岡山市＞，成壮年団体優勝
選手団＝山上周之・毛利清志・今東幸一・小松貴
1971（昭和46）年，第10回全日本教職員選手権大会＜岡山市＞，40歳複（毛利）優勝
1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，成壮年団体優勝
選手団＝山上周之・西崎正明・今東幸一・小松貴・藤井英雄
1973（昭和48）年，第16回全日本社会人選手権大会＜佐賀市＞，40歳複（毛利）優勝
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，成壮年団体優勝
選手団＝山上周之・毛利清志・西崎正明・今東幸一・小松貴・藤井英雄
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，40歳複（毛利）優勝
1974（昭和49）年，第17回全日本社会人選手権大会＜浪岡市＞，40歳複（毛利）優勝
1974（昭和49）年，第13回全日本教職員選手権大会＜熊本市＞，40歳複（毛利）優勝

▷長身でやや細身のサウスポー，ダブルス前衛の名手として年齢別の各種大会において合計36回の全国優勝を果たし，全国屈指の記録を残した。さらに，全国大会での２位からベスト８までの戦績が67回（監督47・選手20）もあり，国体の監督としても18年間にわたって好成績を残した。

1947（昭和22）年岡山県にバドミントンが導入され，その翌年県協会が設立されるまでの間と，設立後も数年間にわたって，県内各地での普及，育成指導に尽力した事情通であり，県バドミントン界の発展に陰の力を注いだ功労者の一人でもある。1958（昭和33）年より常務理事（庶務・会計20年間）として県協会の台所を一手に引受け，当時の毛利理事長とのコンビでゆるぎない支部協会を確立し，全国に“バドミントン岡山”の名を高めた。1978（昭和53）年度より相談役の一人として県協会参与に就任していたが，1991（平成３）年11月，不幸にして68歳で逝去した。



## 岡下文子（旧姓友野）選手

**生年月日：1937（昭和12）年６月21日岡山市生**

1956（昭和31）年，山陽女子高等学校卒業

〔動機＝14歳，中学３年生から山陽学園で部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中～卒業後の戦績》**

1955（昭和30）年，第８回全日本選手権大会＜高松市＞，少女単優勝

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝

選手団＝友野文子・権田節子・光本政子・小林桂子・三宅基子・戸田寿子・守安昭子

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，複（権田）優勝

1955（昭和30）年，第10回国民体育大会＜横浜市＞，高校女子優勝・皇后杯総合優勝

選手団＝友野文子・権田節子・三宅基子　＊一般女子も５位で皇后杯総合優勝に貢献

1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，一般女子２位・天皇杯総合優勝

選手団＝友野文子・権田節子・光本政子

＊一般男子３位，高校女子２位（皇后杯も２位）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献

▷個性の強さを前面に出してのファイトあふれるオールラウンドプレーで頑張った。上記全国優勝以外に全国大会ベスト８以上に９回入っている。



## 相賀節子（旧姓権田）選手

**生年月日：1937（昭和12）年５月12日岡山市生**

1956（昭和31）年，山陽女子高等学校卒業

1956（昭和31）年，岡山市役所赴任

〔＊1993（平成５）年１月25日逝去，享年57歳〕

〔動機＝15歳，高校１年生から山陽学園で部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中～岡山市役所在職中の戦績》**

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝
　　選手団＝権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・三宅基子・戸田寿子・守安昭子
1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，複（友野）優勝
1955（昭和30）年，第10回国民体育大会＜横浜市＞，高校女子優勝・皇后杯総合優勝
　　選手団＝権田節子・友野文子・三宅基子　＊一般女子も５位で皇后杯総合優勝に貢献
1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，一般女子２位・天皇杯総合優勝
　　選手団＝権田節子・友野文子・光本政子
　　＊一般男子３位・高校女子２位（皇后杯も２位）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献
1957（昭和32）年，第６回全日本実業団選手権大会＜高松市＞，団体優勝
　　選手団＝権田節子・光本政子
▷左利き特有の切れ味のよいショットで，初の実力日本一獲得を始め多数の全国優勝を果たした。全国優勝以外に，全国大会ベスト８以上は18回を数え，全国に名を高めた。



## 光本政子選手

**生年月日：1938（昭和13）年４月１日岡山市生**

1956（昭和31）年，山陽女子高等学校卒業
1956（昭和31）年，岡山市役所赴任～1993（平成５）年退職
〔動機＝15歳，高校１年生から山陽学園で部活動を始める…〕
**《山陽学園在学中～岡山市役所在職中の戦績》**
1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝
　　選手団＝権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・三宅基子・戸田寿子・守安昭子
1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，一般女子２位・天皇杯総合優勝
　　選手団＝光本政子・友野文子・権田節子
　　＊一般男子３位・高校女子２位（皇后杯も２位）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献
1957（昭和32）年，第６回全日本実業団選手権大会＜高松市＞，団体優勝
　　選手団＝光本政子・権田節子
▷小柄だが粘っこく食らいつく根性を発揮し，全日本実業団でも権田選手とのコンビで岡山県初の優勝を飾った。上記優勝以外に，団体の天皇・皇后両杯を含めてのベスト８以上は19回を数え，岡山市役所チームでの長い選手生活を充実させた。



## 小林桂子選手

**生年月日：1938（昭和13）年５月24日岡山市生**

1957（昭和32）年，山陽女子高等学校卒業
1957（昭和32）年，岡山市役所赴任～1958（昭和33）年退職
1965（昭和40）年，団体職員（ＪＲ関係）赴任～1983（昭和58）年退職
1984（昭和59）年，岡山理科大学（事務）赴任～現在
〔動機＝13歳，山陽学園で中学１年生から部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中～岡山市役所在職中～同退職後の戦績》**

1955（昭和30）年，第８回全日本選手権大会＜高松市＞，少女複（三宅）優勝
1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝
　選手団＝小林桂子・権田節子・友野文子・光本政子・三宅基子・戸田寿子・守安昭子
1956（昭和31）年，第９回全日本選手権大会＜東京都＞，一般女子複（戸田）優勝
1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，高校女子２位・天皇杯総合優勝
　選手団＝小林桂子・戸田寿子・根岸純
　＊一般男子３位・一般女子２位（皇后杯も２位）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献

▷ダブルスが得意，誰と組んでもパートナーの特徴を生かす頭脳的プレーで活躍した。全国大会での活躍は前記の外に，国体の天皇杯・皇后杯を含めて合計21回もベスト８以上に入っており，特にインターハイでの通算２位２回・３位２回・４位１回。卒業後の国体２位２回・３位２回・実業団の２位等が安定した実力のあかしといえる。



## 三宅基子選手

**生年月日：1938（昭和13）年11月23日岡山市生**

1956（昭和31）年，山陽女子高等学校第２学年終了
1958（昭和33）年，㈱谷野帳簿工業所入社～現在

1965（昭和40）年，草月流いけ花師範～現在

〔動機＝13歳，中学１年生から山陽学園で部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中の戦績》**

1955（昭和30）年，第８回全日本選手権大会＜高松市＞，少女複（小林）優勝

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝

選手団＝三宅基子・権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・戸田寿子・守安昭子

1955（昭和30）年，第10回国民体育大会＜横浜市＞，高校女子優勝・皇后杯総合優勝

選手団＝三宅基子・権田節子・友野文子　＊一般女子も５位で皇后杯総合優勝に貢献

▷柔軟性を生かして意表を突くプレーを得意とし，高校２年生で３回の全国制覇を遂げた。全国大会では前記以外に，わずか２年間で通算11回もベスト８以上に入った。



## 増田寿子（旧姓戸田）選手

**生年月日：1939（昭和14）年４月１日倉敷市生**

1957（昭和32）年，山陽女子高等学校卒業

〔動機＝13歳，中学１年生から山陽学園で部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中の戦績》**

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝

選手団＝戸田寿子・権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・三宅基子・守安昭子

1956（昭和31）年，第９回全日本選手権大会＜東京都＞，一般女子複（小林）優勝

1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，高校女子２位・天皇杯総合優勝

選手団＝戸田寿子・小林桂子・根岸純

＊一般男子３位・一般女子２位（皇后杯も２位）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献

1956（昭和31）年，第10回全日本選手権大会＜横浜市＞，混合複（石原）優勝

▷小柄だが敏捷性に優れ，抜群の速いフットワークで単・複・混合複の３種目に活躍した。全国大会での活躍は前記優勝の外に，ベスト８以上８回がある。



## 片山昭子（旧姓守安）選手

**生年月日：1938（昭和13）年９月１日岡山市生**

1957（昭和32）年，山陽女子高等学校卒業

1957（昭和32）年，㈱三共洋行入社～1961（昭和36）年退職

〔動機＝15歳，高校１年生から山陽学園で部活動を始める…〕

**《山陽学園在学中の戦績》**

1955（昭和30）年，第６回全国高校選手権大会＜神戸市＞，団体優勝

選手団＝守安昭子・権田節子・友野文子・光本政子・小林桂子・三宅基子・戸田寿子



## 永井　正監督

**生年月日：1907（明治40）年７月17日倉敷市生**

1929（昭和４）年，日本体操学校（現日本体育大学）卒業

1929（昭和４）年～1939（昭和14）年，県内各地区小学校代用教員

1940（昭和15）年，岡山県立岡山工業学校（現岡山工業高校）赴任

1941（昭和16）年，岡山県立琴浦商業学校（現琴浦商業高校）転任

1944（昭和19）年，岡山県立倉敷工業学校（現倉敷工業高校）転任

1949（昭和24）年，岡山県立岡山工業高等学校転任～1966（昭和41）年退職

〔＊1996（平成８）年１月26日逝去，享年89歳〕

**《岡山工業高校在職中の戦績》**

1956（昭和31）年，第11回国民体育大会：男子監督＜神戸市＞，一般男子３位・天皇杯総合優勝

選手団＝毛利清志・前田俊一・石原利通

＊一般女子２位・高校女子２位（皇后杯総合２位）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献

1952（昭和27）年～1957（昭和32）年，県協会理事長に就任（歴代理事長の項参照）



## 金尾善六監督・選手

**生年月日：1922（大正12）年５月19日小田郡美星町生**

1943（昭和18）年，日本体操学校（現日本体育大学）卒業
1943（昭和18）年～1946（昭和21）年，応召（終戦後，捕虜生活～引き揚げ）
1950（昭和25）年，岡山県立井原高等学校赴任～1984（昭和59）年退職
〔動機＝28歳，井原高校赴任と同時に部の顧問になったので取り組んだ…〕

**《井原高等学校在職中の戦績》**

1956（昭和31）年，第11回国民体育大会：女子監督＜神戸市＞，天皇杯総合優勝
　一般女子選手団＝権田節子・友野文子・光本政子，２位
　高校女子選手団＝小林桂子・戸田寿子・根岸純，２位
　＊一般男子３位・皇后杯も２位に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献
1965（昭和40）年，第４回全日本教職員選手権大会＜日田市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝金尾善六・毛利清志・西崎正明・三宅勝・柳本堯敏
1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝金尾善六・山上周之・毛利清志・西崎正明・高田浩二・三宅勝・柳本堯敏

▷県内バドミントン草創期に，高校界で倉敷地区数校とともに，いち早く部を創設した井原高の指導者。岡山県初参加の第２回インターハイに，倉敷青陵高と並んで女子チームの出場を果たした。当時の教え子が，京都女子大でバドミントン部を創設してインカレの団体や個人を制し，岡山県関係者による初の全国優勝を遂げた。同選手は国体の監督としても手腕を発揮し，前記を含めてベスト８以上は計７回に上る。



## 前田俊一選手

**生年月日：1934（昭和９）年６月３日総社市生**

1953（昭和28）年，岡山県立倉敷工業高等学校卒業
1954（昭和29）年，㈱徳山電機入社～1959（昭和34）年退職

1959（昭和34）年，丸菱商事㈱転任～1971（昭和46）年退職
1971（昭和46）年，㈱エメロード設立，同社長～現在
〔動機＝15歳，倉敷工業高校２年生の時，野球部からバドミントンに転向し，入部して取り組む…〕
**《徳山電機～丸菱商事在職中の戦績》**
1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，一般男子３位・天皇杯総合優勝
　選手団＝前田俊一・毛利清志・石原利通
　＊一般女子・高校女子共に２位（皇后杯２位＝１位と同点）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献
1965（昭和40）年，第14回全日本実業団選手権大会＜松山市＞，30歳単優勝
▷人一倍練習に打ち込む熱血漢，昭和20年代後半から30年代にかけて，毛利・石原両選手とのトリオで県バドミントン界をリードした。国体は６回出場し，前記の外に一般男子で５位，天皇杯総合も４位・６位の入賞がある。一方，現役時代は山陽学園のコーチとして部員の競技力向上に貢献し，当時の毛利顧問を大きく支援した。



## 金平恭子（旧姓塚村）選手

**生年月日：1937（昭和12）年７月17日井原市生**

1956（昭和31）年，岡山県立井原高等学校卒業
1958（昭和33）年，京都女子大学卒業（２年課程）
〔動機＝15歳，井原高校１年生から部活動を始める…〕
※昭和25年に第１回全日本学生選手権（個人戦）が開催され，翌26年に第１回全日本大学選手権（団体戦）が，第２回全日本学生選手権と併催された経緯がある。しかし，現代は回は昭和25年から起算，大会名は大学・学生選手権に統一されている。（以下，現代形式で記載）
**《京都女子大在学中の戦績》**
1956（昭和31）年，第７回全日本大学学生選手権大会＜東京都＞，団体優勝
　選手団＝塚村恭子・石浜絢子他
1957（昭和32）年，第８回全日本大学学生選手権大会＜高松市＞，団体優勝
　選手団＝塚村恭子・石浜絢子・良倉邦子他
▷井原高より京都女子大に進学，松山（現姓平方）先輩に続いて，インカレ団体戦の２回目，３回目の優勝にチームの中心として貢献した。さらに当時，第５・６回の全日本学生東西対抗の西軍代表に選ばれて活躍（西軍優勝）した。インカレでは団体優勝の他に，単複に２位と３位がそれぞれ２回ある。



## 内田絢子（旧姓石浜）選手

**生年月日：1938（昭和13）年３月31日坂出市生**

1956（昭和31）年，香川県立坂出高等学校卒業
1958（昭和33）年，京都女子大学卒業（２年課程）
1958（昭和33）年～1961（昭和36）年，高松市内私立幼稚園勤務
1961（昭和36）年～1973（昭和48）年，玉野市内公立保育園（４園）転任
1973（昭和48）年，玉野市心身障害児通園施設「わかえの園」転任～現在
〔動機＝15歳，坂出高校１年生から部活動を始める…〕

**《坂出高校～京都女子大在学中の戦績》**

1954（昭和29）年，第５回全国高校選手権大会＜金沢市＞，団体優勝
　　選手団＝石浜絢子他
1956（昭和31）年，第７回全日本大学学生選手権大会＜東京都＞，団体優勝
　　選手団＝石浜絢子・塚村恭子他
1957（昭和32）年，第８回全日本大学学生選手権大会＜高松市＞，団体優勝
　　選手団＝石浜絢子・塚村恭子・良倉邦子他

▷サウスポー，京都女子大時代にインカレの団体２連覇に大きく貢献。さらに当時，第５回・第６回の全日本学生東西対抗の西軍優勝にも尽力した。上記の外に，インカレ単４位・６位，同複３位がある。内田選手は香川県坂出市の出身で結婚後県内玉野市に在住し，県内外の家庭婦人大会でも活躍してきた。1981（昭和56）年より県協会家庭婦人部副部長２年間，昭和58年より同部長13年間を経て，1996（平成８）年度から県家庭婦人連盟理事長に就任し，現在に至る。



## 石原利通選手

**生年月日：1936（昭和11）年８月３０日岡山市生**

1955（昭和30）年，岡山県立西大寺高等学校卒業

1955（昭和30）年，岡山市役所赴任～1983（昭和58）年退職
1983（昭和58）年，コーシンボウル入社～1993（平成４）年退職～現在
〔動機＝17歳，西大寺高校２年生から部活動を始める…〕
**《岡山市役所在職中の戦績》**
1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，一般男子３位・天皇杯総合優勝
選手団＝石原利通・毛利清志・前田俊一
＊一般女子・高校女子共に２位（皇后杯２位＝１位と同点）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献
1957（昭和32）年，第10回全日本選手権大会＜横浜市＞，混合複（戸田）優勝
▷スタミナに自信をもつドロップショットとヘアーピン得意の技巧派，昭和30年代前半，毛利・前田両選手とのトリオで岡山県男子界を引っ張った。上記の外に，全国大会ベスト８以上合計11回がある。現役時代，コーチとして山陽女子高，同ＯＧのレベルアップにも貢献した。



## 伊達　純（旧姓根岸）選手

**生年月日：1941（昭和16）年２年19日岡山市生**

1959（昭和34）年，山陽女子高等学校卒業
1959（昭和34）年，岡山市役所赴任～1965（昭和40）年退職
〔動機＝12歳，生後初めてバドミントンに出会って魅力を感じ，山陽女子中学校で入部…〕
**《山陽学園在学中～岡山市役所在職中の戦績》**
1956（昭和31）年，第11回国民体育大会＜神戸市＞，高校女子２位，天皇杯総合優勝
選手団＝根岸純・小林桂子・戸田寿子
＊一般男子３位・一般女子２位（皇后杯２位＝１位と同点）に入賞し，天皇杯総合優勝に貢献
1961（昭和36）年，第10回全日本総合選手権大会＜東京都＞，混合複（毛利）優勝
▷ダブルス，特にミックスダブルスの前衛が得意。優勝は２回だが，各種全国大会での準優勝６回を含めてベスト８以上の戦績が37回もあり，長い年月にわたるめざましい活躍の跡を偲ばせる。
＜手記：「初めての国体＝第11回兵庫国体」参照＞



## 崎本幸三郎監督・選手

**生年月日：1910（明治45）年５月２日岡山市生**

1946（昭和21）年，岡山市役所赴任～1970（昭和45）年退職

〔＊1992（平成４）年８月24日逝去，享年81歳〕

〔動機＝元ソフトテニス，昭和30年頃から魅力を感じて転向…〕

**《岡山市役所在職中の戦績》**

1957（昭和32）年，第６回全日本実業団選手権大会：監督＜高松市＞，女子団体優勝

選手団＝権田節子・光田政子

▷選手としては，全日本選手権50歳代複２位・単４位がある。



## 良倉邦子選手

**生年月日：1939（昭和14）年３月13日井原市生**

1957（昭和32）年，岡山県立井原高等学校卒業

1959（昭和34）年，京都女子大学卒業（２年課程）

〔動機＝15歳，井原高校１年生から部活動を始める…〕

**《京都女子大在学中の戦績》**

1957（昭和32）年，第８回全日本大学学生選手権大会＜高松市＞，団体優勝

選手団＝良倉邦子・塚村恭子・石浜絢子他

▷松山（現姓平方），塚村（現姓金平）両先輩に続いて井原高校から京都女子大へ３人目の進学。関西学生選手権の単複優勝をステップとして，インカレでは，塚村・石浜両先輩たちとのチームで，団体戦３回目の優勝に貢献した。なお，1957（昭和32）年の第７回全日本学生東西対抗の西軍代表にも選ばれて頑張った（西軍優勝）。上記の外，インカレ団体３位・単２位・複２位の実績がある。



## 一村艶子（旧姓大橋）選手

**生年月日：1935（昭和10）年７月５日児島郡生**

1954（昭和29）年，岡山県立玉野高等学校卒業
1958（昭和33）年，岡山大学卒業
1958（昭和33）年，岡山県上房郡呰部小学校を振出しに，玉野市・岡山市等の小・中学校歴任
1991（平成３）年，岡山市鯉山小学校教頭に就任～1996（平成８）年退職
〔動機＝13歳，山陽女子中学校時代に入部して毛利先生に教わる…〕

**《岡山大在学中の戦績》**

1957（昭和32）年，第８回全日本大学学生選手権大会＜高松市＞，複（草野）優勝
▷岡山大学にとって貴重な初の全国制覇を果たした。同年，全日本学生東西対抗の西軍代表に選ばれて活躍した（西軍優勝）。1978（昭和53）年，岡山県と岡山市の両小体連女子専門部長に就任～1996（平成８）年退任。＜手記：①「インカレ優勝戦の思い出」・②「バドミントンと私」参照＞



## 中村千栄子（旧姓草野）選手

**生年月日：1935（昭和10）年５月５日大阪市生**

1954（昭和29）年，岡山県立岡山朝日高等学校卒業
1958（昭和33）年，岡山大学卒業
1958（昭和33）年，岡山市雄神小学校赴任
1959（昭和34）年，岡山市山南中学校転任～1960（昭和35）年退職
1977（昭和52）年，神戸市上高丸小学校ＰＴＡ副会長に就任～1978（昭和53）年退任
〔動機＝18歳，岡大入学時，最後の学生生活で何かスポーツをと思って入部…〕

**《岡山大在学中の戦績》**

1957（昭和32）年，第８回全日本大学学生選手権大会＜高松市＞，複（大橋）優勝
▷大橋選手とのコンビで岡大初の全国制覇を達成。同年，全日本学生東西対抗の西軍代表にも選ばれ

て活躍した（西軍優勝）。



## 伊藤百代（旧姓重政）選手

**生年月日：1944（昭和19）年６月18日岡山市生**

1963（昭和38）年，山陽女子高等学校卒業
1963（昭和38）年，㈱クラレ岡山入社～1966（昭和41）年退社
〔動機＝13歳，自分の力を試したくて，山陽女子中学校より入部…〕
**《山陽学園在学中～クラレ岡山在職中の戦績》**
1962（昭和37）年，第13回全国高校選手権大会＜高岡市＞，複（高塚）優勝
▷ダブルスの前衛が得意。相手の裏をかく抜群のクロスネットで，パートナーの強打を引き出すプレーで活躍した。高校時代の国体３位（天皇杯も３位）を含め，全国大会ベスト８以上計16回の戦績を残している。



## 元島淳子（旧姓高塚）選手

**生年月日：1944（昭和19）年11月23日岡山市生**

1963（昭和38）年，山陽女子高等学校卒業
1967（昭和42）年，熊本女子大学卒業
〔動機＝13歳，上背があったので，山陽女子中学校より入部…〕
**《山陽学園・熊本女子大在学中の戦績》**
1962（昭和37）年，第13回全国高校選手権大会＜高岡市＞，単優勝
1962（昭和37）年，第13回全国高校選手権大会＜高岡市＞，複（重政）優勝
▷コツコツと陰の努力を惜しまない好プレーヤー，長身からの破壊力あるスマッシュで活躍した。熊本女子大時代に西日本学生で単１回・複２回の優勝を始め，各種全国大会におけるベスト８以上の戦績は合計18回もあり，ナショナルチーム入りを果たした。＜国際大会参加の記録の項参照＞



## 社　竹三選手

**生年月日：1913（大正３）年11月23日赤磐郡山陽町生**

1939（昭和14）年，南満州鉄道㈱入社

1944（昭和19）年，岡山市役所転任～1972（昭和47）年退職

〔動機＝元ソフトテニス，37歳から山陽学園の毛利先生に教わって取り組む…〕

**《岡山市役所在職中の戦績》**

1965（昭和40）年，第８回全日本社会人選手権大会＜武生市＞，50歳複（小梶）優勝

1966（昭和41）年，第９回全日本社会人選手権大会＜長崎市＞，50歳複（小梶）優勝

1968（昭和43）年，第11回全日本社会人選手権大会＜和歌山県湯浅町＞，50歳複（伊藤＝熊本）優勝

1969（昭和44）年，第12回全日本社会人選手権大会＜鹿児島市＞，50歳複（伊藤＝熊本）優勝

▷上記優勝の外に，全日本社会人，同実業団等での年齢別個人戦のベスト４入りが計12回ある。1962（昭和37）年より日本実業団連盟理事10年間，その間県協会理事。ソフトテニス界では1986（昭和61）年より山陽町・岡山五月会・赤磐郡支部等の会長，県壮年会副会長に就任し現在に至る。



## 小梶繁雄選手

**生年月日：1911（大正元）年12月16日岡山市生**

昭和初期より，建築業～㈱岡山交通～応召・軍属＝㈱中華蚕糸勤務。上海を振出しに中国各地を転勤中の1945（昭和20）年，第二次大戦終戦～退職～引き揚げ。

1946（昭和21）年，岡山市役所赴任～1970（昭和45）退職

〔＊1984（昭和59）年12月６日逝去，享年73歳〕

〔動機＝元ソフトテニス，昭和30年頃からバドミントンに転向…〕

**《岡山市役所在職中の戦績》**

1965（昭和40）年，第８回全日本社会人選手権大会＜武生市＞，50歳複（社）優勝

1966（昭和41）年，第９回全日本社会人選手権大会＜長崎市＞，50歳複（社）優勝

▷上記優勝の外に，全日本社会人，同実業団等での年齢別個人戦のベスト４入りが計５回ある。



## 西崎正明選手

**生年月日：1931（昭和６）年１月８日ソウル市生**

1950（昭和25）年，岡山県立倉敷天城高等学校卒業
1954（昭和29）年，岡山大学卒業
1954（昭和29）年，東京都世田谷区京西小学校赴任
1957（昭和32）年，岡山市丸の内中学校転任
1967（昭和42）年，岡山市岡北中学校転任
1968（昭和43）年，岡山県教育委員会保健体育課転任
1979（昭和54）年，岡山市福田中学校転任（教頭）
1981（昭和56）年，インド，カルカッタ日本人学校転任（校長）
1984（昭和59）年，岡山市藤田中学校転任（校長）
1986（昭和61）年，岡山市高松中学校転任（校長）
1988（昭和63）年，ドイツ、フランクフルト日本人国際学校転任（校長）～1991（平成３）年退職
1991（平成３）年，岡山女子短期大学講師赴任～1993（平成５）年退職
1994（平成６）年，順正短期大学講師赴任～現在
1996（平成８）年，山陽学園短期大学講師赴任～現在
〔＊1996（平成８）年７月13日逝去，享年66歳〕

〔動機＝岡山大学の学生時代に初めてバドミントンに出会う。すでに取り組んでいたハンドボールと両方に挑戦…〕

**《岡山市内中学校・県保健体育課在職中～現在の戦績》**

1965（昭和40）年，第４回全日本教職員選手権大会＜日田市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝西崎正明・金尾善六・毛利清志・三宅勝・柳本堯敏
1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝西崎正明・金尾善六・山上周之・毛利清志・高田浩二・三宅勝・柳本堯敏
1969（昭和44）年，第８回全日本教職員選手権大会＜上尾市＞，成壮年団体優勝
　選手団＝西崎正明・山上周之・毛利清志・正本利幸
1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，成壮年団体優勝
　選手団＝西崎正明・山上周之・今東幸一・小松貴・藤井英雄
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，成壮年団体優勝
　選手団＝西崎正明・山上周之・毛利清志・今東幸一・小松貴・藤井英雄
1976（昭和51）年，第15回全日本教職員選手権大会＜東京都＞，40歳複（毛利）優勝

▷ダブルスの前衛としてパートナーを生かすプレーが得意。国体に10回出場（内監督４）し，教員の種別で４位１回，５位４回がある。岡山国体ではバドミントン競技の選手宣誓をつとめた。全日本教員大会では前記優勝の外にベスト８以上24回がある。県協会理事を経て，1991（平成３）年度より同副会長と県教職員連盟会長に就任していたが，平成８年７月13日不幸にして66歳で逝去した。



## 瀬戸　勝（旧姓三宅）選手

**生年月日：1943（昭和18）年２月25日倉敷市生**

1961（昭和36）年，岡山県立倉敷青陵高等学校卒業
1965（昭和40）年，日本体育大学卒業
1965（昭和40）年，岡山大安寺高等学校赴任
1966（昭和41）年，成羽高等学校転任
1972（昭和47）年，水島工業高等学校転任
1986（昭和61）年，倉敷中央高等学校転任～現在
〔動機＝16歳，倉敷青陵高校１年生から部活動を始める…〕

**《岡山県内高等学校在職中の戦績》**

1965（昭和40）年，第４回全日本教職員選手権大会＜日田市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝三宅勝・金尾善六・毛利清志・西崎正明・柳本堯敏
1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝三宅勝・金尾善六・山上周之・毛利清志・西崎正明・高田浩二・柳本堯敏
1970（昭和45）年，第９回全日本教職員選手権大会＜岐阜市＞，一般男子複（柳本）優勝

▷成羽高校勤務時代に，放課後列車で岡山市の山陽学園まで通った練習熱心な努力家。気配りの行き届くデリケートな神経の反面，ダイナミックなプレーで昭和40年代に岡山教員の牽引車として全国的に活躍した。全国大会では前記優勝の外に，全日本教職員選手権大会混合複２位等を含めて，ベスト８以上が通算22回あり，特に国体に17回連続（主に教員）出場し，２位，３位３回，４位，５位６回。天皇杯総合も３位，６位，７位と多数の入賞を果たした。一方，監督としては，昭和52年の地元インターハイで，教え子（水島工高）が団体と個人単でベスト８に入り，昭和59年の奈良国体では少年男子を４位（天皇杯も４位）入賞に導いた。

県高体連専門部委員を経て1978（昭和53）年より同委員長を16年間。1988（昭和63）年より６年間県協会副理事長を兼務，1994（平成６）年度より県協会参与に就任し現在に至る。



## 柳本堯敏選手

**生年月日：1943（昭和18）年２月１日後月郡芳井町生**

1961（昭和36）年，岡山県立井原高等学校卒業
1965（昭和40）年，岡山大学卒業
1965（昭和40）年，児島郡東児町立東児中学校赴任
1966（昭和41）年，岡山市立藤田中学校転任
1971（昭和46）年，岡山市立旭東中学校転任
1980（昭和55）年，岡山市立芳泉中学校転任
1994（平成６）年，岡山市立少年自然の家転任～平成８年同所長～現在
〔動機＝高校の授業で興味をもつ，岡大で友人に誘われ，マイナー競技にやりがいを感じて入部…〕

**《岡山県内中学校在職中の戦績》**

1965（昭和40）年，第４回全日本教職員選手権大会＜日田市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝柳本堯敏・金尾善六・毛利清志・西崎正明・三宅勝
1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
　選手団＝柳本堯敏・金尾善六・山上周之・毛利清志・西崎正明・高田浩二・三宅勝
1970（昭和45）年，第９回全日本教職員選手権大会＜岐阜市＞，一般男子複（三宅）優勝

▷ダブルスの名手，主に瀬戸選手のパートナーとして岡山教員チームを引っ張った。上記を含めて国体教員男子代表として10回出場し，２位・３位各３回，４位・５位各３回，天皇杯３位，６位がある。また，全日本教員大会一般男子団体でも２位２回，３位，同複２位，３位３回等のめざましい活躍の跡を残している。

1970（昭和45）年より県中体連専門部第２代理事長６年間。1991（平成３）年より県中体連本部理事長２年間。この間に県協会理事を経て，1994（平成６）年度より同参与に就任し現在に至る。



## 新沼ひろ映（旧姓名湯木博江）選手

**生年月日：1948（昭和23）年11月15日広島県海田市生**

＊25歳～博恵・38歳～新沼ひろ映に改名
1967（昭和42）年，山陽女子高等学校卒業
1971（昭和46）年，日本女子体育大学卒業
1971（昭和46）年，㈱河崎ラケット入社～1981（昭和56）年退社
1977（昭和52）年，日本女子体育大学バドミントン部監督～現在
〔動機＝13歳，山陽女子中学校入学時に友人と一緒に入部して取り組む…〕
**《山陽女子高等学校・日本女子体育大学在学中～河崎ラケット在職中の戦績》**
1966（昭和41）年，第17回全国高校選手権大会＜弘前市＞，単優勝
1967（昭和42）年，第18回全日本学生選手権大会＜大阪市＞，団体・単優勝
1968（昭和43）年，第19回全日本学生選手権大会＜名古屋市＞，団体・単・複（硲）優勝
1969（昭和44）年，第20回全日本学生選手権大会＜横浜市＞，団体・単優勝
1969（昭和44）年，昭和44年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単優勝
1970（昭和45）年，第21回全日本学生選手権大会＜大阪市＞，単優勝（４連覇）
1971（昭和46）年，第21回全日本実業団選手権大会＜鹿児島市＞，単・複（鈴木）・混合（堺）優勝
1971（昭和46）年，第14回全日本社会人選手権大会＜甲府市＞，複（高木）優勝
1971（昭和46）年，昭和46年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，複（高木）優勝
1972（昭和47）年，第22回全日本実業団選手権大会＜茂原市＞，単・複（千葉）・混合（堺）優勝
1972（昭和47）年，第15回全日本社会人選手権大会＜四日市市＞，複（高木）優勝
1972（昭和47）年，第27回国民体育大会＜鹿児島市＞，優勝（天皇杯・皇后杯総合優勝）
1972（昭和47）年，昭和47年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単優勝
1973（昭和48）年，第23回全日本実業団選手権大会＜石岡市＞，単・混合（堺）優勝
1973（昭和48）年，第16回全日本社会人選手権大会＜佐賀市＞，単・複（柴山）優勝
1973（昭和48）年，第28回国民体育大会＜茂原市＞，優勝（天皇杯・皇后杯総合優勝）
1973（昭和48）年，昭和48年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単優勝
1974（昭和49）年，チャンピオンズトーナメント＜東京都＞，単優勝
1974（昭和49）年，第24回全日本実業団選手権大会＜松阪市＞，団体・単・混合（堺）優勝
1974（昭和49）年，第17回全日本社会人選手権大会＜青森県浪岡町＞，単・複（池田）優勝
1974（昭和49）年，昭和49年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単・複（池田）優勝
1975（昭和50）年，第25回全日本実業団選手権大会＜高岡市＞，団体・単・複（池田）優勝
1975（昭和50）年，第18回全日本社会人選手権大会＜中野市＞，単・複（池田）優勝
1975（昭和50）年，第30回国民体育大会＜松阪市＞，優勝
1975（昭和50）年，昭和50年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単優勝
1976（昭和51）年，チャンピオンズトーナメント＜東京都＞，単優勝
1976（昭和51）年，第26回全日本実業団選手権大会＜藤沢市＞，単・複（池田）優勝
1976（昭和51）年，第19回全日本社会人選手権大会＜宮崎市＞，単優勝
1976（昭和51）年，第31回国民体育大会＜佐賀県牛津町＞，優勝
1976（昭和51）年，昭和51年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単優勝
1977（昭和52）年，チャンピオンズトーナメント＜東京都＞，単優勝
1977（昭和52）年，第20回全日本社会人選手権大会＜真岡市＞，単優勝

1977（昭和52）年，第32回国民体育大会＜青森県浪岡町＞，優勝
1978（昭和53）年，チャンピオンズトーナメント＜東京都＞，単優勝
1978（昭和53）年，第21回全日本社会人選手権大会＜大津市＞，単優勝
1979（昭和54）年，第22回全日本社会人選手権大会＜松江市＞，単優勝
1979（昭和54）年，第29回全日本実業団選手権大会＜岡山市・倉敷市＞，単優勝
1980（昭和55）年，第30回全日本実業団選手権大会＜新居浜市＞，単優勝
1981（昭和56）年，第２回日本リーグ＜河崎ラケットチーム＞，団体優勝
1981（昭和56）年，第24回全日本社会人選手権大会＜登別市＞，単優勝
1981（昭和56）年，第36回国民体育大会＜大津市＞，優勝
▷中学時代から抜群のセンスでメキメキ上達した逸材。華麗・堅実なオールラウンドプレーヤー，特にバックハンドは国際的にも最高レベル。上記の全国優勝数通算51回はわが国バドミントン有史以来の最多記録である。さらに，準優勝～ベスト８までの通算71回も全国最多記録であるが，これは同選手の選手寿命の長さを物語っている。岡山県と山陽学園が全国に誇る第一人者として，16年間もの長年にわたって全国優勝を果たし続けた。

なお，1978（昭和53）年度に，文部省体育局よりの特別コーチに任命された。

＜手記：「岡山で育ったわたし」。記事：「第５回ユ杯…②『苦杯をプラスに転じたい』」・「メダリスト列伝・アジア大会の郷土勢『湯木初出場で２冠』」・「山陽女高出身の湯木・近藤『よくやった』」・「バドミントンの湯木，日本人初，全英で栄冠」等参照＞



## 大森恵子（旧姓浦口）選手

**生年月日：1948（昭和23）年12月３日岡山市生**

1967（昭和42）年，山陽女子高等学校卒業
1971（昭和46）年，日本女子体育大学卒業
〔動機＝13歳，中学生になったら器械体操部に入ろうと思っていたのに，中１になったとき，友人に誘われてバドミントンに入部…〕

**《日本女子体育大学在学中の戦績》**

1968（昭和43）年，第19回全日本学生選手権大会＜名古屋市＞，団体優勝
1969（昭和44）年，第20回全日本学生選手権大会＜横浜市＞，団体優勝
▷小柄ながら，速いフットワークでのオールラウンドプレーで頑張った。高校時代，湯木選手のパートナーとして活躍。高３のインターハイでは団体・単・複で３個の銀メダルを獲得し，国体も３位入賞を果たした。学生時代に東日本大会複優勝３回，関東教育系大会複優勝・準優勝，単３位等の外に，

インカレ複３位，全日本総合の単４位・５位等を含めて合計19回ベスト８以上に入り，世界女子選手権（ユ杯）のメンバーに選ばれた。＜手記：「思い出５題」。記事：「ユーバー杯…」の③参照＞



## 高田浩二選手

**生年月日：1940（昭和15）年７月１日都窪郡清音村生**

1959（昭和34）年，岡山県立総社高等学校卒業
1963（昭和38）年，岡山大学卒業
1963（昭和38）年，岡山県立久世高等学校赴任
1967（昭和42）年，岡山県立倉敷天城高等学校転任
1979（昭和54）年，岡山県立岡山操山高等学校転任
1991（平成３）年，岡山県立瀬戸高等学校転任（教頭）
1993（平成５）年，岡山県立倉敷古城池高等学校転任（教頭）～現在
〔＊1997（平成９）年11月25日逝去，享年58歳〕
〔動機＝19歳，大学１年生で入部して取り組む…〕

**《久世高等学校在職中の戦績》**

1966（昭和41）年，第５回全日本教職員選手権大会＜札幌市＞，一般男子団体優勝
選手団＝高田浩二・金尾善六・山上周之・毛利清志・西崎正明・三宅勝・柳本堯敏

▷久世高校赴任と同時に部を創設し，顧問として指導を開始した。相次ぐ転任で直接的な指導からは離れたが，県協会理事就任中，1981（昭和56）年度から発足した県家庭婦人部会を担当指導した。



## 大月史郎選手

**生年月日：1932（昭和７）年６月３日津山市生**

1952（昭和27）年，岡山県立津山高等学校卒業
1958（昭和33）年，広島大学卒業

1958（昭和33）年，玉野市立備南高等学校赴任
1962（昭和37）年，岡山県立岡山工業高等学校転任
1964（昭和39）年，岡山県立岡山朝日高等学校転任～1991（平成３）年退職
1991（平成３）年，岡山県立岡山朝日高等学校講師赴任～1992（平成４）年退職
1991（平成３）年，岡山県立岡山城東高等学校講師赴任（１年間岡山朝日高と兼務）～現在
〔動機＝16歳，昭和24年，津山高校１年生の時に同校で県協会の指導講習会があり興味を覚えた。早速同好会を創って取り組みを始めた。高校２年生で部に昇格し初代主将に選ばれた…〕
**《岡山県内高等学校在職中の戦績》**
1968（昭和43）年，第７回全日本教職員選手権大会＜大阪市＞，成壮年団体優勝
選手団＝大月史郎・山上周之・毛利清志・渡辺弘美
▷1949（昭和24）年，県協会の山上周之元参与他１名が津山高校で普及指導講習会を開催したことが契機となり，県北地区のバドミントン活動がスタートした。大月選手は昭和27年，広島大学１年在学中の身で県北協会初代理事長に推され，初の県北大会（高校・一般混成）を開催。昭和32年，広島大学主将，自治会体育委員長に就任。昭和33年，備南高校赴任の年に部を創設し，定時制ながら県高校界で同校を優勝に導いた功績は大きい。さらに，岡山工高転勤後も部の創設を試みたが学校事情で成立しなかった。昭和47年，朝日高校に部を創設し，普通科進学校の厳しい時間規制の中で部活動の指導に頑張り続けた。岡山県北部の普及発展に貢献した貴重な功労者の一人である。



## 渡辺弘美選手

**生年月日：1933（昭和８）年６月20日倉敷市生**

1953（昭和28）年，岡山県立倉敷天城高等学校卒業
1957（昭和32）年，岡山大学卒業
1957（昭和32）年，都窪郡清音小学校赴任
1960（昭和35）年，都窪郡吉備中学校転任
1966（昭和41）年，倉敷市立福田中学校転任
〔＊1972（昭和47）10月４日逝去，享年40歳〕
〔動機＝18歳，岡山大学在学中に部活動を始める…〕
**《岡山県内中学校在職中の戦績》**
1968（昭和43）年，第７回全日本教職員選手権大会＜大阪市＞，成壮年団体優勝
選手団＝渡辺弘美・山上周之・毛利清志・大月史郎
▷1962（昭和37）年の岡山国体直後から，県中体連専門部の設立に中心となって奔走し，県中体連バ

ドミントン部を誕生させた功労者である。1966（昭和41）年，専門部設立と同時に初代理事長に就任し，４年間にわたって普及指導と組織の確立を図りながら，レベルアップにも尽力した。また，国体の教員男子監督として８回出場し，８回とも５位以上の入賞を果たした。そして天皇杯総合も３位２回，４位と７位各１回と活躍したが，昭和47年10月，不幸にも40歳の若さで逝去した。



## 小松　貴選手

**生年月日：1940（昭和15）年８月１日岡山市生**

1959（昭和34）年，岡山県立西大寺高等学校卒業
1959（昭和34）年，㈱大阪合繊入社～1960（昭和35）年退職
1960（昭和35）年，岡山市役所赴任～現在
〔動機＝西大寺高校１年生より入部して取り組む…〕

**《西大寺高等学校在学～大阪合繊・岡山市役所在職中の戦績》**

1971（昭和46）年，第10回全日本教職員選手権大会＜岡山市＞，成壮年団体優勝
　選手団＝小松貴・山上周之・毛利清志・今東幸一
1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，成壮年団体優勝
　選手団＝小松貴・山上周之・西崎正明・今東幸一・藤井英雄
1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，30歳複（藤井）優勝
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，成壮年団体優勝
　選手団＝小松貴・山上周之・毛利清志・西崎正明・今東幸一・藤井英雄

▷インターハイ男子単で岡山県ただ一人のベスト４入り選手。第３回アジア大会（昭和33年＝東京）日本代表の小松康博選手と兄弟で全国的に活躍。大阪在住時代を含めて国体12回参加の内３・５位各１回と，全日本実業団単ベスト８，30単・複３位各１回がある。過去に県協会理事・監事



## 今東幸一選手

**生年月日：1939（昭和14）年２月14日岡山市生**

1957（昭和32）年，岡山県立西大寺高等学校卒業
1957（昭和32）年，西大寺市役所（現岡山市役所）赴任
1994（平成６）年，岡山市立岡山工業高等学校転任～1996（平成８）年退職
〔動機＝15歳，西大寺高校１年生より面白くて楽しそうにみえたので入部…〕
**《岡山市役所在職中の戦績》**
1971（昭和46）年，第10回全日本教職員選手権大会＜岡山市＞，成壮年団体優勝
　　選手団＝今東幸一・山上周之・毛利清志・小松貴
1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，成壮年団体優勝
　　選手団＝今東幸一・山上周之・西崎正明・小松貴
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，成壮年団体優勝
　　選手団＝今東幸一・山上周之・毛利清志・西崎正明・小松貴・藤井英雄
▷地味だが堅実なプレーで活躍。上記全国優勝の外に，全日本社会人一般複でベスト８の戦績が残っている。＜手記：「ジンクス」参照＞



## 斉藤敏行選手

**生年月日：1952（昭和27）年２月18日岡山市生**

1970（昭和45）年，岡山県立倉敷工業高等学校卒業
1976（昭和51）年，法政大学卒業
1976（昭和51）年，㈱河崎ラケット入社～1985（昭和60）年退職
1985（昭和60）年，㈱学習研究社入社～1995（平成７）年退職
1995（平成７）年，㈲ラビットコーポレーション取締役社長～現在
〔動機＝15歳，中学時代の恩師柳本先生の影響と，倉敷工高が強かったので同校１年生より入部…〕
**《法政大学在学中～河崎ラケット在職中の戦績》**
1971（昭和46）年，第22回全日本大学選手権大会＜仙台市＞，団体優勝
1977（昭和52）年，第27回全日本実業団選手権大会＜大阪市＞，団体優勝
1977（昭和52）年，全日本総合団体選手権大会＜東京都＞，優勝
▷法政大学進学後長足の進歩，パワフルな攻撃でダブルスを得意とする。法大のレギュラーとしてインカレ団体優勝や準優勝等に貢献した。卒業後も全日本社会人の複と混合複での２位入賞を始め，全日本実業団３位入賞や，日本リーグ４位と団体戦でも活躍した。機会ある毎に岡山の後輩にハッパをかけるなど，故郷思いのファイトマンである。



## 藤井英雄選手

**生年月日：1941（昭和16）年９月30日倉敷市生**

1960（昭和35）年，岡山県立倉敷青陵高等学校卒業
1964（昭和39）年，岡山大学卒業
1964（昭和39）年，岡山市役所赴任～現在
〔動機＝15歳，倉敷青陵高校１年生より面白くて楽しそうに見えたので入部…〕

**《岡山市役所在職中の戦績》**

1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，成壮年団体優勝
　　選手団＝藤井英雄・山上周之・西崎正明・今東幸一・小松貴
1972（昭和47）年，第11回全日本教職員選手権大会＜秋田市＞，30歳複（小松）優勝
1973（昭和48）年，第12回全日本教職員選手権大会＜大津市＞，成壮年団体優勝
　　選手団＝藤井英雄・山上周之・毛利清志・西崎正明・今東幸一・小松貴

▷岡山大学時代，中・四国学生大会で優勝してのめり込む。ねばりのプレーで国体にも２度出場した。
上記優勝の外に，全日本実業団ベスト８入り２回と，全日本社会人30歳複３位がある。
　1967（昭和42）年，岡山大学監督に就任～現在。過去に県協会理事



## 勝山裕子（旧姓戸田）選手

**生年月日：1941（昭和16）年７月10日広島県生**

1960（昭和35）年，山陽女子高等学校卒業
1964（昭和39）年，自由学園卒業
1969（昭和44）年，クチュールカツヤマ主宰～現在
〔動機＝15歳，山陽女子高１年生より入部して取り組む…〕

**《山陽学園ＯＧ～奈良市在住中の戦績》**

1975（昭和50）年，第２回全国家庭婦人連盟競技大会＜東京都＞，団体・複（高野）優勝

1976（昭和51）年，第３回全国家庭婦人連盟競技大会＜神戸市＞，団体・複（土庵）優勝
1977（昭和52）年，第４回全国家庭婦人連盟競技大会＜奈良市＞，団体・複（土庵）優勝
▷コツコツと忍耐強く努力するタイプ。全日本家庭婦人大会の奈良県代表として，団体と複で34歳から36歳にわたっての３連勝は称賛に値する戦績である。

一方ファッションデザイナー界に於いて厳しい関門をクリアーし，プロの資格を獲得。国内で多数の受賞歴を誇る上，アジア・サンフランシスコ等のコレクションにも出品するなど，国際的にも活躍中である。さらに，書道でも読売書法展に連続入賞する等多方面で大活躍の頑張り屋さんである。

1972（昭和47）年度より奈良県協会理事20年間，1975（昭和50）年度より奈良県家庭婦人連盟副理事長・奈良市協会理事18年間



## 藤本雅子（旧姓石田）選手

**生年月日：1952（昭和27）年９月16日岡山市生**

1971（昭和46）年，山陽女子高等学校卒業
1975（昭和50）年，日本女子体育大学卒業
1975（昭和50）年，岡山県保健体育課赴任～1977（昭和52）年退職
1977（昭和52）年，㈱アサヒブレッド入社～1980（昭和55）年退職
〔動機＝16歳，姉の薦めもあり，山陽女子高校１年生より入部して取り組む…〕

**《日本女子体育大学在学中～県保健体育課在職中の戦績》**

1976（昭和51）年，第15回全日本教職員選手権大会＜東京都＞，一般女子団体優勝
　　選手団＝石田雅子・林寿美子
1976（昭和51）年，第15回全日本教職員選手権大会＜東京都＞，一般女子単・複（林）優勝
▷小柄ながら内にファイトを秘めた好選手，日女体大進学後メキメキ上達し，インカレ団体準優勝２回の原動力となり，同個人戦単・複でも３位３回と活躍した。また，全日本総合での複３位がナショナルチームの強化合宿参加につながった。卒業後，前記全日本教員大会の団体・単・複での３冠獲得（混合複も２位）の外に，国体にも６回出場し，成年女子３位入賞の外，天皇杯総合７位や皇后杯も２・７・８位等がある。さらに，全日本社会人混合複でも準優勝するなど本県の刺激剤となった。
＜記事：ＪＥＦＮＥＷＳ…「表紙の人，石田雅子選手」・「第15回大会で活躍した選手のひとこと，○３冠制覇！石田選手（岡山）参照＞



## 多田寿美子（旧姓林）選手

**生年月日：1954（昭和29）年３月16日岡山市生**

1972（昭和47）年，山陽女子高等学校卒業
1976（昭和51）年，日本女子体育大学卒業
1976（昭和51）年，山陽学園赴任～1980（昭和55）年退職
〔動機＝13歳，山陽女子中学校１年生より入部して取り組む…〕
**《山陽学園在職中の戦績》**
1976（昭和51）年，第15回全日本教職員選手権大会＜東京都＞，一般女子団体優勝
　選手団＝林寿美子・石田雅子
1976（昭和51）年，第15回全日本教職員選手権大会＜東京都＞，一般女子複（石田）優勝
▷高校時代の国体３位入賞に刺激され，日女体大に進学して関東学生大会等で活躍した。1976（昭和51）年，同大卒業の年に山陽学園に赴任し，部の顧問として指導に専念。翌年の地元インターハイ開催準備等で多忙な恩師の毛利顧問を助け，地元倉敷大会では監督として団体ベスト８入りを果たした。一方選手としても全日本教職員選手権の団体と複で２冠を獲得したり，国体でも活躍した。＜記事：ＪＥＦＮＥＷＳ…「第15回大会で活躍した選手の一言，２冠制覇！林選手（岡山）」参照＞



## 河本小織（旧姓近藤）選手

**生年月日：1958（昭和33）年３月18日岡山市生**

1974（昭和49）年，山陽女子高等学校卒業
1978（昭和53）年，日本女子体育大学卒業
1978（昭和53）年，河崎ラケット㈱入社～1981（昭和56）年退職
1981（昭和56）年，㈱松本組入社～1984（昭和59）年退職
1984（昭和59）年，コーモト経営～現在
〔動機＝15歳，山陽女子高校入学時先輩に薦められ，羽根つきのように簡単で楽しそうに見えたのと，

すぐレギュラーになれるだろうと思って入部…〕

**《山陽女子高校・日本女子体育大学在学中～河崎ラケット・松本組在職中の戦績》**

1976（昭和51）年，第27回全日本大学学生選手権大会＜東京都＞，団体優勝
1977（昭和52）年，第28回全日本大学学生選手権大会＜鳥取市＞，単優勝
1977（昭和52）年，第52回年度全日本総合選手権大会＜東京都＞，単優勝
1978（昭和53）年，第28回全日本実業団選手権大会＜東京都＞，単優勝
1980（昭和55）年，第23回全日本社会人選手権大会＜桐生市＞，単優勝
1981（昭和56）年，第２回日本リーグ優勝（河崎ラケット）
1982（昭和57）年，第37回国民体育大会＜島根県大東町＞，成年女子優勝（岡山県初優勝）
　選手団＝河本小織・高田幹子・小寺裕美
1982（昭和57）年，チャンピオンズトーナメント＜東京都＞，単優勝
1983（昭和58）年，第38回国民体育大会＜桐生市＞，成年女子優勝（岡山県２連勝）
　選手権＝河本小織・高田幹子・小寺裕美

▷天性の基礎体力と運動能力に持ち前の勝負強さがくわわって，高校では，インターハイの団体と単でベスト８，国体でも２度ベスト８入りを果たした。大学から社会人にかけてメキメキ上達し，男勝りの豪快なプレーで活躍を続け，９回にわたって全日本の頂点に立った。さらに，上記全国優勝の外に，各種全国大会におけるベスト８以上の入賞数は42回もあり，その内，ベスト４の22回が実力の高さを証明している。特にナショナルチームを退いた後，ユ杯のチームメイトであった高田選手を伴って故郷の松本組に入社し，国体２連覇を果たして低迷中の岡山に活を入れた功績は大きい。

現在，㈱ヨネックスの嘱託として各方面の指導に努める一方，まつもとコーポレーションチームや山陽学園のコーチとしても頑張っている。なお，平成元年度より，山陽学園バドミントン部同窓会会長に推されて，現在に至っている。

＜手記：「国体優勝まで＝石田会長」，「ユ杯で活躍した郷土勢＝毛利」。記事：「全日本実業団で準優勝」，「岡山成年女子２年連続Ｖ」，「メダリスト列伝，アジア大会の郷土勢『近藤個人戦で意地』，「山陽女高出身の湯木・近藤『よくやった』等参照＞



## 藤原　航 監督・選手

**生年月日：1943（昭和18）年４月１日総社市生**

1962（昭和37）年，玉野市立備南高等学校卒業
1958（昭和33）年，三井造船㈱入社～1995（平成７）年退職
1995（平成７）年，岡山県立大学赴任～現在

〔動機＝16歳，備南高校２年生より入部して取り組む…〕

**《備南高等学校在学中～三井造船在職中の戦績》**

1979（昭和54）年，第22回全日本社会人選手権大会＜松江市＞，30歳複（芳上）優勝

1981（昭和56）年，第24回全日本社会人選手権大会＜登別市＞，30歳複（芳上）優勝

1982（昭和57）年，第37回国民体育大会：監督＜島根県大東町＞，成年女子優勝　＊岡山県初優勝

選手団＝河本小織・高田幹子・小寺裕美

1983（昭和58）年，第38回国民体育大会：監督＜桐生市＞，成年女子優勝　＊岡山県２連勝

選手団＝河本小織・高田幹子・小寺裕美

▷地味だが内に秘めた闘志でねばり，戦況分析しながら頑張る頭脳的プレーで活躍した。高校時代，備南高校での練習の外に，玉野市から岡山市の山陽学園まで足を運んで練習に頑張った努力が実を結び，全国高校単でベスト８に入った。実業団では三井造船の主力としてチームを引っ張り，県内や中国で幾多の団体優勝の原動力となった。全国的には上記優勝の外に，全日本実業団30歳複での２位２回，３位１回がある。国体には計20回（内選手９）参加，特に成年男女の監督として，合計４回の５位入賞を果たした。そして，天皇杯総合４位２回と８位。皇后杯総合も２位２回，７位と８位各１回の好成績を挙げるなど，指導力を発揮して岡山県選手団総合成績にも大きく貢献した。

1988（昭和63）年度より県協会理事長，県実連理事長就任～現在＜歴代理事長の項参照＞

＜第Ⅲ章思い出＝手記：「理事長からのメッセージ」，「天皇杯第４位へ進出」，「競技力向上について」等参照＞



## 芳上一男選手

**生年月日：1948（昭和23）年１月29日玉野市生**

1967（昭和42）年，玉野市立備南高等学校卒業

1963（昭和38）年，三井造船㈱入社～1988（昭和63）年退職

1988（昭和63）年，芳上鉄工所㈱入社～現在

〔動機＝16歳，備南高校１年生より入部して取り組む…〕

**《備南高等学校在学中～三井造船在職中の戦績》**

1979（昭和54）年，第22回全日本社会人選手権大会＜松江市＞，30歳複（藤原）優勝

1980（昭和55）年，第23回全日本社会人選手権大会＜桐生市＞，30歳単優勝

1981（昭和56）年，第24回全日本社会人選手権大会＜登別市＞，30歳単・複（藤原）優勝

▷高校時代に国体４位（天皇杯３位）に入賞。全日本実業団でも30歳単・複で２・３位と活躍した。先輩の藤原選手とのコンビで，30歳代になってからも三井造船の中心的存在としてチームを引っ張っ

た。国体の県代表として13回出場の実績が，真面目な努力家を物語っている。一方，マナーに徹したプレー振りは模範的存在との定評がある。県協会理事を経て監事に就任し現在に至る。



## 山本美智子（旧姓原田）選手

**生年月日：1956（昭和31）年９月12日岡山市生**

1975（昭和50）年，山陽女子高等学校卒業
1979（昭和54）年，日本女子体育大学卒業
1979（昭和54）年，韓一銀行東京支店入行～1983（昭和58）年退職
1983（昭和58）年，㈱松本組入社～1990（平成２）年退職
〔動機＝13歳，スポーツ少年団で教わり，山陽女子中学校１年生より入部…〕

**《山陽学園・日本女子体育大学在学中～韓一銀行・松本組在職中の戦績》**

1979（昭和54）年，第22回全日本社会人選手権大会＜松江市＞，一般女子複（土田）優勝
1988（昭和63）年，第５回全日本シニア選手権大会＜坂出市＞，30歳複（今津＝旧姓小寺）優勝
1989（平成元）年，第６回全日本シニア選手権大会＜大阪市＞，30歳複（今津＝旧姓小寺）優勝
1991（平成３）年，第８回全日本シニア選手権大会＜広島市＞，30歳複（今津＝旧姓小寺）優勝

▷真面目で人一倍練習熱心，第１回全中大会団体３位，全国高校では複２位，単３位の戦績がある。大学では膝のケガに泣かされながらも，関東教育系学生選手権で単・複の２冠をとり，チームをインカレ準優勝に導き，個人複でも３位入賞を果たした。卒業後全日本社会人で執念の全国初優勝を遂げ，故郷の松本組に入ってからは，全日本実業団で３位～２位入賞に貢献した。女子選手としては長年月にわたって第一線で頑張り，後輩の面倒見もよく，前向きにチームを引っ張った。



## 宇衛幹子（旧姓高田）選手

**生年月日：1955（昭和30）年10月14日大阪市生**

1974（昭和49）年，四条畷学園高等学校卒業

1977（昭和52）年，四条畷学園短期大学卒業
1977（昭和52）年，㈱サントリー入社～1981（昭和56）年退職
1981（昭和56）年，㈱松本組入社～1984（昭和59）年退職
※大阪出身，わが国バドミントン界の名門チームで活躍した元ナショナルチームのメンバー，近藤（現姓河本）選手とのペアーでユーバー杯獲得に貢献した。同じコンビで松本組に入社し，岡山県代表としても国体２連覇など立派な戦跡を残した。
**《松本組在職中の戦績》**
1982（昭和57）年，第37回国民体育大会＜島根県大東町＞，成年女子優勝　＊岡山県初優勝
　選手団＝高田幹子・河本小織・小寺裕美
　1983（昭和58）年，第38回国民体育大会＜桐生市＞，成年女子優勝　＊岡山県２連勝
　選手団＝高田幹子・河本小織・小寺裕美
▷ダブルスの名手でその技量は国際的にもトップレベル。近藤（現河本）選手とのコンビでは，観ている者を安心させる安定したプレーで，岡山バドミントン界に新風を吹き込んだ。



## 今津裕美（旧姓小寺）選手

**生年月日：1957（昭和32）年３月６日岡山市生**

1975（昭和50）年，山陽女子高等学校卒業
1979（昭和54）年，日本女子体育大学卒業
1979（昭和54）年，㈱松本組入社～1983（昭和58）年退職
〔動機＝中学時代バレーボール，身長不足のため高校入学と同時にバドミントンに入部…〕
**《山陽学園・日本女子体育大学在学中～松本組在職中～退社後の戦績》**
1982（昭和57）年，第37回国民体育大会＜島根県大東町＞，成年女子優勝　＊岡山県初優勝
　選手団＝小寺裕美・河本小織・高田幹子
1983（昭和58）年，第38回国民体育大会＜桐生市＞，成年女子優勝　＊岡山県２連勝
　選手団＝小寺裕美・河本小織・高田幹子
1988（昭和63）年，第５回全日本シニア選手権大会＜坂出市＞，30歳複（原田）優勝
1989（平成元）年，第６回全日本シニア選手権大会＜大阪市＞，30歳複（山本＝旧姓原田）優勝
1990（平成２）年，第７回全日本シニア選手権大会＜長岡京市＞，30歳複（野村＝神奈川）優勝
1991（平成３）年，第８回全日本シニア選手権大会＜広島市＞，30歳複（山本＝旧姓原田）優勝
1995（平成７）年，第12回全日本シニア選手権大会＜大阪市＞，30歳単優勝
▷高校時代はインターハイの団体と個人複でベスト８，大学進学後急速に進歩し，昭和53年度の関東

学生教育系選手権の複優勝。同年の東日本学生単優勝などを足掛かりに，インカレでも団体準優勝，複３位の実績がある。卒業後地元の松本組に入社，同チームでも全日本実業団で３位～２位入賞に貢献した。国体ではシングルスで活躍したがダブルスも得意，特に旧友原田（現姓山本）選手とのコンビでは見事に歯車がかみ合う。1995（平成７）年の第12回全日本シニアのダブルスでは，準決勝で元ユ杯メンバー（全英選手権複優勝）の植野選手組（大阪）に惜敗したが，シングルスの決勝では同選手に勝って全国大会初の金メダルを獲得した。

現在，大宮市の家庭婦人を中心に指導中＜手記：『思い出すままに』参照＞



## 石原桂子（旧姓竹原）選手

**生年月日：1963（昭和38）年９月18日岡山市生**

1982（昭和57）年，山陽女子高等学校卒業
1984（昭和59）年，山陽学園短期大学卒業
1984（昭和59）年，日本エクスラン工業㈱入社～1991（平成３）年退職
〔動機＝12歳，小学校６年生の時，小学校の先生に負けるのが悔しくて，どうしても勝ちたかったから始めた…〕

**《山陽学園短期大学在学中の戦績》**

1983（昭和58）年，第18回全国私立短大体育大会バドミントン競技＜東京都＞，単優勝
▷長身から打ち込むスマッシュに破壊力があり，攻撃バドミントンで活躍した。上記の外に，高校時代の全国選抜単３位入賞を始め，短大時代には前記全国優勝の他に，中国・四国・九州大会での単２連勝，複優勝がある。さらに中国・四国大会では２年間にわたって個人戦の上位を独占した。



## 藤原道弘選手

**生年月日：1958（昭和33）年３月18日倉敷市生**

1976（昭和51）年，岡山県立倉敷工業高等学校卒業

1976（昭和51）年，川崎製鉄㈱水島製鉄所入社～現在

〔動機＝12歳，友人に誘われて倉敷西中で入部，顧問の小橋先生に教わる…〕

**《倉敷工業高校在学中～川崎製鉄在職中の戦績》**

1989（平成元）年，第６回シニア選手権大会＜大阪市＞，30歳単・複（出石＝鳥取）優勝

1990（平成２）年，第７回シニア選手権大会＜長岡京市＞，30歳単優勝

1992（平成４）年，第９回シニア選手権大会＜石巻市），30歳単優勝

▷倉敷工業高時代に全国高校選抜の団体戦でベスト４入りを果たし，川鉄入社後も努力を続けた。近年の本県バドミントン界では抜群のテクニックを誇り，県総合複では４連勝を含めて13回の優勝を果たし，単でも優勝３回，準優勝８回がある。上記のように，昭和50年代から平成初年代にかけて，本県一般男子のトップレベルを維持しながら、国体においては５位入賞（２度）の原動力となった。また，全日本シニア選手権では，持ち前のテクニックを駆使し，30歳代前半で単複共に日本の頂点を極め，台湾での，国際シニア選手権日本代表に選ばれた。(国際大会参加記録の項参照)

一方，川崎製鉄のエースとして，チームを中国実業団の団体戦10連勝や，全日本実業団15回出場に導くなど，県内外に活躍した功績は大きい。

1990（平成２）年度より県協会，県実連の理事に選ばれ，さらに，その後両団体の常務理事に推されて現在に至っている。



## 佐藤由香選手

**生年月日：1970（昭和45）年５月13日岡山市生**

1989（平成元）年，山陽女子高等学校卒業

1991（平成３）年，山陽学園短期大学卒業

1991（平成３）年，㈱まつもとコーポレーション入社～1995（平成７）年退職

〔動機＝13歳，幼い頃から，バドミントンに取り組む母の姿を見ながら育ち，気がついたら，自分もラケットを握っていた…〕

**《山陽学園短期大学在学中の戦績》**

1990（平成２）年，第25回全国私立短大体育大会バドミントン競技＜東京都＞，単優勝

▷バネを生かした速いフットワークと，意表を突くドロップショットで活躍した。短大時代は上記全国優勝の外に，全国私立短大大会の団体３位，同単２位や，中国・四国地区の学生界では，単複２連勝を始め，団体戦のエースとしてチームの優勝に尽力した。卒業後，まつもとコーポレーションに所属してチームを引っ張り，低迷の岡山女子界の中で，中国や全国の各種大会においても，がまん強く頑張ってきた。まつもと退社後も，中国総合選手県の混合複で３連勝４度目の優勝を果たし，全日本総合選手権でも，予選を突破して本選に駒をすすめるなどの活躍がある。

母が，県家庭婦人連盟事務局長のかたわら，同連盟の大会でプレーを続けており，妹二人も山陽女子高から山陽学園短大を経て，卒業後も同じ部活動に取り組んできた。同選手のめざましい活躍を中心とした，一家４人での岡山県バドミントン界への貢献度は大きい。



## 塩飽　初選手

**生年月日：1958（昭和24）年８月23日倉敷市生**

1968（昭和43）年，岡山県立倉敷工業高等学校卒業
1968（昭和43）年，新日本製鉄㈱広畑製鉄所入社～現在
〔動機＝16歳，中学で経験のない種目として，また，倉工でもっとも厳しい取組をしていたバドミントンを選んで途中から入部…〕

**《新日本製鉄㈱広畑製鉄所在職中の戦績》**

1991（平成３）年，第８回全日本シニア選手権大会＜広島市＞，40歳単優勝
▷新日本製鉄入社後の努力が実を結び，オーソドックスなオールラウンドプレーで活躍。前記戦績のほかに全日本社会人一般男子複のベスト８や，全日本シニア40歳単で３位２回の入賞がある。また，近畿総合選手権年齢別における単複４回優勝の内，単複ともに２度の２連勝を果たしている。
1978（昭和53）年より兵庫県実連の理事４年間，1980（昭和55）年より兵庫県協会理事２年間，1983（昭和58）年より兵庫県社会人連盟理事１年間。



## 須々木恵選手

**生年月日：1976（昭和51）年９月30日岡山市生**

1995（平成７）年，山陽女子高等学校卒業
1997（平成９）年，東海女子短期大学卒業
〔動機＝11歳，小学校５年生のとき，姉のえいきょうを受けて取り組みを開始…〕

**《東海女子短期大学在学中の戦績》**

1995（平成７）年，第30回全国私立短大体育大会バドミントン競技〈広島市〉，女子団体戦優

▷速いフットワークとオールラウンドプレーでの，ねばり強さが身上。ファイナルゲームの接戦にも，負けず嫌いのファイトを発揮し，マイペースで最後まで頑張る好プレーヤーである。高校時代の，中国高校と同選抜で団体と複に優勝，全国大会も全国選抜複５位のほかに，インターハイや国体で活躍した経験を活かし，短大時代も前記大会の単で１年時５位、２年時には準優勝を果たしている。

卒業後，故郷の中国精油㈱に入社し，県内や中国の大会で活躍していたが、平成10年度から，岡山ガスに転勤して活動をつづけることになっている。



## 若林邦任選手

**生年月日：1962（昭和37）年４月５日倉敷市生**

1978（昭和53）年，岡山県立水島工業高等学校卒業
1981（昭和56）年，三井造船㈱多摩志摩事業所入社～1995（平成７）年退職
1996（平成８）年，ラケットショップ永井入社～現在
〔動機＝16歳，水島工業高校１年生の時，強かったバドミントンに憧れて入部…〕

**《ラケットショップ永井㈱在職中の戦績》**

1996（平成８）年，第13回全日本シニア選手権大会＜松山市＞，30歳単優勝
1997（平成９）年，第14回全日本シニア選手権大会＜福岡市＞，30歳単優勝

▷水島工時代に頭角をあらわし，三井造船入社後飛躍的に進歩した。小柄だが，柔軟な身体を生かしてのコントールは全国レベルである。県総合単優勝14回（含９連勝），同複優勝８回（含４連勝）を始め、中国地区社会人単優勝７回（含３連勝２回），同複優勝２回。中国実業団でも三井造船チームのエースとして団体５連勝をもたらしている。

昭和50年代の後半から現代にかけて，岡山県代表として全国大会でも活躍。全日本社会人でベスト８入りを果たし，16年間連続で出場した国体においても，２度にわたって５位入賞の原動力となるなどの成果を挙げてきた。1984（昭和59）年，第10回日中対抗（岡山市）の地元代表として日本チームに加わり，トップシングルスで１勝を挙げてチーム優勝の突破口をつくった。全盛期は過ぎたが，現在も岡山県一般男子の牽引車的存在である。＜国際大会で活躍した人の項参照＞



## 草井　篤選手

**生年月日：1975（昭和50）年12月19日岡山市生**

1994（平成６）年，岡山県立瀬戸南高等学校卒業

1994（平成６）年，日本体育大学入学

〔動機＝12歳，上南中１年生時，楽しそうだったので入部…〕

**《日本体育大学在学中の戦績》**

1997（平成９）年，第48回全日本大学学生選手権大会〈広島市〉，男子団体戦優勝

▷サウスポーで練習熱心な努力家。瀬戸南高時代からメキメキ上達し，全国選抜の単では岡山県初の準優勝を果たしている。日体大入学後も地道に努力を続け，1995（平成７）年度より，東日本・全日本両大会の団体戦メンバーに加わって活躍した。一方，個人戦においても，平成８年度の関東学生選手権で，ベスト８入りして将来を期待されている。

なお，平成９年度には，第52回国体の岡山県代表メンバーとして，中国ブロック大会の全勝優勝に貢献し，本国体にも出場した。卒業後は，ＮＴＴ東北（宮城）への入社が予定されている。<国際大会で活躍した人の項参照>

＊以上，全国優勝達成年代順～年齢順

岡山県関係

# 全国大会優勝者名簿（１）

＜平成９年度現在＞

| 区分 | No. | 氏名 | 旧姓他 | 〒 | 現住所・連絡先 | ☎ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 監督 | 1 | 毛利　清志 | | 700-0023 | 岡山市駅前町1-10-6 | 086-222-2268 |
| 監督 | 2 | 山上　周之 | 故人 | | ＜1991（平成３）年11月没＞ | |
| 監督 | 3 | 永井　　正 | 故人 | | ＜1996（平成８）年１月没＞ | |
| 監督 | 4 | 金尾　善六 | | 715-0019 | 井原市井原町620-2 | 08666-2-2098 |
| 監督 | 5 | 崎本幸三郎 | 故人 | | ＜1992（平成４）年８月没＞ | |
| 監督 | 6 | 藤原　　航 | | 710-0031 | 倉敷市有城268 | 086-429-1990 |
| 選手 | 1 | 平方　昌子 | 松山 | 671-1111 | 姫路市広畑区北河原町1-78-1<br>北河原マンション1-204 | 0792-39-1206 |
| 選手 | 2 | 毛利　清志 | | 700-0023 | 岡山市駅前町1-10-6 | 086-222-2268 |
| 選手 | 3 | 藤沢　英子 | 吉川 | 576-0053 | 大阪府交野市郡津3-13-5 | 0720-91-3044 |
| 選手 | 4 | 大森　嘉美 | | 485-0041 | 小牧市大字小牧1917まるさビル503 | 0568-77-1941 |
| 選手 | 5 | 山上　周之 | 故人 | | ＜1991（平成３）年11月没＞ | |
| 選手 | 6 | 岡下　文子 | 友野 | 703-8205 | 岡山市中井128-18 | 086-275-3377 |
| 選手 | 7 | 相賀　節子 | 権田（故人） | | ＜1993（平成５）年１月没＞ | |
| 選手 | 8 | 光本　政子 | | 702-8002 | 岡山市江並202-20 | 086-277-0927 |
| 選手 | 9 | 小林　桂子 | | 701-1211 | 岡山市一宮96 | 086-284-6862 |
| 選手 | 10 | 三宅　基子 | | 700-0806 | 岡山市広瀬町12-30 | 086-223-4272 |
| 選手 | 11 | 増田　寿子 | 戸田 | 728-0000 | 広島県三次市三次町1071-7 | 08246-3-4910 |
| 選手 | 12 | 片山　昭子 | 守安 | 703-8282 | 岡山市平井7-28-21 | 086-277-5333 |
| 選手 | 13 | 金尾　善六 | | 715-0019 | 井原市井原町620-2 | 08666-2-2098 |
| 選手 | 14 | 前田　俊一 | | 710-0842 | 倉敷市吉岡380-5 | 086-421-4728 |
| 選手 | 15 | 金平　恭子 | 塚村 | 442-0857 | 愛知県豊川市八幡町黒仏87 | 05338-7-3620 |
| 選手 | 16 | 内田　絢子 | 石浜 | 706-0134 | 玉野市東高崎24-180 | 0863-71-4941 |
| 選手 | 17 | 石原　利通 | | 709-0605 | 岡山市浅川295 | 086-297-2359 |
| 選手 | 18 | 伊達　　純 | 根岸 | 651-1101 | 神戸市北区山田町小部大東64-1 | 078-593-1506 |
| 選手 | 19 | 崎本幸三郎 | 故人 | | ＜1992（平成４）年８月没＞ | |
| 選手 | 20 | 良倉　邦子 | | 715-0024 | 井原市高屋町828 | 08666-7-2485 |
| 選手 | 21 | 一村　艶子 | 大橋 | 703-8205 | 岡山市中井381-1 | 086-275-2217 |
| 選手 | 22 | 中村千栄子 | 草野 | 701-3204 | 和気郡日生町大字日生246-13 | 0869-72-3912 |
| 選手 | 23 | 伊藤　百代 | 重政 | 023-0853 | 岩手県水沢市東上野町6-5 | 0197-23-6505 |
| 選手 | 24 | 元島　淳子 | 高塚 | 866-0863 | 熊本県八代市西松江城町5-9 | 0965-32-3728 |
| 選手 | 25 | 社　　竹三 | | 709-0815 | 岡山県赤磐郡山陽町立川748-1 | 08695-5-1475 |
| 選手 | 26 | 小梶　繁雄 | 故人 | | ＜1984（昭和59）年12月没＞ | |
| 選手 | 27 | 西崎　正明 | 故人 | | ＜1996（平成８）年７月没＞ | |
| 選手 | 28 | 瀬戸　　勝 | 三宅 | 710-0061 | 倉敷市浜ノ茶屋311 | 086-424-6907 |

＊全国優勝達成年代順～年齢順

岡山県関係

# 全国大会優勝者名簿（２）

＜平成９年度現在＞

| 区分 | No. | 氏名 | 旧姓他 | 〒 | 現住所・連絡先 | ☎ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 選手 | 29 | 柳本　堯敏 | | 704-8175 | 岡山市益野町295-26 | 086-943-3830 |
| 選手 | 30 | 新沼ひろ映 | 湯木 | 143-0025 | 東京都大田区南馬込3-35-17 | 03-3775-6078 |
| 選手 | 31 | 大森　恵子 | 浦口 | 400-0041 | 山梨県甲府市上石田4-7-21 | 0552-22-5627 |
| 選手 | 32 | 高田　浩二 | 故人 | | ＜1997（平成９）年11月没＞ | |
| 選手 | 33 | 大月　史郎 | | 703-8262 | 岡山市福泊216-5 | 086-277-8589 |
| 選手 | 34 | 渡辺　弘美 | 故人 | | ＜1972（昭和47年）４月没＞ | |
| 選手 | 35 | 小松　　貴 | | 704-8192 | 岡山市西大寺中野本町10-11 | 086-943-4615 |
| 選手 | 36 | 今東　幸一 | | 704-8182 | 岡山市広谷289-1 | 086-942-6226 |
| 選手 | 37 | 斉藤　敏行 | | 273-0115 | 千葉県鎌ケ谷市東道野辺7-17-16 | 0474-46-5505 |
| 選手 | 38 | 藤井　英雄 | | 710-0063 | 倉敷市日の出町1-11-17 | 086-425-2658 |
| 選手 | 39 | 勝山　裕子 | 戸田 | 631-0007 | 奈良市松陽台2-28-1 | 0742-46-2502 |
| 選手 | 40 | 藤本　雅子 | 石田 | 202-0014 | 東京都保谷市富士町4-7-5<br>コープ野村東伏見302 | 0424-67-7980 |
| 選手 | 41 | 多田寿美子 | 林 | 702-8004 | 岡山市江並63-16 | 086-276-2559 |
| 選手 | 42 | 河本　小織 | 近藤 | 704-8113 | 岡山市西大寺東2-7-34 | 086-943-7926 |
| 選手 | 43 | 藤原　　航 | | 710-0031 | 倉敷市有城268 | 086-429-1990 |
| 選手 | 44 | 芳上　一男 | | 706-0022 | 玉野市向日比1-15-4 | 0863-81-7462 |
| 選手 | 45 | 山本美智子 | 原田 | 706-0021 | 玉野市和田5-2-1和田社宅203号 | 0863-81-8175 |
| 選手 | 46 | 宇衛　幹子 | 高田 | 575-0036 | 四條畷市雁屋南町7-4<br>グローバルマンション313 | 0720-78-7774 |
| 選手 | 47 | 今津　裕美 | 小寺 | 330-0826 | 大宮市南中野930-2<br>ジュネス大宮Ａ－102 | 048-684-6647 |
| 選手 | 48 | 石原　桂子 | 竹原 | 704-8121 | 岡山市西大寺射越248-7 | 086-942-1630 |
| 選手 | 49 | 藤原　道弘 | | 710-0817 | 倉敷市大内1010 | 086-425-5887 |
| 選手 | 50 | 佐藤　由香 | | 704-8131 | 岡山市長沼307 | 086-942-5355 |
| 選手 | 51 | 塩飽　　初 | | 671-1146 | 姫路市大津区大津町1-16-22 | 0792-39-9448 |
| 選手 | 52 | 須々木　恵 | | 701-2142 | 岡山市玉柏329 | 086-229-2106 |
| 選手 | 53 | 若林　邦任 | | 710-0048 | 倉敷市福島625-7 | 086-424-8003 |
| 選手 | 54 | 草井　　篤 | | 704-8196 | 岡山市金田浜706-13　（帰省先） | 086-948-2798 |

＊全国優勝達成年代順～年齢順

## 4．国際大会で活躍した人〔選手・監督〕

＜平成９年度現在＞



### 松王清志選手

**生年月日：1935（昭和10）年７月９日岡山市西大寺生**

1954（昭和29）年，岡山県立西大寺高等学校卒業
1958（昭和33）年，関西大学卒業
1958（昭和33）年，㈱大阪合繊入社～1996（平成８）年，同専務取締役
1997（平成９）年，同代表取締役社長～現在
〔動機＝16歳，西大寺高校１年生時，バドミントン部に入部…〕
**《㈱大阪合繊在職中に参加，※岡山県出身初の国際大会参加選手》**
1958（昭和33），第３回アジア大会＜東京＞，団体優勝
▷スタミナと粘りの精神力で活躍。関西大が1956（昭和31）年からインカレで２年連続団体３位を獲得した時の主力メンバーで，厳しい予選を勝ち抜いて数少ない代表の座を獲得した。その後も全日本社会人男子単準優勝を始め，全国大会ベスト８以上に10回入った。1965（昭和40）年より羽魅会（はねみかい＝西大寺高校バドミントン部同窓会）会長。昭和55年，大阪協会参与に就任し現在に至る。
＜手記：「アジア大会に参加して」。記事：「メダリスト列伝・アジア大会の郷土勢」参照＞



### 小松康博選手

**生年月日：1936（昭和11）年７月25日生**

1955（昭和30）年，岡山県立西大寺高等学校卒業
1959（昭和34）年，関西大学卒業
1959（昭和34）年，フェーザー㈱入社～1981（昭和56）年，同常務取締役
1992（平成４）年，同専務取締役～現在
〔動機＝17歳，松王先輩に勧誘され，西大寺高校２年生より野球部からバドミントンに転入部…〕
**《関西大学在学中に参加，※岡山県出身初の国際大会参加選手》**
1958（昭和33）年，第３回アジア大会＜東京＞，団体優勝
▷切れ味のよい多彩なショットで相手の意表を突く戦法が得意。高校時代北海道国体で５位入賞を果たし，前記松王選手に続いて関西大学に進学，同大学が1956（昭和31）年からインカレで２年連続団体３位を獲得した時の主力メンバー。インカレの単３位入賞を含めて，全国大会ベスト８以上が７回

ある。厳しい予選を勝ち抜き，松王先輩とともに日本代表選手に選ばれた。



## 毛利清志選手・コーチ・監督

**生年月日：1927（昭和２）年５月２日岡山市生**

＊略歴・動機・参考事項等は，全国優勝を果たした人の項参照

**《山陽学園在職中～退職後参加》**

1963（昭和38）年，第２回日韓親善交換大会：選手＜ソウル＞，教員団体優勝

1996（平成８）年，第25回モーニングカップ国際大会：選手＜台北＞，65歳複（浜中）優勝

同混合複（陳）２位

1967（昭和42）年，タイペイオープン：監督＜台北＞，女子単・複・混合優勝

1968（昭和43）年，マレーシアオープン：監督＜クアラルンプール＞，女子単・複優勝

1968（昭和43）年，シンガポールオープン：監督＜シンガポール＞，女子単・複優勝

1968（昭和43）年，日本・タイ親善交換大会：監督＜バンコク＞，女子団体優勝

1969（昭和44）年，第５回世界女子選手権（ユーバー杯）大会：コーチ＜東京＞，女子団体優勝

1969（昭和44）年，日本・アメリカ親善交換大会：監督＜福岡＞，女子団体優勝

1972（昭和47）年，第６回世界女子選手権（ユーバー杯）大会：監督＜東京＞，女子団体優勝

1972（昭和47）年，日本・インドネシア親善交換大会：監督＜札幌＞，女子団体優勝

＜手記：「バドミントン人生」，「第５回ユーバー杯…『総力の“和”が最大の勝因』」，「世界のタイトルを防衛して」，「ユ杯で活躍した郷土勢」。記事：「選手育成は心の結びつき」等参照＞



## 新沼ひろ映（旧湯木博江）選手

**生年月日：1948（昭和23）年11月15日広島県海田市生**

25歳～博恵・38歳～新沼ひろ映に改名

＊略歴・動機・参考事項等は，全国優勝を果たした人の項参照

**《日本女子体育大学在学中～㈱河崎ラケット在職中に参加，※優勝記録のみ》**

1967（昭和42）年，タイペイオープン＜台北＞，単・複・混合複優勝

1968（昭和43）年，マレーシアオープン＜クアラルンプール＞，複優勝

1968（昭和43）年，シンガポールオープン＜シンガポール＞，単優勝

1968（昭和43）年，第４回国際大学・学生選手権大会＜東京＞，団体・単優勝

1969（昭和44）年，第69回全英選手権＜ロンドン＞，単優勝（日本選手として初の偉業）

1969（昭和44）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，複優勝
1969（昭和44）年，第５回世界女子選手権（ユーバー杯）大会＜東京＞，団体優勝（日本２回目）
1970（昭和45）年，第６回アジア大会＜バンコク＞，団体・単優勝
1971（昭和46）年，第71回全英選手権＜ロンドン＞，複優勝
1971（昭和46）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，複優勝
1971（昭和46）年，カナダ選手権＜モントリオール＞，単・複優勝
1971（昭和46）年，アメリカ選手権＜ラスベガス＞，複優勝
1972（昭和47）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，複優勝
1972（昭和47）年，第６回世界女子選手権（ユーバー杯）大会＜東京＞，団体優勝（日本３回目）
1973（昭和48）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，単優勝
1974（昭和49）年，第74回全英選手権＜ロンドン＞，単優勝
1974（昭和49）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，単優勝
1975（昭和50）年，第75回全英選手権＜ロンドン＞，単優勝
1975（昭和50）年，第３回招待世界選手権＜クアラルンプール＞，単優勝
1977（昭和52）年，第77回全英選手権＜ロンドン＞，単優勝（※４回目優勝で永久杯獲得）
1977（昭和52）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，単優勝
1978（昭和53）年，第８回世界女子選手権（ユーバー杯）大会＜オークランド＞，団体優勝
1979（昭和54）年，ニュージランド選手権＜オークランド＞，単優勝
1981（昭和56）年，ドイツ選手権＜ミュンヘン＞単優勝

▷昭和42年，日女体大入学の年にいきなりインカレ団体と単を制し，ナショナルチーム入りを不動にした。岡山が生んだ日本を代表する世界のトッププレーヤーとして，全英選手権５回・世界女子選手権（団体戦）３回を含めて通算26回もの優勝を果たした。1995（平成７）年現在，国内には湯木選手の前にも後にも同選手の記録を上回る者は存在しないし，国際的にも見当たらない。

＜手記：「岡山で育った私」，「第５回ユーバー杯…」の②。記事：各種国際大会での活躍参照＞



## 岩田　勇（旧姓山口）選手

**生年月日：１９４８（昭和23）年７月３日和歌山県新宮市生**

1967（昭和42）年，和歌山県立新宮高等学校卒業
1971（昭和46）年，近畿大学卒業
1971（昭和46）年，電電近畿（現ＮＴＴ関西）入社
1980（昭和55）年，ＮＴＴ児島営業所に転勤～現在

〔動機＝中学時代，野球部・体操部に入部していたが，高校生になって担任の先生に勧められてバドミントンに入部…〕

**《近畿大学在学中に参加》**

1968（昭和43）年，第４回国際大学・学生選手権大会＜東京＞団体優勝

▷長身を利して，“上がればスマッシュ”の攻撃型で活躍。インターハイ複４位をきっかけに進学してさらに磨きをかけた。大学２年時の国際学生には，湯木博江選手たちと共に日本代表に選ばれ，男子団体優勝に貢献。単では，同大会で優勝したマレーシアの選手に敗れたがベスト８入りした。西日本学生単では，３位１回，２位２回，優勝１回。同複でも２位１回，優勝２回と，めざましい戦績を残した。社会人になってからも，全日本社会人複，同総合複等でベスト８に入っている。なお，学生時代と卒業後に，トーマスカップ（男子世界選手権）の日本代表選手強化合宿に，次期候補の一人として２度参加して貴重な体験を積んだ。



## 大森恵子（旧姓浦口）選手

**生年月日：1948（昭和23）年12月３日岡山市生**

＊略歴・動機・参考事項等は，全国優勝を果たした人の項参照

**《日本女子体育大学在学中に参加》**

1969（昭和44）年，第５回世界女子選手権（ユーバー杯）大会＜東京＞団体優勝

1969（昭和44）年，日本対アメリカ親善交換大会＜福岡＞，団体優勝

▷1968（昭和43）年からの東日本学生複３連勝を筆頭に，インカレの団体も２連勝。その他各種全国大会の上位入賞が，ナショナルチーム入りにつながった。



## 河本小織（旧姓近藤）選手

**生年月日：1956（昭和31）年３月18日岡山市生**

＊略歴・動機・参考事項等は，全国優勝を果たした人の項参照

**《日本女子体育大学在学中～㈱河崎ラケット在職中に参加（※３位以上）》**

1976（昭和51）年，アジア選手権＜バンコク＞，単３位

1976（昭和51）年，アジア招待大会＜ホンコン＞，単３位

1977（昭和52）年，オーストラリア選手権＜メルボルン＞，単３位

1977（昭和52）年，ニュージランド選手権＜オークランド＞，単・複２位

1977（昭和52）年，デンマーク選手権＜コペンバーゲン＞，単３位

1978（昭和53）年，第８回世界女子選手権（ユーバー杯）大会＜オークランド＞，団体優勝

1978（昭和53）年，第８回アジア大会＜バンコク＞，団体３位，単３位

1978（昭和53）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，単３位
1978（昭和53）年，第78回全英選手権＜ロンドン＞，単２位
1979（昭和54）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，単３位
1979（昭和54）年，スウェーデン選手権＜マルメ＞，単３位
1980（昭和55）年，デンマーク選手権＜コペンハーゲン＞，単２位
1980（昭和55）年，第80回全英選手権＜ロンドン＞，複３位
1981（昭和56）年，第９回世界女子選手権（ユーバー杯）大会＜東京＞，団体優勝
▷1976（昭和51）年頃から各種全国大会で相次いで優勝し，ナショナルチーム入りを果たした。＜手記：「国体優勝まで」＝石田祥史，「ユ杯で活躍した郷土勢」＝毛利清志記。記事：「山陽女子高出身の湯木・近藤両選手，二人とも頑張り屋“よくやった”」，「メダリスト列伝！！アジア大会の郷土勢“近藤個人戦で意地”」等参照＞



## 若林邦任選手

**生年月日：1962（昭和37）年４月５日倉敷市生**

＊略歴・動機・その他＝全国優勝を果たした人の項参照
**《三井造船㈱在職中に参加》**
1984（昭和59）年，第10回日・中大会＜岡山＞，団体優勝
▷同年の第27回全日本社会人選手権大会，単ベスト８進出により，ただ一人日本チームの地元（岡山県）代表に選ばれた。日中対抗岡山大会では，トップシングルスにオーダーされ，貴重な１勝を挙げて，日本チーム勝利の口火を切った。＜記事：「第10回日中バドミントン大会」参照＞



## 近常直美選手

**生年月日：1968（昭和43）年３月４日金沢市生**

1986（昭和61）年，山陽女子高等学校卒業
1990（平成２）年，日本女子体育大学卒業
1990（平成２）年４月，山陽学園赴任（講師）～1990（平成２）年８月退職
1990（平成２）年９月，日本電気㈱（相模原）入社～現在
〔動機＝12歳，岡北中１年生時，姉の影響で入部…〕
**《日本女子体育大学在学中に参加》**

1986（昭和61）年，日本学生選抜中国遠征参加＜福州・上海＞
1987（昭和62）年，海外学生交流競技会遠征参加＜北京・上海＞
▷小・中・高の12年間，皆勤で通学した真面目に頑張る好選手。山陽女高１年生後半からメキメキと上達し，中国高校２年連続３冠王獲得を始め，インターハイでも，久方ぶりに複ベスト８入りを果して県高校界の刺激剤となった。日女体大時代にインカレの単でベスト８入りして，学生中国遠征の日本代表に選ばれた。卒業後母校の講師に就任し，後輩の指導や，岡山県一般女子即戦力の両面から期待されていたが，学生時代から見込まれていた実業団チームの勧誘で転勤となった。＜手記：「最後の国体…そして国際大会へ」参照＞



## 藤原道弘選手

**生年月日：1958（昭和33）年３月18日倉敷市生**

＊略歴・動機・その他＝全国優勝を果たした人の項参照
**《川崎製鉄㈱在職中に参加》**
1989（平成元）年，国際シニア選手権大会＜台北＞，複（出石＝鳥取県）５位
単・混合複（上木＝福井県）２回戦
▷同年の第６回全日本シニア選手権30歳男子単・複優勝により，上記日本代表に選ばれた。



## 草井　篤選手

**生年月日：1975（昭和50）年12月19日岡山市生**

＊略歴・動機・その他＝全国優勝を果たした人の項参照
**《瀬戸南高等学校在学中に参加》**
1993（平成５）年，マレーシアオープン'93＜クーチン＞，単１回戦
1993（平成５）年，インドネシアオープン'93＜ジャカルタ＞，単１回戦
複１回戦（中村＝法政二高）
1993（平成５）年，日韓ジュニア対抗＜郡山＞，日本０－５韓国
▷サウスポーで練習熱心な努力家。瀬戸南高時代からメキメキ上達し，1992（平成４）年度，全国高校選抜選手県大会の単で，準優勝して日本代表に選ばれた。＜その他の主な活躍については，全国優勝を果たした人の項を参照＞



## 松王峰代子選手

**生年月日：1975（昭和50）年４月23日岡山市生**

1994（平成６）年，山陽女子高等学校卒業

1994（平成６）年，専修大学入学

〔動機＝10歳，豊小学校４年生時，バドミントン一家の末っ子として開始…〕

**《山陽女子高等学校在学中に参加》**

1993（平成５）年，マレーシアオープン'93＜クーチン＞単１回戦

1993（平成５）年，インドネシアオープン'93＜ジャカルタ＞，単１回戦

▷幼少時代からの経験による地味だが堅実な試合運びに定評があり，高校時代に中国選手権と全国選抜中国予選において，２年連続３冠獲得の実績もある。1992（平成４）年度，全国高等学校選抜大会の単でで３位に入り，日本代表に選ばれた。専修大学入学の年に，関東学生で単複ともにベスト８入りを果たし，同２・３・４年時の東日本・全日本選手権では，団体メンバーとしてベスト８入りに貢献している。なお，単もインカレでベスト16の実績があり，卒業後はベスト電器（福岡）への入社が内定している。＜第Ⅲ章「スポーツファミリー紹介＝シャトルを追って，松王一家」参照＞

＊以上，国際大会参加順～年齢順

## 代表に選ばれながら参加できなかった人々



### 国信祝二選手

**生年月日：1940（昭和15）年11月18日岡山市西大寺生**

西大寺高等学校～関西大学～㈱大阪合繊～自営（運動具店）

**《関西大学在学中に候補》**

1961（昭和36）と翌年のインカレ単での２年連続３位入賞を足掛かりに，1962（昭和37）年度全日本総合選手権大会単でベスト８入りを果たし，ナショナルチームに加わったが，藤沢市での全日本強化合宿中にアキレス腱を切断して，アジア大会参加の夢を絶たれた。

＊1986（昭和61）年10月19日，不幸にして逝去，享年47歳



### 元島淳子（旧姓高塚）選手

**生年月日：1944（昭和19）年11月23日岡山市生**

山陽女子中学校～山陽女子高等学校～熊本女子大学

**《熊本女子大学在学中に候補》**

1966（昭和41）年度全日本総合選手権大会複２位，単３位（両種目ベスト４＝２年連続）に入賞し，有力な候補選手としてナショナルチームに選ばれたが，母校（山陽女子高）での練習中にアキレス腱を断裂して，本番の国際大会は不参加となり涙を呑んだ。



### 藤本雅子（旧姓石田）選手

**生年月日：1952（昭和27）年９月16日岡山市生**

上南中学校～山陽女子高等学校～日本女子体育大学

**《日本女子体育大学在学中に候補》**

1972（昭和47）年度全日本総合選手権大会複３位に入賞し，札幌でのナショナルチーム強化合宿に選ばれて参加したが，国際大会には出場できなかった。

＊以上，国際大会候補選抜順～年齢順

# 国際大会参加者・同候補者名簿

<平成９年度現在>

| 区分 | No. | 氏名 | 旧姓他 | 〒 | 現住所・連絡先 | ☎ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 選手 | 1 | 松王　清 | | 560-0002 | 大阪府豊中市緑ケ丘4-33-16 | 06-856-1105 |
| 選手 | 2 | 小松　康博 | | 580-0042 | 大阪府松原市松ケ丘4-7-9 | 0723-33-6065 |
| 選手 | 3 | 毛利　清志 | | 700-0023 | 岡山市駅前町1-10-6 | 086-222-2268 |
| 監督 | (3) | 毛利　清志 | | 700-0023 | 岡山市駅前町1-10-6 | 086-222-2268 |
| 選手 | 4 | 新沼ひろ映 | 湯木 | 143-0025 | 東京都大田区南馬込3-35-17 | 03-3775-6708 |
| 選手 | 5 | 岩田　勇 | 山口 | 701-0153 | 岡山市庭瀬629 | 086-293-1829 |
| 選手 | 6 | 大森　恵子 | 浦口 | 400-0041 | 山梨県甲府市上石田4-7-21 | 0552-22-5627 |
| 選手 | 7 | 河本　小織 | 近藤 | 704-8113 | 岡山市西大寺東2-7-34 | 086-943-7926 |
| 選手 | 8 | 若林　邦任 | | 710-0048 | 倉敷市福島625-7 | 086-424-8003 |
| 選手 | 9 | 近常　直美<br>（帰省先） | 229-0006<br>701-2143 | | 相模原市淵野辺3-7-16-704<br>岡山市下牧868 | 0427-52-6505<br>086-228-0764 |
| 選手 | 10 | 藤原　道弘 | | 710-0817 | 倉敷市大内1010 | 086-425-5887 |
| 選手 | 11 | 草井　篤 | | 704-8196 | 岡山市金田706-13（帰省先） | 086-948-2798 |
| 選手 | 12 | 松王峰代子 | | 704-8126 | 岡山市西大寺浜176-1（帰省先） | 086-943-6073 |
| 候補 | 1 | 国信　祝二 | 故人 | | （昭和61年10月19日没） | |
| 候補 | 2 | 元島　淳子 | 高塚 | 866-0863 | 熊本県八代市西松江城町5-9 | 0965-32-3728 |
| 候補 | 3 | 藤本　雅子 | 石田 | 202-0014 | 東京都保谷市富士町4-7-5<br>コープ野村東伏見302 | 0424-67-7980 |

＊参加年代順～年齢順

# 2　その他，貢献のあった人

## 1．歴代副会長

（就任順～年齢順，平成９年度現在）

| No. | 氏　名 | 就任時勤務先 | 担　当 | 在　任 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 江見　祐吉 | 鐘紡西大寺工場長 | 全　般 | 昭和23～昭和24年度 | 県協会設立委員会推薦 |
| 2 | 藤本　亀 | 山陽朝報編集局長 | 全　般 | 昭和23～昭和24年度 | 県協会設立委員会推薦 |
| 3 | 福守　茂 | 倉敷青陵高校教頭 | 高体連 | 昭和24～昭和27年度 | 県高体連専門部長 |
| 4 | 村山　寛 | 倉敷青陵高校教諭 | 全　般 | 昭和25～昭和26年度 | 学識経験（会長推薦） |
| 5 | 柳本　喬祐 | 岡山スポーツマン運動具店 | 全　般 | 昭和25～昭和26年度 | 学識経験（会長推薦） |
| 6 | 斉藤　實 | 倉敷レーヨン㈱岡山 | 全　般 | 昭和27～昭和32年度 | 学識経験（会長推薦） |
| 7 | 小川　政雄 | 山陽女子中・高教頭 | 高体連 | 昭和28～昭和36年度 | 県高体連専門部長 |
| 8 | 香月　辰雄 | 丸加商事専務取締役 | 全　般 | 昭和33～昭和52年度 | 学識経験（会長推薦） |
| 9 | 村山　寛 | 倉敷青陵高校教諭 | 全　般 | 昭和33～昭和43年度 | 学識経験（会長推薦） |
| 10 | 戸田　千年 | 玉野市立備南高校長 | 高体連 | 昭和37～昭和38年度 | 県高体連専門部長 |
| 11 | 森　嘉吉 | 金山学園長 | 高体連 | 昭和39～昭和46年度 | 県高体連専門部長 |
| 12 | 水谷　靖 | 倉敷福田中校長 | 中体連 | 昭和41～昭和44年度 | 県中体連専門部長 |
| 13 | 荒川　大倫 | 岡山藤田中校長 | 中体連 | 昭和45年度 | 県中体連専門部長 |
| 14 | 川上　亀義 | 山陽学園理事長 | 教職連 | 昭和46～平成２年度 | 県教職員連盟会長 |
| 15 | 岡崎　猛 | 岡山旭東中校長 | 中体連 | 昭和46～昭和48年度 | 県中体連専門部長 |
| 16 | 松本　稲郎 | 倉敷天城高校長 | 高体連 | 昭和47～昭和48年度 | 県高体連専門部長 |
| 17 | 三宅　新 | 倉敷青陵高校長 | 高体連 | 昭和49～昭和50年度 | 県高体連専門部長 |
| 18 | 原　武男 | 岡山市旭東中校長 | 中体連 | 昭和49～昭和51年度 | 県中体連専門部長 |
| 19 | 山田錄二郎 | 岡山市議会議員 | 実　連 | 昭和50～平成７年度 | 県実業団連盟会長 |
| 20 | 村井　薫直 | 倉敷天城高校長 | 高体連 | 昭和51～昭和52年度 | 県高体連専門部長 |
| 21 | 大倉　容 | 岡山旭東中校長 | 中体連 | 昭和52～昭和53年度 | 県中体連専門部長 |
| 22 | 羽田　孜 | 倉敷天城高校長 | 高体連 | 昭和53～昭和57年度 | 県高体連専門部長 |
| 23 | 毛利　清志 | 山陽女子中・高教頭 | 全　般 | 昭和53年度～現在 | 県家庭婦人連盟会長 |
| 24 | 平田　信夫 | 岡山旭東中校長 | 中体連 | 昭和54～昭和56年度 | 県中体連専門部長 |
| 25 | 市川　俊介 | 岡山芳泉中校長 | 中体連 | 昭和57～昭和58年度 | 県中体連専門部長 |
| 26 | 阪本　暁夫 | 岡山朝日高校長 | 高体連 | 昭和58～昭和60年度 | 県高体連専門部長 |
| 27 | 武村　肇 | 岡山芳泉中校長 | 中体連 | 昭和59～昭和60年度 | 県中体連専門部長 |
| 28 | 森　彰 | 倉敷中央高校長 | 高体連 | 昭和61～昭和63年度 | 県高体連専門部長 |
| 29 | 溝口　廣 | 岡山高島中校長 | 中体連 | 昭和61～昭和63年度 | 県中体連専門部長 |
| 30 | 城山　藤一 | 倉敷中央高校長 | 高体連 | 平成元～平成２年度 | 県高体連専門部長 |
| 31 | 西野　雅三 | 岡山旭東中校長 | 中体連 | 平成元～平成２年度 | 県中体連専門部長 |
| 32 | 西崎　正明 | 山陽女子短大講師 | 教職連 | 平成３～平成８年度 | 県教職員連盟会長 |
| 33 | 木村　要子 | 岡山旭東中校長 | 中体連 | 平成３～平成４年度 | 県中体連専門部長 |
| 34 | 岡本　耕志 | 倉敷中央高校長 | 高体連 | 平成３～平成７年度 | 県高体連専門部長 |
| 35 | 杉岡　順平 | 倉敷福田中校長 | 中体連 | 平成５年度 | 県中体連専門部長 |
| 36 | 原　昭 | 倉敷福田中校長 | 中体連 | 平成６～平成７年度 | 県中体連専門部長 |
| 37 | 岡崎　彬 | 岡山瓦斯㈱社長 | 全　般 | 平成８～平成９年度 | 学識経験（会長推薦） |
| 38 | 片山　義久 | 中国精油㈱社長 | 実　連 | 平成８年度～現在 | 県実業団連盟会長 |
| 39 | 三吉　肇 | 倉敷中央高校長 | 高体連 | 平成８年度～現在 | 県高体連専門部長 |
| 40 | 谷口　正美 | 岡山山南中校長 | 中体連 | 平成８年度～現在 | 県中体連専門部長 |
| 41 | 柳本　堯敏 | 岡山市少年自然の家所長 | 教職連 | 平成10年度～ | 県教職員連盟会長 |

## 2．栄光の受賞者

### ◎中央関係機関・団体（受賞順～年齢順）

1，文部大臣表彰・同認定（計３）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和53年度 | 特別指導員 | 湯木　博恵 | 文部省スポーツ功労，国際大会の活躍実績 |
| 2 | 昭和55年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 体育(バドミントン)の普及振興に尽力･他の模範 |
| 3 | 平成４年度 | 功労賞 | 石田　祥史 | 県協会長・県体協副会長他各種団体の要職 |

2，日本体育協会表彰・同認定（計３）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和37年度 | 国体10年選手 | 毛利　清志 | 岡山国体時（昭和39年度まで施行） |
| 2 | 昭和63年度 | 国体永年参加 | 毛利　清志 | 国体発展に尽力（２巡目国体初回，37回参加） |
| 3 | 平成４年度 | Ｃ級コーチ | 中須賀祥雅 | 文部大臣認定（競技力向上指導者・初級） |

3，日本バドミントン協会表彰（計29）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和35年度 | 功労賞 | 斎藤　實 | バドミントン競技普及に貢献 |
| 2 | 昭和35年度 | 技能賞 | 毛利　清志 | 全国大会３年連続優勝 |
| 3 | 昭和35年度 | 技能賞 | 山上　周之 | 全国大会３年連続優勝 |
| 4 | 昭和36年度 | 技能賞 | 毛利　清志 | 全国大会３年連続優勝 |
| 5 | 昭和38年度 | 技能賞 | 毛利　清志 | 全国大会３年連続優勝 |
| 6 | 昭和39年度 | 技能賞 | 毛利　清志 | 全国大会３年連続優勝 |
| 7 | 昭和39年度 | 技能賞 | 山上　周之 | 全国大会３年連続優勝 |
| 8 | 昭和43年度 | 国体10年選手 | 小松　貴 | 福井国体時，（昭和40年度設定施行，以下同） |
| 9 | 昭和44年度 | 功労賞 | 中村　健 | 岡山県協会長10年間 |
| 10 | 昭和44年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 岡山県協会理事長10年間 |
| 11 | 昭和44年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 第５回世界女子選手権優勝の日本チームコーチ |
| 12 | 昭和44年度 | 技能賞 | 毛利　清志 | 全国大会３年連続優勝 |
| 13 | 昭和44年度 | 技能賞 | 山上　周之 | 全国大会３年連続優勝 |
| 14 | 昭和45年度 | 技能賞 | 毛利　清志 | 全国大会３年連続優勝 |
| 15 | 昭和45年度 | 技能賞 | 山上　周之 | 全国大会３年連続優勝 |
| 16 | 昭和47年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 第６回世界女子選手権優勝の日本チーム監督 |
| 17 | 昭和49年度 | 国体10年選手 | 三宅　勝 | 茨城国体時 |
| 18 | 昭和49年度 | 国体10年選手 | 柳本　堯敏 | 茨城国体時 |
| 19 | 昭和51年度 | 国体10年選手 | 芳上　一男 | 佐賀国体時 |
| 20 | 昭和60年度 | 国体10年選手 | 藤原　道弘 | 鳥取国体時 |
| 21 | 昭和60年度 | 研鑽賞 | 山田錄二郎 | 中国実連会長10年間・岡山県実連会長10年間 |
| 22 | 昭和61年度 | 国体10年選手 | 平田　重男 | 山梨国体時 |
| 23 | 昭和62年度 | 名誉理事委嘱 | 毛利　清志 | 日本協会創立40周年記念 |
| 24 | 昭和63年度 | 功労賞 | 石田　祥史 | 岡山県協会長10年間 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 25 | 昭和63年度 | 功労賞 | 岡本　武利 | 岡山県協会理事長10年間 |
| 26 | 平成２年度 | 国体10年選手 | 若林　邦任 | 福岡国体時 |
| 27 | 平成３年度 | 名誉会員認定 | 大森　恵子(旧浦口) | 国際大会日本代表選手として活躍 |
| 28 | 平成３年度 | 名誉会員認定 | 新沼ひろ映(旧湯木) | 国際大会日本代表選手として活躍 |
| 29 | 平成８年度 | 顧問委嘱 | 毛利　清志 | 日本協会創立50周年記念 |

4，全国高等学校体育連盟バドミントン部表彰（計16）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和34年度 | 学校（男子） | 西大寺高 | ５回以上出場校（７回） |
| 2 | 昭和34年度 | 学校（女子） | 山陽女子高 | ５回以上出場校（８回） |
| 3 | 昭和34年度 | 監督賞 | 毛利　清志 | ５回以上出場監督（８回） |
| 4 | 昭和44年度 | 学校（男子） | 西大寺高 | 10回以上出場校（11回） |
| 5 | 昭和44年度 | 学校（女子） | 山陽女子高 | 10回以上出場校（17回） |
| 6 | 昭和44年度 | 監督賞 | 毛利　清志 | 10回以上出場監督（17回） |
| 7 | 昭和53年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 昭和52年度インターハイ開催県委員長 |
| 8 | 昭和54年度 | 学校（女子） | 山陽女子高 | 15回以上出場校（26回） |
| 9 | 昭和54年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 永年指導・岡山県委員長として部の発展に寄与 |
| 10 | 平成元年度 | 特別功労賞 | 毛利　清志 | 永年指導・同上副部長として部の発展に寄与 |
| 11 | 平成元年度 | 功労賞 | 阪本　暁夫 | 岡山県専門部長として部の発展に寄与 |
| 12 | 平成元年度 | 功労賞 | 森　　彰 | 岡山県専門部長として部の発展に寄与 |
| 13 | 平成元年度 | 功労賞 | 瀬戸　　勝 | 永年指導・岡山県委員長として部の発展に寄与 |
| 14 | 平成元年度 | 功労賞 | 橋本千代子 | 永年指導・同上副委員長として部の発展に寄与 |
| 15 | 平成元年度 | 学校（男子） | 倉敷工業高 | 全国総体通算12回出場校 |
| 16 | 平成元年度 | 学校（女子） | 山陽女子高 | 全国総体連続13回出場校（計35回，全国最多） |

5，日本実業団バドミントン連盟表彰（計16）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和49年度 | 功労賞 | 岡本　武利 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 2 | 昭和49年度 | 功労賞 | 藤井　英雄 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 3 | 昭和49年度 | 技能賞 | 湯木　博江 | 全日本実業団選手権単４連勝・混合複３連勝 |
| 4 | 昭和51年度 | 功労賞 | 上野　輝治 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 5 | 昭和51年度 | 功労賞 | 芳上　一男 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 6 | 昭和51年度 | 功労賞 | 虻江　　優 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 7 | 昭和56年度 | 団体功労賞 | 三井造船 玉野(男) | 全日本実業団選手権15回出場 |
| 8 | 昭和56年度 | 功労賞 | 藤原　　航 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 9 | 昭和56年度 | 功労賞 | 田丸　勝己 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 10 | 昭和56年度 | 功労賞 | 松井　　一 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 11 | 昭和57年度 | 功労賞 | 湯木　博江 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 12 | 平成元年度 | 特別功労賞 | 山田錄二郎 | 岡山県実業団連盟会長14年間 |
| 13 | 平成元年度 | 功労賞 | 山本　　清 | 全日本実業団選手権10回出場 |
| 14 | 平成元年度 | 功労賞 | 藤原　道弘 | 全日本実業団選手権10回出場 |

15 平成４年度　功　労　賞　若林　邦任　　全日本実業団選手権10回出場
16 平成４年度　団体功労賞　川崎製鉄水島(男)　全日本実業団選手権15回出場

6，日本教職員バドミントン連盟表彰（計10）

1 昭和44年度　功　労　賞　毛利　清志　　第５回世界女子選手権優勝の日本チームコーチ
2 昭和46年度　功　労　賞　毛利　清志　　日本教職員連盟設立発起人として寄与
3 昭和46年度　大会10年選手　毛利　清志　　全日本教職員選手権
4 昭和46年度　大会10年選手　西崎　正明　　全日本教職員選手権
5 昭和47年度　功　労　賞　毛利　清志　　第６回世界女子選手権優勝の日本チーム監督
6 平成２年度　功　労　賞　川上　亀義　　岡山県教職員連盟会長20年間
7 平成４年度　大会10年選手　岡本　次郎　　全日本教職員選手権
8 平成６年度　功　労　賞　岡本　次郎　　岡山県教職員連盟理事長16年間
9 平成６年度　大会10年選手　平島　秀典　　全日本教職員選手権
10 平成６年度　大会10年選手　松本　哲也　　全日本教職員選手権

**◎中国地区関係機関・団体（受賞順～年齢順）**

1，中国高等学校体育連盟バドミントン部表彰（計32）

1 昭和42年度　技　能　賞　備　　南(男)　３年連続優勝，（昭和42年度設定，以下同）
2 昭和42年度　技　能　賞　山陽女子(女)　３年連続優勝
3 昭和45年度　技　能　賞　山陽女子(女)　３年連続優勝
4 昭和48年度　技　能　賞　山陽女子(女)　３年連続優勝
5 昭和51年度　技　能　賞　山陽女子(女)　３年連続優勝
6 昭和54年度　技　能　賞　山陽女子(女)　３年連続優勝
7 昭和57年度　努　力　賞　倉敷工業(男)　通算23回出場，（昭和57年度設定，以下同）
8 昭和57年度　努　力　賞　備　　南(男)　通算14回出場
9 昭和57年度　努　力　賞　西大寺(男)　通算13回出場
10 昭和57年度　努　力　賞　水島工業(男)　通算12回出場
11 昭和57年度　努　力　賞　倉敷天城(男)　通算12回出場
12 昭和57年度　努　力　賞　倉敷青陵(男)　通算11回出場
13 昭和57年度　技　能　賞　山陽女子(女)　３年連続優勝
14 昭和57年度　努　力　賞　山陽女子(女)　通算25回出場
15 昭和57年度　努　力　賞　西大寺(女)　通算17回出場
16 昭和57年度　努　力　賞　倉敷中央(女)　通算15回出場
17 昭和57年度　努　力　賞　倉敷青陵(女)　通算14回出場
18 昭和57年度　努　力　賞　井　　原(女)　通算10回出場
19 昭和57年度　功　労　賞　毛利　清志　　監督として25回出場
20 昭和57年度　功　労　賞　橋本千代子　　監督として12回出場
21 昭和57年度　功　労　賞　小原　健吾　　監督として11回出場

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 22 | 昭和57年度 | 功労賞 | 瀬戸　勝 | 監督として10回出場 |
| 23 | 昭和60年度 | 技能賞 | 山陽女子(女) | ３年連続優勝 |
| 24 | 昭和62年度 | 努力賞 | 西大寺(男) | 通算20回出場 |
| 25 | 昭和63年度 | 技能賞 | 山陽女子(女) | ３年連続優勝 |
| 26 | 平成４年度 | 努力賞 | 水島工業(男) | 通算20回出場 |
| 27 | 平成５年度 | 功労賞 | 柴田　憲 | 監督として10回出場 |
| 28 | 平成６年度 | 努力賞 | 倉敷工業(男) | 通算30回出場 |
| 29 | 平成６年度 | 努力賞 | 瀬戸南(男) | 通算10回出場 |
| 30 | 平成６年度 | 技能賞 | 山陽女子(女) | ３年連続優勝 |
| 31 | 平成６年度 | 努力賞 | 倉敷翠松(女) | 通算10回出場 |
| 32 | 平成６年度 | 功労賞 | 松田　範明 | 監督として10回出場 |

２，中国実業団バドミントン連盟表彰（計５）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和57年度 | 技能賞 | 川崎製鉄水島(男) | 中国実業団選手権大会３年連続優勝 |
| 2 | 昭和60年度 | 功労賞 | 山田錄二郎 | 中国県実業団連盟会長10年間 |
| 3 | 昭和60年度 | 功労賞 | 岡本　武利 | 中国実業団連盟理事長10年間 |
| 4 | 平成元年度 | 技能賞 | 川崎製鉄水島(男) | 中国実業団選手権大会10年連続優勝 |
| 5 | 平成４年度 | 技能賞 | まつもとコーポ(女) | 中国実業団選手権大会３年連続優勝 |
| 6 | 平成６年度 | 技能賞 | 三井造船玉野(男) | 中国実業団選手権大会３年連続優勝 |
| 7 | 平成８年度 | 技能賞 | 三井造船玉野(男) | 中国実業団選手権大会５年連続優勝 |

３，中国バドミントン協会表彰（計３）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 平成２年度 | 技能賞 | 若林　邦任 | 中国社会人選手権大会単３年連続優勝 |
| 2 | 平成７年度 | 技能賞 | 三辻　邦章 | 中国社会人選手権大会複３年連続優勝 |
| 3 | 平成７年度 | 技能賞 | 福田　哲 | 中国社会人選手権大会複３年連続優勝 |

**◎県内関係機関・団体（受賞順～年齢順）**

１，岡山県教育委員会表彰（計７）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和37年度 | 全国優勝 | 高塚　淳子 | 第13回全国高校選手権単・複優勝 |
| 2 | 昭和37年度 | 全国優勝 | 重政　百代 | 第13回全国高校選手権複優勝 |
| 3 | 昭和41年度 | 全国優勝準優勝 | 山陽女子高 | 第17回全国高校選手権単１・２位，団体・複２位 |
| 4 | 昭和45年度 | 全国優勝 | 瀬戸　勝 (旧三宅) | 第９回全日本教職員選手権一般男子複優勝 |
| 5 | 昭和45年度 | 全国優勝 | 柳本　堯敏 | 第９回全日本教職員選手権一般男子複優勝 |
| 6 | 昭和47年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | 第６回世界女子選手権優勝の日本チーム監督 |
| 7 | 昭和59年度 | 功労賞 | 石田　祥史 | 岡山県協会長として協会発展に寄与 |

２，岡山県体育協会表彰（計８）

1 昭和30年度　全国優勝　第10回国体岡山県高校女子チーム
（監督：山上周之，選手：権田節子・友野文子・三宅基子）
2 昭和44年度　優秀選手　湯木　博江　全英選手権単日本人初優勝・第５回世界女子選手権（ユーバー杯）優勝の日本チーム選手
3 昭和47年度　功労賞　毛利　清志　第６回世界女子選手権優勝の日本チーム監督
4 昭和53年度　功労賞　中村　健　岡山県協会長として20年間協会発展に寄与
5 昭和57年度　全国優勝　第37回国体岡山県成年女子チーム
（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美）
6 所和58年度　全国優勝　第38回国体岡山県成年女子チーム
（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美）
7 昭和62年度　優秀チーム　山陽女子高　中国高等学校選手権女子団体30連勝
8 平成３年度　功労賞　橋本千枝子　バドミントン永年指導

3，岡山県高等学校体育連盟（計３）
1 昭和54年度　功労賞　毛利　清志　専門部委員長19年間（県高体連創立30周年記念）
2 平成４年度　特別功労賞　毛利　清志　県総体通算優勝20回以上（28回）・連続優勝10回以上（12回）の山陽女子高校監督
3 平成５年度　特別功労賞　毛利　清志　部員の全国優勝13回，国際大会優勝選手の育成

4，岡山県中学校体育連盟（計２）
1 昭和57年度　感謝状　森　誠之助　バドミントン部の発展に尽力，県総体20回記念
2 昭和57年度　感謝状　小橋　勝広　バドミントン部の発展に尽力，県総体20回記念

5，岡山県スポーツトレーナー委員会（計３）
1 昭和47年度　功労賞　毛利　清志　第６回世界女子選手権優勝の日本チーム監督
2 昭和57年度　全国優勝　第37回国体岡山県成年女子チーム
（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美）
3 所和58年度　全国優勝　第38回国体岡山県成年女子チーム
（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美）

6，岡山県学校保健・安全・体育関係表彰（計４）
1 昭和58年度　全国優勝　第38回国体岡山県成年女子チーム
（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美）
2 平成元年度　全国優勝　藤原　道弘　全日本シニア選手権30歳男子単
3 平成元年度　全国優勝　山本美智子　全日本シニア選手権30歳女子複
4 平成２年度　全国優勝　藤原　道弘　全日本シニア選手権30歳男子単

7，岡山県文化・スポーツ顕彰（昭和63年度施行＝計３）
1 平成２年度　優秀チーム　西大寺中学校　全国中学校選抜選手権女子団体３位
2 平成５年度　優秀選手　草井　篤　全国高等学校選抜選手権男子単２位
3 平成７年度　優秀選手　橋村　竜彦　全国中学校選抜選手権男子単２位

◎報道関係機関（受賞順～年齢順）

1，日本スポーツ賞（読売新聞＝計６）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和44年度 | 世界制覇 | 毛利　清志 | 第５回世界女子選手権(ユ杯)日本チームコーチ |
| 2 | 昭和44年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 第５回世界女子選手権（ユ杯）日本チーム選手 |
| 3 | 昭和46年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 国際オープン選手権複６回（日本・デンマーク・イギリス・アメリカ・カナダ） |
| 4 | 昭和47年度 | 世界制覇 | 毛利　清志 | 第６回世界女子選手権（ユ杯）日本チーム監督 |
| 5 | 昭和47年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 第６回世界女子選手権（ユ杯）日本チーム選手 |
| 6 | 昭和49年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 全英選手権単２回目 |

2，朝日スポーツ賞（朝日新聞＝計２）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和44年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 全英選手権単日本人初・第５回世界女子選手権（ユ杯）日本チーム選手 |
| 2 | 昭和53年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 第８回世界女子選手権（ユ杯）日本チーム選手 |

3，ビッグスポーツ賞（テレビ朝日＝計１）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和52年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 全英選手権単４回目，永久杯受賞（マーガレット王女より） |

4，山陽新聞体育賞（計３）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和44年度 | 世界制覇 | 湯木　博江 | 第５回世界女子選手権（ユ杯）日本チーム選手 |
| 2 | 所和58年度 | 全国優勝 | | 第38回国体岡山県成年女子チーム（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美） |
| 3 | 昭和63年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | バドミントン指導，全国・国際の優秀選手育成 |

5，岡山スポーツ賞（岡山スポーツ記者クラブ＝計７）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 昭和41年度 | 全国優勝 | 湯木　博江 | （山陽女子高）第17回全国高校選手権女子単 |
| 2 | 昭和47年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | バドミンンの普及振興，選手としても活躍 |
| 3 | 昭和57年度 | 全国優勝 | | 第37回国体岡山県成年女子チーム（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美） |
| 4 | 所和58年度 | 全国優勝 | | 第38回国体岡山県成年女子チーム（監督：藤原　航，選手：河本小織・高田幹子・小寺裕美） |

6，ＯＨＫスポーツ振興財団賞（計５）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 平成元年度 | 全国優勝 | 山本美智子 | 全日本シニア選手権30歳女子複 |
| 2 | 平成元年度 | 功労賞 | 毛利　清志 | ユ杯の日本女子チームを２度世界制覇に導く |
| 3 | 平成元年度 | 優秀チーム | 山陽女子高 | 中国高等学校選手権団体30連勝他 |
| 4 | 平成２年度 | 功労賞 | 橋本千代子 | バドミントンの永年指導 |
| 5 | 平成３年度 | 全国優勝 | 藤原　道弘 | 全日本シニア選手権30歳男子単 |

◎県内関係団体（受賞順～年齢順）

1．岡山県バドミントン協会表彰

(1) 全国大会個人戦優勝の受賞選手名簿（合計は，単・複・混合複の優勝合計）

| No. | 氏名 | 旧姓 | 合計 | No. | 氏名 | 旧姓 | 合計 | No. | 氏名 | 旧姓 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 藤沢　英子 | 吉川 | 1 | 13 | 一村　艶子 | 大橋 | 1 | 25 | 藤井　英雄 | | 1 |
| 2 | 大森　嘉美 | | 1 | 14 | 中村千栄子 | 草野 | 1 | 26 | 藤本　雅子 | 石田 | 2 |
| 3 | 岡下　文子 | 友野 | 2 | 15 | 伊藤　百代 | 重政 | 1 | 27 | 多田寿美子 | 林 | 1 |
| 4 | (故)相賀節子 | 権田 | 2 | 16 | 元島　淳子 | 高塚 | 2 | 28 | 河本　小織 | 近藤 | 5 |
| 5 | 小林　桂子 | | 2 | 17 | 社　　竹三 | | 4 | 29 | 藤原　　航 | | 2 |
| 6 | 三宅　基子 | | 1 | 18 | (故)小梶繁雄 | | 2 | 30 | 芳上　一男 | | 4 |
| 7 | 毛利　清志 | | 52 | 19 | (故)西崎正明 | | 1 | 31 | 山本美智子 | 原田 | 4 |
| 8 | (故)山上周之 | | 30 | 20 | 瀬戸　　勝 | 三宅 | 1 | 32 | 石原　桂子 | 竹原 | 1 |
| 9 | 増田　寿子 | 戸田 | 2 | 21 | 柳本　堯敏 | | 1 | 33 | 今津　裕美 | 小寺 | 5 |
| 10 | 前田　俊一 | | 1 | 22 | 新沼ひろ映 | 湯木 | 46 | 34 | 藤原　道弘 | | 4 |
| 11 | 石原　利通 | | 1 | 23 | 大森　恵子 | 浦口 | 2 | 35 | 佐藤　由香 | | 1 |
| 12 | 伊達　　純 | 根岸 | 1 | 24 | 小松　　貴 | | 1 | 36 | 若林　邦任 | | 2 |

＊①岡山県出身で県外の大学・実業団等の在籍中に全国優勝を果たした選手は，No.22新沼・No.23大森・No.28河本・No.31山本・No.33今津の４選手である。

（県外実業団等の在籍分は，県協会表彰の対象外）

＊②36名の通算優勝合計は，県外の大学・実業団等の所属選手分58回を含めて191回である。

(2)全国大会団体戦優勝の受賞チーム一覧（団体優勝の表彰は，昭和50年代後半より施行）

1 昭和57年度　第37回国体成年女子チーム

昭和58年度　第38回国体成年女子チーム

※受賞は不明確だが，上記以外に全国大会団体優勝を果たした下記13チームがある。

1 昭和30年度　第６回全国高等学校選手権山陽女子高校チーム
2 昭和30年度　第10回国体高校女子チーム
3 昭和30年度　第10回国体皇后杯総合優勝岡山県チーム（一般女子・高校女子）
4 昭和31年度　第11回国体天皇杯総合優勝岡山県チーム（一般男子・一般女子・高校女子）
5 昭和32年度　第６回全日本実業団選手権岡山市役所女子チーム
6 昭和40年度　第４回全日本教職員選手権一般男子団体岡山県チーム
7 昭和41年度　第５回全日本教職員選手権一般男子団体岡山県チーム
8 昭和43年度　第７回全日本教職員選手権成壮年男子団体岡山県チーム
9 昭和44年度　第８回全日本教職員選手権成壮年男子団体岡山県チーム
10 昭和46年度　第10回全日本教職員選手権成壮年男子団体岡山県チーム
11 昭和47年度　第11回全日本教職員選手権成壮年男子団体岡山県チーム
12 昭和48年度　第12回全日本教職員選手権成壮年男子団体岡山県チーム
13 昭和51年度　第15回全日本教職員選手権一般女子団体岡山県チーム

＊全国優勝者・同チーム編成選手の紹介は，第Ⅱ章の２「全国優勝を果たした人」の項参照

⑶技能賞（昭和62年度より奨励のため設定施行）

1 昭和62年度　優秀チーム　山陽女子高校　中国高等学校選手権女子団体30連勝

2 平成４年度　優秀選手　草井　篤（瀬戸南高）平成４年度全国高校選抜選手権男子単２位

3 平成４年度　優秀選手　松王峰代子（山陽女子高）平成４年度全国高校選抜選手権女子単３位

4 平成７年度　優秀選手　橋村　達彦（倉敷福田中）第25回全国中学校選抜選手権男子単２位

5 平成７年度　優秀チーム　第50回国体少年女子５位

（監督：石田賢一，選手：赤澤景子・加藤美香・次田尚美）

2，岡山県高体連バドミントン部表彰

⑴功労賞

1 昭和62年度　優秀監督　毛利　清志　中国高校選手権女子団体30回連続出場チームの監督

2 昭和62年度　特別功労　毛利　清志　中国高校選手権女子団体30連勝チームの監督

3 平成５年度　感謝状　毛利　清志　岡山県高校バドミントン界の発展に大きく貢献

⑵技能賞

1 昭和62年度　学校（女子）　山陽女子高　中国高等学校選手権女子団体30連勝

2 平成４年度　優秀選手　草井　篤　平成４年度全国高等学校選抜選手権男子単２位

3 平成４年度　優秀選手　松王峰代子　平成４年度全国高等学校選抜選手権女子単３位

※現新沼ひろ映選手の姓名は，25歳で湯木博江から同博恵に，結婚後現姓名に変わった。

# 第Ⅲ章　思い出

## 『国体優勝まで』

岡山県バドミントン協会第５代会長　石田祥史　記

＜岡山県教育時報　1983（昭和58）年１月，新年特集号“随想”より＞

1981（昭和56）年秋，地元の経済レポート誌に「石田が，来年の国体は頂きだとはしゃいでいる。とはいってももちろん御本人が国体に出場するわけでなはない……」と書かれたことがある。

1978（昭和53）年のこと，にわかに岡山県バドミントン協会長に据えられてから，それまで全く無関係だった国体との関わりが次第に深まっていった。

協会長は，まず就職の受け皿をつくってくれといわれて，1979（昭和54）年に２人，Ｕターンの新卒女子選手（山陽女高ＯＧ）を採用した。２人ともよく活躍したが，国体ではベスト16どまりだった。

ところが，山陽女子高出身で全日本チームの近藤小織選手が２人の後輩に注目し，岡山へ帰って協会長の会社（㈱松本組）でやりたいという話が1980（昭和55）年暮れごろ舞いこんできた。その上，もう一人連れて帰ってもよいという。

近藤は日女体大時代に全日本総合選手権の単優勝。世界最強が集う全英で単２位。国別女子団体世界選手権のユーバー杯（３年に一度開催）で1978（昭和53）年優勝。1981（昭和56）年５月の防衛戦に備えて，ユ杯選手強化に参加中だった。

その1981（昭和56）年５月のユ杯で，近藤は決勝の対インドネシアに，９戦中，単２勝，高田幹子選手と組んだ複で１勝し，計３勝を挙げた。結局全日本チームで決勝のコートに入ったのはわずか４人だったが，６勝３敗で世界選手権防衛を果たしたのである。

連れて帰るもう一人は，ペアの高田幹子だと分かった。えらいことになった。岡山でこんな大選手の面倒が見切れるだろうか。練習の相手，場所，時間はどうするか。県協会だけではない。県体協までも期待と重大責任に沸いた。

紆余曲折はあったが，1981（昭和56）年９月に２人はわが社に入社。地元の経済レポート誌が冒頭の記事を書いたのがこの頃である。

その年の全日本総合は，複ベスト４（近藤／高田），単ベスト８（近藤）と振るわず，これではならじと県協会男子選手が奮起，練習相手を休日返上でかって出てくれた。そして，県協会のスケジュールの質量両面の充実により，1982（昭和57）年は全日本実業団，全日本社会人で好成績を挙げ，遂に10月の島根国体で，香川，東京，静岡，大阪の強豪をなぎ倒し，岡山成年女子にとって初めての優勝を飾ったのである。

岡山県代表選手の近藤小織（ユ杯防衛の１周年記念の日に結婚，現在は河本姓）・高田幹子・小寺裕美の３人の名は，国体の続く限り永遠に残ることとなった。３人ともわが社では定時勤務後の練習という悪条件を克服しての快挙であった。

追記：近藤・高田・小寺のトリオはその後も精進を続け，1983（昭和58）年の群馬国体においても優勝して，見事に国体２連覇の偉業を遂げた。しかしながら，この間における県バドミントンチームの他種別の成績がふるわなかったので，天皇杯総合得点では９位に終わり，せっかく成年女子が優勝を果たしたにもかかわらず，岡山県選手団体全体への貢献度はいま一歩であった。

1996（平成８）年

# 『バドミントン人生』

岡山県バドミントン協会　第４代理事長　現副会長　**毛利清志**

1948（昭和23）年，学生時代の教育実習の時，岡山に入ってきたばかりのバドミントンに初めて出会い，その魅力のトリコにされてから今日までの約50年間を，指導者として，また，選手・役員として，この道一筋に生きてきた。

昭和25年山陽学園に奉職，当時の上代淑校長に格別なお世話になり“スポーツ山陽の名声をますます高めて恩返しをしよう”と密かに決心して以来，退職までの43年間を指導者として頑張ってきた。

この間，現役部員の活躍の跡として，国体，インターハイ，全日本総合などにおいて通算15回の全国優勝の外，西日本優勝５回，中国高校団体32連勝等があり，国体，インターハイ，全国高校選抜等では全国最多出場記録を誇っている。また，165名の卒業生の内，卒業と同時に県内外に就職した20数名のＯＧも，各種大会において数回の全国優勝の外，地区大会や全国大会で多数の入賞を果している。さらに，約70名のＯＧたちは，名門校を含む県内外の大学，短大に進学して腕を磨き，学生から社会人にかけて，合計61回もの全国優勝を遂げた上，上位入賞の数は枚挙に暇がない。なかでも，ナショナルチームを始め，その他国際大会の日本代表に選ばれたＯＧたちは，世界女子選手権（ユ杯）や，全英等の権威ある国際大会において，29回ものチャンピオン獲得の快挙など，単に岡山県内に止まらず，日本バドミントン界へも大きく貢献してくれており，指導者冥利につきる思いである。

選手としての思い出は，「国体20回連続出場（一般６・教員14）や昭和31年に教え子やチームメイトと共に頑張って勝ち取った「国体天皇杯総合優勝」と，「全日本教職員大会団体７回優勝」等がある。個人戦では教え子とのコンビによる「全日本総合混合複優勝」を始め，全日本選手権，同社会人，同教職員大会等の年齢別における「優勝合計59回」等がある。

役員としては，昭和33年から県協会理事長20年間，翌34年より県高体連専門部委員長19年間と二役の重責を担ってきた。その後，昭和53年より県協会副会長に就任，同年からの県高体連専門部副部長10年間を経て，平成８年には県家庭婦人連盟の会長に推されて在任中である。

全国レベルでは，昭和36年より日本協会理事18年間（内常務理事12年間）。昭和30年代から40年代にかけて全国高体連専門部委員，昭和50年より同副部長４年間。昭和35年から日本教職員連盟発起人２年間，昭和50年から同副会長18年間等を歴任。その後，平成７年より全国バドミントンクラブ（有志の会）の代表に推される傍ら，平成８年度から日本協会顧問に推挙されて現在に至っている。

上記日本協会理事在任中，1969（昭和44）年の第５回と，1972（昭和47）年の第６回の２度にわたり，ユーバー杯争奪世界女子選手権大会のコーチ・監督を拝命。教え子を含む日本チームの選手たちと共に戦い，２回ともタイトル防衛に成功して日本に「ユーバーカップ」をもたらしたことは，なにものに代えがたい大きな喜びであり，“我がバドミントン人生最高の思い出”である。

平成５年，40数年間お世話になった山陽学園を退職，その後も県バドミントン界と山陽学園の永久不滅の発展を願いながら，同学園バドミントン部のコーチに通っている。一方，平成６年に「県協会50周年記念誌」の編纂委員長を仰せつかり，平成10年の創立50周年の発刊にむけて，関係者の協力を得ながら，バドミントン界へ恩返しの心を込めて取り組み中である。

私の人生を支えて下さった山陽学園，ご指導，ご鞭撻頂いたバドミントン関係者，“忍耐と努力”のモットーの下で黙々と精進を重ねてくれた，私の貴重な財産であるバドミントン部同窓生の皆さん等に，心から感謝の意を捧げてこの稿の結びとする。

**平成８年７月記**

# 『バドミントン回顧』

岡山県バドミントン協会　第５代理事長　現参与　**岡本武利**

ラケットを手にして40年，勤務先チームの一員として自分なりにも長い歴史の流れがある。

思い返せば長い年月も，過ぎ去ってみれば昨日までのことのようであり，職場や家族，幾多の先輩や友人に支えられながら精進を重ねてきた。幸い健康に恵まれ，さらに，環境の良さもあって，職場スポーツに関与した者としては，大いに我が意を得たりとするところであった。

常日頃上司に，バドミントンをやる人は「一味違う人間となるように成長し，さらに並では無い評価を得るように努力せよ」と，論されていたことを念頭に，明るい職場づくりを目指して，相互の親睦と友情のきずなを保ちながら，日頃のマイナス面を挽回するよう努力したつもりである。

職場での仕事とクラブ活動では，一口には言えない多くの喜怒哀楽があり，その一コマ一コマに物語りがあって，今でも当時を鮮明に思い出すものさえある…。

昭和53年度から県協会の運営を託されたとき，脳裏に浮かんだのは，諸先輩が営々と築き上げられた30年の足跡をどのように継承し，発展させるべきかであった。時あたかも，県協会創立30周年の記念式が岡山国際ホテルで開催され，改めて，ことの重大さに身の引き締まる思いが全身をよぎった。何事においても，県協会を背負っての責任者的な言動が多くなり，単なる世話係では済まされず，自覚に基づいた振る舞いが強く求められるようになったのである。

協会業務の遂行を天職と認識し，思考錯誤を繰り返し「どうすればベストなのか…」を常に意識しながら，バドミントン愛好者の増加と，会員，役員間の親睦交流に努める一方，有望選手の発掘と強化等に，関係役員の努力は大変なものであった。さらに，“金の卵”の育成につながる小学生大会，その“金の卵”を養育する家庭婦人大会なども開催の道が開かれ，良い指導者を得て伸展してきたように思う。

年度末には一年間を振り返り，県大会，選手強化，その他の事業を消化するなど，単に年当初のスケジュールを消化して，その年が終わるといこうとに甘んじないよう，全国レベルで活躍している他の都道府県を参考にしながら，一歩でも二歩でも前進して，次年度への飛躍の足掛かりとなるように頑張ったものである。その間には，いろいろな難問題が山積することもしばしばあり，役員各位に度々御足苦労願って会議を開いたりなど，皆さんに助けられ，引っ張ってもらいながら，乗り越えたことを思うと，ただただ感謝の念でいっぱいである。

ある先輩から，「言うは易く行うは難し，されど，恐れては何事も成し得ず。改むることをはばかることなく，勇気をもって日々新たな心を忘れず，事に臨むべし」という諺を教えられたことがある。その教訓を念頭に，愛好者と共に，バドミントンに情熱を燃やしたことの思い出は，あまりにも多く，非才なわが身では，語り尽くせないもどかしさを覚えるほどである。

バドミントンを通して得たものは，“かけがえのない仲間”と“すばらしい思い出”であるが，これらは，自分にとって，生涯の貴重な宝でもある。

・・・県協会の限りない発展を祈念しながら・・・

**平成７年正月記**

# 『理事長からのメッセージ』

岡山県バドミントン協会理事長　**藤原　航**

＜㈶ＯＨＫスポーツ振興財団「SPORTS　WATCHING」
（平成５年度）№10より＞

競技団体の現場の蛇取り役を仰せつかってまる６年になろうとしている。

当初は心新たな決意のもと，目標へのチャレンジ意欲も今よりは強かったような気がする。今は弱くなったという意味ではないが，経験が要領を生み，慣れが協会運営のマンネリ化につながっているのではと反省の多い昨今である。６年前と何がどう変わったのだろうか，改革，改善の勾配はまことにゆるい。

申すまでもなく競技団体運営の鍵は，組織役員の自主的，積極的な取り組みが全てであり，これをいかに引き出し結集できるかにあると考えている。さりとて，余暇が基本の活動では多くの問題も抱えている。活動のための時間，資金，環境等，自分だけでは解決できない頭の痛い問題が多い。加えて，その内容や発生のタイミングは，各人ばらばらであり，事業推進の大きな障害になっている。

組織役員の一人ひとりが，勤務先あるいは家庭からの制約を受けながら，やりくりしながら，理解を得ながら，時には何処かを犠牲にしながらの活動であり，ボランティアがベースの活動なので難しさを痛感する。

協会運営は，こうした周囲の制約を調整して集まった仲間達が，更に協会内部での調整のもとに一致団結しなければ成り立たない。押しつけや我慢の強要は極力避けなければならない。無理の繰り返しは決して長続きするものではない。私は公平を大原則に，如何に納得を得，理解を得るかを基本に取り組んでいるつもりである。しかし，世の中には，問題ありとの烙印を押されながらもこれに気付かず（気付いていても）不変の人の噂も多く耳にする。もしや自分もその一人では？，協会発展のブレーキでは？，とふと思う時がある。世間には，幸か不幸かマイナスは極力告げない風潮もある。知らぬが花と判っていても，フィルターのない鏡に写る自分はどうなのか，一人静かに診てみたいものである。

**1994（平成６）年１月記**

＝全国大会優勝者の手記等＝

# 『私の思い出』

1995（平成７）年　**平方昌子**（旧姓松山）記

岡山県バドミントン協会50周年おめでとうございます。

昭和25年，私が高校２年生のとき，県協会から原恵二氏と山上周之氏が井原へ指導にこられました。講堂で先輩が楽しそうに羽根を打っている姿が，傍で卓球をしていた私には羨ましい限りでした。自分にもできそうに思い，体育の金尾善六先生にお願いして入部させて頂きました。先生は，日体大卒業後間のない頃で，若くて，俳優の堀雄二によく似ておられたので私たちの憧れでした。

私は，ちょうどその頃井原高校にできた進学組に入りましたが，部活動との両立は大変でした。私たちの頃の県大会はほとんど倉敷青陵高校で行われていました。たまたま２年生のとき，先輩とのメンバー変更で試合に出場させて頂いたことが，バドミントンにのめり込むきっかけになりました。

高３のとき，札幌での第２回インターハイ（岡山県初参加）に，女子の県代表として倉敷青陵と井原が選ばれたときは，嬉しくてたまりませんでした。井原高から参加する選手を視察にこられたのが，広島県協会現理事長の安倍淳美氏や役員の方達でした。その方々は福山市なのでよく指導に来て頂きました。顧問の金尾先生は，毎日の練習の上に合宿まで組んで一生懸命に指導してくださいましたが，ついに過労で倒れ，生死をさまよう重症のため，何より楽しみにしていた北海道遠征の引率は，体育主任の先生が交替して下さいました。遠征は現在とは異なり，列車で大阪まで行き，大阪から急行で日本海沿岸を長時間ゆられて青森まで行きました。連絡船では船底の窓から見える波ばかり眺めながら函館に着き，さらに列車で札幌までの長い長い旅でした。

初めての北海道での私には，見る人観る物すべてが珍しく，北海道大学の時計台「青年よ大志を抱け」のクラーク先生の像も印象に残っていますが，大会の入場行進は忘れることはできません。試合は初回戦で地元代表の帯広三条高校と対戦し，惜敗しましたがよい思い出になりました。

昭和27年１月（高３），松江市での第２回西日本大会では，ダブルスで３位に入賞しました。〔島根県といえば縁結びの出雲大社，その時のお祈りが効いたのでしょう，後年になってバドミントン関係の現在の主人と縁を結ぶことができました…。〕

昭和27年に京都女子大に入学して，バドミントン部を創りました。その年の全日本選手権（奈良）には岡山県代表で参加し，翌年の第８回国体（善通寺）に京都代表で出場しました。卒業後大阪の高校に赴任してからも，第９回（北海道）や第12回（静岡）の国体に近畿地区で勝ち抜いて，大阪代表として参加しました。また，当時は５大都市（横浜・名古屋・京都・大阪・神戸）対抗競技会というのがあり，大阪代表の選手・監督で出場したこともあります。

数多い思い出のなかで最高に嬉しかったのは，1953（昭和28）年の仙台市でのインカレです。団体とダブルス優勝，シングルス２位となり自分でも信じられない快挙でした。優勝して帰ってからは宿舎（旅館）での待遇が手のひらを返したように変わり，優越感に浸りました。

私の青春時代に，このような体験とすばらしい思い出をつくることができたのは，ひとえに高校時代の恩師金尾先生のご教示によるものなので，私も教師になってクラブ活動で頑張り，生徒たちに楽しい思い出をつくってやりたいと考えながら，大阪高体連で13年間取り組みました。

結婚してからもバドミントンに関わり，現在も兵庫県や姫路市の家庭婦人連盟の役員として，試合

の監督に推薦されるなどで頑張っています。

終わりに岡山県バドミントン協会の今後の発展を心よりお祈りいたします。

付記：平方昌子選手の夫君進氏は，倉敷工業高校時代に全日本選手権やインターハイ等に出場して活躍した選手。バドミントンの縁結びで家庭をもってからも，長年，姫路市協会の理事長を努めるなど，役員としてもバドミントン界に貢献された。　　1995（平成７）年編纂委員会

## 『私の思い出』

1995（平成７）年　**藤沢英子**（旧姓吉川）記

岡山県バドミントン協会50周年おめでとうございます。

山陽学園バドミントン部も創設以来45年になりますが，毛利先生は歴史そのものです。その間，湯木さん（現新沼）や近藤さん（現河本）など，世界的な選手を育てられたことは私たちの誇りです。

私も高校生になったとき，楽しそうな羽根つき？にあこがれて入部しましたが，見るのとするのは大違い。練習の場所も十分ではなかったのに，毎日苦しい練習に明け暮れ，よく頑張ってきたと思います。その甲斐があったのか，２年生から先輩とともに全国大会に出場でき，ラッキーなスタートをきることができました。

1953（昭和28）年の第６回全日本選手権（新潟市）では，大森さんとのダブルスはベスト８止まりでしたが，シングルスでは４位となり，思いがけない好成績を挙げることができました。翌年１月の西日本選手権（福山市）では，シングルスの優勝に続いて，ダブルスは大森さんに，ミックスは毛利先生に助けられて，待望の優勝を“３冠王獲得！”のおまけ付きで飾ることができたのは，今思い出しても夢のようです。

卒業した年の５月，全日本選手権（東京）でのシングルスは，優勝した大川選手（神奈川県）に準々決勝で当たり，残念ながらベスト８止まりでした。しかし，大森さんとのダブルスは，“誰にも負けないぞ”と密かに自分に誓っていたとおり，念願の優勝を果たすことができました。しかも，私たちの優勝が，岡山県や山陽学園にとっても初の全国優勝であったことにチョッピリ誇りを感じています。同時に，この栄光は，毛利先生を始め先輩，後輩の皆さんのおかげと感謝しています。それにも増して，毎日二人で苦しい練習に頑張ってきた，最良のパートナー大森さんがいてくれたからこそ…，大森さんのおかげだと思っています。

全国優勝の晴れがましい思い出の裏には，悲しい思い出もあります。大森さんのお父さまが大会の途中に亡くなられたのです。優勝戦の前に東京の選手から，私の父と勘違いして聞かされたときの驚きは言葉には表せません。しかし，先生は「何かの間違いだ，決勝戦は絶対に大丈夫だから力いっぱい頑張ってこい」と励ましてくださいました。おかげで乱れた心も落ち着きを取り戻し，日頃の練習の成果を出しきることができました。

その年の第９回北海道国体を最後にバドミントンをやめて結婚しました。

1981（昭和56）年，主婦業にゆとりができたので，大阪府交野市で家庭婦人のバドミントンクラブをつくり，二人の娘や仲間と一緒に８年間頑張って来ました。今は健康のために体操やニュースポーツのバウンドテニスなどをしています。

最後に岡山県バドミントン協会のますますのご発展を心よりお祈りいたします。

## 『初めての国民体育大会＝第１１回兵庫国体』

1995（平成７）年　伊達　純（旧姓根岸）記

バドミントンを始めて４年目，まだ15歳になったばかりで，国体なんて漠然としか考えていませんでした。だから，予選で勝ったときも，周りに行けない人が多いなかで，一人喜ぶ気にはなれませんでした。本番が近くなるにつれて，強化練習をしたり，ユニフォームが届いたりするうち，次第に自分も国体に行くんだなと思うようになりました。

神戸に着いたとき，毛利先生から「国体の開会式や入場行進は参加する価値がある」と言われて，初参加の私たち高校女子３人（小林・戸田・根岸）は，灘の王子競技場へ行きました。先生のことば通り，開会式はそれはもう大変な感激で，まるで夢心地でした。宿舎に帰ってからは，岡山から神戸に嫁いでこられた方や，移住された先輩たち（多分毛利先生の教え子だと思います）が激励にきてくださったりなどで，「国体の選手はこんなにも大事にもてはやされるのか。山陽学園の先輩はすばらしい。バドミントンをやっていてよかった…」などと思いました。15歳の少女が生まれて初めて味わった感激でした。

試合は３年生の先輩二人（小林・戸田）の活躍で準優勝することができたし，ＯＧの一般女子チームも準優勝，先生方の一般男子チームが３位で，天皇杯総合優勝（皇后杯も総合２位＝１位と同点）を果たし，何度も参加した国体のなかで一番忘れられないものとなっています。今でこそ，世界の檜舞台で技と根性を発揮する場があるけれど，昭和30年代前半は，国体こそがスポーツマンにとって最高の栄誉ある大会でした。

あれから38年，二人の子供たちもすでに独立し，“思い出の地神戸”で夫婦二人だけの生活を送っています。毛利先生，そして先輩方，私に多くの夢を与えてくださって本当にありがとうございました。

## 『インカレ優勝戦の思い出』

1995（平成７）年　―村豊色子（旧姓大橋）記

〇優勝戦のシナリオ

・大会名＝第8回全日本学生バドミントン選手権大会

・期　日＝1957（昭和32）年11月26日　・場　所＝香川県高松市香川県立体育館

・対戦者＝塚村／良倉組（京都女子大＝両選手とも井原高校出身で同大会団体戦優勝メンバー）

岡大４年の秋，その年は高松市でインカレが開催されるということで，「近いので参加して，腕を試してみようか？」と軽い気持ちで申込みをしました。１日目に負けるだろうと思っていたのに，２日目に勝ち残れたときも，自分では「まだ試合ができるな…」ぐらいの感じでした。

優勝戦では，パートナーの草野さんが前衛でネットにつき，私は後衛でシャトルを追って，コートの中を走り回ったのを今でも忘れることはできません。１ゲーム目は４点で勝ち，２ゲーム目に入ると，相手がバックコーナーへハイクリアーで振ってくる作戦で，左右にシャトルを回してきました。私は相手コートに，スマッシュ・カットで攻め，草野さんに前で決めてもらうように頑張っていました。２ゲーム目も後１点で優勝できるというとき，ちょうどうまく前衛に打ちごろのチャンスダマがあがったのです。「やった」と思った瞬間「パシィ！」。自分のコートにシャトルがころがっていまし

た。「バカ！」。私は思わず大きな声を出していました。「ゴメンナサイ！」。草野さんの小さな声にようやく自分を取り戻しました。忘れられない青春の一コマです。

## 『バドミントンと私』

1995（平成７）年　**―村豊色子**（旧姓大橋）記

「どんなことでももよいから日本一になれ」と私は小さいときから父に言われて育ちました。

勉強，スポーツを問わず日本一になることが私の目標でした。今，還暦を目の前にして「私は父の教えを守ったんだ。一度だけど，大学選手権を手にすることができたんだ」と思うようになりました。

以前，岡大の後輩に「インカレプログラムの，過去の栄冠の欄（歴代優勝者）で『大橋／草野組（岡大)』というのを見たことがある。本当にすばらしいと思った」と言われたことがあります。優勝後35年間を経た現在，バドミントンをしていて本当によかった…と今さらのように全国優勝の重みをしみじみと感じています。

岡大に入学したときに，スポーツが好きだった私は，「室内競技を」との母のすゝめもあって，迷うことなく中学時代に経験していたバドミントンを選んだのです。

しかし，当時の岡大には体育館がなくて，練習場は屋根の低い軍隊の残した建物でした。周りの羽目板は壊れていて風の吹き抜ける平屋の中に，やっと１コートだけとれるようなお粗末な所でした。ドライブを打つのが精一杯という状態でしたが，私たちは毎日放課後シャトルを追うのが楽しくてたまらず，ラケットを手にして，与えられたわずかな時間を一生懸命練習しました。

日曜日には体育館を求めて倉敷西中に通いました。岡大部員は，ドイラブやショートサービス，ヘアーピンなどは，他の大学には負けませんでした。しかし，天井の高さを必要とする技術では勝てませんでした。だから，平日できないハイクリア，カット，スマッシュなどの，天井の高さを必要とする練習に，朝早くから夕方まで時間を惜しんで汗を流しました。体育館の使用できる日はとても幸せで，練習にも気合が入りました。今にして思えば，体育館を求めての４年間は忘れられないとても充実した日々でした。私たち下級生は練習ができれば幸せでしたが，練習場探しを担当した上級生は大変だったと思います。岡大在学中の４年間に，待望の体育館はついに建築されませんでした。

自宅が岡山市内の東山だったので，中学時代の母校の山陽学園にも，よく夜間練習に行かせてもらいました。そして，毛利先生を始め，多くの方たちにお忙しい中を指導して頂きました。

山陽学園での練習は，今振り返ってみると顔から火が出るような思いですが，当時は恥も外聞もなかったのです。レベルの差なんて考えもしないで，いいコースに打ちたい，相手から１点でも多く取りたい，強くなりたいなど，頭の中はいつもバドミントンのことでいっぱいでした。だから，岡大在学中の４年間は，正月も花見もお祭りもゆっくり味わったことはありませんでした。

このように考えてみると，インカレで優勝できたことは，体育館のない岡大だったからこそ逆に頑張れたのかもしれません。お陰で同じ年の全日本学生東西対抗競技会（京都）にも出場することができました。

大学卒業後は教職につき，結婚後は育児に終われる年月でもありました。一方，今日までバドミントンを楽しみながら過ごせたことはとても幸せでした。過日も孫たちに「おばあちゃんバドミントン教えてちょうだい。全日本で優勝したんでしょう…」とせがまれて，ラケットを持った次第です。

## 『ジンクス』

1995（平成７）年　**今東幸一**　記

それは，昭和34年の第14回国民体育大会（東京）バドミントン競技，一般男子２回戦での試合であった。１回戦は山形県に勝ち，２回戦は富山県との試合。１勝１敗のあと勝負を決める一戦（第２シングルス）で自分が第１ゲームを取り，第２ゲームも12－３とリードして有利に試合を進めていた。その時，相手の品川選手がタイムを取り，一息入れて試合が再開された。私は負ける訳がないと楽な気持ちでゲームを続行した。しかし，いつの間にか相手がポイント重ねて13－10になった。まだ２・３ポイント取られても大丈夫と気分的に楽であったが，ついに13対13のセティングになり，今度は楽な気持ちが焦りに変わり，18－17で負けてしまった。第３ゲームも取られて，岡山は２－１で富山に敗れ去った。非常に残念であり，悔しい思いの残る試合であった。

この試合を応援してくれた先輩から「これがバドミントンのジンクスですよ」と聞かされた。【辞典には＝縁起の悪いもの・不吉なものとの説明がある】自分では何がジンクスかよく理解できなかった。12－３という数字がジンクスであり，魔物であると教えられた。なぜか？，①油断大敵。数字的には圧倒的に有利なため，相手選手を軽視した。②精神力の欠如。集中力を欠き，ゲームを相手のペースで進行させられた。楽に勝とうという意識が強く，守りのゲームをしてしまい，攻撃的なゲームができなかった。

この試合で痛感したことは，“基本動作の反復で基礎体力をつくり，集中力を養い，目的をもった練習で技術の向上を図ることだ大切である。練習しないで勝てるのならしなくてもよい，但し練習しないと体力，技術の維持ができないことだけは確かである。一時はよいが永続性がないのでは一流の選手にはなれない。”ということである。

## 『岡山で育った私』

1995（平成７）年　**新沼ひろ映**（旧湯木博江）記

東京へきて30年近くになり，岡山で過ごした年月より長くなってしまいました。

でも，いつまでも私の中で，なつかしく感じるのは岡山でのバドミントン生活です。

山陽学園に入学して始めたバドミントン，こんなに大きく自分の人生を変えるとは…，振り返って考えてみると，すごいできごとです。

なんとなく始めたバドミントン，素晴らしい指導者，素晴らしい先輩たち，山陽をとりまくバドミントンプレーヤーの方々。この出会いがなければ，私は世界にはばたくことはなかったと思います。本当にありがとうございました。

岡山のバドミントンはとてもあたたかく，みんなが友人のようであったと記憶しています。大学を卒業し，社会人になって，東京代表で何度か国体に出場したとき，国体前の練習で何か違う，岡山の国体はこうではなかった…，とがっかりすることがいっぱいありました。同県人というのは，やはり連帯感と言おうか，団結力と言おうか，この力で試合をするのはとてもいい刺激なんですね，社会人になってから一度も岡山代表で出ることはなかったのですが，いつもあたたかく声をかけていただき，湯木博江は東京にいるけど，岡山県人だなと強く感じていました。

・・・これからも，岡山のバドミントンが発展していくことを願っています・・・。

## 第15回全日本教職員選手権大会（東京都）
## 女子団体　優勝　岡山県　石田雅子選手大活躍！

JEFNEWS（日本教職員バドミントン連盟機関誌）第５号＝昭和51年秋季号より

**表紙の人＜石田雅子選手＞…『推薦の言葉』　毛利清志　記**

３冠王獲得と準優勝一つの快挙！。団体・ダブルス・シングルス・ミックスと４種目に出場し，強行日程の中で22試合（48ゲーム）を消化して21試合を勝ち抜いた彼女に賛辞を贈りたい。

最終試合のミックスの決勝で敗れて目のまわりに“くま”をつくり，疲れきった彼女に「ご苦労さん」と声をかけたら「ミックスが残念でした」と唇をかみしめた…。まさにファイトの固まりである。

「ラケットを手にして９年目，全国優勝はやはり嬉しい！。後輩の林さん（山陽女子高・日女体大ともに１年後輩，本年４月より母校山陽学園勤務）と組んで，団体とダブルスの制覇ができたことは意義深く，シングルスにおいても堀川さん（新潟青陵高～日体大出＝前年度単優勝）に昨年の借りを返し，優勝できて感激もひとしおです…」と素直に喜びを語る。

昨年の同大会ではパートナーに恵まれず，力一杯頑張ったが団体もダブルスも３位，ミックス２回戦（パートナー＝筆者）止まり，望みを託したシングルスも，決勝で堀川選手に敗れて優勝をゆずった。しかし，大会での収穫は多く，９月の全日本社会人大会では関選手（東京）とのコンビでミックスに準優勝し，国体でも３位入賞を遂げて天皇杯７位・皇后杯５位の原動力となった。

ところが昨年暮れから練習不足が続いて体重が増え，本年前半は減量との戦いであったがうまく成功し，冒頭の快挙を遂げて近年低迷中の本県バドミントン界に旋風を吹き込んでくれた。

さて彼女は，山陽女子高校入学と同時に，中学時代のバレーボールは上背がないので諦め，バドミントンの顧問がいいから…と，同校在学中の姉の勧めで入部したそうである。高校では手首の強さを生かしてメキメキ上達した。しかし，「バックハンドがまずい」と筆者や湯木・浦口両先輩（両者高校大学とも４年先輩）からアドバイスを受けながら頑張っているうちに，３年生後半になって，右肘関節軟骨突出（俗称，テニス肘）の手術を受ける羽目となった。




一方筆者は，校務多忙の中で県協会理事長・高体連専門部委員長の二役があった上，第５回，第６回とユ杯のコーチ・監督をも拝令，部員の指導不行き届きとなってしまった。彼女たちの全国大会の戦績は，２～３回戦に止まりで可哀相であった。持てる素質を伸ばすには，筆者の尊敬する今井先生＝日女体大監督，第５回ユ杯監督として日本チームを優勝に導く。当時筆者は同監督の下でユ杯のコーチ＝の指導を受けるのが最適と考え，本人や家庭の賛同もあって大学生活が始まったのである。

彼女は「低迷，苦悩，焦りの繰り返しの中で，学生の各種大会で次第に台頭し，全日本総合でダブルス３位に入賞できたり，ユ杯候補選手とともに強化合宿を体験できたのは，今井先生のご指導の賜物と感謝でいっぱい…」また，「高校時代に技術面の

基礎をしっかり指導してもらったから…」と，チョッピリお世辞の言えるユーモアをも身につけた幅広い女性に成長してくれた。

バテルことを恐れないで，集中した考える練習を繰り返すこと，できるだけ多くの試合に参加して体験を増やすことや，強い相手ほど自ら進んでラケットを交えるなど，常に前向きにバドミントン的刺激を求めるひたむきな姿には，筆者も教えられるところが多い。

昨年日女体大卒業後，岡山県庁保健体育課勤務の傍ら，母校で後輩のコーチを兼ねて練習を続けているが，１年後輩の林選手（前記，山陽学園バドミントン部顧問）や筆者にとって貴重な相談役の一人でもある。

**山陽学園教諭，岡山県協会理事長**

## 『思い出すままに』

**1995（平成７）年　今津裕美（旧姓小寺）記**

最近の思い出の一つは，1989（平成元）年に愛知県大府市で開催された第６回全日本シニア選手権大会，女子30歳ダブルスの決勝戦です。

私は長男出産後４ケ月，パートナーの山本さんは，膝に爆弾（障害）をかかえていました。私たちは前年度の優勝ペアにもかかわらず，山本さんが結婚により，原田から山本に改姓されたために，ノーシードからの挑戦となりました。なんとか決勝戦に進出しましたが，１回戦からファイナルゲームをさせられる状態で苦戦の連続となりました。少しずつ調子が上がってなんとか動けるようになってきたものの，体力が持続せず，ラリーが続くと声が出せなくなり，血の気が引いて顔が青ざめていくのが自分でも分かりました。そのしんどさはことばには表せません。シングルスなら途中でキケンしたかもしれませんが，止めるわけにもいかず，とてもきびしかったのです。パートナーの山本さんが気をつかってくれ，彼女が後ろで走ってくれることが多くなりました。一本一本がとても長く感じるゲームがファイナルまで進み，山本さんの励ましの声とカバーのおかげで最後まで頑張り通し，優勝することができました。お互いにきびしい体調のなかでパートナーをつとめてくれ，“おんぶにだっこ”で助けてくれた山本さんに感謝し，最後まで頑張れた自分をもチョッピリ褒めてやりました。

私たちが優勝した一足後に，男子30歳シングルス決勝戦で藤原道弘（川崎製鉄）さんがコートに入ることになり，幸先のよいバトンを渡すことができました。そして，藤原さんも見事に決勝のテープを切り，同時優勝という二重の喜びに浸りました。性は別でも，岡山県高校時代の仲間であり，よい意味でのライバルでもある私たちは，それぞれの存在が励みにもなり，年１回のシニア大会で会えることを楽しみにしながら，勝利を目標に，おごることなく今後とも精進を続けたいと思ったのです。第７回大会は，２巡目国体（自分も参加）トップ開催の長岡京市（京都）でした。２連覇を果たしたパートナーの山本さんは出産のため，コンビでの３連覇の夢は実現しませんでしたが，私は神奈川の野村さんと組んで出場しました。このときもペアが変わったので４本柱のシードからは外されており，よくよくシードには縁がない…ことに思わず笑ってしまいました。野村さんとは学生時代に組んだことがあるので息も合って順調に勝ち進み，決勝では，前年同様ファイナルの接戦で優勝しました。思い出の長岡京市で，顔見知りになった人たちに祝福されての栄冠は，嬉しい限りでした。

もう一つ強烈な思い出は，1995（平成７）年の第12回全日本シニア大会（大阪市）で30歳シングル

スに優勝したことです。一試合毎に調子が上がり，決勝では元ナショナルチームの植野選手に勝って38歳にして，生まれて始めてシングスルでの全国優勝を果たしました。毛利先生も参加（シングルス３位）されていて，テーピングだらけの私の手に祝福の握手をしてくださいました。

追記

第５回，第６回と２連勝を果たした今津裕美（旧姓小寺＝埼玉在住）選手と山本美智子（旧姓原田＝岡山在住）選手は，山陽女子高・日女体大の同期であり，全日本学生選手権等で活躍したコンビでもあった。大学卒業後，原田選手は東京で就職し，小寺選手は地元の松本組に入社した。数年後，原田選手も帰郷して同社に入り再び同僚となった。松本組では，元ナショナルチームの近藤・高田両選手らとのチームで，1982（昭和57）年の全日本実業団選手権大会において，岡山県にとって23年ぶりの３位入賞を果たした。　　1995（平成７）年　編集委員会

＝監督の手記＝

## 《天皇杯第４位へ進出 ―― 猛練習の成果…バドミントン》

＜岡山県体協ニュース　第15号，昭和59年11月（第39回国体特集号）より＞

岡山県バドミントン協会　成年女子監督（強化委員長）　**藤原　航**　記

「男女総合第４位岡山県！」のアナウンスが館内に響いた。瞬間，猛暑の中，過酷な練習に取り組んでいる選手たちの姿が脳裏をよぎり，万感胸に迫るものがあった。島根・群馬と成年女子が優勝を果たしながら，総合では９位に泣いた悔しさがやっと晴れた。

本年は，３種別ベスト８入りを入賞の下限に設定し，強化事業をスタートした。７月下旬最終の選手選考の後，本格化した強化事業は毎週繰り返され，窓を締め切った40度を越える室内での練習は，選手たちにとってはまさに地獄であった。

総合４位の立役者となった少年男子，常にけん引車としての役目を果たし，ベスト８入りした成年男子，新生メンバーで見事プレッシャーをはねかえしてベスト８入りした成年女子，惜しくも入賞は逃したが，先輩たちへの気配りを忘れず，厳しい練習に耐えた２年生主体の少年女子，みんな本当に頑張ってくれました。

周囲のいろいろな方々の，援助をうけながら得た勝利であることを忘れず，さらに上位入賞を目指し努力してまいりたいと思います。

終わりに，物心両面のご援助をいただいた関係者に対し，心からお礼を申し上げます。




第39回　国民体育大会（駆けよ大和路　はばたけ未来　わかくさ国体）　秋季大会　昭和59年10月12日～17日

第39回国体岡山県選手団

（駆けよ大和路，はばたけ未来＝わかくさ国体）

後列左から

浅沼正和＝少男，平田重男＝成男，若林邦任＝成男，藤原道弘＝成男

中列左から

中山睦雄＝成男監督，瀬戸勝＝少男監督，西崎書彦＝少男，坂井純子＝少女

一人おいて，近常直美＝少女，天野真理＝成女，竹原純子＝少女

前列左から

今東建＝少男，皿井由美子＝成女，合田なおみ＝成女，藤原航＝成女監督

毛利清志＝少女監督

昭和59年10月，奈良県田原本町

＝国際大会参加者の手記等＝

## 『第3回アジア大会に参加して』

＜関西大学新聞より，**松王清志**選手，1958（昭和33）年記＞

アジア大会（アジア・オリンピック）に参加し，ようやく大任を果たし得た感激が今なお覚めやらぬ興奮の中で，喜びをかみしめながら大阪に帰りました。

高校，大学のバドミントン生活を通じて苦しみと喜びの７年間，夢に見た金メダルをぐっと握りしめて，栄冠に通じる涙の道，けわしかった今日までの坂道を省みてまさに感無量でした。

“オリンピックは勝つためにあるのではなく，参加するためにある”という言葉は，開会式に於ける入場行進の一歩一歩により深く感じさせられました。頭上に覆いかぶさってくる８万の大観衆を前に，いまさらの如く選ばれた者の重責を再認識し，参加の喜びはいつしか優勝への野望に燃えたつのでした。

しかしながら日本はバドミントンの歴史が浅いため，外国選手に比して試合経験に乏しく，技術的にも未熟な我々にとって，ただ裸になって全力でぶつかる外はありませんでした。

３千の観衆を入れた体育館の気温は38度に上昇，その熱気の中で皇太子殿下をお迎えしての一戦は正に緊張しきった一時でした。全力を傾注して遂に優勝決定。センターポールに日の丸を仰ぎながら静かに聞く君が代のメロディ，万感交々胸に迫り来るの情は到底筆舌に尽くすことはできません。

そして閉会式に於いて，刻々と時が移り，やがて聖火が消えて一瞬は真の闇，ややあって一斉に競技場にライトが輝いたとき，外国選手が眼に涙しながら「ベリーナイス…」と叫び，我々日本選手団に握手を求めて走り寄ってきました。スポーツのとりもつ国民外交というべきか，実にアジアは一つであるということを実感させられました。

我々の今日の栄誉は，関西大学の良き先生や良き先輩のご指導と，良きチームメートの協力の賜物であり感謝でいっぱいであります。また我々がバドミントンに熱中する姿を，何も言わずに見守ってくれた故郷の母もきっとこの度の栄冠を喜んでくれると信じています。

終わりに，関西大学バドミントン部が，アジア大会のモットー（ＥＶＥＲ・ＯＮＷＡＲＤ＝限りなき前進）を合言葉にますます発展されんことをお祈りいたします。

## 『第５回ユーバー杯　“日本，女王の座まもる”　栄冠のかげに，われらかくたたかえり』

＜バドミントン界（日本協会機関誌）創刊号＝ユ杯特集号，1969（昭和44）年８月号より＞

### ①「総力の“和”が最大の勝因」

日本チームコーチ　**毛利清志**

前大会の経験者である高木，天野，後藤，高橋を中心にメンバーを組み，これに若手を配した布陣は，当時，理事長だった森友副会長や今井監督，それに常務理事の皆さんの意見が一致したからだった。

若手を加えたのは次の第６回大会を考慮してのことである。

幸い防衛に成功したが，このチーム作りが勝利の原動力と考えている。

勝因の第二は，実にいい時期（３月）に海外遠征ができ，全英では各国の情勢を探れたし，世界一といわれる英国ダブルスと対戦，また，インドネシア勢とも対決し，各人がそれぞれになにかを持ち帰って，実戦に役立ててくれたことがあげられよう。

オーダーからみて私は７－０もじゅうぶんあり得ると思っていたし，不覚をとるとは夢にも考えなかった。しかしフタをあけてみるとインドネシアはエースのミナルニを№２に落としたため，若い湯木がアガってしまい，思うようなプレーができなかったことは結果論としても残念。高木にとっては相手不足だった。

しかし次の世代を背負う若手にとっては貴重な体験になったと思う。今度はこれらの選手たちが頑張る番だ。いずれにしても協会をはじめ，各層のあたたかいご理解と大きな支援が私たちにはどんなに心強かったことか。心からお礼を申し上げる次第です。

## ②「苦杯をプラスに転じたい」

日本チーム選手　**湯木博江**

勝利の感激にひたりきる間もなく，米国との親善試合で福岡へ。帰京して，関係方面へのあいさつまわり。これでユ杯はすべて終わった。

同時に「いまから３度目の防衛戦が始まった」ことを強く感じずにはいられなかった。

昭和44年６月14日，午後４時からの数時間。これが私のゴールだった。

“候補選手から正選手へ”「ユ杯に出るんだ」という実感がわいて来たのは，今年１月の合宿ごろだった。

数次の合宿，そして本番までの２回の海外遠征。この遠征こそ私の支えのすべてだったと思う。

インターゾーンが始まり，新聞をはじめ，すべての報道機関は日本の勝利をさかんに予想した。

「試合はやってみなければわからない」はずだが，しかし，この報道のおかげで私たちは『負ける気がしない』で本番にのぞめたのかもしれない。

48時間前にオーダー発表，対戦国はインドネシア。私はミナルニと当たった。ミナルニとの顔合わせはそれほど考えていなかった。

だから聞いた一瞬，いろんな思いが頭の中をかけまわった。“このときすでに負けていた”といえるだろう。

それ以後，平静さを保てないままでの対戦。結果はみじめだった。悲しいというより，自分がなさけなく歯がゆかった。

なんとか調子が出てきたのはダブルスの後半から。シングルスの借りを返したい気持ちが強く働いていた。防衛が決まった瞬間は涙しかわいてこなかった。半分にがい涙だった。

いま，あのなさけなかった試合の結果をどうプラスに転じるか考え続けている。考えるのはやすく行うはむずかしい。しかし，あの大観衆の前で，しかも地元・日本でやった，この大きな経験は，どうしても活かしていかなければならない。

## ③「ベンチではらはら」

日本チーム選手　**浦口恵子**

大学入学間もなくユ杯の候補選手に選ばれた。まだ無我夢中でプレーをしている頃だった。その上コーチが高校時代の恩師毛利先生であり，当初から練習，合宿等にすぐ慣れることができ大変

恵まれていたように思う。

しかも高木先輩はじめ諸先輩と寝食を共にし，プレーその他生活面で多くのものを学び得ることができた。

チャレンジラウンドが始まり中学以来のコンビ湯木選手がミナルニ選手に負けてしまった。あのときには，日本チームはどうなるのかと思った。頭の中に人の声がした。新聞の予想記事も浮かんだ。『日本ユ杯防衛か！』『防衛確実，ユーバー杯』他…。

私も心の中であせった。しかしその後高木先輩がポピー選手に一点も許さずに勝ったとき，自分の心に“やはり実力は日本の方が上”という感じが湧いてきた。

ダブルスが始まった。湯木選手がだんだん本来の姿に戻り，バックスマッシュなどが鋭く決まったときは自分のことのようにうれしかった。

ユ杯は自分にとり貴重な体験であった。とともに，自分が大きな口をあけてバナナを食べているのをテレビで観て大笑いしたという楽しい思い出も織り込まれています。

## 『世界のタイトルを防衛して』

**第６回世界女子選手権（ユーバー杯）大会監督　毛利清志**

＜スポーツトレーナー岡山　機関誌第１号，1973（昭和48）年３月１日号より＞

●始めに

1972（昭和47）年開催の「第６回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会」という長いタイトルが，自分が監督を引き受けた大会名であった。略称ユ杯＝かつての全英選手権チャンピオン，ユーバー婦人の寄贈による銀杯の争奪戦＝と呼ばれるこの大会は，３年毎に開かれ，アジア・アメリカ・オーストラリア・ヨーロッパの各ゾーンを勝ち抜いた代表４カ国にチャンピオン国（日本）を加えて，３単４複の団体対抗戦をトーナメントで争い，１日１対抗で行うことになっている。1966（昭和41）年の第４回大会に初出場した日本は，世界の強豪をなぎ倒し，３連覇を誇るアメリカにチャレンジして見事初優勝に輝いた。そして，第５回（筆者は日本チームのコーチ），第６回と３連覇して，日本女子スポーツ界に於ける貴重な世界一のタイトルを防衛した。

…ユ杯がテニスのデ杯に似たシステムで開催されるばかりでなく，バドミントンもテニスと同様，個人の世界選手権とも言われている全英選手権が長い歴史を誇っている。全英選手権は毎年３月にロンドンで開かれており，日本のユ杯メンバーの主力は，数年前から単３回，複２回優勝のほか，毎年上位に入賞している…。

さて，1969（昭和44）年の第５回ユ杯タイトル初防衛が成った年には朝日スポーツ賞に輝き，昨年はチームの主力２名が全ての国際大会で個人戦の全タイトルを独占して日本スポーツ賞（読売）に輝いた。また，ミュンヘンオリンピックでも公開競技にえらばれるなど，ともすればマイナースポーツ視されがちなバドミントンもグレードアップしてきたと自負している。因みに，現在の国際バドミントン連盟（Ｉ・Ｂ・Ｆ）加盟国は60数カ国にのぼる。

●むづかしい監督業

○体力面では，高校から大学にかけてある程度完成された者たちの集まりではあったが，バドミントン競技の特性を考えての専門的体力づくりに専念した。バドミントンでは，マラソンランナーの持久性，ボクサーのフットワークと反射的対応，体操選手の柔軟性等が要求されるので，それぞれを兼ね備えた体力づくりが必要である。しかし，１年間に数回の合宿（１回は約１週間）が予定される程度だったので，体力診断と運動能力テストをもとに，個人別にトレーニングメニューを作り，日常活

動のなかで実施するよう指示した。数少ない合宿ではコート内の練習にベストでのぞめる程度のトレーニングにとどめた。

○技術面の専門的なことは省略するが，各選手のレベルアップの最短距離をねらって「下位の者は上位の者に追いつき追い越せ」，「上位の者は追い越されないように研究努力せよ」とハッパをかけた。合宿解散の日には，コーチから次回合宿までの課題を与えるようにした。合宿ではトップクラス同志の練習試合を多くしたり，男子の胸を借りて対戦国選手を想定しての試合練習も行った。互いに「自分こそオーダーにのるのだ…」という，よい意味でのライバル意識をもたらせることが何よりも効果的であったように思う。

○精神面では，全国からピックアップされた選手のチームだったので，先ずチームワークを固めることに重点をおいた。次に，“試合中は作戦タイムがとれないのみか，サイドコーチもできない”というバドミントン競技の特性から，「己に勝つものが相手に勝つ」ことを強調した。そして，何よりも大切な「自信をもって６月の本番にのぞむ」ために，１月にデンマーク招待試合を行った。日本各地で３試合対戦し，いずれも余裕で退けた。（ユ杯では準決勝で同国にあたり，７－０でシャットアウト）また，３月には全英選手権を中心としたヨーロッパ遠征を計画し，全英では単・複とも優勝し，単の決勝は日本選手の同士討ちとなって，タイトル防衛に向けて自信を深めた。同時に参加選手自身による敵情偵察も成果を挙げて本番に備えた。

●勝ってよかった

６月中旬の本番に向けて，５月下旬から調整合宿に入った。監督としては，実力を出し切るための，心身両面のコンディショニングに専念した。勝たねばならないプレッシャーとの闘いのなかで，いかにして選手をリラックスさせるかを考えた。〔実は，監督の重圧感を敏感な選手に読み取られないようにしたかったという方が正しいだろう〕。…レセプションのためのピンポンパン体操やコーラスの練習，コーチ・マネージャー等への布団蒸し作戦も効果があった。また，24時間前にオーダー交換を終わった後は「オッ調子がいいぞ，最近バカに調子がいいじゃーないか」などと暗示にかけたことも，後で聞いてみると効果があったようだ…。試合当日は，約６時間にわたる対抗戦で各選手それぞれの試合数が異なり，各自の出番までの待ち時間がバラバラという複雑な条件を踏まえて，ウオームアップとクーリーングダウン，並びにエネルギー源の補給に心を配った。この間，関係者全員に温かい協力を得て，すべて順調にしかも大成功裡に終わることができた。“勝ってホントによかった”これが現在の心境である。

●アクシデント

ユ杯本番１か月余り前の５月初旬，自分の試合（全日本社会人選手権）で左アキレス腱を切断し，ショックだった。しかし，関係者に叱咤激励され，半ギプスにステッキという不自由な身体にムチ打ちながら，ようやく重責をはたすことができた。その後順調に回復し，その年の７月～８月の県予選，中国予選を勝ち抜いて，念願の国体20回連続出場をも達成することができたのである。

●終わりに

ユ杯では，チーム構成員の所属機関・団体を始め，日本協会を中心とした全てのバドミントン関係の方々，その他多くの関係の皆さんにも睦の熱くなるご理解，ご支援，ご協力を頂き，感謝でいっぱいです。心からお礼を申し上げる次第であります。

山陽学園勤務　1973（昭和48）年２月記

# 『ユ杯で活躍した郷土勢』

1996（平成８）年３月　山陽学園バドミントン部コーチ　毛利清志　記

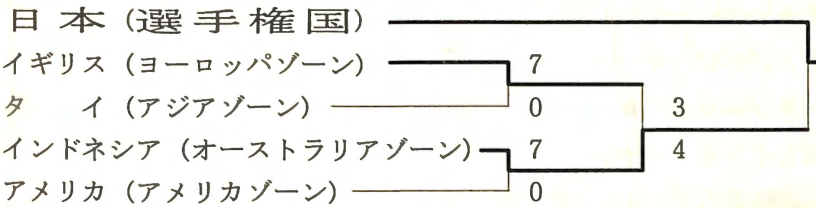
【ユーバー杯争奪世界女子バドミントン選手権大会（略称：ユ杯）のあらまし】

《ユーバー杯：かつての全英選手権の覇者イギリスのユーバー婦人が寄贈したカップ》

全世界を４ゾーンに分けて本選の前年から予選会を実施。本選は各ゾーンの代表国がインターゾーンマッチを争い，優勝した国が前回優勝国と，ユーバー杯をかけてチャレンジマッチを行い１対抗３単４複を１日で消化する形式でスタートした。第６回からユ杯保持国も，インターゾーンマッチから試合することに変更され，さらに第９回からは，１日目に２単２複を，２日目に３単２複の計９試合に変わった。第１回（於英国）1957（昭和32）年＝アメリカ優勝。第２回（於米国）1960（昭和35）年＝アメリカ優勝。第３回（於米国）1963（昭和38）年＝アメリカ優勝。アメリカ３連覇の後，第４回より日本登場…。　以下詳細は本文参照

日本は，1966（昭和41）年の第４回大会に初出場で初優勝した。３年後の第５回は，Ｉ・Ｂ・Ｆ（国際バドミントン連盟）の規約＝チャンピオン国で開催する＝により，東京で開催され，この大会から岡山県関係者が日本チームに加わって活躍することとなった。

◎第５回大会，1969（昭和44）年６月＝東京体育館〔インターゾーンマッチ～チャレンジマッチ〕




○チャレンジマッチ，関係者の対戦内訳

単１　★湯木　博江０－２ミナルニ☆

複１　☆湯木／高木２－１ミナルニ／レトノ★

複３　☆湯木／高木２－０ヘスティ／ヌルハエナ★

○岡山県関係の役員・選手

コーチ　毛利　清志（山陽学園）

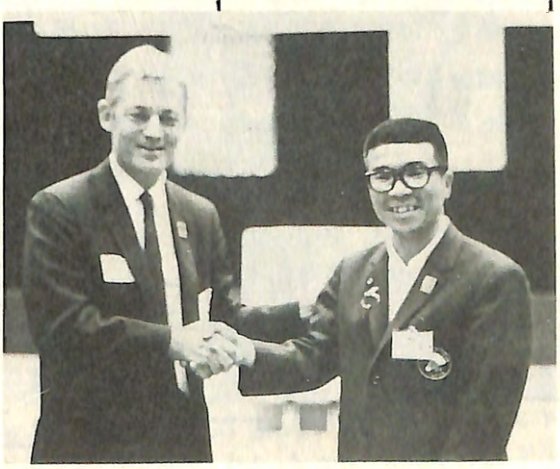
選手　湯木　博江（日女体大）

選手　浦口　恵子（日女体大）

日本が２連勝…第５回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会は，４大ゾーンの代表，英国，米国，インドネシア，タイと王座保持国・日本が参加，６月に行われた。予選にはＩ・Ｂ・Ｆ加盟国48のうち，18ケ国が参加した。ゾーン勝者によるインターゾーンでは，インドネシアが強く，楽々と挑戦権を獲得した。

しかし，日本は前回代表を中心に必勝の布陣で，このインドネシアをも一蹴。65年に得た王座の初防衛を果たし，２連覇を飾ることに成功した。

日本バドミントン史上最高の一万人という大観衆でぎっしりうずまったスタンド。その拍手と興奮のあらしのなかで，輝くユーバー杯は再び日本チーム，高木主将の胸にしっかりと抱かれた。



日米親善福岡大会の毛利清志コーチ（1969,6）

１年２カ月に及ぶ選手団の合宿，特訓，海外遠征…その努力が見事に花開いたのだ。監督・コーチの目にも，選手たちの目にも，みな，感激の涙がにじんでいた。インドネシアとの王座争いは，最初のシングルスで，湯木がミナルニに苦杯を喫したため，前途に不安をいだかせたが，沈みかけたムードを主将高木の落ち着いたプレーが救った。

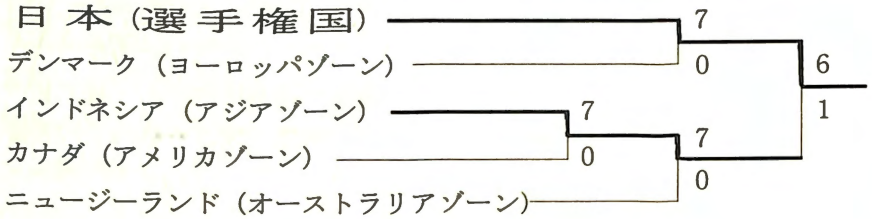
２連勝……だが，３度目の栄冠を目指すたたかいは，もう始まっているのだ。

＜以上「バドミントン界」1969（昭和44）年創刊号“ユーバー杯特集号”より＞

岡山県出身の浦口選手は，本番のオーダーには乗らなかったが，防衛戦後の国際親善試合・福岡大会の対アメリタ戦の複に出場し，勝ち点を挙げてチームの全勝優勝に貢献した。

＜＊口絵写真　第５回ユーバー杯大会　日本チーム参照＞

◎第６回大会，1972（昭和47）年６月＝東京体育館〔インターゾーンマッチ〕




○決勝戦，関係者の対戦内訳

単２　☆湯木　博恵２－０タチ★

複２　☆湯木／中山２－０レトノ／ポピー★

複３　☆湯木／中山２－０インタン／レジナ★

○岡山県関係の役員・選手

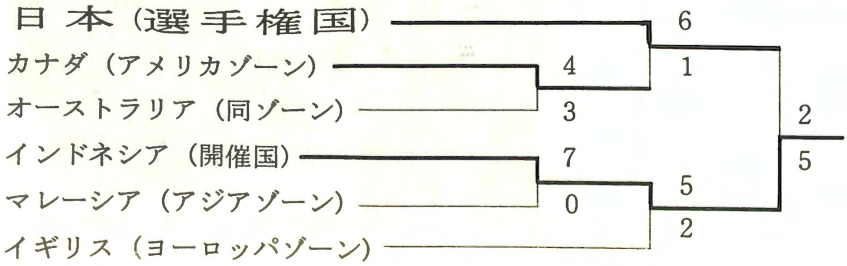
監督　毛利　清志（山陽学園）

選手　湯木　博江（河崎ラケット）

第６回大会から，選手権保持国もインターゾーンマッチの準決勝から争うこととなり，日本はヨーロッパ代表のデンマークと対戦した。湯木選手は，第２単でエース・ニールセンに第１ゲームを４点で落とした。第２・第３ゲームは０点・４点で抑えたが，立ち上がりにやはりアガっていたのだろう。３年前の第５回大会チャレンジマッチでの第１単で，インドネシアのエース・ミナルニに苦杯を喫した苦い思い出が，湯木選手の脳裏をかすめたのかもしれない。しかし，第２・第３の複では，持ち前の強打で相手ペアーを粉砕した。日本が７－０でデンマークを破って決勝進出を果たすに当たり，湯木選手は３点を挙げてチームに貢献した。

ユ杯をかけての決勝は再度インドネシアと対戦。前回同様６－１の大差で宿願の３連覇を達成し，第１回からの３連勝を誇るアメリカに，世界タイ記録で並んだ。湯木選手も準決勝の対デンマーク戦でのモタツキは全くみせず，前記対戦内訳の通り，完璧な出来栄えで全試合ストレート勝ちでの貴重な３点を挙げ，日本チーム優勝の原動力となった。

◎第７回大会，1975（昭和50）年６月＝ジャカルタ〔インターゾーンマッチ〕




岡山県関係の選手

湯木　博恵（河崎ラケット）

○決勝戦，関係者の対戦内訳

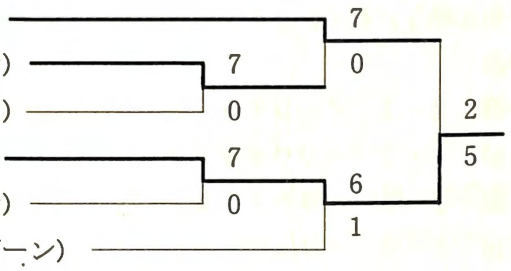
単１　☆湯木　博恵２－０テレシア★

複２　★湯木／池田０－２イメルダ／テレシア☆

複３　★湯木／池田０－２ミナルニ／レジナ☆

第７回は，Ｉ・Ｂ・Ｆの会議でユ杯保持国・日本以外での開催に決まり，日本チームもインドネシア・ジャカルタでのインターゾンマッチに臨んだ。準決勝は６－１でカナダに勝って決勝に進み，開催国のインドネシアと４連覇をかけて戦った。“猛烈な暑さに加え，１万あまり大歓声が相手チームのペースを完全に狂わせる”インドネシア絶対有利のムードのなかで，第１単の湯木選手が，近年最高の完璧なプレーをみせて１勝。第３単の中山選手（旧姓高木）も超人的な復活により，全盛時代をほうふつさせる冷静沈着な頭脳的プレーをみせて２勝目を挙げたが若手選手がふるわず，結果的にはベテランの単２得点にとどまり，２－５で執念のインドネシアに優勝（初）を譲った。

◎第８回大会，1978（昭和53）年５月＝オークランド〔インターゾーンマッチ〕




＊日本の４回目優勝は“世界新記録樹立”

岡山県関係の選手

湯木博恵（河崎ラケット）

近藤小織（河崎ラケット）

○決勝戦，関係選手の対戦内訳

単１　☆近藤　小織２－０リーインホー★

単２　★湯木　博恵０－２ベラワティ☆

『ユーバー杯奪還に成功』

ユーバー杯が再び日本に帰ってきた。第８回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会は，ニュージランド・オークランドで行われたが，第７回でインドネシアに王座を譲った日本が大活躍，見事巻き返しに成功して，６年ぶりにユ杯を持ち帰った。

○選手の一言（関係者のみ）

▷ムードが良かった…湯木博恵選手

「団体戦特有のムードが盛り上がって非常に良い状態で試合に臨めました。日本に有利な条件がいろいろ重なり助かりました。私自



第８回ユ杯日本チーム，1978（昭和53）年６月，於オークランド
ユ杯を掲げる＝湯木博恵主将と，その左＝近藤小織選手

身としては，インドネシア戦でポイントできず残念に思いますが，優勝できたことで満足しています。

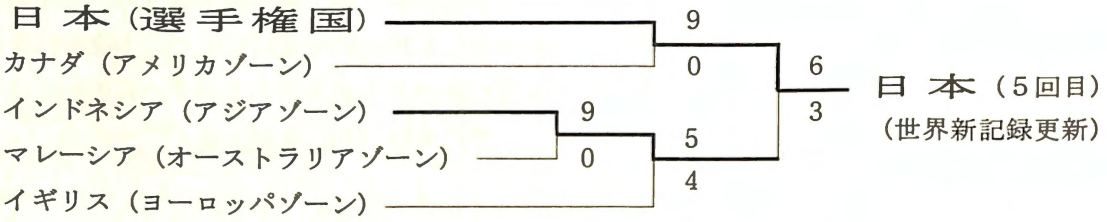
▷全英より緊張…近藤小織選手

「団体戦の責任の重さを，ひしひしと感じました。試合前は緊張のあまり，吐き気がしたほどです。全英の決勝など比べものにならないほど，重圧感を感じました。

＜以上「バドミントン界」1978（昭和53）年６月号より＞

◎第９回大会，1981（昭和56）年５月＝東京（代々木オリンピックプール特設会場）

〔インターゾーンマッチ〕




＊日本の５回目優勝は“世界新記録”《対インドネシア戦５勝１敗》

○決勝戦，関係選手の対戦内訳

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第１日 | 単１ | ☆近藤　小織 | ２－１ | イバンナ★ | |
| 〃 | 複１ | ★近藤／高田 | １－２ | ベラワティ／ダマヤンティ☆ | |
| 第２日 | 単３ | ☆近藤　小織 | ２－０ | ベラワティ★ | |
| 〃 | 複４ | ☆近藤／高田 | ２－０ | イメルダ／テレシア★ | |

岡山県関係の選手
近藤小織（河崎ラケット）

日本は，第６回大会までに３連覇を遂げ，アメリカに並ぶ世界タイ記録を樹立した。しかし，第７回大会ではインドネシアに決勝で敗れて涙をのんだ。その後，第８回，第９回と２連勝を果たしたことが，４回目，５回目の世界新記録の更新にもつながったのである。

３年ごとに開催されるユ杯大会において，第５回から第８回までの10数年間にわたって選手生命を維持し，各大会ごとに貴重なポイントを挙げながら戦い続けてきた湯木選手は第一線を退き，第９回大会での岡山県関係者は近藤選手のみであった。

第８回のトップシングルスで幸先のよい勝ち点を挙げ，日本チームのムードを盛り上げて優勝に導いた近藤選手は，２日間で９試合と形式の変わった，第９回にもその力量を買われて両日とも第１単にオーダーされた。絶好調の同選手は見事にその重責を果たし，インドネシアの２番手，１番手を倒して単で２勝した上，複でも１勝して計３点を挙げた。日本が６－３で強敵インドネシアを破るに当たり，２日間とも先取点を挙げてチームのムードづくりに成功し，ユ杯史上初の“五度目で世界新”という，貴重な記録を日本にもたらす原動力となった功績は“立派”の一語につきる。

日本は第４回に初参加で初優勝以来，第９回までの６回のうち，“優勝５回・準優勝１回”と，日本バドミントン史上最高の，そして永久不滅の記録を残している。この間，第５回から第９回大会にわたる，岡山県関係者の貢献の跡もまた永久不滅である。その後，18年間を経過した現在まで，残念ながらわが国のユ杯獲得はない…。

もしわが国が，1957（昭和32）年の第１回大会から参加していたならば，昭和20年代後半から30年代にかけて，黄金時代を築いた山陽学園の多数の部員やＯＧたちが日本代表に選ばれ，歴史に残る活躍をしたに違いないと思うのである。

# 『思い出，５題』

1996（平成８）年11月　**大森恵子**（旧姓浦口）記

１，「バドミントンとの出会い」

私は「中学生になったら機械体操部に入ろう」と，入学前から決めていたのに，新入生が入部希望を出す日になって，友人に「一人じゃ嫌だから」と誘われ，バドミントン部に入部してしまった。「妹が体操部を希望しているのでお願いね」と，友人に頼んでいた姉は面目まるつぶれとなり，当分の間，姉の愚痴を聞かされる羽目となった。

私は身長が1.25メートル位だったので，ラケットを引きずりながら素振りをしていたように思う。そんな私が，ラケットを身体の一部にすることは容易でなく，他の新入部員がコートでラリーを続けているのに，自分は校庭でサービス（シャトルにラケットを当てる）の練習ばかりしていた。

当初，20～30人いた新入部員も，夏休み前には２～３人に減ってしまい，私を誘った友人もすでに退部していた。劣等部員の私が，なぜ最後まで残ったのか判らないが，甲府流の言葉でいえば“しわい”人間だったのだろう。先生や先輩にとって，残ってもらいたい人は他に大勢いたと思うのだが，縁とは不思議なものである。

２，「インターハイ，…欲しかったシャトル型のトロフィー…」

高校３年の時，弘前市で開催されたインターハイは，台風の影響でセーターが要るほどであった。私は風邪気味で，体調不良のまま団体戦の決勝を迎えた。優勝のかかった対敬愛学園戦（秋田）では，互角のチーム力で２対２のタイスコアになり，第３シングルスの私にまわってきた。ゲームカウントも１対１でファイナルゲームとなり，先生から風邪薬を出されて飲んだ。その直後，立て続けに２～３得点した。今考えてみれば，薬といっしょに飲んだ水が脱水症状の私を生き返らせてくれ，一方，先生の暗示が功を奏したのである。結果は，私が負けて団体の優勝を逸してしまった。その時は疲れきっており，悔しさも感じない程の放心状態であったが，２日後の個人戦シングルスで，同じ相手に楽勝したとき，初めて悔し涙が流れた。

表彰式のとき，数多くのカップや楯が並んでいる中で，ひときわ小さいシャトルを型どった，優勝チームに授与される監督賞。そのかっこいいトロフィーが，どれほど欲しいと思ったことか，６年間お世話になった毛利先生に，感謝の心をこめてそのトロフィーを渡したかった…。

３，「勝つも負けるも私次第」

高校２年生時代からの団体戦では，どういうわけか相手チームのエースとばかり対戦した。まるで相手が，こちらのオーダーを見た後で組み合わせているのではないかと思えるほど，見事に私に当ててくるのだ。試合内容は，湯木選手と私のダブルス，湯木選手のシングルスでまず２勝。３勝目は私のシングルスの出来次第というパターンがほとんどとなり，団体戦の勝敗は100パーセント近く私にかかってきた。現在の私が，少々のことでめげないのは，この経験によるものでは…とさえ思える。

今だからこそ，貴重な経験をさせて頂いたと，心から思うことができるが，当時は，胃はムカつく，吐き気はする，食事は喉を通らない，疲れているはずなのに眠れない，と散々であった。でも不思議なことに，上がって試合内容を覚えていないということは一度もない。大学時代の今井監督が「上がるのは色気があるからです」と言われていたが，私はその頃から色気がなかったようだ。

4，「湯木選手の生みの親は？」

日本バドミントン界の歴代女子選手中，「ナンバーワンは」と聞かれたら，大半の人が間違いなく「湯木博江」と答えるように思う。その彼女と，中学時代から大学４年生までの10年間を，同じコートで練習し，彼女の成長を見続けてきた私は，ラッキーなめぐりあわせだったと思う。そして，毛利先生が「育ての親」なら，私は「生みの親」ではないか…と，密かに自負している。その裏付けには，私と彼女だけの秘密を明かさねばならない。

入部当初30人位もいた中学１年生の中で，夏休みの練習に参加したのは私一人であった。「エッ湯木は？」と思うだろう…。彼女は１学期中は参加していたが，夏休み中には一度も出てこなかった。２学期が始まると，部長に「一人では困るので，誰かを誘ってくるように」と言われ，私は迷わず湯木選手の所に行った。彼女とは学校や部活でも余り話さなかったが，新しい技を習う度に難なくこなす彼女の巧みさが脳裡に焼きついており，何かとうまくできない私には，彼女が羨望の的でもあり，退部させるには余りにも惜しい…と，幼心を揺さぶられたからである。

しかし，彼女は「先輩に何を言われるか怖い」「今更部にいけない」と繰り返し，すぐには首を縦に振ってくれなかった。「そんなことはない」と，半分逃げ腰の彼女を練習に引っ張って行った。もしあの時私が誘わなければ，彼女はドバミントンを続けていただろうか？と思う。『お父さんと同じバレーボール部を考えていた彼女。機械体操をしたいと考えていた私。』。結局６年間，この二人が同学年で頑張ることになり，日女体大へも共に進学した。このことについてはすっかり忘れていたが，数年前，彼女の家に伺ったとき，「貴女があの時誘ってくれなければ，私はバドミントンをしていなかった」と聞かされて思いだした。それ以来，口にこそ出さなかったが，「あれ程の名選手を一番に見つけたのは私だった…」と，密かに心を弾ませている。

毎日一緒に練習している同僚だから，ライバル意識をもつこともあるはずなのに，私にとって彼女は大きすぎて，張り合う気持ちなど全くおこらない，“特別な存在”であった。彼女は，全くバドミントンのために生まれてきた，その時代の申し子だったと確信している。

5，「一番苦しかったこと」

プレーヤーとしての10年間，試合の勝敗などによる刹那的な喜怒哀楽は人並みに味わってきた。ところがたった一度だけ，試合以外のことでどん底に落ち込んだ経験がある。

大学２年の冬休み明け，パートナーとダブルスについて二日間も話し合い，目標に向かって頑張ろうと思った矢先に，監督から組み替えを言い渡された。冷水を浴びせられた思いを抑えて，監督の指示に従った。人に話して悩みを和らげるにはプライドが許さず，10日間のスケート実習，人生論や詩集の読みあさり，徹夜で自分の思いを記述するなどしてみたが，根本的な解決には程遠かった。プレーをやめようとは思わなかったが，悩みを抱いたままコートに入り，集中できない毎日が続いた。

５月のユ杯合宿中，監督と話す機会があったので悩みを打ち明けた。監督から「貴女と組んだ人は皆強くなった。日女体大のため，貴女の力で今度のパートナーも湯木たちのように強くしてほしい」と言われた。その時私は「貴女が弱いから仕方ないでしょう」と言われた方が，諦めがついたのにと思った。今考えれば，若気の至りで恥ずかしい限りだが，その頃は自分本意だったのでバドミントンへの情熱は消え，ただ義務的に練習に出るようになり，当然プレーヤーとしての進歩もストップしてしまった。人がものごとを継続して成し遂げるには，そのことが好きで情熱を持てること，そして，素直に，それに向かっていなければならないと痛感したのである。

# 『最後の国体…そして国際試合へ』

1995（平成７）年　**近常直美記**

拍手と歓声が怒濤のように渦巻く体育館。

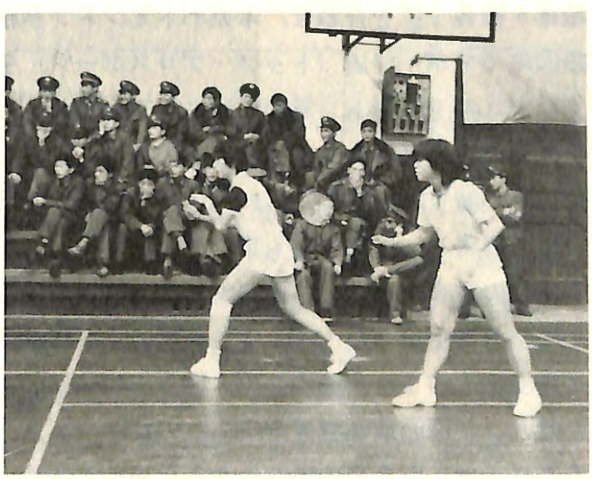
コートの中には，シャトルが床に落ちるまで，決して諦めない自分がいた。既に数年も前のことなのに，昨日のことのように鮮明に思い出す。それは高校生最後の大会となった「国民体育大会」のことである。県予選を経て，ブロック予選を勝ち抜いての本大会出場。昨年は，他の全国大会とは違った“国体独特の雰囲気”にのまれ，自分のプレーができずに悔しい思いをした。それから１年間，“二度と同じ思いをしたくない”という一心で，無我夢中に練習を積んだ。夏の蒸し風呂のように暑い体育館。社会人プレーヤーの胸を借り，汗が一敵も出なくなる程のきつい練習にも耐えてきた。なすべきことは全てやった。あとは試合で，練習の成果をどのくらい発揮できるかだけであった。

試合当日，初戦から優勝候補ＮＯ１の熊本県であった。過去１年間，「全国高校選抜」，「全国高校総体」いずれも対戦しており，“また熊本県なの？…”という気持ちだった。熊本県には，過去１勝もしていないせいか，少し弱気になっている自分に気が付いた。その時，ある全国大会に参加したときに掲げてあった横断幕の文字が，私の脳裏をよぎった。「敵は自分自身の中にあり」この文字が弱気になっていた私を奮い立たせてくれた。

ダブルスが始まる。「全国高校総体」の時と同じメンバーだったので，“今度こそ”という気持ちが，次第に高ぶってくるのを感じていた。しかし，気持ちだけが空回り。何もできないうちにゲームセット。完敗であった。“こんなはずではなかったのに”と落ち込んでいる時間もなく，シングルスが始まった。高校生最後の試合となるかもしれないこのシングルス。ベスト・プレーを心掛け，試合にのぞんだ。試合中は無心に，そしてがむしゃらにシャトルを追った。相手との勝負であると同時に，自分との戦いである。自分から絶対にミスはしない。とにかくコート内を走り回りシャトルを拾い，そして全力でスマッシュを打った。……長い時間が経過し，自分との我慢比べに勝っていた。過去一度も勝てなかったので，夢でも見ているよにな気持ちで信じられなかった。結局チームとして敗れてしまい，この試合が私の高校生最後の試合となってしまった。しかし，私にとって心身ともに充実した大会であった。また，この試合に向けて練習を積んだことにより，私自身を大きく成長させてくれた大会でもあった。

中学１年生よりバドミントンを始め，大学時代には，１～２年生連続で中国遠征にも参加することができた。国際大会に出場して感じたことは“世界のレベルは高く，層も厚い”ということであり，外国の選手とラケットを交えて試合をしたことは，私自身が，その後の練習方法を変えざるを得ないほどに“衝撃的ともいえる貴重な体験”でもあった。

このように，国内外の大きな大会に参加して戦えたことは，私一人の力だけではなく，私を指導して下さった先生や諸先輩。私を支えて喜怒哀楽を共にしてくれた仲間たち。そして，陰ながら応援してくれた家族。このように多くの人たちの応援と協力が



日本学生選抜中国遠征，対中国ジュニア戦
＝試合中の近常直美選手（右）
1986（昭和61）年12月，於上海市

あったからこそ，ここまで私は頑張ることができたと信じている。今後，私が人生を歩んで行くにあたり，バドミントンを通して学んだ事および，バドミントンでできた友達を大切にし，共に歩んでいきたいと思う。そして，今よりも大きく羽ばたいていきたいと思う。

追記：近常選手は，山陽女子高２～３年と国体に連続出場。1985（昭和60）年の第40回鳥取大会で３年生の時に対戦した熊本県は同大会で優勝した。近常選手がシングルスで勝った松尾選手（現ＮＴＴ東京）は，1994（平成６）年の第12回アジア大会（広島）日本代表として，団体とダブルスで銅メダルを獲得した。さらに同選手は，1996（平成８）年のアトランタオリンピック日本代表にも選ばれた。

1996（平成８）年　編纂委員会

＝スポーツファミリー紹介＝

## 『シャトルを追って，“松王一家”』

岡山県バドミントン協会理事長　**藤原　航**　記

＜岡山県体協ニュース　第37号　平成２年６月より＞

スポーツファミリー，この言葉が正にぴったりの御家族がここにいる。松王さん御一家である。家族全員が同じスポーツに取り組むことさえ数少ない中で，ましてや各人が各々の持ち場，立場で卓越した活躍をする事はさらに稀である。そんな松王さん御一家をここに紹介したい。

バドミントンで結ばれた御夫妻と一男二女の５人家族全員がバドミントンに取り組んでおられる。もっとも御夫婦の現役としての華々しい活躍は既に過去のこととなっている。しかし，サラブレッドの血を受け継ぐ３人のお子さんたちの活躍はいずれも素晴らしいものがあり，本県バドミントン界を担う選手に育ちつつある現況は頼もしい限りである。

御主人の重明氏は，西大寺高校入学を機にバドミントンを始め，高校時代は県高校各種大会の制覇，中国高校選手権団体・単・複各１位，国体出場２回，インターハイ団体４位等，華々しい活躍で同校の黄金時代を確固たるものにした立役者の一人である。その後の関西大学時代の西日本大学学生選手権単・複各１位を合わせ，本県バドミントン界屈指の堂々たる経歴をお持ちである。現在は，岡山市絵図町でスポーツ店（トップ・プロスポーツ）を経営する傍ら，学校・地域クラブの指導に時間をさくなど，バドミントン界の振興に側面からご尽力をいただいている。

奥さんの早苗さんも西大寺高校出身で，御主人の５年後輩になる。当時の県高校界は山陽女子高の独壇場の続く時期であったが，“西大寺高校に東島（旧姓）あり”と孤軍奮闘，見事中国高校選手権単２位を獲得し，国体出場も果している。

長女の香音里さんは，山陽女子高，県立短大を経て今春松下ビデオに就職した。両親の影響を受けて小学５年生からバドミントンを始め，高校時代には父親同様に県高校各種大会の制覇，中国高校選手権団体・複１位，同単２位，国体出場２回，インターハイ単５位，大学時代は中四国学生選手権単１位と，父母の血を継ぎ素晴らしい活躍である。４月からは社会人，新生松下電器岡山女子チームの中心選手として今後の活躍に大きな期待が寄せられているところである。

長男の秀樹君は，姉妹に挟まれた長男で，松王家の大きな期待を担っている。彼もまた今春西大寺高校を卒業し専門学校へと進んだ。高校時代には県高校単５位に入っている。両親・姉の活躍のよう

な派手さはないが，競技人口２千人の高校界を思えば立派な活躍であることには違いない。

次女峰代子さんは，現在西大寺中学校３年生である。必然的に早くから家族の影響を受け，姉兄と同じ小学校５年生からバドミントンを始めた。小学生時代は，新設間もない中国小学生大会において見事単３位に入賞し，中学２年生で県中学大会単２位を獲得した。ここまでの成績は両親，姉兄に勝っている。今後の成長が大変楽しみなジュニアの一人である。これからますます高度な技術・スタミナ・精神力が要求される。指導者の教えを自分のものにし，是非とも大成していただきたい。

県バドミントン界で本稿に最も適した松王さん一家を御紹介したが，こ主人の実兄清志氏（㈱ゴーセン勤務，元ミスワールド日本代表と結婚）も，かつてはアジア大会の日本代表として活躍された方であることを付記する。

本県バドミントン界の今日迄の歩みを振り返るとき，両氏から受けたその時々のインパクトが大きな刺激になったことも事実である。

御一家には，今後とも御支援をお願い申し上げるとともにご健勝をお祈り申し上げます。



**松王さん一家**

**後列左から**
**秀樹君・重明さん**

**前列左から**
**香音里さん・峰代子さん・早苗さん**

追記

その後，次女峰代子さんは，中３の中国中学大会団体優勝・単２位に続き，全国中学選抜大会団体で，本県にとって全中大会２度目の３位入賞を果たした。山陽女子高時代も，中国地区では選手権に３年連続，国体予選と全国選抜予選に２年連続出場し，団体，個人単・複等の合計14種目中13種目に優勝し，１種目２位の好成績を挙げた。全国大会にもインターハイ，国体，選抜等に２年連続出場してエースとして活躍。特に２年時の選抜単では３位に入賞し，銅メダルに輝いた。その年，東南アジア遠征日本代表選手の一人に選ばれ，バルセロナオリンピック金メダリストのスシスサンティー（インドネシア）と対戦する機会に恵まれた。

一方３年時，全国比叡山競書大会において，内閣総理大臣賞（最高賞）に輝く快挙をも遂げ，文武両道に非凡な高校生活であった。

1994（平成６）年末　編纂委員会記

＝所感＝

# 『競技力向上について』

岡山県バドミントン協会理事長　藤原　航　記

＜㈶ＯＨＫスポーツ振興財団　スポーツウオッチング（平成３年度）№８より＞

各競技団体では「如何にして競技力を向上させるか」という，永遠に続く非常に厄介なテーマに悩んでいる。

競技力を計る物差しには色々あろうが，万人向きには競技会の順位であろう。相対的な尺度ではあるが，上位であれば快感も伴い周囲も称賛する。我がバドミントン界は，エリアを中国地区に限定すれば快感も多いが，全国レベルでは低迷と言え，特に国体では悔しい思いが多く，“井の中の蛙”のそしりを甘んじて受けなければならない現状だ。

ならば，競技力向上策は万全か？，私は競技力向上の柱は，

①，選手本人の取り組み。

②，指導者の的確な指導と情熱

③，活動環境

の順で重要と考えている。

ここで，②の指導者の役目に着目してみたい。なぜ②かと言えば，①，③はネガティブなもので相手を伴うからである。

我々指導者は，最善を尽くしていると誰しも思っている。選手の自覚が足りない，活動環境が貧弱であると真剣に主張したがる。しかし，このことは否定はしないが，所詮永遠に続く愚痴のようなもので，指導者の持つ宿命であろう。

一昨年正月休みに，近年国体総合優勝を幾度も果たし，日本代表選手をコンスタントに輩出している熊本県バドミントン協会に，強さのルーツを探る訪問の機を得た。その中で，ある有名強力高校バドミントン部顧問は，他クラブとの体育館共用の制約についての質問に対し，「21時から朝８時までは空いていますよ！」と事もなげに答えた。さらに協会理事長は各指導者の取り組みについて，「協会・中学・高校の指導者は各々の所属の指導後，小・中学生の待機する地域のクラブに出向き，０時～１時頃まで指導を行っている…」と自慢げに話された。私は，熊本の強さが判ったような気がした。

わが協会にここまでの指導者は居ない。自分の担当クラブの指導後は帰宅，晩酌であろう。体育館にベットと鍋釜を置き，指導に情熱を燃やす態勢がなければ，全国上位進出の資格はなしかと悩む昨今である。変える事，変わる事にチャレンジし，分相応に取り組むほかない。

1992（平成４）年１月記

＝随想＝

# 『こだわりスポーツ再発見バドミントン』

岡山県バドミントン協会常務理事　松本組バドミントン部長　**朝霧 晴夫**　記

＜㈶ＯＨＫスポーツ振興財団　スポーツウオッチング　（平成元年度）№６より＞

どんな競技をみても，過去に選手として活躍された人が，役員や指導者などになっておられるようですが，私の場合は少々異なり，県協会長が我が社の社長ということもあって，全く知識もないのに，にわかにバドミントンに関わることになりました。そのいきさつは，次のようなことなのです。

1981（昭和56）年に，元ナショナルチームのメンバーで，世界女子選手権（ユーバー杯）大会において，日本が優勝した時に大活躍した本県出身の近藤小織選手（現姓河本）が，故郷に帰り，わが社に入社することになったのです。しかも，日本代表として共に頑張った大阪出身の高田幹子選手も一緒に！ということでした。既に在社していた２人の選手を含めると，ぎりぎりの少人数ながらチームも編成できるということから，社長より「部長として面倒をみるように…」と拝命されたことが発端で，私は現在の立場にいるわけです。

チームとしては最少人員の４人でしたが，各種大会や各地の講習会などに私も同行しました。そして，1982（昭和57）年の全日本実業団大会において，いきなり３位に入賞し，翌年は同大会で準優勝したのです。さらに国体では，島根・群馬と２年連続優勝に輝くなどの好成績に，すっかりバドミントンの魅力にとりつかれてしまいました。

その後は自分のチームを含めて，県全体のことが気になるようになり，県内・中国・全国の全ての大会に必ず参加するようにしています。

県内大会への一般選手の参加数が，年々減少（特に女子）しているのが，大変気にかかる昨今ではありますが，幸いにも一方では，わが社の山本美智子選手（旧姓原田）が，埼玉の今津裕美選手（旧姓小寺，元我が社の部員）と組んで，全日本シニア大会に出場し，30才女子複の部において一昨年，昨年と２年連続優勝を果たし，後輩に刺激を与えてくれました。

昨年，岡山市政百周年の記念行事として，全日本実業団大会が地元岡山で開催されました。参加者が年々増え続けている傾向の中で，岡山大会では前年をさらに上回って，196チームもの参加からもうかがえるように，全国的にプレーヤーは増えていると考えられます。

岡山の逆現象にブレーキをかけ，プレーヤーを増やしていくには，地元企業の理解を得る努力と，小・中学生のジュニア層からの育成がなにより…と痛感しています。

現在岡山では，川鉄水島の藤原道弘選手が，全日本シニア大会の30才代において，単・複優勝するなど，ベテラン勢が活躍しています。また高校女子では，山陽女子高校が中国大会の団体で32連勝に輝いていますが，若手を中心にした国体等での成績ははかばかしくありません。

世界の檜舞台で前人未到の大記録を樹立し，“バドミントンの女王”の名をほしいままにした，山陽女子高出身の「湯木博恵選手（現歌手新沼謙治夫人・新沼ひろ映）」や，前記，同校出身の「近藤小織選手」に続く選手の輩出を期待し，関係の皆さんのご支援とご協力をお願いする次第であります。

1990（平成２）年１月　記

＝全国優勝等の記事＝

## 『山陽女子高，全国Ｖ重ね栄華極める』

＜山陽新聞1995（平成７）年２月26日「躍動岡山スポーツ半世紀」より＞

「初戦からオーダーを一度も変えず，すべてストレートで勝ち上がった」。毛利（当時重実）清志＝岡山市駅前町，67歳＝は今でも誇りに思っている。

昭和30年８月，神戸ＹＭＣＡ体育館で行われたインターハイ女子団体戦でのこと。毛利が監督をつとめる山陽女子高は，権田節子と友野文子，小林桂子と三宅基子のダブルスと光本政子のシングルスの順。２複１単がすべて勝ち，試合はいずれも３－０。“４番手”の登場は最後までなかった。

毛利がバドミントンと出会ったのは日体大の学生だった昭和23年。教育実習で訪れた真備高の体育館でプレーを見た。「変化に富んで，動きもダイナミック」。岡山に伝わって１年の“ニュースポーツ”に魅力を感じたという。25年夏，山陽女高へ着任して選手，指導者として本格的な活動を開始した。「教本もなく手探り状態だった」

ランニング，うさぎ跳びなど下半身強化に重点が置かれた。29年の全日本選手権少女ダブルスで大森嘉美と組み，県バドミントン界に初の全国優勝をもたらした吉川（現姓藤沢）英子は「足が遅かったので，とてもつらかった」と振り返る。体育館もなくホームコートはやや広い家庭科教室。天井にぶつかったシャトルは急降下した。

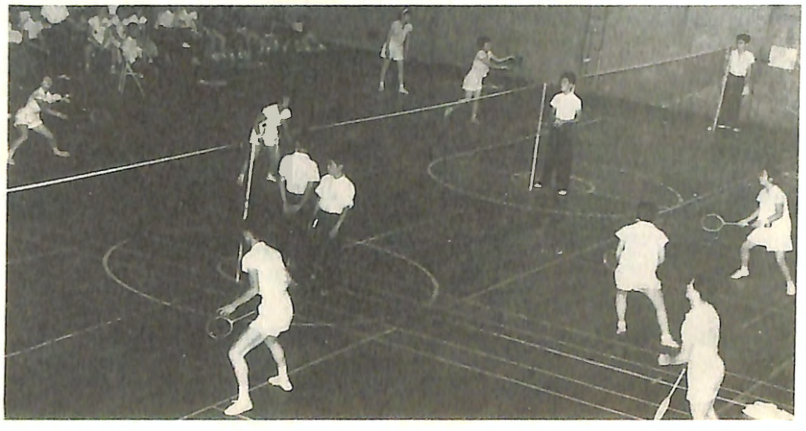
待望の体育館ができたのは27年２月。当時，山陽女子中１年だった小林は「とてもうれしかった」と振り返る。選手たちは喜びの中，「頑張らなきゃ」との思いを強くした。

「とにかく拾え」。体育館に毛利の声が響く。社会人の男子が度々指導に訪問。少女たちは，真新しい床に転びながらシャトルを追い回した。ときには涙さえ浮かべて。「あきらめるな。球（シャトル）にかするだけでもいいから…と先生に言われた」と光本は打ち明ける。

厳しい練習の成果は年を追って現れる。インターハイ団体は27年ベスト16，28年同８，29年同４。そして30年，ついに大輪の花が咲く。

この年の５月，全日本選手権少女シングルスで友野，ダブルスで小林／三宅組が優勝するなど山陽女子高勢が上位を独占。絶対的な自信を持ってインターハイに乗り込んだ。

決勝の相手は尚絅女学院（宮城）。２組のダブルスが悠々勝って登場した光本は，快挙を前にプレッシャーから１ゲームを落としたが，持ち前の粘りで残り２ゲームを奪い，優勝を決めた。２日後の個人ダブルス決勝は同校決戦になり，権田／友野組が小林／三宅組を抑え優勝を飾った。



第６回全国高校選手権大会
団体決勝戦で奮戦中の山陽女子高校
権田／友野組＜中央コート，右側＞
1955(昭和30)年８月
（神戸，ＹＭＣＡ）

＊当時のネットポストは木製の角材であり，審判員は立ったままであった。

続く神奈川国体も高校女子で日本一の栄冠をつかんだ。

翌31年は，兵庫国体で山陽女子高勢を中心とした岡山は初の競技別天皇杯総合優勝を果たした。

その後も同校は全国入賞を続け，37年，高塚淳子がインターハイ・シングルスで優勝，ダブルスでも重政百代と組んで２冠を獲得した。

昭和30年代，毛利の率いる山陽女子高のバドミントンは栄華を極めた。

## 『ＪＥＦＮＥＷＳ』

日本教職員バドミントン連盟機関誌＜第５号，昭和51年秋号より＞

＝①＝

○第15回大会で『活躍した選手のひとこと』＝**３冠制覇！　石田雅子選手（岡山）**

団体・単・複を手中に…

「５日間で22試合もやって，ただ疲れました。ファイナルゲームも多かったのですが，団体戦は絶対に取るつもりで頑張りました。個人戦の方は取れたらというつもりでした。ミックスではまずい試合をやってしまったのが残念で，もう一戦やりたい心境です」

＝②＝

○第15回大会で『活躍した選手のひとこと』＝**２冠制覇！林寿美子選手（岡山）**

団体・複を手中に…

「初出場で優勝できてうれしいです。石田さんのリードが良かったのが勝因です。準決勝で昨年優勝の岐阜ペアとの試合は，相手が団体戦の疲れがあって楽にやれました。１日８試合はしんどかったです。

＝③＝

なお，この大会の40歳代男子複では，**毛利清志／西崎正明組が優勝**。同単では **毛利選手**，混合複では **三宅勝／石田雅子組**がそれぞれ準優勝した。

＝④＝

また，ＪＥＦＮＥＷＳ「創立20周年特別記念号（第24号＝昭和56年夏期号）」の回顧録では，同連盟創立10周年記念岡山大会について，次のように記載している。

…1971（昭和46）年，**第10回教員大会岡山にて開催**…

岡山県体育館，岡山大学体育館に於いて開く。参加23都道府県。男子団体23チーム，女子11チーム，成壮年12チーム。男子単92名，同複46組。50単２名，50複１組。40単15名，40複９組，30単41名，30複22組。女子単29名，同複12組。混合複13組と過去９回中最高の参加者で熱戦が繰り広げられた。

＝⑤＝

また，日本教職員バドミントン連盟創立10周年記念大会の佳き日に，同連盟より表彰等が行われ，岡山県関係は下記のとおりであった。

○**毛利清志・西崎正明**＝同大会10年連続出場…表彰状

○**毛利清志**＝同連盟設立に発起人として貢献…感謝状

# 『全日本実業団で準優勝
# 松本組バドミントンチームが来社』

＜岡山日日新聞　1983（昭和58）年６月29日より＞

「猛練習を積んで，来年こそ優勝を勝ち取ります…」。北海道札幌市・中島体育センター別館で開かれた，「第33回全日本実業団バドミントン選手権大会」女子団体戦準優勝を飾った岡山市絵図町松本組（石田祥史社長）のバドミントンチームの選手が，28日午後大会報告などのため，岡山日日新聞社を訪れた。

来社したのは，同大会に出場した河本小織・高田幹子・原田美智子・合田なおみの各選手，石田社長（県バドミントン協会長）の５人，河本・高田両選手は，59年９月，同社に入社した世界的名プレーヤー。合田選手は57年４月１日，原田選手は今年４月１日にそれぞれ入社。河本選手の後輩（山陽女子高）になる。

同社では，同大会には昨年から出場し，初出場で堂々３位に輝いた。今大会では，第３シードとして出場。２回戦で鳥取三洋電機（鳥取），３回戦で地崎工業（北海道），準々決勝で日本電装（愛知）を破り，準決勝ではライバル三洋電機（大阪）を降した。決勝ではサントリー（大阪）と対戦，大接戦の末，惜しくも敗れた。

河本選手は「強敵の三洋電機を破っただけに，優勝したかったです」と話す。高田選手は「やるだけのことをして満足です」。合田選手，原田選手は「初めてのビッグ大会で，プレッシャーを感じ，普段の力を十分出せなかったのが残念です」と，それぞれ，反省の意をこめて話す。そして，四選手とも「もっと練習して，来年は必ず優勝を勝ち取ります」とキッパリ。

一方，石田社長は「みんなよく頑張ってくれました。うちのチームは選手が四人で，試合が重なると不利になる。今後は若い有力な選手を補強して優勝を目指したい」と，抱負を話した。

付記

河本選手は，山陽女子高～日女体大～カワサキラケット。高田選手は，四条畷学園高～同短大～サントリー。といずれもバドミントン界の名門チームで全国トップレベルの大活躍。さらに，両選手とも，ナショナルチームのメンバーとして，日本にユーバー杯をもたらすなど，国際的にも大きく貢献した。引退後，岡山の松本組でのチームづくりに対しては，高田選手がサントリーを退社して…ということもあり，県外から多少の異論もあったが，当時の本県協会藤原航副理事長が中心になって事態を収拾した。

1994（平成６）年　編纂委員会

第38回国体バドミントン（桐生市）

# 『岡山，２年連続Ｖ 成年女子静岡にストレート勝ち』

【成年女子】 決勝 岡 山 ２ ｛単１－０ 複１－０｝ ０ 静 岡

## “会心の完全優勝”

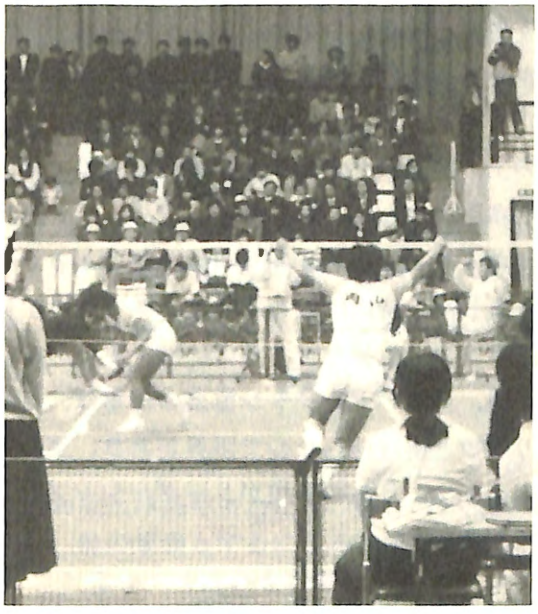
＜山陽新聞 1983（昭和58）10月20日より＞

世界の舞台も数々踏んだ河本小織（松本組）が，両手を差し上げて飛び上がってよろこんだ。国体２連覇。それも完全試合ストレート勝ちという“完全優勝”の一瞬。「ちょっとはしゃぎ過ぎたけど，自然にああなったんです。昨年より苦しかっただけに，うれしい」。

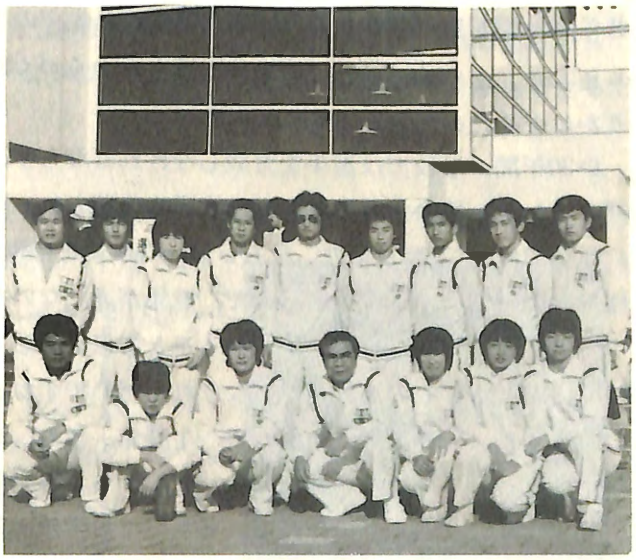
幕切れが圧巻だった。相手は静岡。日本リーグに加わる日本楽器の主力で固めた強豪だが，河本・高田幹子（松本組）で臨んだダブルスから優位に立ち，15－７，15－６の大差で先勝。王手をかけた。そして迎えたシングルス，静岡は昨年の大学選手権の覇者でナショナルチーム入りが決まっている白松千加子選手を立てた。だが，河本が熟練のプレーで寄せつけず，第１ゲームを11－３，第２ゲームは11－０と１本も許さないパーフェクトゲームで下し，連覇を決めた。「ダブルス，シングルスとも完ぺき。３年前（ユーバー杯優勝）を思い出しましたよ」と河本。高田も「相手を波に乗せない思い通りの展開」と会心の試合を振り返った。

昨年の優勝直後から２連覇へ向けてスタート。新婚の河本小織は主婦，仕事，選手の３役をこなしながら猛トレーニングに励んだ。それに周囲の期待の大きさ。「どうしても負けられない苦しさは大変なもので，本当によく頑張った。その分大きな花を咲かせてくれた」と藤原航監督はしみじみ。

スタンドでは１年間，練習台になった男子選手や民泊先の主婦らが大声援。ともに喜びをかみしめていた。



群馬国体 ①優勝を決めた瞬間，飛び上がって喜ぶ河本選手



②岡山選手団。前列左から＝藤原航成女監督・高田幹子・河本小織各成女選手・毛利少女監督 河内・福田・轟各少女選手。後列左から＝河合少男監督・中山成男監督・小寺裕美成女選手 藤原・平田・若林各成男選手・西崎・綱島・今東各少男選手

＝記事＝

# 『選手育成は心の結びつき』

## “学校に寝泊まり練習…感激した５年目の優勝”

＜山陽新聞「夕刊スペシャル」30分間インタビュー。1980（昭和55）年10月29日より＞

バドミントンの発展につくし，体育功労者として
文部大臣から表彰された山陽学園教頭『毛利清志』さん

戦後，急速に広まったバドミントン。今では手軽に楽しめるスポーツとして市民の間に浸透し競技も盛ん。岡山県下でも日本バドミントン協会に登録している選手を中心に，小・中・高・大学の各学生，実業団，社会人，家庭婦人等々の愛好者の合計は３千人を上回ると推計されている。岡山県にバドミントンを普及発展させた一人が毛利清志山陽学園教頭（53）である。山陽女子高・中学の体育教師の傍ら，「ズブの素人」だったバドミントンを生徒と一緒になって習得。協会の中枢となって骨をおりながら，日本人で初めて全英選手権を制した湯木博恵選手ら国際級の選手を育て上げた。自らも第５・第６回の世界女子選手権（ユーバー杯）のコーチ・監督として世界を制覇している情熱家である。この道30年。３日にはこれまでの努力が認められ，岡山県からただ一人，体育功労者として文部大臣から表彰を受けた。160センチ，60キロ。小柄な身体のどこにバイタリティーが潜んでいるのだろう。「選手を育てるには心の結びつきが一番。これからもバドミントンの発展のめたには全力を尽くす」という毛利さんに，これまでの思い出，今後の抱負をたずねた。

▷受賞おめでとうございます。感想をお聞かせください…。

岡山県教委から受賞の連絡を受けてから一度は辞退したんですが，せっかく推薦をいただいたので受けることにしました。自分自身のやってきたことが表彰に値するとは思ってもいなかったので，“寝耳に水”でした。しかし，今回の受賞がこれまでの事を反省する機会ともなり，今後の発奮剤にもなりました。名誉ある賞なので責任の重さをつくづく感じさせられました。家族も，これまで迷惑ばかりかけてきたのに喜んでくれました。

▷30年間，学校では選手を育成しなければならず，その上，岡山県バドミントン協会理事長，日本バドミントン協会常務理事などの役職を兼務され，苦労も多かったと思いますが…。

学校では，“忍耐と努力”をモットーに生徒を指導してきました。ところが相手は女生徒ばかり。女性特有のデリケートさがあるので，意思が通じないで弱りました。時には親を通じて，ある時は生徒の先輩を通じて，自分の考えていることを伝えたこともあります。生徒を育てるのには，生徒の中に溶け込んで心と心の通じ合いがなければだめですね。岡山県，日本バドミントン協会の仕事は，自分の受け持った仕事を果たすことで一生懸命。でも，やはり学校と掛け持ちなので限界があり，至らなかったことが多かった。岡山県のバドミントン界発展のためには，うちの学校がリーダーシップをとらなくては…と思っていたので，どうしても学校へ偏ってしまった。

▷今までの一番の思い出はどんなことでしたか…。

昭和29年のことです。東京であった全日本選手権少年女子ダブルスで，うちの生徒が決勝まで進みました。明日が決勝という日に，決勝に進出した一人の生徒の父親が亡くなった，と連絡が入りました。本人に知らせてすぐに岡山に帰らせるべきか，それとも本人には知らせずに決勝戦をやらせるべ

きか…ずいぶん迷いました。結局，試合に出場させて優勝させたんですが，今から思えば帰らせた方が良かったんじゃないかと思います。いつまでたっても心のすみに残っている出来事です。

▷バドミントンとの出会いは…。

私が真備高校で教育実習生としてお世話になったときです。それまで卓球をかじった程度で，バドミントンは全くの素人でした。本格的には山陽学園に来た昭和25年です。体育教師として何の特技もなかったので寂しい思いをしていたとき，敏捷性，持久力等が要求され，しかも立体感のあるバドミントンに魅せられ，よしやってやろうと始めました。当時，校舎と校舎の間にネットを張ったり，自転車で競技ができる場所を見つけては足を運んで練習をやりました。もちろん，試合には出ても勝てず，生徒と一緒にノート片手で勉強しました。部の顧問を始めて５年目の昭和30年，神戸のインターハイで団体とダブルスで優勝したんですが，その時は“よくここまで”と自分なりに感動し，何とも言えない感激に浸りました。

▷教え子の中からは湯木博恵・浦口恵子・近藤小織といった国際的なプレーヤーをはじめ，数多くの有名選手が出，国内では岡山県の延べ優勝数80数回のうち，山陽学園の生徒と毛利さんがそのほとんどを占めると聞いていますが，練習は厳しいのでしょうね…。

若い時は厳しかったと思いますね。できるだけ生徒に胸を貸そうと心掛け，コートでマンツーマンで徹底的にやりました。自分の練習も兼ね，学校に寝泊まりしていたので，近くの神社で走り込みもしました。生徒も私によく食らいついてきましたし…。それが昭和28年から47年まで私自身国体20年連続出場をやれた原動力ともなったようです。昭和35年度には教え子と組んで，全日本総合選手権混合ダブルスの部で優勝したこともあります。

▷岡山県のバドミントンのレベルは最近低迷しているのでは？…。

高校だけに限らず，一般でも中国地区では勝てても全国では通用しなくなった。原因の一つは指導者が不足していること。若い指導者の獲得が県全体のレベルアップには欠かせない条件です。それに中学校で基礎的な技術をみっちり教え込み，高校で一層のレベルアップを図る中学～高校の一貫した指導が大切。岡山県はそれがうまくいっていない。昨年から一般女子の方は，地元のある企業が女子チームをつくる方向で頑張ってくれてています。女子のレベルアップにはいい機会で，私もできるだけ協力していくつもりです。

▷最後に指導哲学を…。

なんといっても生徒と教師の信頼感をつくることが第一です。教師は出来るだけ生徒の生活に溶け込んで，一緒に部活動に取り組むことが大切だと思っています。



## 表彰状

岡山県　毛利清志　殿

あなたは長年にわたり　体育の普及振興に尽力し
他の模範とするに足る功績をあげられました
よって　これを表彰します

昭和55年10月10日

文部大臣　田中　龍夫

## 『全国大会に燃える翠松』

「３月の高校選抜バドミントン中国代表」

“創部16年で念願果たす” ＝所戦突破へ猛練習＝

＜山陽新聞1989（平成元）年１月14日より＞

「全国大会でも翠松旋風を」－このほど行われた全国高校選抜バドミントン選手権大会中国地区予選会で，翠松（倉敷市平田）が団体戦初優勝を飾った。創部16年目。念願の全国大会出場を決めた選手たちは，３月25日から３日間，宇都宮市で開かれる本大会を前に「ガッツと粘りで一勝を」と，厳しい練習を続けている。

全国大会の最後の関門，中国地区予選会（１月６～８日・倉敷体育館）での翠松の活躍はすばらしかった。１回戦の境（鳥取）を３－０，事実上の優勝戦といわれた準決勝の高森（山口）戦は３－１，そして決勝も，２連覇を狙う鈴峰女（広島）を３－０で一蹴（いっしゅう）するなど，危なげない勝ちっぷりだった。

ずぬけた選手はいないが，松田範明監督が「県下一」と自負する抱負な練習量と，ランニングや筋力アップなどで体力づくりに努めたのが，レベルアップに大きくつながった。

また，岡山県大会で優勝を争った山陽女（岡山市）の存在も見逃せない。これまで県内では長年，山陽女が女王の座に君臨し，翠松はあと一歩のところで何度も苦汁を飲まされていた。それだけに，選手の“打倒山陽女”の執念はすさまじく，苦しい練習にも耐えた。渡邊美穂主将は「県大会で山陽女に勝ったことが一番嬉しく，大きな自信になった」と話す。

全国大会には，個人ダブルスでも出場する渡邊美穂・藤原清美を中心に７人が出る。松田監督は「今後の飛躍のために，全国レベルの力と技を吸収してきたい」と“勉強の場”を強調しながらも「持ち前の粘りとガッツで，なんとか初戦突破を」と張り切っている。

## 『初戦突破へ全力，強豪山陽女破って自信』

全国高校選抜大会に初出場する翠松高監督の **松田範明さん**（36）

＜山陽新聞　夕刊　いんたびＹＯＵ　1989（平成元）年３月23日より＞

岡山県高校女子バドミントン界に，翠松旋風が吹き荒れている。昨年11月の秋季大会で，山陽女の27連勝を阻んで初優勝。１月の中国予選でも強豪を連破，全国選抜大会（26～28日・栃木県体育館）の出場切符を手にした。創部16年目の快挙。松田監督に全国大会の抱負や目標を聞いた。

▷選抜大会の団体初出場おめでとうございます。中国予選は快調でしたね…。

「昨年秋の岡山県大会で，山陽女に初めて勝って波に乗りました。中国予選では準決勝で強豪の高森（山口）に３－１，決勝でも鈴峰女（広島）に３－０と持てる力を存分にだしてくれました」

▷なにが快進撃につながったのでしょう…。

「昨年のインターハイ県予選で２位だったが，これまで歯がたたなかった山陽女に決勝で３－１と善戦，自信をつけたようだ。昨年のメンバーが５人残ったのも大きかった。また，６年前に学校創立百周年で体育館が建設され，“ジプシー”からみっちり練習できる環境が整ったことも見逃せない」

▷“山陽女に追いつけ，追い越せ”と猛練習を続けたと聞いているが…。

「早朝，昼休み，放課後と毎日５～７時間，休みには10時間を越える練習を繰り返した。年末，年

始も休まなかったが，選手は本当によく頑張ってくれた。中学時代の有名選手がいるわけでなく，勝つためには猛練習しかなかった。練習量ではどこにも負けない自信はある。また努力すれば報われることを教えてやれたのが何よりうれしい」

▷全国大会のメンバーと選手の特徴を教えて下さい…。

「左ききで攻撃型の渡邊美穂主将，レシーブの強いエース藤原清美，丁寧なプレーの此元通子，スマッシュ力のある杉本真紀子，パワーの羽原美智子，頑張り屋の荒井千晶らです。渡邊・藤原は個人戦のダブルスでも出場します」

▷選手強化で特に気をつけている点は…。

「私は陸上（長距離）出身なので，基礎トレーニングを重要視しています。みっちり体を鍛えて猛練習に耐える体力とバドミントンに対する情熱を指導しています」

▷最後に全国大会の抱負を…。

「団体は初戦（２回戦）で小山城南（栃木）と対戦します。強豪だが，初戦突破へ全力を尽くしたい。勝ちも大切だが，今後さらに成長するために何かをつかんでほしい。個人戦ダブルスの初戦は佐賀女子の選手が相手。九州はレベルが高いので，速いシャトル回しにいかについていくかが勝敗の分かれ目になりそうだ」



**インターハイ参加の倉敷翠松高校チーム，**
**平成元年度＝於高知県民文化ホール・他**
**後列左から＝渡邊美穂・羽原美智子・繁森美智子**
**・荒井千晶・松田範明監督**
**前列左から＝藤原清美・牧田佳緒里・此元真紀子**

◇付記

倉敷翠松は，その年（平成元年）６月の県高校総体決勝でも山陽女子に勝って，全国高校選手権（インターハイ）団体戦初出場を果たした。また，同年度の第44回北海道国体にも主力選手２名を送り，同校の松田範明顧問が監督をつとめた。

さらに，1996（平成８）年度の全国高校選抜県予選の決勝で山陽女子に圧勝し，７年ぶり２度目の全国高校選抜団体戦出場のキップを手に入れた。＝全国大会は選抜25周年記念大会で全県参加の団体戦のみ＝。勢いに乗った中国地区選抜でも，準決勝の山口中央，決勝の鈴峰女子を，それぞれ３－１で倒して全国大会への弾みをつけた。

因みに，山陽女子は1952（昭和27）年，創部３年目でインターハイ初出場。以来，全国選抜も含めて団体戦常連校となり，1996（平成８）年度現在でインターハイに42回，選抜も18回出場しており，通算５度の優勝や多数の上位入賞を誇っている。しかし，1953（昭和28）年の県大会初優勝までは，倉敷青陵が３連勝している。また，常連校となってからも，1967（昭和42）年度に倉敷青陵，1976（昭和51）年度に倉敷中央，1988（昭和63）年度・1989（平成元）年度・1996（平成８）年度の３回は倉敷翠松と，計５回にわたって県予選の決勝で敗れて連続出場を阻止されている。これら，倉敷各校のがまん強い活躍もまた見事であった。

なお，平成元年度のインターハイは，「全国高体連バドミントン部創立40周年記念大会」であり，数多い受賞の中で，山陽女子の“全国最多出場記録”は，特筆すべき快挙と讃えられた。

**1997（平成９）年３月　編纂委員会**

## 《メダリスト列伝！！ アジア大会の郷土勢》

### ①『松王・小松が団体金』

〔第３回，東京。1958（昭和33）年５月24日～６月１日〕

＜山陽新聞，1994（平成６）年５月10日より＞



松王清志選手　優勝記念

バドミントンは岡山出身の２選手が活躍した。松王清志（大阪スポーツ工業）＝大阪府豊中市，58歳＝と，小松康博（関大）＝大阪府松原市，57歳＝デモンストレーション競技ではあったが，みごと金メダルを獲得した。２人は西大寺高の先輩後輩で松王が１級上。１年生のとき野球部にいた小松を強力なペアの相手を探していた松王がくどき落とし，バドミントン部に入部させた。ともに関大へ進学。ダブルスでは息の合った名コンビ，シングルスではよきライバルだった。

松王は本大会もさることながら，代表選考会が忘れられない。西日本ランク上位の10数選手による総当たり戦。「絶対２人一緒に出たかった。小松君が気がかりでしょうがなかった…」。ともに好成績を挙げ代表に選ばれた夜には，祝杯をあげて喜び合った。こうして，そろって出場を果たした本大会は，参加予定だったインドネシア・マレーシアなどが経済事情から不参加。出場３カ国だけだったが，日本はタイ・台湾を連覇。松王・小松もシングルスではつらつとプレー，晴れて優勝メンバーとなった。

「会場の体育館は観客で満員。皇太子さまもお見えになった」と松王。当時五輪種目でなっかたバドミントンの選手にとって，アジア大会は最高のひのき舞台であった。

### ②『湯木初出場２冠』

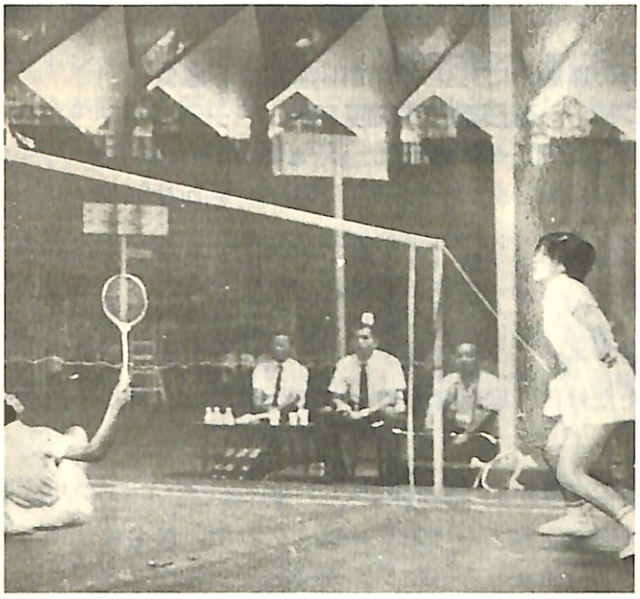
〔第６回，バンコク。1970（昭和45）年12月９日～20日〕

＜山陽新聞，1994（平成６）年，５月14日より＞

湯木博恵（日女体大）＝東京都大田区，45歳，岡山山陽女子高出，現新沼ひろ映＝は伸び盛りの頃であった。９カ月前の左アキレス腱切断を乗り越え，初出場でバドミントン女子団体，個人シングルスの２冠に輝いた。

バドミントンがまだ，五輪競技ではなかった時代。「大きな大会だった。いろんな競技の選手がいて入場行進した時は感動した」と24年前を振り返る。

「勝ちは勝ちだったけど…。試合で決着をつけたかった」。12月18日，個人シングルス準決勝は脳裏に焼きついている。世界トップにいたミナルニ（インドネシア）戦。事実上の決勝だった。前年バドミントン界最高の全英選手権シングルスに初出場で優勝した後，世界女子選手権（ユ杯）で敗れた相手。それだけに雪辱に燃えた。１ゲーム落として迎えた第２ゲーム途中，ミナルニが右ひざ負傷で２度転倒し，棄権。湯木の勝利となった。



「私はスロースターター。簡単に勝てる相手ではなかったけど，勝つペースでいってたのに…」と今も悔しさを隠さない。

決勝は「蒸し風呂のような体育館で，観客全員が敵」の中，地元タイのトンカムを下した。７・８回と３回連続出場。全英選手権シングルスは計４回制し，優勝杯を日本人でただ一人永久に授与されている。現在，日女体大監督として後進を指導する。

**第６回アジア大会女子単準決勝**
**湯木選手は，ミナルニの転倒，負傷棄権で勝利した。**
**1970／12，於バンコク（山陽新聞社提供）**

## ③『近藤個人戦で意地』

〔第８回，バンコク。1978（昭和53）年12月９日～20日〕

＜山陽新聞，1994（平成６）年，５月21日より＞

バドミントンの日本女子は５月の世界女子選手権（ユーバー杯）団体優勝を飾り，金メダルの期待がかかっていた。

岡山山陽女子高，日女体大ともに先輩の湯木博江（カワサキ）にその前年の全日本総合シングルスで勝ち，新エースとして注目された近藤小織（同）＝岡山市西大寺東，38歳，現河本＝にとってはほろ苦い思い出の大会となった。

日本の前に立ちふさがったのが初登場の中国。ユーバー杯には参加していなかったが，中国は世界バドミントン連盟のチャンピオンチーム。公式戦で初の対戦となった日本対中国の準決勝は実力世界一決定戦の感さえあった。湯木が勝った後のシングルスで登場した近藤は，劉に第１ゲーム０－11の大敗。続く第２ゲームは６点返すのがやっとだった。続く，ダブルス陣も敗れ３位どまりに。

体調を崩していたとはいえ「試合の前から中国にのまれていた」と振り返る。「気合を入れ直そう」と宿舎の美容院で髪を切り臨んだ個人シングルスでは，得意のジャンプショットで奮戦し，銅メダルを獲得。日本勢が軒並み敗退する中，ただ一人意地を見せた。

付記

岡山県バドミントン関係者が，アジア大会の代表に選ばれて活躍したのは，前記記事のように４人であった。４人の外にも国信祝二選手（西大寺高～関西大）と，高塚淳子選手（山陽女高～熊本女子大）の２人が候補に選ばれた。しかし，いずれもアキレス腱を断裂し，残念ながら本大会は不参加となった。

1996（平成８）年３月　編纂委員会

＝国際大会記事＝

…バドミントン世界女子選手権　“世界一”奪回の原動力に見せた！岡山県人の心意気…

## 『山陽女子高出身の湯木・近藤両選手 二人とも頑張り屋「よくやった」と地元民大喜び』

＜岡山日日新聞　夕刊　1979（昭和54）年５月24日より＞

女子バドミントンの“オリンピック”第８回世界女子選手権（ユーバー杯）がこの程ニュージーランドで行われ，日本は見事，４回目の優勝を飾ったが，６人のメンバーのうち２人は岡山県出身。ベテランで主将を努めた湯木博恵選手と，日本の若きエース・近藤選手で，いずれも山陽女子高ＯＧ。日本バドミントン界悲願のユーバー杯奪回だっただけに，関係者や岡山県民の感激は大きく，両選手の地元でも喜びの輪が広がっている。

ユーバー杯は女子の国別対抗団体選手権の通称で，３年に１回開かれている。バドミントンはオリンピック種目に加えられていないだけに，この大会が事実上の“オリンピック”で，最も権威のある大会。日本は第４回大会から参加。これまでの優勝はアメリカ３回，日本３回，インドネシア１回で，今大会の優勝で日本は４回目の世界新記録をつくった。

大会は13日からニュージーランドで開かれ，日本からは湯木選手（カワサキラケット）と近藤選手（同）ら６人が出場。20日の決勝戦で前回優勝のインドネシアと対戦，シングルス２－１，ダブルス３－１の５－２で勝ち，３年ぶりに悲願のユーバー杯を持ち帰った。

この大会で主将を努めた湯木選手は決勝戦で敗れるなどやや競技面では調子を落としたが，国際経験豊富なベテランらしく，各選手に適切なアドバイスをしたり，精神面の動揺を抑えるなど主将として大活躍。また，近藤選手は出発前，過労から病院で診察を受けるなど心配されたが，持ち前のファイトで，決勝では見事シングルスに快勝，日本の優勝に大きく貢献した。

湯木選手は36年，山陽女子中学に入学と同時にバドミントンを始め，３年からメキメキ上達。高校時代は41年のインターハイで優勝。その後日本女子体育大に進んで以来，今日までずっと日本のトップに立ちつづけ，“女王・湯木”と呼ばれるほど。昨年の全英選手権（個人戦）大会では４回目の優勝を飾り，イギリスのマーガレット王女から返還の必要のない名誉ある“永久杯”を受けている。高校時代，水泳の木原光知子＝現在テレビタレント＝とは同級生。

また，近藤選手は上南中から山陽女子高入学。「一番強いクラブ」ということでバドミントンを選び，２年３年とインターハイ上位入賞。先輩の湯木選手を頼って同じ日本女子体育大に進み，メキメキ腕を上げ，昨年12月の全日本総合選手権では決勝で湯木選手をも破り“恩返し”をしている。この春，卒業して湯木と同じ会社に就職。高校時代は岡山市金田（西大寺地区）の実家からランニングで学校に通ったほどの根性がある。

二人の“世界一”を育てた山陽女子高バドミントン部顧問で，日本バドミントン協会理事，第６回ユーバー杯では監督を務め，優勝に導いた毛利清志先生（51）＝岡山市駅前町＝は「念願のユーバー杯を奪回してくれて感激でいっぱいです。二人とも負けん気の強い頑張り屋だが，湯木は非常にナイーブな面があり，近藤は竹を割ったようなさっぱりした女の子と，性格の面では両極端。湯木はこの大会が最後の国際舞台になるでしょう。“よくやった”とねぎらってやりたい。また，近藤はこれからの日本を背負って立つ選手として，“頑張れ”と励ましてやりたい」といっている。

〔湯木選手27日，山陽町で模範演技〕

湯木選手は27日に帰岡，実家のある山陽団地近くの高陽中で同日午後開かれる第１回の山陽町バドミントンスポーツ教室に参加，模範演技を披露する。同スポーツ教室は湯木選手の活躍を機に同町体育協会が町民の間にバドミントンを広げようと，湯木選手の歓迎を兼ねて開くもの。湯木選手の母，和子さん（50）は「ながい間，お疲れさんと言ってやります。帰ったら私の手料理でねぎらってやります」といっている。

また，近藤選手の帰岡の予定は立っていないが，実家のある岡山市金田の三軒屋町内会は，“おらが町の世界一”に大喜び。町内会ぐるみで応援し，励ましてきただけに「早く小織ちゃんに“おめでとう”といいたい」と帰岡を心待ち。母の富山小教諭，牧子さん（43）も「行く前は体調が悪かったのによく頑張ってくれました。厳しい練習に耐えたお陰です」と喜んでいる。

## 『バドミントン湯木 日本人初 全英で栄冠 …非凡な才能 人一倍努力…

＜山陽新聞「躍動岡山スポーツ半世紀」昭和40年代②　1995（平成７）年３月31日より＞

昭和44年，バドミントン個人戦では世界最高峰の全英選手権。日女体大の２年生は初出場ながらシングルス決勝に進出。第一人者の高木紀子を破り，日本人初の栄冠に輝いた。

不世出といわれるその選手が，湯木博江＝現新沼ひろ映，東京都大田区46歳。「全英の怖さも知らず，上がることはなかった。勢いで勝った」と述懐する。

“世界の湯木”の礎は，岡山山陽女子中学・高校時代，監督の毛利清志＝岡山市駅前町，67歳＝の下でつくられた。中学一年でバドミントン部に入部。当時人気競技で，湯木は胸を膨らませて練習に行ったが，待ち受けていたのは過酷なトレーニングだった。

素振り，フットワークのほか，学校近くの玉井宮の石段を上り下りし，雨が降れば体育館のコートををうさぎ跳びで10往復。「足が痛くて，しゃがむのもつらかった」と振り返る。しかし，やがて苦しさは消えた。「シャトルを打ち出したら面白くなってきた」

コートでは毛利がマンツーマンで指導した。スマッシュなどに課題を見つけては，何度も繰り返し体で覚えさせた。「何をやらせてもすぐ身につけた。負けん気も強かった。天才でかつ人一倍の努力家だった」毛利は回想する。

頭角を現すまでに，多くの時間はかからなかった。高校１年で中国大会個人シングルスなど３冠に輝くと，３年間タイトルを守り続けた。３年のインターハイ・シングルスで初優勝を飾り栄光の階段を上り始める。

進学した強豪・日女体大では，１年の時から４年生と対等に渡り合い，毎日の実戦練習では技術はもとより，試合の駆け引き，勝負勘に磨きをかけた。監督だった今井先（はじめ）＝東京都世田谷区，83歳＝は「身のこなしが素早く，先を読む力に非凡なものがあった。シングルスが良かったが，大学でダブルスの腕も上げた」と話す。

男性と変わらぬバックハンド，プレーの正確さが無類の強さを生み出した。中学から大学まで一緒にプレーした同級生の浦口（現姓大森）恵子＝甲府市国母，46歳＝は「どんな態勢からでも厳しい所へ打ち返してきた。負けた試合はほとんど見たことがない」と言う。

昭和45年の左アキレス腱切断を乗り越え，獲得したタイトル数は国内53，国際27。世界女子選手権（ユーバー杯）は44年から４回連続出場し３回優勝。全英はシングルス４回，ダブルスも１回制覇し，

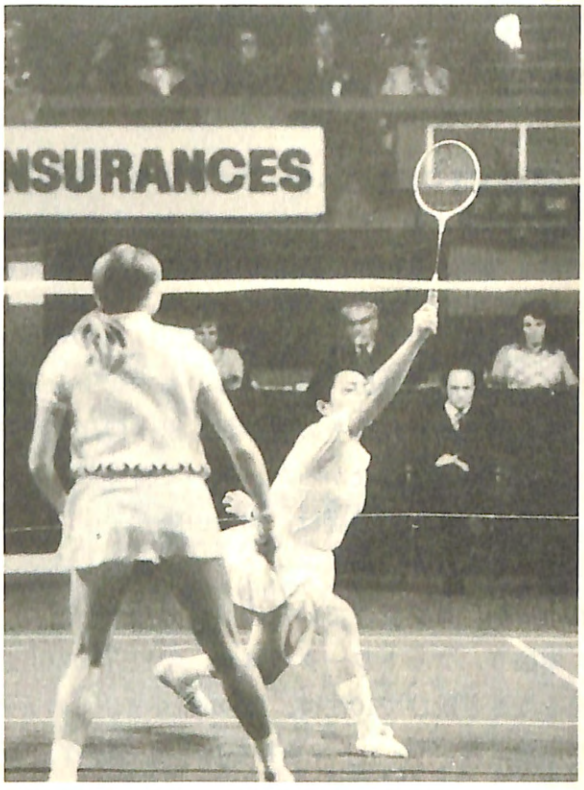
52年，マーガレット王女から日本人初の永久杯を授与された。今も二人目は出ていない。

スーパースターは32歳の時，試合中にひざを痛め引退。61年，バドミントンが取り持つ縁で歌手の新沼謙治と結婚し，第二の人生を歩み出した。

現在，母校の大学で監督として後進を指導する傍ら，休日に家庭でバドミントンを楽しむ。その表情にかつての険しさはない。湯木は言う。「バドミントンがあったから今の自分がある。バドミントンは私の人生そのもの」



第69回全英選手権大会（1969＝昭和44，ロンドン）
女子単初優勝の湯木博江選手




第74回全英選手権大会（1974＝昭和49，ロンドン）
女子単ファイナル。対ギルクス（英国）戦，翌年もこのカードを制して２連覇３回目の優勝を果たした。

## 『高水準のゲーム期待＝24日に岡山で 日中バドミントン』

### “若手中心の顔ぶれ⇨中国” 対 “世界代表で固める⇨日本”

＜山陽新聞　1984（昭和59）年９月25日より＞

第10回日中大会は24日，岡山市浦安南町の総合文化体育館で行われる。岡山では初のバドミントン国際試合。中国は世界のトップ水準の力を持ち，迎える全日本勢もランキング１～５位のトッププレーヤーがずらり。レベルの高い白熱したゲームが期待される。

## 『第10回 日中バドミントン』

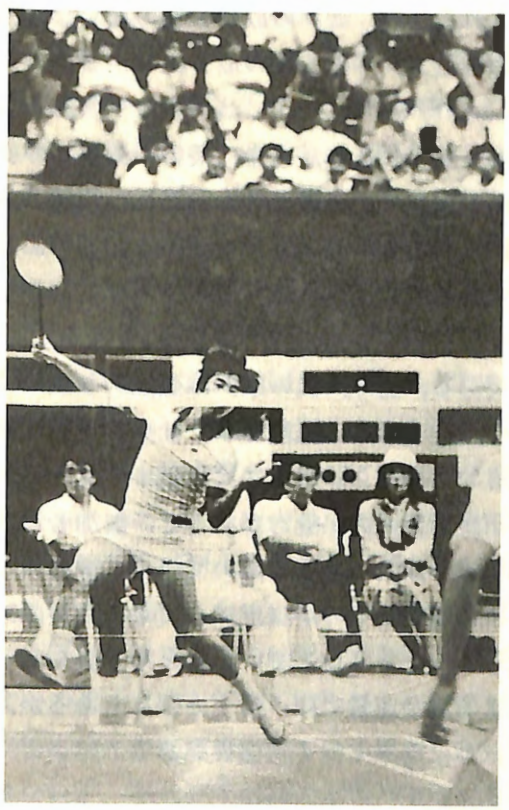
### “日本男女とも快勝！ 中国勢にミス目立つ”

＜山陽新聞　1984（昭和59）年９月26日より＞

第10回日中バドミントン競技岡山大会（山陽新聞社など主催）が24日，岡山市浦安南町の岡山総合文化体育館で開かれ，男子は４－１，女子は３－２で中国を下し，対戦成績を１勝１敗とした。

岡山初の国際試合とあって約三千人のファンが詰めかけ，激しいラリーの応酬に息をのんだ。第１戦で男女とも４－１で快勝している若手中心の中国は，この日は疲れからか全般にミスが目立った。

地元選手として注目を集めた全日本社会人シングルス５位の若林邦任（水島工高～三井造船玉野）は男子第１シングルスで中国青少年ダブルス２位の黄凱と対戦。第１ゲームは１－６と離されながら，鋭いフットワークでしぶとくつないで追いつき，13－13のセッティングから５ポイント連取。第２ゲームも０－４と苦しいスタートながら，効果的な前後の揺さぶりと，黄凱の雑なラケットさばきにも助けられて，あっさり逆転，ストレート勝ちした。



鋭いスマッシュを決める若林選手
（山陽新聞社提供）

◎男子の記録

| 日本 | | 中国 |
|---|---|---|
| 若林邦任（三井造船玉野） | 2（18－13, 15－10）0 | 黄　凱 |
| 西山博司（電電東京） | 2（9－15, 15－12, 15－3）1 | 劉慶華 |
| 松浦進治（法大） | 0（12－15, 15－17）2 | 熊国宝 |
| 宮森庄吉／井上哲章（電電東京／日体大） | 2（15－11, 15－2）0 | 謝志華／黄凱 |
| 松野修二／松浦進治（法大／法大） | 2（15－5, 15－9）0 | 何一鳴／劉慶華 |

# 第Ⅳ章　これからの課題

## 1　県協会として

### (1)全体運営について

同好の志の集まりからスタートした本県バドミントン協会も，50年の歩みと共に組織の膨張に加えて，外部団体との関係範囲の拡大と深度化が増し，協会業務の著しい増大，思うに任せない競技力向上の現状等，本会の抱える課題と問題点は多い。一方では，時代の推移と共に，社会環境の変化や生活様式の多様化等による，人の考え方や生活スタイルの変化に，世の中全般にも対応の遅れが目立っており，一本県協会だけが抱える小さな問題ではなさそうな気がする。しかし，平成17年の２巡目岡山国体の成功を願い，さらにその後の発展を願うならば，「変えよう!!変わろう!!」で，いくらかでも問題解決にチャレンジして，現状を改革しなければならない。以下に，現在抱える全般的な問題点を挙げるが，解決策については，関係各位のご理解ご協力による知恵の結集が不可欠と考えている。

①バドミントンのインフラ（基盤環境）整備

競技者，指導者の活動環境面（日常練習の場，時間，経費，指導者の存在）をみると，各人の所属する学校，勤務先ではそれぞれの次元での方針や制約があり，特にメジャーでない当競技の場合は，所属する支援体制も充分ではなく，大半が各人の自助努力に頼っているのが現状である。また，企業チームの場合は，好不況により支援の程度が大きく左右されるなど，我々の取り組みの届かない領域もあるが，地道な努力の積み重ねで，少しでも理解を得られる方向への各人の取り組みが重要である。

②優秀選手，指導者の受け皿づくり

競技者の進路の一般的なスタイルを「小一中一高一大学一就職」とした場合，最終ステップの就職時の保証が得られていない。特に大学卒男子の場合，県内の現状では皆無に等しい。この問題は，県外出身の優秀選手，指導者も含め，県内定着への大きな障害であり，流出にもつながる。受け皿の確保は，今後の活性化と競技力向上への大きな要因の一つである。

③会員の減少防止と活性化

この問題は，協会運営において頭の痛い最大のテーマである。登録人員の減少は全国的な傾向にあり，会員減少の要因として，趣味の多様化，家庭の少子化，楽を求める風潮等々，社会的背景に起因していることを話題にされることが多い。もしそれが全てであるなら，我々には打つ手が見当たらない。一時期，勝てない県大会よりも，勝てる確率の高い市民大会の方が魅力があると，参加者増加の一途をたどった市民大会も，最近では，これまた全国的に減少傾向にあると聞いている。潜在的な競技人口は決して少なくないはずなので，協会運営のどこに問題があるのか謙虚に分析し，会員の減少防止に取り組むことが必要である。一方，我々の取り組みがマンネリ化していることも事実である。勤務と家庭の時間を割いた，役員のボランティア活動による協会運営には，自ずと限界もあるが，全役員の一層の理解と協力がなければ，本会の活動も尻すぼみになって行く可能性がある。

④全県下的組織（地域支部制）の構築

現在の県協会組織は，中体連，高体連，実連，家婦連，教職連等の団体を傘下に構成されており，郡，市町村といった地域的な面を包括する組織体制がとられていない。そのため，例えば中央団体か

らのものも含めた，バドミントン情報にしても全県下的には流れないし，特に，競技の正しい理解と振興に不可欠な，競技規則や審判規則等の基本的ルールの効率的な周知徹底もできない。地域を組み入れた支部制が構築できたならば，組織の維持拡大，競技愛好者の増加，ひいては少年期の選手育成，優秀選手の発掘範囲の広範化等，本県バドミントン界の飛躍に計り知れない可能性を秘めているような気がする。しかし，支部制の実現には既存の地域団体との調整が必要であり，両者にメリットが伴わなければならない。或る市の協会幹部から，「現在さしたる障害もなく成り立っている。新たな登録料の発生も考えられるし，県協会に属するメリットには何があるか」と，質問されたことがある。この質問は，おそらく，多くの市町村協会の方々が抱く素朴な思いであろうと想像できる。本会とは次元も任務も異なった部分も有しており，しかも“現在何も困っていることはない”と自認している地域団体（協会）とは，腹を割った意志の疎通と調整が必要であり，先ずは，理解と協力の得られる一つか二つの地域協会からでも，本会の支部協会として加盟いただく方向で進めるべきかなと考えている。

⑤各種資格者の増強

現在，国内バドミントン界で資格取得が必要なものには，公認審判員資格（３種Ａ／Ｂ，２種Ａ／Ｂ，１種Ａ／Ｂ）と，公認審判員資格認定員資格（公認審判員資格認定業務を行う）に加えて，国際審判員資格（国際大会時に必要）がある。平成17年の岡山国体の運営には，多数の審判員が必要であるが，特にリハーサル大会として，前年の開催を義務づけられている，全日本社会人大会の対応には，主審として２種以上約100名，線審として３種以上約200名の確保が必要となる。今後，県国体準備室と連携した，競技役員養成計画に基づく諸事業が実施されるので，選手も含めた積極的な対応をお願いしたい。

⑥平成17年岡山国体への対応

本会にとって，今後８年以内の最大の課題は，言うまでもなく岡山国体を成功裡に乗り切ることである。成功の３条件として，“競技成績の上位入賞，円滑な競技運営，運営経費の確保”を掲げたい。そのための裏付けは，選手育成と優秀選手の確保，上級審判員資格取得者の増強と多数の競技役員の確保，多額の運営資金の確保である。これらはどれ一つとっても大変な問題で，少数の担当役員の頑張りだけではどうにもならない多くの労苦を伴う厄介な課題である。これこそ，全員が一丸で当たらなければならない課題であり，各役員においては指示を待つのではなく，自分が何をなすべきかの観点で，積極的な取り組みを是非ともお願いしたい。近い時期に，県協会通常業務の現組織（部会）とは別に，国体対応組織を編成しなければならないと考えている。とにかく，県協会挙げてのチームワークで，なんとしても乗り切らなければならない。

競技成績で上位入賞を果たし，本県の天皇杯得点に寄与することは，本会に課せられた理屈を抜きにした宿命であり，至上命令であると捉えている。上位入賞は，成功を計る最も判りやすい物差しである上，それまで耐えた苦労も，溜まった不満不平も，一度に吹っ飛ばしてくれる特効薬にもなるので，是非とも実現したい。しかし一方で，近年の国体先催県の中には，上位入賞実現のため国体直前における県外選手獲得の結果，長年国体を目標に取り組んできた，県内の次代を担う選手の落胆，それまでの進め方への不満の噴出等々に起因した，役員間の足の引っ張り合い等，たとえ勝っても，国体以後に種々の問題を生じている県が少なくないと聞いている。今度の岡山国体は，勝つに越したことはないが，平成17年以降の本県バドミントン界の再飛躍の基盤となる，まさに広い意味でのバドミントンインフラの再構築を伴うことが，本会にとって真の意味の成功を位置づけている。

**1997（平成９）年９月　文責　岡山県協会理事長　藤原　航**

## ⑵部会の運営について

1988（昭和63）年度に部会制を編成した。当時，県協会業務の担当が必ずしも明確になっておらず，役員の間に“誰かがやるだろう”という空気があり，業務が特定役員に集中する傾向があった。また，各種の情報も特定役員に集中してしまい，知る者と知らない者とが，共存して運営していることに起因した弊害が顕著になっていた。これを是正し，役員全員に業務を分担していただくと共に，業務の遂行を通して，全役員が協会運営のために必要な作業内容を理解し，それをこなすノウハウの習得に合わせて，協会運営への参画意識を高揚していただくことなどが目的であった。

まず，通常の協会業務を分野毎に区分し，それぞれへの役員配置により，全役員の役務と責任分担を明確にしようとの試みでスタートした。部会制を敷いて８年が経ち，いくつかの問題点もあるが，一応初期の目的は達しつつあると言える。これらの各部会が，いかに効率的に，より高度に機能するかが協会運営の成否を握っている。部会運営の今後の課題は，各部会の担当業務内容を所属部会の全員が掌握し，部会長のリードのもと，漏れなく遅滞なく処理することを目指していただきたい。また，各部会内においても業務分担を明確にし，特定者への業務の編重を極力避けて欲しい。ボランティア活動である以上，できるだけ均等な分担（奉仕）を指向しなければ息切れがしてくる。さらに重要なことは，繰り返される業務については，やらなければならない作業項目と，その時期が一目で漏れなく判るように徹底してマニュアル化し，次回以降の作業において有効に利用され，大いに楽ができるように図っていただきたい。

そして，特に今後の事務処理作業においては，いわゆるオフィス効率化ツールと言われているワープロ，表計算等の利用技術を有することは重要であり，避けて通れなくなる。こうした省力化，効率化への努力は，今後とも増え続けるであろう協会運営業務に対応するための必須条件と言える。

もう一つの荒っぽいやり方としては，対象が本会内部に限られるが，可能な部分は徹底した手抜きにより，業務少量化を指向する方法である。すなわち，お互いがより完璧を求めず，不具合や不備を容認し合う方法である。どちらを選択するかは，その時々の役員の総意に任せることとする。いずれにしても，それぞれの勤務先での業務に厳しく精励している役員の，ボランティア活動を基盤に成り立っている協会運営であるから，今後に何らかの工夫が要ることだけは確かである。

部会運営に関する全般的な課題について挙げてきたが，個々の部会も固有の課題を抱えている。各部会の課題については，前進を目指して努力されているところでもあり，本会“創立50周年”を記念する本誌上で述べることは控えたい。各部会内の課題と問題点については，それぞれの部会において優先順位付けのもと，部会長を中心に英知を出し合い，着実に階段を上って行っていただきたい。

**1997（平成９）年９月　文責　岡山県協会理事長　藤原　航**

# 2　連盟として

## (1)中学校体育連盟専門部

中体連バドミントン部が抱えるこれからの課題として，次の五つがあると考えられる。

①組織の整備と充実

他の専門部に比べて，当部の組織はやゝ貧弱であり，充分に機能しているとはいえない。限られた数人があらゆる事に携わっており，個々の負担が非常に大きくなっている。組織の内部を，総務・選手強化・競技・審判の４委員会に分割し，役員配置の適材適所を図るべきである。そして各委員会ごとに前向きに取り組み，横の連絡を密にして効率よく活動したいものである。

②社会体育クラブとの連携

現在，ジュニア層の競技力向上のために活動している。社会体育（地域クラブ）の存在は大きい。この地域クラブとの連携をどのようにしていくかは，かなり以前からの課題であったが，現在も解決していない。近年，小学生時代から社会体育で経験を積んだ生徒が増加しており，中体連の大会でも上位を占めるのは，何らかの形でこの地域クラブに関わっている生徒たちである。事実，中学校から部活動を始めた者に比べると，テクニック・キャリアともに差が大きく，中学校の部活動の中で共存していくことは，お互いの人間関係を含めて，さまざまな問題があるように思われる。さらに，それらをまとめて指導していく顧問にとっても，指導の困難さは拭いきれないようである。社会体育の指導者と，学校の部活動での指導者の方針が対立すれば，生徒は混乱し，大きなマイナスを招く。従って，両者でよく話し合い，お互いにコミュニケーションをとっていくことが大切であろう。社会体育クラブと学校の部活動が，お互いの立場を理解し合って，車の両輪のように協力していくことが，望ましい優秀な選手の育成につながるものと信じている。

③小学生部・高体連との連携

中体連も含めてそれぞれの団体が，講習会・指導者講習会・強化練習会等を行っているが，この行事を，１年に１回だけでもタイアップして，互いに協力・参加したいものである。実現すれば縦の連携が築かれ，長い目で見た選手の育成に繋がるように思う。また，中学校の部活動指導者の立場にある者にとっても視野が広がり，いろいろな観点から指導の参考になると思う。

④部活動の新設増加と顧問（指導者）の開拓

他の専門部に比べて，バドミントン部のある学校が少ない。また，指導する顧問も，学生時代に携わった専門家が理想であるが，現実には「校務分掌なのでやむを得ず…」的な顧問も多い。年毎に替わる学校もあれば，安全面確保だけに終わっている顧問もいる。未経験でもよいから，情熱をもって取り組む人材がぜひ欲しい。そして，競技力向上だけでなく，学校教育としての部活動に必要な，礼儀やマナー等の精神面の指導に，積極的に頑張る顧問が一人でも増えれば，専門部全体に活気が溢れ，他の学校の励みにもなる。選手の育成だけでなく，指導者の発掘にも力を注ぐ必要がある。また，熱意に溢れた指導者が，部活動のない学校に転勤したとき，部を新設する意欲にも期待したい。

⑤競技力向上の機会の精選

近年は，中体連主催以外の，県内外の各種オープン大会や合同練習会等が，増加傾向の時代になっている。このようなチャンスの期日や内容を把握し，積極的な参加で経験を積ませることは，選手のレベルアップの大切な条件である。しかし，指導者の経済的負担の増大や，選手自身がどの目標に集

中するべきかなど，意識の問題をも考慮して，参加のチャンスを精選し，時代に対応する必要があると思われる。

1996（平成８）年９月　文責　専門部委員長　中須賀祥雅

### ⑵高等学校体育連盟専門部

昭和24年度から発足した本県高体連バドミントン部は急速な発展を挙げ，全国レベルの多数の選手を輩出してきた。また，底辺の拡大・組織の拡充を目指し，普及活動と分業組織の確立にも努力してきた。しかし，昭和50年代から選手の戦績が振るわなくなり，全国とのレベル差を痛感させられる低迷状態が続き始めた。そこで，当専門部としては，すでに取り組みつつあった，全国レベルを目指しての競技力向上対策等，五つの課題を掲げて努力目標としたい。

①ジュニア層の育成～一環指導へ

従来の高校部活動では，中学時代から引き続いて活動する者と，高校から新たに始める者が同居していたが，その中から“センスと根性”の優れた者が対外的にも活躍してきた。現在では小学生時代から，地域や学校で相当な競技力を身につけて中学・高校と活動を続け，県内大会で上位を占める選手たちが多くなった。この一貫して頑張っている選手たちに対し，小・中・高の指導者と，地域クラブの指導者の連携による，一環指導が望まれるのである。さらに，体力的・精神的ケアーを含む，コーチングスタッフ（監督・コーチ・スポーツドクター等）が，日常活動に関われば理想的である。可能なことから取り組みを始め，徐々に地固めをしていきたい。

また，高校生が学校部活動に加入せず，社会体育の地域クラブ等で活動している場合，高体連主催大会参加の可否や，その選手の所属問題等も，今後起こり得る解決の必要な課題と言えよう。

②指導者の育成

部活動担当顧問であっても，専門知識のない人も多く，知識があっても，毎日のように練習にでられないこともしばしばである。そこで，先ず専門部に積極的に関わるように勧め，運営経験を重ねながら，有識者と交流を深めるように促したい。一方，県協会主催の「指導者講習会」等に積極的に参加するよう呼びかけることも，専門部の責務である。さらに，“スポーツ指導員資格取得”のチャンスである，日体協や日本協会等が主催する全国レベルの「指導者養成講習会」にも，ぜひ有志を派遣したい。そして資格取得者には，全国大会視察などの機会も与え，県内・外選手の競技力分析のレポート等による，伝達講習会にまでつながれば，指導者の育成には極めて効率的と考えられる。

③意識の改革

現代の生徒意識は，やるスポーツから見るスポーツに変わり，運動部に加入する生徒は，年毎に減少している。教師側は，やらせるスポーツから自らするスポーツに意識を変えなければならない。つまり，生徒と指導者の間には，“時代のズレ”が生じている…。生徒に，いかに興味を持たせ，楽しさを教えるかが課題である。専門部としても，目標意識を持たせる方法の一つとして，表彰規定（専門部優秀選手賞）を設けて平成７年度からスタートした。

④強化事業に新風を…。

県内だけの強化事業では“井の中の蛙”になってしまうので，夏期のインターハイ代表強化とジュニア強化は，県外との交流試合（遠征・招待等）を行い，冬季強化は，県内トップ選手を中心に専門部独自で実施してきた。この取り組みは今後とも継続し，密度の濃い内容を目指したい。

⑤組織の拡充

前委員長時代の組織における「総務・競技・強化・審判・会計」等の役務分担は，人材不足で役員が固定化され，マンネリ化の状況でせっかくの趣旨が機能していない。今後は，組織の細分化と役務内容を明確にし，縦横の連携を密にした協力体制の中で，若手の育成を目指さなければならない。

**1996（平成８）年10月　文責　専門部委員長　石田賢一**

### ⑶津山工業高等専門学校

部の中の問題と部活動を取り巻く環境の問題がある。それらを列挙して今後の課題としたい。

①活動時間の減少：土曜休日で平日の授業終了が16時半となり，寮の夕食時間も限られ，部活動の時間があまりとれない。遠距離からの通学生も多く，活動時間の減少が避けられない。

②学校内の環境変化：昨今の学校変革の波で教職員の校務が増加した。学科改組，カリキュラム改定，専攻科設置，広報活動，地域社会への貢献，研究活動の推進などに費やされる時間が増加している。

③部員数の減少と意欲の減退：部活動をしない学生が増加した。また，部員であっても私的な都合を優先する者が増している。

④顧問の能力不足：活動内容に関する指導が不足すると，学生の好みに沿った活動に陥り易く，長期の計画的活動が続かない。

これらの問題は高専共通に抱える問題でもあるが，一方，高専のバドミントンレベルは，一部の者を除いては余り高くはない，基礎体力と基礎技術の養成を目的にした継続的活動で，入賞を勝ち取ることは決して夢ではなく，さらにレベルの向上にもつながる。この辺りに問題解決の糸口が存在すると思われ，顧問３人と部の課題である。

**1997（平成９）年３月　文責　津山高専顧問　西山宗弘**

### ⑷学生連盟

#### ①岡山大学

岡山大学バドミントン部は，あと数年で創部50周年を迎えることになっている。この好機に，近年の各大会における戦績をみると，個人戦で上位に進出する者がいるけれども少数であり，部全体のレベルアップの必要を痛感させられるのが現状である。中四国地区の各大会においても，私立大学勢の台頭が目覚ましく，厳しい状況下ではあるがわが部を発展させるための課題を述べてみたい。

①練習方法の工夫と意識の改革

試合で好成績を挙げるためには，各個人がそれぞれの個性を生かし，何らかの特徴をもつことが必要と思われる。つまり，“これだけは誰にも負けない”という自信，すなわち“強み”をもつことである。他大学の選手との対戦で，「自分の特徴を生かして頑張るぞ…」という自信をもって強気で臨むことは，試合に勝つための必須条件となる。そのためには，基礎体力や基本技術を充分身につけねばならない。その上で，多くの実戦的練習の積み重ねが必要である。幸いにして岡大では，練習コートは常時確保できる上，ウエイトトレーニングの機器なども充実しているので，これらを活用しない手はないだろう。ウエイトトレーニング等を取り入れながら，より科学的な練習法を追求していかなけれ

ばならない。学生生活の中での部活動のため，時間的な制約は止むを得ないところではあるが，限られた時間内での，質の高い効果的な練習方法を工夫することが，今の我が部に求められているのである。またこの際，部員各自が高い目的意識をもって練習に取り組むことの重要性を再認識するべきである。

②内容の充実した試合経験を増す

我が部にとって，もう一つ不可欠な課題は，より多くの“内容の充実した試合経験”の積み重ねである。現在も，香川・広島・鳥取等の各大学との定期戦の他に，いくつかの大学とも練習試合を行っているが，今後さらに，県内外，国公私立を問わず，できるかぎり有意義な交流を増やしたいと思う。

一方，学連主催大会との関係で，県協会主催大会への参加は新人戦が主体となっているが，ハイレベルの社会人と対戦することは，レベルアップに極めて有効であることを考えると，せっかくのチャンスを大いに活用する意味で，各種県大会に積極的に参加するべきであろう。

③まとめ

上記，①・②のこれからの課題として挙げたものは，極めて当然のこととも言える。そこで今後，

（a）従来からの取り組み内容のグレードアップを図る。

（b）新たに取り組みを始めるべきことがらをよく検討し，より効果的なものから実施に踏み切る。

などによって，岡大バドミントン部のレベルアップにつなげていきたいものである。

これらの実現に当たって，各部員のより深い認識が前提条件となることは言うまでもない。

**1997（平成９）年３月　文責　岡山大学　岡本真一**

**②山陽学園短期大学**

わが部のすばらしい活躍の跡については，“歩み・戦績”の項に記載されているとおりである。しかし近年は，残念ながら戦績の振るわない年が多く，低迷のそしりを免れない。バドミントンに取り組む大学，特に短大が次第に増えてきている反面，高校の部員数は減る傾向にあると聞く。このような現状のなかではあるが，先輩の築いた伝統を守りながら，より良い成果を挙げたい…。

不振の原因を探りながら「これからの課題」を次のようにまとめてみた。

①部員の勧誘とチームづくり

現実は厳しく，時には初心者を含めても団体戦メンバーに事欠く年さえおこる。すばらしい成果の挙がったときには，高校時代の“キャリアと実績の豊富な選手が在学”という裏付けがあり，特に短大ではその傾向が強い。優秀な経験者が入ってくれることを願いながら，少しでもやる気のある者を勧誘し，たとえ勝てなくても毎年参加の伝統だけは守りたい。あわよくば，経験者と初心者別の２チームをつくり，経験者が初心者の相手をする日を設けながら，レギュラーの強化を図りたい。

②取り組みの姿勢を正す

短大は２年間ですべてが終わる。より早く学生生活に馴れ，部活動を頑張らねばならない。もう少し学生として頑張りたい気持ちがあっても，アッと言う間に卒業が迫ってくるのである。２年間，いや，１年半が勝負であることを自覚し，より集中した取り組みを繰り返さなければならない。

③練習量を増やし，濃い内容にする

短期決戦の実情から考えると，当然，練習量を増やし，より効果的な練習をすることが必須条件となる。第一に，１週の練習日数と１回の練習時間を増やし，第二には，同じ学園内の高校チームや経験者の出身校など，他チームとの合同練習を年間計画に組み込んで実施するべきである。

④指導者の求め方を工夫する

何といっても指導者が欲しい。学内で無理なら外部からのコーチは得られないか…。これは，長年の願いであったが実現はむずかしい。すぐにでもできることとして，③の他チームとの交流のときなどに，母校の顧問やコーチに練習計画，練習内容のアドバイスを受けることから始めたい。

⑤役員のリーダーシップと協力体制づくり

中学・高校までは指導者に恵まれていた経験者が多いが，短大での部活動は，ほとんど学生の自主性にまかされる。そこで，キャプテンを中心とした役員のリーダーシップは，男子のいないわが部では特に重要である。さらに，ミーティングでコミュニケーションをはかり，部員ひとり一人が役員の意識をもって，協力しながらチームワークを固める必要がある。

上記①～⑤までの外にも，部活動と経済面のからみや，試合での体力，精神力等の問題などもある。これらも含めてミーティングを開き，“先輩の戦績の回顧”のみに終わることのないよう，的を絞って話し合い，できることから実現に移したい。

**1997（平成９）年３月　文責　山陽学園短大ＯＧ　長門弘美，重光香織，佐藤美和**

## ⑸実業団連盟（含，社会人）

各人の勤務先を活動のベースとして設立，発展してきたのが実業団連盟である。昭和30年代から50年代にかけては，産業の著しい発展に伴い，我が県実連も加盟チーム，人口ともに大きく増加した。これは言い換えれば，全国的にもそうであるように，この時代は企業の業容規模も膨らむ一方で，所得倍増計画のもと，企業も従業員も最も活気ある頃であり，趣味を求めて楽しむ人口が増えた時期でもあった。バドミントン競技人口の増加も，この時代が最も顕著であったと回顧する。当時に比べて，ここ数年の県実連の状況はどうであろうか。チーム数，競技人口とも明らかに減少し，少数化の右肩下がりが続いている。

30年代から50年代を発展期と称するならば，現在は下降期であると認めざるを得ない。かって，発展期に勤務先から受けていたような，勤怠面，経費面での活動支援も，現在ではなかなか厳しいものがある。企業においては，ひたすら，業績回復に向けて必死に取り組んでいる厳しい状況下でもあり，とても厚生福利面，とりわけクラブ活動に対しては，以前のような理解と支援が期待できるような状況ではない。このような厳しい状況が，まだ当分は続くであろうと言われているこの時期に，将来に向けての連盟の発展を計る物差しとして何を用いれば良いのかについて，論議と合意が必要であると考えている。企業におけるスポーツ活動は，企業の好不況の影響をもろに受ける。今後は企業間においてもますます競争が激化し，そこに勤める我々従業員の環境も，業務効率化，生産性向上を旗印にますます合理化，少数化に向かうのは必至である。このような状況下で，勤務と家庭と競技活動を，いかに成り立たせばよいのかといった問題に，必ず突き当たる時が来るものと考える。

理事長の立場でこのようなことを言うのは，非常に不謹慎だとお叱りを受けるかも知れないが，現代の世相，ものの考え方，生活様式の変化，少子化，等々，今後のバドミントン界が，右肩上がりに転じさせる要因としては，何があるのかを見出すのに苦労する。実連の状況は，社会人一般の状況と同じであるとして差し支えない。我々の活動は，勤務先の好不況に左右される宿命にあり，我々個人の力のおよばないものがある。好景気の神風が吹けば別であるが，ここ当分は下降の傾向が避けられない状況だと覚悟している。

しかし，そうだとしても，ただ手をこまねいている訳にはいかない。これは，一実連の問題のみならず，県バドミントン協会そのものの問題ともオーバーラップしている。一連盟内で評価するのではなく，トータルとして競技人口減をくい止め，あわよくば，人口増を目指せる策を考えなければならない。

そこで，“県実連の今後の課題は県協会の今後の課題”でもあり，実連の役割（受け持ち）を現在の枠から広げ，いわゆる社会人連盟的な（各連盟間を跨がる事業，あるいはどの連盟にも属さないような，諸々の事業をも担当する）集団としての役割も担ってみては如何だろうか。このことは，一実連の生き残り策のみならず，運命共同体である県協会の活性化をも視野に入れたもので，非常に重要だと考えている。

具体的に言えば，県バドミントン協会直轄の大会（春季，国体予選，社会人／中国総合予選，秋季，県総合選抜，新人の各大会）を担当するということであるが，これにとどまらず，工夫とアイディアを結集して，先ずは何としても，大会参加者増を目指す策を実行することである。例えば，小学生親子のペアー大会，ミックス大会の新設（あるいは既存大会への組み入れ）など，従来の大会スタイルを見直し，小学生やその父兄，地域クラブでの活動の域を出ない愛好者等，いわゆる素人愛好者を如何に抱き込めるかに，すべてがかかっているような気がする。これらの人達に，“出場してみようか”と思われるような，魅力ある大会とはどのようなものなのか，役員各位のアイディアを結集したい。こうした大会が創設できなければ，県バドミントン協会の将来は暗いといっても過言ではないであろう。

県協会と県実連の両理事長を兼務している筆者には，「県実連＝県バドミントン協会」であり，県実連に限定した“今後の課題”を述べるのは困難である。県バドミントン協会の活力ある存続を，如何に図ればよいかの悩みが頭から離れず，“両者一体の今後の課題”になってしまったことをご容赦願いたい。特に県実連の役員諸氏には，県協会の運営その他においても，中心的な役割を担っていただいている人が多い。勤務先の業務に精励する傍らでのボランティア活動であり，多くの制約があることも承知の上で，本県バドミントン界の発展と，平成17年岡山国体の成功のために，是非ともお力添えをお願いしたい。

**1998（平成10）年３月　文責　実業団連盟　理事長　藤原　航**

### ⑹教職員連盟

わが連盟の歴史は「県教職員連盟の歩み」の項に見られるように，過去に輝かしい栄光の跡がある。しかし，近年は残念ながら低迷期と言わざるを得ない。主な現状を分析すると次の４項目に集約され，これら各項目の打開策を設定して実現することが，わが連盟の“これからの課題”と言える。

①連盟主催の県教職員大会への参加者が減少傾向にある。

②最近の県協会が主催する各種県大会への，わが連盟会員の積極的な参加がみられない。平成８年度の参加状況は，県リーグ＝１チーム（男子２部）。秋季大会＝複１組。総合＝複２組のみである。

③中国教職員選手権大会での優勝数が極めて少ない（６年間×13種目中，わずか３回のみ）。

④全日本教職員選手権大会の入賞者がなくなった。

上記４項目のうち，③と④の巻き返しを図るには，順序として，先ず①と②に取り組んで地固めをしなければならないが，各項目毎に，次のような打開策が考えられる。

①連盟主催の県大会への参加者増と，支部制の組織化を目指して。

▷県大会を広く宣伝して，競技人口（愛好者）の増加を図らねばならない。現在は，年当初に年間スケジュールを全県下の職場に配布し，その後，登録者勤務の職場に，大会毎の開催要項を送付（岡山・倉敷等は，公共郵送機関を利用して全小・中学校に配布）している。但し，経費節約のため，無登録関係の職場には送付していない。

▷連盟に支部制を敷き，全県的組織に拡充すれば，教職員の利を活かして岡山・倉敷以外の公共郵送機関も利用できる。また，支部制が実現すれば，郵送料の節約と，各支部でのロコミ（呼びかけ）による参加者が期待できるように思う。

▷支部制ができれば，各地区で体育館を確保し，その地区で県大会が開催できる。さらに，運営の準備等にも関係支部が関わり，意識の高揚や宣伝効果も期待できる。

▷連盟主催の定期的県大会（年間３回＝県教職員連盟の歩み参照）については，「楽しかった，また次回も参加したい…」と思われるように，一層の工夫をしたいと思う。山口県のように，校種別の大会設定も一考の余地があるだろう。

▷会期についても，中学・高校の定期考査や両連盟の行事を避けるなど，さらに配慮して参加者の固定化と減少化にブレーキをかけねばならない。

②県協会主催大会への積極的参加を目指して。

参加料を納めても勝ち進めない…。参加すれば１日つぶれる…。等々の意識を，“県大会への積極的な参加は競技力向上の第１歩である”の意識に切り替え，連盟の中枢である役員が参加の模範を示しながら，積極的に呼びかけるなど，参加の輪を広げる努力をしなければならない。

③中国教職員選手権大会の優勝を目指して。

県協会主催大会への積極的参加の外に，競技力向上の選手強化もぜひ取り組みたい課題であるが，職場のバラツキや連盟予算の関係等で思案中である。しかし，必要経費は受益者負担とし，現在の定期合同練習会（有志の集まり）等の質を高めることなどは，早速に始められることであろう。

③が実現すれば“やる気”が高まり，④の全日本教職員選手権大会入賞の足掛かりにもなる。

いずれにしても全役員の知恵を結集し，わが連盟の重要な責務の一つが，次代を担う青少年の育成であることを再認識しながら，“理論よりも先ず実践”で手近な課題から実行に移したいと思う。

**1997（平成９）年１月　文責　県教職員連盟理事長　平島秀典**

### ⑺家庭婦人連盟

岡山県家庭婦人連盟は，1996（平成８）年４月に，その第１歩を踏み出したばかりのビギナー組織である。連盟化までの15年間，部会としての経験があるとは言え，大きな行事や対外的な事柄については，県協会に依存するところが多かったので，他の連盟並に成長するための課題は山積されていると言える。ここでは当面の課題をいくつか挙げて，連盟発展の足がかりとしたい。

①意識の高揚と態勢づくり

先ず第一は，会員ひとり一人に，連盟の運営に対する意識を高めてもらうことである。部会当時，限られた数名の役員で運営に携わっていたこともあり，県協会を頼る部分が多く，会員全体の，運営に対する意識が希薄であったように思われる。これからは，“連盟会員としての自覚”をもち，熱意と実践によって，連盟の運営がスムーズに展開できるような態勢づくりが望まれる。

②組織の強化

連盟の発展にはそれなりの年月を要すると思われるが，より的確な組織づくりも欠かせない大切な条件であると考えられので，次代を担う若い世代の役員を増やし，“常務理事会・理事会の若返り”を図りたいものである。また組織の内部を，総務・競技・審判等に分担して，責任を明確にすることにより，各役員のより意欲的な活動を促したい。これが成功すれば，大会運営はもとより，連盟の役員会や総会も活気の満ちたものになり，発展につながるものと信じている。

③会員の増加と対外試合の開催

現在，会員数の増加に向けて県大会を“魅力ある大会”にするよう努力しているところであるが，今後とも，各地域の家庭婦人愛好者に加入を呼びかけ，一人でも多く仲間を増やしたいと思っている。さらに，近府県の連盟に呼びかけて，“オープン大会”が開催できたら…という夢をもふくらまている。これらの目標を持つことにより，県内選手の競技力アップと，県外大会毎年連続参加の意欲向上にもつながるように思うのである。

上記３項目の具体的な展開方法については，常務理事・理事会等において討議を重ねて計画を立て，大きな３本柱がぐらつかないような，しっかりした地固めが必要である。そのためには，連盟の中枢である各役員は，一般会員以上に連盟化の自覚を固めて頑張らなければならないが，決して舵取りを誤ることのないよう，急がず焦らず徐々に実現に向けて取り組むべきであろう。

**1996（平成８）年９月　家庭婦人連盟理事長　内田絢子**

### ⑻小学生部会

近年の小学生大会への参加状況をみると，従来から存在する，各地域の小学生を対象としたクラブチームからの参加者が大勢を占めている。また，参加者のプレーぶりや，大会に付き添ってくるクラブチームの指導者や保護者の様子などから，各地域のクラブ組織は，試行錯誤を繰り返しながらも，その運営が軌道に乗りつつあるように推測できる。

小学生の段階では，先ず，バドミントンのもつ魅力に触れる機会を与え，将来，さらには生涯にわたり，「自分はバドミントンで生きていこう…」とする，いわばバドミントン人口の開拓・拡大に向けて，重点的に力を注ぐことが，われわれ小学生部会担当者の責務であると考えている。

その趣旨を踏まえて，身近に地域のクラブ組織がないことから，学校教育下のクラブ活動で取り組んでいる児童にもスポットを当てるよう努力している。1992（平成４）年から，小学生部会の年間スケジュールに“交流大会の部”を組み込み，学校教育下のクラブ活動で，バドミントンを楽しんでいる者ならば，誰でも気軽に参加できるシステムをとっている。これにより底辺拡大が図られ，年毎にその成果を上げている。

今一つ，底辺拡大と並行するべき課題は競技力の向上であり，これも小学生部会の大きな任務と考えている。特に，平成17年開催予定の「第60回岡山国体」においては，現在の小学生選手が，郷土代表選手の中心的存在になることも十分自覚している。そこで，1996（平成８）年度から，県協会指導普及部とタイアップして“バドミントン少年スポーツクラブ”を開設し，小学生段階で技術の基礎・基本を体得させ，将来的に，バドミントン競技の有力選手として，成長を願う人達へのバックアップにも取り組んでいる。

上記２本柱の“量を増し，質を高める”努力に加えて，ハイレベルの試合観戦のチャンスを与えれ

ば，小学生部会の「今後の課題」は，大きく伸展するものと信じている。

1996（平成８）年９月　文責　小学生部会長　中島英喜

### ⑼県リーグ

1993（平成５）年より，県内バドミントンの普及発展と，競技力の向上を目的としてスタートした“県リーグ”は，回を重ねるに従って参加チーム数も増加し，大会の規模も大きくなってきている。しかし，その反面では，さまざまな問題も発生しているのが現状である。

第１回大会では，他の大会とは異なる運営方法をとって，定期大会スケジュールの合間を利用し，各チーム毎に練習場を提供し合いながら，日常の勤務や授業に支障をきたさない範囲で，休日・祝日フル回転で試合を消化した。ところが，この初めての試みに，スタッフ・選手ともに戸惑いをおこし，下記のような問題が発生した。

①盛り上がりに欠け，大会らしくない。

②チーム内での日程の調整が困難なため，棄権試合が多くなる。

③試合結果の報告，特に，実行委員会から報道機関への連絡が不徹底になりやすい。

これらの問題点を解決すべく，第２回大会からは実業団連盟主催の実業団大会と同様に，すべての部（クラス）を含む，全参加チームを同一会場に集め，２日間の日程で終了する方法をとった。これによって前述の問題点は概ね解決し，第３回大会までを無事に終了することができたのである。

さらに，本リーグを軌道に乗せるため，第３回大会終了後，各チームの代表者と実行委員を対象にアンケート調査を行った。アンケートで寄せられた意見を集約すると，次のとおりである。

①規約面では，リーグ発足時に制定したものの中に，現状には即さない項目がある。

②運営面に関しては，大会らしさを演出（工夫）する必要がある。

③参加チーム数が増え，大会規模も大きくなってきたので，現行の２日間で全試合を消化することは，日程的に厳しくなってきている。

④運営が一部の委員に偏っている。

⑤参加チームの内，特に，クラブチームは「他に団体戦形式の大会がないため，県リーグを重要な大会と位置づけ，日々練習を重ねている」チームがある。しかし一方では，「団体戦は実業団大会だけで十分である」というチーム（選手）もある。

⑥男子の参加チーム数は，年々増加している反面，女子は，グループ編成や参加チーム数の確保に困難をきたしている。

等々，年月の経過と状況の変化によって，リーグ発足当時とは異なった課題が発生している。

これらの貴重な意見を常に年頭におき，これから発生するであろう問題点をも予測しながら，本大会の位置づけとあるべき姿を明確にし，さらに“魅力ある県リーグ”を目指して，最大限の努力をしなければならないと思う。現時点では具体策は明確化されていないが，当初の目的である「県内バドミントン競技の普及発展と，競技力の向上をはかる」ことを実現するには，日本リーグのように，県内各地での同時開催も必要なことの一つではないかと考えている。

われわれ運営委員会・実行委員会のメンバーは，より前向きなアイディアを求め合い，各グループ代表からの意見を尊重しながら取り組まねばならない。熱意をもって検討を重ねれば，必ず前進するものと信じている。

1997（平成９）年12月　文責　県リーグ実行委員長　竺原博文

# 岡山県バドミントン協会役員（平成８～９年度）



岡山県バドミントン協会総会1997(平成９)年３月22日 於桃花苑

理事 庄盛龍剛
常務理事 石田賢一
常務理事 中島英喜
常務理事 中須賀祥雅
理事 佐藤忠裕
理事 佐々木正邦
常務理事 山本清
理事 藤井久美
理事 藤井一男
理事 田中泰弘
理事 岡本真一

理事 松岡純子
常務理事 松本哲也
常務理事 平島秀典
常務理事 藤原道弘
常務理事 小田和文
副理事長 中山睦雄
常務理事 朝霧晴夫
常務理事 柴田憲
常務理事 内田絢子
理事 佐藤民子

参与 瀬戸勝
参与 柳本堯敏
参与 熊沢凡夫
副会長 三吉肇
副会長 片山義久
会長 石田祥史
副会長 岡崎彬
副会長 毛利清志
顧問 森口隆彦
理事長 藤原航
副理事長 吉原俊治

# 第２代名誉会長と第６代会長の就任

平成９年度の県協会定期総会・役員改選に当たって，主な役員が次のように選任された。

**第２代名誉会長**：**石田祥史＝新任**（昭和53年度，第５代会長就任以来20年間経過…）
**第６代会長**　　：**岡﨑　彬＝新任**（平成８年度，副会長就任以来２年間経過…）
**第６代理事長**　：**藤原　航＝留任**（昭和63年度，第６代理事長就任以来10年間経過…）

1998(平成10)年３月28日
於桃花苑



**第２代名誉会長**
**石田祥史**

**第６代会長**
**岡﨑　彬**

**主な新役員**



**柳本副会長　瀬戸参与　毛利副会長　片山副会長　石田名誉会長　岡﨑会長　川上顧問　橋本参与　熊沢参与**



**藤原理事長の報告**

# 第Ⅴ章　県協会資料

## 1　年表

1946（昭和21）　11月２日，日本バドミントン協会設立

1947（昭和22）　11月，岡山県にバドミントン競技導入，伝達講習会開催（天満屋葦川会館）

1948（昭和23）　９月，西大寺・岡山・倉敷等で講習会開催（日本協会理事長・全日本選手権者）

12月５日，第１回県大会開催（岡山第一女子高校＝現岡山操山高校）

**12月11日，岡山県バドミントン協会設立**

**岡山県協会役員選出：初代会長＝田中弘道・初代理事長＝林宏太郎就任**

12月，日本バドミントン協会に岡山県支部協会の登録申請

1949（昭和24）　**岡山県高体連専門部設立：初代部長＝福守　茂・初代委員長＝永井　正就任**

初の国体県予選会開催（第４回東京国体）

第４回東京国体にバドミントン（オープン競技）初参加，岡山県フル出場

1950（昭和25）　**岡山県協会役員改選：２代会長＝欠員，２代理事長＝斎藤　實就任**

全日本学生連盟設立総会参画・第１回全日本学生選手権大会参加＝岡山大学

第５回愛知国体（正式得点競技種目）：☆天皇杯総合７位，皇后杯総合５位

1951（昭和26）　１月，第１回関西選手権大会（第２回より西日本選手権）参加：☆11種目に優勝

第２回全国高等学校選手権大会（インターハイ）に男女とも初参加

第６回広島国体：☆天皇杯総合８位

1952（昭和27）　**岡山県協会役員改選：３代会長＝村山　寛・３代理事長＝永井　正就任**

第５回全日本選手権大会（現全日本総合選手権の前身）に初参加

1953（昭和28）　**岡山県高体連専門部役員改選：２代部長＝小川政雄就任，永井委員長＝留任**

第８回香川国体：☆皇后杯総合８位

1954（昭和29）　第７回全日本選手権大会：☆ジュニア女子複初優勝

第９回国体中国ブロック予選会開催（岡山市）＜地区予選会の初回＞

第９回北海道国体：☆天皇杯総合４位，皇后杯総合２位

1955（昭和30）　第８回全日本選手権大会：☆ジュニア女子単初優勝，複優勝

第６回全国高等学校選手権大会：☆女子団体・複初優勝

第10回神奈川国体：☆高校女子初優勝，天皇杯総合３位，皇后杯総合初優勝

1956（昭和31）　第１回県実業団選手権大会開催

第５回全日本実業団選手権大会：岡山県男子初参加

第９回全日本選手権大会：☆一般女子単・複初優勝

第11回兵庫国体：☆天皇杯総合初優勝，皇后杯総合２位

1957（昭和32）　第７回西日本選手権大会開催（岡山市）

第５回全日本実業団選手権大会：☆女子団体初参加初優勝

第10回全日本選手権大会：☆混合複初優勝，30歳単・複初優勝

第１回岡山県・香川県対抗競技会開催＜香川県主管，以降交互に主管＞

1957（昭和32）　第12回静岡国体：☆天皇杯総合６位，皇后杯総合２位
第８回全日本学生選手権大会：☆女子複初優勝

1958（昭和33）　**岡山県高体連専門部役員改選：小川部長＝留任，３代委員長＝金尾善六就任**
**岡山県協会役員改選：４代会長＝中村　健・４代理事長＝毛利清志就任**
第１回中国高等学校選手権大会開催（岡山市）：☆男女団体・単・複完全優勝
第１回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複初優勝
第11回全日本選手権大会：☆30歳単・複優勝
第１回中国選手権大会参加：☆男女団体・単・複完全優勝
第13回富山国体：☆天皇杯総合５位，皇后杯総合３位

1959（昭和34）　**岡山県高体連専門部役員改選：小川部長＝留任，４代委員長＝毛利清志就任**
第２回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝
第12回全日本選手権大会：☆30歳単・複優勝
第14回国体中国ブロック予選会・第２回中国選手権大会開催（岡山市）
第14回東京国体：☆皇后杯総合５位

1960（昭和35）　第３回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝
第15回熊本国体：☆天皇杯総合４位，皇后杯総合５位
第13回全日本選手権大会：☆30歳単・複優勝

1961（昭和36）　第11回西日本選手権大会＜11回が最終大会＝以降廃止＞
昭和35年度全日本総合選手権大会＜総合選手権誕生＞：☆混合複優勝
岡山県教職員連盟の名義発足＜日本教職員連盟への登録のみ＞
第11回全日本実業団・第４回全日本社会人両選手権大会開催（倉敷市）
第４回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝
第16回秋田国体：☆皇后杯総合６位

1962（昭和37）　**岡山県高体連専門部役員改選：３代部長＝戸田千年就任，毛利委員長＝留任**
岡山県実業団連盟の名義発足＜日本実業団連盟への登録のみ＞
第５回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝
第13回全国高等学校選手権大会：☆女子単初優勝，複優勝
第１回全日本教職員選手権大会参加
第17回岡山国体開催（倉敷市）：☆天皇杯総合４位，皇后杯総合４位
＜＊岡山県選手団全体の成績：☆天皇杯総合２位，皇后杯総合２位＞

1963（昭和38）　第２回日韓親善交換大会日本チーム＜教員代表選手１名参加＞：☆団体優勝
第６回中国高等学校選手権大会開催（西大寺市）
第６回全日本社会人選手権大会：☆30歳単優勝
第２回全日本教職員選手権大会：☆30歳単優勝，複初優勝
第18回山口国体：☆天皇杯総合３位，皇后杯総合５位
第２回中国・四国・九州大学学生選手権大会開催（岡山市）

1964（昭和39）　**岡山県高体連専門部役員改選：４代部長＝森　嘉吉就任，毛利委員長＝留任**
第７回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝，40歳複初優勝
エキジビション・ゲーム開催（岡山市）＜世界の王者を迎えて＞

1964（昭和39）　第３回全日本教職員選手権大会：☆30歳単・複優勝
第19回新潟国体：☆天皇杯総合７位，皇后杯総合６位
第14回全日本実業団選手権大会：☆30歳単初優勝

1965（昭和40）　第８回全日本社会人選手権大会：☆30歳単優勝，40歳複優勝，50歳複初優勝
第４回全日本教職員選手権大会：☆一般男子団体初優勝
第20回国体中国ブロック予選会・第８回中国選手権大会開催（岡山市）
第20回岐阜国体：☆皇后杯総合７位

1966（昭和41）　**岡山県中体連専門部設立：初代部長＝水谷　靖・初代委員長＝渡辺弘美就任**
第９回中国高等学校選手権大会開催（倉敷市）
第９回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝，40歳複優勝，50歳複優勝
第17回全国高等学校選手権大会：☆女子単優勝
第５回全日本教職員選手権大会：☆一般男子団体優勝
第21回大分国体：☆天皇杯総合３位，皇后杯総合５位
第15回全日本学生東西対抗競技会開催（岡山市）

1967（昭和42）　第10回全日本社会人選手権大会：☆30歳単優勝
タイペイオープン＜監督・選手各１名参加＞：☆単・複・混合複優勝
第１回県中学校選手権大会開催
第６回全日本教職員選手権大会：☆40歳単優勝，同複初優勝
第22回埼玉国体：☆皇后杯総合５位
第18回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）
第６回中国・四国・九州大学学生選手権大会開催（岡山市）

1968（昭和43）　第11回全日本社会人選手権大会：☆30歳単・複優勝，40歳複優勝，50歳複優勝
マレーシアオープン＜監督・選手各１名参加＞：☆複優勝
シンガポールオープン＜監督・選手各１名参加＞：☆単優勝
第７回全日本教職員選手権大会：☆成壮年団体初優勝，40歳単・複優勝
第２回全日本医科学生体育大会王座決定戦開催（岡山市）

1969（昭和44）　第12回全日本社会人選手権大会：☆30歳複優勝，40歳単・複優勝
第69回全英選手権大会（ロンドン＝選手１名参加）☆女子単初優勝
＜※全英選手権の通算５回優勝等，各種国際大会で多数の優勝や上位入賞がある。
県外進学・就職選手の個人戦については以下省略…＞
第５回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（東京＝監督１名・選手２名参加）
☆日本チーム優勝（２連覇）
日本・アメリカ親善交換大会（福岡＝監督１名・選手２名参加）
☆日本チーム優勝
第８回全日本教職員選手権大会：☆成壮年団体優勝，40歳単・複優勝
第24回長崎国体：☆天皇杯総合６位

1970（昭和45）　**岡山県中体連専門部役員改選：２代部長＝荒川大倫就任**
**２代委員長＝柳本堯敏就任**
第13回全日本社会人選手権大会：☆40歳単・複優勝

1970（昭和45）　第９回全日本教職員選手権大会：☆一般男子複初優勝，40歳複優勝
第25回国体中国ブロック予選会開催（倉敷市）
第６回アジア大会（バンコク＝選手１名参加）　☆日本チーム女子団体・単優勝

1971（昭和46）　**岡山県中体連専門部役員改選：３代部長＝岡崎　猛就任，柳本委員長＝留任**
**岡山県教職員連盟設立：初代会長＝川上亀義・初代理事長＝柳本堯敏就任**
第14回中国高等学校選手権大会開催（岡山市）
第14回全日本社会人選手権大会：☆40歳複優勝
模範試合開催（岡山市）＜世界選手権大会日本代表選手８名＞
第10回全日本教職員選手権大会開催（岡山市＝連盟創立10周年記念大会）
：☆成壮年団体優勝，40歳単・複優勝
第１回中国中学生交換試合開催（岡山市）
第26回和歌山国体：☆皇后杯総合３位

1972（昭和47）　**岡山県高体連専門部役員改選：５代部長＝松本稲郎就任，毛利委員長＝留任**
第４回中国実業団・第15回中国社会人選手権大会開催（玉野市）
第６回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（東京＝監督１名・選手１名参加）
☆日本チーム優勝（３連覇）
日本・インドネシア親善交換大会（札幌＝監督１名・選手１名参加）
☆日本チーム優勝
第11回全日本教職員選手権大会：☆成壮年団体優勝，30歳複優勝
第27回鹿児島国体：☆皇后杯総合８位
第１回全国高等学校選抜選手権大会参加
第16回中国・四国大学学生選手権大会開催（岡山市）
第23回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）
第10回中国・四国医科学生選手権大会開催（岡山市）

1973（昭和48）　第16回全日本社会人選手権大会：☆40歳単・複優勝
第12回全日本教職員選手権大会：☆成壮年団体優勝，40歳複優勝
第２回全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会開催（玉野市）

1974（昭和49）　**岡山県中体連専門部役員改選：４代部長＝原　武男就任，柳本委員長＝留任**
**岡山県高体連専門部役員改選：６代部長＝三宅　新就任，毛利委員長＝留任**
第17回全日本社会人選手権大会：☆40歳単・複優勝
第13回全日本教職員選手権大会：☆40歳単・複優勝
第１回中国・四国高等専門学校選手権大会参加

1975（昭和50）　**岡山県実業団連盟設立：初代会長＝山田錄二郎・初代理事長＝虻江　優就任**
第７回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（ジャカルタ＝選手１名参加）
☆日本チーム２位
第30回国体中国ブロック予選会開催（倉敷市）
第30回三重国体：☆天皇杯総合７位・皇后杯総合２位
第27回西日本医科学生大会開催（岡山市）
第14回中国・四国・九州大学学生選手権大会開催（岡山市）

1976（昭和51）　**岡山県高体連専門部役員改選：７代部長＝村井薫直就任，毛利委員長＝留任**
**岡山県教職員連盟役員改選：川上会長＝留任，２代理事長＝岡本次郎就任**
第19回中国高等学校選手権大会開催（倉敷市）
第１回中国学生選手権大会参加
第15回全日本教職員選手権大会：☆一般女子団体・単・複初優勝，男子40歳複優勝
第31回佐賀国体：☆皇后杯総合８位

1977（昭和52）　**岡山県中体連専門部役員改選：５代部長＝大倉　容就任，柳本委員長＝留任**
第９回中国実業団・第20回中国社会人選手権大会開催（倉敷市）
昭和52年度全国高校総体・第28回全国高等学校選手権大会開催（倉敷市）
第８回アジア大会（バンコク＝選手１名参加）：☆女子団体・単３位
第32回青森国体：☆皇后杯総合７位
第28回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）

1978（昭和53）　**岡山県高体連専門部役員改選：８代部長＝羽田　孜・４代委員長＝三宅　勝就任**
**岡山県協会役員改選：５代会長＝石田祥史・５代理事長＝岡本武利就任**
第８回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（ニュージーランド＝選手２名参加）
：☆日本チーム優勝（通算４回目）
第33回長野国体：☆皇后杯総合８位
**12月２日：岡山県バドミントン協会創立30周年記念祝賀会開催（岡山市）**
第17回西日本大学学生選手権大会開催（岡山市）
第２回全日本高等専門学校選手権大会初参加

1979（昭和54）　**岡山県中体連専門部役員改選：６代部長＝平田信夫就任，柳本委員長＝留任**
第７回全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会開催（岡山市）
第１回中国高等専門学校選手権大会参加
第29回全日本実業団選手権大会開催（岡山市・倉敷市）
第22回全日本社会人選手権大会：☆男子30歳複優勝
第17回中国・四国医科学生大会開催（岡山市）

1980（昭和55）　第１回中国中学校選手権大会開催（岡山市）：☆４種目優勝
第23回全日本社会人選手権大会：☆男子30歳単優勝
第35回国体中国ブロック予選会・第23回中国選手権大会開催（岡山市）
第２回日本リーグ＜'80日本リーグ倉敷大会＞開催（倉敷市）
第24回中国・四国大学学生選手権大会開催（岡山市）
第32回西日本医科学生大会開催（岡山市）

1981（昭和56）　**県協会「家庭婦人部会」発足：初代部会長＝横田君子就任**
第１回県家庭婦人大会開催
第９回ユーバー杯争奪世界女子選手権大会（東京＝選手１名参加）
：☆日本チーム優勝（通算５回目）
第24回全日本社会人選手権大会：☆男子30歳単・複優勝
第１回中国・四国学生リーグ開催（岡山市）
第６回中国学生選手権大会開催（岡山市）

1982（昭和57）　**岡山県中体連専門部役員改選：７代部長＝市川俊介就任，柳本委員長＝留任**
エキジビション・ゲームを開催（玉野青少年スポーツセンター，日体協～県体協移管10周年記念事業，於同センター＝世界女子選手権日本代表監督・選手４名）
第37回国体中国ブロック大会開催（倉敷市）
第37回島根国体：☆成年女子初優勝，皇后杯総合２位＜参考＝天皇杯総合９位＞
第31回全日本学生東西対抗競技会開催（岡山市）
第33回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）

1983（昭和58）　**岡山県高体連専門部役員改選：９代部長＝阪本暁夫就任，三宅委員長＝留任**
**県協会家庭婦人部会役員改選：２代部会長＝内田絢子就任**
第１回県小学生大会開催
第18回全国私立短大体育大会：☆女子単初優勝
第38回群馬国体：☆成年女子２連勝，皇后杯総合２位＜参考＝天皇杯総合９位＞
第10回全国家庭婦人競技会開催（岡山市）
第34回全日本大学学生選手権大会開催（岡山市）
第27回中国・四国大学学生選手権大会開催（岡山市）

1984（昭和59）　**岡山県中体連専門部役員改選：８代部長＝武村　肇就任，柳本委員長＝留任**
第12回全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会開催（倉敷市）
第16回中国実業団・第27回中国社会人選手権大会開催（岡山市）
第２回全日本家庭婦人大会初参加
第10回日中対抗岡山大会開催：☆日本チーム優勝，＜岡山県代表選手１名参加＞
第39回奈良国体：☆天皇杯総合４位，皇后杯総合８位
第23回中国・四国・九州大学学生選手権大会開催（岡山市）

1985（昭和60）　第６回中国中学校選手権大会開催（岡山市）
第30回中国高等学校選手権大会開催（倉敷市）
第28回中国社会人選手権大会開催（岡山市）＜実業団から分離しての初回＞
第40回鳥取国体：☆天皇杯総合８位，皇后杯総合７位
第５回中国・四国大学リーグ開催（岡山市）

1986（昭和61）　**岡山県中体連専門部役員改選：９代部長＝溝口　廣・３代委員長＝小田和文就任**
**岡山県高体連専門部役員改選：10代部長＝森　彰就任，瀬戸（三宅）委員長＝留任**
第３回中国家庭婦人大会初参加
第13回西日本家庭婦人大会初参加
第29回中国社会人選手権大会開催（岡山市）
第37回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）
第11回中国学生選手権大会開催（岡山市）

1987（昭和62）　第42回国体中国ブロック大会開催（高梁市）

1988（昭和63）　**岡山県実業団連盟役員改選：山田会長＝留任，３代理事長＝藤原　航就任**
**岡山県協会役員改選：石田会長＝留任，６代理事長＝藤原　航就任**
岡山県協会内部に部会制等の組織確立，各部会長・関係委員等選任
第12回全日本高等専門学校選手権大会開催（津山市）

第５回全日本シニア選手権大会：☆女子30歳複初優勝
第27回中国・四国・九州大学学生選手権大会開催（岡山市）

1989（昭和64） 第17回全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会開催（倉敷市）

1989（平成元） **岡山県中体連専門部役員改選：10代部長＝西野雅三就任，小田委員長＝留任**
**岡山県高体連専門部役員改選：11代部長＝城山藤一就任，瀬戸委員長＝留任**
第39回全日本実業団選手権大会開催（岡山市）＜岡山市制100周年記念＞
第６回全日本シニア選手権大会：☆男子30歳単・複初優勝，女子30歳複優勝
国際シニア選手権大会（台北）参加＜選手１名＞
第28回中国・四国・九州大学学生選手権大会開催（岡山市）
優秀選手・指導者特別研修強化合宿開催（高梁市）
＜講師＝ソウルオリンピック銅メダリスト＞

1990（平成２） 第22回中国実業団選手権大会開催（玉野市）
第11回中国中学校選手権大会開催（岡山市）
第33回中国社会人選手権大会開催（岡山市）
第25回全国私立短大体育大会：☆女子単優勝
第７回全日本シニア選手権大会：☆男子30歳単優勝
第30回西日本大学学生選手権大会開催（岡山市）

1991（平成３） **岡山県中体連専門部役員改選：11代部長＝木村要子就任，小田委員長＝留任**
**岡山県高体連専門部役員改選：12代部長＝岡本耕志就任，瀬戸委員長＝留任**
**岡山県教職員連盟役員改選：２代会長＝西崎正明就任，岡本理事長＝留任**
第８回中国家庭婦人年齢別競技会・第９回全国大会中国地区予選会開催（玉野市）
第８回全日本シニア選手権大会：☆女子30歳複優勝
第１回中国教職員選手権大会参加
競技力向上講習会開催（瀬戸町）＜指導者＝元中国ナショナルメンバー＞
第16回中国学生選手権大会開催（岡山市）

1992（平成４） **岡山県教職員連盟役員改選：西崎会長＝留任，３代理事長＝平島秀典就任**
県協会「小学生部会」発足
第35回中国高等学校選手権大会開催（倉敷市）
第47回国体中国ブロック大会開催（高梁市）
第９回全日本シニア選手権大会：☆男子30歳単優勝
第８回中国小学生大会開催（岡山市）
第12回中国・四国大学リーグ開催（岡山市）
第43回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）

1993（平成５） **岡山県中体連専門部役員改選：12代部長＝杉岡順平就任**
**４代委員長＝中須賀祥雅就任**
岡山県リーグ新設，第１回開催

1994（平成６） **岡山県中体連専門部役員改選：13代部長＝原　昭就任，中須賀委員長＝留任**
**岡山県高体連専門部役員改選：岡本部長＝留任，５代委員長＝石田賢一就任**
第22回全国高等学校選抜選手権大会中国地区予選会開催（倉敷市）

第26回中国実業団選手権大会開催（玉野市）
第34回西日本大学学生選手権大会開催（岡山市）

1995（平成７）　指導者講習会開催（玉野市）＜講師＝文部省スポーツ功労特別指導委員＞
第39回中国・四国大学学生選手権大会開催（岡山市）
第16回中国中学校選手権大会開催（岡山市）
第50回国体中国ブロック大会開催（高梁市）
第38回中国地区総合選手権大会開催（岡山市）

1996（平成８）　**岡山県中体連専門部役員改選：14代部長＝谷口正美就任，中須賀委員長＝留任**
**岡山県高体連専門部役員改選：13代部長＝三吉　肇就任，石田委員長＝留任**
**岡山県実業団連盟役員改選：２代会長＝片山義久就任，藤原理事長＝留任**
**岡山県家庭婦人連盟設立：初代会長＝毛利清志，初代理事長＝内田絢子就任**
第13回中国家庭婦人年齢別競技会・第14回全日本家庭婦人大会
中国地区予選会開催（岡山市）
第25回モーニングカップ国際大会（台北）：☆男子65歳複優勝
**日本バドミントン協会創立50周年記念祝賀会（東京）**
第21回中国学生選手権大会開催（岡山市）
第13回全日本シニア選手権大会：☆男子30歳単優勝
第13回中国小学生大会開催（岡山市）

1997（平成９）　第40回中国高等学校選手権大会開催（岡山市）
第48回中国５大学学生競技大会開催（岡山市）
第14回全日本シニア選手権大会：☆男子30歳単優勝
平成９年度日本リーグ（'97日本リーグ倉敷大会）開催

1998（平成10）　**岡山県教職員連盟役員改選：３代会長＝柳本堯敏就任，平島理事長＝留任**
**岡山県協会役員改選：２代名誉会長＝石田祥史就任**
**６代会長＝岡﨑　彬就任，藤原理事長＝留任**
**岡山県協会「50周年記念誌」＝『岡山バドミントン五十年』を発刊**

1999（平成11）　**岡山県バドミントン協会創立50周年記念祝賀会開催の予定**

# 2　大会別・年次別戦績一覧表

## (1)小学生部会

### 1）県内大会

**①県小学生春季大会**　　略称(先頭のA・BはA・Bクラス，4は4年生以下クラスで男女混成，交流は交流大会を示す)

1983(昭和58)年，岡山県小学生バドミントン大会として第1回大会を開催。1993(平成5)年，秋季大会を開催するにあたり，現在の大会名に変更した。1～5回までは記録不明である。

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | BD | 大栄・松下 | 二万 | 大森・生野 | 二万 | 井上・守屋 | 二万 | 吉岡・水野 | 二万 |
| S,63 | GD | 松下・守屋 | 二万 | 光崎・斎藤 | 永井 | 城戸・田渕 | 二万 | 天野・天野 | 白石 |
| | ABS | 富田　章裕 | 永井 | 数田　佳伸 | 永井 | 西山　智之 | 新倉 | | |
| | ABD | 赤池・橋本 | 二万 | 水川・牧野 | 永井 | 塩見・鳥羽 | 二万 | 西山・田辺 | 新倉 |
| | AGS | 加藤　美香 | 牧石 | 横辺　葵 | 永井 | 斎藤　由佳 | 永井 | | |
| 7 | AGD | 岡本・岡 | 永井 | 野口・小川 | 二万 | 遠藤・今津 | 太伯 | 山田・坂元 | 永井 |
| H,元 | BBS | 橋村　竜彦 | 旭ケ丘小 | 平田　元一 | 牧石 | 岡崎　公康 | 太伯 | 山生　大輔 | 第二福田 |
| | BBD | 塩見・市川 | 二万 | 岡本・野口 | 二万 | 塩出・井上 | 二万 | | |
| | BGS | 岡本　真奈 | 永井 | 千原　聡子 | 菅生 | 川本　英美 | 太伯 | 原　晃子 | 操南 |
| | BGD | 山本・安原 | 菅生 | 津川・佐藤 | 牧石 | 大保・竹岡 | 二・三福田 | 橋村・山川 | 旭ケ丘小 |
| | ABS | 富田　章裕 | 永井 | 平田　元一 | 牧石 | 橋村　竜彦 | 永井 | 塩見　修一 | 二万 |
| | ABD | 長間・田辺 | 永井 | 市川・浜野 | 二万 | 野口・井上 | 二万 | | |
| | AGS | 千原　聡子 | 永井 | 田井　優希 | 永井 | 山本　泰子 | 永井 | 横辺沙矢香 | 永井 |
| 8 | AGD | 橋村・山川 | 永井 | 杉山・加藤 | 牧石 | 井川・井川 | 二万 | 津川・小林 | 牧石 |
| H,2 | BBS | 牧野　浩明 | 永井 | 村上　広一 | 永井 | 小原　直樹 | 二万 | 富田　敏裕 | 永井 |
| | BBD | 田中・小西 | 永井 | 伝　・小幡 | 永井 | 小野・樽井 | 永井 | 天野・横井 | 二万 |
| | BGD | 山下・藤本 | 万寿東 | 岡田・芳野 | 万寿東 | 金山・藤原 | 万寿東 | 田口・橋本 | 永井 |
| | ABS | 橋村　竜彦 | 永井 | 西岡　大宗 | 太伯 | 柴田　匡史 | 太伯 | 谷口　昌之 | 太伯 |
| | ABD | 田中・小西 | 永井 | 遠藤・尾崎 | 太伯 | 佐藤・平田 | 永井 | | |
| | AGS | 千原　聡子 | 永井 | 山本　泰子 | 永井 | 加藤しのぶ | 牧石 | 横辺沙矢香 | 永井 |
| 9 | AGD | 田口・大角 | 永井 | 内尾・河野 | 永井 | 岡田・田辺 | 新倉 | 野津・信江 | 永井 |
| H,3 | BBS | 興梠　岳人 | 永井 | 尾崎　良助 | 太伯 | 宗田　武大 | 太伯 | 稲田　拓也 | 永井 |
| | BBD | 佐伯・三宅 | 永井 | 藤原・藤川 | 永井 | 近藤・根木 | 太伯 | 小幡・妹尾 | 永井 |
| | BGS | 金子　理恵 | 豊体協 | 岩城　順子 | 豊体協 | 橋本佳奈枝 | 豊体協 | 小田　真澄 | 豊体協 |
| | BGD | 守屋・平田 | 永井 | 佐藤・山下 | 永井 | 市村・宮崎 | 内山下 | 池田・益田 | 太伯 |
| | ABS | 尾崎　勝久 | 太伯 | 藤田　晃司 | 永井 | 平田　雄己 | 永井 | 宗田　武大 | 太伯 |
| | ABD | 尾崎・根木 | 太伯 | 佐藤・興梠 | 永井 | 藤原・稲田 | 永井 | | |
| | AGS | 山本　泰子 | 永井 | 井山　美里 | 豊体協 | 谷口　智子 | 太伯 | 河野亜矢子 | 永井 |
| | AGD | 野津・信江 | 永井 | 神谷・瀬尾 | 二万 | 平田・佐藤 | 永井 | 前田・林 | 二万 |
| 10 | BBS | 田渕　司 | 二万 | 小幡　祥堂 | 永井 | 渡辺　稔 | 永井 | 長井　将夫 | 城南 |
| H,4 | BBD | 加藤・三宅 | 牧石 | 花田・飯田 | 二万 | 西野・窪田 | 永井 | 藤原・井上 | 城南 |
| | BGS | 小田　倫子 | 豊体協 | 坪田　朋子 | 西大寺 | 木原由美子 | 西大寺 | 田辺　美幸 | 新倉 |
| | BGD | 佐伯・西出 | 永井 | 野口・元島 | 二万 | 宮澤・三木 | 豊体協 | 那須・小松原 | 西大寺 |
| | 4S | 田渕　奨 | 二万 | 西峯　大輔 | 永井 | 妹尾　勇作 | 永井 | 近藤　寿 | 太伯 |
| | 4D | 谷口・尾崎 | 太伯 | 金子・岡 | 永井 | 林　・田渕 | 二万 | 守屋・元島 | 二万 |
| | ABS | 尾崎　良助 | 太伯 | 平田　雄己 | 永井 | 三宅　康祐 | 永井 | | |
| | ABD | 佐伯・稲田 | 永井 | 根木・平野 | 太伯 | 中田・谷口 | 太伯 | | |
| | AGS | 守屋　仁美 | 永井 | 谷口　貴美 | 太伯 | 益田　愛花 | 太伯 | | |
| | AGD | 五味・石原 | 永井 | 奥山・根木 | 太伯 | 谷口・柴 | 太伯 | | |
| | BBS | 田渕　奨 | 二万 | 妹尾　勇作 | 永井 | 岡崎　翼 | 太伯 | 尾崎　真介 | 太伯 |
| | BBD | 片山・橘高 | ウイング井原 | 黒木・後迫 | 永井 | 小西・岡部 | 永井 | | |
| 11 | BGS | 黒田　静香 | 永井 | 三木彩恵子 | 豊体協 | 渡辺　晴美 | 永井 | 秋山未奈子 | 豊体協 |
| H,5 | BGD | 宮澤・三宅 | 豊体協 | 小橋・岡崎 | 太伯 | 板野・畑 | 西大寺 | 大仲・藤田 | 永井 |
| | 4S | 林　晋司 | 総社 | 小林　里江 | 豊体協 | 奥山ゆかり | 太伯 | 大久保　学 | 総社 |
| | 4D | 藤原・武氏 | 永井 | 守屋・元島 | 二万 | 平野・谷口 | 太伯 | | |
| | 交流BS | 泉　孝昌 | 連島北 | 明比　秀澄 | 三勲 | 岡本　晶行 | 連島北 | | |
| | 交流GS | 加藤由美香 | 三勲 | 難波　千帆 | 神在 | 中平　沙織 | 三勲 | 浦上　綾 | 三勲 |
| | 交流GD | 片山・松下 | 三門 | 旦道・山崎 | 西大寺 | 佐藤・藤村 | 妹尾 | 松浦・徳永 | 三勲 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 H,6 | ABS | 佐伯 浩一 | 永井 | 谷口 佳正 | 太伯 | 加藤 侑赳 | 牧石 | | |
| | ABD | 金子・西峯 | 永井 | 谷口・尾崎 | 太伯 | 妹尾・田渕 | 永井 | | |
| | AGS | 谷口 知子 | 太伯 | 黒田 静香 | 永井 | 柴 朋美 | 太伯 | | |
| | AGD | 青山・守屋 | 二万 | 藤田・渡辺 | 永井 | 元島・田渕 | 二万 | | |
| | BBS | 永井 大吉 | 永井 | 林 晋司 | 総社 | 根木 達人 | 太伯 | 妹尾 暁 | 西江原 |
| | BGS | 橋本侑加子 | 豊体協 | 山本 良美 | 太伯 | 関戸 歩美 | 豊体協 | 谷口 満保 | 太伯 |
| | BGD | 藤原・岡野 | 永井 | 太田・小林 | 豊体協 | 武氏・田脇 | 永井 | 小池・長尾 | 二万 |
| | 4S | 沼田 望 | 永井 | 田中 綾 | 永井 | 谷口 和之 | 太伯 | 片山 侑也 | 西江原 |
| | 4D | 大仲・岡本 | 永井 | 藤原・岡野 | 永井 | 黒田・浅原 | 永井 | | |
| | 交流BS | 麻生 将豊 | 第二福田 | 小野まさひと | 連島神亀 | | | | |
| | 交流BD | 江口・水野 | 清音 | 前原・石本 | 清音 | 黒木・黒木 | 西江原 | 柴岡・田口 | 三門 |
| | 交流GS | 藤井亜希子 | 西江原 | 篠埜未住帆 | 千種 | 井上 由香 | 西江原 | 佐藤みどり | 西江原 |
| | 交流GD | 篠埜・篠埜 | 千種 | 志多木・石井 | 西江原 | 藤田・藤田 | 清音 | 藤上・木下 | 大高 |
| 13 H,7 | ABS | 佐伯 浩一 | 永井 | 近藤 寿 | 太伯 | 加藤 侑赳 | 牧石 | | |
| | ABD | 田渕・妹尾 | 永井 | 浅原・麻生 | 永井 | | | | |
| | AGS | 藤原 孝恵 | 永井 | 三木彩恵子 | 豊体協 | 谷口 満保 | 太伯 | | |
| | AGD | 守屋・長尾 | 二万 | 沼田・田脇 | 永井 | 岡本・大仲 | 永井 | 林・小池 | 二万 |
| | BBS | 片山 侑也 | ウイング | 江口 和博 | 清音 | 黒木 友浩 | ウイング | 笠原 淳弘 | 西大寺 |
| | BBD | 渡辺・難波 | 永井 | 松永・藤井 | 清音 | 溝川・小原 | 清音 | | |
| | BGS | 藤原 三恵 | 永井 | 岡野由有佳 | 永井 | 奥山亜沙美 | 太伯 | 近藤やすこ | 太伯 |
| | BGD | 浅原・黒田 | 永井 | 石井・志多木 | ウイング | 高田・田中 | 永井 | | |
| | 4S | 谷口 和之 | 太伯 | 守屋 雅司 | 二万 | 近藤 大視 | 太伯 | 岡崎 裕子 | 太伯 |
| | 4D | 松本・佐伯 | 永井 | 田渕・水川 | 二万 | 井上・水川 | 二万 | 田渕・神谷 | 二万 |
| | 交流BS | 田口 祐介 | 三門 | 佐藤 哲士 | 西江原 | | | | |
| | 交流GS | 沖津 美江 | 西江原 | 三宅 香織 | 西江原 | 佐藤みどり | 西江原 | 大元 理恵 | 西江原 |
| | 交流GD | 山室・藤枝 | 西江原 | 藤原・黒木 | 浮田 | 薬師寺・森脇 | 総社 | 薬師寺・長野 | 総社 |
| 14 H,8 | ABS | 松本 裕平 | 永井 | 津山 裕史 | 永井 | 谷口 和之 | 太伯 | | |
| | AGS | 岡本 望良 | 永井 | 近藤やすこ | 太伯 | | | | |
| | AGD | 大仲・田脇 | 永井 | 浅原・藤原 | 永井 | 岡崎・鶴海 | 豊体協 | | |
| | BBS | 堀 眞人 | 永井 | 黒木 友浩 | ウイング | 三宅 泰嗣 | 永井 | 椎野 剛 | 太伯 |
| | BBD | 片山・妹尾 | ウイング | 黒木・佐藤 | ウイング | 三宅・石井 | 永井 | | |
| | BGS | 岡野由有佳 | 永井 | 田渕 智子 | 二万 | 藤沢 留美 | 永井 | 高原 京子 | 豊体協 |
| | BGD | 小野・田中 | 永井 | 黒田・穂崎 | 永井 | 島崎・日下 | 西大寺 | | |
| | 4S | 守屋 雅司 | 二万 | 原野 浩司 | 西大寺 | 北川 由香 | 豊体協 | 田宮 旭人 | 二万 |
| | 4D | 西山・宮崎 | 永井 | 三宅・石井 | 永井 | 岩下・藤沢 | 永井 | 田村・渡辺 | 永井 |
| | 交流BS | 田中 翔 | 第三藤田 | 佐藤 真啓 | 第三藤田 | 今井 健次 | 野谷 | | |
| | 交流BD | 田口・川相 | 三門 | 嶋村・金光 | 野谷 | | | | |
| | 交流GS | 田辺みゆき | 西江原 | 柚木 綾乃 | 西江原 | 岡崎 友香 | 幸島 | 青木 香澄 | 西大寺 |
| | 交流GD | 沖津・山室 | 西江原 | 藤田・福井 | 清音 | 佐野・島田 | 清音 | 佐藤・岩崎 | 西江原 |

## ②県小学生秋季大会　　略称(先頭の初は初心者の部)

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 H,5 | ABS | 尾崎 良助 | 太伯 | 平田 雄己 | 永井 | 妹尾 直輝 | 永井 | 田渕 司 | 二万 |
| | ABD | 佐伯・稲田 | 永井 | 根木・平野 | 太伯 | 中田・谷口 | 太伯 | | |
| | AGS | 谷口 貴美 | 太伯 | 守屋 仁美 | 永井 | 柴 朋美 | 太伯 | | |
| | AGD | 五味・石原 | 永井 | 奥山・益田 | 太伯 | 谷口・根木 | 太伯 | 野口・元島 | 二万 |
| | BBS | 妹尾 勇作 | 永井 | 田渕 奨 | 永井 | 三宅 基文 | 牧石 | 鎌木 泰暢 | 牧石 |
| | BBD | 金子・西峯 | 永井 | 片山・植田 | ウイング井原 | 片山・橘高 | ウイング井原 | | |
| | BGS | 三木彩恵子 | 豊体協 | 板野 里香 | 西大寺 | 小林佐和子 | 豊体協 | 谷口 満保 | 太伯 |
| | BGD | 黒田・渡辺 | 永井 | 小橋・岡崎 | 太伯 | 守屋・青山 | 二万 | 藤田・藤原 | 永井 |
| | 4S | 林 晋司 | 総社 | 橋本 里香 | 二万 | 永井 大吉 | 永井 | 橋本侑加子 | 豊体協 |
| | 4D | 田渕・林 | 二万 | 守屋・元島 | 二万 | 田脇・武氏 | 永井 | 岡野・大仲 | 永井 |
| | 交流BS | 東岡 直生 | 南方 | 柳田 恭隆 | 旭竜 | 福井 理仁 | 南方 | 野田 将秀 | 三国 |
| | 交流BD | 中本・前原 | 清音 | 長田・藤波 | 三門 | 藤井・藤原 | 清音 | | |
| | 交流GS | 高山 可愛 | 三勲 | 中磯 直子 | 日生東 | 乙子ゆかり | 三勲 | 中平 沙織 | 三勲 |
| | 交流GD | 加藤・徳永 | 三勲 | 河島・藤田 | 南方 | 若林・真野 | 南方 | 平田・橋本 | 清音 |
| 2 H,6 | ABS | 三宅 康祐 | 永井 | 佐伯 浩一 | 永井 | 稲田 耕治 | 永井 | | |
| | ABD | 金子・西峯 | 永井 | 谷口・尾崎 | 太伯 | 妹尾・田渕 | 永井 | | |
| | AGS | 谷口 知子 | 太伯 | 黒田 静香 | 永井 | 柴 朋美 | 太伯 | 藤原 孝恵 | 永井 |
| | AGD | 藤田・渡辺 | 永井 | 元島・田渕 | 二万 | 青山・守屋 | 二万 | 林 ・橋本 | 二万 |
| | BBS | 林 晋司 | 総社 | 妹尾 暁 | ウイング | 浅原 達也 | 永井 | 前原 良紀 | 清音 |
| | BGS | 小林 里江 | 豊体協 | 沼田 望 | 永井 | 柏野 則子 | 総社 | 若松 里奈 | 永井 |
| | BGD | 武氏・田脇 | 永井 | 大仲・岡本 | 永井 | 石本・石本 | 西大寺 | 小池・長尾 | 二万 |
| | 4S | 片山 侑也 | ウイング | 藤原 三恵 | 永井 | 岡野由有佳 | 永井 | 谷口 和之 | 太伯 |
| | 4D | 黒田・浅原 | 永井 | 奥山・近藤 | 太伯 | 小池・田宮 | 二万 | 田渕・神谷 | 二万 |
| | 交流BS | 妹尾 晶 | 西江原 | 松山 慎 | 三国 | 野田 将秀 | 三国 | 浦上 和憲 | 三国 |
| | 交流BD | 江口・水野 | 清音 | 田口・田口 | 三門 | | | | |
| | 交流GS | 石井 友子 | 西江原 | 志多木美絵 | 西江原 | 佐藤みどり | 西江原 | | |
| | 交流GD | 篠埜・笹埜 | 千種 | 荒木・橋本 | 清音 | 佐藤・佐藤 | 西江原 | 平田・橋本 | 清音 |
| 3 H,7 | ABS | 妹尾 勇作 | 永井 | 田渕 奨 | 永井 | 谷口 佳正 | 太伯 | 永井 大吉 | 永井 |
| | AGS | 三木彩恵子 | 豊体協 | 岡野あゆみ | 永井 | 小林 里江 | 豊体協 | 田脇 綾子 | 永井 |
| | AGD | 橋本・田渕 | 二万 | 守屋・小池 | 二万 | 岡本・大仲 | 永井 | | |
| | BBS | 津山 裕史 | 永井 | 黒木 友浩 | ウイング | 黒木 曹平 | ウイング | 笠原 淳弘 | 西大寺 |
| | BBD | 片山・妹尾 | ウイング | 河田・大西 | 永井 | | | | |
| | BGS | 緒方 敬子 | 総社中央 | 奥山亜沙美 | 太伯 | 森 千恵 | 太伯 | 旦道 育与 | 西大寺 |
| | BGD | 浅原・黒田 | 永井 | 安原・細羽 | ウイング | 三宅・志多木 | ウイング | 若松・田中 | 永井 |
| | 4S | 松本 裕平 | 永井 | 守屋 雅司 | 二万 | 近藤 大視 | 太伯 | | |
| | 4D | 植村・堀 | 永井 | 田渕・水川 | 二万 | 井上・末森 | 二万 | | |
| | 交流BS | 内田 貴之 | 大宮 | 浦上 和憲 | 三国 | 野田 博之 | 三国 | | |
| | 交流GS | 大元 理恵 | 西江原 | 田辺みゆき | 西江原 | 佐野 優紀 | 三勲 | | |
| | 交流GD | 馬場・鳩野 | 浮田 | 嶋村・金光 | 野谷 | 山田・辻村 | 三勲 | 米澤・坂根 | 浮田 |
| 4 H,8 | ABS | 片山 侑也 | ウイング | 谷口 和之 | 太伯 | 長瀬 弘明 | 赤崎 | | |
| | ABD | 黒木・黒木 | ウイング | 妹尾・佐藤 | ウイング | | | | |
| | AGS | 岡崎あかね | 豊体協 | 近藤やすこ | 太伯 | 水川 聖子 | 二万 | | |
| | AGD | 高原・鶴海 | 豊体協 | 沖津・山室 | 西江原 | | | | |
| | BBS | 田中 翔 | 第三藤田 | 小幡 康弘 | 帯江 | 椎野 剛 | 太伯 | 守屋 雅司 | 二万 |
| | BBD | 清水・藤井 | 第三藤田 | 山西・藤田 | 清音 | 江口・若林 | 清音 | | |
| | BGS | 奥山沙百合 | 西大寺 | 北川 由香 | 豊体協 | 岡崎 裕子 | 太伯 | 井上 真美 | 二万 |
| | BGD | 安倉・石井 | 西大寺 | 日下・嶋崎 | 西大寺 | 桜井・太田 | 西大寺 | 近藤・近藤 | 幸島 |
| | 4S | 原野 浩司 | 西大寺 | 尾崎恵理香 | 太伯 | 田渕 有沙 | 二万 | 田宮 旭人 | 二万 |
| | 4D | 上岡・上岡 | 太伯 | 東島・藤原 | 豊体協 | 角田・平島 | 豊体協 | | |
| | 初BS | 妹尾 和也 | 三国 | 永田 幹 | 三国 | 野田 博之 | 三国 | 服部 達也 | 西大寺 |
| | 初GS | 金中 亜依 | 三国 | 小西 冴香 | 西大寺 | 田中 薫 | 第三藤田 | 青木 香澄 | 西大寺 |
| | 交流BS | 伊藤 孝 | 帯江 | 島村 宗間 | 雄神 | 松本 裕 | 雄神 | | |
| | 交流GS | 星尾 明奈 | 日生西 | 橋本 梨江 | 日生西 | 石原 靖葉 | 雄神 | 酒井 敏子 | 日生西 |
| | 交流GD | 山崎・牧野 | 三門 | 土田・上松 | 浮田 | 加藤・生田 | 三門 | | |

### ③中国小学生大会県予選会

1989(平成元)年,それまでの話し合いによる選手選考から,予選会を経ての選手選考へと変更した。

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位(4は4位) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 井川 賢二 | 二 万 | 富田 章裕 | 永 井 | 近藤晋太郎 | 太 伯 | 天野 芳樹 | 二 万 |
| 1 | BD | 大栄・松下 | 二 万 | 大森・生野 | 二 万 | 丸山・守屋 | 二 万 | 吉岡・水野 | 二 万 |
| S,63 | GS | 加藤 美香 | 牧石牧山分校 | 斎藤 由佳 | 永 井 | 須々木 恵 | 牧 石 | 藤原 千会 | 牧石牧山分校 |
| | GD | 松下・守屋 | 二 万 | 岡本・ 岡 | 永 井 | 横辺・茅野 | 永 井 | 野口・小川 | 二 万 |
| | ABS | 数田 佳伸 | 永 井 | 富田 章裕 | 永 井 | 近藤晋太郎 | 太 伯 | 井川 和樹 | 二 万 |
| | ABD | 池田・田渕 | 太 伯 | 井上・近藤 | 太 伯 | 岡崎・庄田 | 太 伯 | 赤池・橘本 | 二 万 |
| | AGS | 加藤 美香 | 牧 石 | 横辺 葵 | 永 井 | 斎藤 由佳 | 永 井 | 谷口 敬子 | 太 伯 |
| 2 | AGD | 岡本・ 岡 | 永 井 | 岡本・山本 | 永 井 | 次田・ 森 | 太 伯 | 杉山・加藤 | 牧 石 |
| H,元 | BBS | 橘村 竜彦 | 永 井 | 柴田 匡史 | 豊 体 協 | 松永 賢一 | 旭 東 | | |
| | BBD | 内田・寸越 | 大 元 | 亀田・ 清 | 東 疇 | | | | |
| | BGS | 奥山 朋美 | 太 伯 | 畠山 鈴枝 | 太 伯 | 片山由加里 | 操 南 | 山本 泰子 | 永 井 |
| | BGD | 橘村・山川 | 永 井 | 田井・横辺 | 永 井 | 秋岡・藤本 | 万 寿 東 | 西中・松井 | 万 寿 東 |
| | ABS | 富田 章裕 | 永 井 | 平田 元一 | 牧 石 | 橘村 竜彦 | 永 井 | 塩見 修一 | 二 万 |
| | ABD | 長間・田辺 | 永 井 | 田中・小西 | 永 井 | 野口・井上 | 二 万 | 浜野・市川 | 二 万 |
| | AGS | 千原 聡子 | 永 井 | 山本 泰子 | 永 井 | 田井 優希 | 永 井 | 横辺沙矢香 | 永 井 |
| 3 | AGD | 橘村・山川 | 永 井 | 杉山・加藤 | 牧 石 | 井川・井川 | 二 万 | 岡田・田辺 | 新 倉 |
| H,2 | BBS | 牧野 浩明 | 永 井 | 富田 敏裕 | 永 井 | 西岡 大宗 | 太 伯 | 西山 智之 | 新 倉 |
| | BBD | 遠藤・尾崎 | 太 伯 | 伝 ・小幡 | 永 井 | 小野・樽井 | 永 井 | 藤原・佐藤 | 永 井 |
| | BGS | 三松 直美 | 豊 体 協 | 内尾のぞみ | 永 井 | 長田 典子 | 南 方 | 井山 美里 | 豊 体 協 |
| | BGD | 橋本・大石 | 永 井 | 田口・橋口 | 永 井 | 内田・須藤 | 永 井 | 大元・浜田 | 牧 石 |
| | ABS | 橘村 竜彦 | 永 井 | 柴田 匡史 | 太 伯 | 谷口 昌之 | 太 伯 | 西岡 大宗 | 太 伯 |
| | ABD | 田中・小西 | 永 井 | 尾崎・宗田 | 太 伯 | 尾崎・根木 | 太 伯 | 天野・横井 | 二 万 |
| | AGS | 山本 泰子 | 永 井 | 井山 美里 | 豊 体 協 | 谷口 貴美 | 太 伯 | 橘本佳奈枝 | 豊 体 協 |
| | AGD | 千原・横辺 | 永 井 | 大西・岡本 | 豊 体 協 | 加藤・浜田 | 牧 石 | 大角・河野 | 永 井 |
| 4 | BBS | 渡辺 稔 | 永 井 | 坂之上慎二 | 永 井 | 田渕 仁之 | 二 万 | 塩屋 慶彦 | 永 井 |
| H,3 | BBD | 内山・広居 | 三 勲 | 難波・ 弘 | 箕 島 | 横山・高島 | 第二藤田 | | |
| | BGS | 三宅 栄子 | 永 井 | 小田 倫子 | 豊 体 協 | 小畑 治美 | 琴 浦 南 | 池田美和子 | 太 伯 |
| | BGD | 瀬尾・神谷 | 二 万 | 藤原・小田 | 豊 体 協 | 佐伯・西出 | 永 井 | 前田・ 林 | 二 万 |
| | 4S | 小幡 祥堂 | 永 井 | 益田 愛花 | 太 伯 | 妹尾 勇作 | ウイング | 西峯 大輔 | 永 井 |
| | 4D | 長尾・田渕 | 二 万 | 花田・飯田 | 二 万 | 三木・宮澤 | 豊 体 協 | 谷口・西岡 | 太 伯 |
| | ABS | 橘村 竜彦 | 永 井 | 尾崎 勝久 | 太 伯 | 平田 雄己 | 永 井 | 妹尾 直輝 | 永 井 |
| | ABD | 尾崎・宗田 | 太 伯 | 藤田・興梠 | 永 井 | 藤原・佐藤 | 永 井 | 佐伯・稲田 | 永 井 |
| | AGS | 河野亜矢子 | 永 井 | 井山 美里 | 豊 体 協 | 山本 泰子 | 永 井 | 守屋 仁美 | 永 井 |
| | AGD | 谷口・谷口 | 太 伯 | 野津・信江 | 永 井 | 神谷・瀬尾 | 二 万 | 前田・ 林 | 二 万 |
| 5 | BBS | 谷口 俊明 | 太 伯 | 谷口 佳正 | 太 伯 | 渡辺 稔 | 永 井 | 田渕 司 | 二 万 |
| H,4 | BBD | 西野・窪田 | 永 井 | 花田・飯田 | 二 万 | 神谷・長尾 | 二 万 | | |
| | BGS | 柴 朋美 | 太 伯 | 木原由美子 | 西 大 寺 | 坪田 朋子 | 西 大 寺 | 赤池 正子 | 二 万 |
| | BGD | 五味・石原 | 永 井 | 小田・橘本 | 豊 体 協 | 福下・谷口 | 二 万 | 青山・斉藤 | 二 万 |
| | 4S | 妹尾 勇作 | 永 井 | 西峯 大輔 | 永 井 | 田渕 奨 | 二 万 | 黒田 静香 | 永 井 |
| | 4D | 岡 ・金子 | 永 井 | 青山・武井 | 二 万 | 林 ・田渕 | 二 万 | 守屋・元島 | 二 万 |
| | ABS | 平田 雄己 | 永 井 | 尾崎 良助 | 太 伯 | 谷口 佳正 | 太 伯 | 妹尾 直輝 | 永 井 |
| | ABD | 佐伯・稲田 | 永 井 | 西野・窪田 | 永 井 | 中田・谷口 | 太 伯 | 根木・平野 | 太 伯 |
| | AGS | 守屋 仁美 | 永 井 | 谷口 貴美 | 太 伯 | 黒田 静香 | 永 井 | 4 三木彩恵子 | 豊 体 協 |
| | AGD | 五味・ 岡 | 永 井 | 橘本・秋山 | 豊 体 協 | 石原・藤原 | 永 井 | 野口・元島 | 二 万 |
| | BBS | 橘高 克典 | ウイング | 松本 康平 | 永 井 | 近藤 寿 | 太 伯 | 岡崎 翼 | 太 伯 |
| | BBD | 妹尾・田渕 | 永 井 | 片山・植田 | ウイング | 亀山・小林 | ウイング | | |
| 6 | BGS | 小林佐和子 | 豊 体 協 | 益田依梨菜 | 豊 体 協 | 浅原 千春 | 永 井 | | |
| H,5 | BGD | 渡辺・藤田 | 永 井 | 守屋・青山 | 二 万 | 太田・橘本 | 豊 体 協 | 岡崎・石田 | 太 伯 |
| | 4S | 藤原 孝恵 | 永 井 | 永井 大吉 | 永 井 | 林 晋司 | 総 社 | 橘本 里香 | 二 万 |
| | 4D | 守屋・元島 | 二 万 | 田渕・ 林 | 二 万 | 田脇・武氏 | 永 井 | 岡野・大仲 | 永 井 |
| | 交流BS | 有松 良佑 | 城 南 | 平尾 隆幸 | 城 南 | 久延 浩文 | 城 南 | 田村 健之 | 城 南 |
| | 交流BD | 西原・妹尾 | 旭 竜 | 河野・長原 | 箕 島 | 石本・水野 | 清 音 | | |
| | 交流GS | 竹内 志織 | 神 在 | 川上真裕美 | 神 在 | 乙子ゆかり | 三 勲 | 住永 理恵 | 三 勲 |
| | 交流GD | 河野・大松 | 内 山 下 | 島田・浅野 | 内 山 下 | 高越・野口 | 清 音 | 宇垣・広直 | 千 種 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | (4は4位) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ABS | 佐伯 浩一 | 永井 | 三宅 康祐 | 永井 | 西峯 大輔 | 永井 | 4 谷口 佳正 | 太伯 |
| | ABD | 金子・稲田 | 永井 | 谷口・尾崎 | 太伯 | 妹尾・田渕 | 永井 | 4 松本・永井 | 永井 |
| | AGS | 黒田 静香 | 永井 | 谷口 知子 | 太伯 | 柴 朋美 | 太伯 | 三木彩恵子 | 豊体協 |
| | AGD | 藤原・岡野 | 永井 | 元島・田渕 | 二万 | 青山・守屋 | 二万 | 藤田・渡辺 | 永井 |
| | BBS | 林 晋司 | 総社 | 妹尾 暁 | ウイング | 麻生 将豊 | 永井 | 笠原 淳弘 | 西大寺 |
| | BBD | 江口・水野 | 清音 | 前原・石本 | 清音 | | | | |
| 7 | BGS | 柏野 則子 | 総社 | 片桐由美子 | 西大寺 | 緒方 敬子 | 総社 | 辻 明日夏 | 永井 |
| H,6 | BGD | 沼田・田脇 | 永井 | 藤原・岡野 | 永井 | 木村・旦道 | 西大寺 | 小池・長尾 | 二万 |
| | 4S | 浅原さゆり | 永井 | 谷口 和之 | 太伯 | 黒田 香織 | 永井 | 山本 幸喜 | 太伯 |
| | 4D | 片山・妹尾 | ウイング | 奥山・近藤 | 太伯 | 田渕・神谷 | 二万 | 守屋・小池 | 二万 |
| | 交流BS | 黒木 友浩 | 西江原 | 黒木 曹平 | 西江原 | 佐藤 哲士 | 西江原 | | |
| | 交流BD | 田口・田口 | 三門 | 片山・長田 | 三門 | 藤田・中本 | 清音 | 柴岡・生田 | 三門 |
| | 交流GS | 志多木美絵 | 西江原 | 三宅 香織 | 西江原 | 山室 春奈 | 西江原 | 鷲原 美見 | 三門 |
| | 交流GD | 細羽・安原 | 西江原 | 宇垣・篠埜 | 千種 | 近藤・岡崎 | 幸島 | 藤原・杉島 | 浮田 |
| | ABS | 佐伯 浩一 | 永井 | 永井 大吉 | 永井 | 加藤 侑赳 | 牧石 | 4 仲原健二郎 | 日笠 |
| | ABD | 田渕・妹尾 | 永井 | 谷口・近藤 | 太伯 | 浅原・麻生 | 永井 | 4 江口・水野 | 清音 |
| | AGS | 三木彩恵子 | 豊体協 | 藤原 孝恵 | 永井 | 岡野あゆみ | 永井 | 4 緒方 敬子 | 総社中央 |
| | AGD | 橋本・田渕 | 二万 | 守屋・小池 | 二万 | 岡本・大仲 | 永井 | 4 田脇・武氏 | 永井 |
| | BBS | 笠原 淳弘 | 西大寺 | 田口 祐介 | 三門 | 谷口 和之 | 太伯 | | |
| | BBD | 神社・藤井 | 清音 | 江口・松永 | 清音 | 溝川・小原 | 清音 | | |
| 8 | BGS | 浅原さゆり | 永井 | 岡崎あかね | 豊体協 | 黒田 香織 | 永井 | | |
| H,7 | BGD | 橋本・鶴海 | 豊体協 | 青江・足立 | 西大寺 | 黒明・砂田 | 永井 | | |
| | 4S | 堀 眞人 | 永井 | 守屋 雅司 | 二万 | 原野 浩司 | 西大寺 | 石井 直美 | 西大寺 |
| | 4D | 田渕・神谷 | 二万 | 田渕・末守 | 二万 | 石井・三宅 | 永井 | | |
| | 交流BS | 緒方 利彦 | 総社中央 | 川上 尚徳 | 神在 | 田口 譲司 | 三門 | | |
| | 交流BD | 林 ・青井 | 総社 | 藤井・山西 | 清音 | | | | |
| | 交流GS | 辻村 彩 | 三勲 | 粂谷 仁美 | 三勲 | 佐野 優紀 | 三勲 | 小河 理紗 | 野谷 |
| | 交流GD | 薬師寺・長野 | 総社 | 高杉・山田 | 三勲 | 米澤・坂根 | 浮田 | 佐藤・吉井 | 高島 |
| | ABS | 岩田 翔舞 | 永井 | 田中 翔 | 第三藤田 | 津山 裕史 | 永井 | 小幡 康弘 | 永井 |
| | ABD | 堀 ・松本 | 永井 | 長瀬・中尾 | 永井 | 佐伯・東山 | 永井 | 4 石井・三宅 | 永井 |
| | AGS | 大仲真生美 | 永井 | 沼田 望 | 永井 | 田脇 綾子 | 永井 | 岡野由有佳 | 永井 |
| | AGD | 岡野・岡本 | 永井 | 黒田・藤原 | 永井 | 田中・小野 | 永井 | 鶴海・高原 | 豊体協 |
| | BBS | 小川 芳弘 | 永井 | 佐藤 真啓 | 第三藤田 | 清水 貴久 | 第三藤田 | 片岡 大陽 | 幸島 |
| | BGS | 北川 由香 | 豊体協 | 尾崎恵理香 | 太伯 | 井上 真美 | 二万 | | |
| 9 | BGD | 近藤・近藤 | 幸島 | 片岡・小谷 | 永井 | 佐野・島田 | 清音 | 桜井・太田 | 西大寺 |
| H,8 | 4S | 田村 侑介 | 永井 | 田宮 旭人 | 二万 | 西山 愛里 | 永井 | 大村 一博 | 永井 |
| | 4D | 三宅・石井 | 永井 | 和田・宮崎 | 永井 | 上岡・上岡 | 太伯 | 幡中・岡崎 | 豊体協 |
| | 初BS | 木村 光伸 | 第三藤田 | 秋元 崇志 | 西大寺 | 荒木 清志 | 清音 | 服部 達也 | 西大寺 |
| | 初GS | 田中 薫 | 第三藤田 | 小西 冴香 | 西大寺 | 青木 香澄 | 西大寺 | 武田奈穂子 | 西大寺 |
| | 交流BS | 妹尾 和也 | 三国 | 野田 博之 | 三国 | 浦上 祐一 | 三国 | | |
| | 交流GS | 米澤 雪恵 | 浮田 | 杉田加代子 | 中庄 | 山口可奈絵 | 中庄 | | |
| | 交流GD | 長尾・小野田 | 陵南 | 永井・藤岡 | 浮田 | 小林・上田 | 平島 | 寒川・牧 | 平島 |

## 2）県外大会

### ①中国小学生大会

1985(昭和60)年3月，鳥取県において第1回大会を開催。

| 回・年・場所 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>S,61<br>岡山市 | GS | | | | | 松王峰代子 | 豊体協 | | |
| 5<br>S,63<br>玉湯町 | BD | | | 大森・生野 | 二万 | 丸山・守屋 | 二万 | 大栄・松下 | 二万 |
| 6<br>H,元<br>広島市 | BS | | | 数田 佳伸 | 永井 | | | | |
| | BD | | | | | 岡崎・庄田 | 太伯 | | |
| | GS | | | 横辺 葵 | 永井 | 加藤 美香 | 牧石 | | |
| | GD | 岡本・岡 | 永井 | 池田・田渕 | 太伯 | 次田・森 | 太伯 | 岡本・山本 | 永井 |
| 7<br>H,2<br>米子市 | BS | 富田 章裕 | 永井 | | | | | | |
| | BD | 長間・田辺 | 永井 | | | | | | |
| | GS | 田井 優希 | 永井 | | | 千原 聡子 | 永井 | 山本 泰子 | 永井 |
| | GD | | | 橋村・山川 | 永井 | | | | |
| 8<br>H,3<br>岡山市 | BS | 柴田 匡史 | 太伯 | 橋村 竜彦 | 永井 | 谷口 昌之 | 太伯 | | |
| | BD | | | 田中・小西 | 永井 | | | | |
| | GS | 山本 泰子 | 永井 | 井山 美里 | 豊体協 | | | | |
| | GD | 千原・横辺 | 永井 | 加藤・浜田 | 牧石 | 大角・河野 | 永井 | | |
| 9<br>H,4<br>徳山市 | BS | 橋村 竜彦 | 永井 | 尾崎 勝久 | 太伯 | | | | |
| | BD | | | 尾崎・宗田 | 太伯 | 藤田・興梠 | 永井 | | |
| | GS | 井山 美里 | 豊体協 | 山本 泰子 | 永井 | 守屋 仁美 | 永井 | 河野亜矢子 | 永井 |
| | GD | 谷口・谷口 | 太伯 | 神谷・瀬尾 | 二万 | 野津・信江 | 永井 | | |
| 10<br>H,5<br>玉湯町 | BS | 平田 雄己 | 永井 | 尾崎 良助 | 太伯 | 谷口 佳正 | 太伯 | | |
| | BD | | | | | 西野・窪田 | 永井 | | |
| | GS | 守屋 仁美 | 永井 | 黒田 静香 | 永井 | 谷口 貴美 | 太伯 | | |
| | GD | | | 五味・岡 | 永井 | 橋本・秋山 | 豊体協 | | |
| 11<br>H,6<br>呉市 | BS | 佐伯 浩一 | 永井 | 西峯 大輔 | 永井 | 三宅 康祐 | 永井 | | |
| | BD | 金子・稲田 | 永井 | 谷口・尾崎 | 太伯 | | | | |
| | GS | 黒田 静香 | 永井 | 谷口 知子 | 太伯 | 三木彩恵子 | 豊体協 | | |
| | GD | | | 藤原・岡野 | 永井 | 青山・守屋 | 二万 | | |
| 12<br>H,7<br>鳥取市 | BS | 佐伯 浩一 | 永井 | | | | | | |
| | BD | 田渕・妹尾 | 永井 | 谷口・近藤 | 太伯 | | | | |
| | GS | 三木彩恵子 | 豊体協 | | | 緒方 敬子 | 総社中央 | 藤原 孝恵 | 永井 |
| | GD | | | | | 橋本・田渕 | 二万 | | |
| 13<br>H,8<br>岡山市 | BS | | | | | | | | |
| | BD | | | | | 堀・松本 | 永井 | | |
| | GS | 大仲真生美 | 永井 | 浅原さゆり | 永井 | 岡野由有佳 | 永井 | | |
| | GD | 岡野・岡本 | 永井 | | | 黒田・藤原 | 永井 | | |

## ⑵中学校体育連盟

### １）県内大会

### ①県中学校総合体育大会

#### ア）学校対抗戦

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | ＢＴ | 倉敷福田 | 倉敷北 | 藤田 | 倉敷西 |
| S,42 | ＧＴ | 山陽女子 | 倉敷西 | 岡輝 | 岡北 |
| 6 | ＢＴ | 多津美 | 倉敷福田 | 倉敷東 | 倉敷西 |
| S,43 | ＧＴ | 倉敷西 | 藤田 | 総社西 | 瀬戸 |
| 7 | ＢＴ | 倉敷福田 | 倉敷西 | | |
| S,44 | ＧＴ | 倉敷西 | 山陽女子 | | |
| 8 | ＢＴ | 総社西 | 倉敷福田 | 藤田 | 多津美 |
| S,45 | ＧＴ | 瀬戸 | 倉敷西 | 山陽女子 | 児島 |
| 9 | ＢＴ | 総社西 | 多津美 | 倉敷北 | 円城 |
| S,46 | ＧＴ | 山陽女子 | 瀬戸 | 倉敷北 | 倉敷西 |
| 10 | ＢＴ | 円城 | 倉敷西 | 倉敷東 | 倉敷福田 |
| S,47 | ＧＴ | 瀬戸 | 倉敷北 | 倉敷東 | 倉敷西 |
| 11 | ＢＴ | 倉敷西 | 倉敷北 | 円城 | 総社西 |
| S,48 | ＧＴ | 瀬戸 | 山陽女子 | 倉敷西 | 倉敷北 |
| 12 | ＢＴ | 円城 | 倉敷東 | 倉敷西 | 旭東 |
| S,49 | ＧＴ | 瀬戸 | 山陽女子 | 白石 | 倉敷福田 |
| 13 | ＢＴ | 倉敷東 | 倉敷西 | 倉敷福田 | 藤田 |
| S,50 | ＧＴ | 山陽女子 | 大島 | 白石 | 瀬戸 |
| 14 | ＢＴ | 円城 | 旭東 | 倉敷西 | 倉敷東 |
| S,51 | ＧＴ | 白石 | 山陽女子 | 岡山福田 | 瀬戸 |
| 15 | ＢＴ | 倉敷東 | 白石 | 倉敷西 | 藤田 |
| S,52 | ＧＴ | 白石 | 倉敷西 | 倉敷東 | 大島 |
| 16 | ＢＴ | 倉敷西 | 白石 | 倉敷北 | 旭東 |
| S,53 | ＧＴ | 白石 | 山陽女子 | 西大寺 | 上南 |
| 17 | ＢＴ | 旭東 | 倉敷西 | 倉敷第一 | 西大寺 |
| S,54 | ＧＴ | 白石 | 上南 | 山陽女子 | 旭東 |
| 18 | ＢＴ | 円城 | 白石 | 倉敷西 | 倉敷東 |
| S,55 | ＧＴ | 白石 | 上南 | 西大寺 | 牛窓 |
| 19 | ＢＴ | 倉敷福田 | 倉敷西 | 白石 | 倉敷北 |
| S,56 | ＧＴ | 倉敷西 | 白石 | 備前 | 上南 |
| 20 | ＢＴ | 白石 | 倉敷西 | 芳泉 | 倉敷北 |
| S,57 | ＧＴ | 瀬戸 | 白石 | 岡北 | 倉敷西 |
| 21 | ＢＴ | 白石 | 倉敷西 | 上道 | 倉敷北 |
| S,58 | ＧＴ | 備前 | 白石 | 岡北 | 瀬戸 |
| 22 | ＢＴ | 岡山福田 | 総社西 | 倉敷福田 | 倉敷第一 |
| S,59 | ＧＴ | 白石 | 備前 | 高島 | 倉敷北 |
| 23 | ＢＴ | 白石 | 芳泉 | 倉敷西 | 倉敷第一 |
| S,60 | ＧＴ | 西大寺 | 備前 | 山陽女子 | 上南 |
| 24 | ＢＴ | 芳泉 | 高島 | 倉敷西 | 倉敷第一 |
| S,61 | ＧＴ | 岡北 | 瀬戸 | 白石 | 芳泉 |
| 25 | ＢＴ | 倉敷北 | 白石 | 岡北 | 岡山福田 |
| S,62 | ＧＴ | 岡北 | 倉敷第一 | 鴨方 | 高陽 |
| 26 | ＢＴ | 岡北 | 倉敷東 | 倉敷第一 | 倉敷西 |
| S,63 | ＧＴ | 岡北 | 西大寺 | 鴨方 | 新吉 |
| 27 | ＢＴ | 倉敷第一 | 倉敷東 | 上南 | 倉敷西 |
| H,元 | ＧＴ | 岡北 | 山陽女子 | 西大寺 | 総社東 |
| 28 | ＢＴ | 岡北 | 倉敷西 | 上道 | 総社東 |
| H,2 | ＧＴ | 西大寺 | 岡北 | 芳泉 | 鴨方 |

| 回年 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 |
|---|---|---|---|---|
| 29 | BT | 岡　北 | 倉敷第一 | 総社東 |
| H,3 | GT | 岡　北 | 総社東 | 山　南 |
| 30 | BT | 倉敷第一 | 倉敷西 | 総社西 |
| H,4 | GT | 山　南 | 岡　北 | 倉敷第一 |
| 31 | BT | 倉敷第一 | 倉敷東 | 倉敷西 |
| H,5 | GT | 岡　北 | 西大寺 | 倉敷第一 |
| 32 | BT | 山　南 | 総社西 | 倉敷第一 |
| H,6 | GT | 西大寺 | 倉敷北 | 山　南 |
| 33 | BT | 倉敷福田 | 山　南 | 芳　泉 |
| H,7 | GT | 西大寺 | 倉敷第一 | 倉敷福田 |
| 34 | BT | 山　南 | 芳　泉 | 連　島 |
| H,8 | GT | 倉敷第一 | 西大寺 | 瀬　戸 |

### イ）個人戦

| 回・年・場所 | 種目 | 1　位 | | 2　位 | | 3　位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 山本 | 倉敷福田 | 橋本　直人 | 倉敷福田 | 中村 | 倉敷北 | 上野 | 倉敷福田 |
| 5 | BD | 川端・岡野 | 倉敷福田 | 上野・山本 | 倉敷福田 | 和田・西前 | 倉敷福田 | 中村・今井 | 倉敷北 |
| S,42 | GS | 栗尾　圭子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 永山　文子 | 倉敷西 | 鳥越 | 岡北 |
| | GD | 吉田・栗尾 | 山陽女子 | | | | | | |
| | BS | 森　貴正 | 多津美 | 松山　明史 | 倉敷西 | 永井　孝 | 倉敷福田 | 橋本　直人 | 倉敷福田 |
| 6 | BD | 松山・黒岡 | 倉敷西 | 橋本・佐々木 | 倉敷福田 | 森・松尾 | 多津美 | 元田・永井 | 倉敷福田 |
| S,43 | GS | 林　寿美子 | 山陽女子 | 大野　洋子 | 藤田 | 岡田　恵子 | 倉敷西 | 近藤　静子 | 倉敷西 |
| | GD | 林・岸本 | 山陽女子 | 深本・藤井 | 松原 | 渡辺・美須 | 倉敷西 | 宮谷・三宅 | 山陽女子 |
| | BS | 堀　全雄 | 倉敷西 | 田淵 | 倉敷福田 | 森川　憲治 | 藤田 | 重井　文博 | 倉敷東 |
| 7 | BD | 田淵・塩見 | 倉敷福田 | 堀・平松 | 倉敷西 | 森上・重井 | 倉敷東 | 岸野・田中 | 倉敷福田 |
| S,44 | GS | 宮谷　千恵 | 山陽女子 | | | | | | |
| | GD | 宮谷・三宅 | 山陽女子 | | | | | | |
| | BS | 平松 | 松原 | 在間　洋則 | 総社西 | 平田　博文 | 総社西 | 山内 | 倉敷福田 |
| 8 | BD | 中原・平田 | 総社西 | 平松・小野 | 倉敷北 | 平松・森下 | 松原 | 山内・高木 | 倉敷福田 |
| S,45 | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 林　正子 | 倉敷西 | 大森　陽子 | 倉敷西 | 大塚美恵子 | 倉敷西 |
| | GD | 木下・池光 | 瀬戸 | 岸本・岸本 | 瀬戸 | 大岩・小山 | 瀬戸 | 大森・大塚 | 倉敷西 |
| | BS | 村田　知義 | 総社西 | 橋本　敏邦 | 多津美 | 剣持　和弘 | 倉敷西 | 大森 | 倉敷北 |
| 9 | BD | 村田・角田 | 総社西 | 松田・永井 | 倉敷福田 | 景山・大森 | 倉敷北 | 剣持・森 | 倉敷西 |
| S,46 | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 広瀬　純子 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 瀬戸 | 国定　久恵 | 瀬戸 |
| | GD | 原田・広瀬 | 山陽女子 | 国定・藤原 | 瀬戸 | 西・平松 | 倉敷西 | 平田・野上 | 倉敷北 |
| | BS | 山本　忠男 | 円城 | 安田　央 | 倉敷東 | 鳥越　角二 | 倉敷西 | 服部　金美 | 円城 |
| 10 | BD | 藤原・片岡 | 倉敷西 | 草地・山本 | 円城 | 貝原・川本 | 倉敷北 | 山谷・藤井 | 総社西 |
| S,47 | GS | 松本　千鶴 | 倉敷北 | 宇垣　裕子 | 瀬戸 | 岡本　典子 | 倉敷西 | 高木　和子 | 山陽女子 |
| | GD | 松本・薮内 | 倉敷北 | 平田・野上 | 倉敷北 | 岡本・守屋 | 倉敷西 | 宇垣・岸 | 瀬戸 |
| | BS | 槙野　徹 | 倉敷北 | 林　貞二 | 倉敷西 | 林　美 | 倉敷西 | 定家　国則 | 倉敷東 |
| 11 | BD | 林・横山 | 倉敷西 | 山本・河田 | 総社西 | 中田・林 | 倉敷西 | 槙野・野口 | 倉敷北 |
| S,48 | GS | 片山　京子 | 瀬戸 | 高木　和子 | 山陽女子 | 大源　和美 | 倉敷東 | 小谷　仁美 | 倉敷東 |
| | GD | 片山サ・片山キ | 瀬戸 | 高木・藤原 | 山陽女子 | 小野・石川 | 倉敷北 | 井上・石井 | 瀬戸 |
| | BS | 守安　達二 | 倉敷東 | 撰　真行 | 倉敷東 | 杉山　紘幸 | 藤田 | 高下　靖朗 | 倉敷東 |
| 12 | BD | 中山・池本 | 円城 | 守安・高下 | 倉敷東 | 杉山・政田 | 藤田 | 河原・岩木 | 円城 |
| S,49 | GS | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 近藤　和子 | 瀬戸 | 峰政ひとみ | 瀬戸 | 梶田　百枝 | 瀬戸 |
| | GD | 河本・梶田 | 瀬戸 | 田辺・岡山 | 山陽女子 | 猪原・山口 | 倉敷福田 | 峰政・近藤 | 瀬戸 |
| | BS | 撰　真行 | 倉敷東 | 松本　伸二 | 倉敷西 | 白神　昭三 | 倉敷西 | 亀山　文雄 | 倉敷東 |
| 13 | BD | 難波・白神 | 倉敷西 | 松本・守屋 | 倉敷西 | 亀山・撰 | 倉敷東 | 井料田・石下 | 旭東 |
| S,50 | GS | 光畑　仁恵 | 山陽女子 | 河田富美子 | 白石 | 中川智恵美 | 白石 | 永守　恵子 | 山陽女子 |
| | GD | 斉藤・大島 | 大島 | 西川・藤井 | 大島 | 岸本・皿井 | 瀬戸 | 河田・中川 | 白石 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 斉藤 典安 | 円 城 | 山本羽留忠 | 円 城 | 能勢 真二 | 円 城 | 平尾 元彦 | 庄 |
| 14 | BD | 能勢・山本 | 円 城 | 大月・小林 | 円 城 | 斉藤・国只 | 円 城 | 石下・浜田 | 旭 東 |
| S,51 | GS | 原田 美和 | 白 石 | 天野 真理 | 白 石 | 中川智恵美 | 白 石 | 直原 浩子 | 山陽女子 |
| | GD | 松島・直原 | 山陽女子 | 中川・河田 | 白 石 | 佐々木・広谷 | 倉敷第一 | 樋口・天野 | 白 石 |
| | BS | 中川 勢登 | 白 石 | 小野 俊雄 | 総社西 | 西江 均 | 藤 田 | 太田 幸男 | 倉敷東 |
| 15 | BD | 太田・坂本 | 倉敷東 | 西江・永原 | 藤 田 | 楢原・阿部 | 西大寺 | 米田・金子 | 倉敷東 |
| S,52 | GS | 樋口 利美 | 白 石 | 天野 真理 | 白 石 | 原田 美和 | 白 石 | 藤井 優子 | 倉敷東 |
| | GD | 天野・原田 | 白 石 | 樋口・杉原 | 白 石 | 森川・坪井 | 倉敷西 | 藤井・笠崎 | 倉敷東 |
| | BS | 天野 大作 | 白 石 | 片岡 洋一 | 倉敷西 | 妹尾 和彦 | 藤 田 | 下村 直人 | 倉敷西 |
| 16 | BD | 天野・宮本 | 白 石 | 片岡・田中 | 倉敷西 | 原 ・小林 | 西大寺 | 山崎・古林 | 倉敷東 |
| S,53 | GS | 合田なおみ | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 | 小見山辰代 | 白 石 | 三宅 幸代 | 西大寺 |
| | GD | 合田・木下 | 山陽女子 | 小見山・原田 | 白 石 | 山川・原田 | 白 石 | 竹原・三宅 | 西大寺 |
| | BS | 石田 考一 | 倉敷西 | 光岡 輝男 | 旭 東 | 福光 昭夫 | 旭 東 | 林 保典 | 倉敷西 |
| 17 | BD | 石田・ 林 | 倉敷西 | 光岡・福光 | 旭 東 | 中西・増田 | 旭 東 | 沼 ・諏訪 | 倉敷北 |
| S,54 | GS | 原田 明子 | 白 石 | 小見山辰代 | 白 石 | 山川 奈緒 | 白 石 | 山川 光代 | 白 石 |
| | GD | 原田・小見山 | 白 石 | 山川ナ・中川ア | 白 石 | 山川・原田 | 白 石 | 吉田・吉岡 | 上 南 |
| | BS | 鶴沢 克彦 | 円 城 | 井上 俊博 | 倉敷西 | 綱島 淳二 | 円 城 | 能勢 恭行 | 円 城 |
| 18 | BD | 鶴沢・能勢 | 円 城 | 小倉・綱島 | 円 城 | 井上・倉本 | 倉敷西 | 杉原・鶴田 | 白 石 |
| S,55 | GS | 山川 奈緒 | 白 石 | 中川 史子 | 白 石 | 天野紀三子 | 白 石 | 河田 千波 | 白 石 |
| | GD | 山川ナ・中川ワ | 白 石 | 河田・中川イ | 白 石 | 天野・天野 | 白 石 | 西 ・佐藤 | 倉敷西 |
| | BS | 梶尾 圭介 | 倉敷福田 | 今東 建 | 西大寺 | 梶尾 治郎 | 倉敷福田 | 秋田 修一 | 倉敷西 |
| 19 | BD | 梶尾ジ・梶尾ケ | 倉敷福田 | 山川ヨ・石井 | 白 石 | 草加タ・井口 | 備 前 | 草加・吉信 | 備 前 |
| S,56 | GS | 天野紀三子 | 白 石 | 日下三和子 | 上 南 | 本城 葉子 | 西大寺 | 楢原 綾美 | 瀬 戸 |
| | GD | 天野イ・天野キ | 白 石 | 日下・国清 | 上 南 | 木山・平松 | 倉敷西 | 村上・諏訪 | 倉敷西 |
| | BS | 山川 喜己 | 白 石 | 豊島 和広 | 白 石 | 天野 雄司 | 白 石 | 大森 章裕 | 倉敷西 |
| 20 | BD | 豊島・天野 | 白 石 | 土屋・小林 | 倉敷東 | 天野・中川 | 白 石 | 大森・郷田 | 倉敷西 |
| S,57 | GS | 近常 直美 | 岡 北 | 西林 昭子 | 備 前 | 藤原 玲子 | 瀬 戸 | 竹原 純子 | 西大寺 |
| | GD | 近常・坂本 | 岡 北 | 小見山・西原 | 白 石 | 岸本・藤原 | 瀬 戸 | 馬場・上田 | 瀬 戸 |
| | BS | 天野 雄司 | 白 石 | 天野 光 | 白 石 | 豊島 和広 | 白 石 | 木山 貴彦 | 倉敷西 |
| 21 | BD | 天野ユ・豊島 | 白 石 | 山川ユ・中川カ | 白 石 | 岡 ・武政 | 倉敷西 | 木山・小川 | 倉敷西 |
| S,58 | GS | 西林 昭子 | 備 前 | 紀井 晴美 | 備 前 | 西原 綾子 | 白 石 | 久本いづみ | 備 前 |
| | GD | 紀井・西林 | 備 前 | 横山・小林 | 瀬 戸 | 平尾・藤原 | 備 前 | 西原・小見山 | 白 石 |
| | BS | 横田 豊和 | 総社西 | 福山 裕之 | 岡山福田 | 難波 睦 | 庄 | 平尾 昌也 | 備 前 |
| 22 | BD | 石原・福山 | 岡山福田 | 宮迫・藤原 | 倉敷第一 | 三谷・角谷 | 芳 泉 | 山中・中山 | 岡山福田 |
| S,59 | GS | 久本いづみ | 備 前 | 片岡 弓子 | 上 南 | 豊島 君代 | 白 石 | 山川 ア | 白 石 |
| | GD | 久本・村瀬 | 備 前 | 山川ア・桑原 | 白 石 | 山川エ・原田 | 白 石 | 田口・西谷 | 備 前 |
| | BS | 福田 哲 | 芳 泉 | 門野 尚隆 | 芳 泉 | 西原 博晃 | 白 石 | 赤枝 一史 | 芳 泉 |
| 23 | BD | 福田・松田 | 芳 泉 | 天野・中川 | 白 石 | 西原・原田 | 白 石 | 門野・十鳥 | 芳 泉 |
| S,60 | GS | 柚木 陽子 | 山陽女子 | 佐藤 由香 | 西大寺 | 中村美恵子 | 上 南 | 山ノ内すみか | 倉敷福田 |
| | GD | 山川・原田 | 白 石 | 佐藤・赤坂 | 西大寺 | 国清・中村 | 上 南 | 松本・水玉 | 備 前 |
| | BS | 中井 康博 | 芳 泉 | 竹中僚有生 | 芳 泉 | 石田 猛 | 高 島 | 福山 琢也 | 芳 泉 |
| 24 | BD | 福山・石井 | 芳 泉 | 竹中・鈴木 | 芳 泉 | 中井・石本 | 芳 泉 | 西原・山川 | 白 石 |
| S,61 | GS | 中丸真規子 | 岡 北 | 片山 朋子 | 岡 北 | 横田 裕子 | 山陽女子 | 溝淵 真規 | 岡 北 |
| | GD | 片山・溝淵 | 岡 北 | 中丸・宇野 | 岡 北 | 佐藤・島村 | 瀬 戸 | 天野・山川 | 白 石 |
| | BS | 古谷 昌之 | 岡山福田 | 三辻 邦章 | 岡山福田 | 天野 広治 | 白 石 | 坂手 克行 | 岡 北 |
| 25 | BD | 池田・福岡 | 倉敷北 | 古谷・三辻 | 岡山福田 | 小林・坂手 | 岡 北 | 天野・花房 | 白 石 |
| S,62 | GS | 須々木昌子 | 岡 北 | 植田 喜久 | 岡 北 | 中里佳奈恵 | 西大寺 | 住矢 美幸 | 岡 北 |
| | GD | 須々木・水田 | 岡 北 | 国光・垣内 | 鴨 方 | 高橋・桜田 | 倉敷第一 | 岩田・井口 | 備 前 |
| | BS | 仁井 昌志 | 岡 北 | 保津 文武 | 倉敷東 | 貝原 史朗 | 倉敷西 | 岡本 康寛 | 倉敷第一 |
| 26 | BD | 永山・清水 | 岡 北 | 平松・佐藤 | 倉敷西 | 浜松・太田 | 倉敷東 | 三宅・藤原 | 倉敷東 |
| S,63 | GS | 住矢 美幸 | 岡 北 | 高岡 ゆり | 岡 北 | 佐藤 由紀 | 西大寺 | 藤井真紀子 | 新 吉 |
| | GD | 松宮・ 轟 | 山陽女子 | 植田・明神 | 岡 北 | 炎田・ 角 | 鴨 方 | 中山・郷田 | 倉敷西 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 H,元 | BS | 甲　直也 | 上　南 | 岡崎　俊道 | 上　南 | 田中　学 | 倉敷第一 | 亀沢　直弘 | 倉敷第一 |
| | BD | 広地・篠田 | 倉敷第一 | 西村・森脇 | 倉敷第一 | 井上・守安 | 倉敷東 | 水谷・山村 | 芳　泉 |
| | GS | 堀内ちひろ | 岡　北 | 松王峰代子 | 西大寺 | 河田　桂子 | 鴨　方 | 宇野真奈美 | 岡　北 |
| | GD | 明神・森繁 | 岡　北 | 植田・住矢 | 岡　北 | 上山・横田 | 総社東 | 轟・八木 | 山陽女子 |
| 28 H,2 | BS | 草井　篤 | 上　南 | 赤松　茂 | 岡　北 | 一井　芳隆 | 倉敷福田南 | 森田　洋 | 総社東 |
| | BD | 竹下・平松 | 倉敷西 | 横井・正躰 | 倉敷西 | 杉島・尾崎 | 上　道 | 渡元・吉満 | 倉敷第一 |
| | GS | 松王峰代子 | 西大寺 | 住矢　直美 | 岡　北 | 加藤　君代 | 鴨　方 | 伊達　恵 | 備　前 |
| | GD | 鐘築・重光 | 西大寺 | 長門・神宝 | 西大寺 | 山本・秋山 | 岡　北 | 太田・山口 | 山陽女子 |
| 29 H,3 | BS | 小倉　康 | 倉敷第一 | 数田　佳伸 | 玉島東 | 榊原　努 | 倉敷北 | 三宅　隆之 | 倉敷第一 |
| | BD | 楢原・三宅 | 岡　北 | 小高・横山 | 岡　北 | 西井・西本 | 総社東 | 三宅・大本 | 庄 |
| | GS | 加藤　美香 | 岡　北 | 赤澤　景子 | 玉島東 | 横辺　葵 | 真備東 | 柏野　雅美 | 総社東 |
| | GD | 須々木・浜田 | 岡　北 | 次田・佐藤 | 山　南 | 福島・竹岡 | 岡山福田 | 篠田・斉藤 | 倉敷第一 |
| 30 H,4 | BS | 数田　佳伸 | 玉島東 | 真木　宏之 | 総社東 | 片岡　崇 | 倉敷第一 | 佐藤慎一郎 | 総社西 |
| | BD | 岡本・原田 | 倉敷第一 | 西野・犬飼 | 庄 | 岡・高橋 | 総社東 | 河村・小田 | 倉敷西 |
| | GS | 加藤　美香 | 岡　北 | 赤澤　景子 | 倉敷第一 | 田井　優希 | 児　島 | 横辺　葵 | 真備東 |
| | GD | 次田・佐藤 | 山　南 | 岡本マ・岡本サ | 倉敷南 | 斉藤・岡 | 敷第一 | 松本・谷口 | 山　南 |
| 31 H,5 | BS | 杉山　学 | 上　道 | 松川　大記 | 倉敷東 | 長間　浩司 | 琴　浦 | 都志研二郎 | 倉敷西 |
| | BD | 吉田・若林 | 倉敷第一 | 永井・山川 | 倉敷東 | 川野・遠藤 | 総社西 | 花房・岡村 | 倉敷北 |
| | GS | 田井　優希 | 児　島 | 雄龍めぐみ | 岡　北 | 山本　泰子 | 倉敷北 | 山田　和子 | 倉敷福田 |
| | GD | 加藤・小林 | 岡　北 | 宇野・浜田 | 岡　北 | 千原・大角 | 倉敷北 | 三松・井山 | 西大寺 |
| 32 H,6 | BS | 橘村　竜彦 | 倉敷福田 | 西岡　大宗 | 山　南 | 柴田　匡史 | 西大寺 | 宍粟　直樹 | 岡　北 |
| | BD | 尾崎・宗田 | 山　南 | 藤田・坂本 | 旭　東 | 小西・田中 | 連　島 | 渡辺・段堂 | 総社西 |
| | GS | 河野亜矢子 | 多津美 | 山本　泰子 | 倉敷北 | 赤木　真弓 | 岡　北 | 井山　美里 | 西大寺 |
| | GD | 浜田・加藤 | 岡　北 | 千原・大角 | 倉敷北 | 小田・岩城 | 西大寺 | 大西・岡本 | 西大寺 |
| 33 H,7 | BS | 橘村　竜彦 | 倉敷福田 | 興梠　岳人 | 倉敷福田 | 谷元　宏基 | 岡　北 | 尾崎　良助 | 山　南 |
| | BD | 尾崎・宗田 | 山　南 | 渡辺・倉岡 | 倉敷第一 | 豊田・時末 | 岡　北 | 西野・窪田 | 琴　浦 |
| | GS | 井山　美里 | 西大寺 | 守屋　仁美 | 倉敷第一 | 谷口　貴美 | 山陽女子 | 信江さと子 | 倉敷東 |
| | GD | 小坂・岩谷 | 倉敷第一 | 河野・小林 | 多津美 | 西山・田村 | 倉敷第一 | 小田・那須 | 西大寺 |
| 34 H,8 | BS | 平田　雄己 | 総社西 | 西峯　大輔 | 倉敷福田 | 三宅　康佑 | 玉島東 | 尾崎　良助 | 山　南 |
| | BD | 西野・窪田 | 琴　浦 | 根木・片岡 | 山　南 | 藤岡・網島 | 芳　泉 | 塩屋・大橋 | 倉敷第一 |
| | GS | 守屋　仁美 | 倉敷第一 | 谷口　貴美 | 山陽女子 | 浜瀬　美佳 | 倉敷南 | 岡　聡美 | 児　島 |
| | GD | 秋山・橋本 | 西大寺 | 黒田・渡辺 | 倉敷第一 | 浅原・本田 | 倉敷第一 | 殿内・岡村 | 瀬　戸 |

## ②県中学校選手権大会

### ア）学校対抗戦　◇1980(S,55)年度から開催される。

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 13 | BT | 円城 | 白石 | 倉敷西 | 倉敷東 |
| S,55 | GT | 白石 | 倉敷第一 | 西大寺 | 上南 |
| 14 | BT | 倉敷福田 | 倉敷西 | 白石 | 倉敷北 |
| S,56 | GT | 倉敷西 | 白石 | 瀬戸 | 西大寺 |
| 15 | BT | 白石 | 倉敷北 | 倉敷西 | 倉敷東 |
| S,57 | GT | 備前 | 岡北 | 倉敷西 | 白石 |
| 16 | BT | 白石 | 倉敷西 | 倉敷第一 | 倉敷福田 |
| S,58 | GT | 備前 | 瀬戸 | 白石 | 上南 |
| 17 | BT | 総社西 | 倉敷第一 | 岡山福田 | 芳泉 |
| S,59 | GT | 備前 | 白石 | 倉敷北 | 高島 |
| 18 | BT | 白石 | 芳泉 | 倉敷第一 | 倉敷西 |
| S,60 | GT | 備前 | 上南 | 西大寺 | 岡北 |
| 19 | BT | 芳泉 | 高島 | 倉敷東 | 倉敷第一 |
| S,61 | GT | 岡北 | 白石 | 瀬戸 | 倉敷西 |
| 20 | BT | 岡北 | 倉敷北 | 倉敷第一 | 白石 |
| S,62 | GT | 岡北 | 鴨方 | 倉敷第一 | 倉敷北 |

☆S,63年度からは，第26回県中学校総合体育大会兼第21回県中学校選手権大会となり，
学校対抗戦・個人戦とも中国大会・全国大会の予選会となる。

### イ）個人戦

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 上野 | 倉敷福田 | | | | | | |
| 1 | BD | 上野・岡野 | 倉敷福田 | | | | | | |
| S,41 | GS | 栗尾　圭子 | 山陽女子 | | | 坪田久仁子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 吉田・栗尾 | 山陽女子 | | | 秋田・根木 | 山陽女子 | | |
| | BS | 上野 | 倉敷福田 | | | | | | |
| 2 | BD | 上野・山本 | 倉敷福田 | | | | | | |
| S,42 | GS | 栗尾　圭子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 藤田 | 大野　洋子 | 藤田 |
| | GD | 吉田・栗尾 | 山陽女子 | 剛迫・花房 | 藤田 | 坪井・高田 | 藤田 | 高原・永山 | 倉敷西 |
| | BS | 橋本　直人 | 倉敷福田 | | | | | | |
| 3 | BD | 森・松尾 | 多津美 | | | | | | |
| S,43 | GS | 岡田　恵子 | 倉敷西 | | | 林　寿美子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 岸本・林 | 山陽女子 | | | | | | |

☆S,44～S,45年度は大会は開催されなかった。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 橋本　敏邦 | 多津美 | 村田　知義 | 総社西 | 角田　裕之 | 総社西 | 剣持　和弘 | 倉敷西 |
| 4 | BD | 村田・角田 | 総社西 | 剣持・森 | 倉敷西 | 橋本・日笠 | 多津美 | 小野・平川 | 倉敷東 |
| S,46 | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 広瀬　純子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 瀬戸 | 藤原　敦子 | 瀬戸 |
| | GD | 原田・広瀬 | 山陽女子 | 国定・藤原 | 瀬戸 | 森岡・難波 | 倉敷西 | 西・平松 | 倉敷西 |
| | BS | 藤原　道弘 | 倉敷西 | 服部　金美 | 円城 | 草地　哲也 | 円城 | 山本　忠男 | 円城 |
| 5 | BD | 山本・草地 | 円城 | 服部・岩本 | 円城 | 貝原・川本 | 倉敷北 | 山谷・藤井 | 総社西 |
| S,47 | GS | 松本　千鶴 | 倉敷北 | 薮内　明子 | 倉敷北 | 守屋　順子 | 倉敷西 | 岡本　典子 | 倉敷西 |
| | GD | 松本・薮内 | 倉敷北 | | | | | | |
| | BS | 安田　央 | 倉敷東 | 定家　国則 | 倉敷東 | 林　貞二 | 倉敷北 | 野口　弘 | 倉敷北 |
| 6 | BD | 槙野・野口 | 倉敷北 | 安田・定家 | 倉敷東 | 林・横山 | 倉敷西 | 足羽・味野 | 倉敷西 |
| S,48 | GS | 片山　幸子 | 瀬戸 | 高木　和子 | 山陽女子 | 小野　典子 | 倉敷北 | 片山　京子 | 瀬戸 |
| | GD | 小野・石川 | 倉敷北 | 高木・藤原 | 山陽女子 | 石原・杉原 | 山陽女子 | 西野・高原 | 倉敷北 |
| | BS | 守安　達二 | 倉敷東 | 高下　靖朗 | 倉敷東 | 中山　修 | 円城 | 河原　和夫 | 円城 |
| 7 | BD | 中山・池本 | 円城 | 河原・岩木 | 円城 | 守安・高下 | 倉敷東 | 杉山・政田 | 藤田 |
| S,49 | GS | 梶田　百枝 | 瀬戸 | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 峰政ひとみ | 瀬戸 | 河本　美恵 | 瀬戸 |
| | GD | 河本・梶田 | 瀬戸 | 猪原・山口 | 倉敷福田 | 前田・田畑 | 倉敷福田 | 峰政・谷 | 瀬戸 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 亀山　文雄 | 倉敷東 | 撰　真行 | 倉敷東 | 難波　義雄 | 倉敷西 | 白神　昭三 | 倉敷西 |
| 8 | BD | 杉山・政岡 | 藤田 | 亀山・撰 | 倉敷東 | 松本・守屋 | 倉敷西 | 難波・白神 | 倉敷西 |
| S,50 | GS | 串田　有子 | 山陽女子 | 斉藤　薫 | 大島 | 岸本千恵子 | 瀬戸 | 磯山　智子 | 山陽女子 |
| | GD | 斉藤・大島 | 大島 | 西川・藤井 | 大島 | 岸本・皿井 | 瀬戸 | 岸本・井上 | 瀬戸 |
| | BS | 斉藤　典安 | 円城 | 山本羽留忠 | 円城 | 平尾　元彦 | 庄 | 国只　貢 | 円城 |
| 9 | BD | 大月・小林 | 円城 | 能勢・山本 | 円城 | 井料田・浜田 | 旭東 | 石下・浦上 | 旭東 |
| S,51 | GS | 原田　美和 | 白石 | 河田富美子 | 白石 | 天野　裕代 | 白石 | 天野　真理 | 白石 |
| | GD | 中川・河田 | 白石 | 松島・直原 | 山陽女子 | 樋口・天野 | 白石 | 佐々木・広谷 | 倉敷第一 |
| | BS | 西江　均 | 藤田 | 中川　勢登 | 白石 | 小野　俊雄 | 総社西 | 太田　幸男 | 倉敷東 |
| 10 | BD | 太田・坂本 | 倉敷東 | 中原・藤井 | 倉敷東 | 西江・永原 | 藤田 | 高橋・石井 | 倉敷西 |
| S,52 | GS | 原田　美和 | 白石 | 天野　真理 | 白石 | 杉原　来子 | 白石 | 樋口　利美 | 白石 |
| | GD | 原田・天野 | 白石 | 樋口・杉原 | 白石 | 森川・坪井 | 倉敷西 | 笠崎・藤井 | 倉敷東 |
| | BS | 天野　大作 | 白石 | 片岡　洋一 | 倉敷西 | 下山　直人 | 倉敷西 | 浅田　茂 | 倉敷北 |
| 11 | BD | 天野・宮本 | 白石 | 片岡・田中 | 倉敷西 | 浅田・福島 | 倉敷北 | 古林・山崎 | 倉敷東 |
| S,53 | GS | 合田なおみ | 山陽女子 | 原田　明子 | 白石 | 三宅　幸代 | 西大寺 | 竹原　桂子 | 西大寺 |
| | GD | 竹原・三宅 | 西大寺 | 合田・木下 | 山陽女子 | 河崎・神農 | 山陽女子 | 田野・堀田 | 総社西 |
| | BS | 石田　考一 | 倉敷西 | 林　保典 | 倉敷西 | 福光　昭夫 | 旭東 | 光岡　輝男 | 旭東 |
| 12 | BD | 石田・林 | 倉敷西 | 光岡・福光 | 旭東 | 中西・増田 | 旭東 | 藤原・日谷 | 倉敷西 |
| S,54 | GS | 原田　明子 | 白石 | 吉田　仁美 | 上南 | 山川　光代 | 白石 | 小見山辰代 | 白石 |
| | GD | 原田ア・小見山 | 白石 | 山川ミ・原田ミ | 白石 | 山川ナ・中川 | 白石 | 吉田・吉岡 | 上南 |
| | BS | 杉原　篤 | 白石 | 綱島　淳二 | 円城 | 倉本　哲生 | 倉敷西 | 鶴沢　克彦 | 円城 |
| 13 | BD | 井上・倉本 | 倉敷西 | 鶴沢・能勢 | 円城 | 小倉・綱島 | 円城 | 杉原・原田 | 白石 |
| S,55 | GS | 山川　奈緒 | 白石 | 中川　史子 | 白石 | 崎野　智子 | 倉敷第一 | 天野紀三子 | 白石 |
| | GD | 山川ナ・中川フ | 白石 | 河田・中川イ | 白石 | 日下・冨岡 | 上南 | 鳥越・河村 | 倉敷西 |
| | BS | 今東　建 | 西大寺 | 浅沼　正和 | 総社東 | 石井　謙一 | 白石 | 秋田　修一 | 倉敷西 |
| 14 | BD | 梶尾ジ・梶尾ケ | 倉敷福田 | 山川ヨ・天野フ | 白石 | 森　・大森 | 倉敷西 | 山本・友久 | 倉敷西 |
| S,56 | GS | 日下三和子 | 上南 | 楢原　綾美 | 瀬戸 | 国清　英子 | 上南 | 小見山いくみ | 白石 |
| | GD | 天野イ・天野キ | 白石 | 村上・諏訪 | 倉敷西 | 杉山・森 | 備前 | 沖田・横山 | 備前 |
| | BS | 畑　健二 | 倉敷福田 | 天野　光 | 白石 | 天野　雄司 | 白石 | 大森　章裕 | 倉敷西 |
| 15 | BD | 山川・天野フ | 白石 | 仁後・川上 | 倉敷西 | 坪井・貝原 | 倉敷北 | 山川・中川 | 白石 |
| S,57 | GS | 小見山いくみ | 白石 | 近常　直美 | 岡北 | 藤原　玲子 | 瀬戸 | 三宅　正江 | 西大寺 |
| | GD | 本荘・鳥中 | 備前 | 小見山・西原 | 白石 | 前田・小松原 | 倉敷北 | 小山・佐藤 | 備前 |
| | BS | 天野　雄司 | 白石 | 木山　貴彦 | 倉敷西 | 天野　光 | 白石 | 中川　清樹 | 白石 |
| 16 | BD | 天野・豊島 | 白石 | 山川・中川 | 白石 | 宮原・宮廻 | 倉敷西 | 岡・小川 | 倉敷西 |
| S,58 | GS | 西林　昭子 | 備前 | 久本いづみ | 備前 | 大木　律子 | 山陽女子 | 井本　恵子 | 瀬戸 |
| | GD | 西原・小見山 | 白石 | 紀井・小坂 | 備前 | 横山・小林 | 瀬戸 | 桑原・山川 | 白石 |
| | BS | 石原　健士 | 岡山福田 | 出原　基記 | 庄 | 難波　睦 | 庄 | 小野 | 庄 |
| 17 | BD | 千々松・古谷野 | 倉敷福田 | 塩月・畑 | 倉敷第一 | 西原・原田 | 白石 | 寺尾・鈴木 | 芳泉 |
| S,59 | GS | 片岡　弓子 | 上南 | 久本いづみ | 備前 | 矢野 | 倉敷北 | 豊島　君代 | 白石 |
| | GD | 山川ア・桑原 | 白石 | 山川エ・原田 | 白石 | 西谷・村瀬 | 備前 | 笠井・松林 | 備前 |
| | BS | 西原　博晃 | 白石 | 平尾　昌也 | 備前 | 片岡　義博 | 上南 | 福田　哲 | 芳泉 |
| 18 | BD | 天野・中川 | 白石 | 山崎・白神 | 倉敷第一 | 市村・神谷 | 倉敷西 | 赤枝・西田 | 芳泉 |
| S,60 | GS | 柚木　陽子 | 山陽女子 | 国清　映子 | 上南 | 水玉　聖子 | 備前 | 岩本　和美 | 瀬戸 |
| | GD | 佐藤・赤坂 | 西大寺 | 山川・原田 | 白石 | 笠本・中村 | 上南 | 多田・石原 | 備前 |
| | BS | 中井　康博 | 芳泉 | 白野　修 | 倉敷西 | 木村　美希 | 備前 | 宮田　昌彦 | 倉敷北 |
| 19 | BD | 福山・石井 | 芳泉 | 丸沢・福田 | 倉敷第一 | 西原・山川 | 白石 | 石田・内藤 | 高島 |
| S,61 | GS | 横田　裕子 | 山陽女子 | 佐藤　仁美 | 瀬戸 | 西原　真美 | 白石 | 安藤　弘美 | 岡北 |
| | GD | 中丸・片山 | 岡北 | 宇野・溝淵 | 岡北 | 河合・宮脇 | 瀬戸 | 天野・山川 | 白石 |
| | BS | 山川　康広 | 白石 | 天野　広治 | 白石 | 古谷　昌之 | 岡山福田 | 坂口　保明 | 倉敷北 |
| 20 | BD | 小林・坂手 | 岡北 | 仁井・川本 | 岡北 | 平松・山本 | 倉敷西 | 池田・福岡 | 倉敷北 |
| S,62 | GS | 竹中　理恵 | 高陽 | 原田みちる | 白石 | 国光　愛 | 鴨方 | 中里佳奈恵 | 西大寺 |
| | GD | 中川・原田リ | 白石 | 須々木・水田 | 岡北 | 藤井・広直 | 瀬戸 | 高橋・桜田 | 倉敷第一 |

### ③県中学校新人大会　　☆S,48年度（7回）大会を最後に廃止。

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 S,42 | BS | 橋本　直人 | 倉敷福田 | 森　貴正 | 多津美 | 芳賀　卓美 | 倉敷西 | 佐々木 | 倉敷福田 |
| | BD | 橋本・佐々木 | 倉敷福田 | 元田・永井 | 倉敷福田 | 森・松尾 | 多津美 | 原田・山本 | 倉敷福田 |
| | GS | 元岡　秀子 | 山陽女子 | 深本　敬子 | 松原 | 林寿　美子 | 山陽女子 | 中杉　直美 | 松原 |
| | GD | 林・元岡 | 山陽女子 | 平松・東 | 松原 | 中杉・藤井 | 松原 | 福島・深本 | 松原 |
| 2 S,43 | BS | 堀　全雄 | 倉敷西 | | | | | | |
| | BD | 田淵・塩見 | 倉敷福田 | | | | | | |
| | GS | 宮谷　千恵 | 山陽女子 | 三宅　一美 | 山陽女子 | | | | |
| | GD | 宮谷・三宅 | 山陽女子 | | | | | | |
| 3 S,44 | BS | 平松 | 松原 | 在間　洋則 | 総社西 | 服部 | 総社西 | 大野　昇 | 藤田 |
| | BD | 平松・森下 | 松原 | 藤原・三好 | 多津美 | 中原・角田 | 総社西 | 在間・松永 | 総社西 |
| | GS | 大森　陽子 | 倉敷西 | 池光 | 瀬戸 | 斉藤　伸子 | 倉敷西 | 林　正子 | 倉敷西 |
| | GD | 林・斉藤 | 倉敷西 | 大森・大塚 | 倉敷西 | 山川・郷原 | 倉敷北 | 大岩・小山 | 瀬戸 |
| 4 S,45 | BS | 橋本　敏邦 | 多津美 | 村田　知義 | 総社西 | 角田　裕之 | 総社西 | 剣持　和弘 | 倉敷西 |
| | BD | 村田・角田 | 総社西 | 剣持・森 | 倉敷西 | 小野・平川 | 倉敷東 | 橋本・日笠 | 多津美 |
| | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 広瀬　純子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 瀬戸 | 岡本扶久子 | 藤田 |
| | GD | 原田・広瀬 | 山陽女子 | 難波・森岡 | 倉敷西 | 蜂谷・石田 | 倉敷東 | 東キ・東ク | 松原 |
| 5 S,46 | BS | 服部　金美 | 円城 | 山本　忠男 | 円城 | 大月　健司 | 円城 | 河原　和夫 | 円城 |
| | BD | 服部・岩木 | 円城 | 貝原・川本 | 倉敷北 | 草地・山本 | 円城 | 藤原・横山 | 倉敷西 |
| | GS | 松本　千鶴 | 倉敷北 | 宇垣　裕子 | 瀬戸 | 守屋　順子 | 倉敷西 | 高田 | 倉敷福田 |
| | GD | 松本・薮内 | 倉敷北 | 三上・岸 | 瀬戸 | 平田・野上 | 倉敷北 | 洲脇・羽原 | 瀬戸 |
| 6 S,47 | BS | 安田　央 | 倉敷東 | | | | | | |
| | BD | 槙野・野口 | 倉敷北 | | | | | | |
| | GS | 井上 | 瀬戸 | | | 高木　和子 | 山陽女子 | 藤原比佐子 | 山陽女子 |
| | GD | 高木・藤原 | 山陽女子 | | | | | | |
| 7 S,48 | BS | 河原　和夫 | 円城 | 中山　修 | 円城 | 池本　武志 | 円城 | 岩木　和夫 | 円城 |
| | BD | 河原・岩木 | 円城 | 守安・高下 | 倉敷東 | 杉山・阿部 | 藤田 | 中山・池本 | 円城 |
| | GS | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 近藤　和子 | 瀬戸 | 梶田　百枝 | 瀬戸 | 徳永 | 瀬戸 |
| | GD | 前田・田畑 | 倉敷福田 | 猪原・山口 | 倉敷福田 | 河本・梶田 | 瀬戸 | 田辺・岡山 | 山陽女子 |

### ④県中学校秋季（新人）大会　　略称(先頭の数字は学年を示す)　　☆第4回(H,3年)大会から新人大会と名称変更。

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 S,63 | BT | 岡北 | | 倉敷西 | | 倉敷第一 | | 倉敷東 | |
| | GT | 岡北 | | 西大寺 | | 新吉 | | 鴨方 | |
| | 3BS | 仁井　昌志 | 岡北 | 永山久仁彦 | 岡北 | 清水総一郎 | 岡北 | 平松　秀典 | 倉敷西 |
| | 3BD | 永山・仁井 | 岡北 | 三宅・保津 | 倉敷東 | 平松・佐藤 | 倉敷西 | 浜松・太田 | 倉敷東 |
| | 1･2BS | 田中　学 | 倉敷第一 | 甲　直也 | 上南 | 堀江賢二郎 | 総社西 | 中塚　貴太 | 白石 |
| | 1･2BD | 広地・篠田 | 倉敷第一 | 水谷・山村 | 芳泉 | 西田・石原 | 上道 | 甲・岡崎 | 上南 |
| | 3GS | 住矢　美幸 | 岡北 | 佐藤　由紀 | 西大寺 | 住矢　直美 | 岡北 | 高岡　ゆり | 岡北 |
| | 3GD | 住矢・高岡 | 岡北 | 灸田・角 | 鴨方 | 槙野・若狭 | 鴨方 | 広江・大佛 | 高陽 |
| | 1･2GS | 松王峰代子 | 西大寺 | 明神　亜紀 | 岡北 | 森繁　理恵 | 岡北 | 植田　美穂 | 岡北 |
| | 1･2GD | 明神・森繁 | 岡北 | 植田・住矢 | 岡北 | 天野・西原 | 白石 | 石井・八木 | 山陽女子 |
| 2 H,元 | BT | 倉敷第一 | | 上南 | | 倉敷西 | | 芳泉 | |
| | GT | 岡北 | | 鴨方 | | 西大寺 | | 多津美 | |
| | 3BS | 田中　学 | 倉敷第一 | 岡崎　俊道 | 上南 | 亀沢　直弘 | 倉敷第一 | 守安　孝二 | 倉敷東 |
| | 3BD | 篠田・広地 | 倉敷第一 | 森脇・西村 | 倉敷第一 | 田中・亀沢 | 倉敷第一 | 井上・守安 | 倉敷東 |
| | 1･2BS | 草井　篤 | 上南 | 森田　洋 | 総社東 | 赤松　茂 | 岡北 | 一井　芳隆 | 倉敷福田 |
| | 1･2BD | 森田・鳥越 | 総社東 | 竹下・平松 | 倉敷西 | 横井・正躰 | 倉敷西 | 杉島・花田 | 南上道 |
| | 3GS | 植田　美穂 | 岡北 | 森繁　理恵 | 岡北 | 堀内ちひろ | 岡北 | 明神　亜紀 | 岡北 |
| | 3GD | 明神・森繁 | 岡北 | 植田・住矢 | 岡北 | 中田・樋口 | 岡北 | 轟・八木 | 山陽女子 |
| | 1･2GS | 住矢　直美 | 岡北 | 松王峰代子 | 西大寺 | 長門　弘美 | 西大寺 | 堀内ともえ | 岡北 |
| | 1･2GD | 松王・長門 | 西大寺 | 太田・山口 | 山陽女子 | 山本・冨山 | 倉敷第一 | 堀内・山本 | 岡北 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 3位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BT | 岡北 | | 倉敷西 | | 総社東 | | 上道 | |
| | GT | 西大寺 | | 岡北 | | 倉敷第一 | | 笠岡東 | |
| | 3BS | 草井 篤 | 上南 | 赤松 茂 | 岡北 | 森田 洋 | 総社東 | 竹下 正 | 倉敷西 |
| | 3BD | 竹下・平松 | 倉敷西 | 杉島・尾崎 | 上道 | 赤松・豊田 | 岡北 | 横井・正躰 | 倉敷西 |
| 1 | 1·2BS | 三宅 恭介 | 岡北 | 小高 辰也 | 岡北 | 三宅 隆之 | 倉敷第一 | 三宅 伸介 | 庄 |
| S,42 | 1·2BD | 三宅・小高 | 岡北 | 三宅・大本 | 庄 | 加藤・森川 | 庄 | 横山・片山 | 岡北 |
| | 3GS | 住矢 直美 | 岡北 | 松王峰代子 | 西大寺 | 鐘築 順子 | 西大寺 | 神宝 朝子 | 西大寺 |
| | 3GD | 松王・重光 | 西大寺 | 鐘築・神宝 | 西大寺 | 長門・佐藤 | 西大寺 | 住矢・秋山 | 岡北 |
| | 1·2GS | 加藤 美香 | 岡北 | 須々木 恵 | 岡北 | 佐藤 美和 | 西大寺 | 赤澤 景子 | 玉島東 |
| | 1·2GD | 須々木·加藤 | 岡北 | 浜田・安藤 | 岡北 | 森 ・次田 | 山南 | 篠田・斉藤 | 倉敷第一 |

☆新人大会と名称を変更。

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 3位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BT | 倉敷第一 | | 倉敷西 | | 山南 | | 上道 | |
| | GT | 山南 | | 岡北 | | 倉敷第一 | | 倉敷南 | |
| 4 | BS | 数田 佳伸 | 玉島東 | 佐藤慎一郎 | 総社東 | 田淵 亮治 | 山南 | 中田 淳 | 倉敷第一 |
| H,3 | BD | 佐藤・内藤 | 総社東 | 犬飼・西野 | 庄 | 岡本・西方 | 上道 | 川崎・戸高 | 倉敷西 |
| | GS | 加藤 美香 | 岡北 | 赤澤 景子 | 玉島東 | 横辺 葵 | 真備東 | 次田 尚美 | 山南 |
| | GD | 次田・佐藤 | 山南 | 加藤・伏見 | 岡北 | 斉藤・岡 | 倉敷第一 | 松本・谷口 | 山南 |
| | BT | 倉敷第一 | | 倉敷東 | | 倉敷西 | | 上道 | |
| | GT | 岡北 | | 西大寺 | | 総社東 | | 倉敷南 | |
| 5 | BS | 杉島 学 | 上道 | 西岡 大宗 | 山南 | 塚田健太郎 | 倉敷第一 | 渡辺 伸昌 | 倉敷第一 |
| H,4 | BD | 塚田・渡辺 | 倉敷第一 | 永井・松川 | 倉敷東 | 杉島・岡田 | 上道 | 野崎·大土井 | 山南 |
| | GS | 田井 優希 | 児島 | 小林 陽子 | 岡北 | 浜田こずゑ | 岡北 | 加藤しのぶ | 岡北 |
| | GD | 小林・加藤 | 岡北 | 橋村・山川 | 倉敷南 | 栃木・曽谷 | 庄 | 宇野・雄龍 | 岡北 |
| | BT | 山南 | | 総社西 | | 総社東 | | 連島 | |
| | GT | 岡北 | | 西大寺 | | 矢掛 | | 倉敷北 | |
| 6 | BS | 西岡 大宗 | 山南 | 尾崎 勝久 | 上南 | 橋村 竜彦 | 倉敷南 | 柴田 匡史 | 西大寺 |
| H,5 | BD | 西岡・尾崎 | 山南 | 渡辺・段堂 | 総社西 | 谷口・宗田 | 山南 | 藤田・坂本 | 旭東 |
| | GS | 加藤しのぶ | 岡北 | 山本 泰子 | 倉敷北 | 井山 美里 | 西大寺 | 浜田こずゑ | 岡北 |
| | GD | 加藤・浜田 | 岡北 | 千原・大角 | 倉敷北 | 梅本・信江 | 倉敷第一 | 小田・岩城 | 西大寺 |
| | BT | 倉敷福田 | | 山南 | | 倉敷第一 | | 連島 | |
| | GT | 倉敷第一 | | 西大寺 | | 倉敷福田 | | 山南 | |
| 7 | BS | 橋村 竜彦 | 倉敷福田 | 尾崎 良助 | 山南 | 平田 雄己 | 総社西 | 宗田 武大 | 山南 |
| H,6 | BD | 橋村・興梠 | 倉敷福田 | 尾崎・宗田 | 山南 | 渡辺・倉岡 | 倉敷第一 | 相原・塩見 | 芳泉 |
| | GS | 井山 美里 | 西大寺 | 河野亜矢子 | 多津美 | 山本 泰子 | 倉敷北 | 守屋 仁美 | 倉敷第一 |
| | GD | 河野・小林 | 多津美 | 井山・小田 | 西大寺 | 山本・五味 | 倉敷北 | 奥山・谷口 | 山南 |
| | BT | 山南 | | 倉敷福田 | | 倉敷第一 | | 庄 | |
| | GT | 倉敷第一 | | 西大寺 | | 倉敷福田 | | 山南 | |
| 8 | BS | 平田 雄己 | 総社西 | 西峯 大輔 | 倉敷福田 | 三宅 康祐 | 玉島東 | 尾崎 良助 | 山南 |
| H,7 | BD | 尾崎・根木 | 山南 | 成本・片岡 | 山南 | 西野・窪田 | 琴浦 | 児島・塩屋 | 倉敷第一 |
| | GS | 守屋 仁美 | 倉敷第一 | 谷口 貴美 | 山陽女子 | 遠藤 恵理 | 倉敷福田 | 秋山末奈子 | 西大寺 |
| | GD | 谷口・岩田 | 山陽女子 | 秋山・橋本 | 西大寺 | 守屋・黒田 | 倉敷第一 | 奥山・谷口 | 山南 |
| | BT | 山南 | | 連島 | | 倉敷第一 | | 総社西 | |
| | GT | 西大寺 | | 倉敷第一 | | 総社西 | | 瀬戸 | |
| 9 | BS | 西峯 大輔 | 倉敷福田 | 佐伯 浩一 | 連島 | 黒木 克年 | 倉敷第一 | 三宅 康祐 | 玉島東 |
| H,8 | BD | 佐伯・竹内 | 連島 | 谷口ト·谷口ヨ | 山南 | 西峯・吉岡 | 倉敷福田 | 黒木・ 泉 | 倉敷第一 |
| | GS | 三木彩恵子 | 山陽女子 | 谷口 知子 | 山南 | 高原 由紀 | 山陽女子 | 柏野 則子 | 総社東 |
| | GD | 黒田・渡辺 | 倉敷第一 | 三木・高原 | 山陽女子 | 片桐・木村 | 西大寺 | 藤田・藤原 | 連島 |

## 2）県外大会

### ①中国中学校選手権大会

#### ア）学校対抗戦

| 区分 | | | 男子 | | | | 女子 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回 | 年度 | 場所 | 1位 | 2位 | 3位 | | 1位 | 2位 | 3位 | |
| 1 | S,55 | 岡山 | 倉敷西 | | 倉敷東 | | 白石 | 倉敷第一 | 西大寺 | 上南 |
| 2 | S,56 | 鳥取 | 倉敷福田 | 倉敷北 | | | 白石 | 倉敷西 | 瀬戸 | |
| 3 | S,57 | 大東 | 白石 | 倉敷西 | 倉敷北 | | | 備前 | 白石 | |
| 4 | S,58 | 下関 | 白石 | 倉敷西 | | | 備前 | 瀬戸 | | |
| 5 | S,59 | 福山 | 総社西 | 倉敷第一 | | | 備前 | 白石 | | |
| 6 | S,60 | 岡山 | 白石 | 倉敷西 | 芳泉 | | | 上南 | 倉敷第一 | |
| 7 | S,61 | 米子 | 芳泉 | | | | 岡北 | 白石 | | |
| 8 | S,62 | 大東 | | 白石 | 倉敷北 | | | | | |
| 9 | S,63 | 下関 | 倉敷東 | 岡北 | | | | 岡北 | 西大寺 | |
| 10 | H,元 | 広島 | | 倉敷第一 | 倉敷東 | | | | 岡北 | 山陽女子 |
| 11 | H,2 | 岡山 | | | 上道 | | 西大寺 | | 岡北 | |
| 12 | H,3 | 米子 | 岡北 | 倉敷第一 | | | 岡北 | | | |
| 13 | H,4 | 大東 | | | 倉敷西 | | 岡北 | | 山南 | |
| 14 | H,5 | 山口 | | | 倉敷第一 | | 岡北 | 西大寺 | | |
| 15 | H,6 | 広島 | | 山南 | | | 西大寺 | | | |
| 16 | H,7 | 岡山 | 倉敷福田 | | 山南 | | 西大寺 | | 倉敷第一 | |
| 17 | H,8 | 鳥取 | 山南 | | 芳泉 | | | | 倉敷第一 | 西大寺 |

#### イ）個人戦

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 S,55 岡山 | BS | | | | | 杉原 篤 | 白石 | 横山 益雄 | 旭東 |
| | BD | | | 鶴沢・能勢 | 円城 | 井上・倉本 | 倉敷西 | 三宅・鳴川 | 倉敷福田 |
| | GS | 天野紀三子 | 白石 | 崎野 智子 | 倉敷第一 | 村田 和美 | 岡北 | 近藤 晴美 | 上南 |
| | GD | 山川ナ・中山フ | 白石 | 河田・中山イ | 白石 | 鳥越・河村 | 倉敷西 | 日下・冨岡 | 上南 |
| 2 S,56 鳥取 | BS | 今東 建 | 西大寺 | 浅沼 正和 | 総社東 | | | | |
| | BD | 梶尾ケ・梶尾ジ | 倉敷福田 | 山川ヨ・天野フ | 白石 | | | | |
| | GS | 日下三和子 | 上南 | 楢原 綾美 | 瀬戸 | | | | |
| | GD | 天野キ・天野イ | 白石 | 村上・諏訪 | 倉敷西 | | | | |
| 3 S,57 大東 | BS | | | 畑 健二 | 倉敷福田 | | | | |
| | BD | | | | | 山川ヨ・天野フ | 白石 | 坪井・貝原 | 倉敷北 |
| | GS | 藤原 玲子 | 瀬戸 | 小見山いくみ | 白石 | 近常 直美 | 岡北 | | |
| | GD | 小見山・西原 | 白石 | 本荘・鳥中 | 備前 | | | | |
| 4 S,58 下関 | BS | | | | | | | | |
| | BD | 天野・豊島 | 白石 | | | 中川・山川 | 白石 | | |
| | GS | 西林 昭子 | 備前 | | | | | | |
| | GD | 紀井・小坂 | 備前 | 小見山・西原 | 白石 | | | | |
| 5 S,59 福山 | BS | | | 難波 睦 | 庄 | 石原 健士 | 岡山福田 | | |
| | BD | 古屋野・千々松 | 倉敷福田 | | | | | | |
| | GS | | | 久本いづみ | 備前 | 片岡 弓子 | 上南 | | |
| | GD | 山川ア・桑原 | 白石 | 山川メ・原田 | 白石 | | | | |
| 6 S,60 岡山 | BS | 平尾 昌也 | 備前 | 西原 博晃 | 白石 | | | | |
| | BD | 中川・天野 | 白石 | | | 赤枝・西田 | 芳泉 | | |
| | GS | | | 袖木 陽子 | 山陽女子 | | | | |
| | GD | 山川・原田 | 白石 | | | 那須・伊藤 | 西大寺 | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7<br>S,61<br>米子 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 中井　康博<br>福山・石井<br><br>片山・中丸 | 芳　泉<br>芳　泉<br><br>岡　北 | <br><br>横田　裕子<br>宇野・溝淵 | <br><br>山陽女子<br>岡　北 | | | | |
| 8<br>S,62<br>大東 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | <br><br><br> | <br><br><br> | 山川　康広<br>小林・坂手<br><br> | 白　石<br>岡　北<br><br> | 古谷　昌之<br>平松・山本<br><br>藤井・広直 | 岡山福田<br>倉敷西<br><br>瀬　戸 | <br><br><br> | <br><br><br> |
| 9<br>S,63<br>下関 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 仁井　昌志<br>永山・清水<br>住矢　美幸<br> | 岡　北<br>岡　北<br>岡　北<br> | 保津　文武<br>平松・佐藤<br><br> | 倉敷東<br>倉敷西<br><br> | <br><br><br> | <br><br><br> | <br><br><br> | <br><br><br> |
| 10<br>H,元<br>広島 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 甲　直也<br><br><br>明神・森繁 | 上　南<br><br><br>岡　北 | <br><br>堀内ちひろ<br> | <br><br>岡　北<br> | <br>篠田・広地<br>松王峰代子<br>植田・住矢 | <br>倉敷第一<br>西大寺<br>岡　北 | <br>西村・森脇<br><br> | <br>倉敷第一<br><br> |
| 11<br>H,2<br>岡山 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 赤松　茂<br><br>住矢　直美<br>長門・神宝 | 岡　北<br><br>岡　北<br>西大寺 | 草井　篤<br>横井・正躰<br>松王峰代子<br> | 上　南<br>倉敷西<br>西大寺<br> | <br>竹下・平松<br><br>重光・鐘築 | <br>倉敷西<br><br>西大寺 | <br>杉島・尾崎<br><br> | <br>上　道<br><br> |
| 12<br>H,3<br>米子 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | <br>楢原・三宅<br><br>須々木・浜田 | <br>岡　北<br><br>岡　北 | <br><br>加藤　美香<br> | <br><br>岡　北<br> | 小倉　康<br>三宅・大本<br>赤澤　景子 | 倉敷第一<br>庄<br>玉島東 | 数田　佳伸<br><br> | 玉島東<br><br> |
| 13<br>H,4<br>大東 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | <br><br>加藤　美香<br>次田・佐藤 | <br><br>岡　北<br>山　南 | <br>岡本・原田<br>赤澤　景子<br> | <br>倉敷第一<br>倉敷第一<br> | 真木　宏之<br>岡　・高橋<br>田井　優希<br>岡本マ・岡本サ | 総社東<br>総社東<br>児　島<br>倉敷南 | 片岡　崇<br><br><br> | 倉敷第一<br><br><br> |
| 14<br>H,5<br>山口 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | <br><br><br>小林・加藤 | <br><br><br>岡　北 | 杉島　学<br><br>田井　優希<br>宇野・浜田 | 上　道<br><br>児　島<br>岡　北 | 松川　大記<br><br>山本　泰子 | 倉敷東<br><br>倉敷北 | <br><br>雄龍めぐみ | <br><br>岡　北 |
| 15<br>H,6<br>広島 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 橋村　竜彦<br>尾崎・宗田<br>井山　美里<br>加藤・浜田 | 倉敷福田<br>山　南<br>西大寺<br>岡　北 | <br>藤田・坂本<br>河野亜矢子<br>大角・千原 | <br>旭　東<br>多津美<br>倉敷北 | 柴田　匡史<br><br>山本　泰子<br> | 西大寺<br><br>倉敷北<br> | <br><br><br> | <br><br><br> |
| 16<br>H,7<br>岡山 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 橋村　竜彦<br>尾崎・宗田<br>井山　美里<br> | 倉敷福田<br>山　南<br>西大寺<br> | 興梠　岳人<br><br>守屋　仁美<br>岩谷・小坂 | 倉敷福田<br><br>倉敷第一<br>倉敷第一 | <br>渡辺・倉岡<br>信江さと子<br>河野・小林 | <br>倉敷第一<br>倉敷東<br>多津美 | <br><br><br> | <br><br><br> |
| 17<br>H,8<br>鳥取 | BS<br>BD<br>GS<br>GD | 平田　雄己<br><br>守屋　仁美<br> | 総社西<br><br>倉敷第一<br> | 西峯　大輔<br><br>谷口　貴美<br> | 倉敷福田<br><br>山陽女子<br> | 尾崎　良助<br>西野・窪田<br>岡　聡美<br>秋山・橋本 | 山　南<br>琴　浦<br>児　島<br>西大寺 | <br><br><br> | <br><br><br> |

## ①全国中学生選手権大会

| 回 | 年度 | 場　所 | 男　子 | 校　　名 | 最終成績 | 女　子 | 校　　名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,46 | 東京都 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 3　位 |
| 2 | S,47 | 名古屋市 | 団体戦 | 選抜チーム | 3回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 |
| 3 | S,48 | 宇都宮市 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 3回戦 |
| 4 | S,49 | 東京都 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 |
| 5 | S,50 | 東京都 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 2回戦 |
| 6 | S,51 | 仙台市 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 |
| 7 | S,52 | 伊勢市 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 2回戦 |
| 8 | S,53 | 名古屋市 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 |
| 9 | S,54 | 神戸市 | 団体戦 | 選抜チーム | 1回戦 | 団体戦 | 選抜チーム | 5　位 |

☆昭和46年～54年までの大会は，選抜（混成チーム）による都道府県対抗の団体戦のみであった。
☆1980（昭和55）年から，中国地区予選会が実施され，学校対抗・個人単複の男女合計6種目となり、
**全国中学校大会**と名称を変更。

| 回・年・場所 | 男　子 | | 校　名 | 最終成績 | 女　子 | | 校　名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第10回 | 団　体　戦 | | 倉敷西 | 5　位 | 団　体　戦 | | 白　石 | 1回戦 |
| S,55 | 個S | | | | 個S | 天野紀三子 | 白　石 | 1回戦 |
| 熊本市 | 人D | | | | 人D | 中川・山川 | 白　石 | 3　位 |
| 第11回 | 団　体　戦 | | 倉敷福田 | 5　位 | 団　体　戦 | | 白　石 | 5　位 |
| S,56 | 個S | 今東　建 | 西大寺 | | 個S | 日下三和子 | 上　南 | 1回戦 |
| 奈良市 | 人D | 梶尾ジ・梶尾ケ | 倉敷福田 | 1回戦 | 人D | 天野イ・天野キ | 白　石 | 1回戦 |
| 第12回 | 団　体　戦 | | 白　石 | 1回戦 | 団　体　戦 | | | |
| S,57 | 個S | | | | 個S | 藤原　玲子 | 瀬　戸 | 1回戦 |
| 新潟市 | 人D | | | | 人D | 小見山・西原 | 白　石 | 1回戦 |
| 第13回 | 団　体　戦 | | 白　石 | 5　位 | 団　体　戦 | | 備　前 | 1回戦 |
| S,58 | 個S | | | | 個S | 西林　昭子 | 備　前 | 3　位 |
| 新庄市 | 人D | 天野・豊島 | 白　石 | 1回戦 | 人D | 紀井・小坂 | 備　前 | 1回戦 |
| 第14回 | 団　体　戦 | | 総社西 | 1回戦 | 団　体　戦 | | 備　前 | 1回戦 |
| S,59 | 個S | | | | 個S | | | |
| 大阪市 | 人D | 古谷野・千々松 | 倉敷福田 | 1回戦 | 人D | 山川・桑原 | 白　石 | 1回戦 |
| 第15回 | 団　体　戦 | | 白　石 | 1回戦 | 団　体　戦 | | | |
| S,60 | 個S | 平尾　昌也 | 備　前 | 1回戦 | 個S | | | |
| 登別市 | 人D | 天野・中川 | 白　石 | 1回戦 | 人D | 山川・原田 | 白　石 | 1回戦 |
| 第16回 | 団　体　戦 | | 芳　泉 | 1回戦 | 団　体　戦 | | 岡　北 | 5　位 |
| S,61 | 個S | 中井　康博 | 芳　泉 | 1回戦 | 個S | 横田　裕子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | D | 福山・石井 | 芳　泉 | 1回戦 | D | 中丸・片山 | 岡　北 | 5　位 |
| 真岡市 | 人 | | | | 人 | 宇野・溝淵 | 岡　北 | 1回戦 |
| 第17回 | 団　体　戦 | | | | 団　体　戦 | | | |
| S,62 | 個S | 山川　康広 | 白　石 | 1回戦 | 個S | | | |
| 春日井市 | 人D | 小林・坂手 | 岡　北 | 1回戦 | 人D | | | |
| | 団　体　戦 | | 倉敷東 | 1回戦 | 団　体　戦 | | | |
| 第18回 | S | 保津　文武 | 倉敷東 | 1回戦 | S | 住矢　美幸 | 岡　北 | 1回戦 |
| S,63 | 個 | 仁井　昌志 | 岡　北 | 1回戦 | 個 | | | |
| 盛岡市 | 人D | 永山・清水 | 岡　北 | 1回戦 | 人D | | | |
| | | 平松・佐藤 | 倉敷西 | 1回戦 | | | | |
| 第19回 | 団　体　戦 | | | | 団　体　戦 | | | |
| H,元 | 個S | 甲　直也 | 上　南 | 1回戦 | 個S | 堀内ちひろ | 岡　北 | 1回戦 |
| 山口市 | 人D | | | | 人D | 明神・森繁 | 岡　北 | 2回戦 |
| 第20回 | 団　体　戦 | | | | 団　体　戦 | | 西大寺 | 3　位 |
| H,2 | 個S | 赤松　茂 | 岡　北 | 1回戦 | 個S | 住矢　直美 | 岡　北 | 2回戦 |
| | | 草井　篤 | 上　南 | 1回戦 | | 松王峰代子 | 西大寺 | 2回戦 |
| 坂出市 | 人D | 横井・正躰 | 倉敷西 | 1回戦 | 人D | 長門・神宝 | 西大寺 | 2回戦 |

| 回・年・場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第21回<br>H，3<br>熊本市 | 団体戦 | | 岡北<br>倉敷第一 | 1回戦<br>1回戦 | 団体戦 | | 岡北 | 5位 |
| | 個S | | | | 個S | 加藤 美香 | 岡北 | 1回戦 |
| | 人D | 楢原・三宅 | 岡北 | 5位 | 人D | 須々木・浜田 | 岡北 | 1回戦 |
| 第22回<br>H，4<br>高岡市 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 岡北 | 2回戦 |
| | 個S | | | | 個S | 加藤 美香 | 岡北 | 1回戦 |
| | | | | | | 赤澤 景子 | 倉敷第一 | 1回戦 |
| | 人D | 岡本・原田 | 倉敷第一 | 1回戦 | 人D | 次田・佐藤 | 山南 | 2回戦 |
| 第23回<br>H，5<br>大津市 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 岡北 | 2回戦 |
| | | | | | | | 西大寺 | 1回戦 |
| | S | 杉島 学 | 上道 | 1回戦 | S | 田井 優希 | 児島 | 2回戦 |
| | 個 | | | | 個 | 山本 泰子 | 倉敷北 | 1回戦 |
| | 人D | | | | 人D | 小林・加藤 | 岡北 | 1回戦 |
| | | | | | | 宇野・浜田 | 岡北 | 1回戦 |
| 第24回<br>H，6<br>旭川市 | 団体戦 | | 山南 | 1回戦 | 団体戦 | | 西大寺 | 2回戦 |
| | S | 橋村 竜彦 | 倉敷福田 | 2回戦 | S | 井山 美里 | 西大寺 | 2回戦 |
| | 個 | | | | 個 | 河野亜矢子 | 多津美 | 1回戦 |
| | 人D | 尾崎・宗田 | 山南 | 1回戦 | 人D | 加藤・浜田 | 岡北 | 1回戦 |
| | | 藤田・坂本 | 旭東 | 1回戦 | | 大角・千原 | 倉敷北 | 1回戦 |
| 第25回<br>H，7<br>川崎市 | 団体戦 | | 倉敷福田 | 2回戦 | 団体戦 | | 西大寺 | 2回戦 |
| | 個S | 橋村 竜彦 | 倉敷福田 | 2位 | 個S | 井山 美里 | 西大寺 | 3回戦 |
| | | 興梠 岳人 | 倉敷福田 | 1回戦 | | 守屋 仁美 | 倉敷第一 | 2回戦 |
| | 人D | 尾崎・宗田 | 山南 | 2回戦 | 人D | 岩谷・小坂 | 倉敷第一 | 1回戦 |
| 第26回<br>H，8<br>大阪市 | 団体戦 | | 山南 | 2回戦 | 団体戦 | | | |
| | 個S | 平田 雄己 | 総社西 | 3回戦 | 個S | 守屋 仁美 | 倉敷第一 | 3回戦 |
| | | 西峯 大輔 | 倉敷福田 | 2回戦 | | 谷口 貴美 | 山陽女子 | 5位 |
| | 人 | 尾崎 良助 | 山南 | 2回戦 | 人 | 岡 聡美 | 児島 | 1回戦 |

## （3）高等学校体育連盟

### 1）県内大会

S，23年県協会が設立され，第1回岡山県バドミントン大会として，県下で最初に開催された大会である。
S，45年までは一般と混成で競技していた。(県協会の春季大会を参照)

#### ①県高校春季大会

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 永井　孝 | 水島工業 | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 塩飽　正史 | 倉敷工業 | 橋本　直人 | 倉敷天城 |
| 1 | BD | 森・重井 | 倉敷青陵 | 那須・渡辺 | 水島工業 | 安田・塩飽 | 倉敷工業 | 仁科・鶴沢 | 倉敷工業 |
| S，46 | GS | 平田喜久江 | 山陽女子 | 三宅　一美 | 山陽女子 | 松尾　敏子 | 山陽女子 | 多賀　伸子 | 倉敷中央 |
| | GD | 松尾・三宅 | 山陽女子 | 三田・田辺 | 山陽女子 | 平田・寺見 | 山陽女子 | 多賀・鎌村 | 倉敷中央 |
| | BS | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 北井　勝義 | 倉敷工業 | 堀　全雄 | 倉敷青陵 | 山本　勉 | 備南 |
| 2 | BD | 重井・堀 | 倉敷青陵 | 北井・大野 | 倉敷工業 | 田淵・中田 | 倉敷天城 | 赤沢・佐藤 | 矢掛商業 |
| S，47 | GS | 三宅　一美 | 山陽女子 | 三田　明美 | 山陽女子 | 近藤　小織 | 山陽女子 | 広瀬　純子 | 山陽女子 |
| | GD | 三田・寺見 | 山陽女子 | 三宅・田辺 | 山陽女子 | 近藤・横井 | 山陽女子 | 原田・広瀬 | 山陽女子 |
| | BS | 大野　昇 | 倉敷工業 | 平田　博文 | 水島工業 | 藤原　明 | 倉敷工業 | 橋本　敏邦 | 倉敷青陵 |
| 3 | BD | 小野・橋本 | 倉敷青陵 | 大野・藤原 | 倉敷工業 | 平田・井上 | 水島工業 | 剣持・大崎 | 倉敷天城 |
| S，48 | GS | 近藤　小織 | 山陽女子 | 原田美智子 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 山陽女子 |
| | GD | 原田・藤原 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 | 日原・小寺 | 山陽女子 | 林・小野 | 山陽女子 |
| 4 | BS | 橋本　敏邦 | 倉敷青陵 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 村田　知義 | 総社 |
| S，49 | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 日原　禎子 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 小寺　裕美 | 山陽女子 |
| 5 | BS | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 景山　誠 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 |
| S，50 | GS | 岡部　五月 | 山陽女子 | 橋本　千春 | 山陽女子 | 小山　真弓 | 山陽女子 | 松本　千鶴 | 倉敷翠松 |
| 6 | BS | 安田　央 | 倉敷青陵 | 味野　敏明 | 倉敷青陵 | 横山　真二 | 倉敷工業 | 楢本　昌司 | 津山 |
| S，51 | GS | 森下　真紀 | 山陽女子 | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 小野　典子 | 倉敷中央 |
| 7 | BS | 守安　達二 | 水島工業 | 亀山　文雄 | 倉敷工業 | 樋口　正幸 | 水島工業 | 小橋　利之 | 水島工業 |
| S，52 | GS | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 亀山　映子 | 山陽女子 | 村上　知子 | 山陽女子 |
| 8 | BS | 亀山　文雄 | 倉敷工業 | 難波　義雄 | 水島工業 | 藤原　一志 | 水島工業 | 前田　雅美 | 倉敷工業 |
| S，53 | GS | 串田　有子 | 山陽女子 | 皿井由美子 | 山陽女子 | 斉藤　薫 | 山陽女子 | 轟　恵美子 | 山陽女子 |
| 9 | BS | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 若林　邦任 | 水島工業 | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 天野　靖 | 水島工業 |
| S，54 | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | 松島　万子 | 山陽女子 | 轟　恵美子 | 山陽女子 | 南葉　理恵 | 山陽女子 |
| 10 | BS | 若林　邦任 | 水島工業 | 天野　靖 | 水島工業 | 西江　均 | 東岡山工 | 田枝　誠一 | 水島工業 |
| S，55 | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 轟　恵美子 | 山陽女子 |
| 11 | BS | 片岡　洋一 | 水島工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 | 坪井　英之 | 倉敷工業 | 妹尾　和彦 | 岡山工業 |
| S，56 | GS | 合田なおみ | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 原田　明子 | 山陽女子 |
| 12 | BS | 練尾　普一 | 水島工業 | 久山　雅之 | 東岡山工 | 山田　政治 | 瀬戸農業 | 中須賀史行 | 東岡山工 |
| S，57 | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | 岡　百合子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 浮田美代子 | 山陽女子 |
| 13 | BS | 倉本　哲生 | 水島工業 | 中須賀史行 | 東岡山工 | 今東　建 | 西大寺 | 綱島　淳二 | 加茂川 |
| S，58 | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | 福田　正子 | 倉敷中央 | 万代　暁美 | 山陽女子 | 河内　富子 | 山陽女子 |
| 14 | BS | 浅沼　正和 | 水島工業 | 貝原　義文 | 水島工業 | 今東　建 | 西大寺 | 高見　浩二 | 倉敷工業 |
| S，59 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 坂井　純子 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 | 浅野みどり | 倉敷中央 |
| 15 | BS | 仁後　春志 | 水島工業 | 高見　浩二 | 倉敷工業 | 岡崎　秀博 | 倉敷工業 | 貝原　義文 | 水島工業 |
| S，60 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 |
| 16 | BS | 逸見　利雄 | 水島工業 | 平田　勝久 | 総社 | 木山　貴彦 | 倉敷青陵 | 難波　睦 | 倉敷青陵 |
| S，61 | GS | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 松王香音里 | 山陽女子 | 平尾　佳子 | 山陽女子 |
| 17 | BS | 横田　豊和 | 水島工業 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 横山　健一 | 倉敷工業 | 福田　哲 | 玉野光南 |
| S，62 | GS | 松王香音里 | 山陽女子 | 岡　良依 | 山陽女子 | 人見　順子 | 山陽女子 | 河原美津巳 | 山陽女子 |
| 18 | BS | 白神　和彦 | 水島工業 | 福田　哲 | 玉野光南 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 片岡　義博 | 瀬戸南 |
| S，63 | GS | 佐藤　由香 | 山陽女子 | 出原　直美 | 山陽女子 | 西本　早苗 | 倉敷翠松 | 渡部　美香 | 山陽女子 |
| 19 | BS | 石田　猛 | 玉野光南 | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 石本　一豊 | 理大付属 | 坂口　保明 | 倉敷工業 |
| H，元 | GS | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 横田　裕子 | 山陽女子 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 |
| 20 | BS | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 立野　隆行 | 水島工業 | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 久山　信行 | 水島工業 |
| H，2 | GS | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 竹中　理恵 | 玉野光南 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | ＢＳ | 仁井　昌志 | 玉野光南 | 久木田拓郎 | 倉敷工業 | 田中　学 | 水島工業 | 堀江賢二郎 | 水島工業 |
| Ｈ，3 | ＧＳ | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　純子 | 山陽女子 | 安原　久恵 | 倉敷翠松 |
| 22 | ＢＳ | 草井　篤 | 瀬戸南 | 森田　洋 | 倉敷工業 | 堀江賢二郎 | 水島工業 | 田中　学 | 水島工業 |
| Ｈ，4 | ＧＳ | 松王峰代子 | 山陽女子 | 轟　美穂 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 山口　順子 | 山陽女子 |
| 23 | ＢＳ | 草井　篤 | 瀬戸南 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 森田　洋 | 倉敷工業 | 小林　孝行 | 玉野光南 |
| Ｈ，5 | ＧＳ | 松王峰代子 | 山陽女子 | 神宝　朝子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 鐘築　順子 | 山陽女子 |
| 24 | ＢＳ | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 西本　康宏 | 倉敷工業 | 三宅　伸介 | 倉敷工業 | 三宅　隆之 | 水島工業 |
| Ｈ，6 | ＧＳ | 加藤　美香 | 山陽女子 | 柏野　雅美 | 山陽女子 | 須々木　恵 | 山陽女子 | 雄龍あゆみ | 山陽女子 |
| 25 | ＢＳ | 松川　大紀 | 倉敷工業 | 宮澤　勝智 | 瀬戸南 | 安本　貴士 | 水島工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 |
| Ｈ，7 | ＧＳ | 次田　尚美 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 | 田井　優希 | 山陽女子 | 加藤　美香 | 山陽女子 |
| 26 | ＢＳ | 松川　大紀 | 倉敷工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 野崎　心也 | 玉野光南 | 柴田　匡史 | 倉敷工業 |
| Ｈ，8 | ＧＳ | 井山　美里 | 山陽女子 | 宇野佳緒里 | 山陽女子 | 國司　良子 | 山陽女子 | 福井　稔代 | 倉敷翠松 |

### ②県高校総合体育大会・全国高校総合体育大会県予選会

S,24年に第1回県高校バドミントン選手権大会として開催されたが，学校対抗戦はS,26年より行われた。S,25年より全国大会が開催されたが，本県の参加はS,26年からであった。S,37年より県総体が開催された。

**ア）学校対抗戦**

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | 4は4位 |
|---|---|---|---|---|---|
| S,26 | BT | （倉敷老松） | （倉敷青陵） 順位不明 | 記録不明 | |
| | GT | （倉敷青陵） | （井原） 順位不明 | | |
| S,27 | BT | 倉敷老松 | 西大寺 | 記録不明 | |
| | GT | 倉敷青陵 | 山陽女子 | | |
| S,28 | BT | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 倉敷商業 | 西大寺 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 井原 | 鴨方 |
| S,29 | BT | 倉敷青陵(代表辞退) | 倉敷工業 | 西大寺 | 4 倉敷商業 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵(代表辞退) | 井原 | 4 笠岡商工 |
| S,30 | BT | 西大寺 | 倉敷青陵 | 倉敷工業 | 笠岡商工 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 井原 | 真備 |
| S,31 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | 倉敷商業 | 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 倉敷青陵 |
| S,32 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 倉敷商業 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 倉敷青陵 |
| S,33 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 4 倉敷商業 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | 4 西大寺 |
| S,34 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 4 備南 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| S,35 | BT | 西大寺 | 備南 | 倉敷青陵 | 4 倉敷工業 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| S,36 | BT | 西大寺 | 備南 | 倉敷青陵 | 4 倉敷工業 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| 1 S,37 | BT | 西大寺 | 備南 | 倉敷工業 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | 4 西大寺 |
| 2 S,38 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | 備南 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | 4 西大寺 |
| 3 S,39 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| 4 S,40 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 4 玉野商業 |
| | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷青陵 | 4 井原 |
| 5 S,41 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷青陵 | 4 久世 |
| 6 S,42 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 倉敷青陵 | 山陽女子 | 倉敷中央 | 4 久世 |
| 7 S,43 | BT | 倉敷工業 | 備南 | 倉敷天城 | 4 金山 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | 4 久世 |
| 8 S,44 | BT | 倉敷天城 | 倉敷工業 | 備南 | 4 水島工業 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | 4 井原 |
| 9 S,45 | BT | 倉敷工業 | 備南 | 水島工業 | 4 倉敷天城 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | 4 倉敷天城 |
| 10 S,46 | BT | 水島工業 | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | 西大寺 |
| 11 S,47 | BT | 倉敷青陵 | 倉敷工業 | 備南 | 4 矢掛商業 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 美作 | 4 西大寺 |
| 12 S,48 | BT | 倉敷青陵 | 倉敷工業 | 水島工業 | 4 総社 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | 美作 |
| 13 S,49 | BT | 倉敷工業 | 総社 | 倉敷天城 | 4 倉敷青陵 |
| | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 西大寺 | 美作 |

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | (4は4位) |
|---|---|---|---|---|---|
| 14 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | 倉敷天城 | 4倉敷青陵 |
| S,50 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | 4倉敷翠松 |
| 15 | BT | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 水島工業 | 倉敷青陵 |
| S,51 | GT | 倉敷中央 | 山陽女子 | 児島第一 | 津山商業 |
| 16 | BT | 水島工業 | 西大寺 | 倉敷工業 | 4倉敷天城 |
| S,52 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | 4倉敷天城 |
| 17 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | 倉敷天城 | 4東岡山工業 |
| S,53 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷天城 | 倉敷中央 |
| 18 | BT | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 水島工業 | 東岡山工業 |
| S,54 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷天城 | 倉敷中央 |
| 19 | BT | 水島工業 | 倉敷天城 | 西大寺 | 4東岡山工業 |
| S,55 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 津山商業 | 倉敷中央 |
| 20 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | 倉敷天城 | 倉敷青陵 |
| S,56 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 総社 | 倉敷中央 |
| 21 | BT | 東岡山工業 | 水島工業 | 倉敷工業 | 瀬戸農業 |
| S,57 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 笠岡商業 | 総社 |
| 22 | BT | 水島工業 | 西大寺 | 東岡山工業 | 倉敷天城 |
| S,58 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 瀬戸 | 西大寺 |
| 23 | BT | 水島工業 | 西大寺 | 倉敷古城池 | 4瀬戸南 |
| S,59 | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 瀬戸 | 4西大寺 |
| 24 | BT | 水島工業 | 金川 | 瀬戸南 | 4東岡山工業 |
| S,60 | GT | 山陽女子 | 瀬戸 | 倉敷古城池 | 4玉野光南 |
| 25 | BT | 瀬戸南 | 水島工業 | 倉敷工業 | 4玉野商業 |
| S,61 | GT | 山陽女子 | 瀬戸南 | 倉敷中央 | 4笠岡商業 |
| 26 | BT | 水島工業 | 瀬戸南 | 倉敷工業 | 4玉野光南 |
| S,62 | GT | 山陽女子 | 瀬戸南 | 倉敷翠松 | 4西大寺 |
| 27 | BT | 玉野光南 | 瀬戸南 | 水島工業 | 4岡山工業 |
| S,63 | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 西大寺 | 4瀬戸南 |
| 28 | BT | 玉野光南 | 倉敷工業 | 瀬戸南 | 4岡山理科大付属 |
| H,元 | GT | 倉敷翠松 | 山陽女子 | 笠岡商業 | 4瀬戸南 |
| 29 | BT | 倉敷工業 | 玉野光南 | 水島工業 | 4瀬戸南 |
| H,2 | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 瀬戸南 | 4笠岡商業 |
| 30 | BT | 倉敷工業 | 玉野光南 | 瀬戸南 | 4水島工業 |
| H,3 | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 | 4瀬戸南 |
| 31 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | 瀬戸南 | 4西大寺 |
| H,4 | GT | 山陽女子 | 笠岡商業 | 倉敷翠松 | 4瀬戸南 |
| 32 | BT | 倉敷工業 | 瀬戸南 | 岡山一宮 | 4玉野光南 |
| H,5 | GT | 山陽女子 | 笠岡商業 | 倉敷翠松 | 4瀬戸南 |
| 33 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | 瀬戸南 | 4玉野光南 |
| H,6 | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 | 4瀬戸南 |
| 34 | BT | 倉敷工業 | 瀬戸南 | 水島工業 | 4総社 |
| H,7 | GT | 山陽女子 | 笠岡商業 | 倉敷翠松 | 4瀬戸南 |
| 35 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | 瀬戸南 | 4西大寺 |
| H,8 | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 倉敷商業 | 4瀬戸南 |

**イ）個人戦**　☆S，24年（第1回）とS，29年（第6回）は記録不明。☆倉敷老松＝倉敷工業，倉敷至誠＝倉敷商業

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位（3は3位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 S，25 | BS | 中桐　明和 | 倉敷青陵 | 佐藤　正 | 倉敷老松 | 三宅　二朗 | 倉敷老松 | 3 三宅 | 倉敷老松 |
| | BD | 佐藤・岡本 | 倉敷老松 | 中桐・白神 | 倉敷青陵 | 内藤・前田 | 倉敷青陵 | 3 三宅・三宅 | 倉敷老松 |
| | GS | 前原　福子 | 倉敷青陵 | 難波　芳子 | 倉敷青陵 | 中田　裕子 | 倉敷青陵 | 3 佐藤　房子 | 倉敷青陵 |
| | GD | 前原・佐藤 | 倉敷青陵 | 矢野・平松 | 倉敷青陵 | 難波・片山 | 倉敷青陵 | 3 中本・長尾 | 玉島 |
| 3 S，26 | BS | 藤井　義夫 | 倉敷至誠 | 阿部　勝 | 倉敷老松 | 内藤　勇 | 倉敷青陵 | 3 小野 | 玉野 |
| | BD | 内藤・前田 | 倉敷青陵 | 筒井・小西 | 倉敷老松 | 阿部・松尾 | 倉敷老松 | 3 藤井・山田 | 倉敷至誠 |
| | GS | 前原　福子 | 倉敷青陵 | 難波　芳子 | 倉敷青陵 | 小野　三和 | 倉敷青陵 | | |
| | GD | 前原・難波 | 倉敷青陵 | 加藤・小野 | 倉敷青陵 | 松井・野口 | 倉敷青陵 | 3 高橋・姫井 | 倉敷青陵 |
| 4 S，27 | BS | 平方　進 | 倉敷老松 | 前田　俊一 | 倉敷老松 | 小松原孝介 | 倉敷青陵 | 3 吉田 | 玉島 |
| | BD | 平方・前田 | 倉敷老松 | 松田・坂口 | 西大寺 | 松王・行司 | 西大寺 | 3 多賀・小松原 | 倉敷青陵 |
| | GS | 野口　敏子 | 倉敷青陵 | 大塚　洋子 | 山陽女子 | 辻　芳子 | 山陽女子 | 3 吉川　英子 | 山陽女子 |
| | GD | 大塚・辻 | 山陽女子 | 大森・吉川 | 山陽女子 | 野口・松井 | 倉敷青陵 | 3 堺・窪田 | 南海 |
| 5 S，28 | BS | 松王　清志 | 西大寺 | 小松　康博 | 西大寺 | 記録不明 | | | |
| | BD | 松王・小林 | 西大寺 | 記録不明 | | | | | |
| | GS | 記録不明 | | | | | | | |
| | GD | | | | | | | | |
| 7 S，30 | BS | 松田　国宏 | 西大寺 | 石原縫次郎 | 西大寺 | 記録不明 | | | |
| | BD | 大林・今東 | 西大寺 | 行司・池島 | 西大寺 | | | | |
| | GS | 光本　政子 | 山陽女子 | 戸田　寿子 | 山陽女子 | | | | |
| | GD | 小林・三宅 | 山陽女子 | 友野・権田 | 山陽女子 | | | | |
| 8 S，31 | BS | 今東　幸一 | 西大寺 | 中尾　昇 | 西大寺 | 山本 | 倉敷工業 | 3 藤原　勇 | 倉敷工業 |
| | BD | 今東・大林 | 西大寺 | 中尾・小林 | 西大寺 | 山本・藤原 | 倉敷工業 | 3 三宅・赤木 | 倉敷商業 |
| | GS | 戸田　寿子 | 山陽女子 | 小林　桂子 | 山陽女子 | 根岸　純 | 山陽女子 | 3 守安　昭子 | 山陽女子 |
| | GD | 小林・戸田 | 山陽女子 | 守安・根岸 | 山陽女子 | 西山・良倉 | 井原 | 3 丸山・定金 | 倉敷青陵 |
| 9 S，32 | BS | 中尾　昇 | 西大寺 | 小松　貴 | 西大寺 | 藤原　勇 | 倉敷工業 | 3 高島　滋 | 西大寺 |
| | BD | 中尾・山本 | 西大寺 | 高島・武沢 | 西大寺 | 小松・国信 | 西大寺 | 3 難波・藤原 | 倉敷工業 |
| | GS | 根岸　純 | 山陽女子 | 西田　寿子 | 山陽女子 | 沢真　美子 | 山陽女子 | 3 山本　二三 | 山陽女子 |
| | GD | 根岸・山本 | 山陽女子 | 田中・滝本 | 井原 | 西田・沢 | 山陽女子 | 3 石井・今井 | 井原 |
| 10 S，33 | BS | 小松　貴 | 西大寺 | 国信　祝二 | 西大寺 | 阿部　一三 | 西大寺 | 藤井　英 | 倉敷青陵 |
| | BD | 小松・国信 | 西大寺 | 浅沼・阿部 | 倉敷工業 | 大谷・間野 | 倉敷工業 | 白神・岡 | 倉敷工業 |
| | GS | 沢　真美子 | 山陽女子 | 西田　寿子 | 山陽女子 | 合田　君子 | 山陽女子 | 長山　晴江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 沢・西田 | 山陽女子 | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 石井・吉岡 | 井原 | 佐々木・宮本 | 井原 |
| 11 S，34 | BS | 青井　正義 | 西大寺 | 岸本　俊昭 | 西大寺 | 奥山　重勝 | 西大寺 | 岡　義宏 | 倉敷工業 |
| | BD | 岡・白神 | 倉敷工業 | 青井・奥山 | 西大寺 | 松王・阿部 | 西大寺 | 岸本・山下 | 西大寺 |
| | GS | 湯浅　光枝 | 山陽女子 | 合田　君子 | 山陽女子 | 上田　幸子 | 山陽女子 | 山本　純子 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・湯浅 | 山陽女子 | 落・山本 | 山陽女子 | 上田・樋口 | 山陽女子 | 戸田・堀口 | 山陽女子 |
| 12 S，35 | BS | 松王　重明 | 西大寺 | 田中　輝史 | 西大寺 | 阿部　純一 | 西大寺 | 朝原　航 | 備南 |
| | BD | 松王・阿部 | 西大寺 | 小橋・上岡 | 西大寺 | 朝原慶・山崎 | 備南 | 三宅昇・三宅研 | 倉敷工業 |
| | GS | 合田　君子 | 山陽女子 | 吉藤　小夜 | 山陽女子 | 小合　佳子 | 山陽女子 | 高塚　淳子 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・吉藤 | 山陽女子 | 高塚・重政 | 山陽女子 | 佐藤・藤田 | 山陽女子 | 藤本・薮下 | 井原 |
| 13 S，36 | BS | 寺内　一 | 西大寺 | 朝原　航 | 備南 | 福田　詔一 | 備南 | 岡上　充仁 | 倉敷工業 |
| | BD | 寺内・宮崎 | 西大寺 | 朝原・福田 | 備南 | 岡上・丸山 | 倉敷工業 | 西山・岡崎 | 西大寺 |
| | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 小合　佳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 藤本　澄子 | 井原 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 小合・七村 | 山陽女子 | 藤本・藤井 | 井原 | 池田・藤原 | 倉敷青陵 |
| 14 S，37 県総体1 | BS | 岡崎　捷一 | 西大寺 | 阿部　正 | 西大寺 | 岡崎　強一 | 西大寺 | 福田　詔一 | 備南 |
| | BD | 阿部・岡崎 | 西大寺 | 福田・近藤 | 備南 | 岡崎・山本 | 西大寺 | 矢野・大倉 | 備南 |
| | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 七村　泰子 | 山陽女子 | 大賀　恵子 | 山陽女子 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 七村・中山 | 山陽女子 | 池田・笠原 | 井原 | 佐藤・川合 | 井原 |
| 15 S，38 2 | BS | 西崎　治道 | 西大寺 | 杉村大丈夫 | 倉敷工業 | 新田　義治 | 西大寺 | 高橋　健一 | 倉敷工業 |
| | BD | 杉村・高橋 | 倉敷工業 | 藤・内田 | 倉敷青陵 | 大井・武田 | 倉敷工業 | 吉村・太田 | 備南 |
| | GS | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 光岡　由枝 | 山陽女子 | 大森由紀子 | 山陽女子 | 猪原　利子 | 井原 |
| | GD | 田中・西江 | 井原 | 岡崎・猪原 | 井原 | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 長櫓・大森 | 山陽女子 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位（3は3位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 S,39 3 | BS | 大田 盛秋 | 備南 | 武田 崇嗣 | 倉敷工業 | 八代 順二 | 西大寺 | 吉村 傀三 | 備南 |
| | BD | 吉村・大田 | 備南 | 武田・大井 | 倉敷工業 | 貝吹・森下 | 倉敷工業 | 内田・三宅 | 倉敷青陵 |
| | GS | 湯木 博江 | 山陽女子 | 大賀 恵子 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 光岡 由枝 | 山陽女子 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 川相・藤原 | 井原 | 石井・堀崎 | 西大寺 |
| 17 S,40 4 | BS | 本藤 和明 | 倉敷工業 | 佐々木政志 | 倉敷工業 | 西村 一夫 | 備南 | 上野 輝治 | 備南 |
| | BD | 佐々木・平松 | 倉敷工業 | 本藤・松本 | 倉敷工業 | 西村・中野 | 備南 | 小峪・藤原 | 備南 |
| | GS | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 東島 早苗 | 西大寺 | 須佐美保江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 内藤・朝原 | 山陽女子 | 三宅・原 | 山陽女子 | 東島・佐藤 | 西大寺 |
| 18 S,41 5 | BS | 清水 雄吉 | 倉敷工業 | 小峪 充弘 | 備南 | 芳上 一男 | 備南 | 万代 芳郎 | 備南 |
| | BD | 小峪・藤原 | 備南 | 田中・芳上 | 備南 | 若松・森本 | 備南 | 清水・森田 | 倉敷工業 |
| | GS | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 佐藤 民子 | 西大寺 | 小林 宗子 | 西大寺 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 小林・佐藤 | 西大寺 | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 実村・堀木 | 西大寺 |
| 19 S,42 6 | BS | 若松 進 | 備南 | 森本 一郎 | 備南 | 武 広二 | 倉敷工業 | 森田 衛 | 倉敷工業 |
| | BD | 若松・森本 | 備南 | 森田・塩飽 | 倉敷工業 | 田中・武 | 倉敷工業 | 坂根・木村 | 西大寺 |
| | GS | 児玉 祥 | 山陽女子 | 岩田 定子 | 山陽女子 | 亀山 園子 | 倉敷青陵 | 笹尾真理子 | 山陽女子 |
| | GD | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 笹尾・西尾 | 山陽女子 | 亀山・野口 | 倉敷青陵 | 鈴木・光畑 | 山陽女子 |
| 20 S,43 7 | BS | 平田喜久雄 | 備南 | 平松 重吉 | 倉敷工業 | 斉藤 敏行 | 倉敷工業 | 岡本 英人 | 倉敷天城 |
| | BD | 平田・鶴沢 | 備南 | 庵谷・岡本 | 倉敷天城 | 斉藤・阿部 | 倉敷工業 | 森藤・岡 | 倉敷天城 |
| | GS | 児玉 祥 | 山陽女子 | 光畑 直美 | 山陽女子 | 鈴木 直美 | 山陽女子 | 大山 恵子 | 倉敷青陵 |
| | GD | 児玉・光畑 | 山陽女子 | 鈴木・木村 | 山陽女子 | 林・宮本 | 山陽女子 | 武内・志水 | 倉敷中央 |
| 21 S,44 8 | BS | 斉藤 敏行 | 倉敷工業 | 梶田 三郎 | 倉敷天城 | 岡 浩一 | 倉敷天城 | 森藤 直哉 | 倉敷天城 |
| | BD | 斉藤・片岡 | 倉敷工業 | 岡・森藤 | 倉敷天城 | 梶田・仙田 | 倉敷天城 | 田村・松井 | 備南 |
| | GS | 延原美和子 | 山陽女子 | 坪田久仁子 | 山陽女子 | 吉田 孝子 | 山陽女子 | 林 寿美子 | 山陽女子 |
| | GD | 坪田・延原 | 山陽女子 | 吉田・石田 | 山陽女子 | 林・岸本 | 山陽女子 | 妹尾・山田 | 倉敷青陵 |
| 22 S,45 9 | BS | 重安 良造 | 倉敷工業 | 松井 一 | 備南 | 藤原 次夫 | 備南 | 田村 学 | 備南 |
| | BD | 重安・川相 | 倉敷工業 | 田村・松井 | 備南 | 小田・服部 | 西大寺 | 久保・藤原 | 備南 |
| | GS | 石田 雅子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 山陽女子 | 吉田 孝子 | 山陽女子 | 林 寿美子 | 山陽女子 |
| | GD | 吉田・石田 | 山陽女子 | 剛迫・林 | 山陽女子 | 藤原・山本 | 山陽女子 | 田辺・三宅 | 山陽女子 |
| 23 S,46 10 | BS | 永井 孝 | 水島工業 | 塩飽 正史 | 倉敷工業 | 森 貴正 | 倉敷青陵 | 重井 文博 | 倉敷青陵 |
| | BD | 仁科・鶴沢 | 倉敷工業 | 森・重井 | 倉敷青陵 | 那須・渡辺 | 水島工業 | 橋本・尾熊 | 倉敷天城 |
| | GS | 平田喜久江 | 山陽女子 | 林 寿美子 | 山陽女子 | 三宅 一美 | 山陽女子 | 松尾 敏子 | 山陽女子 |
| | GD | 平田・林 | 山陽女子 | 三田・田辺 | 山陽女子 | 松尾・三宅 | 山陽女子 | 多賀・鎌村 | 倉敷中央 |
| 24 S,47 11 | BS | 重井 文博 | 倉敷青陵 | 東 昌二 | 倉敷工業 | 山本 勉 | 備南 | 田淵 達哉 | 倉敷天城 |
| | BD | 重井・堀 | 倉敷青陵 | 北井・大野 | 倉敷工業 | 中田・田淵 | 倉敷天城 | 赤沢・佐藤 | 矢掛商業 |
| | GS | 寺見みど里 | 山陽女子 | 田辺 裕子 | 山陽女子 | 三田 明美 | 山陽女子 | 3三宅 一美 | 山陽女子 |
| | GD | 三田・寺見 | 山陽女子 | 三宅・田辺 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 | 3藤原・広瀬 | 山陽女子 |
| 25 S,48 12 | BS | 大野 昇 | 倉敷工業 | 平田 博文 | 水島工業 | 井上 雅裕 | 水島工業 | 3橋本 敏邦 | 倉敷青陵 |
| | BD | 小野・橋本 | 倉敷青陵 | 大野・藤原 | 倉敷工業 | 剣持・大崎 | 倉敷天城 | 3村田・角田 | 総社 |
| | GS | 近藤 小織 | 山陽女子 | 原田美智子 | 山陽女子 | 藤原 敦子 | 山陽女子 | 3国定 久恵 | 山陽女子 |
| | GD | 原田・藤原 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | 3林・大野 | 倉敷青陵 |
| 26 S,49 13 | BS | 藤原 道弘 | 倉敷工業 | 田中 行治 | 倉敷工業 | 橋本 敏邦 | 倉敷青陵 | 3片岡 正之 | 倉敷工業 |
| | BD | 田中・永山 | 倉敷工業 | 藤原・片岡 | 倉敷工業 | 橋本・武者 | 倉敷青陵 | 3村田・角田 | 総社 |
| | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 藤原 敦子 | 山陽女子 | 日原 禎子 | 山陽女子 | 3小寺 裕美 | 山陽女子 |
| | GD | 原田・藤原 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | 藤井・岡本 | 倉敷青陵 | 3難波・小野 | 倉敷青陵 |
| 27 S,50 14 | BS | 片岡 正之 | 倉敷工業 | 藤原 道弘 | 倉敷工業 | 平田 重男 | 倉敷工業 | 3田中 誠 | 倉敷工業 |
| | BD | 片岡・藤原 | 倉敷工業 | 平田・景山 | 倉敷工業 | 西崎・楠木 | 水島工業 | 3織田・土岐 | 水島工業 |
| | GS | 岡部 五月 | 山陽女子 | 橋本 千春 | 山陽女子 | 小山 真弓 | 山陽女子 | 3貝原 規子 | 山陽女子 |
| | GD | 橋本・岡部 | 山陽女子 | 小山・貝原 | 山陽女子 | 守屋・小野 | 倉敷中央 | 3岡本・藤井 | 倉敷青陵 |
| 28 S,51 15 | BS | 守安 達二 | 水島工業 | 安田 央 | 倉敷青陵 | 横山 真二 | 倉敷工業 | 3楢本 昌司 | 津山 |
| | BD | 安田・森脇 | 倉敷青陵 | 槙野・林 | 倉敷天城 | 守安・池本 | 水島工業 | 3安田・西平 | 水島工業 |
| | GS | 田辺 淑子 | 山陽女子 | 森下 真紀 | 山陽女子 | 小野 典子 | 倉敷中央 | 3上神 英美 | 山陽女子 |
| | GD | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 森下・神農 | 山陽女子 | 小野・藤原 | 倉敷中央 | 3串田・斉藤 | 山陽女子 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位（3は3位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 29 S,52 16 | BS | 守安　達二 | 水島工業 | 安田　勝己 | 西大寺 | 佐々木幸男 | 倉敷工業 | 3亀山　文雄 | 倉敷工業 |
| | BD | 守安・樋口 | 水島工業 | 小林・安田 | 西大寺 | 野瀬・渡辺 | 倉敷天城 | 3松本・難波 | 水島工業 |
| | GS | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 亀山　映子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 3紙本　智子 | 山陽女子 |
| | GD | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 紙本・斉藤 | 山陽女子 | 亀山・村上 | 山陽女子 | 3峰政・皿井 | 山陽女子 |
| 30 S,53 17 | BS | 難波　義雄 | 水島工業 | 亀山　文雄 | 倉敷工業 | 藤原　一志 | 水島工業 | 3前田　雅美 | 倉敷工業 |
| | BD | 亀山・若林 | 倉敷工業 | 野瀬・渡辺 | 倉敷天城 | 藤原・難波 | 水島工業 | 3前田・竺原 | 倉敷工業 |
| | GS | 皿井由美子 | 山陽女子 | 串田　有子 | 山陽女子 | 斉藤　薫 | 山陽女子 | 3松島　万子 | 山陽女子 |
| | GD | 串田・皿井 | 山陽女子 | 斉藤・松島 | 山陽女子 | 天野・原田 | 山陽女子 | 3奥山・北川 | 西大寺 |
| 31 S,54 18 | BS | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 若林　邦任 | 水島工業 | 3西江　均 | 東岡山工 |
| | BD | 前田・竺原 | 倉敷工業 | 佐藤・秋柴 | 倉敷工業 | 大月・佐藤 | 水島工業 | 3高見・斉藤 | 金　川 |
| | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | 松島　万子 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 3合田なおみ | 山陽女子 |
| | GD | 松島・天野 | 山陽女子 | 原田・轟 | 山陽女子 | 合田・竹原 | 山陽女子 | 3金光・岡崎 | 西大寺 |
| 32 S,55 19 | BS | 若林　邦任 | 水島工業 | 西江　均 | 東岡山工 | 天野　靖 | 水島工業 | 3楢原　博和 | 西大寺 |
| | BD | 若林・片岡 | 水島工業 | 田枝・天野 | 水島工業 | 阪本・宇野 | 倉敷天城 | 3西江・青木 | 東岡山工 |
| | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 | 3天野　真理 | 山陽女子 |
| | GD | 原田美・竹原 | 山陽女子 | 天野・轟 | 山陽女子 | 木下・合田 | 山陽女子 | 3相賀・原田明 | 山陽女子 |
| 33 S,56 20 | BS | 片岡　洋一 | 水島工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 | 青木　英一 | 倉敷天城 | 3妹尾　和彦 | 岡山工業 |
| | BD | 片岡・佐藤 | 水島工業 | 練尾・日谷 | 水島工業 | 青木・山崎 | 倉敷天城 | 3妹尾・庄盛 | 岡山工業 |
| | GS | 合田なおみ | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 原田　明子 | 山陽女子 | 3木下美紀子 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・木下 | 山陽女子 | 岡・原田 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 3早嶋・景行 | 美　作 |
| 34 S,57 21 | BS | 三村　勇人 | 倉敷工業 | 練尾　晋一 | 水島工業 | 貝原　康之 | 倉敷工業 | 3林　保典 | 倉敷青陵 |
| | BD | 練尾・日谷 | 水島工業 | 林・井上 | 倉敷青陵 | 渡辺・佐藤 | 東岡山工 | 3山田・尾嵜 | 瀬戸農業 |
| | GS | 相賀　里香 | 山陽女子 | 浮田美代子 | 山陽女子 | 岡百　合子 | 山陽女子 | 3轟　美智子 | 山陽女子 |
| | GD | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 岡・轟 | 山陽女子 | 有田・万代 | 山陽女子 | 3谷本・沼本 | 西大寺 |
| 35 S,58 22 | BS | 倉本　哲生 | 水島工業 | 中須賀史行 | 東岡山工 | 今東　建 | 西大寺 | 3綱島　淳二 | 加茂川 |
| | BD | 久米・中村 | 水島工業 | 中須賀・白政 | 東岡山工 | 板野・綱島 | 加茂川 | 3江口・谷本 | 倉敷工業 |
| | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | 万代　暁美 | 山陽女子 | 河内　富子 | 山陽女子 | 3福田　正子 | 倉敷中央 |
| | GD | 轟・河内 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 坂井・万代 | 山陽女子 | 3竹原・近常 | 山陽女子 |
| 36 S,59 23 | BS | 今東　建 | 西大寺 | 浅沼　正和 | 水島工業 | 西崎　書彦 | 西大寺 | 貝原　義文 | 水島工業 |
| | BD | 今東・西崎 | 西大寺 | 浅沼・仁後 | 水島工業 | 近藤・黒住 | 瀬戸南 | 浜田・古谷 | 水島工業 |
| | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 坂井　純子 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 | 浅野みどり | 倉敷中央 |
| | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 坂井・諏訪 | 山陽女子 | 楢原・馬場 | 瀬戸 | 横山・藤原 | 瀬戸 |
| 37 S,60 24 | BS | 高見　浩二 | 倉敷工業 | 仁後　春志 | 水島工業 | 貝原　義文 | 水島工業 | 岡崎　秀博 | 倉敷工業 |
| | BD | 高原・頓宮 | 瀬戸南 | 畑・川上 | 古城池 | 貝原・坪井 | 水島工業 | 逸見・川上 | 水島工業 |
| | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 |
| | GD | 近常・西林 | 山陽女子 | 竹原・紀井 | 山陽女子 | 横田・橋本 | 総社 | 横山・仲村 | 瀬戸南 |
| 38 S,61 25 | BS | 逸見　利雄 | 水島工業 | 平田　勝久 | 総社 | 吉田　優男 | 瀬戸南 | 小川　守 | 倉敷工業 |
| | BD | 吉田・金田 | 瀬戸南 | 小川・四枝 | 倉敷工業 | 逸見・横田 | 水島工業 | 古谷野・横山 | 倉敷工業 |
| | GS | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 平尾　佳子 | 山陽女子 | 松王香音里 | 山陽女子 |
| | GD | 紀井・西林 | 山陽女子 | 平尾・大木 | 山陽女子 | 人見・松王 | 山陽女子 | 横山・小橋 | 瀬戸南 |
| 39 S,62 26 | BS | 横田　豊和 | 水島工業 | 横山　健一 | 倉敷工業 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 3福田　哲 | 玉野光南 |
| | BD | 横田・藤原 | 水島工業 | 久山・笠原 | 水島工業 | 平尾・片岡 | 瀬戸南 | 3延本・出原 | 理大付属 |
| | GS | 松王香音里 | 山陽女子 | 人見　順子 | 山陽女子 | 中川　裕規 | 山陽女子 | 3河原美津巳 | 山陽女子 |
| | GD | 人見・松王 | 山陽女子 | 岡・村瀬 | 山陽女子 | 篠原・片岡 | 山陽女子 | 3佐藤・渡部 | 山陽女子 |
| 40 S,63 27 | BS | 白神　和彦 | 水島工業 | 福田　哲 | 玉野光南 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 片岡　義博 | 瀬戸南 |
| | BD | 福田・松田 | 玉野光南 | 白神・春名 | 水島工業 | 西山・田中 | 水島工業 | 門野・石井 | 玉野光南 |
| | GS | 佐藤　由香 | 山陽女子 | 西本　早苗 | 倉敷翠松 | 渡部　美香 | 山陽女子 | 藤原　清美 | 倉敷翠松 |
| | GD | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 出原・柚木 | 山陽女子 | 土肥・西本 | 倉敷翠松 | 中村・那須 | 西大寺 |
| 41 H,元 28 | BS | 石田　猛 | 玉野光南 | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 石井　繁之 | 玉野光南 |
| | BD | 石本・野田 | 理大付属 | 山磨・坂口 | 倉敷工業 | 内藤・三辻 | 瀬戸南 | 石田・石井 | 玉野光南 |
| | GS | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 横田　裕子 | 山陽女子 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 渡辺・藤原 | 倉敷翠松 | 横田・畝山 | 山陽女子 | 此元・羽原 | 倉敷翠松 | 荒井・杉本 | 倉敷翠松 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 42 H,2 29 | BS | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 立野　隆行 | 水島工業 | 久山　信行 | 水島工業 |
| | BD | 三辻・西方 | 瀬戸南 | 立野・久山 | 水島工業 | 坂口・松倉 | 倉敷工業 | 山川・仁井 | 玉野光南 |
| | GS | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 竹中　理恵 | 玉野光南 |
| | GD | 住矢･佐藤由 | 山陽女子 | 高岡･佐藤純 | 山陽女子 | 杉本・安原 | 倉敷翠松 | 山本・森嶋 | 瀬戸南 |
| 43 H,3 30 | BS | 田中　学 | 水島工業 | 藤田　航平 | 玉野商業 | 中島　誠 | 倉敷工業 | 久木田拓郎 | 倉敷工業 |
| | BD | 道西・仁井 | 玉野光南 | 青江・守安 | 倉敷工業 | 藤田・川田 | 玉野商業 | 広地・森脇 | 倉敷南 |
| | GS | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 高岡　ゆり | 山陽女子 | 藤原　裕子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 住矢･佐藤由 | 山陽女子 | 藤原・安原 | 倉敷翠松 | 高岡･佐藤純 | 山陽女子 | 轟　・山口 | 山陽女子 |
| 44 H,4 31 | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 森田　洋 | 倉敷工業 | 堀江賢二郎 | 水島工業 | 田中　学 | 水島工業 |
| | BD | 草井・松本 | 瀬戸南 | 田中・堀江 | 水島工業 | 森田・楢原 | 倉敷工業 | 守安・青江 | 倉敷工業 |
| | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 山口　順子 | 山陽女子 | 神宝　朝子 | 山陽女子 |
| | GD | 松王・住矢 | 山陽女子 | 山口・長門 | 山陽女子 | 轟　・神宝 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 |
| 45 H,5 32 | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 赤松　茂 | 岡山一宮 | 一井　芳隆 | 倉敷工業 |
| | BD | 森田・楢原 | 倉敷工業 | 草井・杉山 | 瀬戸南 | 竹下・平松 | 倉敷南 | 岩田・長尾 | 玉野光南 |
| | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 長門　弘美 | 山陽女子 | 加藤　美香 | 山陽女子 |
| | GD | 松王・住矢 | 山陽女子 | 神宝・長門 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 雄龍･須々木 | 山陽女子 |
| 46 H,6 33 | BS | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 三宅　伸介 | 倉敷工業 | 西本　康宏 | 倉敷工業 | 三宅　隆之 | 水島工業 |
| | BD | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 西本・大栄 | 倉敷工業 | 三宅・三宅 | 水島工業 | 土岐・小西 | 水島工業 |
| | GS | 須々木　恵 | 山陽女子 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 柏野　雅美 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 |
| | GD | 加藤・赤澤 | 山陽女子 | 須々木･雄龍 | 山陽女子 | 佐藤・次田 | 佐藤女子 | 柏野・田井 | 山陽女子 |
| 47 H,7 34 | BS | 松川　大記 | 倉敷工業 | 安本　貴士 | 水島工業 | 宮澤　勝智 | 瀬戸南 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 |
| | BD | 宮澤・池田 | 瀬戸南 | 松川・塚田 | 倉敷工業 | 樋口・小田 | 倉敷天城 | 安本・石井 | 水島工業 |
| | GS | 加藤　美香 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 | 田井　優希 | 山陽女子 | 雄龍めぐみ | 山陽女子 |
| | GD | 加藤美･赤澤 | 山陽女子 | 次田･加藤し | 山陽女子 | 田井・雄龍 | 山陽女子 | 藤井・谷口 | 瀬戸南 |
| 48 H,8 35 | BS | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 柴田　匡史 | 倉敷工業 | 松川　大記 | 倉敷工業 | 野崎　心也 | 玉野光南 |
| | BD | 松川・塚田 | 倉敷工業 | 岡村・柴田 | 倉敷工業 | 田辺・遠藤 | 倉敷工業 | 吉田・田中 | 水島工業 |
| | GS | 井山　美里 | 山陽女子 | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 國司　良子 | 山陽女子 | 宇野佳緒里 | 山陽女子 |
| | GD | 雄龍・國司 | 山陽女子 | 宇野・小田 | 山陽女子 | 須藤・西山 | 倉敷翠松 | 橋村・小川 | 山陽女子 |

## ③国民体育大会県予選会

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男子S | 原恵二(倉敷商業)多賀和男・佐藤正・森山(ともに倉敷工業)宮城・山上・小田・重実(ともに一般)順位不明 | | | | | | | |
| 4 | D | 原・井沢豊(倉敷工)は山上組に勝。松本・宮城(鐘紡西大寺)と森山・多賀(倉敷工)は勝敗不明。 | | | | | | 山上・西平 | 食糧公団 |
| S,24 | 女子S | 山村(鐘紡西大寺)上野節子(倉敷青陵)で決勝 | | | | 更井 幹示 | 林薬品 | 平松 久子 | 倉敷青陵 |
| | D | 西岡恭子(倉敷精思)・上野と佐藤・前原(ともに倉敷青陵)で決勝 | | | | 平松・矢野 | 倉敷青陵 | 児島・伊丹 | 真備 |
| | BS | 中桐 明和 | 倉敷青陵 | 三宅 二朗 | 倉敷老松 | 佐藤 正 | 倉敷老松 | 藤井 義夫 | 倉敷至誠 |
| 5 | BD | 中桐・白神 | 倉敷青陵 | 三宅・佐藤 | 倉敷老松 | 岡本・三宅 | 倉敷老松 | 阿部・松尾 | 倉敷老松 |
| S,25 | GS | 前原 福子 | 倉敷青陵 | 難波 芳子 | 倉敷青陵 | 佐藤 房子 | 倉敷青陵 | 中田 裕子 | 倉敷青陵 |
| | GD | 前原・難波と佐藤・中田(ともに倉敷青陵)で決勝戦 | | | | 小野・加藤 | 倉敷青陵 | 更井・児島 | 岡山クラブ |
| 6 | BS | 内藤 勇 | 倉敷青陵 | 筒井 一道 | 倉敷老松 | 阿部 勝 | 倉敷老松 | 藤井 義夫 | 倉敷至誠 |
| S,26 | GS | 難波 芳子 | 倉敷青陵 | 加藤まつ子 | 倉敷青陵 | 小野 三和 | 倉敷青陵 | 4大塚 洋子 | 山陽女子 |
| 7 | BS | 平方 進 | 倉敷老松 | 前田 俊一 | 倉敷老松 | 小松原孝介 | 倉敷青陵 | 松王 清志 | 西大寺 |
| S,27 | GS | 野口 敏子 | 倉敷青陵 | 大塚 洋子 | 山陽女子 | 辻 芳子 | 山陽女子 | 吉川 英子 | 山陽女子 |
| 8 | BS | 松王清志(西大寺)と武田義展(倉敷工業)で決勝 | | | | 米田 啓二 | 倉敷青陵 | 4楢村 英治 | 倉敷青陵 |
| S,28 | GS | 土家かし子(山陽女子)と貝原勝子(青陵)で決勝 | | | | 吉川 英子 | 山陽女子 | 4大森 嘉美 | 山陽女子 |
| 9 | BS | 米田 敬二 | 倉敷青陵 | 加川 哲雄 | 倉敷青陵 | 小松 康博 | 西大寺 | 4朝倉 清昌 | 西大寺 |
| S,29 | GS | 友野 文子 | 山陽女子 | 大森 嘉美 | 山陽女子 | 三宅 基子 | 山陽女子 | 4津島 伸子 | 倉敷青陵 |
| 10 | BS | 松田 国宏・石原 縫次郎・行司 忠章(ともに西大寺)順位不明 | | | | | | | |
| S,30 | GS | 友野 文子 | 山陽女子 | 権田 節子 | 山陽女子 | 三宅 基子 | 山陽女子 | | |
| 11 | BS | 今東 幸一・中尾 昇・吉田 真昌(ともに西大寺)順位不明 | | | | | | | |
| S,31 | GS | 小林 桂子・戸田 寿子・根岸 純(ともに山陽女子)順位不明 | | | | | | | |
| | BS | 小松 貴 | 西大寺 | 中尾 昇 | 西大寺 | 藤原 勇 | 倉敷工業 | | |
| 12 | BD | 高島・武沢 | 西大寺 | 中尾・山本 | 西大寺 | | | | |
| S,32 | GS | 根岸 純 | 山陽女子 | 沢 真美子 | 山陽女子 | 西田 寿子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 田中・滝本 | 井原 | 根岸・山本 | 山陽女子 | | | | |
| | BS | 小松 貴 | 西大寺 | 国信 祝二 | 西大寺 | 阿部 一三 | 西大寺 | 4岸本 俊昭 | 西大寺 |
| 13 | BD | 小松・国信 | 西大寺 | 阿部・浅沼 | 倉敷工業 | 奥山・青井 | 西大寺 | 4岡・白神 | 倉敷工業 |
| S,33 | GS | 沢真 美子 | 山陽女子 | 根岸 純 | 山陽女子 | 西田 寿子 | 山陽女子 | 4湯浅 光枝 | 山陽女子 |
| | GD | 沢・西田 | 山陽女子 | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 石井・吉岡 | 井原 | 4佐々木・宮本 | 井原 |
| | BS | 青井 正義 | 西大寺 | 小橋 武 | 西大寺 | 松王 重明 | 西大寺 | 4白神 隆 | 倉敷工業 |
| 14 | BD | 岡・白神 | 倉敷工業 | 松王・阿部 | 西大寺 | 青井・奥山 | 西大寺 | 4山下・岸本 | 西大寺 |
| S,34 | GS | 湯浅 光枝 | 山陽女子 | 合田 君子 | 山陽女子 | 上田 幸子 | 山陽女子 | 4渡辺 勝子 | 井原 |
| | GD | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 山本・落 | 山陽女子 | 定光・名越 | 井原 | 4堀口・樋口 | 山陽女子 |
| | BS | 小橋 武 | 西大寺 | 朝原 慶三 | 備南 | 松王 重明 | 西大寺 | 4田中 輝史 | 西大寺 |
| 15 | BD | 松王・阿部 | 西大寺 | 小橋・上岡 | 西大寺 | 朝原・山崎 | 備南 | 4田中・西山 | 西大寺 |
| S,35 | GS | 合田 君子 | 山陽女子 | 高塚 淳子 | 山陽女子 | 重政 百代 | 山陽女子 | 4小合 佳子 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・小合 | 山陽女子 | 高塚・重政 | 山陽女子 | 籔下・藤本 | 井原 | 4佐藤・藤田 | 山陽女子 |
| | BS | 寺内 侃一 | 西大寺 | 朝原 航 | 備南 | 西山 寛 | 西大寺 | 4岡上 充仁 | 倉敷工業 |
| 16 | BD | 朝原・福田 | 備南 | 西山・岡崎 | 西大寺 | 岡上・丸山 | 倉敷工業 | 4寺内・宮崎 | 西大寺 |
| S,36 | GS | 重政 百代 | 山陽女子 | 高塚 淳子 | 山陽女子 | 小合 佳子 | 山陽女子 | 4藤本 澄子 | 井原 |
| | GD | 重政・高塚 | 山陽女子 | 小合・七村 | 山陽女子 | 藤本・藤井 | 井原 | 4井上・西村 | 井原 |
| 17 | BS | 福田 詔一 | 備南 | 岡崎 捷一 | 西大寺 | 阿部 正 | 西大寺 | 4岡崎 強一 | 西大寺 |
| S,37 | GS | 七村 泰子 | 山陽女子 | 中山 慶 | 山陽女子 | 重政 百代 | 山陽女子 | 4高塚 淳子 | 山陽女子 |
| | BS | 西崎 治道 | 西大寺 | 高橋 健一 | 倉敷工業 | 杉村大丈夫 | 倉敷工業 | 4吉村 傀三 | 備南 |
| 18 | BD | 杉村・高橋 | 倉敷工業 | 大井・武田 | 倉敷工業 | 西崎・新田 | 西大寺 | 4山本・八代 | 西大寺 |
| S,38 | GS | 大賀 恵子 | 山陽女子 | 西江 千尋 | 井原 | 光岡 由枝 | 山陽女子 | 4猪原 利子 | 井原 |
| | GD | 田中・西江 | 井原 | 岡崎・猪原 | 井原 | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 4大森・長櫓 | 山陽女子 |
| 19 | BS | 大田 盛秋 | 備南 | 吉村 傀三 | 備南 | 武田 崇嗣 | 倉敷工業 | 4大井 敏雄 | 倉敷工業 |
| S,39 | GS | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 大賀 恵子 | 山陽女子 | 4光岡 由枝 | 山陽女子 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位（4は4位） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 佐々木政志 | 倉敷工業 | 本藤 和明 | 倉敷工業 | 上野 輝治 | 備 南 | 4中村 浩成 | 西大寺 |
| 20 | BD | 佐々木・平松 | 倉敷工業 | 小峪・藤原 | 備 南 | 上野・氏家 | 備 南 | 4中野・西村 | 備 南 |
| S,40 | GS | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 東島 早苗 | 西大寺 | 4須佐美保江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 内藤・朝原 | 山陽女子 | 三宅・原 | 山陽女子 | 4東島・佐藤 | 西大寺 |
| | BS | 芳上 一男 | 備 南 | 小峪 充弘 | 備 南 | 清水 雄吉 | 倉敷工業 | 4金光 洋一 | 西大寺 |
| 21 | BD | 小峪・藤原 | 備 南 | 田中・芳上 | 備 南 | 氏家・万代 | 備 南 | 4若松・森本 | 備 南 |
| S,41 | GS | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 佐藤 民子 | 西大寺 | 4小林 宗子 | 西大寺 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 小林・佐藤 | 西大寺 | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 4西尾・笹尾 | 山陽女子 |
| | BS | 武 広二 | 倉敷工業 | 田中 勝 | 倉敷工業 | 森本 一郎 | 備 南 | 4坂根 修 | 西大寺 |
| 22 | BD | 若松・森本 | 備 南 | 山下・平田 | 備 南 | 森田・角田 | 倉敷工業 | 4田中・佐々木 | 倉敷工業 |
| S,42 | GS | 岩田 定子 | 山陽女子 | 亀山 園子 | 倉敷青陵 | 児玉 祥 | 山陽女子 | 4石田 陽子 | 西大寺 |
| | GD | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 亀山・野口 | 倉敷青陵 | 鈴木・光畑 | 山陽女子 | 4広井・片岡 | 倉敷中央 |
| | BS | 平田喜久夫 | 備 南 | 平松 重吉 | 倉敷工業 | 斉藤 敏行 | 倉敷工業 | 4鶴沢 修 | 備 南 |
| 23 | BD | 平田・鶴沢 | 備 南 | 平松・斉藤 | 倉敷工業 | 阿部・安藤 | 倉敷工業 | 岡・森藤 | 倉敷天城 |
| S,43 | GS | 児玉 祥 | 山陽女子 | 光畑 直美 | 山陽女子 | 大山 恵子 | 倉敷青陵 | 4鈴木 直美 | 山陽女子 |
| | GD | 児玉・光畑 | 山陽女子 | 鈴木・木村 | 山陽女子 | 坪田・延原 | 山陽女子 | 清水・坂本 | 倉敷中央 |
| | BS | 斉藤 敏行 | 倉敷工業 | 片岡 忠明 | 倉敷工業 | 田村 学 | 備 南 | 4松井 一 | 備 南 |
| 24 | BD | 斉藤・片岡 | 倉敷工業 | 田村・松井 | 備 南 | 小田・服部 | 西大寺 | 元田・永井 | 水島工業 |
| S,44 | GS | 吉田 孝子 | 山陽女子 | 坪田久仁子 | 山陽女子 | 延原美和子 | 山陽女子 | 4石田 雅子 | 山陽女子 |
| | GD | 坪田・延原 | 山陽女子 | 石田・吉田 | 山陽女子 | 林 ・岸本 | 山陽女子 | 川崎・剛迫 | 山陽女子 |
| | BS | 松井 一 | 備 南 | 田村 学 | 備 南 | 藤原 次夫 | 備 南 | 4重安 良造 | 倉敷工業 |
| 25 | BD | 田村・松井 | 備 南 | 重安・川相 | 倉敷工業 | 小田・服部 | 西大寺 | 森 ・重井 | 倉敷青陵 |
| S,45 | GS | 石田 雅子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 山陽女子 | 林 寿美子 | 山陽女子 | 4吉田 孝子 | 山陽女子 |
| | GD | 吉田・石田 | 山陽女子 | 剛迫・ 林 | 山陽女子 | 田辺・三宅 | 山陽女子 | 平田・松尾 | 山陽女子 |
| | BS | 永井 孝 | 水島工業 | 重井 文博 | 倉敷青陵 | 塩飽 正史 | 倉敷工業 | 4仁科 弘 | 倉敷工業 |
| 26 | BD | 仁科・鶴沢 | 倉敷工業 | 安田・塩飽 | 倉敷工業 | 那須・渡辺 | 水島工業 | 永井・平田 | 倉敷工業 |
| S,46 | GS | 平田喜久江 | 山陽女子 | 林 寿美子 | 山陽女子 | 三宅 一美 | 山陽女子 | 4田辺 裕子 | 山陽女子 |
| | GD | 平田・ 林 | 山陽女子 | 田辺・三宅 | 山陽女子 | 多賀・鎌村 | 倉敷中央 | 三田・寺見 | 山陽女子 |
| | BS | 重井 文博 | 倉敷青陵 | 北井 勝義 | 倉敷工業 | 山本 勉 | 備 南 | 4平田 博文 | 水島工業 |
| 27 | BD | 北井・大野 | 倉敷工業 | 赤沢・佐藤 | 矢掛商業 | 村井・山本 | 備 南 | 石本・山本 | 水島工業 |
| S,47 | GS | 三田 明美 | 山陽女子 | 近藤 小織 | 山陽女子 | 寺見みど里 | 山陽女子 | 4広瀬 純子 | 山陽女子 |
| | GD | 三田・寺見 | 山陽女子 | 三宅・田辺 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 | 日原・藤原 | 山陽女子 |
| | BS | 平田 博文 | 水島工業 | 小野 勝彦 | 倉敷青陵 | 橋本 敏邦 | 倉敷青陵 | 大野 昇 | 倉敷工業 |
| 28 | BD | 小野・橋本 | 倉敷青陵 | 大野・藤原 | 倉敷工業 | 田中・永山 | 倉敷工業 | 遠藤・板谷 | 水島工業 |
| S,48 | GS | 近藤 小織 | 山陽女子 | 藤原 敦子 | 山陽女子 | 小寺 裕美 | 山陽女子 | 国定 久恵 | 山陽女子 |
| | GD | 近藤・国定 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | 平松・小野 | 倉敷青陵 | 西野・八木 | 倉敷中央 |
| | BS | 片岡 正之 | 倉敷工業 | 藤原 道弘 | 倉敷工業 | 平田 重男 | 倉敷工業 | 田中 行治 | 倉敷工業 |
| 29 | BD | 片岡・藤原 | 倉敷工業 | 田中・永山 | 倉敷工業 | 平田・景山 | 倉敷工業 | 板谷・白神 | 水島工業 |
| S,49 | GS | 小寺 裕美 | 山陽女子 | 藤原 敦子 | 山陽女子 | 日原 禎子 | 山陽女子 | 橋本 千春 | 山陽女子 |
| | GD | 小寺・日原 | 山陽女子 | 橋本・ 林 | 山陽女子 | 山渋・高木 | 山陽女子 | 羽崎・森脇 | 西大寺 |
| | BS | 平田 重男 | 倉敷工業 | 片岡 正之 | 倉敷工業 | 藤原 道弘 | 倉敷工業 | 田中 誠 | 倉敷工業 |
| 30 | BD | 藤原・片岡 | 倉敷工業 | 西崎・楠戸 | 水島工業 | 織田・土岐 | 水島工業 | 藤井・貝原 | 水島工業 |
| S,50 | GS | 橋本 千春 | 山陽女子 | 小山 真弓 | 山陽女子 | 岡部 五月 | 山陽女子 | 松本 千鶴 | 倉敷翠松 |
| | GD | 橋本・岡部 | 山陽女子 | 小山・貝原 | 山陽女子 | 松本・大源 | 倉敷翠松 | 守屋・若林 | 倉敷中央 |
| | BS | 横山 真二 | 倉敷工業 | 守安 達二 | 水島工業 | 安田 憲弘 | 水島工業 | 戸田 嘉治 | 水島工業 |
| 31 | BD | 守安・池本 | 水島工業 | 安田・西平 | 水島工業 | 北村・佐々木 | 倉敷工業 | 亀井・近藤 | 西大寺 |
| S,51 | GS | 森下 真紀 | 山陽女子 | 田辺 淑子 | 山陽女子 | 上神 英美 | 山陽女子 | 小野 典子 | 倉敷中央 |
| | GD | 梶田・田辺 | 山陽女子 | 小野・藤原 | 倉敷中央 | 串田・斎藤 | 山陽女子 | 岡本・曽我 | 倉敷中央 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 守安　達二 | 水島工業 | 安田　勝巳 | 西大寺 | 小橋　利之 | 水島工業 | 亀山　文雄 | 倉敷工業 |
| 32 | BD | 守安・樋口 | 水島工業 | 安田・小林 | 西大寺 | 亀山・佐々木 | 倉敷工業 | 小橋・鈴木 | 水島工業 |
| S,52 | GS | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 亀山　映子 | 山陽女子 | 串田　有子 | 山陽女子 |
| | GD | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 亀山・村上 | 山陽女子 | 紙本・斉藤 | 山陽女子 | 松島・直原 | 山陽女子 |
| | BS | 藤原　一志 | 水島工業 | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 難波　義雄 | 水島工業 | 亀山　文雄 | 倉敷工業 |
| 33 | BD | 難波・藤原 | 水島工業 | 亀山・若林 | 倉敷工業 | 前田・竺原 | 倉敷工業 | 松本・諏訪 | 水島工業 |
| S,53 | GS | 皿井由美子 | 山陽女子 | 串田　有子 | 山陽女子 | 斎藤　薫 | 山陽女子 | 原田　美和 | 山陽女子 |
| | GD | 串田・皿井 | 山陽女子 | 斎藤・松島 | 山陽女子 | 天野・原田 | 山陽女子 | 奥山・北川 | 西大寺 |
| | BS | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 秋柴　裕之 | 倉敷工業 | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 若林　邦任 | 水島工業 |
| 34 | BD | 前田・竺原 | 倉敷工業 | 大月・佐藤 | 水島工業 | 佐藤・秋柴 | 倉敷工業 | 田枝・天野 | 水島工業 |
| S,54 | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | 松島　万子 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 |
| | GD | 松島・天野 | 山陽女子 | 原田・轟 | 山陽女子 | 合田・竹原 | 山陽女子 | 神土・河崎 | 山陽女子 |
| | BS | 若林　邦任 | 水島工業 | 今井　智士 | 西大寺 | 西江　均 | 東岡山工 | 田枝　誠一 | 水島工業 |
| 35 | BD | 西江・青木 | 東岡山工 | 若林・片岡 | 水島工業 | 田枝・天野 | 水島工業 | 今井・楢原 | 西大寺 |
| S,55 | GS | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 原田　美和 | 山陽女子 | 轟　恵美子 | 山陽女子 |
| | GD | 原田美・竹原 | 山陽女子 | 轟・天野 | 山陽女子 | 原田明・相賀 | 山陽女子 | 山崎・浮田 | 山陽女子 |
| | BS | 片岡　洋一 | 水島工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 | 坪井　英之 | 倉敷工業 | 久山　雅之 | 東岡山工 |
| 36 | BD | 片岡・佐藤 | 水島工業 | 日谷・練尾 | 水島工業 | 妹尾・庄盛 | 岡山工業 | 赤枝・高本 | 瀬戸農業 |
| S,56 | GS | 合田なおみ | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・木下 | 山陽女子 | 原田・岡 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 渡辺・藤井 | 瀬戸農業 |
| | BS | 久山　雅之 | 東岡山工 | 倉本　哲生 | 水島工業 | 三村　勇人 | 倉敷工業 | 今東　建 | 西大寺 |
| 37 | BD | 久山・中須賀 | 東岡山工 | 貝原・三村 | 倉敷工業 | 練尾・日谷 | 水島工業 | 渡辺・佐藤 | 東岡山工 |
| S,57 | GS | 相賀　里香 | 山陽女子 | 浮田美代子 | 山陽女子 | 轟　美智子 | 山陽女子 | 福田　正子 | 倉敷中央 |
| | GD | 岡・轟 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 川原・小川 | 瀬戸 |
| | BS | 今東　建 | 西大寺 | 西崎　書彦 | 西大寺 | 綱島　淳二 | 加茂川 | 和宗　重昭 | 水島工業 |
| 38 | BD | 今東・西崎 | 西大寺 | 板野・綱島 | 加茂川 | 中村・和宗 | 水島工業 | 倉本・久米 | 水島工業 |
| S,58 | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | 福田　正子 | 倉敷中央 | 河内　富子 | 山陽女子 | 万代　暁美 | 水島工業 |
| | GD | 河内・轟 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 近常・竹原 | 山陽女子 | 万代・坂井 | 山陽女子 |
| | BS | 今東　建 | 西大寺 | 浅沼　正和 | 水島工業 | 西崎　書彦 | 西大寺 | 貝原　義文 | 水島工業 |
| 39 | BD | 今東・西崎 | 西大寺 | 近藤・黒住 | 瀬戸南 | 松井・坂根 | 西大寺 | 沼・仁後 | 水島工業 |
| S,59 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 坂井　純子 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 | 西林　昭子 | 山陽女子 |
| | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 坂井・諏訪 | 山陽女子 | 藤井・西川 | 倉敷翠松 | 藤原・馬場 | 瀬戸 |
| | BS | 貝原　義文 | 水島工業 | 坪井　光明 | 水島工業 | 高見　浩二 | 倉敷工業 | 4仁後　春志 | 水島工業 |
| 40 | BD | 貝原・坪井 | 水島工業 | 高原・頓宮 | 瀬戸南 | 高見・古谷野 | 倉敷工業 | 畑・川上 | 古城池 |
| S,60 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 4竹原　純子 | 山陽女子 |
| | GD | 近常・西林 | 山陽女子 | 竹原・紀井 | 山陽女子 | 横山・仲村 | 瀬戸南 | 平尾・藤原 | 山陽女子 |
| | BS | 逸見　利雄 | 水島工業 | 吉田　優男 | 瀬戸南 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 4横田　豊和 | 水島工業 |
| 41 | BD | 吉田・金田 | 瀬戸南 | 小川・四枝 | 倉敷工業 | 古谷野・横山 | 倉敷工業 | 逸見・横田 | 水島工業 |
| S,61 | GS | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 松王香音里 | 山陽女子 | 4大木　律子 | 山陽女子 |
| | GD | 西林・紀井 | 山陽女子 | 人見・松王 | 山陽女子 | 横山・小橋 | 瀬戸南 | 平尾・大木 | 山陽女子 |
| | BS | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 横田　豊和 | 水島工業 | 福田　哲 | 玉野光南 | 4横山　健一 | 倉敷工業 |
| 42 | BD | 横田・藤原 | 水島工業 | 久山・笠原 | 水島工業 | 福田・松田 | 玉野光南 | 平尾・片岡 | 瀬戸南 |
| S,62 | GS | 松王香音里 | 山陽女子 | 河原美津巳 | 山陽女子 | 岡良　依 | 山陽女子 | 4高森智加江 | 瀬戸南 |
| | GD | 人見・松王 | 山陽女子 | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 篠原・片岡 | 山陽女子 | 岡・村瀬 | 山陽女子 |
| | BS | 福田　哲 | 玉野光南 | 白神　和彦 | 水島工業 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 片岡　義裕 | 瀬戸南 |
| 43 | BD | 福田・松田 | 玉野光南 | 白神・春名 | 水島工業 | 門野・石井 | 玉野光南 | 平尾・片岡 | 瀬戸南 |
| S,63 | GS | 出原　直美 | 山陽女子 | 渡部　美香 | 山陽女子 | 佐藤　由香 | 山陽女子 | 西本　早苗 | 倉敷翠松 |
| | GD | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 出原・柚木 | 山陽女子 | 土肥・西本 | 倉敷翠松 | 横田・畝山 | 山陽女子 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 石田　猛 | 玉野光南 | 石本　一豊 | 理大付属 | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 諏訪　雄彦 | 倉敷工業 |
| 44 | BD | 石田・石井 | 玉野光南 | 山磨・坂口 | 倉敷工業 | 石本・野田 | 理大付属 | 内藤・三辻 | 瀬戸南 |
| H,元 | GS | 横田　裕子 | 山陽女子 | 此元　通子 | 倉敷翠松 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 | 住矢　美幸 | 山陽女子 |
| | GD | 渡邊・藤原清 | 倉敷翠松 | 此元・羽原 | 倉敷翠松 | 杉本・藤原裕 | 倉敷翠松 | 横田・畝山 | 山陽女子 |
| | BS | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 立野　隆行 | 水島工業 | 久山　信行 | 水島工業 |
| 45 | BD | 立野・久山 | 水島工業 | 山川・仁井 | 玉野光南 | 鈴木・道西 | 玉野光南 | 三辻・西方 | 瀬戸南 |
| H,2 | GS | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 佐藤　純子 | 山陽女子 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 高岡　ゆり | 山陽女子 |
| | GD | 住矢・佐藤由 | 山陽女子 | 佐藤純・高岡 | 山陽女子 | 山本・森嶋 | 瀬戸南 | 安原・藤原 | 倉敷翠松 |
| | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 仁井　昌志 | 玉野光南 | 高山　裕之 | 瀬戸南 | 4久木田拓郎 | 倉敷工業 |
| 46 | BD | 田中・堀江 | 水島工業 | 高山・草井 | 瀬戸南 | 道西・仁井 | 玉野光南 | 藤田・川田 | 玉野商業 |
| H,3 | GS | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 安原　久恵 | 倉敷翠松 | 4藤原　裕子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 住矢・佐藤由 | 山陽女子 | 安原・藤原 | 倉敷翠松 | 轟　・山口 | 山陽女子 | 石井・大橋 | 倉敷翠松 |
| | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 堀江賢二郎 | 水島工業 | 守安　孝二 | 倉敷工業 | 4松本　豊彦 | 瀬戸南 |
| 47 | BD | 田中・堀江 | 水島工業 | 松本・草井 | 瀬戸南 | 青木・杉山 | 瀬戸南 | 守安・青江 | 倉敷工業 |
| H,4 | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 山口　順子 | 山陽女子 | 4山室　知子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 山口・長門 | 山陽女子 | 松王・住矢 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 轟　・神宝 | 山陽女子 |
| | BS | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 森田　洋 | 倉敷工業 | 三宅　伸介 | 倉敷工業 | 4一井　芳隆 | 倉敷工業 |
| | BD | 森田・楢原 | 倉敷工業 | 杉島・宇都宮 | 岡山城東 | 佐藤・守安 | 総　社 | 三宅・大栄 | 倉敷工業 |
| 48 | GS | 神宝　朝子 | 山陽女子 | 鐘築　順子 | 山陽女子 | 長門　弘美 | 山陽女子 | 4重光　香織 | 山陽女子 |
| H,5 | GD | 神宝・長門 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 太田・山口 | 山陽女子 | 須々木・雄龍 | 山陽女子 |
| | 草井篤（瀬戸南）・松王峰代子（山陽女子）は，全日本ジュニア代表としてマレーシア・インドネシアへ遠征中のため，出場できなかった。また，草井・杉山組と松王・住矢組も出場できなかった。 | | | | | | | | |
| | BS | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 西本　康宏 | 倉敷工業 | 三宅　隆之 | 水島工業 | 4三宅　伸介 | 倉敷工業 |
| 49 | BD | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 大栄・西本 | 倉敷工業 | 三宅隆・三宅貴 | 水島工業 | 4土岐・小西 | 水島工業 |
| H,6 | GS | 加藤　美香 | 山陽女子 | 須々木　恵 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 | 4佐藤　美和 | 山陽女子 |
| | GD | 加藤・赤澤 | 山陽女子 | 佐藤・次田 | 山陽女子 | 白木・菱川 | 倉敷翠松 | 4須々木雄龍 | 山陽女子 |
| | BS | 松川　大記 | 倉敷工業 | 安本　貴士 | 水島工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 4宮澤　勝智 | 瀬戸南 |
| 50 | BD | 宮澤・池田 | 瀬戸南 | 松川・塚田 | 倉敷工業 | 池田・田辺 | 倉敷工業 | 4安本・石井 | 水島工業 |
| H,7 | GS | 赤澤　景子 | 山陽女子 | 雄龍めぐみ | 山陽女子 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 4田井　優希 | 山陽女子 |
| | GD | 加藤美・赤澤 | 山陽女子 | 次田・加藤し | 山陽女子 | 田井・雄龍 | 山陽女子 | 4藤井・谷口 | 瀬戸南 |
| | BS | 松川　大記 | 倉敷工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 西岡　大宗 | 瀬戸南 | 4柴田　匡史 | 倉敷工業 |
| 51 | BD | 松川・塚田 | 倉敷工業 | 遠藤・田辺 | 倉敷工業 | 岡村・柴田 | 倉敷工業 | 4池田・片山 | 倉敷工業 |
| H,8 | GS | 井山　美里 | 山陽女子 | 國司　良子 | 山陽女子 | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 4福井　稔代 | 倉敷翠松 |
| | GD | 宇野・小田真 | 山陽女子 | 雄龍・國司 | 山陽女子 | 福井・山本 | 倉敷翠松 | 4須藤・西山 | 倉敷翠松 |

### ④県高校秋季（新人）大会・全国選抜大会県予選会

S,53年度までは新人大会で開催していた。

**ア）学校対抗戦**

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位（3は3位） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | BT | 西大寺 | 記録不明 | | |
| S,34 | GT | 山陽女子 | | | |
| 2 | BT | 備南 | 西大寺 | 倉敷青陵 | 笠岡 |
| S,35 | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | 倉敷青陵 |
| 3 | BT | 西大寺 | 備南 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 |
| S,36 | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | 西大寺 |
| 4 | BT | 倉敷工業 | 西大寺 | 備南 | 倉敷青陵 |
| S,37 | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | 西大寺 |
| 5 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 西大寺 |
| S,38 | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | 西大寺 |
| 6 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 玉野商業 |
| S,39 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 井原 | 倉敷青陵 |
| 7 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 倉敷青陵 |
| S,40 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷青陵 | 久世 |
| 8 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 西大寺 | 倉敷青陵 |
| S,41 | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 西大寺 | 倉敷中央 |
| 9 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 金山学園 |
| S,42 | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | 久世 |
| 10 | BT | 倉敷天城 | 倉敷工業 | 備南 | 金山学園 |
| S,43 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | 久世 |
| 11 | BT | 備南 | 水島工業 | 倉敷工業 | 倉敷天城 |
| S,44 | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | 倉敷天城 |
| 12 | BT | 水島工業 | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 3 備南 |
| S,45 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷天城 | 3 倉敷青陵 |
| 13 | BT | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 水島工業 | 3 備南 |
| S,46 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 西大寺 | 3 美作 |
| 14 | BT | 倉敷青陵 | 倉敷工業 | 水島工業 | 3 総社 |
| S,47 | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | 3 美作 |
| 15 | BT | 総社 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 | 3 水島工業 |
| S,48 | GT | 山陽女子 | 倉敷天城 | 倉敷青陵 | 3 瀬戸 |
| | BTA | 倉敷工業 | 水島工業 | 倉敷天城 | 倉敷青陵 |
| 16 | B | 倉敷工業1 | 倉敷青陵 | 水島工業 | 3 倉敷工業2 |
| S,49 | GTA | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | 倉敷翠松 |
| | B | 山陽女子1 | 津山商業 | 山陽女子2 | 3 倉敷青陵 |
| | BTA | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 倉敷青陵 | 水島工業 |
| 17 | B | 水島工業2 | 西大寺1 | 水島工業1 | 3 西大寺2 |
| S,50 | GTA | 山陽女子 | 倉敷中央 | 津山商業 | 倉敷青陵 |
| | B | 山陽女子 | 津山商業 | 倉敷中央 | 3 西大寺 |
| | BTA | 水島工業 | 倉敷工業 | 西大寺 | 倉敷青陵 |
| 18 | B | 水島工業 | 西大寺 | 岡山朝日 | 3 倉敷青陵 |
| S,51 | GTA | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷翠松 | 児島第一 |
| | B | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 西大寺 | 3 倉敷天城 |
| | BTA | 倉敷工業 | 水島工業 | 倉敷天城 | |
| 19 | B | 金川 | 水島工業 | 西大寺 | 3 矢掛 |
| S,52 | GTA | 山陽女子 | 倉敷天城 | 西大寺 | |
| | B | 西大寺 | 倉敷南 | 津山商業 | 3 総社 |
| 20 | BT | 水島工業 | 東岡山工業 | 倉敷青陵 | 金川 |
| S,53 | GT | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷天城 | 倉敷中央 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 中原　修二 | 北房中学 | 松本　哲也 | 雄神小学 | 藤森　龍二 | 金川高 | | |
| | AMD | 松本・荻野 | 雄神小・操南小 | 中原・井之口 | 北房中・哲西中 | 根岸・岡 | 帯江小学 | | |
| | 一般MS | 山田　益男 | 岡山大学 | 井上　幸士 | 津山工高 | 高杉　整二 | 総社小学 | | |
| 3 | 一般MD | 壷内・井上 | 津山工高 | 寺尾・橋本 | 浮田小・御林小 | 上垣・三宅 | 岡山養護 | | |
| H，7 | 30MD | 山田・阿部 | 岡山大学 | 森本・高木 | 大高小・老松小 | 山田・難波 | 荘内小・芳田中 | | |
| | 40MS | 井汲　威彦 | 高野小学 | 岡本　善弘 | 山手小学 | 壷内　邦雄 | 津山工高 | | |
| | 40MD | 井汲・橋本 | 高野小・久米小 | 田中・矢部幸 | 岡山工・県教育 | 金尾・矢部慎 | 鴨方高・県教育 | | |
| | LD | 阿部・牧 | 佐良山小・加茂小 | 山川・井上 | 岡山養護 | 久保・井原 | 平福小学 | | |
| | MIX | 上垣・井上 | 岡山養護 | 山崎・堀 | 浮田小学 | 三宅・山川 | 岡山養護 | | |
| | AMS | 中原　修二 | 北房中学 | 鈴木　努 | 金川高 | 松本　哲也 | 山陽北小 | | |
| | AMD | 平島・松本 | 庄内小・雄神小 | 市村・高杉 | 岡山大学 | 山田・阿部 | 岡山大学 | | |
| | BMS | 真治　洋一 | 新見北高 | 藤本　広明 | 新見北高 | 鶴見　隆弘 | 玉島高 | | |
| | BMD | 串田・田村 | 日本原高・大井和小 | 森本・平櫛 | 児島小・連島中 | 岡本・香川 | 山手小学 | | |
| 4 | CMD | 金子・森分 | 下津井東小・二福田 | 小川・山本 | 金川高 | 桑木・藤沢 | 岡山工高 | | |
| H，8 | 30MS | 山田　益男 | 岡山大学 | 高杉　整二 | 総社小学 | 難波　潤次 | 芳田中学 | | |
| | 30MD | 大崎・高木 | 連島東小・老松小 | 高杉・服部 | 総社小学 | 難波・山田 | 芳田中・荘内中 | | |
| | 40MS | 金子　廣志 | 下津井東小 | 藤本　正幸 | 平福小学 | 奥山　富義 | 豊田小学 | | |
| | 40MD | 藤本・奥山 | 平福小・豊田小 | 田中・楠 | 岡山工・岡山信学 | | | | |
| | LD | 小寺・楢本 | 粒江小・二万小 | 小橋・山田 | 連島東小・五福田 | 赤坂・佐藤 | 岡山工高 | | |
| | MIX | 大崎・小寺 | 連島東小・粒江小 | 森本・楢本 | 児島小・二万小 | 平櫛・小橋 | 連島中・連島東小 | | |

### 2）県外大会

#### ①中国地区教職員選手権大会

| 回年 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | MT | | | 岡　山　県 | |
| 1 | 30MD | 多田　一也・中須賀祥雅 | | 岡本　次郎・平島　秀典 | |
| H，3 | 40MS | | | 岡本　次郎 | |
| | LD | | | 田中　紫・小池　美香 | |
| | MT | | | 岡　山　県 | |
| 2 | 30MD | 多田　一也・中須賀祥雅 | 平島　秀典・松本　哲也 | | |
| H，4 | LS | | 岡本　裕子 | 田辺　央子 | |
| | LD | 岡本　裕子・田辺　央子 | | | |
| | 30LD | | | 岡野　道子・奥村　都 | |
| | 30MD | | | 多田　一也・中須賀祥雅 | |
| 3 | 50MD | | | 柳本　堯敏・西崎　正明 | |
| H，5 | LD | | 岡本　裕子・田辺　央子 | | |
| | 30LS | | | 奥村　都 | |
| 4 | MT | | | 岡　山　県 | |
| H，6 | 50MD | | | 井汲　威彦・壷内　邦男 | |
| | MT | | 岡　山　県 | | |
| 5 | MD | | 横田　寿弘・田井　秀賢 | 西崎　書彦・赤井(広島県) | |
| H，7 | 30MS | | 横田　寿弘 | | |
| | 40MS | | | 岡本　次郎 | 片岡　光 |
| 6 | MT | | | 岡　山　県 | |
| H，8 | 40MS | | | 片岡　光 | |

## ②全日本教職員選手権大会　略称（ＯＢＴは成壮年団体）

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 選手名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,37 | 東京 | MS | 毛利　清志 | 3　位 | MS | 西崎　正明 | 4　位 | MS | 渡辺　弘美 | 3回戦 |
| | | | MS | 藤沢　更司 | 2回戦 | MD | 毛利・西崎 | 3　位 | MD | 藤沢・渡辺 | 5　位 |
| | | | LS | 一村　艶子 | 1回戦 | | | | | | |
| 2 | S,38 | 桐生 | MS | 西崎　正明 | 2回戦 | MS | 高田　浩二 | 2回戦 | MD | 西崎・高田 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 優　勝 | 30MD | 毛利・山上 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 2　位 |
| 3 | S,39 | 伊勢 | MS | 西崎　正明 | 3回戦 | MS | 高田　浩治 | 棄　権 | MD | 西崎・高田 | 棄　権 |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 優　勝 | 30MS | 西崎　正明 | 5　位 | 30MD | 毛利・山上 | 優　勝 |
| | | | 40MD | 山上・伊藤(熊本) | 優　勝 | | | | | | |
| 4 | S,40 | 日田 | MT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 三宅　勝 | 3　位 | MS | 柳本　堯敏 | 2回戦 |
| | | | MS | 西崎　正明 | 2回戦 | MD | 三宅・柳本 | 2回戦 | 30MS | 毛利　清志 | 3　位 |
| | | | 30MS | 西崎　正明 | 3回戦 | 30MD | 毛利・西崎 | 3　位 | | | |
| 5 | S,41 | 札幌 | MT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 三宅　勝 | 3　位 | MS | 柳本　堯敏 | 2回戦 |
| | | | MS | 高田　浩二 | 棄　権 | MD | 三宅・柳本 | 5　位 | 30MS | 毛利　清志 | 2　位 |
| | | | 30MS | 西崎　正明 | 4　位 | 30MD | 毛利・西崎 | 2　位 | 40MS | 山上　周之 | 2　位 |
| | | | 40MS | 金尾　善六 | 2回戦 | 40MD | 金尾・山上 | 2　位 | | | |
| 6 | S,42 | 高岡 | MT | 岡山県 | 2　位 | MS | 三宅　勝 | 5　位 | MS | 柳本　堯敏 | 3回戦 |
| | | | MD | 三宅・柳本 | 3　位 | 30MS | 西崎　正明 | 3回戦 | 30MD | 毛利・西崎 | 2　位 |
| | | | 40MS | 毛利　清志 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 4　位 | 40MD | 山上・伊藤(熊本) | 優　勝 |
| 7 | S,43 | 大阪 | MT | 岡山県 | 2　位 | OBT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 三宅　勝 | |
| | | | MS | 柳本　堯敏 | | MD | 三宅・柳本 | | 30MS | 渡辺　弘美 | |
| (1回成壮年団体) | | | 30MS | 正本　利幸 | | 30MD | 渡辺・正本 | | 40MS | 毛利　清志 | 優　勝 |
| | | | 40MS | 山上　周之 | | 40MD | 毛利・山上 | 優　勝 | | | |
| 8 | S,44 | 上尾 | MT | 岡山県 | 4　位 | OBT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 柳本　堯敏 | 4回戦 |
| | | | MS | 三宅　勝 | 4回戦 | MS | 小川　雅史 | 棄　権 | MS | 藤井　英雄 | 棄　権 |
| | | | MD | 三宅・柳本 | 2　位 | MD | 藤井・小川 | 棄　権 | 30MS | 西崎　正明 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 正本　利幸 | 2回戦 | 30MD | 西崎・正本 | 2回戦 | 40MS | 毛利　清志 | 優　勝 |
| | | | 40MS | 山上　周之 | 4　位 | 40MD | 毛利・山上 | 優　勝 | | | |
| 9 | S,45 | 岐阜 | OBT | 岡山県 | 2回戦 | MS | 三宅　勝 | 3　位 | MS | 柳本　堯敏 | |
| | | | MD | 三宅・柳本 | 優　勝 | 30MS | 西崎　正明 | 2回戦 | 30MS | 正本　利幸 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 大月　史郎 | 2回戦 | 30MD | 西崎・正本 | 2回戦 | 40MS | 毛利　清志 | 2　位 |
| | | | 40MS | 山上　周之 | 3　位 | 40MD | 毛利・山上 | 優　勝 | | | |
| 10 | S,46 | 岡山 | MT | 岡山県A | 2回戦 | MT | 岡山県C | 2回戦 | MT | 岡山県B | 1回戦 |
| | | | OBT | 岡山県A | 優　勝 | OBT | 岡山県B | 1回戦 | MS | 三宅　勝 | 4回戦 |
| | | | MS | 柳本　堯敏 | 4回戦 | MS | 小橋　勝広 | 3回戦 | MS | 藤井　英雄 | 2回戦 |
| | | | MS | 小野　一男 | 1回戦 | MS | 永原　昭二 | 1回戦 | MS | 砂田　敏明 | 1回戦 |
| | | | MS | 加藤　孝昭 | 1回戦 | MS | 山本　章夫 | 棄　権 | MD | 三宅・柳本 | 3　位 |
| | | | MD | 小松・藤井 | 3回戦 | MD | 小野・加藤 | 2回戦 | MD | 砂田・小橋 | 1回戦 |
| | | | MD | 山本・永原 | 1回戦 | 30MS | 西崎　正明 | 3回戦 | 30MS | 正本　利幸 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 大月　史郎 | 2回戦 | 30MD | 西崎・正本 | 5　位 | 30MD | 大月・高田 | 2回戦 |
| | | | 30MD | 秋山・土井脇 | 2回戦 | 40MS | 毛利　清志 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 3　位 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 優　勝 | | | | | | |
| 11 | S,47 | 秋田 | MT | 岡山県 | 5　位 | OBT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 三宅　勝 | 5　位 |
| | | | MS | 柳本　堯敏 | 3回戦 | MS | 小野　一男 | 3回戦 | MS | 白神　実 | 2回戦 |
| | | | MS | 加藤　孝昭 | 2回戦 | MS | 河田　清一 | 2回戦 | MS | 小橋　勝広 | 棄　権 |
| | | | MS | 小林　洋栄 | 棄　権 | MD | 三宅・柳本 | 3回戦 | MD | 加藤・小野 | 2回戦 |
| | | | MD | 白神・河田 | 2回戦 | MD | 小林・小橋 | 棄　権 | 30MS | 小松　貴 | 3　位 |
| | | | 30MS | 藤井　英雄 | 5　位 | 30MD | 小松・藤井 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 5　位 |
| | | | 40MS | 西崎　正明 | 5　位 | 40MD | 山上・西崎 | 2　位 | | | |
| 12 | S,48 | 大津 | MT | 岡山県 | | OBT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 加藤　孝昭 | |
| | | | MS | 小野　一男 | | MS | 白神　実 | | MS | 河田　清一 | |
| | | | MD | 小野・加藤 | | MD | 白神・河田 | | 30MS | 藤井　英雄 | |
| | | | 30MS | 今東　幸一 | | 30MD | 藤井・今東 | | 40MS | 毛利　清志 | 2　位 |
| | | | 40MS | 西崎　正明 | 3　位 | 40MS | 山上　周之 | 5　位 | 40MD | 毛利・山上 | 優　勝 |

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 選手名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | S,49 | 熊本 | 40MS | 毛利　清志 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 3　位 | 40MS | 西崎　正明 | 2回戦 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 優　勝 | | | | | | |
| 14 | S,50 | 小山 | LT | 岡山県 | 3　位 | MS | 小田　和文 | 3回戦 | MS | 岡本　次郎 | 3回戦 |
| | | | MD | 岡本・小田 | 2回戦 | LS | 石田　雅子 | 2　位 | LS | 阿部　恒子 | 2回戦 |
| | | | LD | 石田・阿部 | 5　位 | 40MS | 毛利　清志 | 2　位 | 40MS | 山上　周之 | 2回戦 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 2　位 | MIX | 毛利・石田 | 2回戦 | | | |
| 15 | S,51 | 東京 | MT | 岡山県 | 1回戦 | LT | 岡山県 | 優　勝 | MS | 三宅　勝 | 3回戦 |
| | | | MS | 岡本　次郎 | 3回戦 | MS | 岡　浩一 | 3回戦 | MS | 小田　和文 | 2回戦 |
| | | | MD | 三宅・岡 | 2回戦 | MD | 岡本・小田 | 1回戦 | LS | 石田　雅子 | 優　勝 |
| | | | LS | 林　寿美子 | 3回戦 | LD | 石田・林 | 優　勝 | 40MS | 毛利　清志 | 2　位 |
| | | | 40MS | 西崎　正明 | 5　位 | 40MD | 毛利・西崎 | 優　勝 | MIX | 三宅・石田 | 2　位 |
| | | | MIX | 小田・林 | 3　位 | | | | | | |
| 16 | S,52 | 下関 | MT | 岡山県 | 2回戦 | MS | 岡本　次郎 | 2回戦 | MS | 小田　和文 | 2回戦 |
| | | | MD | 岡本・小田 | 1回戦 | LS | 林　寿美子 | 3回戦 | 40MS | 毛利　清志 | 3回戦 |
| | | | 40MS | 西崎　正明 | 棄　権 | 40MD | 毛利・西崎 | 3　位 | MIX | 小田・林 | 2回戦 |

☆S,53～S,57年は不参加

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22 | S,58 | 沼津 | MT | 岡山県 | 1回戦 | LT | 岡山県 | 2回戦 | MS | 松本　哲也 | 1回戦 |
| | | | MD | 平島・荻野 | 2回戦 | 30MS | 片岡　光 | | 30MD | 市村・山田 | 2回戦 |
| 23 | S,59 | 弘前 | MT | 岡山県 | 2回戦 | MS | 清水　隆人 | 3回戦 | MS | 松本　哲也 | 2回戦 |
| | | | LS | 皿井由美子 | 3回戦 | MD | 平島・荻野 | 2回戦 | 30MS | 岡本　次郎 | 5　位 |
| | | | 30MS | 市村　淳二 | 2回戦 | 30MD | 岡本・市村 | 5　位 | | | |
| 24 | S,60 | 福井 | MT | 岡山県A | 1回戦 | MT | 岡山県B | 1回戦 | LT | 岡山県A | 1回戦 |
| | | | MS | 荻野　克己 | | MS | 吉仲　潤 | | MS | 楢本　昌司 | |
| | | | MS | 清水　隆人 | | MS | 守屋　好雄 | | MS | 松本　哲也 | |
| | | | MS | 平島　秀典 | | MD | 清水・楢本 | | MD | 荻野・松本 | |
| | | | MD | 守屋・吉仲 | | LS | 清水由美子 | | LS | 楢本　裕子 | |
| | | | LS | 宮川　京子 | | LS | 石井　美晴 | | LD | 清水・親 | |
| | | | LD | 石井・小山 | | LD | 宮川・楢本 | | LD | 藤木・佐野 | |
| | | | 30MS | 市村　淳二 | | 30MS | 片岡　光 | | 30MS | 岡本　次郎 | |
| | | | 30MD | 市村・岡本 | | MIX | 清水・清水 | | | | |
| 25 | S,61 | 広島 | MT | 岡山県 | 2回戦 | LT | 岡山県 | 2回戦 | OMT | 岡山県 | 2回戦 |
| | | | MS | 山本　哲 | 2回戦 | MS | 佐々木　茂 | 1回戦 | MD | 清水・楢本 | 2回戦 |
| | | | LS | 山崎　恵子 | 3回戦 | LS | 坪井　聡江 | 1回戦 | LS | 親　和代 | 1回戦 |
| | | | LD | 坪井・親 | 2回戦 | 30MS | 岡本　次郎 | 5　位 | 30MD | 岡本・市村 | 5　位 |
| | | | 30MD | 山田・片岡 | 1回戦 | 40MS | 三宅　勝 | 5　位 | 50MD | 毛利・西崎 | 棄　権 |
| | | | MIX | 福田・山崎 | 3　位 | | | | | | |
| 26 | S,62 | 苫小牧 | LS | 山崎　恵子 | 3回戦 | 30MS | 岡本　次郎 | 2回戦 | 30MS | 片岡　光 | 2回戦 |
| | | | MIX | 西崎・山崎 | 2回戦 | | | | | | |
| 27 | S,63 | 奈良 | MT | 岡山県 | 1回戦 | MS | 中須賀祥雅 | 3回戦 | MS | 松本　哲也 | 2回戦 |
| | | | MS | 多田　一也 | 2回戦 | MD | 清水・楢本 | 1回戦 | LS | 田中　紫 | 2回戦 |
| | | | LD | 親・小池 | 1回戦 | 30MS | 平島　秀典 | 2回戦 | 30MS | 荻野　克己 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 片岡　光 | 1回戦 | 30MD | 岡本・市村 | 1回戦 | MIX | 松本・田中 | 1回戦 |
| 28 | H,元 | 坂出 | MT | 岡山県 | 1回戦 | MS | 中須賀祥雅 | 3回戦 | MS | 多田　一也 | 2回戦 |
| | | | MD | 西崎・横田 | 1回戦 | LD | 小池・田中 | 1回戦 | LD | 田里・岡根 | 棄　権 |
| | | | 30MS | 岡本　次郎 | 3回戦 | 30MS | 松本　哲也 | 2回戦 | 30MS | 竹島　理雄 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 平島　秀典 | 1回戦 | 30MS | 片岡　光 | 1回戦 | 30MD | 清水・楢本 | 5　位 |
| | | | 30MD | 平島・荻野 | 2回戦 | 30MD | 片岡・山田 | 1回戦 | 40MS | 片山　雅博 | 棄　権 |
| 29 | H,2 | 盛岡 | MT | 岡山県 | 1回戦 | LT | 岡山県 | 棄　権 | MS | 多田　一也 | 1回戦 |
| | | | MD | 橋本・横田 | 1回戦 | LS | 田辺　央子 | 2回戦 | LS | 近常　直美 | 棄　権 |
| | | | LD | 小池・田中 | 2回戦 | LD | 黒田・岡本 | 1回戦 | 30MS | 松本　哲也 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 竹島　理雄 | 棄　権 | 30MD | 片岡・平島 | 1回戦 | | | |

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 選手名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | MT | 岡山県 | 2回戦 | LT | 岡山県 | 1回戦 | MS | 多田　一也 | 2回戦 |
| | | | MS | 横田　寿弘 | 2回戦 | MS | 橋本　英俊 | 1回戦 | MD | 西崎・多田 | 3回戦 |
| | | | MD | 横田・橋本 | 1回戦 | LS | 田辺　央子 | 2回戦 | LS | 岡本　裕子 | 1回戦 |
| 30 | H，3 | 豊橋 | LS | 田代　陽子 | 1回戦 | LD | 小池・田中 | 3回戦 | LD | 田辺・黒田 | 2回戦 |
| | | | LD | 田里・秋田 | 2回戦 | 30MS | 平島　秀典 | 2回戦 | 30MS | 竹島　理雄 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 片岡　光 | 2回戦 | 30MS | 松本　哲也 | 1回戦 | 30MS | 中須賀祥雅 | 棄　権 |
| | | | 30MD | 松本・平島 | 3回戦 | 30MD | 荻野・片岡 | 棄　権 | 40MS | 岡本　次郎 | 2回戦 |
| | | | MT | 岡山県 | 1回戦 | LT | 岡山県 | 1回戦 | MS | 橋本　英俊 | 2回戦 |
| | | | MS | 横田　寿弘 | 2回戦 | MS | 枝木謙太郎 | 2回戦 | MD | 橋本・横田 | 2回戦 |
| | | | LS | 田辺　央子 | 1回戦 | LS | 岡本　裕子 | 1回戦 | LD | 岡本・田辺 | 2回戦 |
| 31 | H，4 | 熊本 | LD | 黒田・秋田 | 2回戦 | LD | 小池・田中 | 2回戦 | 30MS | 松本　哲也 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 多田　一也 | 3回戦 | 30MS | 平島　秀典 | 2回戦 | 30MS | 荻野　克己 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 中須賀祥雅 | 棄　権 | 30MD | 松本・平島 | 1回戦 | 30MD | 西崎・中須賀 | 棄　権 |
| | | | 40MS | 岡本　次郎 | 5　位 | 40MS | 片岡　光 | 棄　権 | 60MS | 西崎　正明 | 3　位 |
| | | | MT | 岡山県 | 1回戦 | OMT | 岡山県 | 1回戦 | LS | 岡本　裕子 | 2回戦 |
| | | | LS | 田辺　央子 | 2回戦 | LD | 田辺・岡本 | 1回戦 | 30MS | 中須賀祥雅 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 荻野　克己 | 2回戦 | 30MS | 松本　哲也 | 2回戦 | 30MS | 平島　秀典 | 2回戦 |
| 32 | H，5 | 平塚 | 30MS | 多田　一也 | 2回戦 | 30MS | 西崎　文貴 | 棄　権 | 30MD | 西崎・多田 | 2回戦 |
| | | | 30MD | 松本・平島 | 2回戦 | 30MD | 中須賀・荻野 | 1回戦 | 40MS | 岡本　次郎 | 3回戦 |
| | | | 40MS | 片岡　光 | 2回戦 | 40MD | 岡本・片岡 | 1回戦 | 50MS | 柳本　堯敏 | 棄　権 |
| | | | 60MS | 西崎　正明 | 3　位 | 60MD | 西崎・米田(鳥取) | 3　位 | | | |
| | | | OMT | 岡山県 | 1回戦 | MS | 横田　寿弘 | 4回戦 | MS | 枝木謙太郎 | 3回戦 |
| | | | MS | 橋本　英俊 | 1回戦 | MD | 橋本・枝木 | 2回戦 | LS | 山田千津子 | 3回戦 |
| 33 | H，6 | 金沢 | 30MS | 松本　哲也 | 2回戦 | 30MS | 平島　秀典 | 1回戦 | 30MD | 平島・松本 | 2回戦 |
| | | | 40MS | 岡本　次郎 | 2回戦 | 40MS | 片岡　光 | 1回戦 | 40MD | 岡本・片岡 | 1回戦 |
| | | | 60MS | 西崎　正明 | 3　位 | 60MS | 毛利　清志 | 5　位 | 60MD | 毛利・西崎 | 3　位 |
| | | | MT | 岡山県 | 2回戦 | OMT | 岡山県 | 1回戦 | MS | 中原　修二 | 5回戦 |
| | | | MS | 田井　秀賢 | 2回戦 | MS | 横田　寿弘 | 2回戦 | MS | 井之口　徹 | 2回戦 |
| | | | MS | 枝木謙太郎 | 2回戦 | MS | 佐藤　忠裕 | 棄　権 | MD | 枝木・田井 | 4回戦 |
| | | | MD | 横田・佐藤 | 2回戦 | MD | 井之口・中原 | 1回戦 | LS | 岡本　裕子 | 3回戦 |
| 34 | H，7 | 米子 | LS | 山田千津子 | 2回戦 | LS | 田辺　央子 | 棄　権 | LD | 岡本・田辺 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 片岡　光 | 1回戦 | 30MS | 中須賀祥雅 | 棄　権 | 30MD | 荻野・片岡 | 1回戦 |
| | | | 30MD | 中須賀・松本 | 1回戦 | 30MD | 山田・阿部 | 1回戦 | 40MS | 岡本　次郎 | 2回戦 |
| | | | 40MD | 岡本・市村 | 1回戦 | 60MS | 毛利　清志 | 2回戦 | 60MS | 西崎　正明 | 2回戦 |
| | | | 60MD | 毛利・西崎 | 5　位 | | | | | | |
| | | | MS | 中原　修二 | 2回戦 | MS | 鈴木　努 | 1回戦 | MD | 中原・鈴木 | 1回戦 |
| | | | LS | 山田千津子 | 3回戦 | LS | 鐘築　順子 | 3回戦 | LD | 山田・鐘築 | 2回戦 |
| 35 | H，8 | 千葉 | 30MS | 松本　哲也 | 2回戦 | 30MS | 阿部　秀一 | 1回戦 | 30MD | 平島・松本 | 1回戦 |
| | | | 30MD | 荻野・阿部 | 1回戦 | 40MS | 岡本　次郎 | 2回戦 | 40MS | 片岡　光 | 1回戦 |
| | | | 40MD | 市村・片岡 | 1回戦 | | | | | | |

## （8）家庭婦人連盟

### 1）県内大会

#### ①県春季家庭婦人大会

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | 4 位（3は3位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>S,55 | | | | | | | | | |
| 2<br>S,56 | | 良倉・金尾 | 井　原 | 松王・佐藤 | 豊体育協 | 横田・伊達 | 岡山コスモス | 内田・小西 | 玉　野 |
| 3<br>S,57 | A級 | 横田・伊達 | 岡山コスモス | 杉本・小林 | 東岡山 | 太田・吉和 | 川鉄バード | 松王・佐藤 | 豊体育協 |
| | B級 | 難波・森川 | サタデーズ | 横溝・吉元 | 川鉄バード | 西風・松永 | マース | 小保方・岡本 | 岡山コスモス |
| | C級 | 戸部・木山 | 川鉄バード | 藤原・山下 | 渋　川 | 大賀・山田 | 渋　川 | 片川・大野 | 渋　川 |
| 4<br>S,58 | A級 | 太田・浅原 | 川鉄バード | 出原・原田 | 岡山コスモス | 横田・伊達 | 岡山コスモス | 良倉・金尾 | 井　原 |
| | B級 | 三宅・岡田 | 玉 | 横溝・吉元 | 川鉄バード | 藤原・森川 | サタデーズ | 大賀・山田 | 渋　川 |
| | C級 | 入野谷・平井 | 山陽町 | 野村・高田 | 荘　内 | 山本・榊原 | 山陽町 | 横川・佐藤 | マース |
| 5<br>S,59 | A級 | 平田・丸山 | 川鉄バード | 藤原・真鍋 | 玉 | 出原・本所 | 岡山コスモス | 横田・伊達 | 岡山コスモス |
| | B級 | 藤森・小谷 | 三門バドミントン | 坂本・立花 | 岡山コスモス | 山崎・高田 | 岡山コスモス | 井上・田頭 | 岡山コスモス |
| | C級 | 多田・中村 | 岡山コスモス | 芦田・野上 | 岡山コスモス | 日高・上野 | 岡山コスモス | 神田・高橋 | シェイク |
| | D級 | 山原・佐藤 | 岡山コスモス | 南・河江 | 玉 | 高須・土居 | 玉　野 | 和田・森田 | 茶屋町婦人 |
| 6<br>S,60 | A級 | 平田・太田 | 川鉄バード | 横田・出原 | 岡山コスモス | 橋村・佐藤 | マース | 伊達・植田 | 高　島 |
| | B級 | 高田・井上 | 岡山コスモス | 田頭・中村 | 岡山コスモス | 池田・加藤 | マース | 入野谷・林田 | 山陽町 |
| | C級 | 山原・平岩 | 岡山コスモス | 岩沢・武田 | 玉　野 | 三宅・松本 | 岡山コスモス | 国政・浦上 | 西大寺 |
| | D級 | 大森・片山 | 古　都 | 横川・和田 | マース | 大皿・岡 | 岡山コスモス | 井上・三宅 | マース |
| 7<br>S,61 | A級 | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 佐藤・橋村 | マース | 横田・出原 | 岡山コスモス | 岩田・難波 | 庭　瀬 |
| | B級 | 高田・多田 | グリップス | 山崎・平井 | 岡山コスモス | 田頭・井上 | 岡山コスモス | 蜂谷・佐藤 | NTT倉敷 |
| | C級 | 辻本・石川 | チェリッシュ | 高杉・浜田 | 岡山コスモス | 板谷・横川 | マース | 西田・藤田 | 川　辺 |
| | D級 | 村上・大原 | チェリッシュ | 原・梶川 | マース | 寺見・今井 | チェリッシュ | 山中・三宅 | 庭　瀬 |
| 8<br>S,62 | A級 | 赤沢・平田 | ちろりん | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 小寺・橋村 | アリス | 五味・浅原 | 川鉄バード |
| | B級 | 平井・山崎 | 岡山コスモス | 辻本・石川 | チェリッシュ | 内田・河田 | パープル | 大庭・山之内 | 奥　玉 |
| | C級 | 山根・山田 | 津山レディース | 黒木・清田 | サンレディス | 木原・下鵜瀬 | 川鉄バード | 大西・大河 | 川鉄バード |
| | D級 | 高木・梶尾 | アイビー | 杉田・今井 | チェリッシュ | 三宅・磯辺 | 奥　玉 | 興梠・堀野 | サンレディス |
| 9<br>S,63 | A級 | 赤沢・平田 | ちろりん | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 小寺・橋村 | アリス | 浅原・佐伯 | ちろりん |
| | B級 | 高杉・三宅 | 岡山コスモス | 清水・西風 | マース | 平井・平岩 | 岡山コスモス | | |
| | C級 | 頼経・谷元 | 津山レディース | 高木・槙尾 | アイビー | 山田・山根 | 津山レディース | 井伊・野口 | 岡山コスモス |
| | D級 | 藤野・楞野 | 津山レディース | 田中・小西 | ピーターパン | 杉田・辻本 | チェリッシュ | 岩城・真野 | 西大寺 |
| | シニア | 太田・木山 | 川鉄バード | 内田・河田 | パープル | 工藤・井上 | 岡山コスモス | | |
| 10<br>H,元 | A級 | 赤沢・平田 | ちろりん | 藤原・真鍋 | 瀬戸内マリンホテル | 大西・藤九 | 西大寺 | 小寺・橋村 | アリス |
| | B級 | 出来・武田 | 玉　野 | 山田・谷本 | 真備OG | 難波・森川 | サタデーズ | | |
| | C級 | 田渕・長尾 | 真備OG | 片山・山田 | 井　原 | 山本・石川 | アリス | 伊藤・畠 | 柵原体協 |
| | D級 | 藤原・松原 | アリス | 井上・戸嶋 | アリス | 岩城・真野 | 西大寺 | | |
| | シニア | 松王・佐藤 | 豊体育協 | 内田・金尾 | パープル・井原 | 立石・伊藤 | 奥　玉 | 石井・野島 | 奥　玉 |
| 11<br>H,2 | A級 | 赤沢・平田 | ちろりん | 藤原・真鍋 | 瀬戸内マリンホテル | 大西・藤九 | 西大寺 | 3浅原・中浜 | ちろりん |
| | B級 | 佐伯・妹尾 | 永井BC | 中野・藤田 | 真備OG | 田渕・長尾 | 真備OG | 3小幡・上田 | 玉島シャトルズ |
| | C級 | 多田・三宅 | 永井BC | 片山・山田 | 井　原 | 生駒・村上 | 永井BC | 3興梠・原田 | 永井BC |
| | D級 | 大原・村上 | 真備OG | 石井・野島 | 奥　玉 | 篠埜・梶原 | 真庭OG | 3藤野・山根 | 津山レディース |
| | シニア | 内田・金尾 | パープル・井原 | 大村・近藤 | 荘　内 | 白神・数田 | 永井BC | 3土居・三宅 | 奥　玉 |
| 12<br>H,3 | A級 | 赤沢・岡田 | ちろりん | 石原・光本 | 豊体育協 | 磯永・平田 | 永井BC | 3大西・藤九 | 西大寺 |
| | B級 | 佐伯・大河 | 永井BC | 藤原・真鍋 | 瀬戸内マリンホテル | 中浜・多田 | ちろりん | 3小幡・谷 | 永井BC |
| | C級 | 平木・森 | シェイク | 谷岡・中尾 | シェイク | 大熊・山下 | ホワイトシャトルズ | 3田井・上 | 児島みどり |
| | D級 | 生駒・山下 | 永井BC | 佐々木・小田 | 川鉄バード | 梶原・牧 | 真庭OG | 3大崎・水野 | 岡山コスモス |
| | シニア | 大村・近藤 | 荘　内 | 白神・守屋 | 永井BC | 山根・亀山 | 津山レディース | 土居・三宅 | 奥　玉 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | 4 位（3は3位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | A級 | 赤沢・岡田 | ちろりん | 磯永・平田 | 永井ＢＣ | 松王・藤九 | 豊体育協 | 3中浜・浅原 | フレンド |
| 13 | B級 | 太田・五味 | 川鉄バード | 長尾・田渕 | 真備ＯＧ | 三宅・興梠 | 永井ＢＣ | 3平木・森 | シェイク |
| H，4 | C級 | 力石・奥村 | 奥村ＢＣ | 児島・中原 | 庄 | 田渕・田井 | 児島みどり | 3山田・頼経 | 津山レディース |
| | D級 | 難波・森川 | サタデーズ | 大橋・橋本 | ラビット | 太田・西山 | アイビー | 3水野・森本 | 岡山コスモス |
| | シニア | 白神・中田 | 永井ＢＣ | 内田・大村 | パープル | 立花・松下 | 岡山コスモス | 中村・西谷 | かぶと |
| | A級 | 磯永・平田 | 永井ＢＣ | 赤沢・岡田 | ちろりん | 熊川・小見山 | ちろりん | 3浅原・中浜 | フレンド |
| 14 | B級 | 佐伯ハ・佐伯ア | フレンド | 小林・小西 | 永井ＢＣ | 長尾・田渕 | 真備ＯＧ | 3妹尾・石原 | フレンド |
| H，5 | C級 | 難波・森川 | サタデーズ | 山田・頼経 | 津山レディース | 内田・白神 | パープル・永井 | 3山田・小田 | 永井ＢＣ |
| | D級 | 多田・桐川 | フレンド | 守屋・浅野 | 永井ＢＣ | 大橋・樋口 | アミー | 3林・元島 | 真備ＯＧ |
| 15 | 20歳以上 | 石原・宮崎 | 西大寺 | 小西・仁後 | 永井ＢＣ | 谷・妹尾 | 奥村ＢＣ | 黒沢・梶原 | 山陽アリス |
| H，6 | 30歳以上 | 磯永・平田 | 永井ＢＣ | 赤沢・岡田 | ちろりん | 小幡・石原 | らっきい | 松王・藤九 | 豊体協・西大寺 |
| | 40歳以上 | 小林・斎藤 | 永井ＢＣ | 佐藤・本所 | 三門・豊体協 | 平井・内山 | わかば | 難波・森川 | サタデーズ |
| | 20歳以上 | 岡・宮崎 | 二日市・西大寺 | 仁後・佐伯 | フレンド | 妹尾・笠原 | 奥村ＢＣ | | |
| 16 | 30歳以上 | 香山・磯永 | クラレ岡トゥウイン | 中山・石原 | サラダ | 小田・野口 | らっきい | 木原・長尾 | らっきい・竹の子 |
| H，7 | 40歳以上 | 松王・藤九 | 豊体協・西大寺 | 太田・吉本 | わかば | 平井・内山 | わかば | 梶原・牧 | 真庭ＯＧ |
| | 45歳以上 | 平木・森 | シェイク | 大西・佐藤 | 豊体育協 | 白神・上 | 永井ＢＣ | 山田・頼経 | 津山レディース |
| | 初心者 | 井原・小田垣 | シュガーラブ | 岩松・倉本 | チェリッシュ | 京町・岡野 | チェリッシュ | | |
| | 30歳以上 | 山本・石原 | サラダ | 石原・香山 | 西大寺・クラレ岡 | 磯永・小西 | トゥインクル | 浅原・佐伯 | フレンド |
| 17 | 40歳以上 | 松王・藤九 | 豊体協・クラレ岡 | 太田・吉本 | わかば | 小林・真鍋 | トゥインクル | 山本・長尾 | らっきい・竹の子 |
| H，8 | 45歳以上 | 岩田・坪井 | 吉備体育協会 | 大西・佐藤 | 豊体育協 | 平木・森 | シェイク | 守屋・板谷 | 永井ＢＣ |
| | 初心者 | 志水・穂崎 | 永井ＢＣ | 白神・有松 | リトルスターズ | 堀江・登森 | 総社 | | |

## ②県秋季家庭婦人大会

| 回年 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | 4　位（3は3位） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>S,55 | A級<br>B級 | | | | |
| 2<br>S,56 | A級<br>B級 | 西大寺クラブ | マース A | 豊体育協会 | 3川鉄バードA |
| 3<br>S,57 | A級<br>B級 | 岡山コスモスA | 川鉄バードA | 玉クラブ | 3マース A |
| 4<br>S,58 | A級<br>B級 | 川鉄バードA<br>パープル | 岡山コスモスA<br>マース B | マース A<br>三門バドミントン | 玉クラブ<br>和田クラブ |
| 5<br>S,59 | A級<br>B級 | 川鉄バードA<br>川鉄バードB | 岡山コスモスA<br>玉野レディース | ファイターズ<br>岡山コスモスB | T・S・M<br>玉野クラブ |
| 6<br>S,60 | A級<br>B級<br>C級 | 川鉄バードA<br>チェリッシュB<br>コスモス D | チェリッシュA<br>岡山コスモスC<br>津島クラブ | 岡山コスモスA<br>西大寺クラブ<br>奥玉クラブ | マース A<br>川鉄バードC<br>グリップス |
| 7<br>S,61 | A級<br>B級<br>C級 | チェリッシュA<br>川鉄バードB<br>川鉄バードC | 川鉄バードA<br>岡山コスモスB<br>奥玉クラブ | 岡山コスモスA<br>チェリッシュB<br>チェリッシュD | 西大寺クラブ |
| 8<br>S,62 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | ちろりん村<br>チェリッシュA<br>真備<br>岡山コスモスD | 川鉄バードA<br>マース A<br>グリップス<br>チェリッシュD | 岡山コスモスA<br>岡山コスモスC<br>チェリッシュB<br>児島みずどり | 岡山コスモスB<br>NTT倉敷<br>アイビーA<br>シャトラーズ |
| 9<br>S,63 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | ちろりん村<br>津山レディースA<br>岡山コスモスC<br>チェリッシュC | C・A・P<br>岡山コスモスB<br>庄バド同好会<br>岡山コスモスD | 川鉄バードA<br>チェリッシュA<br>チェリッシュB<br>津山レディースB | 岡山コスモスA<br>マース A<br>アイビーA<br>アイビーB |
| 10<br>H,元 | A級<br>B級<br>C級 | ちろりん村<br>ストリングスA<br>ストリングスB | C・A・P<br>岡山コスモスA<br>エリート | 西大寺クラブ<br>庄バド同好会<br>奥玉クラブ | 川鉄バードA<br>チェリッシュA<br>古都クラブ |
| 11<br>H,2 | A級<br>B級<br>C級 | ちろりん村<br>永井BC・B<br>ホワイトシャトルズ | 永井BC・A<br>川鉄バードA<br>奥玉クラブ | 西大寺クラブ<br>シェイク<br>荘内クラブ | <br><br>チェリッシュA |
| 12<br>H,3 | A級<br>B級<br>C級 | ちろりん村<br>シェイク<br>児島みずどり | 永井BC・A<br>玉野レディース<br>チェリッシュB | 西大寺クラブ<br>ホワイトシャトルズ<br>チェリッシュA | 永井BC・B<br>津山レディース<br>古都クラブ |
| 13<br>H,4 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | 永井BC・A<br>永井BC・B<br>永井BC・C<br>アイビーB | 西大寺クラブ<br>川鉄バードA<br>児島みずどり<br>ウイング玉島 | フレンド<br>シェイク<br>川鉄バード・B<br>玉島シャトルズ | <br><br>チェリッシュA<br>アイビーA |
| 14<br>H,5 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | 西大寺クラブ<br>川鉄バードA<br>アイビーA<br>アミー | 永井BC・A<br>シェイク<br>玉島シャトルズ<br>吉備体育協会 | ちろりん村<br>永井BC・C<br>津山レディース<br>西阿知フレンズ | 永井BC・B<br>ユニーク |
| 15′<br>H,6 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | トゥウインクル<br>パープル<br>児島みずどり<br>ウイング玉島 | フレンド<br>永井BC・A<br>トマト<br>西阿知フレンズ | 奥村BC<br>ユニーク<br>玉島シャトルズ<br>ひまわり | <br><br><br> |
| 16<br>H,7 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | 倉レミックス<br>永井BC・A<br>永井BC・C<br>チェリッシュC | 奥村らっきい<br>チェリッシュA<br>山陽アリス<br>総社クラブ | フレンド<br>わかば<br>チェリッシュB<br>西阿知フレンズ | <br><br>3玉島シャトルズ |
| 17<br>H,8 | A級<br>B級<br>C級<br>D級 | 倉レミックス<br>児島みずどり<br>アミー<br>ポロ | 永井BC・A<br>永井BC・C<br>アイビー<br>永井BC・D | らっきい<br>ユニーク<br>山陽アリス<br>ウイング玉島 | <br><br><br>3リトルスターズ |

## ③ＯＨＫ杯県家庭婦人大会

略称「(各級年齢の合算)ダイヤモンド＝91歳以上・エメラルド・81～90歳・ルビー＝71～80歳・パール＝70歳以下」

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位（3は3位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A級 | チェリッシュA | | 川鉄バードA | | 岡山コスモスA | | | |
| S,61 | B級 | 川鉄バードB | | 岡山コスモスB | | チェリッシュB | | | |
| | C級 | 川鉄バードC | | 奥玉クラブ | | チェリッシュD | | | |
| | A級 | ちろりん村 | | 川鉄バードA | | 岡山コスモスA | | 岡山コスモスB | |
| 2 | B級 | チェリッシュA | | マーズ | | 岡山コスモスC | | NTT倉敷 | |
| S,62 | C級 | 真備 | | グリップス | | チェリッシュB | | アイビー | |
| | D級 | 岡山コスモスD | | チェリッシュD | | 児島みずどり | | シャトラーズ | |
| | ダイヤモンド | 内田・金尾 | パープル・井原 | 横田・木村 | 岡山コスモス | 河田・山田 | 岡山コスモス | | |
| 3 | エメラルド | 出原・児島 | 岡山コスモス | 松王・佐藤 | 豊体育協 | 太田・木山 | 川鉄バード | 3山田・頼経 | 津山レディース |
| S,63 | ルビー | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 大西・藤九 | 西大寺 | 難波・森川 | サタデーズ | 3浜田・上野 | 岡山コスモス |
| | パール | 赤沢・平田 | ちろりん | 小寺・橋村 | アリス | 中浜・安田 | ちろりん | 3浅原・佐伯 | ちろりん |
| | ダイヤモンド | 高杉・児島 | 岡山コスモス | 内田・金尾 | パープル・井原 | 井上・山崎 | 岡山コスモス | | |
| 4 | エメラルド | 松王・佐藤 | 豊体育協 | 太田・木山 | 川鉄バード | 平井・工藤 | 岡山コスモス | 3山田・頼経 | 津山レディース |
| H,元 | ルビー | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 小寺・橋村 | アリス | 大倉・五味 | 川鉄バード | 大西・藤九 | 西大寺 |
| | パール | 赤沢・平田 | ちろりん | 磯永・小西 | ストリングス | 浅原・佐伯 | ちろりん | | |
| | ダイヤモンド | 内田・大熊 | パープル | 宮田・松岡 | 玉野 | 加藤・大熊 | マース | 酒井・八丹 | 吉備体協 |
| 5 | エメラルド | 太田・五味 | 川鉄バード | 木山・大倉 | 川鉄バード | 松王・佐藤 | 豊体育協 | | |
| H,2 | ルビー | 大西・藤九 | 西大寺 | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 出来・武田 | 玉野 | 3西風・清水 | マース |
| | パール | 磯永・平田 | 永井BC | 岡田・赤沢 | ちろりん | 妹尾・多田 | 永井BC | 3小林・小西 | 永井BC |
| | ダイヤモンド | 内田・大熊 | パープル | 白神・安藤 | 永井BC | 平田・八丹 | 吉備体協 | 山下・西谷 | かぶと |
| 6 | エメラルド | 岩田・植田 | 吉備体協 | 太田・五味 | 川鉄バード | 児島・観音堂 | 庄 | 平木・森 | シュイク |
| H,3 | ルビー | 岡田・赤沢 | ちろりん | 小林・小西 | 永井BC | 松王・藤九 | 豊体協・西大寺 | 金尾・山本 | 井原 |
| | パール | 磯永・平田 | 永井BC | 真鍋・中村 | チェリッシュ | 中浜・浅原 | フレンド | 片寄・谷本 | 西大寺・牧石 |
| | ダイヤモンド | 内田・河田 | パープル・荘内 | 白神・安藤 | 永井BC | 八丹・平田 | 吉備体協 | 山根・小林 | 津山レディース |
| 7 | エメラルド | 太田・五味 | 川鉄バード | 岩田・長沢 | 吉備体協 | 本所・佐藤 | 三門・豊体協 | 3三宅・上 | 永井BC |
| H,4 | ルビー | 岡田・赤沢 | ちろりん | 小林・小西 | 永井BC | 岡田・真鍋 | チェリッシュ | 行本・黒川 | サラダ |
| | パール | 藤九・山下 | クラレ岡 | 磯永・平田 | 永井BC | 佐伯ハ・佐伯ア | フレンド | 石原・光本 | 西大寺 |
| | ダイヤモンド | 平木・森 | シェイク | 白神・畑中 | 永井BC | 内田・河田 | パープル | 平田・坪井 | 吉備体協 |
| 8 | エメラルド | 岡田・真鍋 | チェリッシュ | 岩田・長沢 | 吉備体協 | 山田・頼経 | 津山レディース | 3清水・小林 | ユニーク |
| H,5 | ルビー | 藤九・磯永 | 西大寺・永井BC | 岡田・赤沢 | ちろりん | 小林・小西 | 永井BC | 小幡・中山 | 永井BC |
| | パール | 佐伯ハ・佐伯ア | フレンド | 奥村・大河 | 奥村BC | 三宅・木原 | 永井BC | 長尾・中野 | 真備 |
| | A級 | 磯永・宮崎 | トゥウインクル | 小林・小西 | トゥウインクル | 松王・藤九 | 豊体協・西大寺 | 3行本・黒川 | サラダ |
| 9 | B級 | 太田・吉本 | わかば | 木原・長尾 | らっきい | 岩田・谷本 | 吉備体協・牧石 | 3平木・森 | シェイク |
| H,6 | C級 | 佐々木・内村 | 川鉄バード | 小幡・吉田 | らっきい | 平井・内山 | わかば | 3岩城・笠原 | カトレア |
| | D級 | 福田・矢部 | 山陽アリス | 奥村・田辺 | 真備 | 貝原・昼田 | わかば | 3松岡・高橋 | ユニーク |
| | E級 | 三宅・三垣 | わかば | 笹井・下山 | わかば | 田渕・井上 | 真備 | 3三宅・鈴木 | シュガーラブ |
| | A級 | 磯永・寺尾 | トゥウインクル | 香山・石原 | クラレ岡・西大寺 | 仁後・佐伯 | フレンド | | |
| 10 | B級 | 木村・末包 | 永井BC | 太田・吉本 | わかば | 畑中・小幡 | 永井BC | | |
| H,7 | C級 | 藤本・浅野 | 玉島シャトルズ | 平井・内山 | わかば | 白神・山田 | 永井BC | | |
| | D級 | 山路・宮田 | ユニーク | 山田・頼経 | 津山レディース | 高原・大村 | 荘内 | 3山本・橋本 | アミー |
| | E級 | 青井・岡 | 総社 | 隈部・村上 | 川辺 | 平田・堀内 | チェリッシュ | 3有松・白神 | リトルスターズ |
| | A級 | 香山・石原 | クラレ岡・西大寺 | 磯永・藤九 | クラレ岡・トゥウイン | 小林・小西 | トゥウインクル | | |
| 11 | B級 | 太田・吉本 | わかば | 藤本・浅野 | 永井BC | 佐々木・内村 | 川鉄バード | | |
| H,8 | C級 | 大倉・植畠 | ホワイト | 白神・畑中 | 永井BC | 菊池・三宅 | みずどり | | |
| | D級 | 谷岡・加藤 | ポロ | 徳永・山下 | ホワイトシャトルズ | 中尾・広畑 | オレンジ | 3力石・黒川 | アイビー |
| | E級 | 田中・二宮 | 津島 | 浜田・森 | 津島 | 堀内・岡野 | ポロ | | |

## 2）県外大会

### ①中国地区家庭婦人年齢別競技会「個人戦」　略称(1部＝30歳代・2部＝40歳代)

| 回 | 年度 | 会場 | 種別 | 選手名 | クラブ名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | S,61 | 広島 | 1部 | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 優勝 |
| | | | | 出原・児島 | 岡山コスモス | 3位 |
| | | | 2部 | 内田・金尾 | パープル・井原 | 3位 |
| 4 | S,62 | 鳥取 | 1部 | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 優勝 |
| 5 | S,63 | 松江 | 1部 | 平田・赤沢 | ちろりん村 | 優勝 |
| | | | | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 3位 |
| 6 | H,元 | 下関 | 1部 | 平田・赤沢 | ちろりん村 | 3位 |
| 8 | H,3 | 玉野 | 1部 | 岡田・赤沢 | ちろりん村 | 優勝 |
| 9 | H,4 | 米子 | 1部 | 岡田・赤沢 | ちろりん村 | 3位 |
| | | | | 平田・磯永 | 永井BC | 3位 |
| 10 | H,5 | 松江 | 1部 | 岡田・赤沢 | ちろりん村 | 優勝 |
| | | | | 平田・磯永 | 永井BC | 2位 |
| 11 | H,6 | 山口 | 1部 | 松王・藤九 | 豊体協・西大寺クラブ | 2位 |
| | | | 2部 | 小林・斎藤 | 永井BC | 3位 |
| 12 | H,7 | 広島 | 2部 | 松王・藤九 | 豊体協・西大寺クラブ | 3位 |
| 13 | H,8 | 岡山 | 1部 | 石原・香山 | 西大寺クラブ・クラレ岡山 | 2位 |
| | | | 2部 | 松王・藤九 | 豊体協・クラレ岡山 | 2位 |

### ②全日本家庭婦人大会クラブ対抗競技会中国地区予選会「団体戦」

| 回 | 年度 | 会場 | クラブ名 | 選手名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | H,6 | 山口 | 永井BC | 小西　中山　奥村　小堀　力石　谷 | 3位 |
| 12 | H,7 | 広島 | 奥村BC | 奥村　小西　三宅　力石　小堀　黒川　谷 | 3位 |

### ③西日本家庭婦人大会「個人戦」　略称（2部A＝合算年齢 70歳以下・2部B＝71～80歳）

| 回 | 年度 | 会場 | 種別 | 選手名 | クラブ名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | S,61 | 大阪 | 2部A | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 優勝 |
| 16 | H,元 | 大阪 | 2部A | 平田・赤沢 | ちろりん村 | 優勝 |
| 19 | H,4 | 大阪 | 2部A | 平田・磯永 | 永井BC | 2位 |
| 20 | H,5 | 大阪 | 2部B | 岡田・赤沢 | ちろりん村 | 2位 |

### ④全日本家庭婦人大会年齢別競技会「都道府県対抗・団体戦」

| 回 | 年度 | 会場 | 選手名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | S,59 | 東京 | 内田　金尾　岡田　鈴木　出原　藤原 | 予選リーグ3位 |
| 6 | S,63 | 東京 | 内田　金尾　出原　工藤　藤原　真鍋 | 予選リーグ2位 |
| 7 | H,元 | 大阪 | 内田　金尾　佐藤　松王　平田　赤沢 | 予選リーグ3位 |
| 13 | H,7 | 長崎 | 白神　安藤　佐藤　松王　磯永　小西 | 予選リーグ3位 |
| 14 | H,8 | 松江 | 山路　宮田　松王　藤九　石原　香山　内田　佐藤 | 予選リーグ3位 |

## （9）社会人

### 1）中国社会人選手権大会・全日本社会人選手権大会県予選会　☆S，48年度までは記録不明

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 |
| | AMD | 芳上・上野 | 三井造船 | 藤原・田丸 | 三井造船 | 小松・藤井 | 岡山市 | 武・角田 | 倉工ＯＢ |
| | BMS | 金田　孝 | 三井造船 | 藤原　明 | 三菱石油 | 平田　博文 | 日本旅行 | 山本　勉 | 玉野 |
| 17 | BMD | 藤原・平田 | 三石・旅行 | 山本・都田 | 玉野 | 田中・永井 | クラレ岡 | 竹中・桑原 | クラレ岡 |
| S，49 | 35MS | 西村　喬 | 三井造船 | 明珍　勝 | 三井造船 | 岡本　武利 | 岡山市 | 高松森之助 | 三井造船 |
| | 35MD | 西村・明珍 | 三井造船 | 岡本・水川 | 岡山市 | 矢口・高松 | 三井造船 | 二本木・小林 | クラレ倉 |
| | ＬＳ | 三田　明美 | クラレ岡 | 寺見みど里 | クラレ岡 | 木村　宣子 | 山女ＯＧ | 樋　素栄 | 三井造船 |
| | ＬＤ | 三田・寺見 | クラレ岡 | 樋・松岡 | 三井造船 | 土倉・沢根 | 三菱石油 | 藤原・難波 | 川崎製鉄 |
| | AMS | 芳上　一男 | 三井造船 | 小田　和文 | 総社東中 | 三宅　勝 | 水島工教 | 松井　一 | 三井造船 |
| | AMD | 藤原・松井 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 岡本・小田 | 玉中・総社東中 | 武・角田 | 倉工ＯＢ |
| | BMS | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 永山　和男 | 三菱石油 | 古里　正保 | 旭化成 | 田中　行治 | 倉工ＯＢ |
| 18 | BMD | 板谷・田中 | クラレ・倉工OB | 牧野・船越 | 旭化成 | 平松・保仙 | クラレ岡 | 田中・永山 | クラレ岡 |
| S，50 | 30MS | 藤井　英雄 | 岡山市 | 金田　孝 | 三井造船 | 石原　良雄 | 三井造船 | 田中　良治 | 三菱石油 |
| | 30MD | 小松・藤井 | 岡山市 | 金田・石原 | 三井造船 | 浅野・平嶋 | 三菱化成 | 下元・広安 | クラレ岡 |
| | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | 三田　明美 | クラレ岡 | 木村　宣子 | 東陶機器 | 藤原　敦子 | クラレ岡 |
| | ＬＤ | 三田・藤原 | クラレ岡 | 木村・石田 | 東陶機器・県教委 | 藤原・難波 | 川崎製鉄 | 楠本・川端 | 三菱石油 |
| | AMS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 三宅　勝 | 水島工教 | 芳上　一男 | 三井造船 | 森田　衛 | 川崎製鉄 |
| | AMD | 藤原・松井 | 三井造船 | 芳上・上野 | 三井造船 | 岡本・小田 | 上南中・総社東中 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 |
| | BMS | 永山　和男 | 三菱石油 | 山本　清 | 三井造船 | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | 田中　行治 | 倉工ＯＢ |
| 19 | BMD | 川上・前田 | 三菱化成 | 貝原・土岐 | 水工ＯＢ | 毛利・山本 | 三井造船 | 藤井・織田 | 水工ＯＢ |
| S，51 | 30MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 浅野　応孝 | 三菱化成 | 石原　良雄 | 三井造船 | 青木　元春 | 岡山市 |
| | 30MD | 小松・青木 | 岡山市 | 田丸・石原 | 三井造船 | 浅野・平嶋 | 三菱化成 | 岡本・高松 | 岡山市・三井 |
| | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | 林　寿美子 | 山陽女教 | 藤原　敦子 | クラレ岡 | 丸山　孝子 | 川崎製鉄 |
| | ＬＤ | 石田・林 | 県教委・山女教 | 三田・藤原 | クラレ岡 | 虫明・松岡 | 幸島小教・三井 | 難波・難波 | 川崎製鉄 |
| | AMS | 岡本　次郎 | 上南中教 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 |
| | AMD | 芳上・松井 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 岡本・小田 | 上南中・総社東中 | 永山・景山 | 川崎製鉄 |
| | BMS | 永山　和男 | 三菱石油 | 物部　良弘 | 住友重機 | 前田　勇 | 三菱化成 | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 |
| 20 | BMD | 物部・松枝 | 住友重機 | 貝原・土岐 | 水工ＯＢ | 村井・伊達 | 三井クラブ | 田中・豊田 | 水工ＯＢ |
| S，52 | 30MS | 小松　貴 | 岡山市 | 浅野　応孝 | 三菱化成 | 佐藤　省三 | 三井造船 | 青木　元春 | 岡山市 |
| | 30MD | 小松・藤井 | 岡山市 | 今東・崎山 | 岡山市 | 田丸・藤田 | 三井造船 | 轡田・大野 | クラレ岡 |
| | ＬＳ | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 林　寿美子 | 山陽女教 | 佐藤　妙子 | 三菱化成 | 難波　初子 | 川崎製鉄 |
| | ＬＤ | 石田・林 | アサヒ・山女教 | 難波・難波 | 川崎製鉄 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 末尾・東 | クラレ岡 |
| | AMS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　航 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| | AMD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 岡本・小田 | 上南中・総社東中 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 松井・山本 | 三井造船 |
| | BMS | 中浜　昌宏 | 川崎製鉄 | 黒木　義徳 | 旭化成 | 貝原　政夫 | 水工ＯＢ | 岡本　正孝 | 旭化成 |
| 21 | BMD | 松枝・藤田 | 住友重機 | 吉原・小河原 | クラレ岡 | 喜井・渡辺 | 三井クラブ | 中山・中浜 | 川崎製鉄 |
| S，53 | 30MS | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | 藤田　弘司 | 三井造船 | 吉原　俊治 | クラレ岡 | 田中　良治 | 三菱石油 |
| | 30MD | 今東・崎本 | 岡山市 | 筒井・上田 | クラレ倉 | | | | |
| | ＬＳ | 林　寿美子 | 山陽女教 | 林　正子 | 岡大ＯＧ | 難波　明美 | 川崎製鉄 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 |
| | ＬＤ | 岡部・貝原 | カネボウ・岡商工会 | 林・松岡 | 岡大OG・三井 | 岡本・若林 | 三菱化成 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 |
| | AMS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤井　久美 | 清音村 | 小田　和文 | 県養護学 |
| | AMD | 松井・山本 | 三井造船 | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | 岡本・小田 | 上南中・県養護学 | 平田・景山 | 川崎製鉄 |
| | BMS | 森田　衛 | 川崎製鉄 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 三浦　真 | 岡山市 | 犬飼　文男 | 川崎学園 |
| 22 | BMD | 森田・片岡 | 川崎製鉄 | 重安・喜井 | 和田 | 金崎・中村 | 川崎製鉄 | 田丸・丸岡 | 三井造船 |
| S，54 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 小松　貴 | 岡山市 | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 |
| | 30MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 小松・青木 | 岡山市 | | | | |
| | ＬＳ | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 森下　真紀 | 岡山市 | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 小寺　裕美 | 岡山市 |
| | ＬＤ | 岡部・橋本 | カネボウ・岡山市 | 小寺・森下 | 岡山市 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 石田・貝原 | アサヒ・岡商工会 |

☆S，55～S，56年度は記録不明

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶工業 |
| | AMD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 楢本・清水 | 川崎学園 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| | BMS | 北　学 | 川崎学園 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 田中　行治 | 田中被服 | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 |
| 24 | BMD | 中山・中浜 | 川崎製鉄 | 金崎・片岡 | 川崎製鉄 | 小原・田中 | 早　島 | 平井・矢吹 | 岡山市 |
| S,57 | 30MS | 松井　一 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 片岡　洋一 | 川崎製鉄 | 青木　元春 | 岡山市 |
| | 30MD | 小峪・松井 | 三井造船 | 藤原・三宅 | 三井・水工教 | 市村・松王 | 岡大職員・トッププロ | 青木・崎本 | 岡山市 |
| | ＬＳ | 河本　小織 | 松本組 | 高田　幹子 | 松本組 | 小寺　裕美 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 |
| | ＬＤ | 河本・高田 | 松本組 | 小寺・藤木 | 松本組・岡山市 | 森下・藤原 | 早　島 | 天野・合田 | クラレ岡・松本組 |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| | AMD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 西江・北村 | 川崎製鉄 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 |
| | BMS | 土居　信夫 | 三井造船 | 田中　行治 | 早　島 | | | | |
| 25 | BMD | 土居・高本 | 三井造船 | 狩屋・西平 | 清　音 | | | | |
| S,58 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 田丸　勝己 | 三井造船 | | | | |
| | 30MD | 芳上・松井 | 三井造船 | 藤原・田丸 | 三井造船 | | | | |
| | ＬＳ | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 皿井由美子 | 山陽女教 | 天野　真理 | クラレ岡 |
| | ＬＤ | 原田・中原 | 松本組・水工職員 | 合田・皿井 | 松本組・山女教 | 天野・轟 | クラレ岡 | 森下・藤原 | 老　松 |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| | AMD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 西江・北村 | 川崎製鉄 |
| | BMS | 平島　秀典 | 幡多小教 | 佐藤 | 電々岡山 | | | | |
| 26 | BMD | 平島・松本 | 幡多小教・高島小教 | 狩屋・西平 | 清　音 | | | | |
| S,59 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 田丸　勝己 | 三井造船 | | | | |
| | 30MD | 芳上・松井 | 三井造船 | 藤原・田丸 | 三井造船 | | | | |
| | ＬＳ | 原田美智子 | 松本組 | 皿井由美子 | 山陽女教 | 河内　富子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 |
| | ＬＤ | 原田・合田 | 松本組 | 天野・福田 | クラレ岡 | 宮川・山中 | 老　松 | 藤原・松岡 | 老　松 |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 安田　央 | 県信用金庫 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶工業 |
| | AMD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 清水・楢本 | 鳥城高教・川崎学園 | 安田・渡辺 | 県信金・中国銀行 |
| | BMS | 北　学 | 川崎学園 | 守屋　好雄 | 玉島北教 | | | | |
| 27 | BMD | 田丸・松井 | 三井造船 | 永井・中山 | 川崎製鉄 | | | | |
| S,60 | 30MS | 永井　孝 | 川崎製鉄 | 松井　一 | 三井造船 | | | | |
| | ＬＳ | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 岡　百合子 | 岡山市 |
| | ＬＤ | 原田・合田 | 松本組 | 岡・藤木 | 岡山市 | 安田・石井 | 老　松 | 天野・山崎 | クラレ岡・LETS |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 山本　清 | 三井造船 |
| | AMD | 山本・若林 | 三井造船 | 中山・平田 | 川崎製鉄 | 清水・楢本 | 旭　東 | 北村・山下 | 川鉄・クラレ岡 |
| | BMS | 羽崎美智夫 | 三井造船 | 黒瀬　貢 | 中国電力 | | | | |
| 28 | BMD | 黒木・貝原 | 旭化成 | 藤田・中村 | シェイク | | | | |
| S,61 | 30MS | 三宅　勝 | 水島工教 | 岡本　次郎 | 岡北中教 | | | | |
| | 30MD | 三宅・藤原 | 水工教・三井 | 芳上・田丸 | 三井造船 | | | | |
| | ＬＳ | 合田なおみ | 松本組 | 山崎　恵子 | 山陽女教 | 岡　百合子 | 岡山市 | 赤沢　五月 | 清　音 |
| | ＬＤ | 合田・山崎 | 松本組・山女教 | 岡・浮田 | 岡山市・西大寺 | 松岡・親 | 老　松 | 竹原純・竹原桂 | エクスラン・印刷局 |
| | AMS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| | AMD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 若林・山本 | 三井造船 | 清水・楢本 | 倉南高・鏡野南小 | 北村・山下 | 川鉄・クラレ倉 |
| | BMS | 多田　一也 | チェリッシュ | 中島 | 老　松 | | | | |
| | BMD | 多田・佐武 | チェリッシュ | 藤田・浜 | チェリッシュ | | | | |
| 29 | 30MS | 永井　孝 | 川崎製鉄 | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | | | | |
| S,62 | 30MD | 藤原・瀬戸 | 三井・中央高教 | 中山・岡本 | 川鉄・岡北中教 | | | | |
| | 40MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 吉原　俊治 | クラレ倉 | | | | |
| | 40MD | 田丸・吉原 | 三井・クラレ倉 | 松王・山本 | 西大寺 | | | | |
| | ＬＳ | 西林　昭子 | 備前体協 | 紀井　晴美 | 松下電器 | 岡　百合子 | 岡山市 | 山崎　恵子 | 山陽女教 |
| | ＬＤ | 河本・原田 | コングッド・松本 | 紀井・西林 | 松下・備前 | 山崎・轟 | 山陽女教・岡山市 | 岡・浮田 | 岡山市・西大寺信金 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| | AMD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 若林・藤原 | 三井造船 | 清水・楢本 | 倉南高・競野南小 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| | BMS | 川上新太郎 | 山陽ドラム | 山本　実雄 | 三菱化成 | | | | |
| | BMD | 東　・山本 | 三菱化成 | 近藤・万代 | 三菱金属 | | | | |
| 30 | 30MS | 永井　　孝 | 川崎製鉄 | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | | | | |
| S,63 | 30MD | 藤原・田丸 | 三井造船 | 中山・中浜 | 川崎製鉄 | | | | |
| | 40MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 吉原　俊治 | クラレ倉 | | | | |
| | 40MD | 松王・山本 | 西大寺 | 垂井・壷内 | 柵原体協 | | | | |
| | ＬＳ | 原田美智子 | 松本組 | 岡　　良依 | 松本組 | 岡　百合子 | 岡山市 | 河原美津巳 | 松本組 |
| | ＬＤ | 河原・　岡 | 松本組 | 岡　・　轟 | 岡山市 | 赤沢・平田 | ちろりん | 藤原・真鍋 | チェリッシュ |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム | 片岡　洋一 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 |
| | AMD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ | 三村・片岡 | 川崎製鉄 | 竺原・山下 | 三菱化・クラレ倉 |
| | BMS | 三好　　誠 | 三菱自工 | 井木　誠三 | 永井ＢＣ | | | | |
| | BMD | 長谷・羽崎 | 三井・玉野石油 | 程原・千葉 | 三菱化成 | | | | |
| 31 | 30MS | 永井　　孝 | 永井ＢＣ | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | | | | |
| H,元 | 30MD | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 松本・平島 | 旭東教員 | | | | |
| | 40MS | 吉原　俊治 | クラレ倉 | 山本　正志 | 西大寺 | | | | |
| | 40MD | 松王・山本 | 西大寺 | 山本・柚木 | 笠岡市 | | | | |
| | ＬＳ | 河原美津巳 | 松本組 | 岡　　良依 | 松本組 | 土肥まり子 | 松本組 | | |
| | ＬＤ | 河原・　岡 | 松本組 | 山本・土肥 | 松本組 | 紀井・西林 | 松下・備前体協 | | |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 竺原　博文 | 三菱化成 | 平田　重男 | トスコ | 藤井　久美 | 清音村 |
| | AMD | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 片岡・平田 | 川鉄・トスコ | 山下・石木 | クラレ岡 | 野田・仁後 | 川鉄鉄構 |
| | BMS | 山田　政治 | 大　　金 | 高本　行男 | 大　　金 | 藤井　一男 | 笠岡市 | 井上　和志 | 笠岡市 |
| | BMD | 山田・高本 | 大　　金 | 井上・藤井 | 笠岡市 | 河合・　北 | 西大寺 | | |
| 32 | 30MS | 永井　　孝 | 永井ＢＣ | 赤沢　康宏 | ちろりん | 片岡　　光 | 県教員 | 竹島　理雄 | 県教員 |
| H,2 | 30MD | 松本・平島 | 県教員 | 中村・三村 | ちろりん | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 近藤・山本 | 西大寺・天満屋 |
| | 40MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 本藤　和明 | 灘　　崎 | 吉原　俊治 | クラレ倉 | 山本　正志 | 西大寺 |
| | 40MD | 田丸・吉原 | 三井・クラレ倉 | 山本・松王 | 西大寺 | 青木・藤井 | 岡山市 | | |
| | ＬＳ | 岡　　良依 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと | 渡邊　美穂 | まつもと | 藤原　清美 | まつもと |
| | ＬＤ | 渡邊・　岡 | まつもと | 藤原・土肥 | まつもと | 平田・磯永 | 永　　井 | 岡田・赤沢 | ちろりん |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 藤原　一志 | 中谷興運 |
| | AMD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 福田・三辻 | 松下・三井 | 山下・石本 | クラレ岡 | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 |
| | BMS | 吉田　優男 | 松下電器 | 長谷　和邦 | 川崎製鉄 | 丸山　仁一 | ＮＴＮ | 川上　勝之 | ウイング |
| | BMD | 山田・千間 | ウエスコ | 岡野・平木 | 教員・和田 | 長谷・穴吹 | 川崎製鉄 | 宮川・的野 | ＮＴＮ |
| 33 | 30MS | 永井　　孝 | 永井ＢＣ | 多田　一也 | 県教員 | 中須賀祥雅 | 県教員 | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 |
| H,3 | 30MD | 山本・中山 | 三井・川鉄 | 北村・若林 | 川鉄・三石 | 平田・中浜 | トスコ・川鉄 | 平島・多田 | 県教員 |
| | 40MS | 本藤　和明 | 灘　　崎 | 千間 | ウエスコ | 吉原　俊治 | クラレ倉 | 田丸　勝己 | 三井造船 |
| | 40MD | 田丸・吉原 | 三井・クラレ倉 | 本藤・合田 | 灘　　崎 | | | | |
| | ＬＳ | 藤原　清美 | まつもと | 渡邊　美穂 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 岡　　良依 | まつもと |
| | ＬＤ | 渡邊・　岡 | まつもと | 藤原・佐藤 | まつもと | 西林・中川 | 松下電器 | 土肥・浅野 | まつもと・真備 |
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 | 三好　研二 | 川鉄鉄構 |
| | AMD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 平田・藤原 | トスコ・中谷興運 | 福田・三辻 | 松下・三井 | 坂本・延本 | 岡山貯金・トップブロ |
| | BMS | 井上　浩文 | 三菱化成 | 潮見 | 老　　松 | 難波　秀昭 | ちろりん | 滝沢　壮一 | ちろりん |
| 34 | BMD | 藤井・福尾 | 笠岡市役所 | 滝沢・難波 | ちろりん | 井上・小池 | 三菱化成 | | |
| H,4 | 30MS | 竺原　博文 | 三菱化成 | 永井　　孝 | 永井ＢＣ | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 |
| | 30MD | 山本・中山 | 三井・川鉄 | 板谷・田枝 | クラレ倉 | 藤井・竺原 | 清音村・三化 | 永井・中村 | 永井・ちろりん |
| | ＬＳ | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと | 浅野みどり | 老　　松 |
| | ＬＤ | 佐藤・住矢 | まつもと | 香山・山下 | クラレ岡 | 土肥・安原 | まつもと | 西林・横田 | 松下電器 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 福田　　哲 | 松下電器 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| | AMD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 若林・仁井 | 三井造船 | 横田・立野 | 三化・倉敷化 | 坂本・延本 | 岡山貯金・トッププロ |
| | BMS | 田中　　薫 | 川崎製鉄 | 井原　浩一 | 山陽町 | 中　恵一 | 川崎製鉄 | | |
| 35 | BMD | 井原・岡本 | 山陽町役場・鐵筋 | 藤井・井上 | 笠岡市 | 長谷・中 | 川崎製鉄 | 稲谷・中西 | 柵原体協 |
| H，5 | 30MS | 平田　重男 | トスコ | 藤原　一志 | 中谷興運 | 永井　　孝 | 永井ＢＣ | 竺原　博文 | 三菱化成 |
| | 30MD | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 若林・竺原 | 三石・三化 | 中山・中村 | 川鉄・ちろりん | 藤井・平田 | 清音村・トスコ |
| | ＬＳ | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと |
| | ＬＤ | 佐藤・住矢 | まつもと | 土肥・安原 | まつもと | 山下・松王 | トッププロスポーツ | 山室・宮本 | クラレ岡・まつもと |
| | AMS | 三辻　邦章 | 三井造船 | 若林　邦任 | 三井造船 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| | AMD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 横田・立野 | 三化・倉敷化 | 坂本・延本 | 岡山貯・トップ | 藤原・若林 | 川鉄・三井 |
| | BMS | 稲谷　和昌 | 柵原体協 | 井上　和志 | 笠岡市 | 中　恵一 | 川崎製鉄 | 藤井　一男 | 笠岡市 |
| | BMD | 服部・山田 | ウエスコ | 稲谷・中西 | 柵原体協 | 藤井・井上 | 笠岡市 | 長谷・中 | 川崎製鉄 |
| 36 | 30MS | 竺原　博文 | 三菱化成 | 藤井　久美 | 清音村 | 中村　行治 | ちろりん | 前田　雅美 | 三菱自工 |
| H，6 | 30MD | 山本・中山 | 三井・川鉄 | 平田・三村 | トスコ・川鉄 | 若林・大倉 | 三石・三井 | 前田・竺原 | 三自・三化 |
| | 40MS | 永井　　孝 | 永井ＢＣ | 岩田　　勇 | 永井ＢＣ | 今宮　龍也 | クラレ岡 | 吉原　俊治 | クラレ倉 |
| | 40MD | 永井・岩田 | 永井ＢＣ | 吉原・今宮 | クラレ倉・岡 | 田中・内藤 | 三菱石油 | | |
| | ＬＳ | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと |
| | ＬＤ | 佐藤・神宝 | まつもと | 住矢・香山 | まつもと・クラレ岡 | 土肥・宮本 | まつもと | 山本・宮崎 | 備前東教・光和被服 |

**「県総合選手権大会」**

☆平成７年度より，県総合選手権大会と名称変更をし，学生・生徒も加わり，中国地区総合選手権大会県予選会となった。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 若林　邦任 | ナガイ | 福田　　哲 | 松下電器 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 横田　豊和 | 三菱化学 |
| | AMD | 藤原・若林 | 川鉄マシナリー | 福田・安藤 | 松下・辰巳 | 坂本典・坂本昌 | 岡山貯金・倉敷市 | 石本・田中 | 川鉄マシナリー |
| | BMS | 友田　邦彦 | 岡山市 | 坂下伊知郎 | 奥村ＢＣ | 藤井　一男 | 笠岡市 | 鈴木　俊二 | 笠岡市 |
| | BMD | 服部・山田 | ウエスコ | 藤井・鈴木 | 笠岡市役所 | 藤沢・友田 | 岡山市 | | |
| 37 | 30MS | 藤井　久美 | 清音村 | 山本　　清 | 三井造船 | 中村　行治 | ちろりん | 樋口　正幸 | 松下電器 |
| H，7 | 30MD | 山本・大倉 | 三井造船 | 前田・竺原 | 三自・三化 | 藤井・中村 | 清音村・ちろりん | 西井・井木 | 奥村ＢＣ |
| | 40MS | 片山　雅博 | 三菱自工 | 竹島　理雄 | 灘　　崎 | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 吉原　俊治 | クラレ倉 |
| | 40MD | 岩田・永井 | 永井ＢＣ | 中山・吉原 | 川鉄・クラレ倉 | 片山・梶田 | 三菱自工 | | |
| | ＬＳ | 神宝　朝子 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 井山　美里 | 西大寺中 | 次田　尚美 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 加藤美・赤澤 | 山陽女高 | 香山・山下 | クラレ岡 | 田井・加藤し | 山陽女高 | 住矢・宮本 | まつもと |
| | AMS | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 三好　幸夫 | 極東システム | 福田　　哲 | 松下電器 |
| | AMD | 福田・立野 | 松下・倉化 | 三好研・石本 | 川鉄マシナリー | 末田・安藤 | 松下・辰巳 | 坂本・武政 | 倉敷市・中国電力 |
| | BMS | 安本　貴士 | 三井造船 | 垣見　一俊 | 川崎製鉄 | 内川良太郎 | 倉敷市 | 藤井　健一 | 石川島芝浦機械 |
| | BMD | 安本・相野 | 三井・秀天郵便局 | 藤井・鈴木 | 笠岡市 | 藤沢・友田 | 岡山市 | | |
| 38 | 30MS | 藤井　久美 | 清音村 | 中村　行治 | ちろりん | 大倉　達也 | 三井造船 | 山本　　清 | 三井造船 |
| H，8 | 30MD | 藤井・田枝 | 清音村・クラレ倉 | 香山・山下 | クラレ岡 | 中村・竺原 | ちろりん・三化 | 山本・大倉 | 三井造船 |
| | 40MS | 片山　雅博 | 三菱自工 | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 片岡　　光 | 旭東教員 | 竹島　理雄 | 茶屋町小教 |
| | 40MD | 中山・木村 | 川鉄・高井文研堂 | 片山・梶田 | 三菱自工 | 井上・山本 | 井原市・笠岡市 | 藤原・吉原 | 県立大・クラレ倉 |
| | ＬＳ | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 福井　稔代 | 翠松高 | 小田　真澄 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 住矢・神宝 | まつもと | 香山・山下 | クラレ岡 | 福井・山本 | 翠松高 | 宮崎・山本 | 光和被服・児島高教 |

## 2）県外大会

### ①中国大会

☆11回大会までは，中国選手権大会の名称で，国体ブロック予選会と同時に開催していた。
☆12回大会より「中国社会人選手権大会」となり，実業団大会（団体戦）も併催され，成壮年の部も加えられた。
☆38回大会より「中国地区総合選手権大会」と名称変更し，学生・生徒も加わっての，全日本総合選手権大会地区予選会となり，各種目の優勝者が出場権を得ることになった。

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 成績 | 種目 | 氏名 | 成績 | 種目 | 氏名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S，33 | 島根 | MS | 石原　利通 | 優勝 | MD | 毛利・前田 | 優勝 | | | |
| | | | LS | 大橋　艶子 | 優勝 | LD | 大橋・草野 | 優勝 | | | |
| 2 | S，34 | 岡山市 | MS | 石原　利通 | 優勝 | MD | 毛利・西崎 | 優勝 | | | |
| | | | LS | 権田　節子 | 優勝 | LD | 権田・光本 | 優勝 | | | |
| 3 | S，35 | | MS | 小松　貴 | 優勝 | MD | 小松・石原 | 優勝 | | | |
| | | | LS | 根岸　純 | 優勝 | LD | 根岸・湯浅 | 優勝 | | | |
| 4 | S，36 | | MS | 前田　俊一 | 優勝 | MD | 小松・青井 | 優勝 | | | |
| | | | LS | 根岸　純 | 優勝 | LD | 根岸・湯浅 | 優勝 | | | |
| 5 | S，37 | | MS | 小松　貴 | 優勝 | MD | 小松・寺内 | 優勝 | | | |
| 6 | S，38 | | MS | 寺内　侃一 | 優勝 | MD | 小松・寺内 | 優勝 | | | |
| | | | LS | 根岸　純 | 優勝 | LD | 根岸・湯浅 | 優勝 | | | |
| 7 | S，39 | | MS | 小松　貴 | 優勝 | MD | 小松・寺内 | 優勝 | LD | 重政・小合 | 優勝 |
| 8 | S，40 | | MS | 小松　貴 | 優勝 | MD | 小松・寺内 | 優勝 | | | |
| 9 | S，41 | 鳥取市 | MS | 前田　俊一 | 優勝 | MD | 小松・松王 | 優勝 | LD | 重政・小合 | 優勝 |
| 10 | S，42 | 松江市 | MS | 三宅　勝 | 優勝 | MD | 小松・松王 | 優勝 | | | |
| | | | LS | 高塚　淳子 | 優勝 | LD | 高塚・大賀 | 優勝 | | | |
| 11 | S，43 | 下関市 | MS | 小松　貴 | 優勝 | MD | 小松・藤井 | 優勝 | | | |
| 12 | S，44 | 倉吉市 | MS | 上野　輝治 | 優勝 | MD | 三宅・柳本 | 優勝 | | | |
| （中国社会人選手権） | | | LS | 木村　宣子 | 優勝 | LD | 光畑・木村 | 優勝 | | | |
| | | | MS | 小松　貴 | 優勝 | MS | 上野　輝治 | 2位 | MS | 芳上　一男 | 3位 |
| 13 | S，45 | 下関市 | MD | 上野・芳上 | 2位 | MD | 小松・藤井 | 3位 | | | |
| | | | LS | 光畑　直美 | 3位 | LS | 木村　宣子 | 3位 | LD | 光畑・木村 | 2位 |
| | | | 40MD | 水川・　社 | 2位 | | | | | | |
| | | | MD | 上野・芳上 | 優勝 | MD | 小松・藤井 | 3位 | | | |
| 14 | S，46 | 福山市 | LS | 浦口　恵子 | 優勝 | LD | 木村・鈴木 | 2位 | LD | 浦口・笹尾 | 3位 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 優勝 | 40MS | 明珍　勝 | 3位 | 40MS | 西村　喬 | 3位 |
| | | | 40MD | 水川・岡本 | 2位 | 40MD | 明珍・西村 | 3位 | 40MD | 虻江・高松 | 3位 |
| | | | MS | 上野　輝治 | 3位 | MD | 上野・芳上 | 優勝 | MD | 小松・藤井 | 2位 |
| | | | LS | 藤原 | 3位 | LS | 和気 | 3位 | | | |
| 15 | S，47 | 玉野市 | LD | 藤原・石口 | 2位 | LD | 和気・藤井 | 3位 | | | |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 3位 | 40MD | 岡本・水川 | 2位 | 40MD | 明珍・西村 | 3位 |
| | | | 40MD | 矢口・高松 | 3位 | | | | | | |
| | | | MS | 芳上　一男 | 優勝 | MD | 上野・芳上 | 2位 | MD | 万代・松井 | 3位 |
| 16 | S，48 | 米子市 | LS | 三田　明美 | 優勝 | LS | 木村　宣子 | 3位 | | | |
| | | | LD | 三田・寺見 | 優勝 | LD | 藤原・難波 | 3位 | LD | 笹尾・　樋 | 3位 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 3位 | 40MD | 明珍・西村 | 3位 | 40MD | 岡本・水川 | 3位 |
| 17 | S，49 | 松江市 | MS | 芳上　一男 | 2位 | MD | 田丸・藤原 | 3位 | | | |
| | | | LS | 三田　明美 | 2位 | LD | 三田・寺見 | 優勝 | 40MD | 岡本・水川 | 3位 |
| | | | MS | 芳上　一男 | 2位 | MD | 上野・芳上 | 2位 | MD | 藤原・松井 | 3位 |
| 18 | S，50 | 下関市 | LS | 石田　雅子 | 2位 | LS | 三田　明美 | 3位 | LD | 三田・藤原 | 2位 |
| | | | 40MD | 岡本・水川 | 3位 | | | | | | |
| | | | MS | 芳上　一男 | 2位 | LS | 石田　雅子 | 優勝 | LS | 林寿　美子 | 2位 |
| | | | LS | 三田　明美 | 3位 | LD | 石田・　林 | 優勝 | LD | 三田・藤原 | 2位 |
| 19 | S，51 | 福山市 | 30MS | 田丸　勝己 | 優勝 | 30MS | 浅野　応孝 | 2位 | 30MS | 平島　安正 | 3位 |
| | | | 30MS | 石原　良雄 | 3位 | | | | | | |
| | | | 30MD | 田丸・石原 | 優勝 | 30MD | 浅野・平島 | 2位 | 30MD | 田中・橋村 | 3位 |
| | | | MD | 藤原・上野 | 3位 | LS | 石田　雅子 | 優勝 | LS | 林　寿美子 | 2位 |
| 20 | S，52 | 倉敷市 | LD | 石田・　林 | 優勝 | LD | 難波・難波 | 2位 | LD | 佐藤・丸山 | 3位 |
| | | | 30MS | 小松　貴 | 2位 | 30MD | 小松・藤井 | 優勝 | 30MD | 田丸・藤田 | 2位 |
| | | | 40MD | 岡本・水川 | 3位 | 40MD | 西村・明珍 | 3位 | | | |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 成績 | 種目 | 氏名 | 成績 | 種目 | 氏名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | S,53 | 鳥取市 | MS | 藤原 道弘 | 2位 | MD | 松井・山本 | 3位 | | | |
| | | | LS | 林 正子 | 優勝 | LS | 難波 明美 | 3位 | | | |
| | | | 30MS | 田丸 勝己 | 2位 | 30MD | 小松・藤井 | 3位 | 40MD | 岡本・水川 | 3位 |
| | | | 50MS | 毛利 清志 | 優勝 | | | | | | |
| 22 | S,54 | 松江市 | MS | 藤原 道弘 | 3位 | MS | 板谷 好訓 | 3位 | MD | 松井・山本 | 2位 |
| | | | LS | 石田 雅子 | 優勝 | LS | 小寺 裕美 | 2位 | LS | 岡部 五月 | 3位 |
| | | | LD | 岡部・橋本 | 優勝 | LD | 石田・貝原 | 2位 | LD | 小寺・森下 | 3位 |
| | | | 30MS | 芳上 一男 | 優勝 | 30MS | 藤原 航 | 2位 | 30MS | 小松 貴 | 3位 |
| | | | 30MD | 藤原航・芳上 | 優勝 | 30MD | 小松・青木 | 3位 | 40MD | 岡本・水川 | 3位 |
| | | | 50MS | 毛利 清志 | 3位 | | | | | | |
| 23 | S,55 | 下関市 | MD | 藤原道・平田 | 優勝 | LS | 小寺 裕美 | 優勝 | LS | 林 寿美子 | 3位 |
| | | | LD | 小寺・小山 | 優勝 | LD | | | | | |
| | | | 30MS | 芳上 一男 | 優勝 | 30MS | 藤原 航 | 3位 | 30MD | 藤原・芳上 | 優勝 |
| | | | 40MS | 坂口 勇 | 3位 | 50MS | 毛利 清志 | 優勝 | | | |
| 24 | S,56 | 大東町 | MS | 藤原 道弘 | 優勝 | MS | 平田 重男 | 2位 | MS | 若林 邦任 | 3位 |
| | | | MD | 藤原・平田 | 3位 | | | | | | |
| | | | LS | 近藤 小織 | 優勝 | LS | 高田 幹子 | 2位 | LS | 小寺 裕美 | 3位 |
| | | | LD | 近藤・高田 | 優勝 | LD | 小山・小寺 | 2位 | LD | 藤木・藤原 | 3位 |
| | | | 30MS | 芳上 一男 | 2位 | 30MD | 藤原・芳上 | 優勝 | 40MS | 今東 幸一 | 3位 |
| | | | 40MD | 藤井・今東 | 2位 | 40MD | 木村・植松 | 3位 | 50MD | 水川・岡本 | 3位 |
| 25 | S,57 | 下関市 | MS | 藤原 道弘 | 優勝 | MS | 平田 重男 | 2位 | MD | 藤原・平田 | 2位 |
| | | | MD | 若林・山本 | 3位 | LS | 合田なおみ | 2位 | | | |
| | | | LD | 天野・合田 | 優勝 | LD | 小寺・藤木 | 2位 | | | |
| | | | 30MS | 三宅 勝 | 3位 | 30MD | 藤原・三宅 | 3位 | 40MS | 田丸 勝己 | 3位 |
| | | | 50MS | 毛利 清志 | 優勝 | 50MD | 岡本・水川 | 3位 | MIX | 若林・小寺 | 2位 |
| 26 | S,58 | 広島市 | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 藤原 一志 | 2位 | MS | 平田 重男 | 3位 |
| | | | MS | 藤原 道弘 | 3位 | MD | 藤原・平田 | 2位 | | | |
| | | | LS | 原田美智子 | 優勝 | LS | 合田なおみ | 2位 | LS | 皿井由美子 | 3位 |
| | | | LD | 原田・中原 | 優勝 | LD | 皿井・合田 | 2位 | | | |
| | | | 30MS | 芳上 一男 | 3位 | | | | | | |
| | | | 30MD | 芳上・松井 | 優勝 | 40MS | 藤原 航 | 2位 | 40MS | 田丸 勝己 | 3位 |
| | | | 40MD | 藤原・田丸 | 優勝 | MIX | 芳上・皿井 | 2位 | MIX | 蒲田・山本 | 3位 |
| 27 | S,59 | 岡山市 | MS | 藤原 道弘 | 優勝 | MS | 平田 重男 | 2位 | MS | 若林 邦任 | 3位 |
| | | | MD | 藤原・平田 | 2位 | MD | 山本・若林 | 3位 | | | |
| | | | LS | 原田美智子 | 優勝 | LS | 合田なおみ | 2位 | LS | 天野 真理 | 3位 |
| | | | LS | 皿井由美子 | 3位 | LD | 原田・合田 | 優勝 | LD | 皿井・竹原桂 | 2位 |
| | | | 30MD | 松井・永井 | 3位 | 40MS | 三宅 勝 | 優勝 | 40MS | 藤原 航 | 3位 |
| | | | 40MD | 藤原・三宅 | 3位 | 50MS | 毛利 清志 | 2位 | 50MD | 毛利・岡本 | 2位 |
| | | | MIX | 藤原・河本 | 優勝 | MIX | 安田・松岡 | 3位 | | | |
| 28 | S,60 | 岡山市 | MS | 藤原 道弘 | 優勝 | MS | 若林 邦任 | 2位 | MS | 平田 重男 | 3位 |
| | | | MD | 藤原・平田 | 2位 | MD | 若林・山本 | 3位 | LS | 合田なおみ | 優勝 |
| | | | LS | 原田美智子 | 2位 | LS | 天野 真理 | 3位 | | | |
| | | | LD | 原田・合田 | 2位 | LD | 藤木・岡百 | 3位 | LD | 天野・山崎 | 3位 |
| | | | 30MS | 永井 孝 | 3位 | 40MS | 小松 貴 | 3位 | | | |
| | | | 40MD | 藤原・三宅 | 優勝 | 40MD | 小松・松王 | 3位 | | | |
| | | | 50MS | 毛利 清志 | 2位 | 50MS | 水川 捨夫 | 3位 | 50MS | 西崎 正明 | 3位 |
| | | | 50MD | 毛利・西崎 | 優勝 | 50MD | 岡本・熊沢 | 2位 | | | |
| | | | MIX | 安田・松岡 | 優勝 | MIX | 三村・山崎 | 2位 | | | |
| 29 | S,61 | 岡山市 | MS | 藤原 一志 | 優勝 | MS | 藤原 道弘 | 2位 | MS | 若林 邦任 | 3位 |
| | | | MS | 平田 重男 | 3位 | MD | 藤原・平田 | 優勝 | MD | 若林・山本 | 3位 |
| | | | LD | 河本・原田 | 優勝 | LD | 天野・山崎 | 2位 | LD | 岡 ・浮田 | 3位 |
| | | | 30MS | 永井 孝 | 優勝 | 40MS | 三宅 勝 | 優勝 | 40MD | 藤原・三宅 | 優勝 |
| | | | 40MD | 松王・山本 | 2位 | 50MS | 毛利 清志 | 2位 | 50MD | 毛利・西崎 | 優勝 |
| | | | 50MD | 岡本・木山(山口) | 3位 | MIX | 藤原・天野 | 2位 | MIX | 岡本・河本 | 3位 |
| | | | MIX | 福田・山崎 | 3位 | | | | | | |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 成績 | 種目 | 氏名 | 成績 | 種目 | 氏名 | 成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 藤原 一志 | 2位 | MS | 藤原 道弘 | 3位 |
| | | | MS | 平田 重男 | 3位 | | | | | | |
| | | | MD | 藤原・平田 | 優勝 | MD | 山本・若林 | 3位 | | | |
| 30 | S,62 | 広島市 | LS | 西林 昭子 | 優勝 | LS | 岡百 合子 | 2位 | LS | 紀井 晴美 | 3位 |
| | | | LD | 西林・紀井 | 優勝 | LD | 岡 ・浮田 | 3位 | | | |
| | | | 30MS | 永井 孝 | 優勝 | 30MS | 岡本 次郎 | 3位 | 40MS | 瀬戸 勝 | 2位 |
| | | | MIX | 藤原・原田 | 2位 | | | | | | |
| | | | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 藤原 道弘 | 2位 | MS | 藤原 一志 | 3位 |
| | | | MS | 平田 重男 | 3位 | | | | | | |
| | | | MD | 藤原道・平田 | 優勝 | MD | 藤原一・若林 | 3位 | | | |
| 31 | S,63 | 鳥取市 | LS | 原田美智子 | 優勝 | LS | 岡 百合子 | 2位 | LS | 河原美津巳 | 3位 |
| | | | LS | 岡 良依 | 3位 | | | | | | |
| | | | LD | 河原・岡良 | 優勝 | LD | 岡百・ 轟 | 2位 | | | |
| | | | 30MS | 永井 孝 | 優勝 | MIX | 若林・ 岡 | 2位 | | | |
| | | | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 藤原 道弘 | 2位 | MS | 板谷 好訓 | 3位 |
| 32 | H,元 | 安来市 | MS | 藤原 一志 | 3位 | MD | 藤原道・若林 | 3位 | | | |
| | | | LS | 岡 百合子 | 優勝 | LD | 山本・土肥 | 3位 | | | |
| | | | MIX | 永井・河本 | 2位 | MIX | 山本・山本 | 3位 | | | |
| | | | MS | 藤原 道弘 | 優勝 | MS | 若林 邦任 | 2位 | MS | 藤原 一志 | 3位 |
| | | | MS | 竺原 博文 | 3位 | | | | | | |
| 33 | H,2 | 岡山市 | MD | 藤原道・若林 | 優勝 | MD | 藤原一・田枝 | 3位 | | | |
| | | | LS | 渡邊 美穂 | 3位 | LS | 岡 良依 | 3位 | | | |
| | | | LD | 岡 ・渡辺 | 優勝 | 40MS | 岡本 次郎 | 3位 | 40MD | 田丸・吉原 | 3位 |
| 34 | H,3 | 山口市 | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MD | 藤原・若林 | 優勝 | LS | 岡 良依 | 2位 |
| | | | LD | 佐藤由・藤原 | 優勝 | 30MD | 中山・山本 | 2位 | | | |
| | | | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 三辻 邦章 | 2位 | MD | 福田・三辻 | 優勝 |
| 35 | H,4 | 福山市 | MD | 藤原・若林 | 2位 | LS | 住矢 美幸 | 2位 | LD | 佐藤・住矢 | 2位 |
| | | | 30MS | 中山 睦雄 | 3位 | | | | | | |
| | | | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 三辻 邦章 | 2位 | MS | 横田 豊和 | 3位 |
| 36 | H,5 | 鳥取市 | MD | 福田・三辻 | 優勝 | LS | 佐藤 由香 | 3位 | LD | 佐藤・住矢 | 2位 |
| | | | 30MS | 平田 重男 | 優勝 | 30MS | 藤原 一志 | 2位 | | | |
| | | | 30MD | 藤原・田枝 | 優勝 | MIX | 福田・佐藤 | 優勝 | | | |
| | | | MS | 三辻 邦章 | 優勝 | MS | 福田 哲 | 2位 | MS | 若林 邦任 | 3位 |
| | | | MD | 福田・三辻 | 優勝 | MD | 藤原・若林 | 2位 | MD | 横田・立野 | 3位 |
| 37 | H,6 | 松江市 | LS | 住矢 美幸 | 優勝 | LS | 佐藤 由香 | 3位 | LS | 神宝 朝子 | 3位 |
| | | | LD | 佐藤・神宝 | 2位 | | | | | | |
| | | | 30MS | 藤井 久美 | 優勝 | 30MS | 山本 清 | 2位 | 30MS | 平田 重男 | 3位 |
| | | | 30MD | 竺原・前田 | 3位 | | | | | | |
| | | | MS | 若林 邦任 | 優勝 | MS | 福田 哲 | 2位 | MD | 藤原・若林 | 2位 |
| (中国地区総合 | | | LS | 住矢 美幸 | 2位 | LS | 佐藤 由香 | 3位 | | | |
| 選手権大会) | | | LD | 加藤・赤澤 | 2位 | LD | 佐藤・神宝 | 3位 | | | |
| 38 | H,7 | 岡山市 | 30MS | 藤井 久美 | 優勝 | 30MS | 竺原 博文 | 3位 | 30MS | 山本 清 | 3位 |
| | | | 40MS | 永井 孝 | 優勝 | 40MS | 中山 睦雄 | 3位 | 40MS | 片山 雅博 | 3位 |
| | | | 40MD | 片山・梶田 | 3位 | 50MS | 田丸 勝己 | 3位 | 50MD | 吉原・田丸 | 2位 |
| | | | MIX | 福田・佐藤 | 優勝 | | | | | | |
| | | | MS | 福田 哲 | 優勝 | MS | 若林 邦任 | 2位 | | | |
| | | | MD | 坂本昌・武政 | 2位 | MD | 藤原・若林 | 3位 | MD | 福田・立野 | 3位 |
| 39 | H,8 | 徳山市 | LS | 住矢 美幸 | 3位 | LS | 佐藤 由香 | 3位 | LD | 住矢・神宝 | 3位 |
| | | | 30MS | 藤井 久美 | 優勝 | 40MS | 永井 孝 | 優勝 | 40MS | 中山 睦雄 | 3位 |
| | | | 50MS | 田丸 勝己 | 2位 | 50MD | 田丸・吉原 | 3位 | | | |
| | | | MIX | 福田・佐藤 | 優勝 | MIX | 三好・宮崎 | 3位 | | | |

## ②全日本社会人選手権大会

☆1958(S,33)年に,全日本選手権大会と併催していた「全日本成壮年選手権大会」をそれぞれ分離独立させ,全日本選手権大会を「全日本総合選手権大会」と改めて,厳しい参加制限(推薦制)を設け権威のある大会とした。一方,若い年代の選手に幅広く参加の機会を与えることを目的として「全日本社会人選手権大会」が新設され,全日本成壮年選手権大会は当大会に「年齢別の種目」が設けられて統合された。

なお,全日本社会人選手権大会は,全日本実業団選手権大会と併催の形式でスタートし,団体戦終了後に社会人大会が開催された。

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | MS | 石原　利通 | 岡山市役所 | 4位 | MS | 今東　幸一 | 岡山市役所 | 4回戦 |
| | | | MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 2回戦 | MS | 前田　俊一 | 岡山市役所 | 棄権 |
| | | | MD | 今東・水川 | 岡山市役所 | 3回戦 | MD | 前田・石原 | 岡山市役所 | 棄権 |
| 1 | S,33 | 札幌市 | MD | 梶原馨・社竹三 | 岡山市役所 | 棄権 | | | | |
| | | | LS | 権田　節子 | 岡山市役所 | 3位 | LS | 光本　政子 | 岡山市役所 | 5位 |
| | | | LD | 光本・権田 | 岡山市役所 | 4位 | | | | |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | | | | |
| | | | 30MD | 毛利・山上周之 | 山陽学園 | 優勝 | | | | |
| | | | MS | 石原　利通 | 岡山市役所 | 4位 | MS | 渡辺　更司 | 岡山教員組合 | 不明 |
| | | | MS | 西崎　正明 | 岡山教員組合 | 不明 | MS | 馬場　睦純 | 岡山市役所 | 不明 |
| | | | MS | 前田　俊一 | 岡山市役所 | 不明 | MS | 毛利　清志 | 岡山教員組合 | 不明 |
| | | | MS | 秋山　忠秋 | 岡山教員組合 | 不明 | MS | 藤沢　弘美 | 岡山教員組合 | 不明 |
| | | | MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 棄権 | MS | 今東　幸一 | 岡山市役所 | 不明 |
| | | | MS | 西崎　正明 | 岡山教員組合 | 不明 | | | | |
| 2 | S,34 | 善通寺市 | MD | 石原・今東 | 岡山市役所 | 5位 | MD | 毛利・西崎 | 岡山教員組合 | 5位 |
| | | | MD | 前田・山上 | フラッシュクラブ | 4回戦 | MD | 水川・馬場 | 岡山市役所 | 3回戦 |
| | | | MD | 藤沢・秋山 | 岡山教員組合 | 2回戦 | | | | |
| | | | LS | 権田　節子 | 岡山市役所 | 3位 | LS | 光本　政子 | 岡山市役所 | 不明 |
| | | | LS | 小倉真美子 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | |
| | | | LD | 光本・権田 | 岡山市役所 | 2位 | | | | |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 |
| | | | MS | 石原　利通 | 岡山市役所 | 不明 | MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 不明 |
| | | | MD | 石原・小松 | 岡山市役所 | 不明 | MD | 水川・馬場 | 岡山市役所 | 不明 |
| 3 | S,35 | 名古屋市 | LS | 根岸　純 | 岡山市役所 | 5位 | LS | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | 2位 | | | | |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 |
| | | | MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 4回戦 | MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 3回戦 |
| | | | MS | 若松　康弘 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 松田　国宏 | 天満屋 | 2回戦 |
| | | | MS | 小橋　武 | 帝国化工 | 2回戦 | MS | 今東　幸一 | 西大寺市役所 | 2回戦 |
| | | | MS | 田中　輝史 | 平和証券 | 2回戦 | MS | 中西　巌 | 柵原鉱山 | 1回戦 |
| | | | MS | 小山　昌利 | 三井造船 | 1回戦 | MS | 朝原　慶三 | 三井造船 | 1回戦 |
| | | | MS | 山崎　光生 | 三井造船 | 1回戦 | MS | 金田　孝 | 三井造船 | 1回戦 |
| | | | MS | 青井　正義 | 内山コルク | 1回戦 | MS | 渡辺　浩哉 | 天満屋 | 棄権 |
| | | | MS | 福守　寿 | 天満屋 | 棄権 | MS | 米戸　収司 | 柵原鉱山 | 棄権 |
| | | | MS | 石原　利通 | 岡山市役所 | 棄権 | | | | |
| | | | MD | 前田・青井 | 丸菱商事・内山コルク | 3回戦 | MD | 松田・渡辺 | 天満屋 | 3回戦 |
| | | | MD | 金田・山崎 | 三井造船 | 2回戦 | MD | 今東・田中 | 西大寺市・平和証券 | 1回戦 |
| 4 | S,36 | 倉敷市 | MD | 若松・朝原 | 三井造船 | 1回戦 | MD | 石原・小松 | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | MD | 中西・米戸 | 柵原鉱山 | 棄権 | | | | |
| | | | LS | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | 3回戦 | LS | 根岸　純 | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | LS | 合田　君子 | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | |
| | | | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | 5位 | LD | 権田・合田 | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | LD | 小林桂子・板谷通子 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30MS | 西崎　正明 | フラッシュクラブ | 3位 |
| | | | 30MS | 山上　周之 | 山陽学園 | 3回戦 | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 平井　朝朗 | 岡山市役所 | 2回戦 | 30MS | 小松　奨 | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | 30MD | 西崎・水川 | フラッシュ・岡山市 | 4位 |
| | | | 30MD | 小松契・平井 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ＭＩＸ | 毛利・根岸 | 山陽学園・岡山市 | ２位 | ＭＩＸ | 小松・湯浅 | 岡山市役所 | ４位 |
| | | | ＭＩＸ | 前田・光本 | 丸菱商事・岡山市 | ２回戦 | ＭＩＸ | 石原・合田 | 岡山市役所 | ２回戦 |
| 4 | Ｓ,36 | 倉敷市 | ＭＩＸ | 水川・権田 | 岡山市役所 | ２回戦 | | | | |
| | | | 40ＭＳ | 梶原　馨 | 岡山市役所 | ３回戦 | 40ＭＳ | 輪竹　清 | 柵原鉱山 | ２回戦 |
| | | | 40ＭＳ | 社　竹三 | 岡山市役所 | ２回戦 | 40ＭＳ | 井原　実男 | 岡山市役所 | ２回戦 |
| | | | 40ＭＤ | 井原・野中 | 岡山市役所 | ４位 | 40ＭＤ | 梶原・社 | 柵原鉱山・岡山市 | １回戦 |
| | | | 50ＭＳ | 野中　正春 | 岡山市役所 | １回戦 | | | | |
| | | | ＭＳ | 小松　貴 | 岡山市役所 | ５位 | ＭＳ | 前田　俊一 | 丸菱商事 | ２回戦 |
| | | | ＭＤ | 小松・松王清志 | 岡山市・大阪 | 棄権 | | | | |
| | | | ＬＳ | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | ３回戦 | ＬＳ | 根岸　純 | 岡山市役所 | ３回戦 |
| | | | ＬＳ | 藤本　澄子 | 岡山市役所 | ２回戦 | | | | |
| 5 | Ｓ,37 | 熊本市 | ＬＤ | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | ５位 | | | | |
| | | | 30ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30ＭＳ | 西崎　正明 | フラッシュクラブ | 不明 |
| | | | 30ＭＳ | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 不明 | 30ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | 不明 |
| | | | 30ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | 30ＭＤ | 西崎・水川 | フラッシュ・岡山市 | ２回戦 |
| | | | ＭＩＸ | 毛利・根岸 | 山陽学園・岡山市 | ３位 | ＭＩＸ | 小松・湯浅 | 岡山市役所 | ５位 |
| | | | ＭＩＸ | 西崎・藤本 | フラッシュ・岡山市 | 棄権 | | | | |

☆６回大会より全日本実業団大会より分離し，単独開催となる。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ＭＳ | 小松　貴 | 岡山市役所 | ４回戦 | ＭＳ | 青井　正義 | 内山コルク | ４回戦 |
| | | | ＭＳ | 寺内　侃一 | 岡山県庁 | ４回戦 | ＭＳ | 朝原　航 | 三井造船 | ３回戦 |
| | | | ＭＤ | 小松・寺内 | 岡山市・県庁 | ２回戦 | ＭＤ | 青井・田中輝史 | 内山コルク・平和証券 | １回戦 |
| 6 | Ｓ,38 | 下関市 | ＬＳ | 根岸　純 | 岡山市役所 | ４位 | ＬＳ | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | ３回戦 |
| | | | ＬＤ | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | ３位 | ＭＩＸ | 毛利・根岸 | 山陽学園・岡山市 | ５位 |
| | | | 30ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ２回戦 |
| | | | 30ＭＳ | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | ２回戦 | | | | |
| | | | 30ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | ２位 | 50ＭＳ | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | ２位 |
| | | | ＭＳ | 青井　正義 | 内山コルク | ３回戦 | | | | |
| 7 | Ｓ,39 | 大宮市 | 30ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 |
| | | | 40ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ５位 | 40ＭＤ | 山上・伊藤基記 | 山陽学・熊本 | 優勝 |
| 8 | Ｓ,40 | 武生市 | 30ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | ３位 |
| | | | 40ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ２位 | 40ＭＤ | 山上・権田正一 | 山陽学・東京 | 優勝 |
| | | | ＭＳ | 三宅　勝 | 成羽高教員 | ２回戦 | ＭＳ | 柳本　堯敏 | 藤田中教員 | １回戦 |
| | | | ＭＤ | 三宅・柳本 | 成羽高教・藤田中教 | １回戦 | | | | |
| | | | 30ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | ２位 | 30ＭＳ | 岡本　武利 | 岡山市役所 | ２回戦 |
| 9 | Ｓ,41 | 長崎市 | 30ＭＳ | 神子戸輝幸 | 岡山市役所 | ２回戦 | | | | |
| | | | 30ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | 30ＭＤ | 岡本・神子戸 | 岡山市役所 | ４位 |
| | | | 40ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ３位 | 40ＭＤ | 山上・伊藤 | 山陽学・熊本 | 優勝 |
| | | | 50ＭＳ | 社　竹三 | 岡山市役所 | ３位 | 50ＭＳ | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | ３位 |
| | | | 50ＭＤ | 社・小梶 | 岡山市役所 | 優勝 | | | | |
| | | | 40ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 40ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | ２位 |
| 10 | Ｓ,42 | 釜石市 | 50ＭＳ | 社　竹三 | 岡山市役所 | ２位 | 50ＭＳ | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | ５位 |
| | | | 50ＭＤ | 社・小梶 | 岡山市役所 | ２位 | | | | |
| | | | 40ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 40ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ３位 |
| 11 | Ｓ,43 | 和歌山市 | 40ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | 50ＭＳ | 社　竹三 | 岡山市役所 | ２位 |
| | | | 50ＭＤ | 社・伊藤 | 岡山市・熊本 | 優勝 | | | | |
| | | | ＭＳ | 三宅　勝 | 成羽高教員 | ３回戦 | 30ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 |
| 12 | Ｓ,44 | 鹿児島市 | 40ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 40ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ３位 |
| | | | 40ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | | | | |
| | | | ＭＳ | 三宅　勝 | 成羽高教員 | ３回戦 | ＭＤ | 小松・三宅 | 岡山市・成羽高教 | １回戦 |
| 13 | Ｓ,45 | 千葉市 | 40ＭＳ | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 40ＭＳ | 山上　周之 | 山陽学園 | ３位 |
| | | | 40ＭＤ | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | 40ＭＤ | | | |
| | | | 50ＭＳ | 社　竹三 | 岡山市役所 | ３位 | 50ＭＤ | 社・伊藤 | 岡山市・熊本 | ２位 |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ＬＳ | 浦口　恵子 | 山陽女ＯＧ | ５　位 | ＬＳ | 剛迫ミエコ | 山陽女ＯＧ | ３回戦 |
| | | | ＬＳ | 光畑　直美 | 山陽女ＯＧ | １回戦 | | | | |
| | | | ＬＤ | 浦口・本間 | 山陽女子OG・新鶴 | ５　位 | ＬＤ | 剛迫・光畑 | 山陽女ＯＧ | ３回戦 |
| 14 | Ｓ,46 | 甲府市 | 40MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | ２回戦 | 40MS | 山上　周之 | 山陽学園 | ２回戦 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | ２回戦 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優　勝 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | ３　位 |
| | | | ＭＩＸ | 毛利・浦口 | 山陽学園・山陽女OG | ２回戦 | | | | |
| | | | 40MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | ３　位 | 40MS | 山上　周之 | 山陽学園 | ２回戦 |
| 15 | Ｓ,47 | 四日市市 | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | ２回戦 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | ３　位 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | ＬＳ | 三田　明美 | クラレ岡山 | ２回戦 | ＬＳ | 寺見みど里 | クラレ岡山 | １回戦 |
| | | | ＬＤ | 三田・寺見 | クラレ岡山 | ３回戦 | | | | |
| 16 | Ｓ,48 | 佐賀市 | 40MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 山陽学園 | ５　位 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | ５　位 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優　勝 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | ５　位 |
| | | | ＬＳ | 三田　明美 | クラレ岡山 | １回戦 | ＬＳ | 寺見みど里 | クラレ岡山 | １回戦 |
| | | | ＬＤ | 三田・寺見 | クラレ岡山 | ３回戦 | | | | |
| 17 | Ｓ,49 | 浪岡市 | 40MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優　勝 | 40MS | 山上　周之 | 山陽学園 | ５　位 |
| | | | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | ５　位 | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | 40MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優　勝 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | ３　位 |
| | | | ＭＳ | 板谷　好訓 | クラレ倉敷 | ２回戦 | ＭＳ | 田中　行治 | 自営 | ２回戦 |
| | | | ＭＤ | 板谷・田中 | クラレ倉敷・自営 | ２回戦 | | | | |
| | | | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | ５　位 | ＬＳ | 三田　明美 | クラレ岡山 | ３回戦 |
| | | | ＬＳ | 藤原　敦子 | クラレ岡山 | ３回戦 | | | | |
| 18 | Ｓ,50 | 中野市 | ＬＤ | 三田・寺見 | クラレ岡山 | ５　位 | ＬＤ | 石田・三原 | 県教育委員会・茨城 | ２回戦 |
| | | | 40MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | ２　位 | 40MS | 山上　周之 | 山陽学園 | ２回戦 |
| | | | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | ２回戦 | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | ３　位 | 40MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | ５　位 |
| | | | ＭＩＸ | 石田・関一誠 | 県教育委員会・東京 | ２　位 | ＭＩＸ | 板谷・藤原 | クラレ倉・クラレ岡 | ２回戦 |
| | | | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | ３回戦 | ＬＤ | 石田・藤原 | 県教委・クラレ岡山 | １回戦 |
| 19 | Ｓ,51 | 宮崎市 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | １回戦 | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | １回戦 |
| | | | 40MD | 水川・岡本 | 岡山市役所 | ３　位 | ＭＩＸ | 石田・　関 | 県教育委員会・東京 | ３　位 |
| 20 | Ｓ,52 | 真岡市 | 不　参　加 | | | | | | | |
| 21 | Ｓ,53 | 大津市 | 40ＬＤ | 相賀節子・小林桂子 | 岡山市役所 | ３　位 | ＭＩＸ | 石田・　関 | アサヒブレッド・東京 | ３　位 |
| | | | ＭＳ | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | ３回戦 | ＭＳ | 藤井　久美 | 清音村役場 | ２回戦 |
| | | | ＭＳ | 板谷　好訓 | クラレ倉敷 | ２回戦 | ＭＤ | 板谷・藤井 | クラレ倉敷・清音村 | ２回戦 |
| | | | ＬＳ | 小寺　裕美 | 松本組 | ４回戦 | ＬＤ | 石田・小寺 | アサヒブレッド・松本 | ５　位 |
| 22 | Ｓ,54 | 松江市 | 30MS | 三宅　勝 | 水島工高教 | ２回戦 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | １回戦 |
| | | | 30MS | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | １回戦 | | | | |
| | | | 30MD | 藤原航・芳上 | 三井造船 | 優　勝 | 30MD | 三宅・戸部 | 水島工教・川鉄 | １回戦 |
| | | | ＭＩＸ | 藤原道・石田 | 川鉄・アサヒブレッド | ３回戦 | ＭＩＸ | 藤原航・小寺 | 三井・松本 | ２回戦 |

☆23回大会からは記録不足のため，参加選手の記載漏れがある。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 23 | Ｓ,55 | 桐生市 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 優　勝 | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | ２回戦 |
| | | | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | ３回戦 | ＭＳ | 山本　清 | 三井造船 | 不　明 |
| | | | ＭＤ | 若林・山本 | 三井造船 | ２回戦 | | | | |
| 24 | Ｓ,56 | 登別市 | ＬＳ | 小寺　裕美 | 松本組 | ３回戦 | ＬＤ | 小寺・小山真弓 | 松本組 | ２回戦 |
| | | | ＭＩＸ | 山本・小寺 | 三井・松本 | ２回戦 | | | | |
| | | | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 優　勝 | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | ３回戦 |
| | | | 30MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 優　勝 | | | | |
| 25 | Ｓ,57 | 桐生市 | ＬＳ | 河本　小織 | 松本組 | ３　位 | ＬＤ | 河本・高田幹子 | 松本組 | ５　位 |
| | | | ＭＩＸ | 山本・高田 | 三井・松本 | ２　位 | | | | |

| 回 | 年 | 場　所 | 種目 | 氏　　名 | 所　　属 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 所　　属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | S,58 | 田原本町<br>(奈良県) | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 4回戦 | MS | 板谷　好訓 | クラレ倉敷 | 4回戦 |
| | | | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MD | 藤原・平田重男 | 川崎製鉄 | 3回戦 |
| | | | LS | 河本　小織 | 松本組 | 5　位 | LS | 原田美智子 | 松本組 | 3回戦 |
| | | | LD | 河本・高田 | 松本組 | 5　位 | MIX | 山本・高田 | 三井・松本 | 3　位 |

☆27回大会から,30歳以上の年齢別の種目を分離し「第1回全日本シニア選手権」として,別に新設し開催された。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | S,59 | 大栄町<br>(鳥取県) | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5　位 | MS | 藤原　道弘 | 三井造船 | 4回戦 |
| | | | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 5　位 | MD | 藤原一志・西江均 | 山陽ドラム・川鉄 | 3回戦 |
| | | | LS | 原田美智子 | 松本組 | 5　位 | LS | 河本　小織 | 松本組 | 5回戦 |
| | | | LS | 合田なおみ | 松本組 | 5回戦 | | | | |
| | | | LD | 河本・高田 | 松本組 | 2　位 | LD | 原田・合田 | 松本組 | 3回戦 |
| | | | MIX | 山本・高田 | 三井・松本 | 3回戦 | | | | |
| 28 | S,60 | 甲府市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5回戦 | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 5回戦 |
| | | | MS | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶工業 | 4回戦 | MS | 西江　均 | 川崎製鉄 | 4回戦 |
| | | | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 4回戦 | | | | |
| | | | LS | 原田美智子 | 松本組 | 5回戦 | LS | 合田なおみ | 松本組 | 4回戦 |
| | | | LD | 河本・高田 | 松本組 | 5　位 | LD | 原田・合田 | 松本組 | 4回戦 |
| | | | MIX | 山本・高田 | 三井・松本 | 5　位 | | | | |
| 29 | S,61 | 糸満市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5回戦 | | | | |
| | | | LS | 合田なおみ | 松本組 | 4回戦 | LD | 天野真理・合田 | 松本組 | 4回戦 |
| 30 | S,62 | 長岡京市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5回戦 | MS | 藤原　一志 | 山陽ドラム | 4回戦 |
| | | | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 3回戦 | LS | 岡百合子・山崎恵子 | 岡山市・山陽女教 | 3回戦 |
| 31 | S,63 | 登別市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 4回戦 | MS | 藤原　一志 | 山陽ドラム | 3回戦 |
| | | | LS | 岡　百合子 | 岡山市役所 | 3回戦 | LS | 紀井　晴美 | 松下電器 | 3回戦 |
| | | | MIX | 若林・岡 | 三井・岡山市 | 3回戦 | | | | |
| 32 | H,元 | 筑紫野市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 4回戦 | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 4回戦 |
| | | | MS | 藤原　一志 | 山陽ドラム | 3回戦 | MD | 藤原道弘・若林 | 川鉄・三井 | 3回戦 |
| | | | LS | 岡　　良依 | 松本組 | 4回戦 | | | | |
| 33 | H,2 | 美川町 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5回戦 | | | | |

☆34回大会より，混合複を分離し「第1回全日本混合ダブルス選手権大会」として，別に新設し開催された。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | H,3 | 新庄市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 福田　　哲 | 松下電器 | 3回戦 |
| | | | MD | 若林・福田 | 三井・松下 | 4回戦 | | | | |
| | | | LS | 岡　　良依 | 松本組 | 2回戦 | LS | 渡邊　美穂 | 松本組 | 2回戦 |
| | | | LD | 岡　・渡邊 | 松本組 | 2回戦 | | | | |
| 35 | H,4 | 坂出市 | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 2回戦 |
| | | | MS | 福田　　哲 | 松下電器 | 2回戦 | MS | 三辻　邦章 | 三井造船 | 2回戦 |
| | | | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 3回戦 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 2回戦 |
| | | | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 4回戦 | | | | |
| 36 | H,5 | 大府市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5回戦 | MS | 福田　　哲 | 松下電器 | 3回戦 |
| | | | MS | 三辻　邦章 | 三井造船 | 3回戦 | | | | |
| | | | MD | 若林・小西 | 三井・香川 | 4回戦 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 3回戦 |
| | | | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 3回戦 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 2回戦 |
| | | | LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 2回戦 | | | | |
| 37 | H,6 | 白河市 | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 5回戦 | MS | 福田　　哲 | 松下電器 | 4回戦 |
| 38 | H,7 | 三原市 | MS | 若林　邦任 | RSナガイ | 4回戦 | MS | 横田　豊和 | 三菱化学 | 4回戦 |
| | | | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 2回戦 | MS | 福田　　哲 | 松下電器 | 2回戦 |
| | | | MD | 藤原・福田 | 川鉄・松下 | 3回戦 | MD | 若林・横田 | ナガイ・三菱化学 | 3回戦 |
| | | | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 3回戦 | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 2回戦 |
| | | | LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 1回戦 | | | | |
| 39 | H,8 | 大東町<br>(大阪府) | MS | 若林　邦任 | RSナガイ | 5回戦 | MS | 福田　　哲 | 松下電器 | 3回戦 |
| | | | MS | 坂本　昌彦 | 倉敷市役所 | 3回戦 | MS | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 2回戦 |
| | | | MD | 福田・立野 | 松下・倉敷化 | 2回戦 | MD | 若林・坂本 | ナガイ・倉敷市 | 1回戦 |
| | | | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 2回戦 | LS | 神宝　朝子 | まつもと | 2回戦 |
| | | | LD | 住矢・神宝 | まつもと | 1回戦 | | | | |

## (10) 県協会各種

### ①県春季選手権大会

S,23年に協会が設立され，第１回岡山県バドミントン大会が12月5日に岡山一女高校（現操山高）で開催され，S,24年2月13日に第２回，5月3日～5日に第３回，S,25年2月12･19日に第４回，6月25日に第５回，S,26年7月8日に第６回，S,27年4月7日に第７回（全日本選手権県予選会），S,28年4月5日に第８回，S,31年4月1日に第11回，S32年3月に第12回，S,33年3月23日（山陽学園）において第１回会長杯争奪県春季総合選手権大会（兼第11回全日本選手権大会県予選会）と現在のように開催されるようになった。また，S,46年より高校は高校春季大会として分離開催となった。

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 原　恵二 | 倉敷商業高 | 北島 | 鐘紡西大寺 | 宮城　政年 | 鐘紡西大寺 | 松本　良三 | 鐘紡西大寺 |
| 1 | MD | 松本・筒井 | 鐘紡西大寺 | 北島・宮城 | 鐘紡西大寺 | 村山・原 | 精思高教・倉敷商高 | 浦野・山口 | 鐘紡西大寺 |
| S,23 | LS | 更井　幹示 | 林製薬 | 小橋 | 林製薬 | 平岡　恭子 | 倉敷精思高 | 上野　節子 | 倉敷青陵高 |
| | LD | 更井・小橋 | 林製薬 | 平岡・永山 | 倉敷精思高 | 児島・小田 | 真備高 | 尾坂・國定 | 真備高 |
| | MS | 原　恵二 | 倉敷至誠高 | 筒井 | 鐘紡西大寺 | 松本　良三 | 鐘紡西大寺 | 大河 | 倉敷至誠高 |
| 2 | MD | | | | | | | | |
| S,24 | LS | 更井　幹示 | 林製薬 | 平岡　恭子 | 倉敷精思高 | 永山　靖子 | 倉敷精思高 | 小橋 | 林製薬 |
| | LD | | | | | | | | |
| 3 | S,24年５月に(男女一般単複・混・高校男女)開催されたようだが,記録不明である。 | | | | | | | | |
| 4 | S,25年２月に開催されたが,記録不明である。 | | | | | | | | |
| | MS | 原　恵二 | 倉敷クラブ | 多賀　和男 | 倉敷クラブ | 井沢　豊 | 倉敷クラブ | 相沢 | 鐘紡西大寺 |
| 5 | MD | 原・井沢 | 倉敷クラブ | 多賀・土倉 | 倉敷クラブ | 山上・喜多 | 食糧公団 | 氏平・相沢 | 鐘紡西大寺 |
| S,25 | LS | 山村 | 鐘紡西大寺 | 前原　福子 | 青陵高 | 平松　久子 | 青陵高 | 児島　貞江 | 真備高 |
| | LD | 佐藤・前原 | 青陵高 | 山村・藤田 | 鐘紡西大寺 | 難波・片山 | 青陵高 | 矢野・平松 | 青陵高 |
| | MS | 原　恵二 | 倉敷クラブ | 三宅　二朗 | 倉敷クラブ | 井沢　豊 | 倉敷クラブ | 中桐　明和 | 青陵高OB |
| 6 | MD | 重実・山上 | フラッシュクラブ | 井沢・三宅 | 倉敷クラブ | 白神・戸倉 | 倉敷クラブ | 三宅・佐藤 | 倉敷老松OB |
| S,26 | LS | 前原　福子 | 青陵高 | 難波　芳子 | 青陵高 | 小野　三和 | 青陵高 | 山村 | 鐘紡西大寺 |
| | LD | 前原・難波 | 青陵高 | 加藤・小野 | 青陵高 | 松井・野口 | 青陵高 | 高橋・姫井 | 青陵高 |
| | BS | 平方　進 | 倉敷老松高 | 前田　俊一 | 倉敷老松高 | 小松原孝介 | 青陵高 | 吉田 | 玉野高 |
| 7 | BD | 平方・前田 | 倉敷老松高 | 松田・坂口 | 西大寺高 | 松王・行司 | 西大寺高 | 多賀・小松原 | 青陵高 |
| S,27 | GS | 野口　敏子 | 青陵高 | 大塚　洋子 | 山陽女高 | 辻　芳子 | 山陽女高 | 吉川　英子 | 山陽女高 |
| | GD | 大塚・辻 | 山陽女高 | 大森・吉川 | 山陽女高 | 野口・松井 | 青陵高 | 堺・窪田 | 南海高 |
| | MS | 原　恵二 | 倉敷クラブ | 中桐　明和 | 大阪大学 | 内藤　勇 | 岡山大学 | 三宅　二郎 | 倉敷クラブ |
| | | 他は記録不明 | | | | | | | |
| 8 | MS | 平方　進 | 老松高OB | 前田　俊一 | 徳山電気 | 松王　清志 | 西大寺高 | 米田　敬二 | 青陵高 |
| S,28 | LS | 貝原　勝子 | 青陵高 | 吉川　英子 | 山陽女高 | 三宅　基子 | 山陽女高 | 大森　嘉美 | 山陽女高 |
| | | 他は記録不明 | | | | | | | |

９～１０回までは記録不明

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 前田　俊一 | 徳山電気 | 石原　利通 | 岡山市 | 石原縫次郎 | 石原輸出 | 毛利　清志 | 山女高教 |
| 11 | MD | 石原利･前田 | フラッシュクラブ | 毛利・山上 | 山女教･大久保食品 | 渡辺・藤沢 | 岡山大学 | 谷口・藤井 | 岡山大学 |
| S,31 | LS | 藤原　泰子 | 山陽女高 | 根岸　純 | 山陽女高 | 板谷　通子 | 山女高OG | 守安　昭子 | 山陽女高 |
| | LD | 小林・戸田 | 山陽女高 | 藤原・根岸 | 山陽女高 | 湯浅・門倉 | 山陽女高 | 良倉・西山 | 井原高 |
| 12 | MS | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 石原　利通 | フラッシュクラブ | 小松　貴 | 西大寺高 | 松田　国宏 | フラッシュクラブ |
| S,32 | LS | 西田　寿子 | 山陽女高 | 大橋　艶子 | 岡山大学 | 田中　俊子 | 井原高 | 丸山　智子 | 青陵高 |
| | | 他は記録不明 | | | | | | | |
| 会長杯 | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 毛利　清志 | 山女高教 | 今東　幸一 | 西大寺市 |
| 1 | MD | 毛利・山上 | 山女教職 | 前田・糸島 | フラッシュクラブ | 西崎・藤沢 | 丸之内中教･福田中教 | 石原・水川 | 岡山市 |
| S,33 | LS | 権田　節子 | 岡山市 | 光本　政子 | 岡山市 | 湯浅　光枝 | 山陽女高 | 合田　君子 | 山陽女 |
| | LD | 権田・光本 | 岡山市 | 湯浅・合田 | 山陽女高 | 長山・田中 | 青陵高 | | |
| | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山陽女教 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 青井　正義 | 西大寺高 |
| 2 | MD | 毛利・山上 | 山女教職 | 石原利･石原縫 | フラッシュクラブ | 前田・西崎 | フラッシュクラブ | 水川・馬場 | 岡山市 |
| S,34 | LS | 湯浅　光枝 | 山陽女高 | 合田　君子 | 山陽女高 | 上田　幸子 | 山陽女高 | 権田　節子 | 岡山市 |
| | LD | 湯浅・合田 | 山陽女高 | 小林・根岸 | 山陽女高 | 落　・山本 | 山陽女高 | 上田・樋口 | 山陽女高 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 小松　貴 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山女高教 | 松王　重明 | 西大寺高 |
| 3 | MD | 松王・阿部 | 西大寺高 | 小橋・上岡 | 西大寺高 | 毛利・西崎 | フラッシュクラブ | 石原・輪竹 | フラッシュクラブ |
| S,35 | LS | 根岸　純 | 山女高OG | 湯浅　光枝 | 山女高OG | 合田　君子 | 山陽女高 | 藤田　典子 | 山陽女高 |
| | LD | 湯浅・根岸 | 山女高OG | 合田・吉藤 | 山陽女高 | 高塚・重政 | 山陽女高 | 上田・戸田 | 山女高OG |
| | MS | 小松　貴 | 岡山市 | 石原　利通 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ |
| 4 | MD | 石原・小松 | 岡山市 | 毛利・山上 | 山女高教 | 前田・青井 | フラッシュクラブ | 若松・朝原慶 | 三井造船 |
| S,36 | LS | 根岸　純 | 岡山市 | 湯浅　光枝 | 岡山市 | 合田　君子 | 岡山市 | 高塚　淳子 | 山陽女高 |
| | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市役 | 高塚・重政 | 山陽女高 | 小合・七村 | 山陽女高 | 大賀・黒川 | 山陽女高 |
| | MS | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 小松　貴 | 岡山市 | 寺内　侃一 | 岡山県庁 | 毛利　清志 | 山女高教 |
| 5 | MD | 小松・寺内 | 岡山市・県庁 | 前田・青井 | フラッシュクラブ | 毛利・山上 | 山女高教 | 山田・朝原慶 | 岡大・三井 |
| S,37 | LS | 根岸　純 | 岡山市 | | | | | | |
| | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市 | | | | | | |
| | MS | 小松　貴 | 岡山市 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 藤井　英雄 | 岡山大学 | 杉村大丈夫 | 倉敷工高 |
| 6 | MD | 前田・毛利 | フラッシュクラブ | 小松・寺内 | 岡山市・県庁 | 藤井・辻 | 岡山大学 | 福田・朝原航 | 三井造船 |
| S,38 | LS | 根岸　純 | 岡山市 | 湯浅　光枝 | 岡山市 | 大賀　恵子 | 岡山市 | 猪原　利子 | 井原高 |
| | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市 | 大賀・光岡 | 山陽女高 | 小坂・土屋 | 岡山大学 | 浦口・湯木 | 山陽女高 |
| | MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 青井　正義 | 内山コルク | 山田 | 岡山大学 | 小松　貴 | 岡山市 |
| 7 | MD | 小松・青井 | 岡山市・内山コルク | 吉村・太田 | 備南高 | 毛利・西崎 | フラッシュクラブ | 柳本・山田 | 岡山大学 |
| S,39 | LS | 根岸　純 | 岡山市 | 湯木　博江 | 山陽女高 | 小合　佳子 | 倉敷レイヨン岡山 | 浦口　恵子 | 山陽女高 |
| | LD | 小合・重政 | 倉敷レイヨン岡山 | 湯木・浦口 | 山陽女高 | 根岸・中山 | 山女高OG | 大賀・光岡 | 山陽女高 |
| | MS | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 藤井　英雄 | 岡山市 | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | 青井　正義 | 内山コルク |
| 8 | MD | 松王・前田 | フラッシュクラブ | 三宅・柳本 | 大安寺教・東児中教 | 小松・藤井 | 岡山市 | 三島・塩尻 | 岡山大学 |
| S,40 | LS | 湯木　博江 | 山陽女高 | 浦口　恵子 | 山陽女高 | 小合　佳子 | 倉敷レイヨン岡山 | 重政　百代 | 倉敷レイヨン岡山 |
| | LD | 湯木・浦口 | 山陽女高 | 小合・重政 | 倉敷レイヨン岡山 | 内藤・朝原 | 山陽女高 | 須佐美・岡島 | 倉敷青陵 |
| | MS | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 三宅　勝 | 成羽高教 | 松王　重明 | 協和フィルター | 小松　貴 | 岡山市 |
| 9 | MD | 小松・松王 | 西大寺高OB | 三宅・柳本 | 成羽高教・藤田中教 | 毛利・藤井 | フラッシュクラブ | 森口・杉村 | 岡山大学 |
| S,41 | LS | 湯木　博江 | 山陽女高 | 浦口　恵子 | 山陽女高 | 佐藤　民子 | 西大寺高 | 須佐美保江 | 倉敷青陵 |
| | LD | 湯木・浦口 | 山陽女高 | 小合・重政 | 倉敷レイヨン岡山 | 小林・佐藤 | 西大寺高 | 岩田・児玉 | 山陽女高 |
| | MS | 藤井　英雄 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山女高教 | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | 柳本　堯敏 | 藤田中教 |
| 10 | MD | 三宅・柳本 | 成羽高教・藤田中教 | 芳上・田中 | 三井造船 | 小松・藤井 | 岡山市 | 毛利・山上 | 山女高教 |
| S,42 | LS | 児玉　祥 | 山陽女高 | 岩田　定子 | 山陽女高 | 亀山　園子 | 倉敷青陵 | 矢定　清美 | 金山学園 |
| | LD | 岩田・児玉 | 山陽女高 | 亀山・野口 | 倉敷青陵 | 西尾・笹尾 | 山陽女高 | 山口・矢尾 | 岡山大学 |
| | MS | 藤井　英雄 | 岡山市 | 三宅　勝 | 成羽高教 | 柳本　堯敏 | 藤田中教 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 11 | MD | 三宅・柳本 | 成羽高教・藤田中教 | 小松・藤井 | 岡山市 | 森口・杉村 | 岡山大学 | 毛利・山上 | 山女高教 |
| S,43 | LS | 光畑　直美 | 山陽女高 | 鈴木　直美 | 山陽女高 | 林秀　麗 | 山陽女高 | 清水　孝子 | 倉敷中央 |
| | LD | 光畑・宮本 | 山陽女高 | 鈴木・木村 | 山陽女高 | 大山・兼丸 | 倉敷青陵 | 三島・若林 | 倉敷青陵 |
| | MS | 小松　貴 | 岡山市 | 三宅　勝 | 成羽高教 | 藤井　英雄 | 岡山市 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 12 | MD | 小松・藤井 | 岡山市 | 嘉村・高井 | 岡山大学 | 三宅・柳本 | 成羽高教・藤田中教 | 芳上・田中 | 三井造船 |
| S,44 | LS | 坪田久仁子 | 山陽女高 | 吉田　孝子 | 山陽女高 | 石田　雅子 | 山陽女高 | 秋山　良子 | 岡山大学 |
| | LD | 坪田・延原 | 山陽女高 | 吉田・川崎 | 山陽女高 | 岸本・林 | 山陽女高 | 鈴木・木村 | 山女高OG |
| | MS | 三宅　勝 | 成羽高教 | 小松　貴 | 岡山市 | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 13 | MD | 小松・三宅 | フラッシュクラブ | 芳上・上野 | 三井造船 | 藤井・柳本 | フラッシュクラブ | 小峪・田丸 | 三井造船 |
| S,45 | LS | 吉田　孝子 | 山陽女高 | 石田　雅子 | 山陽女高 | 光畑　直美 | 山陽女高 | 林　寿美子 | 山陽女高 |
| | LD | 吉田・石田 | 山陽女高 | 光畑・木村 | 山陽女高 | 林　・剛迫 | 山陽女高 | 藤原・山本 | 倉敷青陵 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 三宅　勝 | 成羽高教 | 万代　芳郎 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 14 | MD | 三宅・柳本 | フラッシュクラブ | 上野・芳上 | 三井造船 | 万代・田丸 | 三井造船 | 小峪・氏家 | 玉野SC |
| S,46 | LS | 浦口　恵子 | 岡山鉄道 | 剛迫ミエ子 | クラレ岡 | 光畑　直美 | クラレ岡 | 岩崎　文子 | 岡山大学 |
| | LD | 光畑・剛迫 | クラレ岡 | 岩崎・丸山 | 岡山大学 | 浦口・笹尾 | フラッシュクラブ | 木村・鈴木 | フラッシュクラブ |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 岡　浩一 | 岡山大学 | 山崎　和彦 | 岡山大学 | 市原　修二 | 岡山大学 |
| 15 | MD | 高木・加藤 | 岡大OB | 岡・田中 | 岡大OB | 野崎・清水 | 岡大OB | 藤原・万代 | 三井造船 |
| S,47 | LS | 剛迫ミエ子 | クラレ岡 | 板谷　妙子 | 岡山大学 | 浅野 | 清心女大 | 生田　祐子 | 岡山大学 |
| | LD | 板谷・生田 | 岡山大学 | 小崎・河野 | 岡山大学 | 丘　・松本 | 岡山大学 | 金子・青木 | 岡山大学 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 岡　浩一 | 岡山大学 | 上野　輝治 | 三井造船 | 高木　剛 | 岡大ＯＢ |
| 16 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤原・万代 | 三井造船 | 野崎・市原 | 岡大ＯＢ | 岡　・田中 | 岡山大学 |
| Ｓ,48 | ＬＳ | 木村　宣子 | 山女高ＯＧ | 阿部　恒子 | 岡山大学 | 笹尾真理子 | 山女高ＯＧ | 鈴木　直美 | 山女高ＯＧ |
| | ＬＤ | 木村・鈴木 | 山女高ＯＧ | 笹尾・西尾 | 山女高ＯＧ | 青木・内藤 | 岡山大学 | 守屋・沼本 | 清心女大 |
| | MS | 浜中　彰 | 岡山大学 | 芳上　一男 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 | 高木　剛 | 岡大ＯＢ |
| 17 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 岡　・田中 | 岡大ＯＢ | 高木・加藤 | 岡大ＯＢ | 田丸・松井 | 三井造船 |
| Ｓ,49 | ＬＳ | 三田　明美 | クラレ岡 | 寺見みど里 | クラレ岡 | 阿部　恒子 | 岡山大学 | 守安　好子 | 清心女大 |
| | ＬＤ | 三田・寺見 | クラレ岡 | 阿部・西岡 | 岡山大学 | 山崎・田村 | 岡山大学 | 江田・小笠原 | 岡山大学 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 岡　浩一 | 岡大ＯＢ | 藤原　航 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 |
| 18 | MD | 松井・芳上 | 三井造船 | 岡　・田村 | 岡大ＯＢ | 藤原・田丸 | 三井造船 | 浜中・名智 | 岡山大学 |
| Ｓ,50 | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | 三田　明美 | クラレ岡 | 守安　好子 | 清心女大 | 林　正子 | 岡山大学 |
| | ＬＤ | 三田・寺見 | クラレ岡 | 貝原・　林 | 山陽短大 | 石田・松岡 | 県教委・三井 | 守安・井上 | 清心女大 |
| | MS | 三宅　勝 | 水島工教 | 芳上　一男 | 三井造船 | 小田　和文 | 総社東教 | 名智　満 | 岡山大学 |
| 19 | MD | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | 上野・芳上 | 三井造船 | 片山・田中 | 岡大ＯＢ | 諏訪・門屋 | 岡山大学 |
| Ｓ,51 | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | 林　寿美子 | 山女高教 | 与倉　紀子 | 県立短大 | 林　正子 | 岡山大学 |
| | ＬＤ | 石田・　林 | 県教委・山女高教 | 林　・　東 | 岡山大学 | 難波・難波 | 川崎製鉄 | 日原・　林 | 山陽短大 |
| | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 門屋　尚紀 | 岡山大学 |
| 20 | MD | 芳上・松井 | 三井造船 | 田口・門屋 | 岡山大学 | 藤原・山本 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 |
| Ｓ,52 | ＬＳ | 林　正子 | 岡山大学 | 貝原　規子 | 山陽短大 | 森下　真紀 | 山陽短大 | 岸佐　和子 | 岡山大学 |
| | ＬＤ | 貝原・森下 | 山陽短大 | 林　・　岸 | 岡山大学 | 東　・安藤 | 岡山大学 | 難波・難波 | 川崎製鉄 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 小田　和文 | 総社東教 | 藤原　航 | 三井造船 |
| 21 | MD | 藤原・上野 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 松井・山本 | 三井造船 | 田丸・芳上 | 三井造船 |
| Ｓ,53 | ＬＳ | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 林　正子 | 岡山大学 | 林　寿美子 | 山陽短大 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 |
| | ＬＤ | 石田・　林 | 山女高ＯＧ | 岡部・貝原 | カネボウ・瀬戸大橋 | 日原・　林 | 山短大ＯＧ | 森下・亀山 | 山女高ＯＧ |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 22 | MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 松井・山本 | 三井造船 | 永井・景山 | 川崎製鉄 | 藤原・森田 | 川崎製鉄 |
| Ｓ,54 | ＬＳ | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 小寺　裕美 | 山女高ＯＧ | 林　正子 | 岡大ＯＧ | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 |
| | ＬＤ | 石田・　林 | 山女高ＯＧ | 小寺・森下 | 山女高ＯＧ | 岡部・貝原 | カネボウ・岡商会 | 串田・斉藤 | 山女高ＯＧ |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤原　航 | 三井造船 | 山本　清 | 三井造船 |
| 23 | MD | 平田・藤原 | 川崎製鉄 | 永井・北村 | 川崎製鉄 | 松井・山本 | 三井造船 | 森脇・吉仲 | 岡山大学 |
| Ｓ,55 | ＬＳ | 小寺　裕美 | 松　本　組 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 森下　真紀 | 山女高ＯＧ | 貝原　規子 | 岡　商　会 |
| | ＬＤ | 小寺・小山 | 松　本　組 | 林　・藤木 | 山女教・山女ＯＧ | 橋本・森下 | 岡山市・山女ＯＧ | 岡部・貝原 | カネボウ・岡商会 |
| | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤原　航 | 三井造船 |
| 24 | MD | 平田・藤原 | 川崎製鉄 | | | | | | |
| Ｓ,56 | ＬＳ | | | | | | | | |
| | ＬＤ | | | | | | | | |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 山本　清 | 三井造船 | 若林　邦任 | 三井造船 |
| 25 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 藤原・芳上 | 三井造船 |
| Ｓ,57 | ＬＳ | 近藤　小織 | 松　本　組 | 高田　幹子 | 松　本　組 | 小寺　裕美 | 松　本　組 | 合田なおみ | 松　本　組 |
| | ＬＤ | 近藤・高田 | 松　本　組 | 小寺・合田 | 松　本　組 | 森下・藤原 | トップブロ・早島 | 轟恵・竹原 | 山陽短大 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤井　久美 | 清　音　村 |
| 26 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 近藤・蒲田 | 三井・県酒販売 | 藤原・松井 | 三井造船 |
| Ｓ,58 | ＬＳ | 河本　小織 | 松　本　組 | 高田　幹子 | 松　本　組 | 皿井由美子 | 山女高教 | 原田美智子 | 松　本　組 |
| | ＬＤ | 河本・高田 | 松　本　組 | 原田・合田 | 松　本　組 | 竹原・相賀 | 山陽短大 | 皿井・天野 | 山女教・クラレ岡 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 西江　均 | 川崎製鉄 |
| 27 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 西江・北村 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 |
| Ｓ,59 | ＬＳ | 原田美智子 | 松　本　組 | 中原　裕美 | 水工職員 | 合田なおみ | 松　本　組 | 皿井由美子 | 山陽短大 |
| | ＬＤ | 原田・合田 | 松　本　組 | 中原・皿井 | 水工職・山女教 | 河内・轟恵 | 松　本　組 | 相賀・轟美 | 山陽短大 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 |
| 28 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 西江・北村 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 |
| Ｓ,60 | ＬＳ | 原田美智子 | 松　本　組 | 合田なおみ | 松　本　組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 山崎　恵子 | 山女高ＯＧ |
| | ＬＤ | 原田・合田 | 松　本　組 | 天野・山崎 | クラレ岡・山女ＯＧ | 河内・　轟 | 松本組・山短大 | 松岡・石井 | 老　松 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 渡辺　俊二 | 中国銀行 |
| 29 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 山本・若林 | 三井造船 | 永井・中山 | 川崎製鉄 |
| S,61 | LS | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 岡百　合子 | 岡山市 | 山崎　恵子 | 山女高教 |
| | LD | 河本・原田 | コングッド・松本 | 天野・山崎 | クラレ岡・山女教 | 岡田・福田 | 中屋製帽・クラレ倉 | 合田・岡 | 松本組・岡山市 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 若林　邦任 | 三井造船 |
| 30 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| S,62 | LS | 岡　百合子 | 岡山市 | 山崎　恵子 | 山女高教 | 紀井　晴美 | 松下電器 | 赤沢　五月 | ちろりん |
| | LD | 河本・原田 | コングッド・松本 | 山崎・轟 | 山女教・岡山市 | 岡・浮田 | 岡山市・西大寺 | 松岡・三宅 | 三井・松田病院 |
| | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 横田　豊和 | 山陽ドラム缶 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 |
| 31 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 若林・竺原 | 三石・三化 | 平尾・片岡 | 瀬戸南高 |
| S,63 | LS | 岡　百合子 | 岡山市 | 松王香音里 | 県立短大 | 紀井　晴美 | 松下電器 | 河原美津巳 | 松本組 |
| | LD | 佐藤・渡部 | 山陽女高 | 岡百・轟 | 岡山市 | 西林・紀井 | 備前市・松下 | 河原・岡良 | 松本組 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 |
| 32 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 福田・山田 | 松下・藤田農協 |
| H,元 | LS | 岡　良依 | 松本組 | 河原美津巳 | 松本組 | 松王香音里 | 県立短大 | 轟　美智子 | 西大寺 |
| | LD | 藤原・渡辺 | 倉敷翠松 | 西本・土肥 | 松本組 | 松王・人見 | 県短大・山女OG | 河原・岡 | 松本組 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 中谷興運 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 33 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 竺原・横田 | 三菱化成 |
| H,2 | LS | 近常　直美 | 山女高教 | 佐藤　由紀 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | 山陽短大 | 岡　良依 | まつもと |
| | LD | 岡・土肥 | まつもと | 松王・横田 | 松下電器 | 渡辺・藤原 | まつもと | 住矢・佐藤 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | トスコ | 三辻　邦章 | 三井造船 |
| 34 | MD | 藤原・若林 | 川鉄三井 | 山本・大倉 | 三井造船 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 福田・石井 | 松下電器 |
| H,3 | LS | 佐藤　由紀 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | まつもと | 岡　良依 | まつもと | 藤原　清美 | まつもと |
| | LD | 岡・渡辺 | まつもと | 土肥・藤原 | まつもと | 安原・藤原 | 倉敷翠松 | 住矢・佐藤 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 35 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 福田・三辻 | 松下・三井 | 坂本・延本 | 岡山貯金・トップブロ | 石本・野田 | 川鉄鉄構 |
| H,4 | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 山口　順子 | 山陽女高 | 松王峰代子 | 山陽女高 | 轟　美穂 | 山陽女高 |
| | LD | 佐藤・藤原 | まつもと | 山本・住矢 | 山女OG・まつもと | 山口・長門 | 山陽女高 | 鐘築・重光 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 草井　篤 | 瀬戸南高 | 三辻　邦章 | 三井造船 |
| 36 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 坂本・延本 | 岡山貯金・トップブロ | 竺原・立野 | 三化・倉敷化 |
| H,5 | LS | 松王峰代子 | 山陽女高 | 住矢　直美 | 山陽女高 | 神宝　朝子 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | まつもと |
| | LD | 松王・住矢 | 山陽女高 | 佐藤・住矢 | まつもと | 安原・土肥 | まつもと | 神宝・長門 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| 37 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 藤原・三村 | 川崎製鉄 | 三好研・三好幸 | 川鉄鉄構・極東 | 石本・野田 | 川鉄鉄構 |
| H,6 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 加藤　美香 | 山陽女高 | 神宝　朝子 | まつもと |
| | LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 雄龍・須々木 | 山陽女高 | 加藤・赤澤 | 山陽女高 | 佐藤・次田 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 藤井　久美 | 清音村 | 横田　豊和 | 三菱化学 |
| 38 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 横田・立野 | 三化・倉敷化 | 大倉・安藤 | 三井・辰巳商会 | 坂本・田井 | 岡山貯金・県山陽高教 |
| H,7 | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 加藤　美香 | 山陽女高 | 次田　尚美 | 山陽女高 |
| | LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 加藤・赤澤 | 山陽女高 | 土肥・菱川 | まつもと・中国短大 | 河野・山本 | 多津美中・倉北中 |
| | MS | 若林　邦任 | ナガイ | 福田　哲 | 松下電器 | 坂本　昌彦 | 倉敷市 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー |
| 39 | MD | 藤原・若林 | 川鉄マシナリー | 福田・末田 | 松下電器 | 杉原・坂本 | 笠岡BC・岡山貯金 | 横田・立野 | 三化・倉敷化 |
| H,8 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 宇野佳緒里 | 山陽女高 | 井山　美里 | 山陽女高 |
| | LD | 住矢・神宝 | まつもと | 宮本・立石 | まつもと | 雄龍・國司 | 山陽女高 | 香山・山下 | クラレ岡 |

## ②県秋季選手権大会

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 加納　正之 | 岡山大学 | 西崎　正明 | フラッシュクラブ | | |
| 1 | MD | 石原・武沢 | フラッシュクラブ | 毛利・糸島 | フラッシュクラブ | 高谷・加納 | 岡山大学 | | |
| S,33 | LS | 兼康美桜子 | 岡山大学 | 藤沢　とみ | 岡山大学 | 斉藤　郁恵 | 岡山大学 | | |
| | LD | 兼康・斉藤 | 岡山大学 | 虫明・　岡 | 山陽女高 | 重政・高塚 | 山陽女中 | | |
| | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 加納　正之 | 岡山大学 | 毛利　清志 | 山女高教 |
| 2 | MD | 石原・前田 | フラッシュクラブ | 毛利・山上 | フラッシュクラブ | 藤井・高谷 | 岡山大学 | 今東・石原 | 西大寺市・石原鑑山 |
| S,34 | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市 | 山上　周之 | フラッシュクラブ | 梶原　　馨 | 岡山市 | 小梶　繁雄 | 柵原鉱山 |
| | 40MS | 梶原　　馨 | 岡山市 | 輪竹　　清 | 柵原鉱山 | | | | |
| | | 他の種目は記録不明 | | | | | | | |
| | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 小松　　貴 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山女高教 | | |
| 3 | MD | 石原・小松 | 岡山市 | 毛利・山上 | フラッシュクラブ | 青井・前田 | フラッシュクラブ | | |
| S,35 | LS | 根岸　　純 | 岡山市 | 湯浅　光枝 | 岡山市 | 中山美都里 | 岡山大学 | | |
| | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市 | 中山・中永 | 岡山大学 | 大賀・黒川 | 山陽女高 | | |
| | MS | 小松　　貴 | 岡山市 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 若松　康弘 | 三井造船 | | |
| 4 | MD | 前田・小松 | フラッシュクラブ | 毛利・西崎 | フラッシュクラブ | 田中・藤井 | 岡山大学 | | |
| S,36 | LS | 根岸　　純 | 岡山市 | 数乗　俊恵 | 岡山大学 | 大賀　恵子 | 山陽女高 | | |
| | LD | 根岸・光岡 | 岡山市 | 小坂・田中 | 岡山大学 | 数乗・三村 | 岡山大学 | | |
| | MS | 小松　　貴 | 岡山市 | 朝原　　航 | 三井造船 | 毛利　清志 | 山女高教 | | |
| 5 | MD | 小松・石原 | 岡山市 | 朝原・若松 | 三井造船 | 毛利・西崎 | フラッシュクラブ | | |
| S,37 | LS | 根岸　　純 | 岡山市 | 湯浅　光枝 | 岡山市 | 湯木　博江 | 山陽女中 | | |
| | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市 | 浦口・湯木 | 山陽女中 | | | | |
| | MS | 毛利　清志 | 山女高教 | 青井　正義 | 内山コルク | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | | |
| 6 | MD | 毛利・山上 | 山女高教 | 青井・寺内 | 内山コルク・鼎 | 前田・朝原 | フラッシュクラブ | | |
| S,38 | LS | | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 青井　正義 | 内山コルク | 毛利　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | | |
| 7 | MD | 毛利・前田 | フラッシュクラブ | 青井・寺内 | 西大寺OB | 柳本・山田 | 岡山大学 | | |
| S,39 | LS | 根岸　　純 | 岡山市 | 小合　佳子 | 倉敷レイヨン岡山 | | | | |
| | LD | 小合・重政 | 倉敷レイヨン岡山 | 根岸・湯浅 | 岡山市 | | | | |
| | MS | 小松　　貴 | 岡山市 | 三宅　　勝 | 大安寺教 | 藤井　英雄 | 岡山市 | | |
| 8 | MD | 小松・松王 | 岡山市・和フィルタ | 三宅・柳本 | 大安寺教・東児中教 | 藤井・青井 | 岡山市・内山コルク | | |
| S,40 | LS | | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松　　貴 | 岡山市 | 三宅　　勝 | 成羽高教 | 柳本　堯敏 | 藤田中教 | | |
| 9 | MD | 小松・藤井 | 岡山市 | 三宅・柳本 | 成羽教・藤田中教 | 青木・杉村 | 岡山大学 | | |
| S,41 | LS | 須佐美保江 | 青陵OG | 矢尾　道子 | 岡山大学 | 渡辺　　泉 | 岡山大学 | | |
| | LD | 須佐美・岡本 | 青陵OG | 矢尾・高岩 | 岡山大学 | 山口・大石 | 岡大・久世高 | | |
| | MS | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | 森口　隆彦 | 岡山大学 | 山本　正志 | 西大寺OB | 前田　俊一 | 丸菱商事 |
| 10 | MD | 前田・小松 | フラッシュクラブ | 森口・清水 | 岡山大学 | 山本・西崎 | 西大寺OB | 青木・杉村 | 岡山大学 |
| S,42 | LS | 佐藤　民子 | 西大寺OG | 小林　宗子 | 西大寺OG | 高岩　和子 | 岡山大学 | 楢本 | 久世体協 |
| | LD | 佐藤・小林 | 西大寺OG | 楢本・大石 | 久世高 | 高岩・秋山 | 岡山大学 | 岩田・笹尾 | 山陽女高 |
| | MS | 小林　　貴 | 岡山市 | 三宅　　勝 | 成羽高教 | 森口　隆彦 | 岡山大学 | | |
| 11 | MD | 三宅・柳本 | 県教員 | 毛利・山上 | 山女高教 | 田中・芳上 | 三井造船 | | |
| S,43 | LS | | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 柳本　堯敏 | 藤田中教 | 三宅　　勝 | 成羽高教 | | |
| 12 | MD | 毛利・山上 | 山女高教 | 三宅・柳本 | 成羽教・藤田中教 | 嘉村・高井 | 岡山大学 | | |
| S,44 | LS | 吉田　孝子 | 山陽女高 | 吉川 | 三菱化成 | 坪田久仁子 | 山陽女高 | | |
| | LD | 延原・坪田 | 山陽女高 | 吉川・黒川 | 三菱化成 | 原田・広瀬 | 山陽女高 | | |
| | MS | 山田　　茂 | 岡山大学 | 高木　　剛 | 岡山大学 | 三木　高一 | 岡山大学 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 13 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 毛利・小松 | フラッシュクラブ | 嘉村・野崎 | 岡山大学 | 高木・山田 | 岡山大学 |
| S,45 | LS | 児玉　　祥 | 日産自動車 | 光畑　直美 | 倉敷レイヨン岡山 | 安福　範子 | 岡山大学 | 糸　　敬子 | 岡山大学 |
| | LD | 安福・　糸 | 岡山大学 | 岩崎・丸山 | 岡山大学 | 児玉・光畑 | フラッシュクラブ | 塩見・戸田 | 岡山大学 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 岡　浩一 | 岡山大学 | 藤原　航 | 三井造船 |
| 14 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤井・高木 | 岡山市・岡山大学 | 赤沢・柳本 | 岡大OB・旭東中教 | 岡・浜中 | 岡山大学 |
| S,46 | LS | 浦口　恵子 | 国鉄岡山 | 剛迫ミエ子 | クラレ岡 | 松本　洋子 | 岡山大学 | 浅野 | 清心女大 |
| | LD | 浦口・剛迫 | 国鉄・クラレ岡 | 小崎・河野 | 岡山大学 | 青木・山下 | 岡山大学 | 阿部・西岡 | 岡山大学 |
| | MS | 岡　浩一 | 岡山大学 | 高木　剛 | 岡大OB | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 15 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤井・高木 | 岡山市・岡大OB | 毛利・柳本 | 山女教・旭東中教 | 田丸・松井 | 三井造船 |
| S,47 | LS | 木村　宣子 | 中国銀行 | 西岡　佳江 | 岡山大学 | 鈴木　直美 | 伊予銀行 | 阿部　恒子 | 岡山大学 |
| | LD | 阿部・西岡 | 岡山大学 | 日岡・片田 | 岡山大学 | 江田・小笠原 | 岡山大学 | 西尾・笹尾 | 山女高OB |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 |
| 16 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 万代・松井 | 三井造船 | 岡・田中 | 岡山大学 | 高木・市原 | 岡大・岡大OB |
| S,48 | LS | 三田　明美 | クラレ岡 | 寺見みど里 | クラレ岡 | 西岡　佳江 | 岡山大学 | 阿部　恒子 | 岡山大学 |
| | LD | 三田・寺見 | クラレ岡 | 阿部・西岡 | 岡山大学 | 太田・田村 | 岡山大学 | 山崎・蛭田 | 岡山大学 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 北井　勝義 | 三菱石油 | 藤原　航 | 三井造船 | 永井　孝 | 川崎製鉄 |
| 17 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 岡・田中 | 岡大OB | 藤原・松井 | 三井造船 | 野崎・山崎 | 岡大OB |
| S,49 | LS | 寺見みど里 | クラレ岡 | 三田　明美 | クラレ岡 | | | | |
| | LD | 三田・寺見 | クラレ岡 | 林・難波 | 岡山大学 | 藤原・矢切 | 岡山大学 | 日笠・綾田 | 岡山大学 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 | 浜中　彰 | 岡山大学 |
| 18 | MD | 藤原・松井 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | 岡・田中 | 岡大OB |
| S,50 | LS | 日原　禎子 | 山陽短大 | 与倉　紀子 | 県立短大 | 土岩　幸代 | 岡山大学 | 高島　雅子 | 岡山大学 |
| | LD | 日原・林 | 山陽短大 | 与倉・長井 | 県立短大 | 坪井・守安 | 清心女大 | 林・泉 | 岡山大学 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 | 小田　和文 | 総社中教 |
| 19 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | 藤原・松井 | 三井造船 | 岡・田中 | 岡大OB |
| S,51 | LS | 日原　禎子 | 山陽短大 | 藤原　敦子 | クラレ岡 | 与倉　紀子 | 県立短大 | 藤木　史子 | 山陽短大 |
| | LD | 林・藤原 | 山女教・クラレ岡 | 林・岸 | 岡山大学 | 貝原・藤木 | 山陽短大 | 日原・林 | 山陽短大 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 岡本　次郎 | 上南中教 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 20 | MD | 芳上・松井 | 三井造船 | 藤原・上野 | 三井造船 | 田丸・山本 | 三井造船 | 小田・岡本 | 総社中教・上南中教 |
| S,52 | LS | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 林　寿美子 | 山女高教 | 金尾　京子 | 岡山大学 | 笠井　桂子 | 山陽短大 |
| | LD | 石田・林 | アサヒ・山陽女教 | 日原・林 | 山陽短大 | 貝原・森下 | 山陽短大 | 石田・小郷 | 天城高OB |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 小田　和文 | 総社中教 | 永井　孝 | 川崎製鉄 |
| 21 | MD | 芳上・藤原 | 三井造船 | 松井・山本 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 永井・景山 | 川崎製鉄 |
| S,53 | LS | 林　寿美子 | 山女高教 | 森下　真紀 | 山陽短大 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 貝原　規子 | 岡商工 |
| | LD | 岡部・貝原 | カネボウ・岡商工 | 日原・藤原 | 山女高OG | 林・松岡 | 山女OG・三井 | 森下・藤木 | 山陽短大 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 芳上　一男 | 三井造船 | 小田　和文 | 県養護教 |
| 22 | MD | 芳上・藤原 | 三井造船 | 藤原・北村 | 川崎製鉄 | 松井・山本 | 三井造船 | 家串・近藤 | 岡山大学 |
| S,54 | LS | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 森下　真紀 | 岡山市 | 片山　京子 | 岡山大学 |
| | LD | 岡部・橋本 | カネボウ・岡山市 | 石田・貝原 | アサヒ・岡商工 | 小寺・森下 | 岡山市 | 金尾・二塚 | 岡山大学 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 23 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 芳上・藤原 | 三井造船 | 松井・山本 | 三井造船 |
| S,55 | LS | 森下　真紀 | 瀬戸内企業 | 藤木　史子 | 岡山市 | 小山　真弓 | 松本組 | | |
| | LD | 林・貝原 | 山女高教・岡商工 | 坂口・平田 | 川崎製鉄 | 藤木・三宅 | 岡山市・矢切薬品 | 川崎・松岡 | 岡山大学 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 |
| 24 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 芳上・藤原 | 三井造船 | 松井・近藤 | 三井造船 |
| S,56 | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 大森 | 児島勤労 | 佐々木宏美 | 岡山大学 |
| | LD | 小寺・小山 | 松本組 | 藤木・藤原 | 岡山市 | 原田・佐々木 | 岡山大学 | 森下・赤沢 | トップ・山女OG |
| | MS | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 |
| 25 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 藤原・松井 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| S,57 | LS | 天野　真理 | クラレ岡 | 合田なおみ | 松本組 | 藤原　五月 | 早島 | 佐々木宏美 | 岡山大学 |
| | LD | 天野・合田 | クラレ岡・松本組 | 山中・原田 | 岡山大学 | 小山・佐々木 | 岡山大学 | 細川・寺見 | 岡山大学 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 |
| 26 | MD | 松井・山本 | 三井造船 | 若林・芳上 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 近藤・蒲田 | 三井造船・県酒販 |
| S,58 | LS | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 皿井由美子 | 山女高教 |
| | LD | 原田・中原 | 松本組・水工職員 | 合田・皿井 | 松本組・山女高教 | 岡田・藤原 | 中屋製帽・早島 | 三宅・松岡 | 松田病院・三井 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| 27 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| S,59 | LS | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 河内　富子 | 松本組 |
| | LD | 原田・合田 | 松本組 | 天野・福田 | クラレ岡 | 轟　・河内 | 山陽短大・松本組 | 多久島・馬場 | 三菱化成 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| 28 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| S,60 | LS | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 山崎　恵子 | LETS |
| | LD | 原田・合田 | 松本組 | 天野・山崎 | クラレ岡・LET | 安田・宮川 | 老　松 | 松岡・親 | 老　松 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤井　久美 | 清音村役場 |
| 29 | MD | 山本・若林 | 三井造船 | 三宅・田枝 | 水工教・クラレ倉 | 北村・山下 | 川鉄・クラレ岡 | 中山・平田 | 川崎製鉄 |
| S,61 | LS | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 岡百　合子 | 岡山市 | 山崎　恵子 | 山女高教 |
| | LD | 合田・岡 | 松本組・岡山市 | 天野・山崎 | クラレ岡・山女教 | 片岡・轟 | 山女高OG | 赤沢・平田 | 清音・川鉄バド |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| 30 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 山本・若林 | 三井造船 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 |
| S,62 | LS | 西林　昭子 | 備前市役 | 山崎　恵子 | 山女高教 | 松岡 | 老　松 | 松岡　純子 | 三井造船 |
| | LD | 原田・山崎 | 松本組・山女高教 | 松岡・親 | 老松・川上中教 | 松岡・三宅 | 三井・松田病院 | 林　・中川 | 三井造船・カネテツ |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 |
| 31 | MD | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 福田・松田 | 玉野光南 |
| S,63 | LS | 岡　百合子 | 岡山市 | 河原美津巳 | 松本組 | 松王香音里 | 県立短大 | 岡　良依 | 松本組 |
| | LD | 原田・松王 | 松本組・県立短大 | 岡・轟 | 岡山市 | 河原・岡 | 松本組 | 横山・山本 | 瀬戸南OB |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 32 | MD | 山本・若林 | 三井造船 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 竺原・福田 | 三化・松下 | 仁後・森地 | 永井BC |
| H,元 | LS | 松王香音里 | 県立短大 | 佐藤　由香 | 山陽短大 | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 住矢　美幸 | 山陽女高 |
| | LD | 山本・岡 | 松本組 | 渡辺・藤原 | 倉敷翠松 | 松王・佐藤 | 県立短・山陽短 | 此本・羽原 | 倉敷翠松 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 中谷興運 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 33 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 永井・仁後 | 永井・仁後建設 | 山本・大倉 | 三井造船 | 坂本・延本 | 岡山理大 |
| H,2 | LS | 岡　良依 | まつもと | 佐藤　由香 | 山陽短大 | 住矢　美幸 | 山陽女高 | 横田　裕子 | 松下電器 |
| | LD | 岡・渡辺 | まつもと | 住矢・佐藤由 | 山陽女高 | 土肥・藤原 | まつもと | 松王・横田 | 松下電器 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 34 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 山本・若林 | 三井造船 | 三好研・三好幸 | 南和工業・極東 | 坂本・延本 | 理大OB |
| H,3 | LS | 住矢　美幸 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | まつもと | 佐藤　由紀 | 山陽女高 | 藤原　清美 | まつもと |
| | LD | 佐藤・藤原 | まつもと | 住矢直・松王 | 山陽女高 | 渡辺・住矢美 | まつもと・山女高 | 佐藤由・佐藤純 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 三好　研二 | 川鉄鉄構 | 立野　隆行 | 倉敷化工 |
| 35 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 坂本・延本 | 岡山貯金・トップブロ | 山本・若林 | 三井造船 | 大倉・仁井 | 三井造船 |
| H,4 | LS | 松王峰代子 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | まつもと | 山口　順子 | 山陽女高 | 住矢　直美 | 山陽女高 |
| | LD | 松王・住矢直 | 山陽女高 | 香山・山下 | クラレ岡 | 神宝・雄龍 | 山陽女高 | 山口・須々木 | 山陽女高 |
| | MS | 福田　哲 | 松下電器 | 草井　篤 | 瀬戸南高 | 三好　研二 | 川鉄鉄構 | 三好　幸夫 | 極東システム |
| 36 | MD | 坂本・延本 | 岡山貯金・オサダ | 三好・三好 | 川鉄鉄構・極東 | 楢原・三宅 | 倉敷工高 | 若林・仁井 | 三井造船 |
| H,5 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　直美 | 山陽女高 | 神宝　朝子 | 山陽女高 |
| | LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 加藤・赤澤 | 山陽女高 | 安原・土肥 | まつもと | 宰所・杉 | 倉敷翠松 |
| | MS | 福田　哲 | 松下電器 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 武政　英和 | ちろりん |
| 37 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 三好・三好 | 川鉄マシ・極東 | 横田・立野 | 三化・倉敷化 | 石本・野田 | 川鉄マシナリー |
| H,6 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 加藤　美香 | 山陽女高 | 須々木　恵 | 山陽女高 |
| | LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 雄龍・須々木 | 山陽女高 | 次田・赤澤 | 山陽女高 | 菱川・白木 | 倉敷翠松 |
| | MS | 若林　邦任 | RSナガイ | 松川　大紀 | 倉敷工高 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 藤井　久美 | 清音村 |
| 38 | MD | 若林・野田 | ナガイ・川鉄マシナリー | 横田・立野 | 三化・倉敷化 | 白神・武政 | 清音村・中国電力 | 石本・田中 | 川鉄マシナリー |
| H,7 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 加藤　美香 | 山陽女高 | 神宝　朝子 | まつもと | 次田　尚美 | 山陽女高 |
| | LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 香山・山下 | クラレ岡 | 加藤・赤澤 | 山陽女高 | 住矢・宮本 | まつもと |
| | MS | 福田　哲 | 松下電器 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 松川　大紀 | 倉敷工高 | 立野　隆行 | 倉敷化工 |
| 39 | MD | 坂本・武政 | 倉敷市・中国電力 | 坂本・杉原 | 岡山貯金・笠岡 | 三好・三好 | マシナリー・極東 | 横田・田井 | 倉工教・県山陽高教 |
| H,8 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 守屋　仁美 | 倉敷一中 | 福井　稔代 | 倉敷翠松 | 神宝　朝子 | まつもと |
| | LD | 佐藤・佐藤 | 中四国農政・山短大 | 住矢・神宝 | まつもと | 福井・山本 | 倉敷翠松 | 小田・大西 | 山陽女高 |

## ③県総合選抜選手権大会

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位（4は4位） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 青井　正義 | 内山コルク | | | | |
| 1 | MD | 小松・寺内 | 岡山市・県庁 | 毛利・前田 | 山女教・丸菱商事 | | | | |
| S,38 | LS | 根岸　純 | 岡山市 | 大賀　恵子 | 山陽女高 | 湯木　博江 | 山陽女高 | | |
| | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市 | 大賀・光岡 | 山陽女高 | 浦口・湯木 | 山陽女高 | 4大森・長櫓 | 山陽女高 |
| | MS | 青井　正義 | 内山コルク | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 毛利　清志 | 山女高教 | | |
| 2 | MD | 青井・寺内 | 内山コルク・県庁 | 毛利・前田 | 山女教・丸菱商事 | | | | |
| S,39 | LS | 湯木　博江 | 山陽女高 | 浦口　恵子 | 山陽女高 | 大賀　恵子 | 山陽女高 | | |
| | LD | 湯木・浦口 | 山陽女高 | 小合・重政 | 倉敷レイヨン岡山 | 内藤・朝原 | 山陽女高 | 4原・三宅 | 山陽女高 |
| | MS | 小松　貴 | 岡山市 | 三宅　勝 | 大安寺教 | | | | |
| 3 | MD | 三宅・藤井 | 大安寺教・岡山市 | 小松・青井 | 岡山市・内山コルク | | | | |
| S,40 | LS | 湯木　博江 | 山陽女高 | 浦口　恵子 | 山陽女高 | | | 4児玉　祥 | 山陽女高 |
| | LD | 小合・重政 | 倉敷レイヨン岡山 | 原・内藤 | 山陽女高 | | | | |
| | MS | 小松　貴 | 岡山市 | 柳本　堯敏 | 藤田中教 | | | | |
| 4 | MD | 毛利・山上 | 山女高教 | 柳本・西崎 | 藤田中教・丸之内教 | | | | |
| S,41 | LS | 湯木　博江 | 山陽女高 | 浦口　恵子 | 山陽女高 | | | 4児玉　祥 | 山陽女高 |
| | LD | 湯木・浦口 | 山陽女高 | 佐藤・小林 | 西大寺高 | | | 4児玉・岩田 | 山陽女高 |
| | MS | 三宅　勝 | 成羽高教 | 小松　貴 | 岡山市 | 森口　隆彦 | 岡山大学 | 4前田　俊一 | 丸菱商事 |
| 5 | MD | 三宅・柳本 | 成羽教・藤田中教 | 小松・藤井 | 岡山市 | 森口・杉村 | 岡山大学 | 4毛利・前田 | フラッシュクラブ |
| S,42 | LS | 児玉　祥 | 山陽女高 | 石田　陽子 | 西大寺高 | 佐藤　民子 | 西大寺エクスラン | 4光畑　直美 | 山陽女高 |
| | LD | 佐藤・小林 | 西大寺OG | 鈴木・光畑 | 山陽女高 | 児玉・林 | 山陽女高 | 4高岩・秋山 | 岡山大学 |
| | MS | 森口　隆彦 | 岡山大学 | 芳上　一男 | 三井造船 | 三宅　勝 | 成羽高教 | | |
| 6 | MD | 三宅・柳本 | 成羽教・藤田中教 | 杉村・森口 | 岡山大学 | | | | |
| S,43 | LS | 児玉　祥 | 山陽女高 | 光畑　直美 | 山陽女高 | 鈴木　直美 | 山陽女高 | 4木村　宣子 | 山陽女高 |
| | LD | 児玉・鈴木 | 山陽女高 | 木村・林 | 山陽女高 | 光畑・吉田 | 山陽女高 | 4坪田・延原 | 山陽女高 |
| | MS | 三宅　勝 | 成羽高教 | 小松　貴 | 岡山市 | | | | |
| 7 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 小松・山形 | 岡山市・西大寺OB | | | | |
| S,44 | LS | 吉田　孝子 | 山陽女高 | 光畑　直美 | クラレ岡 | 林　寿美子 | 山陽女高 | | |
| | LD | 木村・光畑 | 中国銀行・クラレ岡 | 吉田・石田 | 山陽女高 | 坪田・延原 | 山陽女高 | | |
| | MS | 三宅　勝 | 成羽高教 | 高木　剛 | 岡山大学 | 上野　輝治 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 8 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 三宅・柳本 | 成羽教・藤田中教 | 藤井・小松 | 岡山市 | 森口・嘉村 | 岡山大学 |
| S,45 | LS | 石田　雅子 | 山陽女高 | 児玉　祥 | 日産自動車 | 光畑　直美 | クラレ岡 | 吉田　孝子 | 山陽女高 |
| | LD | 吉田・石田 | 山陽女高 | 剛迫・林 | 山陽女高 | 児玉・木村 | 日産・中銀 | 平田・松尾 | 山陽女高 |
| | MS | 三宅　勝 | 成羽高教 | 芳上　一男 | 三井造船 | 岡　浩一 | 岡山大学 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 9 | MD | 三宅・柳本 | 成羽教・旭東中教 | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤原・田丸 | 三井造船 | 小松・藤井 | 岡山市 |
| S,46 | LS | 林　寿美子 | 山陽女高 | 平田喜久江 | 山陽女高 | 田辺　裕子 | 山陽女高 | 三宅　一美 | 山陽女高 |
| | LD | 三宅・田辺 | 山陽女高 | 林・平田 | 山陽女高 | 三田・寺見 | 山陽女高 | 浅野・安東 | 清心女大 |
| | MS | 三宅　勝 | 水島工教 | 岡　浩一 | 岡山大学 | 万代　芳郎 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 10 | MD | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤原・万代 | 三井造船 | 藤井・高木 | 岡大OB |
| S,47 | LS | 近藤　小織 | 山陽女高 | 原田美智子 | 山陽女高 | 寺見みど里 | 山陽女高 | 日原　禎子 | 山陽女高 |
| | LD | 原田・藤原 | 山陽女高 | 近藤・国定 | 山陽女高 | 三田・寺見 | 山陽女高 | 木村・鈴木 | 山女高OG |
| | MS | 岡　浩一 | 岡山大学 | 高木　剛 | 岡大OB | 藤原　航 | 三井造船 | 浜中　彰 | 岡山大学 |
| 11 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 万代・松井 | 三井造船 | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | 高木・市原 | 岡大OB |
| S,48 | LS | 近藤　小織 | 山陽女高 | 原田美智子 | 山陽女高 | 藤原　敦子 | 山陽女高 | 三田　明美 | 山女高OG |
| | LD | 原田・藤原 | 山陽女高 | 近藤・国定 | 山陽女高 | 小寺・日原 | 山陽女高 | 林・安井 | 山陽女高 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 高木　剛 | 岡大OB | 藤原　航 | 三井造船 | 小田　和文 | 岡山大学 |
| 12 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 岡・田中 | 岡大OB | 野崎・山崎 | 岡大OB | 高木・加藤 | 岡大OB |
| S,49 | LS | 原田美智子 | 山陽女高 | 小寺　裕美 | 山陽女高 | 日原　禎子 | 山陽女高 | 藤原　敦子 | 山陽女高 |
| | LD | 原田・藤原 | 山陽女高 | 小寺・日原 | 山陽女高 | 橋本・高木 | 山陽女高 | 三田・寺見 | クラレ岡 |
| | MS | 岡　浩一 | 岡山大学 | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 名智　満 | 岡山大学 |
| 13 | MD | 藤原・松井 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 岡・田中 | 岡大OB | 浜中・名智 | 岡山大学 |
| S,50 | LS | 岡部　五月 | 山陽女高 | 藤原　敦子 | クラレ岡 | 橋本　千春 | 山陽女高 | 貝原　規子 | 山陽女高 |
| | LD | 三田・藤原 | クラレ岡 | 日原・林 | 山陽短大 | 岡部・橋本 | 山陽女高 | 小山・貝原 | 山陽女高 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 浜中　勉 | 岡山大学 | 名智　満 | 岡山大学 | | | | |
| 14 | MD | 藤原・松井 | 三井造船 | 三宅・柳本 | 水工教・旭東中教 | | | | |
| S,51 | LS | 林　正子 | 岡山大学 | 藤原　敦子 | クラレ岡 | | | | |
| | LD | 三田・藤原 | クラレ岡 | 日原・林 | 山陽短大 | 林・森下 | 山女高OG | | |
| | MS | 三宅　勝 | 水島工教 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 15 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 芳上・松井 | 三井造船 | 藤原・上野 | 三井造船 | 岡本・小田 | 上南中教・総社東中教 |
| S,52 | LS | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 林　正子 | 岡山大学 | 林　寿美子 | 山女高教 | 串田　有子 | 山陽女高 |
| | LD | 石田・林 | アサヒ・山女高教 | 林・岸 | 岡山大学 | 梶田・峰政 | 山陽女高 | 松島・南葉 | 山陽女高 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 小田　和文 | 総社東中教 |
| 16 | MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・松井 | 三井造船 | 岡本・小田 | 上南中教・総社東中教 |
| S,53 | LS | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 皿井由美子 | 山女高教 | 林　正子 | 岡大OG | 串田　有子 | 山陽女高 |
| | LD | 林・皿井 | 山女教・山陽女高 | 串田・斉藤 | 山陽女高 | 岡部・貝原 | カネボウ・岡商工 | 林・松岡 | 岡大OG・三井 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 17 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 藤原・芳上 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 松井・山本 | 三井造船 |
| S,54 | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 森下　真紀 | 岡山市 |
| | LD | 石田・貝原 | アサヒ・岡商工 | 岡部・橋本 | カネボウ・岡山市 | 松島・原田 | 山陽女高 | 小寺・森下 | 松本組・岡山市 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 山本　清 | 三井造船 | | | | |
| 18 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 藤原・芳上 | 三井造船 | | | | |
| S,55 | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 森下　真紀 | トッププロスポーツ | | | | |
| | LD | 小寺・小山 | 松本組 | 林・貝原 | 山女教・山女OG | | | | |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤井　久美 | 清音村 | 山本　清 | 三井造船 | 板谷　好訓 | クラレ倉 |
| 19 | MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 永井・北村 | 川崎製鉄 |
| S,56 | LS | 近藤　小織 | 松本組 | 高田　幹子 | 松本組 | 小寺　裕美 | 松本組 | 森下　真紀 | トッププロスポーツ |
| | LD | 近藤・高田 | 松本組 | 小寺・小山 | 松本組 | 藤木・藤原 | 岡山市 | 森下・赤沢 | トップ・山女OG |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤原　航 | 三井造船 |
| 20 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・蒲田 | 三井・県酒販 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| S,57 | LS | 河本　小織 | 松本組 | 高田　幹子 | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 中原　裕美 | 水工職員 |
| | LD | 河本・高田 | 松本組 | 天野・合田 | クラレ岡・松本組 | 森下・藤原 | 早島 | 中原・藤木 | 水工職員・岡山市 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 21 | MD | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 西江・北村 | 川崎製鉄 | 藤原・松井 | 三井造船 |
| S,58 | LS | 河本　小織 | 松本組 | 原田美智子 | 松本組 | 皿井由美子 | 山陽女高 | 合田なおみ | 松本組 |
| | LD | 河本・高田 | 松本組 | 原田・中原 | 松本組・水工職員 | 合田・皿井 | 松本組・山陽女高 | 轟・河内 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 藤井　久美 | 清音村 |
| 22 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 |
| S,59 | LS | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 近常　直美 | 山陽女高 |
| | LD | 原田・合田 | 松本組 | 近常・竹原 | 山陽女高 | 天野・轟 | クラレ岡・山女OG | 大木・西林 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 23 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 |
| S,60 | LS | 原田美智子 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 近常　直美 | 山陽女高 |
| | LD | 原田・合田 | 松本組 | 西林・紀井 | 山陽女高 | 天野・山崎 | クラレ岡・LETS | 河内・近常 | 松本組・山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| 24 | MD | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 |
| S,61 | LS | 佐藤なおみ | 山女高OG | 松王香音里 | 山陽女高 | 竹原　純子 | エクスラン | 西林　昭子 | 山陽女高 |
| | LD | 河本・原田 | コングッド・松本 | 西林・紀井 | 山陽女高 | 竹原純・竹原桂 | エクスラン・印刷局 | 松王・人見 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 平尾　昌也 | 瀬戸南高 |
| 25 | MD | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 久山・藤原 | 水島工高 |
| S,62 | LS | 松王香音里 | 山陽女高 | 山崎　恵子 | 山女高教 | 岡　百合子 | 岡山市 | 紀井　晴美 | 松下電器 |
| | LD | 河本・原田 | コングッド・松本 | 山崎・轟 | 山女高教・岡山市 | 松王・人見 | 山陽女高 | 佐藤・渡辺 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 26 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 若林・山本 | 三井造船 | 原田・大田 | 岡山大学 |
| S,63 | LS | 河原美津巳 | 松本組 | 松王香音里 | 県立短大 | 岡　良依 | 松本組 | 佐藤　由香 | 山陽女高 |
| | LD | 原田・松王 | 松本組・県立短大 | 佐藤・渡部 | 山陽女高 | 河原・岡 | 松本組 | 横田・畝山 | 山陽女高 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 福田　哲 | 松下電器 |
| 27 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 仁後・森地 | 永井ＢＣ |
| H,元 | ＬＳ | 岡　百合子 | 岡山市 | 岡　良依 | 松本組 | 松王香音里 | 県立短大 | 佐藤　由香 | 山陽短大 |
| | ＬＤ | 山本・岡 | 松本組 | 佐藤・松王 | 山短大・県立短大 | 岡・土肥 | 岡山市・松本組 | 渡邊・藤原 | 倉敷翠松 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 中谷興運 | 三辻　邦章 | 三井造船 |
| 28 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 永井・平田 | 永井・トスコ | 福田・山田 | 松下・藤田農協 |
| H，2 | ＬＳ | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | 佐藤　由香 | 山陽短大 | 住矢　美幸 | 山陽女高 | 佐藤　由紀 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 岡・渡辺 | まつもと | 佐藤・住矢 | 山陽女高 | 山本・藤原 | 和気閑谷教・翠松高 | 杉本・安原 | 倉敷翠松 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三好　研二 | 南和工業 | 藤井　久美 | 清音村 | 草井　篤 | 瀬戸南高 |
| 29 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 藤原・平田 | 中谷興運・トスコ | 三辻・福田 | 三井・松下 | 坂本・延本 | 理大ＯＢ |
| H，3 | ＬＳ | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | 山陽女高 | 藤原　清美 | まつもと | 渡辺　美穂 | まつもと |
| | ＬＤ | 佐藤・藤原 | まつもと | 佐藤由・佐藤純 | 山陽女高 | 鐘築・重光 | 山陽女高 | 山口・長門 | 山陽女高 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 三好　研二 | 川鉄鉄構 | 竺原　博文 | 三菱化成 |
| 30 | MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 福田・三辻 | 松下・三井 | 若林・竺原 | 三石・三化 | 永井・野田 | 永井・川鉄鉄構 |
| H，4 | ＬＳ | 佐藤　由香 | まつもと | 松王峰代子 | 山陽女高 | 住矢　美幸 | まつもと | 住矢　直美 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 香山・山下 | クラレ岡 | 佐藤・住矢 | まつもと | 松王・住矢 | 山陽女高 | 土肥・安原 | まつもと |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 野田　修嗣 | 川鉄鉄構 | 三好　研二 | 川鉄鉄構 |
| 31 | MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 山本・藤原 | 三井・中谷興運 | 安藤・仁井 | 辰巳商会・三井 |
| H，5 | ＬＳ | 住矢　直美 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 佐藤・住矢 | まつもと | 神宝・長門 | 山陽女高 | 雄龍・須々木 | 山陽女高 | 加藤・赤澤 | 山陽女高 |
| | MS | 福田　哲 | 松下電器 | 若林　邦任 | 三井造船 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 山本　清 | 三井造船 |
| 32 | MD | 福田・平田 | 松下・トスコ | 三好研・三好幸 | マシナリー・極東 | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 石本・野田 | 川鉄マシナリー |
| H，6 | ＬＳ | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 次田　尚美 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 佐藤・神宝 | まつもと | 菱川・白木 | 倉敷翠松 | 次田・赤澤 | 山陽女高 | 藤井・蔵本 | 倉敷翠松 |
| | MS | 若林　邦任 | ナガイ | 福田　哲 | 松下電器 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| 33 | MD | 藤原・若林 | 川鉄マシナリー | 福田・末田 | 松下電器 | 大倉・安藤 | 三井・辰巳商会 | 中村・笠原 | ちろりん |
| H，7 | ＬＳ | 神宝　朝子 | まつもと | 加藤　美香 | 山陽女高 | 佐藤　由香 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと |
| | ＬＤ | 佐藤・神宝 | まつもと | 加藤・赤澤 | 山陽女高 | 住矢・宮本 | まつもと | 宇野・雄龍 | 山陽女高 |
| | MS | 福田　哲 | 松下電器 | 武政　英和 | 中国電力 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 立野　隆行 | 倉敷化工 |
| 34 | MD | 藤原・立野 | 川鉄・倉敷化 | 安藤・福田 | 辰巳商会・松下 | 杉原・坂本 | 笠岡・岡山貯金 | 武政・坂本 | 中電・倉敷市 |
| H，8 | ＬＳ | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 小田　真澄 | 山陽女高 |
| | ＬＤ | 住矢・神宝 | まつもと | 福井・山本 | 倉敷翠松 | 宮本・上杉 | まつもと・済生病院 | 山室・須藤 | クラレ岡・翠松高 |

## ④県新人大会

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 藤原　　航 | 三井造船 | 本藤　和秋 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| S,42 | MD | 上野・本藤 | 三井造船 | 西村・万代 | 三井造船 | 松王・田中 | 西大寺OB | 芳上・田中 | 三井造船 |
| | LS | 石田　陽子 | 西大寺OG | 中野 | 三井造船 | 楢本 | 久世体協 | 杉谷 | 三井造船 |
| | LD | 杉谷・中野 | 三井造船 | 楢本・大石 | 久世体協 | 東島・石田 | 西大寺OG | 難波・安福 | 岡山大学 |

☆S,43～S,44は記録不明

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 岡　浩一 | 岡山大学 | 平田喜久雄 | 玉野SC | 氏家　徹 | 玉野SC | 安立 | 化成水島 |
| S,45 | MD | 氏家・平田 | 玉野SC | 岡・片山 | 岡山大学 | 藤長・樋口 | 水島工高 | 白神・内田 | 岡山大学 |
| | LS | 板谷　妙子 | 岡山大学 | 松本　洋子 | 岡山大学 | 浅野 | 清心女大 | 生田　祐子 | 岡山大学 |
| | LD | 板谷・松本 | 岡山大学 | 杉谷・藤田 | 玉野SC | 広山・杉田 | 美作高 | 浅野・安東 | 清心女大 |
| | MS | 片山　雅博 | 岡山大学 | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | 西崎　正明 | 県教委 | 中村　浩成 | 協和フィルタ |
| S,46 | MD | 小田・服部 | 岡山大学 | 田中・山崎 | 岡山大学 | 金田・石原 | 三井造船 | 三宅・物部 | 住友重機 |
| | LS | 内藤　和子 | 岡山大学 | 青木　常子 | 岡山大学 | 丘　　英子 | 岡山大学 | 阿部　恒子 | 岡山大学 |
| | LD | 川上・鎌村 | 倉敷中央 | 青木・内藤 | 岡山大学 | 丘・福本 | 岡山大学 | 守屋・別府 | 清心女大 |
| | MS | 服部　　勝 | 岡山大学 | 岡田　　章 | 岡山大学 | 井山　公史 | 岡山大学 | 小峪　充弘 | 玉野SC |
| S,47 | MD | 黒田・難波 | 岡大OB | 平田・鶴沢 | 玉野SC | 小峪・氏家 | 玉野SC | 金田・石原 | 三井造船 |
| | LS | 竹中　真弓 | 岡山大学 | 小合 | 清心女大 | 渡辺　泰子 | 岡山大学 | 岡本 | 清心女大 |
| | LD | 竹中・渡辺 | 岡山大学 | 吉本・小合 | 清心女大 | 蛭田・古屋 | 岡山大学 | 花房・岡本 | 清心女大 |
| | MS | 梶田　三郎 | 岡山大学 | 浜中　　勉 | 岡山大学 | 名智　　満 | 岡山大学 | 北井　勝義 | 倉敷工OB |
| S,48 | MD | 角田・　武 | 倉敷工OB | 松王・中村 | 協和フィルタ | 三宅・物部 | 住友重機 | 小林・田原 | 岡山大学 |
| | LS | 風早　順子 | 看護学校 | 蛭田　京子 | 岡山大学 | 樫素　　栄 | 三井造船 | 藤原真佐枝 | 岡山大学 |
| | LD | 樫・矢野 | 三井造船 | 小林・田原 | 看護学校 | 土岩・土井脇 | 岡山大学 | 貝原・風早 | 看護学校 |
| | MS | 平田喜久夫 | 玉　　野 | 大野　　昇 | 化成水島 | 諏訪　　玄 | 岡山大学 | 徳丸　裕晃 | 岡山大学 |
| S,49 | MD | 石原・万代 | 玉　　野 | 三宅・物部 | 住友重機 | 小高・児山 | 津山工業高専 | 平田・藤原 | 日本旅行・三石 |
| | LS | 田辺　裕子 | 山陽短大 | 竹原　恵子 | 岡山大学 | 井上　正子 | 清心女大 | 松岡　純子 | 三井造船 |
| | LD | 井上・守安 | 清心女大 | 高島・竹原 | 岡山大学 | 土井脇・土岩 | 岡山大学 | 難波・木村 | 岡山大学 |
| | MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 梶田　三郎 | 岡山大学 | 山本　　清 | 三井造船 | 渡辺　敦夫 | 三菱石油 |
| S,50 | MD | 田丸・石原 | 三井造船 | 毛利・山本 | 三井造船 | 梶田・西井 | 岡山大学 | 山本・岡野 | 岡山大学 |
| | LS | 石田津美江 | 県立短大 | 虫明　史子 | 幸島小教 | 風早　順子 | 岡山大学 | 東喜　美子 | 岡山大学 |
| | LD | 与倉・石田 | 県立短大 | 虫明・松岡 | 幸島小・三井 | 池上・山室 | 岡山大学 | 林・中務 | 清心女大 |
| | MS | 板谷　好訓 | 備　　中 | 田中　行治 | 備中クラブ | 東　　昌二 | 三菱化成 | 貝原　政夫 | 水島工OB |
| S,51 | MD | 武田・田原 | 丸大ハム・岡大OB | 竹崎・梶田 | 岡山大学 | 藤田・佐藤 | 三井造船 | 永井・吉原 | クラレ岡 |
| | LS | 難波　初子 | 川崎製鉄 | 松岡　純子 | 三井造船 | 藤原さつき | 倉敷中央 | 小野　典子 | 倉敷中央 |
| | LD | 小野・藤原 | 倉敷中央 | 佐藤・若林 | 三菱化成 | 藤原・古谷 | 山陽短大 | 林・松本 | 清心女大 |
| | MS | 田中　賢治 | 尾崎商事 | 熊橋　友明 | 岡山大学 | 徳丸　裕晃 | 岡大OB | 貝原　政夫 | 水島工OB |
| S,52 | MD | 守屋・徳丸 | 岡大OB | 金崎・中浜 | 川崎製鉄 | 吉原・小河原 | クラレ倉 | 鈴木・熊橋 | 岡山大学 |
| | LS | 川崎　雅子 | 岡山大学 | 河村　美枝 | 山陽短大 | 末井　淳子 | 岡山大学 | 中村　弘子 | 清心女大 |
| | LD | 漆坂・木村 | 倉敷中央 | 岡田・竹原 | 山陽短大 | 小池・久山 | 山陽短大 | 岡本・倉田 | 岡山大学 |
| | MS | 荻野　克己 | 岡山大学 | 金崎　敏男 | 川崎製鉄 | 北村　治雄 | 川崎製鉄 | 森脇　紳二 | 岡山大学 |
| S,53 | MD | 小峪・藤原 | 三井クラブ | 平島・森脇 | 岡山大学 | 荻野・鈴木 | 岡山大学 | 渡辺・喜井 | 三井クラブ |
| | LS | 木村　典子 | 川崎製鉄 | 成山恵美子 | 山陽短大 | 中村　玲子 | 清心女大 | 藤原　節子 | 山陽短大 |
| | LD | 小林・小野 | 川崎製鉄 | 石井・高尾 | 山陽短大 | 成山・入江 | 山陽短大 | 實金・伏見 | 山陽短大 |

☆S,54～S,56は記録不明

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 妹尾　和彦 | 岡山市 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 土居　信夫 | 三井造船 | 永原　光彦 | 津山工業高専 |
| S,57 | MD | 藤田・藤原 | 和　　田 | 田中・小原 | 早　　島 | 土居・高木 | 三井造船 | 田丸・丸岡 | 三井造船 |
| | LS | 大深 | 清心女大 | 松浦 | 清心女大 | 安井 | 清心女大 | 洲脇　恵子 | 和　　田 |
| | LD | 岡・大深 | 清心女大 | 平田・浅原 | 川崎製鉄 | 入江・伏見 | 岡山市 | 洲脇・高橋 | 和　　田 |

☆S,58～S,60は記録不明

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 中村　行治 | 清　　音 | 山田　政治 | 印刷局 | 畑　　健二 | 岡山大学 | 三宅 | ウイング |
| S,61 | MD | 竹本・畑 | 岡山大学 | 佐武・岩城 | チェリッシュ | 山田・宮本 | 印刷局岡山 | 三浦・矢吹 | 岡山市 |
| | LS | 田里　知子 | 岡山大学 | 田邊　央子 | 岡山大学 | 平松 | 清心女大 | 大塚 | 老　　松 |
| | LD | 出原・児島 | 岡山コスモス | 田里・田邊 | 岡山大学 | 平松・萩原 | 清心女大 | 古賀・安永 | 川崎製鉄 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 原田　貴史 | 岡山大学 | 畑　　健二 | 岡山大学 | 三嶋　　広 | 岡山大学 | 荻野　克己 | 旭　　東 |
| S,62 | MD | 原田・畑 | 岡山大学 | 坂本・坂本 | イナズマ | 佐武・多田 | チェリッシュ | 延本・出原 | 岡山理大 |
| | LS | 平田　久子 | 倉敷翠松 | 田邊　央子 | 岡山大学 | 秋田　智子 | 岡山大学 | 馬場さゆり | 岡山大学 |
| | LD | 田邊・馬場 | 岡山大学 | 橋村・小寺 | アリス | 入矢・道光 | 瀬　　戸 | 浜本・平田 | 倉敷翠松 |
| | MS | 延本　和也 | 岡山理大 | 中村　行治 | ちろりん | 山田　政治 | 大　　金 | 宮本　睦樹 | 大　　金 |
| S,63 | MD | 坂本・坂本 | ライダース | 田埜・日枝 | 岡山大学 | 狩屋･佐々木 | ちろりん | 門野・虫明 | 玉野光南 |
| | LS | 染田恵美子 | 岡山大学 | 真鍋　陽子 | 国際マリンホテル | 中島奈緒美 | 岡山大学 | 高畑志津子 | 岡山大学 |
| | LD | 染田・中島 | 岡山大学 | 近藤・山本 | 県立短大 | 餅米・神崎 | 老　　松 | 高畑・西川 | 岡山大学 |
| | MS | 田埜　浩祐 | 岡山大学 | 三嶋　　広 | 岡山大学 | 香山　光明 | クラレ岡 | 松尾　　隆 | 岡山大学 |
| H,元 | MD | 香山･中須賀 | クラレ岡 | 山田・武藤 | 岡山大学 | 黒田・松尾 | 岡山大学 | 日枝・水越 | 岡山大学 |
| | LS | 高須賀博子 | 二日市体育センター | 原田三季世 | 岡山大学 | 木原　明子 | 岡山大学 | 延東扶紀子 | 岡山大学 |
| | LD | 馬場・中島 | 岡山大学 | 栗村・木原 | 岡山大学 | 井田・和田 | 岡山大学 | 延東・水川 | 岡山大学 |
| | MS | 延本　和也 | 岡山理大 | 三好　幸夫 | 南和工業 | 三好　研二 | 南和工業 | 松尾　　隆 | 岡山大学 |
| H,2 | MD | 坂本・三好 | ライダース | 延本・三好 | ライダース | 北井・若林 | 三菱石油 | 武藤・玉井 | 岡山大学 |
| | LS | 浅野みどり | 真　　備 | 木村　純子 | 瀬戸南高 | 鶴見　里江 | 瀬戸南高 | 天野伊津美 | 笠 岡 市 |
| | LD | 木村・森嶋 | 瀬戸南高 | 鶴見・岡崎 | 瀬戸南高･西大寺高 | 中島・和田 | 岡山大学 | 河田・天野 | 笠 岡 市 |
| | MS | 山田　　晃 | 藤田農協 | 三好　幸夫 | 極東システム | 坂本　典洋 | 岡山貯金 | 武藤　英司 | 岡山大学 |
| H,3 | MD | 水越・鈴木 | 岡山大学 | 田井・横山 | 理科大･理大附高 | 橋本・川上 | ウイング | 掛水・玉井 | 岡山大学 |
| | LS | 小川千衣美 | 岡山大学 | 宮尾　充代 | 瀬戸南高 | 吉久　幸子 | 和気閑谷高 | 松村　美紀 | 岡山大学 |
| | LD | 小川・長坂 | 岡山大学 | 渋野・野田 | 瀬戸南高 | 太田・森本 | 岡山大学 | | |
| | MS | 鈴木　　努 | 岡山大学 | 武藤　英司 | 岡山大学 | 玉井　栄治 | 岡山大学 | 林　　保典 | 平　　福 |
| H,4 | MD | 武藤・藤原 | 岡山大学 | 横山・坂本 | 理大ＯＢ | 山下・岡崎 | 奥村ＢＣ | 鈴木・松田 | 岡山大学 |
| | LS | 土居　純子 | 岡山大学 | 長坂・理子 | 岡山大学 | 新見　知子 | 岡山大学 | 森本　有理 | 岡山大学 |
| | LD | 土居・新見 | 岡山大学 | 山本・山下 | 井原市･笠岡市 | 三杉・田尻 | 奥村ＢＣ | 太田・谷本 | 岡山大学 |
| | MS | 武政　英和 | ちろりん | 玉井　栄治 | 岡山大学 | 柏原　道孝 | 岡山大学 | 難波　秀昭 | ちろりん |
| H,5 | MD | 山下・岡崎 | 奥村ＢＣ | 藤谷・小橋 | 岡山大学 | 和宗・難波 | ちろりん | 赤木・小原 | 奥村ＢＣ |
| | LS | 上杉　朱美 | ちろりん | 秋山みゆき | 瀬戸南高 | 新見　知子 | 岡山大学 | 岡田　光代 | 岡山大学 |
| | LD | 三杉・田尻 | 奥村ＢＣ | 大河・奥村 | 奥村ＢＣ | 秋山・山崎 | 瀬戸南高 | 上杉・浅野 | ちろりん |
| | MS | 森　　洋二 | 岡山大学 | 青山　知親 | 岡山大学 | 小原　久典 | 奥村ＢＣ | 岸谷　征典 | 岡山大学 |
| H,6 | MD | 岸谷・川沢 | 岡山大学 | 伊勢田･小笠原 | 岡山大学 | 藤原・執行 | 岡山大学 | 小原・森下 | 奥村ＢＣ |
| | LS | 土居　純子 | 岡山大学 | 白神　史恵 | 岡山大学 | 高木　朋子 | 岡山大学 | 岡田　光代 | 岡山大学 |
| | LD | 土居・岡田 | 岡山大学 | 谷　・妹尾 | 奥村ＢＣ | 松村・三宅 | 岡山大学 | 横山・高木 | 岡山大学 |
| | MS | 川澤　直也 | 岡山大学 | 青山　知親 | 岡山大学 | 執行　修司 | 岡山大学 | 小笠原一樹 | 岡山大学 |
| H,7 | MD | 小原・　番 | 奥村ＢＣ | 執行・青山 | 岡山大学 | 長谷・田中 | 川崎製鉄 | 堪藤・伊東 | ちろりん･総社高教 |
| | LS | 福田　直美 | 岡山大学 | 横山みのり | 岡山大学 | 坂部夕里子 | 岡山大学 | 湯浅　祐加 | 岡山大学 |
| | LD | 横山・岡田 | 岡山大学 | 福田・湯浅 | 岡山大学 | 佐藤・雪上 | 清心女大 | | |
| | MS | 松本　豊彦 | 東亜大学 | 真木　宏之 | 岡山大学 | 守安　　真 | ちろりん | 玉井　栄治 | 岡山大学 |
| H,8 | MD | 玉井・堀井 | 岡山大学 | 執行・藤原 | 岡山大学 | 大内・真木 | 岡山大学 | 伊勢田･竹中 | 岡山大学 |
| | LS | 石湯　洋子 | 津山社会福祉 | 治部美智子 | アリモト | 黒田　陽子 | 岡山大学 | 名田　幸世 | 岡山大学 |
| | LD | 石湯・治部 | 津山社福祉･アリモト | 福田・橋本 | 岡山大学 | 黒田・名田 | 岡山大学 | 横山・中上 | 岡山大学 |

## ⑾県リーグ　　☆部制で先頭の数字はその部を示す

| 回年 | 種別 | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|---|
| 1 H,5 | 1MT | 化成クラブ | 三井造船 | 川鉄鉄構 |
| | 2MT | ちろりん村A | 松下電器岡山 | 教員旭東クラブ |
| | 3MT | ちろりん村B | ウイング | クラレB |
| | 1LT | 高校選抜A | まつもとコーポレーション | 高校選抜B |
| 2 H,6 | 1MT | 三井造船 | 高校選抜A | 三菱化学 |
| | 2MT | 松下電器岡山 | 高校選抜B | 教員旭東クラブ |
| | 3MT | 三菱自工 | ウイング | 笠岡クラブ |
| | 1LT | まつもとコーポレーション | 高校選抜A | 高校選抜B |
| | 2LT | 笠岡クラブ | 永井BC | ちろりん村 |
| 3 H,7 | 1MT | 三井造船 | ちろりん村 | 松下電器岡山 |
| | 2MT | 川鉄マシナリー | 三菱自工 | 教員旭東クラブ |
| | 3MT | 笠岡クラブ | 東備クラブA | 笠岡市役所 |
| | 4MT | 奥村BC－A | 吉備高原クラブ | 川崎製鉄B |
| | 1LT | まつもとコーポレーション | 高校選抜A | 高校選抜B |
| | 2LT | 永井BC | ちろりん村 | 笠岡クラブ |
| 4 H,8 | 1MT | 川鉄マシナリー | 松下電器岡山 | 三菱化学 |
| | 2MT | 笠岡クラブ | 川崎製鉄A | 水島工業高校 |
| | 3MT | 奥村BC－A | 東備クラブA | クラレ倉敷 |
| | 4MT | 笠岡クラブB | 吉備高原クラブ | ちろりん村B |
| | 1LT | まつもとコーポレーション | 翠松クラブA | ベストハッツ |
| | 2LT | クラレ岡山クラブ | 笠岡クラブ | ちろりん村 |

## ⑿西日本選手権大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,25 | 高松市 | GS | 前原　福子 | 倉敷青陵高 | 優勝 | GS | 難波　芳子 | 倉敷青陵高 | 2位 |
| | | | GD | 前原・難波 | 倉敷青陵高 | 優勝 | | | | |
| | | | MS | 原　恵二 | 倉敷商業OB | 優勝 | MS | 中桐　明和 | 倉敷青陵OB | 2位 |
| | | | MD | 中桐・三宅 | 青陵OB・老松OB | 優勝 | LS | 更井　幹示 | 林薬品 | 優勝 |
| | | | LD | 更井・山村 | 林薬品・鐘紡西大寺 | 優勝 | 30MS | 山上　周之 | 岡山バド倶 | 優勝 |
| | | | 30MD | 山上・斎藤 | 岡山バド倶 | 優勝 | 40MS | 村山　寛 | 倉敷青陵高教 | 優勝 |
| | | | 40MD | 村山・福守 | 倉敷青陵高教 | 優勝 | | | | |
| | | | MIX | 原・佐藤 | 倉商OB・青陵高 | 優勝 | MIX | 宮城・藤田 | 鐘紡西大寺 | |
| 2 | S,26 | 松江市 | BS | 内藤　勇 | 岡山大学 | 3位 | GS | 難波　芳子 | 倉敷青陵高 | 2位 |
| | | | MS | 原　恵二 | 倉敷商業OB | 2位 | MD | 原・三宅 | 倉敷商業OB・倉敷老松OB | 2位 |
| | | | GS | 加藤まつ子 | 倉敷青陵高 | 3位 | GS | 小野　三和 | 倉敷青陵高 | 4位 |
| | | | GD | 難波・小野 | 倉敷青陵高 | 優勝 | GD | 姫井・松山 | 井原高・青陵高 | 3位 |
| | | | LS | 山村 | 鐘紡西大寺 | 3位 | LS | 藤田 | 鐘紡西大寺 | 4位 |
| | | | 30MS | 斎藤　實 | 岡山バド倶 | 2位 | 30MD | 山上・寺尾 | 岡山バド倶 | 2位 |
| | | | 40MS | 福守　茂 | 倉敷青陵高教 | 4位 | 40MD | 福守・村山 | 倉敷青陵高教 | 2位 |
| 3 | S,27 | 京都市 | GS | 野口　敏子 | 倉敷青陵高 | 優勝 | GD | 大塚・辻 | 山陽女子高 | 優勝 |
| | | | MS | 重実　清志 | 山陽女高教員 | 4位 | 30MS | 山上　周之 | 岡山バド倶 | 3位 |
| | | | 30MD | 山上・斎藤 | 岡山バド倶 | 優勝 | | | | |
| 4 | S,28 | 福山市 | GS | 吉川　英子 | 山陽女子高 | 優勝 | GS | 貝原　勝子 | 倉敷青陵高 | 3位 |
| | | | GS | 大森　嘉美 | 山陽女子高 | 4位 | GD | 吉川・大森 | 山陽女子高 | 優勝 |
| | | | MS | 松王　清志 | 西大寺高 | 2位 | | | | |
| | | | LS | 大山　教江 | 井原高OG | 4位 | LD | 大山・辻 | 井原高OG・山陽女高OG | 2位 |
| | | | 30MS | 山上・金尾 | フラッシュ・井原高教 | 2位 | MIX | 毛利・吉川 | 山陽女高教・山陽女高OG | 優勝 |
| | | | MIX | 前田・大森 | フラッシュ・山女高 | 2位 | MIX | 山上・土屋 | フラッシュ・山女高 | 3位 |
| 5 | S,29 | 善通寺市 | MS | 小松　康博 | 西大寺高 | 優勝 | GS | 友野　文子 | 山陽女子高 | 2位 |
| | | | GS | 大森　嘉美 | 山陽女子高 | 4位 | GD | 三宅・小林 | 山陽女子高 | 2位 |
| | | | GD | 板谷・大森 | 山陽女子高 | 4位 | 30MS | 毛利　清志 | 山陽女高教員 | 優勝 |
| | | | 30MD | 山上・金尾 | フラッシュ・井原高教 | 2位 | MIX | 毛利・辻 | 山陽女教・山陽女高OG | 優勝 |

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ＧＳ | 友野　文子 | 山陽女子高 | 優勝 | ＧＳ | 小林　桂子 | 山陽女子高 | 2位 |
| | | | ＧＳ | 権田　節子 | 山陽女子高 | 3位 | ＧＳ | 光本　政子 | 山陽女子高 | 4位 |
| 6 | S,30 | 大分市 | ＧＤ | 権田・友野 | 山陽女子高 | 優勝 | ＧＤ | 小林・三宅 | 山陽女子高 | 2位 |
| | | | ＧＤ | 光本・戸田 | 山陽女子高 | 3位 | ＬＳ | 大橋　艶子 | 岡山大学 | 3位 |
| | | | ＬＳ | 佐々木武子 | 岡山大学 | 4位 | 30MS | 山上　周之 | フラッシュクラブ | 4位 |
| | | | 30MD | 山上・金尾 | フラッシュ・井原高教 | 2位 | 40MD | 梶原・小梶 | 岡山市役所 | 3位 |
| | | | ＭＩＸ | 毛利・板谷 | 山陽女教・山陽女高ＯＧ | | | | | |
| | | | ＢＤ | 今東・吉田 | 西大寺高 | 3位 | ＧＳ | 小林　桂子 | 山陽女子高 | 優勝 |
| | | | ＧＳ | 戸田　寿子 | 山陽女子高 | 2位 | ＧＳ | 根岸　純 | 山陽女子高 | 3位 |
| | | | ＧＳ | 丸山　智子 | 倉敷青陵高 | 4位 | ＧＤ | 小林・戸田 | 山陽女子高 | 優勝 |
| | | | ＧＤ | 沢・西田 | 山陽女子高 | 3位 | ＧＤ | 丸山・定金 | 倉敷青陵高 | 4位 |
| | | | ＭＳ | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 4位 | ＬＳ | 友野　文子 | 山陽女高ＯＧ | 優勝 |
| 7 | S,31 | 岡山市 | ＬＳ | 権田　節子 | 山陽女高ＯＧ | 2位 | ＬＳ | 光本　政子 | 山陽女高ＯＧ | 3位 |
| | | | ＬＤ | 友野・権田 | 山陽女高ＯＧ | 優勝 | ＬＤ | 光本・板谷 | 山陽女高ＯＧ | 2位 |
| | | | ＬＤ | 良倉・西山 | 山陽女高ＯＧ | 3位 | ＬＤ | 大橋・草野 | 岡山大学 | 4位 |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 山陽女高教員 | 優勝 | 30MS | 山上　周之 | フラッシュクラブ | 3位 |
| | | | 30MD | 山上・金尾 | フラッシュ・井原高教 | 3位 | 40MD | 梶原・小梶 | 岡山市役所 | 3位 |
| | | | 40MD | 崎本・社 | 岡山市役所 | 4位 | ＭＩＸ | 毛利・板谷 | 山陽女教・山陽女ＯＧ | 2位 |
| 8 | S,32 | 大阪市 | ＬＳ | 小林・戸田 | 岡山市役所 | 優勝 | 30MS | 毛利　清志 | フラッシュクラブ | 優勝 |
| | | | 30MD | 毛利・山上 | フラッシュクラブ | 優勝 | | | | |
| | | | ＭＳ | 前田　俊一 | フラッシュクラブ | 3位 | ＭＤ | 前田・石原 | フラッシュクラブ | 2位 |
| | | | ＬＳ | 草野千恵子 | フラッシュクラブ | 5位 | | | | |
| 9 | S,33 | 松山市 | 30MS | 毛利　清志 | フラッシュクラブ | 優勝 | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 3位 |
| | | | 30MS | 山上　周之 | フラッシュクラブ | 5位 | 30MD | 毛利・山上 | フラッシュクラブ | 優勝 |
| | | | 30MD | 水川・梶原 | 岡山市役所 | 5位 | ＭＩＸ | 西崎・草野 | フラッシュクラブ | 5位 |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | フラッシュクラブ | 優勝 | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 3位 |
| 10 | S,34 | 菊池市 | 30MD | 毛利・山上 | フラッシュクラブ | 優勝 | 50MS | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | 優勝 |
| | | | 50MD | 小梶・崎本 | 岡山市役所 | 優勝 | | | | |
| 11 | S,35 | 宇部市 | 30MS | 毛利　清志 | フラッシュクラブ | 優勝 | 30MS | 平井　明朗 | 柵原鉱山 | 3位 |
| | | | 30MD | 毛利・山上 | フラッシュクラブ | 優勝 | 40MS | 輪竹　清 | 柵原鉱山 | 優勝 |

## ⑬全日本ジュニア選手権大会

第12回大会より「ＪＯＣジュニアオリンピックカップ・全日本ジュニア選手権大会」となる
略称（ＪＢＳ＝ジュニア男子単：ＪＢＤ＝ジュニア男子複，ＪＧＳ＝ジュニア女子単：ＪＧＤ＝ジュニア女子複，ＭＢＳ＝中学新人男子単，ＭＧＳ＝中学新人女子単）

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 選手名 | 所属 | 最終戦績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,57 | 東京都 | | 不参加 | | |
| 2 | S,58 | 東京都 | | 不参加 | | |
| 3 | S,59 | 東京都 | ＪＧＳ | 近常直美 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | ＪＧＤ | 近常直美・竹原純子 | 山陽女子高 | 5位 |
| 4 | S,60 | 東京都 | ＪＧＳ | 西林昭子 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| 5 | S,61 | 上尾市 | | 不参加 | | |
| 6 | S,62 | 上尾市 | ＪＢＳ | 平尾昌也 | 瀬戸南高 | 1回戦 |
| | | | ＪＢＤ | 平尾昌也・片岡義博 | 瀬戸南高 | 5位 |
| | | | ＪＧＳ | 佐藤由香 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| | | | ＪＧＤ | 佐藤由香・渡部美香 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| 7 | S,63 | 邑楽町(群馬県) | | 不参加 | | |
| 8 | H,元 | 長岡京市 | ＪＢＳ | 三辻邦章 | 瀬戸南高 | 1回戦 |
| | | | ＭＢＳ | 草井篤 | 上南中 | 5位 |
| | | | ＭＧＳ | 住矢直美 | 岡北中 | 1回戦 |
| 9 | H,2 | 大和市 | ＪＧＳ | 佐藤由紀 | 山陽女子高 | 3回戦 |
| | | | ＪＧＤ | 佐藤由紀・住矢美幸 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| 10 | H,3 | 上尾市 | ＭＧＳ | 加藤美香 | 岡北中 | 1回戦 |
| | | | ＭＢＳ | 数田佳伸 | 玉島東中 | 3回戦 |
| 11 | H,4 | 前橋市 | ＪＢＳ | 草井篤 | 瀬戸南高 | 2回戦 |
| | | | ＪＧＳ | 松王峰代子 | 山陽女子高 | 4回戦 |
| | | | ＭＢＳ | 杉島学 | 上道中 | 4回戦 |
| | | | ＭＧＳ | 田井優希 | 児島中 | 2回戦 |
| 12 | H,5 | 上尾市 | ＪＢＳ | 楢原功士 | 倉敷工業高 | 3回戦 |
| | | | ＪＧＳ | 雄龍あゆみ | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | ＭＢＳ | 橋村竜彦 | 倉敷南中 | 5位 |
| | | | ＭＧＳ | 加藤しのぶ | 岡北中 | 3回戦 |
| 13 | H,6 | 太田市 | ＪＢＳ | 宮澤勝智 | 瀬戸南高 | 1回戦 |
| | | | ＪＧＳ | 加藤美香 | 山陽女子高 | 3回戦 |
| | | | ＭＢＳ | 橋村竜彦 | 倉敷福田中 | 3回戦 |
| | | | ＭＧＳ | 河野亜矢子 | 多津美中 | 5位 |
| 14 | H,7 | 甲府市 | ＪＢＳ | 松川大記 | 倉敷工業高 | 2回戦 |
| | | | | 橋村竜彦 | 倉敷福田中 | 1回戦 |
| | | | ＪＧＳ | 田井優希 | 山陽女子高 | 棄権 |
| | | | ＭＢＳ | 平田雄已 | 総社西中 | 3回戦 |
| | | | | 西峯大輔 | 倉敷福田中 | 2回戦 |
| | | | | 尾崎良一助 | 山南中 | 2回戦 |
| | | | ＭＧＳ | 五味とも子 | 倉敷北中 | 4回戦 |
| | | | | 谷口貴美 | 山陽女子中 | 3回戦 |
| | | | | 守屋仁美 | 倉敷第一中 | 2回戦 |
| 15 | H,8 | 滝沢村(岩手県) | ＪＢＳ | 柴田匡史 | 倉敷工業高 | 2回戦 |
| | | | ＪＧＳ | 谷口貴美 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | | 山本泰子 | 倉敷翠松高 | 2回戦 |
| | | | ＭＢＳ | 西峯大輔 | 倉敷福田中 | 3位 |
| | | | | 三宅康祐 | 玉島東中 | 5位 |
| | | | | 稲田耕治 | 多津美中 | 4回戦 |
| | | | | 佐伯浩一 | 連島中 | 2回戦 |
| | | | ＭＧＳ | 柏野則子 | 総社東中 | 2回戦 |
| | | | | 谷口知子 | 山南中 | 2回戦 |
| | | | | 藤田由美 | 連島中 | 1回戦 |
| | | | | 藤原孝恵 | 連島中 | 1回戦 |

## (14)全日本シニア選手権大会

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,59 | 上尾市 | 30MD | 吉原・小河原 | クラレ岡山 | 2回戦 | | | | |
| 2 | S,60 | 上尾市 | 30MS | 永井　孝 | 永井BC | 2回戦 | | | | |
| 3 | S,61 | 松山市 | 30MD | 吉原・小河原 | クラレ岡山 | 3回戦 | 40MS | 三宅　勝 | 倉敷中央高教 | 2回戦 |
| | | | 40MD | 三宅・藤原 | 中央高教・香川県 | 5位 | | | | |
| 4 | S,62 | 東京 | 記録不明 | | | | | | | |
| | | | 30MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 2位 | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 3位 |
| | | | 30MS | 岡本　次郎 | 岡北中教員 | 3回戦 | 30MS | 永井　孝 | 永井BC | 2回戦 |
| 5 | S,63 | 坂出市 | 30MS | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 2回戦 | 30MS | 松本　哲也 | 雄神小教員 | 2回戦 |
| | | | 30MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 2位 | 30MD | 中山・山本清 | 川崎製鉄・三井造船 | 3回戦 |
| | | | 30LS | 原田美智子 | 松本組 | 5位 | 30LD | 原田・今津 | 松本組・埼玉県 | 優勝 |
| | | | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 優勝 | 30MS | 岡本　次郎 | 岡北中教員 | 2回戦 |
| 6 | H,元 | 愛知 | 30MD | 藤原・出石 | 川崎製鉄・鳥取県 | 優勝 | 30MD | 中山・山本 | 川崎製鉄・三井造船 | 5位 |
| | | | 30LD | 山本美智子・今津 | 松本組・埼玉県 | 優勝 | | | | |
| | | | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 優勝 | 30MS | 藤原　一志 | 中谷興運 | 3位 |
| 7 | H,2 | 京都 | 30MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 5位 | 30MS | 山本　清 | 三井造船 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 永井　孝 | 永井BC | 2回戦 | | | | |
| | | | 30MD | 藤原一志・平田 | 中谷興運・川鉄 | 5位 | 30MD | 山本・中山 | 三井造船・川崎製鉄 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 2位 | 30MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 3位 |
| | | | 30MS | 藤原　一志 | 中谷興運 | 5位 | 30MS | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 永井　孝 | 永井BC | 3回戦 | 30MS | 若林　秀夫 | 三菱石油 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 藤井　久美 | 清音村役場 | 2回戦 | 30MS | 中須賀祥雅 | 倉敷第一中教 | 2回戦 |
| 8 | H,3 | 広島市 | 30MS | 中村　行治 | ちろりん村 | 1回戦 | 30MS | 山本　清 | 三井造船 | 1回戦 |
| | | | 30MD | 藤原一志・平田 | 中谷興運・川鉄 | 5位 | 30MD | 山本・中山 | 三井造船・川崎製鉄 | 5位 |
| | | | 30MD | 永井・藤井 | 永井・清音村 | 2回戦 | 30MD | 中村・若林 | ちろりん村・三菱石油 | 2回戦 |
| | | | 30MD | 中須賀・平島秀典 | 倉敷第一中教・清輝小教 | 1回戦 | 40MS | 岡本　次郎 | 岡北中教員 | 3回戦 |
| | | | 30LD | 山本・今津 | 松本組・埼玉県 | 優勝 | | | | |
| | | | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 優勝 | 30MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 3位 |
| | | | 30MS | 藤原　一志 | 中谷興運 | 5回戦 | 30MS | 竺原　博文 | 三菱化成 | 5回戦 |
| 9 | H,4 | 石巻市 | 30MS | 中村　行治 | ちろりん村 | 4回戦 | | | | |
| | | | 30MD | 藤原道弘・出石 | 川崎製鉄・鳥取県 | 2位 | 30MD | 永井・中村 | 永井・ちろりん村 | 3回戦 |
| | | | 30MD | 藤原一志・平田 | 中谷興運・川鉄 | 3回戦 | | | | |
| 10 | H,5 | 東京都 | 60MS | 西崎　正明 | 岡山女子短大 | 1回戦 | 60MS | 毛利　清志 | | 棄権 |
| | | | 60MD | 毛利・西崎 | 岡山女短大 | 3位 | | | | |
| | | | 30MS | 藤井　久美 | 清音村役場 | 3回戦 | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 中村　行治 | ちろりん村 | 1回戦 | | | | |
| 11 | H,6 | 上尾市 | 30MD | 藤原・出石 | 川崎製鉄・鳥取県 | 5位 | 30MD | 藤井・中村 | 清音村役場・ちろりん村 | 1回戦 |
| | | | 40MS | 永井　孝 | 永井BC | 5位 | | | | |
| | | | 60MS | 毛利　清志 | | 5位 | 60MS | 西崎　正明 | 順正短期大 | 2回戦 |
| | | | 60MD | 毛利・西崎 | 順正短期大 | 1回戦 | | | | |
| 12 | H,7 | 大阪市 | 60MS | 毛利　清志 | | 3位 | 60MS | 西崎　正明 | 順正短期大 | 1回戦 |
| | | | 60MD | 毛利・西崎 | 順正短期大 | 5位 | | | | |
| | | | 30MS | 若林　邦任 | RSナガイ | 優勝 | 30MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 5位 |
| | | | 30MS | 藤井　久美 | 清音村役場 | 2回戦 | 30MS | 山本　清 | 三井造船 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 田枝　誠一 | クラレ倉敷 | 2回戦 | 30MS | 大倉　達也 | 三井造船 | 2回戦 |
| | | | 30MD | 藤原・若林 | 川鉄・ナガイ | 3回戦 | 30MD | 藤井・田枝 | 清音村役場・クラレ倉敷 | 2回戦 |
| 13 | H,8 | 松山市 | 30MD | 山本・大倉 | 三井造船 | 1回戦 | | | | |
| | | | 40MS | 永井　孝 | RSナガイ | 3回戦 | 40MS | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | 40MD | 永井・中山 | ナガイ・川鉄 | 1回戦 | | | | |
| | | | 50MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 2回戦 | 50MS | 吉原　俊治 | クラレ岡山 | 2回戦 |
| | | | 50MD | 田丸・吉原 | 三井造船・クラレ岡山 | 2回戦 | | | | |

## (15) 全日本（全日本総合）選手権大会

略称（予は予選会を示す）

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | S,28 | 新潟市 | BS | 松王 清志 | 西大寺高 | 4回戦 | BS | 米田 敬二 | 倉敷青陵高 | 2回戦 |
| | | | BS | 三村 徳道 | 倉敷青陵高 | 2回戦 | BS | 武田 義展 | 倉敷老松高 | 1回戦 |
| | | | BS | 前田 俊一 | 倉敷老松高 | 1回戦 | | | | |
| | | | BD | 武田・前田 | 倉敷老松高 | 1回戦 | BD | 米田・三村 | 倉敷青陵高 | 1回戦 |
| | | | GS | 吉川 英子 | 山陽女子高 | 4位 | GS | 大森 嘉美 | 山陽女子高 | 4回戦 |
| | | | GS | 貝原 勝子 | 倉敷青陵高 | 2回戦 | GS | 友野 文子 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| | | | GS | 難波 芳子 | 倉敷青陵高 | 1回戦 | | | | |
| | | | GD | 吉川・大森 | 山陽女子高 | 5位 | GD | 板谷通子・友野 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | GD | 貝原・難波 | 倉敷青陵高 | 2回戦 | | | | |
| | | | MS | 重実 清志 | 山陽学園教 | 1回戦 | MS | 内藤 勇 | 岡山大学 | 1回戦 |
| | | | MD | 重実・内藤 | 山陽学園教・岡山大学 | 1回戦 | LS | 大塚 洋子 | 山陽女OG | 2回戦 |
| | | | LS | 野口 敏子 | 青陵高OG | 2回戦 | LD | 大塚・野口 | 山陽女OG・青陵OG | 2回戦 |
| | | | MIX | 重実・大塚 | 山陽学園教・山女OG | 2回戦 | MIX | 内藤・吉川 | 岡山大学・山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | MIX | 松王・大森 | 西大寺高・山陽女子高 | 1回戦 | | | | |
| | | | 40MS | 村山 寛 | 青陵高教員 | 棄権 | 40MS | 福守 茂 | 青陵高教員 | 棄権 |
| | | | 40MD | 村山・福守 | 青陵高教員 | 棄権 | | | | |
| 7 | S,29 | 東京都 | BS | 松王 清志 | 西大寺高 | 2回戦 | BS | 米田 敬二 | 倉敷青陵高 | 2回戦 |
| | | | BS | 加川 哲雄 | 倉敷青陵高 | 2回戦 | BD | 米田・加川 | 倉敷青陵高 | 3回戦 |
| | | | GS | 吉川 英子 | 山陽女子高 | 5位 | GS | 大森 嘉美 | 山陽女子高 | 5位 |
| | | | GS | 友野 文子 | 山陽女子高 | 4回戦 | | | | |
| | | | GD | 吉川・大森 | 山陽女子高 | 優勝 | | | | |
| | | | MS | 前田 俊一 | 徳山電気 | 2回戦 | MD | 前田・松王 | 徳山電気・西大寺高 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 山上 周之 | 大久保食品 | 1回戦 | | | | |
| | | | MIX | 重実・友野 | 山陽学園教・山陽女高 | 5位 | MIX | 前田・大森 | 徳山電気・山陽女子高 | 5位 |
| 8 | S,30 | 高松市 | BS | 松田 国弘 | 西大寺高 | 3回戦 | BS | 行司 忠章 | 西大寺高 | 3回戦 |
| | | | BS | 石原 利通 | 西大寺高 | 1回戦 | BS | 石原縫次郎 | 西大寺高 | 1回戦 |
| | | | BD | 加納正之・渡辺 | 倉敷青陵高 | 3回戦 | BD | 松田・石原縫 | 西大寺高 | 2回戦 |
| | | | BD | 行司・石原利 | 西大寺高 | 2回戦 | | | | |
| | | | GS | 友野 文子 | 山陽女子高 | 優勝 | GS | 光本 政子 | 山陽女子高 | 2位 |
| | | | GS | 三宅 基子 | 山陽女子高 | 3位 | GS | 権田 節子 | 山陽女子高 | 5位 |
| | | | GS | 戸田 寿子 | 山陽女子高 | 5位 | GS | 小林 桂子 | 山陽女子高 | 3回戦 |
| | | | GS | 藤原 泰子 | 山陽女子高 | 3回戦 | GS | 根岸 純 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | GS | 岡野 悦子 | 井原高 | 1回戦 | | | | |
| | | | GD | 小林・三宅 | 山陽女子高 | 優勝 | GD | 権田・友野 | 山陽女子高 | 2位 |
| | | | GD | 光本・戸田 | 山陽女子高 | 3位 | GD | 根岸・藤原 | 山陽女子高 | 5位 |
| | | | MS | 前田 俊一 | 徳山電気 | 2回戦 | MS | 糸島 康元 | 倉敷工OB | 1回戦 |
| | | | MS | 谷口 晴美 | 岡山大学 | 1回戦 | MS | 平尾 晴美 | 岡山大学 | 1回戦 |
| | | | MD | 前田・糸島 | 徳山電気・倉敷工OB | 2回戦 | MD | 谷口・平尾 | 岡山大学 | |
| | | | LS | 大森 嘉美 | 山陽女OG | 5位 | LS | 板谷 通子 | 山陽女OG | 2回戦 |
| | | | LS | 大橋 艶子 | 岡山大学 | 2回戦 | LS | 佐々木武子 | 岡山大学 | |
| | | | LD | 大橋・佐々木 | 岡山大学 | 2回戦 | | | | |
| | | | 30MS | 山上 周之 | 大久保食品 | 2回戦 | 30MD | 山上・金尾善六 | 大久保食品・井原高教 | 4位 |
| | | | 40MS | 角南 博康 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MD | 小梶繁雄・崎本 | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | MIX | 金尾・岡野 | 井原高教員・井原高 | 1回戦 | | | | |
| 9 | S,31 | 東京都 | MS | 前田 俊一 | 徳山電気 | 3回戦 | MS | 藤沢 更司 | 岡山大学 | 2回戦 |
| | | | MS | 今東 幸一 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | |
| | | | MD | 前田・毛利 | 徳山電気・山陽学園教 | 3回戦 | MD | 藤沢・今東 | 岡山大学・岡山市役所 | 2回戦 |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ＬＳ | 権田　節子 | 岡山市役所 | 優勝 | ＬＳ | 光本　政子 | 岡山市役所 | 5位 |
| | | | ＬＳ | 小林　桂子 | 山陽女子高 | 5位 | ＬＳ | 戸田　寿子 | 山陽女子高 | 5位 |
| | | | ＬＳ | 板谷　通子 | 山陽女ＯＧ | 4回戦 | ＬＳ | 藤原　泰子 | 山陽女子高 | 4回戦 |
| | | | ＬＳ | 守安　昭子 | 山陽女子高 | 2回戦 | ＬＳ | 根岸　純 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| 9 | S,31 | 東京都 | ＬＤ | 小林・戸田 | 山陽女子高 | 優勝 | ＬＤ | 権田・友野 | 岡山市役所・山女ＯＧ | 2位 |
| | | | ＬＤ | 光本・守安 | 岡山市役所・山陽女高 | 2回戦 | ＬＤ | 根岸・藤原 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | | 40MS | 社　竹三 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MS | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | 40MS | 崎本幸三郎 | 岡山市役所 | 1回戦 | 40MD | 梶原・小梶 | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | 40MD | 崎本・社 | 岡山市役所 | 1回戦 | ＭＩＸ | 毛利・光本 | 山陽学園教・岡山市 | 3位 |
| | | | ＭＳ | 石原　利通 | 岡山市役所 | 5回戦 | ＭＳ | 前田　俊一 | 徳山電気 | 2回戦 |
| | | | ＬＳ | 光本　政子 | 岡山市役所 | | ＬＳ | 板谷　通子 | 岡山市役所 | |
| | | | ＬＳ | 小林　桂子 | 岡山市役所 | | ＬＳ | 戸田　寿子 | 岡山市役所 | |
| | | | ＬＳ | 大橋　艶子 | 岡山大学 | | ＬＳ | 草野千栄子 | 岡山大学 | |
| | | | ＬＳ | 丸山　智子 | 青陵高ＯＧ | | ＬＳ | 田中　俊子 | 井原高ＯＧ | |
| | | | ＬＤ | 小林・戸田 | 岡山市役所 | | ＬＤ | 大橋・草野 | 岡山大学 | |
| 10 | S,32 | 横浜市 | ＬＤ | 板谷・丸山 | 岡山市役所・青陵ＯＧ | | ＬＤ | 田中・滝本 | 井原高ＯＧ | |
| | | | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園教 | 優勝 | 30MS | 山上　周之 | 山陽学園職 | |
| | | | 30MS | 金尾　善六 | 井原高教員 | | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | |
| | | | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | 30MD | 金尾・水川 | 井原高教・岡山市役所 | |
| | | | 40MS | 梶原　馨 | 岡山市役所 | | | | | |
| | | | ＭＩＸ | 石原・戸田 | 岡山市役所 | 優勝 | ＭＩＸ | 毛利・小林 | 山陽学園教・岡山市 | 3位 |
| | | | ＭＩＸ | 前田・光本 | 徳山電気・岡山市役所 | 5位 | | | | |
| 11 | S,33 | 東京都 | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園教 | 優勝 | 30MS | 山上　周之 | 山陽学園職 | 4位 |
| | | | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 | | 他は不明 | | |
| 12 | S,34 | 長野市 | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 |
| | | | | 他は不明 | | | | | | |
| | | | ＭＳ | 小松　貴 | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | |
| | | | ＬＳ | 根岸　純 | 岡山市役所 | 3回戦 | ＬＳ | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | ＬＤ | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | |
| 13 | S,35 | 横浜市 | 30MS | 毛利　清志 | 山陽学園 | 優勝 | 30MS | 山上　周之 | 山陽学園 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 西崎　正明 | 丸之内中教 | 1回戦 | 30MD | 毛利・山上 | 山陽学園 | 優勝 |
| | | | 50MS | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | 2位 | 50MS | 崎本幸三郎 | 岡山市役所 | 4位 |
| | | | 50MD | 小梶・崎本 | 岡山市役所 | 2位 | | | | |
| | | | ＭＩＸ | 毛利・根岸 | 山陽学園・岡山市役所 | 2位 | ＭＩＸ | 小松・湯浅 | 岡山市役所 | 3位 |

☆S,36年より「昭和35年度全日本総合選手権大会」の名称に変わり，一般男女単複と混合複の５種目となる。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和35年度 | 東京都 | ＬＳ | 根岸　純 | 岡山市役所 | 2回戦 | ＬＤ | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | 3位 |
| | | ＭＩＸ | 毛利・根岸 | 山陽学園・岡山市役所 | 優勝 | | | | |
| 昭和36年度 | 京都市 | ＭＩＸ | 毛利・根岸 | 山陽学園・岡山市役所 | 2位 | | | | |
| 昭和40年度 | 秋田市 | ＬＳ | 湯木　博江 | 山陽女子高 | 2回戦 | ＬＳ | 浦口　恵子 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| | | ＬＤ | 湯木・浦口 | 山陽女子高 | 2回戦 | | | | |
| 昭和41年度 | 東京都 | ＬＳ | 湯木　博江 | 山陽女子高 | 5位 | ＬＳ | 浦口　恵子 | 山陽女子高 | 2回戦 |
| | | ＬＤ | 湯木・浦口 | 山陽女子高 | 5位 | | | | |
| 昭和47年度 | 東京都 | ＬＤ | 三田明美・寺見みど里 | 山陽女子高 | 2回戦 | | | | |
| 昭和48年度 | 東京都 | ＬＳ | 近藤　小織 | 山陽女子高 | 1回戦 | | | | |
| 昭和49年度 | 東京都 | ＬＳ | 原田美智子 | 山陽女子高 | | | | | |
| | | ＬＤ | 小寺裕美・日原禎子 | 山陽女子高 | 2回戦 | ＬＤ | 原田・藤原敦子 | 山陽女子高 | 1回戦 |
| 昭和50年度 | 東京都 | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | 1回戦 | ＭＩＸ | 石田・関一誠 | 県教委・東京 | 2回戦 |

| 年度 | 場所 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 氏名 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 昭和51年度 | 東京都 | ＬＳ | 石田　雅子 | 県教育委員会 | ２回戦 | ＬＤ | 石田・林寿美子 | 県教委・山陽女高教 | ２回戦 |
| | | ＭＩＸ | 石田・　関 | 県教委・東京 | ５　位 | | | | |
| 昭和52年度 | 東京都 | ＭＩＸ | 石田・　関 | アサヒブレッド・東京 | | | | | |
| 昭和55年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 水島工業高 | ２回戦 | | | | |
| 昭和56年度 | 東京都 | ＬＳ | 近藤　小織 | 松　本　組 | ５　位 | ＬＳ | 高田　幹子 | 松　本　組 | ２回戦 |
| | | ＬＤ | 近藤・高田 | 松　本　組 | ３　位 | | | | |
| 昭和57年度 | 東京都 | ＭＳ | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 予１回戦 | ＭＤ | 藤原・平田重男 | 川崎製鉄 | 予２回戦 |
| | | ＬＳ | 河本　小織 | 松　本　組 | ５　位 | ＬＳ | 合田なおみ | 松　本　組 | 予１回戦 |
| | | ＬＤ | 河本・高田 | 松　本　組 | ２　位 | ＬＤ | 合田・天野真理 | 松本組・クラレ岡山 | 予１回戦 |
| | | ＭＩＸ | 山本清・高田 | 三井造船・松本組 | ５　位 | | | | |
| 昭和58年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予５位 | | | | |
| | | ＬＳ | 河本　小織 | ＲＨコングッド | ２　位 | ＬＳ | 原田美智子 | 松　本　組 | 予５位 |
| | | ＬＤ | 原田・小寺裕美 | 松本組・水島工高職員 | 予２回戦 | ＭＩＸ | 芳上一男・皿井由美子 | 三井造船・山陽学園教 | 予５位 |
| 昭和59年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | ２回戦 | ＭＳ | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 予１回戦 |
| | | ＭＤ | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | １回戦 | | | | |
| | | ＬＳ | 原田美智子 | 松　本　組 | １回戦 | ＬＳ | 合田なおみ | 松　本　組 | 予２回戦 |
| | | ＬＤ | 原田・合田 | 松　本　組 | 予５位 | | | | |
| 昭和60年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予５位 | ＬＳ | 合田なおみ | 松　本　組 | 予２回戦 |
| | | ＭＤ | 藤原・若林 | 川崎製鉄・三井造船 | 予５位 | | | | |
| 昭和61年度 | 東京都 | ＭＳ | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 予２回戦 | ＭＤ | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 予１回戦 |
| | | ＬＤ | 合田・天野 | 松本組・クラレ岡山 | 予５位 | | | | |
| 昭和62年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予２回戦 | ＭＤ | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 予５位 |
| | | ＬＳ | 西林　昭子 | 備前市役所 | 予１回戦 | ＬＤ | 西林・紀井晴美 | 備前市役所・松下電器 | 予５位 |
| 昭和63年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予５位 | ＭＤ | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | |
| | | ＬＳ | 岡　百合子 | 岡山市役所 | 予１回戦 | ＬＤ | 岡良依・河原美津巳 | 松　本　組 | |
| 平成元年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予２回戦 | ＬＳ | 岡　百合子 | 岡山市役所 | 棄権 |
| 平成２年度 | 東京都 | ＭＳ | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 予１回戦 | ＭＤ | 藤原・若林 | 川崎製鉄・三井造船 | 予３位 |
| | | ＭＤ | 藤原・若林 | 川崎製鉄・三井造船 | ２回戦 | ＬＤ | 岡・渡邊美穂 | ま　つ　も　と | 予１回戦 |
| 平成３年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予２回戦 | ＭＤ | 藤原・若林 | 川崎製鉄・三井造船 | 予２回戦 |
| | | ＬＤ | 佐藤由香・藤原清美 | ま　つ　も　と | 予１回戦 | | | | |
| 平成４年度 | 守口市 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予２回戦 | ＭＤ | 福田哲・三辻邦章 | 松下電器・三井造船 | 予１回戦 |
| 平成５年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 三井造船 | 予２回戦 | ＭＤ | 福田・三辻 | 松下電器・三井造船 | 予５位 |
| | | ＭＩＸ | 福田・佐藤 | 松下電器・まつもと | 予５位 | | | | |
| 平成６年度 | 守口市 | ＭＳ | 三辻　邦章 | 三井造船 | 予１回戦 | ＭＤ | 福田・三辻 | 松下電器・三井造船 | 予２回戦 |
| | | ＬＳ | 住矢美幸 | ま　つ　も　と | 予２回戦 | | | | |
| 平成７年度 | 東京都 | ＭＳ | 若林　邦任 | 永井ＢＣ | 予１回戦 | ＭＩＸ | 福田・佐藤 | 松下電器・まつもと | 予２回戦 |
| 平成８年度 | 守口市 | ＭＳ | 福田　哲 | 松下電器 | 予２回戦 | ＭＩＸ | 福田・佐藤 | 松下電器・中四国農政局 | 予２回戦 |

## (16)国民体育大会

### ①県予選会　☆少年の部は県内高校の記録を参照のこと。(倉敷老松=倉敷工業・倉敷精思=倉敷青陵・倉敷至誠=倉敷商業)

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4<br>S,24 | MS | 原恵二(倉敷商業高)宮城政年(鐘紡西大寺)山上周之(食糧公団)多賀和男(倉敷工業高) | | | | | | | |
| | MD | 重実清志(真備高教)佐藤正(倉敷工高)小田(柵原鉱山)森山(倉敷工高)以上ベスト8順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 原・井沢(倉敷工高)組,松本良三・宮城(鐘紡西大寺)組,森山・多賀(倉敷工高)組, | | | | | | | |
| | LD | 山上・西平(食糧公団)組がベスト4で順位不明(原組は山上組に勝ち) | | | | | | | |
| | | 山村(鐘紡西大寺)と上野節子(青陵高)で決勝 | | | | 更井　幹示 | 林薬品 | 平松　久子 | 青陵高 |
| | | 西岡恭子(倉敷精思高)・上野と佐藤・前原(ともに青陵高)で決勝 | | | | 平松・矢野 | 青陵高 | 児島・伊丹 | 真備高 |
| 5<br>S,25 | MS | 原　恵二 | 倉敷商OB | 井沢　豊 | 倉敷工OB | 多賀　和男 | 鐘紡西大寺 | 宮城　政年 | 鐘紡西大寺 |
| | MD | 原・井沢 | 倉商OB・倉工OB | 宮城・多賀 | 鐘紡西大寺 | 山上・友滝 | 食糧公団 | 重実・斉藤 | 岡山バド倶楽部 |
| | LS | 前原　福子 | 青陵高 | 難波　芳子 | 青陵高 | 佐藤　房子 | 青陵高 | 中田　裕子 | 青陵高 |
| | LD | 前原・難波と佐藤・中田(ともに青陵高)で決勝戦 | | | | 更井・児島 | 林薬品・真備高 | 小野・加藤 | 青陵高 |
| 6<br>S,26 | MS | 原　恵二 | 倉敷商OB | 三宅　二朗 | 倉敷工OB | 井沢　豊 | 倉敷商OB | 4重実　清志 | 山陽女教 |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 難波　芳子 | 青陵高 | 加藤まつ子 | 青陵高 | 小野　三和 | 青陵高 | 4大塚　洋子 | 山陽女高 |
| | LD | | | | | | | | |
| 7<br>S,27 | MS | 原　恵二 | 倉敷商OB | 内藤　勇 | 岡山大学 | 三宅　二朗 | 倉敷工OB | 4古市　博 | 青陵高OB |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 前原福子・佐藤房子・難波芳子・加藤まつ子（ともに倉敷青陵高OG）順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| 8<br>S,28 | MS | 重実清志(山陽女子教)前田俊一(徳山電気)内藤勇(岡山大学)古市博(青陵高OB)順位不明 | | | | | | | |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 大塚洋子(大阪樟陰女子大)辻芳子(山陽女OG)難波芳子・野口敏子(ともに青陵高OG)順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| 9<br>S,29 | MS | 重実　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | 徳山電気 | 古市　博 | 青陵高OB | 4金尾　善六 | 井原高教 |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 吉川　英子 | 山陽女OG | 貝原　勝子 | 青陵高OG | 土屋かし子 | 山陽女OG | 4辻　芳子 | 山陽女OG |
| | LD | | | | | | | | |
| 10<br>S,30 | MS | 重実清志(山陽女子高教員)前田俊一(徳山電気)石原利通(岡山市役所)順位不明 | | | | | | | |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 大森嘉美(山陽女子高OG)野口敏子・津島伸子(ともに倉敷青陵高OG)順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| 11<br>S,31 | MS | 毛利清志(山陽女子高教員)前田俊一(徳山電気)石原利通(岡山市役所)順位不明 | | | | | | | |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 権田節子・光本政子(ともに岡山市役所)・友野文子(山陽女子高OG)順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| 12<br>S,32 | MS | 前田　俊一 | 徳山電気 | 石原　利通 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山女高教 | | |
| | MD | 前田・糸島 | 徳山電気 | 毛利・金尾 | 山女教・井原教 | | | | |
| | LS | 権田　節子 | 岡山市 | 光本　政子 | 岡山市 | 小林　桂子 | 岡山市 | | |
| | LD | | | | | | | | |
| 13<br>S,33 | MS | 前田　俊一 | 徳山電気 | 石原　利通 | 岡山市 | 毛利　清志 | 山女高教 | | |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | 権田　節子 | 岡山市 | 光本　政子 | 岡山市 | 小林　桂子 | 山陽女OG | | |
| | LD | | | | | | | | |
| 14<br>S,34 | MS | 石原　利通 | 岡山市 | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 今東　幸一 | 岡山市 | 4松田　国宏 | 天満屋 |
| | MD | 前田・山上 | フラッシュ | 毛利・西崎 | フラッシュ | 石原・馬場 | 岡山市 | 4金尾・水川 | フラッシュ |
| | TS | 毛利　清志 | 山陽女高 | 藤沢　更司 | 荏原小 | 西崎　正明 | 丸之内中 | 4秋山　忠明 | 山田小 |
| | LS | 権田　節子 | 岡山市 | 光本　政子 | 岡山市 | 板谷　通子 | 岡山市 | 4小林　桂子 | 山陽女OG |
| | LD | | | | | | | | |
| 15<br>S,35 | MS | 石原利通・　小松貴(ともに岡山市役所)青井正義(内山コルク)順位不明 | | | | | | | |
| | MD | | | | | | | | |
| | TS | 毛利清志(山陽女子)西崎正明(丸之内中)藤沢更司(荏原小)順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 根岸純・湯浅光枝(ともに岡山市役所)戸田裕子(山陽女子高OG)順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 前田 俊一 | フラッシュ | 青井 正義 | 内山コルク | 4若松 康弘 | 三井造船 |
| 16 | MD | 青井・前田 | フラッシュ | 小松・水川 | 岡山市 | 西崎・藤沢 | 丸之内中 | 4毛利・山上 | 山女教職 |
| S,36 | TS | 毛利 清志 | 山陽女高 | 藤沢 更司 | 金浦小 | 西崎 正明 | 丸之内中 | | |
| | LS | 根岸純・湯浅光枝・合田君子（ともに岡山市役所）順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 前田俊一（丸菱商事）松王清志（大阪合繊）小松貴（岡山市役所）順位不明 | | | | | | | |
| 17 | MD | | | | | | | | |
| S,37 | TS | 毛利清志（山陽女子高）西崎正明（丸之内中）藤沢更司（金浦小）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 根岸純・湯浅光枝（ともに岡山市役所）藤本澄子（井原高ＯＧ）順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松貴（岡山市役所）寺内侃一（岡山県庁）朝原航（三井造船）順位不明 | | | | | | | |
| 18 | MD | | | | | | | | |
| S,38 | TS | 毛利清志（山陽女子高）西崎正明（丸之内中）高田浩二（久世高）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 根岸純・湯浅光枝（ともに岡山市役所）重政百代（倉敷レーヨン岡山）順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 青井 正義 | 内山コルク | 小松 貴 | 岡山市 | 寺内 侃一 | 岡山県庁 | 4前田 俊一 | 丸菱商事 |
| 19 | MD | | | | | | | | |
| S,39 | TS | 毛利 清志 | 山陽女高 | 高田 浩二 | 久世高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | | |
| | LS | 小合 佳子 | 倉敷レーヨン岡山 | 根岸 純 | 岡山市 | 重政 百代 | 倉敷レーヨン岡山 | 4湯浅 光枝 | 岡山市 |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 青井 正義 | 内山コルク | 松王 重明 | 協和フィルタ | 4前田 俊一 | 丸菱商事 |
| 20 | MD | | | | | | | | |
| S,40 | TS | 毛利 清志 | 山陽女高 | 柳本 堯敏 | 東児中 | 三宅 勝 | 大安寺高 | 4西崎 正明 | 丸之内中 |
| | LS | 小合 佳子 | 倉敷レーヨン岡山 | 重政 百代 | 倉敷レーヨン岡山 | 大賀 恵子 | 倉敷レーヨン岡山 | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 松王 重明 | 協和フィルタ | 前田 俊一 | 丸菱商事 | 4藤井 英雄 | 岡山市 |
| 21 | MD | | | | | | | | |
| S,41 | TS | 毛利清志（山陽女子高）三宅勝（成羽高）柳本堯敏（藤田中）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 小合佳子・重政百代・大賀恵子（ともに倉敷レーヨン岡山）順位不明 | | | | | | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 前田 俊一 | 丸菱商事 | 藤井 英雄 | 岡山市 | 4八代 順二 | 印刷局 |
| 22 | MD | | | | | | | | |
| S,42 | TS | 毛利 清志 | 山陽女高 | 柳本 堯敏 | 藤田中 | 三宅 勝 | 成羽高 | 4高田 浩二 | 天城高 |
| | LS | 高塚 淳子 | 県警察署 | 大賀 恵子 | 倉敷レーヨン岡山 | 光岡 由枝 | 県警察署 | 4佐藤 民子 | 西大寺エクステン |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 藤井 英雄 | 岡山市 | 芳上 一男 | 三井造船 | 4上野 輝治 | 三井造船 |
| 23 | MD | | | | | | | | |
| S,43 | TS | 毛利 清志 | 山陽女高 | 三宅 勝 | 成羽高 | 柳本 堯敏 | 藤田中 | 4高田 浩二 | 天城高 |
| | LS | 佐藤 民子 | 西大寺エクステン | 亀山 園子 | 青陵高OG | 杉谷 京香 | 三井造船 | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 芳上 一男 | 三井造船 | 上野 輝治 | 三井造船 | 4藤井 英雄 | 岡山市 |
| 24 | MD | | | | | | | | |
| S,44 | TS | 三宅 勝 | 成羽高 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 柳本 堯敏 | 藤田中 | 4高田 浩二 | 倉敷天城 |
| | LS | 光畑 直美 | 倉敷レーヨン岡山 | 木村 宣子 | 中国銀行 | 鈴木 直美 | 伊予銀行 | 4亀山 園子 | 青陵高OG |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 上野 輝治 | 三井造船 | 森口 隆彦 | 岡大ＯＢ | 芳上 一男 | 三井造船 | 4万代 芳郎 | 三井造船 |
| 25 | MD | 藤井・森口 | 岡山市・岡大OB | 田丸・藤原 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 4小峪・万代 | 三井造船 |
| S,45 | TS | 三宅 勝 | 成羽高 | 柳本 堯敏 | 藤田中 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 4高田 浩二 | 天城高 |
| | LS | 光畑 直美 | 倉敷レーヨン岡山 | 木村 宣子 | 中国銀行 | 鈴木 直美 | 伊予銀行 | 4大石 | 久世体協 |
| | LD | 木村・光畑 | 中銀・倉レ岡 | 大石・三村 | 久世体協 | 長尾・大西 | 三井造船 | 青木・岩下 | 久世体協 |
| | MS | 小松 貴 | 岡山市 | 上野 輝治 | 三井造船 | 芳上 一男 | 三井造船 | 4藤原 航 | 三井造船 |
| 26 | MD | 若松・藤原慶 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤原航・松井 | 三井造船 | 4小峪・氏家 | 玉野ＳＣ |
| S,46 | TS | 三宅 勝 | 成羽高 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 柳本 堯敏 | 旭東中 | 4加藤 孝昭 | 下津井東小 |
| | LS | 浦口 恵子 | 国鉄岡山 | 剛迫ミエ子 | クラレ岡 | 光畑 直美 | クラレ岡 | | |
| | LD | | | | | | | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 4万代　芳郎 | 三井造船 |
| 27 | MD | 片岡・森田 | 川崎製鉄 | 田丸・松井 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 石原・藤原 | 三井造船 |
| S,47 | TS | 三宅　勝 | 水島工高 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 柳本　堯敏 | 旭東中 | 4加藤　孝昭 | 下津井東小 |
| | LS | 大森　恵子 | 山陽女OG | 木村　宣子 | 中国銀行 | 西尾　菊栄 | 山陽女OG | 4鈴木　直美 | 伊予銀行 |
| | LD | 木村・鈴木 | 中銀・伊予銀 | 大森・西尾 | 山陽女OG | 岡本・石原 | 川崎製鉄 | 4藤原・石口 | 川崎製鉄 |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 4万代　芳郎 | 三井造船 |
| 28 | MD | 万代・松井 | 三井造船 | 上野・芳上 | 三井造船 | 藤原・田丸 | 三井造船 | 小松・藤井 | 岡山市 |
| S,48 | TS | 三宅勝（水島工業高）柳本堯敏（旭東中）岡本次郎（玉　中）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 三田明美 | クラレ岡 | 寺見みど里 | クラレ岡 | 木村宣子 | 東陶機器 | 4西尾　菊栄 | 山陽女OG |
| | LD | 三田・寺見 | クラレ岡 | 西尾・木村 | 山陽女OG | 難波・石口 | 川崎製鉄 | | |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | | |
| 29 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 田丸・藤原 | 三井造船 | 小松・藤井 | 岡山市 | 武　・角田 | 倉敷工OB |
| S,49 | TS | 三宅勝（水島工業高）柳本堯敏（旭東中）岡本次郎（玉　中）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 三田　明美 | クラレ岡 | 寺見みど里 | クラレ岡 | 木村　宣子 | 東陶機器 | | |
| | LD | 三田・寺見 | クラレ岡 | 樫　・松岡 | 三井造船 | 吉田・　岡 | 三菱化成 | | |
| | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 | | |
| 30 | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 万代・安斉 | 玉　野 | 小松・藤井 | 岡山市 | 森田・片岡 | 川崎製鉄 |
| S,50 | TS | 三宅勝（水島工業高）岡本次郎（玉中）小田和文（総社東中）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 石田　雅子 | 県教育委 | 藤原　敦子 | クラレ岡 | 三田　明美 | クラレ岡 | | |
| | LD | 三田・藤原 | クラレ岡 | 木村・石田 | 東陶機器・県教委 | 川端・楠本 | 三菱石油 | 岡　・佐藤 | 三菱化成 |
| | MS | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | | |
| 31 | MD | 藤原・松井 | 三井造船 | 芳上・上野 | 三井造船 | 森田・片岡 | 川崎製鉄 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 |
| S,51 | TS | 三宅勝（水島工業高）岡本次郎（上南中）小田和文（総社東中）順位不明 | | | | | | | |
| | LS | 石田　雅子 | 県教育委 | 林　寿美子 | 山女高教 | 藤原　敦子 | クラレ岡 | | |
| | LD | 石田・　林 | 県教委・山女高教 | 藤原・立元 | クラレ岡 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 難波・難波 | 川崎製鉄 |
| | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 | | |
| 32 | MD | 永井・景山 | 川崎製鉄 | 武　・角田 | 備　中 | 藤原・上野 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 |
| S,52 | TS | 小田　和文 | 総社東中 | 岡本　次郎 | 上南中 | 三宅　勝 | 水島工高 | | |
| | LS | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 林　寿美子 | 山女高教 | 佐藤　妙子 | 三菱化成 | | |
| | LD | 石田・　林 | アサヒ・山女高教 | 難波・難波 | 川崎製鉄 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 末尾・　東 | クラレ岡 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 4平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 33 | MD | 永井・景山 | 川崎製鉄 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 松井・山本 | 三井造船 | 板谷・藤井 | クラレ倉・倉敷 |
| S,53 | TS | 岡本　次郎 | 上南中 | 小田　和文 | 総社東中 | 三宅　勝 | 水島工高 | | |
| | LS | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 林　寿美子 | 山女高教 | 林　正子 | 岡大OG | 4岡部　五月 | カネボウ化粧品 |
| | LD | 石田・　林 | アサヒ・山女高教 | 平田・木村 | 川崎製鉄 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 若林・岡本 | 三菱化成 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 | 4平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 34 | MD | 松井・山本 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 永井・景山 | 川崎製鉄 | 金崎・北村 | 川崎製鉄 |
| S,54 | TS | 小田　和文 | 岡山養護 | 三宅　勝 | 水島工高 | 岡本　次郎 | 上南中 | | |
| | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 4森下　真紀 | トッププロスポーツ |
| | LD | 石田・小寺 | アサヒ・岡山市 | 岡部・橋本 | カネボウ・山女OG | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 難波・木村 | 川崎製鉄 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 4永井　孝 | 川崎製鉄 |
| 35 | MD | 永井・北村 | 川崎製鉄 | 藤原・難波 | 水島工OB | 北井・若林 | 三菱石油 | 東　・竺原 | 三菱化成 |
| S,55 | TS | 三宅　勝 | 水島工高 | 小田　和文 | 岡山養護 | 岡本　次郎 | 上南中 | | |
| | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 森下　真紀 | 瀬戸内企業 | 4藤木　史子 | 岡山市 |
| | LD | 小寺・小山 | 松本組 | 岡部・貝原 | カネボウ・岡商会 | 藤木・森下 | 岡山市・瀬戸内 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 |
| | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | | |
| 36 | MD | | | | | | | | |
| S,56 | TS | 三宅　勝 | 水島工高 | 小田　和文 | 岡山養護 | | | | |
| | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 森下　真紀 | トッププロスポーツ | 天野　真理 | クラレ岡 | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 4山本　清 | 三井造船 |
| 37 | MD | 楢本・清水 | 川崎学園 | 近藤・蒲田 | 三井・県酒造販売 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 |
| S,57 | LS | 河本　小織 | 松本組 | 高田　幹子 | 松本組 | 小寺　裕美 | 松本組 | 4合田なおみ | 松本組 |
| | LD | 河本・高田 | 松本組 | 小寺・合田 | 松本組 | 川崎・多久島 | 三菱化成 | 森下・藤原 | 早　島 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | | |
| 38 | MD | | | | | | | | |
| S,58 | LS | 河本　小織 | 松本組 | 高田　幹子 | 松本組 | 中原　裕美 | 水工職員 | | |
| | LD | | | | | | | | |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 4西江　均 | 川崎製鉄 |
| 39 | MD | 藤原・松井 | 三井造船 | 山本・若林 | 三井造船 | 北村・西江 | 川崎製鉄 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 |
| S,59 | LS | 中原　裕美 | 水工職員 | 合田なおみ | 松本組 | 皿井由美子 | 山女高教 | 4天野　真理 | クラレ岡 |
| | LD | 合田・河内 | 松本組 | 藤原・松岡 | 老松 | 福田・万代 | クラレ倉・クラレ岡 | 宮川・山中 | 老松 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 4西江　均 | 川崎製鉄 |
| 40 | MD | 田丸・蒲田 | 三井・佐藤運輸 | 山本・若林 | 三井造船 | 北村・西江 | 川崎製鉄 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 |
| S,60 | LS | 天野　真理 | クラレ岡 | 合田なおみ | 松本組 | 岡　百合子 | 岡山市 | 4福田　正子 | クラレ倉 |
| | LD | 合田・河内 | 松本組 | 安田・石井 | 老松 | 古賀・亀山 | 川崎製鉄 | 萩原・三宅 | 川崎製鉄 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 4藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| 41 | MD | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 藤原・田枝 | 山陽ドラム・クラレ倉 | 川上・古谷野 | 山陽ドラム・水島機工 |
| S,61 | LS | 合田なおみ | 松本組 | 天野　真理 | クラレ岡 | 岡　百合子 | 岡山市 | 4山崎　恵子 | 山女高教 |
| | LD | 合田・　岡 | 松本組・岡山市 | 天野・山崎 | クラレ岡・山女教 | 松岡・三宅 | 三井造船 | 竹内・　林 | 三井造船 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 4藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| 42 | MD | 北村・山下 | 川鉄・クラレ岡 | 高本・大倉 | 三井造船 | 田枝・平田 | クラレ倉・三石 | 貝原・逸見 | 旭化成 |
| S,62 | LS | 紀井　晴美 | 松下電器 | 岡　百合子 | 岡山市 | 西林　昭子 | 備前市 | 4山崎　恵子 | 山女高教 |
| | LD | 竹原純・竹原桂 | エクスラン・印刷 | 松岡・三宅 | 三井・松田病院 | 山崎・西林 | 山女高教・備前市 | 竹内・　林 | 三井造船 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 4藤原　一志 | 山陽ドラム缶 |
| 43 | MD | 若林・竺原 | 三石・三化 | 平田・中山 | 川崎製鉄 | 松本・中須賀 | 旭　東 | 貝原・逸見 | 旭化成 |
| S,63 | LS | 岡　百合子 | 岡山市 | 河原美津巳 | 松本組 | 岡　良依 | 松本組 | 4紀井　晴美 | 松下電器 |
| | LD | 岡・轟 | 岡山市 | 河原・　岡 | 松本組 | 藤原・真鍋 | チェリッシュ | 松岡・三宅 | 三井・松田病院 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム缶 | 4三村　勇人 | 川崎製鉄 |
| 44 | MD | 福田・竺原 | 岡山市・三菱化成 | 山下・白神 | クラレ岡・クラレ玉 | 横田・笠原 | 山陽ドラム缶 | 板谷・藤井 | クラレ倉・清音村 |
| H,元 | LS | 河本　小織 | コングッド | 岡　百合子 | 岡山市 | 河原美津巳 | 松本組 | 4岡　良依 | 松本組 |
| | LD | 河原・　岡 | 松本組 | 森本・峯 | 玉野 | 藤原・武田 | 玉野 | 松岡・　林 | 三井造船 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 中谷興運 | 4竺原　博文 | 三菱化成 |
| 45 | MD | 安藤・藤原 | 辰己商会 | 中須賀・石本 | クラレ岡 | 横田・橋本 | 教　員 | 吉原・池上 | クラレ岡・真備 |
| H,2 | LS | 岡　良依 | まつもと | 藤原　清美 | まつもと | 杉本真紀子 | 翠松高OG | 4土肥まり子 | まつもと |
| | LD | 松王・横田 | 松下電器 | 竹原・西林 | 印刷局・備前市 | 赤沢・岡田 | ちろりん | 堀口・浅野 | クラレ倉・真備 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 中谷興運 | 4三辻　邦章 | 三井造船 |
| 46 | MD | 三好研・三好幸 | 南和工業・極東 | 安藤・鈴木 | 辰己商会・三井 | 香山・山下 | クラレ岡 | 中須賀・横田 | 教　員 |
| H,3 | LS | 岡　良依 | まつもと | 藤原　清美 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 4浅野みどり | 老松 |
| | LD | 岡・渡辺 | まつもと | 藤原・佐藤 | まつもと | 赤沢・岡田 | ちろりん | 土肥・山本 | まつもと |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 4藤原　一志 | 中谷興運 |
| 47 | MD | 大倉・安藤 | 三井・辰己商会 | 坂本・枝木 | 岡山貯金・岡工教 | 横田・立野 | 三化・倉敷化 | 垣見・　林 | 川崎製鉄 |
| H,4 | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 4浅野みどり | 老松 |
| | LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 渡辺・石井 | 山田重量・川鉄 | 土肥・安原 | まつもと | 山本・羽原 | 瀬戸南教・永井 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 横田　豊和 | 三菱化成 | 4福田　哲 | 松下電器 |
| 48 | MD | 坂本・延本 | 岡山貯金・トップ | 中村・武政 | ちろりん | 若林・白神 | 三菱石油 | 竺原・立野 | 三化・倉敷化 |
| H,5 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと | 4土肥まり子 | まつもと |
| | LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 安原・土肥 | まつもと | 宮本・山室 | まつもと・クラレ岡 | 木村・吉久 | 松下電器 |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 4藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| 49 | MD | 坂本・延本 | 岡山貯金・トップ | 坂口・久山 | 三菱石油 | 山本・大倉 | 三井造船 | 安藤・仁井 | 辰巳商会・三井 |
| H,6 | LS | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 4宮本　順子 | まつもと |
| | LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 宮崎・山室 | 西大寺・クラレ岡 | 土肥・宮本 | まつもと | | |
| | MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 4横田　豊和 | 三菱化学 |
| 50 | MD | 坂本・坂本 | 岡山貯金・倉敷市 | 林　・後藤 | 大本組・税整理組合 | 香山・冨田 | クラレ岡 | 草井・楢原 | 日体大・龍谷大 |
| H,7 | LS | 松王峰代子 | 専修大学 | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 4神宝　朝子 | まつもと |
| | LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 松王・長門 | 専修大・山陽短大 | 住矢・宮本 | まつもと | 4須々木・佐藤 | 東海女大・山陽短大 |
| | MS | 若林　邦任 | RSナガイ | 福田　哲 | 松下電器 | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 4楢原　功士 | 龍谷大学 |
| 51 | MD | 杉原・坂本 | 笠岡・岡山貯金 | 冨田・延本 | クラレ岡・理大OB | 藤井・田枝 | 清音村・クラレ倉 | 白神・武政 | 清音村・中国電力 |
| H,8 | LS | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 松王峰代子 | 専修大学 | 4次田　尚美 | 専修大学 |
| | LD | 松王・次田 | 専修大学 | 加藤・赤澤 | 四條畷女大 | 香山・山下 | クラレ岡 | 住矢・神宝 | まつもと |

## ②国民体育大会

＊（　）は中国地区予選会の開催県。略称「M＝成年男子・L＝成年女子・B＝少年男子・G＝少年女子・T＝教員男子・M一＝成年男子一般・M教＝成年男子教員」
○数字は進出回戦・数字は順位。×＝８位までの入賞なし。戦績欄＜無記号＝中国地区予選会で優勝・全＝本大会全県参加・◆＝中国地区予選会２位＞。△＝中国地区予選会で岡山県より上位の県。★＝本大会不参加種別の中国地区予選会の戦績とチーム編成」（倉敷老松＝倉敷工業高・倉敷至誠＝倉敷商業高）

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 選手 | 所属 | 種別 | 戦績 | 選手 | 所属 | 種別 | 戦績 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4・S,24 | MS | ④ | 原　恵二 | 倉敷商業 | MS | ③ | 宮城　政年 | 鐘紡西大寺 | MS | ③ | 山上　周之 | 大久保食品 |
| 東京都 | MS | ② | 多賀　和男 | 倉敷工業 | MD | 5 | 原・井沢 | 倉商・倉工 | MD | ③ | 松本・宮城 | 鐘紡西大寺 |
| オープン競技 | LS | ② | 更井　幹示 | 林薬品 | LS | ① | 上野　節子 | 倉敷青陵 | LS | ① | 前原　福子 | 倉敷青陵 |
| で個人戦のみ | LS | ① | 佐藤　房子 | 倉敷青陵 | LD | ② | 更井・上野 | 林薬品・青陵 | LD | ② | 前原・佐藤 | 倉敷青陵 |

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 監督 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | M | 全② | 斎藤　實 | 岡山スポーツマン運動具店 | 原　恵二 | 倉商ＯＢ | 井沢　豊 | 倉工ＯＢ | 多賀　和男 | 鐘紡西大寺 |
| 5・S,25 | | | | | 宮城　政年 | 鐘紡西大寺 | | | | |
| 愛知県 | L | 全5 | 重実　清志 | 山女高教 | 前原　福子 | 倉敷青陵 | 佐藤　房子 | 倉敷青陵 | 難波　芳子 | 倉敷青陵 |
| 名古屋市 | | | | | 中田　裕子 | 倉敷青陵 | | | | |
| ＊正式種 | B | 全② | 山上　周之 | 大久保食品 | 中桐　明和 | 倉敷青陵 | 三宅　二朗 | 倉敷老松 | 佐藤　正 | 倉敷老松 |
| 目となる | | | | | 藤井　義雄 | 倉敷至誠 | | | | |
| | 総合成績 | | 天皇杯　7位 | | 皇后杯　5位 | | ＊共に初入賞。女子は一般と高校の混成チーム。 | | | |
| 6・S,26 | M | 全5 | 福守　茂 | 青陵高教 | 原　恵二 | 倉商ＯＢ | 井沢　豊 | 倉工ＯＢ | 三宅　二朗 | 老松ＯＢ |
| 広島県 | L | 全③ | 福守　茂 | 青陵高教 | 前原　福子 | 青陵ＯＧ | 難波　芳子 | 倉敷青陵 | 加藤まつ子 | 倉敷青陵 |
| 広島市 | B | 全③ | 福守　茂 | 青陵高教 | 内藤　勇 | 倉敷青陵 | 筒井　一道 | 倉敷老松 | 阿部　勝 | 倉敷老松 |
| | 総合成績 | | 天皇杯　8位 | | ＊岡山県より審判等の支援をする。 | | | | | |
| | M | 全② | 斎藤　實 | クラレ岡山 | 原　恵二 | 倉商ＯＢ | 三宅　二朗 | 老松ＯＢ | 内藤　勇 | 岡山大学 |
| | | | | | 古市　博 | 青陵ＯＢ | | | | |
| 7・S,27 | L | 全③ | 山上　周之 | 大久保食品 | 前原　福子 | 青陵ＯＧ | 佐藤　房子 | 青陵ＯＧ | 難波　芳子 | 青陵ＯＧ |
| 宮城県 | | | | | 加藤まつ子 | 青陵ＯＧ | | | | |
| 仙台市 | G | 全5 | 山上　周子 | 大久保食品 | 大塚　洋子 | 山陽女子 | 辻　芳子 | 山陽女子 | 吉川　英子 | 山陽女子 |
| | | | | | 野口　敏子 | 倉敷青陵 | | | | |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | ＊女子が一般と高校にの２種別となる。高校男子は地区推薦対象外で不参加。 | | | | | |
| | M | 全② | 山上　周之 | 大久保食品 | 重実　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | 徳山電気 | 内藤　勇 | 岡山大学 |
| | | | | | 古市　博 | 青陵ＯＢ | | | | |
| 8・S,28 | L | 全③ | 金尾　善六 | 井原高教 | 大塚　洋子 | 大阪樟陰大 | 辻　芳子 | 山女ＯＧ | 難波　芳子 | 青陵ＯＧ |
| 香川県 | | | | | 野口　敏子 | 青陵ＯＧ | | | | |
| 善通寺市 | B | 全③ | 山上　周之 | 大久保食品 | 松王　清志 | 西大寺 | 武田　義展 | 倉敷工業 | 米田　敬二 | 倉敷青陵 |
| | | | | | 楢村　英治 | 倉敷青陵 | | | | |
| | G | 全5 | 金尾　善六 | 井原高教 | 吉川　英子 | 山陽女子 | 大森　嘉美 | 山陽女子 | 土屋かし子 | 山陽女子 |
| | | | | | 貝原　勝子 | 倉敷青陵 | | | | |
| | 総合成績 | | 皇后杯　8位 | | | | | | | |
| 9・S,29 | M | 全② | 村山　寛 | 青陵高教 | 重実　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | 徳山電気 | 古市　博 | 青陵ＯＢ |
| 北海道 | L | 5 | 山上　周之 | 大久保食品 | 吉川　英子 | 山女ＯＧ | 土屋かし子 | 山女ＯＧ | 貝原　勝子 | 山女ＯＧ |
| 札幌市 | B | 5 | 福守　茂 | 青陵高教 | 小松　康博 | 西大寺 | 米田　敬二 | 倉敷青陵 | 加川　哲雄 | 倉敷青陵 |
| | G | 2 | 小川　政雄 | 山女高教 | 大森　嘉美 | 山陽女子 | 友野　文子 | 山陽女子 | 三宅　基子 | 山陽女子 |
| （岡山） | 総合成績 | | 天皇杯　4位 | | 皇后杯　2位 | | ＊天覧試合 | | ※中国地区予選会開始（Mのみ全県参加） | |
| 10・S,30 | M | 全③ | 永井　正 | 岡山工教 | 重実　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | 徳山電気 | 石原　利通 | 岡山市役所 |
| 神奈川県 | L | 5 | 古市　博 | 青陵ＯＢ | 大森　嘉美 | 山女ＯＧ | 野口　敏子 | 青陵ＯＧ | 津島　伸子 | 青陵ＯＧ |
| 横浜市 | G | 優勝 | 山上　周之 | 大久保食品 | 権田　節子 | 山陽女子 | 友野　文子 | 山陽女子 | 三宅　基子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 天皇杯　3位 | | 皇后杯　優勝 | | ☆高校女子と皇后杯は初優勝 | | 学生の参加中止 | △B1位＝島根 |
| （広島） | B | ★2 | 清見　芳見 | 西大寺教 | 松田　国宏 | 西大寺 | 石原縫次郎 | 西大寺 | 行司　忠章 | 西大寺 |
| 11・S,31 | M | 全3 | 永井　正 | 岡山工教 | 毛利　清志 | 山女高教 | 松田　俊一 | 徳山電気 | 石原　利通 | 岡山市役所 |
| 兵庫県 | L | 2 | 金尾　善六 | 井原高教 | 権田　節子 | 岡山市役所 | 友野　文子 | 山女ＯＧ | 光本　政子 | 岡山市役所 |
| 神戸市 | G | 2 | 金尾　善六 | 井原高教 | 小林　桂子 | 山陽女子 | 戸田　寿子 | 山陽女子 | 根岸　純 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 天皇杯　優勝 | | 皇后杯　2位（1位と同点） | | ☆天皇杯初優勝 | | △B1位＝島根 | |
| （山口） | B | ★2 | 清見　芳見 | 西大寺教 | 今東　幸一 | 西大寺 | 中尾　昇 | 西大寺 | 吉田　真昌 | 西大寺 |
| 12・S,32 | M | 全5 | 山上　周之 | 大久保食品 | 毛利　清志 | 山女高教 | 前田　俊一 | 徳山電気 | 石原　利通 | 岡山市役所 |
| 静岡県 | L | 2 | 金尾　善六 | 井原高教 | 権田　節子 | 岡山市役所 | 光本　政子 | 岡山市役所 | 小林　桂子 | 岡山市役所 |
| 富士市 | G | 5 | 金尾　善六 | 井原高教 | 根岸　純 | 山陽女子 | 沢　真美子 | 山陽女子 | 西田　寿子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 天皇杯　6位 | | 皇后杯　2位 | | △B1位＝島根 | | | |
| （鳥取） | B | ★2 | 清見　芳見 | 西大寺教 | 中尾　昇 | 西大寺 | 小松　貴 | 西大寺 | 藤原　勇 | 倉敷工業 |

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 監督 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13・S,33 | M | 全③ | 西崎 正明 | 丸之内中教 | 毛利 清志 | 山女高教 | 前田 俊一 | 徳山電気 | 石原 利通 | 岡山市役所 |
| 富山県 | L | 3 | 山上 周之 | 大久保食品 | 権田 節子 | 岡山市役所 | 光本 政子 | 岡山市役所 | 小林 桂子 | 山女OG |
| 高岡市 | B | 5 | 西崎 正明 | 丸之内中教 | 小松 貴 | 西大寺 | 国信 祝二 | 西大寺 | 阿部 一三 | 西大寺 |
| | G | 4 | 山上 周之 | 大久保食品 | 根岸 純 | 山陽女子 | 沢 真美子 | 山陽女子 | 西田 寿子 | 山陽女子 |
| (島根) | 総合成績 | | 天皇杯 5位 | | 皇后杯 3位 | | | | | |
| | M | 全③ | 山上 周之 | 大久保食品 | 石原 利通 | 岡山市役所 | 今東 幸一 | 岡山市役所 | 松田 国宏 | 天満屋 |
| 14・S,34 | L | 4 | 梶原 馨 | 岡山市役所 | 板谷 通子 | 山女OG | 権田 節子 | 岡山市役所 | 光本 政子 | 岡山市役所 |
| 東京都 | B | 5 | 清見 芳見 | 西大寺教 | 青井 正義 | 西大寺 | 松王 重明 | 西大寺 | 小橋 武 | 西大寺 |
| 足立区 | G | 5 | 山上 周之 | 大久保食品 | 湯浅 光枝 | 山陽女子 | 合田 君子 | 山陽女子 | 上田 幸子 | 山陽女子 |
| | T | 5 | 山上 周之 | 大久保食品 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | 藤沢 更司 | 荏原小 |
| (岡山) | 総合成績 | | 天皇杯 5位 | | ※教員男子の種別が新設されて5種別となった。 | | | | | |
| | M | 全5 | 山上 周之 | 山女職員 | 石原 利通 | 岡山市役所 | 小橋 貴 | 岡山市役所 | 青井 正義 | 内山コルク |
| 15・S,35 | L | 4 | 山上 周之 | 山女職員 | 根岸 純 | 岡山市役所 | 湯浅 光枝 | 岡山市役所 | 戸田 裕子 | 山女OG |
| 熊本県 | B | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 松王 重明 | 西大寺 | 小橋 武 | 西大寺 | 朝原 慶三 | 備南 |
| 菊池市 | G | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 合田 君子 | 山陽女子 | 重政 百代 | 山陽女子 | 高塚 淳子 | 山陽女子 |
| | T | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | 藤沢 更司 | 荏原小 |
| (広島) | 総合成績 | | 天皇杯 4位 | | 皇后杯 5位 | | | | | |
| | M | 全5 | 山上 周之 | 山女職員 | 小橋 貴 | 岡山市役所 | 青井 正義 | 内山コルク | 若松 康弘 | 三井造船 |
| 16・S,36 | L | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 根岸 純 | 岡山市役所 | 湯浅 光枝 | 岡山市役所 | 合田 君子 | 岡山市役所 |
| 秋田県 | B | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 朝原 航 | 備南 | 寺内 侃一 | 西大寺 | 西山 寛 | 西大寺 |
| 象潟町 | G | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 小合 佳子 | 山陽女子 | 重政 百代 | 山陽女子 | 高塚 淳子 | 山陽女子 |
| | T | ① | 山上 周之 | 山女職員 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | 藤沢 更司 | 荏原小 |
| (山口) | 総合成績 | | 天皇杯 6位 | | | | | | | |
| | M | 全5 | 朝原 航 | 三井造船 | 前田 俊一 | 丸菱商事 | 松王 清志 | 大阪合繊 | 小松 貴 | 岡山市役所 |
| 17・S,37 | L | 4 | 岡本 武利 | 岡山市役所 | 根岸 純 | 岡山市役所 | 湯浅 光枝 | 岡山市役所 | 藤本 澄子 | 井原OG |
| 岡山県 | B | 5 | 青井 正義 | 内山コルク | 阿部 正 | 西大寺 | 岡崎 捷一 | 西大寺 | 福田 詔一 | 備南 |
| 倉敷市 | G | 3 | 山上 周之 | 山女職員 | 重政 百代 | 山陽女子 | 高塚 淳子 | 山陽女子 | 七村 泰子 | 山陽女子 |
| ※地元国体 | T | 5 | 渡辺 弘美 | 吉備中教 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | 藤沢 更司 | 荏原小 |
| (島根) | 総合成績 | | 天皇杯 4位 | | 皇后杯 4位 | | ＊両陛下御観戦。毛利選手（10年選手賞受賞） | | | |
| | M | 全③ | 青井 正義 | 内山コルク | 小松 貴 | 岡山市役所 | 寺内 侃一 | 岡山県庁 | 朝原 航 | 三井造船 |
| 18・S,38 | L | 4 | 石原 利通 | 岡山市役所 | 根岸 純 | 岡山市役所 | 湯浅 光枝 | 岡山市役所 | 重政 百代 | クラレ岡山 |
| 山口県 | B | 5 | 小原 健吾 | 倉敷工教 | 杉村大丈夫 | 倉敷工業 | 高橋 健一 | 倉敷工業 | 西崎 治道 | 西大寺 |
| 下関市 | G | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 大賀 恵子 | 山陽女子 | 光岡 由枝 | 山陽女子 | 西江 千尋 | 井原 |
| | T | 4 | 渡辺 弘美 | 吉備中教 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | 高田 浩二 | 久世高 |
| (鳥取) | 総合成績 | | 天皇杯 3位 | | 皇后杯 5位 | | | | | |
| | M | 全② | 石原 利通 | 岡山市役所 | 小松 貴 | 岡山市役所 | 青井 正義 | 内山コルク | 寺内 侃一 | 岡山県庁 |
| 19・S,39 | L | 5 | 社 竹三 | 岡山市役所 | 根岸 純 | 岡山市役所 | 小合 佳子 | クラレ岡山 | 重政 百代 | クラレ岡山 |
| 新潟県 | B | 5 | 大月 史郎 | 備南高教 | 武田 崇嗣 | 倉敷工業 | 太田 盛秋 | 備南 | 吉村 傀三 | 備南 |
| 三条市 | G | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 大賀 恵子 | 山陽女子 | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 |
| | T | 5 | 渡辺 弘美 | 吉備中教 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 西崎 正明 | 丸之内中 | 高田 浩二 | 久世高 |
| (広島) | 総合成績 | | 天皇杯 7位 | | 皇后杯 6位 | | | | | |
| | M | 全② | 西崎 正明 | 丸之内中教 | 小松 貴 | 岡山市役所 | 青井 正義 | 内山コルク | 松王 重明 | 協和フィルタ |
| 20・S,40 | B | ① | 小原 健吾 | 倉敷工教 | 佐々木政志 | 倉敷工業 | 本藤 和明 | 倉敷工業 | 上野 輝治 | 備南 |
| 岐阜県 | G | 5 | 山上 周之 | 山女職員 | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 東島 早苗 | 西大寺 |
| 岐阜市 | T | 3 | 渡辺 弘美 | 倉敷福田教 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 三宅 勝 | 大安寺高 | 柳本 堯敏 | 東児中 |
| | 総合成績 | | 天皇杯 7位 | | △L 1位＝山口 | | | | | |
| (岡山) | L | ★2 | 大月 史郎 | 朝日高教 | 小合 佳子 | クラレ岡山 | 重政 百代 | クラレ岡山 | 大賀 恵子 | クラレ岡山 |
| | M | 全② | 西崎 正明 | 丸之内中教 | 小松 貴 | 岡山市役所 | 藤井 英雄 | 岡山市役所 | 松王 重明 | 協和フィルタ |
| 21・S,41 | L | ① | 大月 史郎 | 朝日高教 | 小合 佳子 | クラレ岡山 | 重政 百代 | クラレ岡山 | 大賀 恵子 | クラレ岡山 |
| 大分県 | B | 4 | 三木 福一 | 備南高教 | 芳上 一男 | 備南 | 小峪 充弘 | 備南 | 清水 雄吉 | 倉敷工業 |
| 日田市 | G | 3 | 山上 周之 | 山女職員 | 湯木 博江 | 山陽女子 | 浦口 恵子 | 山陽女子 | 佐藤 民子 | 西大寺 |
| | T | 3 | 渡辺 弘美 | 倉敷福田教 | 毛利 清志 | 山陽女高 | 三宅 勝 | 成羽高 | 柳本 堯敏 | 藤田中 |
| (鳥取) | 総合成績 | | 天皇杯 3位 | | 皇后杯 5位 | | | | | |

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 監督 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22・S,42 | M | 全② | 西崎　正明 | 丸之内中教 | 小松　貴 | 岡山市役所 | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | 八代　順二 | 西大寺印刷局 |
| 埼玉県 | L | 5 | 山上　周之 | 山女職員 | 高塚　淳子 | 山女OG | 光岡　由枝 | 山女OG | 大賀　恵子 | クラレ岡山 |
| 越谷市 | B | 5 | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 武　広二 | 倉敷工業 | 田中　勝 | 倉敷工業 | 森本　一郎 | 備南 |
| | G | 5 | 橋本千代子 | 青陵高教 | 岩田　定子 | 山陽女子 | 児玉　祥 | 山陽女子 | 亀山　園子 | 倉敷青陵 |
| | T | 5 | 渡辺　弘美 | 倉敷福田教 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 三宅　勝 | 成羽高 | 柳本　堯敏 | 藤田中 |
| （島根） | 総合成績 | 皇后杯　5位 | | | | | | | | |
| 23・S,43 | M | 全① | 虹江　優 | 三井造船 | 小松　貴 | 岡山市役所 | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 福井県 | G | 5 | 山上　周之 | 山女職員 | 児玉　祥 | 山陽女子 | 光畑　直美 | 山陽女子 | 大山　恵子 | 倉敷青陵 |
| 勝山市 | T | 3 | 渡辺　弘美 | 倉敷福田教 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 三宅　勝 | 成羽高 | 柳本　堯敏 | 藤田中 |
| | 総合成績 | 入賞なし | ＊小松選手（10年選手賞受賞） | | | | | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(この大会より設定)(明るく・きよく・たくましく) | | | | | | | | △L1位＝山口・B1位＝島根 | |
| （山口） | L | ★2 | 橋本千代子 | 青陵高教 | 佐藤　民子 | 西大寺OG | 亀山　園子 | 青陵OG | 杉谷　京香 | 三井造船 |
| | B | ★2 | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 平田喜久夫 | 備南 | 平松　重吉 | 倉敷工業 | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 |
| 24・S,44 | M | 全② | 虹江　優 | 三井造船 | 小松　貴 | 岡山市役所 | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 長崎県 | L | 5 | 橋本千代子 | 青陵高教 | 光畑　直美 | クラレ岡山 | 木村　宣子 | 中国銀行 | 鈴木　直美 | 伊予銀行 |
| 諫早市 | B | 5 | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | 片岡　忠明 | 倉敷工業 | 田村　学 | 倉敷工業 |
| | G | 5 | 山上　周之 | 山女職員 | 延原美和子 | 山陽女子 | 坪田久仁子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 |
| | T | 2 | 高田　浩二 | 久世高教 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 三宅　勝 | 成羽高 | 柳本　堯敏 | 藤田中 |
| （広島） | 総合成績 | 天皇杯　6位 | | | | | | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン（あすをひらく創造国体） | | | | | | | | | |
| 25・S,45 | M | 全② | 虹江　優 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 | 森口　隆彦 | 岡山大医 |
| 岩手県 | G | 5 | 山上　周之 | 山女職員 | 石田　雅子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 山陽女子 |
| 釜石市 | T | 4 | 渡辺　弘美 | 倉敷福田教 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 三宅　勝 | 成羽高 | 柳本　堯敏 | 藤田中 |
| | 総合成績 | 入賞なし | | | | | | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(誠実・明朗・躍進) | | | | | △L1位＝山口 | B1位＝山口 | 2位＝鳥取 | | |
| （岡山） | L | ★2 | 小松　貴 | 岡山市役所 | 木村　宣子 | 中国銀行 | 鈴木　直美 | 伊予銀行 | 光畑　直美 | クラレ岡山 |
| | B | ★3 | 三木　福一 | 備南高教 | 松井　一 | 備南 | 田村　学 | 備南 | 藤原　次男 | 備南 |
| 26・S,46 | M | 全① | 虹江　優 | 三井造船 | 小松　貴 | 岡山市役所 | 上野　輝治 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 和歌山県 | L | 5 | 橋本千代子 | 青陵高教 | 浦口　恵子 | 山女OG | 光畑　直美 | クラレ岡山 | 剛迫ミエ子 | クラレ岡山 |
| 湯浅町 | G | 3 | 山上　周之 | 山女職員 | 林　寿美子 | 山陽女子 | 平田喜久江 | 山陽女子 | 三宅　一美 | 山陽女子 |
| | T | 5 | 高田　浩二 | 久世高教 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 三宅　勝 | 成羽高 | 柳本　堯敏 | 旭東中 |
| | 総合成績 | 皇后杯　3位 | | | | | | | | |
| （鳥取） | 愛称・テーマ・スローガン(明るく・豊かに・たくましく) | | | | | | | | | |
| | B | ★2 | 小河原東仙 | 水島工教 | 永井　孝 | 水島工業 | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 塩飽　正史 | 倉敷工業 |
| 27・S,47 | M | 全② | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 鹿児島県 | L | 5 | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 鈴木　直美 | 伊予銀行 | 木村　宣子 | 中国銀行 | 西尾　菊栄 | 山女OG |
| 鹿児島市 | G | 5 | 山上　周之 | 山女職員 | 三田　明美 | 山陽女子 | 寺見みど里 | 山陽女子 | 近藤　小織 | 山陽女子 |
| | T | ① | 小松　貴 | 岡山市役所 | 毛利　清志 | 山陽女高 | 三宅　勝 | 水島工高 | 柳本　堯敏 | 旭東中 |
| | 総合成績 | 皇后杯　8位 | | | | | | | | |
| （島根） | 愛称・テーマ・スローガン(太陽国体。明るく・たくましく・うるわしく) | | | | | | | | △B1位＝鳥取 | |
| | B | ★2 | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 北井　勝義 | 倉敷工業 | 大野　昇 | 倉敷工業 |
| 28・S,48 | M | 全② | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 千葉県 | L | 5 | 山上　周之 | 山女職員 | 木村　宣子 | 東陶機器 | 三田　明美 | クラレ岡山 | 寺見みど里 | クラレ岡山 |
| 茂原市 | G | 5 | 毛利　清志 | 山女高教 | 近藤　小織 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 山陽女子 |
| | T | 5 | 加藤　孝昭 | 下津井東中 | 三宅　勝 | 水島工高 | 柳本　堯敏 | 旭東中 | 岡本　次郎 | 玉中 |
| | 総合成績 | 入賞なし | | | | | | | | |
| （山口） | 愛称・テーマ・スローガン(若潮国体。輝く心・輝く力・輝く太陽) | | | | | | | 1位＝鳥取・2位＝山口 | | |
| | B | ★3 | 橋本千代子 | 青陵高教 | 平田　博文 | 水島工業 | 小野　勝彦 | 倉敷青陵 | 橋本　敏邦 | 倉敷青陵 |
| 29・S,49 | M | 全② | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 茨城県 | B | ① | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 |
| 石岡市 | G | ① | 毛利　清志 | 山女高教 | 小寺　裕美 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 日原　禎子 | 山陽女子 |
| | T | ① | 加藤　孝昭 | 下津井東中 | 三宅　勝 | 水島工高 | 柳本　堯敏 | 旭東中 | 岡本　次郎 | 玉中 |
| | 総合成績 | 入賞なし | ＊三宅・柳本両選手（10年選手賞受賞） | | | | | | | |
| （広島） | 愛称・テーマ・スローガン(水と緑の真心国体) | | | | | △L1位＝山口 | | | | |
| | L | ★2 | 山上　周之 | 山女職員 | 木村　宣子 | 東陶機器 | 三田　明美 | クラレ岡山 | 寺見みど里 | クラレ岡山 |

※第30～35回大会の成年男子は，得点計算上，教員男子を含めて一種別とみなした。

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 監督 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | M一 | 全① | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 | 松井　一 | 三井造船 |
| 30・S,50 | M教 | 5 | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 三宅　勝 | 水島工高 | 岡本　次郎 | 玉　中 | 小田　和文 | 総社東中 |
| 三重県 | L | 3 | 山上　周之 | 山女職員 | 石田　雅子 | 県教育委 | 三田　明美 | クラレ岡山 | 藤原　敦子 | クラレ岡山 |
| 松阪市 | B | ① | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 |
| | G | 5 | 毛利　清志 | 山女高教 | 岡部　五月 | 山陽女子 | 橋本　千春 | 山陽女子 | 小山　真弓 | 山陽女子 |
| （岡山） | 総合成績 | | 天皇杯　7位 | | 皇后杯　2位 | | ＊成年女子のみ，中国地区の上位２県が本大会へ出場。 | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(たくましく，あすをひらこう)　＊一般を成年，高校を少年と名称を変更。 | | | | | | | | | |
| | M一 | 全① | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 芳上　一男 | 三井造船 | 上野　輝治 | 三井造船 |
| 31・S,51 | M教 | 5 | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 三宅　勝 | 水島工高 | 岡本　次郎 | 上　南　中 | 小田　和文 | 総社東中 |
| 佐賀県 | L | 5 | 西崎　正明 | 県保体課 | 石田　雅子 | 県教育委 | 林　寿美子 | 山女高教 | 藤原　敦子 | クラレ岡山 |
| 牛津町 | G | ① | 毛利　清志 | 山女高教 | 森下　真紀 | 山陽女子 | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 皇后杯　8位 | | ＊芳上一男選手(10年選手賞受賞) | | | △Ｂ１位＝鳥取・２位＝山口 | | |
| （鳥取） | 愛称・テーマ・スローガン(若楠国体。さわやかに・すこやかに・おおらかに) | | | | | | | | | |
| | B | ★3 | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 横山　真二 | 倉敷工業 | 守安　達二 | 水島工業 | 池本　武志 | 水島工業 |
| | M一 | 全② | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 32・S,52 | M教 | 5 | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 三宅　勝 | 水島工高 | 岡本　次郎 | 上　南　中 | 小田　和文 | 総社東中 |
| 青森県 | L | ② | 藤原　航 | 三井造船 | 石田　雅子 | 県教育委 | 林　寿美子 | 山女高教 | 佐藤　妙子 | 三菱化成 |
| 浪岡町 | G | 5 | 毛利　清志 | 山女高教 | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 亀山　映子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 皇后杯　7位 | | ＊成年女子のみ，中国地区の上位２県が本大会へ出場。 | | | | | |
| （島根） | 愛称・テーマ・スローガン(あすなろ国体。心ゆたかに，力たくましく) | | | | | | | △Ｂ１位＝山口 | | |
| | B | ★2 | 小河原東仙 | 水島工教 | 守安　達二 | 水島工業 | 樋口　正幸 | 水島工業 | 安田　勝巳 | 西大寺 |
| | M一 | 全③ | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 33・S,53 | M教 | ① | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 三宅　勝 | 水島工高 | 岡本　次郎 | 上　南　中 | 小田　和文 | 総社東中 |
| 長野県 | L | 5 | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 石田　雅子 | 県教育委 | 林　寿美子 | 山女高教 | 林　正子 | 岡山大学院 |
| 塩尻市 | B | ① | 小河原東仙 | 水島工教 | 藤原　一志 | 水島工業 | 難波　義雄 | 水島工業 | 前田　雅美 | 倉敷工業 |
| | G | ① | 毛利　清志 | 山女高教 | 串田　有子 | 山陽女子 | 皿井由美子 | 山陽女子 | 斉藤　薫 | 山陽女子 |
| （山口） | 総合成績 | | 皇后杯　8位 | | ＊天覧試合 | | ※ナショナルチーム所属選手は出場資格がなくなる。 | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(やまびこ国体。日本の屋根に手をつなぐ) | | | | | | | | | |
| | M一 | 5 | 虹江　優 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 |
| 34・S,54 | M教 | 全② | 柳本　堯敏 | 旭東中教 | 三宅　勝 | 水島工高 | 岡本　次郎 | 上　南　中 | 小田　和文 | 岡山養護 |
| 宮崎県 | L | 5 | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 小寺　裕美 | 松　本　組 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 |
| 西都市 | B | ① | 小原　健吾 | 倉敷工教 | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 秋柴　裕之 | 倉敷工業 |
| | G | ① | 毛利　清志 | 山女高教 | 松島　万子 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 原田　美和 | 山陽女子 |
| （広島） | 総合成績 | | 入賞なし | | ＊成年男子のみ，中国地区の上位２県が国体へ出場。 | | | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(日本のふるさと宮崎国体。伸びる心・伸びる力・伸びる郷土) | | | | | | | | | |
| | M | ① | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 三宅　勝 | 水島工教 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 35・S,55 | L | 全③ | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 小寺　裕美 | 松　本　組 | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 森下　真紀 | トッププロスポーツ |
| 栃木県 | B | 5 | 岡本　恒夫 | 東岡工教 | 青木　隆久 | 東岡山工 | 西江　均 | 東岡山工 | 若林　邦任 | 水島工業 |
| 真岡市 | G | ① | 毛利　清志 | 山女高教 | 天野　真理 | 山陽女子 | 原田　美和 | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | ＊教員種別廃止となる。 | | ◆中国地区の各種別上位２県が国体出場となる。 | | | |
| （岡山） | 愛称・テーマ・スローガン(栃の葉国体・伸びる力・むすぶ心・ひらくあした) | | | | | | ＊全県参加，全種別輪番制開始 | | | |
| | M | ① | 芳上　一男 | 三井造船 | 三宅　勝 | 水島工教 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 |
| 36・S,56 | L | ① | 藤原　航 | 三井造船 | 小寺　裕美 | 松　本　組 | 森下　真紀 | トッププロスポーツ | 天野　真理 | クラレ岡山 |
| 滋賀県 | B | 全② | 小河原東仙 | 水島工教 | 坪井　英之 | 倉敷工業 | 片岡　洋一 | 水島工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 |
| 大津市 | G | ① | 毛利　清志 | 山女高教 | 木下美紀子 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | ★全種別初回戦敗退 | | | | | |
| （広島） | 愛称・テーマ・スローガン(びわこ国体。水と緑に，あふれる若さ) | | | | | | | | | |
| | M | ◆① | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 |
| 37・S,57 | L | 優勝 | 藤原　航 | 三井造船 | 河本　小織 | 松　本　組 | 高田　幹子 | 松　本　組 | 小寺　裕美 | 松　本　組 |
| 島根県 | G | 全① | 毛利　清志 | 山女高教 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 岡　百合子 | 山陽女子 | 轟　美智子 | 山陽女子 |
| 大東町 | 総合成績 | | 天皇杯９位 | 皇后杯２位 | ☆成年女子初優勝 | | △Ｍ１位＝鳥取。Ｂ１位＝山口，２位＝鳥取 | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(くにびき国体。このふれあいが未来をひらく) | | | | | | | | | |
| （岡山） | B | ★3 | 岡本　恒夫 | 東岡工教 | 久山　雅之 | 東岡山工 | 中須賀史行 | 東岡山工 | 倉本　哲生 | 水島工業 |

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 監督 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | M | ◆① | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 平田 重男 | 川崎製鉄 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 38・S,58 | L | 優勝 | 藤原 航 | 三井造船 | 河本 小織 | 松本組 | 高田 幹子 | 松本組 | 小寺 裕美 | 水工職員 |
| 群馬県 | B | ◆① | 河合 哲 | 西大寺教 | 今東 建 | 西大寺 | 西崎 書彦 | 西大寺 | 網島 淳二 | 加茂川 |
| 桐生市 | G | ◆① | 毛利 清志 | 山女高教 | 轟 美智子 | 山陽女子 | 河内 富子 | 山陽女子 | 福田 正子 | 倉敷中央 |
| | 総合成績 | | 天皇杯 9位 | | 皇后杯 2位 | | ☆成年女子2連勝 | | △B1位=山口。G1位=島根 | |
| (山口) | 愛称・テーマ・スローガン(あかぎ国体。風に向かって走ろう) | | | | | | | | | |
| | M | 5 | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 平田 重男 | 川崎製鉄 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 39・S,59 | L | 5 | 藤原 航 | 三井造船 | 皿井由美子 | 山女高教 | 天野 真理 | クラレ岡山 | 合田なおみ | 松本組 |
| 奈良県 | B | ◆4 | 三宅 勝 | 水島工教 | 今東 建 | 西大寺 | 西崎 書彦 | 西大寺 | 浅沼 正和 | 水島工業 |
| 田原本町 | G | ① | 毛利 清志 | 山女高教 | 坂井 純子 | 山陽女子 | 近常 直美 | 山陽女子 | 竹原 純子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 天皇杯 4位 | | 皇后杯 8位 | | | | | |
| (島根) | 愛称・テーマ・スローガン(わかくさ国体。かけよ大和地。はばたけ未来) | | | | | | | | | |
| | M | 5 | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 平田 重男 | 川崎製鉄 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 40・S,60 | L | 5 | 藤原 航 | 三井造船 | 天野 真理 | クラレ岡山 | 合田なおみ | 松本組 | 岡 百合子 | 岡山市役所 |
| 鳥取県 | B | 全③ | 三宅 勝 | 水島工教 | 貝原 義文 | 水島工業 | 坪井 光明 | 水島工業 | 高見 浩二 | 倉敷工業 |
| 大栄町 | G | ① | 毛利 清志 | 山女高教 | 近常 直美 | 山陽女子 | 西林 昭子 | 山陽女子 | 紀井 晴美 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 天皇杯 8位 | | 皇后杯 7位 | | *藤原道弘選手(10年選手賞受) | | | |
| (広島) | 愛称・テーマ・スローガン(わかとり国体。明日へ向かってはばたこう) | | | | | | | | | |
| | M | ① | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 平田 重男 | 川崎製鉄 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 41・S,61 | L | ① | 藤原 航 | 三井造船 | 天野 真理 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 | 岡 百合子 | 岡山市役所 |
| 山梨県 | G | 全③ | 毛利 清志 | 山女高教 | 西林 昭子 | 山陽女子 | 紀井 晴美 | 山陽女子 | 松王香音里 | 山陽女子 |
| 勝沼町 | 総合成績 | | 入賞なし | | *平田選手(10年選手賞受賞) | | ★全種別初回戦敗退 | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン(かいじ国体。ふれあいの輪をひろげよう) | | | | | | | | △B1位=山口,2位=鳥取 | |
| (鳥取) | B | ★3 | 柴田 憲 | 瀬戸南教 | 吉田 優男 | 瀬戸南 | 金田 秀正 | 瀬戸南 | 逸見 利雄 | 水島工業 |
| | M | 全① | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 平田 重男 | 川崎製鉄 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 42・S,62 | L | 5 | 藤原 航 | 三井造船 | 岡 百合子 | 岡山市役所 | 西林 昭子 | 備前市役所 | 紀井 晴美 | 松下電器 |
| 沖縄県 | B | ◆① | 小河原東仙 | 水島工教 | 横田 豊和 | 水島工業 | 藤原 正美 | 水島工業 | 平尾 昌也 | 瀬戸南 |
| 糸満市 | G | ① | 山崎 恵子 | 山女高教 | 松王香音里 | 山陽女子 | 人見 順子 | 山陽女子 | 河原美津巳 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | △B1位=山口 | | | | | |
| (岡山) | 愛称・テーマ・スローガン(海邦国体。きらめく太陽・ひろがる友情) | | | | | | | | | |
| | M | ① | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 平田 重男 | 川崎製鉄 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 43・S,63 | L | 全② | 藤原 航 | 三井造船 | 岡 百合子 | 岡山市役所 | 岡 良依 | 松本組 | 河原美津巳 | 松本組 |
| 京都府 | B | ① | 久松 慎二 | 玉野光南教 | 福田 哲 | 玉野光南 | 松田 博幸 | 玉野光南 | 白神 和彦 | 水島工業 |
| 長岡京市 | G | ① | 毛利 清志 | 山女高教 | 佐藤 由香 | 山陽女子 | 渡部 美香 | 山陽女子 | 出原 直美 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | | | | | | |
| (山口) | 愛称・テーマ・スローガン(京都国体。新しい歴史に向かって走ろう) | | | | | | | | | |
| | M | ① | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 藤原 一志 | 中谷興運 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 44・H,元 | L | ① | 藤原 航 | 三井造船 | 河本 小織 | コーモト | 岡 百合子 | 岡山市役所 | 河原美津巳 | 松本組 |
| 北海道 | B | 全① | 柴田 勝利 | 玉野光南教 | 石井 繁之 | 玉野光南 | 石田 猛 | 玉野光南 | 石本 一豊 | 理科大付 |
| 登別市 | G | ① | 松田 範明 | 倉敷翠松教 | 藤原 清美 | 倉敷翠松 | 渡邊 美穂 | 倉敷翠松 | 横田 裕子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | ★全種別初回戦敗退 | | | | | |
| (島根) | 愛称・テーマ・スローガン(はまなす国体。君よ今,北の大地のかぜとなれ) | | | | | | | | | |
| | M | ① | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 藤原 一志 | 中谷興運 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 45・H,2 | L | ① | 藤原 航 | 三井造船 | 岡 良依 | まつもと | 藤原 清美 | まつもと | 杉本真紀子 | 翠松OG |
| 福岡県 | B | ◆① | 柴田 憲 | 瀬戸南教 | 三辻 邦章 | 瀬戸南 | 立野 隆行 | 水島工業 | 久山 伸行 | 水島工業 |
| 筑紫野市 | G | 全① | 毛利 清志 | 山女高教 | 住矢 美幸 | 山陽女子 | 佐藤 由紀 | 山陽女子 | 佐藤 純子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | *若林選手 (10年選手賞受賞) | | ★全種別初回戦敗退 | | | |
| (鳥取) | 愛称・テーマ・スローガン(トビウメ国体。ときめき・出会い・みなぎる力) | | | | | | | | △B1位=山口 | |
| | M | 全5 | 中山 睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原 道弘 | 川崎製鉄 | 藤原 一志 | 中谷興運 | 若林 邦任 | 三井造船 |
| 46・H,3 | L | ① | 吉原 俊治 | 環境保全 | 岡 良依 | まつもと | 藤原 清美 | まつもと | 佐藤 由香 | まつもと |
| 石川県 | B | ① | 柴田 憲 | 瀬戸南教 | 仁井 昌志 | 玉野光南 | 田中 学 | 水島工業 | 草井 篤 | 瀬戸南 |
| 美川町 | G | ① | 松田 範明 | 倉敷翠松教 | 住矢 美幸 | 山陽女子 | 佐藤 由紀 | 山陽女子 | 安原 久恵 | 倉敷翠松 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | | | | | | |
| (広島) | 愛称・テーマ・スローガン(石川国体。すばらしき,君の記録にわが拍手) | | | | | | | | | |

| 回・年度・場所 | 種別 | 戦績 | 監督 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 | 選手 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | M | ① | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 |
| 47・H，4 | L | 全② | 吉原　俊治 | 環境保全 | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと |
| 山形県 | B | ① | 橋本　英俊 | 水島工教 | 草井　篤 | 瀬戸南 | 田中　学 | 水島工業 | 堀江賢二郎 | 水島工業 |
| 新庄市 | G | ① | 佐藤　忠裕 | 山女高教 | 山口　順子 | 山陽女子 | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | | | | | | | |
| （岡山） | 愛称・テーマ・スローガン（べにばな国体。思いっきり躍動，21世紀の主役たち） | | | | | | | | | |
| | M | ◆① | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| 48・H，5 | B | 全③ | 柴田　憲 | 瀬戸南教 | 草井　篤 | 瀬戸南教 | 森田　洋 | 倉敷工業 | 楢原　功士 | 倉敷工業 |
| 香川県 | G | ① | 佐藤　忠裕 | 山女高教 | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 神宝　朝子 | 山陽女子 |
| 坂出市 | 総合成績 | | 入賞なし | △M１位＝山口。Ｌ１位＝島根，２位＝鳥取，３位＝山口 | | | | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン（東四国国体。出会い・競い・そして未来へ） | | | | | | | | | |
| （山口） | L | ★4 | 吉原　俊治 | 環境保全 | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと |
| | M | ① | 山本　清 | 三井造船 | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 |
| 49・H，6 | B | ① | 横田　寿弘 | 倉敷工教 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 西本　康宏 | 倉敷工業 | 三宅　伸介 | 倉敷工業 |
| 愛知県 | G | 全② | 佐藤　忠裕 | 山女高教 | 須々木　恵 | 山陽女子 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 |
| 大府市 | 総合成績 | | 入賞なし | △Ｌ１位＝島根，２位＝鳥取 | | ※ナショナルチーム選手の出場復活 | | | | |
| | 愛称・テーマ・スローガン（わかしゃち国体。いい汗キャッチ！，生き生き愛知） | | | | | | | | | |
| （島根） | L | ★3 | 吉原　俊治 | 環境保全 | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと |
| | M | 全② | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 |
| 50・H，7 | L | ① | 吉原　俊治 | 環境保全 | 佐藤　由香 | 山女ＯＧ | 住矢　美幸 | まつもと | 松王峰代子 | 専修大学 |
| 福島県 | B | ◆① | 横田　寿弘 | 倉敷工教 | 安本　貴士 | 水島工業 | 宮澤　勝智 | 瀬戸南 | 松川　大記 | 倉敷工業 |
| 白河市 | G | 5 | 石田　賢二 | 笠岡商教 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | ＊Ｇのベスト８は17年ぶり。 | | △Ｂ１位＝島根 | | ※学生の出場復活 | | |
| （岡山） | 愛称・テーマ・スローガン（ふくしま国体。友よ，ほんとうの空にとべ） | | | | | | | | | |
| | M | ① | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 三好　研二 | 南和工業 |
| 51・H，8 | L | 全② | 吉原　俊治 | 環境保全 | 住矢　美幸 | まつもと | 松王峰代子 | 専修大学 | 神宝　朝子 | まつもと |
| 広島県 | B | ① | 横田　寿弘 | 倉敷工教 | 松川　大記 | 倉敷工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 塚田健太郎 | 倉敷工業 |
| 三原市 | G | ◆① | 佐藤　忠裕 | 山女高教 | 宇野佳緒理 | 山陽女子 | 國司　良子 | 山陽女子 | 小田　真澄 | 山陽女子 |
| | 総合成績 | | 入賞なし | △Ｇ１位＝鳥取 | | | | | | |
| （鳥取） | 愛称・テーマ・スローガン（ひろしま国体。いのちいっぱい，咲きんさい） | | | | | | | | | |

## (17) 県外進学・就職・在住者の主な戦績（県外より県内への移住者をも含む。小文字は県協会関係者外）

### ①西日本選手権大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 所属 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 所属 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | S,32 | 大阪 | MS | 優勝 | 松王 清志 | 大阪合繊 | 西大寺 | MD | 優勝 | 松王・小松 | 合繊・関大 | 西大寺 |
| 9 | S,33 | 松山 | MS | 優勝 | 松王 清志 | 大阪合繊 | 西大寺 | | | | | |
| 10 | S,34 | 菊池 | MS | 優勝 | 松王 清志 | 大阪合繊 | 西大寺 | MS | 2位 | 国信 祝二 | 関西大 | 西大寺 |
| | | | MD | 優勝 | 松王・国信 | 合繊・関大 | 西大寺 | | | | | |
| 11 | S,35 | 宇部 | MS | 優勝 | 松王 清志 | 大阪合繊 | 西大寺 | MS | 2位 | 国信 祝二 | 関西大 | 西大寺 |
| | | | MD | 優勝 | 松王・国信 | 合繊・関大 | | | | | | |

### ②全日本「各種」選手権大会

| 年度 | 大会名 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 所属 | 出身高 | 年度 | 大会名 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 所属 | 出身高 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| S,41 | 高校 | BT | 5位 | 岩田 勇 | 和歌山 | 新宮 | S,41 | 高校 | BD | 4位 | 岩田・植 | 和歌山 | 新宮 |
| S,46 | ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ | LS | 2位 | 湯木 博江 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 | S,47 | ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ | LS | 2位 | 湯木 博江 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 |
| S,49 | ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 | S,50 | 家庭婦人 | LT.D | 優勝 | 勝山 裕子 | 奈良 | 山陽女 |
| S,51 | 家庭婦人 | LT.D | 優勝 | 勝山 裕子 | 奈良 | 山陽女 | S,51 | ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 |
| S,52 | 家庭婦人 | LT.D | 優勝 | 勝山 裕子 | 奈良 | 山陽女 | S,52 | ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 |
| S,53 | ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 | S,54 | リーグ1 | MT | 4位 | 斉藤 敏行 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 倉敷工 |
| S,54 | リーグ1 | LT | 3位 | 湯木 博恵 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 | S,55 | リーグ1 | MT | 5位 | 斉藤 敏行 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 倉敷工 |
| S,55 | リーグ1 | LT | 優勝 | 湯木･近藤小織 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 | S,56 | リーグ1 | LT | 4位 | 湯木・近藤 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 |
| S,56 | リーグ1 | MT | 4位 | 斉藤 敏行 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 倉敷工 | S,57 | リーグ1 | LT | 5位 | 湯木 博恵 | 河崎ﾗｹｯﾄ | 山陽女 |
| S,58 | リーグ1 | MT | 6位 | 守安 達二 | 電々近畿 | 水島工 | S,59 | リーグ1 | MT | 5位 | 守安 達二 | 電々近畿 | 水島工 |
| S,60 | リーグ1 | MT | 5位 | 守安 達二 | NTT関西 | 水島工 | S,61 | リーグ1 | MT | 5位 | 守安 達二 | NTT関西 | 水島工 |
| H,1 | リーグ1 | MT | 2位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | H,2 | 家庭婦人 | LT | 2位 | 広瀬 園子 | 大阪 | 青陵 |
| H,2 | リーグ1 | MT | 3位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | H,3 | リーグ1 | MT | 3位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 |
| H,3 | シニア | 40MS | 優勝 | 塩飽 初 | 新日鉄広畑 | 倉敷工 | H,3 | シニア | 40LD | 5位 | 広瀬・木田 | 大阪 | 青陵･明善 |
| H,3 | 教職員 | MT | 3位 | 西崎 書彦 | 広島 | 西大寺 | H,4 | リーグ1 | MT | 2位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 |
| H,5 | シニア | 40MS | 3位 | 塩飽 初 | 新日鉄広畑 | 倉敷工 | H,5 | 家庭婦人 | LT | 2位 | 広瀬 園子 | 大阪 | 青陵 |
| H,5 | リーグ1 | MT | 3位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | H,6 | リーグ1 | MT | 2位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 |
| H,7 | リーグ1 | LT | 優勝 | 住矢 直美 | 東北電力 | 山陽女 | H,7 | リーグ1 | MT | 8位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 |
| H,8 | リーグ1 | LT | 6位 | 住矢 直美 | 東北電力 | 山陽女 | | | | | | | |

＊大会名のチャンピオンはチャンピオンズトーナメント。＊リーグは日本リーグ・1＝1部・2＝2部。

### ③全国私立短期大学体育大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | H,7 | 広島 | LT | 優勝 | 須々木 恵 | 東海女子短 | 山陽女子 | LS | 5位 | 須々木 恵 | 東海女子短 | 山陽女子 |
| 31 | H,8 | 神奈川 | LS | 2位 | 須々木 恵 | 東海女子短 | 山陽女子 | LT | 3位 | 須々木 恵 | 東海女子短 | 山陽女子 |

### ④西日本大学学生選手権大会

| 回 | 年度 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1961 (S,36) | MD | 2位 | 山本・松王 | 関西 | 西大寺 | | | | | |
| 2 | 1962 (S,37) | LS | 優勝 | 小合 佳子 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 | LD | 優勝 | 小合・林 | 大阪樟蔭 | 山陽女･高松 |
| | | MS | 2位 | 松王 重明 | 関西 | 西大寺 | | | | | |
| 3 | 1963 (S,38) | MD | 優勝 | 松王・松田 | 関西 | 西大寺･小松 | LS | 優勝 | 小合 佳子 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 |
| | | LD | 2位 | 七村・藤井 | 大阪樟蔭 | 山陽女･那智 | LD | 3位 | 小合・北野 | 大阪樟蔭 | 山陽女･茨木 |
| 4 | 1964 (S,39) | MS | 優勝 | 松王 重明 | 関西 | 西大寺 | MD | 優勝 | 松王・松田 | 関西 | 西大寺･小松 |
| | | LS | 優勝 | 七村 泰子 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 | LD | 優勝 | 高塚・田原 | 熊本女子 | 山陽女･信愛女 |
| 6 | 1966 (S,41) | LS | 優勝 | 高塚 淳子 | 熊本女子 | 山陽女子 | LD | 優勝 | 高塚・西山 | 熊本女子 | 山陽女･善通寺 |
| 7 | 1967 (S,42) | MS | 3位 | 岩田 勇 | 近畿 | 新宮 | | | | | |
| 8 | 1967 (S,43) | MS | 2位 | 岩田 勇 | 近畿 | 新宮 | MD | 2位 | 岩田・小野 | 近畿 | 新宮・天理 |
| | | LD | 4位 | 岩田・風井 | 大阪樟蔭 | 山陽女･楠蔭東 | | | | | |
| 9 | 1967 (S,44) | MD | 優勝 | 岩田・小野 | 近畿 | 新宮・天理 | MS | 2位 | 岩田 勇 | 近畿 | 新宮 |
| | | LD | 2位 | 岩田・西川 | 大阪樟蔭 | 山陽女･新宮 | | | | | |
| 10 | 1968 (S,45) | MS | 優勝 | 岩田 勇 | 近畿 | 新宮 | MS | 2位 | 高木 剛 | 岡山 | 宇土 |
| | | MD | 優勝 | 岩田・岩田 | 近畿 | 新宮･岐阜東 | LD | 4位 | 岩田・西尾 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 |
| 15 | 1975 (S,50) | LS | 優勝 | 日原 禎子 | 山陽学園短 | 山陽女子 | LD | 優勝 | 日原・林 | 山陽学園短 | 山陽女子 |
| 18 | 1978 (S,53) | LT | 5位 | 山陽学園短期（森下 真紀・藤木 史子） | | | | | | | 山陽女子 |
| 37 | 1996 (H,8) | LT | 2位 | 四條畷学園女子短期（加藤 美香・赤澤 景子） | | | | | | | 山陽女子 |

## ⑤東日本大学学生選手権大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | S,43 | 札幌市 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LD | 優勝 | 浦口・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 |
| 12 | S,44 | 仙台市 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 |
| 13 | S,45 | 東京 | LD | 優勝 | 浦口・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 | | | | | |
| 17 | S,49 | 札幌市 | LD | 2位 | 石田・吉田 | 日本女子体育 | 山陽女子 | | | | | |
| 18 | S,50 | | LS | 2位 | 近藤　小織 | 日本女子体育 | 山陽女子 | | | | | |
| 21 | S,53 | 札幌市 | LS | 優勝 | 小寺　裕美 | 日本女子体育 | 山陽女子 | MS | 3位 | 橋本　敏邦 | 慶応 | 倉敷青陵 |
| 31 | S,63 | 仙台市 | MD | 3位 | 今東・中条 | 日本 | 西大寺・小松原 | | | | | |
| 32 | H,1 | 平塚市 | LT | 3位 | 近常　直美 | 日本女子体育 | 山陽女子 | | | | | |
| 37 | H,6 | 山形市 | LT | 4位 | 松王峰代子 | 専修 | 山陽女子 | | | | | |
| 38 | H,7 | 千葉市 | MT | 優勝 | 草井　篤 | 日本体育 | 瀬戸南 | LT | 5位 | 松王峰代子 | 専修 | 山陽女子 |
| 39 | H,8 | 札幌市 | MT | 優勝 | 草井　篤 | 日本体育 | 瀬戸南 | LT | 5位 | 松王峰代子 | 専修 | 山陽女子 |

## ⑥全日本大学学生選手権大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | S,27 | 神戸 | LS | 3位 | 松山　昌子 | 京都女子 | 井原 | LD | 3位 | 松山・北村 | 京都女子 | 井原・柴野 |
| 4 | S,28 | 仙台 | LT | 優勝 | 松山　昌子 | 京都女子 | 井原 | LD | 優勝 | 松山・北村 | 京都女子 | 井原・柴野 |
| | | | LS | 2位 | 松山　昌子 | 京都女子 | 井原 | | | | | |
| 5 | S,29 | 京都 | LT | 2位 | 松山　昌子 | 京都女子 | 井原 | | | | | |
| 6 | S,30 | 札幌 | LT | 2位 | 松山　昌子 | 京都女子 | 井原 | | | | | |
| 7 | S,31 | 東京 | LT | 優勝 | 塚村・石浜 | 京都女子 | 井原・坂出 | MT | 3位 | 松王・小松 | 関西 | 西大寺 |
| | | | MS | 3位 | 小松　康博 | 関西 | 西大寺 | MS | 5位 | 松王　清志 | 関西 | 西大寺 |
| | | | LS | 2位 | 塚村　恭子 | 京都女子 | 井原 | LD | 3位 | 塚村・石浜 | 京都女子 | 井原・坂出 |
| | | | LS | 5位 | 石浜　絢子 | 京都女子 | 坂出 | | | | | |
| 8 | S,32 | 高松 | LT | 優勝 | 塚村・良倉・石浜 | 京都女子 | 井原・坂出 | MT | 3位 | 松王・小松 | 関西 | 西大寺 |
| | | | MS | 4位 | 小松　康博 | 関西 | 西大寺 | MD | 5位 | 松王・小松 | 関西 | 西大寺 |
| | | | LS | 2位 | 良倉　邦子 | 京都女子 | 井原 | LD | 2位 | 塚村・良倉 | 京都女子 | 井原 |
| | | | LS | 3位 | 塚村　恭子 | 京都女子 | 井原 | LS | 4位 | 石浜　絢子 | 京都女子 | 坂出 |
| 9 | S,33 | 久留米 | LT | 3位 | 良倉　邦子 | 京都女子 | 井原 | | | | | |
| 11 | S,35 | 大阪 | LT | 3位 | 落　光子 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 | | | | | |
| 12 | S,36 | 名古屋 | MS | 3位 | 国信　祝二 | 関西 | 西大寺 | LT | 3位 | 落　光子 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 |
| 13 | S,37 | 宮城 | MS | 3位 | 国信　祝二 | 関西 | 西大寺 | | | | | |
| 14 | S,38 | 大阪 | LS | 4位 | 小合　佳子 | 大阪樟蔭 | 山陽女子 | | | | | |
| 15 | S,39 | 東京 | LS | 3位 | 高塚　淳子 | 熊本女子 | 山陽女子 | | | | | |
| 18 | S,42 | 大阪 | LT | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | LD | 2位 | 湯木・近藤 | 日本女子体育 | 山女・東大阪 | | | | | |
| 19 | S,43 | 愛知 | LT | 優勝 | 湯木・浦口 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | LD | 優勝 | 湯木・　裕 | 日本女子体育 | 山女・高岡女 | LD | 3位 | 浦口・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 |
| 20 | S,44 | 神奈川 | LT | 優勝 | 湯木・浦口 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | LD | 2位 | 湯木・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 | | | | | |
| 21 | S,45 | 大阪 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LD | 2位 | 湯木・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 |
| | | | LD | 2位 | 湯木・本間 | 日本女子体育 | 山女・新潟青陵 | LD | 4位 | 浦口・谷沢 | 日本女子体育 | 山女・高岡女 |
| 22 | S,46 | 仙台 | MT | 優勝 | 斉藤　敏行 | 法政 | 倉敷工業 | | | | | |
| 23 | S,47 | 松山 | LT | 2位 | 石田・吉田 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LS | 5位 | 石田　雅子 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | MT | 2位 | 斉藤　敏行 | 法政 | 倉敷工業 | MD | 5位 | 斉藤・ | 法政 | 倉敷工業 |
| 24 | S,48 | 福岡 | LT | 2位 | 石田・吉田 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LS | 3位 | 石田　雅子 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | LD | 3位 | 石田・吉田 | 日本女子体育 | 山陽女子 | MT | 3位 | 斉藤　敏行 | 法政 | 倉敷工業 |
| 25 | S,49 | 山梨 | LT | 2位 | 石田・吉田 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LD | 3位 | 石田・吉田 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | LS | 5位 | 石田　雅子 | 日本女子体育 | 山陽女子 | | | | | |
| 26 | S,50 | 奈良 | LT | 優勝 | 近藤・原田・小寺 | 日女体 | 山陽女子 | LD | 3位 | 近藤・渡辺 | 日本女子体育 | 山女・平商業 |
| 27 | S,51 | 東京 | LT | 優勝 | 原田・小寺 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LD | 3位 | 原田・渡辺 | 日本女子体育 | 山女・平商業 |
| 28 | S,52 | 鳥取 | LT | 2位 | 近藤・原田・小寺 | 日女体 | 山陽女子 | LS | 優勝 | 近藤　小織 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | LD | 3位 | 近藤・渡辺 | 日本女子体育 | 山女・平商業 | | | | | |
| 29 | S,53 | 名古屋 | LT | 2位 | 原田・小寺 | 日本女子体育 | 山陽女子 | LD | 3位 | 原田・小寺 | 日本女子体育 | 山陽女子 |
| | | | MT | 5位 | 守安　達二 | 法政 | 水島工 | | | | | |

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | S,54 | 京都 | MT | 3位 | 守安 達二 | 法政 | 水島工 | | | | | |
| 31 | S,55 | 仙台 | MT | 5位 | 守安 達二 | 法政 | 水島工 | | | | | |
| 32 | S,56 | 福岡 | MT | 3位 | 守安 達二 | 法政 | 水島工 | | | | | |
| 33 | S,57 | 東京 | LD | 3位 | 皿井・長尾 | 日本女子体育 | 山女・木造 | | | | | |
| 37 | S,61 | 札幌 | LS | 5位 | 近常 直美 | 日本女子体育 | 山陽女子 | | | | | |
| 39 | S,63 | 宇都宮 | MT | 3位 | 今東 建 | 日本 | 西大寺 | MD | 5位 | 今東・中条 | 日本 | 西大寺・小松原 |
| 40 | H,1 | 福岡 | LS | 5位 | 近常 直美 | 日本女子体育 | 山陽女子 | | | | | |
| 45 | H,6 | 埼玉 | LT | 5位 | 松王峰代子 | 専修 | 山陽女子 | | | | | |
| 46 | H,7 | 京都 | MT | 4位 | 草井 篤 | 日本体育 | 瀬戸南 | LT | 5位 | 松王峰代子 | 専修 | 山陽女子 |
| 47 | H,8 | 神奈川 | MT | 2位 | 草井 篤 | 日本体育 | 瀬戸南 | LT | 5位 | 松王峰代子 | 専修 | 山陽女子 |
| | | | LT | 5位 | 加藤・赤澤 | 四條畷短期 | 山陽女子 | | | | | |

### ⑦全日本実業団選手権大会　・優勝～5位

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | S,46 | 鹿児島 | LS | 優勝 | 湯木 博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・鈴木 | 河崎ラケット | 山陽女 |
| | | | MIX | 優勝 | 湯木・堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 | | | | | |
| 22 | S,47 | 茂原 | LS | 優勝 | 湯木 博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・千葉 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MIX | 優勝 | 湯木・堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 | | | | | |
| 23 | S,48 | 石岡 | LS | 優勝 | 湯木 博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | MIX | 優勝 | 湯木・堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 |
| 24 | S,49 | 松阪 | LT | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | MIX | 優勝 | 湯木・堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 | | | | | |
| 25 | S,50 | 高岡 | LT | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 優勝 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 | | | | | |
| 26 | S,51 | 藤沢 | LT | 3位 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 優勝 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 | MiX | 2位 | 湯木・堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 |
| | | | MT | 3位 | 斉藤 敏行 | 河崎ラケット | 倉敷工業 | | | | | |
| 27 | S,52 | 大阪 | MT | 優勝 | 斉藤 敏行 | 河崎ラケット | 倉敷工業 | LS | 2位 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 2位 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 | | | | | |
| 28 | S,53 | 東京 | LT | 2位 | 湯木・近藤 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LS | 3位 | 近藤 小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 2位 | 湯木・千葉 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MT | 3位 | 斉藤 敏行 | 河崎ラケット | 倉敷工業 | | | | | |
| 29 | S,54 | 岡山<br>倉敷 | LT | 2位 | 湯木・近藤 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 優勝 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LS | 3位 | 近藤 小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 5位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MT | 3位 | 斉藤 敏行 | 河崎ラケット | 倉敷工業 | | | | | |
| 30 | S,55 | 新居浜 | LT | 2位 | 湯木・近藤 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 3位 | 近藤 小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 5位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 | MT | 3位 | 斉藤 敏行 | 河崎ラケット | 倉敷工業 |
| 31 | S,56 | 名古屋 | LT | 2位 | 湯木・近藤 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 2位 | 湯木 博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 5位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 | MD | 5位 | 斉藤・今井 | 河崎ラケット | 倉工・浦和西 |
| 32 | S,57 | 東京 | MT | 5位 | 守安 達二 | 電々近畿 | 水島工業 | | | | | |
| 33 | S,58 | 札幌 | MT | 5位 | 守安 達二 | 電々近畿 | 水島工業 | | | | | |
| 34 | S,59 | 枚方 | MT | 5位 | 守安 達二 | 電々近畿 | 水島工業 | | | | | |
| 35 | S,60 | 藤沢 | MT | 5位 | 守安 達二 | NTT関西 | 水島工業 | | | | | |
| 36 | S,61 | 京都 | MT | 5位 | 守安 達二 | NTT関西 | 水島工業 | | | | | |
| 39 | H,1 | 岡山 | MT | 5位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | | | | | |
| 40 | H,2 | 神戸 | MT | 2位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | | | | | |
| 41 | H,3 | 仙台 | MT | 5位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | | | | | |
| 42 | H,4 | 広島 | MT | 3位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | | | | | |
| 43 | H,5 | 神戸 | MT | 2位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | | | | | |
| 44 | H,6 | 仙台 | MT | 2位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | | | | | |
| 45 | H,7 | 仙台 | MT | 3位 | 今東 建 | NTT関西 | 西大寺 | LT | 3位 | 住矢 直美 | 東北電力新潟 | 山陽女子 |

## ⑧全日本社会人選手権大会　・優勝～５位

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,33 | 札幌 | MS | ３位 | 松王　清志 | 大阪合繊 | 西大寺 | | | | | |
| 2 | S,34 | 善通寺 | MS | ２位 | 松王　清志 | 大阪合繊 | 西大寺 | | | | | |
| 12 | S,44 | 鹿児島 | LS | ５位 | 児玉　祥 | 三菱電機伊丹 | 山陽女子 | MD | ５位 | 塩飽・武 | 新日鉄広畑 | 倉敷工業 |
| 14 | S,46 | 甲府 | LD | 優勝 | 湯木・高木 | 河崎・弘文堂 | 山女・掛川西 | LS | ２位 | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | MIX | ２位 | 湯木・落合 | 河崎ラケット | 山女・関東学院 | | | | | |
| 15 | S,47 | 四日市 | LD | 優勝 | 湯木・高木 | 河崎・弘文堂 | 山女・掛川西 | LS | ２位 | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | MIX | ２位 | 湯木・落合 | 河崎ラケット | 山女・関東学院 | MD | ５位 | 岩田・滝野 | ＮＴＴ関西 | 新宮・正強 |
| 16 | S,48 | 佐賀 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・柴山 | 河崎ラケット | 山女・東大阪 |
| | | | MD | ５位 | 岩田・滝野 | ＮＴＴ関西 | 新宮・正強 | | | | | |
| 17 | S,49 | 浪岡 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 |
| 18 | S,50 | 中野 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 |
| 19 | S,51 | 宮崎 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ３位 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 |
| | | | MIX | ２位 | 石田・関 | 県教委・早大 | 山女・聖学院 | | | | | |
| 20 | S,52 | 真岡 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ５位 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 |
| | | | MD | ５位 | 斉藤・今井 | 河崎ラケット | 倉工・浦和西 | | | | | |
| | | | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | ５位 | 近藤　小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| 21 | S,53 | 大津 | LD | ３位 | 湯木・千葉 | 河崎ラケット | 山女・平商業 | LD | ３位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MD | ２位 | 斉藤・今井 | 河崎ラケット | 倉工・浦和西 | MIX | ２位 | 斉藤・渡辺 | 河崎ラケット | 倉工・平商業 |
| 22 | S,54 | 松江 | LS | ２位 | 近藤　小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ５位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MIX | ３位 | 原田・田所 | 韓一銀行・ＮＴＴ | 山女・日大山形 | MIX | ５位 | 斉藤・渡辺 | 河崎ラケット | 倉工・平商業 |
| 23 | S,55 | 桐生 | LS | 優勝 | 近藤　小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | ３位 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | ２位 | 近藤・高田 | 河崎・サントリー | 山女・四條畷 | | | | | |
| 24 | S,56 | 登別 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ３位 | 原田・渡辺 | 東京・河崎 | 山女・平商業 |
| | | | LD | ５位 | 湯木・高岸 | 河崎ラケット | 山女・敦賀 | | | | | |
| 25 | S,57 | 桐生 | LD | ５位 | 湯木・高岸 | 河崎ラケット | 山女・敦賀 | LD | ５位 | 河本・高田 | 松本組 | 山女・四條畷 |
| 26 | S,58 | 田原本町 | MIX | ５位 | 斉藤・渡辺 | 河崎ラケット | 倉工・平商業 | | | | | |
| 32 | H,1 | 筑紫野 | MIX | ５位 | 今東・秋元 | ＮＴＴ関西・三洋 | 西大寺・上尾 | | | | | |
| 38 | H,7 | 広島 | MIX | ５位 | 今東・西内 | NTT関西・NEC九 | 西大寺・都城聖 | | | | | |

## ⑨全日本総合選手権大会　・優勝～５位

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | S,31 | 東京 | MD | ５位 | 松王・佐々木 | 関西大 | 西大寺・星陵 | MD | ５位 | 小松・渡辺 | 関西大 | 西大寺・星陵 |
| 10 | S,32 | 横浜 | MD | ５位 | 松王・小松 | 関西大 | 西大寺 | MS | ５位 | 小松　康博 | 関西大 | 西大寺 |
| 総合 | S,37 | 横浜 | MS | ５位 | 国信　祝二 | 関西大 | 西大寺 | | | | | |
| 総合 | S,39 | 会津若松 | LS | ４位 | 高塚　淳子 | 熊本女子大 | 山陽女子 | LD | ２位 | 高塚・横山 | 熊女大・帝石秋田 | 山女・秋田敬愛 |
| 総合 | S,41 | 東京 | LS | ３位 | 高塚　淳子 | 熊本女子大 | 山陽女子 | LD | ２位 | 高塚・横山 | 熊女大・帝石秋田 | 山女・秋田敬愛 |
| 総合 | S,42 | 横浜 | LS | ３位 | 湯木　博江 | 日女体大 | 山陽女子 | LS | ４位 | 浦口　恵子 | 日女体大 | 山陽女子 |
| | | | LD | ３位 | 湯木・近藤 | 日女体大 | 山女・東大阪 | | | | | |
| 総合 | S,43 | 東京 | LS | ５位 | 浦口　恵子 | 日女体大 | 山陽女子 | LD | ２位 | 湯木・　裕 | 日女体大 | 山女・高岡女 |
| | | | LD | ５位 | 浦口・本間 | 日女体大 | 山女・新潟青陵 | | | | | |
| 総合 | S,44 | 東京 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 日女体大 | 山陽女子 | LD | ３位 | 湯木・本間 | 日女体大 | 山女・新潟青陵 |
| 総合 | S,45 | 東京 | LS | ２位 | 湯木　博江 | 日女体大 | 山陽女子 | LD | ３位 | 湯木・本間 | 日女体大 | 山女・新潟青陵 |
| 総合 | S,46 | 東京 | LS | ２位 | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・中山 | 河崎・弘文堂 | 山女・掛川西 |
| 総合 | S,47 | 東京 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ３位 | 石田・吉田 | 日女体大 | 山陽女子 |
| | | | MD | ５位 | 岩田・滝野 | ＮＴＴ関西 | 新宮・正強 | | | | | |
| 総合 | S,48 | 東京 | LS | 優勝 | 湯木　博江 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ２位 | 湯木・池田 | 河崎・日女体大 | 山女・親和 |
| | | | LD | ５位 | 石田・吉田 | 日女体大 | 山陽女子 | | | | | |
| 総合 | S,49 | 東京 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 優勝 | 湯木・池田 | 河崎・日女体大 | 山女・親和 |
| | | | LD | ５位 | 石田・吉田 | 日女体大 | 山陽女子 | MIX | ２位 | 湯木・　堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 |
| 総合 | S,50 | 東京 | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | ２位 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 |
| | | | LD | ５位 | 近藤・渡辺 | 日女体大 | 山女・平商業 | | | | | |
| | | | LS | 優勝 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | ５位 | 近藤　小織 | 日女体大 | 山陽女子 |
| 総合 | S,51 | 東京 | LD | ２位 | 湯木・池田 | 河崎ラケット | 山女・親和 | LD | ５位 | 近藤・渡辺 | 日女体大 | 山女・平商業 |
| | | | MIX | ３位 | 湯木・　堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 | | | | | |

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 | 種目 | 戦績 | 選手名 | 大学名 | 出身高校 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合 | S,52 | 東京 | LS | 優勝 | 近藤　小織 | 日女体大 | 山陽女子 | LS | 2位 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 2位 | 湯木・近藤 | 河崎・日女体 | 山陽女子 | MT | 優勝 | 斉藤　敏行 | 河崎ラケット | 倉敷工業 |
| | | | MIX | 5位 | 湯木・　堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 | (52年度のみ団体戦実施) | | | | |
| 総合 | S,53 | 東　京 | LS | 2位 | 近藤　小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 3位 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 3位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 | LD | 5位 | 湯木・千葉 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MD | 5位 | 斉藤・今井 | 河崎ラケット | 倉工・浦和西 | MIX | 3位 | 斉藤・渡辺 | 河崎ラケット | 倉工・平商業 |
| 総合 | S,54 | 東　京 | LS | 2位 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LS | 3位 | 近藤　小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 |
| | | | LD | 3位 | 近藤・高田 | 河崎・サントリー | 山女・四條畷 | MIX | 3位 | 斉藤・渡辺 | 河崎ラケット | 倉工・平商業 |
| | | | MIX | 5位 | 湯木・　堺 | 河崎ラケット | 山女・麻布 | | | | | |
| 総合 | S,55 | 東　京 | LS | 3位 | 近藤　小織 | 河崎ラケット | 山陽女子 | LD | 2位 | 近藤・渡辺 | 河崎ラケット | 山女・平商業 |
| | | | MIX | 5位 | 斉藤・渡辺 | 河崎ラケット | 倉工・平商業 | | | | | |
| 総合 | S,57 | 東　京 | LS | 5位 | 湯木　博恵 | 河崎ラケット | 山陽女子 | | | | | |
| 総合 | H,1 | 東　京 | MIX | 5位 | 今東・秋元 | NTT関西・三洋 | 西大寺・上尾 | | | | | |
| 総合 | H,2 | 東　京 | MIX | 5位 | 今東・秋元 | NTT関西・三洋 | 西大寺・上尾 | | | | | |

### ⑩国民体育大会「バドミントン競技」　・優勝～5位

| 回 | 年度 | 開催地 | 種別 | 戦績 | 所属 | 選手名（所属＝出身高校） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | S,27 | 宮　城 | L | 5位 | 京都 | 松山　昌子（京都女子大＝井原） |
| 13 | S,33 | 富　山 | M | 3位 | 大阪 | 松王　清志（大阪合繊＝西大寺） |
| 14 | S,34 | 東　京 | M | 3位 | 大阪 | 松王清志・小松貴（ともに大阪合繊＝西大寺）・小松康博（フェザー＝西大寺） |
| 15 | S,35 | 熊　本 | M | 5位 | 大阪 | 松王　清志（大阪合繊＝西大寺）・小松　康博（フェザー＝西大寺） |
| 27 | S,47 | 鹿児島 | L | 優勝 | 東京 | 湯木　博江（河崎ラケット＝山陽女子）＊東京は天皇・皇后両杯総合優勝 |
| 28 | S,48 | 千　葉 | L | 優勝 | 東京 | 湯木　博江（河崎ラケット＝山陽女子）＊東京は天皇・皇后両杯総合優勝 |
| 30 | S,50 | 三　重 | L | 優勝 | 東京 | 湯木　博恵（河崎ラケット＝山陽女子） |
| 31 | S,51 | 佐　賀 | L | 優勝 | 東京 | 湯木　博恵（河崎ラケット＝山陽女子） |
| 32 | S,52 | 青　森 | L | 優勝 | 東京 | 湯木　博恵（河崎ラケット＝山陽女子） |
| 36 | S,56 | 滋　賀 | L | 優勝 | 東京 | 湯木　博恵（河崎ラケット＝山陽女子） |
| 37 | S,57 | 島　根 | L | 5位 | 東京 | 湯木　博恵（河崎ラケット＝山陽女子） |
| 51 | H,8 | 広　島 | L | 2位 | 新潟 | 住矢　直美（東北電力新潟＝山陽女子） |

# 3　登録・加盟状況

## 1．登録会員

近年，バドミントンの愛好者は増加しているのに，県協会への登録者総数は，1976（昭和51）年度の1415人に対して，20年後の1995（平成７）年度は1295人であり，120人の減少が見られる。

＜＊県協会登録会員の内訳は，高校・大学・実業団・教職員・家庭婦人等の各連盟加入者と社会人＞

◆登録会員減少について

⑴県協会の主催大会に参加しても，強い選手が多くて勝ち進めないので楽しくない。

⑵郡や市のバドミントン協会の主催大会に参加する方が，勝ち進めるチャンスが多くて楽しめる。また，郡・市協会の大会数も結構多くて満足できる。

⑶各連盟主催の大会が増加する中で，連盟独自の運営内容（グレード別，年齢別，予選，決勝，敗者復活等）も豊富になったので，連盟加入者の大半は，連盟関係の大会参加で満足している。

かつて，県内の愛好者にとっては，県協会の主催大会がすべてであり，年々参加者が増えて大会運営に苦労したほどであった。そして，参加者増はそのまま登録会員の増加につながった。しかし，近年の社会情勢による全国的傾向として，上記⑴～⑶の実態が大勢を占めるようになってきた。

一方，「厳しい思いをしないで楽しみたい」というムードが，大学や高校でのサークル活動を流行させて；部活動加入者の減少を招いており，その傾向が一般にも波及しているようである。

因みに，岡山市や倉敷市両協会の主催大会は，県協会の主催大会を上回る参加者（登録者）を得て盛会裡に運営されている。その中から「中国や全国でも頑張ってみたい…」，いわゆる“やる気のある選手”が，県協会会員登録の中心となっているのであろう。

## 2．加盟団体等

**⑴岡山県実業団連盟加盟団体・同大会参加選手所属事業所**（平成８～９年度）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 三井造船 | 川鉄マシナリー | 川崎製鉄 | 三菱化学 | 松下電器 | クラレ |
| | 三菱石油 | 高井文研堂 | 清音村役場 | 中国郵政 | 岡山市役所 | 三菱自工 |
| | 東洋キャリア | 中国電力 | 倉敷市役所 | NTN | 岡山ミノルタ | 笠岡市役所 |
| | 辰己商会 | 倉敷化工 | 灘崎クラブ | アンセイ | 三菱石油 | ガモウ鉄工所 |
| | 金光郵便局 | 関東化学 | RSナガイ | コニック | 山陽クラブ | 山陽北小教員 |
| | 琴浦西小教員 | 里庄郵便局 | 光和被服 | 井原市役所 | 大元小教員 | 倉敷ぶるず |
| | 東備クラブ | 永井BC | クラレ倉敷 | 岡山貯金JC | 茶屋町小教員 | 奥村BC |
| | 笠岡BC | あおい | 吉備高原ク | 旭東クラブ | ちろりん村 | 秀天郵便局 |
| 女子 | まつもと | 中国精油 | 三菱自工 | クラレ | 岡山市役所 | |
| | 済生会病院 | 光和被服 | クラレ倉敷 | サラダクラブ | | |

＊①団体戦参加チーム数：男子＝18，女子＝５

＊②個人戦のみ参加の事業所数（太線枠内）：男子＝30，女子＝４

### ⑵岡山県高体連専門部加盟校（平成８年度現在）

| 学校名 | 男 | 女 | 学校名 | 男 | 女 | 学校名 | 男 | 女 | 学校名 | 男 | 女 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山陽女子 | | ○ | 和気閑谷 | ○ | ○ | 矢掛商業 | | ○ | 成羽 | ○ | ○ |
| 岡山朝日 | ○ | ○ | 備前 | ○ | | 笠岡商業 | | ○ | 総社南 | ○ | ○ |
| 岡山芳泉 | ○ | ○ | 邑久 | ○ | ○ | 笠岡 | ○ | ○ | 総社 | ○ | ○ |
| 岡山一宮 | ○ | ○ | 岡山学芸館 | ○ | ○ | 笠岡工業 | ○ | | 高松農業 | ○ | ○ |
| 岡山工業 | ○ | | 備前東 | ○ | ○ | 鴨方 | ○ | ○ | 高梁日新 | ○ | ○ |
| 岡山城東 | ○ | ○ | 倉敷青陵 | ○ | ○ | 玉島 | ○ | ○ | 津山商業 | | ○ |
| 東岡山工業 | ○ | | 倉敷工業 | ○ | | 玉島商業 | ○ | ○ | 津山 | ○ | ○ |
| 金川 | ○ | ○ | 水島工業 | ○ | ○ | 井原 | ○ | ○ | 津山工業 | ○ | ○ |
| 岡山理大附属 | ○ | ○ | 倉敷中央 | | ○ | 精研 | | ○ | 津山東 | ○ | ○ |
| 烏城 | ○ | ○ | 倉敷天城 | ○ | ○ | 黎明 | | ○ | 林野 | ○ | ○ |
| 吉備高原学園 | ○ | ○ | 倉敷古城池 | ○ | ○ | 岡山県山陽 | ○ | ○ | 久世 | ○ | ○ |
| 岡山 | ○ | | 倉敷商業 | | ○ | 琴浦 | | ○ | 落合 | ○ | ○ |
| 岡山商大附属 | ○ | | 倉敷南 | ○ | ○ | 児島第一 | ○ | ○ | 弓削 | ○ | ○ |
| 岡山東商業 | ○ | ○ | 倉敷翠松 | | ○ | 玉野商業 | ○ | ○ | 勝山 | ○ | ○ |
| 市立岡山商業 | ○ | ○ | 川崎医大附属 | | ○ | 玉野光南 | ○ | ○ | 美作 | ○ | ○ |
| 西大寺 | ○ | ○ | 倉敷 | ○ | | 興陽 | ○ | ○ | 作陽 | ○ | ○ |
| 瀬戸南 | ○ | ○ | 清心女子 | | ○ | 新見北 | ○ | ○ | 津山工業高専 | ○ | ○ |
| 瀬戸 | ○ | ○ | 矢掛 | ○ | ○ | 高梁工業 | ○ | ○ | 備作 | ○ | ○ |
| | | | | | | | | | 計 | 60 | 64 |

### ⑶岡山県中体連専門部加盟校（平成８年度現在）

| 学校名 | 男 | 女 | 学校名 | 男 | 女 | 学校名 | 男 | 女 | 学校名 | 男 | 女 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 岡山市　岡北 | ○ | ○ | 私立岡山 | ○ | | 倉敷市　福田 | ○ | ○ | 浅口郡　鴨方 | | ○ |
| 〃　岡輝 | | ○ | 岡山県聾学校 | | ○ | 〃　福田南 | | ○ | 小田郡　矢掛 | | ○ |
| 〃　芳泉 | ○ | ○ | 備前市　備前 | ○ | ○ | 〃　連島 | ○ | ○ | 総社市　東 | ○ | ○ |
| 〃　芳田 | | ○ | 赤磐郡　瀬戸 | | ○ | 〃　児島 | ○ | ○ | 〃　西 | ○ | ○ |
| 〃　竜操 | | ○ | 〃　高陽 | | ○ | 〃　琴浦 | ○ | | 上房郡　大和 | ○ | ○ |
| 〃　高島 | | ○ | 邑久郡　邑久 | ○ | ○ | 〃　玉島西 | ○ | ○ | 津山市　中道 | | ○ |
| 〃　旭東 | ○ | ○ | 倉敷市　東 | ○ | ○ | 〃　黒崎 | | ○ | 〃　北陵 | | ○ |
| 〃　西大寺 | ○ | ○ | 〃　西 | ○ | ○ | 笠岡市　東 | ○ | ○ | 〃　西 | | ○ |
| 〃　上南 | | ○ | 〃　南 | | ○ | 〃　西 | | ○ | 真庭郡　落合 | ○ | ○ |
| 〃　山南 | ○ | ○ | 〃　北 | | ○ | 〃　金浦 | ○ | ○ | 〃　湯原 | | ○ |
| 〃　福田 | | ○ | 〃　多津美 | ○ | ○ | 〃　新吉 | | ○ | 〃　久世 | ○ | ○ |
| 〃　上道 | ○ | ○ | 〃　新田 | | ○ | 〃　大島 | | ○ | 〃　新庄 | | ○ |
| 〃　藤田 | ○ | ○ | 〃　東陽 | | ○ | 〃　白石 | | ○ | 〃　中和 | | ○ |
| 岡山大学附属 | | ○ | 〃　庄 | ○ | | 〃　北木 | | ○ | 英田郡　大原 | | ○ |
| 私立山陽女子 | | ○ | 〃　第一 | ○ | ○ | 井原市　井原 | | ○ | 計 | 29 | 56 |

**⑷教職員連盟の県大会参加団体**（平成８年度，年間３回＝クラス別・年齢別・予選・決勝等）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大元小 | 政田小 | 山陽北小 | 庄内小 | 大坪和小 | 児島小 | 第三福田小 |
| 本荘小 | 琴浦南小 | 山手小 | 下津井東小 | 第二福田小 | 総社小 | 連島東小 |
| 老松小 | 平福小 | 豊田小 | 二万小 | 粒江小 | 第五福田小 | 茶屋町小 |
| 柵原東小 | 勝間田小 | 芳田小 | 緑丘小 | 大原小 | 三門小 | 高野小 |
| 操南小 | 津島小 | 岡山福田小 | 浮田小 | 平島小 | 高島小 | 平井小 |
| 宇野小 | 御野小 | 第一福田小 | 帯江小 | 天城小 | 富山小 | 桃丘小 |
| 北房中 | 連島中 | 芳田中 | 荘内中 | 御南中 | 芳泉中 | 金川高 |
| 玉島高 | 新見北高 | 総社南高 | 日本原高 | 鴨方高 | 岡山工業高 | 備作高 |
| 琴浦高 | 大安寺高 | 芳泉高 | 岡山大 | 県古代吉備文化財セ | | 計＝61 |

**⑸家庭婦人連盟の県大会参加団体**（平成８～９年度，年間３回＝クラス別・年齢別等）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 奥村ＢＣ | 児島みずどり | 永井ＢＣ | サラダクラブ | 西大寺 | |
| クラレ岡山 | トゥウィンクル | フレンド | らっきい | 竹の子 | |
| 庄バド | サタディーズ | 総社クラブ | 豊体協 | わかば | |
| 真庭ＯＧ | 山陽アリス | 岡田クラブ | 吉備体協 | シェイククラブ | |
| 津山レディース | ひまわり | 玉野クラブ | リトルスターズ | 川鉄バード | |
| ユニーク | サタディクラブ | アミー | アイビー | チェリッシュ | |
| ウィング玉島 | ＰＯＲＯ | シュガーラブ | ホワイトシャトルズ | ＭＭＣ | |
| オレンジ | | | | 計 36 | |

**⑹小学生大会参加団体**（平成８～９年度，年間３回＝クラス別・４年以下・初心者・交流等）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 野谷小 | 第三藤田小 | 清音小 | 高田小 | 幸島小 | 浮田小 | 日生西小 |
| 太伯ＢＣ | 西江原小 | 三門小 | ウイングＢＣ | 二万ＪＳＣ | 西大寺体協 | 西大寺小 |
| 豊体協 | 永井ＢＣ | 七区小 | 平井小 | 帯江小 | 旭川ＢＣ | 雄神小 |
| 三国ＳＰ | 児島小 | 藤野小 | 赤崎小 | 幸島ＢＣ | 青井 | ミッキーズ |
| 山陽北小 | 陵南小 | 中庄小 | 平島小 | 日笠小 | 清音 | 牧石クラブ |
| 安原ＢＣ | 富山小 | 三勲小 | | | | 計＝38 |

**⑺県リーグ参加団体**（平成８年度現在＊Ｍ＝男子，Ｌ＝女子，１～４＝所属の部＜クラス＞）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｍ.１ | 川鉄マシナリー | 松下電器岡山 | 三菱化学 | 三井造船 | 倉敷工高Ａ | ちろりん村Ａ | 6チーム |
| Ｍ.２ | 笠岡クラブＡ | 川崎製鉄Ａ | 水島工高 | 三菱石油 | 教員旭東ク | 三菱自工Ａ | 6チーム |
| Ｍ.３ | 奥村ＢＣＡ | 東備クラブＡ | クラレ倉敷 | 笠岡市役所 | | | 4チーム |
| Ｍ.４ | ちろりん村 | 笠岡クラブＢ | 奥村ＢＣＢ | 三菱自工Ｂ | | | 9チーム・ |
| | 吉備高原ク | Ｄ Ｂ Ｃ | 東備クラブＢ | 倉敷工高Ｂ | 川崎製鉄Ｂ | | 2グループ |
| Ｌ.１ | まつもと | ベストハッツ | 倉敷翠松クＡ | 山陽女子高 | 永井ＢＣＡ | | 5チーム |
| Ｌ.２ | クラレ岡山 | 笠岡クラブ | 笠岡市役所 | 倉敷翠松クＢ | 永井ＢＣＢ | ちろりん村Ｂ | 6チーム |

**⑻学生連盟**（平成８年度現在）※学連主催の県内大会はない，下表は対外大会参加状況

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ａ | 岡山大 | 山陽学園短大 | 岡山理大 | Ａ＝対外大会に概ね毎年度参加 | |
| Ｂ | 清心女子大 | 就実短大 | 県立短大 | 中国短大 | Ｂ＝特定年度に参加 |

# 4　県協会・加盟団体スケジュール（平成９年度）

| No. | 月 | 行　　事　　名 | No. | 月 | 行　　事　　名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 第18回県春季家庭婦人大会 | 30 | 9 | 第40回全日本社会人選手権大会 |
| 2 | 4 | 第40回県実業団選手権大会・兼第47回全日本実業団選手権大会県予選会 | 31 | 9 | 平成９年度県リーグ戦（第１回） |
| | | | 32 | 9 | 第40回岡山県・香川県対抗競技会 |
| 3 | 4 | 第40回県春季選手権大会 | 33 | 9 | 第18回県秋季家庭婦人大会 |
| 4 | 4 | 第40回県高等学校春季選手権大会 | 34 | 9 | 第16回全日本ジュニア選手権大会 |
| 5 | 5 | 県高校地区総体（県高校総体予選） | 35 | 9 | 第40回中国地区総合選手権大会 |
| 6 | 5 | 平成９年度前期県実業団選手権大会 | 36 | 10 | 県民スポーツフェスティバル |
| 7 | 5 | 第29回中国実業団選手権大会 | 37 | 10 | 第48回全日本大学学生選手権大会 |
| 8 | 5 | 第６回県教職員春季選手権大会 | 38 | 10 | 第12回ＯＨＫ杯県家庭婦人大会 |
| 9 | 5 | 第36回県高校総合体育大会，第40回中国高校兼第48回全国高校県予選会 | 39 | 10 | 第52回国民体育大会バドミントン競技 |
| | | | 40 | 11 | 第14回全日本シニア選手権大会 |
| 10 | 6 | 第41回中・四国大学学生選手権大会 | 41 | 11 | 平成９年度全日本総合選手権大会 |
| 11 | 6 | 第14回中国家庭婦人競技大会，第15回全日本家庭婦人中国地区予選会 | 42 | 11 | 平成９年度県高等学校秋季選手権大会兼第26回全国高等学校選抜選手権県予選会 |
| 12 | 6 | 第47回全日本実業団選手権大会 | 43 | 11 | 第５回県小学生秋季大会 |
| 13 | 6 | 第40回中国高等学校選手権大会 | 44 | 11 | 平成９年度県中学校秋季選手権大会 |
| 14 | 6 | 第17回中・四国大学学生リーグ戦 | 45 | 11 | 平成９年度県リーグ戦（第２回） |
| 15 | 7 | 第15回県小学生春季大会 | 46 | 11 | 第30回県教職員冬季選手権大会 |
| 16 | 7 | 第48回中国５大学学生競技大会 | 47 | 11 | 第40回県秋季選手権大会 |
| 17 | 7 | 第52回国体県予選会（成年の部） | 48 | 11 | 第36回中・四国・九州大学学生選手権大会 |
| 18 | 7 | 第52回国体県予選会（少年の部） | 49 | 11 | 平成９年度県総合選抜選手権大会 |
| 19 | 7 | 第15回全日本家庭婦人大会 | 50 | 12 | 平成９年度日本リーグ（'97日本リーグ倉敷大会） |
| 20 | 7 | 第35回県中学校総合体育大会 | | | |
| 21 | 8 | 第48回全国高等学校選手権大会 | 51 | 12 | 第46回全日本学生東西対抗競技会 |
| 22 | 8 | 第18回中国中学校選手権大会 | 52 | 12 | 第７回中国教職員選手権大会 |
| 23 | 8 | 第22回中国学生選手権大会 | 53 | 1 | 第26回全国高校選抜選手権中国地区予選会 |
| 24 | 8 | 第36回全日本教職員選手権大会 | 54 | 1 | 平成９年度県新人大会 |
| 25 | 8 | 第21回全国高等専門学校選手権大会 | 55 | 1 | 第14回中国小学生大会県予選会 |
| 26 | 8 | 県総合選手権大会兼第40回中国地区総合選手権県予選会 | 56 | 1 | 平成９年度県高等学校新人大会 |
| | | | 57 | 2 | 平成９年度後期県実業団選手権大会 |
| 27 | 8 | 第27回全国中学校選手権大会 | 58 | 2 | 第６回県教職員学校対抗選手権大会 |
| 28 | 8 | 第52回国民体育大会中国ブロック大会 | 59 | 2 | 第14回中国小学生大会 |
| 29 | 8 | 第37回西日本大学学生選手権大会 | 60 | 3 | 第26回全国高等学校選抜選手権大会 |

≪主な県大会の出場資格≫

１，春季：一般・学生＝フリー。中・高生徒＝中学は前年度，高校は当該年度春季大会上位ランク選手

２，総合：一般・学生＝フリー。中・高生徒＝当該年度総合以前の中・高各種大会の上位ランク選手

３，秋季：一般・学生＝フリー。中・高生徒＝当該年度秋季以前の中・高各種大会の上位ランク選手

４，総合選抜：一般・学生・高校生＝前年度同大会，当該年度春・総合・秋各大会の上位ランク選手

５，新人：一般＝当該年度総合選抜参加以外の選手，高校３年生の対外大会参加以外の選手

# 5　公認審判員名簿等（平成８年度末現在）

## １．第１種Ａ級（種別記号＝１Ａ）～第３種Ａ級（種別記号＝３Ａ）

| 種別 | 氏　名 | 性 | 所属 | 種別 | 氏　名 | 性 | 所属 | 種別 | 氏　名 | 性 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1A | 小田　和文 | 男 | 中体連 | 3A | 土肥まり子 | 女 | 実連 | 3A | 末田　真一 | 男 | 実連 |
| 〃 | 岡本　次郎 | 男 | 中体連 | 〃 | 佐藤　由香 | 女 | 山女OG | 〃 | 河本　健二 | 男 | 実連 |
| 〃 | 瀬戸　勝 | 男 | 高体連 | 〃 | 住矢　美幸 | 女 | 実連 | 〃 | 樋口　正幸 | 男 | 実連 |
| 〃 | 柳本　堯敏 | 男 | 中体連 | 〃 | 宮本　順子 | 女 | 実連 | 〃 | 尾崎　義隆 | 男 | 太伯具 |
| 〃 | 藤原　航 | 男 | 実連 | 〃 | 高原　芳夫 | 男 | 中体連 | 〃 | 三好　研二 | 男 | 実連 |
| 〃 | 芳上　一男 | 男 | 芳上鉄工 | 〃 | 西　義治 | 男 | 中体連 | 〃 | 石本　一豊 | 男 | 実連 |
| 1B | 若林　秀夫 | 男 | 実連 | 〃 | 日笠龍太郎 | 男 | 中体連 | 〃 | 野田　修嗣 | 男 | 実連 |
| 〃 | 山本　清 | 男 | 実連 | 〃 | 山田千鶴子 | 女 | 高体連 | 〃 | 吉田　正輝 | 男 | 実連 |
| 〃 | 藤原　道弘 | 男 | 実連 | 〃 | 伊丹　政人 | 男 |  | 〃 | 白神　純 | 男 | 実連 |
| 2A | 濱田　健生 | 男 | 津山市役 | 〃 | 谷口　篤則 | 男 | 太伯倶 | 〃 | 岡本　真一 | 男 | 実連 |
| 〃 | 中山　睦雄 | 男 | 実連 | 〃 | 尾崎　昭弘 | 男 | 太伯倶 | 〃 | 久山　浩一 | 男 | 実連 |
| 〃 | 岡崎　博昭 | 男 | 高梁倶 | 〃 | 吉岡　和昭 | 男 | 太伯倶 | 〃 | 坂口　保明 | 男 | 実連 |
| 2B | 横田　寿弘 | 男 | 高体連 | 〃 | 谷口美智子 | 女 | 太伯倶 | 〃 | 中西　悟 | 男 | 棚原体協 |
| 〃 | 浅原　芳弘 | 男 | 高体連 | 〃 | 近藤　本子 | 女 | 太伯倶 | 〃 | 稲谷　和昌 | 男 | 棚原体協 |
| 〃 | 西崎　文貴 | 男 | 高体連 | 〃 | 三宅　伸介 | 男 | 実連 | 〃 | 武政　英和 | 男 | 実連 |
| 〃 | 橋本　英俊 | 男 | 高体連 | 〃 | 畑上　卓 | 男 | 高体連 | 〃 | 阿部　秀一 | 男 | 実連 |
| 〃 | 福島　信夫 | 男 | 高体連 | 〃 | 吉原　俊治 | 男 | 実連 | 〃 | 勘藤　靖永 | 男 | 実連 |
| 〃 | 羽崎美智夫 | 男 | 実連 | 〃 | 山本　光一 | 男 | 実連 | 〃 | 白神　和彦 | 男 | 実連 |
| 〃 | 田丸　勝己 | 男 | 実連 | 〃 | 梶原　恵子 | 女 | 高体連 | 〃 | 山本　典子 | 女 | 高体連 |
| 〃 | 大倉　達也 | 男 | 実連 | 〃 | 柴田　憲 | 男 | 高体連 | 〃 | 國近　知之 | 男 | 実連 |
| 〃 | 福尾　雅俊 | 男 | 実連 | 〃 | 石田　賢一 | 男 | 高体連 | 〃 | 田中　学 | 男 | 実連 |
| 〃 | 藤井　一男 | 男 | 実連 | 〃 | 大熊　光弘 | 男 | 高体連 | 〃 | 垣見　一俊 | 男 | 実連 |
| 〃 | 松岡　和俊 | 男 | 中体連 | 〃 | 小山　誠 | 男 | 高体連 | 〃 | 長谷　和邦 | 男 | 実連 |
| 〃 | 中須賀祥雅 | 男 | 中体連 | 〃 | 竺原　博文 | 男 | 実連 | 〃 | 田中　薫 | 男 | 実連 |
| 3A | 松田　範明 | 男 | 高体連 | 〃 | 横山　豊和 | 男 | 実連 | 〃 | 中浜　昌宏 | 男 | 実連 |
| 〃 | 西山　宗弘 | 男 | 津山高専 | 〃 | 横山　健一 | 男 | 実連 | 〃 | 中塚　京子 | 女 | 実連 |
| 〃 | 若林　邦任 | 男 | RS永井 | 〃 | 立野　隆行 | 男 | 実連 | 〃 | 松本　正直 | 男 | 高体連 |
| 〃 | 松岡　純子 | 女 | 実連 | 〃 | 坂下伊知郎 | 男 | 実連 | 〃 | 大江　敏彦 | 男 | 高体連 |
| 〃 | 内田　修一 | 男 | 津山高専 | 〃 | 中野　正宏 | 男 | 実連 | 〃 | 鶴見　隆弘 | 男 | 高体連 |
| 〃 | 神宝　朝子 | 女 | 実連 | 〃 | 赤尾　大助 | 男 | 実連 | 〃 | 前田　雅美 | 男 | 実連 |
| 〃 | 佐藤　忠裕 | 男 | 高体連 | 〃 | 三好　誠 | 男 | 実連 | 〃 | 小川　芳弘 | 男 | 実連 |
| 〃 | 中元　一幸 | 男 | NTN | 〃 | 河合　隆司 | 男 | 中体連 | 〃 | 藤井　久美 | 男 | 実連 |
| 〃 | 田井　秀賢 | 男 | 高体連 | 〃 | 坂本　昌彦 | 男 | 実連 | 〃 | 久山　信行 | 男 | 実連 |
| 〃 | 枝木謙太郎 | 男 | 笠岡BC | 〃 | 奥村　都 | 女 | 実連 | ＊合計＝101名 |  |  |  |

## ２．第３種Ｂ級＜18歳未満＞（種別記号＝３Ｂ）

| 種別 | 氏　名 | 性 | 所属 | 種別 | 氏　名 | 性 | 所属 | 種別 | 氏　名 | 性 | 所属 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3B | 雄龍あゆみ | 女 | 山女OG | 3B | 山名　正晃 | 男 | 瀬戸南高 | 3B | 若林　祐志 | 男 | 理大附高 |
| 〃 | 須々木　恵 | 女 | 山女OG | 〃 | 大森　勇人 | 男 | 瀬戸南高 | 〃 | 宍栗　直樹 | 男 | 理大附高 |
| 〃 | 佐藤　美和 | 女 | 山女OG | 〃 | 中井　悠貴 | 男 | 岡山東高 | 〃 | 宇野香緒里 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 細田　敬子 | 女 | 美作OG | 〃 | 佐野　洋一 | 男 | 岡山東高 | 〃 | 古川　聡子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 川口　千春 | 女 | 美作OG | 〃 | 西村　正史 | 男 | 岡山東高 | 〃 | 橋村めぐみ | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 八木香緒里 | 女 | 美作OG | 〃 | 山根　和之 | 男 | 岡山東高 | 〃 | 中塚あゆみ | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 西本　康宏 | 男 | 実連 | 〃 | 植田　佳文 | 男 | 岡山東高 | 〃 | 雄龍めぐみ | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 田中　佑弥 | 男 | 水島工高 | 〃 | 高本　普輔 | 男 | 岡山東高 | 〃 | 國司　良子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 黒住　浩史 | 男 | 水島工高 | 〃 | 八田　佳子 | 女 | 岡山東高 | 〃 | 高原　淳子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 佐々木隆義 | 男 | 水島工高 | 〃 | 山田　由佳 | 女 | 岡山東高 | 〃 | 大西　詠子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 渡辺　稔 | 男 | 水島工高 | 〃 | 尾崎由起子 | 女 | 岡山東高 | 〃 | 小田　真澄 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 倉岡　佑樹 | 男 | 水島工高 | 〃 | 金本　直美 | 女 | 岡山東高 | 〃 | 中川　暁子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 築波　誠 | 男 | 水島工高 | 〃 | 山谷　幸代 | 女 | 岡山東高 | 〃 | 井山　美里 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 今田加奈子 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 藤原　寛子 | 女 | 岡山東高 | 〃 | 小田　倫子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 近藤　純子 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 大島　千春 | 女 | 精研高 | 〃 | 谷口　智子 | 女 | 山陽女高 |
| 〃 | 下山　真央 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 笠井　芳恵 | 女 | 精研高 | 〃 | 岩田　直子 | 女 | 山陽女中 |
| 〃 | 頓宮　茜 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 藤井　美江 | 女 | 精研高 | 〃 | 谷口　貴美 | 女 | 山陽女中 |
| 〃 | 那須友基子 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 三宅美佳子 | 女 | 精研高 | 〃 | 高原　由紀 | 女 | 山陽女中 |
| 〃 | 山室　知加 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 高橋　博子 | 女 | 玉野商高 | 〃 | 三木彩恵子 | 女 | 山陽女中 |
| 〃 | 和田　結子 | 女 | 西大寺高 | 〃 | 竹内　千春 | 女 | 玉野商高 | 〃 | 赤木　敏倫 | 男 | 東岡山工 |
| 〃 | 稲田　泰太 | 男 | 商大附高 | 〃 | 松川　大紀 | 男 | 倉敷工高 | 〃 | 橋本　佳道 | 男 | 東岡山工 |
| 〃 | 谷口　正和 | 男 | 商大附高 | 〃 | 田中　敬 | 男 | 倉敷工高 | 〃 | 田村　重樹 | 男 | 東岡山工 |
| 〃 | 秋本　日高 | 男 | 商大附高 | 〃 | 遠藤　裕之 | 男 | 倉敷工高 | 〃 | 宮宅　秀典 | 男 | 東岡山工 |
| 〃 | 吉森　旭 | 男 | 商大附高 | 〃 | 片山　済 | 男 | 倉敷工高 | 〃 | 武用　淳 | 男 | 東岡山工 |
| 〃 | 赤木　真弓 | 女 | 瀬戸南高 | 〃 | 柴田　匡史 | 男 | 倉敷工高 | | | | |
| 〃 | 宇都宮雅子 | 女 | 瀬戸南高 | 〃 | 近藤　健一 | 男 | 理大附高 | ＊合計＝76名 | | | |

### 公認審判員資格認定員（日本協会委嘱）

| No. | 氏　名 | 備　考 |
|---|---|---|
| 1 | 小田　和文 | 岡山県協会常務理事・同審判部会長 |
| 2 | 藤原　航 | 岡山県協会理事長・同実連理事長 |
| 3 | 柳本　堯敏 | 岡山県協会副会長・同教職連会長 |

### 指導員・Ｃ級コーチ（文部省公認）

| No. | 氏　名 | 備　考 |
|---|---|---|
| 1 | 中須賀祥雅 | 岡山県協会常務理事・同中体連委員長 |

# 6　役員名簿集（平成10～11年度）

## 1．県協会役員名簿

| 役職 | 氏名 | 勤務先 | 役職 | 氏名 | 勤務先 |
|---|---|---|---|---|---|
| 名誉会長 | 石田祥史 | ㈱まつもとコーポレーション | 常務理事 | 藤原道弘 | 川崎製鉄㈱水島製鉄所 |
| 顧問 | 川上亀義 | | | 柴田憲 | 県立瀬戸南高等学校 |
| | 山田錄二郎 | 岡山市議会 | | 中島英喜 | 岡山市立三門小学校 |
| | 森口隆彦 | 川崎医科大学 | | 松本哲也 | 山陽町立山陽北小学校 |
| 会長 | 岡﨑彬 | 岡山瓦斯㈱ | | 山本清 | 三井造船㈱玉野事業所 |
| 副会長 | 片山義久 | 中国精油㈱ | | 竺原博文 | 三菱化学㈱水島事業所 |
| | 毛利清志 | | | 佐々木正邦 | 中国精油㈱ |
| | 柳本堯敏 | 岡山市立少年自然の家 | | 人見稔 | 岡山瓦斯㈱ |
| | 三吉肇 | 県立倉敷中央高等学校 | 理事 | 若林秀夫 | 三菱石油㈱水島製油所 |
| | 谷口正美 | 岡山市立山南中学校 | | 藤井久美 | 清音村役場 |
| 参与 | 前原初美 | | | 田中泰弘 | ㈱まつもとコーポレーション |
| | 虻江優 | | | 圧盛龍剛 | 岡山市役所 |
| | 橋本千代子 | | | 佐藤民子 | |
| | 瀬戸勝 | 県立倉敷中央高等学校 | | 藤井一男 | 笠岡市役所 |
| | 熊沢凡夫 | | | 松田範明 | 備讃瀬戸リゾートクラブ |
| | 岡本武利 | ㈲ジュエル桂 | | 佐藤忠裕 | 山陽女子中・高等学校 |
| 理事長 | 藤原航 | 岡山県立大学 | | 畑健二 | 倉敷市立連島中学校 |
| 副理事長 | 吉原俊治 | 岡山県環境保全事業団 | | 松岡純子 | 三井造船㈱玉野事業所 |
| | 中山睦雄 | 川崎製鉄㈱水島製鉄所 | | 西崎文貴 | 県立水島工業高等学校 |
| 常務理事 | 朝霧晴夫 | | | 野田修嗣 | 川鉄マシナリー㈱ |
| | 平島秀典 | 岡山市立庄内小学校 | | 西義治 | 倉敷市立多津美中学校 |
| | 石田賢一 | 県立笠岡商業高等学校 | | 藤井達雄 | ㈲吉備の家 |
| | 中須賀祥雅 | 岡山市立山南中学校 | | 真木宏之 | 岡山大学（平成10年度） |
| | 内田絢子 | わかえの園 | 監事 | 小河原東仙 | 県立備前高等学校 |
| | 小田和文 | 岡山市立旭東中学校 | | 芳上一男 | 芳上鉄工所㈱ |

## 2．県協会・加盟団体事務局所在地と主な役員名簿

| (1) 岡山県バドミントン協会：所在地＝事務局長自宅内　事務局長気付 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 役　職 | 氏　名 | 区分 | 〒 | 住　　所 | ☎ |
| 会　　長 | 岡崎　彬 | 勤 | 703-8285 | 岡山市桜橋2-1-1　岡山瓦斯㈱ | 086-272-3111 |
| | | 自 | 703-8237 | 岡山市森下町1-22 | 086-273-4157 |
| 理事長 | 藤原　航 | 勤 | 719-1112 | 総社市窪木1-1-1　岡山県立大学 | 0866-94-2128 |
| | | 自 | 710-0031 | 倉敷市有城268 | 086-429-1990 |
| 事務局長<br>総　務 | 吉原俊治 | 勤 | 701-0212 | 岡山市内尾665-1 岡山県環境保全事業団 | 086-298-2616 |
| | | 自 | 701-0214 | 岡山市曽根131-1 | 086-298-3110 |

| (2) 岡山県実業団バドミントン連盟：所在地＝事務局長勤務先内　事務局長気付 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 役　職 | 氏　名 | 区分 | 〒 | 住　　所 | ☎ |
| 会　　長 | 片山義久 | 勤 | 700-0821 | 岡山市中山下2-1-77　中国精油㈱ | 086-224-5771 |
| | | 自 | 703-8275 | 岡山市門田屋敷1-4-29 | 086-272-4493 |
| 理事長 | 吉原俊治 | 勤 | 701-0212 | 岡山市内尾665-1 岡山県環境保全事業団 | 086-298-2616 |
| | | 自 | 701-0214 | 岡山市曽根131-1 | 086-298-3110 |
| 事務局長 | 田中泰弘 | 勤 | 700-0028 | 岡山市絵図町1-40 ㈱まつもとコーポレーション | 086-253-2121 |
| | | 自 | 701-0211 | 岡山市東畦688-20 | 086-281-0703 |

| (3) 岡山県教職員バドミントン連盟：所在地＝理事長勤務先内　理事長気付 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 役　職 | 氏　名 | 区分 | 〒 | 住　　所 | ☎ |
| 会　　長 | 柳本堯敏 | 勤 | 701-1131 | 岡山市日応寺4　岡山市立少年自然の家 | 086-294-3461 |
| | | 自 | 704-8175 | 岡山市益野町295-26 | 086-943-3830 |
| 理事長兼<br>事務局長 | 平島秀典 | 勤 | 701-1353 | 岡山市三手336-2　岡山市立庄内小学校 | 086-287-2014 |
| | | 自 | 703-8263 | 岡山市倉益143-10 | 086-276-4580 |

| (4) 岡山県家庭婦人バドミントン連盟：所在地＝事務局長自宅内 事務局長気付(県外関係=理事長気付) | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 役　職 | 氏　名 | 区分 | 〒 | 住　　所 | ☎ |
| 会　　長 | 毛利清志 | 自 | 700-0023 | 岡山市駅前町1-10-6 | 086-222-2268 |
| 理事長 | 内田絢子 | 勤 | 706-0001 | 玉野市田井5-22-1　わかえの園 | 0863-31-7864 |
| | | 自 | 706-0134 | 玉野市東高崎24-180 | 0863-71-4941 |
| 事務局長 | 佐藤民子 | 自 | 704-8131 | 岡山市長沼307 | 086-942-5355 |

| (5) 岡山県高体連バドミントン部：所在地＝委員長勤務先内 委員長気付(県内関係=事務局長気付) | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 役　職 | 氏　名 | 区分 | 〒 | 住　　所 | ☎ |
| 部　　長 | 三吉　肇 | 勤 | 710-0845 | 倉敷市西富井1384　倉敷中央高等学校 | 086-465-2559 |
| | | 自 | 719-0301 | 浅口郡里庄町里見265-1 | 0865-64-2381 |
| 委員長 | 石田賢一 | 勤 | 714-0081 | 笠岡市笠岡3203　笠岡商業高等学校 | 08656-2-5245 |
| | | 自 | 714-0042 | 笠岡市美の浜25-39 | 08656-7-3820 |
| 事務局長 | 西崎文貴 | 勤 | 710-0807 | 倉敷市西阿知町1230　水島工業高等学校 | 086-465-2504 |
| | | 自 | 709-1121 | 倉敷市茶屋町161-1 | 086-428-6130 |

| (6) 岡山県中体連バドミントン部：所在地＝委員長勤務先内　委員長気付 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 役　職 | 氏　名 | 区分 | 〒 | 住　　所 | ☎ |
| 部　長 | 谷口正美 | 勤 | 704-8134 | 岡山市北幸田509-1 岡山市立山南中学校 | 086-946-8102 |
| | | 自 | 706-0141 | 玉野市槌ヶ原2703 | 0863-71-0260 |
| 委員長兼事務局長 | 中須賀祥雅 | 勤 | 704-8134 | 岡山市北幸田509-1 岡山市立山南中学校 | 086-946-8102 |
| | | 自 | 704-8183 | 岡山市西大寺松崎171-5　D-101号 | 086-943-0332 |

### 3．県協会部会別連絡先名簿

| No. | 役務担当区分 | 氏　名 | 勤　務　先 | 勤務先☎ | 自宅☎ |
|---|---|---|---|---|---|
| (1) | 事務局長 | 吉原俊治 | 岡山県環境保全事業団 | 086-298-2616 | 086-298-3110 |
| (2) | 総　務 | 吉原俊治 | 岡山県環境保全事業団 | 086-298-2616 | 086-298-3110 |
| (3) | 総　務 | 朝霧晴夫 | | | 086-264-4763 |
| (4) | 一般・実業団 | 朝霧晴夫 | | | 086-264-4763 |
| (5) | 教職員 | 平島秀典 | 岡山市立庄内小学校 | 086-287-2014 | 086-276-4580 |
| (6) | 家庭婦人 | 内田絢子 | わかえの園 | 0863-31-7864 | 0863-71-4941 |
| (7) | リーグ | 竺原博文 | 三菱化学㈱水島事業所 | 086-457-2637 | 086-466-0343 |
| (8) | 高　校 | 石田賢一 | 県立笠岡商業高等学校 | 08656-2-5245 | 08656-7-3820 |
| (9) | 中　学 | 中須賀祥雅 | 岡山市立山南中学校 | 086-946-8102 | 086-943-0332 |
| (10) | 小学生 | 中島英喜 | 岡山市立三門小学校 | 086-252-2721 | 086-255-8305 |
| (11) | 学　生 | 真木宏之 | 岡山大学（平成10年度） | 086-252-2111 | 0866-93-7297 |
| (12) | 競　技 | 柴田　憲 | 県立瀬戸南高等学校 | 08695-2-0831 | 086-943-5639 |
| (13) | 審　判 | 小田和文 | 岡山市立旭東中学校 | 086-942-2644 | 086-942-7505 |
| (14) | 選手強化 | 藤原道弘 | 川崎製鉄㈱水島製鉄所 | 086-447-3954 | 086-425-5887 |
| (15) | 指導普及 | 松本哲也 | 山陽町立山陽北小学校 | 08695-5-2858 | 08695-3-2214 |

# あ と が き

平成５年度の県協会総会において「50周年記念誌」の刊行が決まり，委員３名が選ばれた。

1948（昭和23）年12月11日の県協会創立以来，半世紀にわたる歩みを記録にとどめて後世に残し，今後の発展の糧になることをもねがいながら取り組みをスタートした。

保存資料の確認と整理，不足資料の全国各地有識者への提供依頼，不明部分を探る作業等に約１年間を費やした。一方，公共施設保存の報道関係資料等によって史実の確認を繰り返しながら，ワープロ打ちをはじめた。

県協会傘下の連盟・部会の「設立以来の歩み，これからの課題，年次別・大会別の戦績一覧」等については，現理事長を始め，各連盟・部会の執筆担当各位の協力によって，充実した内容にしていただき，さらに，全国優勝者，国際大会参加者等のみなさんには，記録の確認，写真の提供，思い出の手記の寄稿などにより，記念誌に花を添えてくださり，それぞれに感謝のきわみである。

作業開始後の平成６年12月に，第２代斎藤實理事長が永眠され，平成８年１月には，第３代永井正理事長も他界された。さらに同年７月には，不幸にも編纂委員仲間の，西崎正明副会長が逝去され，柳本堯敏委員の新加入による作業進行となった。

編集経過の中で，第Ⅰ章「連盟・部会の歩み」の一部と，第Ⅴ章の「戦績の記録」は，平成８年度末までの収録とし，その他については可能な範囲で平成９年度末までを収録した。また，第Ⅴ章の年表は，第Ⅰ章から第Ⅳ章までの本文をカバーする意味で，かなり詳細にわたっての収録とした。

予定通りに進まないジレンマの中で，あたかも平成９年に，当時の県協会石田祥史会長ご自身が，記念誌に『岡山バドミントン五十年』と命名してくださり，題字をも執筆いただいたことに励まされ，意識を新たにして作業にはげんだ。

素案づくり開始以来５年半の歳月を経て，ようやく執筆・編集等を終わって校了までに漕ぎ着け，任務完了にホッとしている。一方では，独断と偏見による執筆編集箇所についての反省をしているところでもある。期待に添い得ない部分や不十分な点についてはご容赦たまわり，関係各位の思い出と語らいの中で補足されながら，将来に活かしていただければこの上ない喜びである。

記念誌発刊に当たって，ご指導ご協力を賜った各位を始め，専門的立場からの行き届いた助言と，膨大な原稿の印刷製本に尽力いただいた㈱二鶴堂に対し，心から感謝申し上げる次第である。

終わりに，岡山県バドミントン協会の，永久不滅の発展を祈念してあとがきとする。

**1998（平成10）年９月**

**編纂委員会　毛利清志　瀬戸　勝　柳本堯敏　（故　西崎正明）**

**代表（委員長）　毛利清志**

**追記**

第６代岡﨑彬会長の就任は本誌原稿締切り後であったが，印刷前だったので「新任の挨拶」を執筆いただき，歴代会長の「略歴紹介」についても，資料の提供をおねがいして追収録した。

## ○50周年記念誌　資料提供者

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 故 井沢三郎 | 故 今井　先 | 宮澤　宏之 | 伊藤　基記 | 青木　昭二 | 塩川　　甫 |
| 村山　幸雄 | 野村　嘉明 | 大圃　秀生 | 前田　耕作 | 阿倍　淳美 | 松王　清志 |
| 平方　昌子 | 遠井　稔男 | 片岡　輝明 | 天野　博江 | 関　　一誠 | 藤田　明男 |
| 蘭　　和真 | 赤星　三樹 | 坂田　和子 | 岡上　充仁 | 浜中　　勉 | 原　　恵二 |
| 糸　　晃 | 宮本　弘和 | 梶原　　馨 | 松王　重明 | 西山　宗弘 | 岩崎　英人 |
| 新沼ひろ映 | 斉藤　敏行 | 河本　小織 | 石原　桂子 | 佐藤　由香 | 佐藤　由紀 |
| 須々木　恵 | | | | | |

＊上記以外に，岡山県出身の全国大会優勝者・国際大会参加者

## ○50周年記念誌　執筆協力者

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 平方　昌子 | 松王　清志 | 藤沢　英子 | 伊達　　純 | 一村　艶子 | 今東　幸一 |
| 新沼ひろ映 | 大森　恵子 | 岡田　裕子 | 西山　宗弘 | 今津　裕美 | 近常　直美 |
| 坂野　隆弘 | 岡本　真一 | 重光　香織 | 長門　弘美 | 佐藤　美和 | |

＜以上，順不同敬称略。県協会，同連盟・部会の現役員を除く＞

## ○50周年記念誌　参考文献


機関紙（ＮＢＡ）＝日本バドミントン協会
創立50周年記念誌＝日本バドミントン協会
バドミントン30年史＝全国高体連専門部
バドミントン三十年史＝鳥取県協会
体育協会史＝岡山県体育協会
岡山市史（学術体育編）＝岡山市
高体連三十年＝岡山県高体連
バドミントン教室＝大修館
二十年の歩み(その喜びと苦しみと)＝片岡輝明
山陽スポーツ年鑑＝山陽新聞社
スポーツウォッチング＝OHKスポーツ振興財団
スポーツ百年史＝山陽女子中学・高等学校
バドミントン界＝日本バドミントン協会
三十五年史＝日本実業団バドミントン連盟
ＪＥＦＮＥＷＳ＝日本教職員バドミントン連盟
三十年史＝栃木県バドミントン協会
バドミントン四十年史＝兵庫県協会
体協ニュース＝岡山県体育協会
三十周年記念史＝岡山県中体連
岡山軟庭史＝岡山県軟式庭球連盟
山陽新聞＝山陽新聞社
日日新聞＝岡山日日新聞社
山陽学園百年史＝山陽学園
二十年史＝山陽学園短期大学

五十周年記念誌

『岡山バドミントン五十年』

平成10年10月１日発行

発行者　岡山県バドミントン協会
会　長　岡　崎　　彬
編　集　五十周年記念誌編纂委員会
発行所　岡山県バドミントン協会
〒701-0214
岡山市曽根131-1　吉原 俊治 気付
☎086-298-3110

印刷所　株式会社 二鶴堂
岡山市今8丁目2-28
TEL (086) 246-1710

| 回年 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | 4　位（3は3位） |
|---|---|---|---|---|---|
| 21 | ＢＴ | 倉敷天城 | 水島工業 | 西大寺 | 倉敷工業 |
| S,54 | ＧＴ | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷中央 | 倉敷天城 |
| 22 | ＢＴ | 倉敷工業 | 倉敷天城 | 水島工業 | 倉敷青陵 |
| S,55 | ＧＴ | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷翠松 | 倉敷天城 |
| 23 | ＢＴ | 水島工業 | 倉敷工業 | 東岡山工業 | 西大寺 |
| S,56 | ＧＴ | 山陽女子 | 瀬戸 | 倉敷中央 | 笠岡商業 |
| 24 | ＢＴ | 水島工業 | 西大寺 | 東岡山工業 | 総社 |
| S,57 | ＧＴ | 山陽女子 | 倉敷中央 | 瀬戸 | 総社 |
| 25 | ＢＴ | 西大寺 | 水島工業 | 瀬戸農業 | 倉敷天城 |
| S,58 | ＧＴ | 山陽女子 | 倉敷中央 | 瀬戸 | 西大寺 |
| 26 | ＢＴ | 水島工業 | 瀬戸南 | 東岡山工業 | 瀬戸南 |
| S,59 | ＧＴ | 山陽女子 | 瀬戸 | 西大寺 | 笠岡商業 |
| 27 | ＢＴ | 水島工業 | 瀬戸南 | 倉敷工業 | 倉敷青陵 |
| S,60 | ＧＴ | 山陽女子 | 金山学園 | 瀬戸南 | 倉敷中央 |
| 28 | ＢＴ | 水島工業 | 瀬戸南 | 倉敷工業 | 岡山理科大学付属 |
| S,61 | ＧＴ | 山陽女子 | 瀬戸南 | 倉敷翠松 | 西大寺 |
| 29 | ＢＴ | 玉野光南 | 瀬戸南 | 水島工業 | 倉敷青陵 |
| S,62 | ＧＴ | 山陽女子 | 西大寺 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 |
| 30 | ＢＴ | 玉野光南 | 瀬戸南 | 倉敷工業 | 東岡山工業 |
| S,63 | ＧＴ | 倉敷翠松 | 山陽女子 | 笠岡商業 | 岡山朝日 |
| 31 | ＢＴ | 玉野光南 | 水島工業 | 瀬戸南 | 岡山朝日 |
| H,元 | ＧＴ | 山陽女子 | 瀬戸南 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 |
| 32 | ＢＴ | 倉敷工業 | 玉野光南 | 倉敷南 | 西大寺 |
| H,2 | ＧＴ | 倉敷翠松 | 山陽女子・代表 | 笠岡商業 | 瀬戸南 |
| 33 | ＢＴ | 瀬戸南 | 水島工業 | 西大寺 | 倉敷工業 |
| H,3 | ＧＴ | 山陽女子 | 笠岡商業 | 瀬戸南 | 倉敷翠松 |
| 34 | ＢＴ | 倉敷工業 | 瀬戸南 | 岡山一宮 | 倉敷南 |
| H,4 | ＧＴ | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 | 瀬戸南 |
| 35 | ＢＴ | 倉敷工業 | 瀬戸南 | 倉敷天城 | 玉野光南 |
| H,5 | ＧＴ | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 | 瀬戸南 |
| 36 | ＢＴ | 瀬戸南 | 倉敷工業 | 玉野光南 | 東岡山工業 |
| H,6 | ＧＴ | 山陽女子 | 笠岡商業 | 瀬戸南 | 倉敷青陵 |
| 37 | ＢＴ | 倉敷工業 | 瀬戸南 | 水島工業 | 玉野光南 |
| H,7 | ＧＴ | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 瀬戸南 | 倉敷商業 |
| 38 | ＢＴ | 水島工業 | 倉敷南 | 東岡山工業 | 瀬戸南 |
| H,8 | ＧＴ | 倉敷翠松 | 山陽女子 | 倉敷商業 | 西大寺 |

## イ）個人戦　略称（先頭の3は3年のみ・2は2年と1年有志・1は1年を示す）

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 S,32 | BS | 小松　貴 | 西大寺 | 記録不明 | | | | | |
| | BD | 高島・武沢 | 西大寺 | | | | | | |
| | GS | 沢真　美子 | 山陽女子 | | | | | | |
| | GD | 田中・滝本 | 井原 | | | | | | |
| 2 S,33 | BS | 小松　貴 | 西大寺 | 国信　祝二 | 西大寺 | 阿部　一三 | 倉敷工業 | 4白神　隆 | 倉敷工業 |
| | BD | 小松・国信 | 西大寺 | 岡・白神 | 倉敷工業 | 青井・奥山 | 西大寺 | 4岡・小橋 | 西大寺 |
| | GS | 沢真　美子 | 山陽女子 | 根岸　純 | 山陽女子 | 西田　寿子 | 山陽女子 | 4湯浅　光枝 | 山陽女子 |
| | GD | 沢・西田 | 山陽女子 | 石井・吉岡 | 井原 | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 4落・山本 | 山陽女子 |
| 3 S,34 | BS | 青井　正義 | 西大寺 | 小橋　武 | 西大寺 | 松王　重明 | 西大寺 | 4阿部　純一 | 西大寺 |
| | BD | 青井・奥山 | 西大寺 | 松王・阿部 | 西大寺 | 小橋・上岡 | 西大寺 | 4岸本・山下 | 西大寺 |
| | GS | 上田　幸子 | 山陽女子 | 落　光子 | 山陽女子 | 湯浅　光枝 | 山陽女子 | 4合田　君子 | 山陽女子 |
| | GD | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 戸田・上田 | 山陽女子 | 渡辺・藤井 | 井原 | 4堀口・樋口 | 山陽女子 |
| 4 S,35 | BS | 松王　重明 | 西大寺 | 小橋　武 | 西大寺 | 朝原　慶三 | 備南 | 4寺内　侃一 | 西大寺 |
| | BD | 松王・小橋 | 西大寺 | 朝原慶・山崎 | 備南 | 寺内・宮崎 | 西大寺 | 4田中・藤原 | 西大寺 |
| | GS | 合田　君子 | 山陽女子 | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 4小合　佳子 | 山陽女子 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 合田・小合 | 山陽女子 | 藤本・畝下 | 井原 | 4藤井・藤井 | 井原 |
| 5 S,36 | BS | 寺内　侃一 | 西大寺 | 朝原　航 | 備南 | 阿部　正 | 西大寺 | 4西山　寛 | 西大寺 |
| | BD | 朝原航・福田 | 備南 | 寺内・宮崎 | 西大寺 | 岡上・加藤 | 倉敷工業 | 4三島・藤 | 倉敷青陵 |
| | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 小合　佳子 | 山陽女子 | 4藤本　澄子 | 井原 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 藤井・藤本 | 井原 | 中山・七村 | 山陽女子 | 4池田・笠原 | 井原 |
| 6 S,37 | BS | 阿部　正 | 西大寺 | 嶋田　耕一 | 西大寺 | 岡崎　強一 | 西大寺 | 4山本健太郎 | 西大寺 |
| | BD | 岡崎・阿部 | 西大寺 | 矢野・近藤 | 備南 | 岡本・山本 | 西大寺 | 4藤・内田 | 倉敷青陵 |
| | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 七村　泰子 | 山陽女子 | 4池田　純子 | 井原 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 中山・七村 | 山陽女子 | 池田・笠原 | 井原 | 4佐藤・川合 | 井原 |
| 7 S,38 | BS | 山本　正志 | 西大寺 | 新田　義治 | 西大寺 | 西崎　治道 | 西大寺 | 4大井　敏雄 | 倉敷工業 |
| | BD | 新田・西崎 | 西大寺 | 大井・武田 | 倉敷工業 | 吉村・大田 | 備南 | 4山本・八代 | 西大寺 |
| | GS | 田中　久恵 | 井原 | 猪原　利子 | 井原 | 西江　千尋 | 井原 | 4岡崎三沙子 | 井原 |
| | GD | 田中・西江 | 井原 | 大森・長櫓 | 山陽女子 | 岡崎・猪原 | 井原 | 4田中・渡部 | 山陽女子 |
| 8 S,39 | BS | 武田　崇嗣 | 倉敷工業 | 八代　順二 | 西大寺 | 大井　敏雄 | 倉敷工業 | 4中野　芳和 | 備南 |
| | BD | 武田・森下 | 倉敷工業 | 大井・貝吹 | 倉敷工業 | 西村・中野 | 備南 | 4八代・鶴海 | 西大寺 |
| | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 4光岡　由枝 | 山陽女子 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 堀崎・東島 | 西大寺 | 4川相・藤原 | 井原 |
| 9 S,40 | BS | 本藤　和明 | 倉敷工業 | 佐々木政志 | 倉敷工業 | 中村　浩成 | 西大寺 | 4上野　輝治 | 備南 |
| | BD | 上野・中野 | 備南 | 小峪・藤原 | 備南 | 佐々木・松永 | 倉敷工業 | 4芳上・田中 | 備南 |
| | GS | 須佐美保江 | 倉敷青陵 | 佐藤　民子 | 西大寺 | 三宅　文子 | 山陽女子 | 4小河原由江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 原・内藤 | 山陽女子 | 岡本・須佐美 | 倉敷青陵 | 小林・佐藤 | 西大寺 | 4小河原・片岡 | 倉敷青陵 |
| 10 S,41 | BS | 芳上　一男 | 備南 | 清水　雄吉 | 倉敷工業 | 小峪　充弘 | 備南 | 4田中　健二 | 備南 |
| | BD | 小峪・田中 | 備南 | 芳上・万代 | 備南 | 若松・森本 | 倉敷工業 | 4藤原・氏家 | 備南 |
| | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 佐藤　民子 | 西大寺 | 4小林　宗子 | 西大寺 |
| | GD | 小林・佐藤 | 西大寺 | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 笹尾・西尾 | 山陽女子 | 4実村・堀木 | 西大寺 |
| 11 S,42 | BS | 田中　勝 | 倉敷工業 | 森本　一郎 | 備南 | 武　広二 | 倉敷工業 | 4坂根　修 | 西大寺 |
| | BD | 武・塩飽 | 倉敷工業 | 森田・角田 | 倉敷工業 | 田中・佐々木 | 倉敷工業 | 4森本・竹元 | 備南 |
| | GS | 岩田　定子 | 山陽女子 | 亀山　園子 | 倉敷青陵 | 光畑　直美 | 山陽女子 | 4宮本　典子 | 山陽女子 |
| | GD | 岩田・笹尾 | 山陽女子 | 亀山・野口 | 倉敷青陵 | 宮本・光畑 | 山陽女子 | 4岡本・西尾 | 山陽女子 |
| 12 S,43 | BS | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | 平松　重吉 | 倉敷工業 | 鶴沢　修 | 備南 | 4石原　修一 | 西大寺 |
| | BD | 平松・阿部 | 倉敷工業 | 斉藤・片岡 | 倉敷工業 | 岡・森藤 | 倉敷天城 | 4石原・広瀬 | 西大寺 |
| | GS | 児玉　祥 | 山陽女子 | 木村　宣子 | 山陽女子 | 鈴木　直美 | 山陽女子 | 4坂本　幸子 | 倉敷中央 |
| | GD | 児玉・光畑 | 山陽女子 | 木村・林 | 山陽女子 | 清水・坂本 | 倉敷中央 | 4武内・志水 | 倉敷中央 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＢＳ | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | 松井　一 | 備南 | 重安　良造 | 倉敷工業 | 片岡　忠明 | 倉敷工業 |
| 13 | ＢＤ | 斉藤・片岡 | 倉敷工業 | 重安・川相 | 倉敷工業 | 小田・服部 | 西大寺 | 元田・永井 | 水島工業 |
| Ｓ,44 | ＧＳ | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 石田　雅子 | 山陽女子 | 坪田久仁子 | 山陽女子 | 延原美和子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 石田・吉田 | 山陽女子 | 坪田・延原 | 山陽女子 | 林　・岸本 | 山陽女子 | 川崎・剛迫 | 山陽女子 |
| | ＢＳ | 藤原　次夫 | 備南 | 松井　一 | 備南 | 永井　孝 | 水島工業 | 藤長　誠次 | 水島工業 |
| 14 | ＢＤ | 田村・久保 | 備南 | 藤原・松井 | 備南 | 重安・川相 | 倉敷工業 | 永井・元田 | 水島工業 |
| Ｓ,45 | ＧＳ | 石田　雅子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 林　寿美子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 林　・平田 | 山陽女子 | 松尾・三宅 | 山陽女子 | 吉田・寺見 | 山陽女子 | 川上・多賀 | 倉敷中央 |
| | ＢＳ | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 永井　孝 | 水島工業 | 仁科　弘 | 倉敷工業 | 那須鉄太郎 | 水島工業 |
| | ＢＤ | 鶴沢・塩飽 | 倉敷工業 | 那須・渡辺 | 水島工業 | 重井・　堀 | 倉敷青陵 | 仁科・安田 | 倉敷工業 |
| | ＢＳ１ | 大野　昇 | 倉敷工業 | 平田　博文 | 水島工業 | 小野　勝彦 | 倉敷青陵 | 中玉　利宏 | 倉敷天城 |
| 15 | ＢＤ１ | 平田・遠藤 | 水島工業 | 小野・大熊 | 倉敷青陵 | 藤井・井上 | 水島工業 | 山内・中玉利 | 倉敷天城 |
| Ｓ,46 | ＧＳ | 三宅　一美 | 山陽女子 | 田辺　裕子 | 山陽女子 | 三田　明美 | 山陽女子 | 中島　和子 | 西大寺 |
| | ＧＤ | 平田・　林 | 山陽女子 | 田辺・三宅 | 山陽女子 | 三田・寺見 | 山陽女子 | 三木・中島 | 西大寺 |
| | ＧＳ１ | 近藤　小織 | 山陽女子 | 斉藤　伸子 | 倉敷天城 | 樋口　敏子 | 山陽女子 | 室山　陽子 | 倉敷中央 |
| | ＧＤ１ | 林　・大森 | 倉敷青陵 | 斉藤・大塚 | 倉敷天城 | 樋口・近藤 | 山陽女子 | 室山・八木 | 倉敷中央 |
| | ＢＳ | 北井　勝義 | 倉敷工業 | 東　昌二 | 倉敷工業 | 平田　博文 | 水島工業 | 赤沢　伸二 | 矢掛商業 |
| | ＢＤ | 東　・北井 | 倉敷工業 | 山本・石森 | 水島工業 | 大野・藤原 | 倉敷工業 | 赤沢・門野 | 矢掛商業 |
| | ＢＳ１ | 村田　知義 | 総社 | 角田　弘之 | 総社 | 剣持　和弘 | 倉敷天城 | 平川　豊一 | 倉敷天城 |
| 16 | ＢＤ１ | 剣持・大崎 | 倉敷天城 | 村田・角田 | 総社 | 中村・中村 | 総社 | 梶田・平川 | 総社 |
| Ｓ,47 | ＧＳ | 近藤　小織 | 山陽女子 | 三田　明美 | 山陽女子 | 寺見みど里 | 山陽女子 | 木下　陽子 | 瀬戸 |
| | ＧＤ | 寺見・三田 | 山陽女子 | 拝原・石井 | 総社 | 久山・苔口 | 西大寺 | 木下・田淵 | 瀬戸 |
| | ＧＳ１ | 原田美智子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 日原　禎子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ１ | 原田・藤原 | 山陽女子 | 国定・日原 | 山陽女子 | 平松・蜂谷 | 倉敷青陵 | 小野・小郷 | 倉敷青陵 |
| | ＢＳ | 大野　昇 | 倉敷工業 | 藤原　明 | 倉敷工業 | 平田　博文 | 水島工業 | 村田　知義 | 総社 |
| | ＢＤ | 大野・藤原明 | 倉敷工業 | 田中・永山 | 倉敷工業 | 剣持・大崎 | 倉敷天城 | 村田・角田 | 総社 |
| | ＢＳ１ | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 | 安田　元 | 倉敷天城 |
| 17 | ＢＤ１ | 藤原道・片岡 | 倉敷工業 | 平田・景山 | 倉敷工業 | 大森・大熊 | 倉敷天城 | 山谷・加藤 | 総社 |
| Ｓ,48 | ＧＳ | 近藤　小織 | 山陽女子 | 原田美智子 | 山陽女子 | 小寺　裕美 | 山陽女子 | 日原　禎子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 近藤・藤原 | 山陽女子 | 原田・国定 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | 林　・安井 | 山陽女子 |
| | ＧＳ１ | 松本　千鶴 | 倉敷翠松 | 貝原　規子 | 山陽女子 | 橋本　千春 | 山陽女子 | 宇垣　裕子 | 瀬戸 |
| | ＧＤ１ | 岡本・藤井 | 倉敷青陵 | 松本・平松 | 倉敷翠松 | 宇垣・　岸 | 瀬戸 | 貝原・橋本 | 山陽女子 |
| | ＢＳ | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 | 田中　賢 | 倉敷工業 |
| | ＢＤ | 藤原道・片岡 | 倉敷工業 | 平田・景山 | 倉敷工業 | 田中・永山 | 倉敷工業 | 前田・中浜 | 倉敷工業 |
| | ＢＳ１ | 安田　央 | 倉敷青陵 | 横山　真二 | 倉敷工業 | 槙野　徹 | 倉敷天城 | 森脇　紳二 | 倉敷青陵 |
| 18 | ＢＤ１ | 安田・森脇 | 倉敷青陵 | 林　・槙野 | 倉敷天城 | 梶田・升永 | 倉敷天城 | 久松・平島 | 津山 |
| Ｓ,49 | ＧＳ | 原田美智子 | 山陽女子 | 小寺　裕子 | 山陽女子 | 日原　禎子 | 山陽女子 | 岡部　五月 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 小寺・日原 | 山陽女子 | 原田・郷田 | 山陽女子 | 橋本・高木 | 山陽女子 | 笠井・小山 | 山陽女子 |
| | ＧＳ１ | 森下　真紀 | 山陽女子 | 神農　由美 | 山陽女子 | 日下部晴美 | 瀬戸 | 石井　雅美 | 瀬戸 |
| | ＧＤ１ | 森下・神農 | 山陽女子 | 藤原・小野 | 倉敷中央 | 土倉・川崎 | 倉敷天城 | 日下部・石井 | 瀬戸 |
| | ＢＳ２ | 横山　真二 | 倉敷工業 | 戸田　嘉治 | 水島工業 | 安田　央 | 倉敷青陵 | 槙野　徹 | 倉敷天城 |
| | ＢＤ２ | 安田・森脇 | 倉敷青陵 | 林　・槙野 | 倉敷天城 | 梶田・升永 | 倉敷天城 | 北村・永山 | 倉敷工業 |
| | ＢＳ１ | 谷岡　龍哉 | 津山 | 大月　一次 | 加茂川 | 岩木　和夫 | 加茂川 | 草加　康義 | 総社 |
| | ＢＤ１ | 岩木・大月 | 加茂川 | 守安・永井 | 倉敷青陵 | 草加・大月 | 総社 | 住田・石畑 | 新見農工 |
| | ＢＳ３ | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 | 片岡　正之 | 倉敷工業 | 景山　誠 | 倉敷工業 |
| 19 | ＢＤ３ | 藤原・片岡 | 倉敷工業 | 西崎・楠戸 | 水島工業 | 貝原・藤井 | 水島工業 | 平田・景山 | 倉敷工業 |
| Ｓ,50 | ＧＳ２ | 森下　真紀 | 山陽女子 | 神農　由美 | 山陽女子 | 藤原さつき | 倉敷中央 | 小野　典子 | 倉敷中央 |
| | ＧＤ２ | 森下・神農 | 山陽女子 | 中山・上神 | 山陽女子 | 小野・藤原 | 倉敷中央 | 高橋・難波 | 津山商業 |
| | ＧＳ１ | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 峰政ひとみ | 山陽女子 | 菱川佳知子 | 加茂川 |
| | ＧＤ１ | 梶田・峰政 | 山陽女子 | 曽我・漆坂 | 倉敷中央 | 田辺・藤原 | 山陽女子 | 近藤・河本 | 瀬戸 |
| | ＧＳ３ | 岡部　五月 | 山陽女子 | 橋本　千春 | 山陽女子 | 小山　真弓 | 山陽女子 | 貝原　規子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ３ | 橋本・岡部 | 山陽女子 | 松本・大源 | 倉敷翠松 | 小山・貝原 | 山陽女子 | 原田・三宅 | 矢掛商業 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位）・ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＢＳ | 守安　達二 | 水島工業 | 亀山　文雄 | 倉敷工業 | 樋口　正幸 | 水島工業 | 池本　武志 | 水島工業 |
| | ＢＤ | 守安・池本 | 水島工業 | 小林・安田 | 西大寺 | 佐々木・亀山 | 倉敷工業 | 山本・岡崎 | 岡山朝日 |
| | ＢＳ３ | 横山　真二 | 倉敷工業 | 北村　治雄 | 倉敷工業 | 安田　憲弘 | 水島工業 | 西平　武司 | 水島工業 |
| 20 | ＢＤ３ | 横山・北村 | 倉敷工業 | 西平・安田 | 水島工業 | 戸田・豊田 | 水島工業 | | |
| Ｓ,51 | ＧＳ | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 梶田　百枝 | 山陽女子 | 紙本　智子 | 山陽女子 | 峰政ひとみ | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 紙本・斉藤 | 山陽女子 | 亀山・串田 | 山陽女子 | 村上・和気 | 山陽女子 |
| | ＧＳ３ | 森下　真紀 | 山陽女子 | 小野　典子 | 倉敷中央 | 藤原さつき | 倉敷中央 | 貝原　房恵 | 児島第一 |
| | ＧＤ３ | 小野・藤原 | 倉敷中央 | 岡本・三宅 | 倉敷中央 | | | | |
| | ＢＳ２ | 亀山　文雄 | 倉敷工業 | 難波　義雄 | 水島工業 | 藤原　一志 | 水島工業 | 野瀬　宣之 | 倉敷天城 |
| | ＢＤ２ | 難波・藤原 | 水島工業 | 亀山・小松 | 倉敷工業 | 安田・小泉 | 東岡山工 | 谷川・岩田 | 西大寺 |
| | ＢＳ１ | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 斉藤　一郎 | 金川 | 能勢　真二 | 金川 |
| | ＢＤ１ | 竺原・雅美 | 倉敷工業 | 秋柴・佐藤 | 倉敷工業 | 大月・佐藤 | 水島工業 | 斉藤・高見 | 金川 |
| | ＢＳ３ | 守安　達二 | 水島工業 | 樋口　正幸 | 水島工業 | 鈴木　啓司 | 水島工業 | 小橋　利之 | 水島工業 |
| 21 | ＢＤ３ | 守安・樋口 | 水島工業 | 鈴木・小橋 | 水島工業 | 有吉・赤木 | 瀬戸農業 | 岩木・杭田 | 加茂川 |
| Ｓ,52 | ＧＳ２ | 串田　有子 | 山陽女子 | 皿井由美子 | 山陽女子 | 南葉　理恵 | 山陽女子 | 松島　万子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ２ | 皿井・串田 | 山陽女子 | 松島・南葉 | 山陽女子 | 伊藤・兼信 | 倉敷青陵 | 大森・森脇 | 西大寺 |
| | ＧＳ１ | 佐々木宏美 | 倉敷天城 | 奥田百合子 | 西大寺 | 岡本　弘美 | 清心女子 | 三村　芳恵 | 倉敷青陵 |
| | ＧＤ１ | 佐々木・有本 | 倉敷天城 | 奥田・松本 | 西大寺 | 水島・安藤 | 津山商業 | 妹尾・藤井 | 井原 |
| | ＧＳ３ | 茅野　人美 | 児島第一 | 漆坂　郁美 | 倉敷中央 | 谷口　祐子 | 倉敷中央 | 平松　知恵 | 倉敷翠松 |
| | ＧＤ３ | 漆坂・谷口 | 倉敷中央 | 平松・武田 | 倉敷翠松 | | | | |
| | ＢＳ２ | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 佐藤　正晃 | 水島工業 | 秋柴　裕之 | 倉敷工業 |
| | ＢＤ２ | 前田・竺原 | 倉敷工業 | 秋柴・佐藤 | 倉敷工業 | 加藤・手塚 | 総社 | 多田・竹内 | 備前 |
| | ＢＳ１ | 西江　均 | 東岡山工 | 太田　幸男 | 倉敷青陵 | 諏訪　孝幸 | 倉敷工業 | 小野　俊雄 | 総社 |
| | ＢＤ１ | 西江・青木 | 東岡山工 | 阪本・宇野 | 倉敷天城 | 西崎・北村 | 倉敷天城 | 楢原・今井 | 西大寺 |
| | ＢＳ３ | 浦田　暢浩 | 玉野商業 | 難波　義雄 | 水島工業 | 藤原　一志 | 水島工業 | 安田　英樹 | 東岡山工 |
| 22 | ＢＤ３ | 亀山・小松 | 倉敷工業 | 難波・藤原 | 水島工業 | 安田・小泉 | 東岡山工 | 小松・大杉 | 倉敷工業 |
| Ｓ,53 | ＧＳ２ | 原田　美和 | 山陽女子 | 松島　万子 | 山陽女子 | 轟　恵美子 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 |
| | ＧＤ２ | 松島・天野 | 山陽女子 | 原田・轟 | 山陽女子 | 重定・南葉 | 山陽女子 | 奥田・松本 | 西大寺 |
| | ＧＳ１ | 坪井　典子 | 倉敷南 | 藤井　優子 | 倉敷南 | 向原　英美 | 倉敷中央 | 山川　盛子 | 倉敷天城 |
| | ＧＤ１ | 森川・坪井 | 倉敷南 | 岡本・根岸 | 瀬戸 | 山田・佐々木 | 倉敷青陵 | 居森・居森 | 津山商業 |
| | ＧＳ３ | 川崎　京子 | 倉敷中央 | 福田　京子 | 倉敷翠松 | 森永　淑子 | 倉敷中央 | 守安　智恵 | 児島第一 |
| | ＧＤ３ | 福田・三宅 | 倉敷翠松 | 難波・若林 | 倉敷翠松 | 池田・中野 | 倉敷翠松 | 川崎・光吉 | 倉敷中央 |
| | ＢＳ | 若林　邦任 | 水島工業 | 諏訪　孝幸 | 倉敷工業 | 西江　均 | 東岡山工 | 天野　靖 | 水島工業 |
| | ＢＤ | 西江・青木 | 東岡山工 | 阪本・宇野 | 倉敷天城 | 田枝・天野 | 水島工業 | 楢原・今井 | 西大寺 |
| 23 | ＢＳ３ | 竺原　博文 | 倉敷工業 | 佐藤・大月 | 水島工業 | 笠原・谷田 | 玉島商業 | 多田・竹内 | 備前 |
| Ｓ,54 | ＧＳ | 原田　美和 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 轟　恵美子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 天野・竹原 | 山陽女子 | 合田・轟 | 山陽女子 | 木下・三宅 | 山陽女子 | 竹原・河島 | 西大寺 |
| | ＧＤ３ | 多久島・永野 | 倉敷中央 | 白神・三宅 | 倉敷翠松 | 安藤・近藤 | 津山商業 | 高島・葛原 | 加茂川 |
| | ＢＳ | 片岡　洋一 | 水島工業 | 坪井　英文 | 倉敷工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 | 妹尾　和彦 | 岡山工業 |
| | ＢＤ | 佐藤・片岡 | 水島工業 | 坪井・吉富 | 倉敷工業 | 山崎・青木 | 倉敷天城 | 久山・光岡 | 東岡山工 |
| 24 | ＢＤ３ | 若林・田枝 | 水島工業 | 今井・岡田 | 西大寺 | 楢原・福田 | 西大寺 | 諏訪・坂本 | 倉敷工業 |
| Ｓ,55 | ＧＳ | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 木下・竹原 | 山陽女子 | 相賀・原田 | 山陽女子 | 浮田・合田 | 山陽女子 | 花口・岡本 | 西大寺 |
| | ＧＤ３ | 轟・山崎 | 山陽女子 | 芦内・奥山 | 琴浦 | 向原・平松 | 倉敷中央 | 中藤・応武 | 倉敷中央 |
| | ＢＳ | 久山　雅之 | 東岡山工 | 練尾　晋一 | 水島工業 | 幡中　寿一 | 東岡山工 | 高原　範博 | 倉敷天城 |
| | ＢＤ | 練尾・日谷 | 水島工業 | 久山・中須賀 | 東岡山工 | 貝原・三村 | 倉敷工業 | 高原・佐藤 | 倉敷天城 |
| 25 | ＢＤ３ | 片岡・佐藤 | 水島工業 | 坪井・三宅 | 倉敷工業 | 大野・吉富 | 倉敷工業 | 赤枝・高本 | 瀬戸南 |
| Ｓ,56 | ＧＳ | 原田　明子 | 山陽女子 | 浮田美代子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 岡　百合子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 岡・原田 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 有田・万代 | 山陽女子 | 江口・土屋 | 総社 |
| | ＧＤ３ | 加瀬野・福武 | 玉島商業 | 猪原・馬場 | 倉敷翠松 | 三好・佐藤 | 倉敷翠松 | 守分・松岡 | 玉島商業 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 今東　建 | 西大寺 | 倉本　哲也 | 水島工業 | 中須賀史行 | 東岡山工 | 綱嶋　淳二 | 加茂川 |
| | BD | 中須賀・白政 | 東岡山工 | 倉本・和宗 | 水島工業 | 板野・綱嶋 | 加茂川 | 鶴沢・小倉 | 金　川 |
| 26 | BD3 | 久山・幡中 | 東岡山工 | 山田・尾崎 | 瀬戸農業 | 竹原・佐藤 | 東岡山工 | 中村・吉岡 | 玉野商業 |
| S,57 | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | 福田　正子 | 倉敷中央 | 佐藤　智子 | 倉敷中央 | 河内　富子 | 山陽女子 |
| | GD | 轟・河内 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 万代・林 | 山陽女子 | 谷本・沼本 | 西大寺 |
| | GD3 | 川原・小橋 | 瀬　戸 | 馬場・野田 | 倉敷中央 | 三宅・川合 | 矢掛西 | 藤合・柚木 | 矢掛西 |
| | BS | 今東　建 | 西大寺 | 西崎　書彦 | 西大寺 | 浅沼　正和 | 水島工業 | 4高見　浩二 | 倉敷工業 |
| | BD | 今東・西崎 | 西大寺 | 浅沼・仁後 | 水島工業 | 山根・太田 | 西大寺 | 4貝原・坪井 | 水島工業 |
| 27 | BD3 | 綱嶋・板野 | 加茂川 | 中須賀・小山 | 東岡山工 | 中村・和宗 | 水島工業 | 4倉本・久米 | 水島工業 |
| S,58 | GS | 坂井　純子 | 山陽女子 | 近常　直美 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 | 4白神久美子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 坂井・諏訪 | 山陽女子 | 日下・国清 | 西大寺 | 4横田・橋本 | 総　社 |
| | GD3 | 轟・河内 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 芦田・川崎 | 津山商業 | 4佐藤・竹内 | 津山商業 |
| | BS | 高見　浩二 | 倉敷工業 | 大森　章裕 | 水島工業 | 仁後　春志 | 水島工業 | 川上新太郎 | 水島工業 |
| 28 | BD | 貝原・坪井 | 水島工業 | 大森・仁後 | 水島工業 | 高見・古屋野 | 倉敷工業 | 岡崎・堀内 | 倉敷工業 |
| S,59 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 | 西林　昭子 | 山陽女子 | 大木　律子 | 山陽女子 |
| | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 大木・西林 | 山陽女子 | 紀井・平尾 | 山陽女子 | 横田・橋本 | 総　社 |
| | BS | 木山　貴彦 | 倉敷青陵 | 新野　芳正 | 東岡山工 | 逸見　利雄 | 水島工業 | 吉田　優男 | 瀬戸南 |
| 29 | BD | 小川・四枝 | 倉敷工業 | 逸見・笠原 | 水島工業 | 吉田・金田 | 瀬戸南 | 新野・北条 | 東岡山工 |
| S,60 | GS | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 平尾　佳子 | 山陽女子 | 横山千賀子 | 瀬戸南 |
| | GD | 紀井・西林 | 山陽女子 | 人見・松王 | 山陽女子 | 平尾・藤原 | 山陽女子 | 高森・山本 | 瀬戸南 |
| | BS | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 横田　豊和 | 水島工業 | 藤原　正美 | 水島工業 | 横山　健一 | 倉敷工業 |
| 30 | BD | 横山・藤原 | 水島工業 | 平尾・片岡 | 瀬戸南 | 福田・松田 | 玉野光南 | 笠原・久山 | 水島工業 |
| S,61 | GS | 松王香音里 | 山陽女子 | 岡良　依 | 山陽女子 | 中川　裕規 | 山陽女子 | 村瀬　弘美 | 山陽女子 |
| | GD | 人見・松王 | 山陽女子 | 岡・片岡 | 山陽女子 | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 高森・山本 | 瀬戸南 |
| | BS | 福田　哲 | 玉野光南 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 片岡　義博 | 山陽女子 | 門野　尚隆 | 玉野光南 |
| 31 | BD | 福田・松田 | 玉野光南 | 平尾・片岡 | 瀬戸南 | 門野・石井 | 玉野光南 | 西山・田中 | 水島工業 |
| S,62 | GS | 佐藤　由香 | 山陽女子 | 渡部　美香 | 山陽女子 | 出原　直美 | 山陽女子 | 横田　裕子 | 山陽女子 |
| | GD | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 出原・柚木 | 山陽女子 | 中村・那須 | 西大寺 | 徳田・井上 | 瀬戸南 |
| | BS | 石田　猛 | 玉野光南 | 石本　一豊 | 理大付属 | 石井　繁之 | 玉野光南 | 山川　康広 | 玉野光南 |
| 32 | BD | 山磨・小池 | 倉敷工業 | 諏訪・坂口 | 倉敷工業 | 石井・石田 | 玉野光南 | 武政・石原 | 水島工業 |
| S,63 | GS | 横田　裕子 | 山陽女子 | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 | 片山　朋子 | 岡山朝日 |
| | GD | 渡邊・藤原 | 倉敷翠松 | 横田・畝山 | 山陽女子 | 宇野・太田 | 山陽女子 | 藤井・西原 | 笠岡商業 |
| | BS | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 山川　康広 | 玉野光南 | 仁井　昌志 | 玉野光南 |
| 33 | BD | 坂口・松倉 | 倉敷工業 | 三辻・西方 | 瀬戸南 | 立野・久山 | 水島工業 | 山川・仁井 | 玉野光南 |
| H,元 | GS | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 佐藤　純子 | 山陽女子 | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 住矢・佐藤由 | 山陽女子 | 山本・森嶋 | 瀬戸南 | 木村・梶屋 | 瀬戸南 | 杉本・安原 | 倉敷翠松 |
| | BS | 仁井　昌志 | 玉野光南 | 長山久仁彦 | 岡山朝日 | 藤田　航平 | 玉野商業 | 高山　裕之 | 瀬戸南 |
| 34 | BD | 仁井・道西 | 玉野光南 | 横山・瀬切 | 理大付属 | 篠田・西村 | 古城池 | 岡本・貝原 | 倉敷南 |
| H,2 | GS | 佐藤　純子 | 山陽女子 | 安原　久恵 | 倉敷翠松 | 藤原　裕子 | 倉敷翠松 | 高岡　ゆり | 山陽女子 |
| | GD | 高岡・佐藤純 | 山陽女子 | 藤原・安原 | 倉敷翠松 | 轟・山口 | 山陽女子 | 堀内・岡野 | 山陽女子 |
| | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 田中　学 | 水島工業 | 守安　孝二 | 倉敷工業 | 森田　洋 | 倉敷工業 |
| 35 | BD | 田中・堀江 | 水島工業 | 守安・森田 | 倉敷工業 | 草井・杉山 | 瀬戸南 | 甲・岡崎 | 西大寺 |
| H,3 | GS | 住矢　直美 | 山陽女子 | 轟　美穂 | 山陽女子 | 松王峰代子 | 山陽女子 | 長門　弘美 | 山陽女子 |
| | GD | 住矢・松王 | 山陽女子 | 山口順・長門 | 山陽女子 | 轟・神宝 | 山陽女子 | 岡野・堀内 | 山陽女子 |
| | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 杉島　誠 | 岡山城東 | 赤松　茂 | 岡山一宮 |
| 36 | BD | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 草井・杉山 | 瀬戸南 | 横井・三宅 | 水島工業 | 岩田・長尾 | 玉野光南 |
| H,4 | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 鐘築　順子 | 山陽女子 | 神宝　朝子 | 山陽女子 |
| | GD | 松王・住矢 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 太田・山口 | 山陽女子 | 板谷・藤井 | 瀬戸南 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＢＳ | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 三宅　恭介 | 岡山一宮 | 三宅　伸介 | 倉敷工業 | 西本　康宏 | 倉敷工業 |
| 37 | ＢＤ | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 三宅・三宅 | 水島工業 | 西本・大栄 | 倉敷工業 | 信江・樋口 | 倉敷天城 |
| Ｈ，5 | ＧＳ | 加藤　美香 | 山陽女子 | 雄龍あゆみ | 山陽女子 | 須々木　恵 | 山陽女子 | 柏野　雅美 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 雄龍・須々木 | 山陽女子 | 佐藤・次田 | 山陽女子 | 加藤・赤澤 | 山陽女子 | 千神・　秀 | 笠岡商業 |
| | ＢＳ | 安本　貴士 | 水島工業 | 田渕　亮治 | 西大寺 | 宮澤　勝智 | 瀬戸南 | 4西山　大輔 | 倉敷工業 |
| 38 | ＢＤ | 宮澤・池田 | 瀬戸南 | 池田・松川 | 倉敷工業 | 中原・吉田 | 水島工業 | 4樋口・小田 | 倉敷天城 |
| Ｈ，6 | ＧＳ | 加藤　美香 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 | 4雄龍あゆみ | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 次田・赤澤 | 山陽女子 | 田井・雄龍 | 山陽女子 | 藤井・谷口 | 瀬戸南 | 4宇野・國司 | 山陽女子 |
| | ＢＳ | 柴田　匡史 | 倉敷工業 | 西岡　大宗 | 瀬戸南 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 4野崎　心也 | 玉野光南 |
| 39 | ＢＤ | 塚田・岡村 | 倉敷工業 | 吉田・田中 | 水島工業 | 遠藤・田邊 | 倉敷工業 | 4片山・池田 | 倉敷工業 |
| Ｈ，7 | ＧＳ | 加藤しのぶ | 山陽女子 | 雄龍めぐみ | 山陽女子 | 宇野佳緒里 | 山陽女子 | 4國司　良子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 宇野・雄龍 | 山陽女子 | 國司・小田 | 山陽女子 | 大西・千原 | 山陽女子 | 4須藤・福井 | 倉敷翠松 |
| | ＢＳ | 柴田　匡史 | 倉敷工業 | 西岡　大宗 | 瀬戸南 | 藤田　和宏 | 岡山城東 | 4田中　佑弥 | 水島工業 |
| 40 | ＢＤ | 田中・渡邊 | 水島工業 | 柴田・豊田 | 倉敷工業 | 小橋・宍粟 | 理大付属 | 4藤田・坂本 | 岡山城東 |
| Ｈ，8 | ＧＳ | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 小田　真澄 | 山陽女子 | 福井　稔代 | 倉敷翠松 | 4横辺　裕貴 | 総　社 |
| | ＧＤ | 西山・中塚 | 倉敷翠松 | 小田真・大西 | 山陽女子 | 福井・山本 | 倉敷翠松 | 4 森・金子 | 西大寺 |

## ⑤県高校新人大会　　☆団体戦は秋季大会に移行記載

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 S,25 | BS | 阿部　勝 | 倉敷老松 | 筒井　一道 | 倉敷老松 | 記録不明 | | | |
| | BD | 阿部・松尾 | 倉敷老松 | 星川・秋山 | 倉敷青陵 | | | | |
| | GS | 高橋のぶ子 | 倉敷青陵 | 片山　栄 | 倉敷青陵 | | | | |
| | GD | 高橋・姫井 | 倉敷青陵 | 平松・片山 | 倉敷青陵 | | | | |
| 5 S,28 | BS | 朝倉　清昌 | 西大寺 | 小松　康博 | 西大寺 | 記録不明 | | | |
| | BD | | | | | | | | |
| | GS | 光本　政子 | 山陽女子 | 田上 | 鴨方 | | | | |
| | GD | | | | | | | | |
| 6 S,29 | BS | 加川　哲雄 | 倉敷青陵 | 松田　国宏 | 西大寺 | 石原　利通 | 西大寺 | 行司　忠章 | 西大寺 |
| | BD | | | | | | | | |
| | GS | 友野　文子 | 山陽女子 | 光本　政子 | 山陽女子 | 小林　桂子 | 山陽女子 | 戸田　寿子 | 山陽女子 |
| | GD | | | | | | | | |
| 8 S,31 | BS | 中尾　昇 | 西大寺 | 小松　貴 | 西大寺 | 山本　昇 | 西大寺 | 小林　恒雄 | 西大寺 |
| | BD | 武沢・高島 | 西大寺 | 中尾・小林 | 西大寺 | 藤原・難波 | 倉敷工業 | 小松・国信 | 西大寺 |
| | GS | 根岸　純 | 山陽女子 | 西田　寿子 | 山陽女子 | 沢　真美子 | 山陽女子 | 滝本　紀子 | 井原 |
| | GD | 根岸・山本 | 山陽女子 | 西田・沢 | 山陽女子 | 中田・森山 | 倉敷青陵 | 滝本・中田 | 井原 |
| 9 S,32 | BS | 小松　貴 | 西大寺 | 国信　祝二 | 西大寺 | 高島　克忠 | 倉敷青陵 | 浅沼　辰己 | 倉敷工業 |
| | BD | 小松・国信 | 西大寺 | 浅沼・阿部 | 倉敷工業 | 高島・藤井 | 倉敷青陵 | 青井・奥山 | 西大寺 |
| | GS | 沢　真美子 | 山陽女子 | 西田　寿子 | 山陽女子 | 吉岡　瑞恵 | 井原 | 石井　敞子 | 井原 |
| | GD | 沢・西田 | 山陽女子 | 石井・吉岡 | 井原 | 長山・田中 | 倉敷青陵 | 宮本・佐々木 | 井原 |
| 10 S,33 | BS | 青井　正義 | 西大寺 | 岸本　俊昭 | 西大寺 | 岡義　宏 | 倉敷工業 | 4奥山　重勝 | 西大寺 |
| | BD | 青井・奥山 | 西大寺 | 山下・岸本 | 西大寺 | 岡・白神 | 倉敷工業 | 4三宅・浅沼 | 倉敷工業 |
| | GS | 湯浅　光枝 | 山陽女子 | 合田　君子 | 山陽女子 | 落　光子 | 山陽女子 | 4山本　純子 | 山陽女子 |
| | GD | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 山本・落 | 山陽女子 | 定光・名越 | 井原 | 4戸田・堀口 | 山陽女子 |
| 11 S,34 | BS | 松王　重明 | 西大寺 | 小橋　武 | 西大寺 | 三宅　昇 | 倉敷工業 | 4阿部　純一 | 西大寺 |
| | BD | 松王・阿部 | 西大寺 | 小橋・上岡 | 西大寺 | 三宅昇・三宅研 | 倉敷工業 | 4朝原・山崎 | 備南 |
| | GS | 合田　君子 | 山陽女子 | 江木　輝子 | 山陽女子 | 小合　佳子 | 山陽女子 | 4吉藤　小夜 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・吉藤 | 山陽女子 | 江木・小合 | 山陽女子 | 佐藤・藤田 | 山陽女子 | 4藤井・金森 | 井原 |
| 12 S,35 | BS | 寺内　侃一 | 西大寺 | 朝原　航 | 備南 | 宮崎　稔 | 西大寺 | 4西山　寛 | 西大寺 |
| | BD | 朝原・福田 | 備南 | 寺内・宮崎 | 西大寺 | 岡上・丸山 | 倉敷工業 | 4武田・亀山 | 倉敷青陵 |
| | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 小合　佳子 | 山陽女子 | 4籔下　昌子 | 井原 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 藤本・籔下 | 井原 | 小合・七村 | 山陽女子 | 4藤井・藤井 | 井原 |
| 13 S,36 | BS | 阿部　正 | 西大寺 | 福田　詔一 | 備南 | 岡崎　捷一 | 西大寺 | 4岡崎　強一 | 西大寺 |
| | BD | 福田・近藤 | 備南 | 岡崎・阿部 | 西大寺 | 岡崎・山本 | 西大寺 | 4矢野・大倉 | 備南 |
| | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 中山　慶 | 山陽女子 | 4七村　泰子 | 山陽女子 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 中山・七村 | 山陽女子 | 池田・笹原 | 井原 | 4西村・井上 | 西大寺 |
| 14 S,37 | BS | 嶋田　耕一 | 西大寺 | 杉村大丈夫 | 倉敷工業 | 新田　義信 | 西大寺 | 4西崎　治道 | 西大寺 |
| | BD | 嶋田・山本 | 西大寺 | 西崎・新田 | 西大寺 | 吉村・大田 | 備南 | 4葛原・山地 | 備南 |
| | GS | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 田中登喜枝 | 井原 | 大森由紀子 | 山陽女子 | 4長櫓　民子 | 山陽女子 |
| | GD | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 長櫓・大森 | 山陽女子 | 田中・西江 | 井原 | 4岡崎・猪原 | 井原 |
| 15 S,38 | BS | 大井　敏雄 | 倉敷工業 | 武田　崇嗣 | 倉敷工業 | 吉村　傀三 | 備南 | 4大田　盛秋 | 備南 |
| | BD | 大井・武田 | 倉敷工業 | 吉村・大田 | 備南 | 貝吹・森下 | 倉敷工業 | 4内田・三宅 | 倉敷青陵 |
| | GS | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 光岡　由枝 | 山陽女子 | 岡本美沙子 | 井原 | 4堀崎　千代 | 西大寺 |
| | GD | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 藤原・川相 | 井原 | 岡本・亀山 | 井原 | 4堀崎・石井 | 西大寺 |
| 16 S,39 | BS | 西村　一夫 | 備南 | 上野　輝治 | 備南 | 佐々木政志 | 倉敷工業 | 4本藤　和明 | 倉敷工業 |
| | BD | 西村・中野 | 備南 | 小峪・藤原 | 備南 | 上野・氏家 | 備南 | 4森本・井沢 | 備南 |
| | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 東島　早苗 | 西大寺 | 4須佐美保江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 内藤・朝原 | 山陽女子 | 三宅・原 | 山陽女子 | 4東島・佐藤 | 西大寺 |
| 17 S,40 | BS | 小峪　充弘 | 備南 | 清水　雄吉 | 倉敷工業 | 万代　芳郎 | 備南 | 4芳上　一男 | 備南 |
| | BD | 小峪・藤原 | 備南 | 芳上・田中 | 備南 | 氏家・万代 | 備南 | 4金光・大原 | 西大寺 |
| | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 佐藤　民子 | 西大寺 | 4小河原由江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 小林・佐藤 | 西大寺 | 小河原・山田 | 倉敷青陵 | 4西尾・笹尾 | 山陽女子 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＢＳ | 若松　進 | 備　南 | 田中　勝 | 倉敷工業 | 武　広二 | 倉敷工業 | 4坂根　修 | 西大寺 |
| 18 | ＢＤ | 若松・森本 | 備　南 | 森田・塩飽 | 倉敷工業 | 田中・武 | 倉敷工業 | 4坂根・木村 | 西大寺 |
| S,41 | ＧＳ | 岩田　定子 | 山陽女子 | 児玉　祥 | 山陽女子 | 亀山　園子 | 倉敷青陵 | 4矢定　清美 | 金山学園 |
| | ＧＤ | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 亀山・野口 | 倉敷青陵 | 西尾・笹尾 | 山陽女子 | 4高田・郷矢 | 久　世 |
| | ＢＳ | 平田喜久夫 | 備　南 | 鶴沢　修 | 備　南 | 平松　重吉 | 倉敷工業 | 4岡本　英人 | 倉敷天城 |
| 19 | ＢＤ | 鶴沢・平田 | 備　南 | 平松・安藤 | 倉敷工業 | 岡本・庵谷 | 倉敷天城 | 4小山・松本 | 倉敷天城 |
| S,42 | ＧＳ | 児玉　祥 | 山陽女子 | 光畑　直美 | 山陽女子 | 鈴木　直美 | 山陽女子 | 4林　秀麗 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 鈴木・光畑 | 山陽女子 | 武内・志水 | 倉敷中央 | 児玉・林 | 山陽女子 | 4兼丸・大山 | 倉敷青陵 |
| | ＢＳ | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | 岡　浩一 | 倉敷天城 | 梶田　三郎 | 倉敷天城 | 4森藤　直哉 | 倉敷天城 |
| 20 | ＢＤ | 斉藤・片岡 | 倉敷工業 | 森藤・岡 | 倉敷天城 | 梶田・仙田 | 倉敷天城 | 4谷野・大塚 | 倉敷工業 |
| S,43 | ＧＳ | 坪田久仁子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 延原美和子 | 山陽女子 | 4山田美恵子 | 倉敷青陵 |
| | ＧＤ | 坪田・延原 | 山陽女子 | 吉田・川崎 | 山陽女子 | 妹尾・山田 | 倉敷青陵 | 4藤原・山本 | 倉敷青陵 |
| | ＢＳ | 松井　一 | 備　南 | 重安　良造 | 倉敷工業 | 藤原　次夫 | 備　南 | 4小田　和文 | 西大寺 |
| 21 | ＢＤ | 重安・川相 | 倉敷工業 | 久保・藤原 | 備　南 | 田村・松井 | 備　南 | 4松本・川田 | 倉敷天城 |
| S,44 | ＧＳ | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 石田　雅子 | 山陽女子 | 林　寿美子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 吉田・石田 | 山陽女子 | 岸本・林 | 山陽女子 | 剛迫・大野 | 山陽女子 | 4藤原・山本 | 倉敷青陵 |
| | ＢＳ | 永井　孝 | 水島工業 | 橋本　直人 | 倉敷天城 | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 森　貴正 | 倉敷青陵 |
| 22 | ＢＤ | 仁科・鶴沢 | 倉敷工業 | 那須・渡辺 | 水島工業 | 村井・町田 | 備　南 | 橋本・尾熊 | 倉敷天城 |
| S,45 | ＧＳ | 林　寿美子 | 山陽女子 | 三宅　一美 | 山陽女子 | 平田喜久江 | 山陽女子 | 多賀　伸子 | 倉敷中央 |
| | ＧＤ | 林・平田 | 山陽女子 | 田辺・三田 | 山陽女子 | 松尾・三宅 | 山陽女子 | 多賀・鎌村 | 倉敷中央 |
| | ＢＳ | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 北井　勝義 | 倉敷工業 | 堀　全雄 | 倉敷青陵 | 山本　勉 | 備　南 |
| 23 | ＢＤ | 重井・堀 | 倉敷青陵 | 北井・大野 | 倉敷工業 | 田淵・田中 | 倉敷天城 | 土居・鳥越 | 津　山 |
| S,46 | ＧＳ | 三宅　一美 | 山陽女子 | 田辺　裕子 | 山陽女子 | 三田　明美 | 山陽女子 | 寺見みど里 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 寺見・三田 | 山陽女子 | 田辺・三宅 | 山陽女子 | 林・大森 | 倉敷青陵 | 苔口・久山 | 西大寺 |
| | ＢＳ | 大野　昇 | 倉敷工業 | 平田　博文 | 水島工業 | 小野　勝彦 | 倉敷青陵 | 橋本　敏邦 | 倉敷青陵 |
| 24 | ＢＤ | 小野・橋本 | 倉敷青陵 | 大野・藤原 | 倉敷工業 | 平田・井上 | 水島工業 | 赤枝・次田 | 西大寺 |
| S,47 | ＧＳ | 原田美智子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 山陽女子 | 近藤　小織 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 藤原・原田 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 | 日原・小寺 | 山陽女子 | 林・小野 | 倉敷青陵 |
| | ＢＳ | 田中　行治 | 倉敷工業 | 橋本　敏邦 | 倉敷青陵 | 藤原　道弘 | 倉敷工業 | 平田　重男 | 倉敷工業 |
| 25 | ＢＤ | 橋本・武者 | 倉敷青陵 | 村田・角田 | 総　社 | 藤原・片岡 | 倉敷工業 | 梶田・平川 | 倉敷天城 |
| S,48 | ＧＳ | 原田美智子 | 山陽女子 | 小寺　裕美 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 山陽女子 | 日原　貞子 | 山陽女子 |
| | ＧＤ | 小寺・日原 | 山陽女子 | 国定・林 | 山陽女子 | 平松・小野 | 倉敷青陵 | 難波・小郷 | 倉敷青陵 |

☆４９年～５２年はＡ・Ｂ級に分けて団体戦のみ実施。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | ＢＤ | 前田・竺原 | 倉敷工業 | 西江・青木 | 東岡山工 | 太田・米田 | 倉敷青陵 | 4阪本・宇野 | 倉敷天城 |
| S,53 | ＧＤ | 原田・轟 | 山陽女子 | 松島・天野 | 山陽女子 | 奥田・松本 | 西大寺 | 4重定・南葉 | 山陽女子 |
| 27 | ＢＳ | 若林　邦任 | 水島工業 | 天野　靖 | 水島工業 | 片岡　洋一 | 水島工業 | 4田枝　誠一 | 水島工業 |
| S,54 | ＢＤ | 若林・片岡 | 水島工業 | 田枝・天野 | 水島工業 | 西江・青木 | 東岡山工 | 4阪本・宇野 | 倉敷天城 |
| A | ＧＳ | 原田　美和 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 | 4轟　恵美子 | 山陽女子 |
| 級 | ＧＤ | 原田・竹原 | 山陽女子 | 天野・轟 | 山陽女子 | 木下・合田 | 山陽女子 | 4河崎・三宅 | 山陽女子 |
| | ＢＳ | 下村　直人 | 倉敷天城 | 高橋　徹 | 倉敷南 | 妹尾　和彦 | 岡山工業 | 香山　光明 | 加茂川 |
| B | ＢＤ | 大釜・香山 | 加茂川 | 妹尾・近藤 | 岡山工業 | 山崎・青木 | 倉敷天城 | 古林・高橋 | 倉敷南 |
| 級 | ＧＳ | 田野　和江 | 総　社 | 二宮　雅子 | 西大寺 | 花口ひとみ | 西大寺 | 馬場　洋子 | 倉敷翠松 |
| | ＧＤ | 二宮・花口 | 西大寺 | 渡辺・藤井 | 瀬戸農業 | 猪原・馬場 | 倉敷翠松 | 田野・堀田 | 総　社 |
| 28 | ＢＳ | 片岡　洋一 | 水島工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 | 妹尾　和彦 | 岡山工業 | 4坪井　英文 | 倉敷工業 |
| S,55 | ＢＤ | 片岡・佐藤 | 水島工業 | 坪井・吉富 | 倉敷工業 | 妹尾・近藤 | 岡山工業 | 4久山・光岡 | 東岡山工 |
| A | ＧＳ | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 | 4原田　明子 | 山陽女子 |
| 級 | ＧＤ | 木下・竹原 | 山陽女子 | 浮田・合田 | 山陽女子 | 原田・相賀 | 山陽女子 | 4花口・岡本 | 西大寺 |
| | ＢＳ | 幡中　寿一 | 東岡山工 | 高原　範博 | 倉敷天城 | 山田　政治 | 瀬戸農業 | 渡辺　和重 | 東岡山工 |
| B | ＢＤ | 高原・佐藤 | 倉敷天城 | 山田・尾嵜 | 瀬戸農業 | 三村・森田 | 倉敷工業 | 中西・岡崎 | 西大寺 |
| 級 | ＧＳ | 吉岡美奈子 | 西大寺 | 那須　映子 | 西大寺 | 小池　厚美 | 倉敷青陵 | 野崎　聖子 | 瀬　戸 |
| | ＧＤ | 吉岡・那須 | 西大寺 | 小池・小橋 | 倉敷青陵 | 片岡・横田 | 総　社 | 門田・高本 | 倉敷天城 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20A | BD | 久山・中須賀 | 東岡山工 | 練尾・日谷 | 水島工業 | 山田・尾嵜 | 瀬戸農業 | 4貝原・三村 | 倉敷工業 |
| 級 | GD | 岡・原田 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 谷本・沼本 | 西大寺 | 4有田・万代 | 山陽女子 |
| S,58 | BS | 綱嶋 淳二 | 加茂川 | 長家 伸 | 倉敷天城 | 久米 正敏 | 水島工業 | 浜田 征明 | 総社 |
| B | BD | 長家・北村 | 倉敷天城 | 浜田・奥山 | 総社 | 渡辺範・藤井 | 古城池 | 久米・徳永 | 水島工業 |
| 級 | GS | 福田 正子 | 倉敷中央 | 佐藤 智子 | 倉敷中央 | 糸原 寛美 | 倉敷中央 | 鳥越 祐子 | 清心女子 |
| | GD | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 塚原・松田 | 笠岡商業 | 黒田・杉田 | 瀬戸 | 餅米・神崎 | 倉敷青陵 |
| 30 | BS | 今東 建 | 西大寺 | 久米 正敏 | 水島工業 | 中須賀史行 | 東岡山工 | 綱嶋 淳二 | 加茂川 |
| S,57 | BD | 中村・久米 | 水島工業 | 板野・綱嶋 | 加茂川 | 白政・中須賀 | 東岡山工 | 4長家・山畑 | 倉敷天城 |
| A | GS | 轟 美智子 | 山陽女子 | 河内 富子 | 山陽女子 | 佐藤 智子 | 倉敷中央 | 福田 正子 | 倉敷中央 |
| 級 | GD | 轟・河内 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | 谷本・沼本 | 西大寺 | 4日下・国清 | 西大寺 |
| | BS | 上村 和則 | 総社 | 矢尾 力 | 瀬戸農業 | 今田 和充 | 東岡山工 | 長谷川弘憲 | 倉敷南 |
| B | BD | 近藤・黒住 | 瀬戸農業 | 上村・守安 | 総社 | 友久・長谷川 | 倉敷南 | 治部・宗平 | 津山工業 |
| 級 | GS | 白神久美子 | 倉敷翠松 | 藤井 リカ | 倉敷翠松 | 西川麻里子 | 倉敷翠松 | 秋山 薫子 | 山陽女子 |
| | GD | 村上・平松 | 倉敷南 | 藤井・西川 | 倉敷翠松 | 白神・福井 | 倉敷翠松 | 近藤・山縣 | 倉敷青陵 |
| 31 | BS | 西崎 書彦 | 西大寺 | 今東 建 | 西大寺 | 浅沼 正和 | 水島工業 | 4高見 浩二 | 倉敷工業 |
| S,58 | BD | 今東・西崎 | 西大寺 | 浅沼・仁後 | 水島工業 | 濱田・古谷 | 水島工業 | 4貝原・坪井 | 水島工業 |
| A | GS | 近常 直美 | 山陽女子 | 坂井 純子 | 山陽女子 | 竹原 純子 | 山陽女子 | 4浅野みどり | 倉敷中央 |
| 級 | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 坂井・諏訪 | 山陽女子 | 楢原・馬場 | 瀬戸 | 4横山千・藤原 | 瀬戸 |
| | BS | 宝山 信明 | 瀬戸南 | 市川 琢也 | 東岡山工 | 中川 智裕 | 東岡山工 | 新川 隆文 | 美作 |
| B | BD | 市川・中川 | 東岡山工 | 宝山・広田 | 瀬戸農業 | 田渕・山下 | 東岡山工 | 塩見・田野 | 総社 |
| 級 | GS | 田辺 英子 | 倉敷青陵 | 森分 洋子 | 清心女子 | 永田 | | 林 孝子 | 古城池 |
| | GD | 林・安永 | 古城池 | 岡崎・田辺 | 倉敷青陵 | 森分・的場 | 清心女子 | 清水・大平 | 笠岡 |
| 32 | BS | 貝原 義文 | 水島工業 | 坪井 光明 | 水島工業 | 大森 章裕 | 水島工業 | 畑 健二 | 古城池 |
| S,59 | BD | 貝原・坪井 | 水島工業 | 高見・古谷野 | 倉敷工業 | 大森・仁後 | 水島工業 | 4畑・川上 | 古城池 |
| A | GS | 近常 直美 | 山陽女子 | 西林 昭子 | 山陽女子 | 竹原 純子 | 山陽女子 | 紀井 晴美 | 山陽女子 |
| 級 | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 大木・西林 | 山陽女子 | 紀井・平尾 | 山陽女子 | 4横田・橋本 | 総社 |
| | BS | 折出裕紀仁 | 笠岡工業 | 犬飼 良明 | 倉敷青陵 | 奥山 修章 | 東岡山工 | 石尾 利明 | 倉敷天城 |
| B | BD | 吉田・金田 | 瀬戸南 | 奥山・北条 | 東岡山工 | 最上・藤原 | 玉野商業 | 矢野・山本 | 金山学園 |
| 級 | GS | 藤原 佳子 | 山陽女子 | 佐々木弘美 | 倉敷翠松 | 佐々木真理 | 倉敷翠松 | 万代 洋実 | 山陽女子 |
| | GD | 藤原・万代 | 山陽女子 | 千田・川端 | 倉敷中央 | 佐々木・佐々木 | 倉敷翠松 | 馬場・星島 | 倉敷天城 |
| 33 | BS | 逸見 利雄 | 水島工業 | 横田 豊和 | 水島工業 | 新野 芳正 | 東岡山工 | 4吉田 優男 | 瀬戸南 |
| S,60 | BD | 小川・四枝 | 倉敷工業 | 吉田・金田 | 瀬戸南 | 新野・北条 | 東岡山工 | 4逸見・笠原 | 水島工業 |
| A | GS | 西林 昭子 | 山陽女子 | 紀井 晴美 | 山陽女子 | 横山千賀子 | 瀬戸南 | 4松王香音里 | 山陽女子 |
| 級 | GD | 紀井・西林 | 山陽女子 | 山本・青木 | 金山学園 | 大木・平尾 | 山陽女子 | 4高森・山本 | 瀬戸南 |
| | BS | 大西 泰典 | 古城池 | 千々木 顯 | 古城池 | 桑原 孝志 | 古城池 | 黒河 貴文 | 金山学園 |
| B | BD | 千々木・大西 | 古城池 | 田中・小野 | 倉敷天城 | 貞友・鳥原 | 瀬戸南 | 桑原・松尾 | 古城池 |
| 級 | GS | 貝原美由紀 | 倉敷中央 | 山岡 恵 | 倉敷天城 | 谷口 英子 | 岡山芳泉 | 田中真智子 | 古城池 |
| | GD | 貝原・森上 | 倉敷中央 | 山岡・西川 | 倉敷天城 | 杉本・谷口 | 岡山芳泉 | 松本・西岡 | 岡山芳泉 |
| 34 | BS | 横田 豊和 | 水島工業 | 平尾 昌也 | 瀬戸南 | 藤原 正美 | 水島工業 | 横山 健一 | 倉敷工業 |
| S,61 | BD | 横田・藤原 | 水島工業 | 笠原・久山 | 水島工業 | 平尾・片岡 | 瀬戸南 | 4宮迫・白神 | 水島工業 |
| A | GS | 松王香音里 | 山陽女子 | 河原美津巳 | 山陽女子 | 岡 良依 | 山陽女子 | 渡部 美香 | 山陽女子 |
| 級 | GD | 人美・松王 | 山陽女子 | 岡・片岡 | 山陽女子 | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 4山本・高森 | 瀬戸南 |
| | BS | 十鳥 健一 | 玉野光南 | 原 聡史 | 岡山芳泉 | 梶井 守 | 瀬戸南 | 佐藤 誠 | 倉敷天城 |
| B | BD | 佐藤・馬越 | 倉敷天城 | 原・西平 | 岡山芳泉 | 十鳥・虫明 | 玉野光南 | 山本・藤原 | 美作 |
| 級 | GS | 山川 恵理 | 笠岡商業 | 西本 早苗 | 倉敷翠松 | 井上由紀子 | 瀬戸南 | 深井 紀子 | 笠岡商業 |
| | GD | 徳田・井上 | 瀬戸南 | 西本・土肥 | 倉敷翠松 | 武本・高森 | 倉敷中央 | 山川・深井 | 笠岡商業 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位（4は4位） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 35 | ＢＳ | 白神　和彦 | 水島工業 | 福田　哲 | 玉野光南 | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 片岡　義博 | 瀬戸南 |
| S,62 | ＢＤ | 福田・松田 | 玉野光南 | 白神・春名 | 水島工業 | 西山・田中 | 水島工業 | 4平尾・片岡 | 瀬戸南 |
| A | ＧＳ | 佐藤　由香 | 山陽女子 | 出原　直美 | 山陽女子 | 渡部　美香 | 山陽女子 | 西本　早苗 | 倉敷翠松 |
| 級 | ＧＤ | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 出原・柚木 | 山陽女子 | 徳田・井上 | 瀬戸南 | 4横田・畝山 | 山陽女子 |
| | ＢＳ | 木和田忠治 | 瀬戸南 | 山本　昌豊 | 岡山芳泉 | 鈴木　努 | 岡山芳泉 | 守安　真 | 総社 |
| B | ＢＤ | 木和田・北山 | 瀬戸南 | 守安・板野 | 総社 | 岡・小松原 | 玉野光南 | 山本・渡辺 | 林野 |
| 級 | ＧＳ | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 藤井　淳子 | 笠岡商業 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 | 吉村由紀子 | 津山 |
| | ＧＤ | 西原・藤井 | 笠岡商業 | 渡邊・藤原 | 倉敷翠松 | 中野・羽原 | 倉敷翠松 | 安藤・明神 | 岡山一宮 |
| 36 | ＢＳ | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 石田　猛 | 玉野光南 | 野田　修嗣 | 理大付属 | 石本　一豊 | 理大付属 |
| S,63 | ＢＤ | 石田・石井 | 玉野光南 | 内藤・三辻 | 瀬戸南 | 石本・野田 | 理大付属 | 4山磨・小池 | 倉敷工業 |
| A | ＧＳ | 横田　裕子 | 山陽女子 | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 |
| 級 | ＧＤ | 横田・畝山 | 山陽女子 | 渡邊・藤原 | 倉敷翠松 | 荒井・杉本 | 倉敷翠松 | 4羽原・此元 | 倉敷翠松 |
| | ＢＳ | 西方　和夫 | 瀬戸南 | 岡　幹浩 | 古城池 | 小山　浩士 | 古城池 | 山形　義之 | 金山学園 |
| B | ＢＤ | 西方・藤原 | 瀬戸南 | 岡・小山 | 古城池 | 山形・東 | 金山学園 | 秋山・尾崎 | 東岡山工 |
| 級 | ＧＳ | 榎本美智子 | 美作 | 戸上　真理 | 倉敷中央 | 井上　桂子 | 岡山芳泉 | 岡崎美知子 | 西大寺 |
| | ＧＤ | 藤井・春山 | 倉敷天城 | 山田・宮川 | 倉敷中央 | 渡辺・戸上 | 倉敷中央 | 藤井・石原 | 瀬戸 |
| 37 | ＢＳ | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 久山　信行 | 水島工業 | 仁井　昌志 | 玉野光南 |
| H,元 | ＢＤ | 立野・久山 | 水島工業 | 山川・仁井 | 玉野光南 | 西方・三辻 | 瀬戸南 | 4坂口・松倉 | 倉敷工業 |
| A | ＧＳ | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 竹中　理恵 | 玉野光南 |
| 級 | ＧＤ | 住矢・佐藤由 | 山陽女子 | 佐藤純・高岡 | 山陽女子 | 山本・森嶋 | 瀬戸南 | 4赤木・鶴見 | 瀬戸南 |
| | ＢＳ | 吉田　正輝 | 理大付属 | 中　恵一 | 玉野光南 | 横山　英之 | 理大付属 | 4河田　邦貴 | 岡山芳泉 |
| B | ＢＤ | 吉田・横山 | 理大付属 | 山崎・高山 | 瀬戸南 | 中・岩田 | 玉野光南 | 上岡・草井 | 西大寺 |
| 級 | ＧＳ | 石井　博美 | 倉敷翠松 | 石井久美子 | 笠岡 | 久保真理子 | 瀬戸南 | 渋野　百合 | 瀬戸南 |
| | ＧＤ | 三宅・石井 | 倉敷翠松 | 石井・若狭 | 笠岡 | 久保・渋野 | 瀬戸南 | 松村・池嶋 | 津山東 |
| 38 | ＢＳ | 仁井　昌志 | 玉野光南 | 藤田　航平 | 玉野商業 | 田中　学 | 水島工業 | 久木田拓郎 | 倉敷工業 |
| H,2 | ＢＤ | 藤田・川田 | 玉野商業 | 田中・堀江 | 水島工業 | 守安・青江 | 倉敷工業 | 4貝原・岡本 | 倉敷南 |
| A | ＧＳ | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 佐藤　純子 | 山陽女子 | 安原　久恵 | 倉敷翠松 |
| 級 | ＧＤ | 住矢・佐藤由 | 山陽女子 | 高岡・佐藤純 | 山陽女子 | 藤原・安原 | 倉敷翠松 | 4梅野・飯田 | 笠岡商業 |
| | ＢＳ | 水谷正二郎 | 玉野光南 | 上　宏和 | 岡山芳泉 | 渡辺　伸二 | 総社 | 山本　周作 | 岡山城東 |
| B | ＢＤ | 松本・青木 | 瀬戸南 | 水谷・横山 | 玉野光南 | 實平・上 | 岡山芳泉 | 山村・公森 | 岡山城東 |
| 級 | ＧＳ | 田辺　典子 | 笠岡商業 | 黒江　希 | 笠岡商業 | 安藤　典子 | 笠岡商業 | 角田　操恵 | 総社 |
| | ＧＤ | 黒江・小林 | 笠岡商業 | 笠原・日笠 | 倉敷青陵 | 西原・畝山 | 笠岡商業 | 三宅・角田 | 総社 |
| 39 | ＢＳ | 草井　篤 | 瀬戸南 | 田中　学 | 水島工業 | 堀江賢二郎 | 水島工業 | 森田　洋 | 倉敷工業 |
| H,3 | ＢＤ | 田中・堀江 | 水島工業 | 草井・松本 | 瀬戸南 | 守安・森田 | 倉敷工業 | 4甲・岡崎 | 西大寺 |
| A | ＧＳ | 松王峰代子 | 山陽女子 | 山口　順子 | 山陽女子 | 岡野　峰子 | 山陽女子 | 轟　美穂 | 山陽女子 |
| 級 | ＧＤ | 山口・長門 | 山陽女子 | 松王・住矢 | 山陽女子 | 岡野・堀内 | 山陽女子 | 4河田・村木 | 笠岡商業 |
| | ＢＳ | 佐藤　康裕 | 総社 | 長尾　将和 | 玉野光南 | 杉島　誠 | 岡山城東 | 守安　敏和 | 総社 |
| B | ＢＤ | 佐藤・守安 | 総社 | 杉島・吉満 | 岡山城東 | 平松・横山 | 東岡山工 | 吉田・大石 | 東岡山工 |
| 級 | ＧＳ | 杉　典子 | 倉敷翠松 | 藤井　知子 | 瀬戸南 | 小林　陽子 | 西大寺 | 板谷　紀子 | 瀬戸南 |
| | ＧＤ | 森嶋・行本 | 瀬戸 | 村嶋・岡崎 | 西大寺 | 川上・柴田 | 総社 | 瀬尾・宇郷 | 倉敷中央 |
| 40 | ＢＳ | 草井　篤 | 瀬戸南 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 西本　康弘 | 倉敷工業 | 杉島　誠 | 岡山城東 |
| H,4 | ＢＤ | 森田・楢原 | 倉敷工業 | 草井・杉山 | 瀬戸南 | 赤松・三宅 | 岡山一宮 | 4三宅貴・三宅隆 | 水島工業 |
| A | ＧＳ | 松王峰代子 | 山陽女子 | 神宝　朝子 | 山陽女子 | 鐘築　順子 | 山陽女子 | 宰所　直美 | 倉敷翠松 |
| 級 | ＧＤ | 松王・住矢 | 山陽女子 | 神宝・長門 | 山陽女子 | 宰所・白木 | 倉敷翠松 | 4神野・松本 | 笠岡商業 |
| | ＢＳ | 宇都宮徳馬 | 岡山城東 | 岡本　直也 | 総社 | 国塩　悟 | 瀬戸南 | 波多野　稔 | 玉野光南 |
| B | ＢＤ | 真鍋・樋口 | 総社南 | 波多野・道西 | 玉野光南 | 宇都宮・島田 | 岡山城東 | 山本・吉森 | 瀬戸南 |
| 級 | ＧＳ | 菱川　智子 | 倉敷翠松 | 浜田恵理子 | 岡山一宮 | 田辺意佐代 | 倉敷中央 | 西　佳織 | 倉敷翠松 |
| | ＧＤ | 風早・鎌田 | 総社南 | 福島・竹岡 | 岡山芳泉 | 堤・岡正 | 岡山城東 | 田辺・井上千 | 倉敷中央 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 41 | BS | 西本　康宏 | 倉敷工業 | 三宅　恭介 | 岡山一宮 | 三宅　貴之 | 水島工業 | 4三宅　隆之 | 水島工業 |
| H,5 | BD | 三宅・三宅 | 水島工業 | 西本・大栄 | 倉敷工業 | 山本・国塩 | 瀬戸南 | 4土岐・小西 | 水島工業 |
| A | GS | 加藤　美香 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 | 須々木　恵 | 山陽女子 | 4白木　幸子 | 倉敷翠松 |
| 級 | GD | 雄龍・須々木 | 山陽女子 | 佐藤・次田 | 山陽女子 | 加藤・赤澤 | 山陽女子 | 4千神・秀 | 笠岡商業 |
| | BS | 安本　貴士 | 水島工業 | 池太　昌夫 | 瀬戸 | 田渕　亮治 | 西大寺 | 4田中　竜次 | 水島工業 |
| B | BD | 那須・池太 | 瀬戸 | 真野・田渕 | 西大寺 | 中ノ瀬・秋山 | 県山陽 | 4安本・中原 | 水島工業 |
| 級 | GS | 河崎　伸子 | 笠岡商業 | 原田　弘子 | 淳和女子 | 小松　里美 | 西大寺 | 4中新佳代子 | 古城池 |
| | GD | 小松・金光 | 西大寺 | 原田・天野 | 淳和女子 | 河崎・阿部 | 笠岡商業 | 4中新・小松原 | 古城池 |
| 42 | BS | 松川　大記 | 倉敷工業 | 宮澤　勝智 | 瀬戸南 | 安本　貴士 | 水島工業 | 4野崎　心也 | 玉野光南 |
| H,6 | BD | 池田・宮澤 | 瀬戸南 | 池田・松川 | 倉敷工業 | 樋口・小田 | 倉敷天城 | 4中原・吉田 | 水島工業 |
| A | GS | 次田　尚美 | 山陽女子 | 加藤　美香 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 | 4田井　優希 | 山陽女子 |
| 級 | GD | 次田・赤澤 | 山陽女子 | 田井・雄龍 | 山陽女子 | 藤井・谷口 | 瀬戸南 | 4宇野・國司 | 山陽女子 |
| | BS | 黒住　晃 | 西大寺 | 村嶋　進 | 西大寺 | 宇垣　貴弘 | 岡山朝日 | 4三宅　康男 | 水島工業 |
| B | BD | 黒住・浮田 | 西大寺 | 村嶋・岡村 | 西大寺 | 赤瀬・中浜 | 笠岡工業 | 4橋本・平松 | 総社 |
| 級 | GS | 三澤真由美 | 倉敷中央 | 細田　敬子 | 美作 | 小宮　美和 | 倉敷翠松 | 4岩本　美恵 | 県山陽 |
| | GD | 三木・西原 | 倉敷中央 | 三澤・吉富 | 倉敷中央 | 川上・八藤丸 | 古城池 | 4藤原・大石 | 総社南 |
| 43 | BS | 松川　大記 | 倉敷工業 | 柴田　匡史 | 倉敷工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 4西岡　大宗 | 瀬戸南 |
| H,7 | BD | 松川・柴田 | 倉敷工業 | 塚田・岡村 | 倉敷工業 | 田辺・遠藤 | 倉敷工業 | 4吉田・田中 | 水島工業 |
| A | GS | 加藤しのぶ | 山陽女子 | 雄龍めぐみ | 山陽女子 | 國司　良子 | 山陽女子 | 4宇野佳緒里 | 山陽女子 |
| 級 | GD | 雄龍・宇野 | 山陽女子 | 國司・小田 | 山陽女子 | 橋村・小川 | 山陽女子 | 4中塚・古川 | 山陽女子 |
| | BS | 加納　克人 | 水島工業 | 黒住　浩史 | 水島工業 | 辻原　秀之 | 東岡山工 | 4吉田　鉄平 | 倉敷天城 |
| B | BD | 黒住・加納 | 水島工業 | 森本・金光 | 西大寺 | 天野・下浦 | 玉島商業 | 4中塚・小幡 | 玉野商業 |
| 級 | GS | 森　千絵 | 西大寺 | 金子　美紀 | 西大寺 | 伊藤　早紀 | 瀬戸南 | 4中山　陽子 | 総社南 |
| | GD | 森・金子 | 西大寺 | 伊藤・小方 | 瀬戸南 | 梅本・荒木 | 古城池 | 4桑田・藤井敏 | 総社南 |
| 44 | BS | 西岡　大宗 | 瀬戸南 | 田中　佑弥 | 水島工業 | 城市　竜幸 | 倉敷南 | 4武用　淳 | 東岡山工 |
| H,8 | BD | 田中・渡邊 | 水島工業 | 西岡・山名 | 瀬戸南 | 黒住・倉岡 | 水島工業 | 4藤田・坂本 | 岡山城東 |
| A | GS | 小田　真澄 | 山陽女子 | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 福井　稔代 | 倉敷翠松 | 4西山　春美 | 倉敷翠松 |
| 級 | GD | 小田真・大西 | 山陽女子 | 中塚・西山 | 倉敷翠松 | 小田倫・谷口 | 山陽女子 | 4河野・信江 | 倉敷商業 |
| | BS | 熊澤　大輔 | 岡山朝日 | 塩見　直輔 | 岡山朝日 | 板野　研一 | 倉敷南 | 4毛利　隆之 | 落合 |
| B | BD | 熊澤・塩見 | 岡山朝日 | 板野・岡野 | 倉敷南 | 井田・金利 | 落合 | 4福島・馬場 | 瀬戸 |
| 級 | GS | 北井　香織 | 倉敷中央 | 田中奈緒美 | 笠岡商業 | 小坂　友紀 | 総社南 | 4泉　理恵 | 笠岡商業 |
| | GD | 長友・小林 | 倉敷商業 | 土倉・西山 | 玉島商業 | 泉・田中 | 笠岡商業 | 4後藤・近藤 | 岡山一宮 |

## 2）県外大会

### ①中国高校選手権大会

#### ア）学校対抗戦

| 回年 | 場所 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位（4は4位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 岡山 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | | |
| S,33 | | GT | 山陽女子 | 井原 | | 4 倉敷青陵 |
| 2 | 倉吉 | BT | 西大寺 | | | |
| S,34 | | GT | 山陽女子 | 井原 | | 4 西大寺 |
| 3 | 下関 | BT | 西大寺 | 備南 | | |
| S,35 | | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | |
| 4 | 松江 | BT | | 西大寺 | | |
| S,36 | | GT | 山陽女子 | 井原 | | |
| 5 | 鳥取 | BT | 西大寺 | 備南 | 倉敷工業 | |
| S,37 | | GT | 山陽女子 | 井原 | | |
| 6 | 西大寺 | BT | 西大寺 | 倉敷工業 | 備南 | |
| S,38 | | GT | 山陽女子 | 井原 | | |
| 7 | 出雲 | BT | 備南 | | 倉敷工業 | |
| S,39 | | GT | 山陽女子 | 井原 | 西大寺 | |
| 8 | 下関 | BT | 備南 | 倉敷工業 | | |
| S,40 | | GT | 山陽女子 | 井原 | 倉敷青陵 | |
| 9 | 倉敷 | BT | 備南 | 倉敷工業 | | |
| S,41 | | GT | 山陽女子 | 西大寺 | | |
| 10 | 福山 | BT | 備南 | 倉敷工業 | | |
| S,42 | | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | | |
| 11 | 鳥取 | BT | 倉敷工業 | 備南 | | |
| S,43 | | GT | 山陽女子 | 倉敷青陵 | 倉敷中央 | |
| 12 | 下関 | BT | 倉敷天城 | | | |
| S,44 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 13 | 福山 | BT | 備南 | 倉敷工業 | 倉敷天城 | |
| S,45 | | GT | 山陽女子 | | 倉敷青陵 | |
| 14 | 岡山 | BT | | 倉敷工業 | 水島工業 | |
| S,46 | | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | | |
| 15 | 鳥取 | BT | | | 倉敷青陵 | 倉敷工業 |
| S,47 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 16 | 松江 | BT | | 倉敷青陵 | | |
| S,48 | | GT | 山陽女子 | | 倉敷青陵 | |
| 17 | 下関 | BT | | | 倉敷工業 | |
| S,49 | | GT | 山陽女子 | | 西大寺 | |
| 18 | 福山 | BT | 倉敷工業 | 水島工業 | | |
| S,50 | | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 倉敷青陵 | |
| 19 | 倉敷 | BT | | | | |
| S,51 | | GT | 山陽女子 | | 倉敷中央 | 津山商業 |
| 20 | 倉吉 | BT | | 西大寺 | 水島工業 | |
| S,52 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 21 | 松江 | BT | 水島工業 | | 倉敷工業 | |
| S,53 | | BT | 山陽女子 | | | |
| 22 | 下関 | BT | 倉敷工業 | | 水島工業 | |
| S,54 | | GT | 山陽女子 | | 西大寺 | |
| 23 | 福山 | BT | 水島工業 | 倉敷天城 | 倉敷工業 | |
| S,55 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 24 | 倉敷 | BT | | | 倉敷工業 | 倉敷天城 |
| S,56 | | GT | 山陽女子 | 総社 | 笠岡商業 | |

| 回年 | 場所 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位（4は4位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 鳥取 | BT | | | 東岡山工業 | |
| S,57 | | GT | 山陽女子 | 倉敷中央 | 西大寺 | |
| 26 | 米子 | BT | | 水島工業 | 東岡山工業 | |
| S,58 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 27 | 松江 | BT | 西大寺 | 水島工業 | | |
| S,59 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 28 | 山口 | BT | | 水島工業 | | |
| S,60 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 29 | 広島 | BT | | | | |
| S,61 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 30 | 倉敷 | BT | | 瀬戸南 | 水島工業 | 倉敷工業 |
| S,62 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 31 | 米子 | BT | | 玉野光南 | 水島工業 | |
| S,63 | | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | | |
| 32 | 松江 | BT | | 玉野光南 | | |
| H,元 | | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | | |
| 33 | 山口 | BT | | | 倉敷工業 | |
| H,2 | | GT | | 山陽女子 | | |
| 34 | 広島 | BT | | 倉敷工業 | | |
| H,3 | | GT | | 山陽女子 | 倉敷翠松 | |
| 35 | 倉敷 | BT | | 倉敷工業 | 瀬戸南 | |
| H,4 | | GT | 山陽女子 | | 瀬戸南 | |
| 36 | 米子 | BT | 倉敷工業 | | | |
| H,5 | | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | | |
| 37 | 大東 | BT | | | 倉敷工業 | 水島工業 |
| H,6 | | GT | 山陽女子 | 倉敷翠松 | 笠岡商業 | |
| 38 | 徳山 | BT | | 水島工業 | 倉敷工業 | |
| H,7 | | GT | 山陽女子 | | | |
| 39 | 広島 | BT | 倉敷工業 | | | 水島工業 |
| H,8 | | GT | 山陽女子 | | | |

### イ）個人戦

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 小松 貴 | 西大寺 | 国信 祝二 | 西大寺 | 青井 正義 | 西大寺 | | |
| 1 | BD | 小松・国信 | 西大寺 | 青井・奥山 | 西大寺 | | | | |
| S,33 | GS | 根岸 純 | 山陽女子 | 沢 真美子 | 山陽女子 | 西田 寿子 | 山陽女子 | 4湯浅光枝 | 山陽女子 |
| | GD | 沢・西田 | 山陽女子 | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 落・山本 | 山陽女子 | 4石井・吉岡 | 井原 |
| | BS | 青井 正義 | 西大寺 | | | 岡 義宏 | 倉敷工業 | | |
| 2 | BD | 青井・奥山 | 西大寺 | | | 岡・白神 | 倉敷工業 | | |
| S,34 | GS | 湯浅 光枝 | 山陽女子 | 合田 君子 | 山陽女子 | 上田 幸子 | 山陽女子 | 4山本純子 | 山陽女子 |
| | GD | 湯浅・合田 | 山陽女子 | 山本・落 | 山陽女子 | 上田・樋口 | 山陽女子 | 4戸田・堀口 | 山陽女子 |
| | BS | 松王 重明 | 西大寺 | 阿部 純一 | 西大寺 | 朝原 航 | 備南 | 4田中輝史 | 西大寺 |
| 3 | BD | 松王・阿部 | 西大寺 | | | 小橋・上岡 | 西大寺 | 4三宅昇・三宅研 | 倉敷工業 |
| S,35 | GS | 合田 君子 | 山陽女子 | 高塚 淳子 | 山陽女子 | 吉藤 小夜 | 山陽女子 | 4小合佳子 | 山陽女子 |
| | GD | 合田・吉藤 | 山陽女子 | 高塚・重政 | 山陽女子 | 藤本・籔下 | 井原 | 4藤田・佐藤 | 山陽女子 |
| | BS | | | | | 朝原 航 | 備南 | 4寺内侃一 | 西大寺 |
| 4 | BD | | | | | | | 4朝原・福田 | 備南 |
| S,36 | GS | 高塚 淳子 | 山陽女子 | 小合 佳子 | 山陽女子 | 重政 百代 | 山陽女子 | 4藤本澄子 | 井原 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 小合・七村 | 山陽女子 | | | 4藤本・藤井 | 井原 |

## イ）個人戦

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 阿部　正 | 西大寺 | 岡崎　捷一 | 西大寺 | | | | |
| 5 | BD | 阿部・岡崎 | 西大寺 | 福田・近藤 | 備南 | 岡崎・山本 | 西大寺 | | |
| S,37 | GS | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 重政　百代 | 山陽女子 | 七村　泰子 | 山陽女子 | 4大賀　恵子 | 山陽女子 |
| | GD | 高塚・重政 | 山陽女子 | 七村・中山 | 山陽女子 | 池田・笠原 | 井原 | 4佐藤・川合 | 井原 |
| | BS | 杉村大丈夫 | 倉敷工業 | 西崎　治道 | 西大寺 | 藤　桂三郎 | 倉敷青陵 | 4嶋田　耕一 | 西大寺 |
| 6 | BD | 高橋・杉村 | 倉敷工業 | 葛原・石原 | 備南 | 新田・西崎 | 西大寺 | 4藤・内田 | 倉敷青陵 |
| S,38 | GS | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 光岡　由枝 | 山陽女子 | 猪原　利子 | 井原 | 4大森由紀子 | 山陽女子 |
| | GD | 田中・西江 | 井原 | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 岡崎・猪原 | 井原 | 4大森・長櫓 | 山陽女子 |
| | BS | 太田　盛秋 | 備南 | 武田　崇嗣 | 倉敷工業 | | | 4八代　順二 | 西大寺 |
| 7 | BD | 吉村・太田 | 備南 | 大井・武田 | 倉敷工業 | | | 4森下・貝吹 | 倉敷工業 |
| S,39 | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 4光岡　由枝 | 山陽女子 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 大賀・光岡 | 山陽女子 | 川相・藤原 | 井原 | | |
| | BS | 上野　輝治 | 備南 | 本藤　和明 | 倉敷工業 | | | | |
| 8 | BD | 佐々木・平松 | 倉敷工業 | 西村・中野 | 備南 | 藤原・小峪 | 備南 | | |
| S,40 | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 東島　早苗 | 西大寺 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 4須佐美保江 | 倉敷青陵 |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 内藤・朝原 | 山陽女子 | 三宅・原 | 山陽女子 | 4東島・佐藤 | 西大寺 |
| | BS | 清水　雄吉 | 倉敷工業 | 小峪　充弘 | 備南 | | | | |
| 9 | BD | 小峪・藤原 | 備南 | 芳上・田中 | 備南 | 若松・森本 | 備南 | | |
| S,41 | GS | 湯木　博江 | 山陽女子 | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 小林　宗子 | 西大寺 | | |
| | GD | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 佐藤・小林 | 西大寺 | | | | |
| | BS | 若松　進 | 備南 | 森本　一郎 | 備南 | 森田　衛 | 倉敷工業 | | |
| 10 | BD | 若松・森本 | 備南 | | | 武・田中 | 倉敷工業 | 4森田・塩飽 | 倉敷工業 |
| S,42 | GS | 児玉　祥 | 山陽女子 | 岩田　定子 | 山陽女子 | 亀山　園子 | 倉敷青陵 | | |
| | GD | 笹尾・西尾 | 山陽女子 | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 亀山・野口 | 倉敷青陵 | | |
| | BS | 平松　重吉 | 倉敷工業 | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | | | 4平田喜久夫 | 備南 |
| 11 | BD | 平田・鶴沢 | 備南 | | | | | | |
| S,43 | GS | 児玉　祥 | 山陽女子 | 光畑　直美 | 山陽女子 | 大山　恵子 | 倉敷青陵 | | |
| | GD | 児玉・光畑 | 山陽女子 | 林・宮本 | 山陽女子 | 鈴木・木村 | 山陽女子 | | |
| | BS | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | | | | | | |
| 12 | BD | 斉藤・片岡 | 倉敷工業 | | | | | | |
| S,44 | GS | | | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 延原美和子 | 山陽女子 | 坪田久仁子 | 山陽女子 |
| | GD | | | | | | | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 13 | BD | | | 田村・松井 | 備南 | | | | |
| S,45 | GS | 石田　雅子 | 山陽女子 | 吉田　孝子 | 山陽女子 | 剛迫ミエ子 | 山陽女子 | 林　寿美子 | 山陽女子 |
| | GD | 石田・吉田 | 山陽女子 | 剛迫・林 | 山陽女子 | | | | |
| | BS | 永井　孝 | 水島工業 | | | | | | |
| 14 | BD | 森・重井 | 倉敷青陵 | | | 橋本・尾熊 | 倉敷天城 | | |
| S,46 | GS | 林　寿美子 | 山陽女子 | 平田喜久江 | 山陽女子 | 三宅　一美 | 山陽女子 | | |
| | GD | 林・平田 | 山陽女子 | 松尾・三宅 | 山陽女子 | 多賀・鎌村 | 倉敷中央 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 15 | BD | | | | | 重井・堀 | 倉敷青陵 | | |
| S,47 | GS | 三田　明美 | 山陽女子 | 三宅　一美 | 山陽女子 | 寺見みど里 | 山陽女子 | 原田美智子 | 山陽女子 |
| | GD | 三田・寺見 | 山陽女子 | 三宅・田辺 | 山陽女子 | 原田・広瀬 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 |
| | BS | | | 大野　昇 | 倉敷工業 | | | | |
| 16 | BD | 大野・藤原 | 倉敷工業 | 小野・橋本 | 倉敷青陵 | | | | |
| S,48 | GS | 近藤　小織 | 山陽女子 | 原田美智子 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 国定　久恵 | 山陽女子 |
| | GD | 原田・藤原 | 山陽女子 | 近藤・国定 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | 林・小野 | 倉敷青陵 |
| | BS | | | | | | | | |
| 17 | BD | | | | | | | | |
| S,49 | GS | 原田美智子 | 山陽女子 | 小寺　裕美 | 山陽女子 | 藤原　敦子 | 山陽女子 | 日原　禎子 | 山陽女子 |
| | GD | 原田・藤原 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | | | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | 片岡　正之 | 倉敷工業 | | | | | | |
| 18 | BD | 片岡・藤原 | 倉敷工業 | 平田・景山 | 倉敷工業 | 織田・土岐 | 水島工業 | 西崎・楠戸 | 水島工業 |
| S,50 | GS | 橋本　千春 | 山陽女子 | 岡部　五月 | 山陽女子 | 小山　真弓 | 山陽女子 | | |
| | GD | 橋本・岡部 | 山陽女子 | 小山・貝原 | 山陽女子 | 守屋・小野 | 倉敷中央 | 藤井・岡本 | 倉敷青陵 |
| | BS | | | | | 守安　達二 | 水島工業 | | |
| 19 | BD | | | | | | | | |
| S,51 | GS | 森下　真紀 | 山陽女子 | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 神農　由美 | 山陽女子 | | |
| | GD | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 小野・藤原 | 倉敷中央 | 森下・神農 | 山陽女子 | | |
| | BS | 守安　達二 | 水島工業 | | | | | | |
| 20 | BD | | | | | 小林・安田 | 西大寺 | | |
| S,52 | GS | 田辺　淑子 | 山陽女子 | 亀山　映子 | 山陽女子 | | | | |
| | GD | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 亀山・村上 | 山陽女子 | 峰政・皿井 | 山陽女子 | 紙本・斉藤 | 山陽女子 |
| | BS | 難波　義雄 | 水島工業 | 亀山　文雄 | 倉敷工業 | | | | |
| 21 | BD | | | | | 難波・藤原 | 水島工業 | 前田・竺原 | 倉敷工業 |
| S,53 | GS | 串田　有子 | 山陽女子 | 皿井由美子 | 山陽女子 | 原田　美和 | 山陽女子 | | |
| | GD | 串田・皿井 | 山陽女子 | | | 天野・原田 | 山陽女子 | | |
| | BS | 前田　雅美 | 倉敷工業 | 竺原　博文 | 倉敷工業 | | | | |
| 22 | BD | 前田・竺原 | 倉敷工業 | | | | | | |
| S,54 | GS | | | 原田　美和 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 | | |
| | GD | 松島・天野 | 山陽女子 | | | 合田・竹原 | 山陽女子 | | |
| | BS | 若林　邦任 | 水島工業 | 天野　靖 | 水島工業 | 西江　均 | 東岡山工 | | |
| 23 | BD | 若林・片岡 | 水島工業 | 田枝・天野 | 水島工業 | 西江・青木 | 東岡山工 | 阪本・宇野 | 倉敷天城 |
| S,55 | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | | | 轟　恵美子 | 山陽女子 | 天野　真理 | 山陽女子 |
| | GD | 原田・竹原 | 山陽女子 | 天野・轟 | 山陽女子 | 合田・木下 | 山陽女子 | | |
| | BS | 練尾　晋一 | 水島工業 | 佐藤　邦彦 | 水島工業 | | | | |
| 24 | BD | 片岡・佐藤 | 水島工業 | | | | | | |
| S,56 | GS | 合田なおみ | 山陽女子 | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 合田・木下 | 山陽女子 | 原田・岡 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 25 | BD | | | 練尾・日谷 | 水島工業 | 久山・中須賀 | 東岡山工 | | |
| S,57 | GS | 相賀　里香 | 山陽女子 | 岡　百合子 | 山陽女子 | 浮田美代子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 岡・轟 | 山陽女子 | 福田・佐藤 | 倉敷中央 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 26 | BD | | | | | 中村・久米 | 水島工業 | 綱嶋・板野 | 加茂川 |
| S,58 | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | | | 福田　正子 | 倉敷中央 | 河内　富子 | 山陽女子 |
| | GD | | | 轟・河内 | 山陽女子 | 近常・竹原 | 山陽女子 | 坂井・万代 | 山陽女子 |
| | BS | | | 今東　建 | 西大寺 | 西崎　書彦 | 西大寺 | | |
| 27 | BD | | | 今東・西崎 | 西大寺 | 近藤・黒住 | 瀬戸南 | | |
| S,59 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | | | | | | |
| | GD | 竹原・近常 | 山陽女子 | | | 坂井・諏訪 | 山陽女子 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 28 | BD | | | | | | | | |
| S,60 | GS | 近常　直美 | 山陽女子 | | | 竹原　純子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 |
| | GD | 近常・西林 | 山陽女子 | 竹原・紀井 | 山陽女子 | 横田・橋本 | 総社 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 29 | BD | | | | | | | | |
| S,61 | GS | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 平尾　佳子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 西林・紀井 | 山陽女子 | 平尾・大木 | 山陽女子 | 人見・松王 | 山陽女子 | | |
| | BS | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 福田　哲 | 玉野光南 | 横田　豊和 | 水島工業 | 横山　健一 | 倉敷工業 |
| 30 | BD | | | | | 横田・藤原 | 水島工業 | | |
| S,62 | GS | | | 河原美津巳 | 山陽女子 | 松王香音里 | 山陽女子 | 中川　裕規 | 山陽女子 |
| | GD | 松王・人見 | 山陽女子 | | | 片岡・篠原 | 山陽女子 | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位（4は4位） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 | BS | | | | | | | | |
| | BD | | | | | 福田・松田 | 玉野光南 | | |
| S,63 | GS | 佐藤　由香 | 山陽女子 | | | 西本　早苗 | 倉敷翠松 | | |
| | GD | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 出原・柚木 | 山陽女子 | 中村・那須 | 西　大　寺 | | |
| 32 | BS | | | | | | | | |
| | BD | | | 石本・野田 | 理大付属 | 内藤・三辻 | 瀬　戸　南 | 石田・石井 | 玉野光南 |
| H,元 | GS | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | | | 横田　裕子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 渡邊・藤原 | 倉敷翠松 | 此元・羽原 | 倉敷翠松 | | | | |
| 33 | BS | | | | | 三辻　邦章 | 瀬　戸　南 | | |
| | BD | | | | | 三辻・西方 | 瀬　戸　南 | | |
| H,2 | GS | | | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | | | | |
| | GD | | | 杉本・安原 | 倉敷翠松 | 住矢･佐藤由 | 山陽女子 | 高岡･佐藤純 | 山陽女子 |
| 34 | BS | | | | | | | | |
| | BD | | | | | | | | |
| H,3 | GS | | | | | 住矢　美幸 | 山陽女子 | | |
| | GD | | | 住矢･佐藤由 | 山陽女子 | | | | |
| 35 | BS | | | 草井　篤 | 瀬　戸　南 | 堀江賢二郎 | 水島工業 | | |
| | BD | | | 松本・草井 | 瀬　戸　南 | 守安・青江 | 倉敷工業 | | |
| H,4 | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 山口　順子 | 山陽女子 | 山室　知子 | 倉敷翠松 |
| | GD | 松王・住矢 | 山陽女子 | 山口・長門 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 轟　・神宝 | 山陽女子 |
| 36 | BS | | | 草井　篤 | 瀬　戸　南 | | | | |
| | BD | 森田・楢原 | 倉敷工業 | | | 岩田・長尾 | 玉野光南 | | |
| H,5 | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | | | | | | |
| | GD | 松王・住矢 | 山陽女子 | 神宝・長門 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 雄龍･須々木 | 山陽女子 |
| 37 | BS | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 三宅　伸介 | 倉敷工業 | 西本　康宏 | 倉敷工業 | | |
| | BD | | | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 西本・大栄 | 倉敷工業 | 土岐・小西 | 水島工業 |
| H,6 | GS | 加藤　美香 | 山陽女子 | | | 須々木　恵 | 山陽女子 | 柏野　雅美 | 山陽女子 |
| | GD | 雄龍･須々木 | 山陽女子 | 加藤・赤澤 | 山陽女子 | 佐藤・次田 | 佐藤女子 | | |
| 38 | BS | | | | | | | | |
| | BD | | | | | | | | |
| H,7 | GS | | | 加藤　美香 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 加藤美･赤澤 | 山陽女子 | 次田･加藤し | 山陽女子 | 田井・雄龍 | 山陽女子 | | |
| 39 | BS | | | 松川　大記 | 倉敷工業 | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | | |
| | BD | 松川・塚田 | 倉敷工業 | | | | | | |
| H,8 | GS | 井山　美里 | 山陽女子 | | | | | | |
| | GD | | | 雄龍・國司 | 山陽女子 | 橋村・小川 | 山陽女子 | | |

### ②全国高校選抜中国地区予選会

☆昭和46年度までは中国地区合宿が行われ，47年度からは全国選抜中国地区予選会となる。

☆47～48年度はダブルスの優勝ペアが地区代表となる。

☆47～53年度は県対抗(混成チームでもよい)で行われ，優勝県が全国大会個人戦の代表権も獲得した。

☆49年度からの県対抗団体戦は１複２単で行われ，53年度からは２複１単に変わった。

☆54年度から学校対抗の団体戦となり，58年度より１単２複２単となる。

**ア）学校対抗戦**

| 回年 | 場　所 | 種目 | 1　　位 | 2　　位 | 3　位（4は4位） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 S,42 | 福山市 | BT<br>GT | 岡　　山<br>岡　　山 | 日本協会主催の《中国地区強化合宿》に於ける，試合練習の勝率による参考成績 | |
| 2 S,43 | 松江市 | BT<br>GT | 岡　　山<br>岡　　山 | （上に同じ） | |
| 3 S,44 | 岡山市 | BT<br>GT | 岡　　山<br>岡　　山 | （上に同じ） | |
| 4 S,45 | 松江市 | BT<br>GT | 岡　　山<br>岡　　山 | （上に同じ） | |
| 5 S,46 | 宇部市 | BT<br>GT | 岡　　山<br>岡　　山 | （上に同じ） | |
| 1 S,47 | 福山市 | BD<br>GD | <br>近藤・原田（山陽女子） | | |
| 2 S,48 | 玉野市 | BD<br>GD | 橋本・武者（倉敷青陵）<br>原田・藤原（山陽女子） | <br>小寺・日原（山陽女子） | 村田・角田（総社） |
| 3 S,49 | 倉吉市 | BT<br>GT | 岡　山（倉敷工業）<br>岡　山（山陽女子） | | |
| 4 S,50 | 松江市 | BT<br>GT | <br>岡　山（山陽女・中央） | 岡　山（倉工・青陵） | |
| 5 S,51 | 下関市 | BT<br>GT | <br>岡山Ａ（山陽女子） | 岡　山（水島工・倉敷工）<br>岡山Ｂ（山陽女子） | |
| 6 S,52 | 福山市 | BT<br>GT | <br>岡山Ａ（山陽女子） | 岡　山（水島工・倉敷工）<br>岡山Ｂ（山陽女・西大寺） | |
| 7 S,53 | 岡山市 | BT<br>GT | <br>岡山Ａ（山陽女子） | 岡山Ａ（倉敷工・水島工） | |
| 8 S,54 | 倉吉市 | BT<br>GT | 倉敷天城<br>山陽女子 | | 西大寺 |
| 9 S,55 | 松江市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | 倉敷工業 | |
| 10 S,56 | 下関市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | 水島工業 | |
| 11 S,57 | 福山市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | 水島工業 | |
| 12 S,58 | 倉敷市 | BT<br>GT | 西大寺<br>山陽女子 | 水島工業 | |
| 13 S,59 | 米子市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | 水島工業 | |
| 14 S,60 | 松江市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | | 水島工業 |
| 15 S,61 | 下関市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | | |
| 16 S,62 | 福山市 | BT<br>GT | | 玉野光南<br>山陽女子 | |
| 17 S,63 | 倉敷市 | BT<br>GT | <br>倉敷翠松 | 瀬戸南 | 玉野光南 |

| 回年 | 場　所 | 種目 | 1　　位 | 2　　位 | 3　　位（4は4位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 18<br>H,元 | 倉吉市 | BT<br>GT | | 玉野光南<br>山陽女子 | | |
| 19<br>H,2 | 安来市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | | 倉敷工業 | |
| 20<br>H,3 | 徳山市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | | 瀬戸南 | |
| 21<br>H,4 | 福山市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | | 倉敷工業 | |
| 22<br>H,5 | 倉敷市 | BT<br>GT | 倉敷工業<br>山陽女子 | <br>倉敷翠松 | 瀬戸南 | |
| 23<br>H,6 | 松江市 | BT<br>GT | <br>山陽女子 | | | |
| 24<br>H,7 | 米子市 | BT<br>GT | 倉敷工業 | | <br>山陽女子 | |
| 25<br>H,8 | 山口市 | BT<br>GT | <br>倉敷翠松 | | | |

### イ）個人戦

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>S,47 | BD<br>GD | 近藤・原田 | 山陽女子 | | | | | | |
| | | 近藤小織・原田美智子に代わって国定久恵（山陽女子）が（全国大会）へ。 | | | | | | | |
| 2<br>S,48 | BD | 橋本・武者 | 倉敷青陵 | | | | | | |
| | | 橋本敏邦・武者也寸志（倉敷青陵）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| | GD | 原田・藤原 | 山陽女子 | 小寺・日原 | 山陽女子 | | | | |
| | | 原田美智子・日原禎子（山陽女子）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| 3<br>S,49 | BS | 平田重男（倉敷工業）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| | BD | 藤原道弘・片岡正之（倉敷工業）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| | GS | 岡部五月（山陽女子）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| | GD | 橋本千春・高木和子（山陽女子）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| 4<br>S,50 | BS | | | 横山真二（倉敷工業） | | | | | |
| | BD | | | 安田央・森脇紳二（青陵） | | | | | |
| | GS | 森下真紀（山陽女子）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| | GD | 小野典子・藤原さつき（倉敷中央）が全国大会へ。 | | | | | | | |
| 5<br>S,51 | BS | | | 亀山文雄（倉敷工業） | | | | | |
| | BD | | | 守安達二・池本武志（水工） | | | | | |
| | GS | 峰政ひとみ（山陽女）が全国大会へ。☆左記の３名が | | | | ☆３名がＢチーム | | | |
| | GD | 梶田百枝・田辺淑子（山女）が全国大会へ。Ａチーム | | | | 紙本・斉藤・串田（山陽女子） | | | |
| 6<br>S,52 | BS | | | 亀山文雄（倉敷工業） | | | | | |
| | BD | | | 難波義雄・藤原一志（水工） | | | | | |
| | GS | 松島万子（山陽女）が全国大会へ。 | ☆左記の３名が | | | ☆３名がＢチーム | | | |
| | GD | 串田有子・皿井由美子(山女)が全国大会へ。 | Ａチーム | | | 森脇・大森(西大寺)南葉(山陽女) | | | |
| 7<br>S,53 | BS | | | 秋柴裕之（倉敷工業） | | 左記の３名と | | | |
| | BD | | | 前田雅美・笠原博文（倉工） | | 佐藤正晃・大月仁(水工)が団体Ａのメンバー | | | |
| | GS | 原田美和（山陽女子）が全国大会へ。 | | | | 左記の３名と | | | |
| | GD | 松島万子・天野真理（山女）が全国大会へ。 | | | | 轟恵美子・南葉理恵(山陽女子)が団体Ａのメンバー | | | |
| 8<br>S,54 | BS | 若林　邦任 | 水島工業 | | | | | | |
| | BD | 西江・青木 | 東岡山工 | | | | | | |
| | GS | 原田　美和 | 山陽女子 | | | | | | |
| | GD | 天野・竹原 | 山陽女子 | | | | | | |
| 9<br>S,55 | BS | | | | | 片岡　洋一 | 水島工業 | | |
| | BD | | | 片岡・佐藤 | 水島工業 | 田中・林 | 倉敷青陵 | | |
| | GS | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 木下美紀子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 合田なおみ | 山陽女子 |
| | GD | 竹原・木下 | 山陽女子 | 相賀・原田 | 山陽女子 | 合田・浮田 | 山陽女子 | | |
| 10<br>S,56 | BS | | | | | 久山　雅之 | 東岡山工 | 練尾　晋一 | 水島工業 |
| | BD | | | 練尾・日谷 | 水島工業 | 貝原・三村 | 倉敷工業 | 久山・中須賀 | 東岡山工 |
| | GS | 原田　明子 | 山陽女子 | 相賀　里香 | 山陽女子 | 浮田美代子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 岡・原田 | 山陽女子 | 相賀・浮田 | 山陽女子 | | | | |
| 11<br>S,57 | BS | | | | | 綱嶋　淳二 | 加茂川 | | |
| | BD | | | 中須賀・白政 | 東岡山工 | 久米・中村 | 水島工業 | 板野・綱嶋 | 加茂川 |
| | GS | 轟　美智子 | 山陽女子 | 福田　正子 | 倉敷中央 | 河内　富子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 轟・河内 | 山陽女子 | | | 日下・国清 | 西大寺 | | |
| 12<br>S,58 | BS | 今東　建 | 西大寺 | | | 山根　章裕 | 西大寺 | | |
| | BD | | | | | 貝原・坪井 | 水島工業 | | |
| | GS | 坂井　純子 | 山陽女子 | 近常　直美 | 山陽女子 | 竹原　純子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 坂井・諏訪 | 山陽女子 | 横田・橋本 | 総社 | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | BS | | | | | | | | |
| 13 | BD | | | | | | | | |
| S,59 | GS | | | 近常　直美 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 西林　昭子 | 山陽女子 |
| | GD | 近常・竹原 | 山陽女子 | 大木・西林 | 山陽女子 | 平尾・紀井 | 山陽女子 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 14 | BD | | | 吉田・金田 | 瀬戸南 | 小川・四枝 | 倉敷工業 | | |
| S,60 | GS | 西林　昭子 | 山陽女子 | 紀井　晴美 | 山陽女子 | | | | |
| | GD | 西林・紀井 | 山陽女子 | 松王・人見 | 山陽女子 | 片岡・　岡 | 山陽女子 | | |
| | BS | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 横田　豊和 | 水島工業 | | | | |
| 15 | BD | | | | | 福田・松田 | 玉野光南 | | |
| S,61 | GS | 松王香音里 | 山陽女子 | 岡　良依 | 山陽女子 | 中川　裕規 | 山陽女子 | | |
| | GD | 岡・片岡 | 山陽女子 | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | 松王・人見 | 山陽女子 | | |
| | BS | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | | | 白神　和彦 | 水島工業 | | |
| 16 | BD | | | | | 福田・松田 | 玉野光南 | | |
| S,62 | GS | 出原　直美 | 山陽女子 | 渡部　美香 | 山陽女子 | 佐藤　由香 | 山陽女子 | | |
| | GD | 佐藤・渡部 | 山陽女子 | | | 中村・那須 | 西大寺 | | |
| | BS | | | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 石本　一豊 | 理大付属 | | |
| 17 | BD | | | 石本・野田 | 理大付属 | 石井・石田 | 玉野光南 | 内藤・三辻 | 瀬戸南 |
| S,63 | GS | 横田　裕子 | 山陽女子 | | | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 渡邊　美穂 | 倉敷翠松 |
| | GD | 渡邊・藤原 | 倉敷翠松 | 横田・畝山 | 山陽女子 | 此元・羽原 | 倉敷翠松 | | |
| | BS | | | | | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | | |
| 18 | BD | | | | | 坂口・松倉 | 倉敷工業 | 山川・仁井 | 玉野光南 |
| H,元 | GS | | | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | 竹中　理恵 | 玉野光南 | | |
| | GD | | | | | 住矢・佐藤 | 山陽女子 | | |
| | BS | | | | | | | | |
| 19 | BD | | | | | | | | |
| H,2 | GS | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 佐藤　純子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 佐藤由・住矢 | 山陽女子 | 高岡・佐藤純 | 山陽女子 | 藤原・安原 | 倉敷翠松 | | |
| | BS | | | 草井　篤 | 瀬戸南 | 守安　孝二 | 倉敷工業 | 堀江賢二郎 | 水島工業 |
| 20 | BD | | | 田中・堀江 | 水島工業 | 草井・杉山 | 瀬戸南 | 甲・岡崎 | 西大寺 |
| H,3 | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | | | 岡野　峰子 | 山陽女子 | | |
| | GD | 山口・長門 | 山陽女子 | 住矢・松王 | 山陽女子 | 岡野・堀内 | 山陽女子 | 轟・神宝 | 山陽女子 |
| | BS | 草井　篤 | 瀬戸南 | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 杉島　誠 | 岡山城東 | | |
| 21 | BD | | | | | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | | |
| H,4 | GS | 松王峰代子 | 山陽女子 | 住矢　直美 | 山陽女子 | 神宝　朝子 | 山陽女子 | 鐘築　順子 | 山陽女子 |
| | GD | 松王・住矢 | 山陽女子 | 鐘築・重光 | 山陽女子 | 太田・山口 | 山陽女子 | | |
| | BS | 楢原　功士 | 倉敷工業 | | | 西本　康宏 | 倉敷工業 | | |
| 22 | BD | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 三宅・三宅 | 水島工業 | | | | |
| H,5 | GS | 加藤　美香 | 山陽女子 | 柏野　雅美 | 山陽女子 | 雄龍あゆみ | 山陽女子 | 須々木　恵 | 山陽女子 |
| | GD | 雄龍・須々木 | 山陽女子 | 加藤・赤澤 | 山陽女子 | 佐藤・次田 | 山陽女子 | 菱川・白木 | 倉敷翠松 |
| | BS | | | 松川　大記 | 倉敷工業 | | | | |
| 23 | BD | | | 池田　宮澤 | 瀬戸南 | | | | |
| H,6 | GS | 加藤　美香 | 山陽女子 | 次田　尚美 | 山陽女子 | 赤澤　景子 | 山陽女子 | | |
| , | GD | 次田・赤澤 | 山陽女子 | | | 藤井・谷口 | 瀬戸南 | 田井・雄龍 | 山陽女子 |
| | BS | | | 松川　大記 | 倉敷工業 | | | | |
| 24 | BD | 塚田・岡村 | 倉敷工業 | 松川・柴田 | 倉敷工業 | 吉田・田中 | 水島工業 | 遠藤・田邊 | 倉敷工業 |
| H,7 | GS | | | | | 宇野佳緒里 | 山陽女子 | | |
| | GD | 宇野・雄龍 | 山陽女子 | | | 須藤・福井 | 倉敷翠松 | | |
| | BS | 西岡　大宗 | 瀬戸南 | | | | | | |
| 25 | BD | | | | | 田中・渡邊 | 水島工業 | | |
| H,8 | GS | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | | | | | | |
| | GD | | | 西山・中塚 | 倉敷翠松 | 福井・山本 | 倉敷翠松 | 河野・信江 | 倉敷商業 |

## ③全国高校総合体育大会　☆第１回大会（横浜市）は不参加

| 回･年･場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2・S,26 | 団体戦 | | 倉敷青陵 | 1回戦 | 団体戦 | | 井原 | 3回戦 |
| 札幌市 | | | 倉敷老松 | 2回戦 | | | 倉敷青陵 | 1回戦 |
| 3・S,27 | 団体戦 | | 倉敷老松 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 善通寺町 | | | 西大寺 | 1回戦 | | | 倉敷青陵 | 2回戦 |
| 4・S,28 | 団体戦 | | 倉敷青陵 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| 山形市 | | | 倉敷工業 | 2回戦 | | | 倉敷青陵 | 2回戦 |
| 5・S,29 | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 4位 |
| 金沢市 | | | 西大寺 | 2回戦 | | | 井原 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 優勝 |
| 6 | 個S | 松田　国宏 | 西大寺 | 2回戦 | 個S | 光本　政子 | 山陽女子 | 5位 |
| S,30 | | 石原縫次郎 | 西大寺 | 2回戦 | | 戸田　寿子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| 神戸市 | 人D | 大林和彦・今東幸一 | 西大寺 | 2回戦 | 人D | 友野文子・権田節子 | 山陽女子 | 優勝 |
| | | 行司忠章・池島敏夫 | 西大寺 | 2回戦 | | 小林桂子・三宅基子 | 山陽女子 | 2位 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2位 |
| | | | | | | | 井原 | 3回戦 |
| 7 | 個S | 今東　幸一 | 西大寺 | 2回戦 | 個S | 戸田　寿子 | 山陽女子 | 2位 |
| S,31 | | 中尾　昇 | 西大寺 | 2回戦 | | 小林　桂子 | 山陽女子 | 3位 |
| 仙台市 | 人D | 中尾・小林　恒雄 | 西大寺 | 2回戦 | 人D | 小林・戸田 | 山陽女子 | 3位 |
| | | 今東・大林 | 西大寺 | 2回戦 | | 守安昭子・根岸　純 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| 8 | 個S | 小松　貴 | 西大寺 | 3回戦 | 個S | 根岸　純 | 山陽女子 | 5位 |
| S,32 | | 中尾　昇 | 西大寺 | 2回戦 | | 西田　寿子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 松江市 | 人D | 中尾・山本　昇 | 西大寺 | 3回戦 | 人D | 田中俊子・滝本紀子 | 井原 | 5位 |
| | | 高島　滋・武沢文雄 | 西大寺 | 2回戦 | | 根岸・山本　二三 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2位 |
| 9 | 個S | 小松　貴 | 西大寺 | 4位 | 個S | 西田　寿子 | 山陽女子 | 5位 |
| S,33 | | 国信　祝二 | 西大寺 | 3回戦 | | 沢　真美子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 新潟市 | 人D | 小松・国信 | 西大寺 | 2回戦 | 人D | 湯浅光枝・合田君子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 浅沼辰己・阿部一三 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 沢・西田 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 10 | 個S | 青井　正義 | 西大寺 | 3回戦 | 個S | 合田　君子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| S,34 | | 岸本　俊昭 | 西大寺 | 1回戦 | | 湯浅　光枝 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 会津若松市 | 人D | 青井・奥山　重勝 | 西大寺 | 3回戦 | 人D | 合田・湯浅 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 岡　義宏・白神　隆 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 落　光子・山本純子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 団体戦 | | 西 | 4位 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| 11 | 個S | 松王　重明 | 西大寺 | 3回戦 | 個S | 合田　君子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,35 | | 田中　輝史 | 西大寺 | 1回戦 | | 吉藤　小夜 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 久留米市 | 人D | 松王・阿部　純一 | 西大寺 | 4回戦 | 人D | 合田・吉藤 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 小橋　武・上岡俊英 | 西大寺 | 3回戦 | | 高塚淳子・重政百代 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 4位 |
| 12 | 個S | 朝原　航 | 備南 | 5位 | 個S | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 5位 |
| S,36 | | 寺内　侃一 | 西大寺 | 3回戦 | | 小合　桂子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 弘前市 | 人D | 寺内・宮崎　稔 | 西大寺 | 4回戦 | 人D | 小合・七村　泰子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 朝原・福田　詔一 | 備南 | 2回戦 | | 高塚・重政 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 西大寺 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| 13 | 個S | 岡崎　捷一 | 西大寺 | 3回戦 | 個S | 高塚　淳子 | 山陽女子 | 優勝 |
| S,37 | | 阿部　正 | 西大寺 | 3回戦 | | 重政　百代 | 山陽女子 | 4回戦 |
| 高岡市 | 人D | 阿部・岡崎 | 西大寺 | 4回戦 | 人D | 高塚・重政 | 山陽女子 | 優勝 |
| | | 岡崎強一･山本健太郎 | 西大寺 | 2回戦 | | 七村・中山　慶 | 山陽女子 | 2回戦 |

| 回・年・場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14<br>S,38<br>鶴岡市 | 団体戦 | | 西大寺 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 個S | 西崎　治道 | 西大寺 | 3回戦 | 個S | 光岡　由枝 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 杉村大丈夫 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 人D | 杉村・高橋　健一 | 倉敷工業 | 3回戦 | 人D | 田中　恵・西江千尋 | 井原 | 2回戦 |
| | | 藤　桂三郎・内田昌宏 | 倉敷青陵 | 2回戦 | | 岡崎三沙子・猪原利子 | 井原 | 2回戦 |
| 15<br>S,39<br>京都市 | 団体戦 | | 備南 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| | 個S | 大田　盛秋 | 備南 | 4回戦 | 個S | 湯木　博江 | 山陽女子 | 5位 |
| | | 武田　崇嗣 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 大賀　恵子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | 人D | 大田・吉村　傀三 | 備南 | 5位 | 人D | 湯木・浦口　恵子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 大井　敏雄・武田 | 倉敷工業 | 4回戦 | | 大賀・光岡　由枝 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 16<br>S,40<br>熊本市 | 団体戦 | | 備南 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 4位 |
| | 個S | 佐々木　政志 | 倉敷工業 | 1回戦 | 個S | 湯木　博江 | 山陽女子 | 5位 |
| | | 本藤　和明 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 人D | 佐々木・平松　徹 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 本藤・松永　教平 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 朝原純子・内藤千恵子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 17<br>S,41<br>弘前市 | 団体戦 | | 備南 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2位 |
| | 個S | 清水　雄吉 | 倉敷工業 | 5位 | 個S | 湯木　博江 | 山陽女子 | 優勝 |
| | | 小峪　充弘 | 備南 | 2回戦 | | 浦口　恵子 | 山陽女子 | 2位 |
| | 人D | 芳上一男・田中健二 | 備南 | 4回戦 | 人D | 湯木・浦口 | 山陽女子 | 2位 |
| | | 小峪・藤原　道文 | 備南 | 3回戦 | | 佐藤民子・小林宗子 | 西大寺 | 1回戦 |
| 18<br>S,42<br>金沢市 | 団体戦 | | 備南 | 3回戦 | 団体戦 | | 倉敷青陵 | 1回戦 |
| | 個S | 若松　進 | 備南 | 2回戦 | 個S | 児玉　祥 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 森本　一郎 | 備南 | 2回戦 | | 岩田　定子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 人D | 森田　衛・塩飽　初 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 笹尾真理子・西尾菊栄 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 若松・森本 | 備南 | 1回戦 | | 岩田・児玉 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 19<br>S,43<br>福山市 | 団体戦 | | 倉敷工業 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 個S | 平松　重吉 | 倉敷工業 | 4回戦 | 個S | 児玉　祥 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 平田　喜久夫 | 備南 | 1回戦 | | 光畑　直美 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 人D | 岡本　英人・庵谷　貢 | 倉敷天城 | 2回戦 | 人D | 児玉・光畑 | 山陽女子 | 5位 |
| | | 鶴沢　修・平田 | 備南 | 1回戦 | | 鈴木直美・木村宣子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 20<br>S,44<br>桐生市 | 団体戦 | | 倉敷天城 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 個S | 斉藤　敏行 | 倉敷工業 | 3回戦 | 個S | 坪田　久仁子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 梶田　三郎 | 倉敷天城 | 3回戦 | | 延原　美和子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 人D | 斉藤・片岡　忠明 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 吉田孝子・石田雅子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 岡　浩一・森藤直哉 | 倉敷天城 | 1回戦 | | 延原・坪田 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 21<br>S,45<br>名古屋市 | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 個S | 松井　一 | 備南 | 2回戦 | 個S | 石田　雅子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 重安　良造 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 剛迫　ミエ子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 人D | 松井・田村　学 | 備南 | 2回戦 | 人D | 石田・吉田 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 重安・川相　隆 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 剛迫・林　寿美子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 22<br>S,46<br>善通寺市 | 団体戦 | | 水島工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 個S | 永井　孝 | 水島工業 | 2回戦 | 個S | 林　寿美子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 塩飽　正史 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 平田　喜久江 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 人D | 仁科　弘・鶴沢　繁 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 林　・平田 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 森　貴正・重井文博 | 倉敷青陵 | 1回戦 | | 田辺裕子・三田明美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 23<br>S,47<br>新庄市 | 団体戦 | | 倉敷青陵 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| | 個S | 東　昌二 | 倉敷工業 | 1回戦 | 個S | 寺見　みど里 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 重井　文博 | 倉敷青陵 | 1回戦 | | 田辺　裕子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 人D | 重井・堀　全雄 | 倉敷青陵 | 3回戦 | 人D | 三田・寺見 | 山陽女子 | 3位 |
| | | 北井勝義・大野　昇 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 三宅　一美・田辺 | 山陽女子 | 3回戦 |

| 回・年・場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 団体戦 | | 倉敷青陵 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| 24 | 個S | 平田 博文 | 水島工業 | 1回戦 | 個S | 近藤 小織 | 山陽女子 | 5位 |
| S,48 | | 大野 昇 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 原田 美智子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| 四日市市 | 人D | 大野・藤原 明 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 原田・藤原 敦子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 小野勝彦・橋本敏邦 | 倉敷青陵 | 2回戦 | | 近藤・国定 久恵 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 25 | 個S | 田中 行治 | 倉敷工業 | 3回戦 | 個S | 原田 美智子 | 山陽女子 | 3位 |
| S,49 | | 藤原 道弘 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 藤原 敦子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 嬉野町 | 人D | 田中・永山 和男 | 倉敷工業 | 3回戦 | 人D | 原田・藤原 | 山陽女子 | 2位 |
| 塩田町 | | 藤原・平田 重男 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 小寺裕美・日原禎子 | 山陽女子 | 5位 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 26 | 個S | 片岡 正之 | 倉敷工業 | 3回戦 | 個S | 橋本 千春 | 山陽女子 | 4回戦 |
| S,50 | | 藤原 道弘 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 岡部 五月 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 水戸市 | 人D | 藤原・片岡 | 倉敷工業 | 3回戦 | 人D | 橋本・岡部 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 平田重男・景山 誠 | 倉敷工業 | 3回戦 | | 小山真弓・貝原規子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 倉敷中央 | 1回戦 |
| 27 | 個S | 守安 達二 | 水島工業 | 2回戦 | 個S | 田辺 淑子 | 山陽女子 | 4回戦 |
| S,51 | | 安田 央 | 倉敷青陵 | 1回戦 | | 森下 真紀 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 中野市 | 人D | 槇野 徹・林 慎二 | 倉敷天城 | 2回戦 | 人D | 梶田 百枝・田辺 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 安田・森脇 紳二 | 倉敷青陵 | 1回戦 | | 森下・神農 由美 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 団体戦 | | 水島工業 | 5位 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| | | | 西大寺 | 2回戦 | | | 倉敷中央 | 1回戦 |
| | S | 守安 達二 | 水島工業 | 4回戦 | S | 田辺 淑子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 28 | | 佐々木 幸男 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 紙本 智子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,52 | 個 | 安田 勝己 | 西大寺 | 2回戦 | 個 | 梶田 百恵 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 倉敷市 | | 亀山 文雄 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 亀山 映子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | D | 守安・樋口 正幸 | 水島工業 | 3回戦 | D | 皿井由美子・峰政ひとみ | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 人 | 安田・小林 延行 | 西大寺 | 3回戦 | 人 | 亀山・村上 知子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 野瀬宣之・渡辺俊二 | 倉敷天城 | 2回戦 | | 田辺・梶田 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 難波義雄・松本伸二 | 水島工業 | 1回戦 | | 紙本智子・斎藤 薫 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 29 | 個S | 難波 義雄 | 水島工業 | 4回戦 | 個S | 串田 有子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,53 | | 亀山 文雄 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 皿井 由美子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 会津若松市 | 人D | 亀山・若林 秀夫 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 串田・皿井 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 渡辺俊二・野瀬宣之 | 倉敷天城 | 1回戦 | | 松島 万子・斎藤 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 30 | 個S | 前田 雅美 | 倉敷工業 | 3回戦 | 個S | 原田 美和 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,54 | | 竺原 博文 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 松島 万子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 大津市 | 人D | 前田・竺原 | 倉敷工業 | 3回戦 | 人D | 松島・天野 真理 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 佐藤正晃・秋柴裕之 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 原田・轟 恵美子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 水島工業 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 31 | 個S | 若林 邦任 | 水島工業 | 5位 | 個S | 原田 美和 | 山陽女子 | 4回戦 |
| S,55 | | 西江 均 | 東岡山工 | 2回戦 | | 竹原 桂子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 善通寺市 | 人D | 若林・片岡 洋一 | 水島工業 | 2回戦 | 人D | 原田・竹原 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 田枝誠一・天野 靖 | 水島工業 | 2回戦 | | 轟・天野 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 32 | 個S | 片岡 洋一 | 水島工業 | 2回戦 | 個S | 竹原 桂子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,56 | | 佐藤 邦彦 | 水島工業 | 1回戦 | | 合田 なおみ | 山陽女子 | 2回戦 |
| 平塚市 | 人D | 片岡・佐藤 | 水島工業 | 3回戦 | 人D | 合田・木下 美紀子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 藤沢市 | | 練尾晋一・日谷哲也 | 水島工業 | 1回戦 | | 岡百合子・原田明子 | 山陽女子 | 2回戦 |

| 回・年・場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 団体戦 | | 東岡山工 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 33 | 個S | 練尾　晋一 | 水島工業 | 2回戦 | 個S | 相賀　里香 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,57 | | 三村　勇人 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 浮田　美代子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 枕崎市 | 人D | 日谷・練尾 | 水島工業 | 3回戦 | 人D | 岡・轟　美智子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 加世田市 | | 林　保典・井上俊博 | 倉敷青陵 | 1回戦 | | 相賀・浮田 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 水島工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 34 | 個S | 倉本　哲生 | 水島工業 | 2回戦 | 個S | 轟　美智子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,58 | | 中須　賀史行 | 東岡山工 | 2回戦 | | 万代　暁美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 豊橋市 | 人D | 中須賀・白政　義己 | 東岡山工 | 2回戦 | 人D | 福田正子・佐藤智子 | 倉敷中央 | 3回戦 |
| | | 中村和彦・久米正敏 | 水島工業 | 2回戦 | | 轟・万代 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 水島工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 35 | 個S | 今東　建 | 西大寺 | 5位 | 個S | 近常　直美 | 山陽女子 | 4回戦 |
| S,59 | | 浅沼　正和 | 水島工業 | 2回戦 | | 坂井　純子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 大曲市 | 人D | 今東・西崎　書彦 | 西大寺 | 4回戦 | 人D | 竹原　純子・近常 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 浅沼・仁後　春志 | 水島工業 | 1回戦 | | 坂井・諏訪　里佳 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 団体戦 | | 水島工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 36 | 個S | 仁後　春志 | 水島工業 | 1回戦 | 個S | 近常　直美 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,60 | | 高見　浩二 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 西林　昭子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 金沢市 | 人D | 高原直元・頓宮　浩 | 瀬戸南 | 2回戦 | 人D | 近常・西林 | 山陽女子 | 5位 |
| | | 畑　健二・川上貴宏 | 古城池 | 2回戦 | | 竹原・紀井　晴美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 瀬戸南 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 37 | 個S | 逸見　利雄 | 水島工業 | 1回戦 | 個S | 西林　昭子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| S,61 | | 平田　勝久 | 総社 | 1回戦 | | 紀井　晴美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 下関市 | 人D | 吉田優男・金田秀正 | 瀬戸南 | 3回戦 | 人D | 西林・紀井 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 小川　守・四枝義人 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 平尾佳子・大木律子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 団体戦 | | 水島工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 38 | 個S | 横田　豊和 | 水島工業 | 2回戦 | 個S | 松王　香音里 | 山陽女子 | 5位 |
| S,62 | | 横山　健一 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 人見　順子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 登別市 | 人D | 横田・藤原　正美 | 水島工業 | 2回戦 | 人D | 松王・人見 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 笠原靖典・久山浩一 | 水島工業 | 1回戦 | | 岡　良依・村瀬弘美 | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 団体戦 | | 玉野光南 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 39 | 個S | 白神　和彦 | 水島工業 | 3回戦 | 個S | 佐藤　由香 | 山陽女子 | 4回戦 |
| S,63 | | 福田　哲 | 玉野光南 | 2回戦 | | 西本　早苗 | 倉敷翠松 | 1回戦 |
| 宝塚市 | 人D | 福田・松田　博幸 | 玉野光南 | 2回戦 | 人D | 出原直美・柚木陽子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 白神・春名　英樹 | 水島工業 | 1回戦 | | 佐藤・渡部　美香 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 玉野光南 | 3回戦 | 団体戦 | | 倉敷翠松 | 2回戦 |
| 40 | 個S | 石田　猛 | 玉野光南 | 2回戦 | 個S | 藤原　清美 | 倉敷翠松 | 2回戦 |
| H,元 | | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 1回戦 | | 横田　裕子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 高知市 | 人D | 石本一豊・野田修嗣 | 理大付属 | 2回戦 | 人D | 渡邊　美穂・藤原 | 倉敷翠松 | 2回戦 |
| | | 山磨和弘・坂口保明 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 横田・畝山　敬子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 41 | 個S | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 2回戦 | 個S | 杉本　真紀子 | 倉敷翠松 | 3回戦 |
| H,2 | | 坂口　保明 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 塩竈市 | 人D | 三辻・西方　和夫 | 瀬戸南 | 2回戦 | 人D | 住矢・佐藤　由紀 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 松島市 | | 立野隆行・久山信行 | 水島工業 | 1回戦 | | 佐藤純子・高岡ゆり | 山陽女子 | 1回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 42 | 個S | 田中　学 | 水島工業 | 1回戦 | 個S | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 3回戦 |
| H,3 | | 藤田　航平 | 玉野商業 | 1回戦 | | 佐藤　由紀 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 富士市 | 人D | 仁井昌志・道西大輔 | 玉野光南 | 3回戦 | 人D | 藤原裕子・安原久恵 | 倉敷翠松 | 3回戦 |
| | | 青江尚幸・守安孝二 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 住矢・佐藤 | 山陽女子 | 2回戦 |

| 回･年･場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 43 | 個S | 草井　篤 | 瀬戸南 | 2回戦 | 個S | 松王　峰代子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| H,4 | | 森田　洋 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 住矢　直美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 高鍋町 | 人D | 田中学・堀江賢二郎 | 水島工業 | 3回戦 | 人D | 松王・住矢 | 山陽女子 | 3回戦 |
| 西都市 | | 草井・松本　豊彦 | 瀬戸南 | 2回戦 | | 山口順子・長門弘美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 44 | 個S | 草井　篤 | 瀬戸南 | 4回戦 | 個S | 松王　峰代子 | 山陽女子 | 3回戦 |
| H,5 | | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 住矢　直美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 宇都宮市 | 人D | 森田　洋・楢原 | 倉敷工業 | 3回戦 | 人D | 神宝朝子・長門弘美 | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 草井・杉山　彰 | 瀬戸南 | 1回戦 | | 松王・住矢 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 2回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 3回戦 |
| 45 | 個S | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 4回戦 | 個S | 須々木　恵 | 山陽女子 | 4回戦 |
| H,6 | | 三宅　伸介 | 倉敷工業 | 3回戦 | | 加藤　美香 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 高岡市 | 人D | 西本康宏・大栄俊和 | 倉敷工業 | 3回戦 | 人D | 須々木･雄龍あゆみ | 山陽女子 | 3回戦 |
| | | 楢原・三宅 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 加藤・赤澤　景子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 46 | 個S | 松川　大記 | 倉敷工業 | 2回戦 | 個S | 加藤　美香 | 山陽女子 | 3回戦 |
| H,7 | | 安本　貴士 | 水島工業 | 1回戦 | | 赤澤　景子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 松江市 | 人D | 宮澤勝智・池田道規 | 瀬戸南 | 2回戦 | 人D | 加藤　美香・赤澤 | 山陽女子 | 4回戦 |
| | | 松川・塚田　健太郎 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 次田尚美･加藤しのぶ | 山陽女子 | 3回戦 |
| | 団体戦 | | 倉敷工業 | 3回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| 47 | 個S | 岡村　康弘 | 倉敷工業 | 2回戦 | 個S | 井山　美里 | 山陽女子 | 2回戦 |
| H,8 | | 柴田　匡史 | 倉敷工業 | 2回戦 | | 山本　泰子 | 倉敷翠松 | 1回戦 |
| 甲府市 | 人D | 松川　大記・塚田 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 雄龍めぐみ･國司良子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | | 岡村・柴田 | 倉敷工業 | 1回戦 | | 宇野佳緒里･小田真澄 | 山陽女子 | 1回戦 |

## ④全国高校選抜選手権大会

| 回･年･場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | | |
| S,47 | 個S | | | | 個S | 近藤　小織 | 山陽女子 | 5位 |
| 真岡市 | | | | | | 国定　久恵 | 山陽女子 | 棄権 |
| | 人D | | | | 人D | 近藤・国定 | 山陽女子 | 棄権 |
| 2 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | | |
| S,48 | 個S | 橋本　敏邦 | 倉敷青陵 | 2回戦 | 個S | 原田　美智子 | 山陽女子 | 2位 |
| 東京都 | | 武者　也寸志 | 倉敷青陵 | 2回戦 | | 日原　禎子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| | 人D | 橋本・武者 | 倉敷青陵 | リーグ4位 | 人D | 原田・日原 | 山陽女子 | 3位 |
| 3 | 団体戦 | | 倉敷工業 | 4位 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| S,49 | 個S | 平田　重男 | 倉敷工業 | 4位 | 個S | 岡部　五月 | 山陽女子 | 5位 |
| 東京都 | 人D | 藤原道弘・片岡正之 | 倉敷工業 | 5位 | 人D | 橋本千春・高木和子 | 山陽女子 | 5位 |
| 4 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 中央･山女 | 1回戦 |
| S,50 | 個S | | | | 個S | 森下　真紀 | 山陽女子 | 2位 |
| 桐生市 | 人D | | | | 人D | 小野典子･藤原さつき | 倉敷中央 | 1回戦 |
| 5 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| S,51 | 個S | | | | 個S | 峰政　ひとみ | 山陽女子 | 5位 |
| 郡山市 | 人D | | | | 人D | 梶田百枝・田辺淑子 | 山陽女子 | 4位 |
| 6 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| S,52 | 個S | | | | 個S | 松島　万子 | 山陽女子 | 5位 |
| 奈良市 | 人D | | | | 人D | 串田有子･皿井由美子 | 山陽女子 | 5位 |
| 7 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| S,53 | 個S | | | | 個S | 原田　美和 | 山陽女子 | 5位 |
| 東京都 | 人D | | | | 人D | 松島万子・天野真理 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 8 | 団体戦 | | 倉敷天城 | 5位 | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| S,54 | 個S | 若林　邦任 | 水島工業 | 1回戦 | 個S | 原田　美和 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 真岡市 | 人D | 青木隆久・西江　均 | 東岡山工 | 4位 | 人D | 天野真理・竹原桂子 | 山陽女子 | 1回戦 |

| 回・年・場所 | 男子 | | 校名 | 最終成績 | 女子 | | 校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | | |
| S,55 | 個S | | | | 個S | 竹原　桂子 | 山陽女子 | 5位 |
| 大津市 | 人D | | | | 人D | 竹原・木下美紀子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 10 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 1回戦 |
| S,56 | 個S | | | | 個S | 原田　明子 | 山陽女子 | 5位 |
| 桐生市 | 人D | | | | 人D | 原田・岡　百合子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 11 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 1回戦 |
| S,57 | 個S | | | | 個S | 轟　美智子 | 山陽女子 | 5位 |
| 松江市 | 人D | | | | 人D | 轟・河内富子 | 山陽女子 | 5位 |
| 12 | 団体戦 | | 西大寺 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 1回戦 |
| S,58 | 個S | 今東　建 | 西大寺 | 5位 | 個S | 坂井　純子 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 足利市 | 人D | | | | 人D | 竹原純子・近常直美 | 山陽女子 | 5位 |
| 13 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 5位 |
| S,59 | 個S | | | | 個S | | | |
| 金沢市 | 人D | | | | 人D | 竹原純子・近常直美 | 山陽女子 | 5位 |
| 14 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 1回戦 |
| S,60 | 個S | | | | 個S | 西林　昭子 | 山陽女子 | 5位 |
| 那覇市 | 人D | | | | 人D | 西林・紀井晴美 | 山陽女子 | 5位 |
| 15 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| S,61 | 個S | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 2回戦 | 個S | 松王香音里 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 帯広市 | 人D | 福田哲・松田博幸 | 玉野光南 | 1回戦 | 人D | 片岡弓子・岡　良依 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 16 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| S,62 | 個S | 平尾　昌也 | 瀬戸南 | 1回戦 | 個S | 出原　直美 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 宝塚市 | 人D | 福田哲・松田博幸 | 玉野光南 | 1回戦 | 人D | 佐藤由香・渡部美香 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 17 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 倉敷翠松 | 1回戦 |
| S,63 | 個S | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 1回戦 | 個S | 横田　裕子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 宇都宮市 | 人D | 石本一豊・野田修嗣 | 理大付属 | 1回戦 | 人D | 渡邊美穂・藤原清美 | 倉敷翠松 | 2回戦 |
| 18 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | | |
| H,元 | 個S | 三辻　邦章 | 瀬戸南 | 2回戦 | 個S | 杉本真紀子 | 倉敷翠松 | 2回戦 |
| 東京都 | 人D | 坂口保明・松倉弘幸 | 倉敷工業 | 1回戦 | 人D | 住矢美幸・佐藤由紀 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 19 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| H,2 | 個S | | | | 個S | 住矢　美幸 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 高岡市 | 人D | | | | 人D | 住矢美幸・佐藤由紀 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 20 | 団体戦 | | 瀬戸南 | | 団体戦 | | 山陽女子 | |
| H,3 | | | ・予選リーグ 1勝2敗 | | | | ・予選リーグ 1勝1敗 | |
| 宇都宮市 | ◎記念大会として開催され，各県代表の団体戦のみが行われた。 | | | | | | | |
| 21 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| H,4 | 個S | 草井　篤 | 瀬戸南 | 2位 | 個S | 松王峰代子 | 山陽女子 | 3位 |
| 新潟市 | 人D | 楢原功士・三宅伸介 | 倉敷工業 | 1回戦 | 人D | 松王・住矢直美 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 22 | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 1回戦 |
| H,5 | 個S | 楢原　功士 | 倉敷工業 | 1回戦 | 個S | 加藤　美香 | 山陽女子 | 1回戦 |
| 大阪府 | 人D | 楢原・三宅伸介 | 倉敷工業 | 5位 | 人D | 雄龍あゆみ・須々木恵 | 山陽女子 | 5位 |
| 23 | 団体戦 | | | | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| H,6 | 個S | 松川　大記 | 倉敷工業 | 1回戦 | 個S | 加藤　美香 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 上尾市 | 人D | 宮澤勝智・池田道規 | 瀬戸南 | 1回戦 | 人D | 次田尚美・赤澤景子 | 山陽女子 | 2回戦 |
| 24 | 団体戦 | | 倉敷工業 | 1回戦 | 団体戦 | | 山陽女子 | 2回戦 |
| H,7 | 個S | 松川　大記 | 倉敷工業 | 2回戦 | 個S | | | |
| 札幌市 | 人D | 塚田健太郎・岡村康弘 | 倉敷工業 | 2回戦 | 人D | 宇野佳緒里・雄龍めぐみ | 山陽女子 | 2回戦 |
| 25 | 団体戦 | | 水島工業 | | 団体戦 | | 倉敷翠松 | |
| H,8 | | | ・予選リーグ 2位 | | | | ・予選リーグ 2位 | |
| 長岡京市 | ◎記念大会として開催され，各県代表の団体戦のみが行われた。 | | | | | | | |

## （4）高等専門学校体育連盟（津山工業高等専門学校）

### 1）県外大会

### ①中国地区高等専門学校大会

| 回 | 年 | 場　所 | 種目 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,54 | 津山市 | MT | 2　位 | MD | 河原・永原 | 3　位 | | | |
| 2 | S,55 | 津山市 | MT | 2　位 | MS | 永原　光彦 | 4　位 | | | |
| 3 | S,56 | 米子市 | MT | 4　位 | MS | 永原　光彦 | 4　位 | | | |
| 4 | S,57 | 宇部市 | MT | 2　位 | MS | 永原　光彦 | 3　位 | MD | 永原・下山 | 4　位 |
| 5 | S,58 | 徳山市 | MT | 2　位 | MS | 山根　直樹 | 3　位 | MS | 石川　雅弘 | 4　位 |
| | | | | | MD | 木村・山根 | 3　位 | | | |
| 6 | S,59 | 津山市 | MT | 優　勝 | MS | 山根　直樹 | 優　勝 | MS | 西井　一秀 | 3　位 |
| | | | | | MD | 山根・長瀬 | 優　勝 | | | |
| 7 | S,60 | 米子市 | MT | 優　勝 | MS | 西井　一秀 | 優　勝 | MS | 延原　秀和 | 4　位 |
| | | | | | MD | 結城・西井 | 優　勝 | MD | 坂口・延原 | 2　位 |
| 8 | S,61 | 宇部市 | MT | 優　勝 | MS | 西井　一秀 | 優　勝 | MS | 延原　秀和 | 2　位 |
| | | | | | MS | 石黒　雅之 | 3　位 | MD | 西井・延原 | 優　勝 |
| | | | | | MD | 谷本・澤田 | 3　位 | MD | 早川・蔵田 | 4　位 |
| 9 | S,62 | 徳山市 | MT | 優　勝 | MS | 延原　秀和 | 優　勝 | MS | 石黒　雅之 | 2　位 |
| | | | | | MD | 延原・石黒 | 2　位 | | | |
| 10 | S,63 | 米子市 | MT | 2　位 | MS | 石黒　雅之 | 3　位 | MS | 蔵田　和夫 | 4　位 |
| | | | | | MD | 谷本・臼井 | 4　位 | | | |
| 11 | H,元 | 津山市 | | | MS | 蔵田　和夫 | 2　位 | MD | 蔵田・臼井 | 3　位 |
| 12 | H,2 | 宇部市 | MT | 4　位 | LS | 酒本亜希子 | 優　勝 | | | |
| 13 | H,3 | 徳山市 | MT | 4　位 | MD | 坂本・大郷 | 4　位 | LD | 酒本・玉木 | 4　位 |
| 14 | H,4 | 呉　市 | | | LS | 酒本亜希子 | 3　位 | | | |
| 15 | H,5 | 津山市 | | | | | | | | |
| 16 | H,6 | 米子市 | | | MS | 入澤　基 | 4　位 | LS | 玉木　洋子 | 4　位 |
| | | | | | LD | 玉木・上山 | 3　位 | | | |

◎H,7年より,中国地区高等専門学校体育大会に移行された。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 17 | H,7 | 徳山市 | MT | 4　位 | | | | | | |
| 18 | H,8 | 呉　市 | | 不　参　加 | | | | | | |

### ②中国・四国高等専門学校大会

| 回 | 年 | 場　所 | 種目 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,49 | 高松市 | MT | 優　勝 | | | | | | |
| 2 | S,50 | 高松市 | | 不　明 | | | | | | |
| 3 | S,51 | 高松市 | | 不　明 | | | | | | |
| 4 | S,52 | 高松市 | MT | 優　勝 | | | | | | |
| 5 | S,53 | 高松市 | MT | 4　位 | MS | 黒瀬　清文 | 3　位 | MD | 黒瀬・国富 | 優　勝 |
| 6 | S,54 | 高松市 | MT | 4　位 | | | | | | |
| 7 | S,55 | 高松市 | MT | 4　位 | MD | 若林・松尾 | 4　位 | | | |
| 8 | S,56 | 高松市 | MT | 2　位 | MS | 永原　光彦 | 2　位 | | | |
| 9 | S,57 | 高松市 | MT | 2　位 | MD | 木村・山根 | 優　勝 | | | |
| 10 | S,58 | 高松市 | MT | 優　勝 | MS | 山根　直樹 | 優　勝 | MD | 山根・長瀬 | 優　勝 |
| | | | | | MD | 結城・西井 | 3　位 | | | |
| 11 | S,59 | 高松市 | MT | 2　位 | MS | 結城　俊行 | 3　位 | | | |
| 12 | S,60 | 高松市 | MT | 優　勝 | MS | 延原　秀和 | 2　位 | MS | 西井　一秀 | 3　位 |
| | | | | | MD | 西井・延原 | 優　勝 | | | |
| 13 | S,61 | 高松市 | MT | 優　勝 | MS | 延原　秀和 | 2　位 | MS | 石黒　雅之 | 3　位 |
| | | | | | MS | 蔵田　和夫 | 4　位 | MD | 西井・延原 | 3　位 |
| 14 | S,62 | 高松市 | MT | 優　勝 | MD | 石黒・蔵田 | 4　位 | | | |
| 15 | S,63 | 高松市 | MT | 3　位 | MD | 蔵田・臼井 | 4　位 | | | |
| 16 | H,元 | 高松市 | MT | 3　位 | MS | 臼井　博之 | 2　位 | | | |
| 17 | H,2 | 高松市 | | | MD | 坂本・大郷 | 4　位 | | | |

| 回 | 年 | 場　所 | 種目 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 18 | H，3 | 高松市 | MT | 3　位 | | | | | | |
| 19 | H，4 | 高松市 | | | LD | 玉木・橋本 | 2　位 | | | |
| 20 | H，5 | 新居浜市 | | | LS | 亀田　敬子 | 4　位 | | | |
| 21 | H，6 | 高知市 | | | | | | | | |
| 22 | H，7 | 宇部市 | MT | 4　位 | | | | | | |
| 23 | H，8 | 津山市 | | | | | | | | |

### ③全日本高等専門学校選手権大会

| 回 | 年 | 場　所 | 種目 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 | 種目 | 氏　　名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | S，53 | 名取市 | MT | 1回戦 | MS | 河原　和夫 | 2回戦 | MS | 植中　基博 | 1回戦 |
| | | | | | MS | 前田　敏克 | 1回戦 | MD | 国富・黒瀬 | 1回戦 |
| | | | | | MD | 植中・前田 | 1回戦 | | | |
| 4 | S，55 | 米子市 | MT | 1回戦 | MS | 永原　光彦 | 1回戦 | MD | 山本・若林 | 1回戦 |
| 6 | S，57 | 北九州市 | | | MS | 永原　光彦 | 2回戦 | | | |
| 7 | S，58 | 生駒市 | | | MS | 山根　直樹 | 3　位 | | | |
| 8 | S，59 | 八王子市 | MT | 1回戦 | MS | 山根　直樹 | 2　位 | MS | 西井　一秀 | 3回戦 |
| | | | | | MD | 長瀬・山根 | 1回戦 | | | |
| 9 | S，60 | 苫小牧市 | MT | 2回戦 | MS | 西井　一秀 | 2回戦 | MD | 西井・結城 | 3回戦 |
| | | | | | MD | 坂口・延原 | 1回戦 | | | |
| 10 | S，61 | いわき市 | MT | 1回戦 | MS | 西井　一秀 | 3回戦 | MS | 延原　秀和 | 1回戦 |
| | | | | | MS | 石黒　雅之 | 2回戦 | MD | 西井・延原 | 1回戦 |
| 11 | S，62 | 鈴鹿市 | MT | 3　位 | MS | 延原　秀和 | 2回戦 | MS | 石黒　雅之 | 1回戦 |
| | | | | | MD | 延原・石黒 | 3回戦 | | | |
| 12 | S，63 | 津山市 | MT | 1回戦 | MS | 石黒　雅之 | 2回戦 | MS | 谷本　宏一 | 1回戦 |
| | | | | | MS | 蔵田　和夫 | 1回戦 | | | |
| | | | | | MD | 石黒・蔵田 | 1回戦 | MD | 谷本・臼井 | 1回戦 |
| 13 | H，元 | 新居浜市 | | | MS | 蔵田　和夫 | 1回戦 | | | |
| 14 | H，2 | 熊本市 | | | LS | 酒本亜希子 | 3　位 | | | |

## （5）学生連盟

### ①中国５大学学生競技大会　　☆岡山大学のみ参加資格がある。

#### ア）団体戦　　☆S,25～S,26まで記録不明

| 回 | 年度 | 場所 | 男子団体 | 女子団体 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | S,27 | 岡山 | 2位 | |
| 4 | S,28 | 松江 | | 1位 |
| 5 | S,29 | 鳥取 | 1位 | 1位 |
| 6 | S,30 | 広島 | 1位 | 1位 |
| 7 | S,31 | 山口 | 1位 | 1位 |
| 8 | S,32 | 岡山 | 1位 | 1位 |
| 9 | S,33 | 松江 | 2位 | 1位 |
| 10 | S,34 | 鳥取 | 1位 | 1位 |
| 11 | S,35 | 広島 | 3位 | 2位 |
| 12 | S,36 | 山口 | 1位 | 1位 |
| 13 | S,37 | 岡山 | 1位 | 1位 |
| 14 | S,38 | 松江 | 1位 | 2位 |
| 15 | S,39 | 鳥取 | 1位 | 1位 |
| 16 | S,40 | 広島 | 1位 | 2位 |
| 17 | S,41 | 山口 | 1位 | 2位 |
| 18 | S,42 | 岡山 | 1位 | 1位 |
| 19 | S,43 | 松江 | 1位 | 1位 |
| 20 | S,44 | 鳥取 | 1位 | 1位 |
| 21 | S,45 | 広島 | 1位 | 1位 |
| 22 | S,46 | 山口 | 1位 | 2位 |
| 23 | S,47 | 岡山 | 1位 | 1位 |
| 24 | S,48 | 松江 | 1位 | 1位 |
| 25 | S,49 | 鳥取 | 2位 | 1位 |

| 回 | 年度 | 場所 | 男子団体 | 女子団体 |
|---|---|---|---|---|
| 26 | S,50 | 広島 | 2位 | 1位 |
| 27 | S,51 | 山口 | 1位 | 2位 |
| 28 | S,52 | 岡山 | 1位 | 1位 |
| 29 | S,53 | 松江 | 2位 | 2位 |
| 30 | S,54 | 鳥取 | 2位 | 1位 |
| 31 | S,55 | 広島 | 1位 | 2位 |
| 32 | S,56 | 山口 | 2位 | 1位 |
| 33 | S,57 | 岡山 | 1位 | 1位 |
| 34 | S,58 | 松江 | 1位 | 1位 |
| 35 | S,59 | 鳥取 | 4位 | 2位 |
| 36 | S,60 | 広島 | 2位 | 4位 |
| 37 | S,61 | 岡山 | 2位 | 2位 |
| 38 | S,62 | 山口 | 2位 | 2位 |
| 39 | S,63 | 島根 | 1位 | 2位 |
| 40 | H,元 | 広島 | 4位 | 3位 |
| 41 | H,2 | 鳥取 | 1位 | 1位 |
| 42 | H,3 | 山口 | 1位 | 2位 |
| 43 | H,4 | 岡山 | 3位 | 2位 |
| 44 | H,5 | 松江 | 5位 | 1位 |
| 45 | H,6 | 鳥取 | 2位 | 1位 |
| 46 | H,7 | 広島 | 4位 | 1位 |
| 47 | H,8 | 山口 | 4位 | 2位 |

#### イ）個人戦

（男子の部）　　（女子の部）

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位（4は4位） | | 1位 | 2位 | 3位（4は4位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | S | | | | | | | 藤井　節子 | |
| S,27 | D | | | | | | 藤井・平松 | | |
| 4 | S | | | | | 平松　春美 | 藤井　節子 | | |
| S,28 | D | | | | | 平松・藤井 | | | |
| 5 | S | 内藤　勇 | | 平尾　晴美 | | | 平松　春美 | | |
| S,29 | D | | | 内藤・山田 | | 平松･佐々木 | | | |
| 6 | S | 平尾　晴美 | | 太田喜代志 | | 佐々木武子 | 大橋　艶子 | | |
| S,30 | D | 渡辺・馬場 | | 平尾・太田 | | 佐々木･大橋 | 平松・草野 | 山本・三宅 | |
| 7 | S | | | | | 大橋　艶子 | 山本すみ子 | | |
| S,31 | D | | | | | 草野・山本 | 大橋・板野 | | |
| 8 | S | 加納　正之 | 藤沢　更司 | | | 大橋　艶子 | 草野千栄子 | | |
| S,32 | D | 藤沢・　畑 | 馬場・松尾 | | | 大橋・板野 | | | |
| 9 | S | | | 仁宮　正行 | | 兼康美桜子 | 森田　礼子 | 熊沢　誠子 | 藤沢　とみ |
| S,33 | D | | | | | 兼康・熊沢 | 福岡・門脇 | 藤沢・森田 | |
| 10 | S | 加納　正之 | | 藤井　律郎 | 高谷信之介 | 兼康美桜子 | 藤沢　とみ | 森田　礼子 | 斉藤　郁恵 |
| S,34 | D | 岸本・加納 | 高谷・藤井 | | | 藤沢・森田 | 兼康・斉藤 | | |
| 11 | S | 藤井　律郎 | | | | 藤沢　とみ | 斉藤　郁恵 | 森田　礼子 | |
| S,35 | D | 藤井・高谷 | | | | 藤沢・森田 | 斉藤・遠藤 | 中山・数乗 | |
| 12 | S | 藤井　英雄 | 波柴　忠利 | | | 数乗　俊恵 | | | |
| S,36 | D | | | | | 田中・小坂 | | | |
| 13 | S | | 藤井　英雄 | 山田　　熙 | 4辻　　誠自 | 数乗　俊恵 | 小坂喜美子 | 田中　玲子 | 4土屋　孝子 |
| S,37 | D | 馬場崎･山田 | | 藤井・　辻 | 4高田・近藤 | 田中・小坂 | | 数乗・土屋 | 4藤谷・広瀬 |

## イ）個人戦

（男子の部）　　（女子の部）

| 回年 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位（4は4位） | | 1　位 | 2　位 | 3　位（4は4位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | S | 山田　熙 | 辻　誠自 | 藤井　英雄 | 4柳本　堯敏 | 近藤　照子 | | 小坂喜美子 | |
| S,38 | D | 藤井・辻 | 柳本・山田 | 吉田・三島 | | | 小坂・近藤 | | |
| 15 | S | 山田　熙 | 柳本　堯敏 | 高吉　信雄 | 塩尻　昇 | | | 徳田　和子 | |
| S,39 | D | 山田・柳本 | 小坂・高吉 | 原・塩尻 | | | 土光・徳田 | | |
| 16 | S | 塩尻　昇 | 杉村大丈夫 | 三島　勝昭 | | 服部海記子 | | | 4山口　陽子 |
| S,40 | D | 塩尻・三島 | | 森口・杉村 | 4山下・小川 | 丸山・服部 | 中村・岡本 | | |
| 17 | S | 杉村大丈夫 | 三島　勝昭 | | | | | | |
| S,41 | D | 森口・杉村 | | 清水・小川 | | 山口・妹尾 | | | |
| 18 | S | 杉村大丈夫 | 森口　隆彦 | 清水　一彦 | | 山口　陽子 | | | |
| S,42 | D | 青木・杉村 | 森口・清水 | | | 山口・矢尾 | | 本田・渡辺 | 高岩・秋山 |
| 19 | S | 杉村大丈夫 | 森口　隆彦 | | 4小野　栄一 | 秋山　良子 | 高岩　和子 | | |
| S,43 | D | 森口・杉村 | | 小野・嘉村 | | 高岩・秋山 | | | |
| 20 | S | 高木　剛 | 野崎　誠二 | 嘉村　悦男 | 4山田　茂 | 安福　範子 | 秋山　良子 | | |
| S,44 | D | 高木・山田 | | | 4嘉村・高井 | 安福・糸 | 秋山・清水 | | |
| 21 | S | 高木　剛 | 山田　茂 | 高井　敏博 | 細見　峰一 | 安福　範子 | | 塩見　真理 | |
| S,45 | D | 高木・山田 | | 平井・加藤 | 高井・三木 | 安福・糸 | | 岩崎・丸山 | |
| 22 | S | | 三木　高一 | | 4岡　浩一 | | | | |
| S,46 | D | | 黒田・難波 | 岡・浜中彰 | | | | | 4岩崎・丸山 |
| 23 | S | 岡　浩一 | 小田　和文 | 内田　公樹 | | | 板谷　妙子 | | |
| S,47 | D | 岡・小田 | | 片山・山崎 | | 板谷・生田 | | 河野・小崎 | |
| 24 | S | 岡　浩一 | | 服部　勝 | | 阿部　恒子 | 西岡　佳江 | | |
| S,48 | D | 岡・田中博 | 小田・浜中彰 | 片山・山崎 | | | | 阿部・西岡 | |
| 25 | S | 浜中　彰 | | | 4服部　勝 | 阿部　恒子 | 西岡　佳江 | 林　正子 | |
| S,49 | D | 小田・浜中彰 | | | | 阿部・西岡 | | | |
| 26 | S | | | 名智　満 | | 林　正子 | | | |
| S,50 | D | | | | 4浜中勉・名智 | | | 林・竹原 | |
| 27 | S | | 浜中　勉 | | | 林　正子 | | | |
| S,51 | D | | | 浜中・名智 | | 林・東 | | | |
| 28 | S | 門屋　尚紀 | | 田中　慎二 | 田口　博 | 林　正子 | | 東　喜美子 | 池上　典子 |
| S,52 | D | | | 岡野・門屋 | | 林・岸 | | | |
| 29 | S | | 門屋　尚紀 | 家串　友治 | | | 岸佐　和子 | 金尾　京子 | |
| S,53 | D | | | | | 岸・金尾 | 片山京・川崎 | 片山誠・岡部 | |
| 30 | S | ☆家串　友治・近藤　守男（準決勝から打ち切り） | | | | ☆片山　京子・二塚　麗子（決勝戦は打ち切り） | | | |
| S,54 | D | 家串・近藤 | | | 4平島・森脇 | 片山京・川崎 | | | 4二塚・高見 |
| 31 | S | | | | | | | | |
| S,55 | D | | 近藤・森脇 | | | 川崎・宮川 | | | |
| 32 | S | | | | | | | | |
| S,56 | D | | | | | | 松岡・細川 | 原田・佐々木 | |
| 33 | S | | | | | | | | |
| S,57 | D | | | 森田・守屋 | 上村・宮廻 | 小山・佐々木 | | | 4山中・細川 |
| 34 | S | | | | | | | | |
| S,58 | D | | 上村・宮廻 | | | | | 親・小川 | |
| 35 | S | | | | | | | | |
| S,59 | D | | | | | 坪井・藤目 | | | |
| 36 | S | | | | | | | | |
| S,60 | D | | | 森上・原田 | | 藤目・小池 | | | |
| 37 | S | | | | | | | | |
| S,61 | D | 森上・尾崎 | | 神谷・広原 | | | | 藤目・小池 | |

### イ）個人戦

（男子の部）　　（女子の部）

| 回年 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位（4は4位） | | 1　位 | 2　位 | 3　位（4は4位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38 | S | | | | | | | | |
| S,62 | D | 原田・　畑 | | 竹本・仁宮 | 三嶋・山本 | | 里　・田邊 | | |
| 39 | S | | | | | | | | |
| S,63 | D | 原田・　畑 | 三嶋・山本 | | | 田邊・馬場 | | | |
| 40 | S | | | | | | | | |
| H,元 | D | | | 田埜・黒田 | | | | | |
| 41 | S | | | | | | | | |
| H,2 | D | 松尾・山田 | 武藤・水越 | 鈴木・玉井 | | | | | |
| 42 | S | | | | | | | | |
| H,3 | D | 松尾・山田 | 武藤・水越 | 柏原・掛水 | | | | | |
| 43 | S | | | | | | | | |
| H,4 | D | 武藤・水越 | | | | 森本・土居 | | | |
| 44 | S | | | | | | | | |
| H,5 | D | | | 玉井・小橋 | | 土居・市原 | | 岡田・新見 | |
| 45 | S | | | | | | | | |
| H,6 | D | | | 小橋・　森 | | | | 岡田・新見 | |
| 46 | S | | | | | | | | |
| H,7 | D | | 森　・小橋 | | | 土居・白神 | 横山・福田 | | |
| 47 | S | | | | | | | | |
| H,8 | D | | | | | 横山・福田 | | | |

## ②中国学生選手権大会　　略称（先頭のＡ・Ｂはクラスを示す）

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | 4 | 位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 浜中　勉 | 岡山大学 | 名智　満 | 岡山大学 | | | | |
| | AMD | | | 浜中・名智 | 岡山大学 | | | 諏訪・徳丸 | 岡山大学 |
| | BMS | | | | | 浅田 | 岡山理科 | | |
| 1 | BMD | 門屋・福水 | 岡山大学 | | | 浅田・福永 | 岡山理科 | | |
| S,51 | ALS | 林　正子 | 岡山大学 | 貝原　規子 | 山陽短大 | 与倉　紀子 | 県立短大 | 長井 | 県立短大 |
| 岡山 | ALD | 貝原・林 | 山陽短大 | 長井・与倉 | 県立短大 | 林・岸 | 岡山大学 | | |
| | BLS | 岸佐　和子 | 岡山大学 | 林 | 清心女子 | 笠井 | 清心女子 | | |
| | BLD | 池上・浮田 | 岡山大学 | 安藤・三島 | 岡山大学 | 東・末井 | 岡山大学 | 笠井・竹原 | 山陽短大 |
| | MIX | | | 土岩・平井 | 岡大・島大 | 林・門屋 | 岡山大学 | 諏訪・長井 | 岡大・県短 |
| | AMS | | | 福水　一郎 | 岡山大学 | | | | |
| 2 | ALS | 林　正子 | 岡山大学 | 貝原　規子 | 山陽短大 | | | | |
| S,52 | ALD | 林・岸 | 岡山大学 | 貝原・森下 | 山陽短大 | 東・安藤 | 岡山大学 | 池上・三島 | 岡山大学 |
| 松江 | BLS | | | 河村　美枝 | 山陽短大 | 金尾　京子 | 岡山大学 | 羽原　朋子 | 岡山大学 |
| | BLD | 金尾・羽原 | 岡山大学 | 笠井・柏 | 山陽短大 | 片山・川崎 | 岡山大学 | | |
| | MIX | 浜中・林 | 岡山大学 | | | 日笠・三島 | 島大・岡大 | | |
| | AMS | 門屋　尚紀 | 岡山大学 | 福水　一郎 | 岡山大学 | | | | |
| | AMD | | | | | | | 岡野・福水 | 岡山大学 |
| 3 | BMS | 近藤　守男 | 岡山大学 | 平島　秀典 | 岡山大学 | | | | |
| S,53 | BMD | 平島・森脇 | 岡山大学 | | | | | | |
| 鳥取 | ALS | 森下　真紀 | 山陽短大 | 藤木　史子 | 山陽短大 | | | | |
| | ALD | 金尾・岸 | 岡山大学 | 森下・藤木 | 山陽短大 | | | | |
| | BLD | 藤原・成山 | 山陽短大 | | | | | 定岡・松岡 | 岡山大学 |
| | MIX | | | 福水・羽原 | 岡山大学 | 門屋・森下 | 岡大・山短 | | |
| | AMS | 家串　友治 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMD | | | | | 家串・近藤 | 岡山大学 | | |
| | BMS | 野呂　裕紀 | 岡山大学 | | | 吉仲　潤 | 岡山大学 | | |
| 4 | BMD | | | | | 三好・野呂 | 岡山大学 | | |
| S,54 | ALS | 串田　有子 | 山陽短大 | 片山　京子 | 岡山大学 | | | 金尾　京子 | 岡山大学 |
| 広島 | ALD | 金尾・二塚 | 岡山大学 | 片山・川崎 | 岡山大学 | | | | |
| | BLS | 成山恵美子 | 山陽短大 | 原田　美樹 | 岡山大学 | | | | |
| | BLD | 串田・實金 | 山陽短大 | 松岡・原田 | 岡山大学 | | | | |
| | MIX | 清水・串田 | 島大・山短 | 近藤・片山 | 岡山大学 | | | | |
| | AMS | 野呂　裕紀 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMD | 野呂・吉仲 | 岡山大学 | 近藤・森脇 | 岡山大学 | | | | |
| 5 | BMD | | | | | 上村・宮廻 | 岡山大学 | | |
| S,55 | ALS | | | 串田　有子 | 山陽短大 | 川崎　雅子 | 岡山大学 | | |
| 山口 | ALD | 片山・川崎 | 岡山大学 | | | 串田・岡崎 | 山陽短大 | | |
| | BLS | 佐々木宏美 | 岡山大学 | | | 神土　園美 | 山陽短大 | | |
| | BLD | 原田・佐々木 | 岡山大学 | | | 山中・小山 | 岡山大学 | 神土・重定 | 山陽短大 |
| | MIX | | | 近藤・川崎 | 岡山大学 | | | | |
| | AMS | | | 野呂　裕紀 | 岡山大学 | | | | |
| | AMD | | | 野呂・吉仲 | 岡山大学 | | | | |
| | BMS | | | 宮廻　智裕 | 岡山大学 | | | | |
| 6 | BMD | 上村・西崎 | 岡山大学 | | | | | | |
| S,56 | ALS | | | 松岡　りえ | 岡山大学 | 佐々木宏美 | 岡山大学 | 原田　美樹 | 岡山大学 |
| 岡山 | ALD | 原田・佐々木 | 岡山大学 | 岡崎・轟 | 山陽短大 | 松岡・宮川 | 岡山大学 | | |
| | BLS | 竹原満智子 | 山陽短大 | 細川美由紀 | 岡山大学 | | | | |
| | BLD | 細川・小山 | 岡山大学 | | | | | 片座・藤田 | 岡山大学 |
| | MIX | 岩本・轟 | 根大・山短 | | | 森脇・佐々木 | 岡山大学 | 野呂・山中 | 岡山大学 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | 4 | 位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 野呂　裕紀 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMD | 野呂・吉仲 | 岡山大学 | | | | | | |
| 7 | BMD | | | | | 浅越・西崎 | 岡山大学 | | |
| S,57 | ALS | 竹原　桂子 | 山陽短大 | 佐々木宏美 | 岡山大学 | | | | |
| 松江 | ALD | 轟・竹原桂 | 山陽短大 | 小山･佐々木 | 岡山大学 | 山中・細川 | 岡山大学 | | |
| | BLS | 親　和代 | 岡山大学 | | | | | | |
| | BLD | 親　・小川 | 岡山大学 | | | | | | |
| | MIX | 笹口･竹原桂 | 広大･山短 | | | 野呂・山中 | 岡山大学 | 脇山・　轟 | 岡大･山短 |
| | AMS | | | 上村　敦也 | 岡山大学 | 河野　賢治 | 岡山大学 | | |
| | AMD | | | | | 上村・宮廻 | 岡山大学 | | |
| 8 | BMS | | | | | 田中　朗雄 | 岡山大学 | | |
| S,58 | ALS | 竹原　桂子 | 山陽短大 | 相賀　里香 | 山陽短大 | | | | |
| 鳥取 | ALD | 竹原桂･相賀 | 山陽短大 | 小山･佐々木 | 岡山大学 | | | 親　・小川 | 岡山大学 |
| | BLS | | | | | 藤目　　恵 | 岡山大学 | 料治美代子 | 岡山大学 |
| | BLD | 大橋・横田 | 山陽短大 | | | | | | |
| | MIX | 山本･竹原桂 | 広大･山短 | 上村･佐々木 | 岡山大学 | 河野・　親 | 岡山大学 | 松本・相賀 | 広大･山短 |
| | AMS | 森上　裕介 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMD | | | | | 河野・森上 | 岡山大学 | | |
| | BMS | | | | | 尾崎　雅彦 | 岡山大学 | | |
| 9 | BMD | 神谷・尾崎 | 岡山大学 | | | | | | |
| S,59 | ALS | | | 轟　美智子 | 山陽短大 | 相賀　里香 | 山陽短大 | | |
| 広島 | ALD | | | 相賀・　轟 | 山陽短大 | 親　・小川 | 岡山大学 | | |
| | BLS | 佐藤　智子 | 山陽短大 | | | 横田　明美 | 山陽短大 | | |
| | BLD | 佐藤・村田 | 山陽短大 | | | | | 中筋・小池 | 岡山大学 |
| | MIX | | | | | 河野・小川 | 岡山大学 | 春日井・轟 | 広大･山短 |
| | AMS | | | | | | | 森上　裕介 | 岡山大学 |
| | AMD | | | 森上・原田 | 岡山大学 | | | | |
| | BMS | 原田　貴史 | 岡山大学 | 仁宮　賢二 | 岡山大学 | | | | |
| 10 | BMD | | | 仁宮・竹本 | 岡山大学 | | | | |
| S,60 | ALS | 轟　美智子 | 山陽短大 | 坪井　聡江 | 岡山大学 | | | | |
| 山口 | ALD | 轟　・佐藤 | 山陽短大 | | | | | | |
| | BLS | 楢原　綾美 | 県立短大 | | | | | | |
| | BLD | | | 小池・田里 | 岡山大学 | | | | |
| | MIX | 森上・藤目 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMS | 森上　裕介 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMD | 森上・尾崎 | 岡山大学 | | | | | | |
| 11 | BMS | | | 三嶋　　広 | 岡山大学 | | | | |
| S,61 | BMD | | | | | 畑　・三嶋 | 岡山大学 | | |
| 岡山 | ALS | 藤目　　恵 | 岡山大学 | | | | | | |
| | ALD | | | 藤目・小池 | 岡山大学 | | | | |
| | BLD | 橘　・横田 | 県立短大 | | | 田里・秋田 | 岡山大学 | | |
| | MIX | 森上・藤目 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMS | | | 原田　貴史 | 岡山大学 | | | | |
| | AMD | | | | | 原田・　畑 | 岡山大学 | 神谷・尾崎 | 岡山大学 |
| | BMS | | | 山本　英樹 | 岡山大学 | | | | |
| 12 | BMD | 三嶋・山本 | 岡山大学 | | | | | | |
| S,62 | ALS | 橘　　和美 | 県立短大 | | | | | | |
| 松江 | ALD | 橘　・横田 | 県立短大 | 小池・田邊 | 岡山大学 | | | 田中・岡根 | 岡山大学 |
| | BLS | 平尾　佳子 | 山陽短大 | | | 田邊　央子 | 岡山大学 | 吉田　浩枝 | 山陽短大 |
| | BLD | 平尾・吉田 | 山陽短大 | | | 染田・馬場 | 岡山大学 | | |
| | MIX | | | 原田・田里 | 岡山大学 | 三嶋・　橘 | 岡大･県短 | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 原田　貴史 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMD | 原田・畑 | 岡山大学 | 三嶋・山本 | 岡山大学 | | | | |
| 13 | ALS | | | 吉田　浩枝 | 山陽短大 | 田邊　央子 | 岡山大学 | 田里　知子 | 岡山大学 |
| S,63 | ALD | | | | | 田邊・馬場 | 岡山大学 | | |
| 鳥取 | BLS | 片岡　弓子 | 山陽短大 | 馬場さゆり | 岡山大学 | 篠原　恵子 | 山陽短大 | | |
| | BLD | 平尾・片岡 | 山陽短大 | 吉田・篠原 | 山陽短大 | 菅原・藤原 | 山陽短大 | | |
| | MIX | 原田・田邊 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMS | | | 畑　健二 | 岡山大学 | | | | |
| | AMD | | | 三嶋・山本 | 岡山大学 | 畑・鈴川 | 岡山大学 | | |
| 14 | BMS | | | 松尾　隆 | 岡山大学 | 山田　悟史 | 岡山大学 | | |
| H,元 | BMD | | | 松尾・山田 | 岡山大学 | 武藤・柏原 | 岡山大学 | | |
| 広島 | ALS | 佐藤　由香 | 山陽短大 | 片岡　弓子 | 山陽短大 | | | | |
| | BLD | 片岡・佐藤 | 山陽短大 | 篠原・藤原 | 山陽短大 | 中里・山之内 | 山陽短大 | | |
| | MIX | | | | | 山本・染田 | 岡山大学 | 三嶋・田邊 | 岡山大学 |
| | AMS | 武藤　英司 | 岡山大学 | | | | | | |
| 15 | AMD | 武藤・水越 | 岡山大学 | | | | | | |
| H,2 | ALS | 佐藤　由香 | 山陽短大 | | | | | 中島奈緒美 | 岡山大学 |
| 山口 | ALD | 佐藤・原田 | 山陽短大 | 山之内・中里 | 山陽短大 | | | | |
| | BLS | | | | | 山本　利恵 | 山陽短大 | | |
| | MIX | 平尾・佐藤 | 東亜大・山短 | 坂本・山之内 | 理大・山短 | 延本・吉田 | 理大・山短 | 松尾・中島 | 岡山大学 |
| | AMD | 武藤・水越 | 岡山大学 | | | | | | |
| 16 | BMD | | | 鈴木・大畑 | 岡山大学 | | | | |
| H,3 | ALS | | | | | 沖野いづみ | 山陽短大 | 曽根　晴子 | 山陽短大 |
| 岡山 | ALD | 曽根・沖野 | 山陽短大 | | | | | | |
| | BLS | 鶴見　里恵 | 山陽短大 | | | | | | |
| | MIX | 武藤・小川 | 岡山大学 | | | | | | |
| | AMS | | | 武藤　英司 | 岡山大学 | | | | |
| 17 | AMD | | | 武藤・掛水 | 岡山大学 | | | | |
| H,4 | BMD | | | | | 亀井・神原 | 岡山大学 | 又吉・矢野 | 岡山理科 |
| 松江 | ALS | | | 土居　純子 | 岡山大学 | | | | |
| | BLD | | | 岡田・新見 | 岡山大学 | | | | |
| | MIX | 武藤・土居 | 岡山大学 | | | | | 鈴木・正木 | 岡大・就大 |
| | AMS | | | | | | | 鈴木　努 | 岡山大学 |
| 18 | ALS | | | 土居　純子 | 岡山大学 | | | | |
| H,5 | ALD | | | | | 岡田・新見 | 岡山大学 | 大上・鳥越 | 川崎医療福祉 |
| 鳥取 | BLS | | | 市原　早苗 | 岡山大学 | | | | |
| | BLD | 土居・市原 | 岡山大学 | | | | | | |
| | MIX | | | 鈴木・土居 | 岡山大学 | | | | |
| 19 | ALS | | | 土居　純子 | 岡山大学 | | | | |
| H,6 | ALD | 土居・白神 | 岡山大学 | | | | | | |
| 東広島 | BLS | | | | | | | 白神　史恵 | 岡山大学 |
| | MIX | 甲・土居 | 東亜大・岡大 | 小橋・新見 | 岡山大学 | 青木・白神 | 広大・岡大 | | |
| | ALS | 土居　純子 | 岡山大学 | | | | | 福田　直美 | 岡山大学 |
| 20 | ALD | 土居・白神 | 岡山大学 | 長門・重光 | 山陽短大 | 宰所・佐藤 | 山陽短大 | | |
| H,7 | BLS | | | 横山みのり | 岡山大学 | | | | |
| 山口 | BLD | 横山・福田 | 岡山大学 | | | | | | |
| | MIX | 青木・長門 | 東亜大・山短 | 磯貝・土居 | 東亜大・岡大 | 松本・重光 | 東亜大・山短 | 田上・佐藤 | 東亜大・山短 |
| | BMS | 東　正樹 | 岡山大学 | | | | | | |
| 21 | BMD | | | | | 大西・谷口 | 川崎医療福祉 | 大内・藤原 | 岡山大学 |
| H,8 | ALD | | | 横山・福田 | 岡山大学 | 佐藤・原田 | 山陽短大 | | |
| 岡山 | BLS | | | 原田　千恵 | 山陽短大 | | | 真野　陽子 | 山陽短大 |
| | BLD | | | | | 杉本・守屋 | 山陽短大 | | |
| | MIX | 田上・佐藤 | 東亜大・山短 | | | | | 松本・福田 | 東亜大・岡大 |

## ③中国・四国大学学生選手権大会

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,32 | MS | 加納　正之 | 岡山大学 | | | | | | |
| | MD | | | 谷口・馬場 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 大橋　艶子 | 岡山大学 | 草野千栄子 | 岡山大学 | 菊池　順子 | 岡山大学 | | |
| | LD | 大橋・草野 | 岡山大学 | 兼康・菊池 | 岡山大学 | | | | |
| 2 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,33 | MS | 加納　正之 | 岡山大学 | | | | | | |
| | MD | 加納・横尾 | 岡山大学 | 中桐・藤井律 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 兼康美桜子 | 岡山大学 | | | 藤沢　とみ | 岡山大学 | | |
| | LD | 森川・藤沢 | 岡山大学 | 斉藤・前田 | 岡山大学 | | | | |
| 3 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,34 | MS | 加納　正之 | 岡山大学 | | | 藤井　律郎 | 岡山大学 | | |
| | MD | 藤井律・高谷 | 岡山大学 | 加納・村田 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 森川　礼子 | 岡山大学 | 藤沢　とみ | 岡山大学 | 斉藤　郁恵 | 岡山大学 | | |
| | LD | 兼康・斉藤 | 岡山大学 | 森川・藤沢 | 岡山大学 | | | | |
| 4 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,35 | MS | 加納　正之 | 岡山大学 | 藤井　律郎 | 岡山大学 | | | | |
| 鳥取 | MD | 藤井律・高谷 | 岡山大学 | 加納・藤井英 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 森川　礼子 | 岡山大学 | 斉藤　郁恵 | 岡山大学 | 遠藤　育子 | 岡山大学 | | |
| | LD | 森川・藤沢 | 岡山大学 | 斉藤・遠藤 | 岡山大学 | | | | |
| 5 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,36 | MS | | | 藤井　律郎 | 岡山大学 | 藤井　英雄 | 岡山大学 | | |
| 高松 | MD | | | | | 藤井律・高谷 | 岡山大学 | | |
| | LS | 数乗　俊恵 | 岡山大学 | 中山美都里 | 岡山大学 | 広瀬　泰子 | 岡山大学 | 小坂喜美子 | 岡山大学 |
| | LD | 数乗・中山 | 岡山大学 | | | | | | |
| 6 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,37 | MS | 山田　熙 | 岡山大学 | | | | | | |
| 山口 | MD | 藤井英・辻 | 岡山大学 | 馬場崎・山田 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 数乗　俊恵 | 岡山大学 | | | 土屋　孝子 | 岡山大学 | | |
| | LT | 数乗・土屋 | 岡山大学 | 小坂・田中 | 岡山大学 | | | | |
| 7 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,38 | MS | 山田　熙 | 岡山大学 | | | 辻　誠自 | 岡山大学 | | |
| 高松 | MD | | | 藤井英・辻 | 岡山大学 | 柳本・山口 | 岡山大学 | 吉田・三島 | 岡山大学 |
| | LS | | | 近藤　照子 | 岡山大学 | 野田三重子 | 岡山大学 | 土光　郁恵 | 岡山大学 |
| 8 | MT | 岡山大学A | | 岡山大学B | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,39 | MS | 山田　熙 | 岡山大学 | 柳本　堯敏 | 岡山大学 | 三島　勝昭 | 岡山大学 | | |
| 鳥取 | MD | 山田・柳本 | 岡山大学 | 辻　・三島 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 近藤　照子 | 岡山大学 | | | | | | |
| 9 | MT | | | 岡山大学A | | 岡山大学B | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,40 | MS | 山田　熙 | 岡山大学 | 高吉　信雄 | 岡山大学 | 塩尻　昇 | 岡山大学 | | |
| 山口 | MD | 三島・塩尻 | 岡山大学 | 山田・引野 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | | | | | 土光　郁恵 | 岡山大学 | | |
| | LD | | | 土光・徳田 | 岡山大学 | | | | |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | 4 | 位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,41 | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | MS | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | 三島 勝昭 | 岡山大学 | | | | |
| | MD | | | 三島・塩尻 | 岡山大学 | | | | |
| 11 | MT | | | 岡山大学 | | | | | |
| | LT | | | | | 岡山大学 | | | |
| S,42 | MS | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | 森口 隆彦 | 岡山大学 | | | | |
| 松山 | MD | | | 森口・清水 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | | | | | 山口 陽子 | 岡山大学 | | |
| | LD | | | 山口・矢尾 | 岡山大学 | | | | |
| | MT | 岡山大学A | | 岡山大学B | | | | | |
| S,43 | LT | | | | | | | 岡山大学 | |
| 山口 | MS | 森口 隆彦 | 岡山大学 | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | | | | |
| | MD | 森口・杉村 | 岡山大学 | 小野・嘉村 | 岡山大学 | | | | |
| | MT | 岡山大学A | | 岡山大学B | | | | | |
| 13 | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,44 | MS | | | 高井 敏博 | 岡山大学 | | | | |
| 高知 | MD | 山田・高木 | 岡山大学 | | | | | 嘉村・高井 | 岡山大学 |
| | LS | | | | | 花川佐知子 | 岡山大学 | | |
| | LD | | | | | 安福・花川 | 岡山大学 | | |
| | MT | 岡山大学A | | 岡山大学B | | | | | |
| 14 | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,45 | MS | 高木 剛 | 岡山大学 | | | 高井 敏博 | 岡山大学 | | |
| 鳥取 | MD | 山田・高木 | 岡山大学 | | | | | 高井・三木 | 岡山大学 |
| | LS | 安福 範子 | 岡山大学 | | | | | | |
| | LD | 安福・糸 | 岡山大学 | 塩見・戸田 | 岡山大学 | | | | |
| 15 | MT | | | | | 岡山大学B | | | |
| | LT | | | 岡山大学 | | | | | |
| S,46 | MS | | | | | 浜中 彰 | 岡山大学 | 黒田 徹 | 岡山大学 |
| 徳島 | MD | | | | | 黒田・難波 | 岡山大学 | | |
| | LS | | | 塩見 真理 | 岡山大学 | | | | |
| | LD | | | | | | | 岩崎・丸山 | 岡山大学 |
| | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| 16 | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,47 | MS | 岡 浩一 | 岡山大学 | | | 市原 修二 | 岡山大学 | 内田 公樹 | 岡山大学 |
| 岡山 | MD | 内田・市原 | 岡山大学 | 岡・田中 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 板谷 妙子 | 岡山大学 | | | | | 生田 祐子 | 岡山大学 |
| | LD | | | 生田・板谷 | 岡山大学 | | | | |
| | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| 17 | LT | | | 岡山大学 | | | | | |
| S,48 | MS | 岡 浩一 | 岡山大学 | 田中 博明 | 岡山大学 | | | 小田 和文 | 岡山大学 |
| 高知 | MD | 岡・田中 | 岡山大学 | 片山・山崎 | 岡山大学 | | | | |
| | LD | | | 阿部・西岡 | 岡山大学 | | | | |
| | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| 17 | LT | | | 岡山大学 | | | | | |
| S,49 | MS | 浜中 彰 | 岡山大学 | | | 小田 和文 | 岡山大学 | 服部 勝 | 岡山大学 |
| 山口 | MD | | | | | 小田・浜中 | 岡山大学 | 藪野・室崎 | 岡山大学 |
| | LD | | | | | 阿部・西岡 | 岡山大学 | | |
| | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| 17 | LT | 山陽学園短期大学 | | | | 岡山大学 | | | |
| S,50 | MD | | | | | 片山・谷上 | 岡山大学 | | |
| 松山 | LS | 日原 禎子 | 山陽短大 | 林 正子 | 岡山大学 | | | | |
| | LD | 日原・林 | 山陽短大 | | | | | 難波・林 | 岡山大学 |

| 回年 | 種目 | 1 位 | | 2 位 | | 3 位 | | 4 位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | MT | | | 岡山大学A | | | | | |
| | LT | | | 山陽学園短期大学 | | | | 清心女子大学 | |
| S,51 | MS | 浜中 勉 | 岡山大学 | | | 名智 満 | 岡山大学 | 門屋 尚紀 | 岡山大学 |
| 松江 | MD | | | 浜中・名智 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 林 正子 | 岡山大学 | 日原 禎子 | 山陽短大 | 貝原 規子 | 山陽短大 | | |
| | LD | 日原・林 | 山陽短大 | | | | | 林・東 | 岡山大学 |
| 21 | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | 山陽学園短期大学 | | | | | |
| S,52 | MS | | | 浜中 勉 | 岡山大学 | 門屋 尚紀 | 岡山大学 | 田口 博 | 岡山大学 |
| 徳島 | MD | | | | | | | 浜中・福水 | 岡山大学 |
| | LS | 林 正子 | 岡山大学 | | | 貝原 規子 | 山陽短大 | | |
| | LD | 貝原・森下 | 山陽短大 | | | 林・岸 | 岡山大学 | 安藤・東 | 岡山大学 |
| 22 | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学A | | 山陽学園短期大学 | | | | 岡山大学B | |
| S,53 | MS | | | | | 福水 一郎 | 岡山大学 | 門屋 尚紀 | 岡山大学 |
| 広島 | LS | 森下 真紀 | 山陽短大 | | | | | | |
| | LD | | | 安藤・東 | 岡山大学 | | | 岸・金尾 | 岡山大学 |
| 23 | MT | | | 岡山大学A | | | | | |
| | LT | 岡山大学A | | 山陽学園短期大学 | | | | | |
| S,54 | MS | 家串 友治 | 岡山大学 | | | | | | |
| 高松 | MD | | | 家串・近藤 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 串田 有子 | 山陽短大 | | | | | | |
| | LD | | | | | 金尾・二塚 | 岡山大学 | | |
| 24 | MT | | | 岡山大学A | | | | | |
| | LT | 岡山大学A | | | | | | | |
| S,55 | MS | | | 野呂 裕紀 | 岡山大学 | 近藤 守男 | 岡山大学 | | |
| 岡山 | MD | | | | | | | 近藤・野呂 | 岡山大学 |
| | LS | | | | | 片山 京子 | 岡山大学 | 串田 有子 | 山陽短大 |
| | LD | 片山・山崎 | 岡山大学 | | | | | | |
| 25 | MT | | | 岡山大学A | | | | | |
| | LT | 岡山大学A | | | | | | | |
| S,56 | MS | 野呂 裕紀 | 岡山大学 | 森脇 紳二 | 岡山大学 | | | | |
| 高知 | MD | | | | | | | 森脇・森田 | 岡山大学 |
| | LS | | | | | | | 宮川 京子 | 岡山大学 |
| 26 | MT | | | 岡山大学 | | | | | |
| | LT | | | 山陽学園短期大学 | | 岡山大学A | | | |
| S,57 | MS | 野呂 裕紀 | 岡山大学 | | | | | 上村 敦也 | 岡山大学 |
| 鳥取 | MD | | | 野呂・吉仲 | 岡山大学 | 森田・上村 | 岡山大学 | | |
| | LS | | | 竹原 桂子 | 山陽短大 | | | | |
| | LD | 轟・竹原 | 山陽短大 | 佐々木・小山 | 岡山大学 | | | | |
| 27 | MT | | | | | 岡山大学A | | | |
| | LT | 山陽学園短期大学 | | | | | | | |
| S,58 | MS | 上村 敦也 | 岡山大学 | 宮廻 智裕 | 岡山大学 | 河野 賢治 | 岡山大学 | | |
| 岡山 | MD | 上村・宮廻 | 岡山大学 | | | | | | |
| | LS | 竹原 桂子 | 山陽短大 | | | | | | |
| | LD | 竹原・相賀 | 山陽短大 | | | | | 小山・細川 | 岡山大学 |
| 28 | MT | | | | | 岡山大学 | | | |
| | LT | | | 岡山大学 | | 山陽学園短期大学 | | | |
| S,59 | MS | | | | | | | 河野 賢治 | 岡山大学 |
| 松山 | LS | | | | | 轟 美智子 | 山陽短大 | 親 和代 | 岡山大学 |
| | LD | | | 親・相賀 | 岡大・山短 | | | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | LT | | | | | | | 岡山大学 | |
| 29 | MS | | | 森上　裕介 | 岡山大学 | | | | |
| S,60 | MD | | | 森上・尾崎 | 岡山大学 | | | | |
| 松江 | LS | | | 轟　美智子 | 山陽短大 | | | | |
| | LD | | | 轟・佐藤 | 山陽短大 | | | 坪井・藤目 | 岡山大学 |
| | MT | | | 岡山大学A | | | | | |
| 30 | LT | | | 岡山大学 | | | | | |
| S,61 | MS | | | | | | | 森上　裕介 | 岡山大学 |
| 広島 | MD | | | 森上・原田 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 藤目　恵 | 岡山大学 | | | | | | |
| | LD | 藤目・小池 | 岡山大学 | | | | | | |
| 31 | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| S,62 | MS | | | 原田　貴史 | 岡山大学 | | | | |
| 高知 | MD | | | | | 尾崎・原田 | 岡山大学 | | |
| | LD | 橘・横田 | 県立短大 | | | | | 小池・田邊 | 岡山大学 |
| 32 | MT | 岡山大学 | | | | | | | |
| S,63 | MS | | | 原田　貴史 | 岡山大学 | | | | |
| 松山 | MD | 原田・畑 | 岡山大学 | | | 三嶋・山本 | 岡山大学 | | |
| 33 | MT | | | | | 岡山大学 | | | |
| H,元 | LT | | | | | 山陽学園短期大学 | | | |
| 山口 | LS | 松王香音里 | 県立短大 | 佐藤　由香 | 山陽短大 | | | | |
| | MT | | | 岡山理科大学 | | | | 岡山大学 | |
| 34 | LT | 山陽学園短期大学 | | | | | | | |
| H,2 | MS | | | 田埜　浩祐 | 岡山大学 | | | | |
| 鳥取 | MD | 坂本・延本 | 岡山理科 | | | | | 田埜・黒田 | 岡山大学 |
| | LS | 佐藤　由香 | 山陽短大 | | | | | | |
| | LD | 佐藤・原田 | 山陽短大 | | | | | | |
| | MT | | | | | 岡山大学 | | | |
| 35 | LT | 山陽学園短期大学 | | | | | | | |
| H,3 | MD | 松尾・山田 | 岡山大学 | | | | | 武藤・水越 | 岡山大学 |
| 広島 | LS | | | | | | | 沖野いづみ | 山陽短大 |
| | LD | 沖野・曽根 | 山陽短大 | | | | | | |
| | MT | | | | | 岡山大学 | | | |
| 36 | LT | 山陽学園短期大学 | | | | | | | |
| H,4 | MS | | | 武藤　英司 | 岡山大学 | | | | |
| 松山 | MD | | | | | 武藤・水越 | 岡山大学 | | |
| | LS | | | | | 佐藤　由紀 | 山陽短大 | 佐藤　純子 | 山陽短大 |
| | LD | 佐藤・佐藤 | 山陽短大 | 沖野・曽根 | 山陽短大 | | | | |
| 37 | LT | 山陽学園短期大学 | | | | | | | |
| H,5 | LS | 佐藤　由紀 | 山陽短大 | 岡野　峰子 | 山陽短大 | | | 佐藤　純子 | 山陽短大 |
| 松江 | LD | 佐藤・佐藤 | 山陽短大 | | | | | 小山・細川 | 岡山大学 |
| 38 | MT | | | | | | | 岡山大学 | |
| H,6 | LT | 山陽学園短期大学 | | | | | | | |
| 高知 | LD | | | | | | | 長門・重光 | 山陽短大 |
| 39・H,7・岡山 | | LT | | 山陽学園短期大学 | | | | | |
| 40・H,8・高松 | | LT | | | | 山陽学園短期大学 | | | |

## ④中国・四国大学リーグ戦

### ア）１部リーグ

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | 4　位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,56 | 岡山 | MT | | 岡山大学 | | |
| | | | LT | 岡山大学 | | | |
| 2 | S,57 | 山口 | MT | 岡山大学 | | | |
| | | | LT | 岡山大学 | 山陽学園短期大学 | | |
| 3 | S,58 | 広島 | MT | | 岡山大学 | | |
| | | | LT | | | 岡山大学 | 山陽学園短期大学 |
| 4 | S,59 | 坂出 | MT | | | ☆（６位の岡山大学は２部へ） | |
| | | | LT | | | 山陽学園短期大学 | |
| 5 | S,60 | 岡山 | LT | | | 岡山大学 | 山陽学園短期大学 |
| 6 | S,61 | 松山 | LT | | | | 岡山大学 |
| 7 | S,62 | 鳥取 | MT | | 岡山大学 | | |
| | | | LT | | | | 岡山大学 |
| 8 | S,63 | 広島 | MT | 岡山大学 | | | |
| | | | LT | | 岡山大学 | | |
| 9 | H,元 | 高知 | MT | | | 岡山大学 | |
| | | | LT | | 山陽学園短期大学 | 岡山大学 | |
| 10 | H,2 | 松江 | MT | | | | 岡山大学 |
| | | | LT | | 山陽学園短期大学 | 岡山大学 | |
| 11 | H,3 | 山口 | MT | | 岡山大学 | | |
| | | | LT | 山陽学園短期大学 | | ☆（５位の岡山大学は２部へ） | |
| 12 | H,4 | 岡山 | MT | | | 岡山大学 | |
| | | | LT | 山陽学園短期大学 | | | |
| 13 | H,5 | 松山 | LT | 山陽学園短期大学 | | | |
| 14 | H,6 | 鳥取 | MT | | | | 岡山大学 |
| | | | LT | | 山陽学園短期大学 | | |
| 15 | H,7 | 広島 | MT | | | ☆（５位の岡山大学は２部へ） | |
| | | | LT | | 山陽学園短期大学 | | |
| 16 | H,8 | 松江 | LT | | | | 山陽学園短期大学 |

### イ）２部リーグ

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | 4　位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,56 | 岡山 | LT | 山陽学園短期大学は１部へ | | | |
| 5 | S,60 | 岡山 | MT | 岡山大学は１部へ | | | |
| 7 | S,62 | 鳥取 | LT | | | 山陽学園短期大学 | |
| 8 | S,63 | 広島 | LT | 山陽学園短期大学は１部へ | | | |
| 12 | H,4 | 岡山 | LT | | 岡山大学 | | |
| 13 | H,5 | 松山 | LT | | | | 岡山大学 |
| 14 | H,6 | 鳥取 | LT | | | 岡山大学 | |
| 15 | H,7 | 広島 | LT | 岡山大学は１部へ | | | |
| 16 | H,8 | 松江 | LT | | | 岡山大学 | |

## ⑤中国・四国・九州大学学生選手権大会

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 S,37 高知 | MT | 岡山大学A | | | | | | 岡山大学B | |
| | LT | 岡山大学A | | | | | | | |
| | MS | | | 山田 熙 | 岡山大学 | 辻 誠自 | 岡山大学 | 藤井 英雄 | 岡山大学 |
| | MD | 藤井英・辻 | 岡山大学 | 馬場崎・山田 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | 数乗 俊恵 | 岡山大学 | 小坂喜美子 | 岡山大学 | | | | |
| | LT | 小坂・田中 | 岡山大学 | | | | | | |
| 2 S,38 岡山 | MT | | | | | 岡山大学B | | | |
| | LT | | | 岡山大学A | | | | | |
| | MS | 山田 熙 | 岡山大学 | | | 藤井英・辻 | 岡山大学 | | |
| | MD | | | | | | | 小坂喜美子 | 岡山大学 |
| | LS | | | | | | | 近藤・土光 | 岡山大学 |
| | LD | | | 小坂・土屋 | 岡山大学 | | | | |
| 5 S,41 | LT | | | | | 岡山大学 | | | |
| 6 S,42 | MT | | | 岡山大学B | | | | | |
| | LT | | | | | | | 岡山大学 | |
| | MS | | | 杉村大丈夫 | 岡山大学 | 森口 隆彦 | 岡山大学 | 青木・杉村 | 岡山大学 |
| | MD | | | | | | | | |
| | LS | | | | | 山口 陽子 | 岡山大学 | | |
| | LD | | | 山口・矢尾 | 岡山大学 | | | | |
| 8 S,44 香川 | MT | | | 岡山大学A | | | | | |
| | LT | | | | | 岡山大学 | | | |
| | MD | 山田・高木 | 岡山大学 | 嘉村・高井 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | | | | | 安福 範子 | 岡山大学 | | |
| | LD | | | 安福・糸 | 岡山大学 | | | 花川・清水 | 岡山大学 |
| 9 鹿児島 | MT | 岡山大学A | | | | | | | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | MD | | | 山田・高木 | 岡山大学 | | | | |
| | LS | | | 安福 範子 | 岡山大学 | | | | |
| 10 S,46 島根 | MT | | | | | | | 岡山大学A | |
| | LT | 岡山大学 | | | | | | | |
| | MS | | | | | | | 岡 浩一 | 岡山大学 |
| | MD | | | | | 岡・浜中 | 岡山大学 | | |
| | LS | | | | | | | 岩崎 文子 | 岡山大学 |
| | LD | | | | | 岩崎・丸山 | 岡山大学 | | |
| 12 S,48 | LT | | | | | 岡山大学 | | | |
| 香川 | LS | | | | | | | 西岡 佳江 | 岡山大学 |
| 13 S,49 熊本 | MT | | | | | 岡山大学 | | | |
| 14 | LT | | | | | | | 岡山大学 | |
| S,50 岡山 | LS | | | | | 林 正子 | 岡山大学 | | |
| | LD | | | 日原・林 | 山陽短大 | | | | |
| 15 LS 鹿児島 | LS | 林 正子 | 岡山大学 | 日原 禎子 | 山陽短大 | | | | |
| | LD | | | | | 日原・林 | 山陽短大 | | |
| 16 S,52 高知 | MT | | | | | | | 岡山大学A | |
| | LT | | | 岡山大学A | | 山陽学園短期大学 | | | |
| | LS | 林 正子 | 岡山大学 | 森下 真紀 | 山陽短大 | | | | |
| | LD | 林・岸 | 岡山大学 | | | | | | |
| 17 S,53 熊本 | MT | | | | | | | 岡山大学A | |
| | LS | 森下 真紀 | 山陽短大 | | | | | | |
| | LD | 森下・藤木 | 山陽短大 | | | | | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 18 | ＬＴ | 岡山大学Ａ | | | | | | | |
| Ｓ,54 | ＬＳ | 串田　有子 | 山陽短大 | | | | | | |
| 島根 | ＬＤ | 片山・川崎 | 岡山大学 | 金尾・二塚 | 岡山大学 | | | 實金・串田 | 山陽短大 |
| 19 | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | | | 岡山大学Ａ | | | |
| Ｓ,55 | ＬＳ | | | | | | | 串田　有子 | 山陽短大 |
| 福岡 | ＬＤ | 串田・岡崎 | 山陽短大 | | | | | | |
| 20 | ＭＴ | | | 岡山大学Ａ | | | | | |
| Ｓ,56 | ＬＴ | 岡山大学Ａ | | | | | | 山陽学園短期大学 | |
| 愛媛 | ＬＳ | | | | | | | 松岡　りえ | 岡山大学 |
| 21 | ＭＴ | | | 岡山大学Ａ | | | | | |
| Ｓ,57 | ＬＴ | 岡山大学Ａ | | | | | | | |
| 福岡 | ＬＤ | 佐々木・小山 | 岡山大学 | | | 山中・原田 | 岡山大学 | | |
| 22 | ＭＤ | | | | | | | 上村・宮廻 | 岡山大学 |
| Ｓ,58 | ＬＳ | 竹原　桂子 | 山陽短大 | | | | | | |
| 宮崎 | ＬＤ | 竹原・相賀 | 山陽短大 | | | | | 小山・佐々木 | 岡山大学 |
| 27・Ｓ,63・岡山 | ＭＴ | | | | | 岡山大学 | | | |
| 28・Ｈ,元・香川 | ＬＳ | | | | | | | 松王香音里 | 県立短大 |

☆Ｈ,２年以降ベスト４には入っていない。

### ⑥西日本大学学生選手権大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 選手名 | 学校名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 学校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | Ｓ,45 | | ＭＳ | 高木　剛 | 岡山大学 | ２位 | | | | |
| 15 | Ｓ,50 | | ＬＳ | 日原　禎子 | 山陽短大 | 優勝 | ＬＤ | 日原・林 | 山陽短大 | 優勝 |
| 18 | Ｓ,53 | | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | ５位 | | | | |

### ⑦全日本大学学生選手権大会

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 選手名 | 学校名 | 最終成績 | 種目 | 選手名 | 学校名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | Ｓ,32 | 高松 | ＬＤ | 大橋・草野 | 岡山大学 | 優勝 | | | | |
| 12 | Ｓ,36 | 名古屋 | ＭＴ | 岡山大学 | | ２回戦 | ＬＴ | 岡山大学 | | １回戦 |
| 13 | Ｓ,37 | 仙台 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | ＬＴ | 岡山大学 | | １回戦 |
| 14 | Ｓ,38 | 大阪 | ＭＴ | 岡山大学 | | ３回戦 | ＬＴ | 岡山大学 | | １回戦 |
| 15 | Ｓ,39 | 東京 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | | | | |
| 18 | Ｓ,42 | 大阪 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | | | | |
| 19 | Ｓ,43 | 名古屋 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | | | | |
| 23 | Ｓ,47 | 松山 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | ＬＴ | 岡山大学 | | １回戦 |
| 24 | Ｓ,48 | 福岡 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | | | | |
| 29 | Ｓ,53 | 名古屋 | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | ベスト16 | | | | |
| 30 | Ｓ,54 | 京都 | ＭＴ | 岡山大学 | | ２回戦 | ＬＴ | 岡山大学 | | ２回戦 |
| 32 | Ｓ,56 | 福岡 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | ＬＴ | 岡山大学 | | １回戦 |
| | | | ＭＤ | 森脇・野呂 | 岡山大学 | ベスト32 | | | | |
| 33 | Ｓ,57 | 東京 | ＬＳ | 竹原　桂子 | 山陽学園短大 | １回戦 | | | | |
| 34 | Ｓ,58 | 岡山 | ＭＴ | 岡山大学 | | １回戦 | ＭＤ | 上村・宮廻 | 岡山大学 | ベスト32 |
| | | | ＬＳ | 竹原　桂子 | 山陽学園短大 | ２回戦 | ＬＳ | 相賀　里香 | 山陽学園短大 | １回戦 |
| | | | ＬＤ | 竹原・相賀 | 山陽学園短大 | １回戦 | | | | |
| 40 | Ｈ,元 | 福岡 | ＭＤ | 延本・米原 | 岡山理科大学 | １回戦 | ＬＳ | 佐藤　由香 | 山陽学園短大 | １回戦 |
| 41 | Ｈ,２ | 大阪 | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | １回戦 | ＭＳ | 延本　和也 | 岡山理科大学 | ２回戦 |
| | | | ＭＳ | 坂本　典洋 | 岡山理科大学 | １回戦 | ＭＤ | 坂本・延本 | 岡山理科大学 | １回戦 |
| 43 | Ｈ,４ | 名古屋 | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | １回戦 | | | | |
| 45 | Ｈ,６ | 埼玉 | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | １回戦 | | | | |
| 47 | Ｈ,８ | 神奈川 | ＬＴ | 山陽学園短期大学 | | １回戦 | ＬＤ | 佐藤・原田 | 山陽学園短大 | １回戦 |
| | | | ＬＤ | 杉本・守屋 | 山陽学園短大 | １回戦 | | | | |

## ⑧全国私立短期大学体育大会　　☆山陽学園短期大学（山陽短大）が参加

| 回 | 年度 | 場所 | 種目 | 選手(大学)名 | 最終成績 | 種目 | 選手(大学)名 | 最終成績 | 種目 | 選手(大学)名 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 18 | S,58 | 東京 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>岡本・大橋 | ベスト16<br>ベスト16 | ＬＳ | 竹原　桂子 | 優　勝 | ＬＳ | 相賀　里香 | ３　位 |
| 19 | S,59 | 札幌 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>轟　・佐藤 | ３　位<br>３回戦 | ＬＳ | 相賀　里香 | ５　位 | ＬＤ | 大橋・横田 | ２回戦 |
| 20 | S,60 | 東京 | ＬＤ | 佐藤・　轟 | １回戦 | | | | | | |
| 22 | S,62 | 東京 | ＬＤ | 平尾・吉田 | ３　位 | | | | | | |
| 23 | S,63 | 大阪 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>吉田・篠原 | ３　位<br>ベスト32 | ＬＳ | 藤原　端子 | ベスト32 | ＬＤ | 平尾・片岡 | ３　位 |
| 24 | H,元 | 東京 | ＬＴ | 山陽短大 | ３　位 | ＬＳ | 佐藤　由香 | ２　位 | | | |
| 25 | H,２ | 東京 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>中里・山本 | ３　位<br>ベスト32 | ＬＳ | 佐藤　由香 | 優　勝 | ＬＤ | 原田・山之内 | ベスト16 |
| 26 | H,３ | 兵庫 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>江藤・山本 | ５　位<br>ベスト32 | ＬＳ | 鶴見　里恵 | ベスト16 | ＬＤ | 沖野・曽根 | ベスト16 |
| 27 | H,４ | 福岡 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>沖野・曽根 | ２　位<br>ベスト16 | ＬＳ<br>ＬＤ | 佐藤　由紀<br>岡崎・鶴見 | ベスト32<br>ベスト32 | ＬＳ | 佐藤　純子 | ベスト32 |
| 28 | H,５ | 東京 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>岡崎・山下 | ベスト16<br>ベスト16 | ＬＳ<br>ＬＤ | 佐藤　由紀<br>倉本・久本 | ベスト16<br>２回戦 | ＬＳ | 佐藤　純子 | ２回戦 |
| 29 | H,６ | 山形 | ＬＳ | 長門　弘美 | ベスト16 | ＬＤ | 重光・宰所 | ２回戦 | | | |
| 30 | H,７ | 広島 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>重光・宰所 | ベスト16<br>ベスト32 | ＬＳ<br>ＬＤ | 長門　弘美<br>小林・三宅 | ベスト16<br>ベスト32 | ＬＳ | 佐藤　美和 | ベスト32 |
| 31 | H,８ | 東京 | ＬＴ<br>ＬＤ | 山陽短大<br>小林・三宅 | ベスト32<br>ベスト32 | ＬＳ<br>ＬＤ | 佐藤　美和<br>守屋・杉本 | ベスト32<br>ベスト32 | ＬＳ | 茅野　祐子 | １回戦 |

## （6）実業団連盟

### 1）県内大会

### 県実業団選手権大会

### ア）団体戦

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位（3は3位） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>S,31 | 男女混合で団体戦 | 岡山市役所A | 新三菱 | 山陽学園教員 | 岡山市役所B |
| 2<br>S,32 | 不明 | 岡山市役所A | 県教員団 | 柵原鉱山A | 3 岡山市役所B |
| 3<br>S,33 | A<br>B | 岡山市役所<br>岡山市役所 | 荏原小教員<br>倉レ岡山 | 山陽学園教員<br>三井造船 | 西大寺市役所<br>柵原鉱山 |

☆S,34～S,41まで記録不明

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 10<br>S,42 | MTA<br>MTB<br>LT | 岡山市役所A<br>岡山市役所B<br>三菱重工F | 三井造船<br>浦賀重工A<br>久世体育協会 | 岡山県庁<br>岡山市役所D<br>三菱重工E | 山陽学園教員<br>浦賀重工B |

☆S,43～S,44まで記録不明

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 13<br>S,45 | MT<br>LT | 三井造船A<br>久世体育協会 | 岡山市教育委員会A<br>川崎製鉄 | 山陽学園教員<br>河本病院 | 3 三井造船B<br>3 グンゼA |
| 14<br>S,46 | MTA<br>B<br>LT | 三井造船A<br>三井造船C<br>クラレ岡山 | 岡山市役所A<br>三井造船D<br>久世体育協会 | 玉野SCA<br>岡山市役所B<br>川崎製鉄A | 3 三井造船B<br>3 三菱化成D<br>川崎製鉄B |
| 15<br>S,47 | MTA<br>B<br>LT | 三井造船A<br>三井造船D<br>クラレ岡山 | 岡山市役所A<br>化成水島B<br>久世体育協会 | 三井造船B<br>川崎製鉄C<br>グンゼA | 3 三井造船C<br>3 川崎製鉄D |
| 16<br>S,48 | MTA<br>B<br>C<br>LT | 三井造船A<br>三井造船D<br>三井造船E<br>久世体育協会A | 三井造船B<br>岡山市役所B<br>三井造船F<br>久世体育協会B | 三井造船C<br>大西屋<br>久世体育協会A<br>川崎製鉄 | 3 岡山市役所A<br>3 崎製鉄B<br>3 三井造船G<br>化成水島 |
| 17<br>S,49 | MTA<br>B<br>C<br>LT | 三井造船A<br>三井造船D<br>三井造船E<br>クラレ岡山 | 三井造船B<br>岡山市役所B<br>岡山市役所C<br>三井造船 | 川崎製鉄A<br>クラレ岡山A<br>クラレ岡山D<br>玉野クラブ | 3 岡山市役所A<br>3 化成水島B<br>3 玉野クラブD<br>3 川崎製鉄 |
| 18<br>S,50 | MTA<br>B<br>C<br>LT | 三井造船A<br>三菱化成D<br>三井造船I<br>クラレ岡山A | 岡山市役所A<br>岡山市役所B<br>三井造船F<br>クラレ岡山B | 三井造船C<br>住友重機B<br>住友重機D<br>岡山市役所 | 3 玉野クラブA<br>3 住友重機C<br>3 クラレE<br>3 川崎製鉄A |
| 19<br>S,51 | MTA<br>B<br>C<br>LT | 三井造船A<br>クラレA<br>三井造船D<br>クラレA | 三井造船B<br>川崎製鉄E<br>旭化成B<br>化成水島 | 川崎製鉄A<br>三井造船C<br>クラレB<br>三菱石油 | 3 岡山市役所A<br>3 住友重機D<br>3 三井造船F<br>3 クラレB |
| 20<br>S,52 | MTA<br>B<br>LT | 三井造船A<br>川崎製鉄B<br>三菱化成 | 川崎製鉄A<br>住友重機A<br>クラレ | 三菱化成A<br>クラレA<br>川崎製鉄A | 3 山市役所<br>3 三菱石油A<br>3 川崎製鉄B |
| 21<br>S,53 | MTA<br>B<br>LT | 記録不明 | | | |
| 22<br>S,54 | MTA<br>B<br>LT | 三井造船A<br>不明<br>三菱化成 | 川崎製鉄A<br>不明<br>川崎製鉄A | 三菱化成<br>不明<br>川崎製鉄B | 3 三菱石油<br>不明<br>なし |
| 23<br>S,55 | MTA<br>B<br>LT | 川崎製鉄A<br>川崎製鉄B<br>岡山市役所 | 三井造船A<br>三井造船C<br>川崎製鉄A | クラレ<br>旭化成<br>三菱化成A | 3 三菱化成<br>三井造船D<br>三菱化成B |
| 24<br>S,56 | MTA<br>B<br>LT | 川崎製鉄A<br>三井造船B<br>三菱化成A | 三井造船A<br>三井造船D<br>岡山市役所 | クラレA<br>旭化成<br>川崎製鉄 | 三菱化成<br>3 川崎製鉄B<br>クラレB |

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位（3は3位） |
|---|---|---|---|---|---|
| 25 | MTA | 三井造船A | 川崎製鉄A | クラレA | 三菱石油 |
| S,57 | B | 三井造船B | 川崎製鉄B | 岡山市役所B | 3クラレB |
| | LT | 松本組 | 三菱化成 | 岡山市役所 | 川崎製鉄 |
| 26 | MTA | 川崎製鉄A | 三井造船A | クラレ | 三菱石油 |
| S,58 | B | 三井造船B | 川崎製鉄B | 川崎製鉄C | 三菱化成B |
| | LT | 松本組 | 三菱化成 | 川崎製鉄A | クラレ |
| 27 | MTA | 川崎製鉄A | 三井造船A | クラレA | 三菱石油A |
| S,59 | B | クラレB | 川崎製鉄B | 三井造船B | 川崎製鉄C |
| | LT | 松本組 | クラレ | 三菱化成 | 川崎製鉄 |
| 28 | MTA | 川崎製鉄A | 三井造船A | クラレA | 三菱石油 |
| S,60 | B | 川崎製鉄B | クラレB | 三井造船B | 川崎製鉄C |
| | LT | 三菱化成 | 川崎製鉄A | 川崎製鉄B | なし |
| 29 | MTA | 川崎製鉄 | 三井造船 | 三菱石油 | クラレA |
| S,61 | B | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 |
| | LT | 川崎製鉄 | 岡山市役所 | なし | なし |
| 30 | MT1 | 川崎製鉄A | 三井造船 | クラレ | 三菱石油 |
| S,62 | 2 | 川崎製鉄B | 旭化成 | 三菱化成 | 三菱金属 |
| | LT | 岡山市役所 | 三井造船 | 三菱化成 | なし |
| 31 | MT1 | 三井造船 | 川崎製鉄A | クラレA | 三菱石油 |
| S,63 | 2 | 山陽ドラム缶工業 | 三菱化成 | 川崎製鉄B | 三菱金属 |
| | LT | 松本組 | 備前市役所 | 岡山市役所 | 三井造船 |
| | MT1 | 三井造船 | 川崎製鉄 | 山陽ドラム缶工業 | クラレA |
| 32 | 2 | 岡山市役所 | 旭化成 | 三菱化成 | 東洋ベアリング |
| H,元 | 3 | 高井文研堂 | 三菱自工 | 藤田農協 | クラレB |
| | LT | 松本組A | 松本組B | 岡山市役所 | 川崎製鉄 |
| | MTI | 三井造船 | 川崎製鉄 | クラレ | 岡山市役所 |
| 33 | 2 | 三菱化成A | 松下電器 | 高井文研堂 | 川崎製鉄B |
| H,2 | 3 | 三菱化成B | 三菱自工 | NTN | クラレB |
| | LT | 松本組A | 松本組B | 松下電器A | 松下電器B |
| | MTI | 三井造船A | 川崎製鉄A | クラレA | 三菱化成A |
| | 2 | 三菱石油A | 松下電器岡山 | 川崎製鉄B | 高井文研堂 |
| 34 | 3 | 三菱化成B | NTN | 東洋キヤリア | クラレB |
| H,3 | 4 | 三井造船B | 川崎製鉄C | 松下電器津山 | 三菱石油B |
| | LT1 | まつもとA | まつもとB | 松下電器A | 松下電器B |
| | LT2 | アリモトスポーツ | 三菱化成 | 笠岡市役所 | なし |
| | MTI | 三井造船A | 川崎製鉄A | クラレA | 三菱化成A |
| 35 | 2 | 川崎製鉄B | 松下電器岡山 | 岡山市役所 | 高井文研堂 |
| H,4 | 3 | 川鉄鉄構 | 三井造船B | 中国郵政 | NTN・A |
| | 4 | クラレC | NTN・B | クラレB | 三菱石油B |
| | LT | まつもとA | まつもとB | 松下電器A | 松下電器B |
| | MTI | 三井造船A | 三菱化成A | 川崎製鉄A | 三菱石油A |
| | 2 | 川鉄鉄構A | 松下電器 | 川崎製鉄B | 岡山市役所 |
| 36 | 3 | 中国郵政 | 三井造船B | 東洋キヤリア | 三菱化成B |
| H,5 | 4 | クラレB | クラレC | 三菱石油B | NTN・B |
| | 5 | 川鉄鉄構B | 笠岡市役所 | クラレD | なし |
| | LT | まつもとA | まつもとB | 松下電器 | 笠岡市役所 |
| | MTI | 三井造船A | 川崎製鉄A | 川鉄鉄構 | 三菱化成A |
| | 2 | クラレA | 松下電器 | 中国郵政 | 川崎製鉄B |
| 37 | 3 | 高井文研堂 | 三井造船B | 東洋キヤリア | クラレB |
| H,6 | 4 | 三菱自工A | 中国電力 | 三菱石油B | NTN・A |
| | 5 | 三菱自工B | クラレC | NTN・B | 笠岡市役所 |
| | LT | まつもとA | まつもとB | アリモトスポーツ | 笠岡市役所 |

| 回年 | 種目 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位（3は3位） |
|---|---|---|---|---|---|
| | MTI | 三井造船A | 川鉄マシナリー | 川崎製鉄A | 三菱化学 |
| 38 | 2 | 松下電器 | 三菱石油 | 高井文研堂 | 川崎製鉄B |
| H,7 | 3 | 清音村役場 | 三菱自工A | 東洋キヤリア | 三井造船B |
| | 4 | クラレC | 中国電力 | 三菱自工B | 倉敷市役所 |
| | LT | まつもとA | まつもとB | 三菱自工B | なし |
| | MTI | 松下電器 | 川鉄マシナリー | 三菱化学 | 川崎製鉄A |
| 39 | 2 | クラレA | 三菱石油 | 清音村役場 | 高井文研堂 |
| H,8 | 3 | 三菱自工A | 中国郵政 | クラレC | 東洋キヤリア |
| | 4 | 三菱自工B | 中国電力 | 倉敷市役所 | 岡山ミノルタ |
| | LT | まつもとA | まつもとB | なし | なし |

**イ）個人戦**　☆先頭の数字は，年齢別を示す　☆Ｓ,32～Ｓ,51年までは記録不明

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| | MD | 芳上・松井 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 毛利・山本 | 三井造船 | 東　・大野 | 三菱化成 |
| 20 | 30MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 藤田　裕司 | 三井造船 | 吉原　俊治 | クラレ岡 |
| Ｓ,52 | 30MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 田丸・藤田 | 三井造船 | 三宅・滝井 | 住友重機 | | |
| | ＬＳ | 難波　初子 | 川崎製鉄 | 難波　明美 | 川崎製鉄 | 松岡　純子 | 三井造船 | 東　信子 | クラレ岡 |
| | ＬＤ | 難波・難波 | 川崎製鉄 | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 牧野・立元 | クラレ岡 | 難波・三宅 | 川崎製鉄 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 永井　孝 | 川崎製鉄 |
| | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 松井・山本 | 三井造船 | 景山・北村 | 川崎製鉄 | 永井・森田 | 川崎製鉄 |
| 21 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 崎本　明雄 | 岡山市 | 田丸　勝己 | 三井造船 |
| Ｓ,53 | 30MD | 芳上・田丸 | 三井造船 | 青木・崎本 | 岡山市 | | | | |
| | ＬＳ | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 難波　明美 | 川崎製鉄 | 難波　初子 | 川崎製鉄 | 岡　純子 | 三井造船 |
| | ＬＤ | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 若林・岡本 | 三菱化成 | 難波・難波 | 川崎製鉄 | 難波・三宅 | 川崎製鉄 |
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 永井　孝 | 川崎製鉄 | 北村　治雄 | 川崎製鉄 |
| | MD | 松井・山本 | 三井造船 | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 安田・大野 | 三菱化成 | 永井・景山 | 川崎製鉄 |
| 22 | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | 吉原　俊治 | クラレ岡 |
| Ｓ,54 | 30MD | 藤原・芳上 | 三井造船 | 藤田・佐藤 | 三井造船 | 吉原・坂井 | クラレ岡 | | |
| | ＬＳ | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 佐藤　妙子 | 三菱化成 | 貝原　規子 | 岡商工会 |
| | ＬＤ | 木村・難波 | 川崎製鉄 | 丸山・佐藤 | 三菱化成 | 佐藤・平田 | 川崎製鉄 | 若林・岡本 | 三菱化成 |

☆Ｓ,55～Ｓ,56は記録不明

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 西江　均 | 川崎製鉄 |
| | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 妹尾・庄盛 | 岡山市 | 永井・北村 | 川崎製鉄 |
| 25 | 30MS | 片岡　洋一 | 川崎製鉄 | 戸部　俊一 | 川崎製鉄 | 吉原　俊治 | クラレ岡 | 小河　原治 | クラレ岡 |
| Ｓ,57 | 30MD | 吉原・小河原 | クラレ岡 | 戸部・片岡 | 川崎製鉄 | 青木・崎本 | 岡山市 | | |
| | ＬＳ | 近藤　小織 | 松本組 | 高田　幹子 | 松本組 | 小寺　裕美 | 松本組 | 合田なおみ | 松本組 |
| | ＬＤ | 近藤・高田 | 松本組 | 小寺・合田 | 松本組 | 天野・原田 | クラレ岡 | 佐藤・川崎 | 三菱化成 |

☆Ｓ,58～Ｓ,61は記録不明　☆先頭の数字１＝１部，２＝２部

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | | |
| 1 | 2MS | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 藤原　航 | 三井造船 | | |
| Ｓ,62 | 3MS | 船越　哲夫 | 旭化成 | 矢尾　力 | 三菱金属 | 難波 | サンキ | | |
| 前期 | 4MS | 山田　政治 | 大　金 | 宮本　睦樹 | 大　金 | 金田　秀正 | 大　金 | 田中　良治 | 三菱石油 |
| | 1MD | 山本・若林 | 三井造船 | 板谷・田枝 | クラレ倉 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | | |
| | 2MD | 山田・金田 | 大　金 | 船越・阿川 | 旭化成 | 三浦・矢吹 | 岡山市 | 難波・古川 | サンキ |
| | 1LS | 西林　昭子 | 備前市 | 轟百　合子 | 岡山市 | 紀井　晴美 | 松下電器 | 林　弘恵 | 三井造船 |
| | 1LD | 川崎・山本 | 光和被服 | 竹内・　林 | 三井造船 | 岡野・那須 | サノヤス | 大河・小脇 | 光和被服 |
| 後期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 |
| | 2MS | 北井　勝義 | 三菱石油 | 山田　政治 | 大　金 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 香山　光明 | クラレ岡 |
| | 3MS | 松本　哲也 | 県教員 | 宮本　睦樹 | 大　金 | 金田　秀正 | 大　金 | 中須賀祥雅 | 県教員 |
| | 4MS | 田中　良治 | 三菱石油 | 高塚　路夫 | 三菱石油 | 井上　和志 | 笠岡市 | 為重　好信 | 笠岡市 |
| | 1MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 山田・金田 | 大　金 | 若林・平田 | 三菱石油 |
| | 2MD | 北井・永山 | 三菱石油 | 香山・吉原 | クラレ岡 | 三浦・矢吹 | 岡山市 | 大倉・長谷 | 三井造船 |
| | 3MD | 松本・中須賀 | 県教員 | 田中・高塚 | 三菱石油 | 田中・永井 | クラレ岡 | 井上・為重 | 笠岡市 |
| | 1LS | 西林　昭子 | 備前市 | 河原美津巳 | 松本組 | 紀井　晴美 | 松下電器 | | |
| | 2LS | 松岡　純子 | 三井造船 | 多久島千秋 | 三菱化成 | 林　弘恵 | 三井造船 | | |
| | 1LD | 岡　・河原 | 松本組 | 松岡・　林 | 三井造船 | | | | |
| | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 藤原　一志 | 山陽ドラム |
| 2 | 2MS | 中山　睦雄 | 川崎製鉄 | 笠原　靖典 | 山陽ドラム | 松本　哲也 | 県教員 | 宮本　睦樹 | 大　金 |
| Ｓ,63 | 3MS | 中須賀祥雅 | 県教員 | 金田　秀正 | 大　金 | 荻野　克己 | 県教員 | 吉原　俊治 | クラレ倉 |
| 前期 | 4MS | 竹島　理雄 | 県教員 | 浅原　芳弘 | 県教員 | 小寺　裕之 | 県教員 | | |
| | 1MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 山本・若林 | 三井造船 | 板谷・田枝 | クラレ倉 |
| | 2MD | 松本・中須賀 | 県教員 | 船越・阿川 | 旭化成 | 長谷・高木 | 三井造船 | 石光・洲脇 | 三井造船 |
| | 3MD | 井上・藤井 | 笠岡市 | 岡本・黒木 | 旭化成 | 山本・西山 | 笠岡市 | 小川・野崎 | 三井生協 |
| | 1LS | 西林　昭子 | 備前市 | 河原美津巳 | 松本組 | 岡　百合子 | 岡山市 | 轟　美智子 | 岡山市 |
| | 1LD | 河原・　岡 | 松本組 | 岡　・　轟 | 岡山市 | 松岡・　林 | 三井造船 | | |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 山陽ドラム | 三村　勇人 | 川崎製鉄 | 竺原　博文 | 三菱化成 |
| 2 | 2MS | 永井　孝 | 川崎製鉄 | 山本　清 | 三井造船 | 松本　哲也 | 県教員 | 中須賀祥雅 | 県教員 |
| S,63 | 3MS | 三好　誠 | 三菱自工 | 阿川　信夫 | 旭化成 | 中元　一幸 | 東洋ベアリング | 荻野　理雄 | 県教員 |
| 後期 | 4MS | 岡部 | マルオ | 岡野　圭 | 県教員 | 程原　政信 | 三菱化成 | 小山　孝志 | 東洋ベアリング |
| | 1MD | 山本・若林 | 三井造船 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 藤原・川上 | 山陽ドラム | 松本・中須賀 | 県教員 |
| | 2MD | 西崎・荻野 | 県教員 | 阿川・船越 | 旭化成 | 藤原・石光 | 三井造船 | 吉原・小河原 | クラレ |
| | 3MD | 前田・中村 | 三菱自工 | 藤井・柚木 | 笠岡市 | 星野・程原 | 三菱化成 | 中元・小山 | 東洋ベアリング |
| | 1LS | 原田美智子 | 松本組 | 河原美津巳 | 松本組 | 岡　良依 | 松本組 | | |
| | 2LS | 西本　早苗 | 松本組 | 土肥まり子 | 松本組 | 多久島千秋 | 三菱化成 | 林　弘恵 | 三井造船 |
| | 1LD | 河原・岡 | 松本組 | 土肥・西本 | 松本組 | 松岡・林 | 三井造船 | 堀口・荻野 | クラレ倉 |
| | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　一志 | 山陽ドラム | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 |
| 3 | 2MS | 福田　哲 | 松下電器 | 片岡　洋一 | 川崎製鉄 | 芳上　一男 | 芳上鉄工 | 山田　晃 | 藤田農協 |
| H,元 | 3MS | 丸岡　隆 | 三井造船 | 青木　元春 | 岡山市 | 穴吹　栄二 | 川崎製鉄 | 岡本　正孝 | 旭化成 |
| 前期 | 4MS | 佐藤 | NTT倉 | 水川　昌彦 | NTT倉 | 竹島　理雄 | 県教員 | 程原　政信 | 三菱化成 |
| | 1MD | 藤原・北村 | 川崎製鉄 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 大倉・若林 | 三井造船 | 板谷・田枝 | クラレ倉 |
| | 2MD | 山下・白神 | クラレ岡 | 吉原・香山 | クラレ岡 | 長谷・田丸 | 三井造船 | 石光・洲脇 | 三井造船 |
| | 3MD | 佐藤・池上 | NTT倉 | 古川・矢田 | サンキ | 丸岡・北井 | 三井造船 | 星野・程原 | 三菱化成 |
| | 1LS | 河原美津巳 | 松本組 | 岡　良依 | 松本組 | 土肥まり子 | 松本組 | 西本　早苗 | 松本組 |
| | 1LD | 河原・岡 | 松本組 | 土肥・西本 | 松本組 | 徳山・国木 | 笠岡市 | | |
| 後期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 藤井　久美 | 清音村 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| | 2MS | 大倉　達也 | 三井造船 | 横田　寿弘 | 県教員 | 松本　哲也 | 県教員 | 多田　一也 | 県教員 |
| | 3MS | 竹島　理雄 | 県教員 | 片岡　光 | 県教員 | 岡野　圭 | 県教員 | | |
| | 4MS | 田渕 | NTT倉 | 千葉善二郎 | 三菱化成 | 新野　芳正 | NTN | 池上　博己 | NTT倉 |
| | 1MD | 山本・若林 | 三井造船 | 横田・橘本 | 県教員 | 中須賀・松本 | 県教員 | | |
| | 2MD | 山田・宮本 | 大金 | 高本・金田 | 大金 | 多田・西崎 | 県教員 | 中浜・垣見 | 川崎製鉄 |
| | 3MD | 佐藤・池上 | NTT倉 | 丸岡・北井 | 三井造船 | 東・千葉 | 三菱化成 | 田渕・水川 | NTT倉 |
| | 1LS | 土肥まり子 | 松本組 | 高須賀博子 | 二日市体育館 | | | | |
| | 1LD | 山本・土肥 | 松本組 | 田渕・長尾 | NTT倉 | 藤田・中野 | NTT倉 | | |
| | 1MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤井　久美 | 清音村 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| 4 | 2MS | 山田　政治 | 大金 | 田丸　勝己 | 三井造船 | 松本　哲也 | 県教員 | 高本　行男 | 大金 |
| H,2 | 3MS | 安藤　義光 | 辰己商会 | 三好　幸夫 | 南和工業 | 三好　研二 | 南和工業 | 中浜　昌宏 | 川崎製鉄 |
| 前期 | 4MS | 池上　博己 | 真備 | 岡部　哲也 | JUKI | 矢田　晶 | サンキ | 岡野　純 | 備南高教 |
| | 5MS | 山本 | 天満屋 | 小寺　史郎 | 天満屋 | 笠原　照久 | 県教員 | 矢吹 | 吉備郵便 |
| | 1MD | 山本・若林 | 三井造船 | 安藤・藤原 | 辰己商会 | 藤原・垣見 | 川崎製鉄 | 竺原・横田 | 三菱化成 |
| | 2MD | 田丸・大倉 | 三井造船 | 山田・三好研 | 藤田農協・南和工業 | 中村・三村 | ちろりん | 佐藤・池上 | NTT倉・真備 |
| | 3MD | 足立・万代 | 三菱金属 | 藤井・井上 | 笠岡市 | 石原・北山 | 三井造船 | 矢田・古川 | サンキ |
| | 4MD | 竹島・笠原 | 県教員 | 矢吹・難波 | クラブン・吉備郵便 | 岡部・山田 | JUKI・ウエスコ | 中野・赤木 | 三菱自工 |
| | 1LS | 岡　良依 | まつもと | 渡邊　美穂 | まつもと | 藤原　清美 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと |
| | 1LD | 土肥・岡 | まつもと | 藤原・渡邊 | まつもと | 山本・此本 | 和気開谷農・倉敷繊維 | 松岡・林 | 三井造船 |
| 後期 | 1MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 | 板谷　好訓 | クラレ倉 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| | 2MS | 山下　剛 | クラレ岡 | 安藤　義光 | 辰己商会 | 田枝　誠一 | クラレ倉 | 三好　幸夫 | 南和工業 |
| | 3MS | 野田　修嗣 | 川鉄鉄構 | 三好　研二 | 南和工業 | 川上新太郎 | 川崎製鉄 | 久山　信行 | 三菱石油 |
| | 4MS | 笠原　照久 | 琴浦東小 | 池上　博己 | 真備 | 足立　真也 | 三菱マテリアル | 岡部　哲也 | コメッツ |
| | 5MS | 藤井　一男 | 笠岡市 | 西山　雅也 | 笠岡市 | 山下　太郎 | 川崎製鉄 | | |
| | 1MD | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ | 山本・大倉 | 三井造船 | 若林・横田 | 三菱石油・三菱化成 | 平田・野田 | トスコ・川鉄鉄構 |
| | 2MD | 三好・三好 | 南和工業 | 山下・石本 | クラレ岡 | 中須賀・富田 | クラレ岡 | 山田・久山 | 藤田農協・印刷局 |
| | 3MD | 竹島・笠原 | 琴浦東小 | 石光・洲脇 | 三井造船 | 小池・荒木 | 三菱化成 | 西山・藤井 | 笠岡市 |
| | 4MD | 岡野・岡野 | 備南高教 | 中元・小山 | NTN | 林・山下 | 川崎製鉄 | | |
| | 1LS | 渡邊　美穂 | まつもと | 藤原　清美 | まつもと | 岡　良依 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと |
| | 1LD | 岡・渡邊 | まつもと | 土肥・藤原 | まつもと | 横田・松王 | 松下電器 | 山本・羽原 | 和気開谷・瀬戸内児島 |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 H,3 前期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 藤井　久美 | 清音村 | 三村　勇人 | 川崎製鉄 |
| | 2MS | 三辻　邦章 | 三井造船 | 三好　幸夫 | 極東システム | 坂口　保明 | 三菱石油 | 延本　和也 | トッププロS |
| | 3MS | 三好　研二 | 南和工業 | 久山　信行 | 三菱石油 | 北井　勝義 | 三菱石油 | 荒木　義隆 | 三菱化成 |
| | 4MS | 小寺　史郎 | 早島 | 穴吹　栄二 | 川崎製鉄 | 池上　博己 | 真備 | 日笠 | 早島 |
| | 5MS | 森永 | コメッツ | 幡中　寿一 | 林原 | 松王　重明 | トップS | 今田 | 富士通岡山 |
| | 1MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 片岡・三村 | 川崎製鉄 | 平田・中山 | トスコ・川鉄 |
| | 2MD | 安藤・藤原 | 辰己商会 | 山田・延本 | 藤田農協・トップ | 竹島・笠原 | 教員・下之町薬局 | 芳上・蒲田 | 芳上鉄工 |
| | 3MD | 小川・諏訪 | 永井BC | 石光・洲脇 | 三井造船 | 荻野・片岡 | 県教員 | | |
| | 4MD | 小寺・日笠 | 早島 | 松王・今田 | トップ・富士通岡 | 本藤・藤沢 | 玉野エン・岡山コン | 丸山・中元 | NTN |
| | 1LS | 岡　良依 | まつもと | 渡邊　美穂 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | | |
| | 2LS | 浅野みどり | 岡山化成 | 高須賀博子 | 二日市体育館 | 河田　千波 | 笠岡市 | | |
| | 1LD | 土肥・藤原 | まつもと | 岡・渡邊 | まつもと | 平田・磯永 | 永井BC | | |
| | 2LD | 小林・小西 | 永井BC | 河田・中川 | 笠岡市 | 安永・豊田 | 川崎製鉄 | | |
| 後期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 藤井　久美 | 清音村 | 福田　哲 | 松下電器 |
| | 2MS | 三好　研二 | 南和工業 | 延本　和也 | トッププロ | 若林　秀夫 | 三菱石油 | 横田　寿弘 | 倉敷工教 |
| | 3MS | 坂本　典洋 | 岡山貯金 | 中村　行治 | ちろりん | 荒木　義隆 | 三菱化成 | 立野　隆行 | 倉敷化工 |
| | 4MS | 白神　和彦 | 三菱石油 | 岡部　哲也 | コメッツ | 藤原　裕士 | 辰己商会 | 垣見　一俊 | 川崎製鉄 |
| | 5MS | 吉田　正輝 | 川鉄鉄構 | 荒砂　雅登 | 光和被服 | 荻野　克己 | 県教員 | 今田　将夫 | 川鉄鉄構 |
| | 1MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 若林・仁井 | 三井造船 | 平田・野田 | トスコ・川鉄鉄構 |
| | 2MD | 白神・坂口 | 三菱石油 | 立野・久山 | 倉化・三石 | 芳上・蒲田 | 芳上鉄工 | 竹島・笠原 | 県教員・下之町薬局 |
| | 3MD | 中村・笠原 | ちろりん | 中元・片岡 | NTN・瀬戸中教 | 小山・幡中 | NTN・林原 | | |
| | 4MD | 岡部・森永 | コメッツ | 垣見・林 | 川崎製鉄 | 小寺・日笠 | 早島 | 吉田・黒田 | 川鉄鉄構 |
| | 1LS | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと | | |
| | 2LS | 山本　典子 | 光和被服 | 羽原美智子 | 光和被服 | 吉久　幸子 | 松下電器 | | |
| | 1LD | 佐藤・藤原 | まつもと | 山本・住矢 | まつもと | 渡邊・土肥 | まつもと | | |
| 6 H,4 前期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 藤井　久美 | 清音村 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| | 2MS | 横田　豊和 | 三菱化成 | 坂本　典洋 | 岡山貯金 | 中村　行治 | ちろりん | 大倉　達也 | 大金 |
| | 3MS | 富田　眞三 | クラレ岡 | 近藤　守 | フロンティア | 山川　康広 | 三井造船 | 松本　哲也 | 県教員 |
| | 4MS | 横山　健一 | 三菱化成 | 井上　浩文 | 三菱化成 | 末田　真一 | 松下電器 | 羽崎美智夫 | 玉野石油 |
| | 5MS | 高谷　利光 | ちろりん | 石井　宏幸 | 早島 | 岩田　和弘 | 早島 | 片岡　俊之 | 瀬戸中教 |
| | 1MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 平田・三村 | トスコ・川鉄 | 山本・中山 | 三井・川鉄 |
| | 2MD | 中村・武政 | ちろりん | 横山・久山 | 三化・三石 | 山川・高山 | 三井造船 | 羽崎・鈴木 | 玉野石油・三井 |
| | 3MD | 池上・水川 | 真備 | 吉田・黒田 | 川鉄鉄構 | 吉田・石井 | 松下電器 | | |
| | 4MD | 河本・末田 | 松下電器 | 井原・岡村 | 山陽町・鐘紡 | 小寺・岩田 | 早島 | 中山博・穴吹 | 川崎製鉄 |
| | 1LS | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと |
| | 1LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 渡辺・石井 | 山田重量・川鉄 | 土肥・安原 | まつもと | | |
| 後期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三辻　邦章 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 三好　研二 | KTK |
| | 2MS | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 野田　修嗣 | KTK | 仁井　昌志 | 三井造船 | 坂口　保明 | 三菱石油 |
| | 3MS | 横山　健一 | 三菱化成 | 天野　靖 | 岩瀬産業 | 垣見　一俊 | 川崎製鉄 | 片岡　洋一 | 川崎製鉄 |
| | 4MS | 林　保典 | 大本組 | 吉田　正輝 | KTK | 武政　英和 | ちろりん | 山川　康広 | 三井造船 |
| | 5MS | 岩田　章秀 | KTK | 井原　浩一 | 山陽町 | 西本　高士 | 三菱化成 | 中恵　一 | 川崎製鉄 |
| | 1MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 若林・大倉 | 三井造船 | 三好研・三好幸 | KTK・極東 | 中村・武政 | ちろりん |
| | 2MD | 片岡・垣見 | 川崎製鉄 | 吉田・黒田 | KTK | 岩田・今田 | KTK | | |
| | 3MD | 田井・天野 | 山陽高教・岩瀬産業 | 林・後藤 | 大本組・税整理組合 | 井原・岡村 | 山陽町・鐘紡 | | |
| | 4MD | 小寺・岩田 | 早島 | 矢田・古川 | 金光郵便・サンキ | 井上・西本 | 三菱化成 | 吉原・小河原 | クラレ |
| | 1LS | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 浅野みどり | 岡山化成 | 山室　知子 | クラレ岡 |
| | 1LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 土肥・安原 | まつもと | 浅野・宮崎 | 岡山化成・東洋C | 河本・吉久 | 山南中教・松下 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 三好　研二 | 川鉄鉄構 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 横田　豊和 | 三菱化成 |
| 7 | 2MS | 石本　一豊 | 川鉄鉄構 | 坂口　保明 | 三菱石油 | 横山　健一 | 三菱化成 | 林晃　弘 | 川崎製鉄 |
| H,5 | 3MS | 河本　健二 | 松下電器 | 末田　真一 | 松下電器 | 笠原　照久 | 灘　崎 | 吉原　俊治 | クラレ倉 |
| 前期 | 4MS | 岩田　章秀 | 川鉄鉄構 | 中　恵一 | 川崎製鉄 | 鎌田　恭司 | コスモス | 豊島　和弘 | サンエス |
| | 5MS | 井上　靖浩 | 三井造船 | 今田　将夫 | 川鉄鉄構 | 難波　秀彰 | 中国郵政 | 横田　隆二 | ちろりん |
| | 1MD | 藤原・田枝 | 中谷興運・クラレ倉 | 笠原・立野 | 三化・倉化 | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 石本・田中 | 川鉄鉄構 |
| | 2MD | 野田・荒砂 | 川鉄鉄構 | 今田・岩田 | 川鉄鉄構 | 中元・丸山 | ＮＴＮ | | |
| | 3MD | 坂本・中村 | 倉敷市・三菱石油 | 橋本・吉川 | ウイング | 青木・吉原 | 岡山市・クラレ倉 | 矢田・難波 | 中国郵政 |
| | 4MD | 豊島・鎌田 | サンエス・コスモス | 笠原・近藤 | 灘　崎 | 稲谷・中西 | 柵原体協 | 内川・山本 | 倉敷市・笠岡市 |
| | 1LS | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 安原　久恵 | まつもと | 土肥まり子 | まつもと |
| | 2LS | 宮本　順子 | まつもと | 天野伊津美 | 笠　岡　市 | 木村　純子 | 松下電器 | 河田　千波 | 笠　岡　市 |
| | 1LD | 佐藤・住矢 | まつもと | 土肥・安原 | まつもと | 山室・宮本 | クラレ岡・まつもと | 天野・河田 | 笠　岡　市 |
| 後期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 福田　哲 | 松下電器 | 横田　豊和 | 三菱化成 | 藤原　一志 | 中谷興運 |
| | 2MS | 仁井　昌志 | 三井造船 | 坂口　保明 | 三菱石油 | 中村　行治 | ちろりん | 若林　秀夫 | 三菱石油 |
| | 3MS | 岩田　章秀 | 川鉄鉄構 | 片岡　洋一 | 川崎製鉄 | 竹島　理雄 | 灘　崎 | 吉田　正輝 | 川鉄鉄構 |
| | 4MS | 小原　久典 | Ｊ　Ａ | 難波　秀彰 | ちろりん | 稲谷　和昌 | 関東化学 | 中西　悟 | コニック |
| | 5MS | 片山　雅博 | 三菱自工 | 古谷　野昇 | 広済病院 | 三好　誠 | 三菱自工 | 中嶋　一郎 | 三菱石油 |
| | 1MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 若林・藤原 | 三井・川鉄 | 坂本・延本 | 岡山貯金・オサダ | 横田・立野 | 三菱化成・倉敷化 |
| | 2MD | 末田・河本 | 松下電器 | 山下・古谷野 | クラレ岡・広済病院 | 中元・小山 | ＮＴＮ | 矢田・古川 | 金光郵便局・サンキ |
| | 3MD | 池上・三好 | 三菱自工 | 難波・滝沢 | ちろりん | 大島・原 | コメッツ | 片山・小川 | 三菱自工 |
| | 1LS | 住矢　美幸 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと |
| | 2LS | 天野伊津美 | 笠　岡　市 | 宮川真由美 | 三菱自工 | 難波由美子 | 三菱自工 | 河田　千波 | 笠　岡　市 |
| | 1LD | 土肥・神宝 | まつもと | 佐藤・住矢 | まつもと | 山本・宮崎 | 備前東教・光和被服 | | |
| | 2LD | 天野・河田 | 笠　岡　市 | 難波・宮川 | 三菱自工 | 小野・宮原 | 三菱自工 | | |
| | 1MS | 福田　哲 | 松下電器 | 若林　邦任 | 三井造船 | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 横田　豊和 | 三菱化学 |
| 8 | 2MS | 永井　孝 | 永井ＢＣ | 若林　秀夫 | 三菱石油 | 坂本　典洋 | 岡山貯金 | 横山　健一 | 三菱化学 |
| H,6 | 3MS | 末田　真一 | 松下電器 | 小寺　史郎 | 早　島 | 笠原　照久 | 灘　崎 | 前田　雅美 | 三菱自工 |
| 前期 | 4MS | 武政　英和 | ちろりん | 片山　雅博 | 三菱自工 | 井上　浩文 | 三菱化学 | 池上　博己 | 三菱自工 |
| | 5MS | 西本　高士 | 三菱化学 | 田中　薫 | 川崎製鉄 | 岩田　和弘 | 早　島 | 浜田　雅一 | 三菱自工 |
| | 1MD | 若林・大倉 | 三井造船 | 横田・立野 | 三菱化学・倉敷化 | 岩田・荒砂 | 川鉄鉄構 | 坂本・延本 | 岡山貯金・オサダ |
| | 2MD | 前田・池上 | 三菱自工 | 枝木・坂本 | 岡山工業・倉敷市 | 大源・内川 | 倉　敷　市 | 永井・岩田 | 永井ＢＣ |
| | 3MD | 小川・片山 | 三菱自工 | 岡本・中嶋 | 三菱石油 | 岡村・小林 | 山陽クラブ・中国郵政 | 石田・中田 | 川鉄鉄構 |
| | 1LS | 佐藤　由香 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと |
| | 2LS | 天野伊津美 | 笠　岡　市 | 上杉　朱美 | ちろりん | 小野　温美 | 三菱自工 | 宮川真由美 | 三菱自工 |
| | 1LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 土肥・宮本 | まつもと | 山室・宮崎 | クラレ岡・西大寺 | | |
| | 2LD | 上杉・浅野 | ちろりん | 天野・河田 | 笠　岡　市 | 宮川・小野 | 三菱自工 | | |
| 後期 | 1MS | 福田　哲 | 松下電器 | 若林　邦任 | 三井造船 | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 横田　豊和 | 三菱化学 |
| | 2MS | 末田　真一 | 松下電器 | 大倉　達也 | 三井造船 | 河本　健二 | 松下電器 | | |
| | 3MS | 武政　英和 | ちろりん | 笠原　照久 | 灘　崎 | 片山　雅博 | 三菱自工 | | |
| | 4MS | 稲谷　和昌 | 柵原体協 | 中　恵一 | 川崎製鉄 | 田中　薫 | 川崎製鉄 | | |
| | 5MS | 三好　誠 | 三菱自工 | 山本　圭 | クラレ倉 | 三宅　浩司 | ガモウ鉄工 | 中嶋　一郎 | 三菱石油 |
| | 1MD | 藤原・若林 | 川鉄・三井 | 若林・笠原 | 三菱化学 | 横田・立野 | 三菱化学・倉敷化 | 中山・三村 | 川崎製鉄 |
| | 2MD | 片山・小川 | 三菱自工 | 竹島・笠原 | 灘　崎 | 山本・門脇 | クラレ倉 | 稲谷・中西 | 柵原体協 |
| | 3MD | 田中・　中 | 川崎製鉄 | 三宅・坂下 | ガモウ・三興 | 小山・　西 | ＮＴＮ・金海 | 田村・的野 | ＮＴＮ |
| | 1LS | 神宝　朝子 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 佐藤　由香 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと |
| | 2LS | 宮川真由美 | 三菱自工 | 難波由美子 | 三菱自工 | 浅野　友子 | ちろりん | 宮原　理恵 | 三菱自工 |
| | 1LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 住矢・宮本 | まつもと | 上杉・浅野 | ちろりん | | |

| 回年 | 種目 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 H，7 前期 | 1MS | 若林　邦任 | 三井造船 | 横田　豊和 | 三菱化学 | 山本　清 | 三井造船 | 野田　修嗣 | 川鉄マシナリー |
| | 2MS | 武政　英和 | 中国電力 | 安藤　義光 | 辰巳商会 | 横山　健一 | 三菱化学 | 三辻　邦章 | 三井造船 |
| | 3MS | 西本　康弘 | 三菱自工 | 三宅　伸介 | 三菱自工 | 小川　芳弘 | 三菱自工 | 稲谷　和昌 | 柵原体協 |
| | 4MS | 坂本　昌彦 | 倉敷市 | 加藤　宏幸 | 永井ＢＣ | 田中　薫 | 川崎製鉄 | 内川良太郎 | 倉敷市 |
| | 5MS | 白神　純 | 川鉄マシナリー | 西井　広治 | 両備システムズ | 井原　浩一 | 山陽クラブ | 岡村　亘 | 山陽クラブ |
| | 1MD | 福田・三辻 | 松下・三井 | 横田・立野 | 三菱化学・倉敷化 | 笠原・横山 | 三菱化学 | 山本・若林 | 三井造船 |
| | 2MD | 坂本・西井 | 倉敷市・両備 | 垣見・田中 | 川崎製鉄 | 長谷・　中 | 川崎製鉄 | 西本・三宅 | 三菱自工 |
| | 3MD | 勘藤・滝沢 | ちろりん | 井原・岡村 | 山陽クラブ | 吉原・山本 | クラレ倉 | 田村・的野 | ＮＴＮ |
| | 1LS | 佐藤　由香 | まつもと | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | | |
| | 2LS | 上杉　朱美 | ちろりん | 宮川真由美 | 三菱自工 | 浅野　友子 | ちろりん | | |
| | 1LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 住矢・宮本 | まつもと | 山室・土肥 | クラレ岡・まつもと | | |
| | 2LD | 上杉・浅野 | ちろりん | 宮野・植野 | 三菱自工 | 宮川・小野 | 三菱自工 | | |
| 後期 | 1MS | 福田　哲 | 松下電器 | 若林　邦任 | 三井造船 | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| | 2MS | 三好　研二 | 川鉄マシナリー | 横山　健一 | 三菱化学 | 河本　健二 | 松下電器 | 坂本　典洋 | 岡山貯金 |
| | 3MS | 坂本　昌彦 | 倉敷市 | 吉田　正輝 | 川鉄マシナリー | 小川　芳弘 | 三菱自工 | 田井　秀賢 | 県山陽高教 |
| | 4MS | 白神　純 | 川鉄マシナリー | 矢田　晶 | 金光郵便局 | 中浜　昌宏 | 川崎製鉄 | 森下　博 | 奥村ＢＣ |
| | 5MS | 藤井　大輔 | 三菱自工 | 井原　浩一 | 山陽クラブ | 笠原　輝樹 | ちろりん | 中田美樹哉 | 川鉄マシナリー |
| | 1MD | 若林・野田 | 永井・川鉄マシナリー | 福田・末田 | 松下電器 | 白神・武政 | 清音村・中国電力 | 坂本・池田 | 倉敷市・琴浦西小教 |
| | 2MD | 森下・三宅 | 奥村ＢＣ | 山本・門脇 | クラレ倉 | 井原・岡村 | 山陽クラブ | 勘藤・滝沢 | ちろりん |
| | 3MD | 横田・笠原 | ちろりん | 加藤・西方 | ＲＳ永井 | 相野・若林 | 秀天郵便局 | 沖元・板崎 | 三菱自工 |
| | 1LS | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと | | |
| | 1LD | 佐藤・神宝 | まつもと | 住矢・宮本 | まつもと | 上杉・山室 | ちろりん・クラレ岡 | | |
| 10 H，8 前期 | 1MS | 福田　哲 | 松下電器 | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 藤井　久美 | 清音村 | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 |
| | 2MS | 坂本　昌彦 | 倉敷市 | 吉田　正輝 | 川鉄マシナリー | 西本　康弘 | 三菱自工 | 田中　学 | 川鉄マシナリー |
| | 3MS | 小川　芳弘 | 三菱自工 | 加藤　宏幸 | ナガイ | 竹島　理雄 | 灘崎 | 中　恵一 | 川崎製鉄 |
| | 4MS | 池田　一成 | 琴浦西小教 | 中西　悟 | コニック | 藤井　大輔 | 三菱自工 | 中浜　昌宏 | 川崎製鉄 |
| | 5MS | 国近　和之 | 光和被服 | 高瀬　克広 | 里庄郵便局 | 板崎　順一 | 三菱自工 | 浜田　雅一 | 三菱自工 |
| | 1MD | 福田・末田 | 松下電器 | 坂本・池田 | 倉敷市・琴浦西小教 | 横田・立野 | 三菱化学・倉敷化 | 藤原・垣見 | 川崎製鉄 |
| | 2MD | 西本・三宅 | 三菱自工 | 竹島・笠原 | 灘崎 | 稲谷・中西 | 関東化学・ユニック | 加藤・西方 | ナガイ |
| | 3MD | 林・後藤 | 大本組・税整理組合 | 板崎・赤尾 | 三菱自工 | 松本・荻野 | 山陽北小教・大元小教 | 井上・藤井 | 笠岡市 |
| | 1LS | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 宮本　順子 | まつもと | | |
| | 1LD | 宮本・神宝 | まつもと | 住矢・立石 | まつもと | 山本・宮崎 | 児島高教・光和被服 | | |
| | 2LD | 黒川・行本 | サラダ | 楠戸・松永 | クラレ倉 | 浜島・小野 | クラレ倉 | | |
| 後期 | 1MS | 武政　英和 | 中国電力 | 立野　隆行 | 倉敷化工 | 坂本　昌彦 | 倉敷市 | 末田　真一 | 松下電器 |
| | 2MS | 河本　健二 | 松下電器 | 三宅　伸介 | 三菱自工 | 久山　信行 | 三菱石油 | 加藤　宏幸 | ナガイ |
| | 3MS | 杉原　篤 | 笠岡ＢＣ | 喜多　直樹 | 奥村ＢＣ | 稲谷　和昌 | 関東化学 | 番幸　裕 | 奥村ＢＣ |
| | 4MS | 高瀬　充広 | 里庄郵便局 | 松本　哲也 | 旭東教員 | 国近　和之 | 光和被服 | 田中　薫 | 川崎製鉄 |
| | 5MS | 中山　博人 | 川崎製鉄 | 石井　武志 | 中国郵政 | 板野　博美 | 吉備高原 | 坂下伊知郎 | ぶるす |
| | 1MD | 立野・坂口 | 倉敷化・三石 | 福田・末田 | 松下電器 | 武政・坂本 | 中国電力・倉敷市 | 坂本・杉原 | 岡山貯金・笠岡BC |
| | 2MD | 田枝・中須賀 | クラレ倉敷・岡山 | 加藤・西方 | 永井ＢＣ | 笠原・竹島 | 灘崎 | 稲谷・中西 | 関東化学 |
| | 3MD | 黒瀬・綱島 | 吉備高原 | 喜多・鳥越 | 奥村ＢＣ | 松本・阿部 | 旭東教員 | 中野・中村 | 三菱自工 |
| | 1LS | 住矢　美幸 | まつもと | 神宝　朝子 | まつもと | 上杉　朱実 | 済生会病院 | | |
| | 1LD | 住矢・神宝 | まつもと | 上杉・山室 | 済生会病院・クラレ | | | | |

## 2 県外大会

### ①中国実業団選手権大会

| 回年 | 会場 | 種目 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>S,44 | 倉吉市 | MT<br>LT | 三井造船<br>女子の参加なし | 岡山市役所 | | |
| 2<br>S,45 | 下関市 | MT<br>LT | 三井造船 | | 岡山市役所 | |
| 3<br>S,46 | 福山市 | MT<br>LT | | 三井造船A | 岡山市役所 | |
| 4<br>S,47 | 玉野市 | MT<br>LT | | 三井造船A<br>川崎製鉄 | 岡山市役所 | |
| 5<br>S,48 | 米子市 | MT<br>LT | 三井造船A<br>クラレ岡山 | 川崎製鉄 | 岡山市役所 | |
| 6<br>S,49 | 松江市 | MT<br>LT | 三井造船A<br>クラレ岡山 | | 岡山市役所 | 川崎製鉄 |
| 7<br>S,50 | 下関市 | MT<br>LT | クラレ岡山 | 三井造船 | 岡山市役所<br>川崎製鉄 | 川崎製鉄 |
| 8<br>S,51 | 福山市 | MT<br>LT | 三井造船<br>クラレ岡山 | 川崎製鉄 | 三菱化成 | |
| 9<br>S,52 | 倉敷市 | MT<br>LT | 三井造船<br>クラレ岡山 | 川崎製鉄 | 川崎製鉄 | |
| 10<br>S,53 | 鳥取市 | MT<br>LT | | 川崎製鉄<br>川崎製鉄 | 三井造船 | |
| 11<br>S,54 | 松江市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A | 三井造船<br>岡山市役所 | 三菱化成A | 三菱化成B |
| 12<br>S,55 | 下関市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A<br>松本組 | 三井造船<br>岡山市役所 | 三菱化成B | |
| 13<br>S,56 | 大東町 | MT<br>LT | 川崎製鉄A<br>松本組 | 三井造船 | 三菱化成B | |
| 14<br>S,57 | 下関市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A | | 三菱化成 | |
| 15<br>S,58 | 広島市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A<br>松本組 | 三井造船 | 三菱化成 | |
| 16<br>S,59 | 岡山市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A<br>松本組 | 三井造船 | 三菱化成 | |
| 17<br>S,60 | 大栄町 | MT<br>LT | 川崎製鉄A<br>松本組 | 三井造船 | | |
| 18<br>S,61 | 大東町 | MT<br>LT | 川崎製鉄A | | 三井造船 | |
| 19<br>S,62 | 下関市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A | | | |
| 20<br>S,63 | 福山市 | MT<br>LT | 川崎製鉄A<br>松本組 | | 三井造船<br>備前市役所 | |
| 21<br>H,元 | 米子市 | MT<br>LT | 松本組 | 山陽ドラム缶工業 | 川崎製鉄A<br>松下電器 | |
| 22<br>H,2 | 玉野市 | MT<br>LT | 松本組A | 松下電器A | 川崎製鉄A<br>松本組B | 三井造船 |
| 23<br>H,3 | 松江市 | MT<br>LT | 三井造船<br>まつもとコーポレーションA | 川崎製鉄A<br>まつもとコーポレーションB | | |
| 24<br>H,4 | 宇部市 | MT<br>LT | 三井造船 | まつもとコーポレーションA | まつもとコーポレーションB | 松下電器A |
| 25<br>H,5 | 広島市 | MT<br>LT | 三井造船<br>まつもとコーポレーションA | | | |
| 26<br>H,6 | 玉野市 | MT<br>LT | 三井造船 | まつもとコーポレーションA | | |
| 27<br>H,7 | 鳥取市 | MT<br>LT | 三井造船 | 松下電器<br>まつもとコーポレーションA | 川鉄マシナリー | |
| 28<br>H,8 | 松江市 | MT<br>LT | 川鉄マシナリー | | 松下電器 | |

## ②全日本実業団選手権大会

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | S,27 | 東京都 | | | | | | | | | |
| 2 | S,28 | 横浜市 | | | | | | | | | |
| 3 | S,29 | 長崎市 | | | | | | | | | |
| 4 | S,30 | 名古屋市 | | | | | | | | | |
| 5 | S,31 | 高岡市 | MT | 岡山市役所 | 5位 | | | | | | |
| 6 | S,32 | 高松市 | MT | 岡山市役所 | 3位 | LT | 岡山市役所 | 優勝 | | | |
| 7 | S,32 | 岐阜市 | MT | 岡山市役所 | 3位 | MT | 倉敷市役所 | 2回戦 | LT | 岡山市役所 | 2位 |
| 8 | S,33 | 札幌市 | MT | 岡山市役所 | 4位 | LT | 岡山市役所 | 2位 | | | |
| 9 | S,34 | 善通寺市 | MT | 岡山市役所 | 4位 | MT | 岡山教員組合 | 1回戦 | MT | 倉敷市役所 | 1回戦 |
| | | | LT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | | | |
| 10 | S,35 | 名古屋市 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | LT | 岡山市役所 | 3位 | | | |
| 11 | S,36 | 倉敷市 | MT | 三井造船 | 5位 | MT | 岡山市役所 | 3回戦 | MT | 倉敷市役所 | 1回戦 |
| | | | MT | 帝国化工 | 1回戦 | | | | | | |
| | | | LT | 岡山市役所 | 5位 | | | | | | |
| 12 | S,37 | 熊本市 | MT | 岡山市役所 | 5位 | LT | 岡山市役所 | 5位 | | | |
| 13 | S,38 | 三条市 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | LT | 岡山市役所 | 5位 | | | |
| | | | MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 5位 | MS | 石原　利通 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | MD | 小松・石原 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | | |
| | | | LS | 根岸　純 | 岡山市役所 | 3回戦 | LS | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| | | | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | | |
| | | | MIX | 小松・根岸 | 岡山市役所 | 4位 | MIX | 石原・湯浅 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 2回戦 | 30MD | 水川・梶原 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| | | | 40MS | 梶原　馨 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MS | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| | | | 40MS | 社　竹三 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MD | 社・小梶 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| 14 | S,39 | 松山市 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | | | |
| | | | MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 2回戦 | MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 2回戦 | |
| | | | MS | 青井　正義 | 内山工業 | 1回戦 | MS | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | | |
| | | | LS | 根岸　純 | 岡山市役所 | 4位 | LS | 小合　佳子 | 倉敷レーヨン岡山 | 5位 | |
| | | | LS | 重政　百枝 | 倉敷レーヨン岡山 | 2回戦 | LS | 湯浅　光枝 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | LD | 小合・重政 | 倉敷レーヨン岡山 | 3位 | LD | 根岸・湯浅 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | MIX | 藤井・湯浅 | 岡山市役所 | 2回戦 | MIX | 小松・根岸 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| | | | 30MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 優勝 | 30MS | 田中　稔 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| | | | 30MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 2回戦 | 30MS | 神子戸輝幸 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 1回戦 | 30MD | 田中・神子戸 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | 30MD | 水川・岡本 | 岡山市役所 | 棄権 | 40MS | 社　竹三 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| 15 | S,40 | 北九州市 | MT | 岡山市役所 | 5位 | | | | | | |
| | | | MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 棄権 | MS | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 2回戦 | 30MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 棄権 | |
| | | | 30MS | 馬場　睦純 | 岡山市役所 | 棄権 | 30MS | 神子戸輝幸 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | 30MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 棄権 | 30MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | 30MD | 馬場・神子戸 | 岡山市役所 | 棄権 | 30MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | 40MS | 社　竹三 | 岡山市役所 | 1回戦 | 40MS | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | 40MD | 社・小梶 | 岡山市役所 | 3位 | | | | | |
| 16 | S,41 | 大阪市 | MT | 岡山市役所 | 5位 | MT | 三井造船 | 1回戦 | | | |
| | | | MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 5回戦 | MS | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | 3回戦 | |
| | | | MS | 中野　芳和 | 三井造船 | 2回戦 | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 棄権 | |
| | | | MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 3回戦 | MD | 金田・神足 | 三井造船 | 2回戦 | |
| | | | LD | 横関・杉谷 | 三井造船 | 1回戦 | MIX | 小松・杉本 | 岡山市役所 | 2回戦 | |
| | | | 30MS | 神子戸輝幸 | 岡山市役所 | 2回戦 | 30MS | 前田　俊一 | 丸菱商事 | 棄権 | |
| | | | 30MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 棄権 | 30MD | 神子戸・岡本 | 岡山市役所 | 5位 | |
| | | | 40MS | 小梶　繁雄 | 岡山市役所 | 棄権 | 40MS | 社　竹三 | 岡山市役所 | 棄権 | |
| | | | 40MD | 小梶・社 | 岡山市役所 | 4位 | | | | | |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 17 | S,42 | 勝山市 | MT | 岡山市役所 | 4回戦 | MT | 三井造船A | 2回戦 | MT | 三井造船B | 2回戦 |
| | | | MS | 万代　芳郎 | 三井造船 | 2回戦 | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | MS | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | 1回戦 | MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | | 4回戦 |
| | | | 30MD | 岡本・神子戸 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MD | 小梶・　社 | 岡山市役所 | | 3　位 |
| 18 | S,43 | 諫早市 | MT | 岡山市役所 | 4回戦 | MT | 三井造船A | 2回戦 | MT | 三井造船B | 2回戦 |
| | | | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 2回戦 | MS | 田中　健二 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | MS | 西村　一夫 | 三井造船 | 1回戦 | MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | | 2回戦 |
| | | | 30MS | 岡本・神子戸 | 岡山市役所 | 棄　権 | | | | | |
| | | | 40MS | 社　竹三 | 岡山市役所 | 棄　権 | 40MD | 明珍・西村 | 三井造船 | | 2回戦 |
| 19 | S,44 | 釜石市 | MT | 岡山市役所 | 3回戦 | MT | 三井造船 | 3回戦 | | | |
| | | | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 2回戦 | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | | 2回戦 |
| | | | MS | 万代　芳郎 | 三井造船 | 1回戦 | MD | 芳上・田中 | 三井造船 | | 2回戦 |
| | | | 30MD | 岡本・神子戸 | 岡山市役所 | 棄　権 | | | | | |
| | | | 40MS | 虻江　優 | 三井造船 | 棄　権 | 40MS | 西村　喬 | 三井造船 | 棄 | 権 |
| | | | 40MS | 明珍　勝 | 三井造船 | 棄　権 | 40MD | 明珍・西村 | 三井造船 | 棄 | 権 |
| 20 | S,45 | 高松市 | MT | 三井造船 | 4回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | |
| | | | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | | 2回戦 |
| | | | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 40MS | 西村　喬 | 三井造船 | 2回戦 | 40MS | 明珍　勝 | 三井造船 | | 2回戦 |
| | | | 40MS | 虻江　優 | 三井造船 | 1回戦 | 40MD | 明珍・西村 | 三井造船 | | 5　位 |
| 21 | S,46 | 鹿児島市 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | |
| | | | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | 30MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 3　位 | 30MS | 今東　幸一 | 岡山市役所 | | 2回戦 |
| | | | 30MD | 小松・今東 | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 40MS | 明珍　勝 | 三井造船 | 5　位 | 40MS | 西村　喬 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 1回戦 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 棄 | 権 |
| | | | 40MD | 西村・明珍 | 三井造船 | 3　位 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | | 5　位 |
| 22 | S,47 | 茂原市 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | |
| | | | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 不　明 | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 不 | 明 |
| | | | MD | 芳上・上野 | 三井造船 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 30MS | 小松　貴 | 岡山市役所 | 3　位 | 30MS | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | | 5　位 |
| | | | 30MS | 金田　孝 | 三井造船 | 3回戦 | 30MS | 今東　幸一 | 岡山市役所 | | 3回戦 |
| | | | 30MS | 石原　良雄 | 三井造船 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 30MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 3　位 | 30MD | 金田・石原 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 5　位 | 40MS | 明珍　勝 | 三井造船 | | 2回戦 |
| | | | 40MS | 西村　喬 | 三井造船 | 2回戦 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | | 2回戦 |
| | | | 40MS | 高松森之助 | 三井造船 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 40MD | 明珍・西村 | 三井造船 | 5　位 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | | 5　位 |
| | | | 40MD | 虻江・高松 | 三井造船 | 1回戦 | | | | | |
| 23 | S,48 | 石岡市 | MT | 三井造船 | 2回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | |
| | | | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 2回戦 | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 4回戦 | | | | | |
| | | | LS | 三田　明美 | 倉敷レーヨン岡山 | 3回戦 | LS | 寺見みど里 | 倉敷レーヨン岡山 | | 1回戦 |
| | | | LD | 三田・寺見 | 倉敷レーヨン岡山 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 30MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 2回戦 | 30MS | 藤井　英雄 | 岡山市役所 | | 2回戦 |
| | | | 30MS | 今東　幸一 | 岡山市役所 | 2回戦 | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | | 2回戦 |
| | | | 30MD | 藤原・田丸 | 三井造船 | 2　位 | 30MD | 藤井・今東 | 岡山市役所 | | 5　位 |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MS | 西村　喬 | 三井造船 | | 1回戦 |
| | | | 40MS | 高松森之助 | 三井造船 | 1回戦 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | | 1回戦 |
| | | | 40MS | 明珍　勝 | 三井造船 | 1回戦 | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | | 5　位 |
| | | | 40MD | 明珍・西村 | 三井造船 | 5　位 | 40MD | 高松・虻江 | 三井造船 | | 1回戦 |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | MT | 三井造船 | 1回戦 | MT | 岡山市役所 | 1回戦 | | | |
| | | | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 2回戦 | |
| | | | MD | 芳上・上野 | 三井造船 | 3回戦 | | | | | |
| | | | LS | 三田 明美 | クラレ岡山 | 3回戦 | LS | 寺見みど里 | クラレ岡山 | 2回戦 | |
| 24 | S,49 | 松阪市 | LD | 三田・寺見 | クラレ岡山 | 5　位 | | | | | |
| | | | 30MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 3回戦 | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | 2回戦 | |
| | | | 30MD | 田丸・藤原 | 三井造船 | 5　位 | 30MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 5　位 | |
| | | | 40MS | 明珍　勝 | 三井造船 | 1回戦 | 40MS | 西村　喬 | 三井造船 | 1回戦 | |
| | | | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 1回戦 | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 棄　権 | |
| | | | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | 5　位 | 40MD | 明珍・西村 | 三井造船 | 1回戦 | |
| | | | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 | LT | クラレ岡山 | 2回戦 |
| | | | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 松井　一 | 三井造船 | 2回戦 | |
| | | | MD | 上野・芳上 | 三井造船 | 2回戦 | | | | | |
| | | | LS | 三田　明美 | クラレ岡山 | 4回戦 | LS | 藤原　敦子 | クラレ岡山 | 2回戦 | |
| 25 | S,50 | 高岡市 | LD | 三田・寺見 | クラレ岡山 | 4回戦 | LD | 藤原・牧野 | クラレ岡山 | 3回戦 | |
| | | | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | 3回戦 | 30MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 棄　権 | |
| | | | 30MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 5　位 | 30MD | 今東・青木 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | 30MD | 藤原・田丸 | 三井造船 | 棄　権 | | | | | |
| | | | 40MS | 水川　捨夫 | 岡山市役所 | 2回戦 | 40MS | 岡本　武利 | 岡山市役所 | 1回戦 | |
| | | | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | | |
| | | | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | 岡山市役所 | 1回戦 | | | |
| | | | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 2回戦 | MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 1回戦 | |
| 26 | S,51 | 藤沢市 | MD | 芳上・上野 | 三井造船 | 3回戦 | | | | | |
| | | | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | 5　位 | 30MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 3回戦 | |
| | | | 30MD | 小松・藤井 | 岡山市役所 | 3回戦 | 30MD | 藤原・田丸 | 三井造船 | 3回戦 | |
| | | | 40MD | 岡本・水川 | 岡山市役所 | 2回戦 | | | | | |
| | | | MT | 川崎製鉄 | 4回戦 | MT | 三井造船 | 4回戦 | | | |
| | | | LT | 川崎製鉄 | 2回戦 | LT | 三菱化成 | 2回戦 | | | |
| | | | MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 1回戦 | |
| | | | MD | 芳上・松井 | 三井造船 | 3回戦 | MD | 平田・藤原 | 川崎製鉄 | 2回戦 | |
| 27 | S,52 | 大阪市 | LS | 難波　初子 | 川崎製鉄 | 2回戦 | LS | 難波　明美 | 川崎製鉄 | 1回戦 | |
| | | 京都市 | LD | 難波・難波 | 川崎製鉄 | 2回戦 | | | | | |
| | | | 30MS | 田丸　勝己 | 三井造船 | 4回戦 | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | 3回戦 | |
| | | | 30MS | 上野　輝治 | 三井造船 | 3回戦 | | | | | |
| | | | 30MD | 藤原・上野 | 三井造船 | 3　位 | 30MD | 田丸・藤田 | 三井造船 | 2回戦 | |
| | | | MT | 三井造船 | 4回戦 | MT | 川崎製鉄 | 4回戦 | | | |
| | | | LT | 川崎製鉄 | 3回戦 | LT | 三菱化成 | 1回戦 | | | |
| 28 | S,53 | 東京都 | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 2回戦 | |
| | | | LS | 石田　雅子 | アサヒブレッド | 4回戦 | LD | 佐藤・丸山 | 三菱化成 | 2回戦 | |
| | | | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 5　位 | | | | | |
| | | | 30MD | 藤原・上野 | 三井造船 | 3　位 | 30MD | 芳上・田丸 | 三井造船 | 3回戦 | |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | MT | 三井造船 | 5回戦 | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | クラレ岡山 | 2回戦 |
| | | | MT | 旭化成 | 2回戦 | MT | 三菱化成 | 2回戦 | MT | 三菱石油 | 1回戦 |
| | | | LT | 三菱化成 | 2回戦 | LT | 川崎製鉄 | 1回戦 | | | |
| | | | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 4回戦 | MS | 松井　一 | | 三井造船 | 3回戦 |
| | | | MS | 景山　誠 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MS | 藤井　久美 | | 清音村役場 | 3回戦 |
| | | | MS | 山本　清 | 三井造船 | 3回戦 | MS | 永井　孝 | | 川崎製鉄 | 3回戦 |
| | | | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 2回戦 | MS | 北村　治雄 | | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | MS | 板谷　好訓 | クラレ岡山 | 2回戦 | | | | | |
| | | | MD | 藤原・平田 | 川崎製鉄 | 2回戦 | MD | 金崎・北村 | | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | MD | 大野・安田 | 三菱化成 | 2回戦 | MD | 永井・景山 | | 川崎製鉄 | 1回戦 |
| 29 | S,54 | 岡山市 | MD | 松井・山本 | 三井造船 | 1回戦 | | | | | |
| | | 倉敷市 | LS | 小寺　裕美 | 岡山市役所 | 4回戦 | LS | 石田　雅子 | | アサヒプレッド | 3回戦 |
| | | | LS | 岡部　五月 | カネボウ化粧品 | 2回戦 | LS | 木村　典子 | | 川崎製鉄 | 1回戦 |
| | | | LS | 貝原　規子 | 岡山商工会議所 | 1回戦 | LS | 難波　明美 | | 川崎製鉄 | 1回戦 |
| | | | LS | 佐藤　妙子 | 三菱化成 | 1回戦 | LS | 森下　真紀 | | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | LD | 小寺・森下 | 岡山市役所 | 2回戦 | LD | 三宅・小林 | | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | LD | 木村・難波 | 川崎製鉄 | 1回戦 | LD | 若林・岡本 | | 三菱化成 | 1回戦 |
| | | | LD | 佐藤・平田 | 川崎製鉄 | 1回戦 | LD | 佐藤・丸山 | | 三菱化成 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 3　位 | 30MS | 田丸　勝己 | | 三井造船 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 藤原　航 | 三井造船 | 2回戦 | 30MS | 戸部　俊一 | | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | 30MS | 吉原　俊治 | クラレ岡山 | 1回戦 | | | | | |
| | | | 30MD | 芳上・藤原 | 三井造船 | 2　位 | 30MD | 藤田・佐藤 | | 三井造船 | 1回戦 |
| | | | 30MD | 吉原・坂井 | クラレ岡山 | 1回戦 | 40MS | 広保　悟 | | クラレ岡山 | 3回戦 |
| | | | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三井造船 | 4回戦 | | | |
| | | | LT | 川崎製鉄 | 2回戦 | LT | 岡山市役所 | 2回戦 | | | |
| | | | MS | 平田　重男 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MS | 藤原　道弘 | | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | MD | 平田・藤原 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MD | 北村・永井 | | 川崎製鉄 | 1回戦 |
| 30 | S,55 | 新居浜市 | LS | 小寺　裕美 | 松本組 | 4回戦 | LS | 小山　真弓 | | 松本組 | 3回戦 |
| | | | LD | 小寺・小山 | 松本組 | 3回戦 | LD | 佐藤・丸山 | | 三菱化成 | 1回戦 |
| | | | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 3回戦 | 30MS | 藤原　航 | | 三井造船 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 戸部 俊一 | 川崎製鉄 | 3回戦 | | | | | |
| | | | 30MD | 藤原航・芳上 | 三井造船 | 4回戦 | 30MD | 戸部・森田 | | 川崎製鉄 | 3回戦 |
| | | | 30MD | 小峪・藤原修 | 三井造船 | 2回戦 | | | | | |
| | | | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三井造船 | 5回戦 | MT | 三菱化成 | 1回戦 |
| | | | MT | 三菱石油 | 1回戦 | | | | | | |
| | | | LT | 三菱化成 | 2回戦 | LT | 岡山市役所 | 2回戦 | LT | 川崎製鉄 | 1回戦 |
| | | | MS | 藤原　道弘 | 川崎製鉄 | 4回戦 | MS | 平田　重男 | | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | MS | 永井　孝 | 川崎製鉄 | 2回戦 | MS | 板谷　好訓 | | クラレ倉敷 | 1回戦 |
| | | | MD | 平田・藤原 | 川崎製鉄 | 4回戦 | MD | 永井・北村 | | 川崎製鉄 | 3回戦 |
| 31 | S,56 | 名古屋市 | MD | 景山・西江 | 川崎製鉄 | 3回戦 | MD | 山本・若林 | | 三井造船 | 2回戦 |
| | | 知多市 | LS | 小寺 裕美 | 松本組 | 5回戦 | LS | 多久島千秋 | | 三菱化成 | 2回戦 |
| | | 一宮市 | LS | 小山　真弓 | 松本組 | 2回戦 | | | | | |
| | | | LD | 小山・小寺 | 松本組 | 4回戦 | LD | 佐藤・川崎 | | 三菱化成 | 2回戦 |
| | | | LD | 小林・高津 | 川崎製鉄 | 1回戦 | LD | 木村・古賀 | | 川崎製鉄 | |
| | | | 30MS | 芳上　一男 | 三井造船 | 2　位 | 30MS | 藤原　航 | | 三井造船 | 3回戦 |
| | | | 30MS | 松井　一 | 三井造船 | 1回戦 | | | | | |
| | | | 30MD | 芳上・藤原航 | 三井造船 | 4回戦 | 30MD | 田丸・松井 | | 三井造船 | 4回戦 |
| | | | 30MD | 小峪・藤原修 | 三井造船 | 2回戦 | 30MD | 吉原・小河原 | | クラレ倉敷 | 2回戦 |
| | | | 40MS | 坂口　勇 | 川崎製鉄 | 2回戦 | | | | | |
| 32 | S,57 | 立川市 | MT | 三井造船 | 5回戦 | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三菱石油 | 1回戦 |
| | | | LT | 松本組 | 3　位 | LT | 三菱化成 | 2回戦 | LT | 川崎製鉄 | 2回戦 |

| 回 | 年 | 場所 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 | 種目 | 所属 | 最終成績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | S,58 | 札幌市 | MT | 三井造船 | 4回戦 | MT | 川崎製鉄 | 3回戦 | MT | 岡山市役所 | 1回戦 |
| | | | LT | 松本組 | 2位 | LT | 三菱化成 | 2回戦 | | | |
| 34 | S,59 | 大阪市 | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三井造船 | 2回戦 | MT | クラレ岡山 | 2回戦 |
| | | 枚方市 | LT | 松本組 | 3回戦 | LT | クラレ岡山 | 3回戦 | | | |
| 35 | S,60 | 藤沢市 | MT | 川崎製鉄 | 5位 | MT | 三井造船 | 2回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | LT | 三菱化成 | 2回戦 | LT | 川崎製鉄 | 2回戦 | | | |
| | | 30歳以上(70歳ペアー) | | 松井・藤原 | 三井造船 | 5位 | | | | | |
| | | 35歳以上(80歳ペアー) | | 小松・青木 | 岡山市役所 | 1回戦 | | | | | |
| 36 | S,61 | 京都市 | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三井造船 | 4回戦 | | | |
| | | | LT | 岡山市役所 | 3回戦 | LT | 川崎製鉄 | 1回戦 | | | |
| 37 | S,62 | 名古屋市 | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | クラレ岡山 | 2回戦 |
| 38 | S,63 | 金沢市 | MT | 川崎製鉄 | 5回戦 | MT | 三井造船 | 5回戦 | MT | クラレ岡山 | |
| | | | MT | 川崎製鉄 | 4回戦 | MT | 三井造船 | 4回戦 | MT | 山陽ドラム缶 | 3回戦 |
| 39 | H,元 | 岡山市 | MT | 旭化成 | 2回戦 | MT | 松下電器 | 2回戦 | MT | 岡山市役所 | 2回戦 |
| | | | MT | クラレ岡山 | 2回戦 | MT | 三菱化成 | 1回戦 | | | |
| | | | LT | 松本組 | 2回戦 | LT | 松下電器 | 1回戦 | | | |
| 40 | H,2 | 神戸市 | MT | 川崎製鉄 | 4回戦 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | クラレ岡山 | 1回戦 |
| | | | LT | 松本組 | 4回戦 | LT | 松下電器 | 2回戦 | | | |
| 41 | H,3 | 仙台市 | MT | クラレ岡山 | 4回戦 | MT | 川崎製鉄 | 3回戦 | MT | 三井造船 | 2回戦 |
| | | | LT | まつもとコーポレーション | 2回戦 | MT | 松下電器 | 1回戦 | | | |
| 42 | H,4 | 広島市 | MT | 川崎製鉄 | 3回戦 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | クラレ岡山 | 2回戦 |
| | | | LT | まつもとコーポレーション | 4回戦 | LT | 松下電器 | 1回戦 | | | |
| 43 | H,5 | 高岡市 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | 三菱化成 | 3回戦 | MT | 川崎製鉄 | 1回戦 |
| | | 新湊市・小杉町 | LT | まつもとコーポレーション | 4回戦 | | | | | | |
| 44 | H,6 | 福岡市 | MT | 三井造船 | 3回戦 | MT | 川崎製鉄 | 2回戦 | MT | 川鉄鉄構 | 2回戦 |
| | | | LT | まつもとコーポレーション | 4回戦 | | | | | | |
| 45 | H,7 | 札幌市 | MT | 三井造船 | 4回戦 | MT | 川鉄マシナリー | 3回戦 | MT | 川崎製鉄 | 2回戦 |
| | | | LT | まつもとコーポレーション | 3回戦 | | | | | | |
| 46 | H,8 | 八代市 | MT | 川鉄マシナリー | 4回戦 | MT | 松下電器 | 4回戦 | MT | 三菱化学 | 3回戦 |
| | | | LT | まつもとコーポレーション | 3回戦 | | | | | | |

## （7）教職員連盟

### 1）県内大会

#### ①県冬季選手権大会　　※県選手権大会として開催されていたが、H,5より名称変更。

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 高田　浩二 | 天城高 | 山本　章夫 | 美星中学 | 山上　周之 | 山陽女高 | 藤原　達雄 | 矢掛高 |
| 1 | AMD | 山上・正本 | 山陽女高 | 渡辺・大月 | 倉敷福田中・朝日高 | 山本・藤原 | 美星中・矢掛高 | 高田・中村 | 天城高 |
| S,43 | BLS | 石井　勉 | 青陵高 | 三木　福一 | 備南高 | 植村　浩也 | 藤田中学 | 野崎 | 円城中学 |
| | BLD | 佐藤・小原 | 倉敷工高 | 三村・古家野 | 藤田中学 | 桐生・植村 | 藤田中学 | 内田・奥山 | 井原高 |
| | AMS | 高田　浩二 | 天城高 | 山本　章夫 | 井原中学 | 小川　雅史 | 高屋中学 | 秋山　忠明 | 総社西中 |
| 2 | AMD | 高田・中村 | 天城高 | 小川・砂田 | 高屋中・福本小 | 山本・藤原 | 井原中・矢掛高 | 佐藤・須々木 | 御津中・円城中 |
| S,44 | BMS | 町口　俊一 | 倉敷工高 | 山形　和美 | 茶屋町小 | 坪井　克巳 | 青陵高 | 内田　文吾 | 井原高 |
| | BMD | 藤原・山形 | 茶屋町小 | 永井・藤原 | 天城高 | 蒲生・三木 | 備南高 | 永島・三宅 | 備南高 |
| | AMS | 今東　幸一 | 岡山市教 | 小川　雅史 | 高屋中学 | 山本　章夫 | 井原中学 | 山上　周之 | 山陽女高 |
| 3 | AMD | 山上・正本 | 山陽女高 | 山本・小川 | 井原中・高屋中 | 大月・今東 | 朝日高・岡山市教 | 秋山・土井脇 | 総社西中・総社小 |
| S,45 | BMS | 町口　俊一 | 倉敷工業 | 本多　仁志 | 備南高 | | | | |
| | BMD | 本多・清水 | 備南高 | | | | | | |
| | CMS | 正本　利幸 | 山陽女高 | 谷垣　正明 | 備南高 | 小橋　勝広 | 倉敷西中 | 内田　文吾 | 井原高 |
| | CMD | 西沢・小橋 | 倉敷西中 | 永島・三宅 | 備南高 | 清水・石飛 | 備南高 | 谷垣・石川 | 備南高 |
| | AMS | 藤井　英雄 | 岡山市教 | 柳本　堯敏 | 旭東中学 | 小野　一男 | 足守中学 | 高田　浩二 | 天城高 |
| | AMD | 藤井・柳本 | 岡山市教・旭東中 | 小野・加藤 | 足守中・下津井中 | | | | |
| 4 | BMS | 正本　利幸 | 山陽女高 | 山上　周之 | 山陽女高 | 近藤　莞爾 | 児島高 | 山形　和美 | 茶屋町小 |
| S,46 | BMD | 近藤・山形 | 児島高・茶屋町小 | 永原・遠藤 | 御津中・円城中 | | | | |
| | CMS | 小林　生男 | 倉敷工高 | 町口　俊一 | 倉敷工高 | 山部　拓郎 | 天城高 | 本多　仁志 | 備南高 |
| | CMD | 清水・石飛 | 備南高 | 永島・石川 | 備南高 | 柏野・小原 | 倉敷工高 | 町口・小林 | 倉敷工高 |
| 5 | AMD | 高田・柳本 | 久世高・旭東中 | 白神・河田 | 管生小・牧石小 | 中村・三宅 | 天城高・水島工 | | |
| S,47 | BMS | 北村　博 | 倉敷工高 | 町口　俊一 | 倉敷工高 | 坪井　克巳 | 青陵高校 | 本多　仁志 | 備南高 |
| | BMD | 本多・清水 | 備南高 | 中尾・島田 | 岡山教育事務所 | 笹野・川上 | 岡山教育事務所 | 町口・北村 | 倉敷工高 |
| 6 | BMS | 串田　隆嗣 | 児島一高 | 本多　仁志 | 備南高 | 篠原　健一 | 備前高 | 岡部寿美夫 | 玉島商高 |
| S,48 | BMD | 中尾・葛原 | 岡山教育事務所 | 大月・広江 | 朝日高 | 清水・高木 | 備南高 | 本多・石川 | 備南高 |
| 7 | CMS | 串田　隆嗣 | 児島一高 | 入江　哲郎 | 児島一高 | 山本　章夫 | 円城中学 | 岡崎　資郎 | 児島一高 |
| S,49 | CMD | 清水・遠藤 | 玉野商高 | 山本・須々木 | 円城中 | 石川・高木 | 備南高 | 田口・北田 | 倉敷西中 |
| 8 | CMS | 串田　隆嗣 | 瀬戸農高 | 佐田　野勝 | 倉敷工高 | 森安　昭雄 | 総社高 | 井上　国昭 | 邑久高 |
| S,50 | CMD | 井上・森安 | 邑久高・総社高 | 西沢・田口 | 倉敷西中 | 清水・遠藤 | 玉野商高 | 石川・高木 | 備南高 |
| 9 | MS | 佐田野　勝 | 大安寺高 | 古川　力 | 中央高 | 江口　明彦 | 大安寺高 | 永原　昭二 | 倉敷福田中 |
| S,51 | MD | 三宅・田辺 | 岡山大学 | 市村・葛原 | 岡山大学 | 中尾・羽原 | 岡山大学 | 小寺・加村 | 中央高 |
| | LD | 江田・守分 | 福島小・御野小 | 山崎・蛙田 | 鹿田小・高島小 | 虫明・栗本 | 操南小・操南中 | 宇野・坪井 | 庄内小学 |
| 10 | MS | 北村　博 | 豊永中学 | 森安　昭雄 | 総社高 | 井上　国昭 | 邑久高 | 古川　力 | 中央高 |
| S,52 | MD | 森安・井上 | 総社高・邑久高 | 加村・小寺 | 中央高 | 田口・西沢 | 倉敷西中・水島中 | 藤田・長森 | 岡山大学 |
| 11 | MS | 安藤　英一 | 岡山大学 | 古川　力 | 中央高 | 加村　正義 | 水島工高 | 山本　芳史 | 総社高 |
| S,53 | MD | 安藤・葛原 | 岡山大学 | 中尾・市村 | 岡山大学 | 山田・植木 | 岡山大学 | 山本・佐田野 | 総社高・真備高 |
| 12 | MS | 古川　直裕 | 川崎学園 | 北　学 | 川崎学園 | 坂根　清貴 | 雄神小学 | 三浦　真 | 岡山市役所 |
| S,54 | MD | 古川・香月 | 川崎学園 | 安藤・葛原 | 岡山大学 | 市村・植木 | 岡山大学 | 今井・山田 | 岡山大学 |
| | LD | 山本・高畠 | 岡山大学 | 熊田・山川 | 川崎学園 | 三好・堀江 | 川崎学園 | 坪井・田岡 | 庄内小学 |
| | AMS | 三浦　真 | 岡山市役所 | 北　学 | 川崎学園 | 草地　哲也 | 高島小学 | 市村　淳二 | 岡山大学 |
| 13 | AMD | 安藤・葛原 | 岡山大学 | 大森・市村 | 岡山大学 | 三浦・片岡 | 岡山市教・富山小 | 古川・香月 | 川崎学園 |
| S,55 | BMS | 遠藤　勝己 | 玉野商高 | 豊岡 | 備南高 | 秋山　伸一 | 玉野商高 | 清水　裕彦 | 玉野商高 |
| | BMD | 古川・串田 | 中央高 | 田口・山根 | 岡山大学 | 山本・藤原 | 西大寺中 | 豊岡・松本 | 備南高 |
| | LD | 高畠・倉田 | 岡山大学 | 平野・亀山 | 川崎学園 | 益岡・田渕 | 岡山養護 | 難波・山川 | 川崎学園 |
| 14 | MS | 平島　秀典 | 幡多小学 | 市村　淳二 | 岡山大学 | 安藤　英一 | 岡山大学 | 松本　哲也 | 高島小学 |
| S,56 | MD | 安藤・市村 | 岡山大学 | 平島・松本 | 幡多小・高島小 | | | | |
| 15 | MS | 清水　隆人 | 倉敷南高 | 平島　秀典 | 幡多小学 | 荻野　克己 | 旭東小学 | | |
| S,57 | MD | 平島・荻野 | 幡多小・旭東小 | 清水・井汲 | 倉敷南高・津山西中 | | | | |
| | AMS | 岡本　次郎 | 上南中学 | 平島　秀典 | 幡多小学 | 片岡　光 | 富山小学 | 毛利　清志 | 山陽女高 |
| 16 | AMD | 毛利・皿井 | 山陽女高 | 片岡・松本 | 富山小・高島小 | 平島・荻野 | 幡多小・旭東小 | 久山・秋山 | 邑久高・清心女高 |
| S,58 | BMS | 小坂　冬樹 | 誕生寺養護 | 久松　慎治 | 玉野商業 | 柴岡　元 | 芳泉高 | 葛原　英機 | 岡山大学 |
| | BMD | 坂本・小坂 | 勝田中・誕生寺養 | 寺尾・西岡 | 上南中・玉中学 | 光友・石部 | 岡山大学 | 葛原・難波 | 岡山大学 |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | CMS | 宇垣　和男 | 金山学園 | 藤井　篤朗 | 朝日高 | 井勝　久喜 | 岡山大学 | 竹内　嘉孝 | 金山学園 |
| 16 | CMD | 宇垣・竹内 | 金山学園 | 岡本・瀬島 | 中庄小学 | 塩見・梅村 | 西大寺中 | 藤井・上野 | 朝日高 |
| S,58 | LS | 平田　優子 | 鶴喜小学 | 宮川　京子 | 児島中学 | 若林　清美 | 豊田小学 | 滝本香代子 | 岡山大学 |
| | LD | 小林・平田 | 誕生寺養・鶴喜小 | 宮川・若林 | 児島中・豊田小 | 近藤・滝本 | 岡山大学 | 佐野・深井 | 中山小学 |

☆S,59～H,3年は記録不明

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 横田　寿弘 | 倉敷工高 | 枝木謙太郎 | 岡山工高 | 中須賀祥雅 | 倉敷福田中 | 松本　哲也 | 雄神小学 |
| | AMD | 横田・枝木 | 倉敷工・岡山工高 | 西崎・橋本 | 西大寺高・水島工 | 平島・松本 | 庄内小・雄神小 | 花谷・中堀 | 岡山大学 |
| | BMS | 真治　洋一 | 新見北高 | 藤元　広明 | 新見北高 | 高原　芳夫 | 倉敷一中 | 河合　隆司 | 西大寺中 |
| | BMD | 寺尾・仮谷 | 芳泉中・旭中 | 山田・阿部 | 岡山大学 | 平櫛・三宅 | 連島中・霞丘小 | 桑木・三宅 | 岡山工・吉備文化 |
| | CMS | 渡辺　義弘 | 倉敷一中 | 桂　正光 | 勝間田小 | 山本　昭広 | 大原中 | 小橋　佳彦 | 平福小 |
| | CMD | 岡本・香川 | 山手小学 | 山本・桂 | 大原小・勝間田小 | 桑木・山田 | 倉敷南高 | 小林・建元 | 大原小・美作北小 |
| | 30MS | 坂口　法弘 | 三勲小学 | 松本　誠一 | 総社南高 | 黒田　浩美 | 岡山養護 | 国屋　成之 | 玉野ＳＰ |
| 25 | 30MD | 大崎・高木 | 連島東小・二福田小 | 竹村・末広 | 東備養護 | 坂口・信江 | 三勲小学 | | |
| H,4 | 40MS | 井汲　威彦 | 津山西中 | 藤本　正彦 | 平福小学 | 奥山　富義 | 太伯小学 | | |
| | 40MD | 井汲・橋本 | 津山西中・久米中 | 藤本・奥山 | 平福小・太伯小 | 秋山・梅延 | 総社東中・磐梨中 | | |
| | 50MS | 橋本　惣司 | 久米中学 | 大月　史郎 | 朝日高 | | | | |
| | ALS | 岡本　裕子 | 芳田中学 | 立古 | 岡山盲学校 | | | | |
| | ALD | 岡野・奥村 | 倉敷養護・矢掛高高 | 楢本・二部野 | 早島小・琴浦中 | 妻澤・秋田 | 後閑小・大安寺高 | 河村・田辺 | 豊洲小・香和中 |
| | BLS | 山田千津子 | 笠岡商高 | 善木　孝子 | 津山西中 | 藤原喜代子 | 建部小学 | 丸山　浩枝 | 津山西中 |
| | BLD | 別府・福森 | 倉敷養護・倉敷東小 | 枝野・高田 | 鴨方高校 | 中筋・馬場 | 倉敷工高 | 国米・泉川 | 岡山大学 |
| | 30LD | 小橋・山田 | 連島東小 | 藤原・善木 | 建部小・津山西中 | 小川・杭田 | 御津中 | | |
| | MIX | 大崎・山田 | 連島東小 | 高木・小橋 | 二福田・連島東小 | 根岸・怒田 | 岡山養護 | 中堀・苅田 | 岡山大学 |
| | AMS | 横田　寿弘 | 倉敷工高 | 田井　秀賢 | 県山陽高 | 平島　秀典 | 庄内小学 | 松本　哲也 | 雄神小学 |
| | AMD | 田井・中堀 | 県山陽高・岡山大 | 西崎・横田 | 水島工高・倉敷工 | 多田・中須賀 | 菅生・倉敷福田中 | 柳本・松岡 | 芳泉中学 |
| | BMS | 坂口　法弘 | 三勲小学 | 渡辺　義弘 | 琴浦中学 | 三野　智光 | 平福小学 | 原田　和典 | 川相小学 |
| | BMD | 桑木・三宅 | 岡山工・吉備文化 | 平櫛・三宅 | 連島中・霞丘小 | 延堂・近藤 | 平福小学 | 三野・漆原 | 平福小学 |
| | CMS | 井上　憲 | 勝間田小 | 小林　健 | 大原小学 | 寺尾　寿 | 芳泉中学 | 山本　悟 | 操南小学 |
| | CMD | 渋谷・佐藤 | 岡山大学 | 井上・桂 | 勝間田小 | 川中・岡 | 琴浦西小 | 田口・林 | 総社中央小 |
| | 30MS | 竹島　理雄 | 琴浦東小 | 石井　宏幸 | 県教育庁 | 山田　益男 | 岡山大学 | 榊原　俊章 | 玉島商高 |
| 26 | 30MD | 山田・阿部 | 岡山大学 | 大崎・高木 | 連島東小・老松小 | 石井・寺尾 | 県教育庁・芳泉中 | 森本・香川 | 大高小・山手小 |
| H,5 | 40MS | 奥山　富義 | 豊小学 | 藤本　正幸 | 平福小学 | 金子　廣志 | 第二福田小 | | |
| | 40MD | 金子・岡本 | 二福田小・山手小 | 藤本・奥山 | 平福小・豊小学 | 矢吹・岩田 | 庄内小学 | 寺嶋・二階堂 | 西備養護 |
| | 50MS | 毛利　清志 | 山陽女高 | 橋本　惣司 | 奈義中学 | 楠　邦彦 | 備前高 | 井汲　威彦 | 高野小学 |
| | 50MD | 井汲・橋本 | 高野小・奈義小 | 毛利・西崎 | 山陽女高・岡山短 | 田中・楠 | 倉敷工高・備前高 | | |
| | ALS | 奥村　都 | 矢掛商高 | 岡本　裕子 | 芳田中学 | 山田千津子 | 笠岡商高 | | |
| | ALD | 奥村・岡野 | 矢掛商・倉敷養護 | 岡本・田辺 | 芳田中・香和中 | 楢本・宮廻 | 山手小・二福田小 | 永井・二部野 | 琴浦南小・琴浦中 |
| | BLS | 直本真理子 | 小串小学 | 矢代　尚子 | 大原小学 | 楢崎　一美 | 興陽高 | | |
| | BLD | 小橋・山田 | 連島東小 | 清友・直本 | 高島小・小串小 | 中筋・中村 | 倉敷工高 | 金田・笠原 | 旭竜小学 |
| | CLD | 小寺・別府 | 下津井中・倉敷養護 | 赤木・入江 | 庄内小学 | 松尾・小野 | 清音小学 | 三村・川北 | 岡山養護 |
| | MIX | 大崎・楢本 | 連島東小・山手小 | 平櫛・宮廻 | 連島中・二福田小 | 高木・山田 | 老松小・連島東小 | 井上・二部野 | 連島南小・琴浦中 |
| | AMS | 松本　哲也 | 雄神小学 | 中原　修二 | 北房中学 | 岡野　圭典 | 備南高 | | |
| | AMD | 平島・松本 | 庄内小・雄神小 | 荻野・片岡 | 操南小・政田小 | 藤森・竹島 | 興陽高・琴浦東小 | | |
| | BMS | 井上　憲 | 勝間田小 | 延堂　雅弘 | 平福小学 | 小林　紀彦 | 平福小学 | | |
| | BMD | 阿部・山田 | 岡山大学 | 平櫛・三宅 | 連島中・霞丘小 | 延堂・小林 | 平福小学 | | |
| | CMS | 西　敬三 | 第五福田小 | 小林　健 | 大原小学 | 福吉　慎次 | 東粟倉小 | | |
| | CMD | 西・西 | 第五福田小 | 小林・井上 | 大原小・勝間田小 | 森分・合田 | 第二福田小 | | |
| 27 | 30MS | 山田　益男 | 岡山大学 | 竹島　理雄 | 琴浦東小 | 浅原　芳弘 | 笠岡高 | | |
| H,6 | 30MD | 高木・森本 | 老松小・大高小 | 岡本・香川 | 山手小学 | 鳥越・金子 | 連島西浦・二福田 | | |
| | 40MS | 岡本　善弘 | 山手小学 | 金子　廣志 | 第二福田小 | 藤本　正幸 | 平福小学 | | |
| | 40MD | 田口・林 | 総社中央小 | 奥山・藤本 | 豊小学・平福小 | | | | |
| | 50MS | 毛利　清志 | 山陽女高 | 井汲　威彦 | 高野小学 | 壷内　邦雄 | 津山工高 | | |
| | 50MD | 井汲・壷内 | 高野小・津山工高 | 田中・楠 | 岡山工高・備前高 | 毛利・西崎 | 山陽女高・順正短 | | |
| | BLD | 金田・清友 | 高島小学 | 永井・小寺 | 琴浦南小・下津井中 | 牧・阿部 | 打穴小・津山北小 | | |
| | CLD | 松本・臼井 | 浮田小学 | 小野・松尾 | 清音小学 | 父尾・池田 | 岡山工高 | | |
| | MIX | 香川・楢本 | 山手小・早島小 | 井上・小寺 | 連島南小・下津井中 | 松本・岡本 | 総社南高 | | |

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 池田　一成 | 琴浦西小 | 荻野　克己 | 操南小学 | 松本　哲也 | 雄神小学 | | |
| | AMD | 池田・竹島 | 琴浦西小・琴浦東小 | 荻野・片岡 | 操南小・政田小 | 平島・松本 | 庄内小・雄神小 | | |
| | BMS | 竹島　理雄 | 琴浦東小 | 井上　憲 | 勝間田小 | 桂正　光 | 勝間田小 | | |
| | BMD | 塩見・寺尾 | 芳泉中学 | 平櫛・三宅 | 連島中・天城小 | 井上・桂 | 勝間田小 | | |
| 28 | CMS | 福吉　慎次 | 東粟倉小 | 山田　明 | 荘内中学 | 難波　潤次 | 芳田中学 | | |
| H，7 | CMD | 岡本・香川 | 山手小学 | 川中・北畠 | 琴浦西中 | 森分・合田 | 第二福田小 | | |
| | 30MD | 大崎・藤原 | 連島東小・天城小 | 田村・福田 | 大井和小・犀生小 | | | | |
| | 40MS | 岡本　善弘 | 山手小学 | 奥山　富義 | 豊小学 | 金子　廣志 | 第二福田小 | | |
| | BLD | 阿部・牧 | 佐良山小・加茂小 | 宮野・井原 | 平福小学 | | | | |
| | CLD | 小寺・別府 | 下津井中・岡山西養護 | 池上・福田 | 弥生小学 | 有宗・佐藤 | 弥生小・一宮小 | | |
| | 30LD | 古谷・佐伯 | 琴浦東小・味野小 | 小橋・山田 | 連島東小 | 赤木・入江 | 庄内小学 | | |
| | MIX | 大崎・別府 | 連島東小・岡山西養護 | 藤原・楢本 | 天城小・二万小 | 山田・山本 | 岡山大学 | | |
| | AMS | 松本　哲也 | 山陽北小 | 竹島　理雄 | 茶屋町小 | 市村　淳二 | 岡山大学 | | |
| | AMD | 市村・片岡 | 岡山大学・政田小 | 平島・荻野 | 庄内小・操南小 | 竹島・山川 | 茶屋町小・琴浦高 | | |
| | BMS | 田村　昌之 | 大井和小 | 桂　正光 | 柵原東小 | 串田　晴彦 | 日本原高 | | |
| 29 | BMD | 井上・桂 | 勝間田小・柵原東小 | 川中・古谷 | 第三福田・本荘小 | 岡本・香川 | 山手小学 | | |
| H，8 | CMS | 福吉　慎次 | 勝間田小 | 西田　久泰 | 芳田小学 | 高岡　誠治 | 芳田小学 | | |
| | CMD | 貝原・唐渡 | 琴浦南小 | 正保・本郷 | 芳泉中学 | 片山・森 | 芳泉中学 | | |
| | 30MS | 藤本　正幸 | 平福小学 | 山田　明 | 荘内中学 | 難波　潤次 | 芳田中学 | | |
| | 30MD | 大崎・金子 | 連島東小・下津井東小 | 中島・藤本 | 三門小・平福小 | 山田・難波 | 荘内中・芳田中 | | |
| | LD | 小寺・別府 | 粒江小・岡山西養護 | 小橋・山田 | 連島東小・五福田 | 川上・小山 | 芳田小学 | | |
| | MIX | 大崎・小橋 | 連島東小 | 井上・井上 | 勝間田小・高野小 | 岡本・小寺 | 山手小・粒江小 | | |

## ②県学校対抗戦

| 回 | 年度 | 1　位 | 2　位 | 3　位 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | H，4 | 岡山市立芳泉中学校 | 岡山県立玉島商業高校 | 岡山県立芳泉高校 | 岡山市立西小学校 |
| 2 | H，5 | 倉敷市立連島東小学校 | 岡山市立芳泉中学校B | 岡山市立平福小学校 | 岡山市立西小学校 |
| 3 | H，6 | 岡山市立操南小学校 | 倉敷市立連島東小学校 | 岡山県立笠岡高校 | 岡山市立平福小学校 |
| 4 | H，7 | 倉敷市立連島中学校 | 岡山市立芳泉中学校 | 岡山市立津島小学校 | 岡山市立中山小学校 |
| 5 | H，8 | 倉敷市立帯江・天城小学校 | 倉敷市立第一福田小学校 | 岡山市立津島小学校 | 岡山市立操南小学校 |

## ③県春季選手権大会

| 回年 | 種目 | 1 | 位 | 2 | 位 | 3 | 位 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | AMS | 中須賀祥雅 | 倉敷福田中 | 松本　哲也 | 雄神小学 | 枝木謙太郎 | 岡山工高 | | |
| | AMD | 中須賀・西崎 | 福田中・水島工高 | 平島・松本 | 庄内小・雄神小 | 岡野・岡野 | 備南高・胸上小 | | |
| | 一般MS | 藤森　龍二 | 興陽高 | 橋本　直敏 | 岡山養護 | 建元　貞昭 | 美作北小 | | |
| | 一般MD | 小寺・松本 | 総社南高 | 小林・建元 | 大原小・美作北小 | 井上・山本 | 勝間田小・大原中 | | |
| 1 | 30MS | 竹島　理雄 | 琴浦東小 | 榊原　俊章 | 玉島商高 | 松本　誠一 | 総社南高 | | |
| H，5 | 30MD | 大崎・高木 | 連島東小・老松小 | 平櫛・高原 | 連島中・倉敷中 | 山田・阿部 | 岡山大学 | | |
| | 40MS | 奥山　富義 | 豊小学 | 藤本　正幸 | 平福小学 | | | | |
| | 40MD | 岡本・金子 | 山手小・二福田小 | 奥山・藤本 | 豊小学・平福小 | 寺嶋・二階堂 | 西備養護 | | |
| | ALS | 岡本・田辺 | 芳田中・香和中 | 宮廻・楢本 | 第二福田・山手小 | 別府・岡野 | 倉敷養護 | | |
| | 一般LD | 阿部・牧 | 津山北小・打穴小 | 井上・高原 | 岡山養護 | 直本・薬師寺 | 伊島小学 | | |
| | 30LD | 小橋・山田 | 連島東小 | 今井・歳森 | 西大寺小・千種小 | | | | |
| | MIX | 三宅・楢本 | 霞丘小・山手小 | 大崎・山田 | 連島東小 | 高木・小橋 | 老松小・連島東小 | | |
| | AMS | 枝木謙太郎 | 岡山工高 | 中原　修二 | 北房中学 | 平島　秀典 | 庄内小学 | 松本　哲也 | 雄神小学 |
| | AMD | 平島・松本 | 庄内小・雄神小 | 荻野・片岡 | 操南小・政田小 | | | | |
| | 一般MS | 藤元　広明 | 新見北高 | 高橋　薫雄 | 彦崎小学 | 永井　義彰 | 高野小学 | 田村　昌之 | 大井和小 |
| | 一般MD | 大崎・高木 | 連島東小・老松小 | 藤元・真治 | 新見北高 | 竹島・高橋 | 琴浦東小・彦崎小 | 井上・永井 | 勝間田小・高野小 |
| 2 | 30MS | 藤森　龍二 | 興陽高 | 桂　正光 | 勝間田小 | 小林　健 | 大原小学 | 前原　浩人 | 津山工高 |
| H，6 | 30MD | 石井・藤森 | 県教育庁・興陽高 | 金子・井上 | 二福田・連島南小 | 平櫛・三宅 | 連島中・霞丘小 | | |
| | 40MS | 藤本　正幸 | 平福小学 | 金子　廣志 | 第二福田小 | | | | |
| | 40MD | 奥山・藤本 | 豊小学・平福小 | 梅延・山本 | 磐梨中学 | | | | |
| | 50MS | 井汲　威彦 | 高野小学 | 壷内　邦雄 | 津山工高 | 橋本　惣司 | 奈義中学 | | |
| | LD | 楢本・永井 | 早島小・琴浦南小 | 小橋・山田 | 連島東小 | 阿部・牧 | 津山北小・打穴小 | 小野・松尾 | 清音小学 |
| | MIX | 枝木・山田 | 岡山工・笠岡商高 | 高木・別府 | 老松小・倉敷養護 | 平櫛・山田 | 連島中・連島東小 | 大崎・楢本 | 連島東小・早島小 |